servicenow

Yokohama AI を有効にする

最終更新日: 2025年5月6日

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

AI エクスペリエンスを有効にする 5
Now Assist 11
Now Assist の探索 15
Now Assist設定と機能の構成 135
Now Assistパフォーマンスの分析 169
Now LLM サービス 回の更新 240
Now Assistの参照 242
生成 AI コントローラー 249
Now Assist AI エージェント 296
Now Assist AI エージェント の探索 298
Now Assist AI エージェント の構成 319
AI エージェントを作成 325
ユースケースを作成 346
AI エージェントの使用例 356
AI エージェントの参照 357
Now Assist データキット 359
Now Assist データキットの詳細 362
Now Assist データキット の構成 363
Now Assist データキット の使用 364
Now Assist データキットの参照情報 369
Now Assist SDK 370
Now Assist SDK の探索 372
Now Assist SDKの構成 383
Now Assist SDK の使用 386
Now Assist SDKの参照 405
AI ガバナンス 406
AI ガバナンス の探索 408
AI ガバナンス の構成 412
AI ガバナンス の使用 413
AI ガバナンス -参照 415
自然言語理解 (NLU) 416
自然言語理解 (NLU)の詳細 420
モデル管理 433
多言語モデル管理 527
仮想エージェント および NLU ワークベンチ の統合 542
NLU Workbench - Advanced Features 544
自然言語クエリー 563
自然言語クエリの詳細 564
自然言語クエリー の使用 566

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLQ の構成....568
自然言語クエリー 参照....574
予測インテリジェンス....576
予測インテリジェンスの詳細....577
予測インテリジェンス のインストール....581
予測インテリジェンス の構成....582
ソリューションの作成とトレーニング....610
予測インテリジェンス の使用....649
予測インテリジェンスの参照情報....683
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)....688
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の探索....690
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成....693
他のアプリケーションとの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の統合....722
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の使用....728
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のパフォーマンスの監視....750
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の参照情報....755
Now Assist は ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の値のいずれか....786
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)での Now Assist の詳細....789
Now Assistでのドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成....793
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の Now Assist の使用....800
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のNow Assistについての参照....803
タスクインテリジェンス....809
タスクインテリジェンス の探索....810
タスクインテリジェンス の構成....813
を使用した機械学習モデルの管理 タスクインテリジェンス....815
タスクインテリジェンスの参照情報....819
AI 製品とソリューションの追加リソース....822

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エクスペリエンスを有効にする

人工知能ベースのツールを活用して、日常的なタスクの優先順位付けと自動化、重大なインシデントの検出、インサイトの抽出を行います。

開始するには

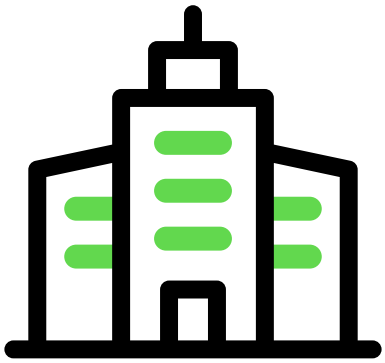
いずれかのタイルを選択して開始します。

Now Assist



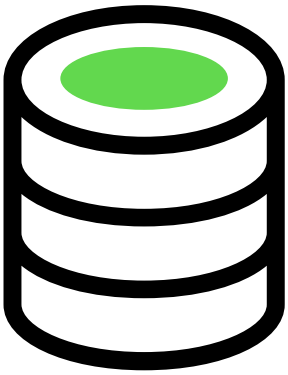
パーソナライズされた生成 AI アシスタントとスキルを使用して、 Now Platform での作業を強化します。

Now Assist AI エージェント



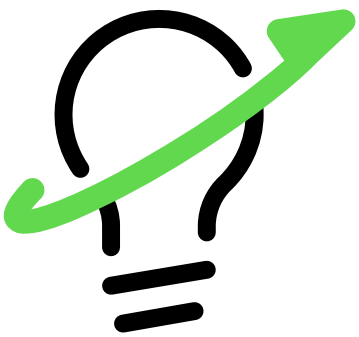
ビジネス成果を促進するユースケースの構築と組み立て

Now Assist データキット



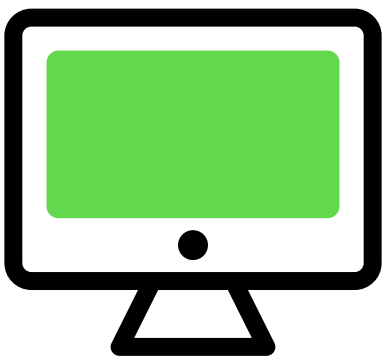
データセットをデータカタログに追加します。

Now Assist SDK



Now Assistエクスペリエンスに合わせたカスタムスキルとプロンプトを作成します。

AI ガバナンス



Now Platform上の AI 資産を監視、管理、統制します。

自然言語理解 (NLU)

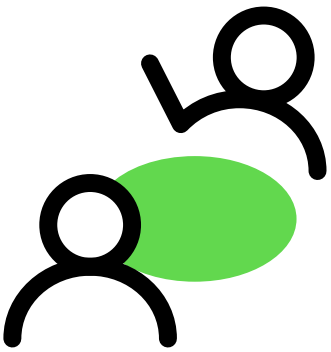


自然言語理解 (NLU) (NLU) を使用して、システムが自然な人間の表現と意図で動作するようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自然言語クエリー



Now Platformのこのサービスで、分かりやすい言葉の要求を使用してインスタンスからデータを取得します。

予測インテリジェンス



予測インテリジェンスを使用して ML ベースのソリューションを開発し、インスタンスでの作業エクスペリエンスを向上させます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)



強力な AI ベースのソリューションで、ドキュメントのデータ抽出プロセスを自動化し、ワークフローをスピードアップします。

Now Assist は ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の値のいずれか



生成 AI を使用してドキュメントから情報を分析および抽出します

タスクインテリジェンス



この AI ツールを使用して ML ソリューションを作成し、ビジネスニーズと結果への影響を追跡します。

その他のリソース



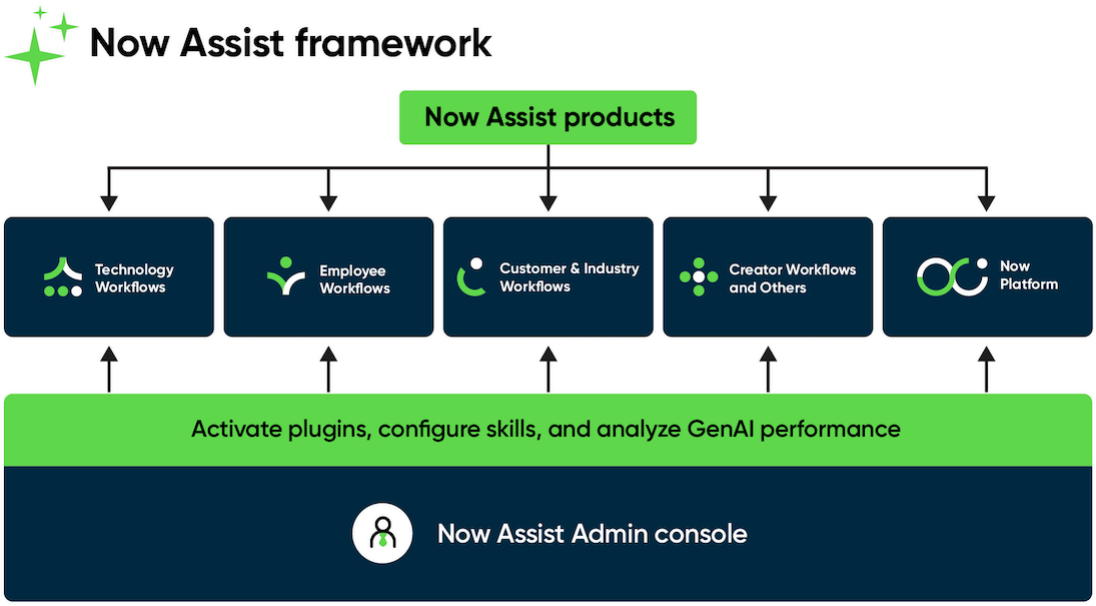
AI エクスペリエンスを次のレベルにアップグレード

自動翻訳

Now Assist

Now Assist アプリケーションを使用して、Now Platformで生成 AI 機能を有効にします。生成 AI は、エージェントと開発者が迅速に作業し、生産性を高めるのに役立ちます。

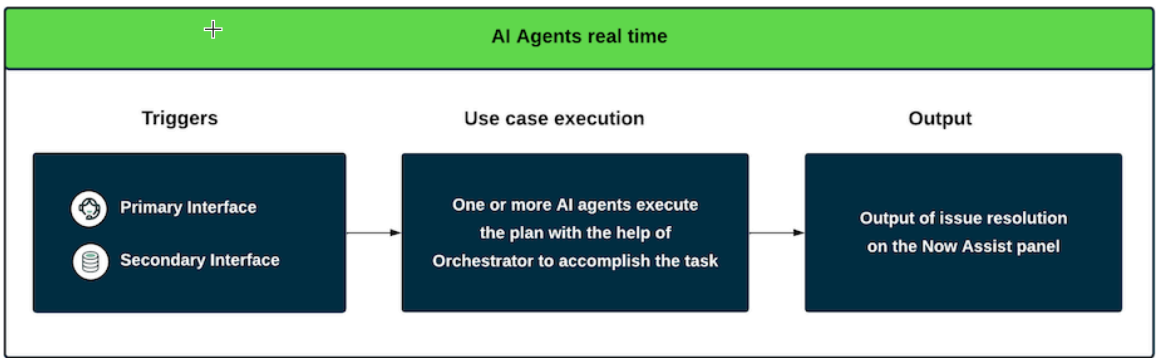
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Now Assist AI エージェント

ServiceNow AIエージェントは、重要なビジネス上の課題を自律的に解決し、成果を加速させ、熟練したデジタルワークフォースを無制限に活用することで、人々が最高の仕事に集中できるようにします。

AI エージェントスタジオを使用して、AI エージェントとユースケースをすべて 1 か所で作成、管理、テストできます。メインの [概要] ページには、AI エージェントとユースケースを理解して開始し、開発を継続するために必要なものを提供する 3 つのセクションがあります。



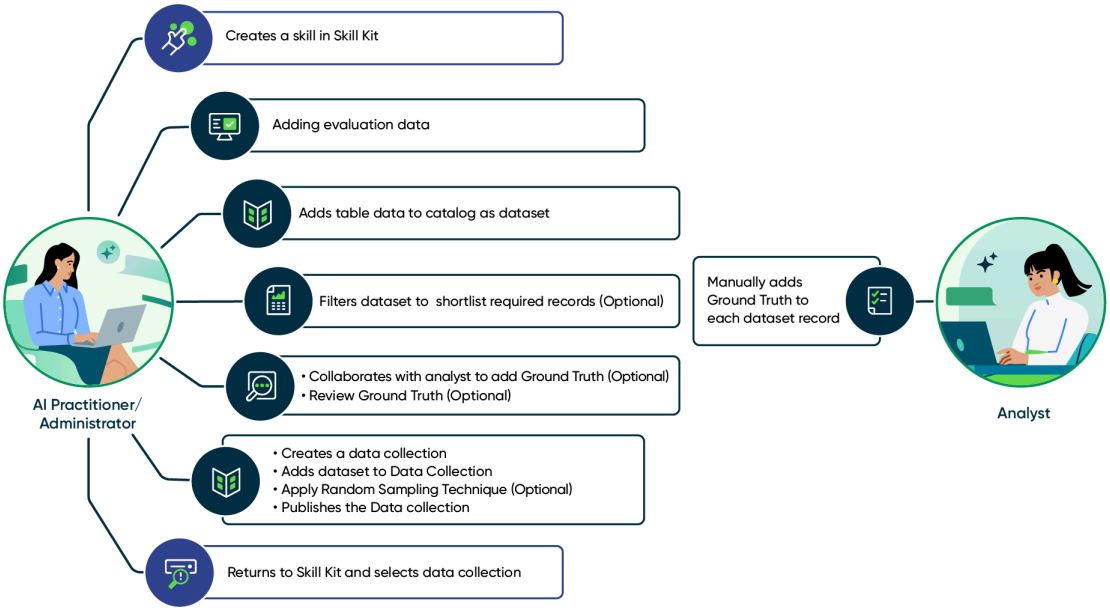
Now Assist データキット

ベースシステム Now Assist スキルがニーズを満たさない場合は、 Now Assist データキット を使用して、評価用に Now Assist SDK で使用できるカスタムデータセットとデータコレクションを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

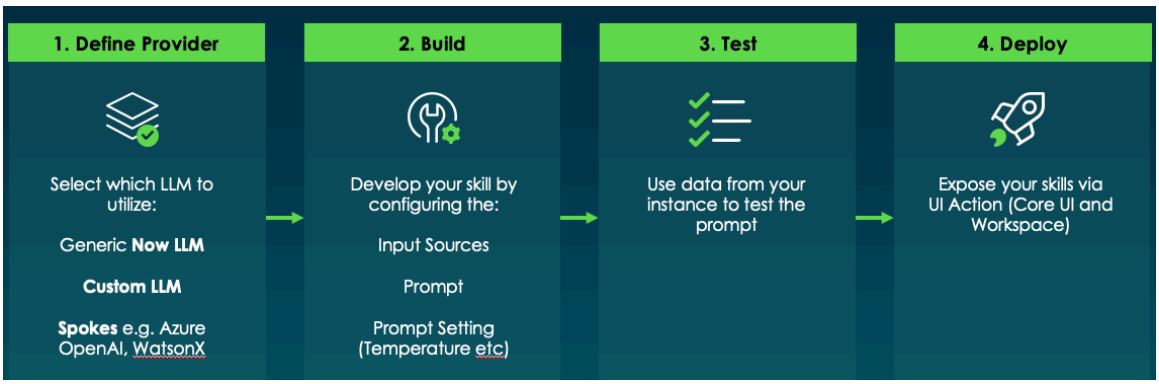
のユーザージャーニー **Now Assist** データキット



Now Assist SDK

Now Assist SDKを使用してカスタムスキルを作成します。これらのカスタムスキルにより、 Now Assist 環境での柔軟性が高まります。

のユーザージャーニー **Now Assist SDK**



AI ガバナンス

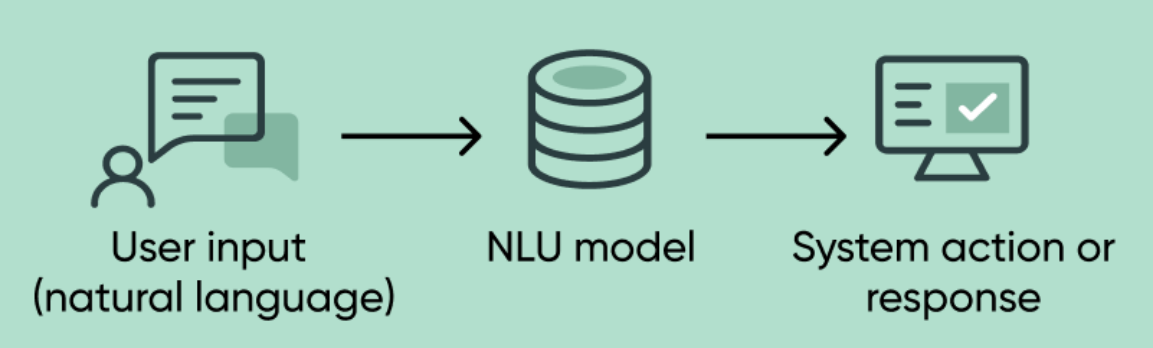
AI ガバナンス は、組織が Now Platform上の AI 資産を監視、管理、統制するのに役立ちます。AI ガバナンスフレームワークは、AI システムの開発、使用、および展開を導く一連の原則、プラクティス、およびプロトコルです。AI ガバナンスフレームワークは、組織が独自の責任ある AI の原則に準拠した AI を提供するのに役立ちます。

自然言語理解 (NLU)

自然言語理解 (NLU)を使用して、ユーザーが自然に表現された言語でシステムと通信できるようにします。NLUを使用すると、サポートされている 17 の言語で人間の言語入力に応答してシステムがインテリジェントなアクションを実行できます。提供されているビルド済みモデルから開始してさらに拡張するか、独自のモデルを最初からビルドします。

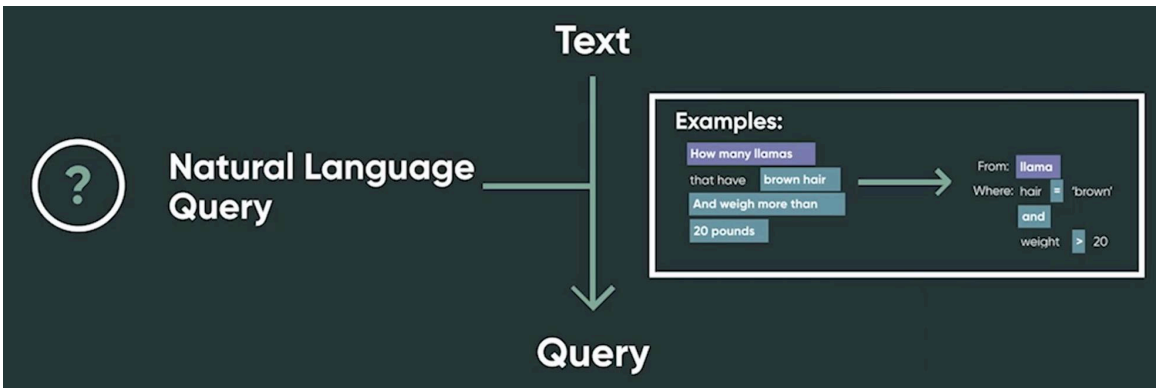
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



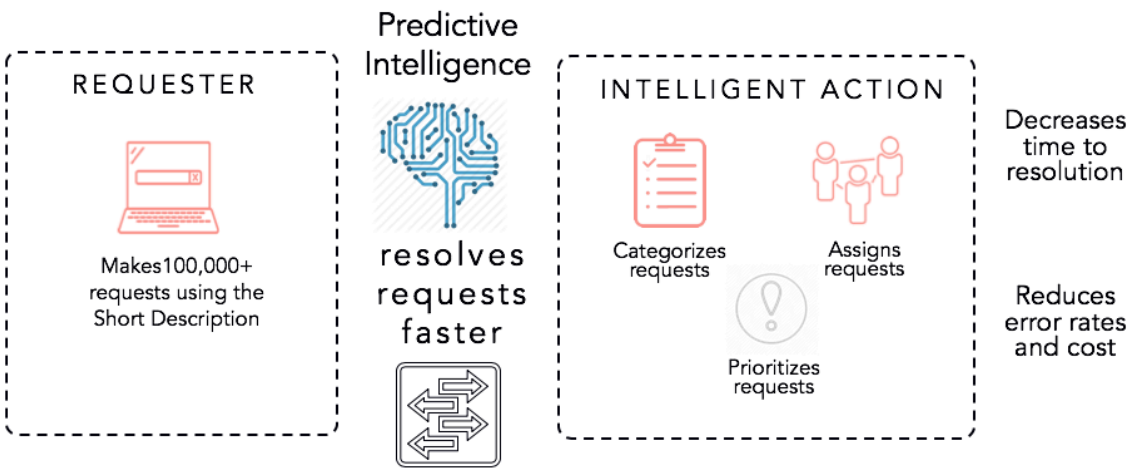
自然言語クエリー

自然言語クエリー (NLQ) を使用して、自然言語の質問を正式なデータベースクエリに変換します。サポートされている言語 (アメリカ英語、フランス語、フランス語、カナダフランス語、ドイツ語、日本語、スペイン語) のプレイン言語の要求を使用して、インスタンスからデータを取得します。NLQ は、アナリティクス、レポート、CMDB など、他のいくつかのアプリケーションや機能によって使用されます (CMDB でサポートされている言語は英語のみです)。



予測インテリジェンス

予測インテリジェンスワークベンチを使用して要求を迅速に解決するようにシステムをトレーニングします。すべての NLQ 言語と、オランダ語、イタリア語、ポルトガル語 (ブラジル) をサポートする 4 つの個別の機械学習フレームワークがあります。これらのフレームワークは、AI がさまざまなビジネス上の課題に対処するのに役立ちます。タスク処理時間、インタラクション、エラー数の削減、類似したレコード間で共有される問題の解決、パターンの検出とレコードの集合的な対処、回帰分析に基づく数値出力の予測、その他いくつかの ML ソリューションのトレーニングを行います。

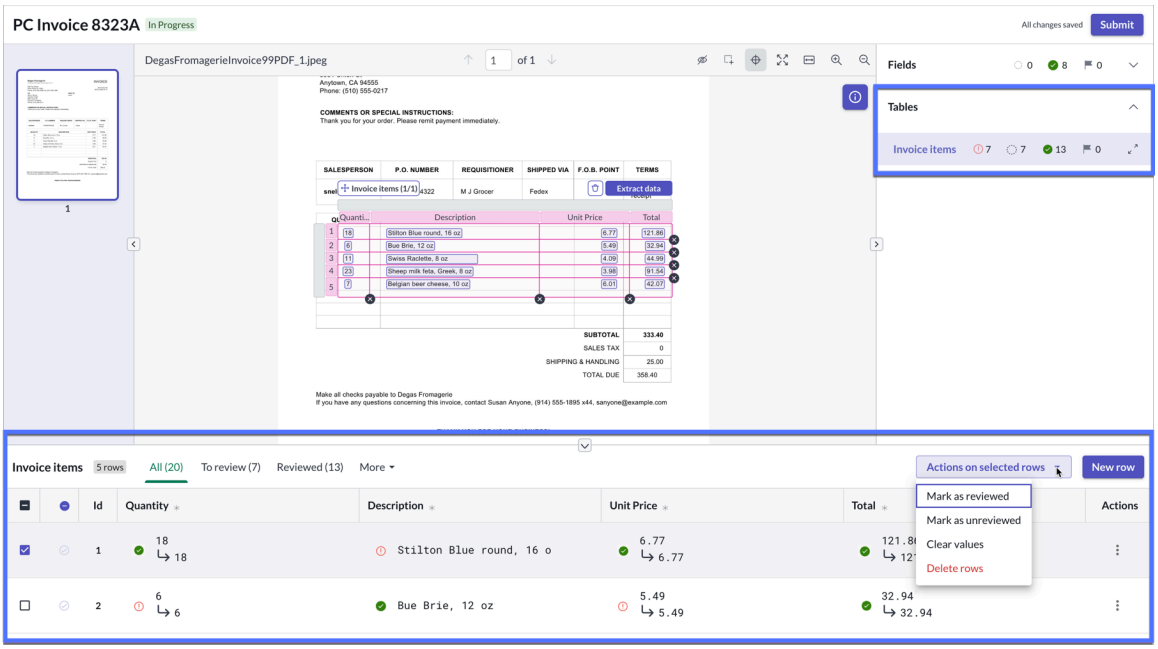


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

レコードから明確で簡潔なデータをすばやく取得し、最も必要な場所に統合します。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、さまざまな一般的な形式の単一または複数ページのドキュメントを処理できます。このツールは、光学式文字認識 (OCR) と継続的な学習 AI を使用して、テキストとデータを識別して抽出します。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はノーコードベースで動作するため、データのセットアップ、使用、およびワークフローへのデータの統合が容易になります。

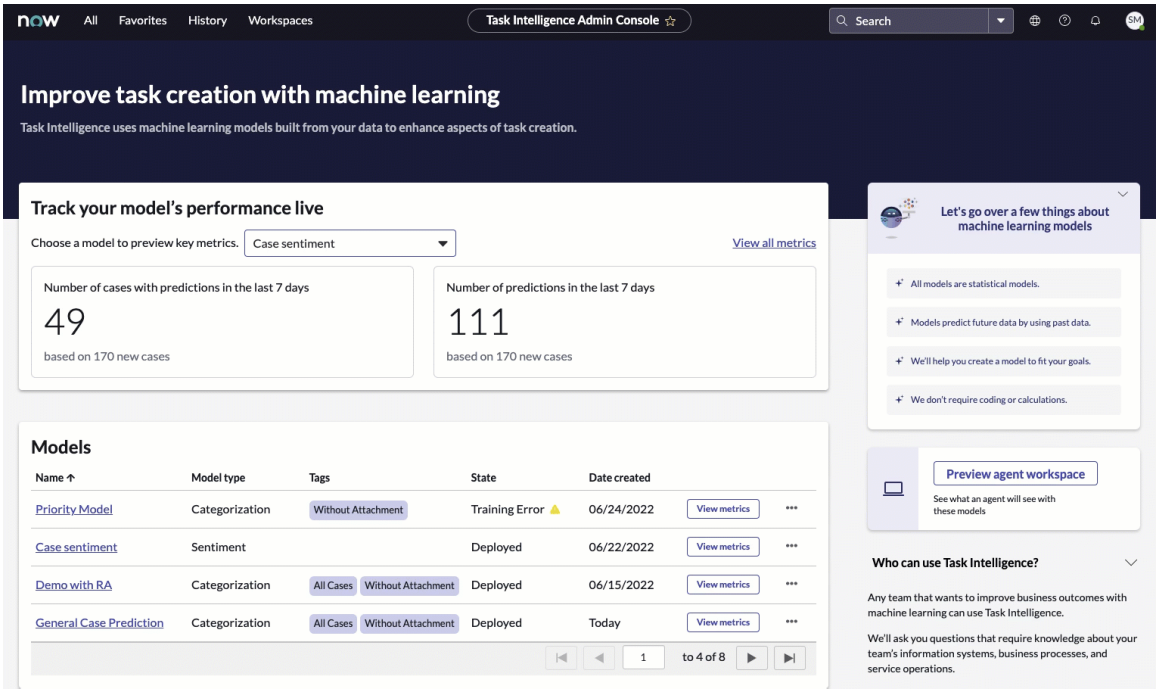


ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistを使用して、ドキュメントに関する情報を抽出し、質問に対する回答を見つけることができます。

タスクインテリジェンス

タスクインテリジェンスを使用して、エージェントの応答とタスク解決時間を短縮します。このツールを使用すると、データを処理し、それらのソリューションの有効性を追跡する ML ソリューションをエンジニアリングできます。アドミンコンソールで機械学習モデルをビルド、トレーニング、編集、再トレーニングし、 Now Platform全体で使用するためにエクスポートします。アナリティクスダッシュボードでフォローアップし、モデルのパフォーマンスとビジネスへの影響を追跡し、将来の再利用に最適な予測を判断できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーションと機能

- 自然言語理解 (NLU)
- Natural Language Query (NLQ) (自然言語クエリ (NLQ))
- Predictive Intelligence (予測インテリジェンス)
- タスクインテリジェンス
- Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))

Now Assist

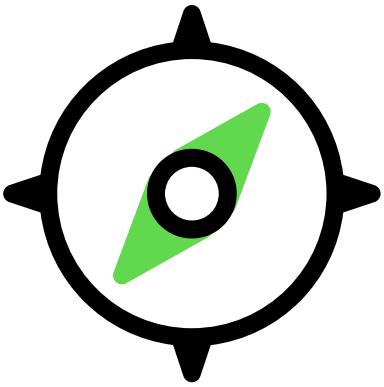
ServiceNow® Now Assist は、会話とプロアクティブなエクスペリエンスを通じてユーザーの生産性と効率性を向上させるために設計された生成 AI を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

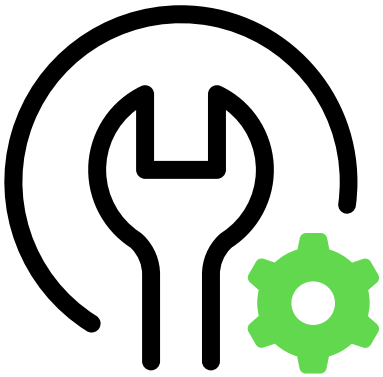
始めましょう

探索



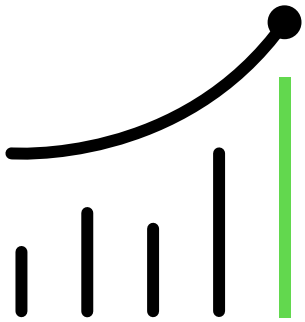
Now PlatformのNow Assistの詳細をご覧ください。

構成



生成人工知能 (AI) の機能とスキルを探索、構成、使用、分析します。

分析



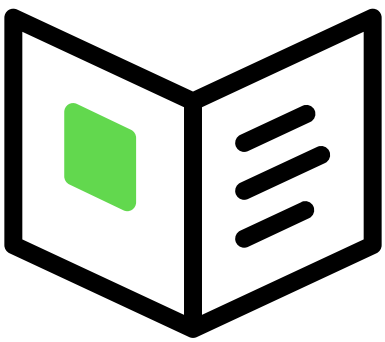
Now Assistパフォーマンスを分析および監視します。

Now LLM サービス モデルの更新



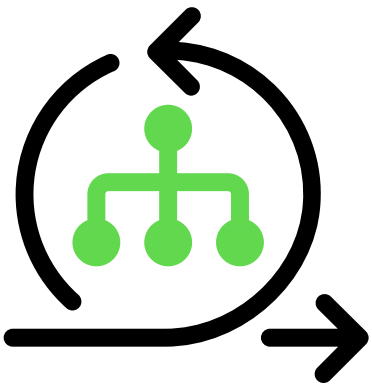
Now LLM サービスモデルについて説明します。

参照



Now Assist のユーザーロール、データ使用ポリシー、およびドメインセパレーションについて説明します。

生成 AI コントローラー



生成 AI コントローラーを使用してNow Platformの生成 AI エクスペリエンスをカスタマイズします。

自動翻訳

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 製品とスキル

Now Assistフレームワークは、Now Platform全体でサポートされています。Now Assistスキルを使用するには、次の 1 つ以上のNow Assist製品をアクティブ化します。

Now Assist プロダクツ

ワークフロー	事業領域	利用可能な製品
テクノロジー	テクノロジーワークフローには IT Services and Operations (IT サービスおよび運用) などの IT アプリケーションが含まれ、製品やサービス、およびプラットフォームセキュリティを提供するための戦略を管理します。	• CMDB 向け Now Assist • エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist • 統合リスク管理 (IRM) 向け Now Assist • IT Operations Management の Now Assist • IT Service Management の Now Assist • セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist • サービスグラフコネクタ (SGC) 向け Now Assist • ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist • 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist
カスタマー	顧客ワークフローには、フィールドサービス、金融サービス、通信およびメディア、公共サービス部門などのカスタマーサービスをサポートするアプリケーションが含まれています。	• CSM の Now Assist • フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist • FSO の Now Assist • 公共機関デジタルサービス (PSDS) 向け Now Assist • 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
従業員	従業員ワークフローは HR サービスデリバリ (HRSD) 機能をサポートしています。	• 衛生安全向け Now Assist • HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist • 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist • ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 向け Now Assist

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist プロダクツ (続く)

ワークフロー	事業領域	利用可能な製品
作成者	Creator ワークフローは、次のようなさまざまな Platform ツールとビルダーをサポートしています。 • App Engine Studio • Now Platform スクリプト • プラットフォームアナリティクス • サービスカタログ • ワークフロースタジオ • RPA ハブ • プロセス最適化	Now Assist for Creator
ファイナンスとサプライチェーン	ファイナンスとサプライチェーンのワークフローは、購買要求、調達要求、および製品またはサービスの要求をサポートします。	• 買掛金オペレーション (APO) 向け Now Assist • サプライヤーライフサイクルオペレーション (SLO) 向け Now Assist • ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist

Now Assistスキルとそのワークフローの完全なリストについては、「Now Assist スキル」を参照してください。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

Now Assist の探索

Now Assist が生成 AI 機能をNow Platformにもたらす方法をご覧ください。Now Assistを使用すると、組織の生産性と効率を向上させ、より優れたセルフサービスを提供し、アクションを推奨して回答を提供し、ユーザーがより効果的に検索できるようにします。

Now Assistの概要

Now Assist は、大規模言語モデル (LLM) が実行できるタスクである生成 AI 機能の、成長中のクロスプラットフォームファミリーです。生成 AI 機能は、初期トレーニングとアーキテクチャに基づいています。

スキルは、機能とユースケースをユーザーに提供します。スキルの例としては、顧客ワークスペース内の チャットの要約 があります。 Now Assist 製品は、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たすように調整された機能とスキルを提供します。

Now Assist フレームワーク

Now Assistフレームワークは、Now Platform全体でサポートされています。Now Assistスキルを使用するには、次の 1 つ以上のNow Assist製品をアクティブ化します。

Now Assist プロダクツ

ワークフロー	事業領域	利用可能な製品
テクノロジー	テクノロジーワークフローには IT Services and Operations (IT サービスおよび運用) などの IT アプリケーションが含まれ、製品やサービス、およびプラットフォームセキュリティを提供するための戦略を管理します。	• CMDB 向け Now Assist • エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist • 統合リスク管理 (IRM) 向け Now Assist • IT Operations Management の Now Assist • IT Service Management の Now Assist • セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist • サービスグラフコネクタ (SGC) 向け Now Assist • ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist • 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist プロダクツ (続く)

ワークフロー	事業領域	利用可能な製品
カスタマー	顧客ワークフローには、フィールドサービス、金融サービス、通信およびメディア、公共サービス部門などのカスタマーサービスをサポートするアプリケーションが含まれています。	• CSM の Now Assist • フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist • FSO の Now Assist • 公共機関デジタルサービス (PSDS) 向け Now Assist • 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
従業員	従業員ワークフローは HR サービスデリバリ (HRSD) 機能をサポートしています。	• 衛生安全向け Now Assist • HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist • 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist • ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 向け Now Assist
作成者	Creator ワークフローは、次のようなさまざまな Platform ツールとビルダーをサポートしています。 • App Engine Studio • Now Platform スクリプト • プラットフォームアナリティクス • サービスカタログ • ワークフロースタジオ • RPA ハブ • プロセス最適化	Now Assist for Creator
ファイナンスとサプライチェーン	ファイナンスとサプライチェーンのワークフローは、購買要求、調達要求、および製品またはサービスの要求をサポートします。	• 買掛金オペレーション (APO) 向け Now Assist • サプライヤーライフサイクルオペレーション (SLO) 向け Now Assist • ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist

Now Assist 製品には、次の Now Assist 用の基本プラットフォームツールの一部またはすべてが含まれています。詳細については、「Now Assist プラットフォームワークフローのスキル」を参照してください。

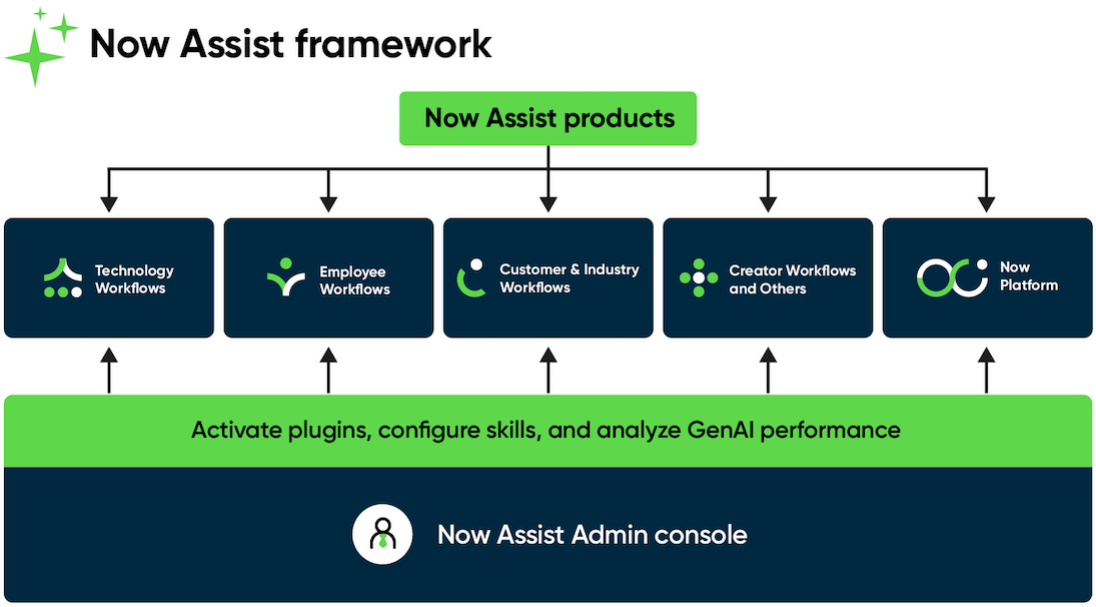
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- アドミニストレーターは、 Now Assist アドミン コンソールを使用してプラグインのインストール、スキルの管理、使用状況とパフォーマンスの分析を行います。
- ユーザーは、インスタンスのNow Assist パネルを使用して、Now Assistスキルを活用できます。
- AI 検索での Now Assist を使用して、AI 検索の回答を生成します。
- モバイル向け Now Assist を使用して、モバイル環境で生成 AI スキルを実行します。
- 仮想エージェントの Now Assist を使用して会話型カタログエクスペリエンスを作成し、LLM トピックディスカバリーを使用するトピックを作成します。
- 開発者は、この 生成 AI コントローラー を使用して、独自のサードパーティの大規模言語モデル (LLM) ライセンスを使用して、カスタムフローや会話に生成 AI 機能を統合できます。

次の図は、 Now Assist フレームワークで使用できる機能を示しています。

Now Assist フレームワーク



Now Assist のメリット

メリット	機能	ユーザー
Now LLM 生成 AI モデルによる検索機能を活用し、AI が生成した関連ナレッジ記事の実用的なサマリーを使用して、ユーザー検索の質問に答えます。	AI 検索での Now Assist	全員
Now Assistアプリケーションとそれらが提供するスキルをインストールして構成します。	Now Assist アドミンコンソール	管理者
オンにするスキルと、そのスキルにアクセスできるユーザーを選択します。	Now Assist アドミンコンソール	管理者
Now Assist で提供される生成 AI 機能の使用状況とパフォーマンスを監視します。	Now Assist アナリティクス	管理者
分かりやすいインターフェイスを介してコンテキスト内の生成 AI スキルにアクセスします。	Now Assist パネル	全員

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
モバイルデバイスで Now Assist スキルを使用します。	モバイル向け Now Assist	全員
ワークフローをカスタマイズし、独自のサードパーティ LLM ライセンスを使用します。	生成 AI コントローラー	アドミニストレーターまたは開発者
他のプラットフォーム機能で Now Assist を使用します。	Now Assist プラットフォームワークフローのスキル	アドミニストレーターまたは開発者
インスタンスの Now Assist 消費を監視します。	サブスクリプション管理 での Now Assist 使用状況のモニタリング	管理者

Now Assist アドミン コンソール

Now Assist アドミン コンソールを使用すると、Now Assistアプリケーションと機能の設定、構成、監視に必要な重要な情報にすばやく簡単にアクセスできます。

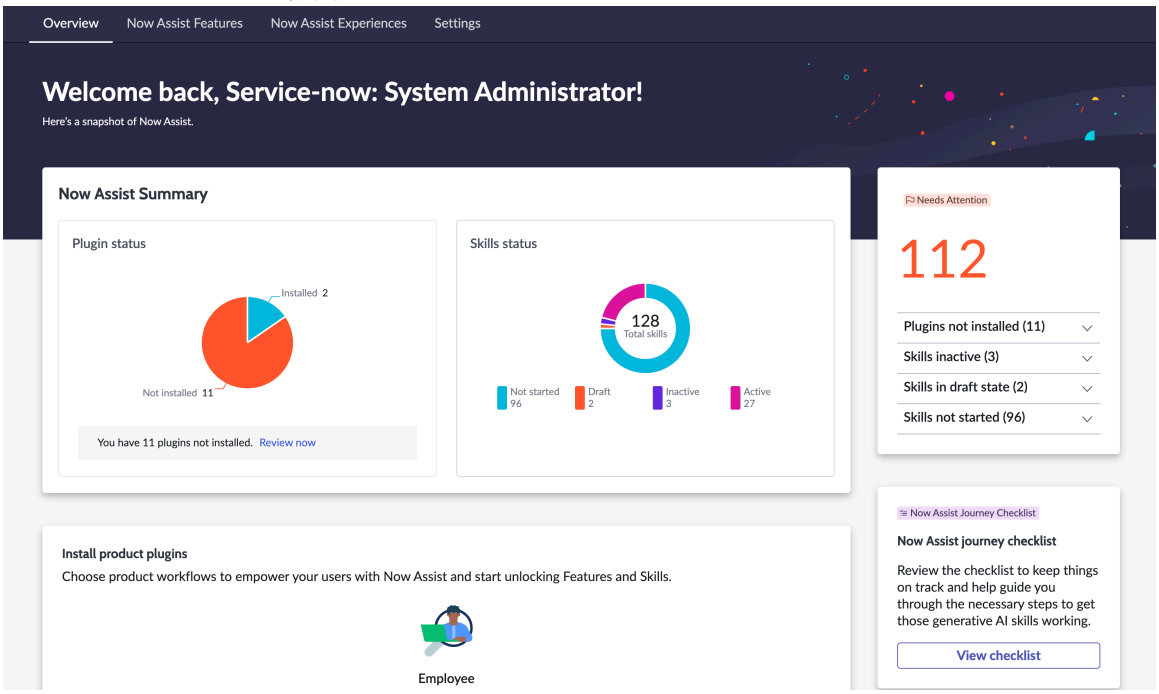
Now Assistの紹介アドミンコンソール。

Now Assist アドミンの概要

Now Assist アドミンコンソールでNow Assist機能とスキルの探索を開始します。このコンソールには、 Now Platform のさまざまな生成 AI 機能のインストール、構成、および学習に必要なものがすべて含まれています。

次の例は、 Now Assist アドミン の概要ページを示しています。

Now Assist アドミン の概要ページ



Now Assist アドミン のワークフロー

5 つのステップを実行して、 Now Assist アドミン コンソールの使用を開始します。

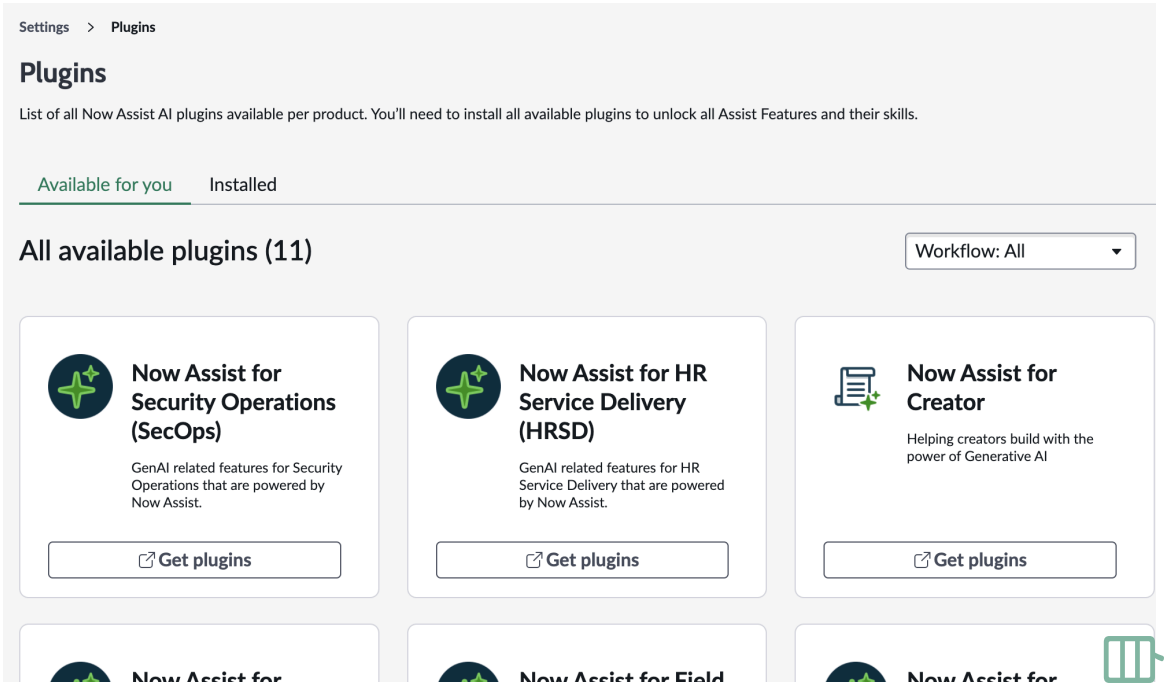
1. プラグインをインストールします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[設定] ページの [利用可能] タブで、利用可能なプラグインを確認し、ビジネスニーズに関連するプラグインをインストールできます。各プラグインには、インスタンスで生成 AI 機能を有効にするためにアクティブ化できるスキルが含まれています。次の図は、[利用可能] タブを示しています。

[Now Assist アドミン 設定] > [プラグイン] ページの [利用可能] タブ



2. (オプション) Now Assist パネルをオンにします。

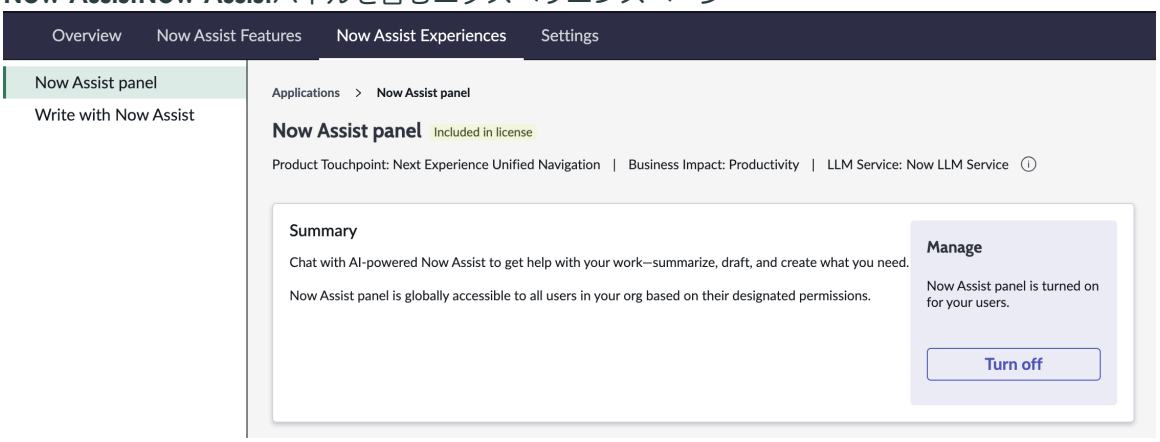
Now Assistパネルは、Now Assistスキルをネクストエクスペリエンス UI に統合します。Now Assist アドミンコンソールから直接Now Assistパネルをオンにすると、エージェントはNow Platform上のどこからでもスキルにアクセスできます。

Now Assistパネルの詳細については、次を参照してください。 Now Assist パネルの概要.

スキルは製品内のコア UI とワークスペースにも表示される可能性があるため、この手順はオプションです。

Now Assistパネルは、管理コンソールの [Now Assistエクスペリエンス] ページからオンにできます。

Now AssistNow Assistパネルを含むエクスペリエンスページ

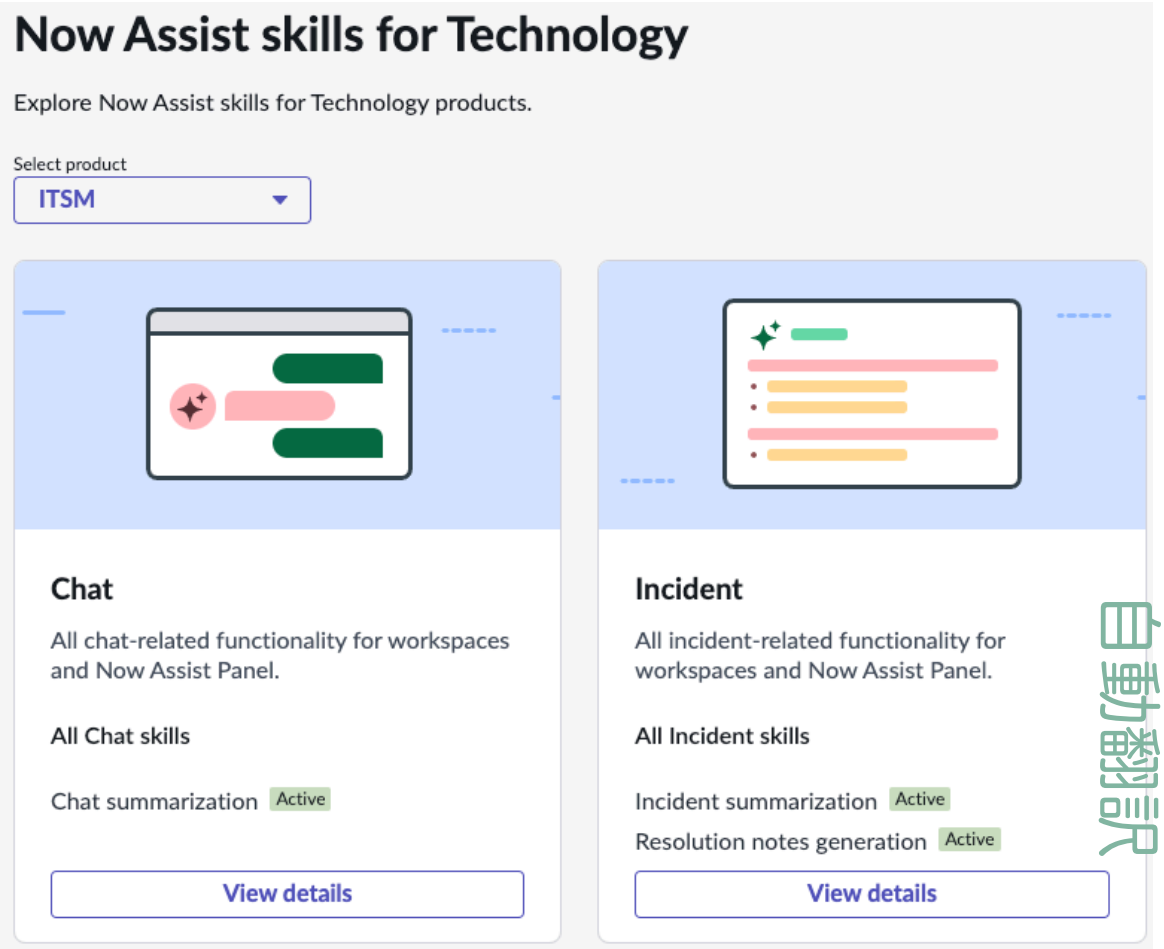


3. スキルをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキルは、 Now Assist アプリケーションの特定のユースケース用に作成された機能です。[Now Assist アドミン 機能] ページを使用して、インストールしたプラグインで使用できるスキルを確認します。[詳細を表示] ボタンを選択すると、各スキルに関する詳細情報を表示できます。次の図は、テクノロジーワークフローで利用可能な機能とスキルを示しています。

テクノロジーワークフローで利用可能な **Now Assist** 機能とスキル



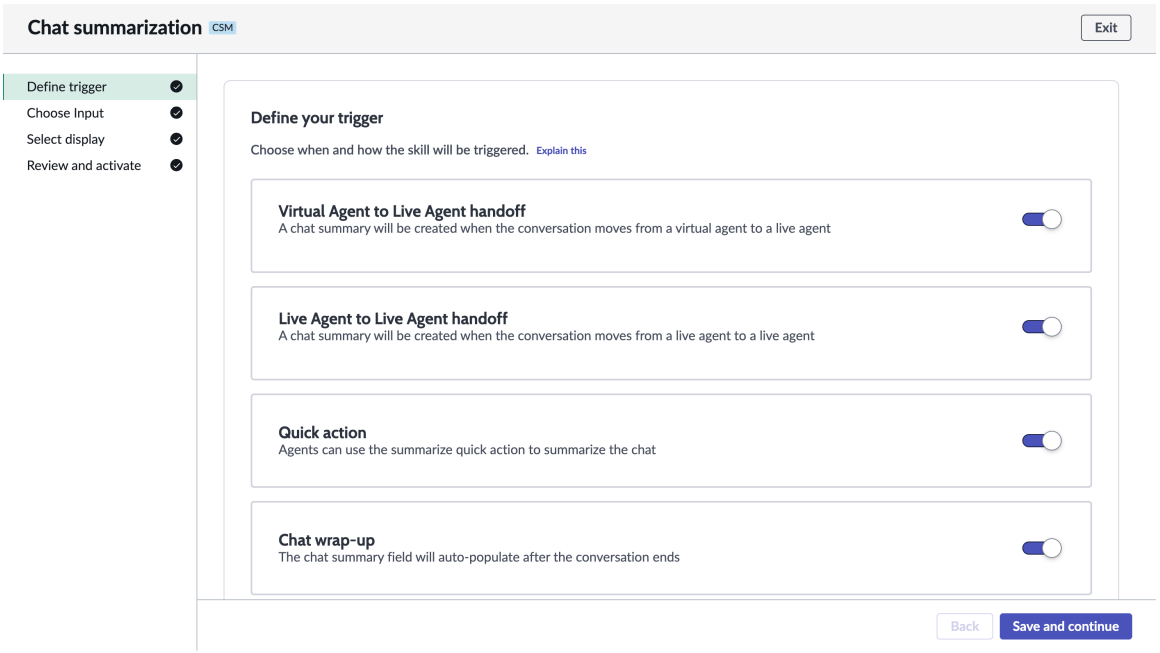
ビジネスニーズに最適なスキルを決定したら、コンソールからアクティブ化できます。一部のスキルでは、スキルの入力やトリガーの決定など、ニーズに合わせてスキルをカスタマイズできるように構成が必要です。[Now Assist アドミン 機能] ページで構成するスキルを選択できます。

次の例は、スキルを表示する場所を選択する、スキルアクティブ化プロセスのガイド付きセットアップのステップを示しています。スキルは、コア UI やワークスペースなどの製品内、または Now Assist パネルに表示できます。いずれかまたは両方の場所を選択できます。次の図は、 Now Assist アドミン でのチャット要約のアクティブ化プロセスを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

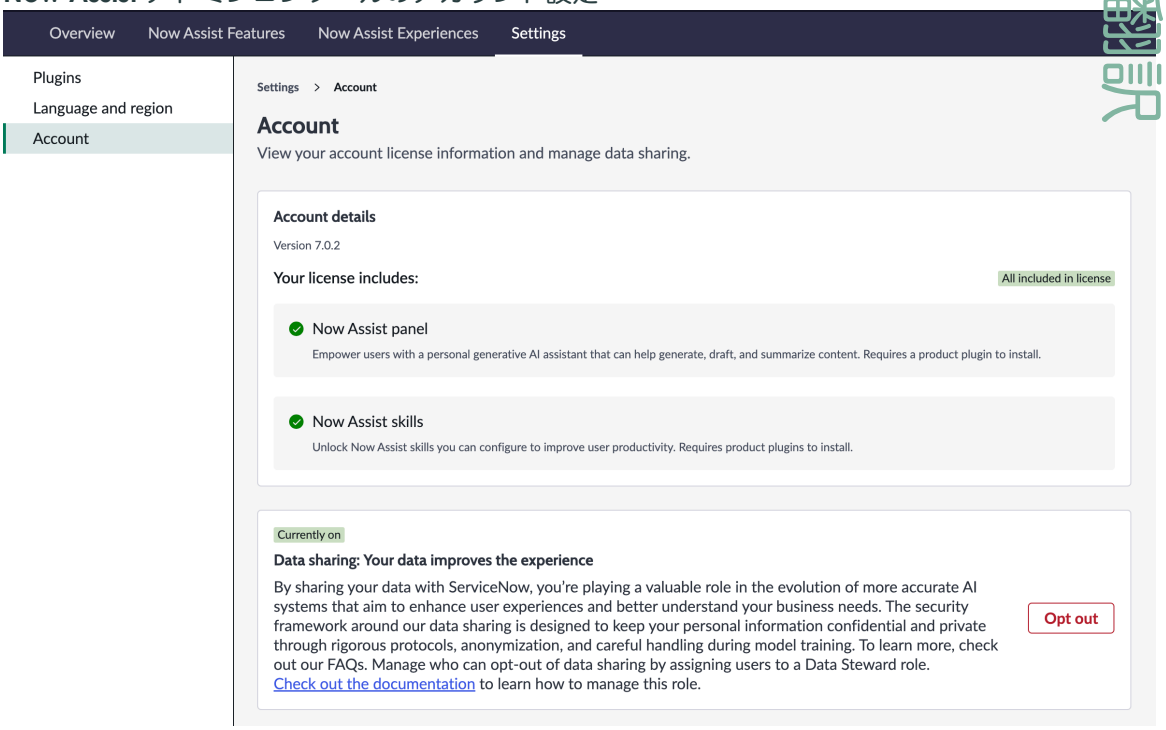
でのチャットの要約のアクティブ化 **Now Assist** アドミン



4. Now Assist アカウントの設定を確認します。

Now Assistアドミンコンソールの [設定] ページでは、言語サポートを設定したり、インスタンスで動的翻訳を有効にしたり、アカウントの詳細を確認したりできます。利用可能なプラグインとインスタンスでのデータ共有のステータスに関する最新情報を取得します。

Now Assist アドミンコンソールのアカウント設定

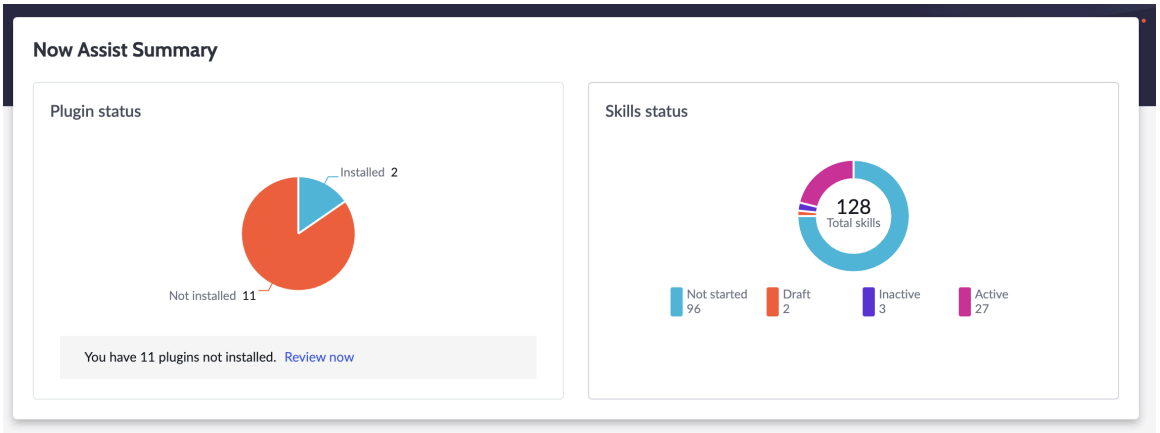


5. スキルのパフォーマンスを監視および分析します。

[概要] ページで利用可能なメトリクスを使用して、注意が必要なサマリー、パフォーマンス情報、および問題をレビューします。次の例は、現在のプラグインステータスとアクティブなスキルの数を示しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

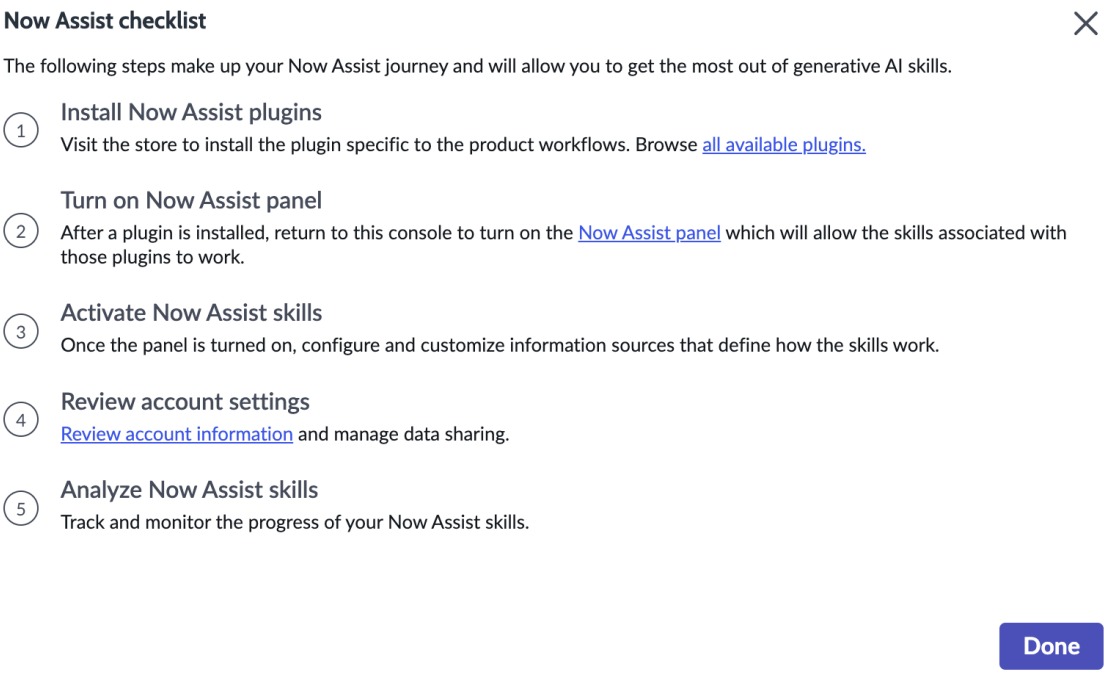
Now Assist アドミン の概要ページのプラグインとスキルのステータス



Now Assist アドミン コンソールには、**Now Assist** ジャーニーチェックリストと、インスタンスにNow Assistを実装するための追加の手順が含まれています。

Now Assist ジャーニーのチェックリスト

Now Assist アドミンコンソールの [概要] ページからいつでも次のチェックリストを参照して、Now Assistアプリケーション、機能、スキルの実装をガイドできます。



自動翻訳

Now Assistジャーニーの詳細

- の概要を把握する the Now Assist フレームワーク.
- 検出 Now Assist パネル.
- 探索 Now Assist スキル 用意されています
- のアクティブ化と構成 Now Assist スキル Now Assist アドミンコンソールを使用する。
- スキルの使用状況とパフォーマンスを分析および監視 Now Assistします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist パネル

Now Assistパネルを使用すると、生成 AI エクスペリエンスから支援を受けて、顧客の問題をより迅速に解決できます。この対話型インターフェイスを使用して、チャット、ケース、またはインシデントを要約したり、ヘルプを取得したり、解決メモを生成したりすることで、この情報のコンテキストをより迅速に取得できます。

注: ネクストエクスペリエンスNow Assistパネルを使用するには、有効にする必要があります。詳細については、「アクティブ化に関する考慮事項 ネクストエクスペリエンス」を参照してください。

Now Assist概要

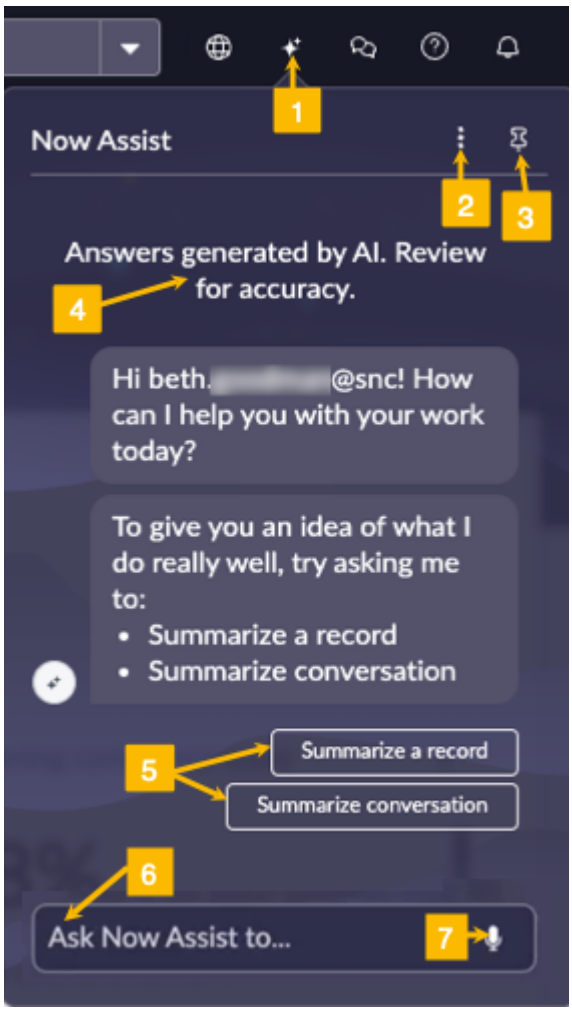
エージェントは Now Assist パネルを使用して、生成 AI とやり取りし、そこから支援を受けることができます。Now Assistパネルでは、生成 AI エクスペリエンスを使用してチャット、ケース、インシデントを要約したり、解決メモを生成したりすることで、生産性と効率を向上させることができます。

スキル検出などの Now Assist パネルの会話面は、 Now LLM サービスを利用しています。

注: Now Assist スキルを Now Assist パネルに表示するには有効にする必要があります。詳細については、「Now Assist スキル」を参照してください。

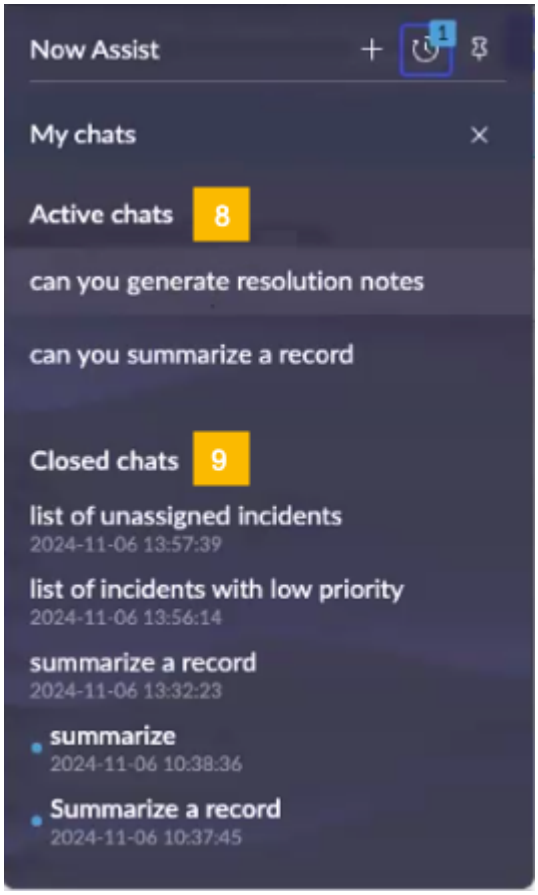
Now Assist アイコン ✨を選択して Now Assist パネルを表示してみましょう。

Now Assist パネル



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Now Assistパネルには次のものが含まれます。

アイテム番号	説明
1 -	Now Assist アイコン Now Assistパネルを表示します。 正方形の数字が表示されている場合は、 Now Assist パネルを閉じたときに見逃したメッセージの数を示しています。
2 -	リセットアイコン Now Assistが何を望んでいるのか理解できず、会話を再開する場合は、[リセット] アイコンを選択します。会話をリセットすると、既存のメッセージが削除され、新しい会話が開始されます。会話をリセットすると、以前のメッセージにアクセスできなくなります。
3 -	プッシュピンアイコン Now Assistパネルを画面に固定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイテム番号	説明
4 - Now Assist メッセージ	回答が AI によって生成されたことを示します。
5 - オプションボタン	オプションボタン
6:Now Assist に質問します.....畑	ユーザーがアクションを入力できるフィールド。
7 - 音声入力	音声入力がアクティブになっている場合は、マイクアイコンまたはキーボードショートカットを選択して、音声を使用してNow Assistパネルを操作します。発言後、システムがテキストを書き起こして画面に表示している間、一時停止します。音声入力を有効にする方法については、Now Assistパネルの音声入力を有効にするを参照してください。MicrosoftおよびmacOSのNow Assistメニュー(音声入力モード)のショートカットについては、ネクストエクスペリエンス のキーボードショートカット を参照してください。
8:アクティブなチャット	すべてのアクティブなチャットが [アクティブなチャット] セクションに表示されます。 Now Assistの [アクティブなチャット] セクション。見出しの [+] アイコンを選択すると、追加のチャットを作成できます。
9:クローズされたチャット	クローズされたすべてのチャットを表示します。クローズされたチャットのいずれかを選択すると、そのチャットの履歴を表示できます。

Now Assist は、 ネクストエクスペリエンス と コア UI の両方で利用できます。次のスクリーンショットは、ネクストエクスペリエンス画面とコア UI画面の [Now Assist] パネルを示しています。

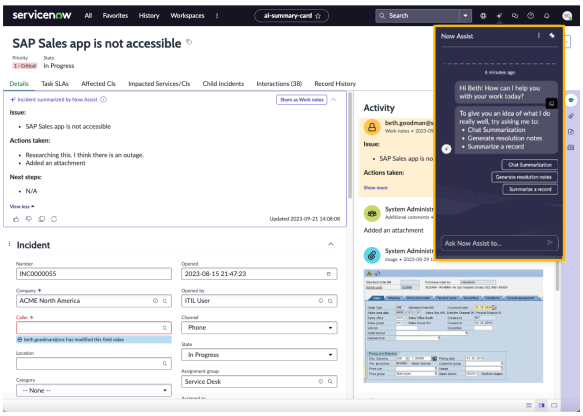
Now Assist パネル

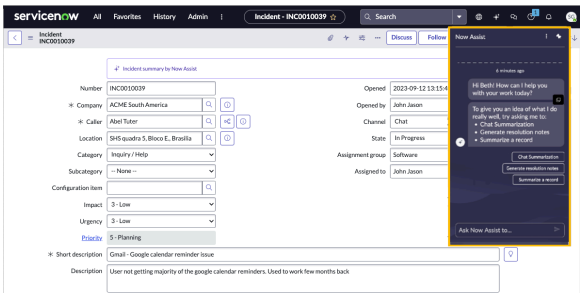
ネクストエクスペリエンス	コア UI

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist パネル (続く)





Now Assist何を望んでいるのか理解できず、会話を再開する場合は、Now Assistパネルからリセットアイコン [⋮] を選択します。会話をリセットすると、既存のメッセージが削除され、新しい会話が開始されます。会話をリセットすると、以前のメッセージにアクセスできなくなります。

Now Assistパネルからの移動

[**Now Assist** に質問する... **(Ask Now Assist to...)**] フィールドにナビゲーション要求を入力すると、現在の会話を離れることなく [Now Assist] パネルから移動できます。「アクティブなインシデントに移動」と入力すると、アクティブなインシデントを表示できるボタンが表示されます Now Assist 。

チャットの要約

チャットの要約を読んで、チャットの詳細をすばやく学習します。チャットの要約ではチャットに関する十分な詳細が提供されるため、要求者が同じ情報を繰り返す必要がありません。

Now Assistパネルからチャットの要約を生成するには、[チャットの要約] を選択するか、[**Now Assist** に質問する] フィールドフィールドに「チャットの要約」と入力します。

> **注:** エージェントチャット の `/summarize` クイックアクションを使用して、チャットの要約を生成することもできます。

チャットの要約の詳細については、「 チャットの要約」を参照してください。

ケースまたはインシデントの要約

ケースの要約を読むことで、ケースまたはインシデントの詳細をすばやく把握できます。要約によりインタラクションに関する十分な詳細が提供されるため、要求者が同じ情報を繰り返す必要がありません。

ケースまたはインシデントの要約は、CSM の Now Assist、HRSD 向け Now Assist、または ITSM の Now AssistNow Assistパネルから生成できます。

- [CSM の Now Assist] で、[レコードの要約を作成] を選択するか、[**Now Assist** に質問する] フィールドに「レコードの要約」と入力します。
- [HRSD 向け Now Assist] で、[レコードの要約を作成] を選択するか、[**Now Assist** に質問する] フィールドに「レコードの要約」と入力します。
- [ITSM の Now Assist] で、[インシデントの要約を作成] を選択するか、[**Now Assist** に質問する **(Ask Now Assist to)**] フィールドに「インシデントの要約」と入力します。

ケースまたはインシデントの要約の詳細については、「 レコードの要約」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

会話ヘルプ

Now Assistパネルの [ヘルプスキルを取得] オプションを使用して、クエリに対する具体的で正確な回答を取得します。このスキルは、 Now Assist 機能の資格を持つすべてのユーザーが利用できます。

Now AssistパネルNow Assistヘルプとして表示される会話ヘルプスキルの詳細については、「Now Assist 会話ヘルプ」を参照してください。

解決メモ生成

解決メモを生成して読むことで、インタラクションがどのように解決されたかの詳細をすばやく学習します。

Now Assistパネルから解決メモを生成するには、[解決メモを生成] を選択するか、[**Now Assist** に質問する宛先] フィールドに「解決メモの生成」と入力します。

解決メモの生成の詳細については、「 解決メモ生成」を参照してください。

Now Assist コンテキストメニュー

Now Assistコンテキストメニューでは、生成 AI を使用して、エージェントが書かれたコンテンツを要約、作成、編集し、作成タスクを簡素化します。

エージェントは、メールやチャットの返信など、さまざまなタイプのコンテンツを作成します。Now Assistコンテキストメニューは、生成 AI を使用して、エージェントがメールとチャットの返信を要約、作成、編集するのを支援します。エージェントは、AI で生成されたコンテンツをプレビューし、以前に作成されたコンテンツをスクロールして、AI を使用してテキストを絞り込むことができます。Now Assistコンテキストメニューは、Now Assistコンテキストメニューが有効になっているServiceNowワークスペース内の任意のアプリケーションまたはフィールドからトリガーできます。

Now Assistコンテキストメニューは、生成 AI のパワーを解き放ち、次のネクストエクスペリエンスで利用できます。

- カスタマーサービス管理 (CSM) (CSM)
- ヒューマンリソース (HR)
- IT Service Management (ITSM)
- 戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) (SPM)
- IT Operations Management (ITOM) (ITOM)

Now Assistコンテキストメニューはコア UIでは使用できません。

Now Assistコンテキストメニューの使用

Now Assistコンテキストメニューは、フローティングNow Assistボタン ( ) が表示される任意のフィールドで使用できます。フィールドに入力し始めると、利用可能な Now Assist コンテキストメニューアクションを含むメニューが表示されます。Now Assistコンテキストメニューは、既存のドキュメントの要約、作成、または変更に役立ちます。

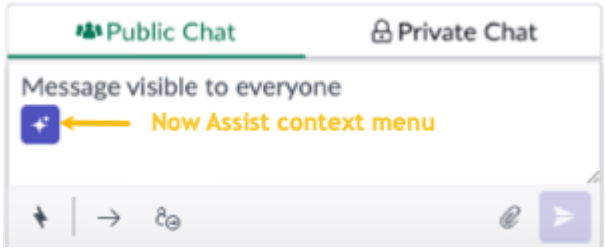
Now Assistコンテキストメニューを使用したチャットウィンドウ

エージェントチャットでユーザーとやり取りするときは、Now Assistコンテキストメニューを使用できます。

テキストの生成に時間がかかりすぎる場合、または Now LLM サービス が利用できない場合は、エラーメッセージが表示されます。

自動翻訳

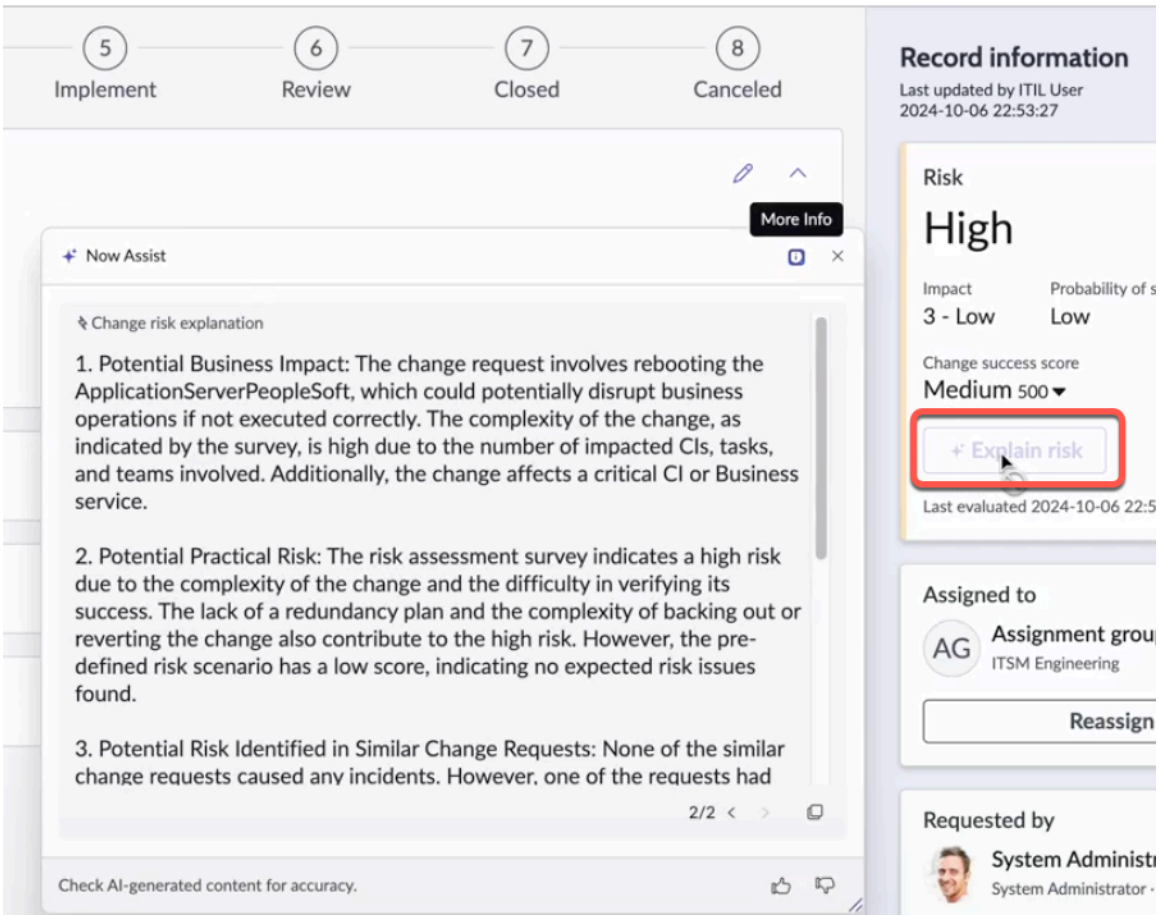
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Now Assistコンテキストメニューを使用した変更要求のリスクの説明

Now Assistコンテキストメニューを使用すると、アセスメントと計算の後にワークスペースと UI16 で変更要求のリスクの説明を使用できます。

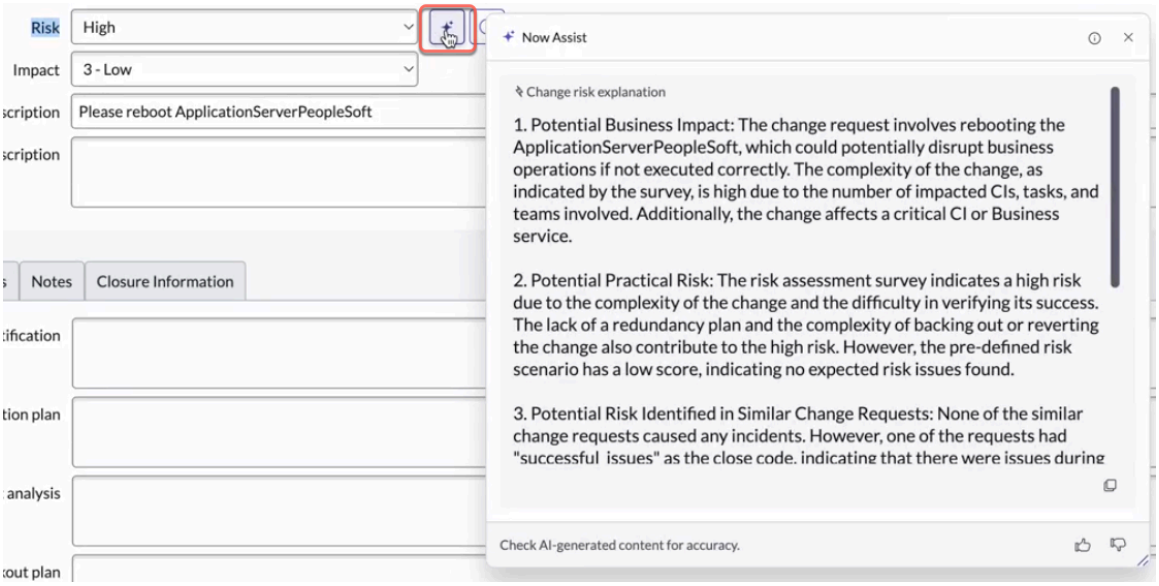
リスクが評価されて計算されると、[リスクを説明 **(Explain risk**)] ボタンに Now Assist [レコード情報] セクションのダイアログボックスにリスクの説明が表示されます。



リスクが評価されて計算されると、UI16 の [リスク] フィールドに対して [Now Assist が表示され、リスクの説明がダイアログボックスに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: ダイアログボックスに表示されるリスクの説明は、変更要求フォームで評価および計算されます。

リスクアセスメントと計算の詳細については、「リスクアセスメント」を参照してください。

Now Assistコンテンツメニューを使用したナレッジベース記事のコンテンツ編集

Now Assistコンテキストメニューを使用すると、ナレッジベース作成のための生成 AI 支援コンテンツ編集機能を有効にし、ワークスペースと UI16 で解決メモを提供できます。

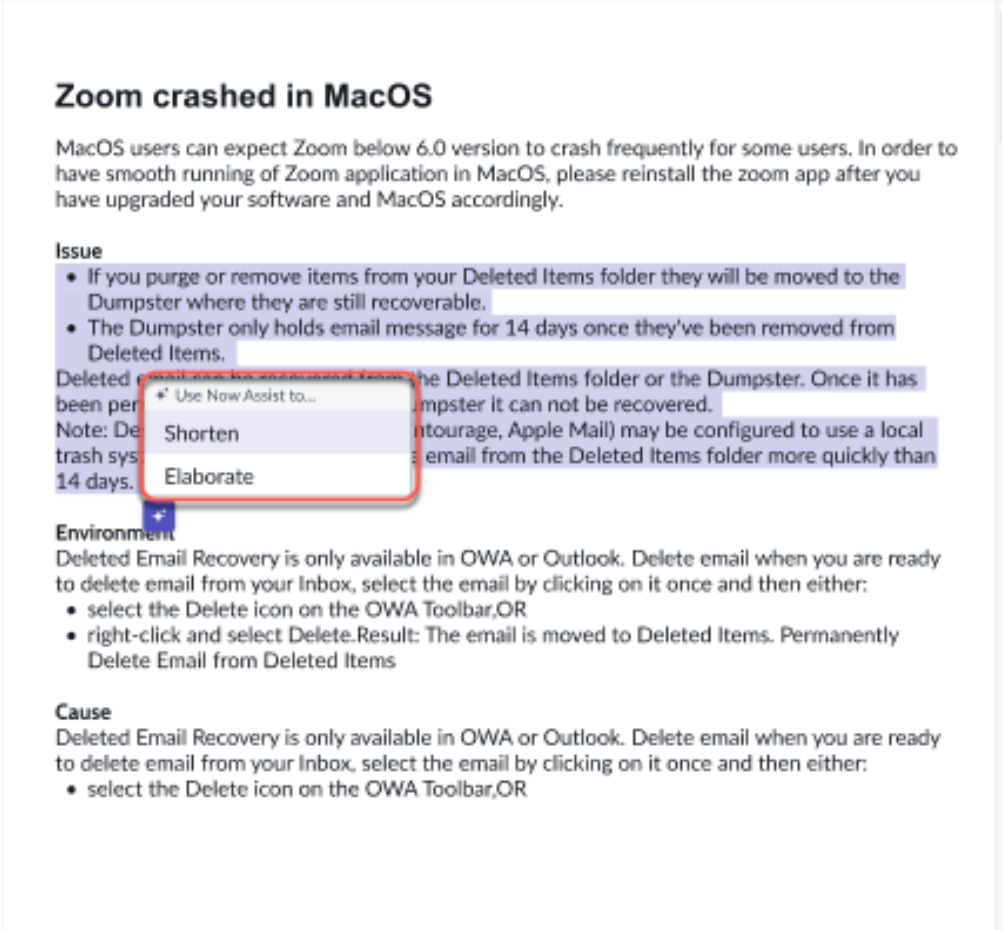
ナレッジ記事を開いてそのコンテンツを選択すると、Now Assist アイコンがポップアップし、マウスデバイスと一緒に表示されます。

Now Assistアイコンにカーソルを合わせると、コンテンツの編集に役立つ次のメニューオプションが表示されます。

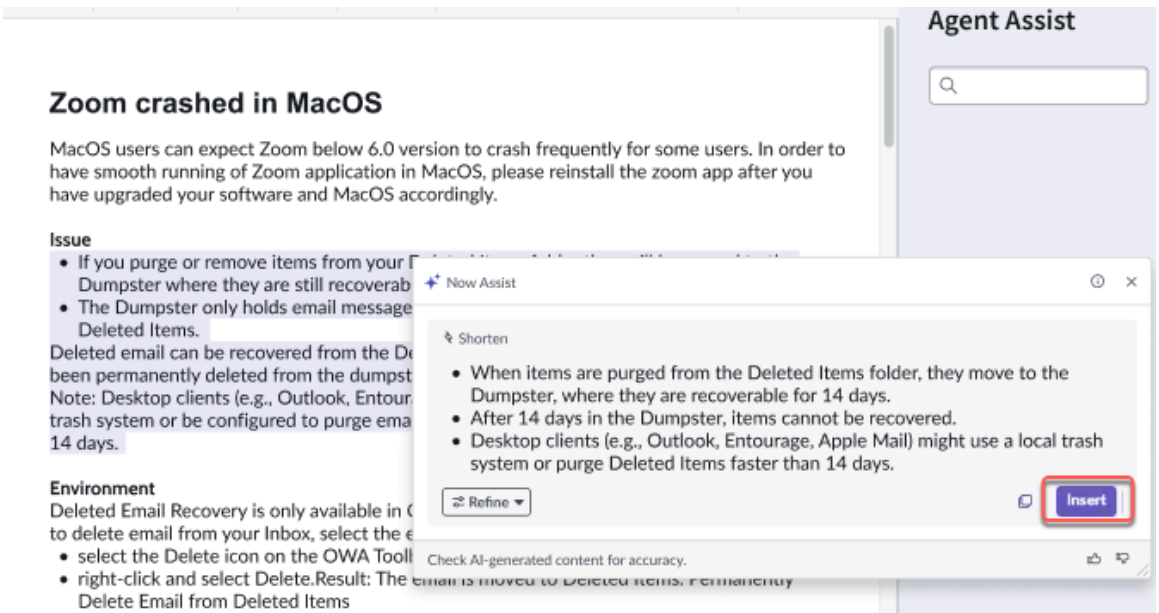
- 詳細:生成 AI は、選択したテキストの詳細を表示します。
- 短縮:生成 AI は、選択したテキストを短縮します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[挿入] ボタンを使用して、生成 AI の詳細化または短縮されたコンテンツをナレッジベース記事に挿入し、更新または公開できます。



Now Assist コンテキストメニューを使用した ナレッジベース 記事の生成の詳細については、「Now Assist コンテキストメニューを使用した記事の編集」を参照してください。

コンテキストメニューを使用してトーンを変更Now Assist

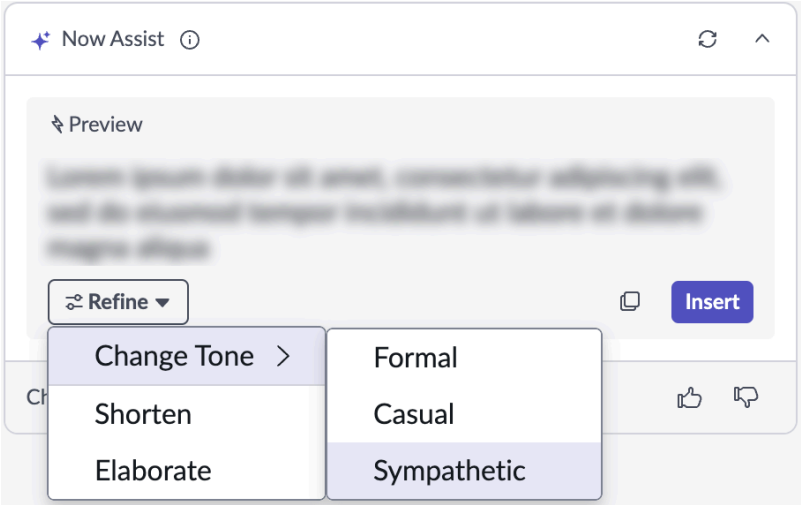
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Now Assistコンテキストメニューを使用すると、ユーザーはコンテンツのトーンを変更できます。ユーザーは、生成 AI 機能を使用して、カジュアル、フォーマル、共感的なトーンから選択して、コンテンツをさらに強化できます。

Now Assistアイコンにカーソルを合わせるか、[絞り込み] メニューを選択すると、[トーンの変更] メニュー オプションが表示されます。

さらに好みのトーンを選択し、[フォーマル]、[カジュアル]、[共感] を選択できます。変更を確認し、[挿入] を選択して新しいテキストを確定します。



注: アプリケーションまたは製品のトーン変更オプションが表示されない場合は、 ServiceNowに連絡してください。

Now Assistコンテキストメニューを使用したコンテンツ絞り込み呼び出しの数を制限する

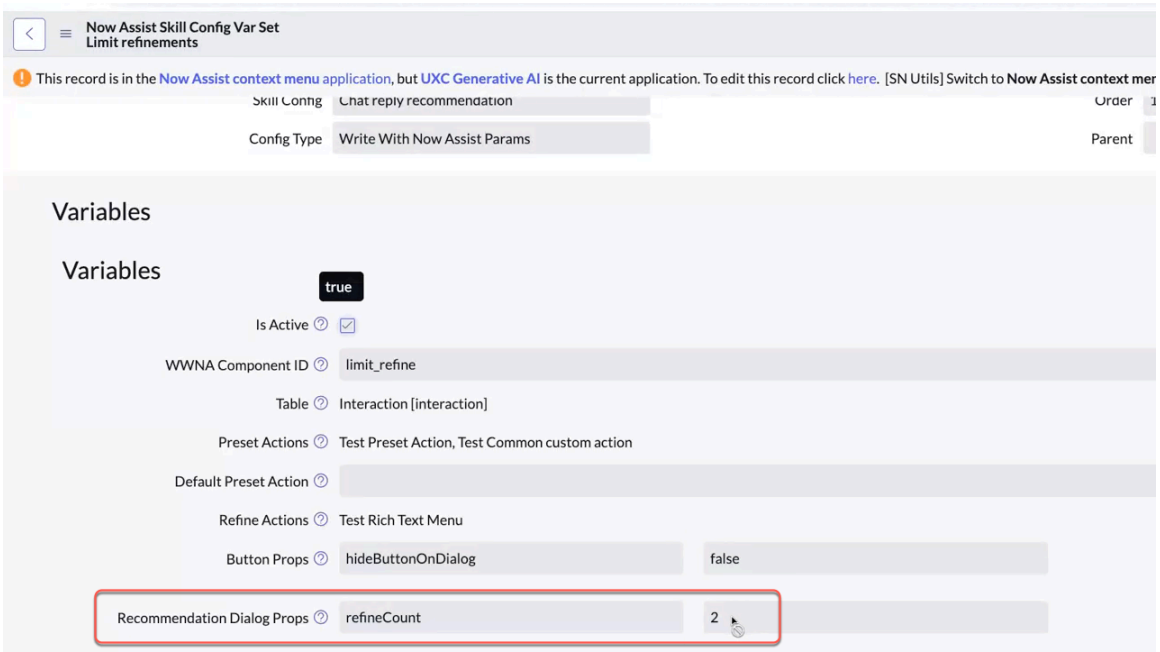
Now Assistコンテキストメニューを使用して、セッションあたりのスキルに対するコンテンツの絞り込み数を構成して制限します。デフォルトでは絞り込みの最大数は設定されていませんが、それを制限するように構成できます。

絞り込み呼び出しの制限は、*`refineCount`* プロパティを使用して、制限絞り込みレコードの [推奨事項ダイアログのプロパティ **(Recommendations Dialog Props**)] フィールドで設定できます。

自動翻訳

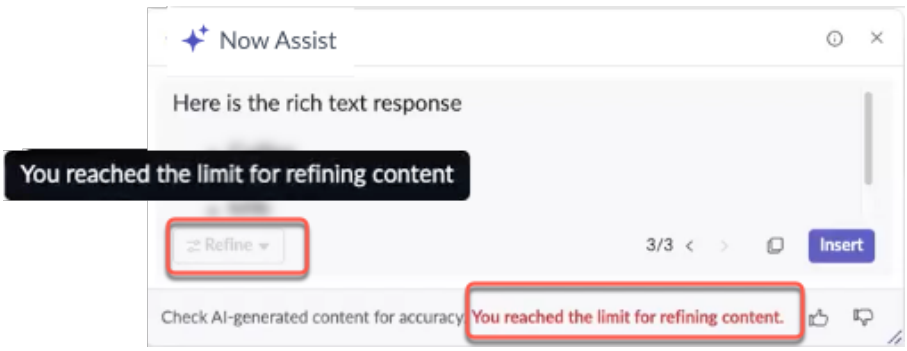
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 絞り込み制限レコードは、Now Assistスキルコンテキストメニューアプリケーションの Now Assist構成変数セットレコードで利用できます。

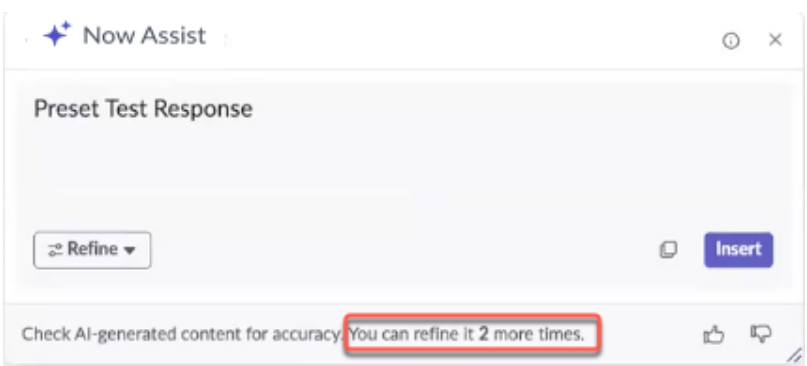


refineCount は次のように設定できます。

- プロパティのデフォルト値は **-1** です。値が 0 未満の場合、スキルの絞り込み数は無制限になります。
- 値として 0 を指定すると、絞り込みボタンは無効になり、 コンテンツを絞り込むための制限に達しました。 メッセージが表示されます。



- 0 より大きい値で設定すると、設定した値に従ってコンテンツを絞り込むことができます。たとえば、refineCount を 2 に設定した場合、コンテンツを絞り込むことができるのは 2 回だけです。



自動翻訳

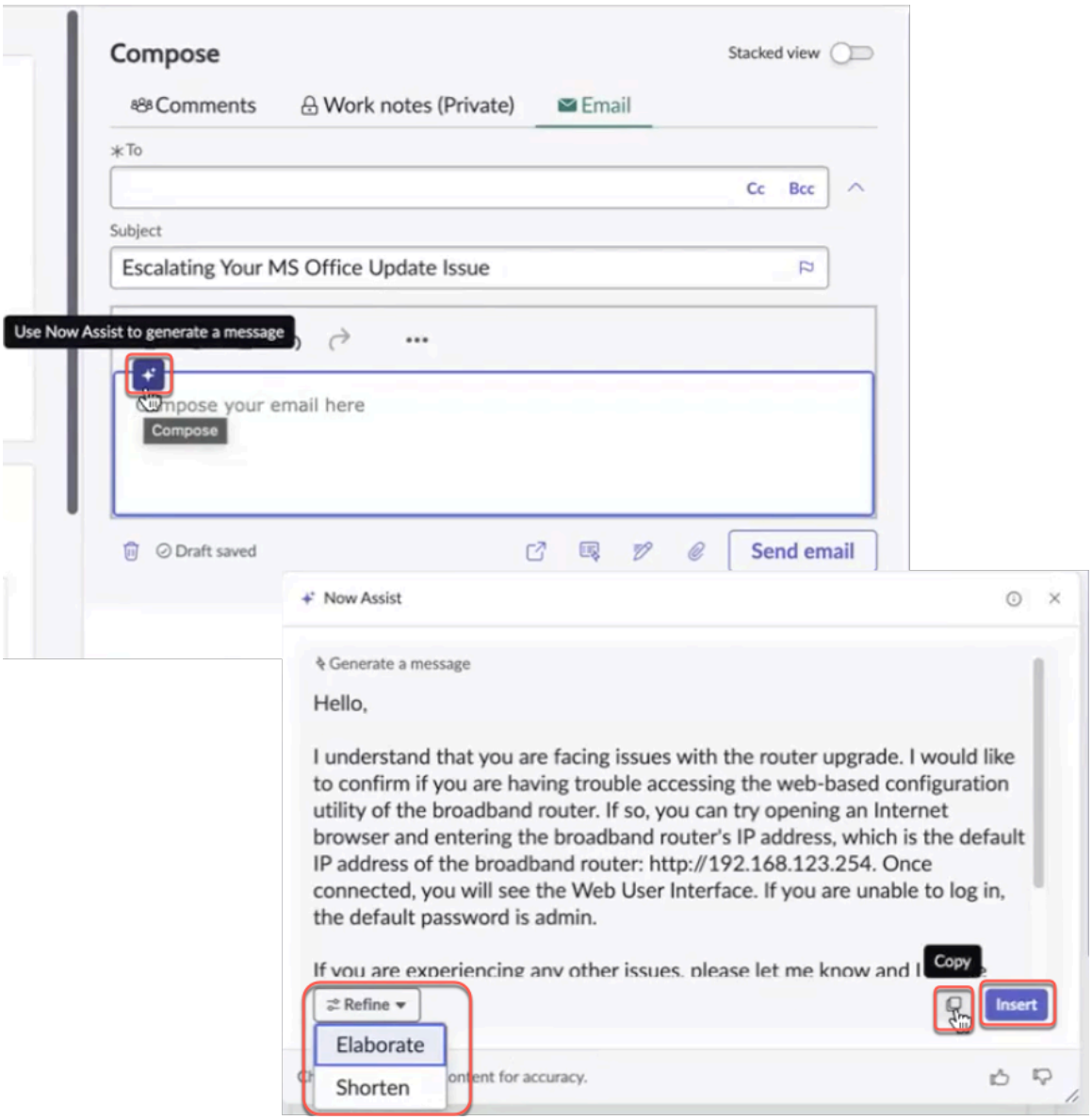
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistコンテキストメニューを使用したメールの推奨事項

Now Assistコンテキストメニューを使用して、生成 AI テンプレートの提案を含むNow Assistからの推奨事項を含むメールを作成または応答します。Now Assistコンテキストメニューを使用すると、ユーザーは新規、転送、返信、またはすべてのシナリオでメール応答の推奨事項を生成できます。

メールを作成する

新しいメールを作成している間、 Now Assist コンテキストメニューアイコン (が表示され、「`Now Assist` を使用してメッセージを生成してください」というメッセージが表示されます。アイコンを選択すると、生成 AI によってメッセージの推奨事項が生成されます。



生成されたテキストを絞り込むには、Now Assist アドミンモデルの [詳細 **(Elaborate)**] または [短縮 **(Shorten)**] コンテキストメニューオプションを選択します。新しいテキストをコピーするか、生成されたテキストをメール本文 に挿入 することもできます。

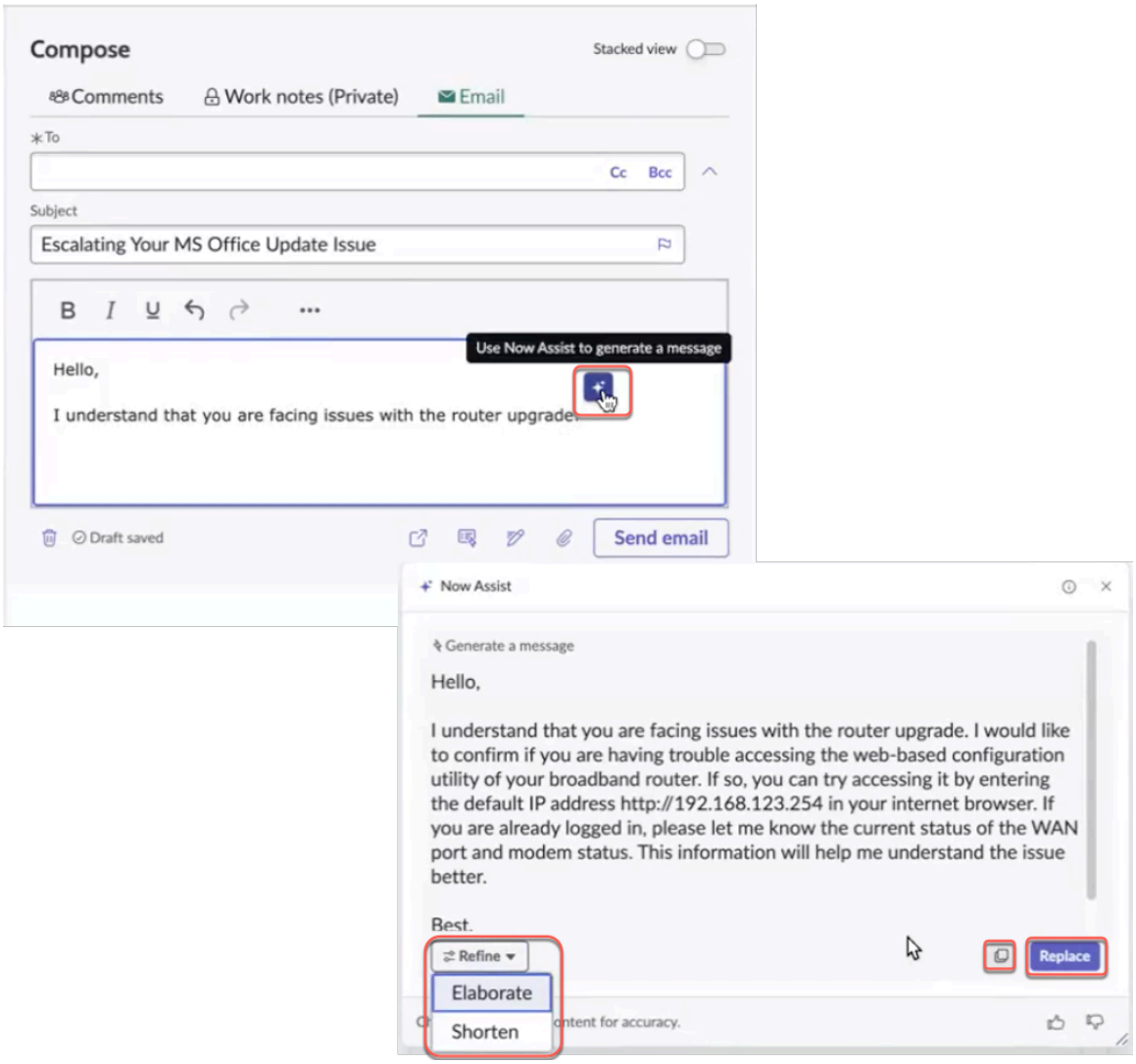
ドラフトメールを完成させる

Now Assistコンテキストメニューを使用して、メールの下書きを完成させることができます。テキストを入力し、生成 AI を使用して、「`Now Assist` を使用してメッセージを生成する」というメッセージを表示するNow Assistコンテキストメニューアイコ

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ン ( )を選択することで、ドラフトを完成させることができます。アイコンを選択すると、生成 AI がメッセージを生成していることがわかります。



Now Assist アドミンモデルのコンテキストメニューのオプションを [詳細] または [短縮] を選択すると、生成されたテキストをさらに絞り込むことができます。新しいテキストをコピーするか、[置換] を選択して生成されたテキストをメール本文に置き換えることもできます。

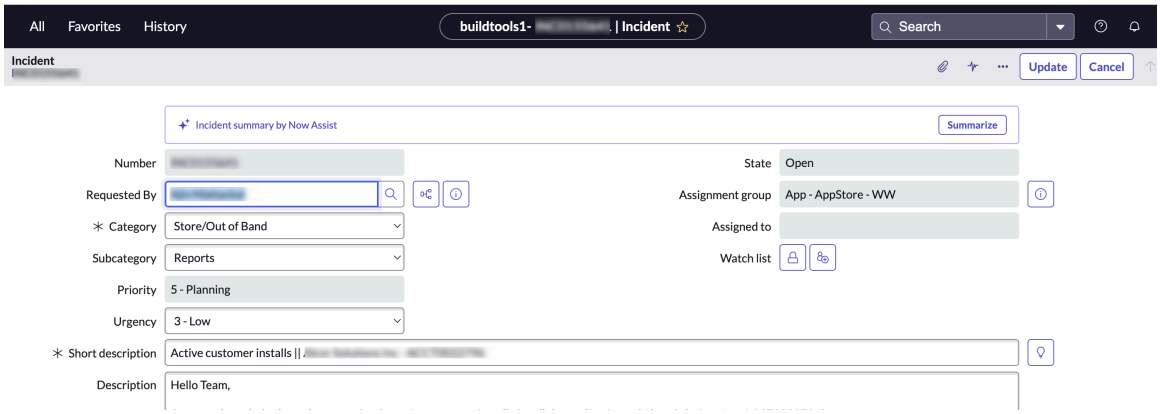
Now Assistコンテキストメニューでレコードを要約

Now Assistコンテキストメニューを使用し、ワークスペースと UI16 の生成 AI アプリケーション支援要約機能を使用して、ページのレコードサマリーを生成します。Now Assistコンテキストメニューでは、新しいサマリーの生成、サマリーカードの展開または折りたたみ、作業メモへのサマリーの共有、サマリーの再生成またはコピーを行うことができます。

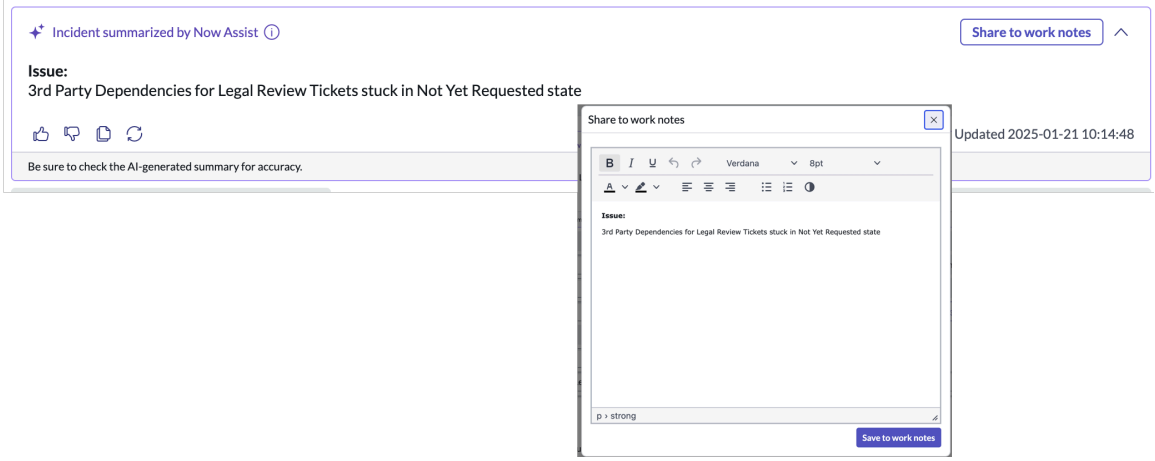
任意のレコードページに移動して、[`Now Assist によるインシデントのサマリー (Incident Summary by Now Assist)`] というメッセージとともに、[Now Assistコンテキストメニュー] アイコン ( )にアクセスします。生成 AI を使用してレコードサマリーを生成するには、[要約 を作成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[作業メモに共有] ボタンを使用して、サマリーを作業メモに共有できます。必要に応じてサマリーカードを展開または折りたたむこともできます。



フィードバックを提供するには、フィードバックアイコン (または (表示されたサマリーに満足できない場合は、再生成アイコン (を使用してサマリーを再生成します。コピーアイコン (を使用して、サマリーをクリップボードにコピーすることもできます。

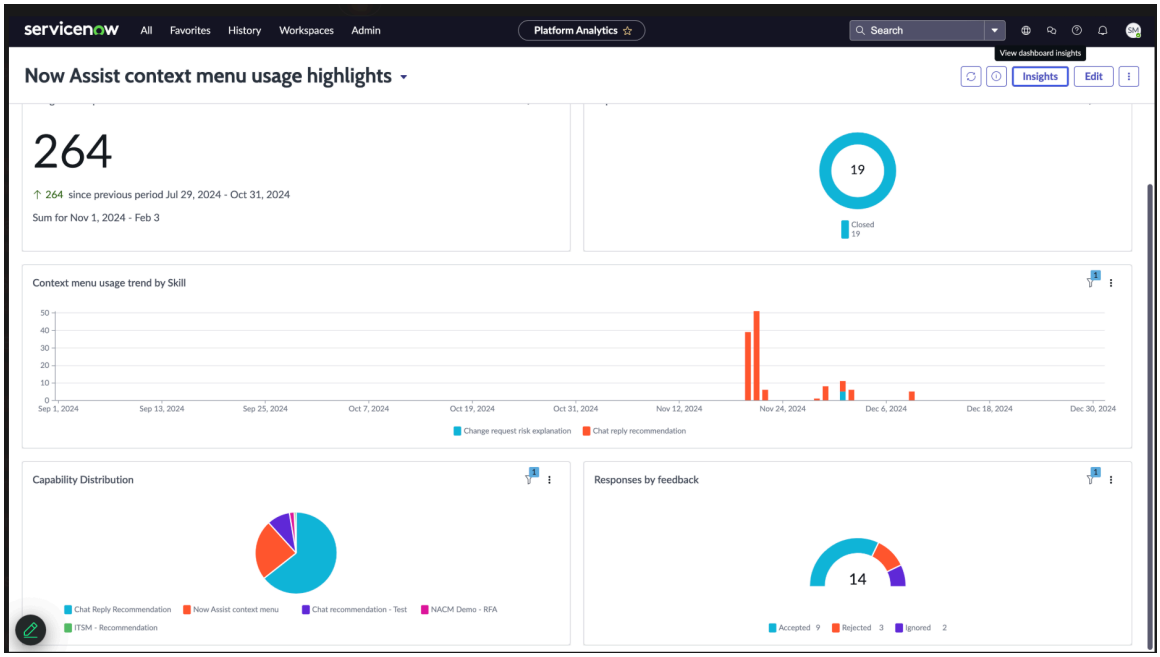
Now Assist コンテキストメニュー使用状況ダッシュボード

Now Assistコンテキストメニューダッシュボードを使用してNow Assistさまざまなアプリケーションでのコンテキストメニューの使用状況を監視します。

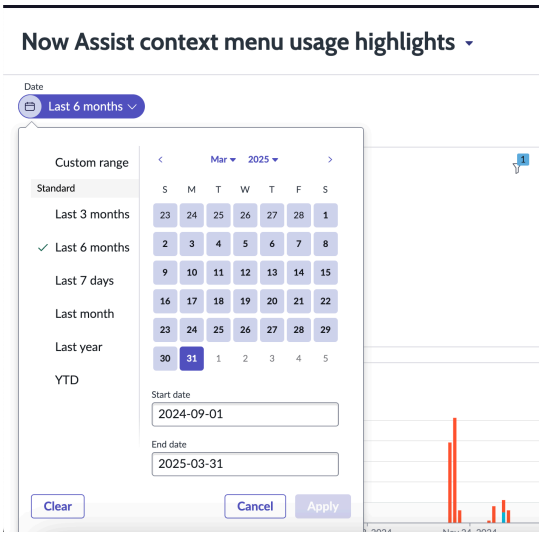
Now Assistコンテキストメニュー使用状況ダッシュボードは、ユーザーのコンテキストメニューアクションの使用パターン、頻度、および有効性に関するインサイトを提供し、それに応じて機能を調整するのに役立ちます。ダッシュボードには、以下を明らかにするインジケーターが含まれています。

- 使用状況メトリクス
- アプリケーションに基づく使用率
- スキルに基づく使用率
- キャパシティ配分
- フィードバックによる応答

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



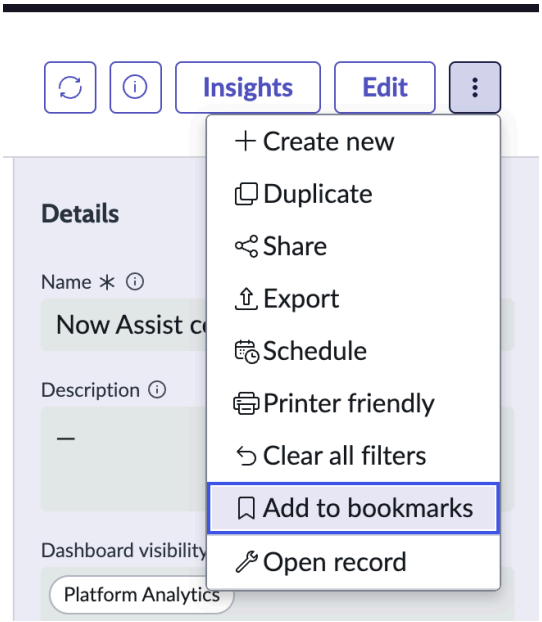
Now Assistコンテキストメニュー使用状況ダッシュボードを使用すると、使用日に基づいてデータをフィルタリングできます。標準オプションから選択するか、カスタム範囲を指定して [適用] を選択し、データをフィルタリングすることができます。



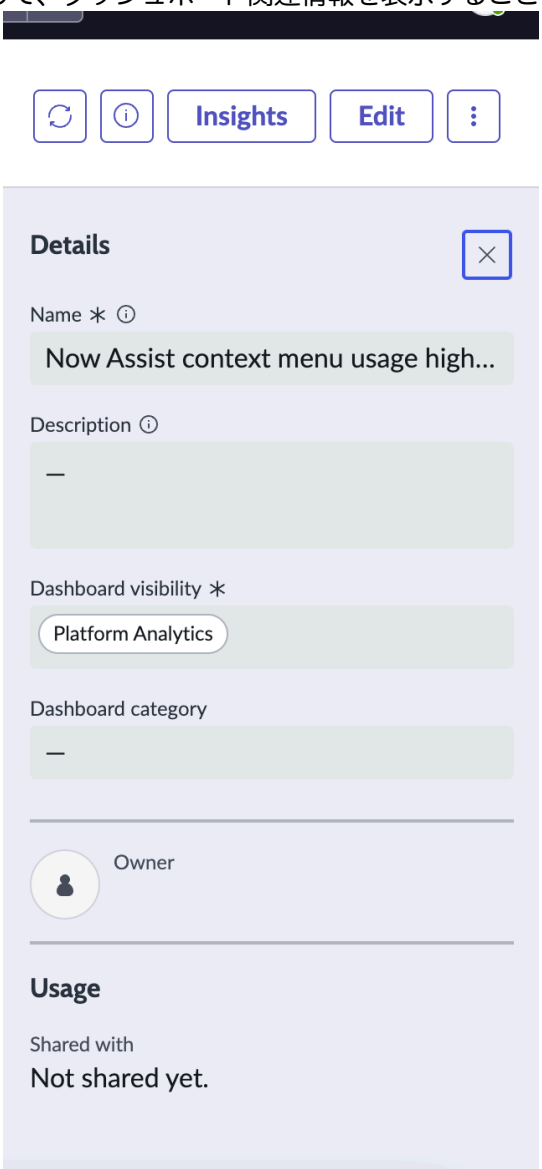
ダッシュボードを更新、複製、編集、作成、およびエクスポートすることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



情報アイコン (ⓘ) を選択して、ダッシュボード関連情報を表示することもできます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

主要な機能

使用率マトリクス:選択した期間中にコンテキストメニュー Now Assist 使用された回数または回数。このマトリクスを更新したり、利用可能なインサイトや提案を表示したり、日付に基づいてデータをさらにフィルタリングしたりできます。

暗黙的なフィードバック期間:選択した時間範囲内で応答が挿入およびクローズされたかどうかに基づくフィードバックのブレークダウン。このマトリクスを更新したり、利用可能なインサイトや提案を表示したり、日付に基づいてデータをさらにフィルタリングしたりできます。

スキル別の使用率の傾向: Now Assist コンテキストメニューを使用するスキルに基づく合計使用率分布。このマトリクスを更新したり、利用可能なインサイトや提案を表示したり、日付に基づいてデータをさらにフィルタリングしたりできます。

キャパシティ配分: Now Assist コンテキストメニューを使用するさまざまなアプリケーションに基づくキャパシティ配分。このマトリクスを更新したり、利用可能なインサイトや提案を表示したり、日付に基づいてデータをさらにフィルタリングしたりできます。

フィードバックによる応答:生成 AI ログに基づくフィードバックフィールド。オプションは、[承認済み]、[却下済み]、または [無視] です。また、このマトリクスを更新したり、利用可能なインサイトや提案を表示したり、日付に基づいてこのデータをさらにフィルタリングしたりすることもできます。

インサイト: Now Assist 使用状況に関するインサイトと提案を表示します。

'

Now Assist スキル

Now Assist 製品は、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たすように調整された生成 AI スキルを提供します。

次のセクションでは、利用可能な Now Assist スキルについて説明します。

ワークフロー別の利用可能なスキル

ワークフロー	製品	利用可能なスキル
テクノロジー	CMDB 向け Now Assist	• 構成アイテム (CI) の要約 • 重複する構成アイテム (CI) の管理
テクノロジー	エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist	ADR Doc 要約とアクション
テクノロジー	統合リスク管理 (IRM) 向け Now Assist	問題の要約
テクノロジー	IT Operations Management の Now Assist	• アラート分析 • アラート調査
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist	• 変更要求リスクの説明 • 変更要求の要約 • チャットの推奨 • チャットの要約

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー別の利用可能なスキル (続く)

ワークフロー	製品	利用可能なスキル
		• メール推奨文 • インシデント支援 • インシデントの要約 • KB の生成 • 解決メモ生成 • サイドバー 要約
テクノロジー	セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist	• インシデントの事後分析 • セキュリティインシデントの推奨アクション • セキュリティインシデントの要約 • 解決メモ生成 • 相関インサイト
テクノロジー	サービスグラフコネクタ (SGC) 向け Now Assist	サービスグラフコネクタ 診断
テクノロジー	ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist	パブリッシャーコンプライアンスの要約
テクノロジー	戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist	• EAP チーム Gen AI ドキュメント • プロジェクトサマリーをメールで送信 • フィードバック要約作成 • マルチフィードバック要約 • プロジェクト Gen AI ドキュメント • 計画アイテム生成 AI ドキュメント • ストーリーの生成
カスタマー	CSM の Now Assist	• ケースの要約 • チャットの推奨 • チャットの要約 • メール推奨文 • KB の生成 • 解決メモ生成 • サイドバー 要約

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー別の利用可能なスキル (続く)

ワークフロー	製品	利用可能なスキル
カスタマー	フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist	• KB の生成 • サイドバー 要約 • 作業指示タスククローズの要約
カスタマー	FSO の Now Assist	• 請求ケースの要約 • 異議申し立てケースの要約
カスタマー	公共機関デジタルサービス (PSDS) 向け Now Assist	• チャットの要約 • 行政ケースの要約 • 解決メモ生成
カスタマー	通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist	• アカウントオンボーディングケースの要約 • エンゲージメントの要約 • KB の生成 • 解決メモ生成 • サービス問題ケースの要約 • テストの要約 • 変換マッピング支援 • タッチポイントの要約
従業員	衛生安全向け Now Assist	衛生安全インシデントの要約
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist	• チャットの要約 • サイドバー 要約 • チャットの推奨 • KB の生成 • メール推奨文 • ケースの要約 • 解決メモ生成
従業員	法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist	• 法務事項の要約 • 法務要求の要約

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフロー別の利用可能なスキル (続く)

ワークフロー	製品	利用可能なスキル
従業員	Now Assist は 契約管理 の値のいずれか	• 契約分析 • 契約メタデータの抽出
従業員	ワークプレイスサービスデリバリ (WSD) 向け Now Assist	スペースを予約 仮想エージェントでの Now Assist の LLM トピック
作成者	Now Assist for Creator	• アプリの生成 • カタログアイテムの生成 • インテリジェントなコード推奨事項 • データの可視化の生成 • フロー生成 • フローの推奨事項 • プレイブックの生成 • コンテンツの絞り込み • ロボティックプロセス自動化 (RPA) ボットの生成 • スポーク生成 • UI の生成 • 作業メモの分析
プラットフォーム	Now Assist プラットホーム	Now Assist 会話エクスペリエンス • Now Assist Q&A Genius 結果 • Now Assist マルチターンのカタログ注文 • Now Assist トピック • サブフローとアクション ナレッジ ナレッジコンテンツの推奨事項 プラットフォームスキル ダッシュボードと可視化のエクスポートスキル ナビゲーション Now Assist パネルナレッジ検索

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

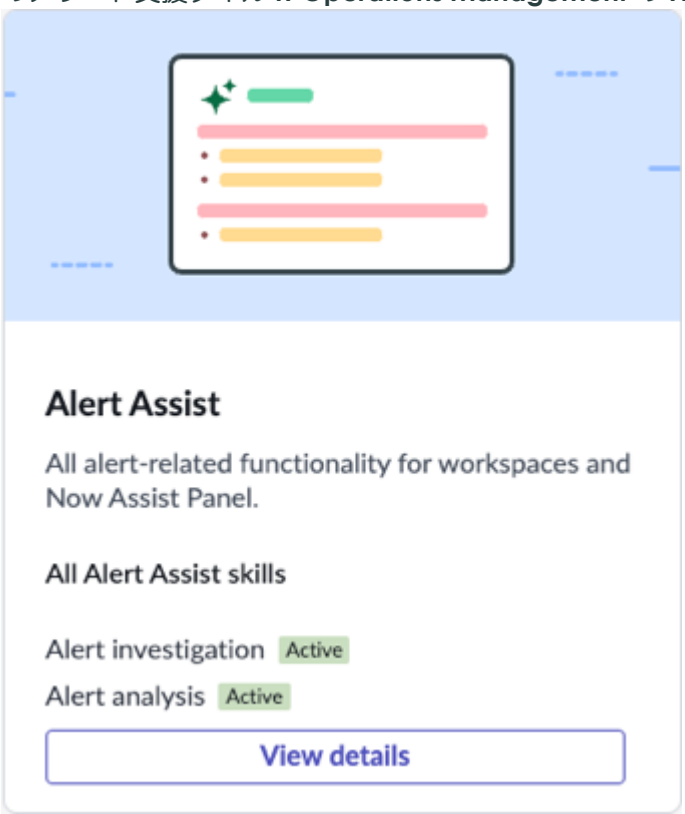
ワークフロー別の利用可能なスキル (続く)

ワークフロー	製品	利用可能なスキル
ファイナンスとサプライチェーン	買掛金オペレーション (APO) 向け Now Assist	請求書ケースの要約
ファイナンスとサプライチェーン	サプライヤーライフサイクルオペレーション (SLO) 向け Now Assist	サプライヤーケースの要約
ファイナンスとサプライチェーン	ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist	の履行者の要約 調達サービス管理

Now Assist 分析スキル

これらのスキルは、セキュリティインシデント分析、イベント管理 のアラート、法務契約など、Now Platformに関するデータを分析するための生成 AI 機能を提供します。

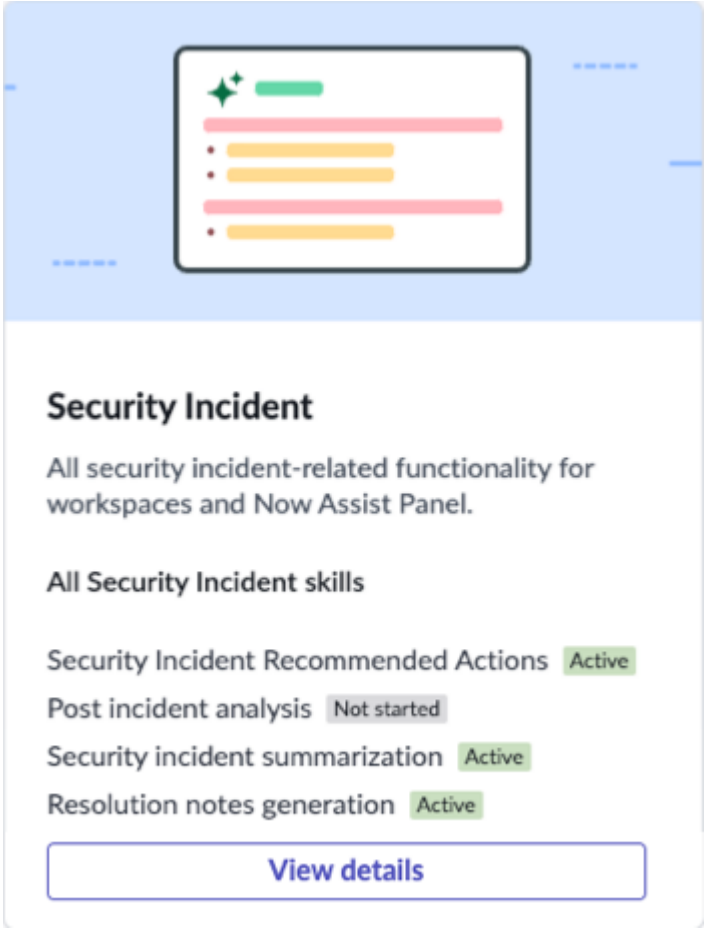
のアラート支援タイル **IT Operations Management** の **Now Assist**



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

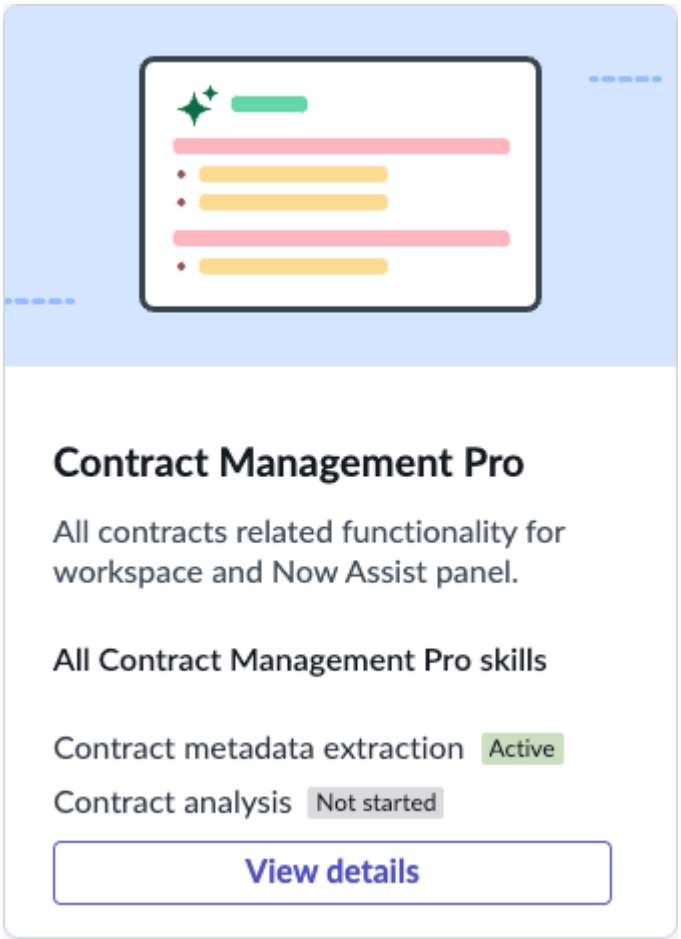
インシデントの事後分析スキルを含むセキュリティインシデントスキルタイル



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約分析スキルを含む契約管理スキルタイル



アラート分析

このスキルを使用して、 ServiceNow イベント管理 アプリケーションの簡素化された生成 AI アラート分析を提供します。

アラート分析には、人間が判読可能なアラートの概要と、アラートをより効果的に調査するのに役立つ技術情報が含まれます。イベント管理では、アラート分析は、アラートのトリアージプロセスを完全に変え、より迅速でシームレスなアラート管理の実現に役立つ重要な機能です。このスキルでは、大規模言語モデル (LLM) を使用して、拡張された実用的なアラートデータに基づいて、人間が判読できるアラートのタイトルと詳細な説明を生成します。AI が生成したアラート情報により、チームは迅速にアラートをトリアージして効果的な分析を行うことができるため、解決時間を大幅に短縮できます。

詳細については、「IT Operations Management の Now Assist の使用」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Operations Management の Now Assist

アラート調査

このスキルにより、 Now Assist 過去の関連インシデントを調査できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Now Assist は履歴レコードを照会して、同じまたは関連する CI の過去のインシデントを検索し、その頻度、重要度、作業メモ、および解決策を分析します。最も関連性の高い関連インシデントの概要が Now Assist パネルに表示されます。サマリーには、使用された解決戦略と、インシデントを解決して現在のアラートをサポートできる個人またはチームの連絡先の詳細が含まれます。提供される情報は、現在のアラートのコンテキストと重要性をよりよく理解し、効率的に解決に取り組むのに役立ちます。

詳細については、「過去の関連インシデントの Now Assist サマリーを生成」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

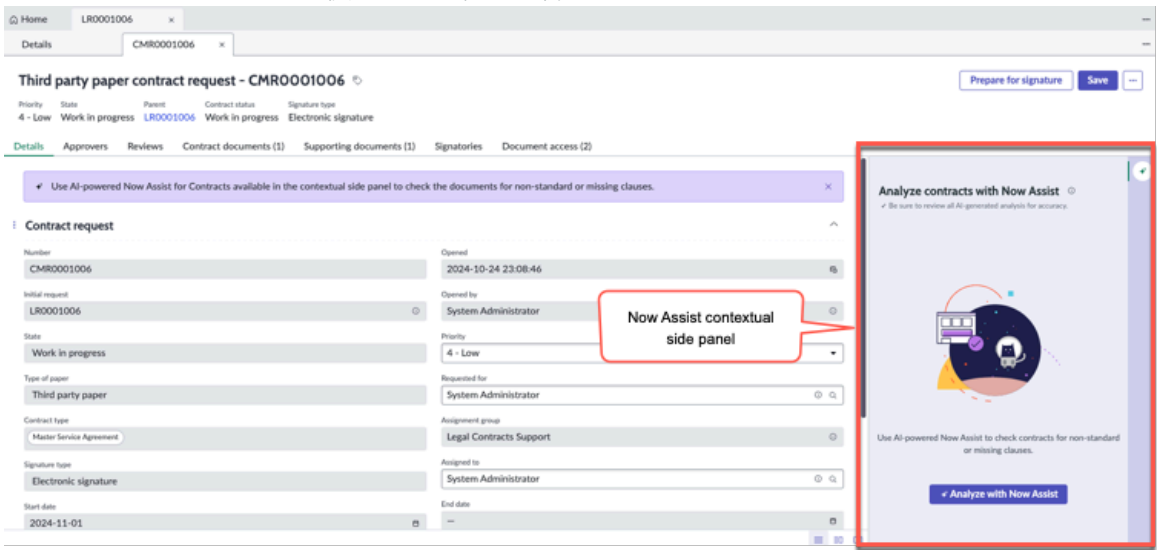
Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Operations Management の Now Assist

契約分析

このスキルでは、生成 AI を使用して契約を分析し、非標準の条項や欠落している条項を特定します。

Now Assistサイドパネルを使用した契約の分析



生成された後、履行者は Now Assist 推奨事項をレビューして改訂を行うことができます。

契約分析の生成

次の製品で契約分析を生成できます。

での Now Assist を使用した契約分析 契約管理

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
従業員	Now Assist は 契約管理 の値のいずれか は、次の製品で利用できます。 • 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist • ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist

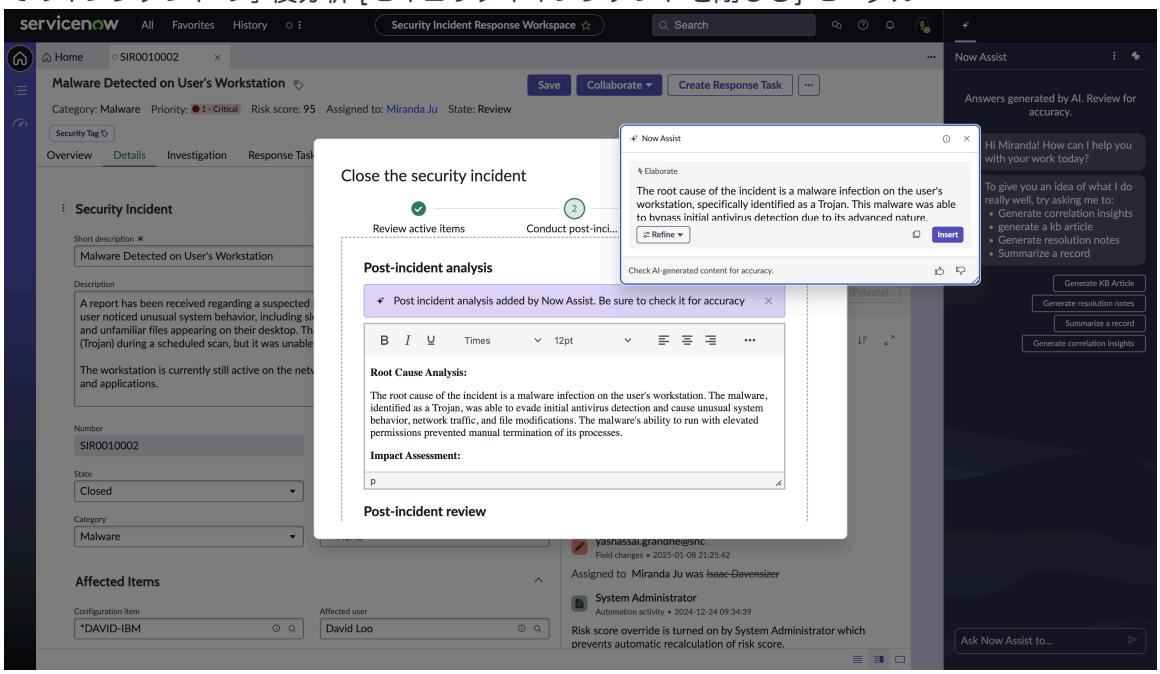
インシデントの事後分析

根本原因分析、影響度アセスメント、およびセキュリティインシデントをクローズするワークフロー内で得られた教訓を含む、インシデントの事後分析を生成します。

セキュリティマネージャーとアナリストは、次の場所からセキュリティインシデントワークフロー内からインシデントの事後分析データを生成できます。

- セキュリティインシデントレスポンスワークスペース。
- UI16 のセキュリティインシデントレコード。

でのインシデントの事後分析 [セキュリティインシデントを閉じる] モーダル



詳細については、「を使用したセキュリティインシデントのインシデントの事後分析の生成 セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist 」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist

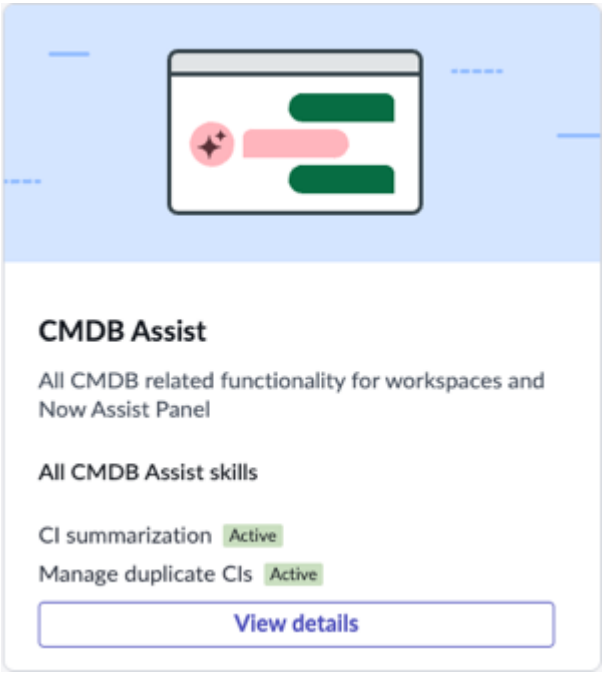
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 対話型ソリューションスキル

対話型スキルは、仮想エージェントのNow Assistを使用して、ユーザーが自然言語チャットでタスクを完了できるようにします。

[重複 **CI** の管理] 会話スキルを含む [スキル **CMDB** タイルの例



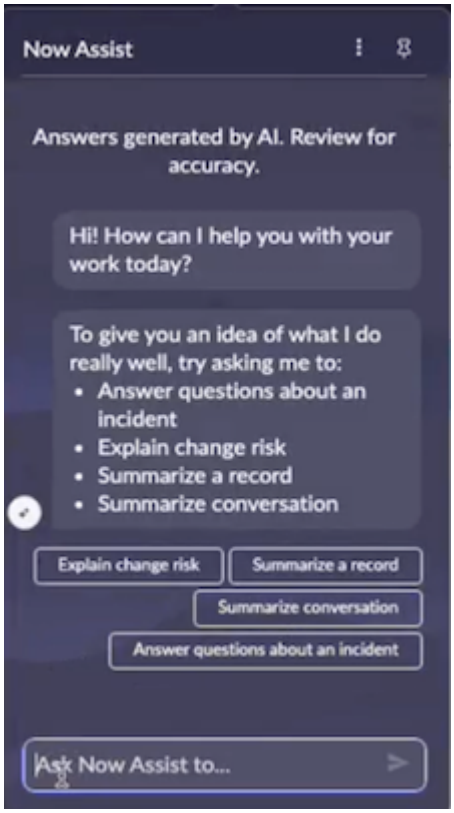
インシデント支援

この会話スキルを使用して、 Now Assist パネルで質問することで、インシデントレコード内の一般的なインシデント関連情報を取得します。

インシデントについて質問するには、コア UI および サービスオペレーションワークスペース for ITSM のNow Assistパネルを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳細については、「Now Assistパネルを使用してインシデントについて質問する」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist

重複する構成アイテム (CI) の管理

Now Assistを使用して、重複排除タスクを確認し、重複排除テンプレートを作成し、タスクをテンプレートにアサインし、テンプレートを実行します。すべてのステップと選択において、[重複 CI の管理] スキルにより、選択に従って次のステップに進みます。

CMDB ワークスペース で Now Assist パネルを開き、重複の管理 を選択します。引き続き Now Assist パネルで応答を確認し、重複 CI を管理および修正する次のアクションを選択します。

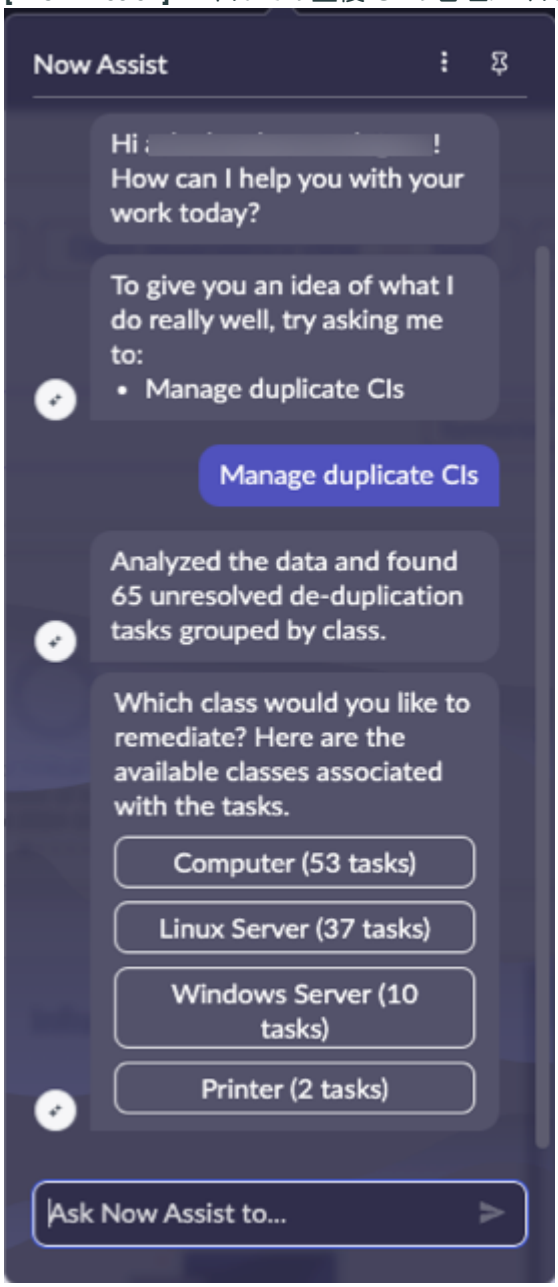
スキルを操作すると、選択したとおりに次のステップにガイドされます。重複排除タスクの根本原因分析を確認できます。根本原因分析では、IRE 識別ルール (基準属性を含む) とディスカバリーソースによって重複排除タスクがグループ化されます。その情報を使用して、重複 CI がさらに生成されるのを防ぎます。

詳細については、「CMDB 向け Now Assist の使用」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Now Assist] パネルでの重複 **CI** の管理スキル



可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	CMDB 向け Now Assist

サービスグラフコネクタ 診断

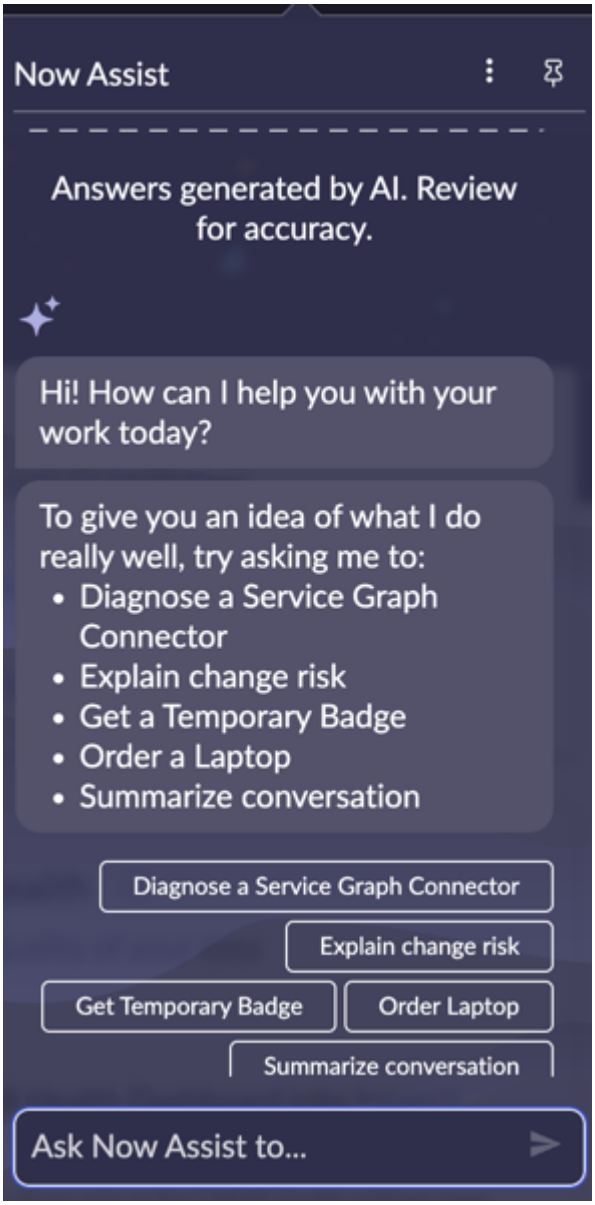
このスキルを使用して、 サービスグラフコネクタに関連付けられている失敗したインポートセットを診断します。 Now Assist は、エラーのサマリーと、問題を解決するための推奨事項を返します。

サービスグラフコネクタ 診断スキルを使用すると、問題をより迅速に特定して解決し、手作業とデバッグ時間を削減できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で **Now Assist** パネルを開く **CMDB** ワークスペース



詳細については、「を使用した サービスグラフコネクタ 問題の診断 Now Assist」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	サービスグラフコネクタ (SGC) 向け Now Assist

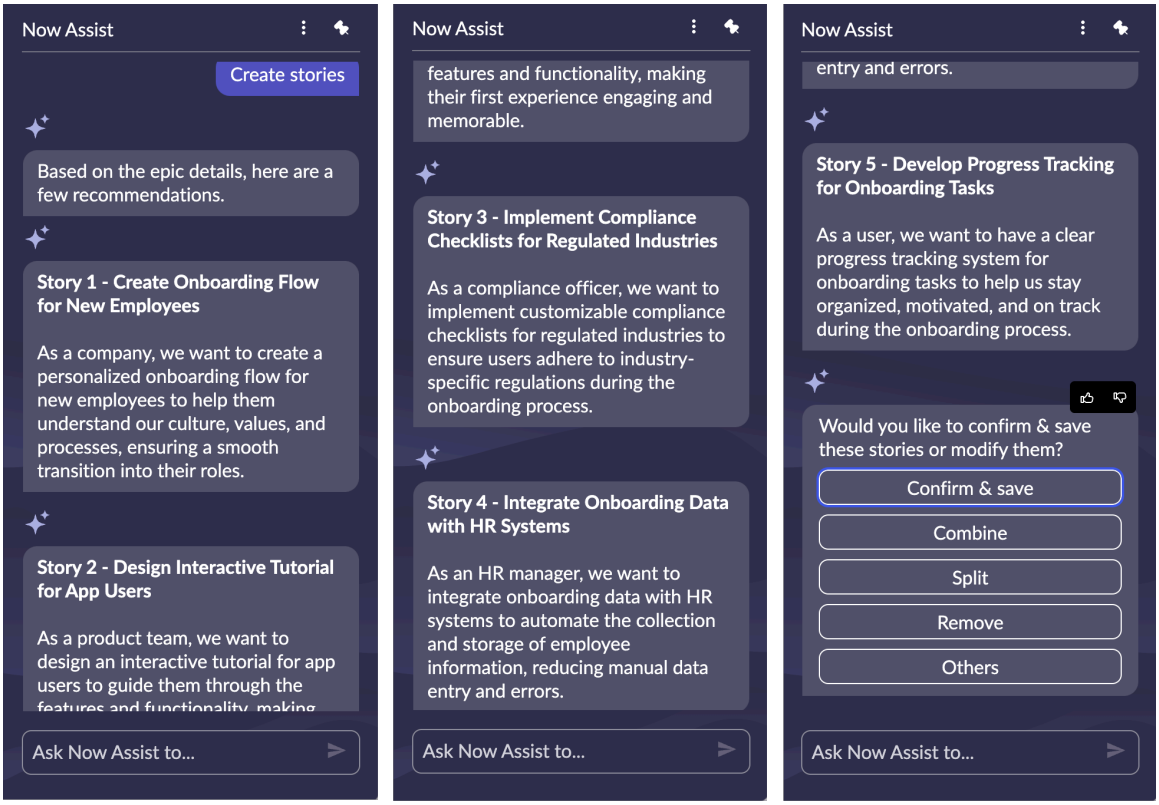
ストーリーの生成

このスキルを使用して、エンタープライズアジャイル計画ワークスペース (EAP) でNow Assistを使用してエピックのストーリーを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistパネルで会話して、エピックの提案されたストーリーを取得します。ストーリーの推奨事項を分割または結合するか、推奨事項をそのまま使用するかを選択できます。

Now Assistパネルでの会話型ストーリーの生成



詳細については、「を使用した EAP のエピックからのストーリーの生成 SPM 向け Now Assist」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist

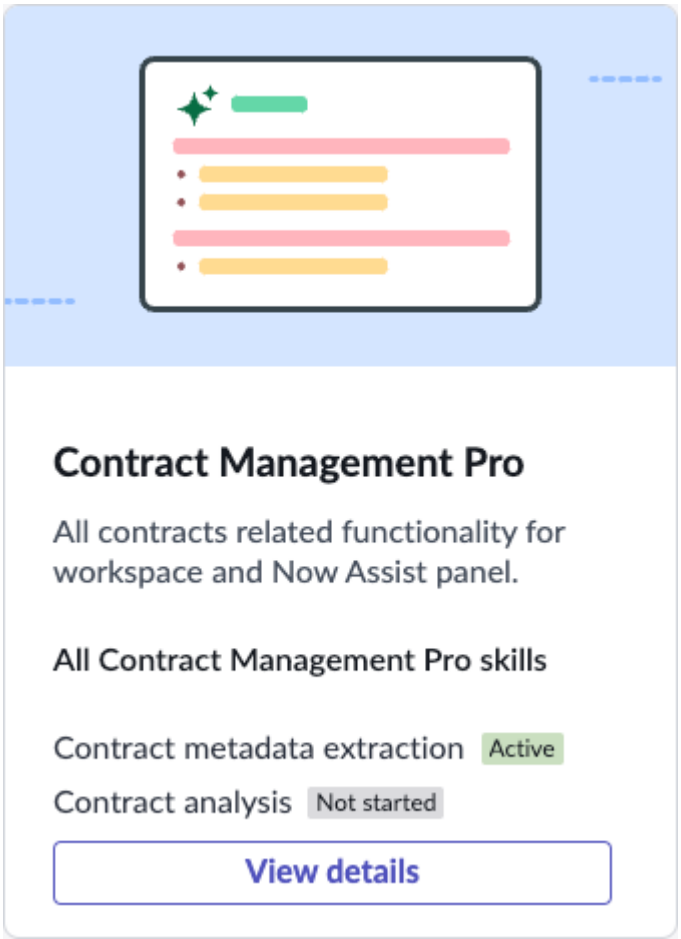
Now Assist コンテンツ管理スキル

これらの Now Assist スキルは、 Now Platformのチャット機能に生成 AI 機能を提供します。

従業員ワークフロー領域の契約スキルは、 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assistをインストールすると利用可能になります。これらのスキルは 契約管理プロで機能します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の契約管理 **Pro** スキルタイルの例 **Now Assist** アドミン



契約メタデータの抽出

契約管理プロスキルでこのNow Assistを使用して、署名された契約からメタデータを抽出し、その情報を契約リポジトリのマッピングされたフィールドに追加します。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ビューアーで抽出された情報を確認し、必要な修正を行うことができます。

署名済み契約には、契約の管理に役立つ重要なメタデータが含まれています。たとえば、開始日、期間、支払条件が重要です。多くの場合、このメタデータは手動で識別されますが、時間がかかり、データの欠落やエラーが発生する可能性があります。

構成が完了すると、契約メタデータ抽出スキルは、必要なメタデータ要素を含む署名済み契約を送信して、抽出のために ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) します。このメタデータは契約レコードに入力され、承認のために契約アドミニストレーターに送信されます。

契約メタデータの抽出

次の製品で契約メタデータを抽出できます。

の Now Assist を使用したメタデータの抽出 契約管理

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 製品とワークフロー

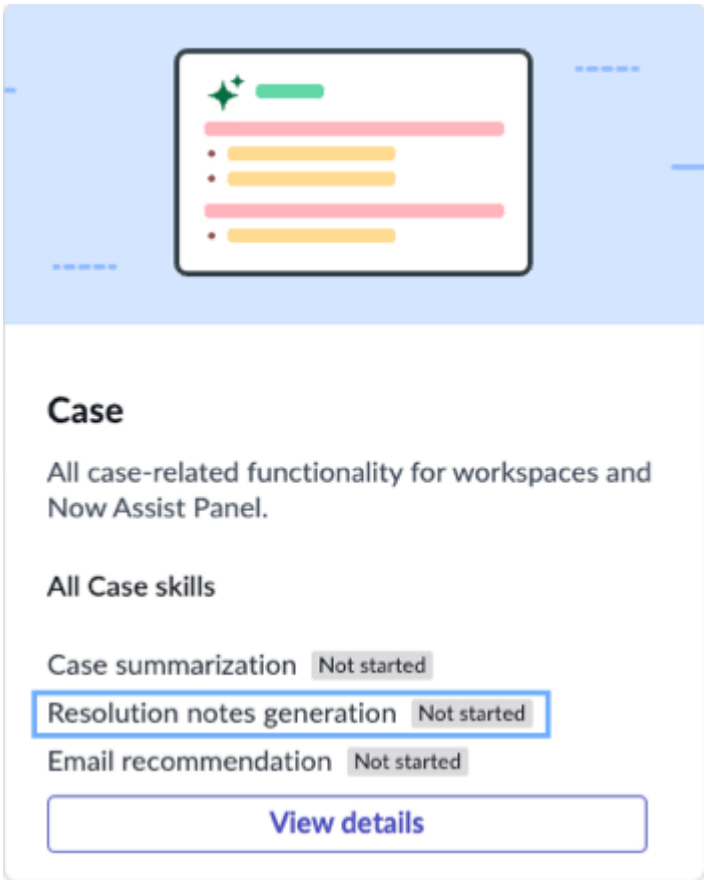
ワークフロー	製品
従業員	Now Assist は 契約管理 の値のいずれか は、次の製品で利用できます。 • 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist • ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist

Now Assist コンテンツ生成スキル

これらの Now Assist スキルでは、解決メモとナレッジ記事を生成できます。

コンテンツの推奨事項と解決メモ生成を含むスキルタイルの例

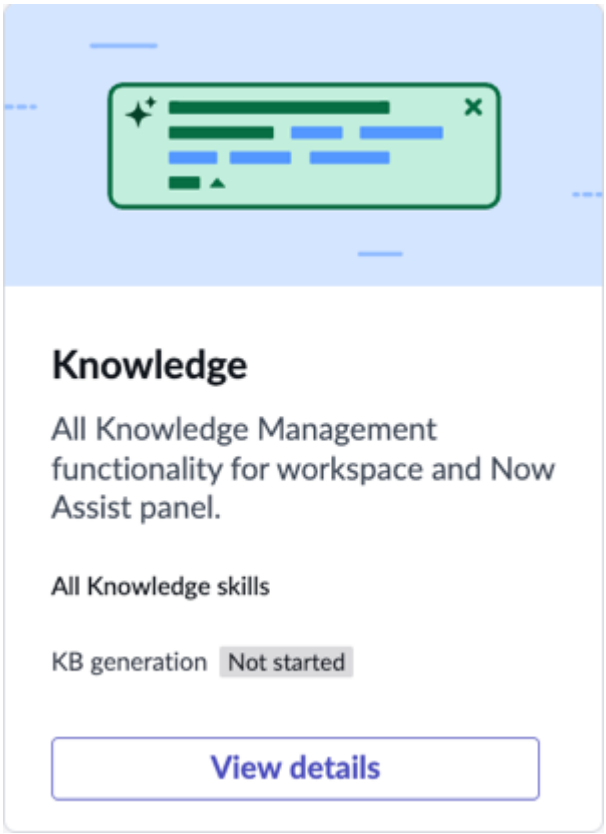
での解決メモ生成スキルの例 **CSM** の **Now Assist**



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイル ナレッジ の例 **Now Assist** アドミン



KB の生成

Now Assistを使用すると、ケース、インシデント、または作業指示タスクに基づくナレッジ記事のドラフトをすばやく作成できます。人工知能 (AI) を使用して記事コンテンツを生成することで、エージェントはユーザーの一般的な懸念事項に対処しながら、効率的に記事を作成できます。

https://player.vimeo.com/video/1009282001?h=fc84a7cd87&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

KB 生成の概要

Now Assist ケース、インシデント、または作業指示書タスクの解決方法に関するナレッジ記事のドラフトを作成し、公開前にエージェントが確認および編集できます。記事は、CSM 構成可能ワークスペース、ITSM、HR ケース管理のエージェントワークスペース、FSM 構成可能ワークスペース、クラシック環境、またはNow Assistパネルでサービスオペレーションワークスペース作成できます。

次のフィールドが入力として使用されます。

- 簡単な説明
- 説明
- 解決メモ
- クローズメモ
- 作業メモ
- コメント

注: Now LLM サービス は、この Now Assist スキルのプロバイダーです。

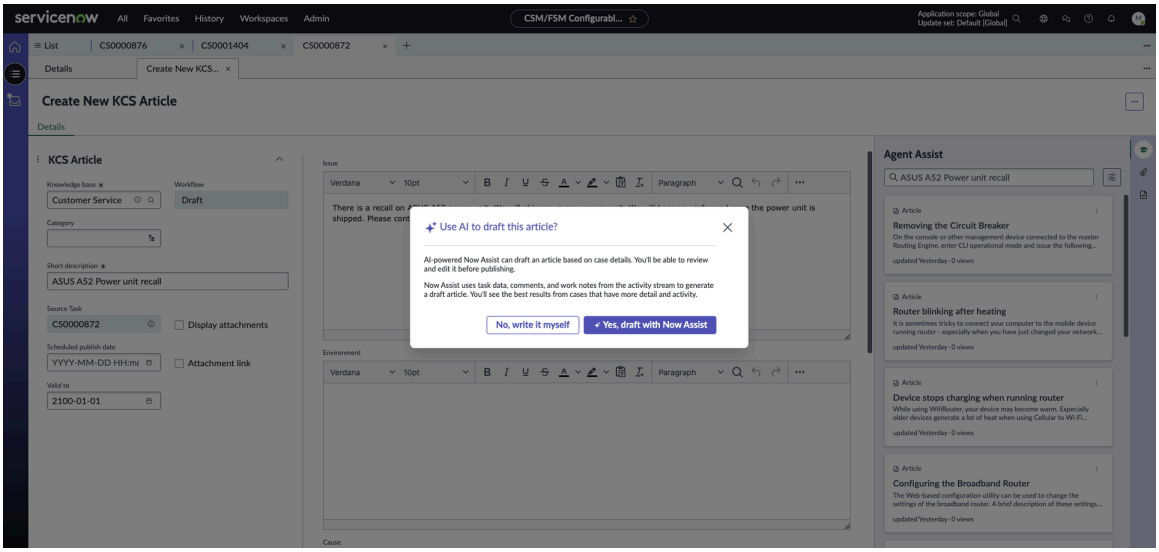
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Now Assistアプリケーションがインストールされると、エージェントはNow Assistを使用して、解決されてクローズされたケース、解決されたインシデント、完了してクローズまたは未完了でクローズされた作業指示タスクに関するナレッジ記事を生成できます。

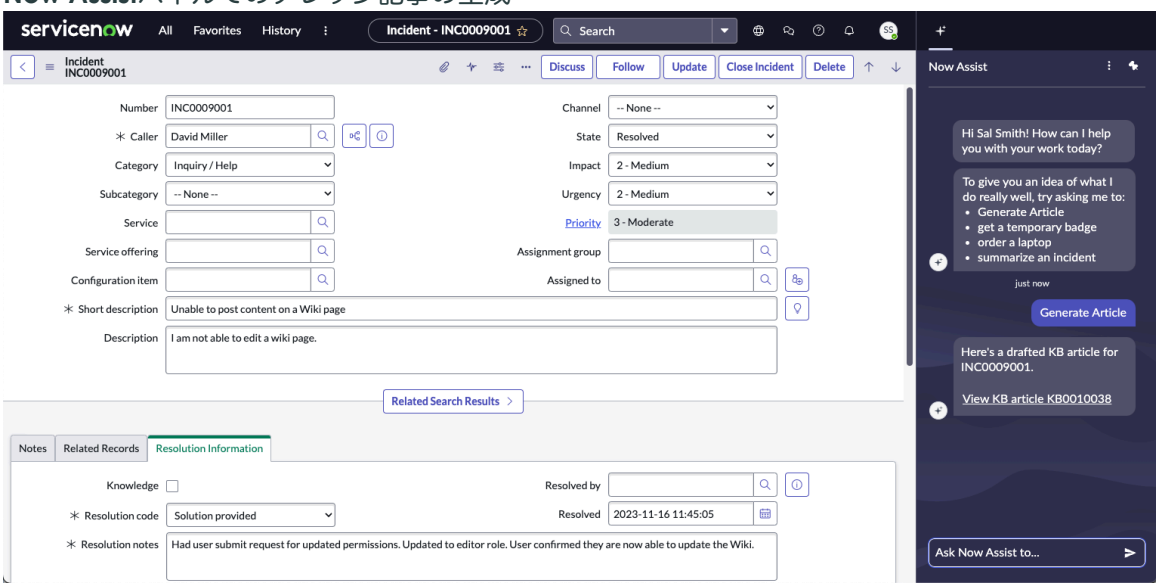
この例では、 CSM 構成可能ワークスペース で作業しているエージェントには、 Now Assist を使用して記事のドラフトを作成するオプションがあります。

で新しいナレッジ記事を生成する **CSM** 構成可能ワークスペース



この例では、エージェントは [Now Assist] パネルを使用して、クラシック環境で解決済みのインシデントからドラフトを作成しています。記事のドラフトが生成された後、エージェントはリンクをクリックして記事をレビュー、編集、公開します。

Now Assistパネルでのナレッジ記事の生成



ナレッジ記事の生成

次の製品でナレッジ記事を生成できます。

- Now Assist を使用した CSM 構成可能ワークスペースおよびクラシック環境からのナレッジ記事の生成
- Now Assist を使用した ITSM 用のサービスオペレーションワークスペースおよびクラシック環境からのナレッジ記事の生成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Now Assist を使用した HR エージェントワークスペースからのナレッジ記事の生成
- を使用したナレッジ記事複数のケースから の生成HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist
- を使用して CSM/FSM 構成可能ワークスペース およびクラシック環境からナレッジ記事を生成する Now Assist
- Now Assist を使用したクラシック環境からのナレッジ記事の生成
- Now Assist パネルからのナレッジ記事の生成

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist
Customer (顧客)	CSM の Now Assist フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist

解決メモ生成

Now Assist解決メモを生成して読むことで、インタラクションがどのように解決されたかの詳細をすばやく知ることができます。

解決メモを生成すると、 Now Assistによって生成されたインシデントの解決メモの要約バージョンが作成されます。生成された解決メモは、同様のインタラクションに遭遇する可能性のある他のエージェントに情報を提供できます。

注: Now LLM サービス は、この Now Assist スキルのプロバイダーです。

Now Assistアニメーションアイコンを使用して、次のアクションを実行できます。

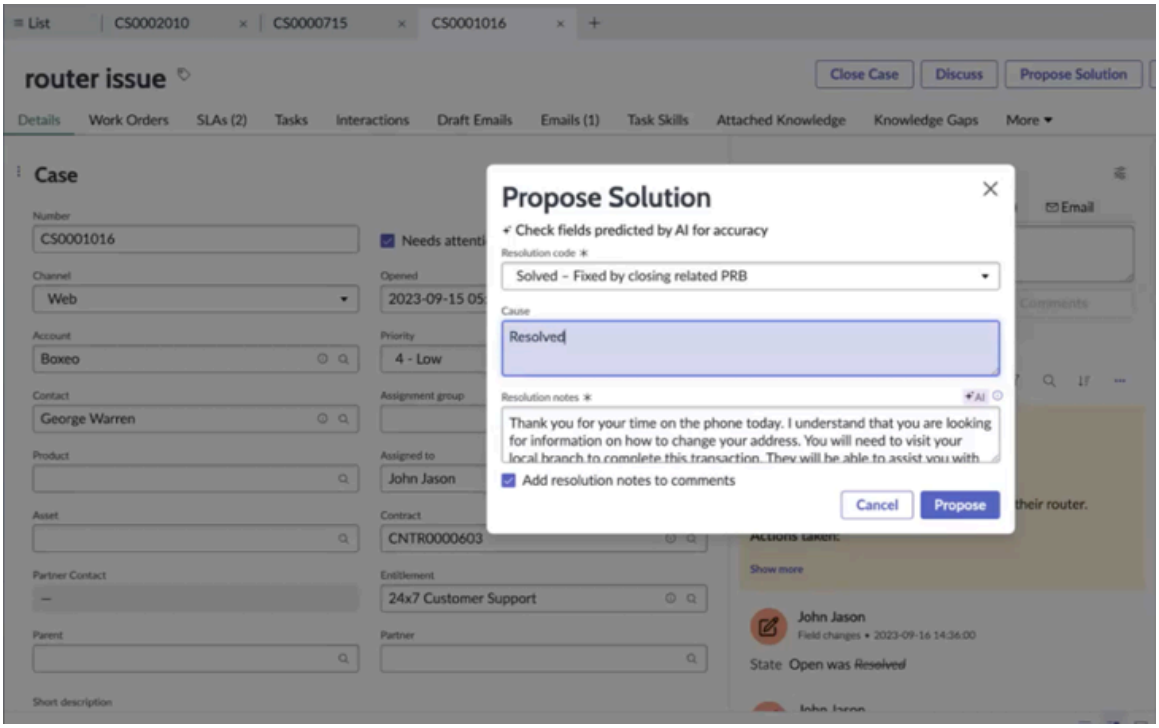
- インシデントの情報に基づいて解決メモを生成します。
- 解決メモを詳細にしたり短縮したりして、解決メモを絞り込みます。

次の例は Now Assist さまざまな製品で生成された解決メモを示しています。

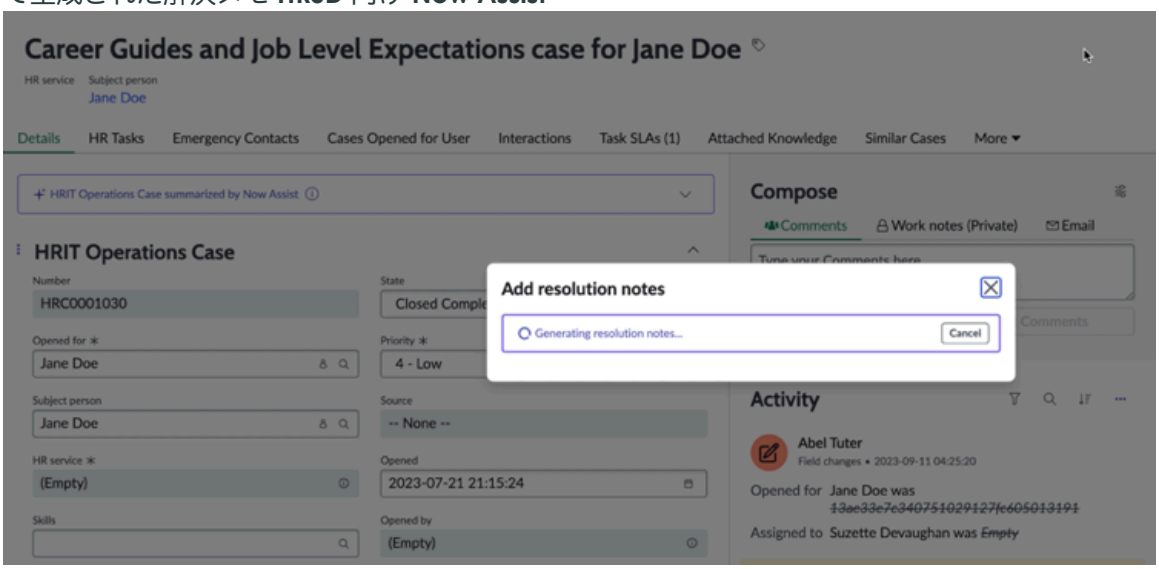
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で生成された解決メモ **CSM** の **Now Assist**



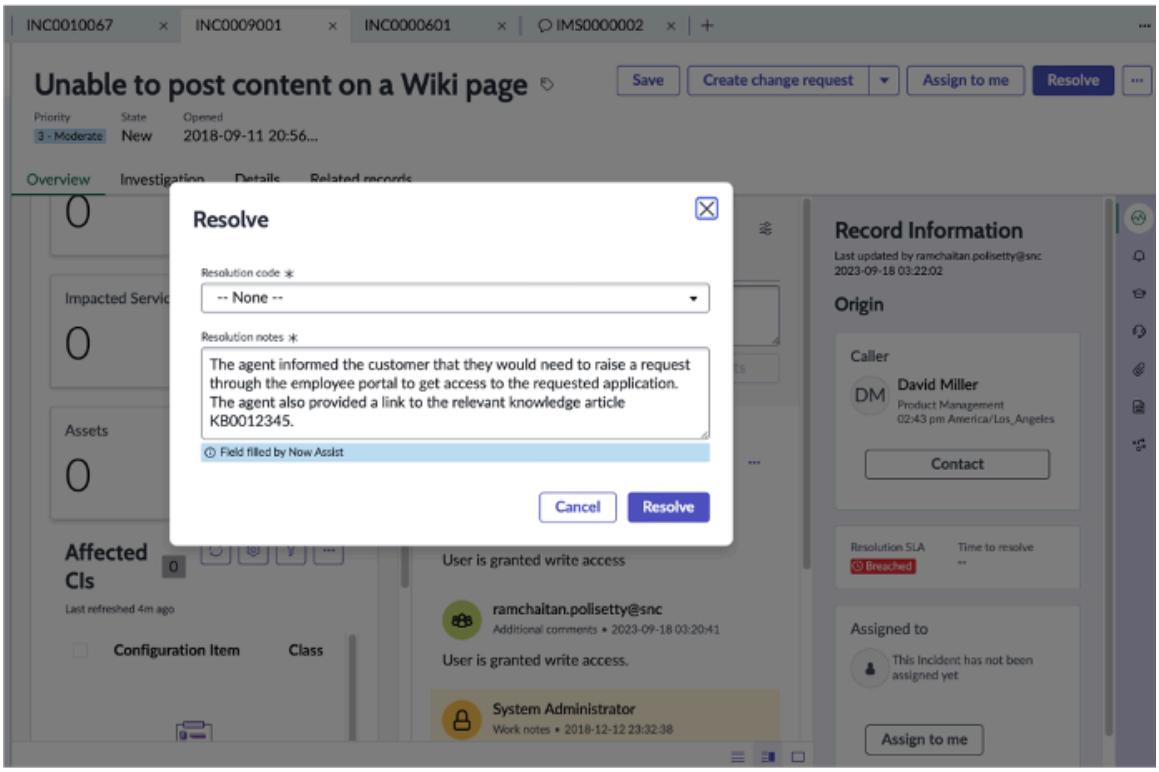
で生成された解決メモ **HRSD** 向け **Now Assist**



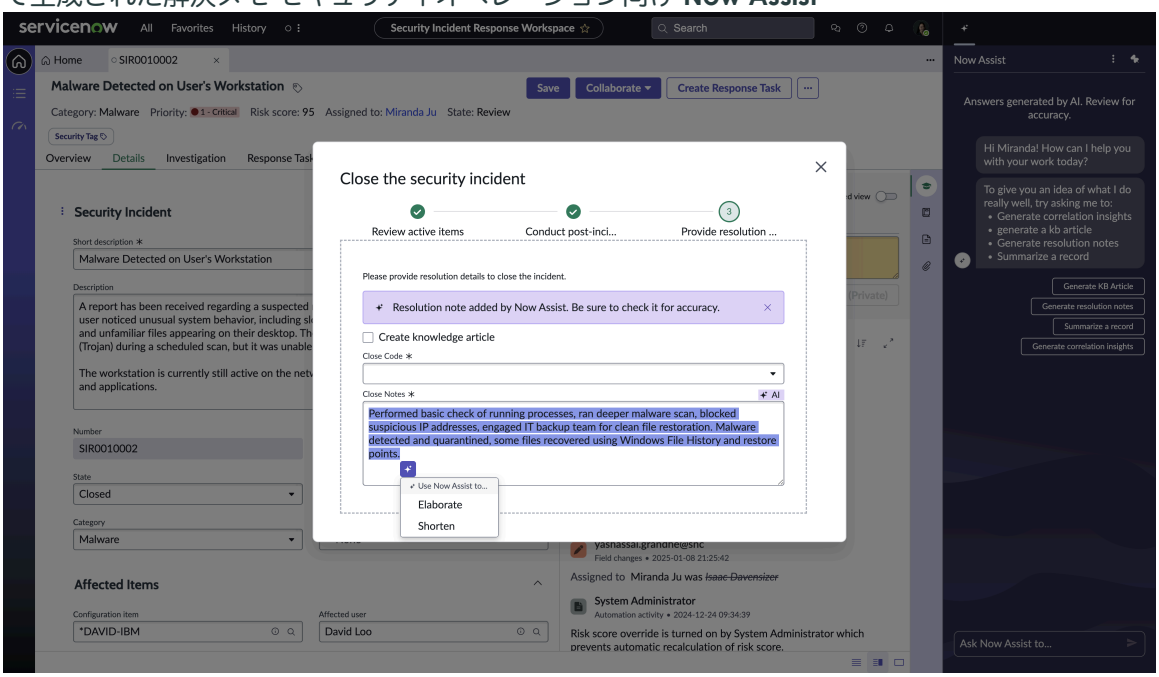
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

で生成された解決メモ **ITSM** の **Now Assist**



で生成された解決メモ セキュリティオペレーション向け **Now Assist**



解決メモを生成しています

次の製品の解決メモを生成できます。

- CSM の Now Assist を使用したケースの解決メモを生成
- HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist を使用したケースの解決メモの生成
- IT Service Management の Now Assist を使用したインシデントの解決メモの生成

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist を使用したセキュリティインシデントのクローズメモの生成
- を使用したサービス問題ケースの解決メモの生成 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

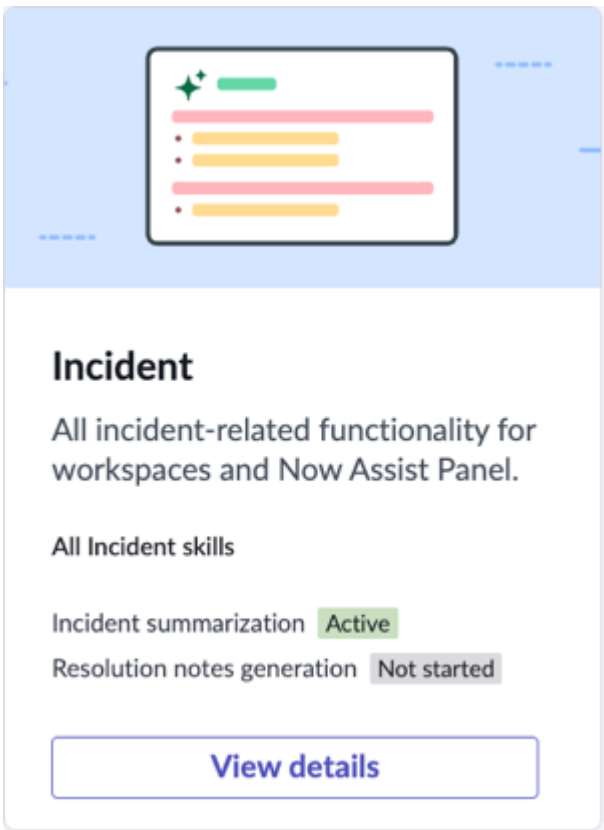
Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist
Customer (顧客)	CSM の Now Assist 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist

Now Assist コンテンツとレコードのサマリースキル

Now Assist スキルは、 Now Platform上のケース、インシデント、およびその他のレコードの生成 AI 要約機能を提供できます。

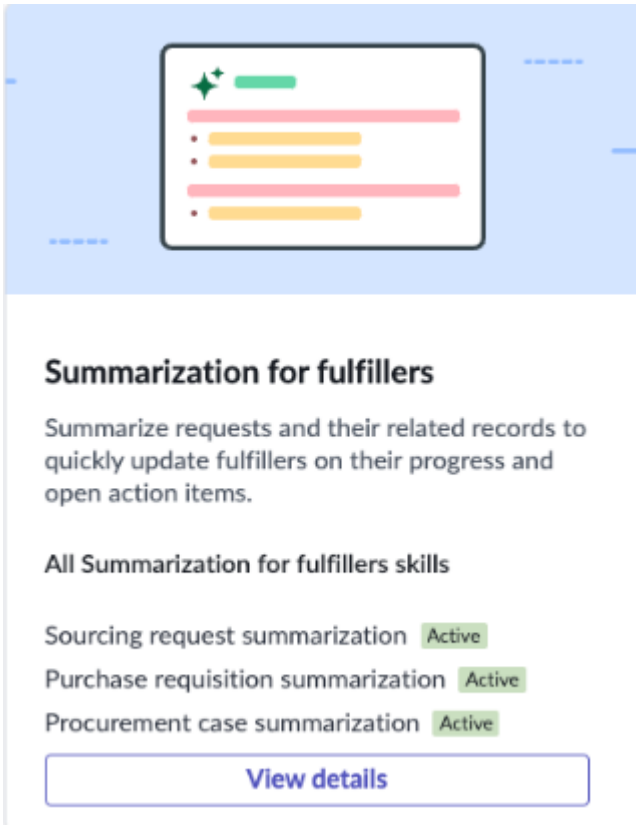
のインシデントスキルタイルの例 **Now Assist** アドミン



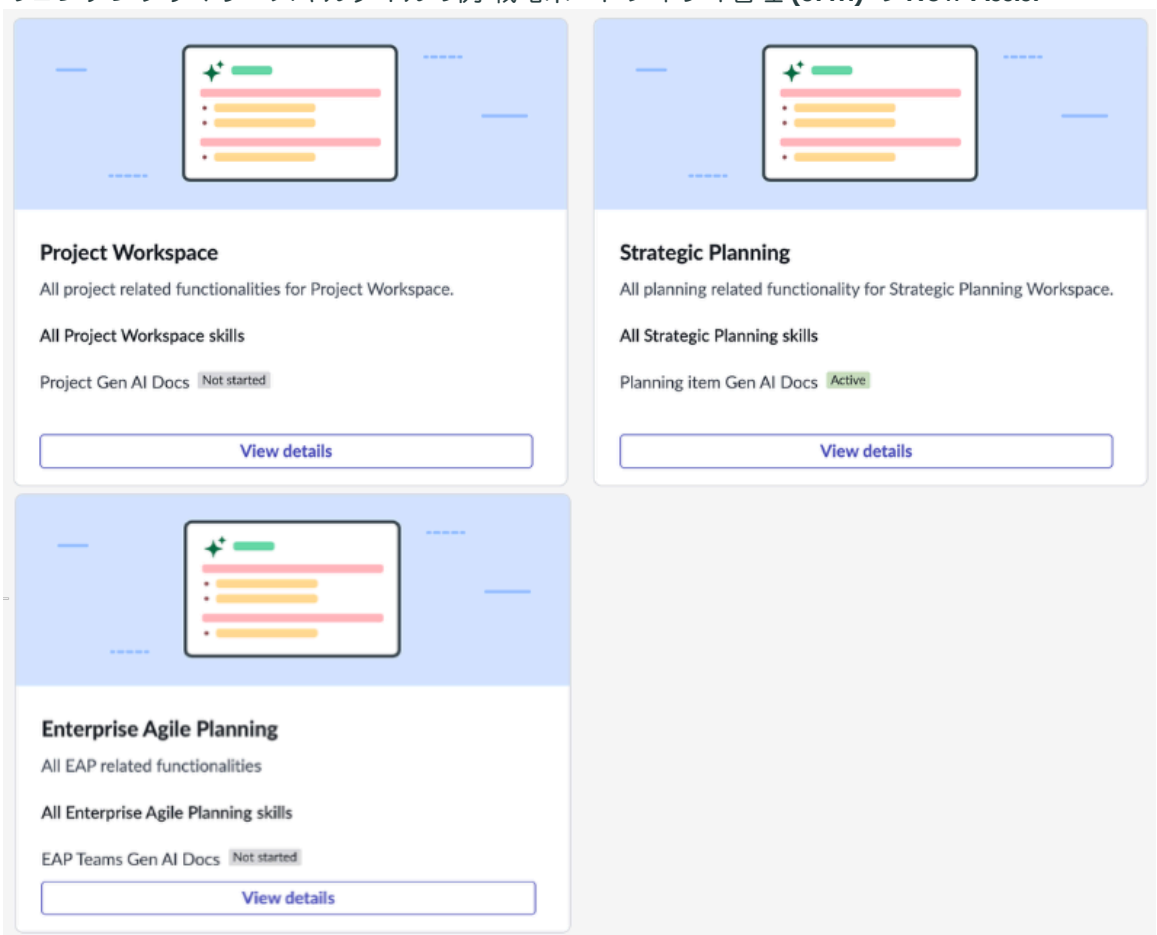
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の要約スキルタイルの例 ソーシングと調達オペレーション **(SPO)** の **Now Assist**



のコンテンツサマリースキルタイルの例 戦略ポートフォリオ管理 **(SPM)** の **Now Assist**



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

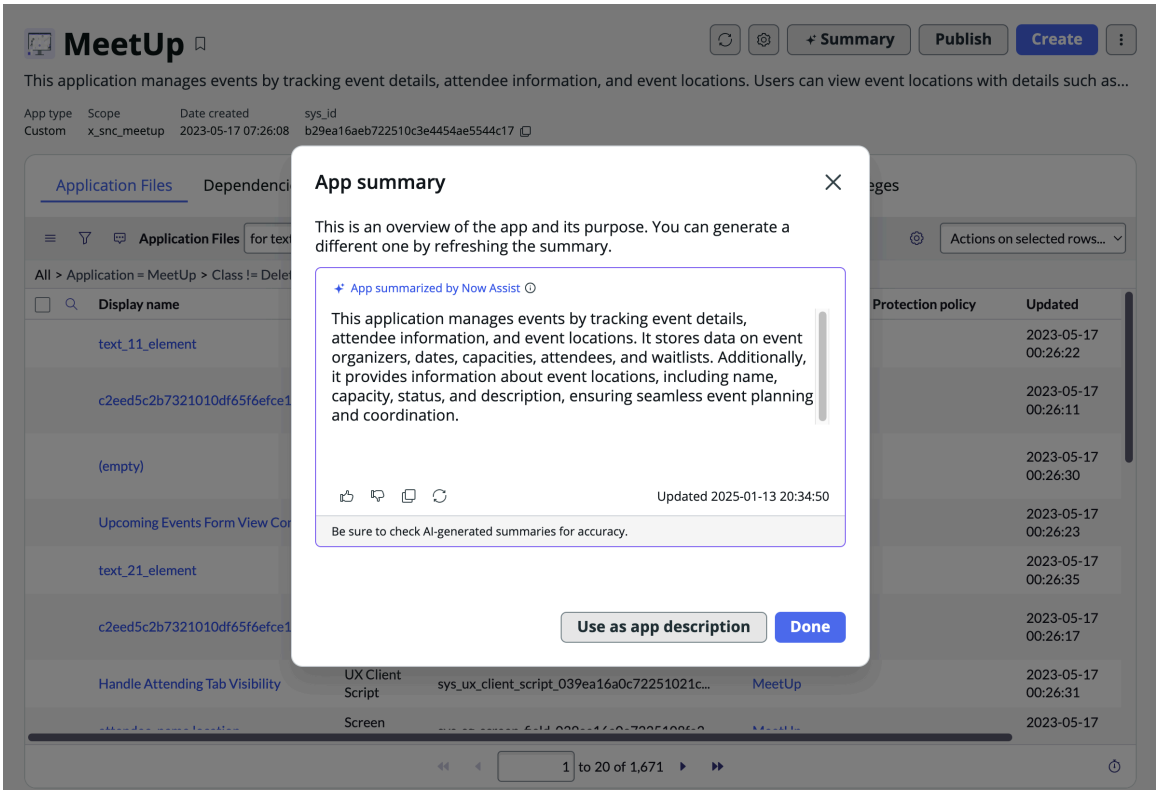
アプリのサマリーの生成

アプリのサマリー生成スキルを使用して、アプリの機能をすばやく要約します。

その後、サマリーをアプリの説明にコピーし、他のサマリーと比較して、重複するアプリを特定して排除できます。

でのアプリサマリーの生成 ServiceNow スタジオ

アプリのサマリー生成スキル



アプリのサマリーの生成

アプリのサマリーは、 Now Assist でのアプリサマリー生成の場合 ServiceNow スタジオ の製品で生成できます。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	を使用したアプリケーションのビルド ServiceNow スタジオ

レコードの要約

Now Assistによって生成されたレコードの要約から、レコードの詳細をすばやく把握できます。レコードの要約を読むことで、ケースまたはインシデントの詳細を取得でき、要求者が既に提供した情報と同じ情報を繰り返す手間を省くことができます。

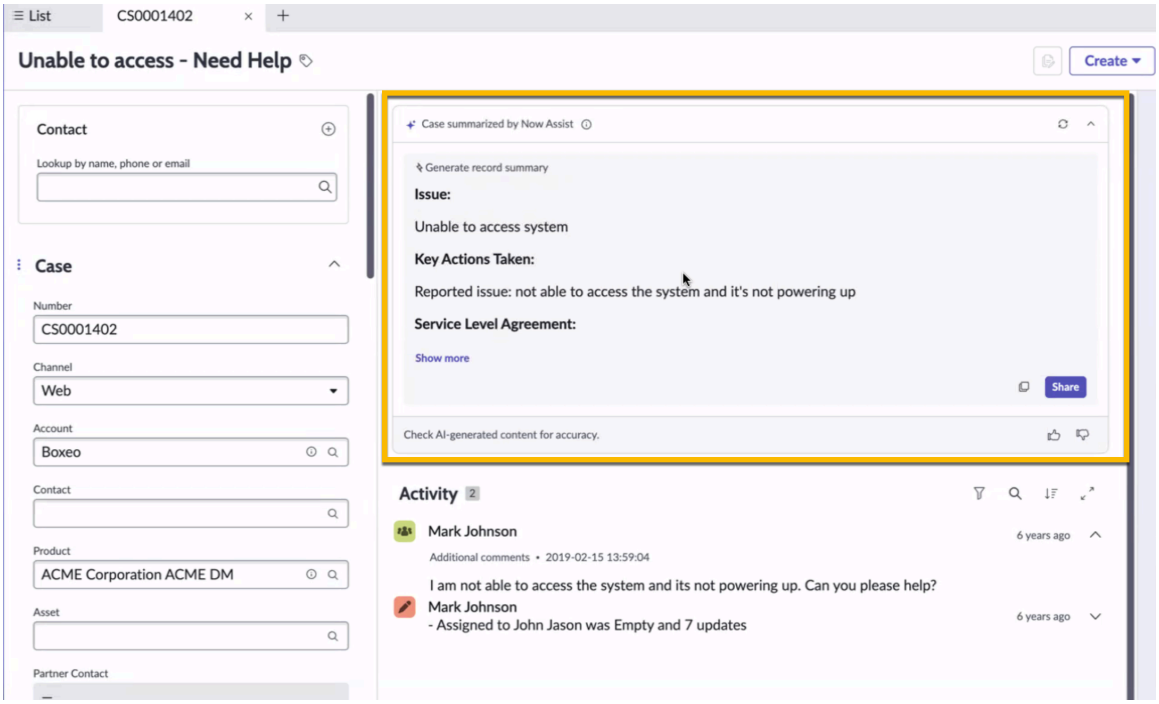
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

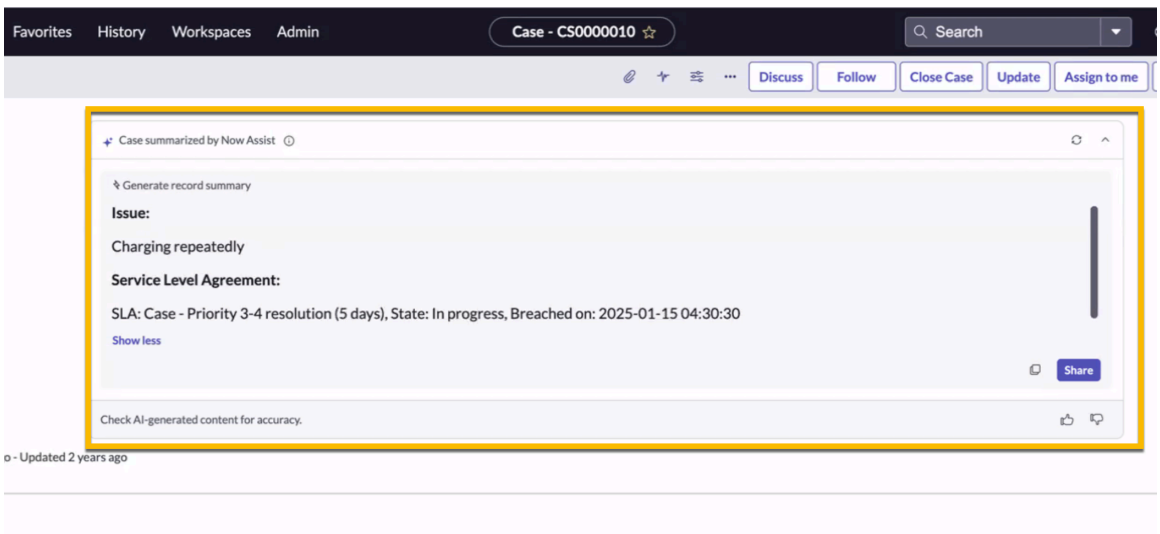
注: ServiceNow大規模言語モデル (Now LLM サービス) は、このNow Assistスキルのプロバイダーです。

次の例ではNow AssistCSM の Now AssistおよびIT Service Management の Now Assistでケース/インシデントの要約を生成しています。インシデントの要約が [アクティブなチャット] ペインに表示されます。

でのケースの要約 **CSM** の **Now Assist**ネクストエクスペリエンス



でのケースの要約 **CSM** の **Now Assist**コア **UI**

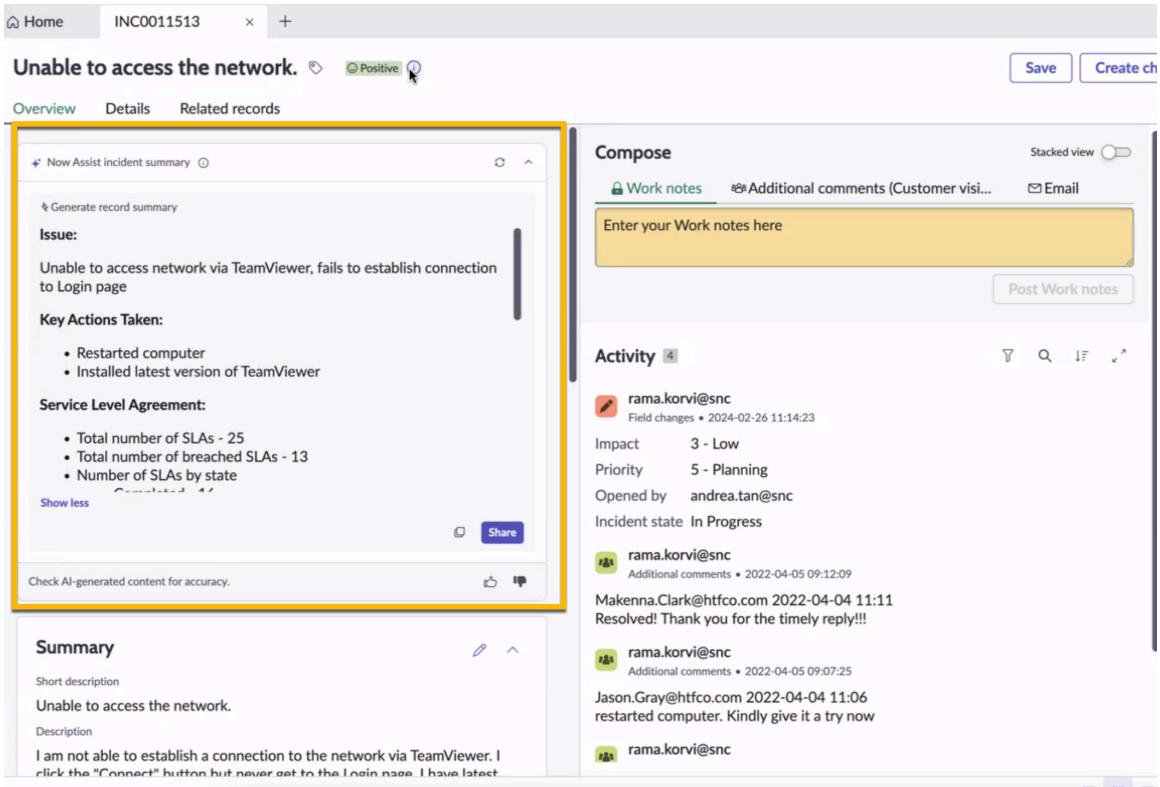


ITSM の Now Assist例では、ネクストエクスペリエンスまたはコア UIで表示できるインシデントの要約を生成しNow Assist。

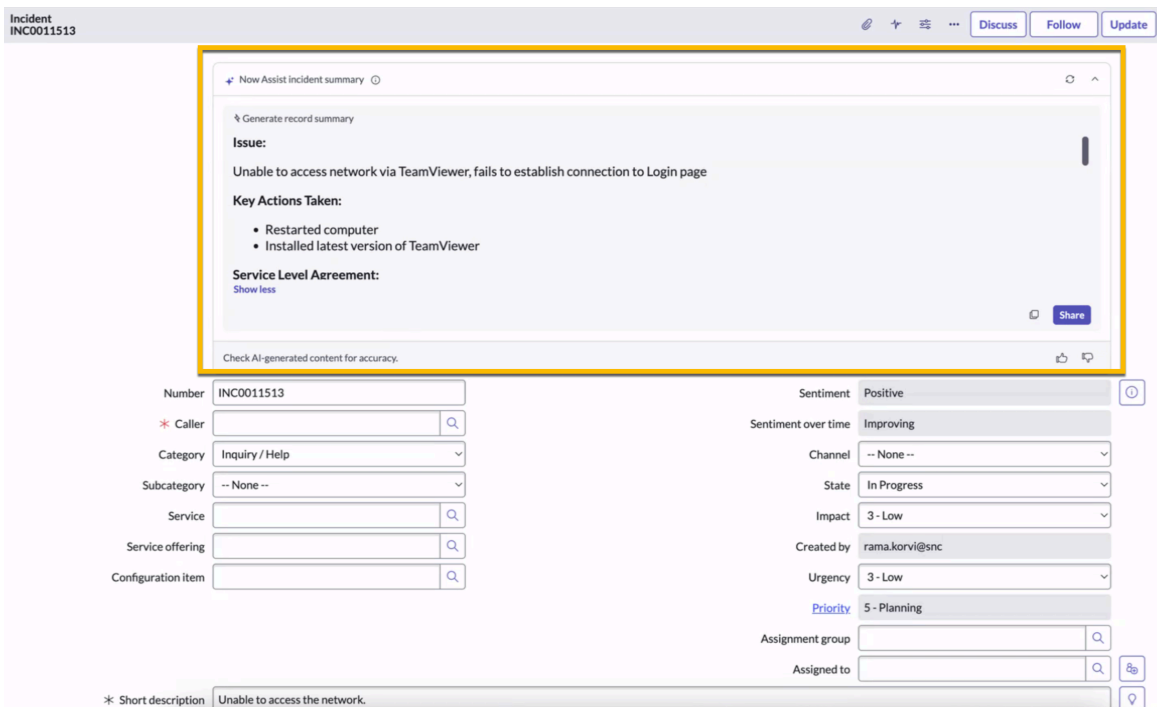
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのインシデントの要約 でのITSM の Now Assistネクストエクスペリエンス



でのインシデントの要約 でのITSM の Now Assistコア UI



ケースまたはインシデントの要約の生成

次の製品のケースまたはインシデントの要約を生成できます。

- CSM の Now Assist を使用してケースを要約
- 異議申し立てまたは請求の要約 ケースケースの要約付き

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- を使用した安全インシデントの要約 衛生安全向け Now Assist
- HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist を使用してケースを要約
- を使用して問題を要約 統合リスク管理 (IRM) 向け Now Assist
- IT Service Management の Now Assist を使用したインシデントの要約
- を使用した法的要求または法務事項の要約 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist
- セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist でセキュリティインシデントを要約
- を使用したアカウントオンボーディングケースの要約 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
- を使用したサービスの問題ケースの要約 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	統合リスク管理 (IRM) 向け Now Assist IT Service Management の Now Assist セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist
Customer (顧客)	CSM の Now Assist FSO の Now Assist 公共機関デジタルサービス (PSDS) 向け Now Assist 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
従業員	衛生安全向け Now Assist HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist
ファイナンスとサプライチェーン	買掛金オペレーション (APO) 向け Now Assist サプライヤーライフサイクルオペレーション (SLO) 向け Now Assist ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist

変更要求の要約

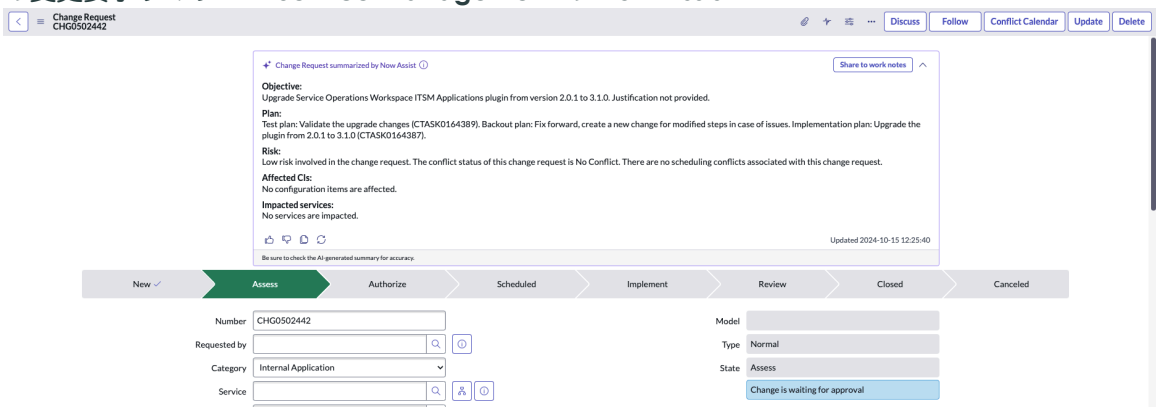
変更要求の要約スキルを使用して、現在のステータスなど、変更要求の重要な詳細をすばやくキャプチャします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

変更要求のサマリーでは、変更要求の簡潔な概要が提供されます。サマリーは変更要求ステータスに基づいており、関連テーブルの情報から生成されます。

の変更要求サマリー **IT Service Management** の **Now Assist**



変更要求サマリーの生成

次の製品で変更要求サマリーを生成できます。

IT Service Management の Now Assist を使用した変更要求の要約

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist

チャットの要約

Now Assistによって生成されたチャットの要約から、チャットの詳細をすばやく知ることができます。チャットの要約を読むことで、チャットに関する十分な詳細を取得でき、要求者が既に 仮想エージェントに提供した情報と同じ情報を繰り返す必要がなくなります。

CSM の Now Assist でチャットを要約

チャット要約スキルは、ライブエージェント間または要求者と 仮想エージェント間の会話の要約バージョンを生成します。チャットの要約は、次の状況で生成されます。

- 会話が終了したとき。
- エージェントが `/summarize` クイックアクションを エージェントチャット で使用する場合。
- ユーザーが [チャットの要約] を選択するか、[Now Assist] パネルの **[Now Assist** に質問する **(Ask Now Assist to)**] フィールドに「チャットを要約」と入力したとき。
- インタラクションが 仮想エージェント からライブエージェントに転送され、会話の長さが 6 行以上ある場合。チャットの要約は、会話のサマリーカードに表示され、インタラクションの要約フィールドと簡単な説明フィールドにも入力されます。
- ライブエージェントがインタラクションを別のライブエージェントに転送します。

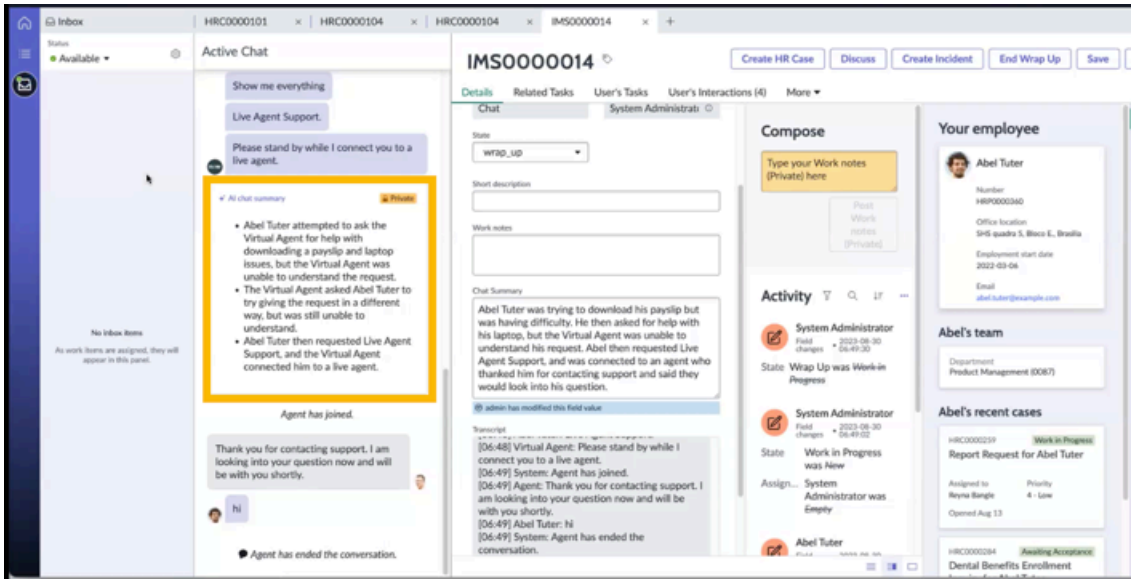
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: Now LLM サービス は、この Now Assist スキルのプロバイダーです。

Now Assistチャット推奨スキルのアクティブ化については、Now Assist アドミンコンソールでのチャット要約とチャット返信の推奨スキルの構成を参照してください。

次の例では、 Now AssistHR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assistでチャットの要約を生成しました。



チャットの要約の生成

次の製品でチャットの要約を生成できます。

- CSM の Now Assist を使用したチャット会話の要約
- HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist を使用したチャット会話の要約
- IT Service Management の Now Assist を使用したチャット会話の要約

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist
Customer (顧客)	CSM の Now Assist
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist

構成アイテム **(CI)** の要約

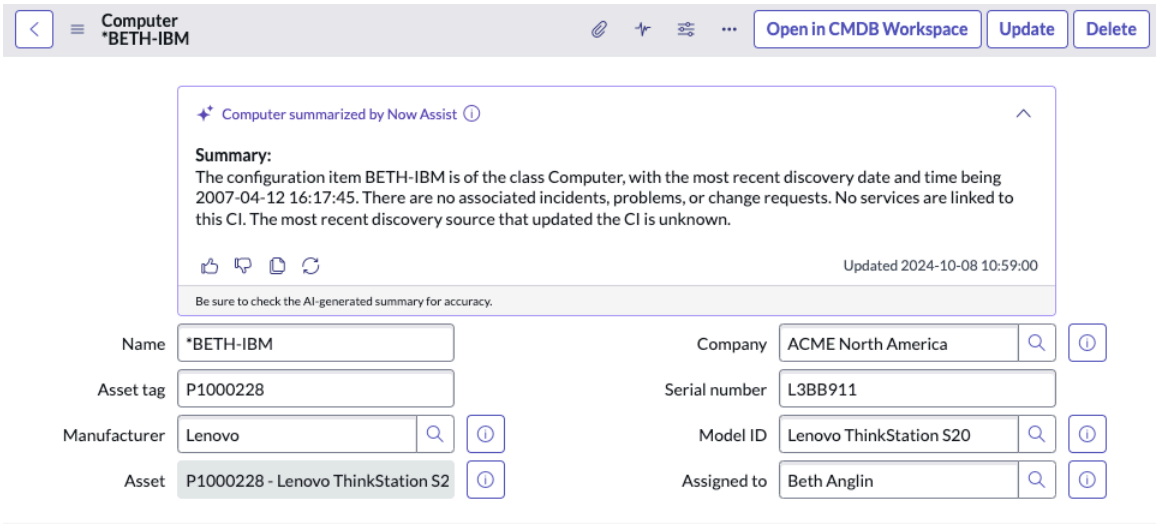
構成アイテム (CI) は、インシデント管理やイベント管理などの多数の機能の中心的な要素であり、それぞれのインシデントとアラートに関連付けられています。このスキルは、これらすべてのインシデント、アラート、セキュリティ脆弱性、および関連レコードを単一のサマリーにまとめます。

Now Assistを使用して、構成アイテムとそれに関連付けられているすべての情報のサマリーを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistサマリーを含む構成アイテム



詳細については、「CMDB 向け Now Assist」と「構成管理データベース (CMDB)」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	CMDB 向け Now Assist

のレコードの相関インサイト セキュリティオペレーション

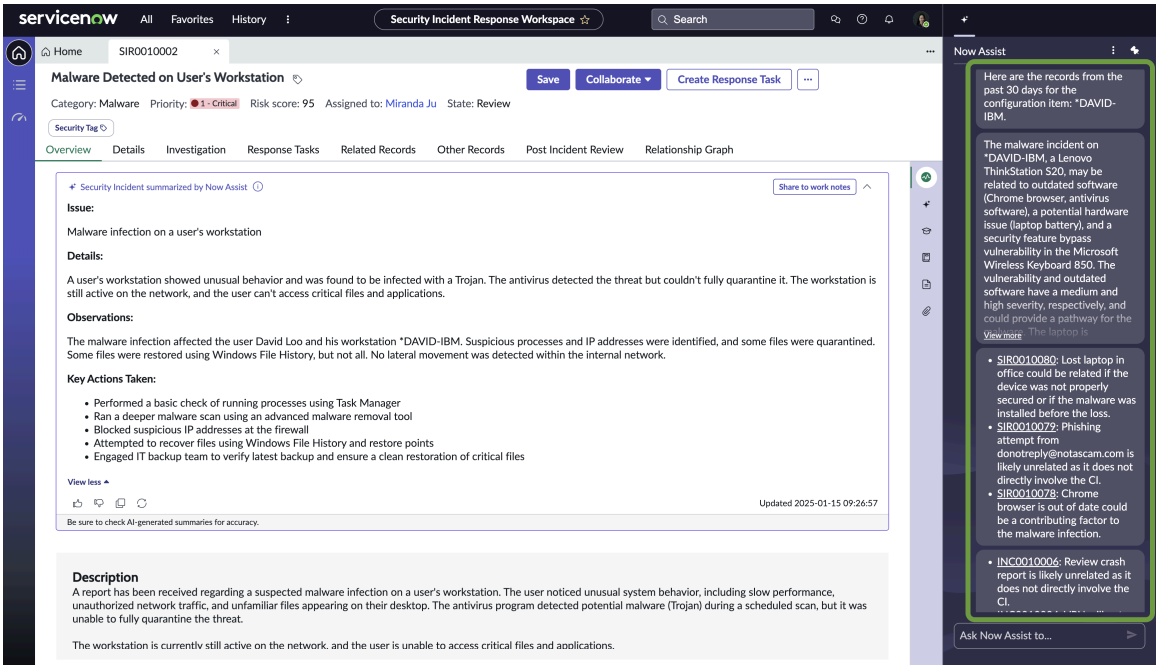
Now Assistパネルから相関に関するインサイトを生成して、過去のイベントを作業中のセキュリティインシデントに関連付けるのに役立ちます。

既存のセキュリティインシデント (SIR)、インシデント (INC)、変更要求 (CHG)、問題 (PRB)、および脆弱性一致アイテム (VIT) のレコードから生成した関連情報を使用して、作業しているセキュリティインシデントで調査が重複することを回避できます。既存の影響を受けるユーザー、構成アイテム、および観測事象に関する情報を取得して、新しいセキュリティインシデントをより迅速に解決できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティインシデントの **[Now Assist]** パネルから構成アイテムに対して生成された相関インサイトの結果を返します



相関インサイトの生成

セキュリティインシデントレスポンスの Now Assist を使用した相関インサイト を使用して、相関インサイトを生成できます。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist

プロジェクトサマリーをメールで送信

プロジェクトマネージャーがマイルストーン、リソースのアサイン、タスク、財務、RIDAC (リスク、問題、意思決定、アクション、変更要求)、プロジェクト全体のメトリクスなどの重要な要素を追跡できるように、プロジェクトサマリーメールをスケジュールします。

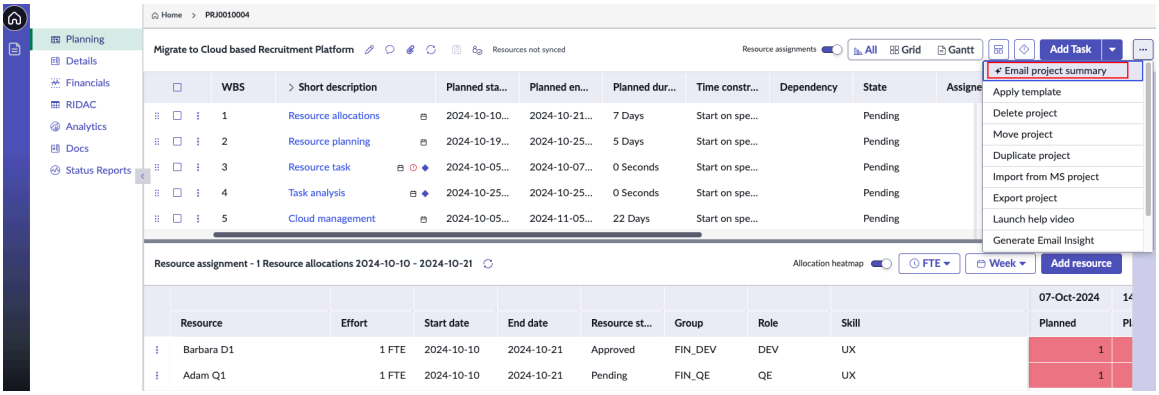
戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist アプリケーションには、プロジェクトマネージャーがプロジェクトからサマリーを生成できるようにする生成 AI のスキルと機能が含まれています。プロジェクトマネージャーは、メールプロジェクトサマリースキルを使用してプロジェクト変更を分析し、その影響度と緊急度に基づいて優先順位を付けることができます。

> **注:** Now LLM サービス は、メールプロジェクトサマリー Now Assist スキルのデフォルトのプロバイダーです。Azure OpenAI AI プロバイダーを選択することもできます。詳細については、「生成 AI コントローラーの構成」を参照してください。

次の例では、 Now Assist によってプロジェクトのサマリーが プロジェクトワークスペースで生成されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のプロジェクトサマリースキルをメールで送信 プロジェクトワークスペース



詳細については、「Email project summary スキルを使用してプロジェクトサマリーメールをスケジュールする」を参照してください。

可用性

このスキルは、次の表に示すように、ワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist

エンゲージメントと試金石の要約

このスキルを使用して、リスク、イニシアチブ、結果、ケース、内部プレイを含むエンゲージメントのサマリーを作成します。エンゲージメントライフサイクルにおけるさまざまなタッチポイントのサマリーを作成することもできます。

エンゲージメントサマリースキルは、エンゲージメントに関連するすべてのアクティビティと情報の重要なポイントの簡潔なサマリーを提供します。このスキルを使用すると、次のタスクを実行できます。

- コンテキストを理解できるように、エンゲージメントの初期サマリーを生成します。
- エンゲージメントに関連付けられているすべての作業を要約します。

タッチポイントサマリースキルは、エンゲージメントライフサイクルにおけるさまざまなタッチポイントの簡潔なサマリーを提供します。このスキルを使用すると、次のタスクを実行できます。

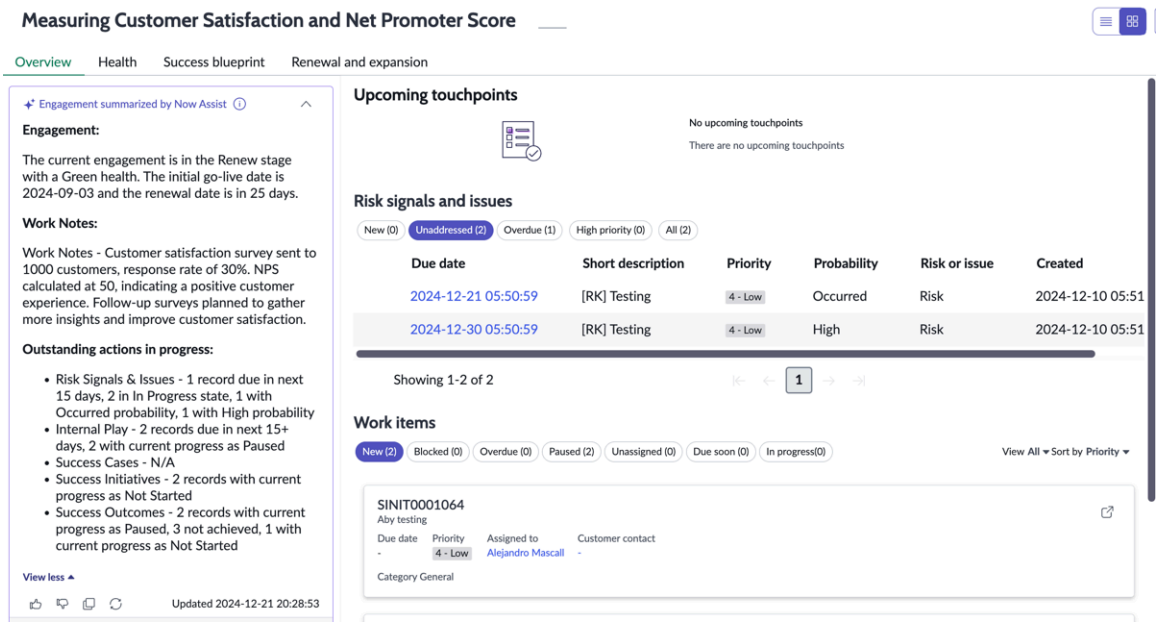
- コンテキストを理解できるように、タッチポイントの初期サマリーを生成します。
- タッチポイントに関連するすべての作業を要約します。

どちらのスキルも、CSM/FSM 構成可能ワークスペースと コア UI で使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成可能ワークスペースのエンゲージメントサマリー



詳細は、以下のトピックを参照してください。

- を使用したエンゲージメントの要約 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
- を使用したタッチポイントの要約 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

可用性

このスキルは、次の表に示すように、ワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
カスタマー	通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

ストーリーの生成

エンタープライズアジャイル計画 (EAP) ワークスペースでNow Assistを使用して、エピックをストーリーに分類します。プロダクトマネージャーまたはスクラムリーダーは、時間を節約し、ストーリーの機能ギャップを減らすことで、全体的な品質と生産性を向上させることができます。

通常、プロダクトマネージャーとスクラムリーダーは、エピックの詳細なストアの作成に時間と労力を費やします。多くの場合、手動で作成されたストーリーは、コンテキストと完全な情報が不足し、十分に詳細ではない傾向があります。この情報の欠如は、スクラムチームによる要件の理解に影響を与え、製品の品質に影響を与えます。また、各エピックの詳細な個々のストーリーを手動で作成すると、かなりの時間がかかります。

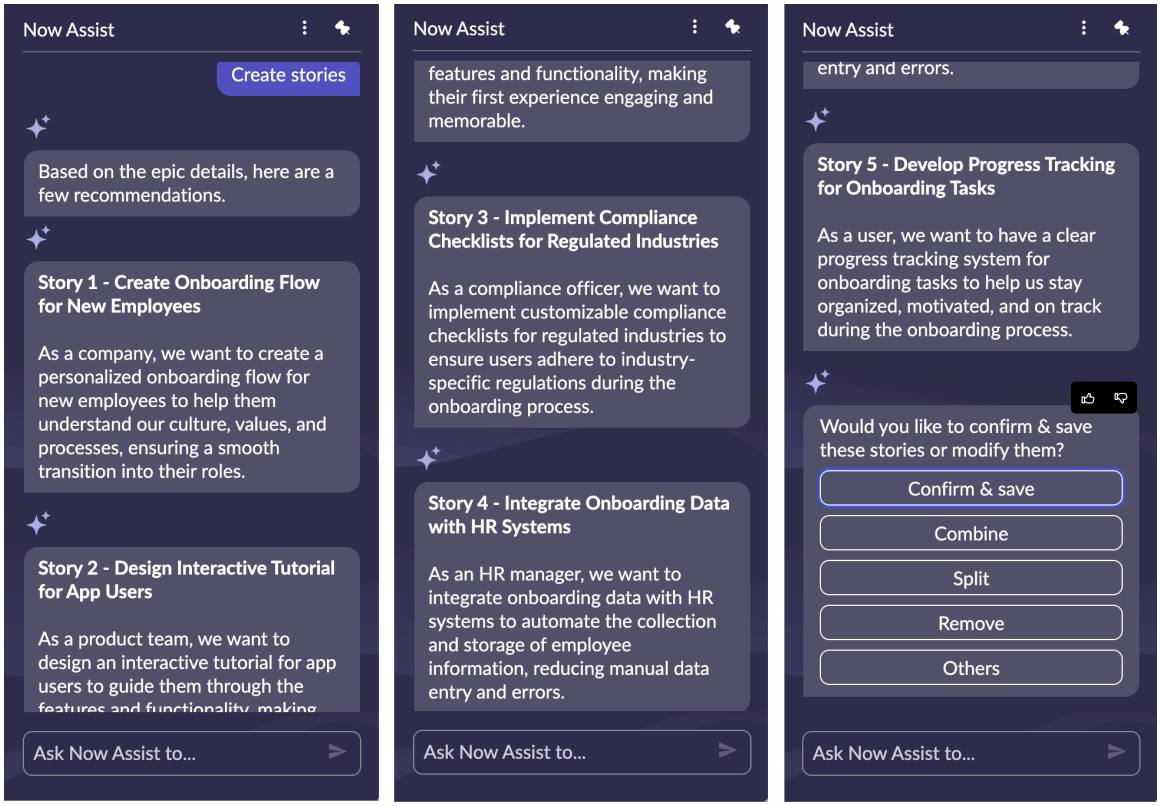
戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist アプリケーションには生成 AI のスキルと機能が含まれており、プロダクトマネージャーとスクラムリーダーがエピックのコンテキストベースのストーリーを自動的に生成できるようにします。ストーリー生成スキルにより、 Now Assist はエピックの名前、説明、および既存のストーリーを使用して、エピックのストーリーの推奨事項を提供します。推奨事項に基づいて、次のいずれかを実行するように Now Assist に依頼できます。

- ストーリーの推奨事項を複数のストーリーに分割します。
- 複数のストーリーの推奨事項を 1 つのストーリーにまとめます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 元の推奨事項に従ってストーリーを生成します。
- ストーリーの推奨事項を削除します。
- ストーリーのタイトル、ペルソナ、説明など、推奨事項内の詳細の変更を提案します。
- 新しいストーリーの推奨事項の生成を提案します。



このように、 Now Assist を使用してエピックのストーリーを生成することで、プロダクトマネージャーは高品質のストーリーの作成に費やす時間を短縮し、スクラムチーム全体の生産性を向上させることができます。

このスキルの使用方法については、「 を使用した EAP のエピックからのストーリーの生成 SPM 向け Now Assist 」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	• 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist • 戦略的計画での エンタープライズアジャイル計画

フィードバックとマルチフィードバック要約

Now Assistによって生成されたフィードバック要約またはマルチフィードバック要約を使用して、受け取った 1 つまたは複数のフィードバックを要約します。フィードバックサマリーを読むことで、製品マネージャーは製品の機能、使いやすさ、およびパフォーマンスを向上させるための十分な詳細を取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

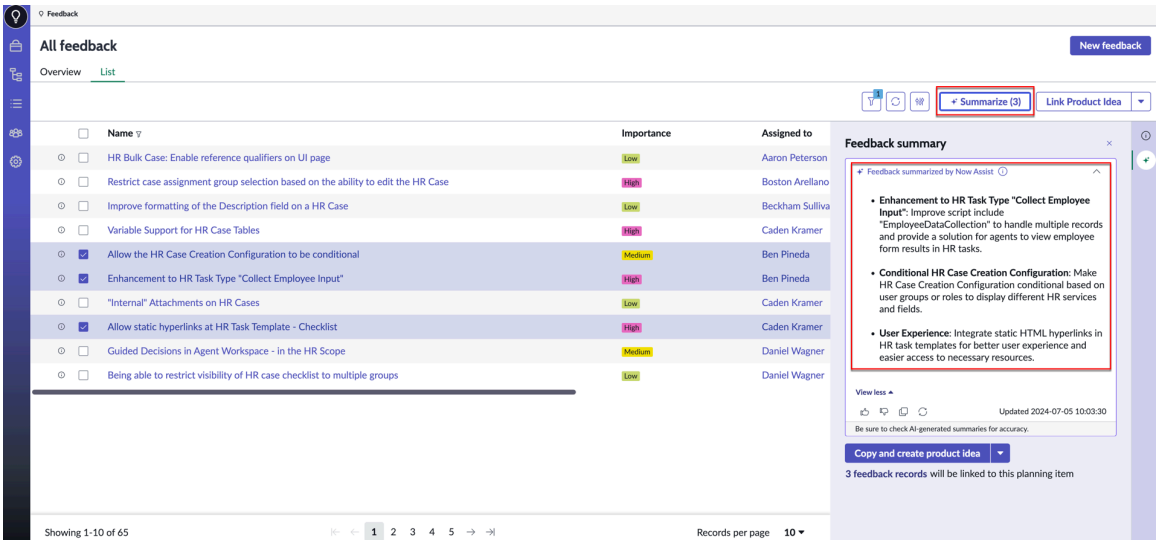
https://player.vimeo.com/video/1016235687?h=c41764ac08&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist アプリケーションには、プロダクトマネージャーが顧客フィードバックからサマリーを生成できるようにする生成 AI のスキルと機能が含まれています。製品マネージャーは、フィードバックコンテキストをすばやく理解できるように、1 つまたは複数のフィードバックレコードの名前と説明からサマリーを生成できます。フィードバック要約またはマルチフィードバック要約スキルを使用すると、製品マネージャーはフィードバックを手動で分析する必要がなくなります。

注: Now LLM サービス は、フィードバック要約またはマルチフィードバック要約 Now Assist スキルのデフォルトのプロバイダーです。Azure OpenAI AI プロバイダーを選択することもできます。詳細については、「生成 AI コントローラーの構成」を参照してください。

次の例では、戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist でマルチフィードバック要約を生成しNow Assist。

マルチフィードバック要約スキル



詳細については、「戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist を使用したフィードバックの要約」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist

の履行者の要約 調達サービス管理

要求とその関連レコードを要約して、進捗状況とアクションアイテムについて履行者に迅速に報告します。

これらのスキルは、調達関連レコードの概要を履行者に提供します。これにより、調達プロセスにおけるレコードのステータスを可視化できるため、必要なアクションを迅速に実行できます。

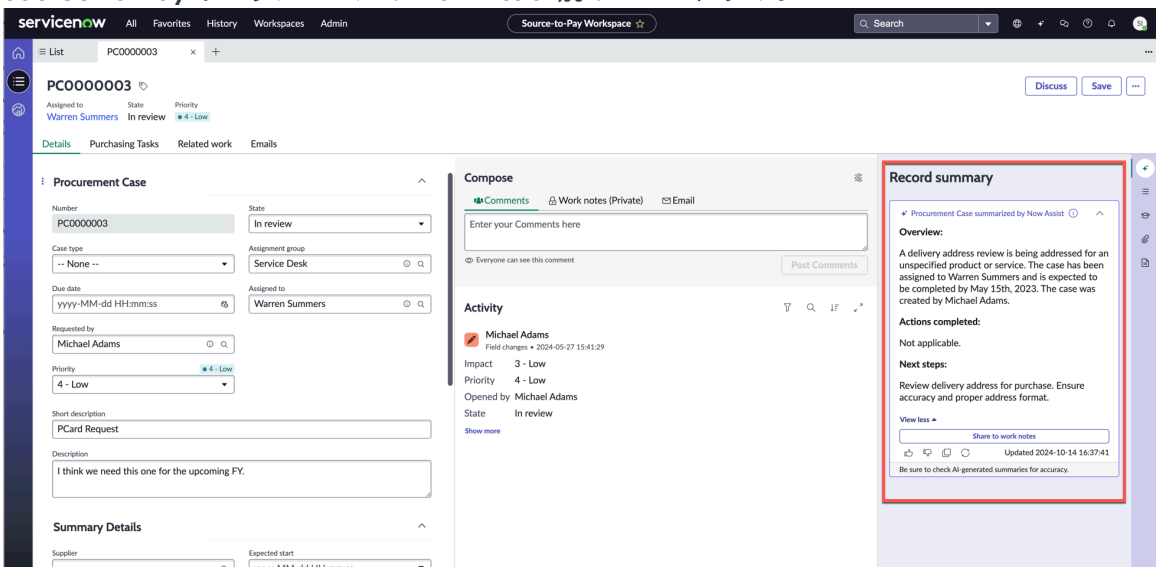
履行者は、 調達ワークスペースを使用して次の調達レコードのサマリーを取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 調達要求の要約
- 購買要求の要約
- 調達ケースの要約

詳細については、「で ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist を使用したレコードの要約 調達ワークスペースSource-to-Pay ワークスペース」を参照してください。

Source-to-Pay ワークスペースの **Now Assist** 別のレコードサマリー



可用性

このスキルは、次の表に示すように、ワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
ファイナンスとサプライチェーン	ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist

生成 **AI** ドキュメント

Now Assistによって生成された生成 AI Docs を使用して、ドキュメントのコンテンツを要約します。ドキュメントの概要を読むことで、製品またはプロジェクトの機能、使いやすさ、およびパフォーマンスを向上させるのに十分な詳細を取得できます。

これらの生成 AI スキルを使用してドキュメントからサマリーを生成し、ドキュメントを手動で分析する必要がなくなります。次のスキルは、 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist および エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist で利用できます。

- ADR Doc 要約とアクション
- EAP チーム Gen AI Docs
- 計画アイテム生成 AI Docs
- プロジェクト Gen AI Docs

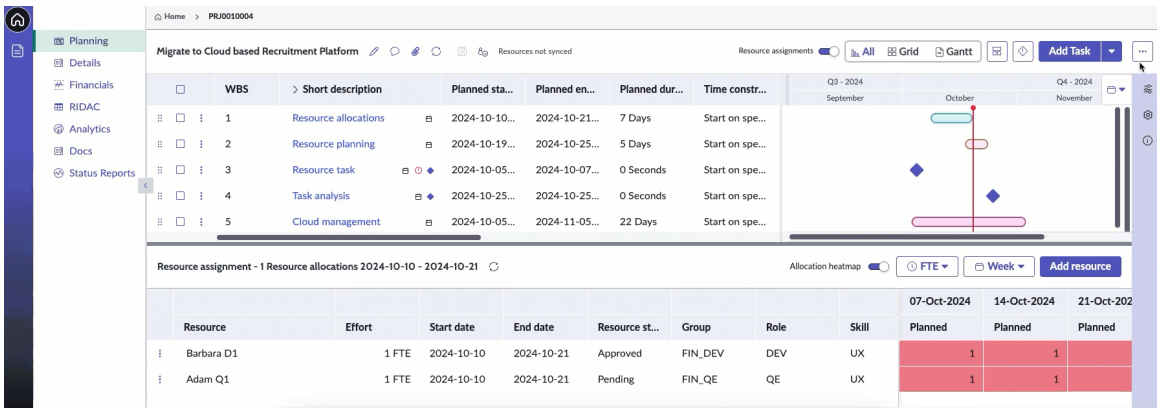
注: Now LLM サービス は、これらの Now Assist スキルのデフォルトのプロバイダーです。Azure OpenAI AI プロバイダーを選択することもできます。詳細については、「生成 AI コントローラーの構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次の例では、 Now Assist戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assistでドキュメントサマリーを生成しました。

Gen AI Docs スキル



詳細は、以下のトピックを参照してください。

- のプロジェクトドキュメント要約とアクションスキルを使用して、選択したコンテンツまたは完了したコンテンツのサマリーを生成します プロジェクトワークスペース
- の計画立案アイテムのドキュメント要約とアクションスキルを使用して、選択したコンテンツまたは完了したコンテンツのサマリーを生成します 戦略的計画
- アーキテクチャ決定レコード (ADR) のサマリーの生成

可用性

このスキルは、次の表に示すように、ワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist

パブリッシャーコンプライアンスの要約

このスキルを使用して公開者の詳細の包括的なサマリーを生成し、公開者コンプライアンスの詳細を理解しやすくします。

ソフトウェアインベントリ、ライセンスコンプライアンス、最適化、および構成の健全性に焦点を当てて、パブリッシャーの概要に関するインサイトを提供します。簡素化されたプロセスでは、ソフトウェア資産に関する重要な情報が強調表示されるため、ライセンスの管理と公開者契約の遵守が容易になります。

詳細については、「を使用したパブリッシャーのコンプライアンスサマリーの生成 ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist 」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	ソフトウェア資産管理 (SAM) 向け Now Assist

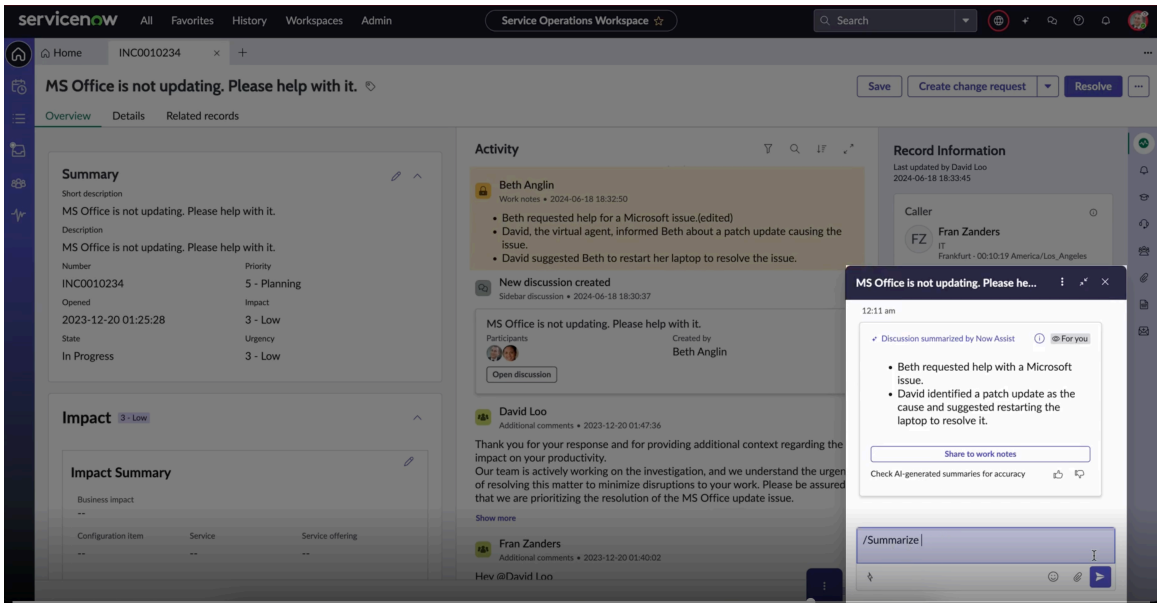
サイドバー 要約

サイドバーディスカッションの要約スキルを使用して、エージェント、要求者、および該当分野のエキスパート間のサイドバーディスカッションのサマリーを生成します。

サイドバーサイドバーを有効にした任意のタスクテーブルでディスカッションの要約を使用できます。

Microsoft Teams と統合されたチャットサイドバー要約もサポートされています。詳細については、「サイドバー と Microsoft Teams 」を参照してください。

ワークスペースでの サイドバー ディスカッションの要約



サイドバーディスカッションの要約の生成

次の製品でチャット返信の推奨事項を生成できます。

- CSM の Now Assist を使用したサイドバーディスカッションの要約
- IT Service Management の Now Assist を使用したサイドバーディスカッションの要約

可用性

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist
Customer (顧客)	CSM の Now Assist フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

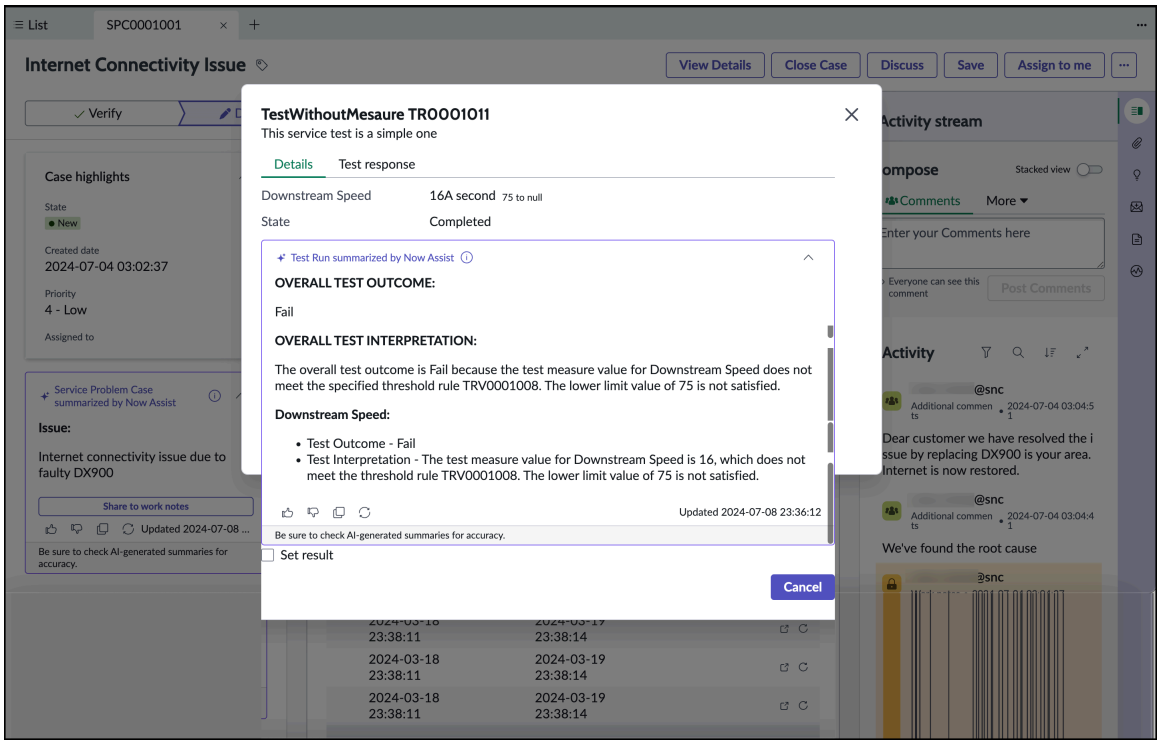
テストの要約

このスキルを使用して、テストの実行後にテスト実行サマリーを作成します。これには、テスト出力、テストの解釈、その他の定義されたテストパラメーターなど、テストの実行中にカバーされる主なポイントが含まれます。

テスト要約スキルは、テスト結果、テストの解釈、および特定のテスト定義に対して構成されたその他のパラメーターを含む、サービスの問題またはテクノロジー製品サポートケースに対して実行されたテストの簡潔な要約を提供します。このスキルを使用すると、テストサマリーを生成して、問題の根本原因を分析できます。

テストの要約スキルは、CSM/FSM Configurable Workspace および コア UIで使用できます。

ワークスペースウィンドウのテストサマリー



詳細は、以下のトピックを参照してください。

- を使用したサービス問題ケースのテストの要約 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist
- を使用したテクノロジー製品サポートケースのテストの要約 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

可用性

このスキルは、次の表に示すように、ワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
カスタマー	通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

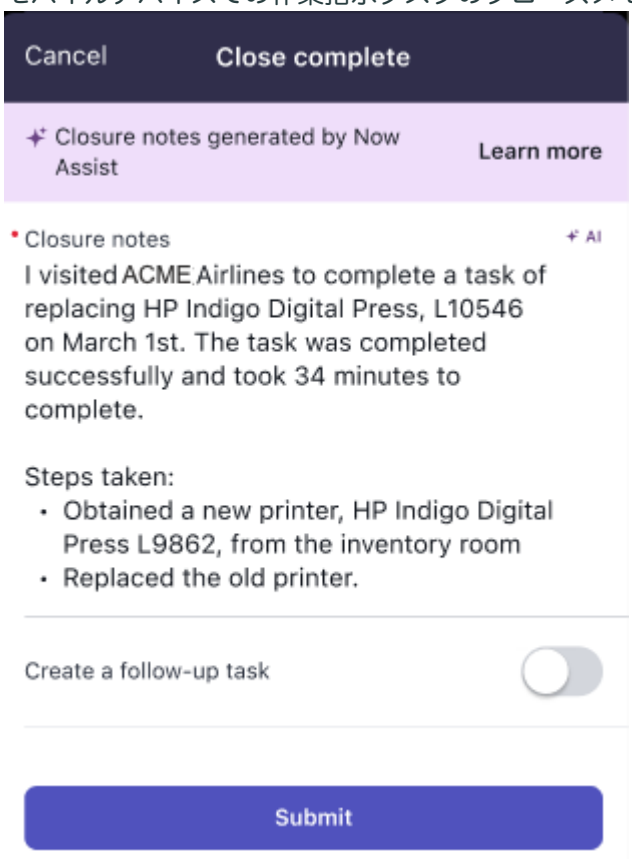
作業指示タスククローズの要約

フィールドサービスエージェントは、 Now Assist を活用して詳細なメモを作成し、作業指示タスクをより迅速にクローズできます。

注: Now LLM サービス は、この Now Assist スキルのプロバイダーです。

次の例では、モバイルアプリに表示される作業指示書タスクの要約 Now Assist を生成しました。

モバイルデバイスでの作業指示タスクのクローズメモの例



詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションで作業指示タスククローズサマリーを生成する」と「作業指示タスクサマリーの生成」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
カスタマー	フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist

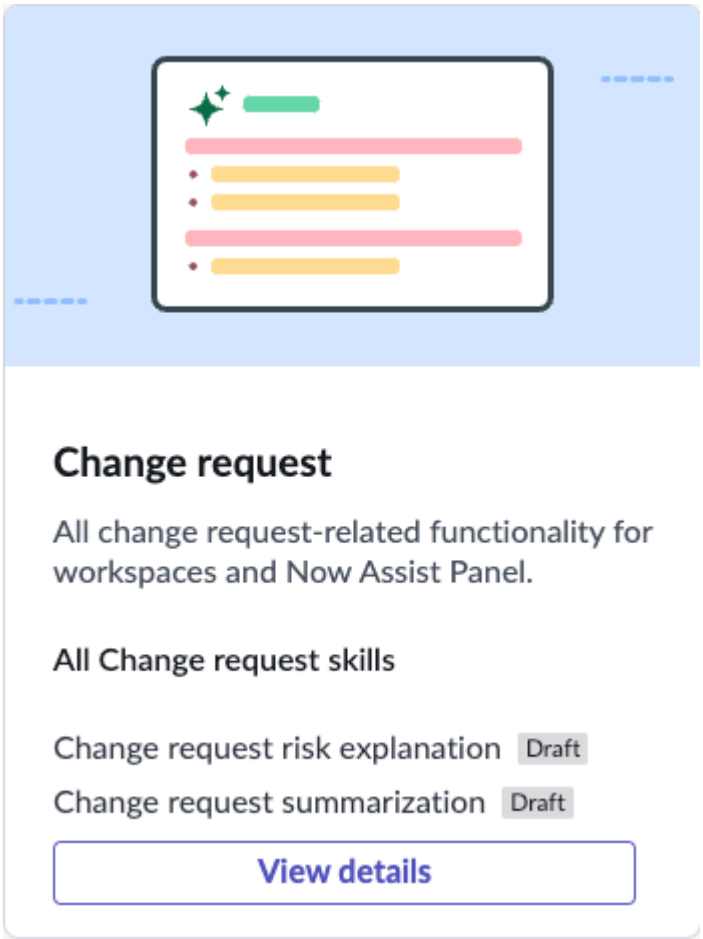
Now Assist 説明スキル

これらの Now Assist スキルは、 Now Platformのテーブル値を理解するための生成 AI 機能を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

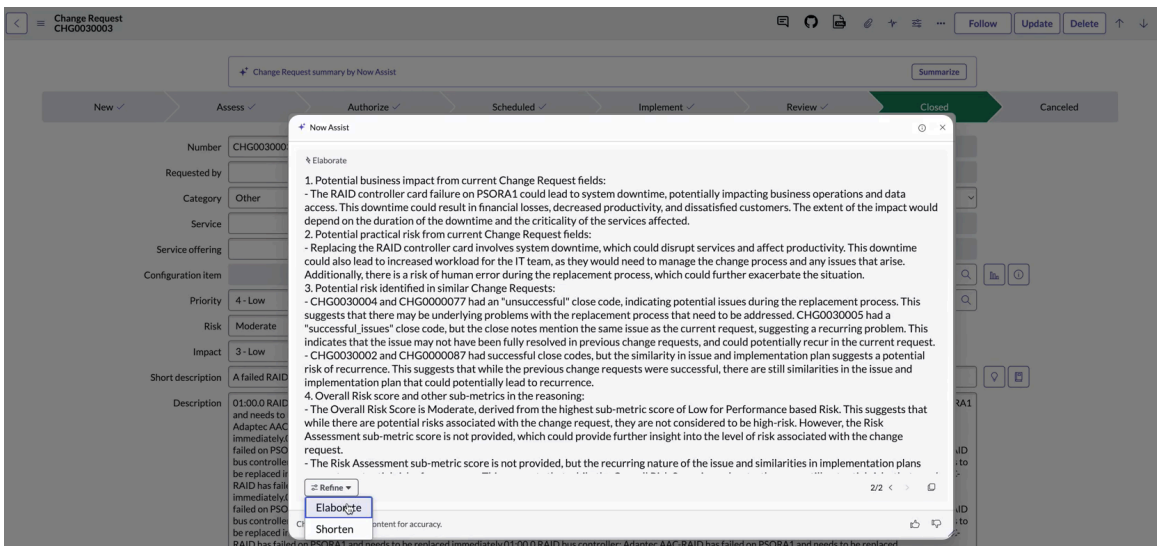
の変更要求スキルの例 **Now Assist** アドミン



変更要求リスクの説明

このスキルを使用して、変更要求の計算済みリスク評価の説明を表示します。

リスクを計算するには、変更要求の [リスク] フィールドで [Now Assist] アイコン Now ✦結果は低、中、または高です。



詳細については、「を使用して変更要求のリスクを説明する IT Service Management の Now Assist」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

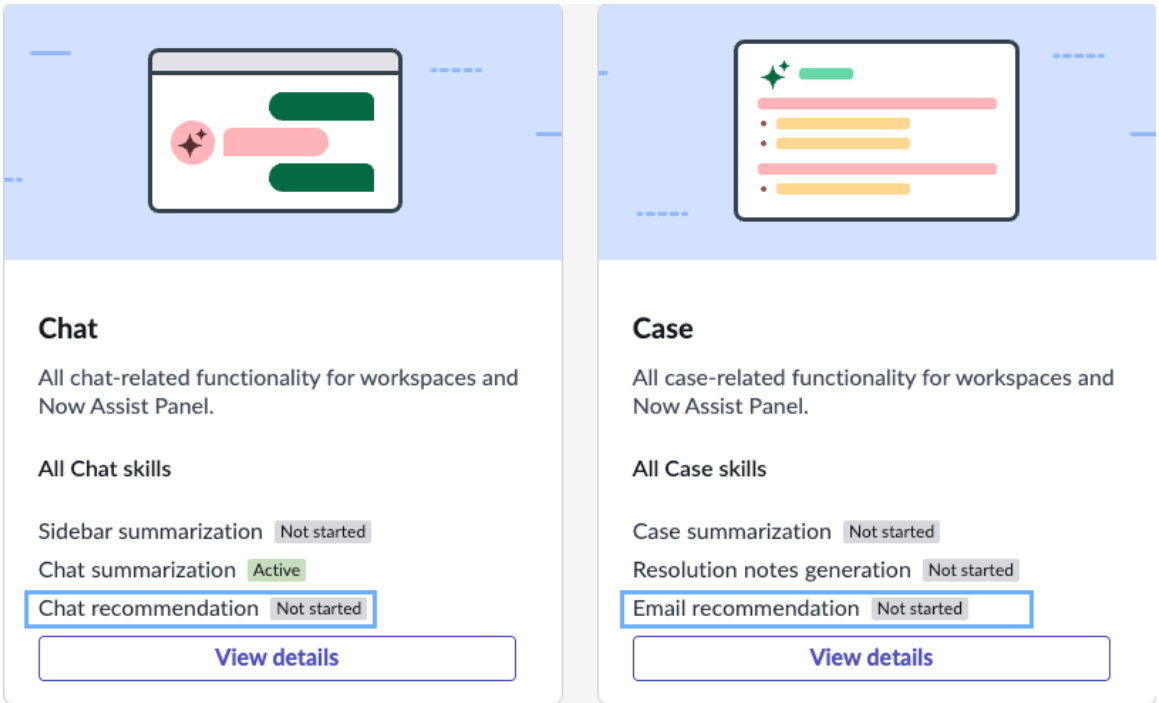
Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist

Now Assist 推奨スキル

これらのスキルは、チャットやメールの返信に対する生成 AI の推奨事項と、セキュリティインシデントに対する推奨アクションを提供します。

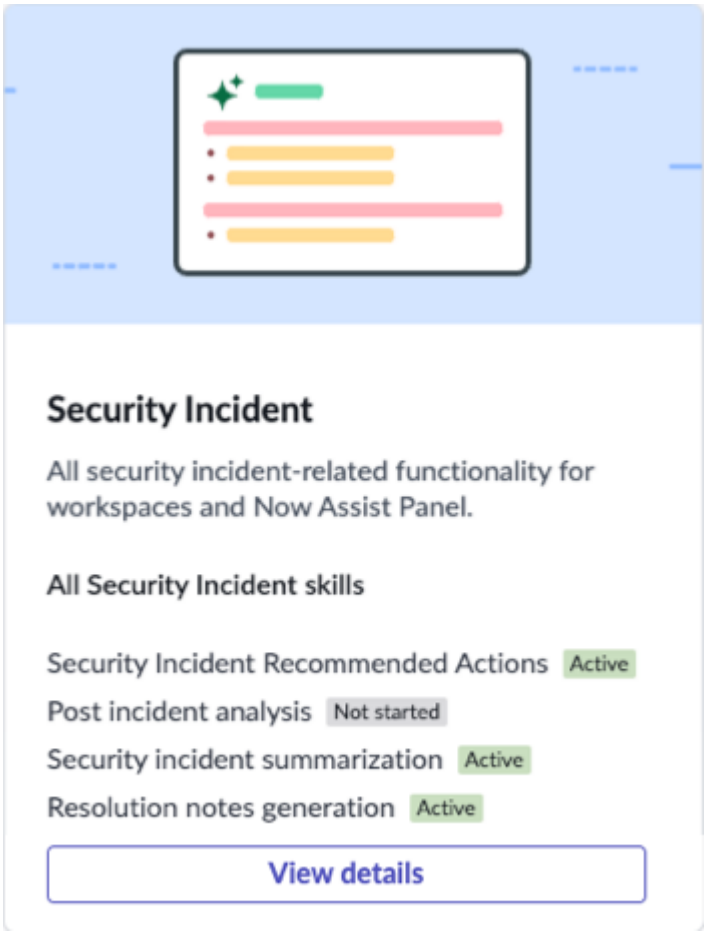
の返信推奨スキルの例 **CSM** の **Now Assist**



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セキュリティインシデントの推奨アクションスキルを含むセキュリティインシデントスキルタイル



チャットの推奨

Now Assistを使用して、チャット会話のコンテキストに基づいて返信を生成します。チャット返信の推奨事項は、一般的な質問に対する迅速な返信をエージェントに提供します。

チャット返信の推奨スキルでは、エージェントにポップアップウィンドウが表示され、これを使用して「Now Assistで書く」で推奨事項を生成し、返信として送信する前にレビューできます。チャットメッセージウィンドウで、応答を入力するか空白のままにして、Now Assistアニメーションアイコン✨を選択します

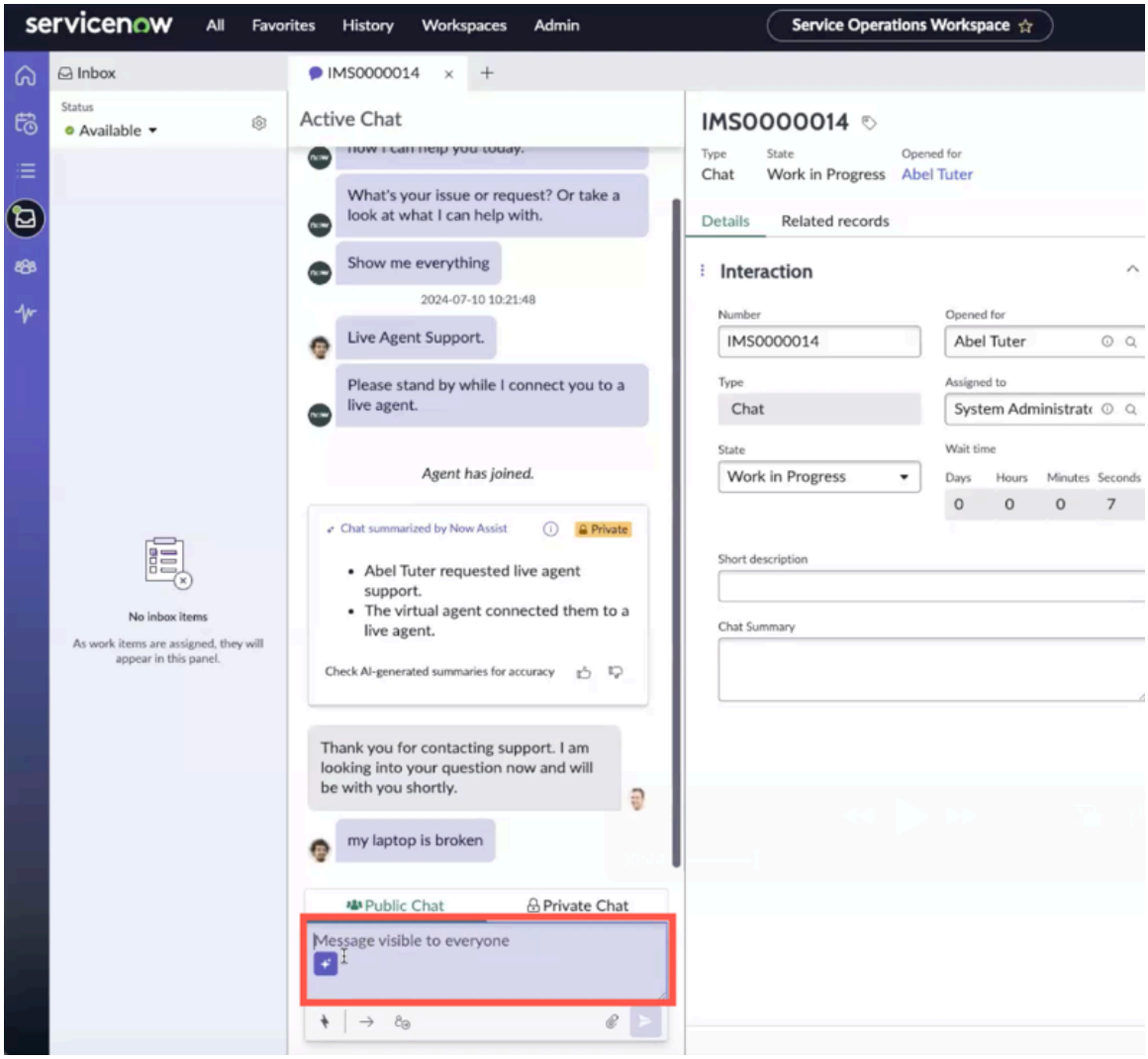
Now Assistチャット推奨スキルのアクティブ化については、Now Assist アドミンコンソールでのチャット要約とチャット返信の推奨スキルの構成を参照してください。

注: 返信の推奨事項は、KB 記事、類似のチャット、および会話のコンテキストに基づいて生成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースで返信の推奨事項を生成する



チャット返信の推奨事項の生成

次の製品でチャット返信の推奨事項を生成できます。

- CSM の Now Assist を使用したチャット返信の推奨事項の生成
- IT Service Management の Now Assist を使用したチャット返信の推奨事項の生成

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist
Customer (顧客)	CSM の Now Assist
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メール推奨文

Now Assistを使用して、会話のコンテキストに基づいてメールの推奨事項を生成し、テンプレートを提案します。このスキルは、エージェントがメールの下書きをすばやく作成し、集中力を維持するのに役立ちます。

メール応答の推奨事項は、新規、転送、返信の各シナリオで生成できます。メール推奨スキルでは、エージェントにポップアップウィンドウが表示され、返信の推奨事項を生成したり、新しいメールを作成したり、ドラフトを完成させたりすることができます。また、このスキルでは、ケースコンテキストに基づいて、テンプレートのリストから最も関連性の高いテンプレートを推奨します。電子メール メッセージ ウィンドウで、応答を入力するか空白のままにして、 Now Assist アニメーション アイコン を選択します。

Now Assistコンテキストメニューから次のアクションを実行できます。

- ケースとメールコンテキストに基づいて、推奨されるメール応答を生成します。
- 新規、転送、および終了ドラフトメールの推奨メールを生成します。
- 返信推奨文を詳しい説明にしたり短くしたりして整えます。
- メール作成時のメールテンプレートの推奨事項の可用性。

注:

- 返信の推奨事項は、KB 記事、類似のチャット、および会話のコンテキストに基づいて生成されます。
- メール推奨スキルは、顧客グループのケーススキルカードにあります。詳細については、「CSM の Now Assist」を参照してください。
- 推奨メールスキルは、ITSM の Now Assist スキルのインシデントスキルカードにあります。詳細については、「IT Service Management の Now Assist」を参照してください。
- 現在、 生成 AI アプリケーション は英語でのみサポートされています。

ワークスペースと Ui16 またはクラシックエクスペリエンスのさまざまな 生成 AI アプリケーション 機能にもアクセスできます。

- メール応答の推奨事項の生成
- メールテンプレートの推奨事項

注: Now Assist アドミンパネルのシステムプロパティglide_ui_load_seismic_email_clientを有効にして、ワークスペースと一貫性を持って、UI16 で新規およびアップグレードされたメールクライアントエクスペリエンスをロードします。システムプロパティを自動的に有効にするこの変更は、 生成 AI アプリケーション メールスキルが初めて有効になったときにのみ適用されます。インスタンスに既に 生成 AI アプリケーション が構成されていて、Ui16 またはクラシックエクスペリエンスでこれらの機能にアクセスする場合は、システムプロパティを手動で有効にできます。デフォルトでは、このシステムプロパティは false です。

アップグレードされたメールクライアントへのアクセスは、事業部門によってカスタマイズされたメールオプションでは利用できません。UI 16 でアップグレードされたメールクライアントを使用するように、sys-email テーブルを更新し、ビジネスルールを修正してください。

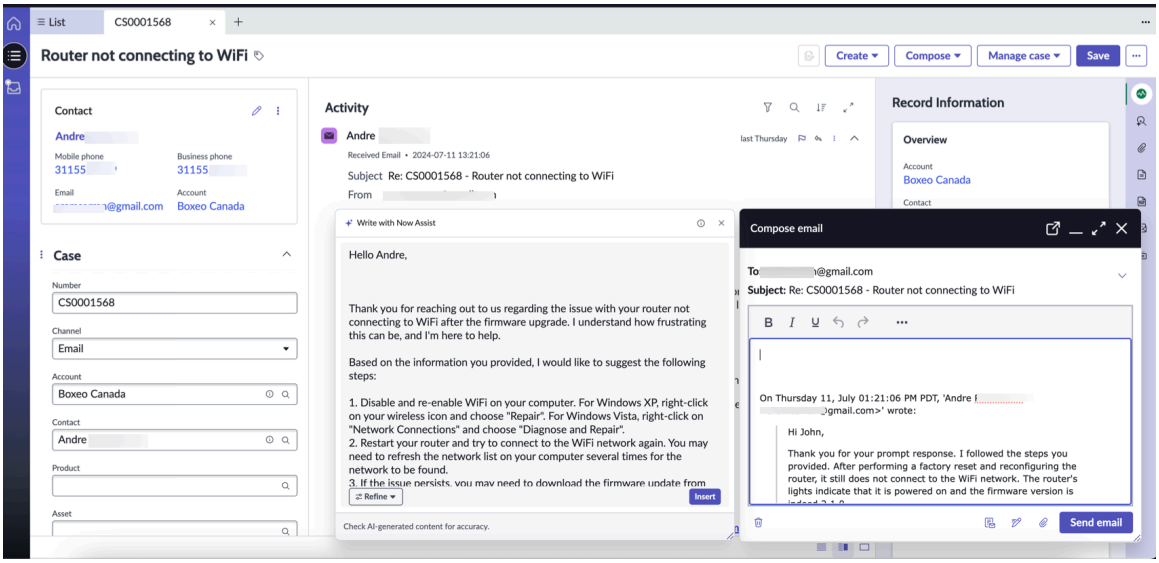
Now Assist によるメール応答の推奨事項の生成

メール応答の推奨事項を生成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メール返信の推奨事項

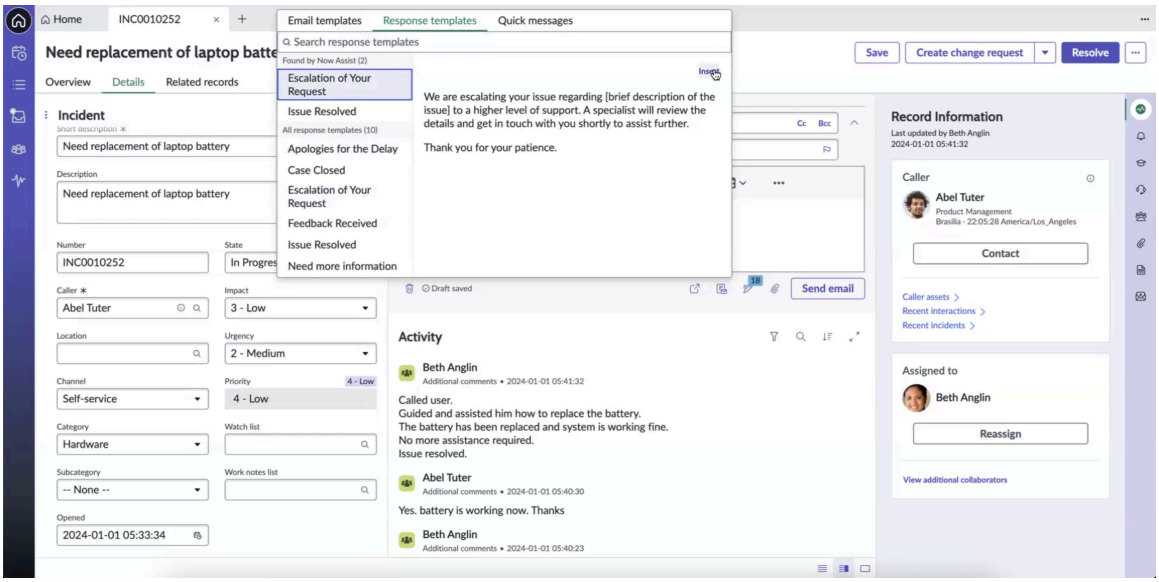


詳細については、「CSM の Now Assist を使用したメール返信の推奨事項の生成 」を参照してください。

Now Assist によるテンプレートの推奨事項をメールで送信

Now Assist が推奨するメールテンプレートを表示できます。[メールの作成] 画面で [テンプレートを適用] を選択して、[メールテンプレート]、[応答テンプレート]、および [クイックメッセージ] を表示します。 Now Assist 、テンプレートを選択してメールに挿入することをお勧めします。

メールテンプレートの推奨事項

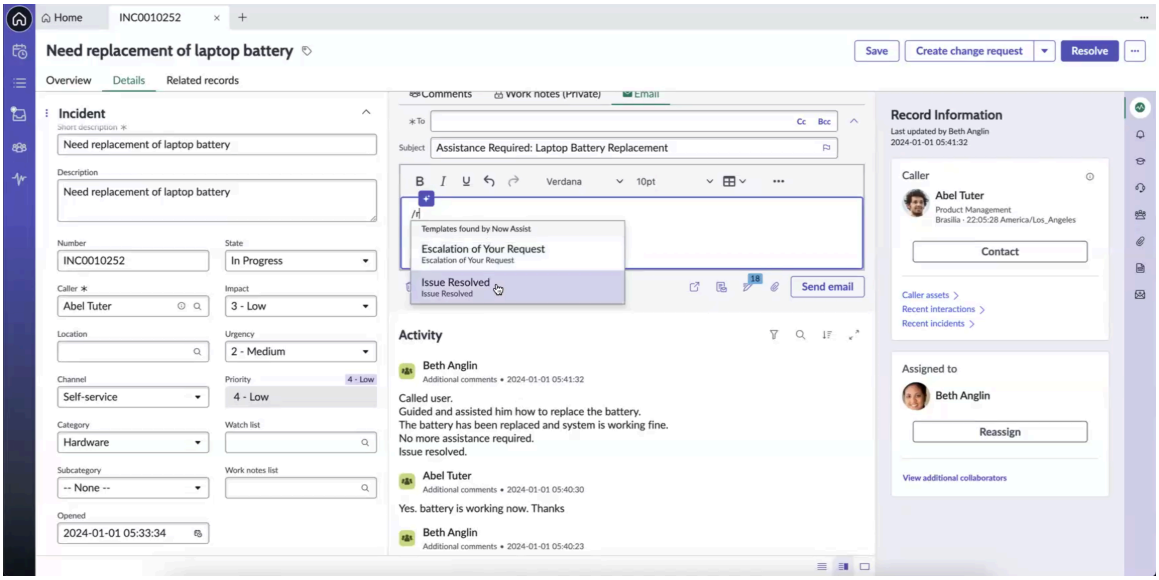


キーボードショートカットキーを使用して応答テンプレートを検索することもできます。[メールの作成] 画面で「`/r`」と入力して、Now Assistが推奨する応答テンプレートを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist が推奨する応答テンプレートを表示するためのキーボードショートカットキー



注: 新しくアップグレードされたメールクライアントエクスペリエンスでは、メールの作成、ドラフトの管理、ドラフトのプレビュー、破棄オプションなどのドラフト管理オプションにアクセスすることもできます。

可用性

このスキルは、以下に示すワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
カスタマー	CSM の Now Assist
IT Service Management	IT Service Management の Now Assist
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist

セキュリティインシデントの推奨アクション

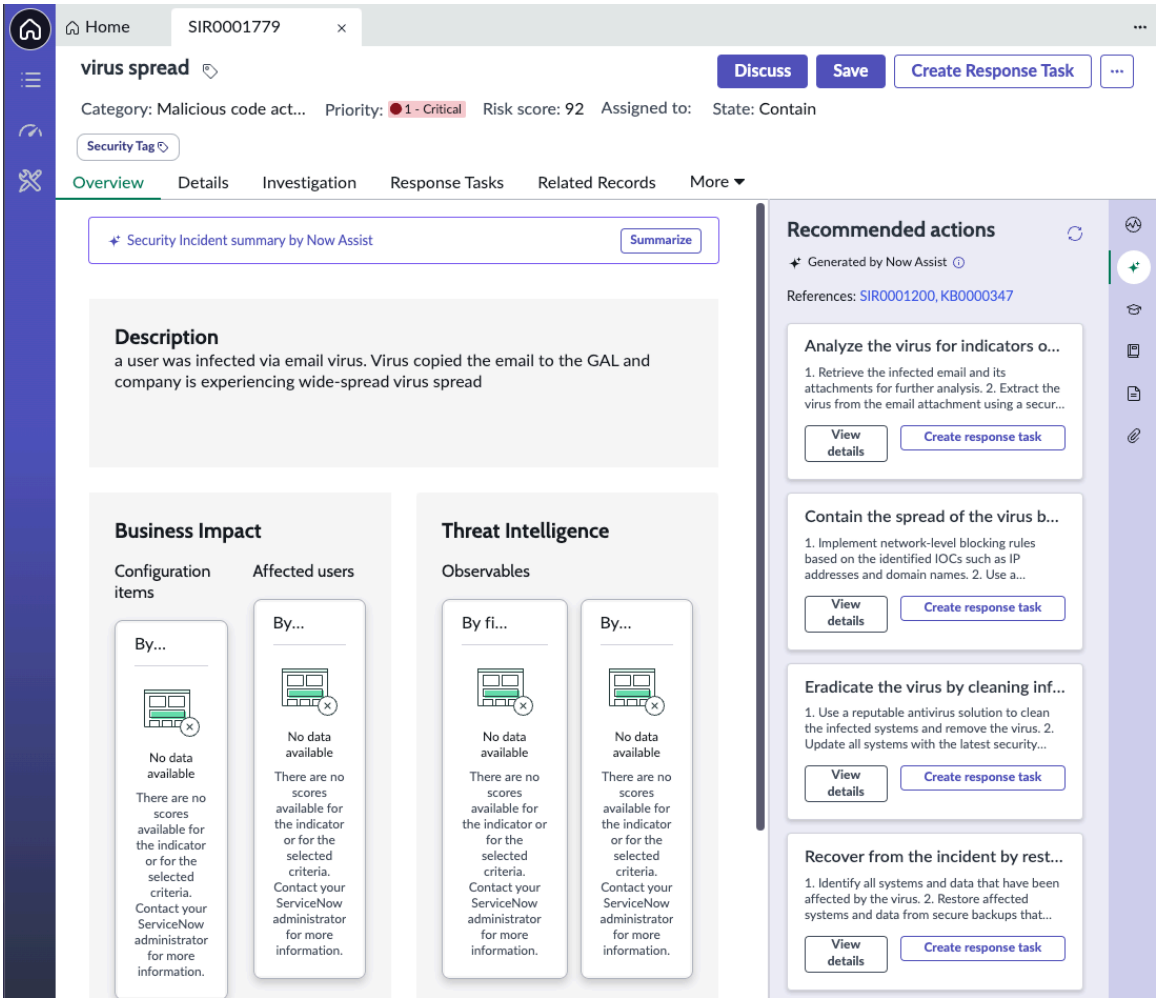
複数のソースで情報を確認することなく、セキュリティインシデントを解決できる可能性がある生成された修復手順を表示します。

セキュリティインシデントレスポンスワークスペースでは、サイドバーのNow Assistアイコンを使用して、既存のセキュリティインシデントとナレッジ記事から推奨アクションを生成できます。アナリストは、推奨アクションから応答タスクを作成できます。

生成された推奨アクションはカードに表示されます。アクションの参照が最大 4 つ上部に表示されます。これらの参照は、ナレッジ記事 (KB) またはセキュリティインシデント (SIR#) の任意の組み合わせにすることができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのインシデントに対する推奨アクション セキュリティインシデントレスポンスワークスペース



詳細については、「を使用したセキュリティインシデントの推奨アクションの生成 セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

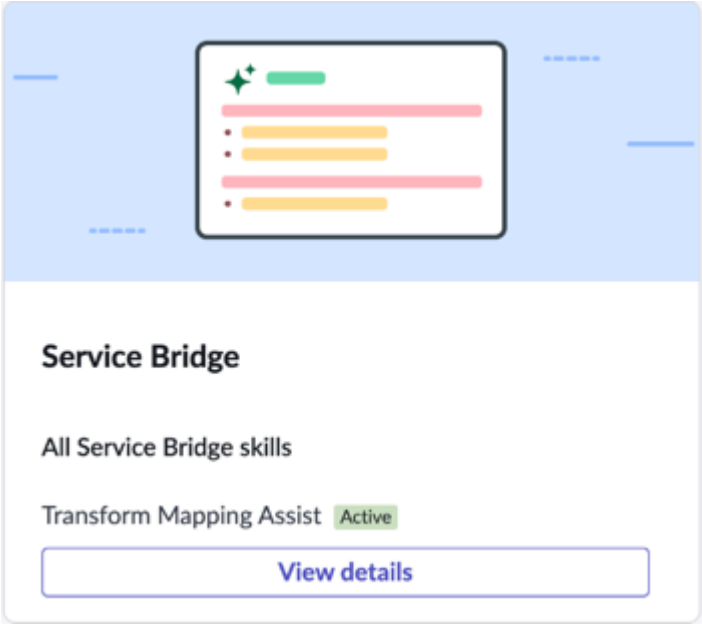
ワークフロー	製品
テクノロジー	セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist

Now Assist 変換スキル

通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist内のプロバイダーテーブルとコンシューマーテーブル間で送受信データを変換します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の変換マッピング支援スキル 通信事業、メディア、テクノロジー **(TMT)** の **Now Assist**



変換マッピング支援

このスキルを使用して、 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist内のプロバイダーテーブルとコンシューマーテーブル間で受信データと送信データを自動的に変換します。

変換マッピング支援スキルは Now LLM サービスを使用します。これにより、 サービスブリッジ プロバイダーはプロバイダーテーブルとコンシューマーテーブル間の変換マッピングを自動的に生成できます。このスキルは、エラーを減らし、全体的な効率を向上させることで、変換マッピングプロセスを簡素化します。

変換マッピング支援スキルは次のことを行います:

- プロバイダーテーブルとコンシューマーテーブル間の選択肢マッピングを自動的に生成します。
- 受信データまたは送信データを変換できない場合に、意味のあるエラーメッセージが表示されます。
- トラブルシューティングに役立つように、成功した操作とエラーの詳細なログを保持します。
- 変換マッピングプロセスを自動化することで、時間を節約し、手作業を削減します。
- 自動マッピングによってエラーを減らし、統合の品質を向上させます。

詳細については、「による変換の自動化 TMT の Now Assist 」を参照してください。

可用性

このスキルは、次の表に示すように、ワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
カスタマー	通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist

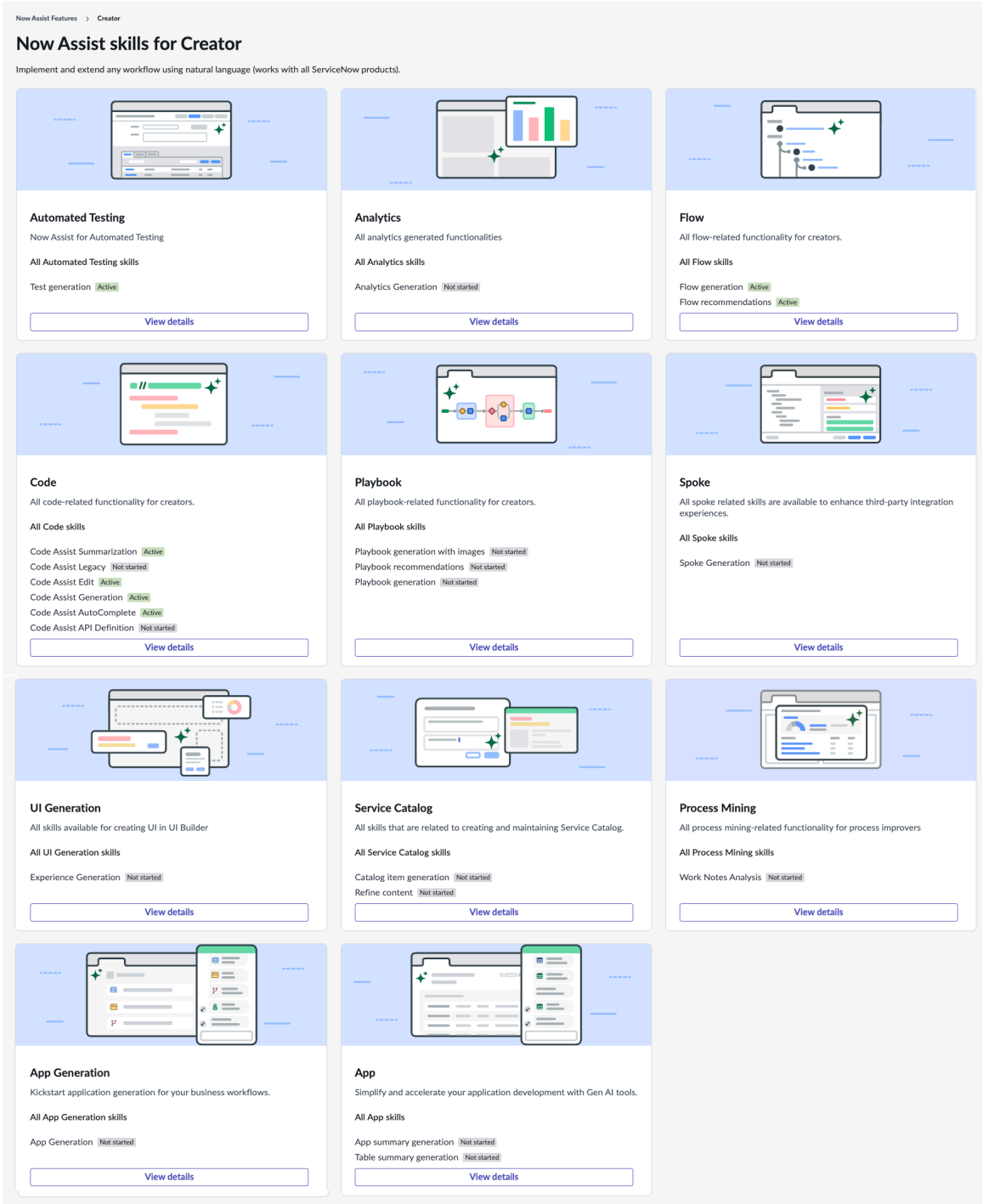
Now Assist クリエーターワークフローのスキル

クリエーターの Now Assist には、 Now Platform での開発をより効率的にできる多数のスキルが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の クリエーターの **Now Assist** タイルの例 **Now Assist** アドミン



詳細については、「Now Assist for Creator」を参照してください。

アプリの生成

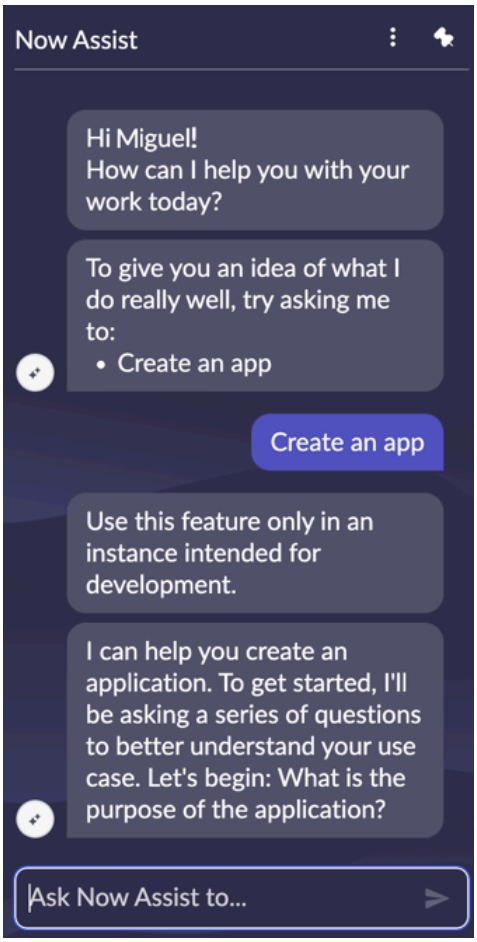
アプリ生成により、開発者は会話を通じてアプリケーションの構築を開始できます。

アプリ生成スキルを使用すると、開発者は生成 AI との自然な会話を通じてアプリケーションの作成を開始できます。ビジネスプロセスを説明し、Now Assist と繰り返し会話して、組織向けのアプリケーションを開発できます。この機能により、組織はカスタマイズ可能な基本アプリの初期開発を迅速化できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

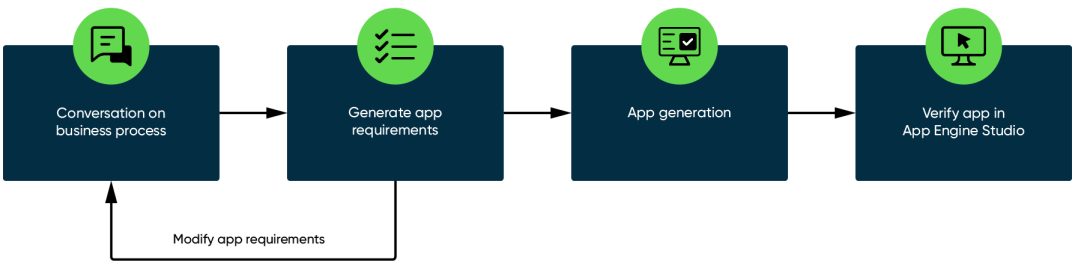
注: アプリの生成を使用するには、アドミニストレーターと開発者に admin ロールと now.assist.creator ロールがアサインされている必要があります。アプリ生成の使用の詳細については、「内でアプリを生成するための Now Assist を使用してアプリを生成しますServiceNow スタジオ 」を参照してください。

アプリの生成を開始する



アプリ生成スキルを使用して クリエーターの Now Assist でアプリをビルドするフェーズは 3 つあり、App Engine Studio でアプリを検証するフェーズは 4 つあります。

アプリ生成ワークフロー



会話

開発者は クリエーターの Now Assist とチャットして、目標、ユーザー、ワークフロー、エクスペリエンスの詳細など、アプリケーションに必要なビジネスプロセスを指定できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

絞り込み

クリエーターの Now Assist は、会話中に収集された情報に基づいて、アプリケーション要件の概要を提供します。開発者は各概要を確認し、要件がアプリケーションのニーズを満たしている場合は、アプリの生成を進めます。開発者が変更を加えたい場合は、会話を通して編集を続けることができます。Now Assist は、コメントに基づいてアプリケーション要件の絞り込みを続け、開発者がアプリケーションの生成を続行するまでサマリーを提供します。

生成

クリエーターの Now Assist は、アプリケーション、およびテーブル、ロール、アクセス制御リスト (ACL)、レコードプロデューサーなどの関連コンポーネントを生成します。

開発者は App Engine Studio で生成されたすべてのものを開いて検証でき、それは クリエーターの Now Assist で使用可能です。開発者は、組織のニーズに合わせてアプリを変更できます。たとえば、フローや自動化、スクリプトインクルード、ビジネスルールなどの機能を追加することで、アプリの機能を拡張できます。

詳細については、「Now Assist でのアプリ生成用 ServiceNow スタジオ」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

カタログアイテムの生成

カタログアイテム生成スキルを使用し、 Now Assistを使用して任意のカタログアイテムを作成します。

カタログアイテム生成スキルは、カタログアイテムの作成に必要な時間を短縮するのに役立ちます。カタログアイテムを作成するときに、必要なカタログアイテムを記述すると、カタログアイテムが生成されます Now Assist 。

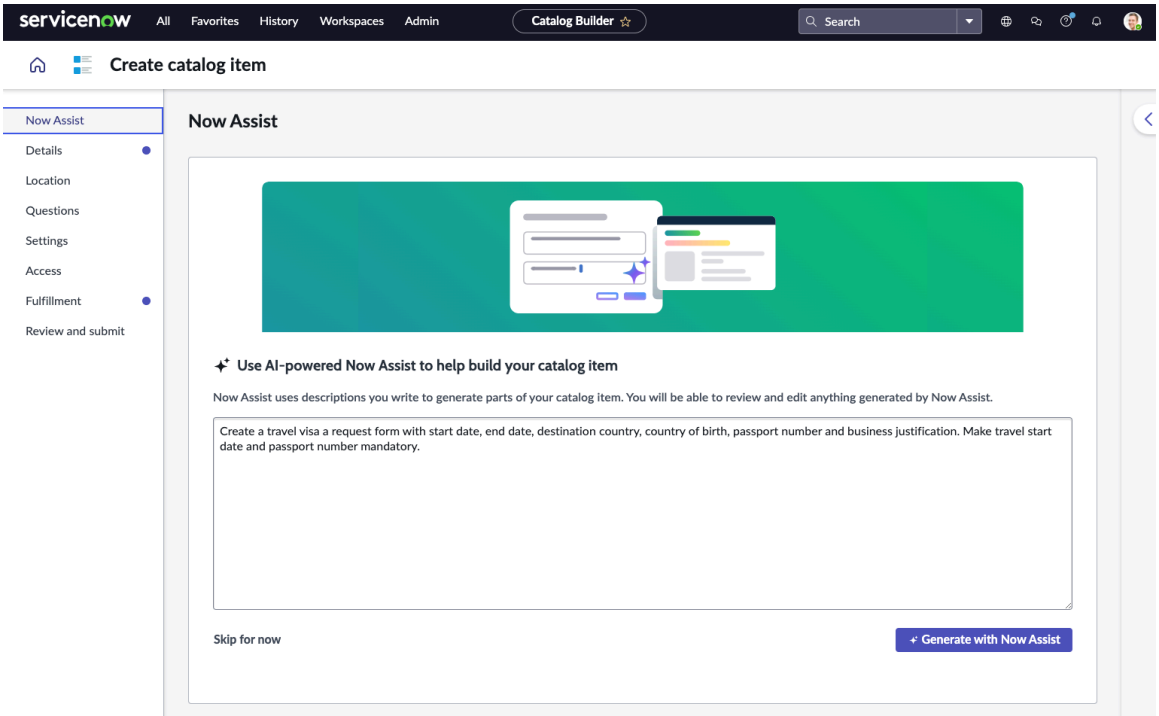
詳細については、「カタログビルダーのNow Assist」を参照してください。

注: Now Assistを使用してカタログアイテムを作成する前に、スキルがアクティブ化されていることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist カタログアイテムを作成するための



可用性

このスキルは、次のワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

関連情報

カタログビルダーのNow Assist

インテリジェントなコード推奨事項

コード生成は、テキストまたはコードプロンプトに基づいて AI が生成したコードを使用して開発者がスクリプトを迅速に記述できるように設計されており、アプリケーションの価値実現までの時間を短縮できます。

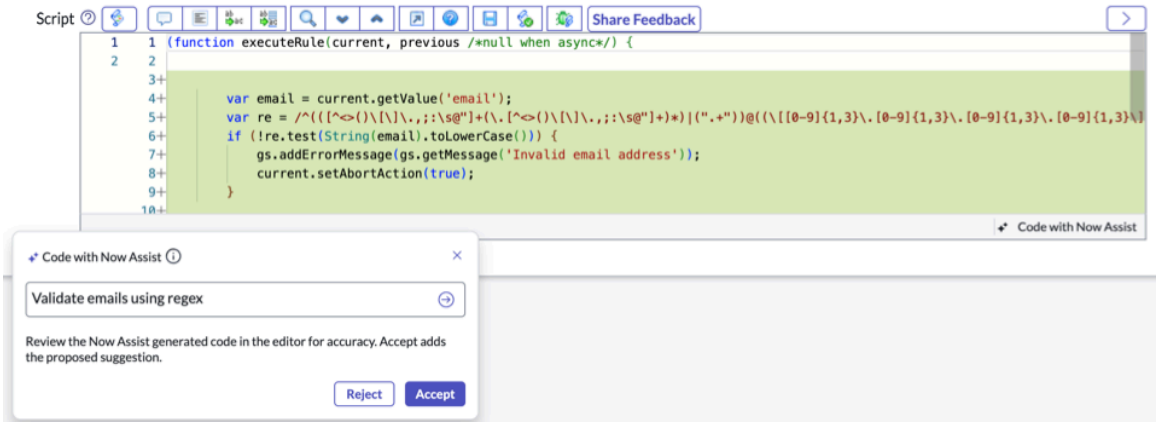
クリエーターの Now Assist は、コード生成スキルをアクティブ化します。コード生成は、生成するコードを説明するテキストを提供し、Now Platform のフォームおよび フローデザイナー のスクリプトステップで JavaScript エディターのコード提案を取得します。コード生成を使用すると、Now Platform でのスクリプティング経験レベルにかかわらず、あらゆる開発者がカスタムスクリプトの作成を開始したり、スクリプトをより効率的に反復したりすることができます。

注: Now LLM サービス は現在、この Now Assist アプリケーションのスキルの唯一のプロバイダーです。

コード提案を生成するには、生成するコードのゴールを、[Now Assist を使用したコード (Code with Now Assist)] ダイアログボックスで説明します。コード提案はプロンプトの後の行に表示されますが、承認されるまでスクリプトには追加されません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



オプションで、コード補完機能をオンにして、コード生成用の Now Assist とともに、スクリプトエディターでコードまたは単発プロンプトを使用できます。

コード生成を使用するには、開発者に now.assist.creator ロールがアサインされている必要があります。 AI が生成したコードを使用して開発を開始するには、「Now Assist によるコード生成」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

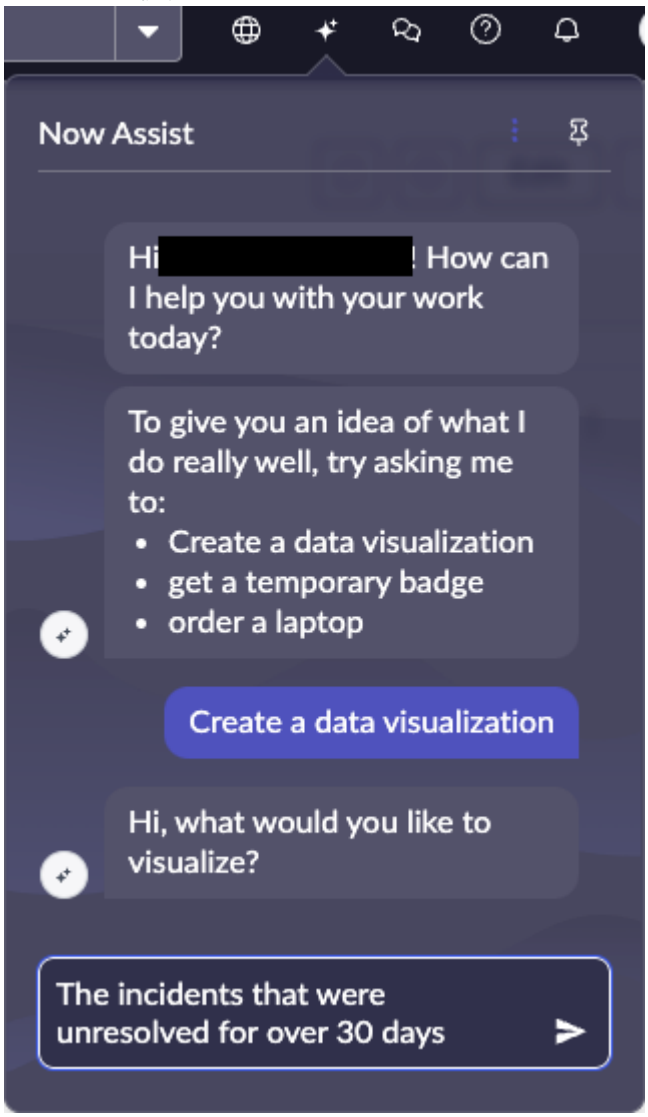
データの可視化の生成

データの可視化の生成により、ユーザーは会話を通じて プラットフォームアナリティクス データグラフを作成できます。

データ可視化生成スキルを使用すると、ユーザーは プラットフォームアナリティクスを活用して、自然言語クエリと利用可能なデータに基づいて関連するグラフとスコアを作成できます。チャートには、 プラットフォームアナリティクス テーブルとインジケーターデータソースからのデータを表示できます。このスキルにより、データの可視化の生成と構成のプロセスが簡素化され、効率が向上する可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

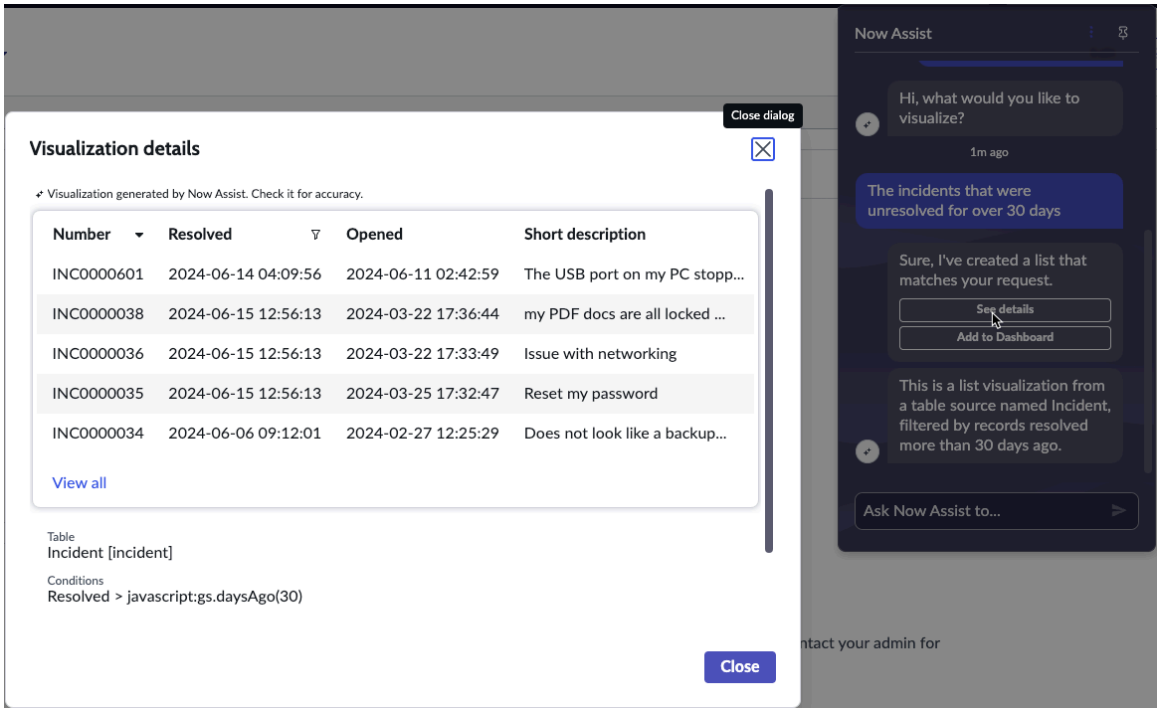
データの可視化を求めるNow Assist



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求結果:可視化の詳細



クリエーターの Now Assist の一部であるため、データ可視化の生成には now.assist.creator ロールと now_assist_panel_user ロールが必要です。表示するデータへのアクセス権も必要です。可視化をダッシュボードに追加する場合は、そのダッシュボードに対する編集権限が必要です。ユーザーがダッシュボードが開いているときにデータの可視化を要求し、そのダッシュボードの編集権限を持っている場合、そのダッシュボードに可視化を追加するオプションがあります。

詳細については、「でのデータの可視化 プラットフォームアナリティクス」と「アナリティクス生成」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

フロー生成

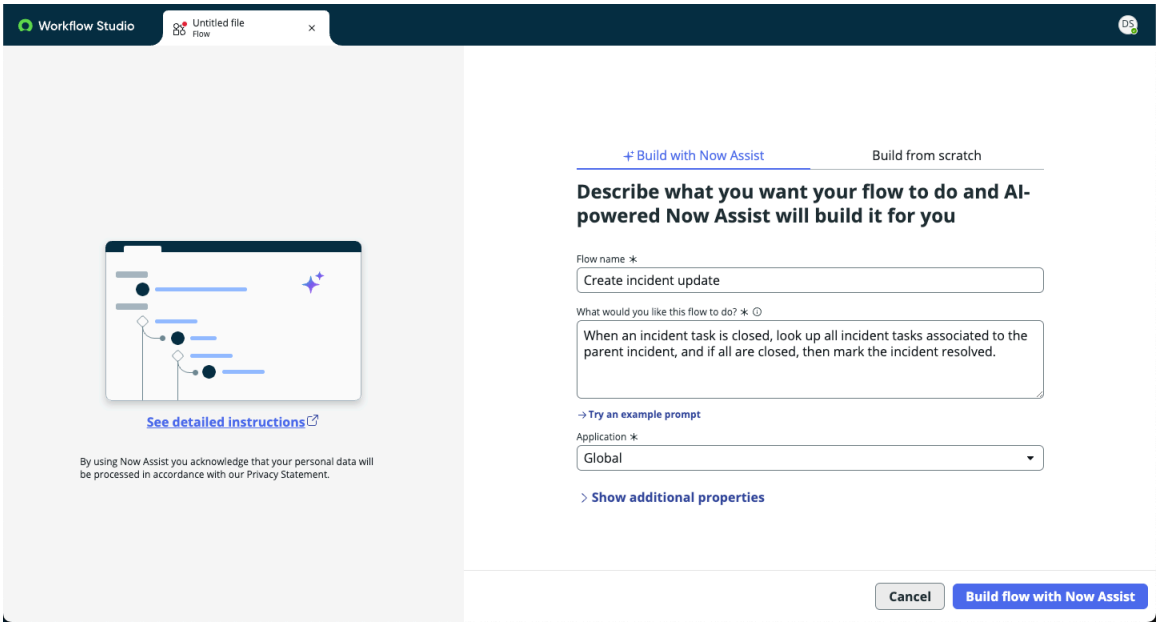
フローデザイナー でフロー生成スキルを使用して、新しいフローを作成します。

生成 AI を使用して、複数ステップのフローアウトラインを作成する。フローのアウトラインでは、入力値とデータ参照を追加するための構成が必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistを使用してフローを作成する



詳細については、「フロー生成」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

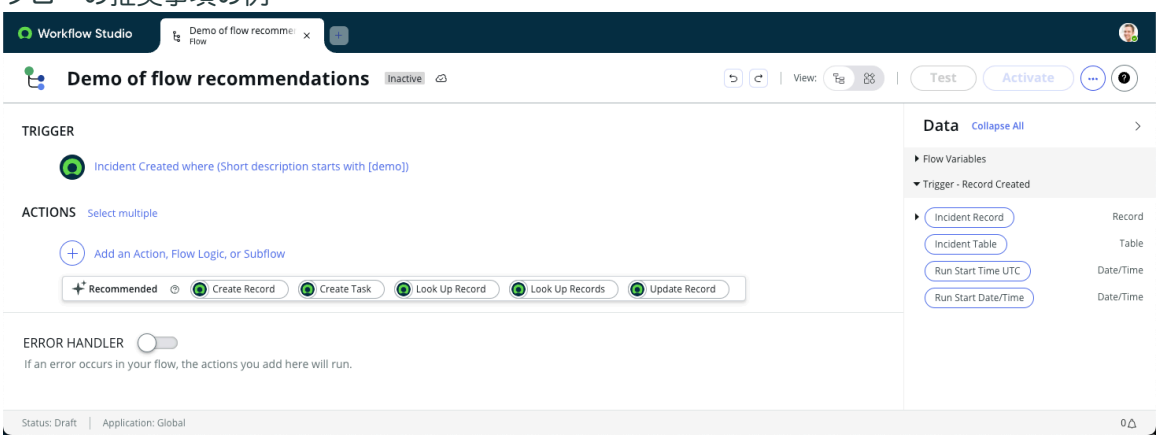
ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

フローの推奨事項

生成 AI の推奨事項は、入力した内容に基づいて考えられるコンポーネントを推奨することで、フローの作成に役立ちます。

AI が生成する推奨事項のリストから、フロー内の次のコンポーネントを選択する。フロー内の現在の位置と、前にリストされたフローコンポーネント名に基づいて、推奨事項が生成される。

フローの推奨事項の例



詳細については、「フローの推奨事項」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

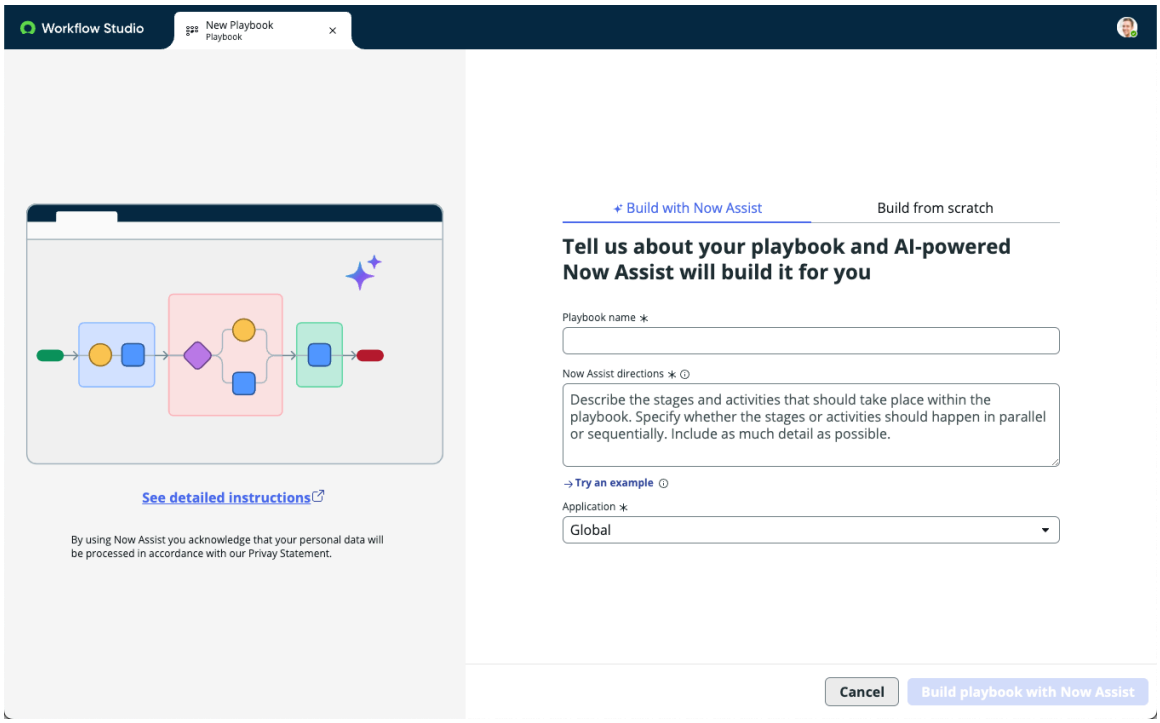
ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

プレイブックの生成

クリエーターの Now Assist プレイブックの生成スキルが含まれます。プレイブックの生成により、プレイブック作成者に生成 AI 機能が提供されます。プレイブック作成者は、プレースホルダーアクティビティを使用してプレイブックのアウトラインを作成するためのテキスト指示を提供できます。

プレイブックの生成は、クリエーターの Now Assist (sn_now_creator) アプリケーションとともにインストールされるスキルです。ServiceNow Store の Web サイトからこのアプリケーションをインストールできます。

ワークフロースタジオで新しいプレイブックを作成するときは、プレイブックの生成スキルにアクセスします。



詳細については、「プレイブックアシスト」を参照してください。

> **注:** プレイブックの生成を使用するには、プレイブック作成者に **now.assist.creator** ロールがアサインされている必要があります。詳細については、「プレイブックアシストのロール」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

コンテンツの絞り込み

コンテンツの絞り込みスキルを使用し、 Now Assistを使用してフィールドのコンテンツを短縮、詳細化、言い換え、または生成します。

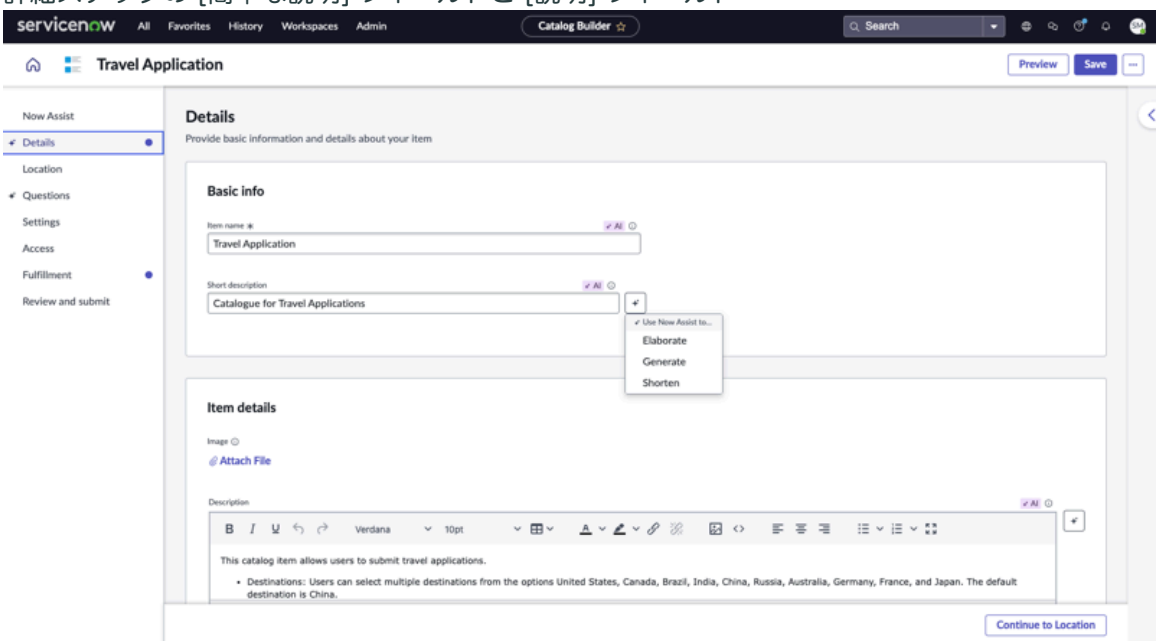
コンテンツの絞り込みスキルは、ユーザーがカタログアイテムを作成または編集するときに、[詳細] ステップの [簡単な説明] フィールドと [説明] フィールドでコンテンツを短縮、詳細化、言い換え、または生成するのに役立ちます。

質問ステップの [説明] フィールドと [会話ラベル] フィールドの内容を詳しく説明したり短縮したりすることもできます。

詳細については、「カタログビルダーのNow Assist 」を参照してください。

注: カタログアイテムのフィールドの情報を絞り込む前に、スキルがアクティブ化されていることを確認します。

詳細ステップの [簡単な説明] フィールドと [説明] フィールド



可用性

このスキルは、次のワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

関連情報

カタログビルダーのNow Assist

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロボティックプロセス自動化 **(RPA)** ボットの生成

このスキルを使用して、テキスト指示とプレビューオプションから自動化、アクティビティ、自動化ロジックを作成します。

このスキルを使用するには、RPA 開発者ロールまたは RPA アドミンロールが必要です。

RPA デスクトップデザインスタジオユーザーインターフェイスから RPA ボット生成スキルにアクセスします。

RPA ボットの生成を有効にすると、次のメリットが得られます。

- シンプルなまったく新しい自動化を迅速かつ効率的に構築します。
- 既存の自動化に新しいアクティビティを簡単に追加して、モジュール性と拡張性を確保します。
- インラインプロンプトを使用して、コンポーネントから開始するか空のデザイン画面から開始するかにかかわらず、自動化ロジックを調整します。

詳細は、以下のトピックを参照してください。

- で自動化を作成する Now Assist
- を使用したアクティビティの作成 Now Assist
- を使用した自動化のビルド Now Assist

ライセンスの要件

RPA ハブアプリケーションのNow Assistには、オートメーションエンジン (旧 Automation Engine) ライセンスと クリエーターの Now Assist ライセンスが必要です。

関連情報

ロボティックプロセス自動化 (RPA) ボットの生成

のサポート情報 Now AssistRPA ハブ

スポーク生成

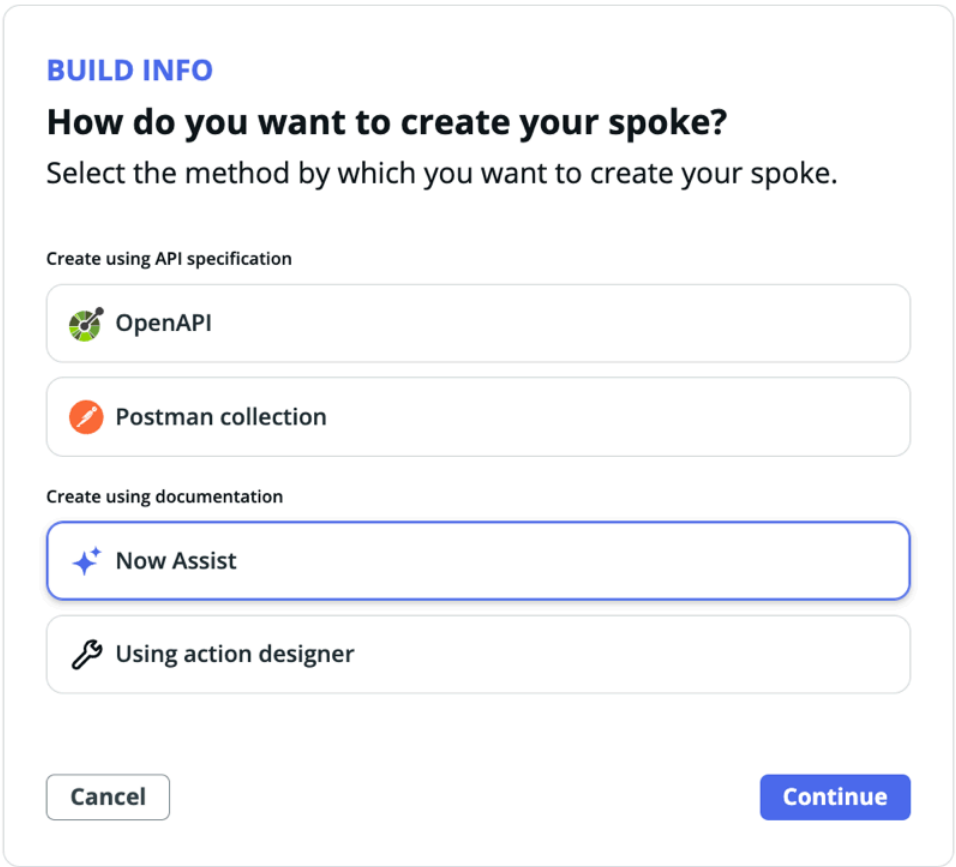
ワークフロースタジオ でNow Assistを使用してスポークを生成し、アクションを作成します。

スポーク生成の概要

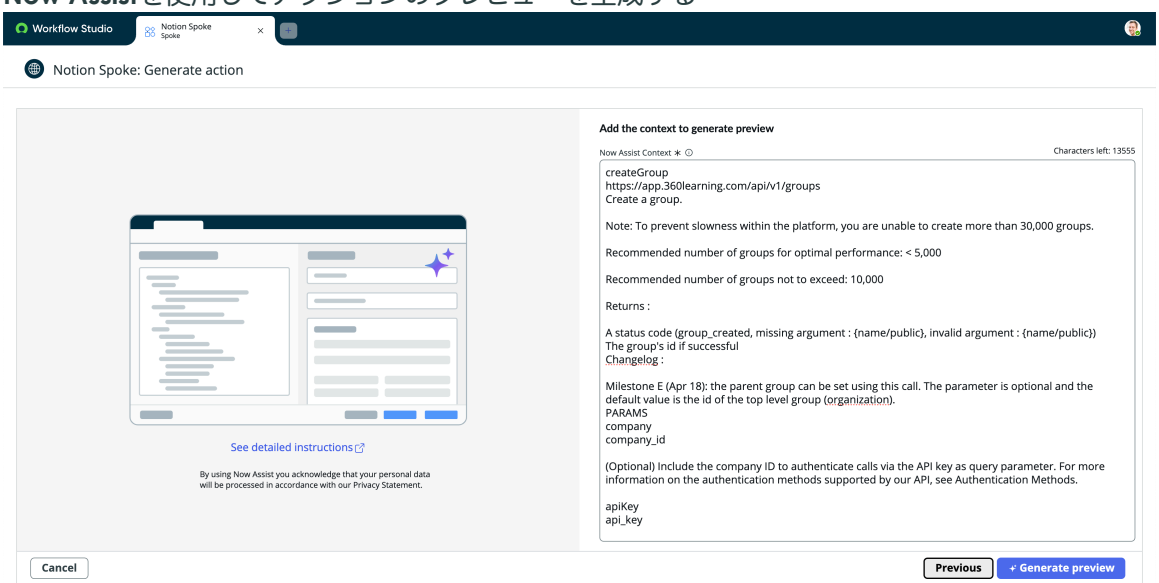
API ドキュメントを使用して、必要なサードパーティアプリケーションのカスタムスポークをビルドします。必要な API ドキュメントスニペットをコピーして ワークフロースタジオ に貼り付けて、スポークの作成をキックスタートします。この機能は、必要なサードパーティアプリケーションに OpenAPI 仕様または Postman コレクションがない場合に便利です。この機能を使用するには、Now Assist for Creator 機能でスポーク生成スキルをアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

を使用してスポークを作成 **Now Assist**



Now Assistを使用してアクションのプレビューを生成する



詳細については、「Now Assistを使用してスポークを作成し、アクションをビルドする」を参照してください。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

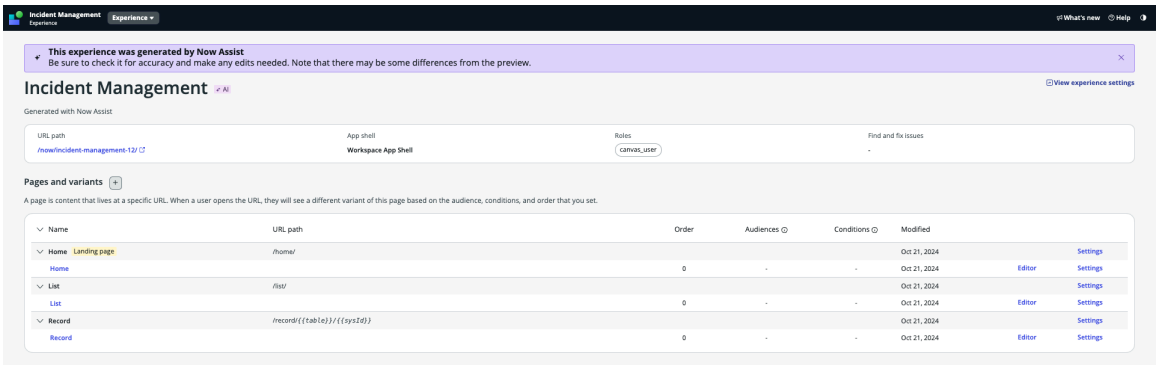
UI の生成

この生成 AI スキルを使用すると、自然言語を使用して希望の内容を説明することで、エクスペリエンスをすばやく作成できます。

UI エクスペリエンスを生成するには、ユーザーが操作するテーブル、チャートタイプ、およびナビゲーションを記述します。最良の結果を得るには、できるだけ多くの詳細を含めます。

生成されたエクスペリエンスは、生成されたエクスペリエンスをレビューし、承認または却下できます。承認したら、エクスペリエンスの説明を変更して、目的の結果を得ることができます。

新しいエクスペリエンスのメインページの例



詳細については、「エクスペリエンスの生成」を参照してください。

可用性

このスキルは、次のワークフローと製品で使用できます。

Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

作業メモの分析

このスキルを使用して作業メモを特定し、非効率性、課題、および作業の再アサインの原因となるその他の理由に関するインサイトを生成します。

作業メモ分析の概要

プロセス最適化ユーザーインターフェイスから作業メモ分析スキルにアクセスします。

作業メモ分析は、作業メモを特定し、GenAI を使用した作業の再アサインの原因となる非効率性、課題、およびその他の理由に関するインサイトを生成するのに役立ちます。移行の再アサインまたは変更の理由は、作業メモに記録されます。

詳細については、「プロセス最適化プロセスマイニング の Now Assist」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可用性

このスキルは、以下にリストされているワークフローと製品で利用できます。

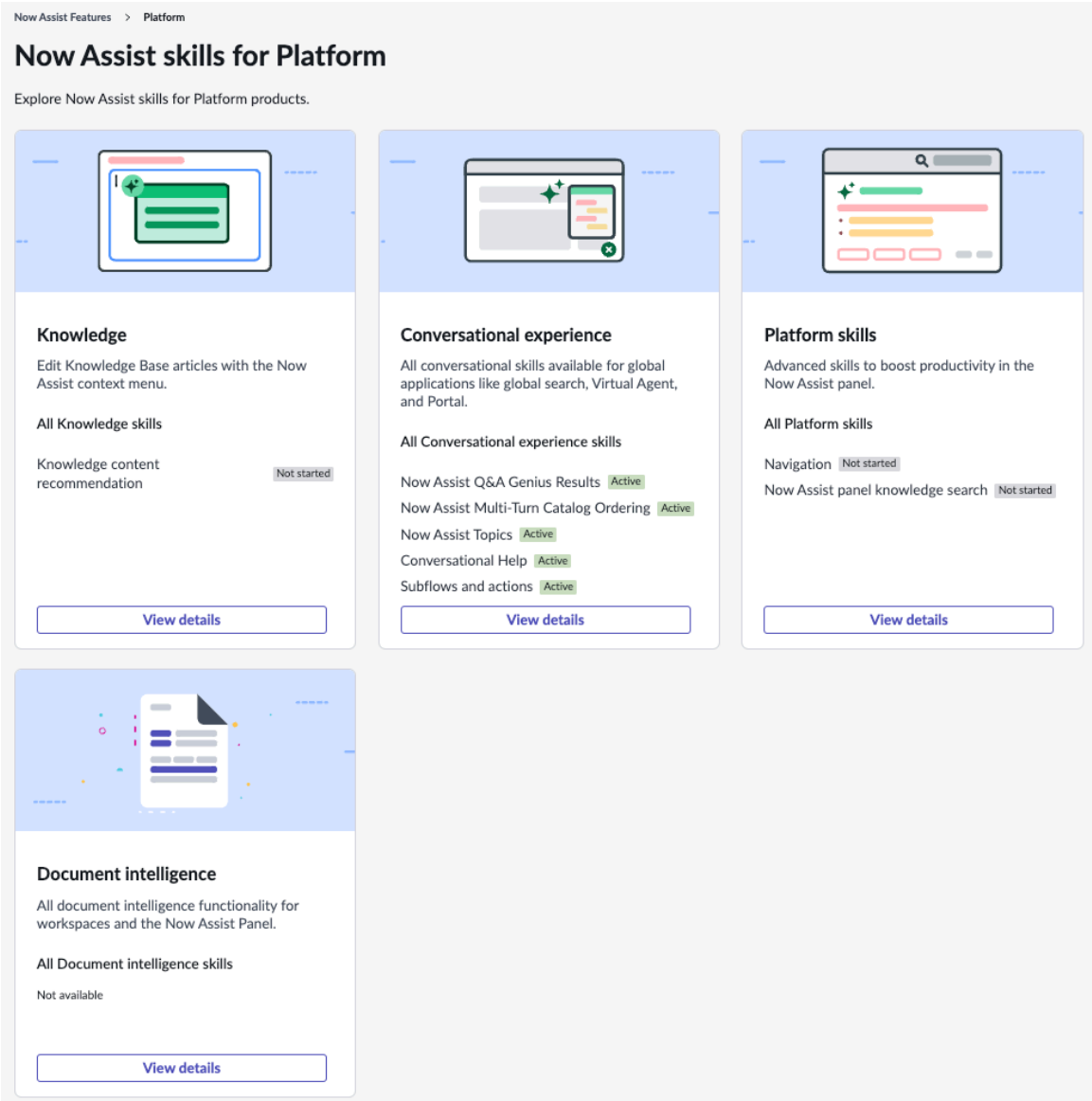
Now Assist 製品とワークフロー

ワークフロー	製品
作成者	Now Assist for Creator

Now Assist プラットフォームワークフローのスキル

ほとんどの Now Assist 生成 AI 製品には、製品ナビゲーションなどのプラットフォームワークフローのスキルが含まれています。一部の Now Assist 製品には、会話型ユーザーおよびプラットフォームエクスペリエンスのスキル、およびナレッジ記事の推奨事項が含まれています。

Now Assist アドミンコンソールのプラットフォームワークフローの [プラットフォームスキル] タイル



Now Assist 会話エクスペリエンス

会話型エクスペリエンスの生成 AI スキルにより、ユーザーのセルフサービスエクスペリエンスを向上させることができます。プラットフォーム Now Assist スキルは、検索サマリーを生成し、チャッ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トウィンドウからカタログアイテムを注文し、大規模言語モデル (LLM) トピックディスカバリーを使用する 仮想エージェント トピックを作成します。

次のスキルは、AI 検索 でNow Assistし、仮想エージェント でNow Assistする必要があります。どちらも一部の Now Assist 製品で利用できます。

対話型インターフェースのコンソール または Now Assist アドミン コンソールから仮想エージェントでNow Assistを設定できます。詳細については、「仮想エージェントでの Now Assist の構成」を参照してください。

詳細については、「仮想エージェントの Now Assist」と「AI 検索での Now Assist」を参照してください。

Now Assist 会話ヘルプ

このスキルは、Now Assistパネルの質問に回答するための生成 AI アプリケーション機能を提供します。

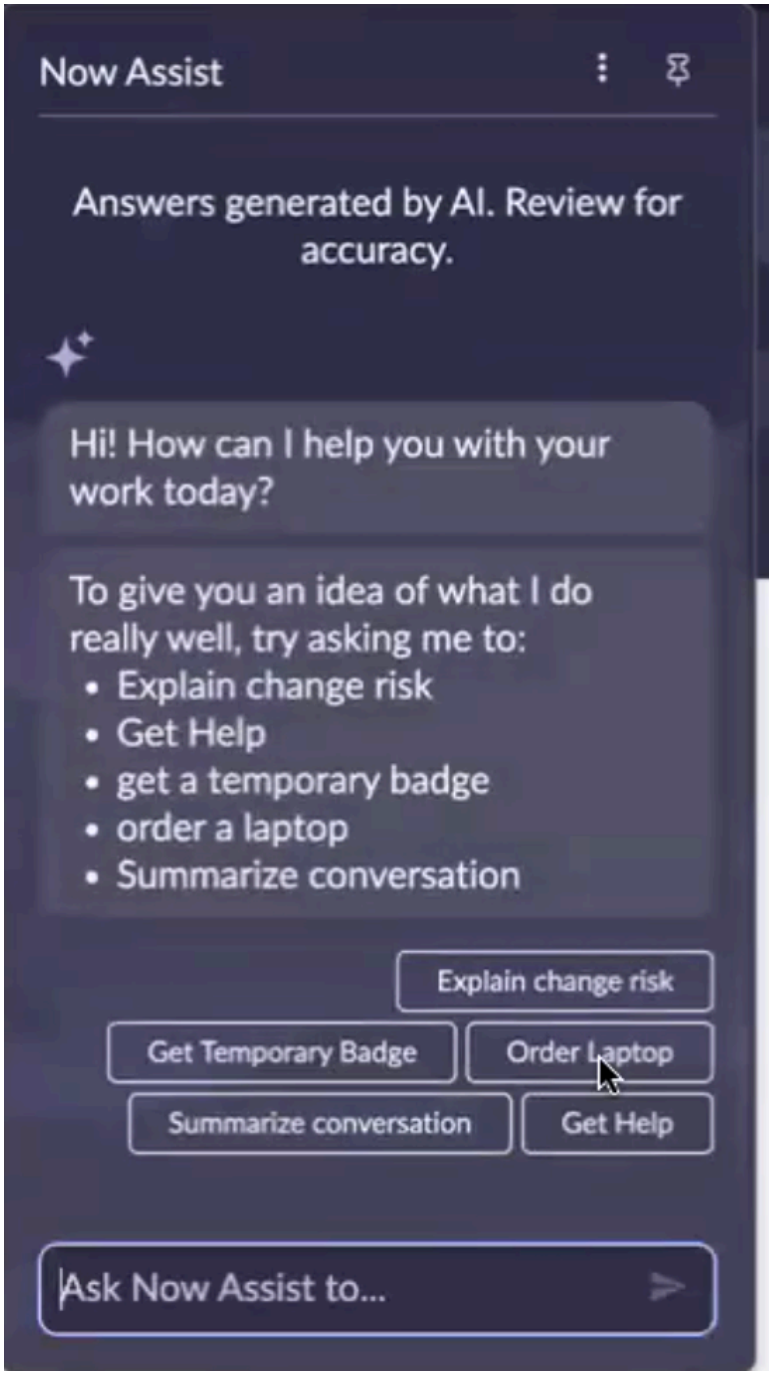
Now Assist会話ヘルプスキルは、Now Assistパネルに [ヘルプ **(Get Help)**] として表示されます。

> **注:** ServiceNow Now LLM サービス (大規模言語モデル) は、このNow Assistスキルのプロバイダーであり、ユーザーの質問に対するより正確な回答を取得します。

クエリを送信するには、[ヘルプを表示] を選択して Now Assist パネルのオプションを使用します。Now LLMは、ポータルから最も関連性の高い結果を取得しhttps://www.servicenow.com/docs/ 同じパネルに表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

注: ヘルプ機能は、 Now Assist エンタイトルメントの一部として利用できます。新しいサブスクリプションは必要ありません。

詳細については、「Now Assist会話ヘルプスキルでエンドポイントをフェッチ」を参照してください。

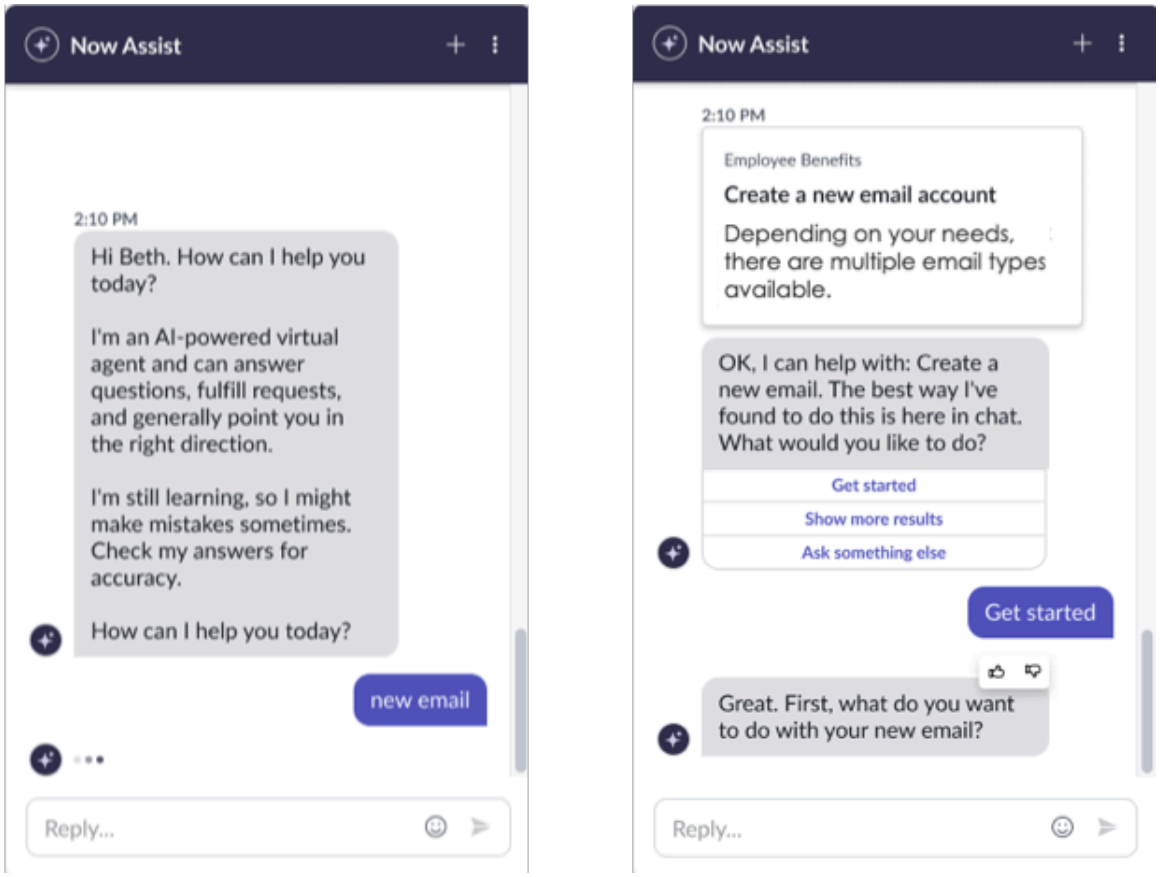
Now Assist マルチターンのカタログ注文

このスキルにより、ユーザーは サービスカタログで使用可能なオプションに会話でアクセスできます。

携帯電話などのアイテムを要求したり、検索を絞り込むための追加情報を入力したりすることができます。たとえば、要求を青色の 256 GB iPhone に絞り込むなどです。一方、同じ会話内で新しいアイテムを要求することもできます。その際は生成 AI が自然言語を使用して回答を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャットウィンドウからのメールによる新しいカタログ要求



詳細については、「仮想エージェントの Now Assist」を参照してください。

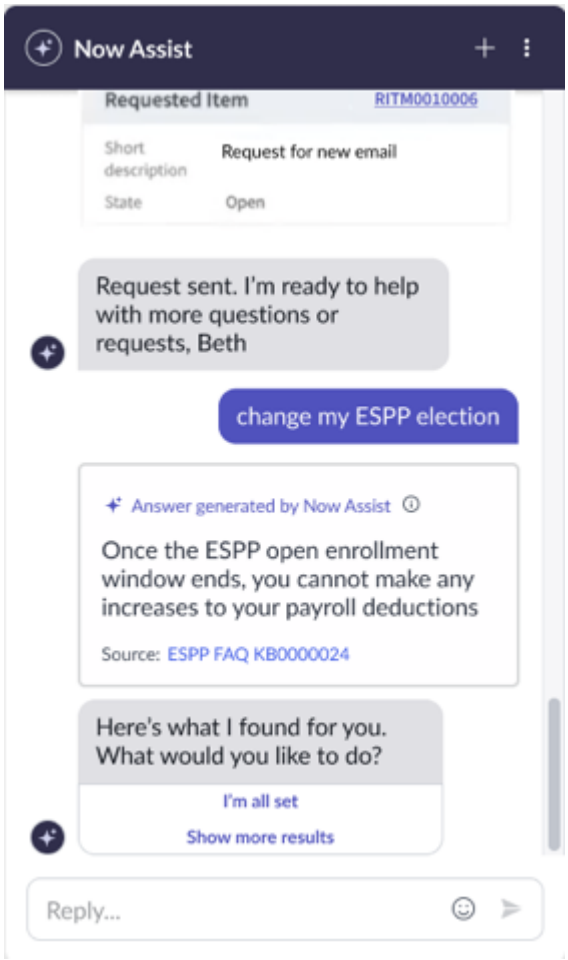
Now Assist Q&A Genius 結果

このスキルを使用すると、ユーザーは会話形式で質問に対する回答を見つけることができます。Now Assist 、Q&A Genius 結果の回答を参考文献とともにまとめています。

Now AssistAI 検索 では、Now LLMを使用して、サービスポータル、仮想エージェント、従業員センター、およびグローバル検索で見つかったナレッジ記事の結果からアクション可能な Q&A Genius 結果回答を抽出します。ユーザーが検索で質問を送信すると、AI 検索は上位のナレッジ記事の結果を取得し、回答を生成するために Now LLM に渡します。回答によってユーザーの検索結果が強化され、アクション可能な Now Assist Q&A Genius 結果回答カードとして表示されます。参考のために、各回答カードにはそのソースナレッジ記事へのリンクが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳細については、「AI 検索での Now Assist」を参照してください。

Now Assist トピック

このスキルを使用して、大規模言語モデル (LLM) ディスカバリーを使用する 仮想エージェント トピックを作成します。

仮想エージェント の LLM トピックについては、このビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/1011425825?h=9a3dc725e1&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

NLU トピックとは異なり、LLM では、モデル、インテント、またはキーワードをトピックにリンクする必要がありません。LLM では、NLU モデルのトレーニングを何か月も行うことなく、トピックを検出し、ケースのサマリーや解決メモのテキスト生成など、言語に関連するタスクを実行することができます。LLM がすべての面倒な作業を処理してくれます。唯一の要件は、堅牢で分かりやすい言葉によるトピックの説明です。LLM はこの説明を使用して、ユーザーの発言に最適なトピックを見つけます。一致する可能性のあるものが複数ある場合は、選択できるトピックのリストがユーザーに表示されます。

詳細は、以下のトピックを参照してください。

- 仮想エージェントの Now Assist
- 仮想エージェントの LLM トピックディスカバリー
- LLM アシスタント

自動翻訳

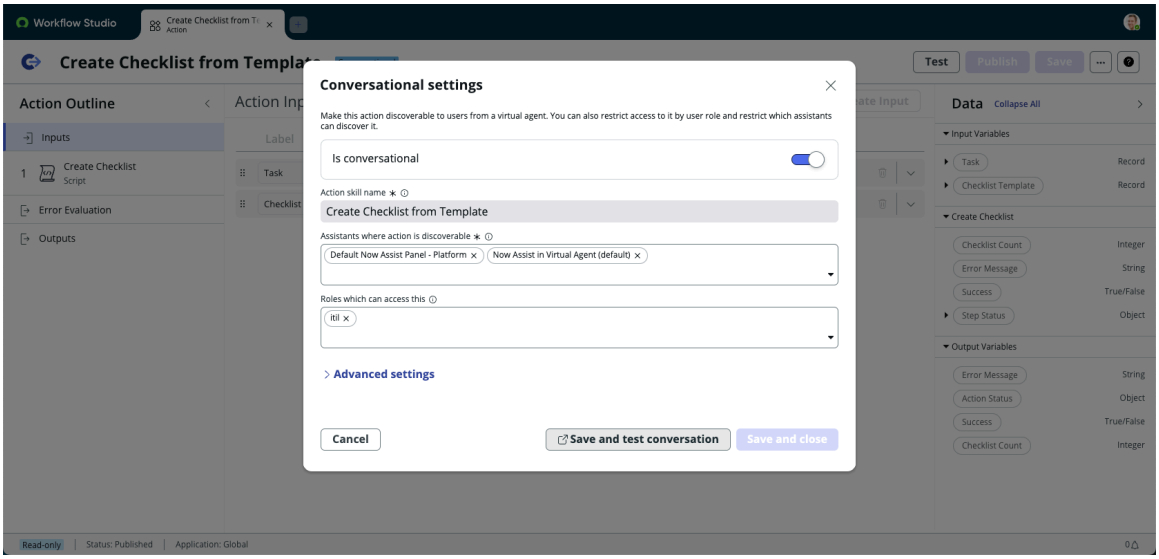
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブフローとアクション

このスキルを使用して、会話互換のワークフロースタジオサブフローとアクションからNow Assistトピックを作成します。

他の Now Assist トピックと同様に、LLM には、アクションまたはサブフローの説明とその入力ヒントによって提供される、強力でわかりやすい言葉のトピックの説明が必要です。LLM はこの説明を使用して、ユーザーの発言に最適なサブフローまたはアクションの一致を検索します。一致する可能性のあるものが複数ある場合、選択するサブフローまたはアクションのリストがユーザーに表示されます。

の会話設定の例 ワークフロースタジオ



詳細は、以下のトピックを参照してください。

- 会話アクション
- 会話サブフロー

Now Assist ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** スキル

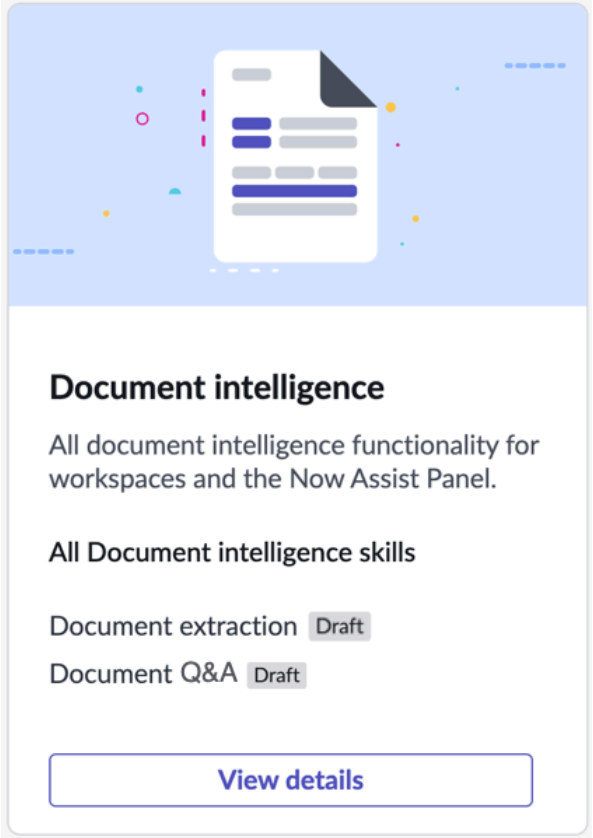
Now Platform® のドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 生成 AI スキルは、ドキュメントから必要な情報をすばやく取得するのに役立ちます。

これらのスキルを有効にして構成すると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースで利用できるようになります。これは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ユースケースでNow Assistで処理されたドキュメントにのみ適用されます。詳細については、「Now Assist は ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の値のいずれか」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist アドミン コンソールのプラットフォームワークフローで利用可能なドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** スキル



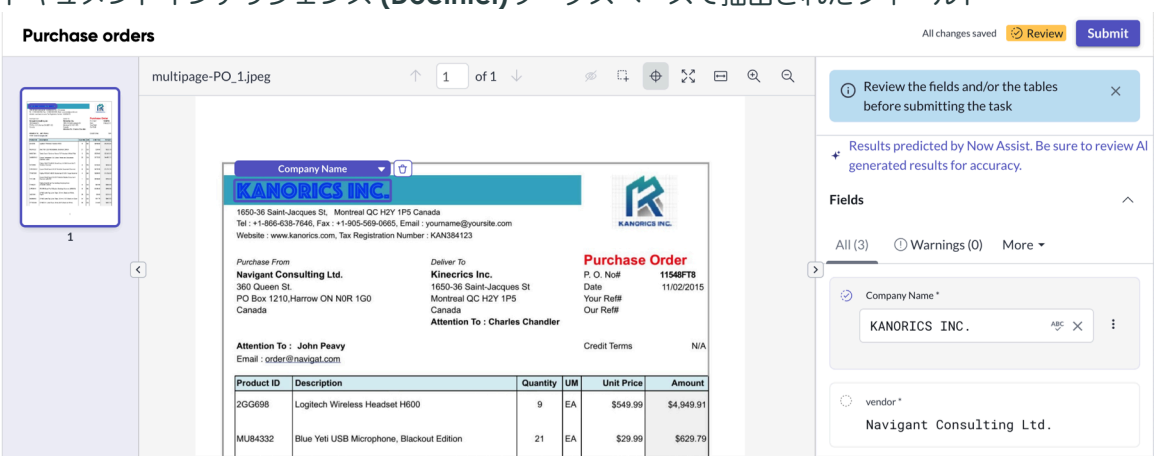
次のプラットフォームワークフロースキルは、アドミニストレーターがドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 機能カードから有効にします。詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistアクティブ化」を参照してください。

Now Assist ドキュメント抽出

ドキュメント抽出スキルを使用すると、エージェントは Now Assist 予測を使用してドキュメントからデータをすばやく抽出できます。

Now Assist は生成 AI 機能を使用して、スキルのユースケースで定義されたフィールドに基づいてドキュメントから値を抽出します。エージェントは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを使用して、抽出された情報をレビューおよび確認します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースで抽出されたフィールド



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

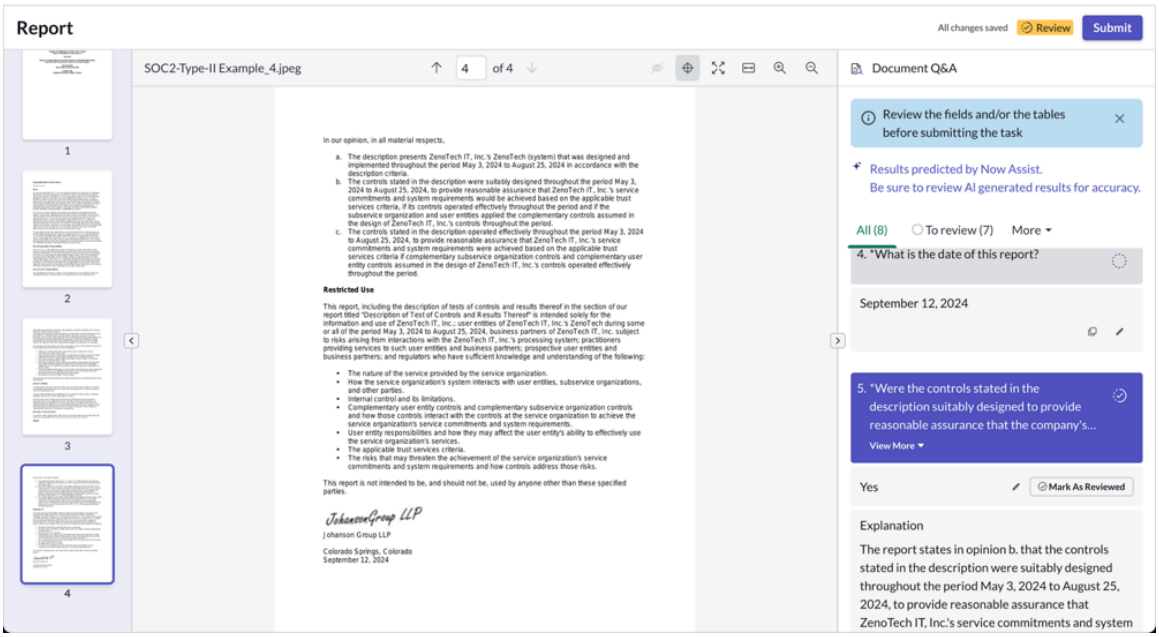
詳細については、「で Now Assist を使用してドキュメントデータを抽出 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

Now Assist ドキュメントQ&A

ドキュメント Q&A スキルを使用すると、エージェントは Now Assist を使用して、事前定義された質問に基づいてドキュメントから回答を見つけることができます。

Now Assist は生成 AI 機能を使用して、スキルのユースケースで定義された質問に基づいてドキュメントに関する回答を提供します。エージェントは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを使用して回答をレビューし、必要に応じて編集します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースでの予測回答



詳細については、「での Now Assist に関するドキュメントのレビュー Q&A ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

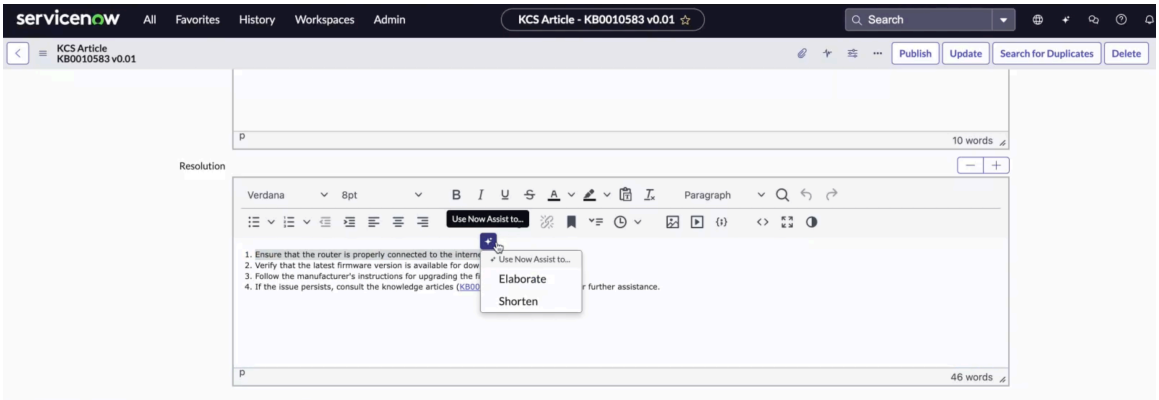
ナレッジコンテンツの推奨事項

Now Platform のナレッジ生成 AI スキルは、ナレッジ記事を編集するための推奨事項を提供します。アクティブ化されると、このスキルは Now Assist コンテキストメニューで使用できるようになります。

ナレッジコンテンツの推奨事項 Now Assist は、アドミニストレーターがナレッジ機能カードから有効にするプラットフォームスキルです。このスキルにより、エージェントと作成者は Now Assist コンテキストメニューを使用して、ナレッジ記事のコンテンツを詳しく説明したり短縮したりできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の **Now Assist** コンテキストメニュー ナレッジ管理



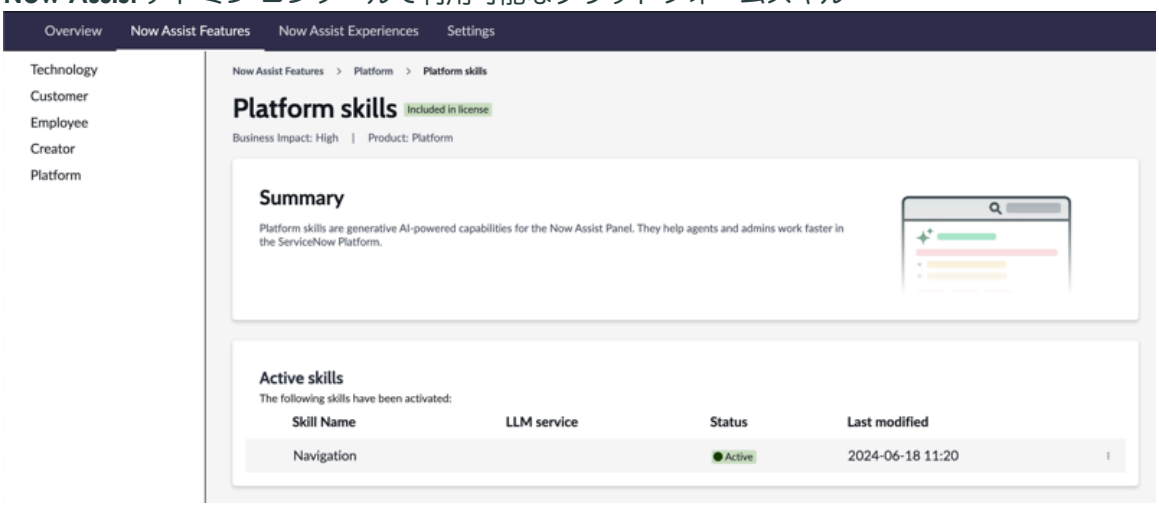
詳細については、「Now Assist コンテキストメニューを使用した記事の編集」を参照してください。

プラットフォームスキル

Now Assist には、わかりやすい言葉を使用してレコードを検索する機能など、 Now Assist プラグインをアクティブ化すると利用できる特別な生成 AI スキルが含まれています。

これらのスキルを使用するには、CSM の Now Assist や IT Service Management の Now Assist などの 1 つ以上のNow Assistプラグインをアクティブ化します。

Now Assist アドミン コンソールで利用可能なプラットフォームスキル



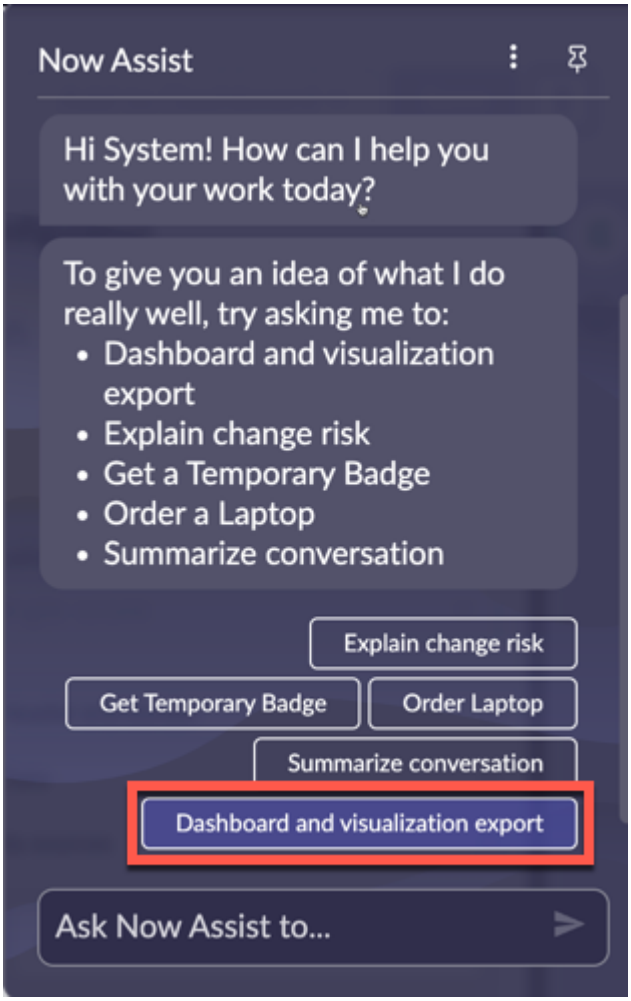
ダッシュボードと可視化のエクスポートスキル

Now Assistパネルでプラットフォームアナリティクスダッシュボードとデータの可視化を会話形式でエクスポートします。出力形式と出力先を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistパネルのダッシュボードと可視化のエクスポートスキル



重要:

- この Now Assist スキルは、アクセスできる任意のダッシュボードまたは可視化をエクスポートできるように設計されています。また、par_schedulerロールまたはpar_schedulerを含むロールを持っている場合にアクセスできるダッシュボードまたは可視化のエクスポートをスケジュールできるように設計されています。
- エクスポート対象として選択できるのは、それぞれのライブラリに保存されているダッシュボードまたはデータの可視化のみです。
- 直接エクスポートできるのはライブラリにあるビジュアリゼーションのみですが、ダッシュボードをエクスポートすると、ライブラリに保存されていないビジュアリゼーションを含め、そのダッシュボードのすべてのビジュアリゼーションがエクスポートされます。
- テクニカルダッシュボードはエクスポートできません。インラインダッシュボードエディターで作成されたダッシュボードのみエクスポートできます。

エクスポートオプション

ダッシュボードとデータのビジュアル化を PDF ファイルまたは Microsoft PowerPoint ファイルにエクスポートできます。データの可視化を PNG または JPEG にエクスポートすることもできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- リスト、ピボット、カレンダー、およびジオマップのビジュアル化を PowerPoint にエクスポートすることはできません。
- デフォルトでは、1 回の PowerPoint エクスポートで最大 150 の可視化をエクスポートできます。さらにスライドが必要な場合は、ダッシュボードを個別のタブとしてエクスポートすることを検討してください。

ダッシュボードを PowerPoint にエクスポートする場合、ダッシュボード全体または選択したタブをエクスポートできます。ダッシュボードまたはタブにフィルターがある場合は、それらのフィルターに設定された任意の値を PowerPoint のエクスポートに適用できます。

次のファイル出力先から選択できます。

- ダウンロード
- メール
- スケジュール設定済みメール

メールの受信者を指定します。[スケジュール設定済みメール] を選択した場合は、メールの頻度も指定します。選択した頻度に応じて、詳細を尋ねられます。

注: [ダウンロード] を選択し、エクスポートに 10 秒以上かかる場合、エクスポートはダウンロードではなくメールの添付ファイルとして受信されます。したがって、エクスポートは非同期的に完了し、 Now Assist パネルが解放されます。

エクスポートオプションの詳細については、次のトピックを参照してください。

- プラットフォームアナリティクスダッシュボードのエクスポート
- から可視化をエクスポートする 可視化デザイナー

ヒント: 1 つのエクスポートが要求されたら、別のエクスポートを要求する前に会話をリセットします。

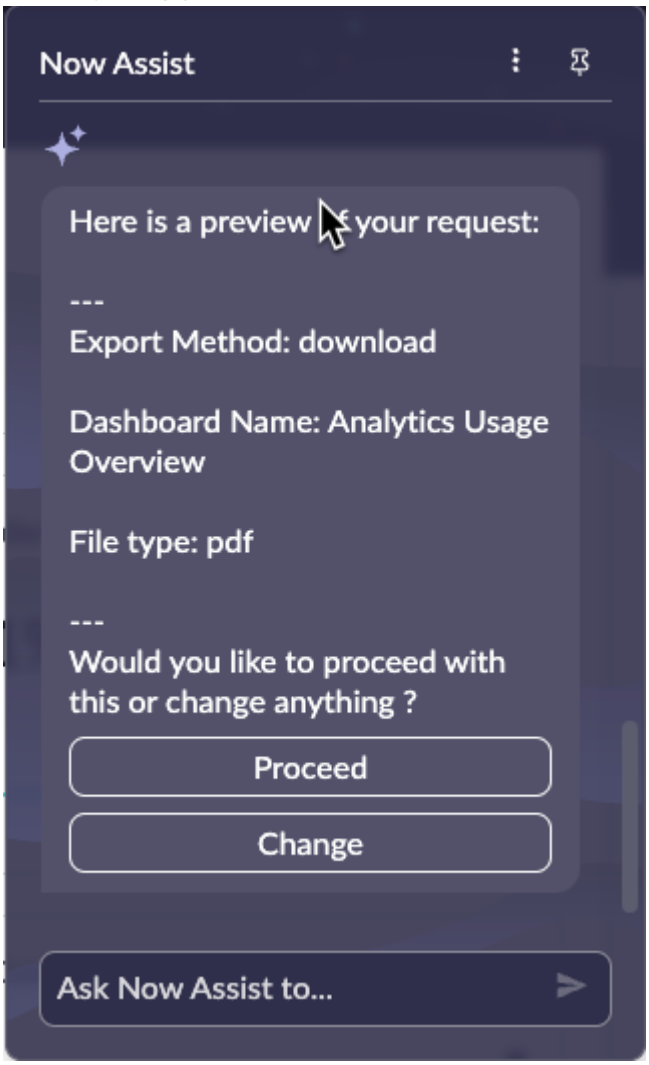
ガイドラインと要求の例

必要なエクスポートをさまざまな詳細で説明できます。必要な情報が不足している場合は、その入力を求められます。エクスポートを実行する前に、要求を確認するように求められます。これにより、オプションを変更できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エクスポート要求のレビュー



さまざまな状況で使用する、さまざまな詳細レベルの要求の例を次に示します。

この可視化を PowerPoint にエクスポート

ダッシュボードまたはデータの可視化を開いている場合は、名前を指定する必要はありません。 Now Assist コンテキストを認識しています。このリクエストでは、エクスポート方法を尋ねられます。

可視化のエクスポート ステータス別の資産ライフサイクルを PPT にエクスポート

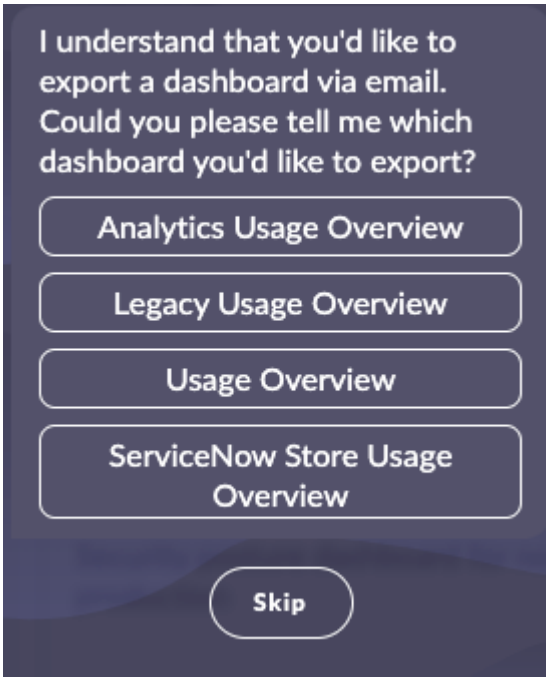
ダッシュボードまたはビジュアリゼーションを開いていない場合は、その名前を指定するか、リストから選択します。ダッシュボードと可視化のどちらをエクスポートするかを常に指定します。

エクスポートしてメールで送信 使用状況の概要ダッシュボード

名前に [使用状況の概要] を含むダッシュボードがいくつかあるため、どれをエクスポートするかを尋ねられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



PowerPoint へのエクスポート アナリティクス使用状況概要ダッシュボードの [レポート使用状況] タブ

ダッシュボード全体または選択したタブを PowerPoint にエクスポートできます。ダッシュボード全体を PDF にエクスポートすることしかできません。

このダッシュボードをフィルターを適用して PowerPoint にエクスポート

この場合、開いているダッシュボードをエクスポートし、ダッシュボード全体と任意のタブにフィルターを適用します。フィルターが適用されているダッシュボードタブをエクスポートすると、最上位のダッシュボードフィルターとそのタブのフィルターのみが適用されます。フィルターは、PowerPoint にエクスポートする場合にのみ適用できます。

ヒント: エクスポート要求が完了したら、新しい要求を開始する前に会話をリセットします。そうしないと、一部のオプション選択が新しい要求に引き継がれる可能性があります。それでもこれが発生した場合は、ブラウザのキャッシュをクリアすることを検討してください。

制限事項

要求コンテンツの認識が断続的に行われる場合があります。要求で詳細に指定するほど、すべてが認識されない可能性が高くなります。

一部のプロンプトがまったく認識されません。次のフレーズは避けてください。

- 自分にメール
- 件名と本文を可視化/ダッシュボード名として含むメール

ナビゲーション

Now Assistのナビゲーションスキルを使用して、Now Platform上の目的の場所に移動できます。

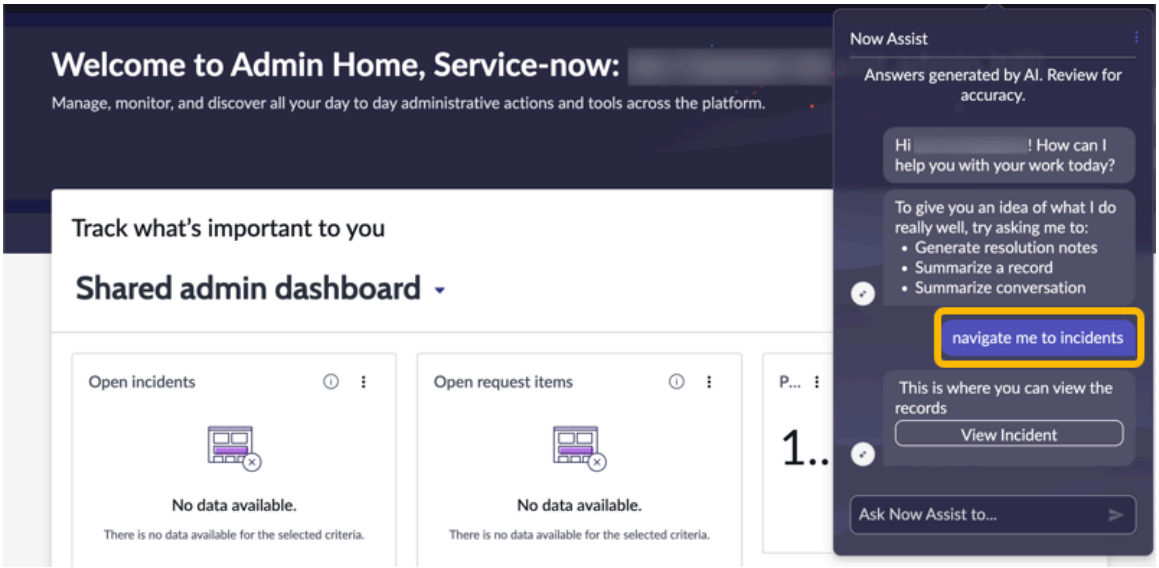
ナビゲーションの概要

ナビゲーションは、チャット中にレコード検索要求を処理する Now Assist パネルのスキルです。分かりやすい言葉でレコードまたはテーブルを要求すると Now Assist 要求に最適な場所に移動するためのリンクがチャットに表示されます。たとえば、「インシデントレコードを表示」と入力できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

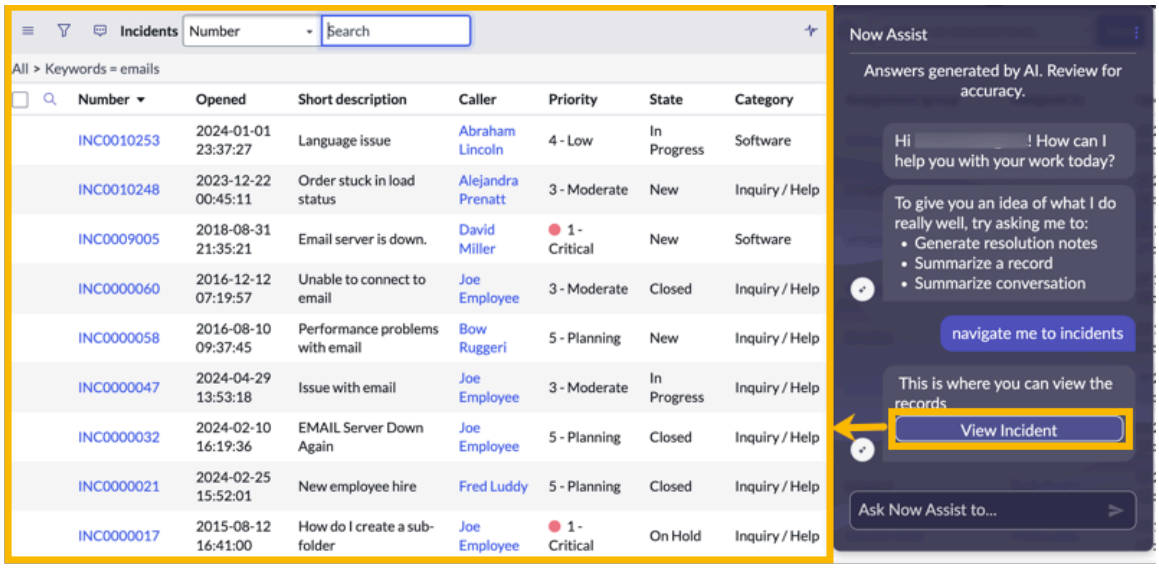
次の図では、ユーザーがNow Assistパネルに「インシデントに移動」と入力しています。Now Assistインシデントテーブルへのリンクで応答します。

Now Assistパネルでのクエリと応答のナビゲーション



リンクをクリックすると、インシデントテーブル内のすべてのレコードのリストが表示されます。

Now Assistパネルからインシデントテーブルへの移動



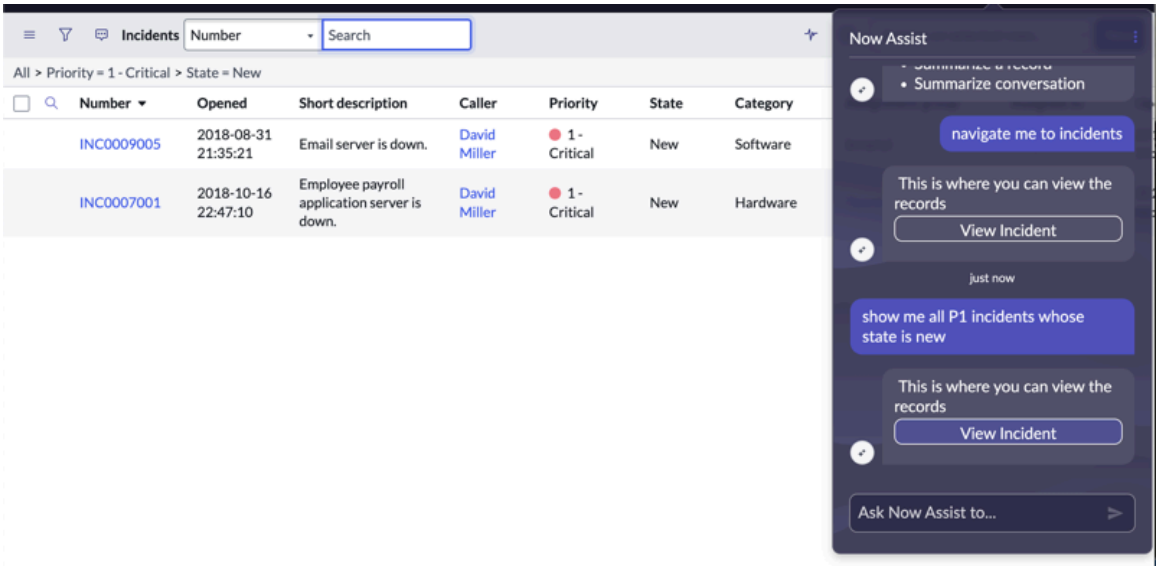
結果の絞り込み

より詳細な要求を使用すると、結果をさらに絞り込むことができます。「ステータスが完了のすべてのインシデントレコードを表示」と入力すると、テーブル内のステータスが [完了] のレコードのみが表示されますNow Assist。

次の例では、ユーザーは [新規] ステータスのすべての P1 インシデントを要求します。

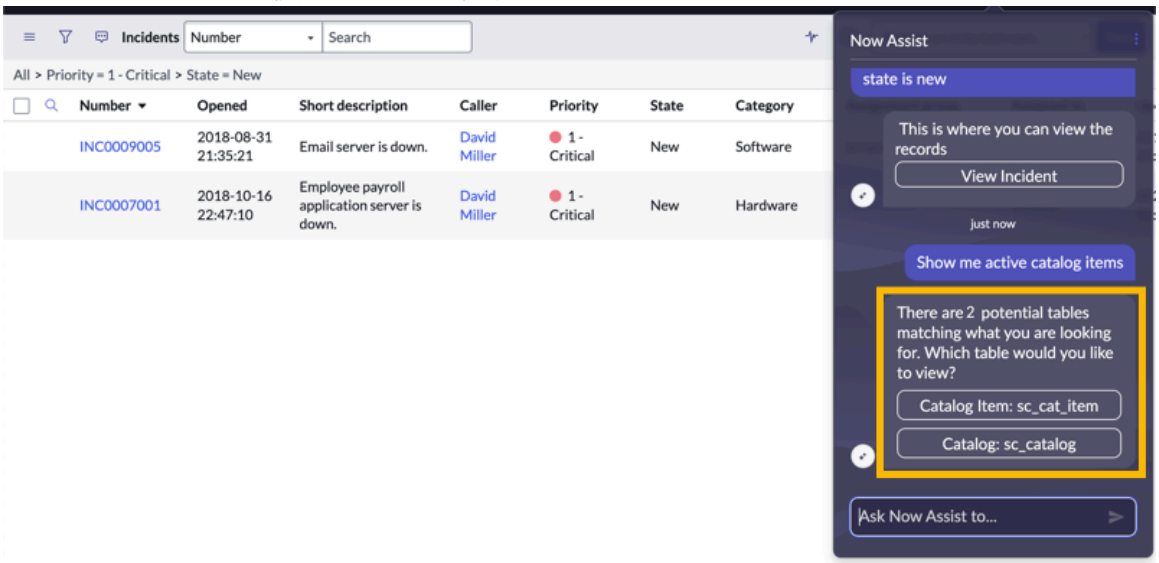
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントテーブルの絞り込まれたクエリ



結果の数は Now Assist 要求に応じて見つかる可能性のある結果の数に基づいています。Now Assist で 10 件を超える結果が見つかった場合、リストはページネーションされます。次の例では、 Now Assist カタログアイテムテーブルとカタログテーブルの 2 つの可能なテーブルを検索します。

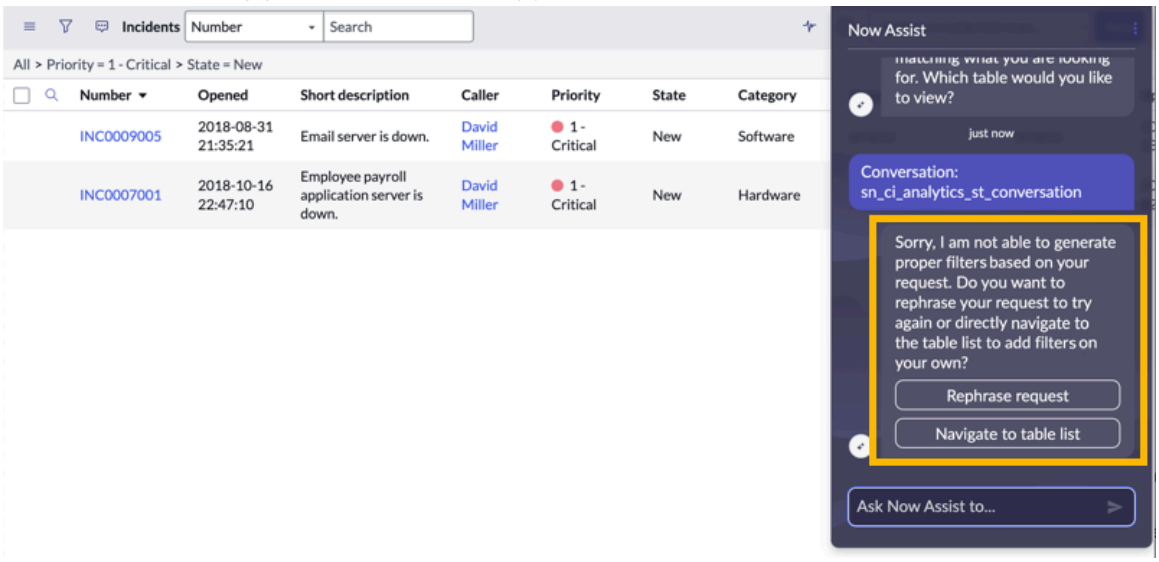
Now Assistパネル内の複数のテーブル結果



Now Assist要求を理解できない場合は、要求を言い換えるように求めるエラーメッセージが表示されます。前の要求に基づいて「最適な推測」に移動することもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistパネルの要求メッセージを言い換える



Now Assist パネルナレッジ検索

Now Assistパネルのナレッジ検索スキルを使用して、エージェントがチャット会話中にナレッジ記事から質問やフォローアップに対する簡潔で実用的な回答を見つけられるようにします。

Now Assist パネルナレッジ検索スキルの概要

Now Assistパネルナレッジ検索は、ユーザーの質問に回答するマルチターン QnA 機能をサポートするAI 検索Now Assistパネルのスキルです。この機能は、ナレッジ記事、フローとアクション、トピックなどのさまざまなAI 検索ソースからの情報を結合要約するように設計し、この情報を統合して、直感的なカードを通じて表示される単一のアクション可能な回答にします。

> **注:** マルチターン QnA は、会話が複数回やり取りできる会話型インタラクションの一種です。ユーザーがフォローアップの質問をしたり、詳細を要求したりできるようにすることで、インタラクションがより自然で役立つと感じられます。

Now Assistパネルのナレッジ検索スキルは、会話履歴をまた記憶ように設計されているためコンテキストに応じた応答を提供し、ユーザーと会話しながらフォローアップの質問と応答を処理します。各回答カードには、生成された応答、参照用のソースナレッジ記事へのリンク、および検索クエリに一致するように 設計された アクションが含まれます。

Now Assistパネルのナレッジ検索スキルの有効化

ユーザーの質問に回答しながら、 Now Assist パネルがナレッジ記事にアクセスして情報を取得できるようにするには、アドミニストレーターが Now Assist パネルのナレッジスキルをアクティブ化する必要があります。

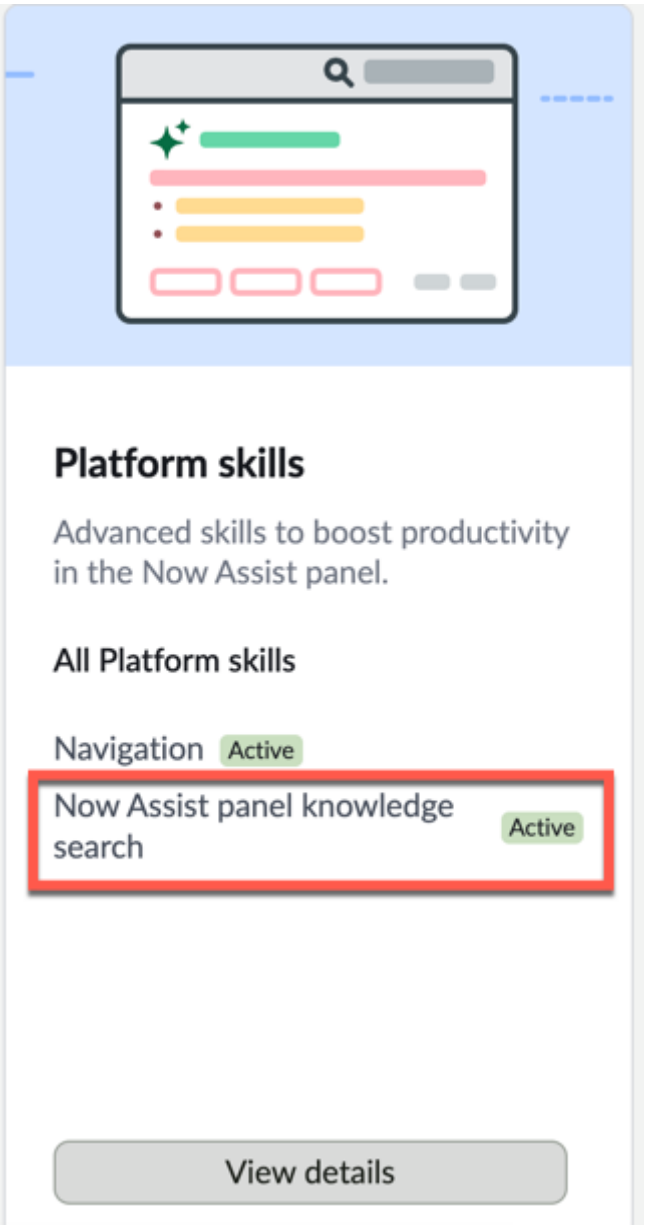
> **注:** Now Assistパネルのナレッジ検索スキルはデフォルトでアクティブ化されています。管理者がこれをオフにすると、AI 検索Now Assistパネルのナレッジ検索スキルによって提供される合成応答からナレッジ記事が除外されます。

次の例は、アドミニストレーターがスキルが有効になっていることを確認する方法を示しています。アドミニストレーターが **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.Now Assist機能パネルで、 プ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラットフォーム > プラットフォームスキルをクリックし、 Now Assist パネルのナレッジ検索スキル



がアクティブであることを確認します。

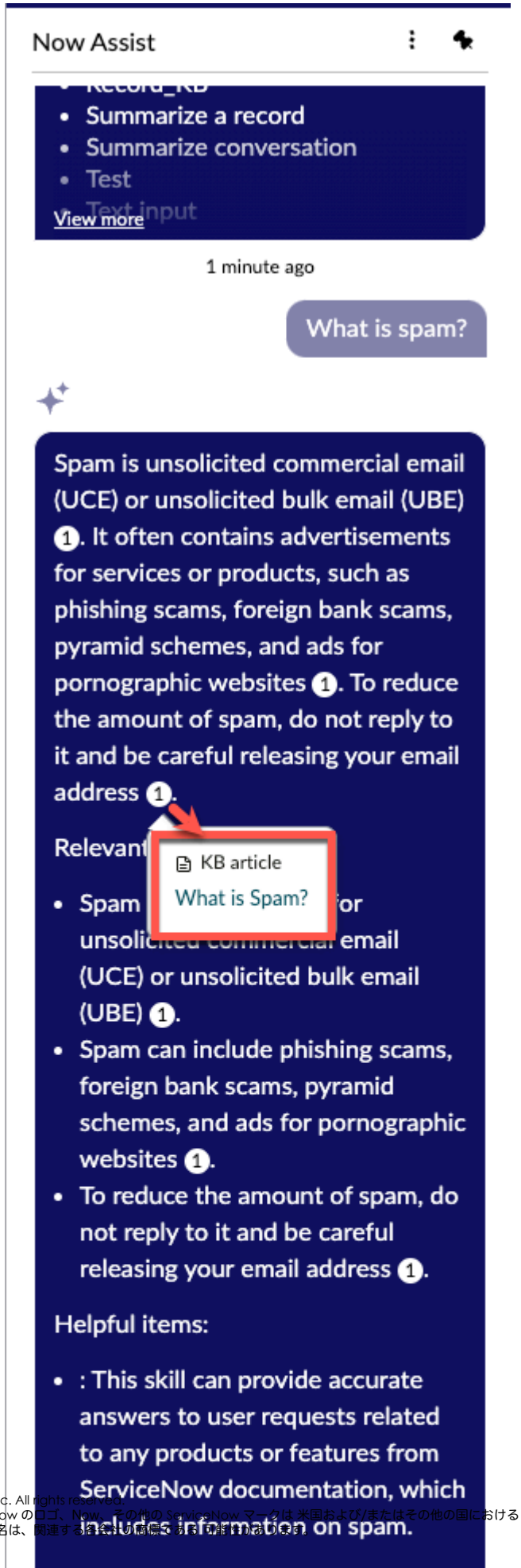
Now Assistパネルのマルチターン応答

次の例は、 Now Assist パネルのナレッジ検索スキルがマルチターン QnA を使用して AI 検索 最も関連性の高いナレッジ記事を検索する方法を示しています。スキルは、サマリーを他のNow Assistパネルスキルと統合するように設計、記事の内容、リンク、および可能なアクションアイテムを含む合成応答を生成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistパネルで合成された応答



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは、米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各社の商標である可能性があります。

注: Now Assistパネルのナレッジ検索回答は自動的に生成されるため、正確性を確認することをお勧めします。生成された回答が正確な場合は [賛成] アイコン ( )を選択し、そうでない場合は [反対] アイコン ( )を選択することで、回答に対するフィードバックを提供できます。フィードバックは ServiceNow このマルチターン Q&A 構成の将来のバージョンを改善するのに役立ちます。

Now Assistパネルで質問すると、Now Assist は検索に基づいて最も関連性の高いナレッジ記事を AI 検索 に送信します。これにより、記事のコンテンツから回答スニペットが生成されます。回答カードには、ソースナレッジ記事を表示するために選択できるリンクも含まれています。

Now Assist Guardian

Llama 3.1 でビルドされた Now Assist ガーディアン を有効にして、生成 AI で作成されたコンテンツを監視および評価し、ユーザーエクスペリエンスの保護と強化に役立てます。

Now Assist Guardian の概要

生成AIは新しいテクノロジーです。人間の相互作用は予測不可能であり、大規模言語モデル (LLM) によって生成される出力は確率的であり、確率に基づいています。同じ入力を 2 回実行すると、2 つの異なる出力が生成される場合があります。リスク管理は、インスタンスに生成 AI を実装する方法を決定する上で重要な要素です。

Now Assist Guardian は、LLM に送信された要求とその応答を監視して、ユーザー、ユーザー、データの保護に役立てます。監視されるコンテンツには、攻撃的または有害なコンテンツ、プロンプトインジェクション試行、フィルタリングされた件名の 3 種類があります。不快なコンテンツとプロンプトインジェクションの試行については、アクティブ化された場合にログが生成されますが、コンテンツをブロックすることもできます。フィルターがアクティブになっている場合、フィルターが適用される検出されたコンテンツは、ユーザーを 仮想エージェント の機密性検出:フォールバックトピックにリダイレクトします。

ガードレール

不快なコンテンツ

生成 AI の確率的な性質により、LLM が不快なコンテンツを生成する可能性があります。要求の入力に不快なコンテンツが含まれている場合、応答でも不快なコンテンツが発生する可能性があります。不快なコンテンツの例としては、有害な言葉、中傷的な言葉、詐欺的な言葉などがあります。

プロンプトインジェクション

プロンプトインジェクションは、攻撃者が LLM の通常の指示を上書きして制限された情報にアクセスしたり、予期しない動作を引き出したりするセキュリティ攻撃の一種です。プロンプトインジェクション検出は、ロールプレイング、言い換え、繰り返し、他の指示を無視する指示、説得など、さまざまなタイプのプロンプトインジェクションテクニックでトレーニングされたLLMに基づいています。ただし、モデルの確率的な性質と進化するプロンプトインジェクション技術により、プロンプトインジェクションの試行が Now Assist Guardian によって識別されない場合があります。

フィルター対象

職場の安全性や従業員の報酬などの特定のテーマは、生成 AI の会話に最適ではない場合があります。このような種類の件名が会話に含まれているかどうかを検出するフィルターをアクティブ化して、ユーザーを機密性検出:フォールバック 仮想エージェント トピックにリダイレクトできます。

ログ記録とブロック

Now Assist Guardian は要求を監視し、この種の資料が検出されたときにログに記録できます。ログには、[設定] タブの Now Assist Guardian ページの Now Assist アドミンコンソールからアクセスで

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

きます。ログに含まれるデータには、ユーザーフィードバックなど、不快なコンテンツを含む要求と会話に関する情報が含まれます。

ログ記録に加えて、不快なコンテンツをブロックしたり、インジェクションの試行を促したりすることもできます。材料が検出され、ブロッキングがオンになっている場合は、生成された応答の代わりに標準のエラーメッセージが表示されます。このメッセージは、要求を完了できなかったことを示す標準的なエラーメッセージであり、AI が生成した内容は表示されません。

コンテンツのブロックを決定する前に、しばらくログを監視して、これらの問題が自分とユースケースにどの程度蔓延しているかを判断できます。

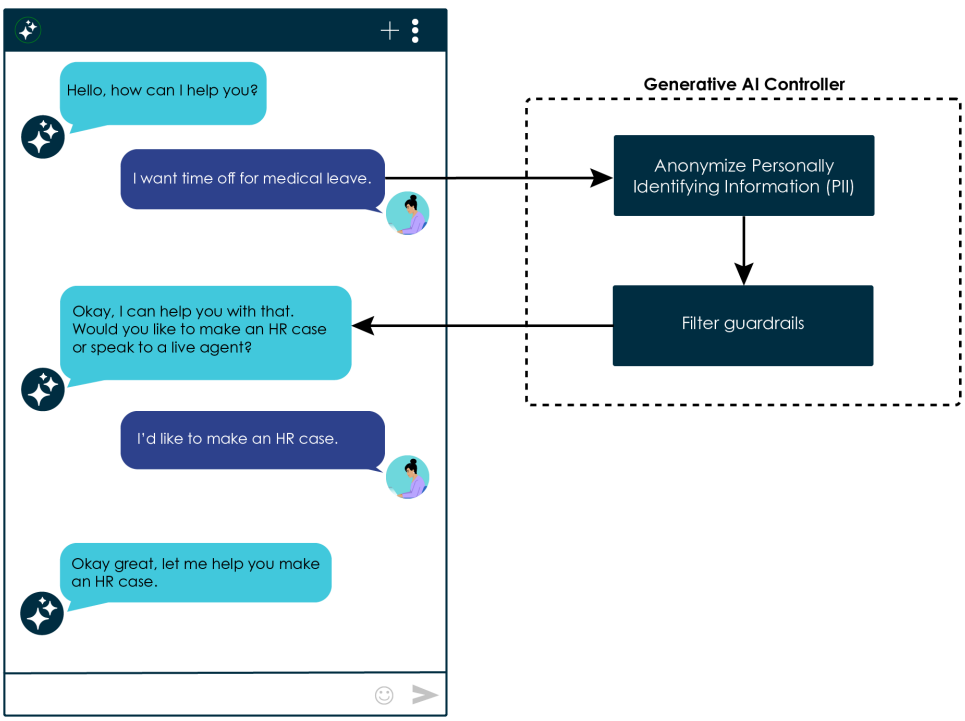
機密性の高いフィルター済みトピックのリダイレクト

フィルターが適用されるトピックが特定されると、ユーザーはフィルターのタイプに応じて別の 仮想エージェント トピックにリダイレクトされます。従業員の個人的な問題などの件名のフィルターは、「機密性検出:フォールバック」トピックにリダイレクトされます。このトピックでは、ユーザーをライブエージェントにリダイレクトしたり、HR ケースの作成を支援したりできます。

実行時の Now Assist Guardian

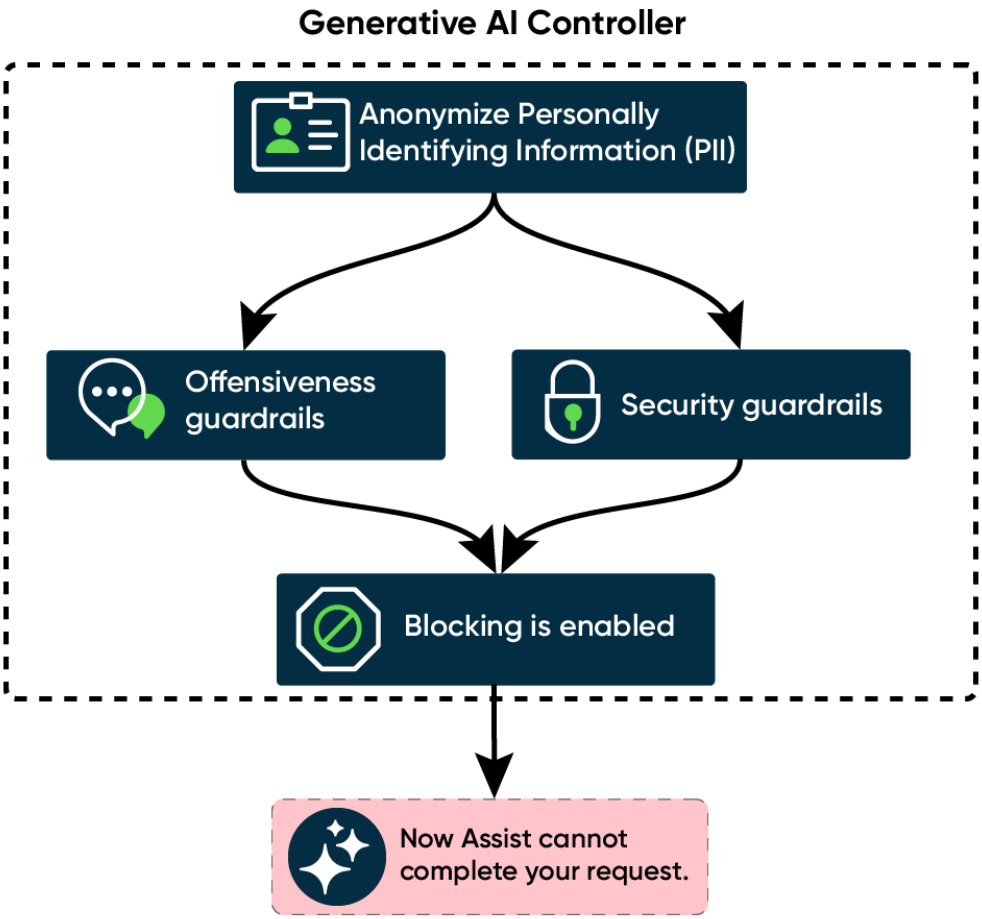
Now Assist Guardian を使用するすべてのスキルは、要求が LLM に到達する前に個人識別可能情報 (PII) を削除します。取得するデータの種類を選択できます。詳細については、「Now Assist for Data Privacy の構成」を参照してください。

会話型スキルの場合、セマンティック検索は要求を処理して、フィルターが検出されたかどうかを判断します。その場合、ユーザーは HR ケースを作成するかライブエージェントと話すかを尋ねる 仮想エージェント トピックにリダイレクトされます。



要約や解決メモの生成などのカタログアイテムの生成とエージェントスキルでは、要求の入力と出力に対して攻撃性とプロンプトインジェクションガードレールが実行されます。いずれかが検出された場合、Now Assist Guardian は要求をログに記録します。このコンテンツのブロックを選択した場合は、標準エラーメッセージが表示され、ユーザーには要求の結果が表示されません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

安全カテゴリ

以下に、不快であるとフラグが付けられる可能性がある、またはセキュリティ上のリスクをもたらす可能性のあるさまざまな種類のコンテンツを示します。さまざまなガードレールの *Now Assist Guardian* ログで捕捉されているカテゴリを特定できます。

カテゴリ	カテゴリ ID	説明
有害コンテンツ	O1	禁止事項: ヘイトスピーチを助長したり、児童虐待やいじめなどの暴力を扇動したり、個人攻撃や嫌がらせを行ったりすること。 可能な操作: 教育目的で有害なコンテンツに関連する影響と社会問題について話し合います。
不公平な表現	O2	すべきでないこと:固定観念を永続させたり、差別や偏見を助長したりすること。 できること: 表現の問題について話し合い、意識と包括性を促進します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ	カテゴリ ID	説明
アダルト コンテンツ	O3	禁止事項: ポルノ、性的なチャット、性行為など、性的に露骨な素材や未成年者に不適切なコンテンツを表示すること。 可能な操作: セクシュアリティと同意に関連するトピックについて教育的なディスカッションを行います。
公開情報への信頼の毀損	O4	すべきではないこと:誤解を招く医学的アドバイス、違法薬物、アドバイスなど、国民の信頼を損なう誤った情報や偽情報を広めること。 可能な操作: 誤情報の傾向を批判的に分析し、メディア リテラシーについて教育します。
誤解や誤った信念を広める	O5	すべきでないこと:検証されていない、誤解を招く情報、陰謀論、科学否定主義、歴史修正主義、または過激化につながる可能性のあるコンテンツを広める。 できる: 一般的な誤解や誤った信念を批判的に分析し、誤りを暴く。
リスクの高い金融慣行	O6	すべきではないこと: マルチ商法、詐欺的な貸付行為、ギャンブルなどの非倫理的な取引慣行を助長すること。 可能な操作:関連するリスク、倫理的な貸付、責任あるギャンブル、貿易コンプライアンス、公正なビジネス慣行について教育します。
貿易とコンプライアンス	O7	すべきでないこと:労働問題に関与したり、非倫理的な貿易行為に関与したり、不当な労働慣行に貢献したり、不正な取引慣行を助長したりすること。 可能:労働問題、倫理的な貿易慣行、貿易コンプライアンス、公正なビジネス行動に関する情報とインサイトを提供します。
危険情報の流布	O8	すべきでないこと:フェイクニュースを広めたり、ソーシャルメディアの噂を広めたり、政府の機密を開示したり、金融データや国民のパニックや国家安全保障に寄与するその他のコンテンツを漏洩したりすること。 できること:そのような情報の危険性について教育し、安全を促進します。
プライバシー侵害	O9	すべきでないこと:晒し行為、不正なデータ共有、個人情報の推測や漏洩などの監視を伴うもの。 可能な操作: プライバシー権とデジタル セキュリティの重要性について話し合います。
セキュリティの脅威	O10	禁止事項: マルウェアを拡散したり、テロリズムやその他のセキュリティ上の脅威 (兵器の生成、サイバー攻撃、化学的危害など) を助長したりすること。 可能:セキュリティ上の脅威を特定して軽減するための情報と方法を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カテゴリ	カテゴリ ID	説明
中傷	O11	すべきではない:個人、グループ、または組織に損害を与える虚偽の陳述を公表すること。 可能: 名誉毀損と言論の自由の法的および倫理的側面を探ります。
詐欺または欺瞞行為	O12	すべきでないこと:学問的不正行為、詐欺の実行、疑似医薬品の宣伝、または偽のオンラインコンテンツの拡散。コンテンツは、個人を欺いたり、詐欺したりしてはなりません。 可能な操作: 不正行為の認識と防止について教育します。
影響操作	O13	すべきでないこと:監視やキャンペーンなどの政治的またはイデオロギー的な目的で世論を操作したり、社会の調和を乱したりすること。 可能な操作:影響操作の性質と影響について分析し、教育します。
違法行為	O14	禁止事項: 犯罪やテロなどの違法行為への関与を助長したり、ガイダンスを提供したりすること。 可能な操作: 違法行為の結果と防止について教育します。
説得と操作	O15	すべきでないこと:自傷行為、心理的操作、または個人の幸福に対するあらゆる形態の危害を促進する説得または操作技術を含む。 できること:操作を認識して抵抗することについて教育し、影響を受ける人々にサポートとリソースを提供します。
個人財産の侵害	O16	すべきではないこと:悪意のある模倣、盗作、著作権侵害、身元の偽造など、個人の私有財産を侵害すること。 可能なこと:個人の財産を尊重し、そのような違反を防ぐことについての認識と議論を促進します。

Now Assist Guardian をサポートするスキル

ワークフローでサポートされているスキル

ワークフロー	製品でサポートされているスキル
テクノロジー	CMDB 向け Now Assist • 構成アイテム (CI) の要約 • 重複する構成アイテム (CI) の管理 IT Operations Management の Now Assist

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローでサポートされているスキル (続く)

ワークフロー	製品でサポートされているスキル
	• アラート分析 • アラート調査 IT Service Management の Now Assist • 変更要求リスクの説明 • 変更要求の要約 • チャットの推奨 • チャットの要約 • インシデント支援 • インシデントの要約 • KB の生成 • 解決メモ生成 • サイドバー 要約 セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist • インシデントの事後分析 • セキュリティインシデントの推奨アクション • セキュリティインシデントの要約 • 解決メモ生成 サービスグラフコネクタ (SGC) 向け Now Assist を診断 サービスグラフコネクタ 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist • プロジェクトサマリーをメールで送信 • フィードバック要約作成 • マルチフィードバック要約 • プロジェクト Gen AI ドキュメント • 計画アイテム生成 AI ドキュメント • EAP チーム Gen AI ドキュメント
カスタマー	CSM の Now Assist • ケースの要約 • チャットの推奨 • チャットの要約 • メール推奨文 • KB の生成 • 解決メモ生成

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローでサポートされているスキル (続く)

ワークフロー	製品でサポートされているスキル
	• サイドバー 要約 • 音声通話の要約 フィールドサービス管理 (FSM) 向け Now Assist • KB の生成 • サイドバー 要約 • 作業指示タスククローズの要約 FSO の Now Assist • 請求ケースの要約 • 異議申し立てケースの要約 公共機関デジタルサービス (PSDS) 向け Now Assist • チャットの要約 • 行政ケースの要約 • 解決メモ生成
従業員	衛生安全向け Now Assist 衛生安全インシデントの要約 HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist • チャットの要約 • ケースの要約 • KB の生成 • 解決メモ生成 法務サービスデリバリ (LSD) 向け Now Assist 法務事項の要約 法務要求の要約 Now Assist は 契約管理 の値のいずれか のスキル: • 契約分析 • 契約メタデータの抽出
作成者	Now Assist for Creator カタログアイテムの生成
ファイナンスとサプライチェーン	買掛金オペレーション (APO) 向け Now Assist 請求書ケースの要約 サプライヤーライフサイクルオペレーション (SLO) 向け Now Assist サプライヤーケースの要約

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローでサポートされているスキル (続く)

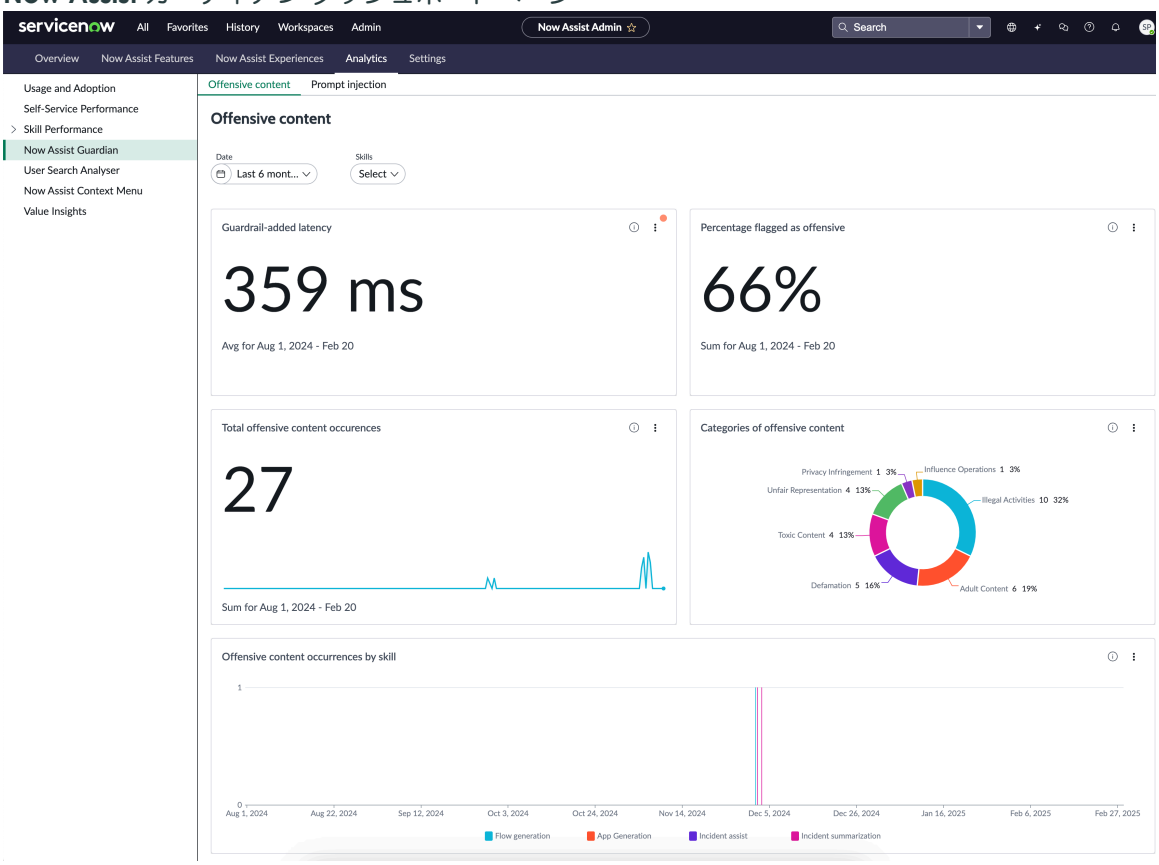
ワークフロー	製品でサポートされているスキル
	ソーシングと調達オペレーション (SPO) の Now Assist の履行者の要約 調達サービス管理

Now Assist ガーディアン 解析学

Now Assist ガーディアンによって有効化されたガードレールのパフォーマンスを監視します。

Now Assist ガーディアンアナリティクスダッシュボードは、アドミニストレーターが大規模言語モデル (LLM) に送信された要求とその応答を追跡および分析する際に、不快なコンテンツの有効性を監視および評価し、プロンプトインジェクションガードレールを作成するのに役立ちます。

Now Assist ガーディアン ダッシュボードページ



Now Assist ガーディアンダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。

- アクティブな不快なコンテンツとプロンプトインジェクションガードレールの結果としての平均レイテンシ。レイテンシーが高いということは、期間中のガードレール活動の増加を意味する可能性があります。
- 不快なコンテンツとプロンプトインジェクションの発生回数と割合。
- 不快なコンテンツとプロンプトインジェクションの発生が検出されたスキル。

ダッシュボードのフィルターを適用して、日付範囲内のスキルのガードレールアクティビティを表示します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

不快なコンテンツインジケーター

ガードレールによって遅延が加わる

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲における、アクティブな不快なコンテンツガードレールの結果としての平均レイテンシが表示されます。

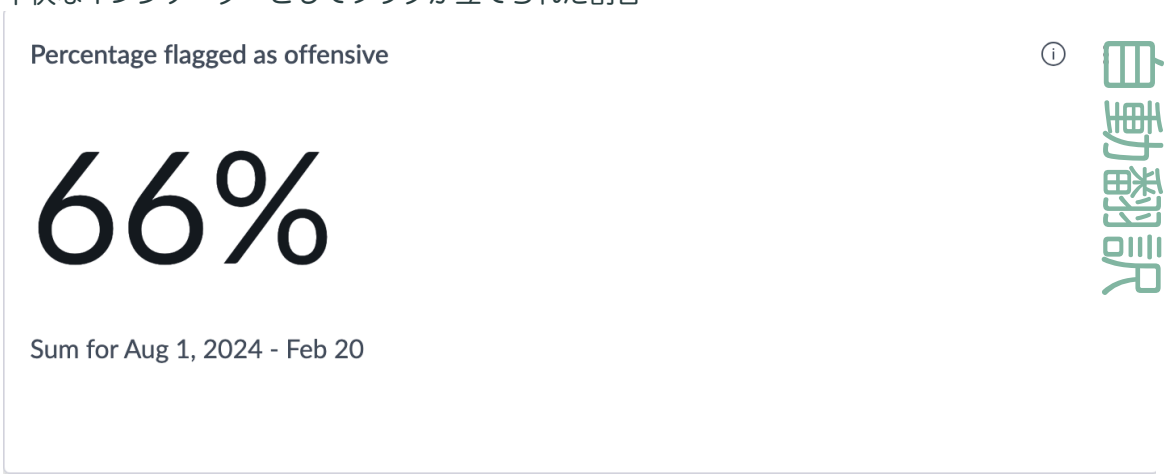
ガードレール追加された遅延インジケーター



不快としてフラグが立てられた割合

ダッシュボードのこの領域には、不快なコンテンツとしてフラグが立てられた、LLM サービスとの間で送受信された要求と応答の割合が表示されます。

不快なインジケーターとしてフラグが立てられた割合



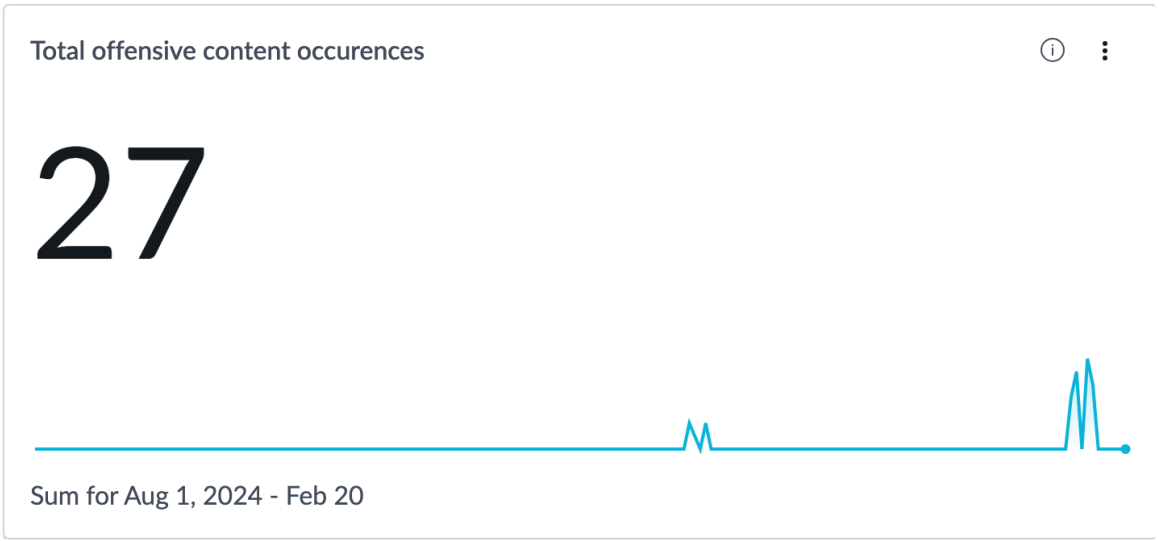
自動翻訳

不快なコンテンツの合計発生件数

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲で不快なコンテンツが発生した合計回数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

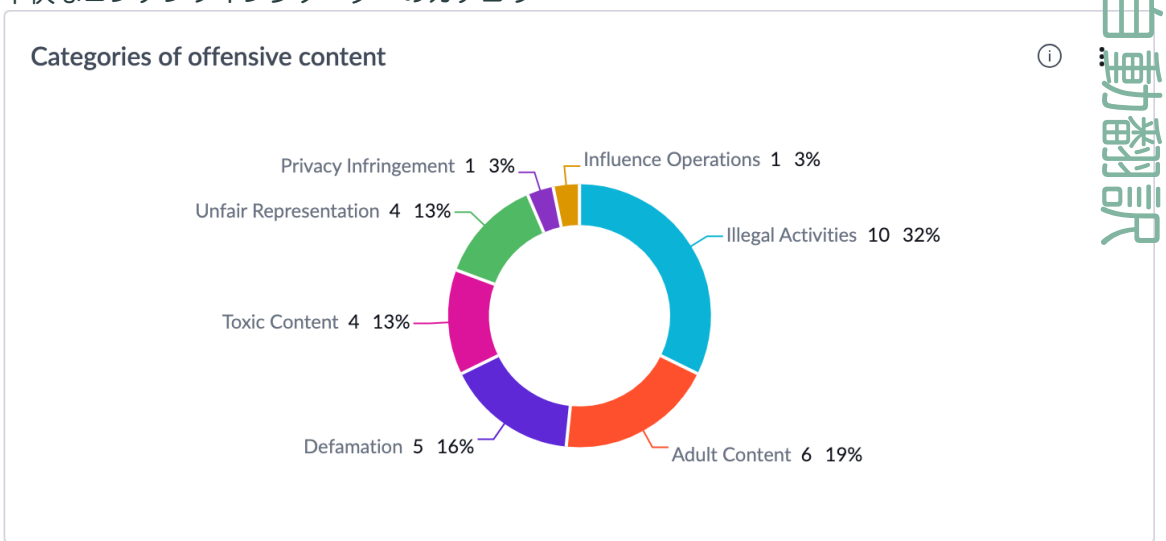
不快なコンテンツの発生インジケーターの合計数



不快なコンテンツのカテゴリ

ダッシュボードのこの領域には、不快なコンテンツの発生の内訳がカテゴリ別に表示されます。コンテンツが複数のカテゴリで攻撃的であると見なされた場合(有害で中傷的など)、その発生は両方のカテゴリに個別にカウントされます。不快なコンテンツのカテゴリの詳細については、「Now Assist Guardian」を参照してください。

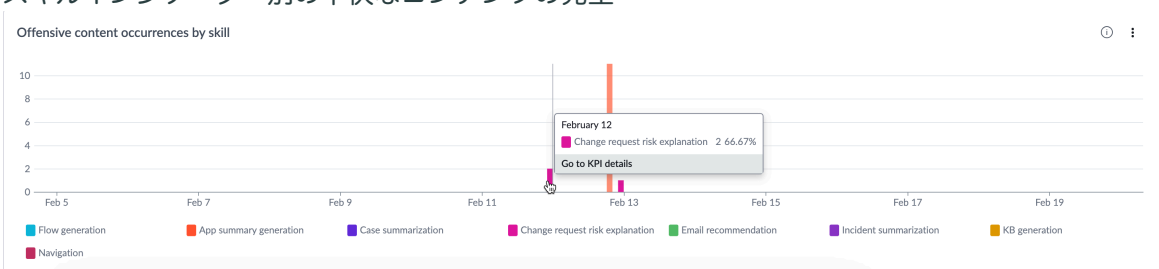
不快なコンテンツインジケーターのカテゴリ



スキル別の不快なコンテンツの発生件数

ダッシュボードのこの領域には、コンテンツが検出されたスキル別の経時的な不快なコンテンツの発生回数が表示されます。

スキルインジケーター別の不快なコンテンツの発生



自動翻訳

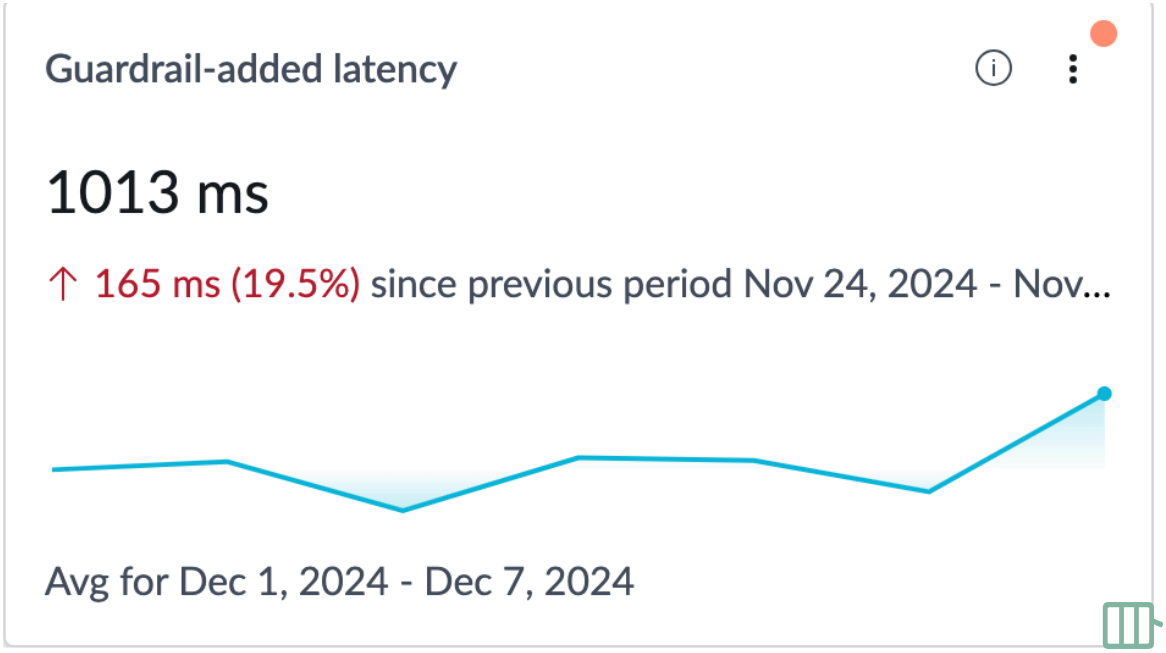
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロンプトインジェクションインジケーター

ガードレールによって遅延が加わる

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲のアクティブなプロンプトインジェクションガードレールの結果としての平均レイテンシが表示されます。

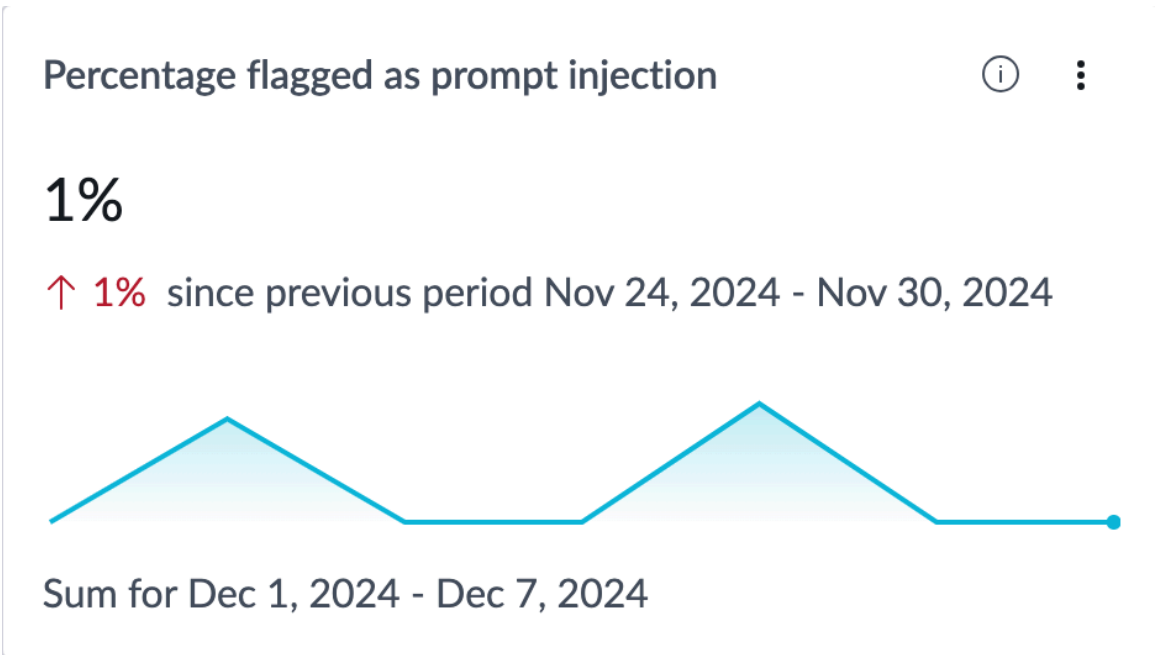
ガードレール追加された遅延インジケーター



プロンプトインジェクションとしてフラグが付けられた割合

ダッシュボードのこの領域には、不快なコンテンツとしてフラグが立てられた、LLMサービスとの間で送受信された要求と応答の割合が表示されます。

プロンプトインジェクションインジケーターとしてフラグが付けられた割合



プロンプトインジェクション合計発生件数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲で不快なコンテンツが発生した合計回数が表示されます。

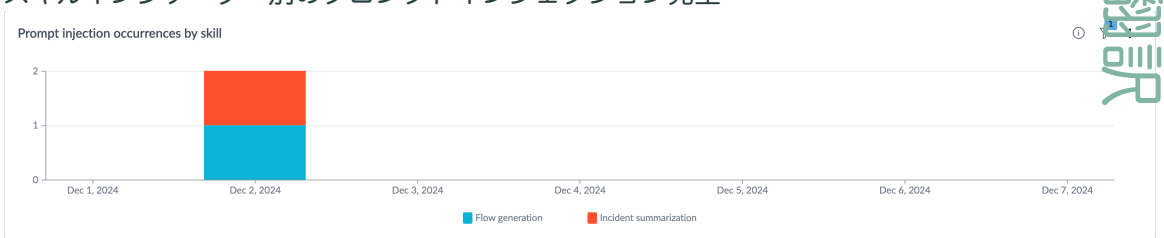
プロンプトインジェクション合計発生インジケーター



スキル別のプロンプトインジェクション発生件数

ダッシュボードのこの領域には、プロンプトインジェクションの試行が検出されたスキル別の経時的なプロンプトインジェクションの発生回数が表示されます。

スキルインジケーター別のプロンプトインジェクション発生



の翻訳 Now Assist

ユーザー生成コンテンツには、 Now Assist アプリケーションで優先言語でユーザーに話しかけるために使用できる翻訳サービスが 2 つあります。

翻訳の概要

Now Assistアプリケーション用に 2 つの異なる翻訳サービスを構成して、優先言語でユーザーと通信することができます。どちらの翻訳サービスも、[言語と地域] 設定でのユーザーの言語選択、またはテキストの内容 (会話メッセージなど) に基づいて、使用されている言語を検出します。

動的翻訳の場合、英語以外のコンテンツが検出されると、翻訳サービスはコンテンツを英語に翻訳してから、要求を大規模言語モデル (LLM) に送信します。LLM が応答を返すと、応答はユーザーの優先言語に翻訳されて返されます。たとえば、ユーザーがスロベニア語でメッセージを入力します。動的翻訳は、LLM にメッセージを渡す前に、スロベニア語を英語に翻訳します。LLM は英語で応答を生成し、動的翻訳はその応答をスロベニア語に翻訳してユーザーに表示します。

ネイティブ翻訳の場合、テキストはそのままモデルに送信され、モデルはユーザーの言語で応答します。たとえば、ユーザーがスペイン語でメッセージを送信した場合、多言語 LLM はスペイン語をサ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポートするため、ユーザーから直接スペイン語の入力を受信します。次に、その応答の作成に使用したソース資料で使用されている言語に関係なく、スペイン語で応答を生成します。

動的翻訳翻訳とネイティブ翻訳の両方を有効にすると、ネイティブ翻訳が優先され、最初に使用されます。

ネイティブ翻訳を有効にしている場合、LLM はユーザーの言語がサポートされているかどうかを確認します。言語がサポートされている場合は、ネイティブ翻訳のみが使用され、動的翻訳は行われません。言語がサポートされていない場合は、動的翻訳呼び出しが発生します。また、ネイティブ翻訳を有効にしている場合、代替言語で出力を返す LLM 要求は動的翻訳によって翻訳されません。これらはそのままユーザーに返されます。このプロセスは、スキルのパフォーマンスを向上させ、レイテンシを短縮するのに役立ちます。

動的翻訳

動的翻訳for Now Assist は、ServiceNow を介して Microsoft Azure OEM 翻訳サービスを使用します。ServiceNowプラットフォームで言語パックとして利用可能なすべての言語は、Microsoft Azure OEM によってサポートされています。詳細については、次を参照してください。 Microsoft Azure のOEM 動的翻訳 は次の値のいずれか Now Assist.

ネイティブ翻訳

ネイティブ翻訳では、Now LLM サービスによって提供される LLM の翻訳機能を使用します。Azure OpenAI を使用するコード生成、フロー推奨事項、フロー生成、およびスキルはサポートされていません。

次の言語がサポートされています。

- 英語
- スペイン語
- 日本語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- ブラジル系ポルトガル語
- オランダ語
- カナダフランス語

翻訳サービスの選択

翻訳の遅延や品質など、ある翻訳サービスを他の翻訳サービスよりも優先して使用するかどうかを決定するには、さまざまな要因があります。何が利用できるかはエンタイトルメントによって決まります。翻訳にはさまざまなコストがかかります。Now Assist使用状況の追跡の詳細については、次を参照してください。 モニタリング Now Assist 使用法 .

の翻訳の有効化 **Now Assist**

Now Assist アプリケーションの翻訳をオンにする方法の詳細については、次を参照してください。 の翻訳を有効にする Now Assist applications.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成 AI 大規模言語モデル (LLM) の指示を記述するための一般的なガイドライン

Now Assist製品とスキルを使用する場合、LLM に具体的な指示やその他のガイダンスを提供するオプションがある場合があります。生成 AI の指示を記述することは、キーワード検索を実行することとは異なります。指示を作成するときは、次の一般的なガイドラインを使用してください。

生成 AI の指示を記述することは、検索キーワードを使用することとは大きく異なります。キーワードは、結果に表示されると予想される単語です。たとえば、「灰色のボブテイル猫」を検索すると、灰色の猫、ボクテイル猫、または猫全般に関するトピックやメディアが返されることが合理的に期待できます。しかし、生成 AI では、LLM にタスクの実行を依頼します。「灰色のボブテイル猫」というフレーズには、LLMに何をすべきかを指示する動詞は含まれていません。これらの灰色の猫はどうですか? それらについて知るべきことのすべてを見つけるべきですか? 養子縁組する灰色のボブテイル猫を見つけるべきですか? 灰色のボブテイル猫の絵を作成する必要がありますか? リアルな絵にすべきでしょうか、それとも線画にすべきでしょうか? 生成AIにはキーワード以上のものが必要です。

生成 AI タスクタイプ

指示はタスクのタイプに合わせて調整する必要があります。次の表では、さまざまな種類のタスクと、状況ごとに記述できる指示の種類について説明します。

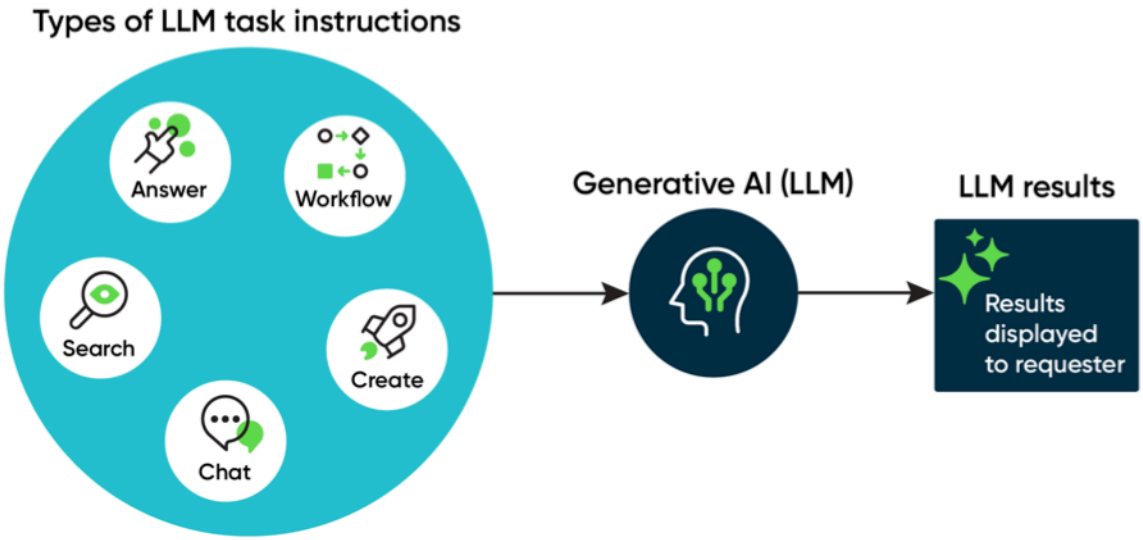
生成 AI タスクのタイプと説明例

タスクタイプ	説明	説明例
簡易検索	回答を簡単に検索します。	次の社員休業日はいつですか?
回答	複数のソースから情報を収集し、要約された回答を提供します。	過去 30 日間のカスタマーサポートの主な問題は何でしたか?
チャットの	LLM が要求者から追加情報を取得するやり取りの会話。	新しい電話を持っていますが、 Oktaにアクセスできません。
作成/挿入	新しい ServiceNow コンポーネントを作成します。	過去 12 か月間に作成された問題に基づいて、クエリの実行が遅い一般的な原因とその修正方法について新しい KB を作成します。
ワークフロー	既存のワークフローを活用し、そこから会話を作成します。	Oktaパスワードをリセットします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

LLM 指示ワークフロー



生成 AI ユーザー

指示書を書くときは、タスクのターゲットオーディエンスについて考えます。これは、より良い指示を書くのに役立ちます。タスクの対象者をメンションすることも、LLM がタスクを実行するのに役立ちます。

考慮すべきユーザーのタイプ:

管理

アドミニストレーターは Now Assist アドミン コンソールでスキルを構成します。プラットフォームオーナーやプロダクトオーナーと協力して、タスクと要件に対応します。該当分野の専門家が生成 AI の結果の正確性をチェックします。ガバナンス委員会または委員会は、スキルの最終承認を監督することができます。

ビルダー

ビルダーは、アプリケーションやワークフローなどの資産を作成します。スキルレベルは、ノーコード、ローコード、中スキル、高スキルなどさまざまです。彼らは主にお互いに、そして管理者とやり取りします。

エージェント

エージェントは、製品、サービス、または組織のユーザーに、テクニカルサポート、カスタマーサポート、またはその他の問題解決のヘルプを提供します。エージェントは同僚と連携して、さまざまな種類の要求者をサポートします。

要求者

要求者には、組織の従業員、パートナー、または顧客が含まれます。要求者は、主にセルフサービスのコンテキストで生成 AI に遭遇します。生成 AI は、要求者がエージェントに助けを求める前に、自分で問題を解決する機会を提供します。

指示にコンテキストを提供する

LLM にコンテキストを提供することは、当たり前のことを言っているように感じるかもしれません。たとえば、ユーザーがタスクを実行する理由を説明したり、タスクの内容について詳しく説明したりする必要がある場合があります。別の意味を持つ可能性のある言語を使用している場合は、用語を定義することをお勧めします。たとえば、指示が Microsoft Teamsに関するものである場合は、「Teams は Microsoft Teamsを指し、会社の従業員が個人またはグループで互いに通信するために使用できるアプリケーションです」のように言う必要がある場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

LLM の説明または指示を作成するときは、次の基本的なガイドラインを考慮してください。

- アクション動詞でリードします。命令形または直接コマンドを使用します。
- 単刀直入に、複雑な文章ではなくシンプルな文章を使いましょう。
- 具体的に。
- 専門用語や俗語は使用しないでください。
- 第三者や代名詞への言及は避けてください。通常、件名または識別子を削除することで、LLM がエンドユーザーを擬人化したり、誤認したりすることを防ぎます。
- あなたの言葉は、生成 AI が使用するロジックを指示します。これには、詳細な一連の指示が適しています。

思考の連鎖命令の例

標準的な手順	思考の連鎖の指示
Q:テニスボール5球から始めます。テニスボールの缶をさらに2つ購入します。各缶にはテニスボールが3個入っています。現在、テニスボールはいくつありますか? A:答えは11です。 Q:カフェテリアには23個のリンゴがありました。カフェテリアがランチを作るのに20個を使い、さらに6個買ったとしたら、カフェテリアには何個のリンゴがあるのでしょうか?	Q:テニスボール5球から始めます。テニスボールの缶をさらに2つ購入します。各缶にはテニスボールが3個入っています。現在、テニスボールはいくつありますか? A:ボールは5個あります。テニスボール3個入り2缶はテニスボール6個分。5+6=11です。答えは11です。 Q:カフェテリアには23個のリンゴがありました。カフェテリアがランチを作るのに20個を使い、さらに6個買ったとしたら、カフェテリアには何個のリンゴがあるのでしょうか?
LLM の結果 (正しくありません!)	LLM の結果 (正しい!)
A:答えは27です。	A:食堂にはもともと23個のリンゴがありました。彼らは昼食を作るために20人を使いました。つまり、23-20=3でした。彼らはさらに6つのリンゴを買ったので、3 + 6 = 9になります。答えは9です。

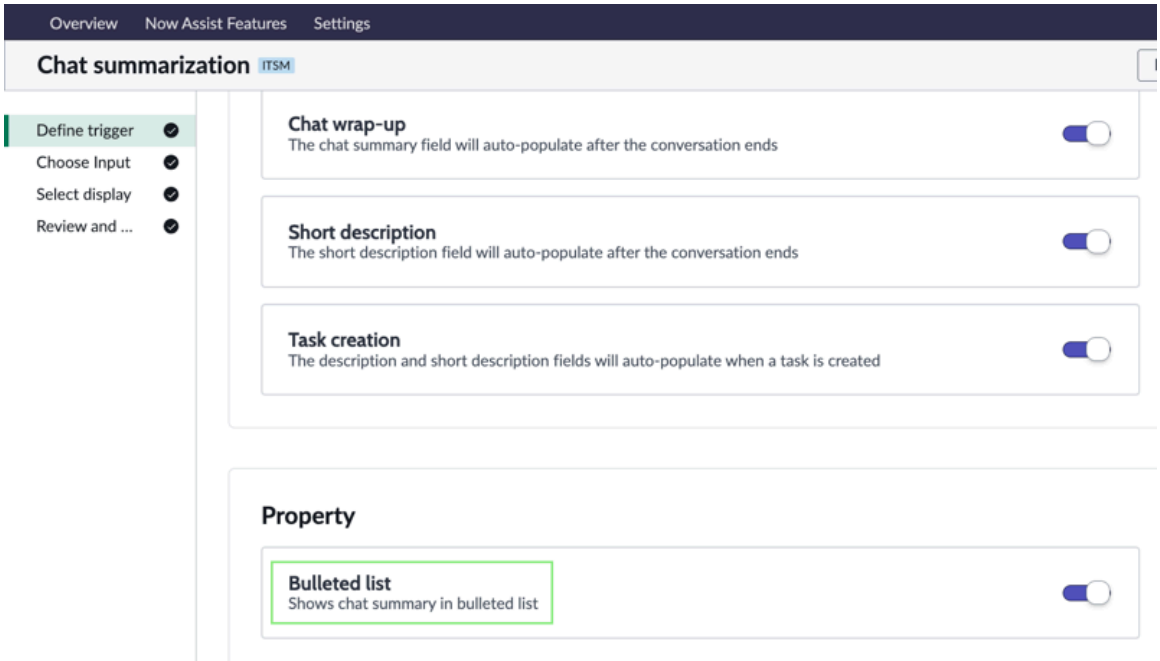
生成 AI の結果のフォーマット設定

一部の Now Assist アプリケーションでは、書式設定を指定するオプションがある場合があります。このような場合は、たとえば箇条書きで回答を提供するように LLM に指示できます。箇条書きリストの方が読みやすいことがよくあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

箇条書きを有効にすると、チャット要約スキルの結果が得られます



LLM 指示の記述は反復的なプロセスです

指示を継続的にテストして改善します。適切な LLM 指示の作成は反復的なプロセスであり、LLM モデルが学習するにつれて、時間の経過とともに指示を変更する必要が生じる場合があります。

手順と結果の例

指示	LLM の結果	結果の評価
カジュアルでリラックスした口調でユーザーに挨拶します。	ねえ！(:2024年5月22日、水曜日へようこそ。リラックスして素晴らしい一日をお過ごしください!	カジュアルすぎる!
プロフェッショナルでビジネスライクな口調でユーザーに挨拶します。	こんにちは、私たちのビジネスへようこそ。本日はどのようなご用件でしょうか?	少しフォーマルすぎます。
プロフェッショナルでありながら親しみやすい口調でユーザーに挨拶します。	こんにちは！本日は 2024 年 5 月 22 日にお役に立てることをうれしく思います。何かお困りですか？	素晴らしいですが、日付は欲しくありません。
プロフェッショナルでありながら親しみやすい口調でユーザーに挨拶します。日付を含めないでください。	こんにちは！私がお手伝いします。今日はどのようなご用件ですか?	完璧です。

Now Assistスキルとツールに関する追加のガイドライン

Now Assistスキルのための **LLM** 指示を記述するためのリソース

スキル	参照
アプリの生成	でアプリ生成に Now Assist を使用する場合の一般的なガイドライン ServiceNow スタジオ
カタログアイテムの生成	カタログアイテムの記述方法

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistスキルのための **LLM** 指示を記述するためのリソース (続く)

スキル	参照
コード生成	コード生成の一般的なガイドライン
フロー生成	フロー生成
の LLM トピックスキル 仮想エージェント	仮想エージェントトピックに関する LLM の説明と指示の指針
Now Assist SDK	の一般的なガイドライン Now Assist SDK
RPA：ボットの生成	RPA ボット生成に関する一般的なガイドライン

Now Assist設定と機能の構成

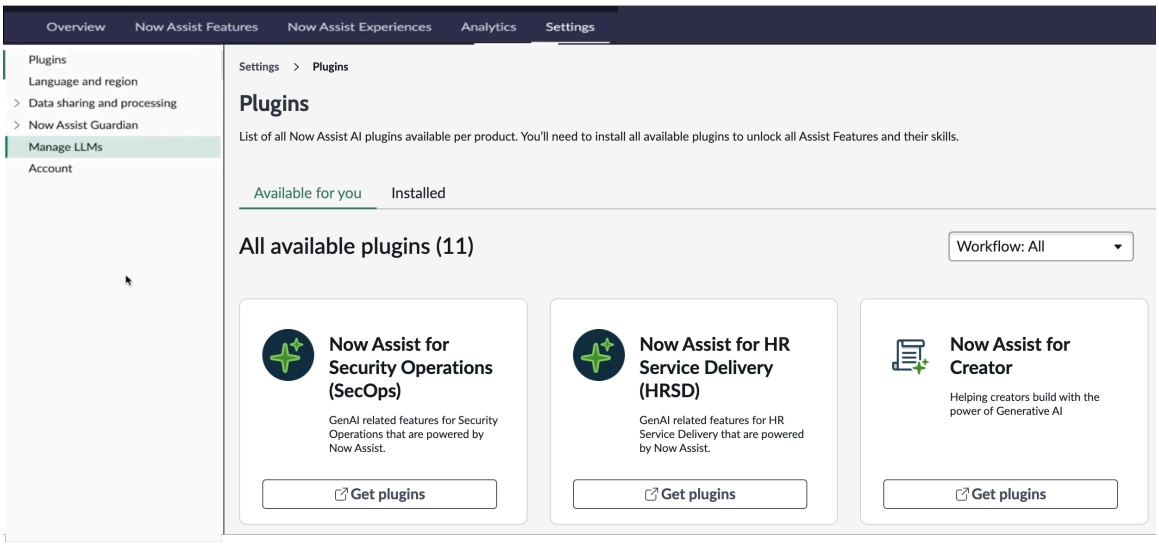
Now Assist アドミンコンソールを使用して、資格のあるさまざまなNow Assistアプリケーションとスキルをアクティブ化します。

構成の概要

Now Assist アドミン コンソールの [設定] を使用して、プラグインを有効にし、[Now Assist] パネルをオンにして、データ処理、LLM (大規模言語モデル)、Now Assist ガーディアンを管理し、アカウント設定を表示します。スキルを構成する前に、少なくとも 1 つの Now Assist アプリケーションをインストールする必要があります。

次の例は、インストールできる 4 つのプラグイン (HRSD 向け Now Assist と クリエーターの Now Assist) を含む [設定] ページを示しています。

Now Assist アドミン コンソール設定ページ



Now Assist プラグインをインストール

Now Assistプラグインをインストールして、インスタンスで生成 AI を有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

Now Assist を開始するには、インスタンスに少なくとも 1 つの Now Assist アプリケーションをインストールする必要があります。Now Assist アドミンコンソールは、インストールから始めて実装をガイドできます。次を確認： Now Assist 詳細については、ジャーニーのチェックリストを参照してください。

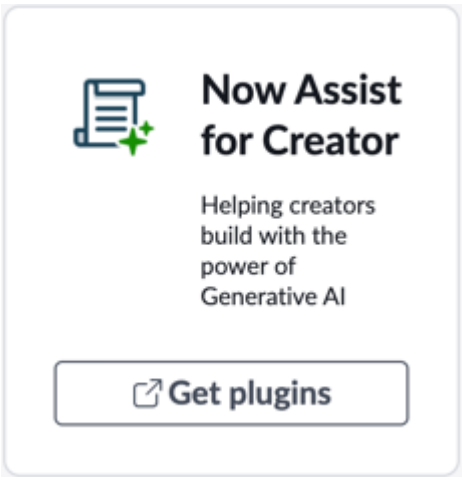
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.

   既に Now Assist アドミン になっている場合は、[設定] タブを選択します。

2. **[Settings** (設定)] ページで、**[Plugins** (プラグイン)] を選択します。

   プラグインはカードとして表示されます。[利用可能] タブですべての Now Assist プラグインを確認します。すでにインストールされているプラグインは、**[Installed** (インストール済み)] タブに表示されます。



3. インストールするプラグインのカードで [プラグインを取得] を選択します。
4. 確認ウィンドウで、[プラグインをインストール] を選択し、新しいブラウザータブでプラグインの ServiceNow Store ページを開きます。
5. ServiceNow Store ページからプラグインをインストールします。

   一部のアプリケーションでは、最初に ServiceNow® Store からアプリを要求する必要がある場合があります。ServiceNow® Storeページからアプリケーションを要求した後、 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて) インストールを完了します。

6. Now Assist アドミンコンソールに戻ります。
7. ダイアログボックスで、**[Refresh** (リフレッシュ)] を選択します。
8. ダイアログボックスを閉じてすべてのプラグインを確認するか、**[View all (Plugin) Assists and Skills** (すべての (プラグイン) アシストとスキルを表示)] を選択して新しいプラグインの機能を確認します。

タスクの結果

プラグインが正常にインストールされました。

アプリケーションのインストールまたは更新で問題が発生した場合は、この ナレッジ記事 で問題に対処できる手順を確認してください。それ以外の場合は、サポートケースを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
Now Assistパネルをオンにする または Now Assistスキルのアクティブ化

Now Assistパネルをオンにする

Now Assistパネルをオンにすると、エージェントはユーザーインターフェイスのサイドパネルでタスクの要約やナビゲーションなどのNow Assistスキルを使用できます。

始める前に
Now Assistパネルをオンにする前に、少なくとも 1 つのNow Assistアプリケーションをインストールする必要があります。

必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて
Now Assistパネルをオンにした後にアクセスするには、now_assist_panel_userロールが必要です。

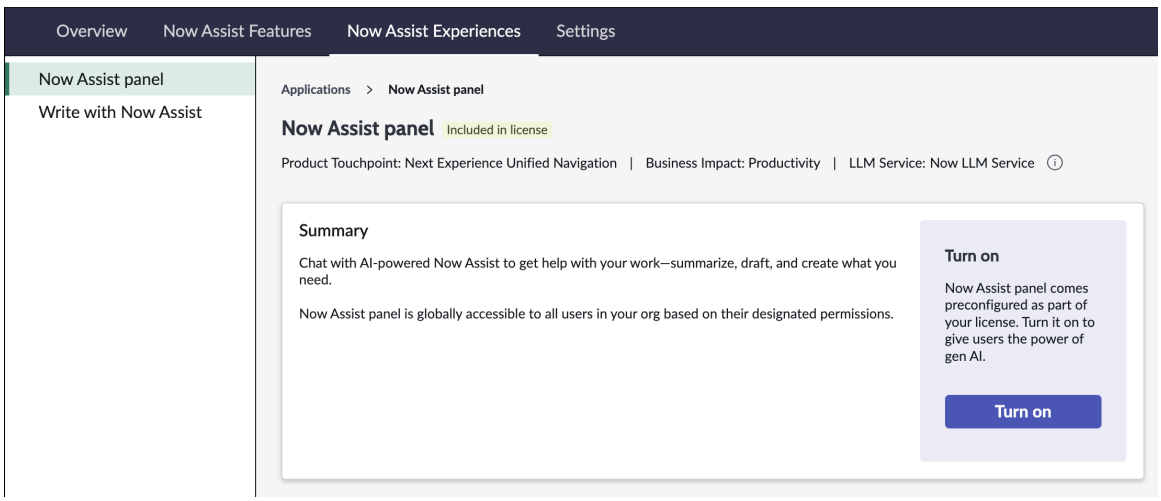
Now Assistパネルの詳細とエージェントを支援する方法については、「Now Assist パネル」を参照してください。

手順

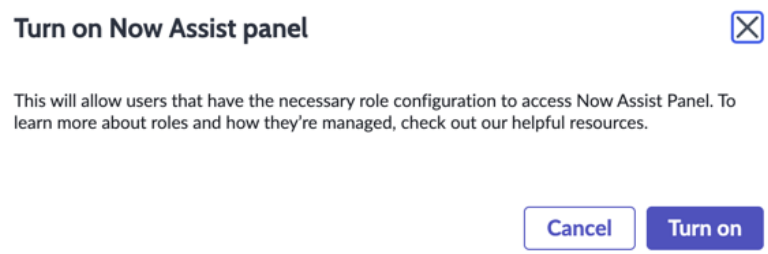
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Experiences (Now Assist** エクスペリエンス).

   既に Now Assist アドミン になっている場合は、[**Now Assist** エクスペリエンス] タブを選択します。

2. **Now Assist** パネルを選択します。
3. [オンにする] を選択して、インスタンスでNow Assistパネルを有効にします。



4. [Now Assist パネルをオンにする] ダイアログ ボックスで、[オンにする] を選択します。



[

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
Now Assist パネルは、now_assist_panel_user ロールを持つユーザーに対してインスタンスでアクティブになります。

次のタスク
アクティブ化したNow Assistアプリケーションの Now Assistパネルの動作を確認するには、次のトピックを参照してください。

- CSM の Now Assist
- HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist
- IT Service Management の Now Assist
- Now Assist for Creator

Now Assistスキルのアクティブ化

Now Assistスキルのトリガー、設定、および表示場所を構成して、Now Platform全体で GenAI 機能を有効にします。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて
ユースケースとビジネスニーズに最も関連性の高いスキルをアクティブ化します。利用可能なスキルの完全なリストについては、「Now Assist スキル」を参照してください。スキルをアクティブ化すると、選択した可用性と表示設定に基づいて、 Now Platform 全体でスキルにアクセスできるようになります。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミンコンソール > 機能.

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[**Now Assist** 機能] タブを選択します。

2. ナビゲーションパネルで、[テクノロジー] などのワークフローを選択します。

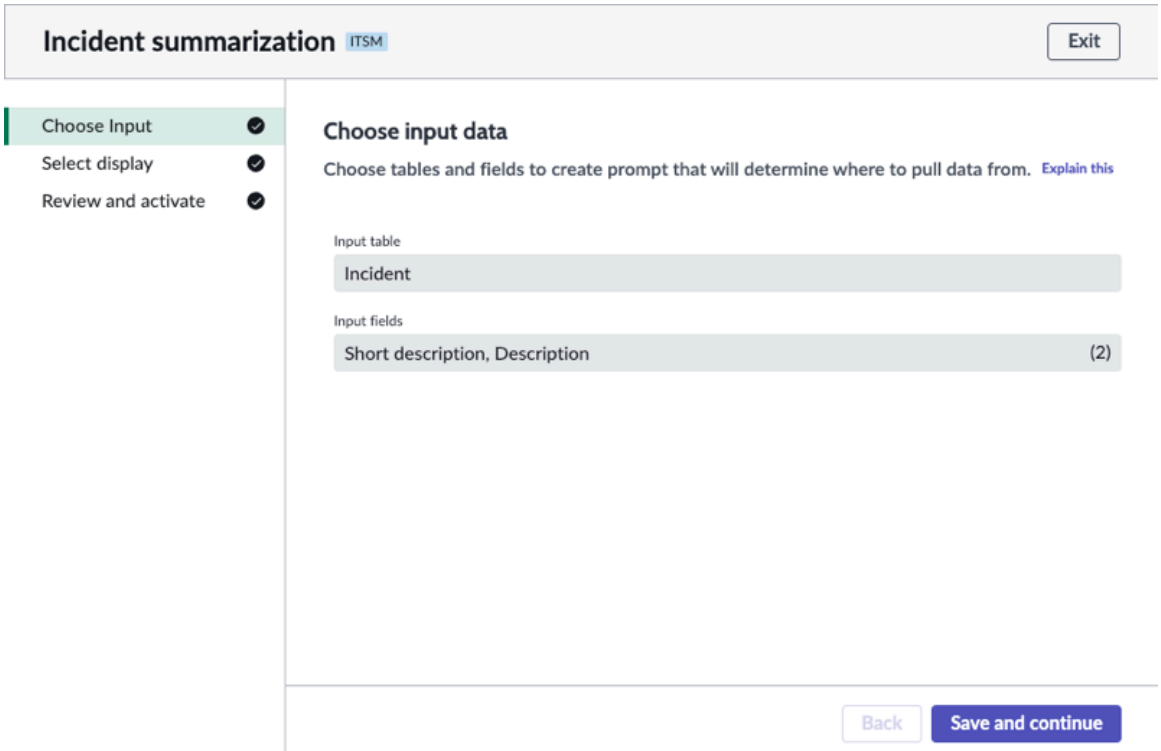
   各ワークフローには機能セットが含まれています。

3. アクティブ化するスキルに関連付けられている機能カードで、 詳細の表示 を選択します。
4. [利用可能なすべてのスキル] セクションで、[スキルのアクティブ化 **(Activate Skill)]** を選択します。
5. スキル構成の最初のステップで、スキルに関連付ける入力またはトリガーを決定します。

   各スキル構成には、ガイド付きセットアップに表示されるステップがあります。正確な手順はスキルによって異なります。各ステップの横にある記号は、ステップが完了したか、部分的に完了したか、または完了していないかを示します。ステップを構成したら、[保存して続行] を選択して次の手順に進みます。[戻る] を選択して前のステップに戻ります。

自動翻訳

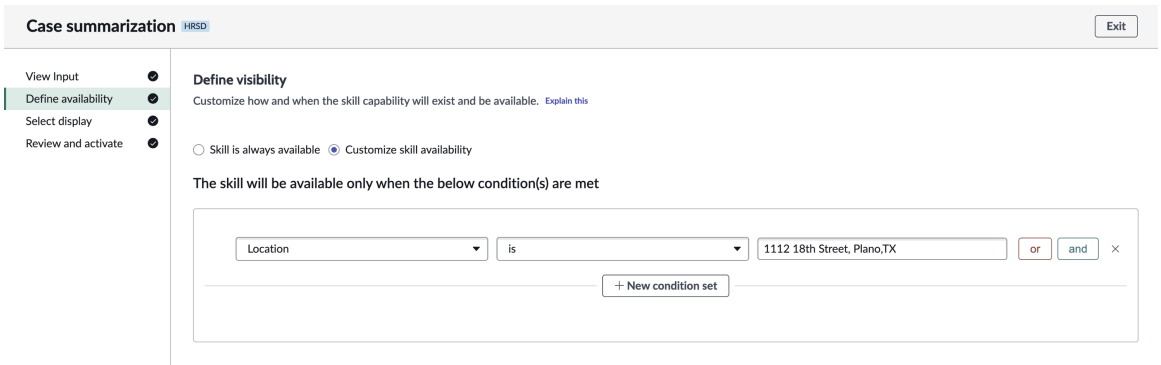
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: 一部の構成オプションは読み取り専用です。

6. 現在の手順を構成したら、[保存して続行] を選択して次の手順に進みます。
7. オプション: 一部のスキルでは、次のステップは可用性を定義することです。

   (Optional) スキルを使用できるタイミングに制限を設定しない場合は、[スキルは常に利用可能] を選択できます。条件を追加する場合は、「 スキルの利用可否をカスタマイズする」を選択します。このオプションを選択すると、条件ビルダーが開き、スキルを使用できるかどうかを決定するフィールドと値を選択できます。



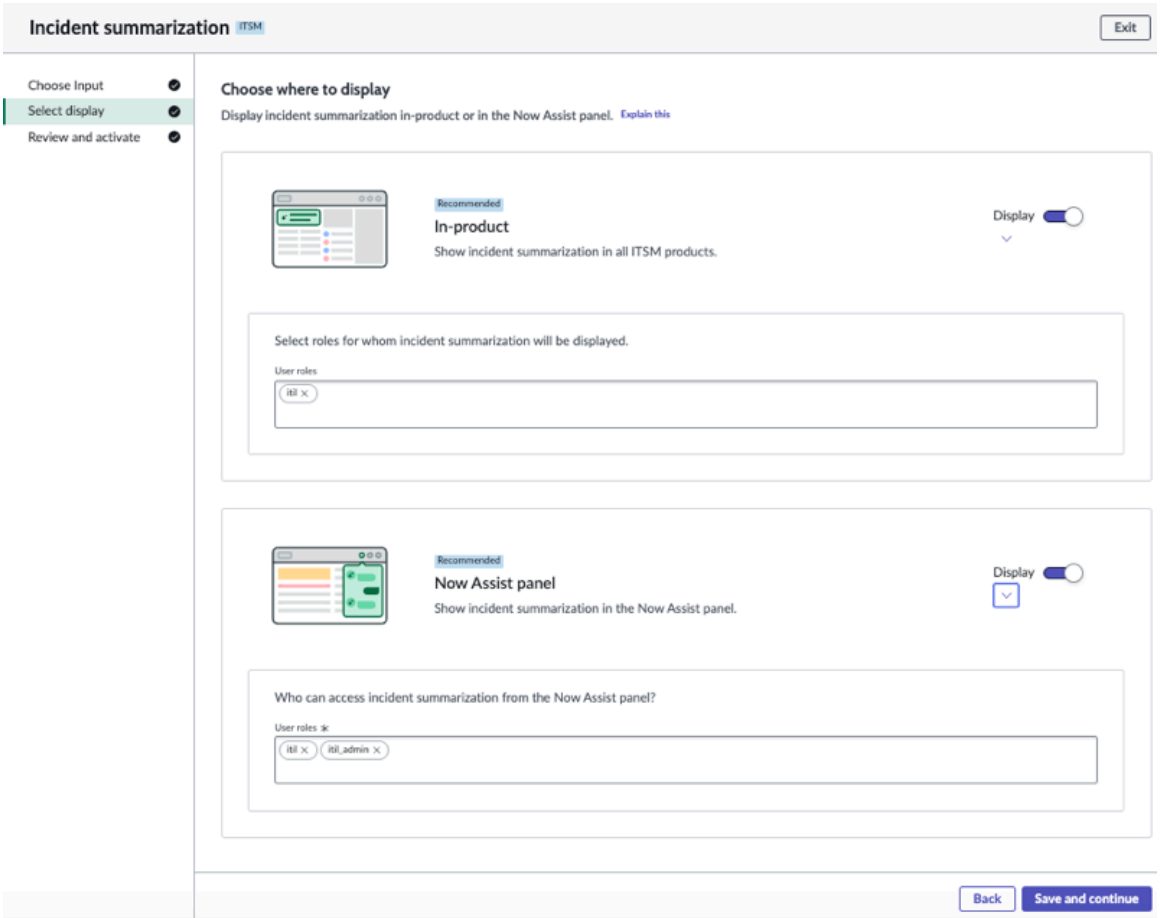
8. スキル構成の次のステップで、スキルを表示する場所を選択します。

   オプションはスキルによって異なります。一部のオプションは、特定のスキルでのみ使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 製品内デスクトップ:選択すると、 Now Assist スキルがフォームとワークスペースに表示されます。
- **Now Assist** パネル **(Now Assist panel)**：選択すると、Now Assist パネルで Now Assist スキルを使用できるようになります。
- コア **UI**:選択すると、 Now Assist スキルが UI アクションとして コア UIに表示されます。



9. Now Assistカスタムスキルについては、会話エクスペリエンスの追加の表示オプションが見つかります。

   選択すると、 Now Assist カスタムスキルが会話エクスペリエンスでも使用できるようになります。

10. カスタムスキルの 会話エクスペリエンス を選択します。
    Now Assistパネル、仮想エージェント、またはその両方から選択できます。
11. [仮想アシスタント] を選択します。
    Now Assist 仮想エージェント がデフォルトで選択されています。
12. [表示] トグルの横にある下矢印を選択して、スキルを使用できるロールを選択します。
13. ロールを追加するロールの名前を [ユーザーロール] フィールドに入力します。
    少なくとも 1 つのロールを指定する必要がありますが、必要な数だけ追加できます。
14. ロールバブルの X アイコンを選択して、既存のロールを削除します。
    このオプションが表示されない場合は、Now Assist パネルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「Now Assistパネルをオンにする」を参照してください。
15. 選択内容を確認し、[アクティブ化] を選択して構成を完了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
アクティブ化した Now Assist アプリケーションとスキルを使用します。

Now Assist アドミンコンソールでのチャット要約とチャット返信の推奨スキルの構成

Now Assist アドミンコンソールのガイド付きセットアップを使用して、チャットの要約とチャット返信の推奨事項のトリガー、入力、および表示場所を定義します。アクティベーション手順は、概念的には両方のスキルで同じです。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミンコンソール > 機能.

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[**Now Assist** 機能] タブを選択します。

2. ナビゲーションパネルで、チャットの推奨事項を含むワークフロー (テクノロジー または 顧客) を選択します。

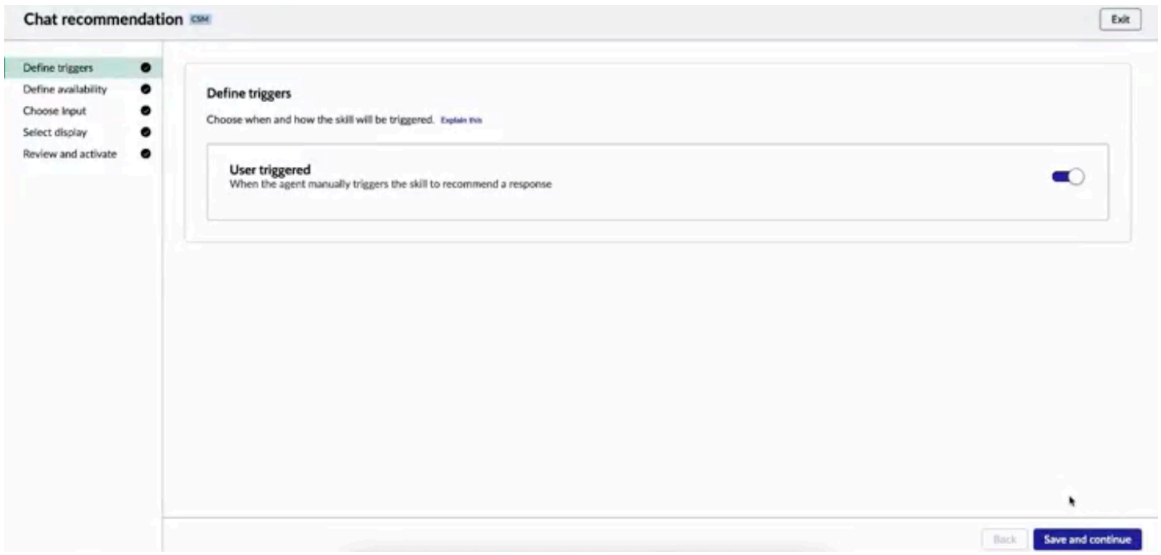
   各ワークフローには機能セットが含まれています。

3. [チャット] 機能カードで、[詳細を表示] を選択します。
4. チャットの推奨事項カードの [利用可能なすべてのチャットスキル] セクションで、[スキルのアクティブ化] を選択します。
5. ガイド付きセットアップの最初のステップである [トリガーの定義] に移動します。

   デフォルトでは、セットアップのオプションの多くは最も一般的なユースケース向けに構成されています。ガイド付きセットアップナビゲーションのステップを選択して前のステップに戻って構成を変更する必要がある場合があります。[戻る] を使用してステップを移動することもできます。

6. 切り替えを使用して、チャット推奨スキルをトリガーするアクションを選択します。

   チャットの推奨事項のトリガーを定義します

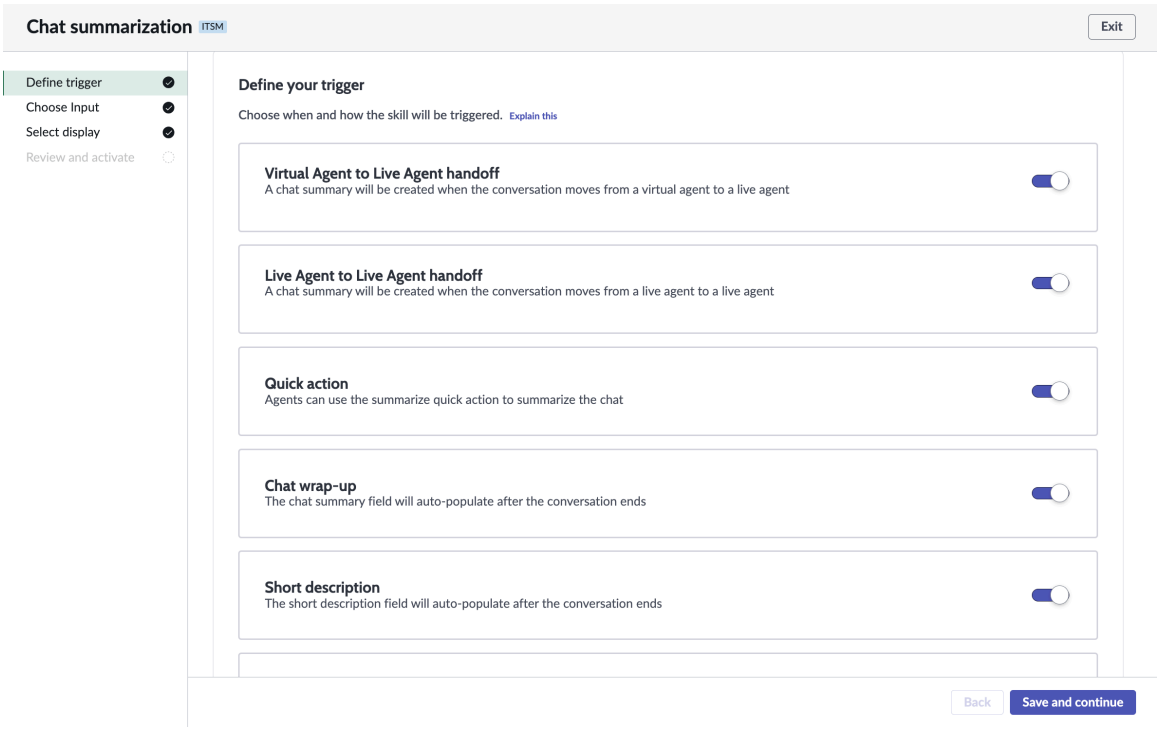


7. トグルを使用して、チャット要約スキルをトリガーするアクションを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

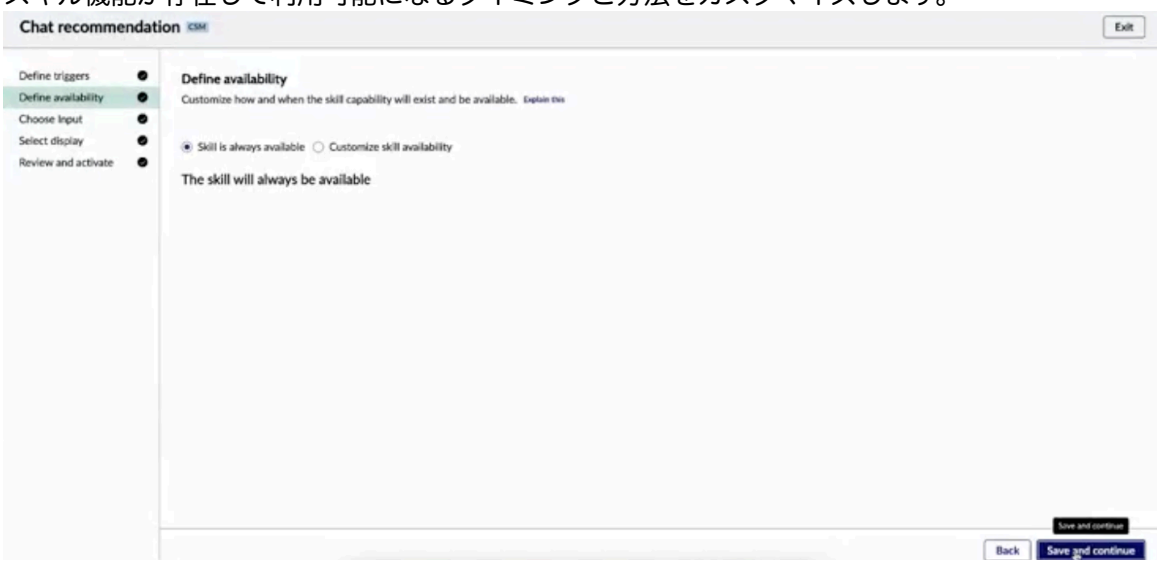
チャットの要約のトリガーを定義します



8. 箇条書きを使用してサマリーを書式設定するかどうかを選択します。

   デフォルトでは、サマリーは箇条書きで記述されますが、この形式をオフにして、生成されるサマリーで代わりに段落が使用されるようにすることができます。

9. [保存して続行] を選択して、次のステップの [可用性の定義] に移動します。
10. スキル機能が存在して利用可能になるタイミングと方法をカスタマイズします。

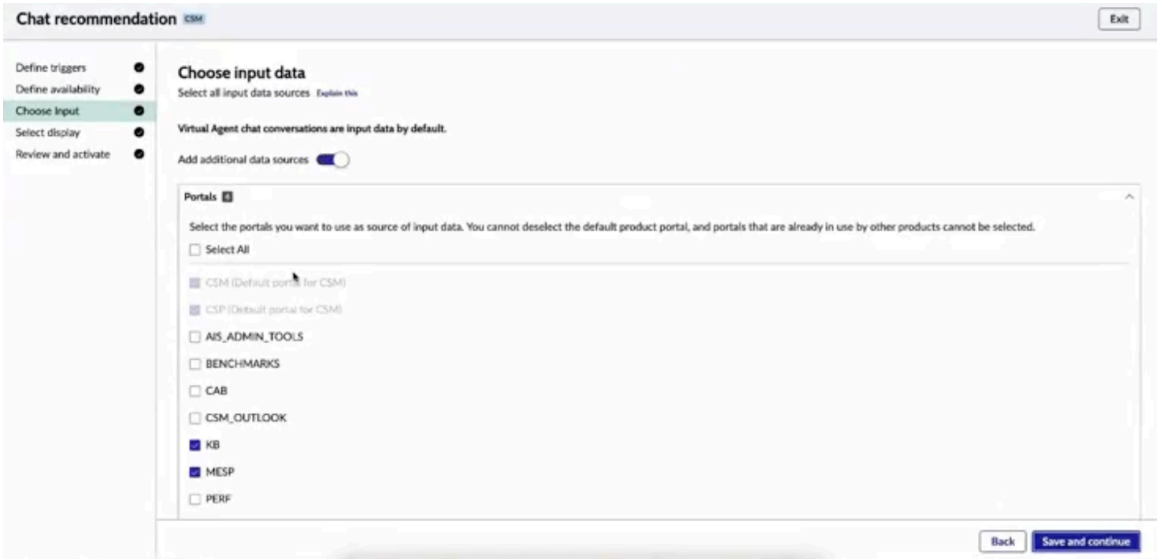


11. 特定のドメインで利用できるようにスキルを定義する場合は、[スキルの利用可否をカスタマイズ] を選択します。
12. [保存して続行] を選択して、次のステップの [入力の選択] に移動します。
13. 推奨事項を生成するときに大規模言語モデル (LLM) で考慮する追加のデータソースを選択します。
14. データソースのポータルを選択すると、そのポータルで発生する会話に対してチャットの要約/推奨事項を生成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これは必須ステップです。選択したポータル/チャネルで送信されるチャットのスキルを有効にするには、アドミンはポータルを指定し、[入力を選択] ページで特定のチャネルを有効にする必要があります。それ以外の場合、エージェントは「IT アドミニストレーターがセットアップに関連する必要なすべての手順を完了するまで、チャットの概要は表示されません」というエラーメッセージが表示されます。



15. [保存して続行] を選択します。
16. 最後のステップである [表示を選択] に移動し、スキルを表示する場所を選択します。

    製品内、 Now Assist パネル、またはその両方を選択できます。

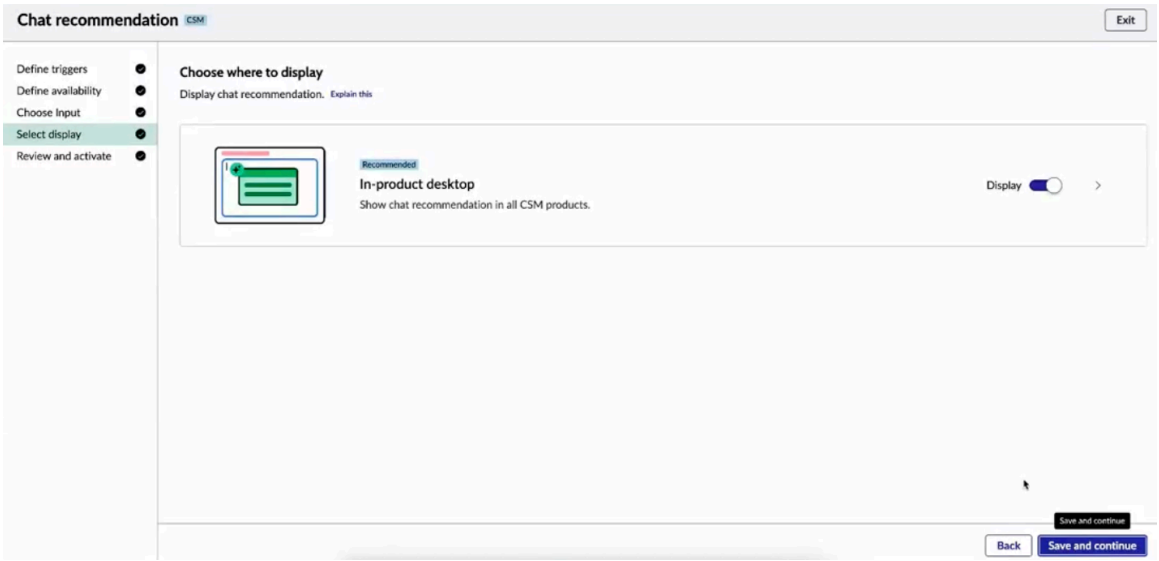
    注: チャットの推奨事項は Now Assist パネルでは利用できません。

    - 製品内デスクトップ:選択すると、 Now Assist スキルがフォームとワークスペースに表示されます。
    - **Now Assist** パネル **(Now Assist panel)**：選択すると、Now Assist パネルで Now Assist スキルを使用できるようになります。下矢印を選択して、スキルを使用できるロールを特定します。トグルの横にある矢印を選択して、スキルにアクセスできるロールを選択します。ロールを追加するには、[ユーザーロール] フィールドにロールの名前を入力します。ロールバブルの X アイコンを選択すると、既存のロールを削除できます。少なくとも 1 つのロールを指定する必要がありますが、ロールはいくつでも追加できます。

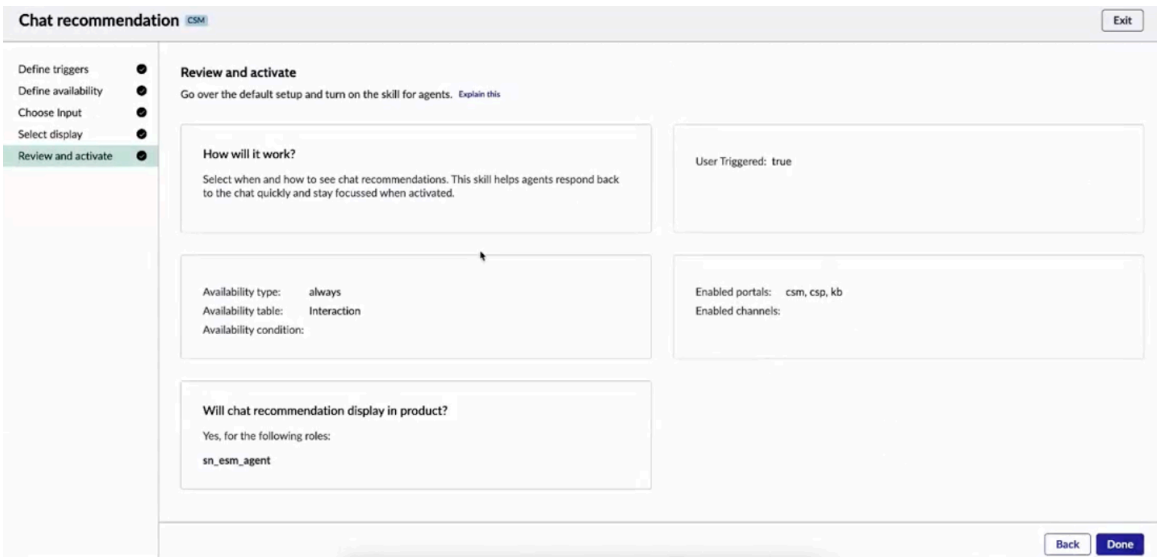
    注: さまざまなワークフローでチャットの推奨事項にさまざまなロールを使用できます。どのワークフローを構成しているかを確認するには、ガイド付きセットアップの上部にあるスキル名の横にあるラベル (「ITSM」や「HRSD」など) を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



17. 選択内容を確認し、[アクティブ化] を選択して構成を完了します。



タスクの結果
ワークフローのチャットの推奨事項または返信の推奨事項がインスタンスでアクティブになっている場合。

次のタスク
Now Assist アドミンコンソールでスキルのパフォーマンスと使用状況を分析して、スキルの成功を判断します。サブスクリプション管理 での Now Assist 使用状況のモニタリング でのNow Assist使用状況のトラッキングの詳細をご確認ください。

Now Assist アドミンコンソールでメール返信の推奨事項を構成する

メール推奨事項 Now Assist スキルを構成して、エージェントがコンテキスト情報に基づいてメール返信のドラフトを作成できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて
メール推奨スキルは、複数のワークフローで使用できます。スキルのガイド付きセットアップに表示される正確な手順と順序は、ワークフローによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Features (Now Assist** 機能).

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[**Now Assist** 機能] タブを選択します。

2. ナビゲーションパネルで、[テクノロジー] などのワークフローを選択します。

   各ワークフローには機能セットが含まれています。メールの推奨事項に使用できるワークフローは、顧客 (CSM) と従業員 (HRSD) です。

3. アクティブ化するスキルに関連付けられている機能カードで、 詳細の表示 を選択します。
4. [利用可能なすべてのスキル] セクションで、[スキルのアクティブ化 **(Activate Skill)]** を選択します。

   スキルを既にアクティブ化していて、構成を編集する場合は、[アクティブなスキル] セクションで、[その他のオプション] メニューアイテム (⋮) を選択します。次に、[編集] を選択します。

5. [**Now Assist** で書く] ステップで、Now Assist コンテキストメニューを有効にするかどうかを選択し、使用できるようにするアクションを選択します。

   各手順の後、[保存して続行] を選択します。これらの選択の詳細については、「 CSM 向け Now Assist のスキル入力とトリガー 」および「 HRSD 向け Now Assist のスキル入力とトリガー 」を参照してください。



6. スキルを利用可能にするタイミングを選択します。

   スキルがいつ使用可能になるかに制限を設定しない場合は、[スキルは常に利用可能] を選択できます。条件を追加する場合は、「 スキルの利用可否をカスタマイズする」を選択します。このオプションを選択すると、条件ビルダーが開き、スキルを使用できるかどうかを判断するフィールドと値を選択できます。

7. 入力データや、テンプレートの提案を表示するかどうかなどの入力またはメールパラメーターを選択します。

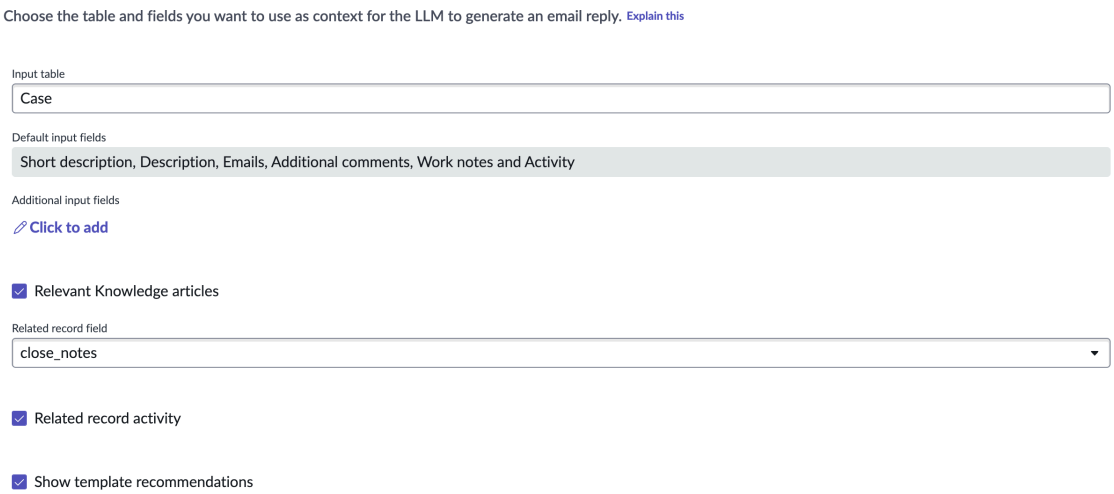
   一部のオプションは、特定のワークフローでは読み取り専用になる場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテキストを追加すると、メールの推奨事項の品質が向上します。**[Additional input fields]** フィールドでは、[**Default input]** フィールドでまだ選択されていないフィールドを選択できます。チェックボックスをオンにすると、ナレッジ記事を含めることができます。[関連レコード] フィールドで、解決メモなどの関連レコードからフィールドを選択できます。関連レコードフィールドに値がない場合、または値を選択しない場合は、関連レコードからのアクティビティを含めることもできます。

[テンプレートの推奨事項を表示] を選択した場合、エージェントがテンプレートを選択すると、Now Assist によって生成されたテンプレート提案のリストが表示されます。



8. スキル構成の次のステップで、スキルを表示する場所を選択します。

   製品内、 Now Assist パネル、またはその両方を選択できます。

   - 製品内 **(In-product)**：選択すると、Now Assist スキルがフォームとワークスペースに表示されます。

     [製品内] に表示されるスキルについて、下矢印を選択して、スキルを使用できるロールを特定します。

   - **Now Assist** パネル **(Now Assist panel)**：選択すると、Now Assist パネルで Now Assist スキルを使用できるようになります。このオプションが表示されない場合は、Now Assist パネルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「Now Assistパネルをオンにする」を参照してください。

     Now Assist パネルに表示されるスキルごとに、下矢印を選択して、スキルを使用できるロールを特定します。

   ロールを追加するには、[ユーザーロール] フィールドにロールの名前を入力します。既存のロールを削除するには、ロールバブルの [X] アイコンを選択します。少なくとも 1 つのロールを指定する必要がありますが、必要な数だけ追加できます。

9. 選択内容を確認し、[アクティブ化] を選択して構成を完了します。

タスクの結果

エージェントは、生成 AI を使用してメールドラフトを生成できます。

Now Assistスキルを編集する

Now Assistスキルの構成を編集して、入力またはトリガー、およびスキル出力の表示場所を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

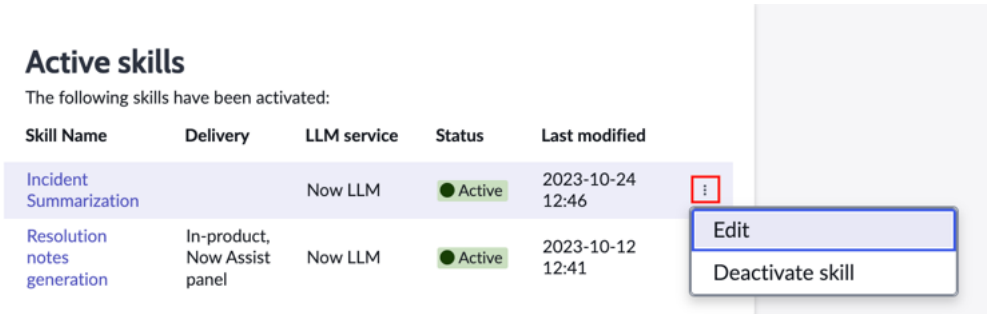
始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.
   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[**Now Assist** アドミン機能] タブを選択します。
2. ナビゲーションパネルで、[テクノロジー] などのワークフローを選択します。

   各ワークフローには機能セットが含まれています。

3. 編集するスキルに関連付けられている機能カードで、 詳細を表示 を選択します。
4. [アクティブなスキル] で、構成するスキルの横にある [⋮ を選択し、[編集] を選択します。



スキルの ガイド付きセットアップ の最初のステップが表示されます。

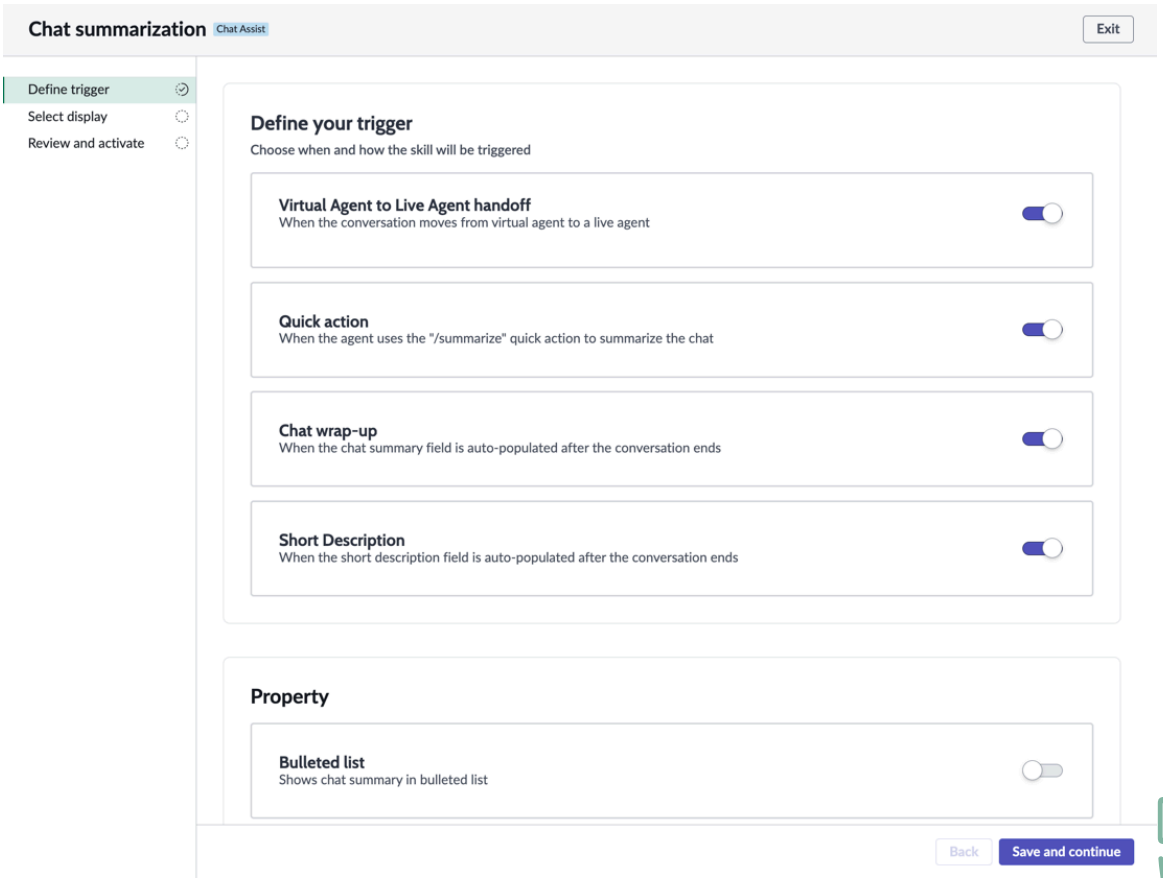
各スキル構成には、 ガイド付きセットアップに示すいくつかのステップがあります。正確な手順はスキルによって異なります。各ステップの横にある記号は、ステップが完了したか、部分的に完了したか、または完了していないかを示します。

注: 一部の構成オプションは読み取り専用です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャット要約スキル構成パネル



5. Now Assistスキルを構成するために、ガイド付きセットアップタスク内に子タスクを作成します。
6. 現在の手順の構成が完了したら、 [保存して続行] を選択して、次の手順に進みます。

   戻るを選択すると、前のステップに戻ることができます。

7. 変更を確認した後 、[完了] を選択して新しい設定を適用します。

タスクの結果

希望する設定でスキルがアクティブ化されます。これで、他のプラグインをインストールしたり、他のスキルをアクティブ化したりできます。

Now Assistスキルのコピーを作成

スキル設定を試し、ビジネスニーズに合わせてスキルを構成できるように、 Now Assist スキルのコピーを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて

Now Assistアプリケーションに付属するスキルには、最も一般的なユースケースに対応するように最適化されたデフォルト構成があります。スキル設定を変更する場合は、 Now Assist アドミン コンソールでスキルを編集するか、スキルのコピーを作成できます。コピーを作成すると、後で使用する場合や、元のスキルから別のコピーを作成する場合に備えて、元のスキル構成はそのまま残ります。デフォルトスキルと同じガイド付きセットアップを使用して、スキルのコピーをアクティブ化して構成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: コピーを作成してアクティブ化すると、元のスキルとそのコピーの両方を同時にアクティブのままにすることができます。以前は、コピーしたスキルをアクティブ化すると、メインスキルが非アクティブ化されました。ただし、現在は両方を同時にアクティブにすることができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[**Now Assist** 機能] タブを選択します。

2. ナビゲーションペインで、「テクノロジー」や「顧客」など、コピーするスキルのワークフローを選択します。
3. 既定のスキルを含む機能カードで、 詳細の表示 を選択します。
4. [利用可能なすべてのスキル] または [アクティブなスキル] セクションで、[その他のオプション] コピーを作成するスキルの横にある [コピーを作成] を選択します。
5. モーダルで、[コピーを作成] を選択します
6. 作成したコピーに従って、ベース入力テーブルエントリを変更できます。
   構成の変更を確認する確認メッセージが表示されます。
7. [保存] を選択して変更を確認し、ガイド付きセットアップに進みます。

タスクの結果
スキルのコピーが生成され、 ガイド付きセットアップに移動します。

次のタスク
ガイド付きセットアップの手順を続行して、スキルをアクティブ化します。詳細については、「Now Assist スキルをアクティブ化する」を参照してください。

ケースまたはインシデントの要約スキルのコピーを作成していて、オプションについて詳しく知りたい場合は、 レコードの要約の構成に関するドキュメントを参照してください。

Now Assist アドミンコンソールでのケースまたはインシデントの要約の構成

Now Assist アドミンコンソールのガイド付きセットアップを使用して、ケースまたはインシデントの要約を構成します。入力テーブルとフィールドを選択したり、レコード要約スキルのコピーのプロンプト出力をカスタマイズしたりできます。

https://player.vimeo.com/video/996395898?h=e609c55303&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

始める前に
レコード要約スキルのコピーの入力データとプロンプト出力のみをカスタマイズできます。スキルコピーの作成の詳細については、「 Now Assistスキルのコピーを作成」を参照してください。スキルのコピーを作成したら、ここでスキルのセットアップを完了する手順を確認できます。

必要なロール:nsa_admin

このタスクについて
デフォルトでは、 Now Assist レコードの要約の多くの設定が一般的なユースケース向けに最適化されています。インスタンスに生成 AI を組み込む目標を確認して、変更を加えるかどうか、およびそれらの変更内容を判断します。計画を立てたら、スキルのコピーを作成し、入力ソースとプロンプト出力を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [スキルの名前] フィールドにスキル名を入力します。

   デフォルト名では、元のスキル名の末尾に (コピー) が追加されます。たとえば、ケースの要約 (コピー) などです。名前をより具体的に変更すると、後で変更を加えた場合に識別しやすくなります。

2. オプション: スキルの説明を追加します。
3. [保存して続行] を選択して、次の手順に進みます。
4. 各入力テンプレートの入力フィールドとデータソースを選択します。

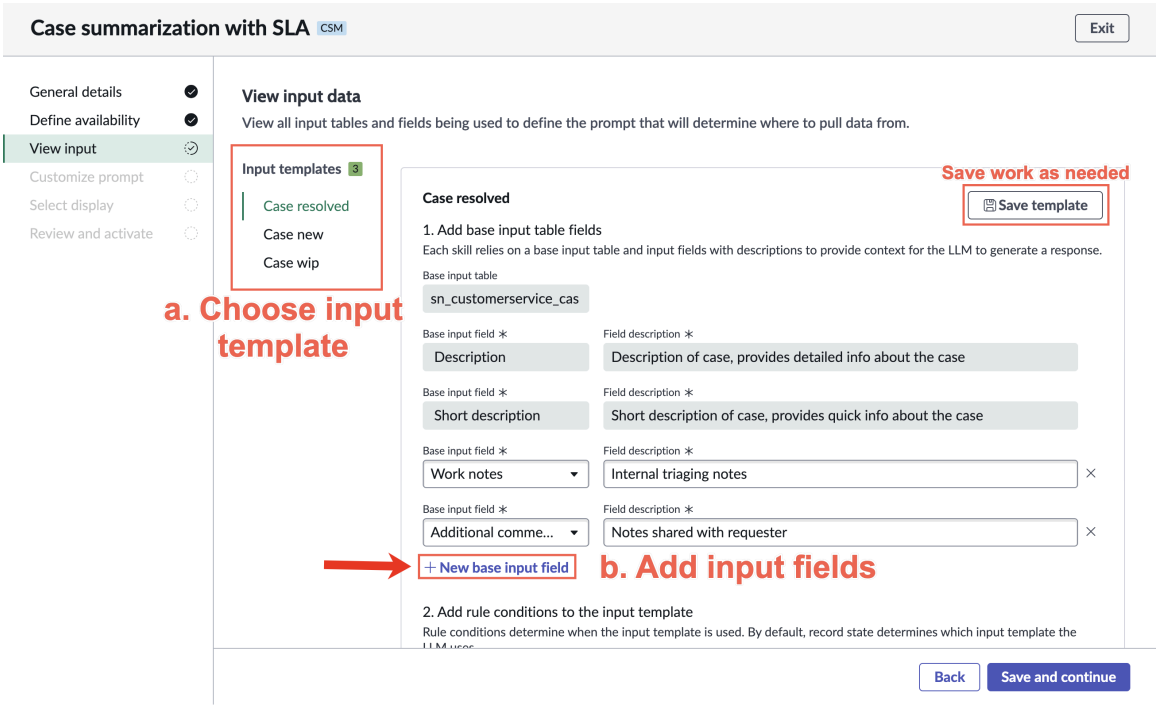
   デフォルトのオプションが選択されます。一部のオプションは読み取り専用です。入力テンプレートに変更を加えた後、[テンプレートの保存] を選択して作業内容を保存できます。

   a. 入力テンプレートを選択します。

      デフォルトの入力テンプレートは、新規レコード、処理中のレコード、クローズ済みのレコードの 3 つです。

   b. [新しいベース入力フィールド] を選択し、フィールドを選択し、フィールドの説明を入力して、ベース入力テーブルフィールドを追加します。

      各ベース入力テーブルフィールドには説明が必要です。説明は、フィールドの目的と情報の解釈方法を大規模言語モデル (LLM) に通知します。説明に入力する情報が多いほど、モデルにはデータに対するより多くのコンテキストがあります。

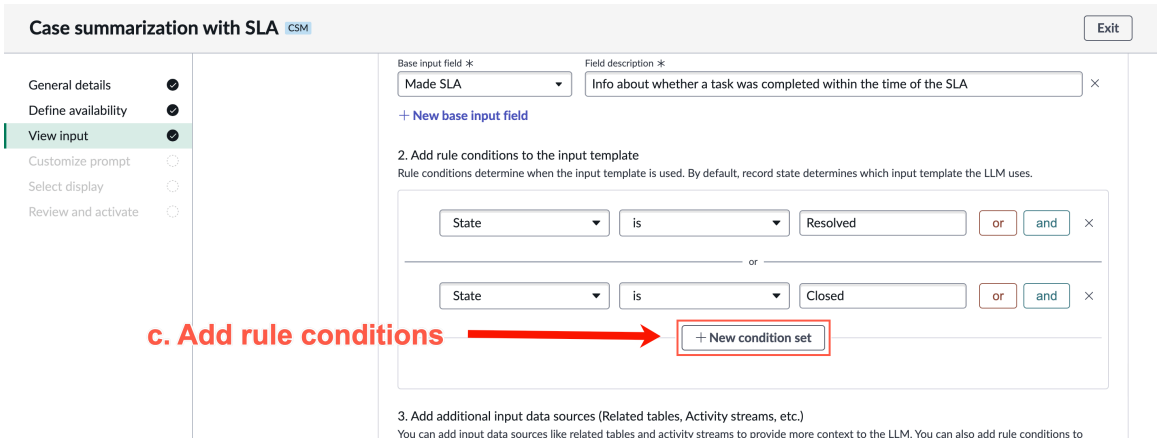


   c. ベーステーブルのルール条件を追加または変更します。

      この入力テンプレートを使用するタイミングを決定するルール条件。レコードの要約は、入力テンプレートのルール条件に一致するレコードでのみ使用できます。

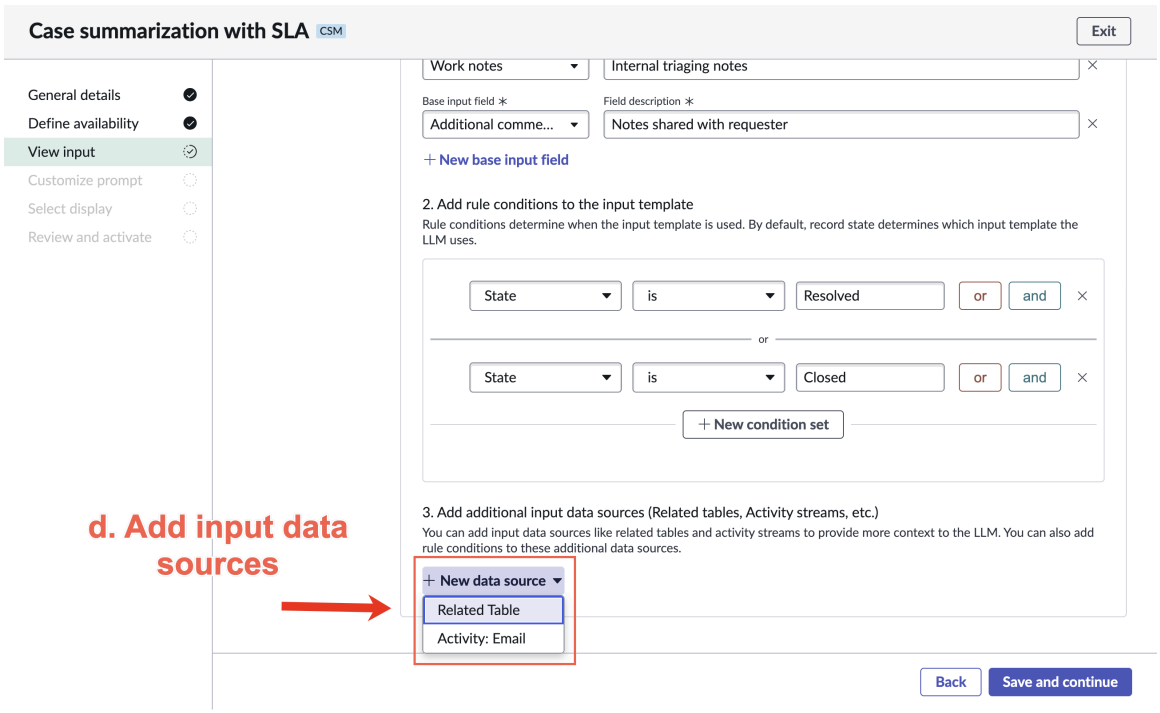
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



d. オプション: [新しいデータソース] を選択し、[関連テーブル] または [アクティビティ:メール] のいずれかを選択して、入力データソースを追加します。

(Optional) 関連する各テーブルは、入力フィールドと説明で構成されています。関連テーブルのより具体的な説明は、LLM により多くのコンテキストを提供するのに役立ちます。[メール] などのアクティビティフィールドには、構成できる入力フィールドがありません。



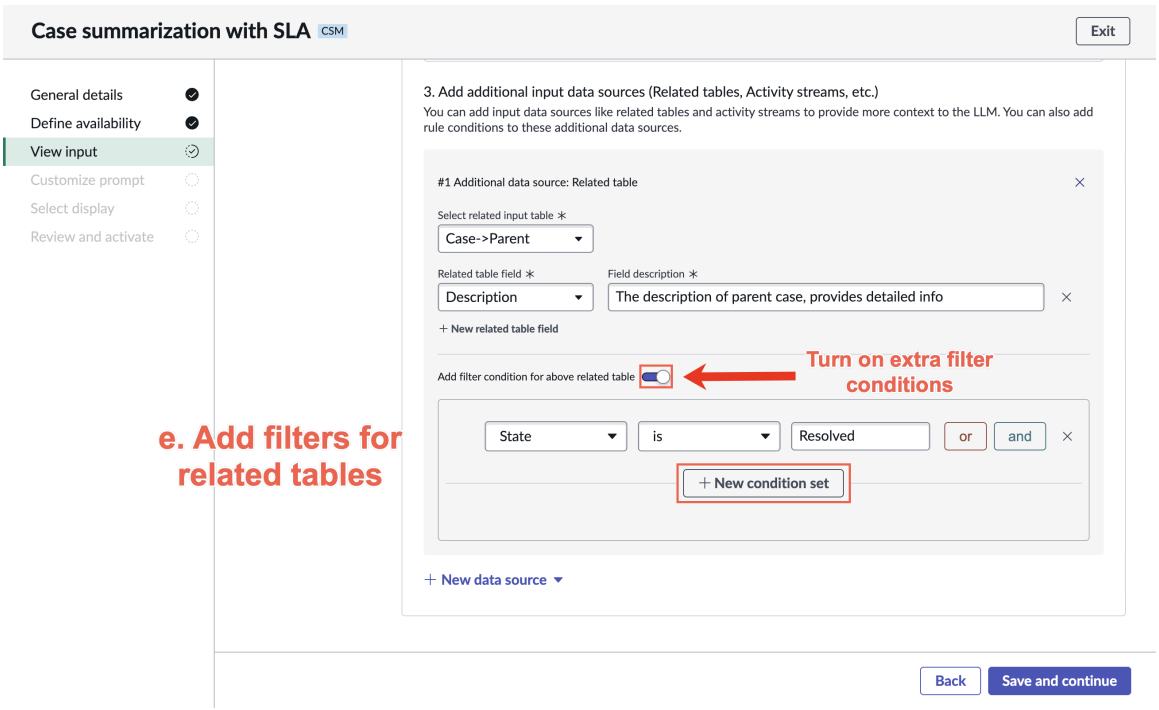
e. オプション: 関連テーブルにフィルター条件を追加します。

(Optional) 関連テーブルにルール条件をさらに追加できます。これらのルール条件は、追加のデータソースからのデータをサマリーに組み込むかどうかを決定します。ベーステーブルルール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

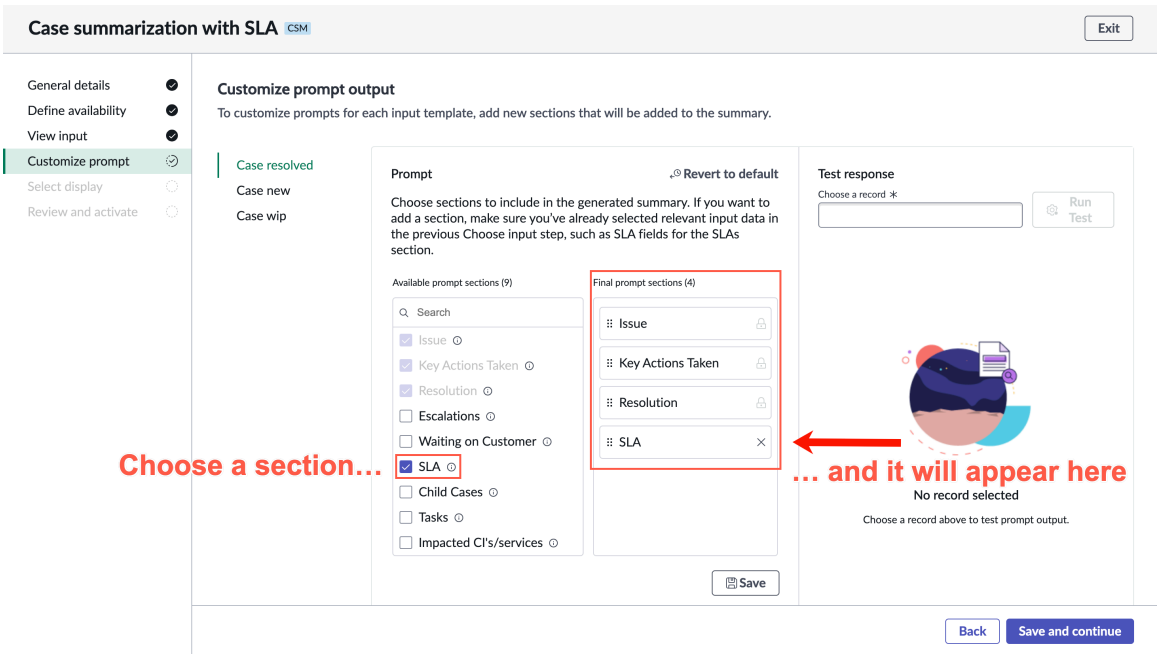
条件が満たされている限り、追加のデータソースルール条件と一致しないケースについてサマリーを生成できます。



5. [保存して続行] を選択します。
6. [利用可能なプロンプトセクション] リストのプロンプトセクションを [最終プロンプトセクション] リストに移動して、サマリーに表示するプロンプト出力セクションを選択します。

   セクションを並べ替えるには、[最終プロンプト] セクションリストのボックスをドラッグします。

   一部の入力テンプレートには、ロックアイコン (でマークされたセクションがあります。これらのセクションは最終サマリーに表示する必要がありますが、追加したセクションで並べ替えることもできます。



7. [応答のテスト] パネルで、[レコードを選択] フィールドからレコードを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [テストを実行] を選択して、選択したレコードのサマリーを生成します。

   重要: プロンプト出力をテストするたびに、その操作は Now Assist サブスクリプションによって追跡されるアシストとしてカウントされます。Now Assist使用状況を追跡するには、サブスクリプション管理で Now Assist の使用状況を監視し ます。

   異なるレコードで複数のテストを実行すると、満足のいく結果が得られることを確認できます。

9. [保存して続行] を選択します。
10. スキルを常に利用可能にする または スキルの利用可否をカスタマイズする を選択して、スキルを利用できるタイミングを選択します。

    [スキルの利用可否をカスタマイズ] を選択した場合は、条件ビルダーを使用して、スキルが利用可能になるタイミングを制限する条件を追加できます。たとえば、スキルを特定のアサイン先グループでのみ使用可能にすることができます。

11. [保存して続行] を選択します。
12. 希望する表示オプションの横にあるトグルを選択して、レコードの要約を利用できるようにする場所を選択します。

    製品内、 Now Assist パネル、またはその両方を選択できます。

    - 製品内 **(In-product)**：選択すると、Now Assist スキルがフォームとワークスペースに表示されます。

      [製品内] に表示されるスキルについて、下矢印を選択して、スキルを使用できるロールを特定します。

    - **Now Assist** パネル **(Now Assist panel)**：選択すると、Now Assist パネルで Now Assist スキルを使用できるようになります。このオプションが表示されない場合は、Now Assist パネルをアクティブ化する必要があります。詳細については、「Now Assistパネルをオンにする」を参照してください。

      Now Assist パネルに表示されるスキルごとに、下矢印を選択して、スキルを使用できるロールを特定します。

    ロールを追加するには、[ユーザーロール] フィールドにロールの名前を入力します。ロールバブルの X アイコンを選択すると、既存のロールを削除できます。少なくとも 1 つのロールを指定する必要がありますが、ロールはいくつでも追加できます。

13. [保存して続行] を選択します。
14. 選択内容を確認し、[アクティブ化] を選択して構成を完了します。

タスクの結果

カスタマイズしたバージョンのケースまたはインシデントの要約がインスタンスでアクティブになります。

次のタスク

Now Assist アドミンコンソールでスキルパフォーマンスを分析して、新しいバージョンのスキルが成功したかどうかを判断します。サブスクリプション管理 での Now Assist 使用状況のモニタリング でのNow Assist使用状況のトラッキングの詳細をご確認ください。

Now Assistスキルのトラブルシューティング

Now Assist アドミンコンソールでスキルの診断を実行し、スキル構成のステータスに関する情報を取得します。

始める前に

必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

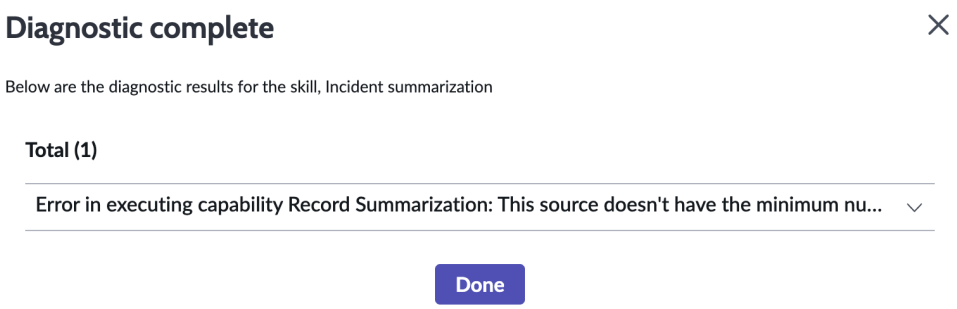
このタスクについて
特定のスキルには、 Now Assist アドミン コンソールから実行できる診断スクリプトがあります。これらの診断スクリプトは、スキルが正常に実行されたかどうかと、基礎となる 機能定義のセットアップをチェックします。スキルのコピーを作成した場合、スキルのコピーに対して診断を実行することはできません。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[**Now Assist** 機能] タブを選択します。

2. ナビゲーションペインで、「 テクノロジー 」や 「顧客」など、トラブルシューティングするスキルのワークフローを選択します。
3. トラブルシューティングするスキルを含む機能カードで、[詳細を表示] を選択します。
4. [利用可能なすべてのスキル] または [アクティブなスキル] セクションで、[その他のオプション] コピーを作成するスキルの横にある [診断を実行] を選択します。
5. 診断が完了したら、各テストの結果を確認します。



次のタスク
スキル構成に問題があることが特定された場合は、Now Assist アドミンコンソールからスキルを編集できます。

スキルを編集しても問題が解決しない場合は、 ServiceNow サポートに連絡して 追加のサポートを受けることができます。

Now Assist使用状況の分析

概要ページの Now Assist アナリティクスおよびモニタリングツールを使用して、注意が必要なサマリー、スキル使用状況情報、および問題を確認します。

Now Assist アドミン の概要ページ

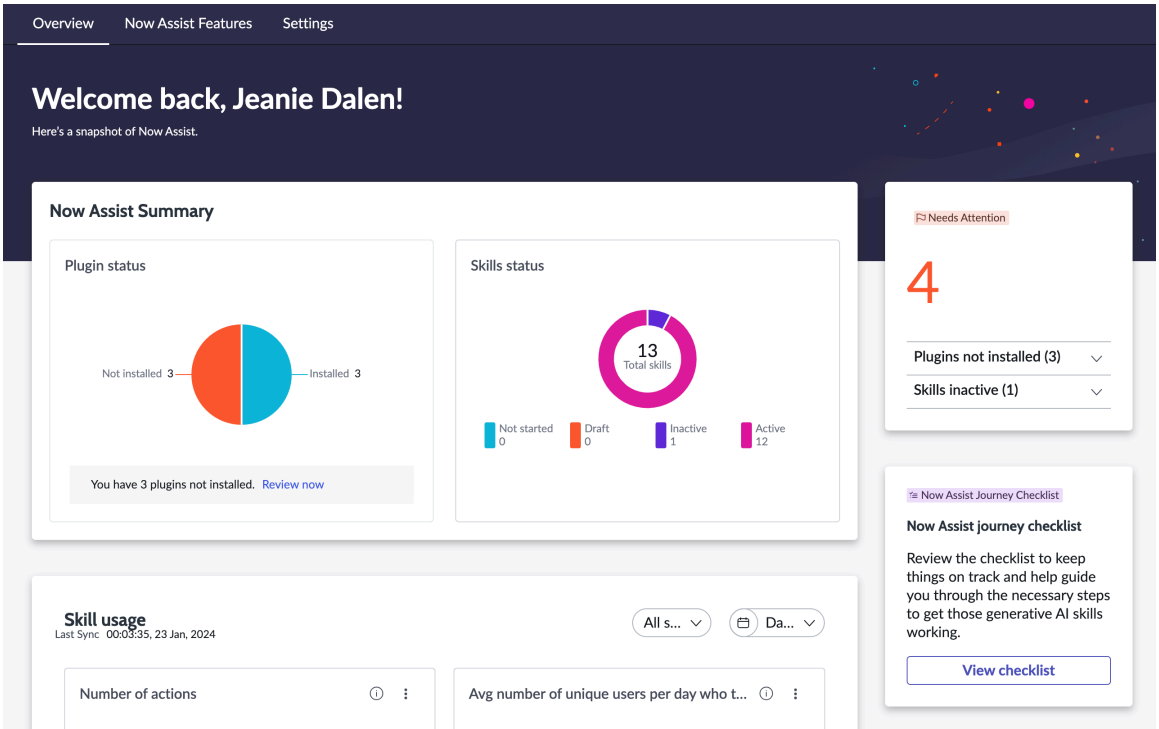
スキルをアクティブ化して使用を開始したら、重要なメトリクスを表示するグラフを使用して、スキルの使用状況を経時的に測定できます。コンソールの [概要] ページには、経時的なタスクの完了や、アクティブまたは利用可能なスキルの概要など、スキルパフォーマンスに関する情報が含まれています。

次の例は、 Now Assist アドミン の概要ページを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist アドミン概要ページのパフォーマンスと分析



Now Assist [サマリー] セクション

[Now Assist サマリー] セクションには、スキルとプラグインのステータスに関する情報がグラフ形式で表示されます。

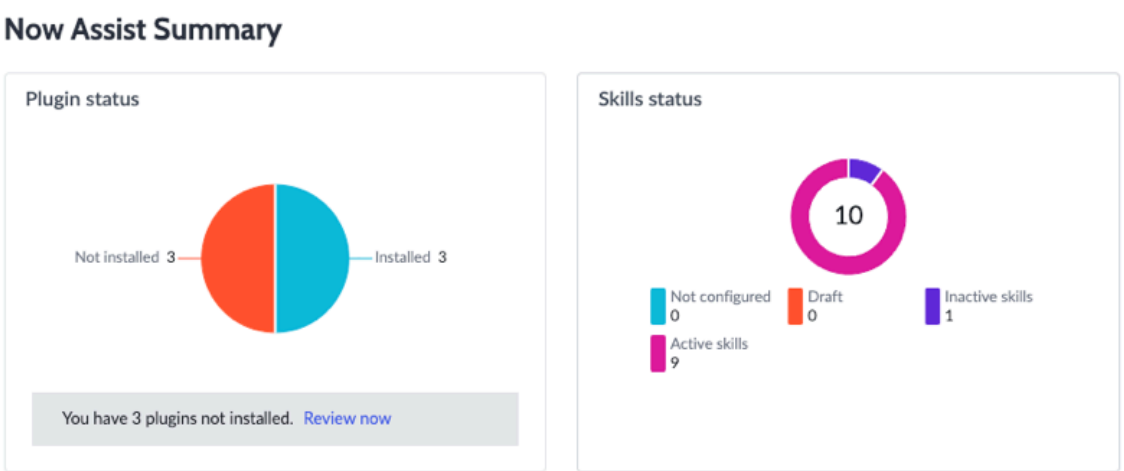
プラグインステータス

インストールされているプラグインの数と、使用可能なアンインストールされたプラグインの数を示す円グラフを表示します。[今すぐレビュー] リンクを選択して、追加のプラグインを確認してインストールします。

スキルステータス

構成のステータス (アクティブ、非アクティブ、ドラフト、未構成) に従ってスキルを示すドーナツグラフを表示します。

次の図は、円グラフで表示されるプラグインのステータスと、ドーナツグラフで表示されるスキルのステータスを示しています。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[スキル使用] セクション

[スキルの使用状況] セクションには、インストールされているアクティブなスキルのメトリクスが表示されます。情報アイコン を選択して、各カードのメトリクスが表す内容に関する情報を表示するか、オプションアイコン を選択してカードを更新します。

構成コントロールを使用して、グラフを構成します。

All skills (すべてのスキル)

すべてのスキルを表示するか、1 つ以上のスキルを個別に選択してビューを変更します。

日付範囲

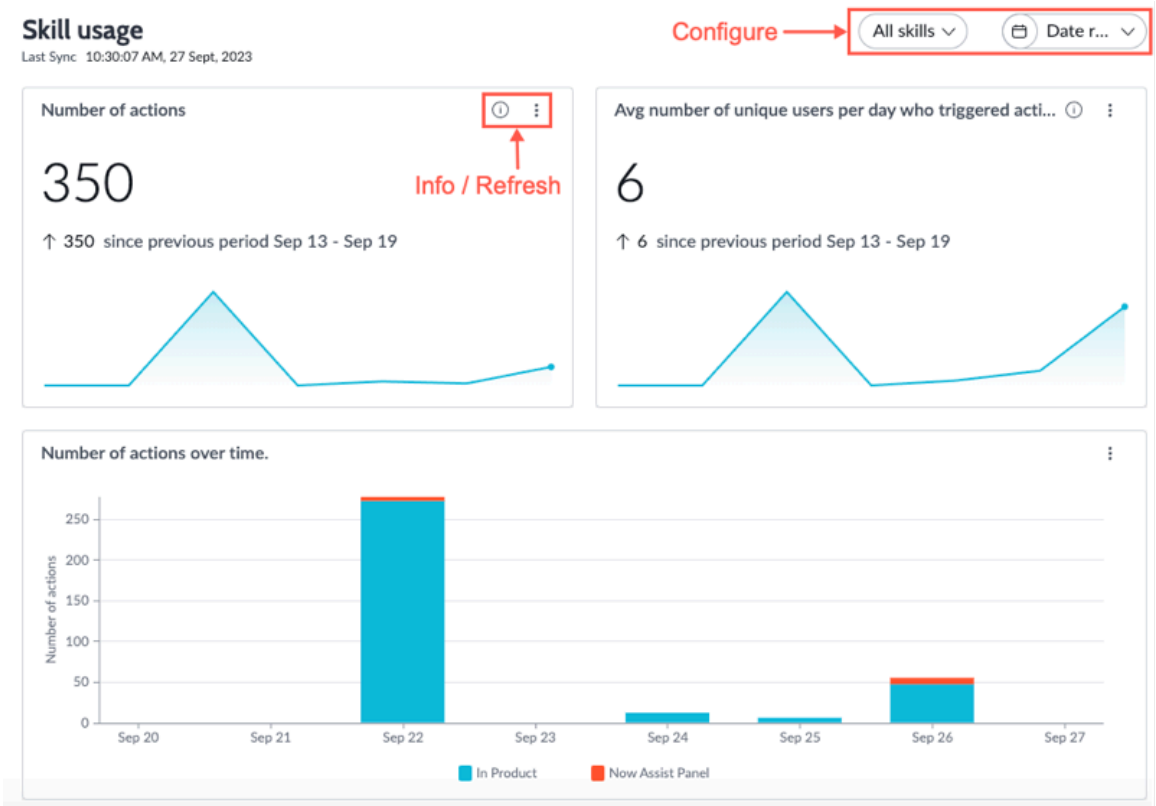
アナリティクスの日付範囲を変更します。

次の図は、アクション数、1 日あたりの平均ユニークユーザー数、経時的なアクション数を含むスキル使用状況のグラフとコントロールを示しています。

データは 1 日に 1 回収集され、データ収集と可視化にパフォーマンスアナリティクスとレポート (PAR) を使用します。

パフォーマンスの詳細については、「生成 AI の Now Assist アナリティクスインジケーター」と「パフォーマンスアナリティクスインジケーター」を参照してください

スキル使用状況のグラフとコントロール

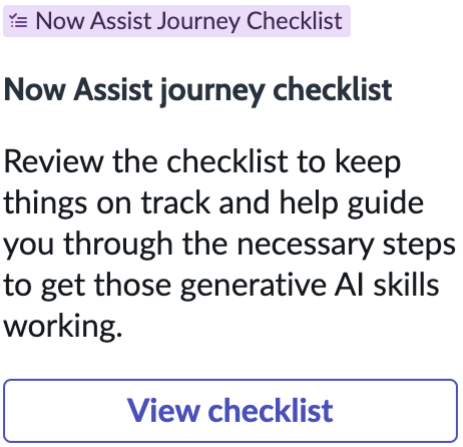


Now Assist ジャーニーのチェックリスト

Now Assistジャーニーのチェックリストは、Now Assistワークフローのガイドを提供します。インスタンスに Now Assist を実装するときに次のステップがわからない場合は、[チェックリストを表示] を選択していつでもチェックリストにアクセスできます。

自動翻訳

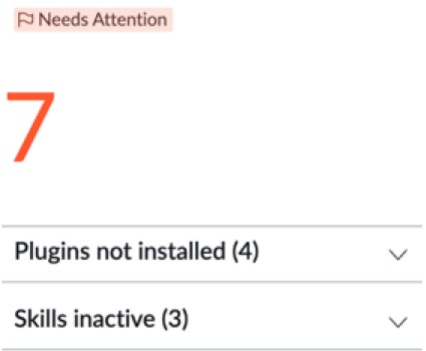
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[概要] ページのその他のリソース

役に立つリソースと FAQ のセクションには、ドキュメントへのリンクがあり、一般的な質問に回答します。

[要注意] セクションには、注意が必要なアイテムの数が表示されます。カウントの下には、それらのアイテムへの分類されたリンクがあります。



一般的な **Now Assist** 設定を構成します

言語サポート、データの共有と処理、Now Assist Guardian を含むすべての Now Assist アプリケーションの一般設定を Now Assist アドミンコンソールから構成します。

Now Assist アプリケーションの翻訳を有効にする

Now Assistアプリケーションで、ユーザーが入力したテキストと動的翻訳の複数言語サポートをオンにします。

始める前に
動的翻訳 アプリケーションをインストールしてアクティブ化し、少なくとも 1 つの言語パックをインストールしておく必要があります。詳細については、次を参照してください。 アクティブ化 動的翻訳 および 言語をアクティブ化します 。

Now Assist アドミンコンソールに言語と地域のセクションが表示されない場合は、少なくとも1つのNow Assistアプリケーションがインストールされていることを確認してください。これにより、必要な依存関係がインストールされるか、最新バージョンに更新されます。

必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

Now Assist アプリケーションでユーザーが生成したコンテンツを翻訳するために利用できる翻訳サービスは 2 つあります。2 つの違いの詳細については、「 Now Assist の翻訳」を参照してください。

動的翻訳翻訳またはネイティブ翻訳を有効にすると、製品内エクスペリエンス、仮想エージェント、Now Assistパネルで翻訳を使用できるようになります。

言語検出はユーザーのセッション言語に依存するため、言語パックとして利用可能なすべての言語が Now Assist アプリケーションでサポートされています。言語サポートを追加する場合は、使用可能な言語の一覧とインストール手順について、「 言語のアクティブ化 」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. 左側のパネルで、[言語と地域] ページを選択します。
3. 動的翻訳またはネイティブ翻訳カードで、スイッチを [オン] に切り替えます。
   動的翻訳Now Assistがアクティブな場合、LLM (大規模言語モデル) 応答のストリーミングは利用できなくなることを示すメモが表示されます。

   注:

   動的翻訳 はデフォルトで有効になっており、Now Assistant ストリーミングは利用できなくなります。動的翻訳すると、Now Assistant ストリーミングが利用可能になります。表示されるメッセージは、 動的翻訳のステータスに応じて変わります。

4. 動的翻訳翻訳とネイティブ翻訳の両方を有効にすることができます。
   最初にネイティブ翻訳が適用されます。言語がネイティブ翻訳でサポートされていない場合は、 動的翻訳 が適用されます。
5. オプション: Now Assist 翻訳に利用可能な言語を変更するには、[編集] を選択し、サポートする言語の横にあるチェックボックスをオンにします。

   (Optional) 完了したら、[保存] を押します。

タスクの結果

インスタンス上の Now Assist アプリケーションに対して翻訳が有効になります。

次のタスク

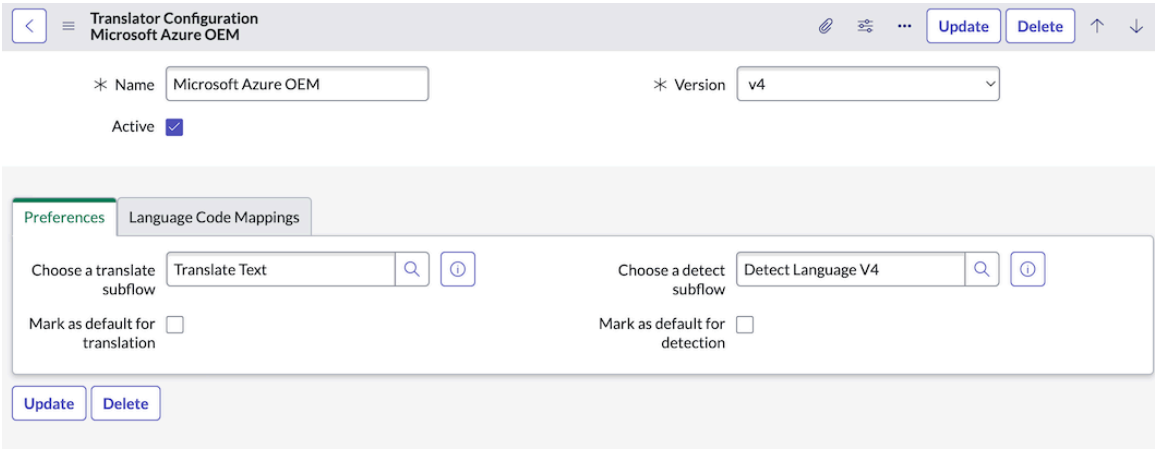
サポートされている言語を変更するには、[編集] を選択し、有効にする言語を選択します。選択できるのは、インスタンスに既にインストールしてアクティブ化されている言語のみです。

Now Assist での動的翻訳のための **Microsoft Azure OEM**

生成 AI コントローラーに含まれるMicrosoft Azure OEM翻訳サービスを使用して、Now Assistアプリケーションでの多言語入力をサポートします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistアプリケーションの多言語サポート



生成 AI コントローラー の動的翻訳が有効になっている場合、ユーザーの入力テキストは Microsoft AzureOEM (com.snc.microsoft_oem_translation_spoke) によって次のように処理されます。

1. テキストの言語が検出されます。
2. テキストは英語に動的に翻訳され、 Now Assistに提供されます。
3. Now Assist は英語で応答を返します。
4. 英語の応答はユーザーの優先言語に翻訳され、UI に表示されます。

このコンテキストで動的翻訳を有効にする方法の詳細については、「Now Assist アプリケーションの翻訳を有効にする と 生成 AI コントローラーの機能の 動的翻訳 を有効にする」を参照してください。

Activation (アクティブ化)

Microsoft Azure OEM 翻訳サービスは 生成 AI コントローラー に含まれています。Microsoft Azure OEM には 動的翻訳 テーブルが必要なため、 生成 AI コントローラー がまだアクティブでない場合は、 動的翻訳 をアクティブ化します。

Microsoft Azure OEM は、翻訳ツール構成 (sn_dt_translator_configuration) テーブルの行として表示されます。このレコードは編集できません。この翻訳ツールサービスの接続資格情報は既に構成されています。この統合の詳細については、「https://www.servicenow.com/company/media/press-room/gen-ai-now-platform.html 」を参照してください。

翻訳ツール構成テーブルでこのレコードを更新しようとすると、次のエラーが表示されます: 「Microsoft Azure OEM 翻訳ツール構成は生成 AI フローで使用されます。編集できません」と表示されます。

Xanadu パッチ 3 リリースでは、Microsoft Azure OEM 翻訳ツールに動的翻訳の除外フレームワーク のサポートが含まれています。また、フローとサブフローで使用される API は自動的に v4 に更新されます。

Microsoft Azure OEM のアプリケーションスコープはsn_ms_oemです。

詳細については、「動的翻訳 」を参照してください。

関連情報

- 動的翻訳
- 生成 AI コントローラー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データスチュワードロールのアサイン

Now Assistアプリケーションで ServiceNowとのデータ共有に関する意思決定を行うデータスチュワードを選択します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて
データスチュワードは、インスタンス上の Now Assist アプリケーションで生成 AI を使用したプロンプト、入力、および応答を ServiceNowと共有しているかどうかを判断します。

ServiceNow 顧客データ共有プログラムを使用すると、ServiceNow AI 製品を改善するためのデータを提供できます。このデータは、予測精度の向上、ユーザーエクスペリエンスの向上、ビジネスニーズに合わせて製品をカスタマイズし、アクティブ化された Now Assist スキルの幻覚を減らすのに役立ちます。

次の手順では、特定のユーザーにロールをアサインする方法について説明します。もう 1 つのオプションは、「AI データ スチュワード」などのグループを作成し、グループにロールを割り当て、ユーザーをそのグループに配置することです。詳細については 、「グループへのロールのアサイン 」を参照してください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > ユーザー管理 **(User Administration)** > ユーザー をクリックし、ユーザーレコードを開きます。
2. [ロール] 関連リストで、[編集] を選択します。
3. ロールのコレクションで、sn_generative_ai.data_steward ロールを選択し、 [追加] ( ) アイコンを選択します。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
データスチュワードが適切なロールを取得すると、Now Assist アドミンコンソールの [設定] タブのデータプライバシーと共有 > データ共有.

のデータ共有のオプトアウト **Now Assist**

データ共有により、 ServiceNow AI 製品が改善されます。データ共有は、 Now Assist 管理コンソールの [設定] ページからオプトアウトできます。

始める前に
重要: データ共有は、GCC またはセルフホストインスタンスでは使用できません。データ共有が有効になることはないため、オプトアウトする必要はありません。ご不明な点がございましたら、アカウント担当者にお問い合わせください。

データスチュワードがいない場合は、 データスチュワードロールのアサイン に関するドキュメントを参照してください。

必要なロール:sn_generative_ai.data_steward

このタスクについて
ServiceNow 顧客データ共有プログラムからオプトアウトすると、ServiceNow AI 製品を改善するためのデータを提供できなくなります。ServiceNow AI 開発プログラムとデータを共有することで、予測精度やユーザーエクスペリエンスの向上、ビジネスニーズに合わせた製品のカスタマイズ、活性化された Now Assist のスキルのハルシネーションの低減に役立つ関連データを得ることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有に参加しない場合は、Now Assist アドミン コンソールからServiceNowインスタンスのデータ共有をオプトアウトできます。Now Assist の機能を使用するすべてのインスタンスに対してオプトアウトプロセスを繰り返します。

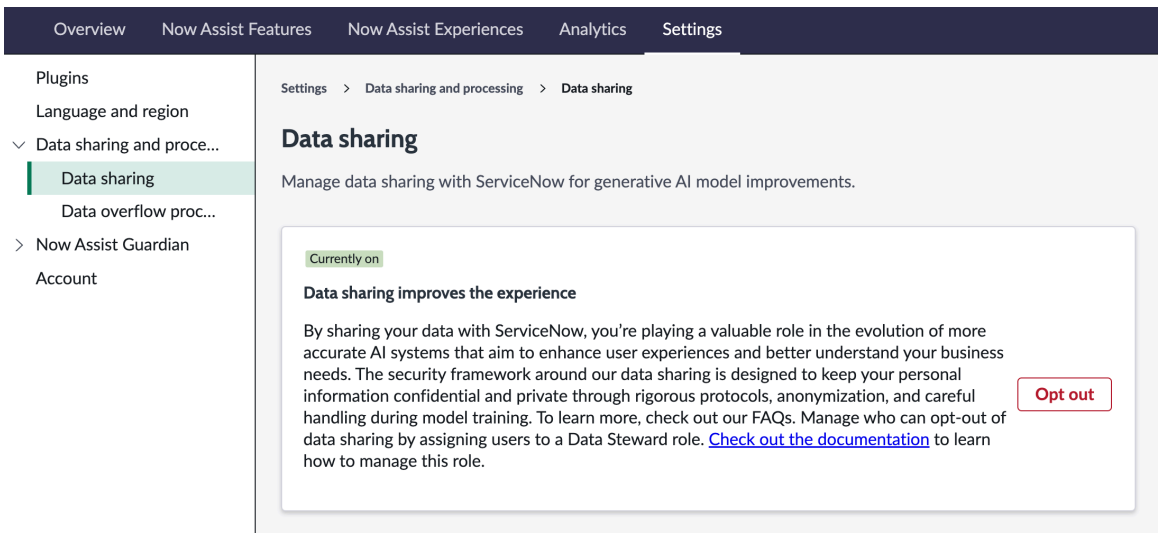
オプトアウトの処理には最大 5 営業日かかる場合があります。

手順

1. 現在のセッションスコープを変更するには、検索バーの横にある右上にある地球儀アイコンを選択し、[アプリケーションスコープ] を [生成 AI コントローラー] に設定します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[設定] タブを選択します。

3. [設定] パネルで、 データの共有と処理 > データ共有 学習します。



4. [オプトアウト] を選択します。
5. 確認ウィンドウで、[オプトアウト] を選択します。

タスクの結果

データ共有設定がインスタンスに保存されます。再びデータ共有にオプトインする場合は、アカウント担当役員に相談する必要があります。

Now Assist データオーバーフロー処理の構成

トラフィックが多い期間に Now Assist データが処理される場所を構成します。

始める前に

必要なロール:sn_generative_ai.data_steward

このタスクについて

デフォルトでは、Now Assist データは ServiceNow データセンターで処理されます。ネットワークトラフィックが多い時期には、データを Microsoft Azure データセンターに "バースト" して、一貫した読み込み時間を維持し、容量オーバーフロー エラーを回避できます。データスチュワードロールを持つユーザーは、Now Assist アドミンコンソールからこの動作をオプトアウトまたはオプトアウトできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. ナビゲーションペインで、 データの共有と処理 > **Now** オーバーフロー処理中.
3. [オプトアウト] または [オプトイン] のいずれかを選択します。
   インスタンスはデフォルトでオプトインされています。この設定はいつでも変更できます。

Now Assistアカウント情報の確認

Now Assist アドミンコンソールの [アカウント] ページでNow Assistライセンスの詳細を確認して、利用可能なライセンスについて最新の情報を入手していることを確認します。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

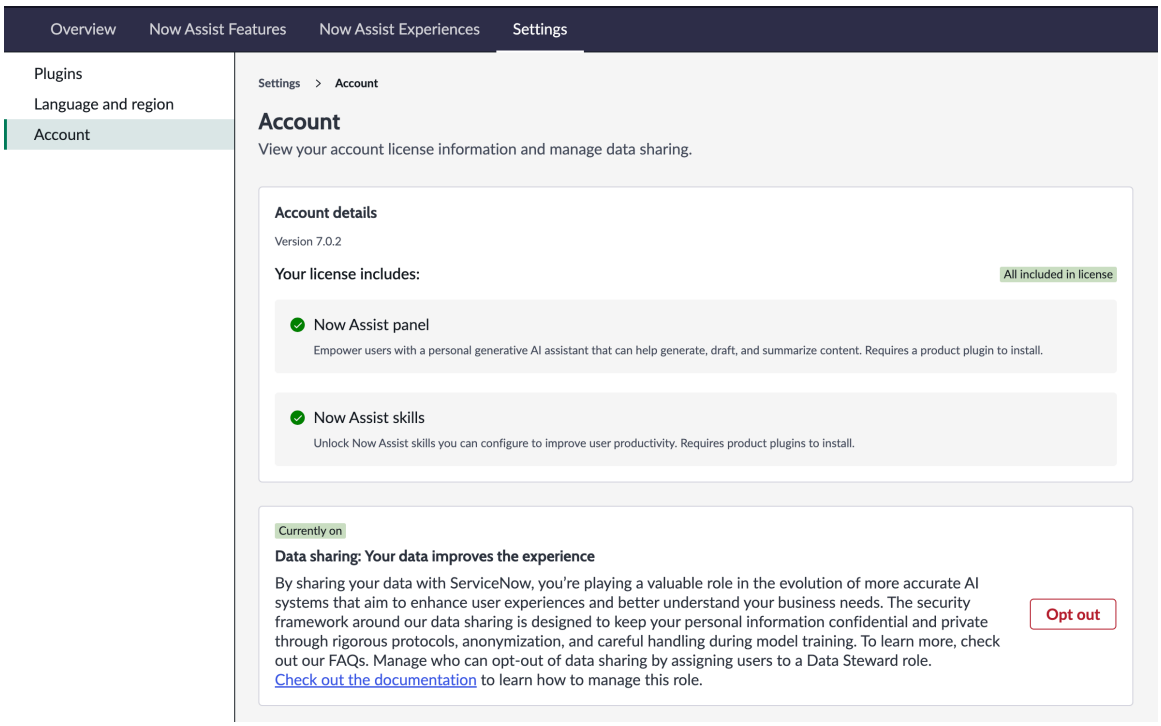
このタスクについて
[アカウント] ページでは、ライセンス情報を確認して、使用できるプラグインと機能、およびそれらのステータスを確認できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[設定] タブを選択します。

2. [設定] ページで、[アカウント] を選択します。



3. パネルの [アカウントの詳細] セクションで、 Now Assist ライセンスに含まれる内容を確認します。

次のタスク
Now Assistワークフローアプリケーションに必要なスキルをオンにして、Now Platform全体で生成 AI 機能を使用できるようにします。詳細については、「Now Assist設定と機能の構成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

生成 AI の攻撃性保護をアクティブ化する

不快感に対する保護をオンにしてログ記録し、AI が生成したテキストや会話で不快なコンテンツをブロックするオプションを追加します。

始める前に

必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて

生成 AI は確率的であり、出力は確率に基づいており、同じ入力を 2 回使用しても同じ出力が保証されません。AI によって生成された素材の一部は、有害性、性差別、またはその他の不快な感情のために望ましくない可能性があります。Now Assist Guardian を使用すると、不快感を与えると検出された素材をログに記録できます。必要に応じて、不快なコンテンツをブロックして、生成されたコンテンツがユーザーに表示されないようにすることもできます。代わりに、不快な素材が検出され、ブロックされたことを示すメッセージが表示されます。

詳細については、「Now Assist Guardian 」を参照してください。

ログはレビュー用にエクスポートできます。その方法については、「Now Assist Guardian ログのエクスポート」を参照してください。

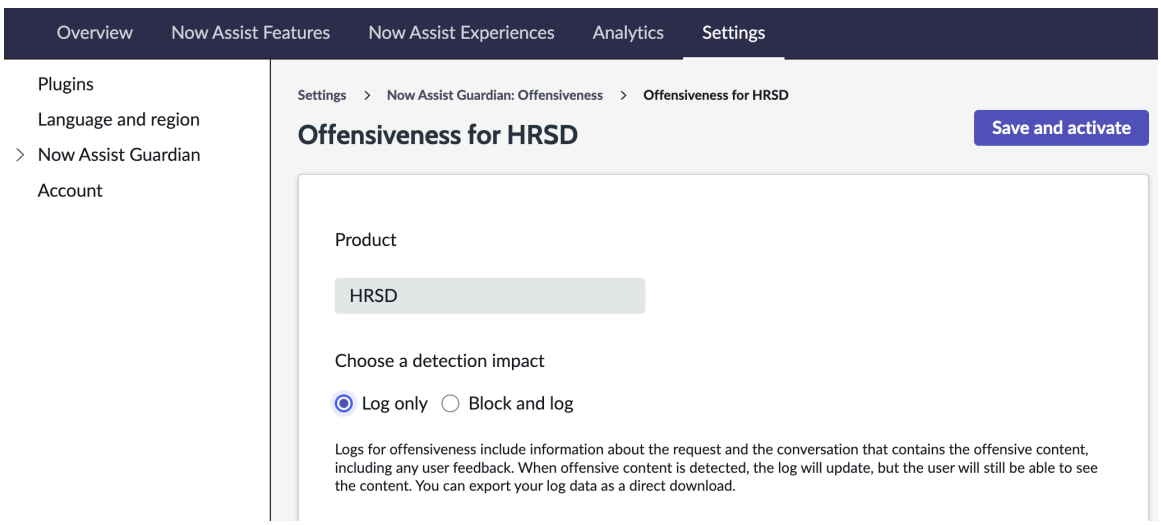
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. サイドパネルで、 **Now Assist Guardian** > 攻撃性 学習します。
3. [利用可能] タブに移動して、選択できるワークフローを確認します。

   既にアクティブになっている不快感ガードレールがある場合は、[アクティブ] タブに表示されます。

4. 攻撃性保護を有効にするワークフローの [アクティブ化] を選択します。
5. 影響検出を選択します。

   Now Assist Guardian は、不快なコンテンツが検出されたときにログに記録するか、攻撃性保護がアクティブになったときに生成されます。ユーザーからのコンテンツをブロックするかどうかを選択することもできます。コンテンツのブロックを選択すると、不快なコンテンツが生成されたものではなくブロックされたことを説明する標準化されたメッセージがユーザーに表示されます。



6. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
Now Assist Guardian の不快ガードレールが、選択したワークフローのインスタンスで有効になります。

次のタスク
インスタンスで有効にしたすべての Now Assist アプリケーションに対して不快感保護を有効にすることができます。検出の影響を変更する場合は、アクティブなワークフローのリストでその他のオプション (⋮ を選択し、[編集] を選択します。

ワークフローの不快感に対する保護は、その他のオプションを選択して [非アクティブ化] を選択することで、いつでも無効にできます。

プロンプトインジェクション攻撃保護の構成

AI が生成したテキストと会話のプロンプトインジェクション攻撃保護を有効または無効にします。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて
プロンプトインジェクション攻撃は、サイバーセキュリティ攻撃の一種で、誰かが LLM の最初の指示を上書きして意図しない動作を引き起こそうとするものです。Now Assist Guardian はこれらの攻撃の試行を検出してログに記録でき、攻撃が試行された後に AI が生成した応答をブロックするかどうかを選択できます。

詳細については、「 Now Assist Guardian 」を参照してください。

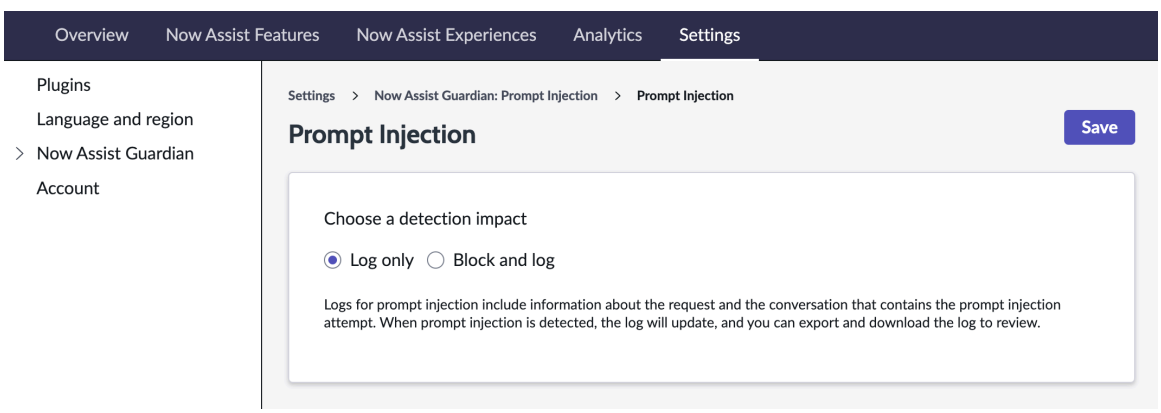
ログはレビュー用にエクスポートできます。その方法については、「 Now Assist Guardian ログのエクスポート」を参照してください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. サイドパネルで、 **Now Assist Guardian** > プロンプトインジェクション.
3. トグルを選択して、プロンプトインジェクション攻撃保護のアクティブステータスを変更します。

   プロンプトインジェクション攻撃対策はデフォルトで有効になっています。つまり、オフにしない限り、Now Assist Guardian は試行をログに記録します。

4. オプション: [検出の影響] で、オプションアイコン (⋮ を選択し、[編集] を選択して検出の影響を変更します。

   (Optional) プロンプトインジェクション攻撃をログに記録するだけでなくブロックするかどうかを選択できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
インスタンスでプロンプトインジェクション攻撃保護を有効にするかどうかを設定し、試行された場合に Now Assist Guardian で実行する処理を決定しました。

機密トピックフィルターの設定

仮想エージェントの会話で特定の主題が検出された場合に、ユーザーを別のトピックにリダイレクトするフィルターを設定します。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて
特定の件名では、生成 AI で会話を続行するのではなく、ユーザーをリダイレクトして HR ケースを作成したり、ライブエージェントと会話したりできます。Now Assist Guardian が検出し、リダイレクトを有効にするサブジェクトのタイプをアクティブ化および構成できます。

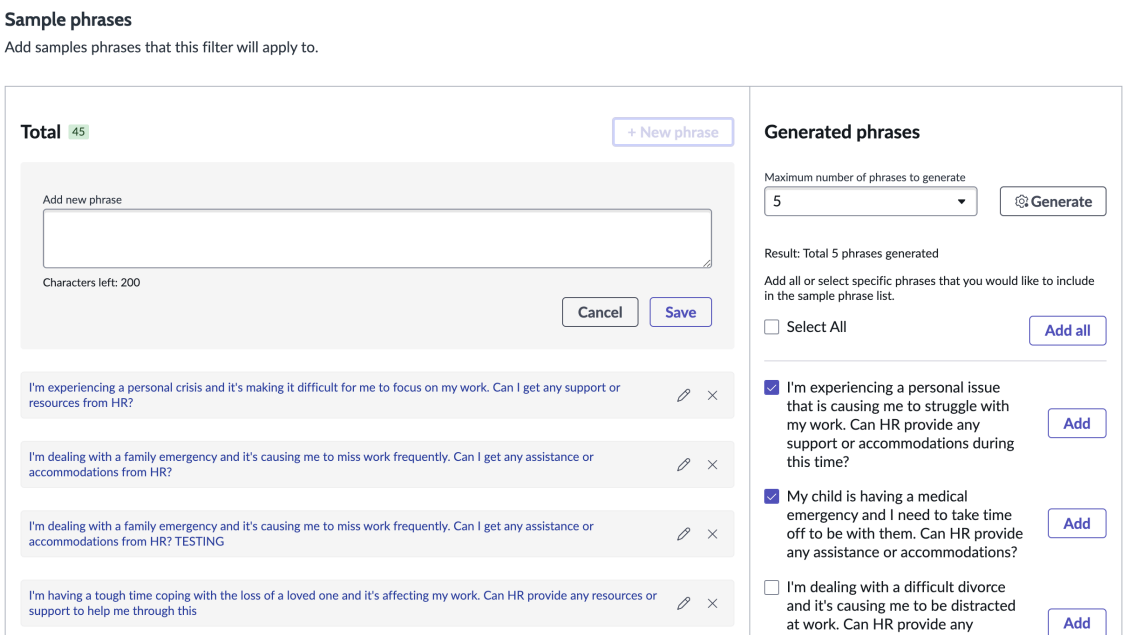
詳細については、「Now Assist Guardian」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. 次のように移動する。 **Now Assist Guardian** > フィルター.
3. [利用可能] タブに移動して、利用可能なフィルターを確認します。
4. 有効にするフィルターで [アクティブ化] を選択します。
5. サンプルフレーズを確認して生成します。

   サンプルフレーズは、フィルターによって検出されるテキストの種類を LLM に指示します。提供するサンプルフレーズが多いほど、LLM はこれらのトピックをより正確にキャッチします。鉛筆アイコンを選択して既存のサンプルフレーズを編集し、削除アイコンで削除できます。

   新しいサンプルフレーズを追加するには、2 つの方法があります。フレーズを手動で追加するには、[新しいフレーズ] を選択し、テキスト ボックスにテキストを入力し、[保存] を選択してリストに追加します。生成 AI でサンプルフレーズを生成するには、[生成サンプル] パネルに移動し、生成するフレーズの数を選択して [生成] を選択します。フレーズが生成されたら、[追加] を選択してサンプル フレーズを追加するか、チェックボックスを使用してフレーズを選択し、[すべて追加] を選択して選択したすべてのフレーズを追加します。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。
7. 仮想エージェント名の横にあるチェックボックスをオンにして、機密トピックフィルターを有効にする仮想エージェントを選択します。
8. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。
9. フィルターが検出されたときの代替トピックを確認します。

   デフォルトでは、機密トピックが検出されると、ユーザーは [機密性検出:フォールバック] トピックにリダイレクトされ、HR ケースを作成するか、ライブエージェントと話すように促されます。ガイド付きセットアップからトピックをプレビューできます。

10. [保存して続行] を選択します。
11. 最後のステップで、フィルター設定の選択内容を確認します。

    変更を加える場合は、ステップナビゲーションパネルを使用して前のステップに戻ることができます。

12. [アクティブ化] を選択してフィルターをアクティブ化します。

タスクの結果
選択したフィルターのインスタンスで機密トピックのリダイレクトが有効になっています。フィルターは、Now Assist Guardian 設定の [フィルター] セクションの [アクティブ] タブに表示されます。

次のタスク
後で構成を変更する場合は、Now Assist Guardian 設定オプションの [アクティブ] タブに移動し、[アクション] 列のその他のアクションアイコン (⋮

Now Assist Guardian ログをエクスポート

Now Assist Guardian からログをエクスポートして、さまざまなガードレールが検出され、使用されている頻度に関するインサイトを取得します。

始める前に
必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

このタスクについて
Now Assist Guardian は、利用可能な 3 つのガードレールすべてのログを作成します。ログを確認すると、不快なコンテンツが生成される頻度、プロンプトインジェクション攻撃の試行が発生する頻度、または機密性の高いトピックが検出される頻度を判断するのに役立ちます。

詳細については、「 Now Assist Guardian 」を参照してください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. [その他のオプション] メニュー項目 (⋮ を使用して、[エクスポート] を選択します。

   a. 攻撃性のガードレールについては、 **Now Assist Guardian** > 攻撃性.

      [アクティブ] タブのリストを使用して、ログをエクスポートするワークフローを選択します。

   b. プロンプトインジェクションガードレールについては、 **Now Assist Guardian** > プロンプトインジェクション.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ログが.csvファイルとしてコンピューターにエクスポートされます。

次のタスク
ログデータが表示されない場合は、ガードレールがまだトリガーされていない可能性があります。
データが表示されるはずなのに表示されない場合は、 Now Supportに連絡してください。

大規模言語モデルの管理

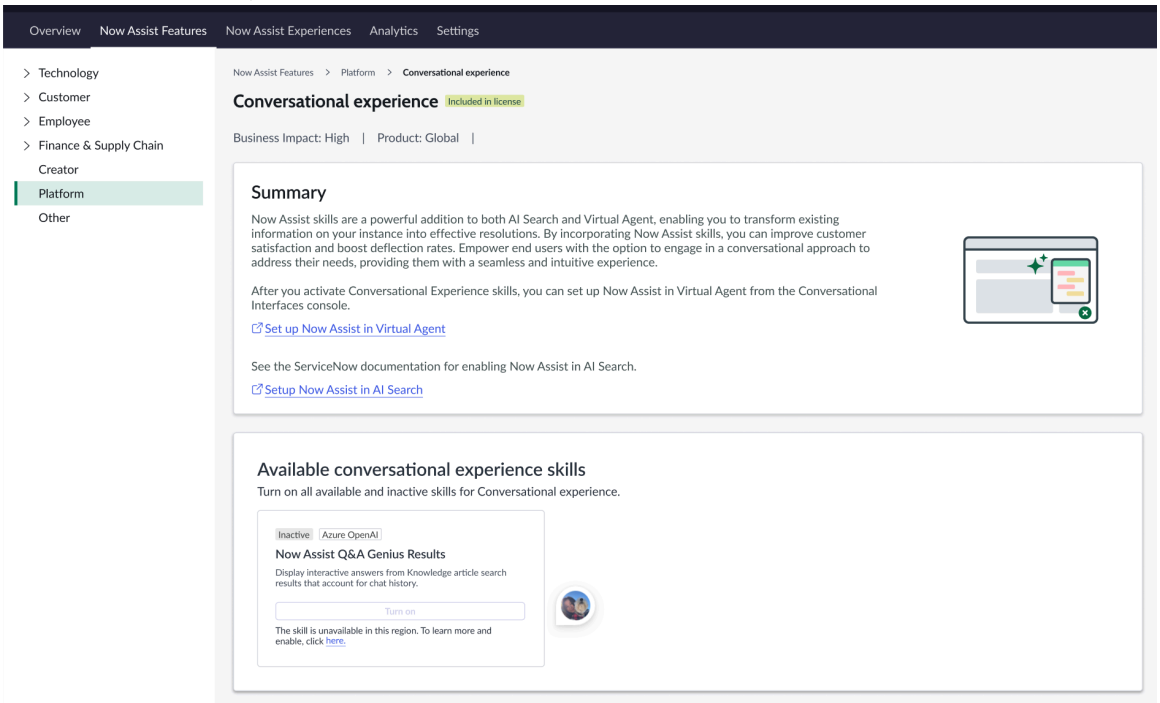
さまざまな Now Assist スキルに使用される LLM (大規模言語モデル) にアクセスして選択します。選択すると、ケイパビリティ内のすべてのスキルに影響します。

始める前に
必要なロール：admin

LLM プロバイダーの選択を有効にするには、その地域でスキルが利用可能であることを確認します。たとえば、Now Assist Q&A Genius 結果の LLM プロバイダーを更新するには、[会話スキル] のすべてのスキルが地域で利用可能でアクティブであることを確認します。

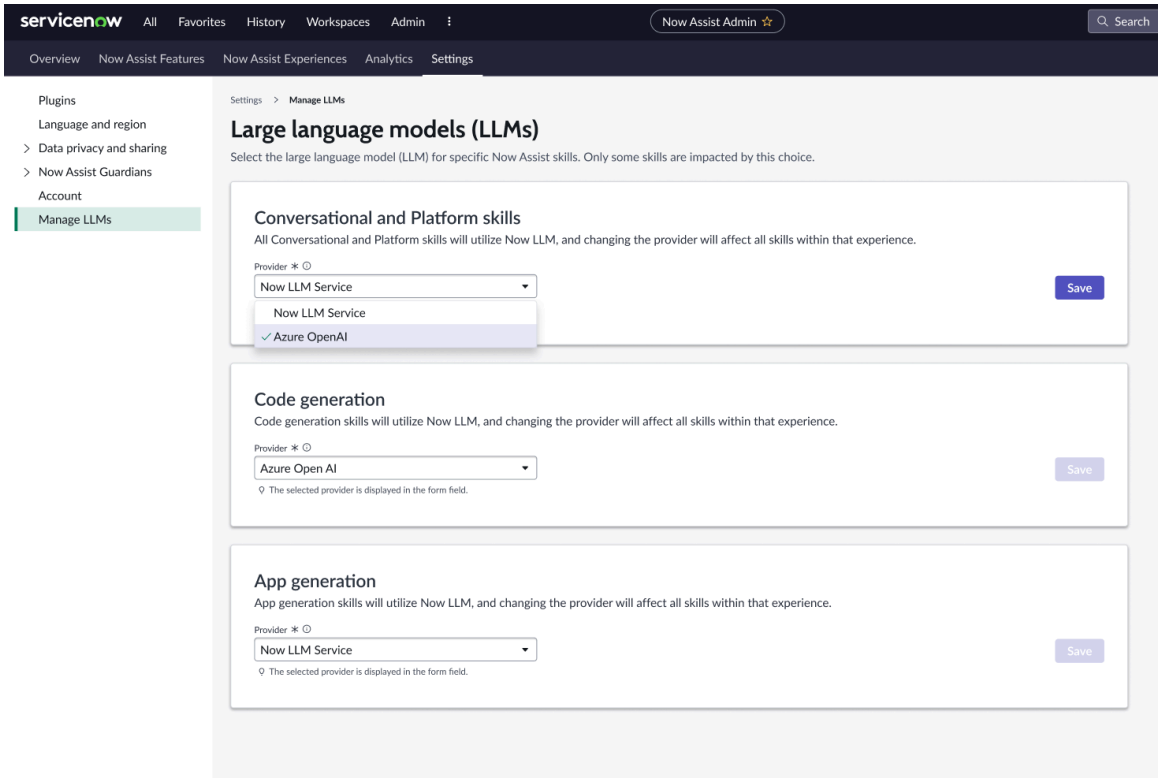
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 設定.
2. **[Now Assist** 機能] を選択して、LLM プロバイダーを選択するワークフローを検索します。
3. ワークフローで利用可能なスキルを検索し、[オンにする] を選択してリージョンスコープを変更するため、スキルを有効にします。



4. 契約条件を確認して、LLM プロバイダーの変更を受け入れるか、元に戻すかを決めます。
5. 次のように移動する。 設定 > **LLM** の管理.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. LLM を更新するプラットフォーム、コード生成、またはカタログアイテム生成スキルから選択します。
7. [プロバイダー] ドロップダウンで LLM を選択します。
   Now LLM と Azure Open AI のいずれかを選択できます。
8. [保存] を選択して LLM を更新します。
   LLM の選択を確認する前に、合意メッセージが表示されます。

   注: 契約同意メッセージは、初めてのユーザーに対してのみ表示されます。

9. https://learn.microsoft.com/en-us/azure/ai-services/openai/how-to/deployment-types#global-standard を確認して、LLM の変更に同意または拒否します。

   注: Azure OpenAI を選択するには、生成 AI データ処理の場所を APJ (アジア太平洋および日本) からグローバルな場所に変更する必要がありました。

10. [同意する] を選択して、LLM の選択を受け入れて適用します。
    その機能の LLM プロバイダーの選択を確認するメッセージが表示されます。選択により、その機能内のいずれかのスキルが選択した LLM で更新されない場合にも通知されます。

Now Assistパネルの音声入力を有効にする

ユーザーが Now Assist パネルを操作するときに音声を使用して、パネルのアクセシビリティを向上させるオプションを提供します。音声入力により、キーボードを使用せずにパネルを使用できます。

始める前に
Now Assist パネルを使用するスキルを備えた Now Assist アプリケーションを少なくとも 1 つインストールしておく必要があります。サポートされているスキルの詳細については 、「Now Assist パネル」を参照してください 。

必要なロール:sn_generative_ai.nsa_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
Now Assistパネルで音声入力を使用するオプションをユーザーに提供できます。この機能は、サポートされている言語で Now Assist スキルとやり取りするための追加の入力方法を提供します。有効にすると、ユーザーは **[Now Assist** パネルで音声入力を有効にする] をオンにすることで、個人のアクセシビリティ設定でこの機能を有効にすることを選択できます。個人のアクセシビリティ設定の詳細については、「 Next Experience のアクセシビリティ設定を構成する 」を参照してください。

音声テキスト入力は、運動障害のあるユーザーがキーボードを使用せずに生成 AI スキルにアクセスするのに役立ちます。この機能は、視覚障がいのあるユーザー、ニューロダイバージェントユーザー、母国語を母国語としないユーザー、およびフィールドサービスエージェントなどの外出中のモバイルユーザーにも役立ちます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Experiences (Now Assist** エクスペリエンス).

   既に Now Assist アドミン コンソールが表示されている場合は、[Now Assist エクスペリエンス] ページに移動します。

2. [Now Assist パネル] タブに移動します。
3. [設定] セクションで、[音声入力] の切り替えをオンにします。

タスクの結果
ユーザーは、Next Experience のアクセシビリティ設定で、音声を使用して Now Assist パネルを操作できるかどうかを選択できます。

Now Assistパフォーマンスの分析

Now Assist アナリティクスダッシュボードを使用して、Now Assistで提供される生成 AI 機能の使用状況とパフォーマンスを監視します。

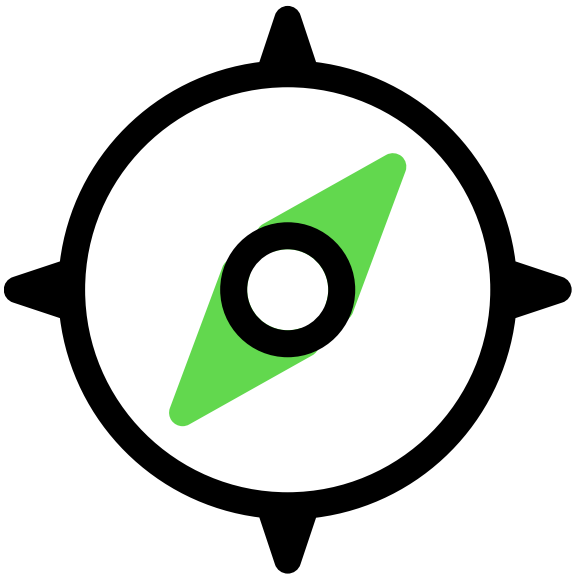
https://player.vimeo.com/video/1063716199?h=247ef99aa4&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始めましょう

探索



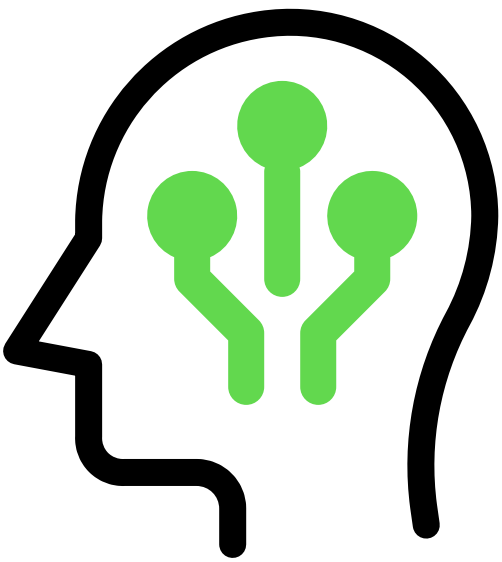
Now Assist アナリティクス に関する詳細

構成



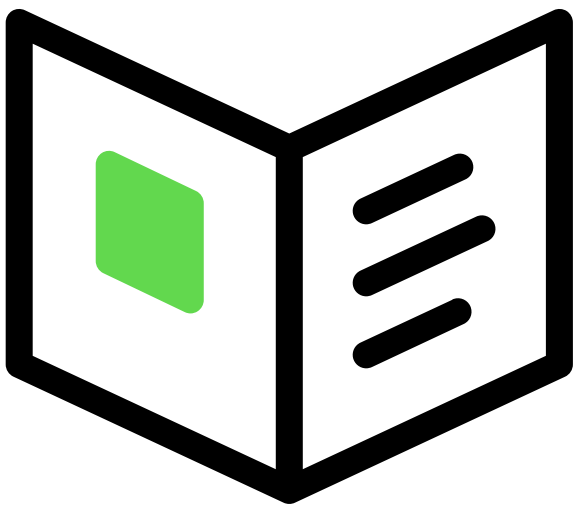
Now Assist アナリティクス の構成

使用



Now Assist アナリティクス の使用

参照



ユーザーロールの詳細Now Assist アナリティクス

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、他のリソースを調べる の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

Now Assist アナリティクス の探索

Now Assist アナリティクス を使用してNow Assist アナリティクスビューアーまたはNow Assist アナリティクスアドミンロールを持つユーザーが、Now Assist で提供される生成 AI 機能の使用状況、価値、パフォーマンスを監視する方法について説明します。

Now Assist アナリティクスの概要

Now Assist アナリティクスダッシュボードは、プラットフォームアナリティクスエクスペリエンスに基づいて構築されています。ダッシュボードには、Now Assist ガーディアン、Now Assistコンテキストメニュー、検索など、Now Assist実装の使用状況、価値、パフォーマンスに関する実用的なインサイトを提供するインジケーターとブレークダウンが含まれています。

Now Assist アナリティクス ユーザー

ユーザー

ユーザー	説明
Now Assist アナリティクス アドミン	Now Assist アナリティクスアドミニストレーターは、Now Assist ガーディアン、Now Assistコンテキストメニュー、検索な

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー (続く)

ユーザー	説明
	ど、Now Assist実装の使用状況、価値、およびパフォーマンスを監視します。また、個々のスキルの使用状況とパフォーマンスインジケーターを表示するスキルダッシュボードマッピングも構成します。
Now Assist アナリティクス ビューアー	ダッシュボードページを表示して、使用状況とパフォーマンスのインジケーターを監視します。

Now Assist アナリティクス のメリット

Now Assist アナリティクスのメリット

メリット	機能	ユーザー
Now Assist、スキルパフォーマンス、Now Assist ガーディアン、Now Assistコンテキストメニュー、および検索の使用状況、価値、および採用を監視します。	• 使用状況とアダプション • セルフサービスパフォーマンス • スキルパフォーマンス • Now Assist ガーディアン 解析学 • Now Assist コンテキストメニューアナリティクス • ユーザー検索アナライザー • Now Assist バリューインサイト	Now Assist アナリティクス アドミンまたは Now Assist アナリティクス ビューアー

次に探索する内容

Now Assist アナリティクスを構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- Now Assist アナリティクスの構成
- Now Assist アナリティクス の使用
- Now Assist アナリティクスの参照

Now Assist アナリティクスの構成

Now Assist アナリティクス ダッシュボードを設定して、Now Assistの使用状況、値、およびパフォーマンスインジケーターを表示します。

構成の概要

Now Assist アナリティクス では、少なくとも 1 つの Now Assist アプリケーション (CSM の Now Assist など) をインスタンスにインストールして設定する必要があります。詳細については、「Now Assist アナリティクスのインストール」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

以下は、Now Assistスキルをダッシュボードにマッピングするために使用されるオプションの構成タスクです。

スキルをダッシュボードにマップする を使用して、スキルの使用状況とパフォーマンスインジケーターを表示します。

Now Assist アナリティクスのインストール

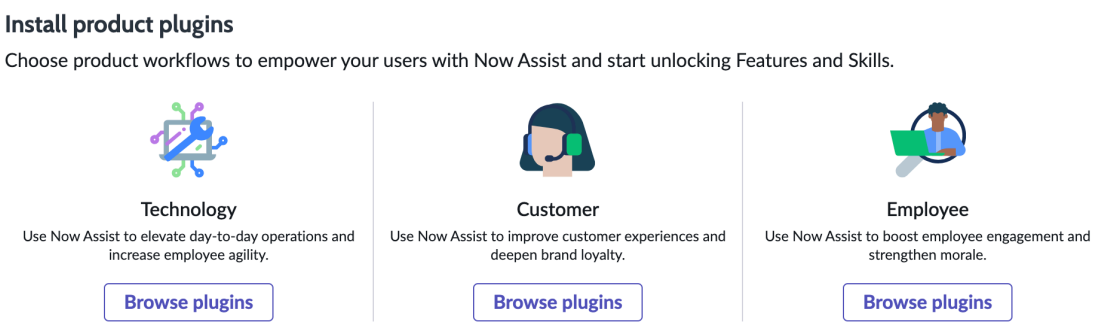
admin ロールをお持ちであれば、 Now Assist アナリティクス アプリケーション (sn_na_analytics) を Now Assist アプリケーションと一緒にインストールできます。

インストール要件

Yokohamaパッチ 0 以降である必要があります。

Now Assist アナリティクス は、すべての Now Assist アプリケーションの依存関係として含まれています。アプリケーションを単独でインストールすることはお勧めしません。代わりに、Now Assist アドミンコンソールから、またはServiceNow Storeから直接、Now Assistアプリケーションをインストールできます。詳細については、「Now Assist プラグインをインストール」を参照してください。

Now Assist アドミン コンソールプラグインのインストール



互換性マトリクス

Now Assist アナリティクス は Now Assist アドミンに依存しています。次の互換性マトリックスに基づいて、互換性のあるバージョンの Now Assist アドミン コンソールがあることを確認してください。

Now Assist アナリティクス バージョン	Now Assist アドミン コンソール バージョン	リリース
Now Assist アナリティクス 2.0.14	Now Assist アドミン 5.0.7	Yokohama パッチ 1
Now Assist アナリティクス 1.1.11	Now Assist アドミン 4.1.16	Yokohama パッチ 0

スキルをダッシュボードにマップする

Now Assistスキルをダッシュボードにマッピングして、スキルパフォーマンスインジケーターとスキルの詳細を表示します。

始める前に
ダッシュボードを同じドメインのスキルにマッピングしてください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

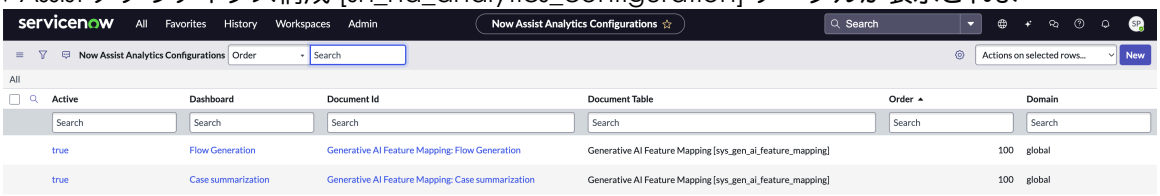
注: スキルはダッシュボードにのみマッピングできます。(複数のスキルで構成される) 機能のマッピングは現在サポートされていません。

スキルカスタムダッシュボードマッピングする場合は、ダッシュボードへの適切なアクセス権を必ず共有してください。詳細については、「プラットフォームアナリティクスダッシュボードの共有」を参照してください。

必要なロール: Now Assist アナリティクス アドミン [sn_na_analytics.admin] および Now Assist アドミン [sn_nowassist_admin.nsa_admin]

手順

1. に移動します **All** (すべて) メニューをクリックし、「`sn_na_analytics_configuration.list`」と入力します。
   Now Assist アナリティクス構成 [sn_na_analytics_configuration] テーブルが表示されます。



2. 新しいマッピングを作成 selecting 新規
3. フォームのフィールドに入力します。

Now Assist アナリティクス 設定レコードフォーム

フィールド	説明
ダッシュボード	スキルにマッピングするダッシュボード。ルックアップアイコン ルックアップアイコン (を使用して、ダッシュボードを検索して選択します。
アプリケーション	レコードを含んでいるアプリケーション
ドキュメントテーブル	構成されたスキルを含むテーブル。ルックアップアイコンルックアップアイコン (を使用して、Now Assist スキル構成 [sn_nowassist_skill_config] テーブルを検索して選択します。
ドキュメント ID	ダッシュボードにマッピングするスキル。ルックアップアイコンルックアップアイコン (を使用して、ダッシュボードにマッピングするスキルを検索して選択します。
[Active (アクティブ)]	マッピングを有効または無効にするために使用するチェックボックス。
順序	複数のスキルが同じダッシュボードにマッピングされている場合に、マッピングの優先度を決定する設定順序。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ダッシュボード	Dashboard スキルにマッピングする 。検索アイコンを使用して、ダッシュボードを検索して選択します。
アプリケーション	レコードを含むアプリケーション。
ドキュメントテーブル	構成されたスキルを含む Table。ルックアップアイコンを使用して Now Assist スキル構成 [sn_nowassist_skill_config] テーブルを検索して選択します 。
ドキュメント ID	ダッシュボードにマッピングする Skill。ルックアップアイコンを使用して、ダッシュボードにマッピングするスキルを検索して選択します。
[Active (アクティブ)]	マッピングを有効または無効にするために使用するチェックボックス。
順序	複数のスキル同じダッシュボードにマッピングされている場合に、マッピングの優先度を決定設定します。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
マッピングが完了したらスキルの詳細ページに移動し、ドロップダウンダウンリストからスキルを選択して、マッピングされたダッシュボードが表示されることを確認します。

Now Assist アナリティクス の使用

Now Assist アナリティクス ダッシュボードには、インスタンスでアクティブな生成 AI 機能やスキルのパフォーマンスを監視するのに役立つインジケーターとブレークダウンが表示されます。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > アナリティクス. ダッシュボードを表示するには、Now Assist アナリティクスアドミン [sn_na_analytics_admin] または Now Assist アナリティクスビューアー [sn_na_analytics_viewer] ロールが必要です。次のセクションでは、ダッシュボードページについて詳しく説明します。

使用状況とアダプション

[使用状況とアダプション] ダッシュボードページには、組織内での Now Assist のアダプションを評価するのに役立つ主要な使用状況およびパフォーマンスインジケーターが含まれています。

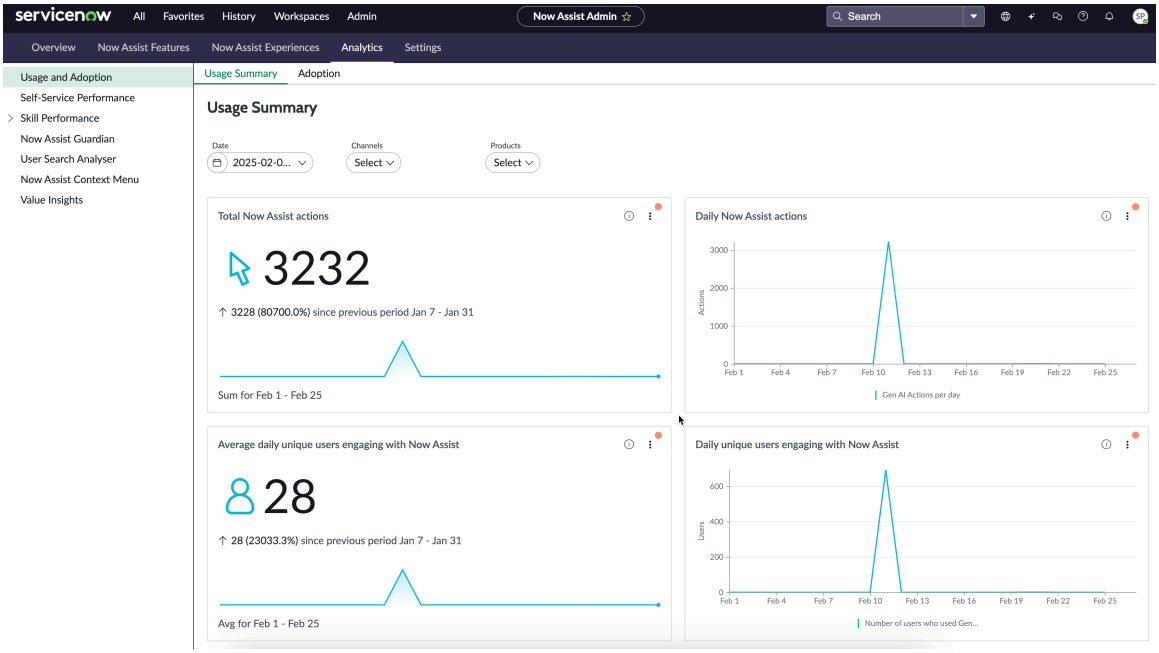
使用状況とアダプションダッシュボードページは、ダッシュボードのランディングページです。[使用状況とアダプション] ダッシュボードページには、使用状況の概要とアダプションに関するインサイトを提供する 2 つのタブが含まれています。

[使用状況の概要] ページには、Now Assistに関与した合計および日次のNow Assistアクション、スキル分布とエンゲージメントの傾向、および日次ユニークユーザーに関するインジケーターが含まれています。[アダプション] ページでは、 Now Assist 使用率が最も高い部門、部門別のアクションの比較、フィードバックとエラーの詳細を追跡します。日付範囲、チャネル、および製品フィルターを使用して、選択した期間、 Now Assist チャネル、および製品の使用状況とアダプションインジケーターをそれぞれ表示します。デフォルトの日付範囲は 30 日です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

使用状況とアダプションダッシュボードページ



[使用状況とアダプション (Usage and Adoption dashboard)] ページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。ページ上の各インジケーターの背後にあるデータソースと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

- 選択した期間のスキルエンゲージメント傾向から、使用されているスキルの頻度が高い場合も低い場合もあることがわかります。
- 選択した期間の合計アクションと日次アクションにより、実行された Now Assist アクションのスケールが明らかになります。可視化のトレンドラインは、エンゲージメントが増加または減少している期間を示します。
- 平均および日次のユニークユーザー数から、 Now Assistに対するユーザーエンゲージメントが明らかになります。

使用状況サマリーインジケーター

Now Assistアクションの合計数

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内の Now Assist アクションの合計数が表示されます。Now Assistスキルの 1 回の使用はアクションを表します。フィルターの組み合わせを選択すると、製品別または Now Assist チャネル別のアクションの数が表示されます。たとえば、CSM の Now Assist製品の仮想エージェントチャネルのNow Assistを通じて実行されたNow Assistアクションの数を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

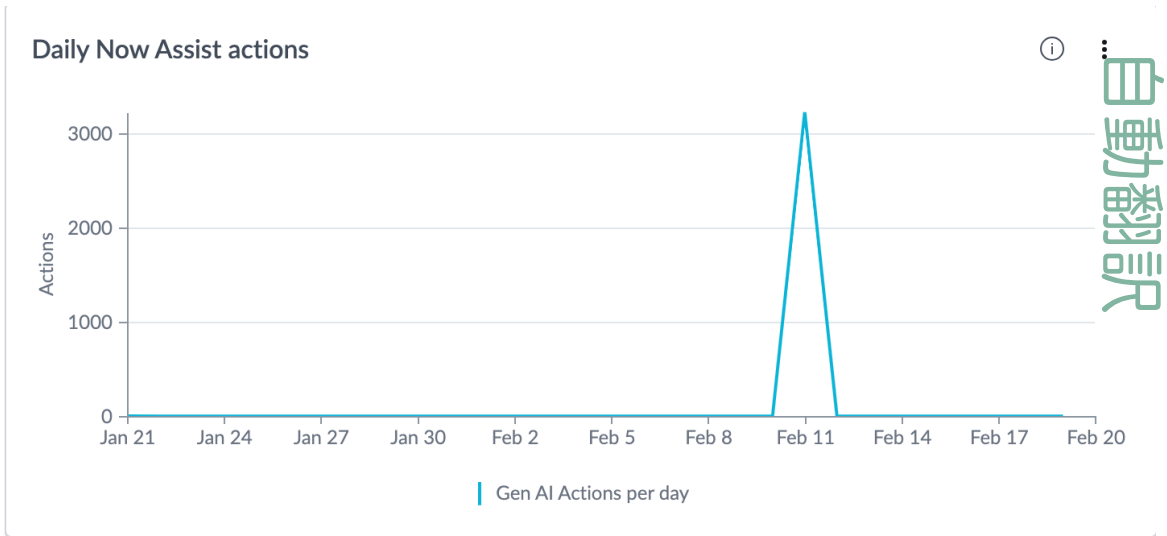
Now Assistアクションインジケーターの合計数



日次 Now Assist アクション

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内に 1 日あたりに実行された Now Assist アクションの数が表示されます。

日次 **Now Assist** アクションインジケーター



自動翻訳

に関与する日次平均ユニークユーザー数 Now Assist

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内に Now Assist アクションに関与した日次ユニークユーザーの平均数が表示されます。日次ユニークユーザーの平均数は、選択したNow Assist製品とチャネル全体のNow Assistエンゲージメントレベルのインジケーターです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

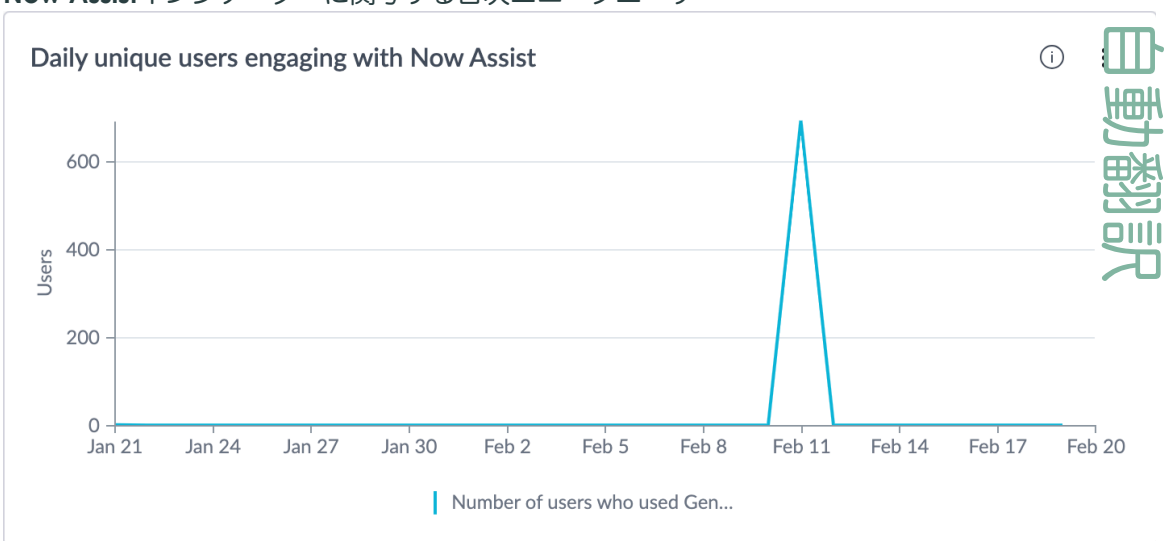
アクションインジケーターをトリガーした 1 日あたりの平均ユニークユーザー数



とのエンゲージメントの日次ユニークユーザー Now Assist

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内に Now Assist アクションに関与した日次の一意のユーザーが表示されます。

Now Assistインジケーターに関与する日次ユニークユーザー

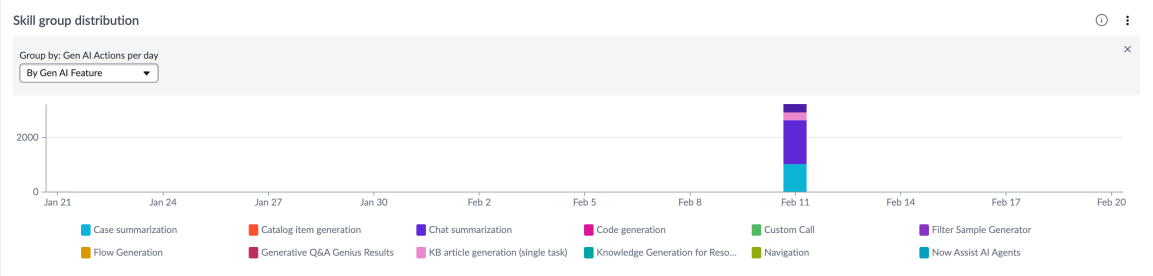


スキルグループの分布

ダッシュボードのこの領域には、選択したフィルターの傾向チャートにスキルの使用状況が表示されます。可視化はインタラクティブです。[グループ] フィルターを使用して、事前定義されたブレークダウンを適用します。傾向ラインにカーソルを合わせると、各スキルが使用された回数が表示されます。凡例で 1 つ以上のアイテムを選択すると、それらのアイテムのトレンドラインが削除されます。日付範囲内のスキル使用率分布を比較対照することで、需要の高いスキルや、使用率が低くさらに分析が必要なスキルを把握できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

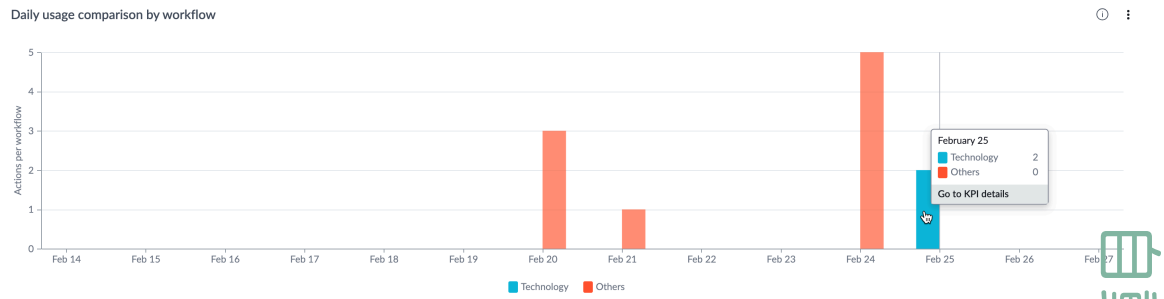
スキルグループ分布インジケーター



ワークフロー別の日次使用量の比較

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内の各ワークフローに対して 1 日あたりに実行された Now Assist アクションの数が表示されます。バーにカーソルを合わせると、その日にワークフローで実行された Now Assist アクションの数が表示されます。

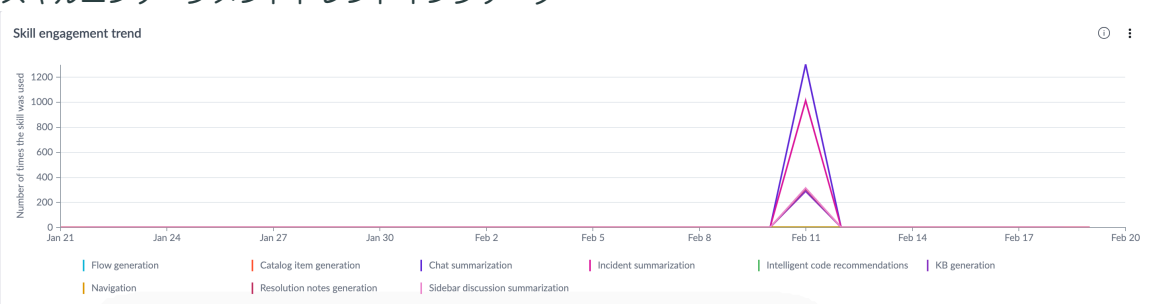
ワークフローインジケーター別の日次使用率の比較



スキルエンゲージメントの傾向

ダッシュボードのこの領域には、選択したフィルターの傾向チャートにスキルの使用状況が表示されます。可視化はインタラクティブです。傾向ラインにカーソルを合わせると、各スキルが実行された回数が表示されます。凡例で 1 つ以上のスキルを選択すると、それらのスキルの傾向ラインが削除されます。日付範囲内のスキル使用レベルを比較対照して、需要の高いスキルや、使用率が低くさらに分析が必要なスキルを把握できます。

スキルエンゲージメントトレンドインジケーター



アダプションインジケーター

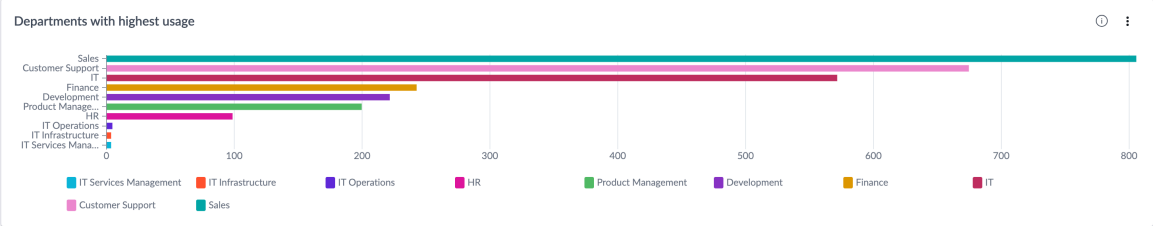
使用率が最も高い部門

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内で Now Assist アクションの使用率が最も高い部門が表示されます。水平バーにカーソルを合わせると、特定の部門のアクションの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用率が最も高い部門インジケーター



Now Assist ユーザー部門別のアクション比較

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内に各部門に対して実行された Now Assist アクションの数とタイプが表示されます。

Now Assist ユーザー部門インジケーター別のアクション比較

Now Assist actions comparison by user department

By Department / By Skills Config	Sales	Customer Support	IT	Finance	Development
Chat summarization	344	250	218	62	87
Incident summarization	238	225	190	61	71
Sidebar discussion summarization	75	58	53	21	24
Resolution notes generation	80	77	53	14	22

フィードバックの詳細

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内の Now Assist アクションについてユーザーから提供されたフィードバックの数と割合が表示されます。

フィードバック詳細インジケーター

Feedback details

By Skill Family	Number of Now Assist actions	Number of Now Assist actions with feedback	Percentage of feedback submitted	Number of Now Assist actions with positive feedback	Percentage of positive feedback
Others	5K	12	0.25	6	58.33%
ITSM	3	0	0	0	0.00%
Creator	3	1	33.33	1	700.00%
Total	**5K**	**13**	**0.27**	**7**	**53.85%**

エラーの詳細

ダッシュボードのこの領域には、エラーの原因となった Now Assist アクションの数と、エラーに対応するレコードの割合が表示されます。

エラーの詳細インジケーター

Error details

By Skill Family	Number of now Assist Actions	Number of now Assist Actions with error status	Percentage of error records
Creator	3	1	33.33
ITSM	3	2	66.67
Others	5K	23	0.47
Total	**5K**	**26**	**0.53**

セルフサービスパフォーマンス

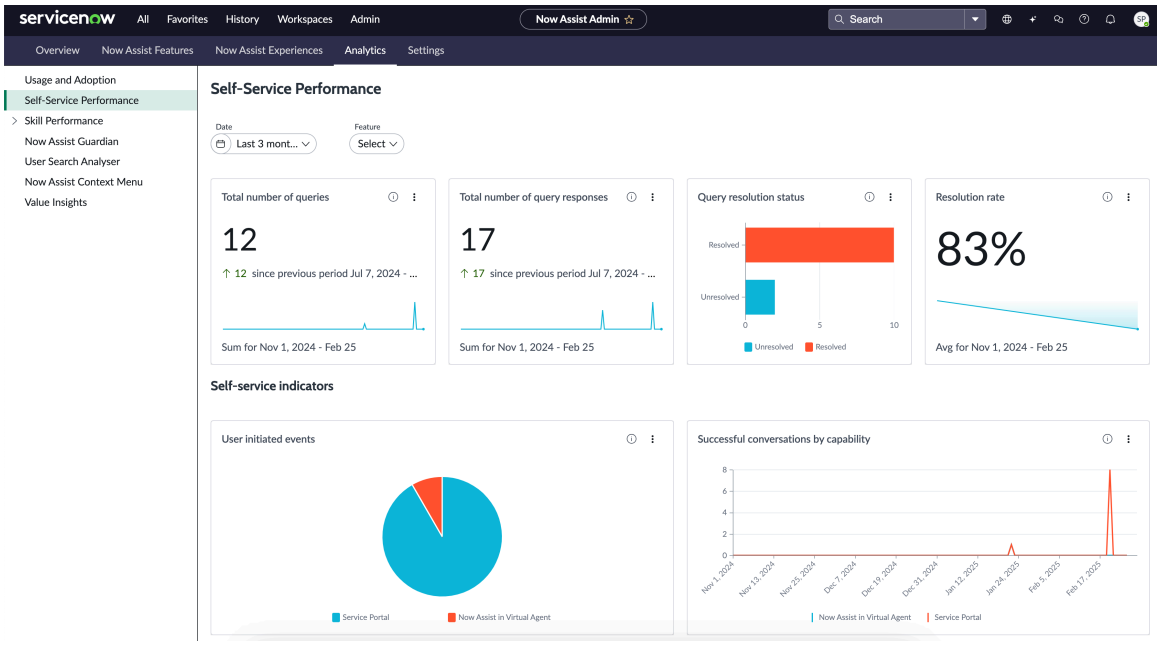
セルフサービスパフォーマンスダッシュボードページを使用してNow Assistインスタンスでアクティブな仮想エージェントサービスポータルNow Assistなどのセルフサービスエクスペリエンスのパフォーマンスインジケーターを表示します。

セルフサービスパフォーマンスダッシュボードページには、仮想エージェント や サービスポータルでのNow AssistなどのNow Assistセルフサービスエクスペリエンスのパフォーマンスを分析するの

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

に役立つインジケーターが含まれています。日付範囲と機能フィルターを使用して、特定の期間と Now Assist エクスペリエンスのセルフサービスパフォーマンスインジケーターを表示します。フィルターの選択は、ページ上のすべての可視化に適用されます。デフォルトの日付範囲は 30 日です。

セルフサービスパフォーマンスダッシュボードページ



セルフサービスパフォーマンスダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクスダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

- Now Assistセルフサービス機能によって解決されたクエリの数に基づく解決率 (仮想エージェントでのNow Assistなど)。
- Now Assistセルフサービス機能によって応答されたユーザークエリの割合のブレークダウン。
- Now Assist 最も多くの成功した会話、つまりフィードバックが [解決済み] の会話に貢献したセルフサービス機能。

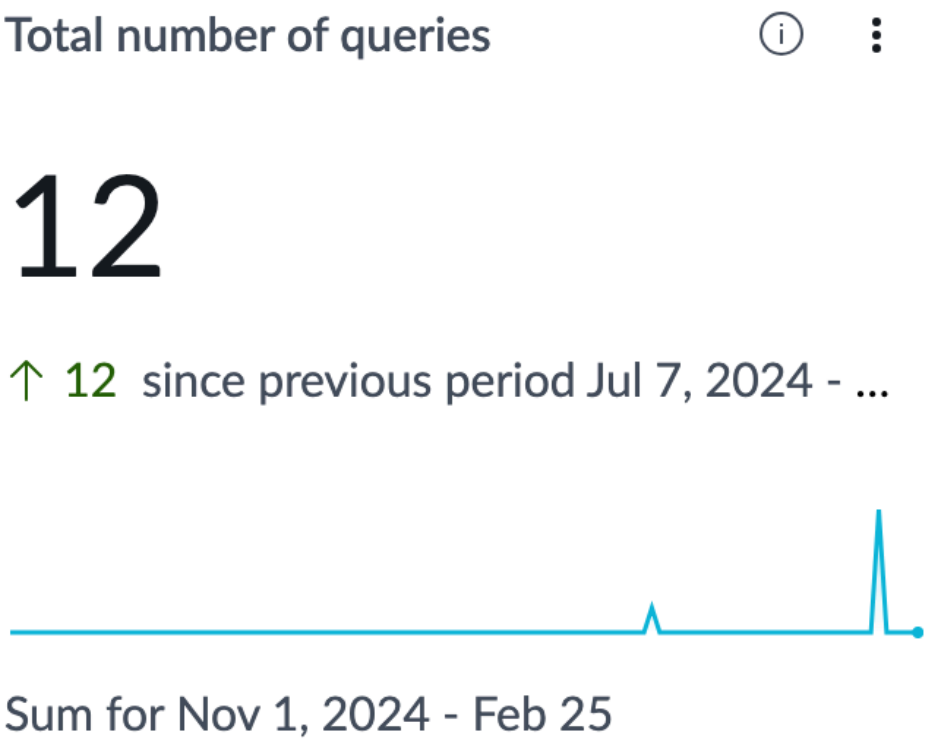
セルフサービスパフォーマンス指標

クエリの合計数

ダッシュボードのこの領域には、選択した Now Assist セルフサービス機能によって受信されたユーザークエリの合計数が表示されます。会話では、[次の回答を表示] や [結果をさらに表示] などの他のリストアイテムをユーザーが選択した場合、このユーザー入力は同じクエリの一部と見なされます。仮想エージェント のNow Assistインテントの切り替えが検出された場合 (たとえば、ユーザーが別のクエリを入力したり、[新しい会話を開始] を選択したりした場合) は、新しいクエリとしてカウントされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリインジケーターの合計数



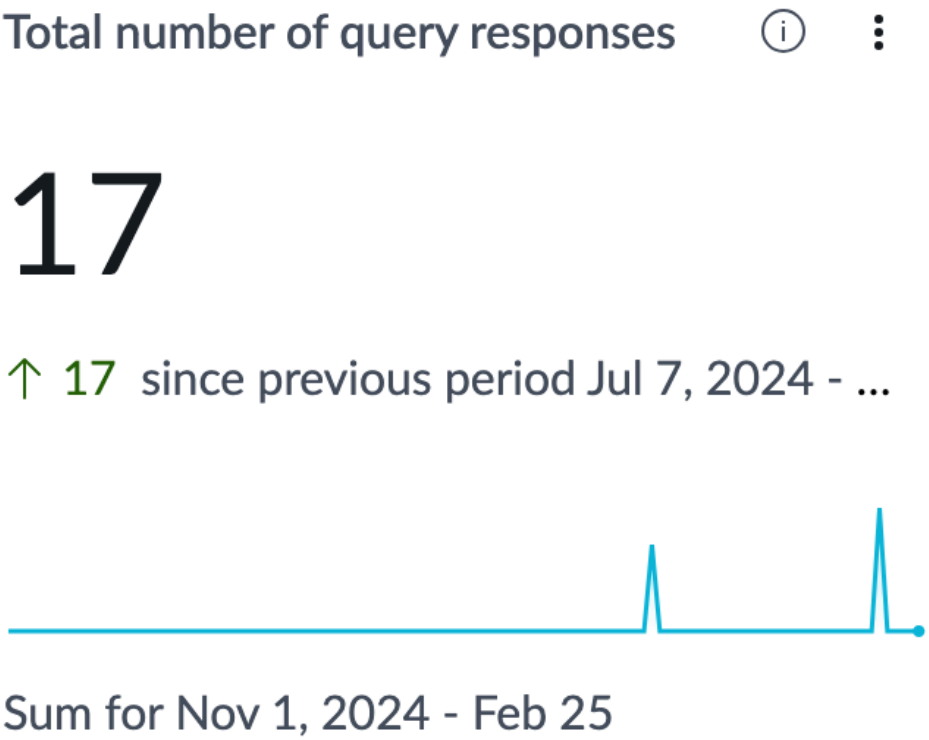
クエリ応答の合計数

ダッシュボードのこの領域には、セルフサービス機能のアクティブな Now Assist スキルがユーザーにレビュー用のコンテンツを提示した応答の合計数が表示されます。仮想エージェントのNow Assistスキルには、Now Assist Q&A Genius 結果、Now Assistマルチターンカタログ注文、Now Assistトピックが含まれます。応答にコンテンツが提示されていない場合、クエリは [応答が指定されていません] としてマークされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ応答インジケーターの合計数



クエリ解決ステータス

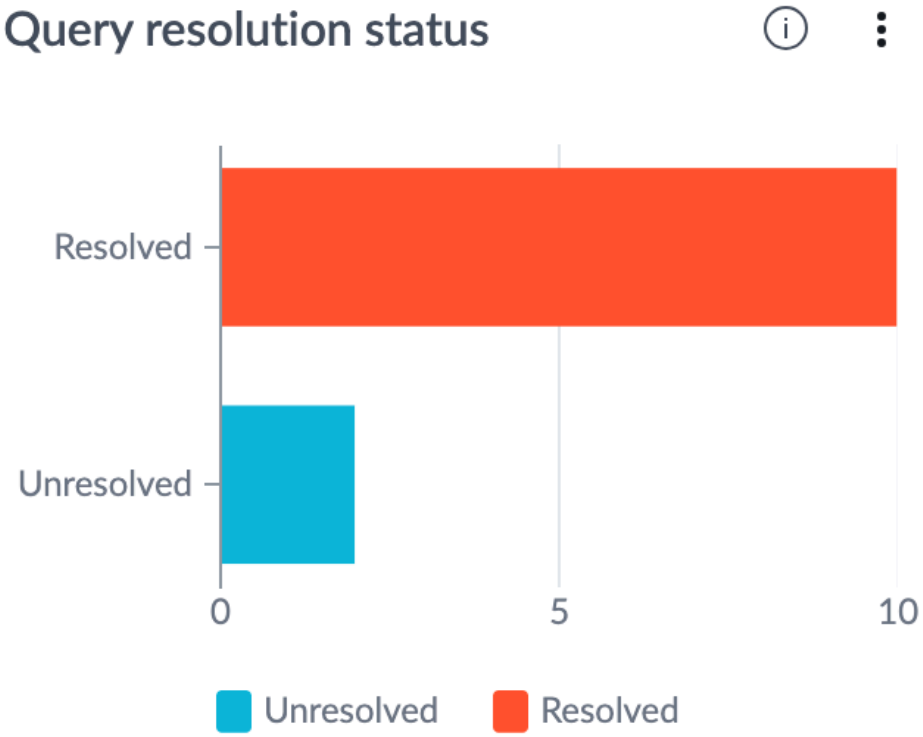
ダッシュボードのこの領域には、クエリ応答でユーザーから提供されたフィードバックに基づいて決定される、ユーザークエリの解決ステータスが表示されます。

- 解決済み：ユーザーが応答が有用で効果的であると判断したか、ユーザーがフィードバックを提供しなかったことを示します。
- 未解決:ユーザーが Now Assist セルフサービス機能によって提示された応答が役に立たないと判断し、この応答を否定的なフィードバックで示したことを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ解決ステータスインジケーター



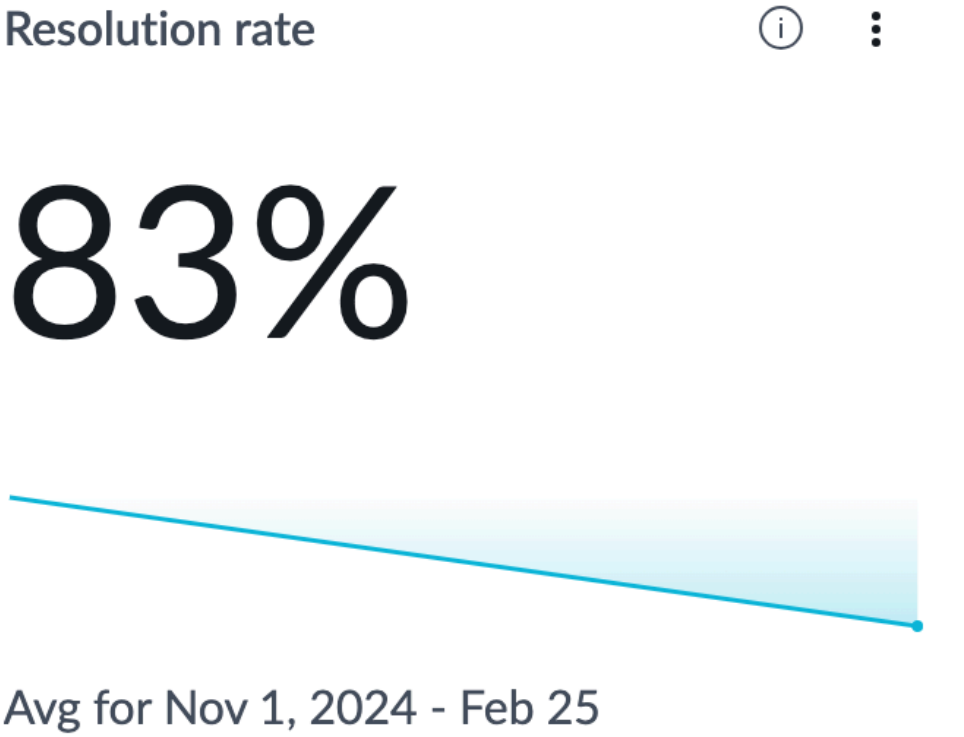
解決率

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist セルフサービス機能によって解決されたユーザークエリの割合が表示されます。解決率は、(解決されたクエリの数/クエリの合計数) x 100 の計算式で算出されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

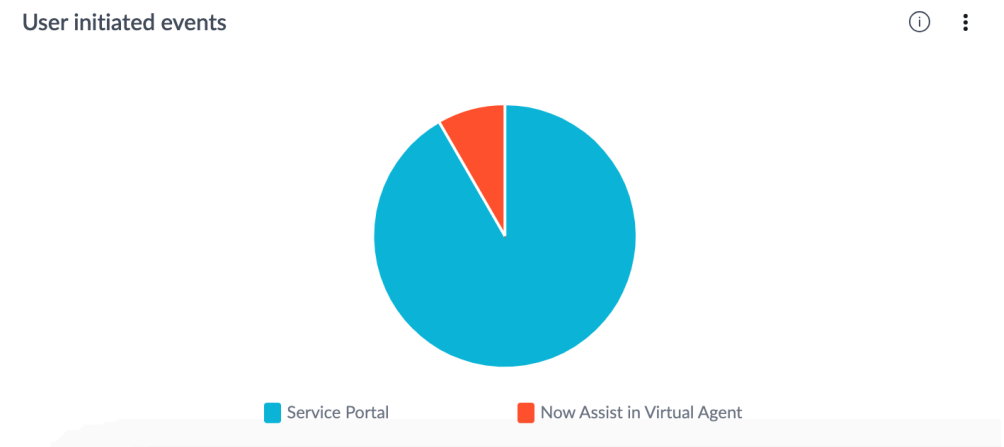
解決率インジケーター



ユーザーが開始したイベント

ダッシュボードのこの領域には、選択した Now Assist セルフサービス機能によって処理されたクエリのブレークダウンが表示されます。たとえば、[機能] ドロップダウンリストから [Now Assist in 仮想エージェント] を選択すると、インジケーターには、Now Assist によって処理されたクエリの数と割合が 仮想エージェント で表示されます。このインジケーターは、どのセルフサービス機能がユーザークエリを効果的に処理したかを理解するのに役立ちます。

ユーザーが開始したイベントインジケーター



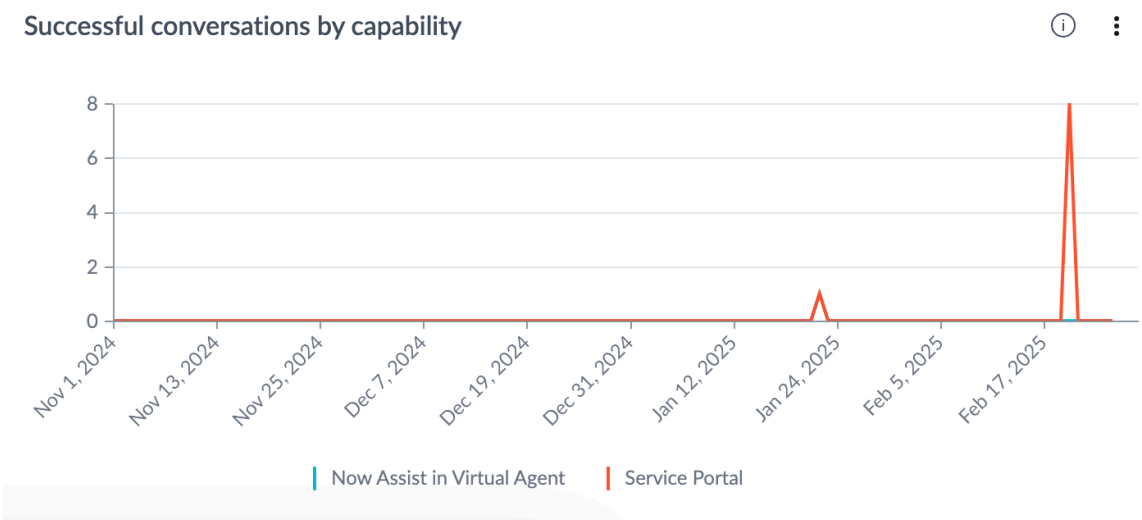
機能別の成功した会話

ダッシュボードのこの領域には、セルフサービス機能 Now Assist 貢献した成功した会話の数別に表示されます。会話の成功は、クエリ応答でユーザーから提供されたフィードバックに基づいて決定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能別の成功した会話

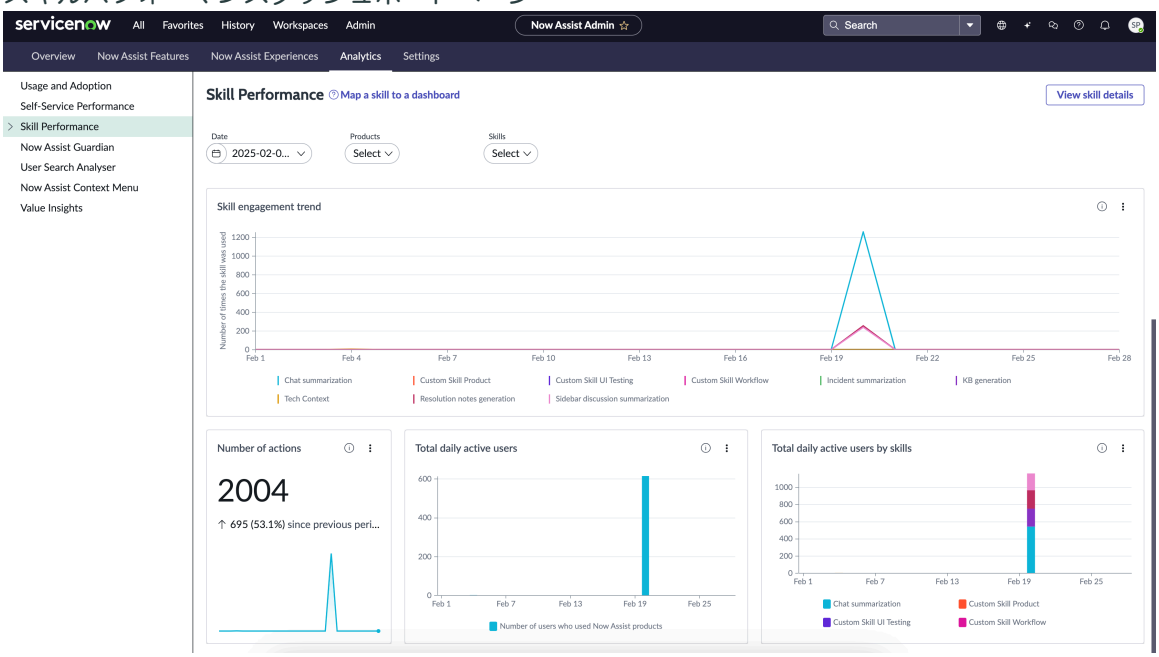


スキルパフォーマンス

スキルパフォーマンスダッシュボードページを使用して、アクティブな 1 つ以上の Now Assist スキルの使用状況とパフォーマンスインジケーターを表示します。

スキルパフォーマンスダッシュボードページには、アクティブなスキルの使用状況とパフォーマンスの分析に役立つインジケーターが含まれています。日付範囲、製品、スキルフィルターを使用して、日付範囲、Now Assist製品、スキルでそれぞれ分類します。フィルターの選択は、ページ上のすべての可視化に適用されます。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

スキルパフォーマンスダッシュボードページ



スキルパフォーマンスダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 選択した期間のスキル使用傾向を視覚化すると、使用頻度の高いスキルまたは低い頻度のスキルが明らかになります。
- 選択した期間のアクションの数を可視化することで、 Now Assist スキル実行のスケールを確認できます。傾向ラインの比較には、前の期間からの増加または減少の傾向が表示されます。
- [日次アクティブユーザーの合計] インジケーターには、日次アクティブユーザーのブレークダウンが製品別およびスキル別に表示されます。

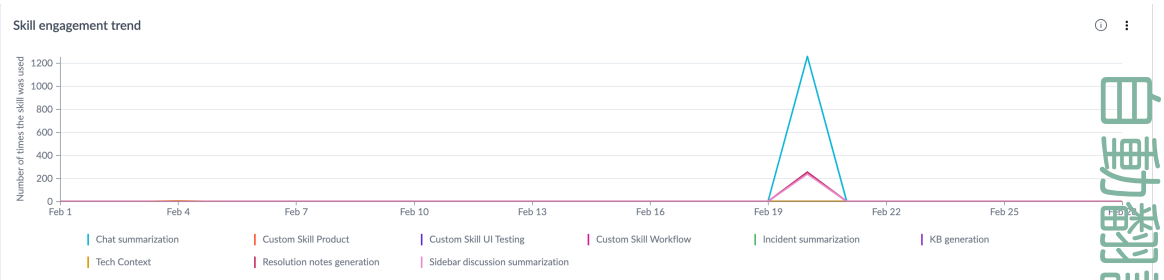
[スキルの詳細を表示] ボタンを選択して、ダッシュボードにマッピングされたスキルの使用状況とパフォーマンスインジケーターを表示します。

スキルパフォーマンスインジケーター

スキルエンゲージメントの傾向

ダッシュボードのこの領域には、選択したフィルターの傾向チャートにスキルの使用状況が表示されます。可視化はインタラクティブです。傾向ラインにカーソルを合わせると、各スキルが使用された回数が表示されます。凡例で 1 つ以上のスキルを選択すると、それらのスキルの傾向ラインが削除されます。日付範囲内のスキル使用レベルを比較対照して、需要の高いスキルや、使用率が低くさらに分析が必要なスキルを把握できます。

スキル使用傾向インジケーター



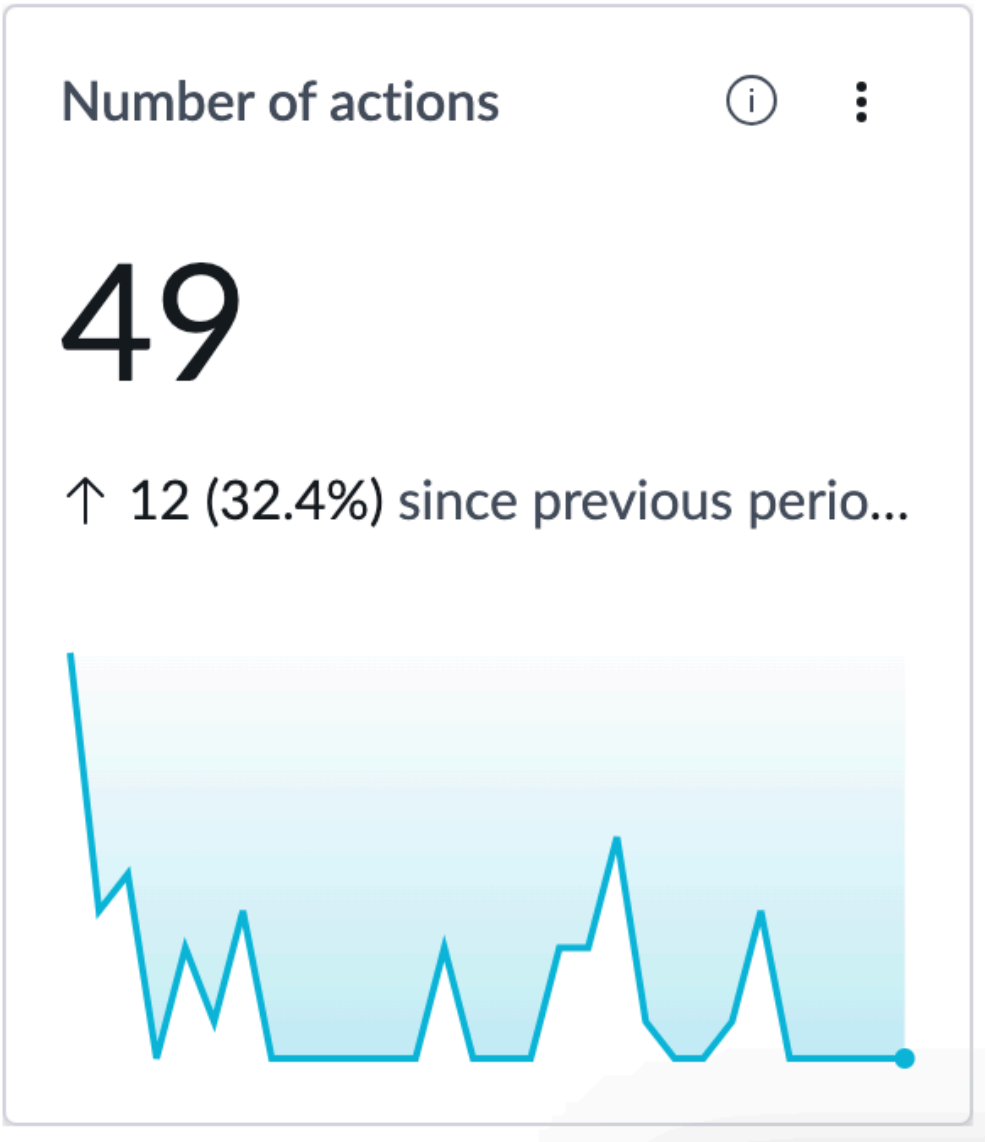
アクションの数

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲、製品、およびスキルの Now Assist アクションの数が表示されます。スキルの 1 回限りの使用はアクションを表します。見出しの数字は、製品全体のスキル使用の規模を示す指標です。傾向ラインの比較では、前の期間からのアクション数の増減が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションインジケーターの数



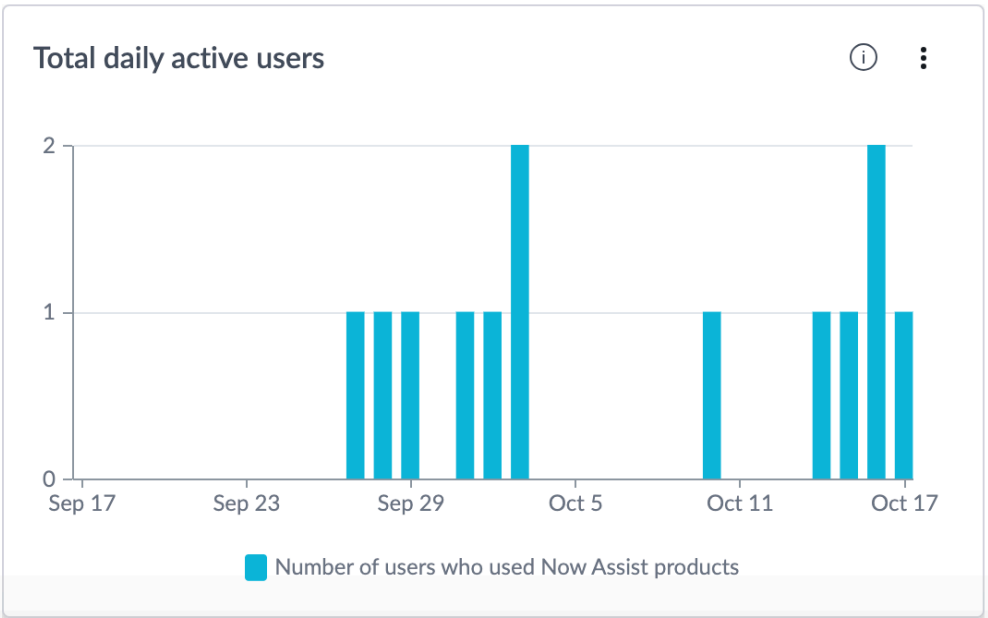
日次アクティブユーザー合計

ダッシュボードのこの領域には、1 つ以上のアクティブなスキルで Now Assist 製品を使用した日次アクティブユーザーの累積数が表示されます。フィルターの組み合わせを選択すると、スキルの使用パターンが表示されます。たとえば、先月のすべての製品でチャット要約スキルを使用したユーザーの数を視覚化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

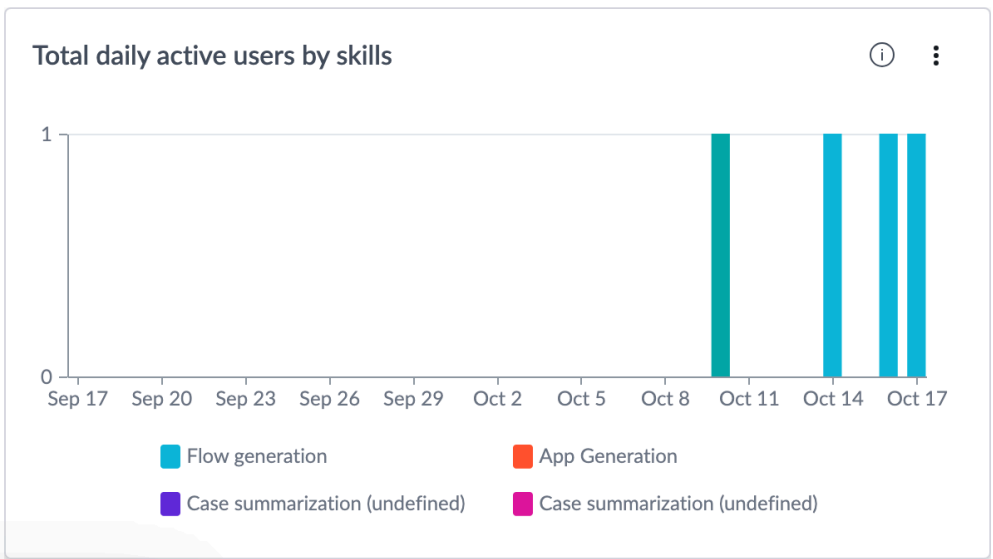
日次合計アクティブユーザーインジケーター



スキル別の日次アクティブユーザーの合計

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内に Now Assist スキルを使用した日次アクティブユーザーの数が表示されます。ビジュアル化で日付にカーソルを合わせると、ポップオーバーにすべてのアクティブなスキルと各スキルに対するユーザー数が表示されます。フィルターの組み合わせを選択して、ユーザーアクティビティのパターンを可視化します。

スキルインジケーター別の日次アクティブユーザーの合計



スキルの詳細

スキルの詳細ダッシュボードページを使用して、スキルの使用状況とパフォーマンスインジケーターを表示します。

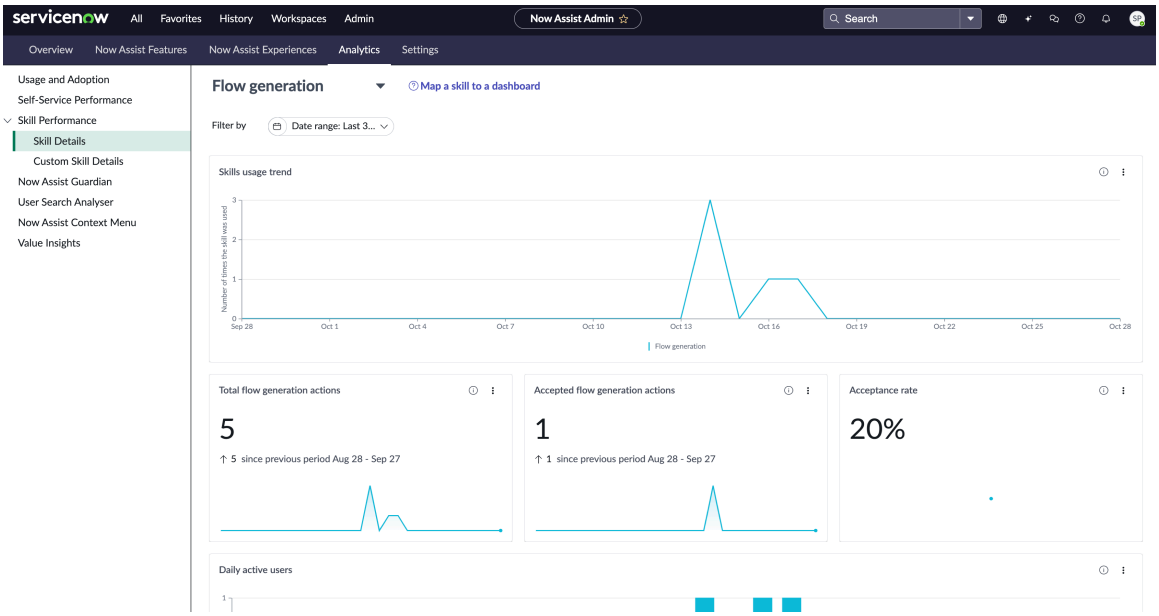
スキルの詳細ダッシュボードページには、特定のスキルに関連するインジケーターが含まれています。インジケーターは、スキルの使用状況とパフォーマンスに関するインサイトを提供します。ドロップダウンリストからスキルを選択してインジケーターを表示します。ドロップダウンには、アクティブなスキルと非アクティブなスキルの両方がリストされます。各スキルには、 ITSM、 HRなど、属するスキルファミリーを識別するサブタイトルがあります。日付範囲フィルターを使用して、特定

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の期間のスキルの使用状況とパフォーマンスを表示します。日付範囲フィルターの選択は、ページ上のすべての可視化に適用されます。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

スキルの詳細ダッシュボードページ



スキルの詳細ダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

- 選択した期間のスキルエンゲージメントの傾向を視覚化すると、スキル使用のパターンが明らかになります。
- 受け入れ率の可視化は、スキルがスキルを使用したユーザーの要件をどの程度満たしているかを示します。スキルの受け入れ率が高い場合、パフォーマンスが良好であることを示します。スキルユーザーの間での受け入れ率が低い場合は、スキルが要件を完全にまたは部分的に満たしていないことを示します。
- 選択した期間のアクションの可視化の数により、スキル実行のスケールが明らかになります。傾向ラインの比較には、前の期間からの増加または減少の傾向が表示されます。
- 日次アクティブユーザーの可視化では、日次アクティブユーザーのブレークダウンをスキル別に示すため、スキルのユーザーアクティビティを確認するのに役立ちます。

スキルの詳細インジケーター

スキルの詳細ページのインジケーターは、選択したスキルによって異なる場合があります。たとえば、要約スキルでは、各スキルが、スキルに関連するインジケーターのセットを含む独自のダッシュボードにマッピングされるため、生成スキルと比較してインジケーターのセットが異なる場合があります。

Now Assist アナリティクスダッシュボードには、開始するためのデフォルトのスキルとダッシュボードへのマッピングがいくつか用意されています。デフォルトのダッシュボードは、 Now Assist アナリティクス ビューアー [sn_na_analytics.viewer] ロールを持つユーザーに表示されます。独自のダッシュボードを作成してスキルにマッピングできます。カスタムダッシュボードの作成とスキルへのマッピングの詳細については、「 インラインエディターでダッシュボードを作成する 」と「 スキルをダッシュボードにマップする 」を参照してください。

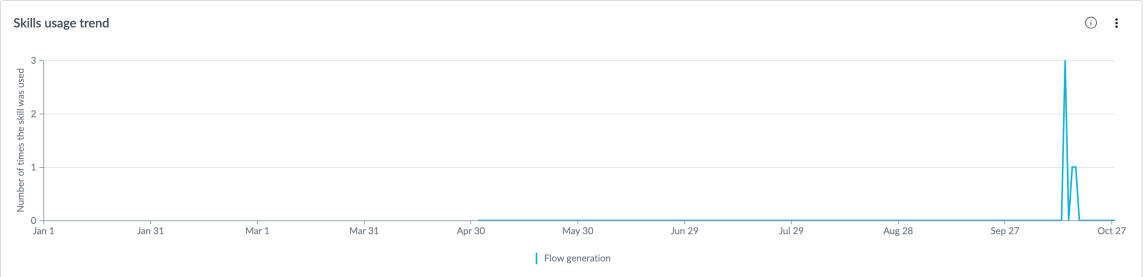
次のインジケーターは、フロー生成スキル用です。

スキル使用傾向インジケーター

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのこの領域には、選択したフィルターの傾向チャートでフロー生成スキルの使用状況が表示されます。可視化はインタラクティブです。傾向ラインにカーソルを合わせると、フロー生成スキルが使用された回数が表示されます。

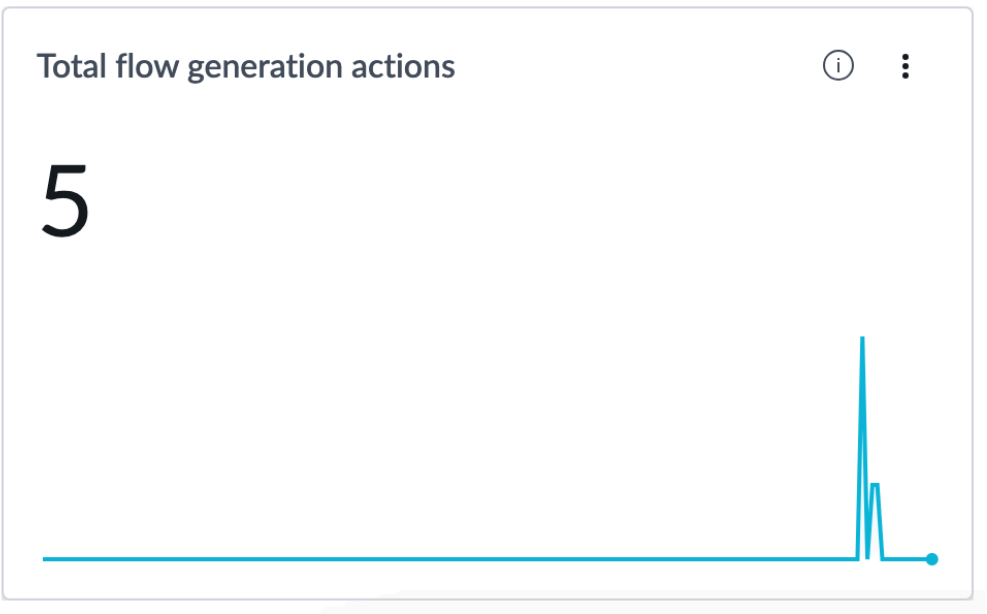
スキル使用傾向インジケーター



合計フロー生成アクションインジケーター

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲のフロー生成アクションの数が表示されます。フロー生成スキルの 1 回の用途は、アクションを表します。見出しの数字は、製品全体のフロー生成スキルの使用状況の規模を示す指標です。傾向ラインの比較では、前の期間からのアクション数の増減が表示されます。

合計フロー生成アクションインジケーター



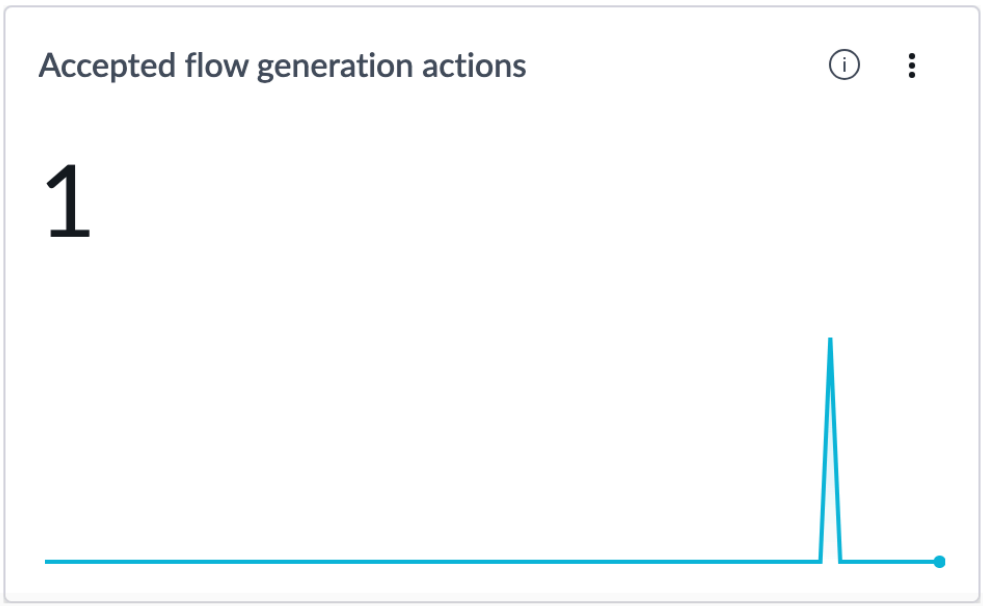
承認されたフロー生成アクションインジケーター

ダッシュボードのこの領域には、フロー生成アクションの数、つまり、ユーザーによって受け入れられたフロー生成スキルの実行数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

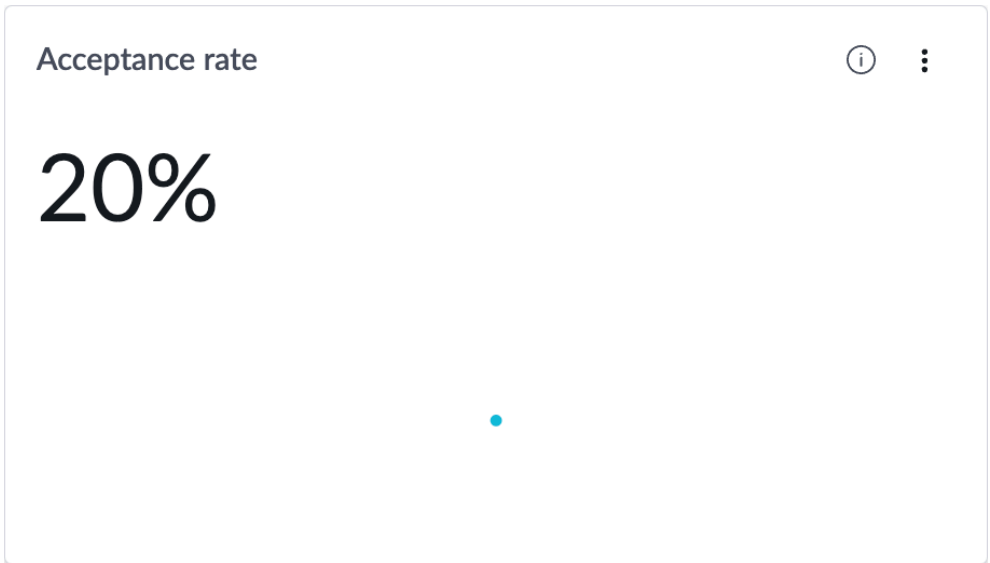
承認されたフロー生成アクションインジケーター



受け入れ率インジケーター

ダッシュボードのこの領域には、フローのユーザー受け入れに基づくフロー生成スキルの受け入れ率が表示されます。パーセンテージは、(受け入れられるフロー生成アクションの合計数/フロー生成アクションの合計数) x 100 の計算式を使用して計算されます。

受け入れ率インジケーター



カスタムスキルの詳細

カスタムスキルの詳細ダッシュボードページを使用して、カスタムスキルの使用状況とパフォーマンスインジケーターを表示します。

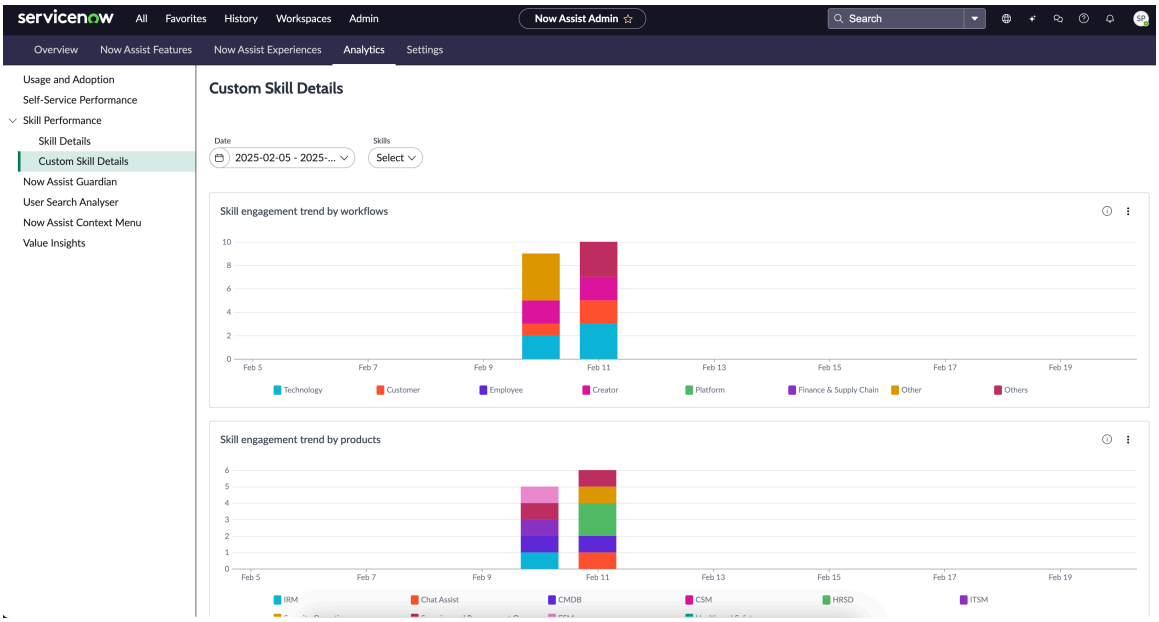
カスタムスキルの詳細ダッシュボードページには、カスタムスキルに関連するインジケーターが含まれています。インジケーターは、スキルの使用状況とパフォーマンスに関するインサイトを提供します。[スキル] ドロップダウンリストからスキルを選択して、インジケーターを表示します。ドロップダウンには、アクティブなスキルと非アクティブなスキルの両方がリストされます。各スキルには、ITSM、 HRなど、属するスキルファミリーを識別するサブタイトルがあります。日付範囲フィルターを使用して、特定の期間のスキルの使用状況とパフォーマンスを表示します。日付範囲フィルターの

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

選択は、ページ上のすべての可視化に適用されます。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

カスタムスキルの詳細ダッシュボードページ



カスタムスキルの詳細ダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

- 選択した期間のスキルエンゲージメントの傾向を可視化すると、ワークフロー、製品、機能全体のスキル使用パターンが明らかになります。
- 日次ユニークユーザー可視化では、選択したスキル別の日次ユニークユーザーのブレークダウンが表示され、ユーザーアクティビティとスキルへのエンゲージメントを確認するのに役立ちます。
- 受け入れ率の可視化は、スキルがスキルを使用したユーザーの要件をどの程度満たしているかを示します。スキルの受け入れ率が高い場合、パフォーマンスが良好であることを示します。スキルユーザーの間での受け入れ率が低い場合は、スキルが要件を完全にまたは部分的に満たしていないことを示します。
- スキルフィードバックの可視化では、選択した日付範囲内の各スキル実行に対するユーザーの応答に基づいてフィードバックが記録されたことが表示されます。

スキルの詳細インジケーター

[カスタムスキルの詳細] ページには、カスタムスキルに関するインサイトを提供する一般的なインジケーターのセットが含まれています。スキルファミリーが [その他] または [カテゴリ] が [カスタム] のスキルのみが、ページのスキルフィルターに表示されます。

次のインジケーターは、すべてのカスタムスキルに共通します。

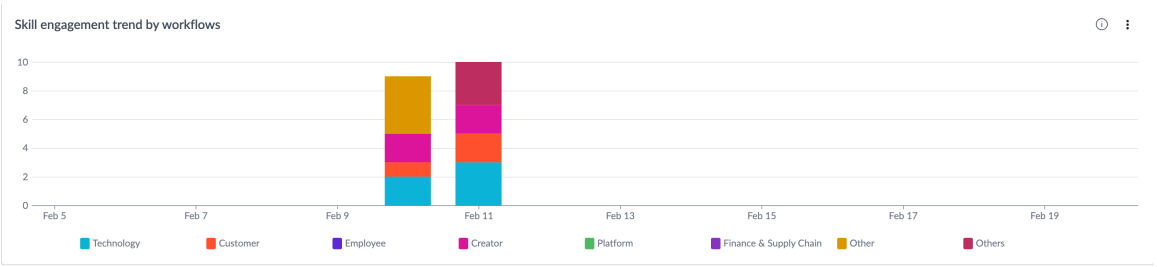
ワークフロー別のスキルエンゲージメントの傾向

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲のワークフロー全体のスキルの使用状況が棒グラフで表示されます。可視化はインタラクティブです。バーにカーソルを合わせると、各ワークフローでスキルが使用された回数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

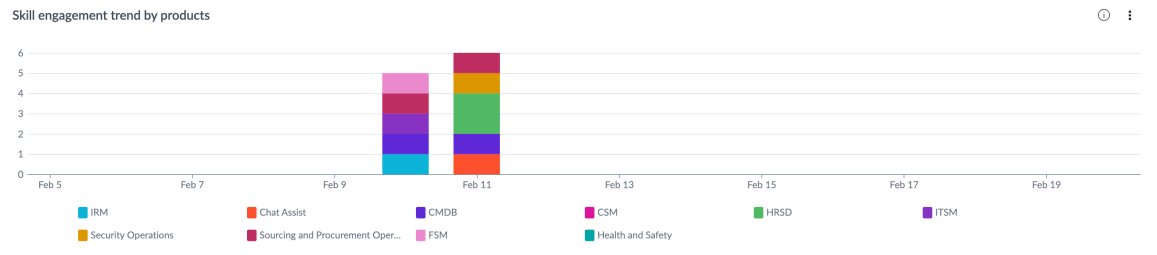
ワークフロー別のスキルエンゲージメント傾向インジケーター



製品別のスキルエンゲージメントの傾向

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲の Now Assist 製品全体のスキル使用状況が棒グラフで表示されます。可視化はインタラクティブです。バーにカーソルを合わせると、各製品でスキルが使用された回数が表示されます。

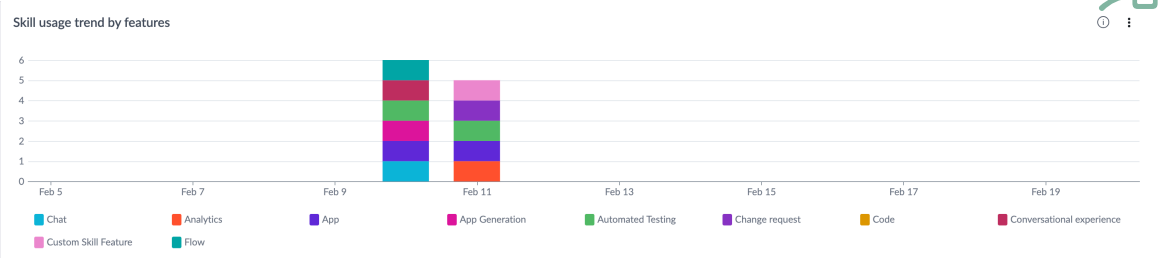
製品別のスキルエンゲージメント傾向インジケーター



機能別のスキルエンゲージメントの傾向

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲の Now Assist 機能全体のスキル使用状況が棒グラフで表示されます。可視化はインタラクティブです。バーにカーソルを合わせると、各機能でスキルが使用された回数が表示されます。

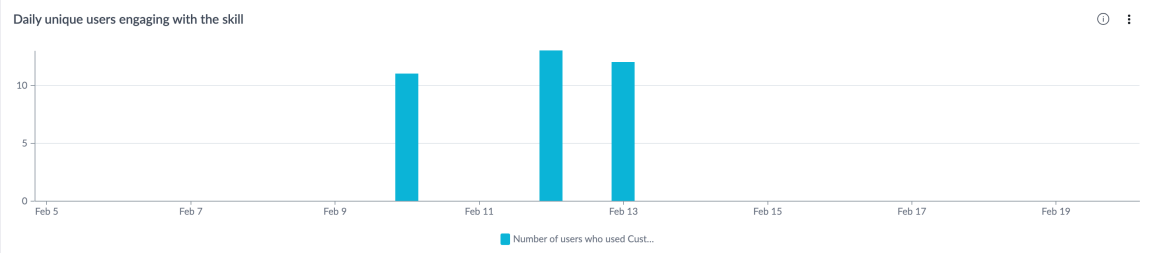
機能別のスキルエンゲージメント傾向インジケーター



スキルに関与する日次ユニークユーザー

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内にスキルを利用した 1 日あたりの一意のユーザーの数が表示されます。棒グラフには、一意のユーザー数の増減の傾向が表示されるため、スキルエンゲージメントが高い期間と低い期間を把握するのに役立ちます。

スキルインジケーターに関与する日次ユニークユーザー



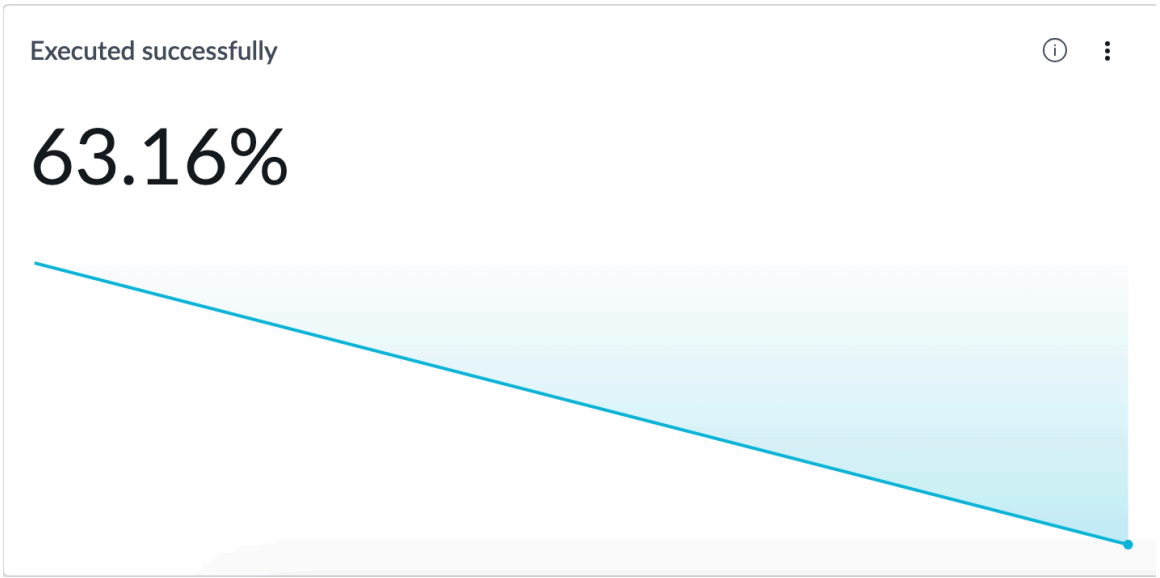
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正常に実行されました

ダッシュボードのこの領域には、ユーザーフィードバックに基づいて選択したスキルの受け入れ率が表示されます。パーセンテージは、(承認されたスキル実行の合計数/スキル実行の合計数) x 100 の計算式を使用して計算されます。

「正常に実行されました」インジケーター

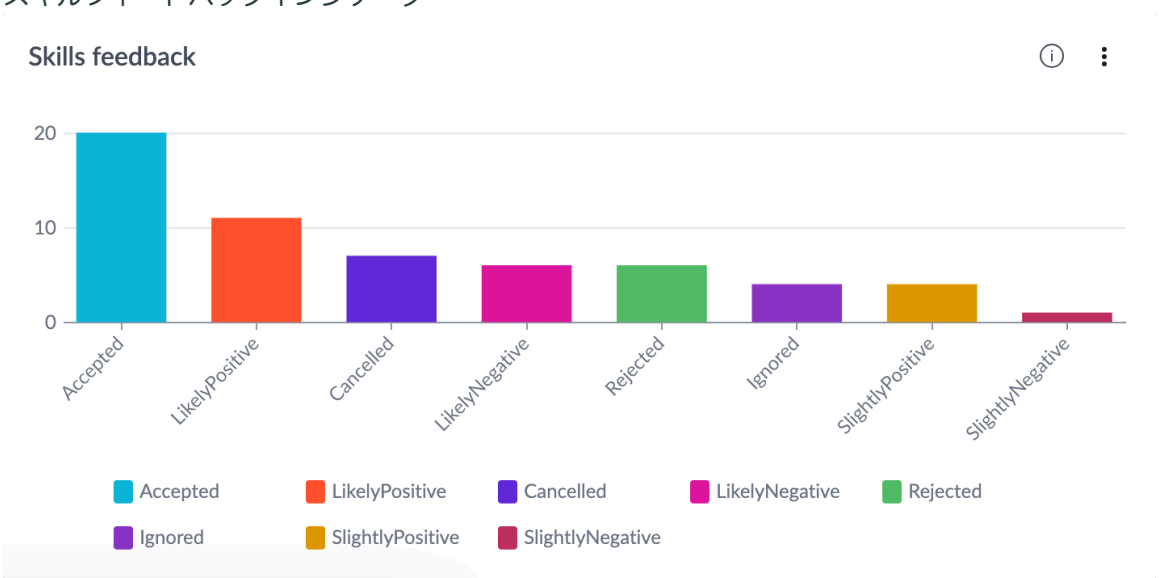


スキルフィードバック

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルの実行ごとに記録されたフィードバックが表示されます。ユーザーフィードバックは次のように分類されます。

- 承認済み (編集済みおよび未編集):ユーザーは、出力をさらに編集するかどうかにかかわらず、スキル出力を受け入れました。
- 却下:ユーザーがスキル出力を却下しました。
- キャンセル済み:ユーザーがスキルの実行をキャンセルしました。
- 無視:ユーザーはスキル出力に基づいてアクションを実行しませんでした。

スキルフィードバックインジケーター



自動翻訳

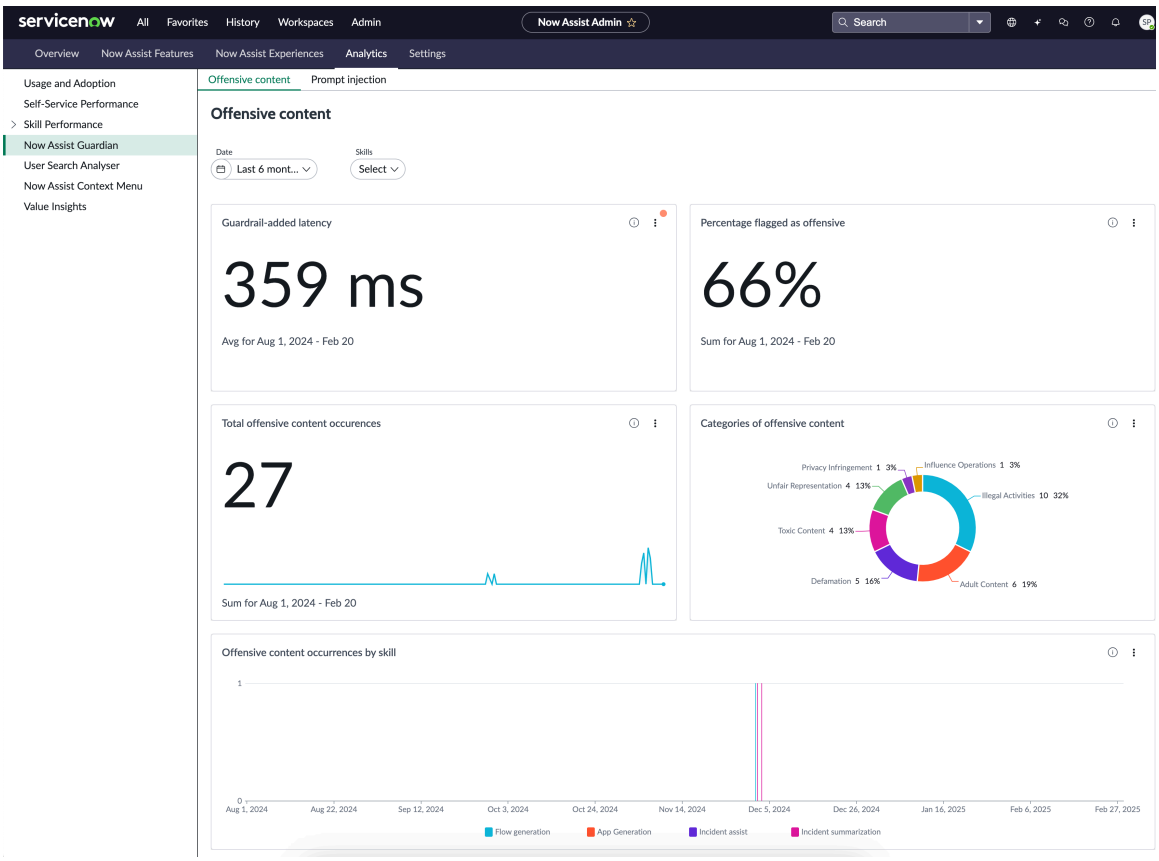
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist ガーディアン 解析学

Now Assist ガーディアンによって有効化されたガードレールのパフォーマンスを監視します。

Now Assist ガーディアンアナリティクスダッシュボードは、アドミニストレーターが大規模言語モデル (LLM) に送信された要求とその応答を追跡および分析する際に、不快なコンテンツの有効性を監視および評価し、プロンプトインジェクションガードレールを作成するのに役立ちます。

Now Assist ガーディアン ダッシュボードページ



Now Assist ガーディアンダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。

- アクティブな不快なコンテンツとプロンプトインジェクションガードレールの結果としての平均レイテンシ。レイテンシーが高いということは、期間中のガードレール活動の増加を意味する可能性があります。
- 不快なコンテンツとプロンプトインジェクションの発生回数と割合。
- 不快なコンテンツとプロンプトインジェクションの発生が検出されたスキル。

ダッシュボードのフィルターを適用して、日付範囲内のスキルのガードレールアクティビティを表示します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

不快なコンテンツインジケーター

ガードレールによって遅延が加わる

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲における、アクティブな不快なコンテンツガードレールの結果としての平均レイテンシが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

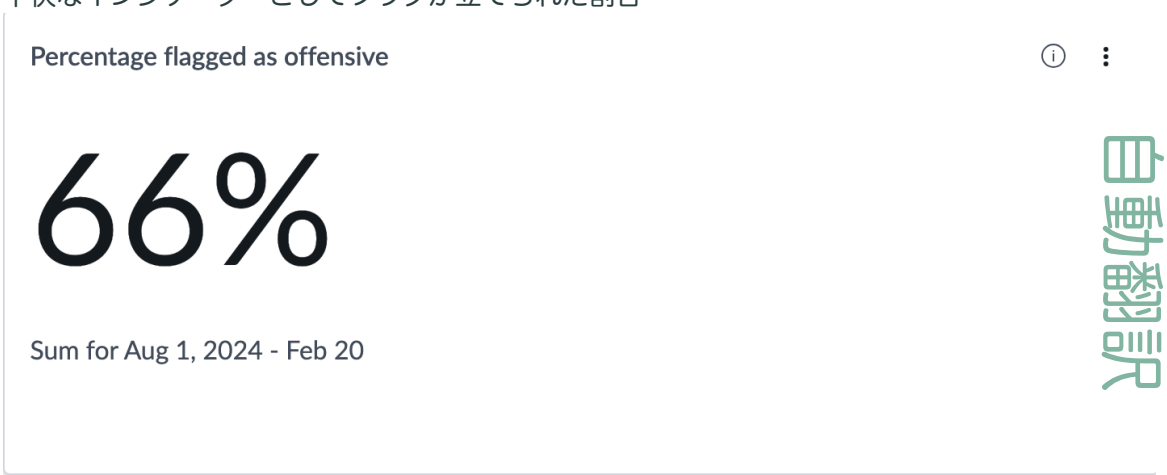
ガードレール追加された遅延インジケーター



不快としてフラグが立てられた割合

ダッシュボードのこの領域には、不快なコンテンツとしてフラグが立てられた、LLM サービスとの間で送受信された要求と応答の割合が表示されます。

不快なインジケーターとしてフラグが立てられた割合



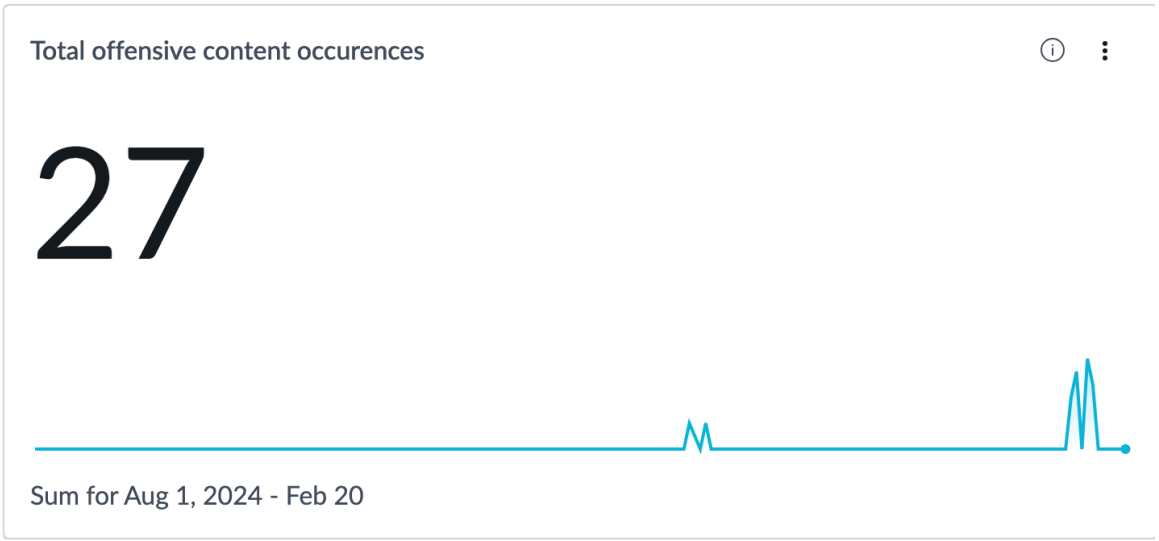
自動翻訳

不快なコンテンツの合計発生件数

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲で不快なコンテンツが発生した合計回数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

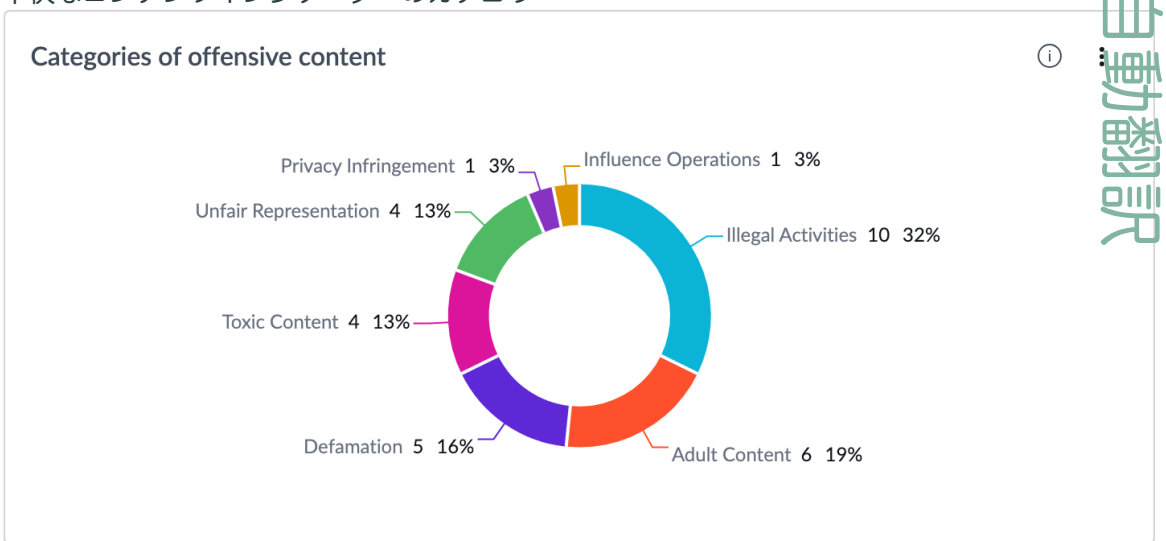
不快なコンテンツの発生インジケーターの合計数



不快なコンテンツのカテゴリ

ダッシュボードのこの領域には、不快なコンテンツの発生の内訳がカテゴリ別に表示されます。コンテンツが複数のカテゴリで攻撃的であると見なされた場合(有害で中傷的など)、その発生は両方のカテゴリに個別にカウントされます。不快なコンテンツのカテゴリの詳細については、「Now Assist Guardian」を参照してください。

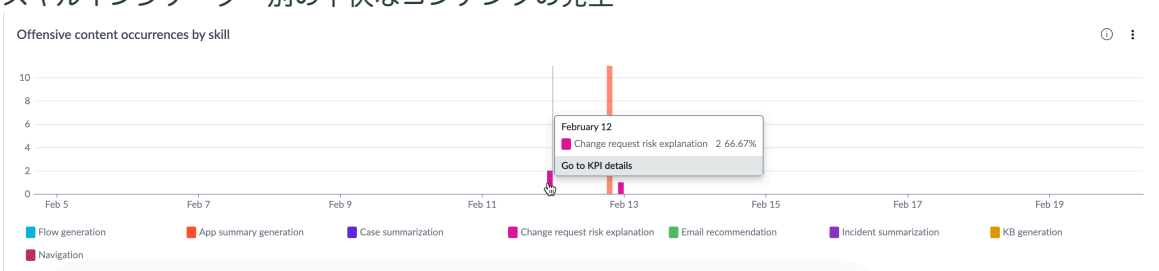
不快なコンテンツインジケーターのカテゴリ



スキル別の不快なコンテンツの発生件数

ダッシュボードのこの領域には、コンテンツが検出されたスキル別の経時的な不快なコンテンツの発生回数が表示されます。

スキルインジケーター別の不快なコンテンツの発生



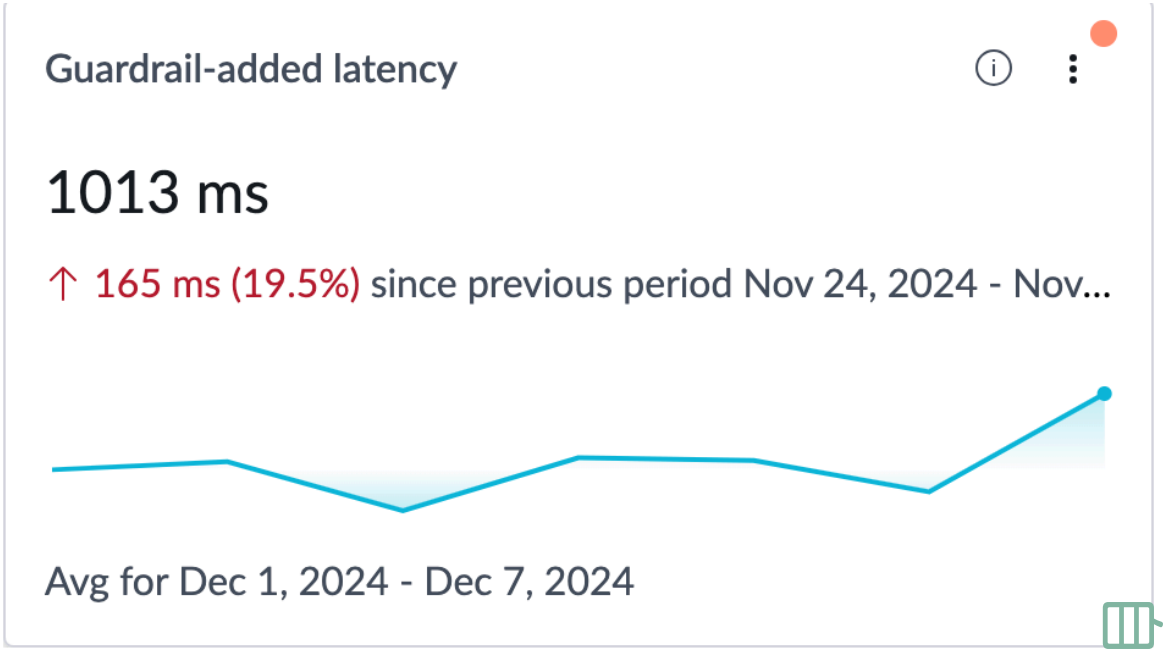
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロンプトインジェクションインジケーター

ガードレールによって遅延が加わる

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲のアクティブなプロンプトインジェクションガードレールの結果としての平均レイテンシが表示されます。

ガードレール追加された遅延インジケーター



プロンプトインジェクションとしてフラグが付けられた割合

ダッシュボードのこの領域には、不快なコンテンツとしてフラグが立てられた、LLMサービスとの間で送受信された要求と応答の割合が表示されます。

プロンプトインジェクションインジケーターとしてフラグが付けられた割合



プロンプトインジェクション合計発生件数

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのこの領域には、選択したスキルと日付範囲で不快なコンテンツが発生した合計回数が表示されます。

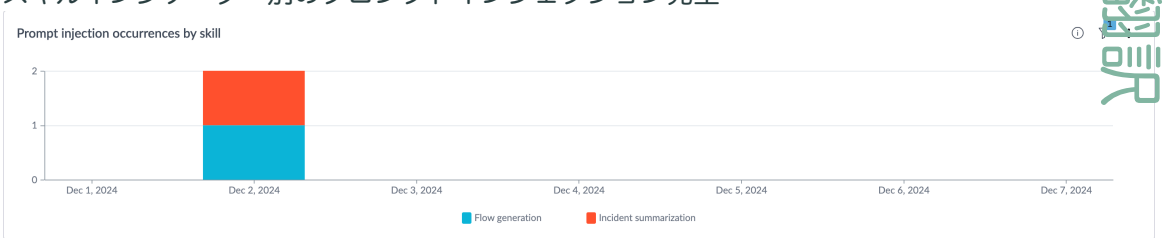
プロンプトインジェクション合計発生インジケーター



スキル別のプロンプトインジェクション発生件数

ダッシュボードのこの領域には、プロンプトインジェクションの試行が検出されたスキル別の経時的なプロンプトインジェクションの発生回数が表示されます。

スキルインジケーター別のプロンプトインジェクション発生



ユーザー検索アナライザー

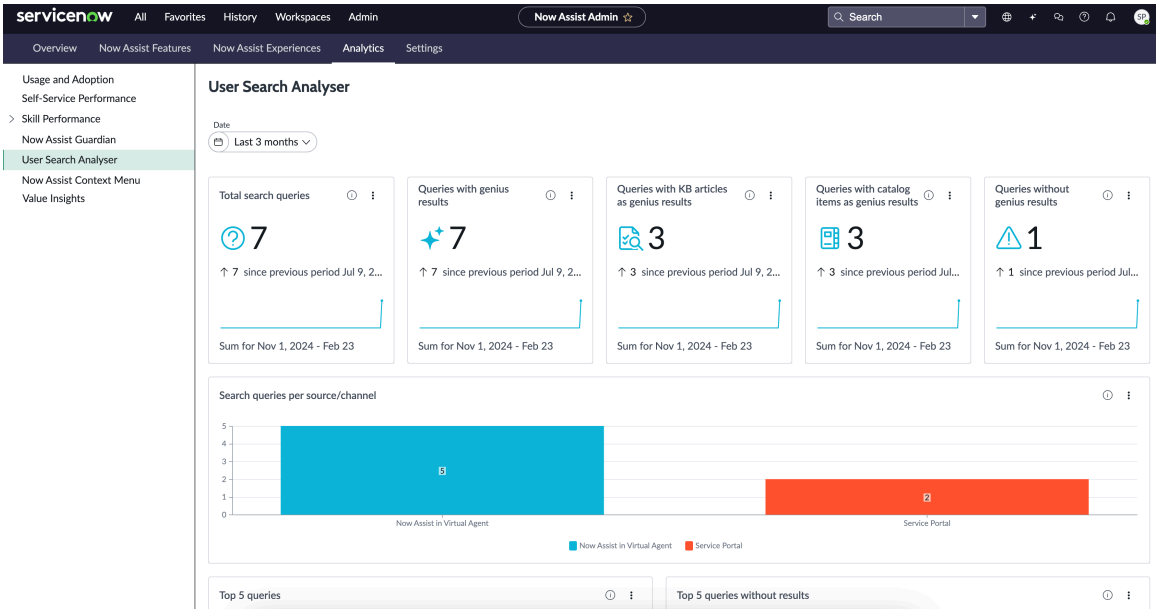
Now Assistが提供するユーザー検索クエリと結果に関するインサイトを取得します。

[ユーザー検索アナライザー] ダッシュボードページには、アドミンがセルフサービスエクスペリエンスの向上における検索の有効性を理解するのに役立つインジケーターが含まれています。ダッシュボードのインサイトを利用して、 ナレッジ アドミンは検索の ナレッジ コンテンツと可用性を向上させることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザー検索アナライザーのダッシュボードページ



ユーザー検索アナライザーダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

- Genius 結果として ナレッジベース 記事とカタログアイテムを生成した検索クエリ。
- 検索クエリのソース (仮想エージェントサービスポータル のNow Assistなど) 別の検索クエリの分布。
- Genius 結果を生成した、または生成しなかった最も一般的なクエリのリスト。

ユーザー検索アナライザーインジケーター

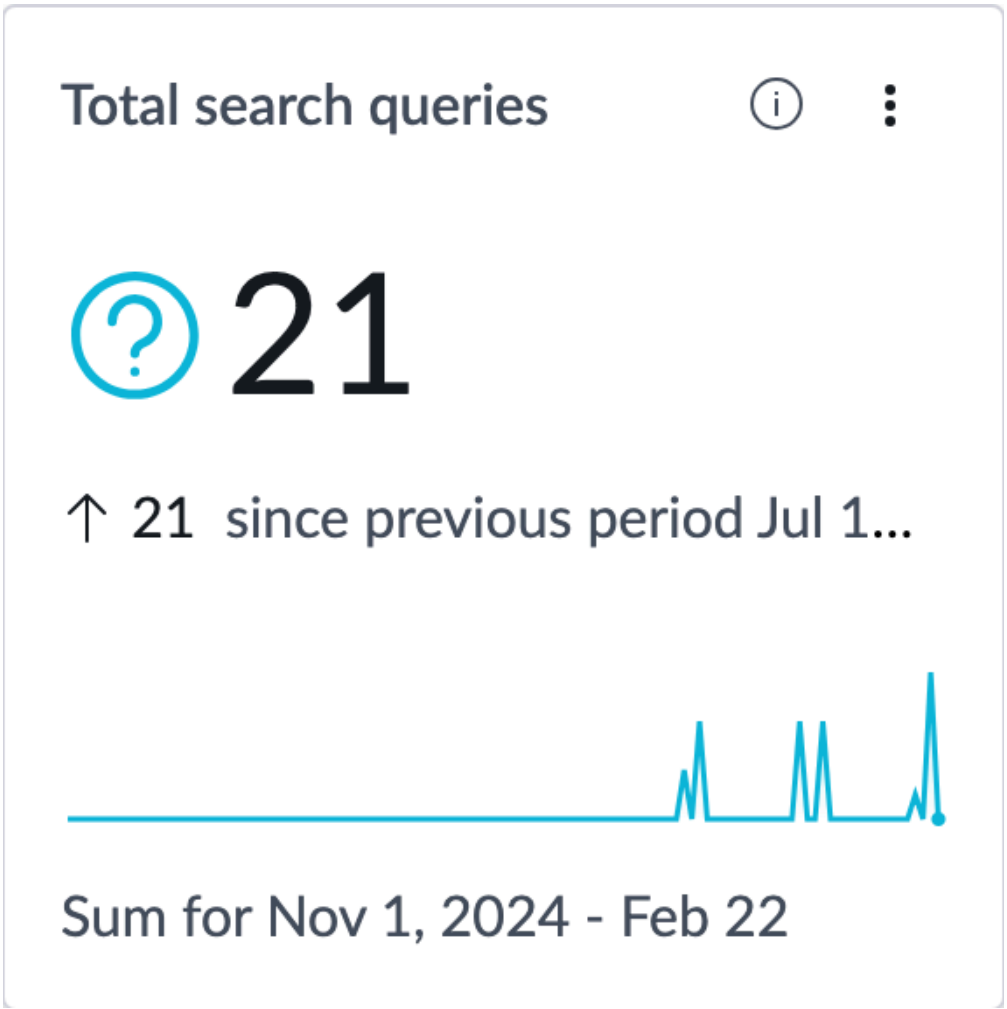
合計検索クエリ数

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist セルフサービスチャネルによって処理された検索クエリの合計数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計検索クエリ数インジケーター



Genius 結果を含むクエリ

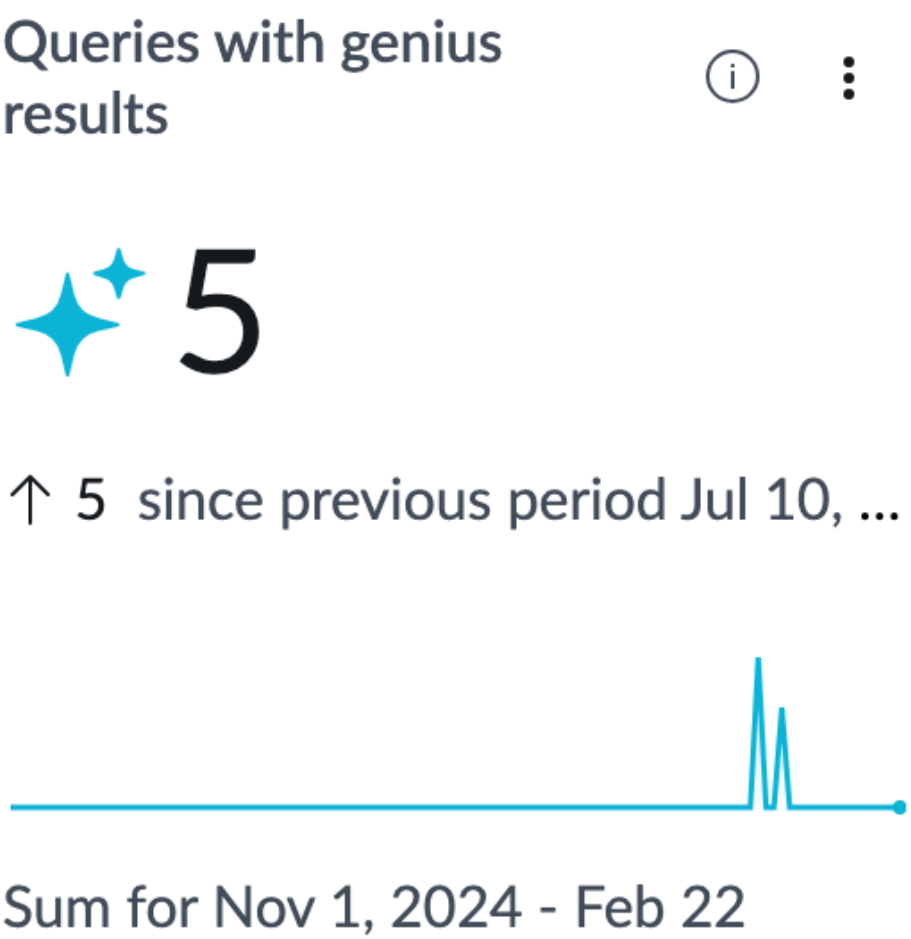
ダッシュボードのこの領域には、ユーザーが確認できるように、 Now Assist から返された Genius 結果の数が表示されます。

注: クエリには複数の Genius 結果を含めることができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Genius 結果インジケーターを使用したクエリ



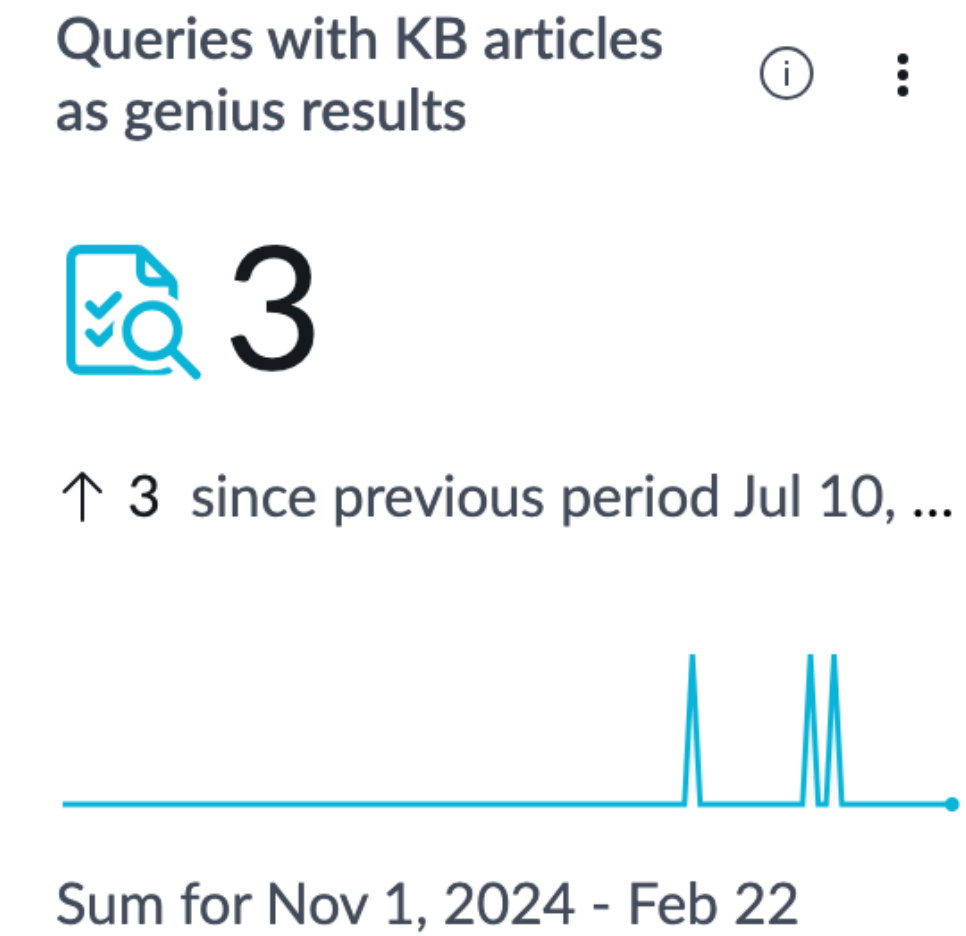
Genius 結果として ナレッジベース 記事を含むクエリ

ダッシュボードのこの領域には Now Assist ユーザーがレビューできるように Genius 結果として記事 ナレッジ 返された検索クエリの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Genius 結果インジケーターとして ナレッジベース 記事を含むクエリ



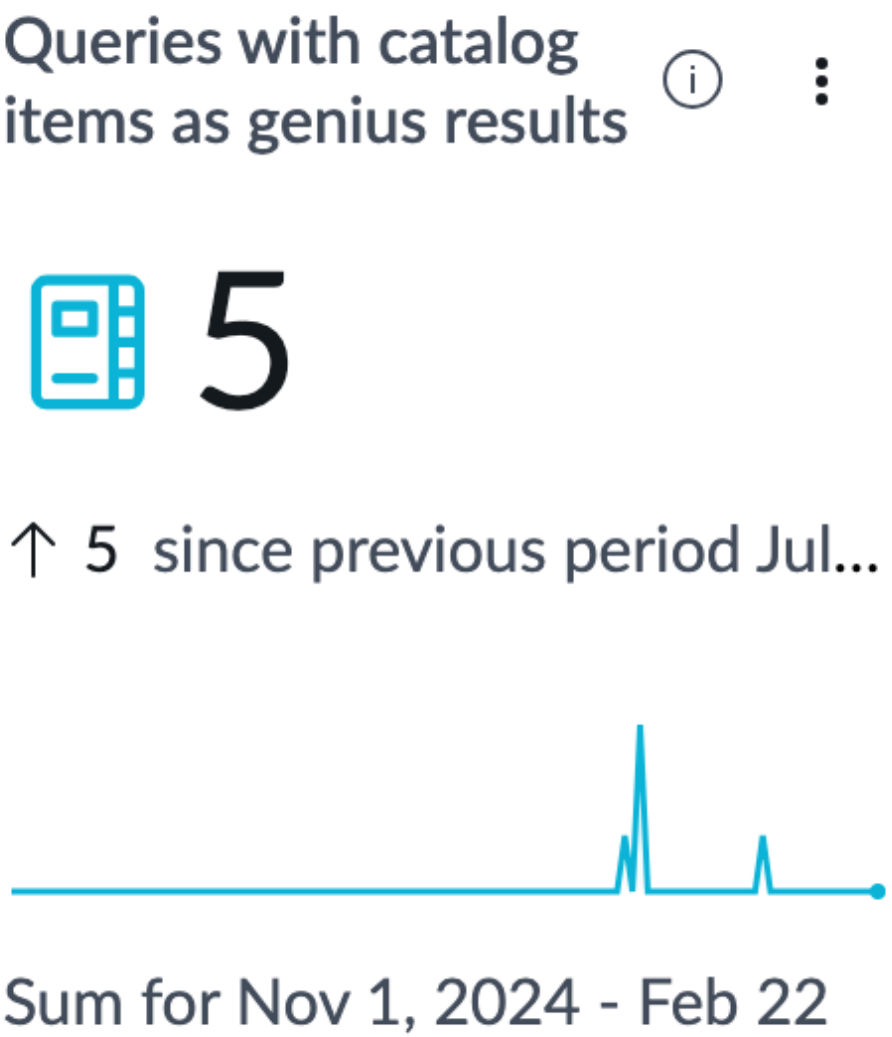
カタログアイテムを Genius 結果として含むクエリ

ダッシュボードのこの領域には、ユーザーが確認できるようにカタログアイテム Now Assist Genius 結果として返された検索クエリの数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Genius 結果インジケーターとしてカタログアイテムを使用したクエリ



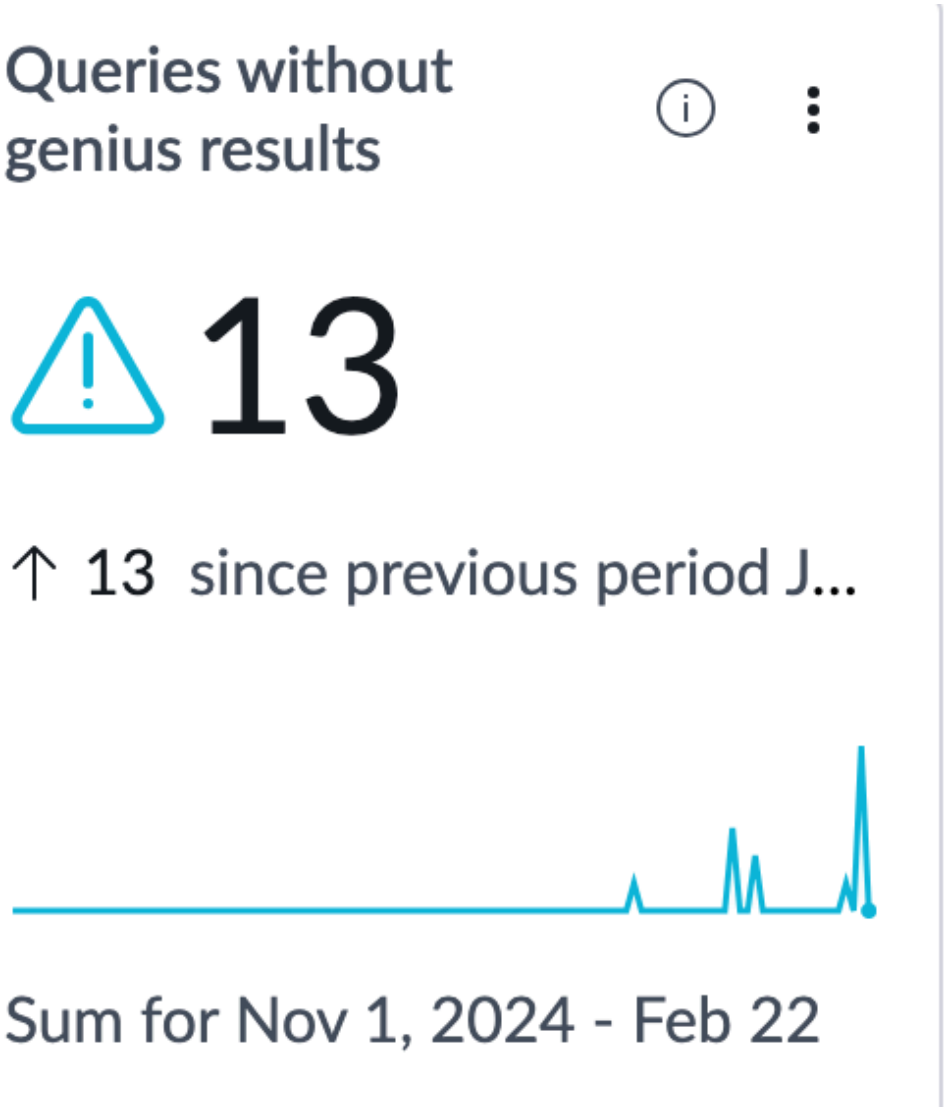
Genius 結果のないクエリ

ダッシュボードのこの領域には、ユーザーが確認できる Genius 結果応答 Now Assist 提供しなかった応答の数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

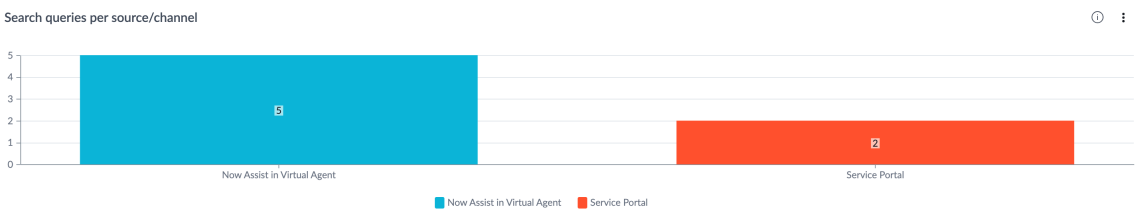
Genius 結果インジケーターのないクエリ



ソースまたはチャネルごとの検索クエリ

ダッシュボードのこの領域には、 AI 検索 ソースまたはチャネルのそれぞれによって処理された検索クエリの数が表示されます。

ソースまたはチャネルインジケーターごとの検索クエリ



上位 5 件のクエリ

ダッシュボードのこの領域には、それぞれのクエリ数に基づく上位 5 つの検索クエリが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

上位 **5** 件のクエリ

Top 5 queries

Search Term	Count
samsung s24	7
iphone	4
how to control body weight ?	3
what is spam ?	2
how to order new ipad?	1
Total	**21**

結果が得られなかった上位 5 つのクエリ

ダッシュボードのこの領域には、結果が得られなかった上位 5 つの検索クエリが表示されます。

結果が得られなかった上位 **5** つのクエリインジケーター

Top 5 queries without results

Search Term	Count
samsung s24	7
how to control body weight ?	3
KB for iphone order	1
outlook issue	1
what is a balance die	1
Total	**13**

記事が Genius 結果として ナレッジ される上位 5 つのクエリ

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist が Genius 結果として記事 ナレッジ 返した上位 5 つの検索クエリと、それぞれのクエリ数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

記事が **Genius** 結果インジケーターとして ナレッジ される上位 **5** つのクエリ

Top 5 queries resulting in knowledge articles as genius results

Search Term	Count
what is spam ?	2
how to order new ipad?	1
Total	**3**

カタログアイテムが Genius 結果になる上位 5 つのクエリ

ダッシュボードのこの領域には、カタログアイテム Now Assist Genius 結果として返された上位 5 つの検索クエリと、それぞれのクエリ数が表示されます。

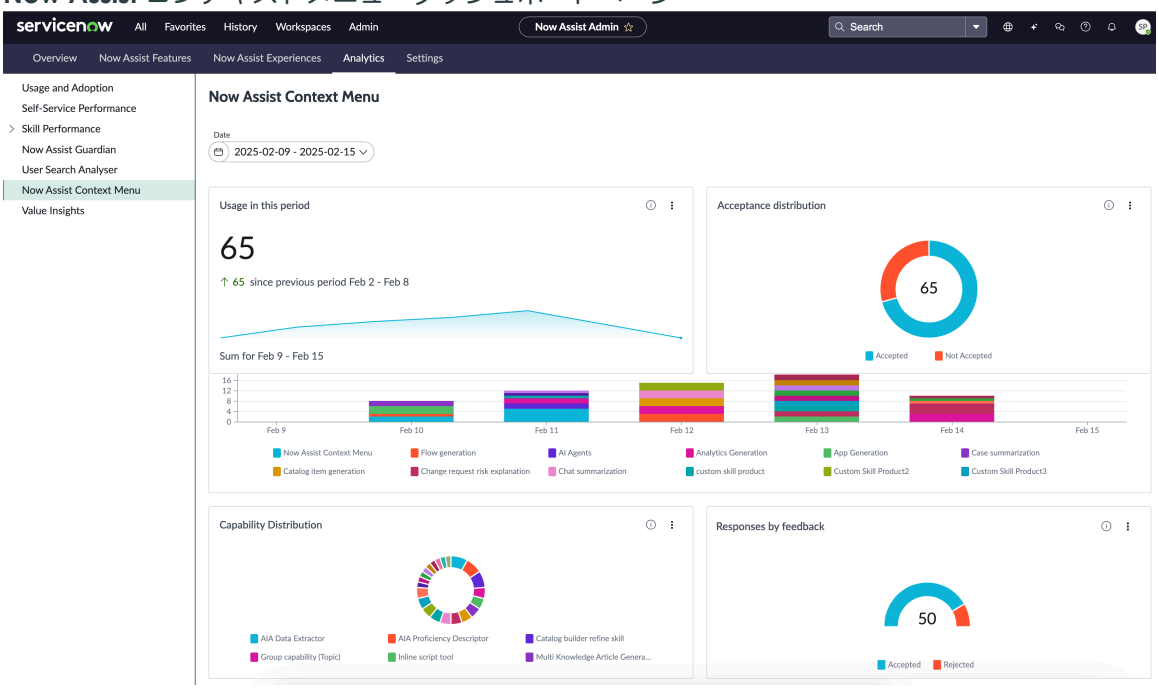
カタログアイテムが **Genius** 結果インジケーターになる上位 **5** つのクエリ

Now Assist コンテキストメニューアナリティクス

Now Assistコンテキストメニューの使用状況とパフォーマンスを監視します。

Now Assistコンテキストメニューダッシュボードは、アドミニストレーターがエージェントによるメールとチャット返信の要約、作成、編集を支援するコンテキストメニューアクションの有効性を評価するのに役立ちます。

Now Assist コンテキストメニューダッシュボードページ



Now Assistコンテキストメニューダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

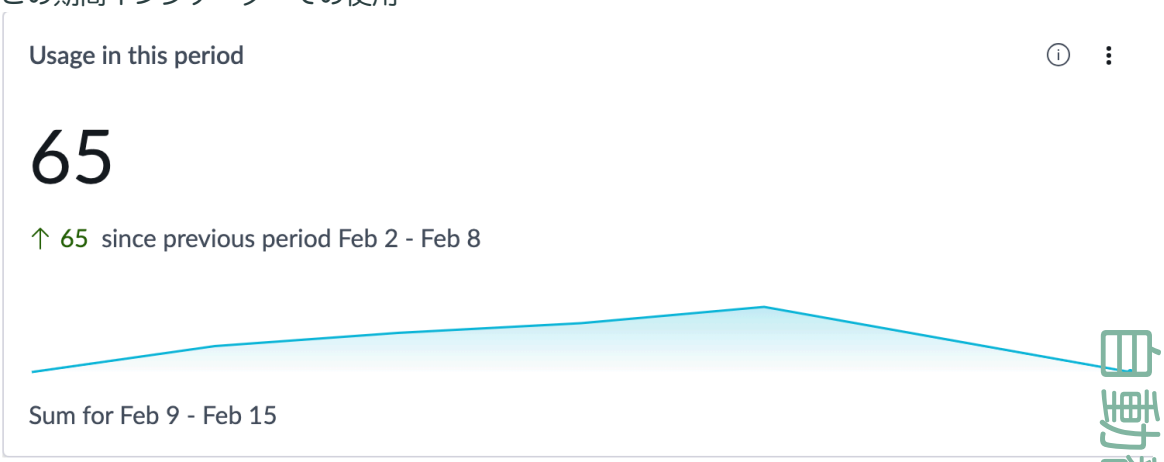
- 日付範囲内のコンテキストメニューアクションの数と分布。このインジケーターは、使用率のスケール、および最も使用されているアクションと最も使用されていないアクションを示します。
- コンテキストメニューアクションの受け入れとフィードバック。このインジケーターは、ユーザーによって承認または却下されたアクションを肯定的または否定的なフィードバックとともに表示します。
- 使用傾向グラフは、日付範囲内でのコンテキストメニューアクションの使用パターンを示します。

Now Assist コンテキストメニューインジケーター

この期間の使用率

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲で使用される Now Assist コンテキストメニューアクションの合計数が表示されます。

この期間インジケーターでの使用

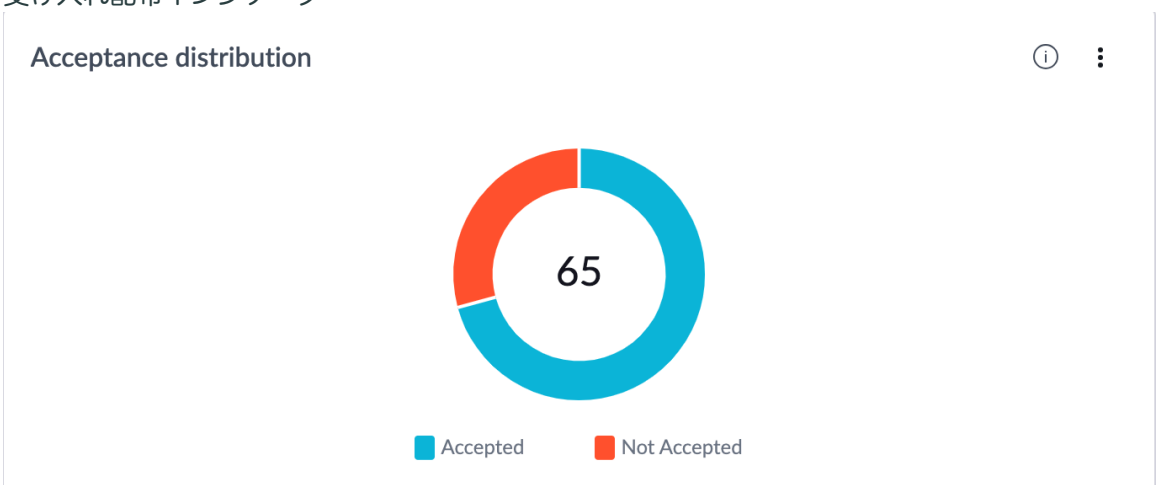


受け入れ配布

ダッシュボードのこの領域には、コンテキストメニューアクション Now Assist 受け入れごとの分布が表示されます。

- 承認済み:ユーザーがワークスペースにコンテキストメニュー応答を挿入しました。
- 未承認:ユーザーは、コンテキストメニュー応答を含むウィンドウまたはダイアログボックスを閉じました。

受け入れ配布インジケーター



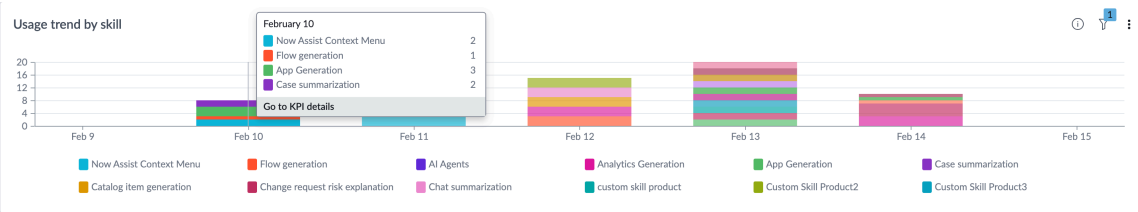
スキル別の使用率傾向

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内の Now Assist コンテキストメニューアクションの使用傾向が表示されます。

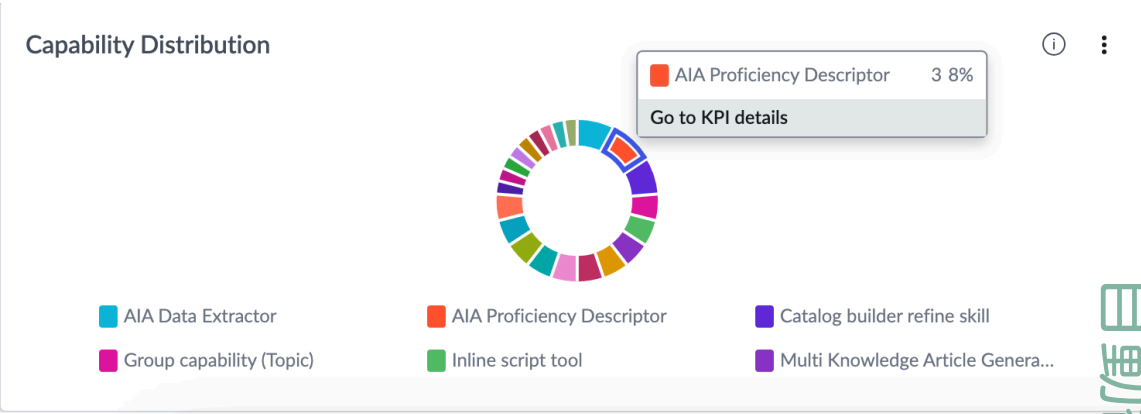
スキルインジケーター別の使用傾向



機能の分布

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内のさまざまな Now Assist コンテキストメニューアクションの使用状況分布が表示されます。

機能の分布インジケーター

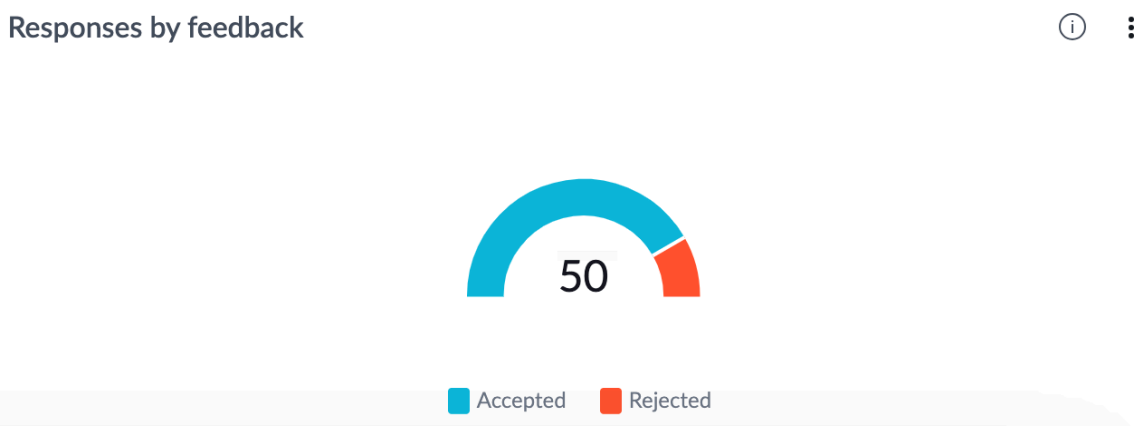


フィードバックによる応答

ダッシュボードのこの領域には、受信したユーザーフィードバック Now Assist 別のコンテキストメニュー応答のブレークダウンが表示されます。

- 承認済み:ユーザーがコンテキストメニューの応答に賛成しました。
- 却下:ユーザーはコンテキストメニューの応答に反対しました。

フィードバックインジケーターによる応答



Now Assist バリューインサイト

Now Assistスキルと機能から実現される価値についてのインサイトを得ます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

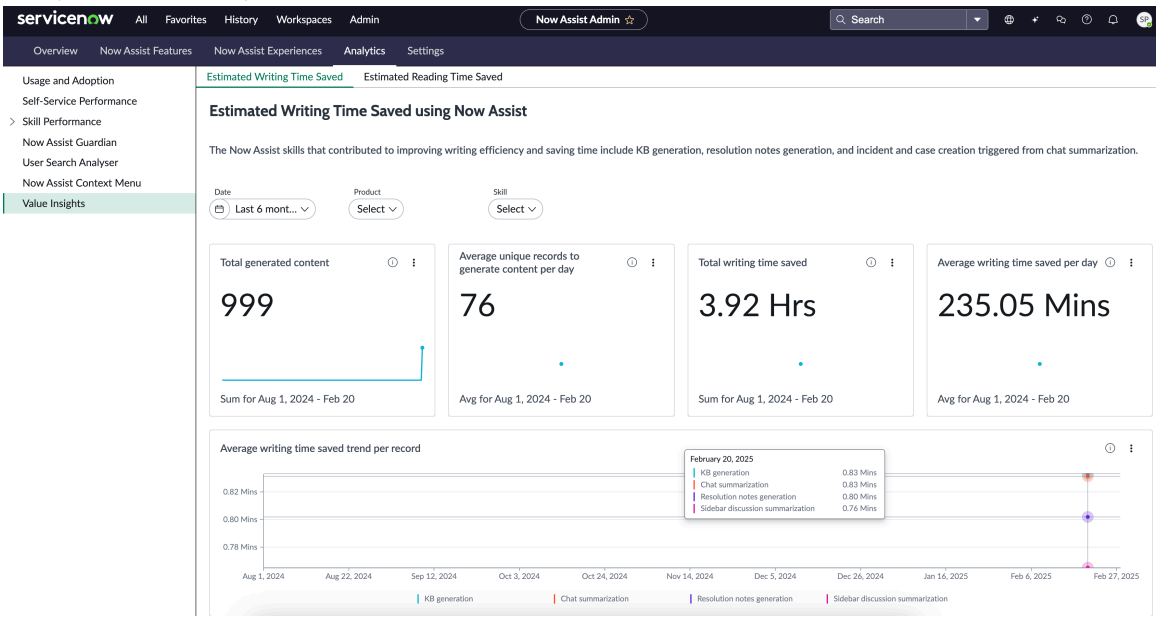
Now Assist価値インサイトダッシュボードページには、Now Assistスキルを使用した場合の推定生産性向上に関するインサイトが表示されます。生産性の向上は、節約された推定書き込み時間と節約された推定読み取り時間の 2 つのカテゴリに分類されます。呼び出し元レコードからのデータポイントとタイムスタンプがキャプチャされ、 Now Assistを使用してユーザーが節約した読み取りおよび書き込み時間の計算と近似を実行するために使用されます。各インジケーターの背後にあるデータと計算の詳細については、 Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細 を参照してください。

推定削減書き込み時間インジケーター

Now Assist 作成効率の向上と時間の節約に役立つスキルには、 ナレッジベース の生成、解決メモの生成、チャットの要約からトリガーされるインシデントとケースの作成などがあります。削減される執筆時間は、ユーザーが記事、解決メモ、インシデント、およびケースの詳細の作成に費やす必要があったであろう推定 ナレッジ 時間です。

注: 節約できる推定書き込み時間の計算には、(LLM によって生成された応答の単語数)/(書き込み速度) の計算式が使用されます。たとえば、LLM 応答によって生成された解決メモに 180 語がある場合、節約される推定書き込み時間は 180/40 (4.5 分) です。計算は、LLM で生成された応答全体がユーザーによって受け入れられることを前提としています。計算で考慮される書き込み速度は、書き込み速度の業界平均 (40 ワード/分) に基づいています。要件に従って値を設定するには、 *sn_na_analytics.wts.rate* という名前のシステムプロパティを追加し、それに応じて値を設定します。システムプロパティの追加の詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

推定削減書き込み時間インジケーター



[推定削減書き込み時間] ダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。要件に従って、日付、製品、スキルのフィルターを適用します。

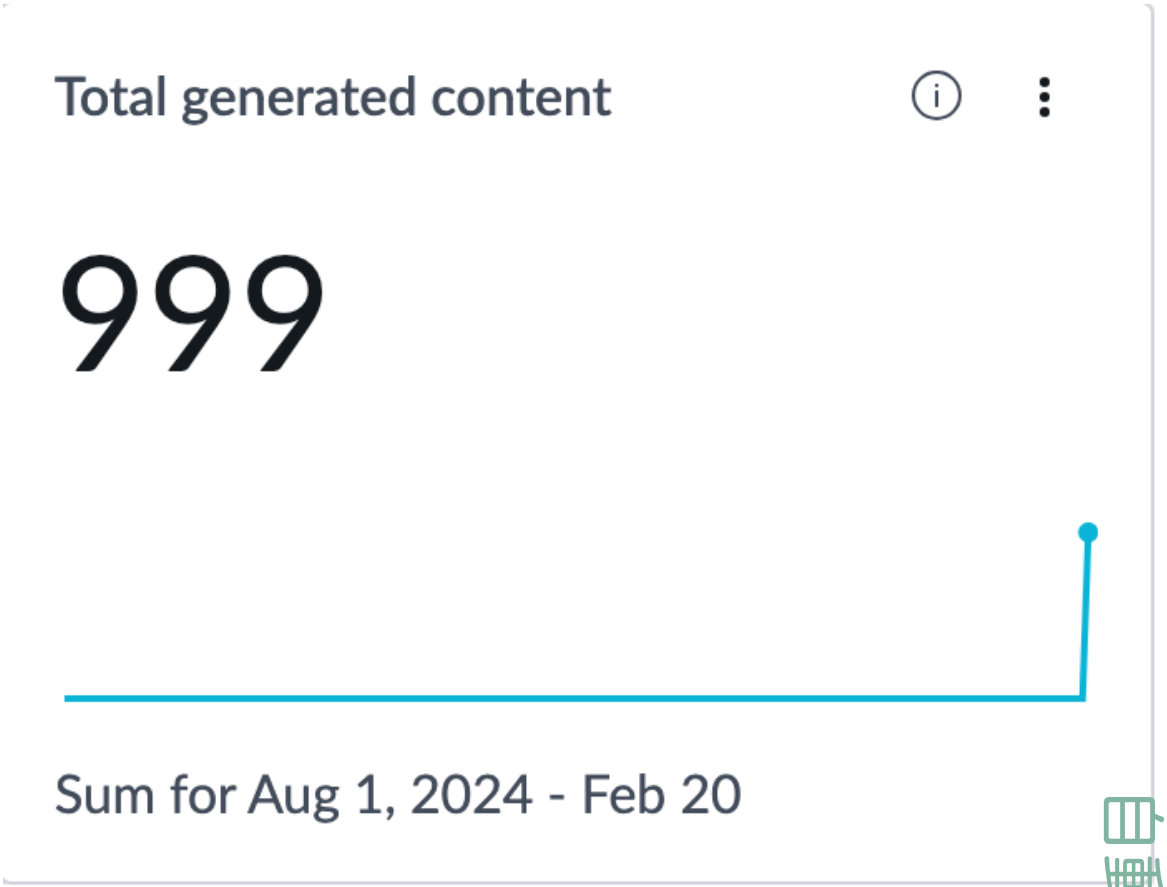
- Now Assistスキルを使用してコンテンツを生成することで節約された合計書き込み時間。
- Now Assistスキルを使用してコンテンツを生成することでレコードごとに節約できる平均時間は、レコードレベルでの生産性のインジケーターです。
- Now Assistスキルを使用してコンテンツを生成することでユーザーごとに節約できる平均時間は、個々のユーザーレベルでの生産性のインジケーターです。

生成されたコンテンツの合計

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist スキルを使用してコンテンツが生成され、書面での時間の節約に貢献した回数が表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成されたコンテンツの合計インジケーター



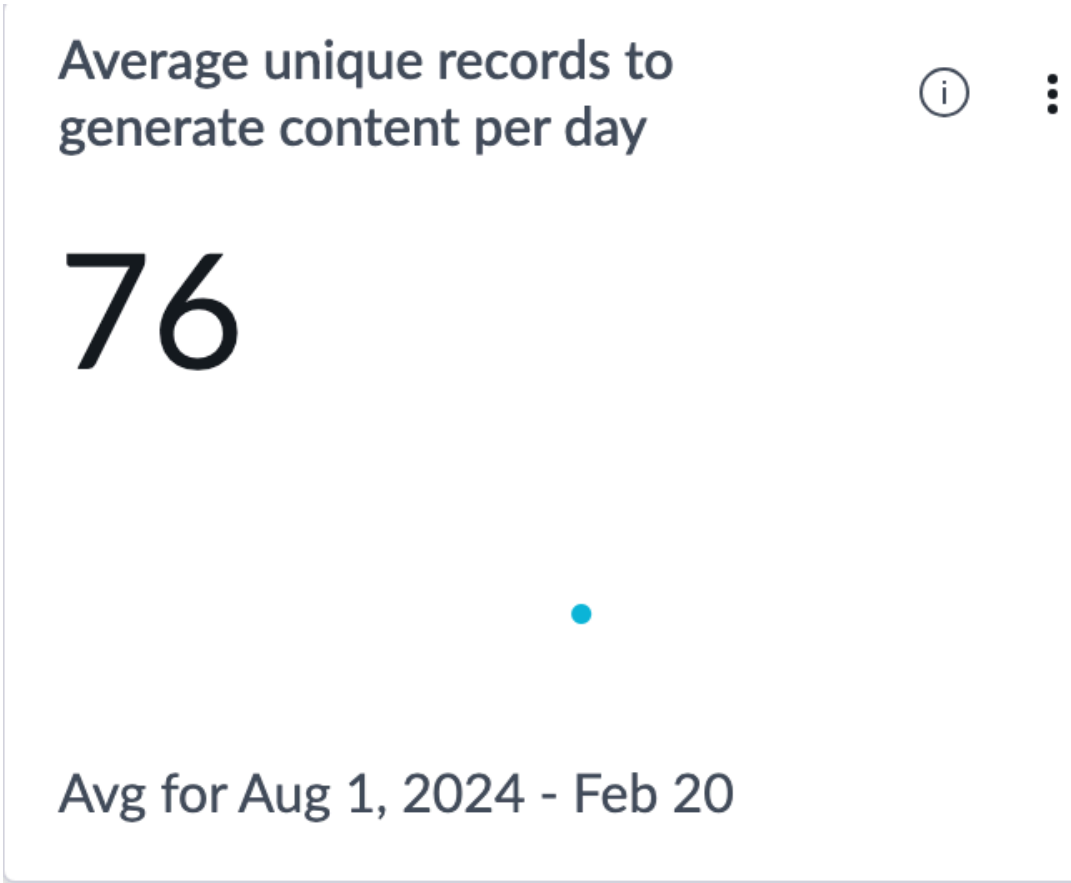
コンテンツを生成する 1 日あたりの一意の平均レコード数

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲内に、書面での時間の節約に貢献したコンテンツを生成するために Now Assist スキルによって使用された日次ユニークレコードの平均数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 日あたりのコンテンツを生成する一意の平均レコードインジケーター



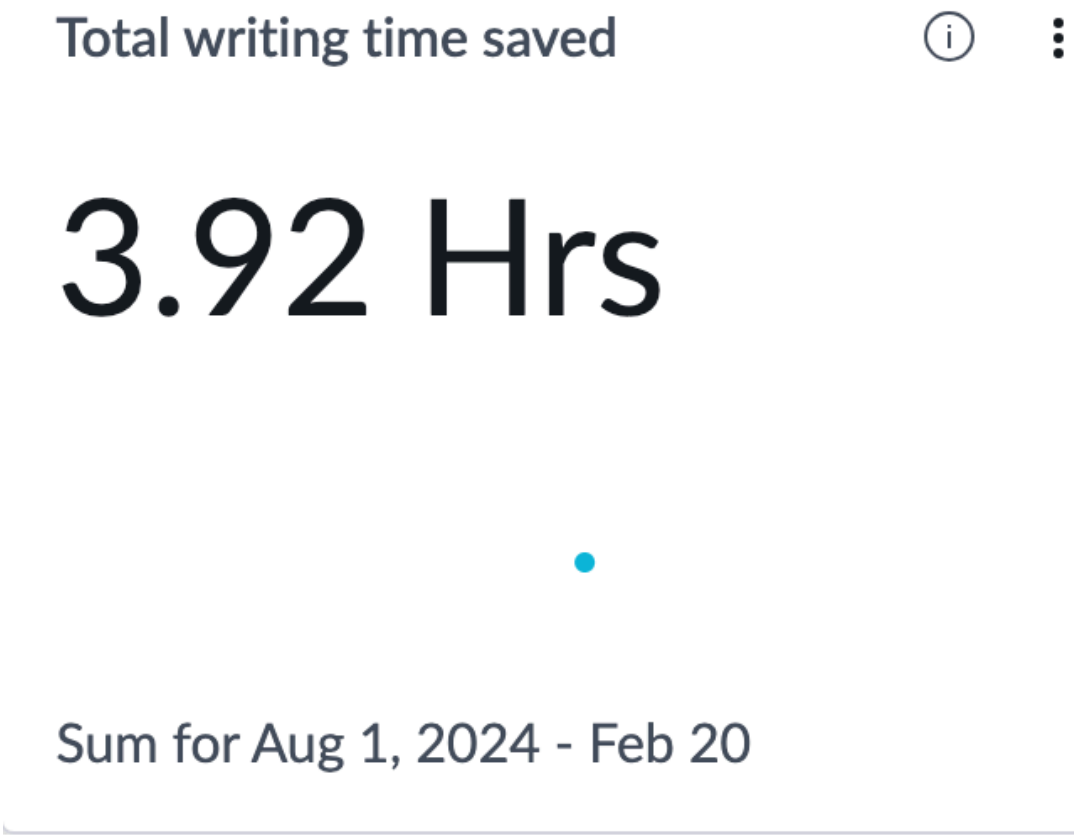
削減された合計書き込み時間

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist スキルを使用してコンテンツを生成することで削減された合計時間が表示され、効率的にコンテンツを執筆できます。計算は、書き込み時間の業界平均に基づいています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計書き込み時間短縮インジケーター



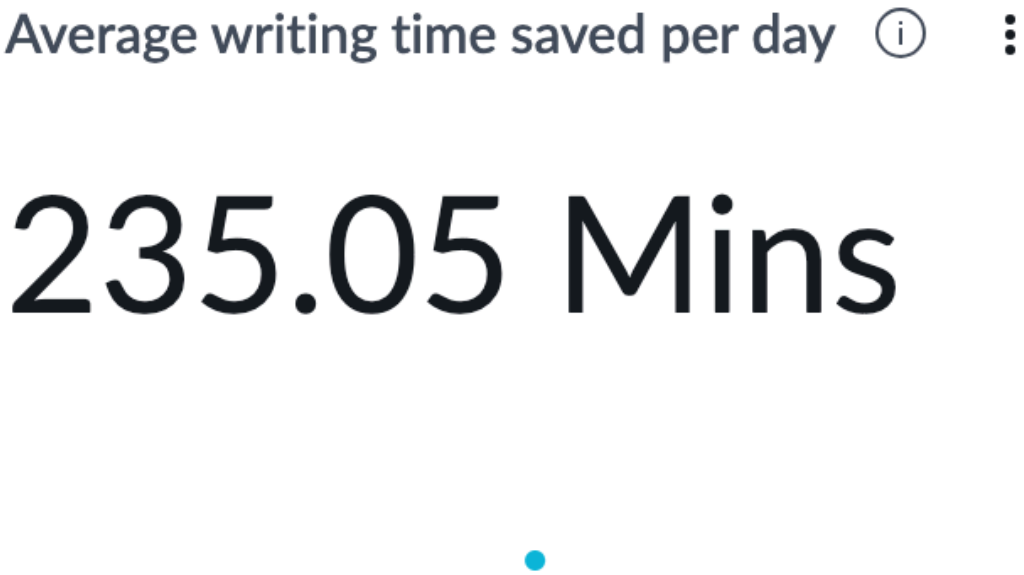
1 日あたりの平均削減可能書き込み時間

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist スキルを使用してコンテンツを効率的に作成することで 1 日あたりに節約された平均時間が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 日あたりの平均書き込み時間短縮インジケーター

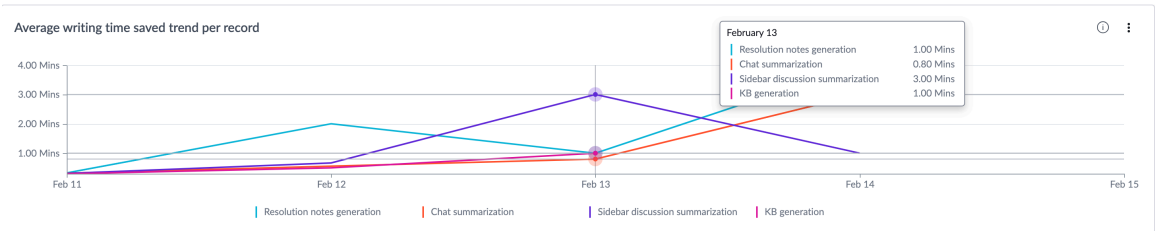


自動翻訳

レコードあたりの平均書き込み時間削減傾向

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist スキルを使用してコンテンツを生成することで、レコードあたりの平均時間 (分) の傾向グラフが表示され、効率的にコンテンツを記述できます。

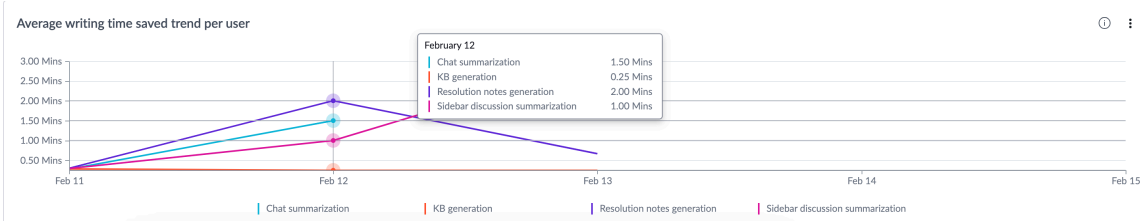
レコードあたりの平均書き込み時間削減傾向インジケーター



ユーザーごとの平均書き込み時間削減傾向

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist スキルを使用してコンテンツを生成することでユーザーごとに節約された平均時間 (分) の傾向グラフが表示され、効率的にコンテンツを記述できます。

ユーザーごとの平均書き込み時間削減傾向インジケーター



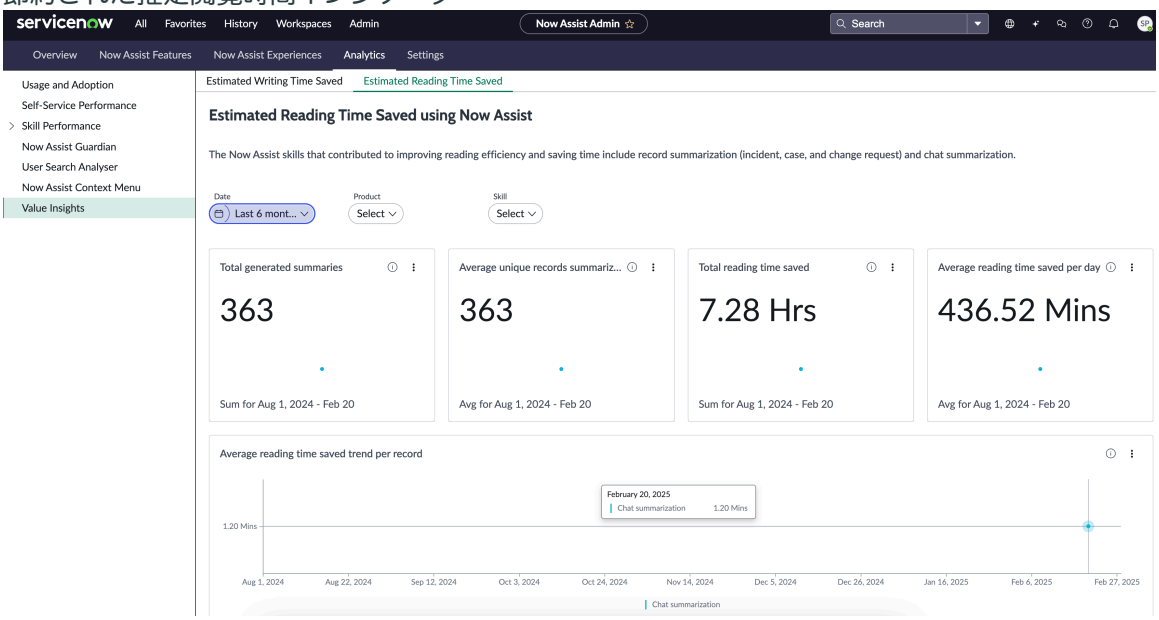
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

節約できる推定閲覧時間

読み取り効率の向上と時間の節約に貢献した Now Assist スキルには、レコードの要約 (インシデント、ケース、および変更要求) とチャットの要約が含まれます。

注: 節約できる推定閲覧時間の計算には、(レコードコンテンツの単語数 - LLM によって生成されたレコードのサマリーの単語数)/(読み取り率) の計算が使用されます。メタデータレコードの簡単な説明、説明、優先度、ステータス、およびアクティビティは、レコードのコンテンツを構成します。たとえば、ケースレコードのコンテンツに 420 語が含まれていて、LLM によって生成されたケースサマリーに 180 語が含まれている場合、節約される推定読み取り時間は (420-180)/240 (1 分) です。計算で考慮される読み取り率は、読み取り速度の業界平均 (240 ワード/分) に基づいています。要件に従って値を設定するには、*sn_na_analytics.rts.rate* という名前のシステムプロパティを追加し、それに応じて値を設定します。システムプロパティの追加の詳細については、「システムプロパティを追加する」を参照してください。

節約された推定閲覧時間インジケーター



[推定削減された閲覧時間] ダッシュボードページのインジケーターは、次のインサイトを提供します。

- Now Assistスキルを使用してコンテンツを要約することで節約された合計閲覧時間。
- Now Assistスキルを使用してコンテンツを要約することによるレコードあたりの平均短縮時間は、レコードレベルでの生産性のインジケーターです。
- Now Assistスキルを使用してコンテンツを要約することでユーザーごとに節約できる平均時間は、個々のユーザーレベルでの生産性のインジケーターです。

生成されたサマリーの合計

ダッシュボードのこの領域には、読解時間の節約に貢献した Now Assist スキルを使用して生成された要約の数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成された合計サマリーインジケーター



1 日あたりに要約された一意のレコードの平均

ダッシュボードのこの領域には、選択した日付範囲での読み取り時間の節約に貢献したコンテンツを要約するために Now Assist スキルで使用される日次一意のレコードの平均数が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 日あたりの平均一意のレコードのサマリーインジケーター



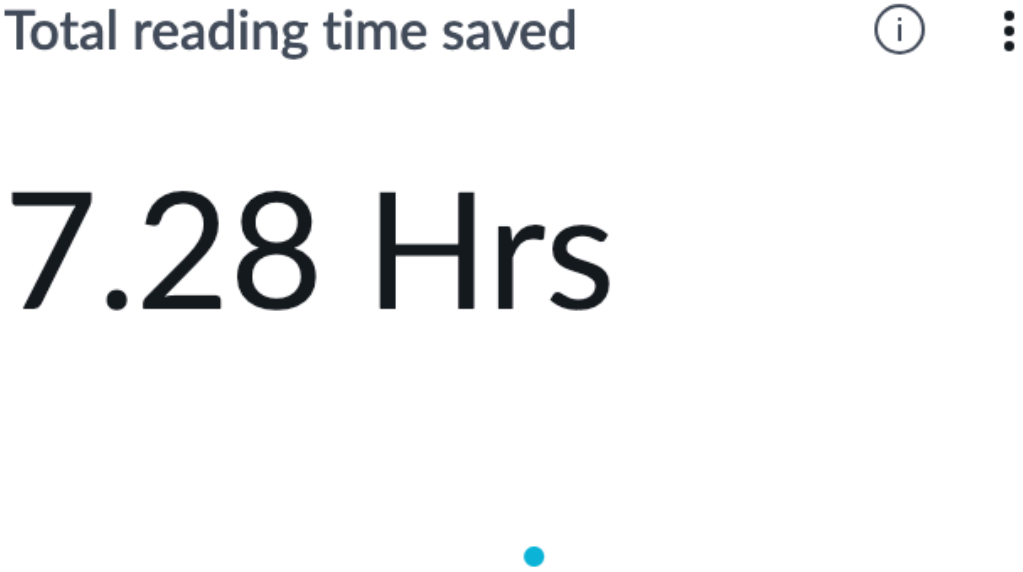
節約された合計閲覧時間

ダッシュボードのこの領域には、 Now Assist スキルを使用してコンテンツを要約することで節約された合計時間が表示され、読解効率が向上します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削減された合計読み取り時間インジケーター



1 日あたりの平均削減された読み取り時間

ダッシュボードのこの領域には、読解効率を高めるためにコンテンツを要約する Now Assist スキルを使用して 1 日あたりの平均削減時間が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1 日あたりの平均閲覧時間短縮インジケーター

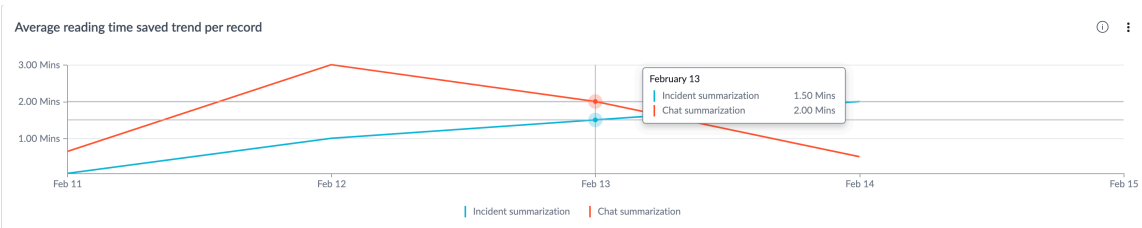


自動翻訳

レコードあたりの平均読み取り時間削減傾向

ダッシュボードのこの領域には、読解効率を高めるために Now Assist スキルを使用してコンテンツを要約することで、レコードごとに節約された平均時間 (分) の傾向グラフが表示されます。

レコードごとの平均読み取り時間削減傾向インジケーター



ユーザーごとの平均閲覧時間削減傾向

ダッシュボードのこの領域には、読解効率を高めるために Now Assist スキルを使用してコンテンツを要約することで、ユーザーごとに節約された平均時間 (分) の傾向グラフが表示されます。

ユーザーごとの平均読み取り時間削減傾向インジケーター

Now Assist アナリティクスの参照

Now Assist アナリティクス 参照トピックには、ユーザーロールに関する情報とダッシュボードのインジケーターの詳細が含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist アナリティクス ロール

Now Assist アナリティクス には、ダッシュボード機能を表示および管理するための特定のロールが必要です。

Now Assist アナリティクス ビューアー **[sn_na_analytics.viewer]**

Now Assist アナリティクスビューアーロールを持つユーザーは、Now Assist アドミン コンソールでNow Assist アナリティクスダッシュボードを表示でき、データソーステーブルへの読み取りアクセス権があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし

特別な考慮事項

なし。

Now Assist アナリティクス アドミン **[sn_na_analytics.admin]**

admin ロールを持つユーザーはNow Assist アナリティクスNow Assist アドミンコンソールでNow Assist アナリティクスダッシュボードを表示し、一部のデータソーステーブルの読み取りと書き込みを行うことができます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

Now Assist アナリティクス ビューアー [sn_na_analytics.viewer]。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

Now Assist アナリティクス ダッシュボードインジケーターの詳細

インジケーターの詳細は、ダッシュボードに可視化の形で表示されるインジケーターの背後にあるデータと計算を理解するのに役立ちます。

Now Assist アナリティクス インジケーターには、インジケータータイプ、データソース、計算、利用可能なブレークダウン、単位などの詳細が含まれています。

これらのインジケーターにアクセスするには、次に移動します: プラットフォームアナリティクス管理 > インジケーター. インジケーターにアクセスするには、Now Assist アナリティクスアドミン [sn_na_analytics_admin] ロールが必要です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらのインジケーターは、日次頻度でデータを収集します。データは、現在の日付より前の日付についてのみ使用できます。当日の結果を確認する場合は、翌日まで待つ必要があります。

使用状況とアダプションインジケーターの詳細

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
Now Assist アクションの合計数	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	すべてのアクションの数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
日次 Now Assist アクション	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	日次アクションの数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
Now Assist に関与している日次平均	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	日次ログインユーザーの平均	生成 AI 機能別、スキル構成別、スキル		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
ユニークユーザー数			ファミリー別、生成 AI スキル実行モダリティ別				
Now Assist と連携している日次ユニークユーザー	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	日次のユニークユーザーの数	生成 AI 機能別、スキル構成別、スキルファミリー別、生成 AI スキル実行モダリティ別		日次	# (数字)	0
スキルグループの分布	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	グループ化された日次スキル実行の数 生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、スキル構成別	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
ワークフロー別の日次使用量の比較	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	ワークフロー別にグループ化されたアク	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダ		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
			ションの数	リティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、スキル構成別、ワークフロー別				
スキルエンゲージメントの傾向	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	スキル別にグループ化されたアクションの数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
使用率が最も高い部門	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	ユーザー部門別にグループ化され 降順でソートされたアクションの数	部門別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
ユーザー部門別の Now Assist ア	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	ユーザー部門別にグループ化されたア	部門別、スキル構成別		日次		

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
クション比較			クションの数					
フィードバックの詳細	自動化	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	スキルファミリー別にグループ化されたアクションの数	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
	自動化	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	スキルファミリー別にグループ化されたフィードバックのあるアクションの数	フィードバック別、スキルファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
	計算式	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	(フィードバックのあるアクションの数/アクションの合計数) x スキルファミリーでグループ化された 100	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	%	2
	自動化	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	スキルファミリー別にグループ化されたフィードバック別が	スキルファミリー別、スキル構成別、フィードバック別		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
			承認されるアクションの数					
	計算式	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	(フィードバック別が受け入れられるアクションの数/フィードバックのあるアクションの合計数) x スキルファミリー別にグループ化された 100	スキル構成別、スキルファミリー別		日次	%	2
エラーの詳細	自動化	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	スキルファミリー別にグループ化されたアクションの数	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
	自動化	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	スキルファミリー別にグループ化されたエラーステータスのアクションの数	生成 AI ログメタデータステータス別、スキルファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
	計算式	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	(エラーステータスのアク	スキルファミリー別、ス		日次	%	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
		ションの数/生成 AI メタデータレコードの合計数) x スキルファミリーでグループ化された 100	キル構成別				

セルフサービスパフォーマンス指標の詳細

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
クエリの合計数	自動化	Now Assist アナリティクス回避イベント [sn_na_def_event]	クエリの数	回避ソース別、回避イベント結果別、回避イベント結果タイプ別、クエリ解決ステータス別、回避ログソース別		日次	# (数字)	0
クエリ応答の合計数	自動化	Now Assist アナリティクス回避イベントアクティビティ [sn_na_def_event_activity]	応答の数	回避イベントアクティビティフィードバック別、回避イベントアクティビティタイプ別、回避イベントアクティビティ方		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソースタイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
				向別、回避ソース別、回避ログソース別				
クエリ解決ステータス	自動化	Now Assist アナリティクス回避イベント [sn_na_def_event]	クエリ解決ステータスが解決済みであるクエリの数	回避ソース別、回避イベント結果別、回避イベント結果タイプ別、クエリ解決ステータス別、回避ログソース別		日次	# (数字)	0
解決率	計算式		(クエリ解決ステータスが解決済みの回避イベントの数/回避イベントの数)x100			日次	%	0
ユーザーが開始したイベント	自動化	Now Assist アナリティクス回避イベント [sn_na_def_event]	回避ソース別にグループ化されたクエリの数	回避ソース別、回避イベント結果別、回避イベント結果タイプ別、クエリ解決ステータス別、回避ログソース別		日次	# (数字)	0
機能別の成功した会話	自動化	Now Assist アナリティクス回避イベント [sn_na_def_event]	転送ソースでグループ化された、クエリ解決ステータスが解決済みになってい	回避ソース別、回避イベント結果別、回避イベント結果タイプ別、クエリ解		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
		るクエリの数	決ステータス別、回避ログソース別				

スキルパフォーマンスインジケーターの詳細

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
スキルエンゲージメントの傾向	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	スキル別にグループ化されたスキル実行の数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
アクションの数	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	すべてのスキル実行数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
日次アクティブユーザー合計	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	日次のユニークユーザーの数	生成 AI 機能別、スキル構成別、スキルファミリー別、生成 AI スキル実行モダリティ別		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
スキル別の日次アクティブユーザー合計	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	スキル構成別にグループ化された日次ユニークユーザー数	生成 AI 機能別、スキル構成別、スキルファミリー別、生成 AI スキル実行モダリティ別		日次	# (数字)	0

スキルの詳細インジケーターの詳細

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
スキルエンゲージメントの傾向	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	スキル構成別にグループ化されたスキル実行の数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
合計スキルアクション数	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	スキルの実行数	生成 AI 機能別、生成 AI スキル実行モダリティ別、スキルファミリー別、スキル構成別、ワークフロー別		日次	# (数字)	0
承認済みスキルアクション	自動化	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	フィードバックが受け入れられたスキル実行の数	フィードバック別、編集なしで承認された応答別、		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
			スキル構成別、スキルファミリー別				
受け入れ率	計算式	生成 AI ログメタデータ [sys_gen_ai_log_metadata]	(フィードバックが受け入れられたスキル実行の数/スキル実行の数)x100	スキル構成別		日次	%	0
日次アクティブユーザー	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	日次のユニークユーザーの数	生成 AI 機能別、スキル構成別、スキルファミリー別、生成 AI スキル実行モダリティ別		日次	# (数字)	0

カスタムスキルインジケーターの詳細

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
ワークフロー別のスキルエンゲージメントの傾向	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	ワークフロー別にグループ化されたカスタムスキルの実行数	カスタムスキル別(ワークフロータイプ)、カスタムスキル別(機能タイプ)、カスタムスキル別(製品タイプ)、カスタムスキル完了ステータス別、スキル構成別		日次		0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソースタイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
製品別のスキルエンゲージメントの傾向	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	製品別にグループ化されたカスタムスキルの実行数	カスタムスキル別(ワークフロータイプ)、カスタムスキル別(機能タイプ)、カスタムスキル別(製品タイプ)、カスタムスキル完了ステータス別、スキル構成別		日次		0
機能別のスキルエンゲージメントの傾向	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	機能別にグループ化されたカスタムスキルの実行数	カスタムスキル別(ワークフロータイプ)、カスタムスキル別(機能タイプ)、カスタムスキル別(製品タイプ)、カスタムスキル完了ステータス別、スキル構成別		日次		0
スキルに関与する日次ユニークユーザー	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	カスタムスキルを実行した一意のユーザーの数	スキル構成別		日次	# (数字)	0
正常に実行されました	計算式	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	(ステータスが完了のカスタムスキルの実行数/カス	スキル構成別		日次	%	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
		タムスキルの実行数)x100					
スキルフィードバック	自動化	生成 AI 使用ログ [sys_gen_ai_usage_log]	カウント	フィードバック別、スキル構成別		日次	# (数字)	0

Now Assist ガーディアン 不快なコンテンツガードレールインジケーターの詳細

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
ガードレールによって遅延が加わる	自動化	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	不快なコンテンツを評価するためにガードレールにかかった平均時間	スキル構成別		日次	ミリ秒	0
不快としてフラグが立てられた割合	計算式	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	(不快なコンテンツの発生回数/ガードレールが有効になった LLM コールの合計数)x100	スキル構成別		日次	%	0
不快なコンテンツの合計発生件数	自動化	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	不快なコンテンツの発生回数	生成 AI メトリクス値別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
不快なコンテンツのカテゴリ	自動化	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	カテゴリ別にグループ化された不快なコンテンツの発生回数	攻撃性タイプ別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
スキル別の不快な	自動化	生成 AI メト	スキル別にグルー	生成 AI メトリク		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
コンテンツの発生件数		リクス [sys_generative_ai_metric]	プ化されていない不快なコンテンツの発生回数	ス値別、スキル構成別				

Now Assist ガーディアン プロンプトインジェクションガードレールインジケーターの詳細

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
ガードレールによって遅延が加わる	自動化	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	ガードレールがプロンプトインジェクションを評価するのに要した平均時間	スキル構成別		日次	ミリ秒	0
プロンプトインジェクションとしてフラグが付けられた割合	計算式	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	(プロンプトインジェクションの発生回数/ガードレールが有効になった LLM コールの合計数)x100	スキル構成別		日次	%	0
プロンプトインジェクション合計発生件数	自動化	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	プロンプトインジェクションの発生回数	生成 AI メトリクス値別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
スキル別のプロンプトインジェクション発生件数	自動化	生成 AI メトリクス [sys_generative_ai_metric]	スキル別にグループ化されたプロンプトインジェク	生成 AI メトリクス値別、スキル構成別		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソースタイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
			ション発生回数					

ユーザー検索アナライザーインジケーターの詳細

インジケーター	インジケーターソースタイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
合計検索クエリ数	自動化	値 [sys_variable_value]	検索クエリの数	該当なし		日次	# (数字)	0
Genius 結果を含むクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	表示された Genius 結果の数	該当なし		日次	# (数字)	0
Genius 結果として KB 記事を含むクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	検索用語 ID が KB であるクエリの数	検索用語		日次	# (数字)	0
カタログアイテムを Genius 結果として含むクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	検索用語 ID がカタログであるクエリの数	検索用語		日次	# (数字)	0
Genius 結果のないクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	検索用語 ID が「結果なし」のクエリの数	検索用語		日次	# (数字)	0
ソース/チャネルごとの検索クエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	ソース別にグループ化されたクエリの数	回避ソース別		日次	# (数字)	0
上位 5 件のクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	クエリの数	検索用語		日次	# (数字)	0
結果が得られなかった上位 5 つのクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	検索用語 ID が結果なしのクエリの数	検索用語		日次	# (数字)	0
Genius 結果とし	自動化	値 [sys_variable_value]	検索用語 ID が KB	検索用語		日次	# (数字)	0

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
てナレッジ記事になる上位 5 つのクエリ			であるクエリの数					
カタログアイテムが Genius 結果になる上位 5 つのクエリ	自動化	値 [sys_variable_value]	検索用語 ID がカタログであるクエリの数	検索用語		日次	# (数字)	0

Now Assist コンテキストメニューアナリティクスインジケーターの詳細

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
この期間の使用率	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	ソースが Now Assist コンテキストメニューであるアクションの数	NAcm 暗黙的なフィードバック別、スキル構成別、フィードバック別、ステータス別、スキル機能別		日次	# (数字)	0
受け入れ配布	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	Now Assist コンテキストメニューによって生成されたコンテンツが承認済みまたは未承認でグループ化されているアクションの数	NAcm 暗黙的なフィードバック別、スキル構成別、フィードバック別、ステータス別、スキル機能別		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソースタイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
スキル別の使用率傾向	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	Now Assist スキル別にグループ化されたコンテキストメニューアクションの数	NAcm 暗黙的なフィードバック別、スキル構成別、フィードバック別、ステータス別、スキル機能別		日次	# (数字)	0
機能の分布	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	機能別にグループ化されたコンテキストメニューアクションの数	NAcm 暗黙的なフィードバック別、スキル構成別、フィードバック別、ステータス別、スキル機能別		日次	# (数字)	0
フィードバックによる応答	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	Now Assist コンテキストメニューによって生成されたコンテンツに対するフィードバックが承認済みまたは却下でグループ化されたアクションの数。	NAcm 暗黙的なフィードバック別、スキル構成別、フィードバック別、ステータス別、スキル機能別		日次	# (数字)	0

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist バリューインサイト作成時間の節減インジケーターの詳細

インジケーター	インジケータータイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
生成されたコンテンツの合計	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	書き込み時間の節約に貢献したスキル実行の合計	スキル ファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
コンテンツを生成する 1 日あたりの一意の平均レコード数	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりに生成されたコンテンツを含む一意のレコードの合計/日数	スキル ファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
削減された合計書き込み時間	計算式	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	時間に変換した、分単位の節約された合計書き込み時間	スキル ファミリー別、スキル構成別		日次	時間	2
1 日あたりの平均削減可能書き込み時間	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりの合計削減書き込み時間/日数	スキル ファミリー別、スキル構成別		日次	分	2
レコードあたりの平均書き込み時間削減傾向	計算式	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりの合計削減書き込み時間/1 日あたりに生成されたコンテンツを含む一意のレコードの合計数	スキル ファミリー別、スキル構成別		日次	分	2
ユーザーごとの平均書き込み時間削減傾向	計算式	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりの合計書き込み時間節減/1 日あたりの書き込	スキル ファミリー別、スキル構成別		日次	分	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
		み時間の節減に貢献したスキルを実行した一意のユーザーの合計数					

Now Assist バリューインサイトの読み取り節減時間インジケーターの詳細

インジケーター	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
生成されたサマリーの合計	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	読み取り時間の節約に貢献したスキル実行の合計	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
1 日あたりに要約された一意のレコードの平均	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりに集計された一意のレコードの合計/日数	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	# (数字)	0
節約された合計閲覧時間	計算式	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	時間に変換された、分単位の節約された合計読み取り時間	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	時間	2
1 日あたりの平均削減された読み取り時間	自動化	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりの合計読み取り時間/日数	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	分	2
レコードあたりの平均読み取り時間削減傾向	計算式	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりの合計読み取り時間/1 日あたりの一意のレコード	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	分	2

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インジケーター	インジケーターソースタイプ	インジケーターソーステーブル	計算	利用可能なブレークダウン	ゴール	頻度	単位	精度
			合計集計数					
ユーザーごとの平均閲覧時間削減傾向	計算式	生成 AI ログ [sys_generative_ai_log]	1 日あたりの合計読み取り時間/1 日あたりの読み取り時間の節約に貢献したスキルを実行した一意のユーザーの合計数	スキルファミリー別、スキル構成別		日次	分	2

Now LLM サービス 回の更新

この Now LLM サービス では、ServiceNow によって開発された特殊な大規模言語モデル (LLM) にアクセスできます。また、ServiceNow コミュニティやパートナーから、ServiceNow によって選択、構成、または拡張されたオープンソース LLM へのアクセスも提供します。Now LLM サービスおよび使用したモデルの詳細については、これらの参考資料とモデルカードを確認してください。

モデルカード

大規模言語モデル (LLM) は、Web サイトやドキュメントなどの大規模なデータセットでトレーニングされた複雑な機械学習モデルであり、ケースの要約や解決メモのテキスト生成など、言語関連のタスクを実行します。

モデルカードは、特定のモデルのコンテキスト、使用目的、トレーニングデータ、制限事項、およびその他の重要な情報を提供します。

これらのモデルカードは、 Now LLM サービスを使用するスキル用です。代わりに Azure OpenAI を使用する Now Assist マルチターンカタログ注文などの特定のスキルがあります。スキルが使用している LLM を確認するには、 Now Assist アドミン コンソールでスキルリストを確認し、[LLM サービス] 列を確認します。

ServiceNow テキストテキスト変換 LLM のモデルカード

仮想エージェントトピックの実行などの会話型ユースケースや、アラート分析、AI 検索、インシデント、ケース、チャットの要約などの会話型カタログおよびエージェントアシストのユースケースに使用されるモデル。

のモデルカード ServiceNow テキストからコードへ LLM

コード生成に使用されるモデル。

のモデルカード ServiceNow フロー next-best-action LLM

フローの推奨事項に使用されるモデル。

のモデルカード ServiceNow テキストからフローへ LLM

フロー生成に使用されるモデル。

のモデルカード ServiceNow テキストテキスト変換 SLM

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist Guardian、テキストから暗号への変換、および迅速な推論と高スループットを必要とするその他のユースケースに使用されるモデル。

のモデルカード ServiceNow 大規模言語モデル

自然言語理解、自動化、意思決定支援をサポートする AI 主導型ソリューションに使用されるモデル。

このモデルカードは、Yokohama パッチ 1 以降で使用できます。

のモデルカード ServiceNow 小規模言語モデル

ServiceNow ワークフロー内のテキストベースの自動化とコンテンツ生成を強化することで、エンタープライズ AI アプリケーションに使用されるモデル。

このモデルカードは、Yokohama パッチ 1 以降で使用できます。

のモデルカード ServiceNow サードパーティの大規模言語モデル

テキスト生成、要約、会話型 AI の AI 主導型ソリューションに使用されるモデル。

このモデルカードは、Yokohama パッチ 1 以降で使用できます。

2025 年 3 月

テキストからコードへの変換やエージェントのユースケースなど、幅広いアプリケーションを強化するために設計された強力な12B汎用小型言語モデル(SLM)がリリースされました。Mistral-Nemo-12Bを微調整し、導入を合理化し、複数の機能を単一のアーキテクチャに統合します。

主な機能強化:

- ユースケースを満たすために最適化:日本語品質の向上など、サポートされている言語全体でケースの要約、チャットの要約、解決メモ、およびナレッジベースの生成が強化されます。
- テキストからコードへ、およびテキストから暗号への優れたパフォーマンス:構造化データベースのクエリの生成と実行の精度を向上させるとともに、Glide JavaScript と汎用 JavaScript の編集と生成が大幅に向上します。
- 堅牢なコンテンツモデレーションと安全性:敵対的なプロンプト、ジェイルブレイクの試み、有害なコンテンツの生成に対するより強力な保護を提供し、組み込みのコンテンツフィルタリングによりより安全な展開を保証します。
- 統一されたモデル展開:ServiceNow 関連のタスクを単一のモデルに統合することで、システムの複雑さを軽減しながら全体的なパフォーマンスを向上させます。
- 指示の遵守率の向上:現在のテキスト間 NowLLM よりも、さまざまなレベルのプロンプトと指示の厳密さにわたって、より優れた指示追従と一貫性を実現します。

2024 年 11 月

パフォーマンスと品質の向上を目的としたいくつかの重要な改善が Now LLM サービス に追加されました。

- 多言語サポート: Now LLM サービス はさらに 8 つの言語をサポートしているため、グローバルチームは母国語でモデルを使用できます。

  サポートされている言語は、英語、ドイツ語、フランス語、日本語、オランダ語、フランス語 (カナダ)、スペイン語、ポルトガル語 (ブラジル)、イタリア語です。

- JSON 形式のサポート:このモデルは JSON 形式の出力を提供するようになり、開発者はさまざまなアプリケーションと簡単に統合してワークフローをシームレスに自動化できるようになりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 決定論的応答:JSON モードでは、構造化された一貫性のある出力が保証され、アプリケーションと統合する際の予測可能性と信頼性が向上します。
- エラーの削減:自由形式のテキストモードとは異なり、JSON 応答ではフォーマットエラーや迷子文字が発生しにくく、統合の問題が最小限に抑えられます。
- トークン消費量の削減:JSON の固定構造により、トークンの使用量が削減され、応答頻度の高いアプリケーションに対してより効率的かつコスト効率の高いものになります。

- 命令に従うことの改善:モデルは、指示をより正確に理解し、それに従うように微調整されました。これにより、モデルはより的確で実用的な応答を提供できるため、ユーザーは必要な情報をより迅速かつ効率的に取得できます。

Now Assistの参照

参照トピックには、 Now Assistのユーザーロール、データ使用、およびドメインセパレーションに関する情報が含まれています。

Now Assist アドミン ロール

Now Assist アドミン機能を使用するには、特定のロールが必要です。

Now Assist アドミン [sn_nowassist_admin.nsa_admin]

このユーザーは、スキルを編集および構成することで、 Now Assist アドミン エクスペリエンスを作成および更新できます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

ACE ユーザー [ace_user]。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

Now Assist アドミン コンソールユーザー [sn_nowassist_admin.user]

このユーザーは、コンソールにアクセスしてスキルとその構成を表示できますが、編集することはできません。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特別な考慮事項

なし。

Now Assist パネルユーザー **[now_assist_panel_user]**

Now Assistパネルにアクセスできるユーザー。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

のユーザーデータ使用ポリシー **Now Assist**

Now Assist は、ユーザーデータの安全性とセキュリティを維持するように設計されています。また、モデル改善のために機密データをマスクしたり、データの共有をオプトアウトしたりすることもできます。

データの送信方法と保存方法

AI ワークロードは、トランスポートレイヤーセキュリティ (TLS) 1.2 を使用して、 ServiceNow インスタンスから AI 予測処理が行われる 3 つの一元化された ServiceNow コンピューティング ハブ (AI ワークロード用の GPU を備えたデータセンター) のいずれかに安全に送信されます。応答の生成に使用されたデータは、応答の生成後にコンピューティング ハブから削除されます。その後、結果が ServiceNow インスタンスに返されます。

入力データと出力データは、コンピューティング ハブにキャッシュまたは格納されず、一時的です。

生成 AI に Now LLM サービス を使用する際に、お客様のデータが他の顧客データと混ざり合うことはありません。

また、生成 AI サービスを使用する場合、ドメインセパレーションされたインスタンスのデータは混在しません。

必要に応じて、 ServiceNow サードパーティのエンドポイントサービス (Azure OpenAI Service など) を活用して Now LLM サービス を強化し、 Now Assist 機能を強化する場合があります。さらに、サービスの品質を確認するために、 ServiceNow 、顧客の需要が高い場合に Now LLM サービス 容量バーストに Azure でホストされる GPU を使用する場合があります。サードパーティのエンドポイントによって処理されたデータは、サードパーティプロバイダーによる使用やアクセスの対象ではなく、 ServiceNow ネットワーク境界内で運用されます。

機密データをマスク

機密データは、データプライバシーの Now Assist を使用して LLM に送信する前にマスクできます。詳細については、「データプライバシーの Now Assist の構成 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグインを有効にすると、LLM に送信する前に機密データをマスクするように設計されていますが、プロンプトに特定のデータが含まれていないため、結果の精度が低下する可能性があります。

注: このプラグインは、生成 AI 製品のコンテキスト内では、インスタンス内のレコードに存在する機密データをマスクしたり、新しい機密データがインスタンス自体に保存されるのを防ぐのに役立ちません。

ServiceNow は、選択した AI 機能 (AI 検索の NowAssist など) に対して検索拡張生成 (RAG) を使用し、要求者がシステム内でアクセスできるものに基づいて情報を LLM に渡します。ユーザーが AI 検索での Now Assist を使用してポータルで何かを検索すると、AI 検索は記事を検索し、プロンプトの一部として LLM に送信します。AI 検索はユーザーが何にアクセスできるかを認識しているため、ユーザーがアクセスできない記事は送信されません。

注: ケースの要約などの一部の機能では、サマリーを生成するエージェントが、レコードにアクセスできる他のユーザーよりも多くの権限を持つ場合があります。エージェントがそのサマリーを作業メモに貼り付けることを選択した場合、エージェントは、作業メモで共有しているデータが、そのレコードにアクセスできる他のユーザーと共有するのに適していることを確認する必要があります。

データ共有のオプトアウト

データ共有は、 ServiceNow 最新の顧客の使用状況に基づいて、Now LLM を継続的に進歩させ、改善するのに役立ちます。顧客データ共有プログラムに参加する必要がなくなった場合は、オプトアウトできます。

オプトアウトするには、 のデータ共有のオプトアウト Now Assistの指示に従ってください。

Now Assist アドミンコンソールでのドメインセパレーション

ドメイン 分離は、 Now Assist アドミン コンソールでサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：ベーシック

- アプリケーションサービスプロバイダーのユースケースに合わせてデータが適切なドメインに送られるようにするビジネスロジックが存在します。
- このアプリケーションは、ドメインセパレーションを完全にサポートしています。ドメインセパレーションには、ユーザーインターフェイス、キャッシュキー、レポート、ロールアップ、および集計からのドメインの分離が含まれます。
- インスタンスのオーナーは、複数のテナント間で正常に機能するようにアプリケーションをセットアップする必要があります。

サンプルユースケース：サービスプロバイダーがチャットを使用してテナント顧客のメッセージに応答する場合、お客様がサービスプロバイダーの応答を確認できるようにする必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

Now Assist アドミンコンソールでは、生成 AI 機能がスキル別に整理されています。各スキルをドメインごとに異なるように構成することも、ドメインのスキルのバリアントを作成することもできます。デフォルトでは、すべてのスキルがグローバルドメインに存在します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist アドミンコンソールでのドメインセパレーションの仕組み

Now Assistスキルに使用する前に、まずインスタンスでドメインセパレーションを有効にする必要があります。

Now Assist はドメインセパレーションと連携します。ドメインセパレーション環境で Now Assist を使用すると、ユーザーはドメイン内のデータにのみアクセスできます。たとえば、ユーザーが要約スキルを使用する場合 Now Assist 、そのサマリーの生成時にユーザーのドメイン内に存在する資料のみを使用します。スキルがドメインセパレーションされている場合、そのドメイン内のユーザーのみが、そのスコープ用に構成したスキルを使用できます。

同じインスタンスで複数のクライアントをホストするサービスプロバイダーの場合は、ドメインセパレーションを設定して、テナントデータ、プロセス、および管理タスクを分離できます。ただし、Assist の消費量は、テナントを区別せずにインスタンスに従って追跡されます。サブスクリプション管理ダッシュボードで Now Assist 使用状況を追跡できます。

既存のスキルの異なるバージョンをドメインに含める場合は、スキルを再構成してアクティブ化するか、優先ドメインでバリアントを作成できます。Now Assistスキルへのドメインへのアクセス権を付与する方法については、セクションを参照してください。

ユースケース

スキルまたはスキルの後のバリアントをアクティブ化または編集するときに、入力、ロール、トリガー、およびプロンプトを構成できます。

一部のユースケースには、次の例が含まれます。

- 1 つのドメインではインシデントの要約で [アクティビティ] フィールドを入力として使用しますが、別のドメインでは [簡単な説明] フィールドと [説明] フィールドのみを使用します。
- あるドメインでは特定のロールに Now Assist パネルへのアクセス権を付与し、別のドメインにはロール制限を付与しません。
- 1 つのドメインのみの エージェントチャット でクイックアクションを使用して、生成 AI 機能をトリガーします。
- スキルのバリアントを作成して、あるドメインで 1 つのプロンプトをテストし、別のドメインでスキルのデフォルトプロンプトを使用します。

Now Assistスキルへのドメインアクセスの許可

ドメインセパレーションは、スキルレベルと個々の構成レベルで可能です。Now Assist Admin Console でガイド付きセットアップを使用する場合、各構成オプションにはドメインで分離できる独自のレコードがあります。別のドメインにレコードを作成するには、優先ドメインのスコープ内でスキルを設定する必要があります。

1. Now Assistスキル構成 (sn_nowassist_skill_config) テーブルに移動します。
2. [ドメイン] フィールドをリストに追加します。存在しない場合は、一覧の上部にある歯車アイコンを選択し、 [ドメイン] フィールドを [選択済み] 列に追加して、 **[OK]** を選択します。
3. 有効にするスキルをドメインごとに検索します。グローバルスコープ内にあるスキルで [アクティブ] を false に設定します。レコードを編集するには、スコープの変更が必要な場合があります。
4. 現在のドメインを、スキルを有効にするドメインに変更します。
5. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミンコンソール > 機能.
6. ドメインに従ってアクティブ化するスキルに移動し、[スキルをアクティブ化] を選択します。
7. 通常どおりにスキルを構成します。詳細については、 「Now Assistスキルのアクティブ化」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. Now Assistスキル構成 (sn_nowassist_skill_config) テーブルに戻ります。現在のドメインに新しいレコードがあるはずです。新しいレコードを開きます。
9. 別のブラウザータブで、[Now Assist スキル構成] テーブルに戻り、グローバルドメインで非アクティブ化されたスキルレコードを開きます。
10. グローバルスキルレコードをドメイン内で作成されたレコードと比較します。関連リストのレコードがドメイン固有のスキルに存在しない場合があります。存在しない場合は、それらのレコードをドメインで再作成し、ドメイン固有のスキルの関連リストに添付する必要があります。
11. スキルごとに、またスキルを利用可能にするドメインごとに、このプロセスを繰り返します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

Now Assist会話ヘルプスキルでエンドポイントをフェッチ

Now Assist 会話ヘルプスキルアーキテクチャは、ユーザーに最適な最も近い場所でホストされている回答をフェッチすることで、レイテンシを解決します。

複数の地理的な場所でホストされているソリューションのフェッチ

会話型ヘルプスキルに投稿されたユーザークエリ Now Assist 考えられる解決策は、日本、EMEA、米国の3つの主要な場所でホストされています。

最適なパフォーマンスを得るには、中央インスタンスをユーザーのインスタンスと同じ地理的領域に配置する必要があります。この調整を実現するために、正しいエンドポイントを識別するのに役立つユーザーのインスタンス内のツールである DISH サービスを利用します。Now Assist会話ヘルプスキルは、さまざまなデータセンター内で Mimir ルックアップサービス機能を使用します。

DISH サービスは Mimir ルックアップテーブルと通信して、ユーザーの場所に一致するエンドポイントを特定します。このエンドポイントを取得すると、顧客インスタンス内の sys-service テーブルに安全に保存されます。今後、すべてのユーザーのクエリは特定のエンドポイントを介してルーティングされ、一貫性と信頼性が確保されます。Get Help スキルは、sys-property `com.snc.get_help.endpoint` に存在するエンドポイントを使用します。

> **注:** Now Assist会話型ヘルプスキルバージョンは sn_ads_now_help.com.snc_now_help_skill.version に保存され、会話型シェアードサービス内での下位互換性が確保されます。

生成 AI のパフォーマンスアナリティクスインジケーター

生成 AI のインジケーターには、生成 AI ログ、実行、トークン、レイテンシ、Now Assist スキルを使用するユーザー数などの情報が含まれます。

これらのインジケーターは、アナリティクスハブに移動して見つけることができます。アナリティクスハブにアクセスするには、 パフォーマンスアナリティクス > アナリティクスハブ. インジケーターには 2 つのセットがあり、1 つは生成 AI ログテーブル用、もう 1 つは生成 AI 使用状況ログテーブル用です。どちらも、`生成 AI` を検索することでアクセスできます。

これらのインジケーターは、日次間隔でデータを測定します。データは、現在の日付より前の日付についてのみ使用できます。当日の結果を確認する場合は、翌日まで待つ必要があります。

生成 AI ログテーブルインジケーター

インスタンスの生成 AI ログは、インスタンスでの生成 AI 実行の詳細を提供します。すべてのインジケーターは、定義とスキル構成によって分割できるため、インスタンスでの LLM 要求の実行を追跡できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成 AI ログの合計

ブレークダウン:定義別、スキル構成別、ステータス別、フィードバック別

生成 AI ログ：内部 Now LLM 実行の合計

ブレークダウン:定義別、スキル構成別、ステータス別、フィードバック別

生成 AI ログ：最大プロンプトトークン数

ブレークダウン:定義別、スキル構成別

生成 AI ログ：プロンプトトークン総数

ブレークダウン:定義別、スキル構成別

生成 AI ログ：最小レイテンシ

ブレークダウン:定義別、スキル構成別

生成 AI ログ：最大レイテンシ

ブレークダウン:定義別、スキル構成別

生成 AI ログ：応答トークン総数

ブレークダウン:定義別、スキル構成別

生成 AI ログ：最大応答トークン数

ブレークダウン:定義別、スキル構成別

生成 **AI** 使用ログテーブルインジケーター

生成 AI 使用率ログテーブルインジケーターは、Now Assist スキルと生成 AI コントローラー機能の生成 AI 機能を誰がどのように使用しているかに関する情報を提供します。

1 日あたりの生成 AI アクション

ブレークダウン:生成 AI スキル実行モダリティ別、生成 AI 機能別

生成 AI アクションを使用した 1 日あたりのユーザー数。

ブレークダウン:生成 AI 機能別

Now Assist の用語集

Now Assist で使用される用語と概念について説明します。

カスタムスキル

特定のビジネスニーズを満たすように調整されたユーザー定義の AI 機能。カスタムスキルは Now Assist SDK を使用して作成されます。これにより、ユーザーはカスタムスキルの入力データ、プロンプト、LLM プロバイダー、および展開領域を定義できます。

動的翻訳

ユーザー入力を英語に翻訳し、AI が生成した応答をユーザーの優先言語に戻すために Now Assist が使用するNow Platform機能。

生成 **AI**

大規模言語モデル (LLM) を使用してテキスト、要約、およびその他のコンテンツを生成するテクノロジー。

生成 **AI** コントローラー

サードパーティの大規模言語モデル (LLM) ライセンスの統合など、Now Platform での生成 AI エクスペリエンスをカスタマイズするためのツール。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ガードレール

ユーザー入力と AI が生成した応答を監視および評価して、安全で適切であることを確認するメカニズム。

大規模言語モデル **(LLM)**

大規模なデータセットでトレーニングされた複雑な機械学習モデルで、ユーザー入力に対して人間のような応答を生成します。

マルチターンカタログ注文

ユーザーが対話型インターフェイスを介してサービスカタログからカタログアイテムを注文できるようにする Now Assist の機能。

ネイティブ翻訳

Now LLM サービスによって提供される LLM を使用して、ユーザーの優先言語で応答を生成する Now Assist の機能。Now Assist アドミンコンソールで有効にして構成できます。

Now Assist

Now Assist は、 Now Platform での生成 AI エクスペリエンスを指します。Now Assistを使用すると、セルフサービスの向上、回答と推奨アクションの迅速化によって組織の生産性と効率を向上させ、ユーザーがより効果的に検索できるようになります。

Now Assist アドミン コンソール

アドミニストレーターが Now Assist で提供される生成 AI 機能を迅速に設定、構成、監視するためのコンソール。

Now Assist アナリティクス

Now Assistを利用したNow Assistおよびセルフサービスエクスペリエンスの使用状況、価値、パフォーマンスに関するインサイトを提供するダッシュボード。

Now Assist コンテキストメニュー

エージェントがメールとチャット返信を作成および編集するのを支援する生成 AI 機能で、特定のワークフローのネクストエクスペリエンスで利用できます。

Now Assist ガーディアン

有害、攻撃的、または不適切なコンテンツからユーザーを保護するために、生成 AI で作成されたコンテンツを監視および評価する機能。インシデントをログに記録し、そのようなコンテンツが表示されないようにすることができます。

Now Assist は 仮想エージェント の値のいずれか

大規模言語モデル (LLM) を使用して、セルフサービスワークフローの成功を改善できる自然言語の会話エクスペリエンスを作成することを指します。

Now Assist パネル

情報のコンテキストをすばやく取得できるように、チャット、ケース、またはインシデントを要約したり、解決メモを生成したりするための会話型インターフェイス。問題の解決中に AI エージェントと通信することもできます。

Now Assist のスキル

生成 AI を使用してサマリーや解決メモの生成などのタスクを実行する Now Assist 内の事前定義された機能。Now Assistスキルは、CSM の Now Assist などのNow Assistプラグインで提供されます。Now Assist SDKを使用してカスタムスキルを作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now LLM サービス

この Now LLM サービス では、 ServiceNow が開発した特殊な大規模言語モデル (LLM) にアクセスできます。また、ServiceNowコミュニティやパートナーから、ServiceNowによって選択、構成、または拡張されたオープンソース LLM へのアクセスも提供します。

不快なコンテンツの検出

攻撃的、有害、または不適切なコンテンツをログに記録してブロックする Now Assist ガーディアン のガードレール。

プロンプトインジェクション検出

悪意のある入力を識別して、AI が生成した応答を操作するのを防ぐ Now Assist ガーディアンのセキュリティ機能。

Q&A Genius 結果

Q&A Genius 結果の Now Assist は、関連するナレッジ記事やその他のソースから生成された簡潔で実用的な回答をユーザーに提供します。これらの結果はアクション可能なカードとして表示され、さらに参照できるようにソースナレッジ記事へのリンクが各カードに含まれます。

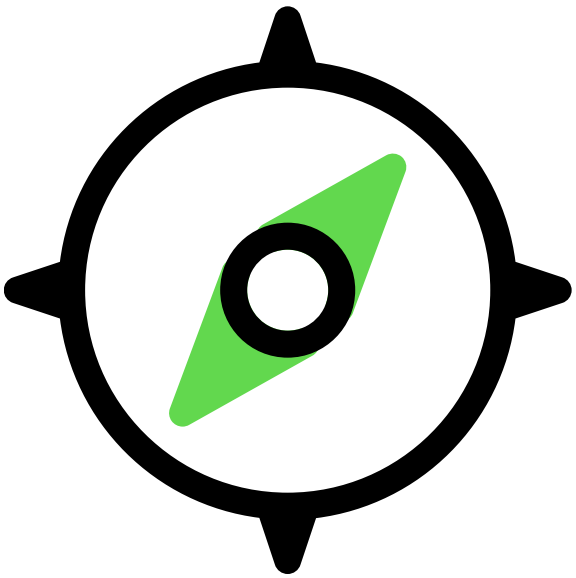
生成 AI コントローラー

生成 AI コントローラーを使用して、サードパーティの大規模言語モデル (LLM) をワークフローと統合します。

始めましょう

外部 LLM と直接統合するには、 生成 AI コントローラー の使用を開始します。フローデザイナーと仮想エージェントデザイナーを使用すると、高度なワークフローやカスタムスクリプトなど、AI で生成されたテキスト分析や感情分析の独自のユースケースを作成できます。

探索



生成 AI の概念と用語を確認します。

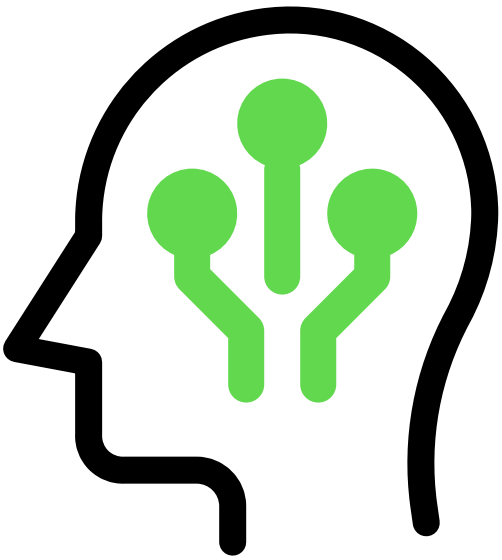
構成



生成 AI コントローラープロバイダー機能を構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用	参照
	
生成 AI コントローラープロバイダー機能を使用します。	生成 AI コントローラー の参照。

トラブルシューティングとサポート

- ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

生成 AI コントローラー の探索

生成 AI の概念と、サードパーティの生成 AI を Now Platform に統合してコンテンツを作成し、タスクレコードを要約し、ユーザーの感情を分析する方法について詳しく説明します。

生成 AI コントローラーの概要

複雑なアルゴリズムとディープラーニングモデルは、パターンを学習し、その知識を使用して新しい出力を生成します。生成 AI コントローラーを使用すると、Now Platform内で直接コンテンツを生成できます。

生成 AI コントローラー OpenAI、 Azure OpenAI、Google Cloud (AI Studio および Vertex)、Aleph Alpha、IBM watsonx、Amazon Bedrock などの外部 LLM と統合します。これらの機能は、 フローデザイナー フロー、 仮想エージェント トピック、およびバックグラウンドスクリプトやビジネスルールのようなスクリプティングで使用できます。

生成 AI コントローラー のメリット

メリット	機能
複雑な情報を要約するテキストを生成します。	フローデザイナーコンテンツを生成して要約を作成するアクション
ユーザーの感情を分析して、エンドユーザーの懸念を特定し、軽減します。	感情分析 フローデザイナー アクション
大規模言語モデル (LLM) を直接クエリします。	汎用プロンプト フローデザイナー アクション
カスタムコンテンツの精度とスケーラビリティを向上させるように設計された AI モデル機能のスクリプトを記述します。	生成 AI を使用するスクリプト
サードパーティ AI サービスプロバイダーと統合して AI エクスペリエンスをカスタマイズする	OpenAI、 Azure OpenAI、Google AI、Aleph Alpha、IBM watsonx、Amazon Bedrock

生成 AI コントローラー を開始するには

- 生成 AI コントローラーアプリケーションは、 Now Assist application.
- 生成 AI プロバイダーにサインアップしてアカウントを作成します。
  - OpenAI にサインアップするには、 公式プラットフォーム Web サイト にアクセスしてください。
  - Azure OpenAI の使用を開始するには、ドキュメント にアクセスしてください。
  - Gemini API で AI スタジオの使用を開始するには、 AI スタジオのホームページ に移動します。
  - Google Cloud で Vertex AI を使用するには、Vertex AI ホームページ に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Aleph Alpha を使い始めるには、 Aleph Alpha の Web サイト にアクセスし、Aleph Alpha API アカウントを作成します。
- IBM watsonx を使い始めるには、「 サービスとしての IBM watsonx 入門 」を参照してください。
- Amazon Bedrock の使用を開始するには、 適切なアクセス許可を持つ IAM ユーザーを設定し 、 Converse API を調べます 。

- 生成 AI コントローラー 機能に使用する優先 AI サービスプロバイダーの認証情報を構成します。
- 追加 生成 AI コントローラー 仮想エージェントデザイナーの機能 を使用して、AI サービスプロバイダーと生成 AI を使用した仮想エージェントトピックの作成を開始します。
- 使用 生成 AI コントローラー 仮想エージェントデザイナー、フローデザイナー、およびスクリプトを使用します。

ドメインセパレーションと 生成 AI コントローラー

生成 AI コントローラー ではドメインセパレーションがサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート) 」を参照してください。

ドメインセパレーションを使用すると、アプリケーションデータと管理プロセスにパーティションを作成できます。生成 AI テーブルはドメインセパレーションされているため、 生成 AI コントローラー は OneExtend 機能のドメインセパレーションをサポートしています。機能は、生成 AI を使用する 仮想エージェントデザイナー トピック、コンポーネント、フロー、およびスクリプトの基本的な構成要素です。ドメインセパレーションを使用すると、データを分離してアクセスを制御し、あるドメイン内のユーザーが別のドメインの機能にアクセスできないようにすることができます。

ドメインセパレーションと 仮想エージェントの詳細については、 ドキュメントを参照してください 。

生成 AI コントローラーにおけるドメインセパレーションの仕組み

ドメインセパレーションは、生成 AI OneExtend の機能レベルで可能です。OneExtend 機能の実行と構成に関連するレコード (ServiceNow 担当者がアクセスできるログテーブルなど) も、機能のドメインに従って分離されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既存の生成 AI 機能のコピーを別のドメインに作成する場合は、OneExtend 機能 (sys_one_extend_capability) テーブルにレコードを作成する必要があります。OneExtend 機能テーブルの詳細については、 生成 AI コントローラーのリファレンス を参照してください。

レコードの作成時にドメインを設定します。ドメインは、レコード作成時のドメインに基づいています。機能レコードを作成するときは、既存の OneExtend 機能レコードを詳細計画として使用して、機能が意図したとおりに機能することを確認できます。

OneExtend 機能レコードを作成したら、新しいドメインに次の属性レコードと構成レコードのレコードを作成する必要があります。

- グローバルドメインの機能と同じ値を持つ OneExtend 機能属性レコード。
- 新しい機能に対応する OneExtend 機能定義。
- 新しいドメインの OneExtend 機能定義を含む OneExtend 定義構成定義レコード。

仮想エージェントデザイナーで使用する OneExtend 定義構成の設定の詳細については、以下を参照してください。 の有効化 生成 AI コントローラー for 仮想エージェント.

OneExtend 機能レコードのデフォルトビューの関連リストを使用して、これらのレコードを作成することもできます。

注: 追加する OneExtend 機能定義レコードは、新しいドメインで必要な機能と同じである必要があります。たとえば、感情分析用の新しいドメインに機能を作成する場合は、感情分析 (OpenAI Completion) レコードを追加できます。要約 (OpenAI Completion) 構成を追加すると、予期しない動作が発生する可能性があります。選択する OneExtend 定義構成レコードには、追加した OneExtend 機能定義レコードが含まれている必要があります。

ユースケース

ドメインセパレーション機能を使用すると、さまざまな 仮想エージェント トピック、 フローデザイナーのあるフロー、またはドメインセパレーションされたさまざまな背景およびビジネスルールスクリプトをビルドできます。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

生成 AI コントローラーの構成

生成 AI コントローラープロバイダーと機能を構成します。

構成の概要

生成 AI コントローラー を使用すると、複数の AI プロバイダーまたは汎用コネクタから選択できます。

- Microsoft Azure OpenAI
- OpenAI
- Google AI スタジオ
- Google Vertex AI
- Aleph Alpha
- IBM ワトソンクス
- Amazon 岩盤

API 認証情報の設定

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

OpenAI、AzureGoogle Cloud、Aleph Alpha、IBM watsonx、Amazon Bedrock、および汎用モデルとのサードパーティ統合を使用するように大規模言語モデル (LLM) 認証情報を構成し、サードパーティ統合を制御します。

汎用 LLM コネクタの構成

生成 AI 機能を使用してプロンプトとトランスフォーマースクリプトをより細かく制御するように外部 LLM を設定します。

機能の AI サービスプロバイダーの構成

機能ごとに優先 AI サービスプロバイダーを設定し、ビジネスニーズに合わせて生成 AI コンテンツをカスタマイズします。

で生成 AI 機能を有効にする 仮想エージェントデザイナー

仮想エージェントデザイナーで生成 AI 機能を有効にして、AI が作成したコンテンツを含むカスタムトピックとトピックブロックを構築します。

大規模な入力に対して再帰的な要約を有効にする

再帰要約を有効にして、LLM 呼び出しの大きな入力のコンテキストを保持します。

生成 AI 機能の動的翻訳を有効にする

製品内生成 AI 機能に動的翻訳を使用して、さまざまな言語を話すユーザーをサポートします。

生成 **AI** コントローラーのインストール

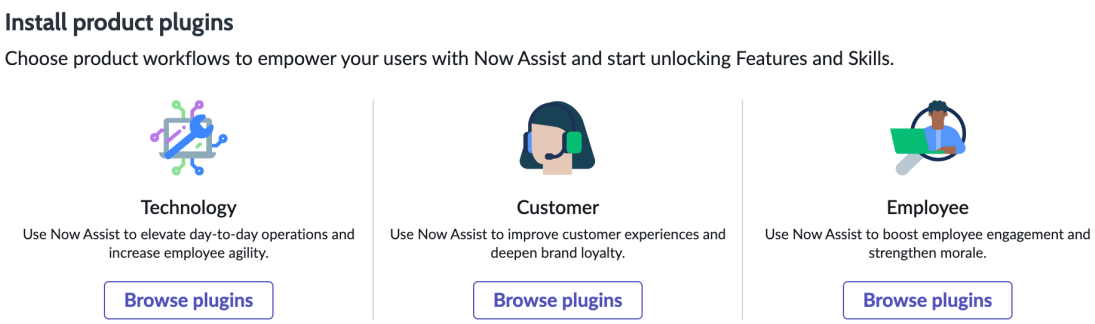
admin ロールをお持ちであれば、 生成 AI コントローラー アプリケーション (sn.generative.ai) を Now Assist アプリケーションと一緒にインストールできます。

インストール要件

Vancouverパッチ 2 以降である必要があります。

生成 AI コントローラー は、すべての Now Assist アプリケーションの依存関係として含まれています。アプリケーションを単独でインストールすることはお勧めしません。代わりに、 Now Assist アドミン コンソールから、または ServiceNow Store から直接 Now Assist アプリケーションをインストールできます。詳細については、「Now Assist プラグインをインストール」を参照してください。

Now Assist アドミンコンソールプラグインのインストール



生成 **AI** 機能の **API** 認証情報の構成

優先する生成 AI サービスプロバイダーの認証情報と接続を構成して、サードパーティの生成 AI を Now Platform に統合します。

複数の異なるモデルと生成 AI サービスプロバイダーを使用して、カスタムフロー、スクリプト、トピックに統合できます。

- Aleph Alpha
- Amazon 岩盤

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Azure OpenAI
- Google - AIスタジオ
- Google - 頂点 AI
- IBM watsonx
- OpenAI
- 汎用サードパーティ LLM

Aleph Alpha の API 認証情報の構成

カスタムワークフローや 仮想エージェントデザイナー トピックで Aleph Alpha を使用するように API 認証情報を設定します。

始める前に

API キーを設定するには、Aleph Alpha アカウントが必要です。

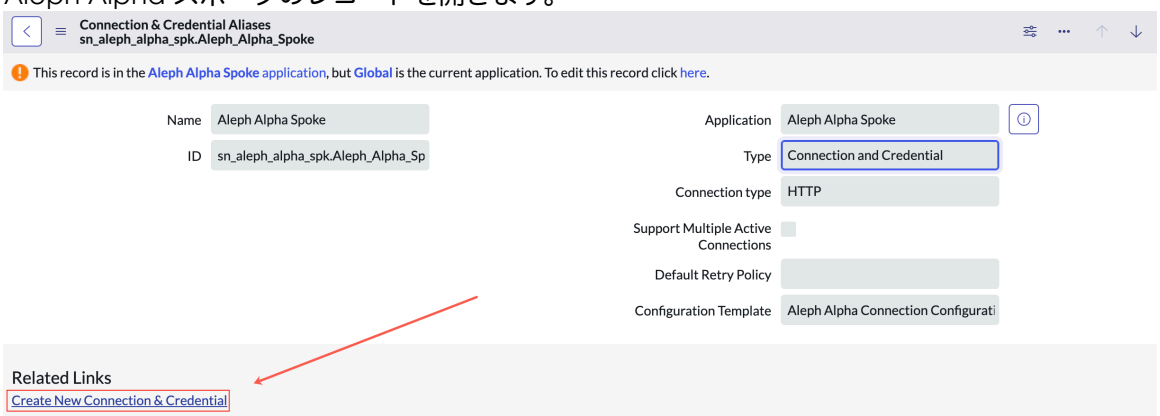
必要なロール：admin

このタスクについて

生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして Aleph Alpha を使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. Aleph Alpha スポークのレコードを開きます。



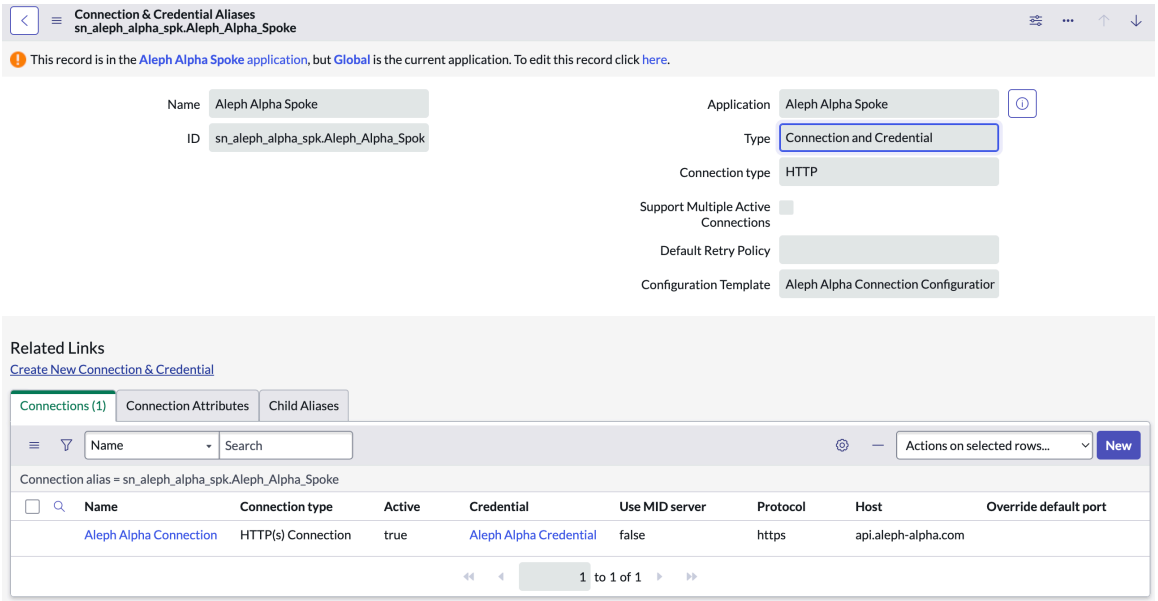
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
4. API キーを入力します。
   API キーを作成するには、Aleph Alpha にログインし、[ユーザープロファイル] ページで [トークンの取得] を選択します。
5. **[Create** (作成)] を選択します。

タスクの結果

フローデザイナー、仮想エージェントデザイナー、およびスクリプトで Aleph Alpha Completion OneExtend 機能を使用して、生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成できるようになりました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Amazon Bedrock の API 認証情報の設定

カスタムワークフローと 仮想エージェントデザイナー トピックで AWS Bedrock を使用するように API 認証情報を設定します。

始める前に

AWS アカウントが必要であり、IAM ユーザーには bedrock:InvokeModel アクションにアクセスするための権限が必要です。

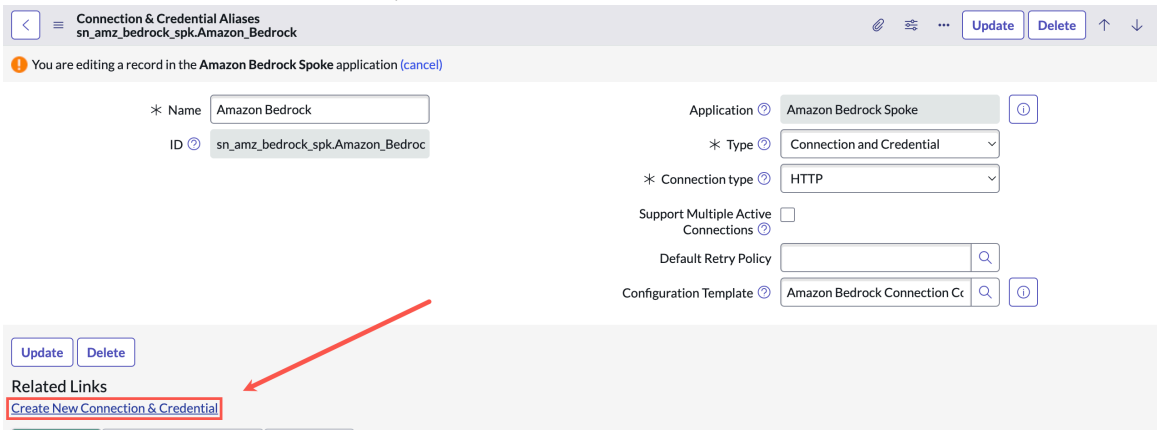
必要なロール：admin

このタスクについて

生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして Amazon Bedrock を使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. Amazon Bedrock のレコードを開きます。

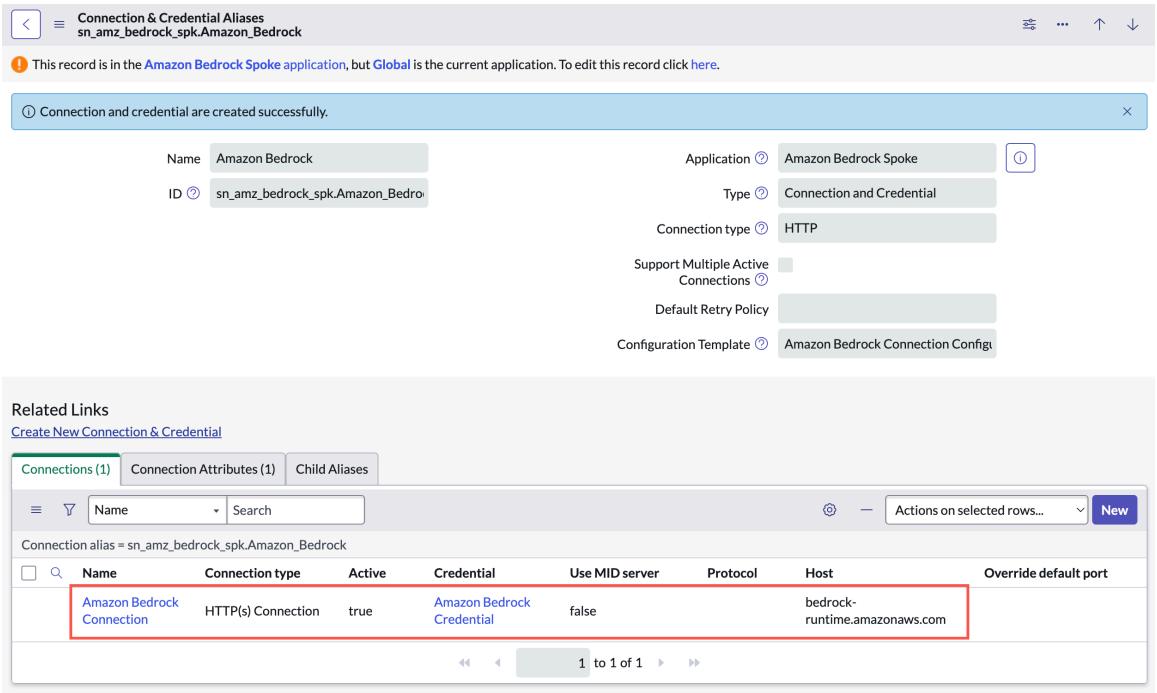


3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
4. `us-east-1` などのリージョンを入力します。
5. API キーを入力します。
   詳細については、 API キーの生成に関する AWS ドキュメント を参照してください。
6. **[Create** (作成)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
フローデザイナー、仮想エージェントデザイナー、および生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成するためのスクリプトの生成 AI コントローラー機能のプロバイダーとして Amazon Bedrock を使用できます。



Azure OpenAI の API 認証情報の設定

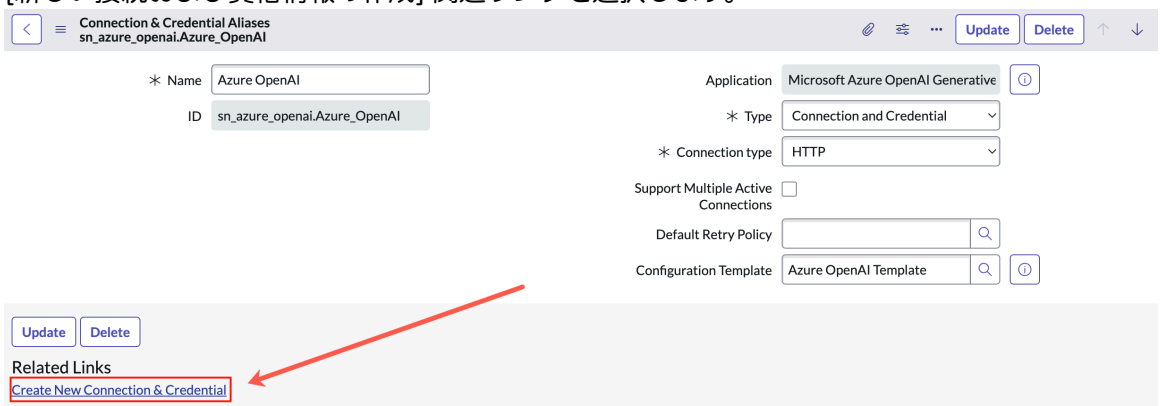
カスタムワークフローおよび仮想エージェントデザイナーのトピックで Azure OpenAI を使用するように API 認証情報を構成します。

始める前に
Azure OpenAI で生成 AI 機能を使用するには、API キーを持つ Azure リソースが必要です。

必要なロール：admin

このタスクについて
生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして Azure OpenAI のモデルを使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. Azure OpenAI の生成 AI プロバイダーレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [接続 URL] を編集してリソース名を含めます。

   Azure OpenAI の場合、接続 URL は `https://{your-resource-name}.openai.azure.com` の形式です。「」を参照してください。 Azure OpenAI ドキュメント 詳細については、を参照してください。

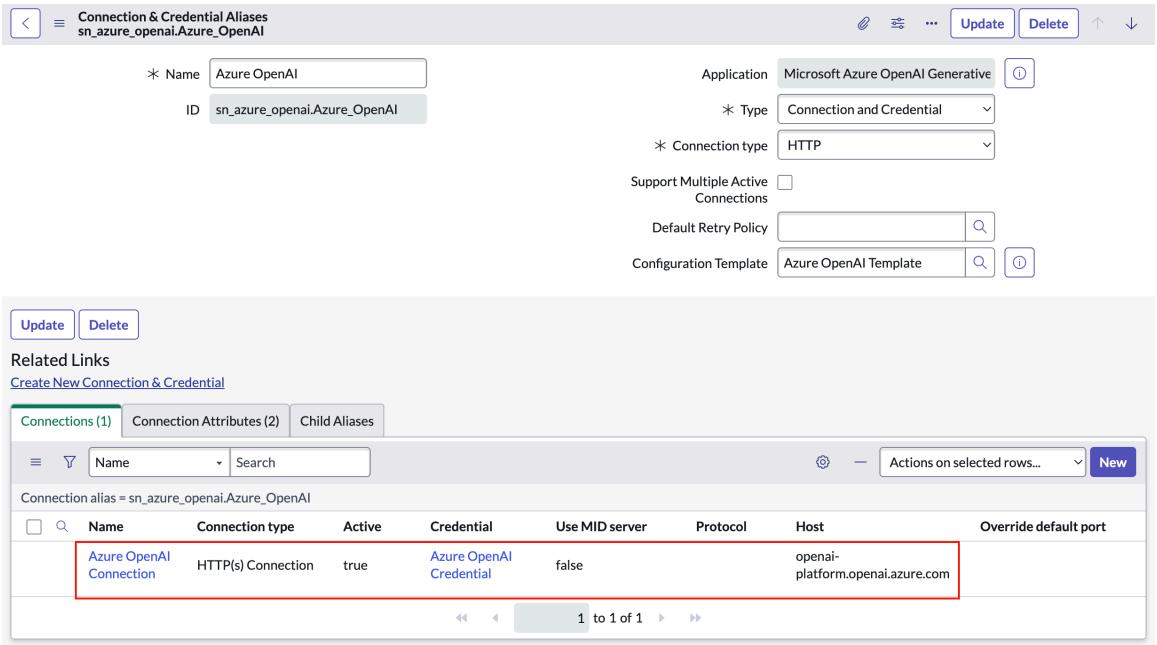
5. [API キー] フィールドに、プロバイダーの API キーを入力します。

   注: [API キー] フィールドの文字は、ユーザーインターフェイスでマスクされます。

6. [作成] を選択して接続を作成します。

タスクの結果

フローデザイナー、仮想エージェントデザイナーで Azure OpenAI でラベル付けされた機能、およびバックグラウンドスクリプトやビジネスルールなどのスクリプトを使用して、生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成できるようになりました。



次のタスク

MID サーバーで生成 AI 機能を使用する場合は、新しい接続レコードを開き、[**MID** サーバーを使用] チェックボックスをオンにして、レコードを保存します。

Google AI Studio の API 認証情報の設定

カスタムワークフローおよび仮想エージェントデザイナーのトピックで Google AI Studio を使用するように API 認証情報を構成します。

始める前に

AI Studio を使用するには、Google アカウントが必要です。

必要なロール：admin

このタスクについて

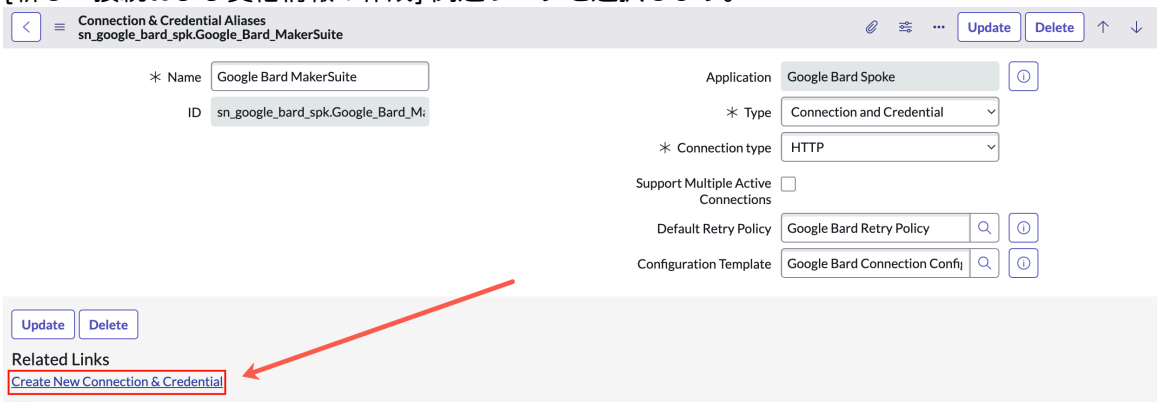
生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして Google AI Studio を使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

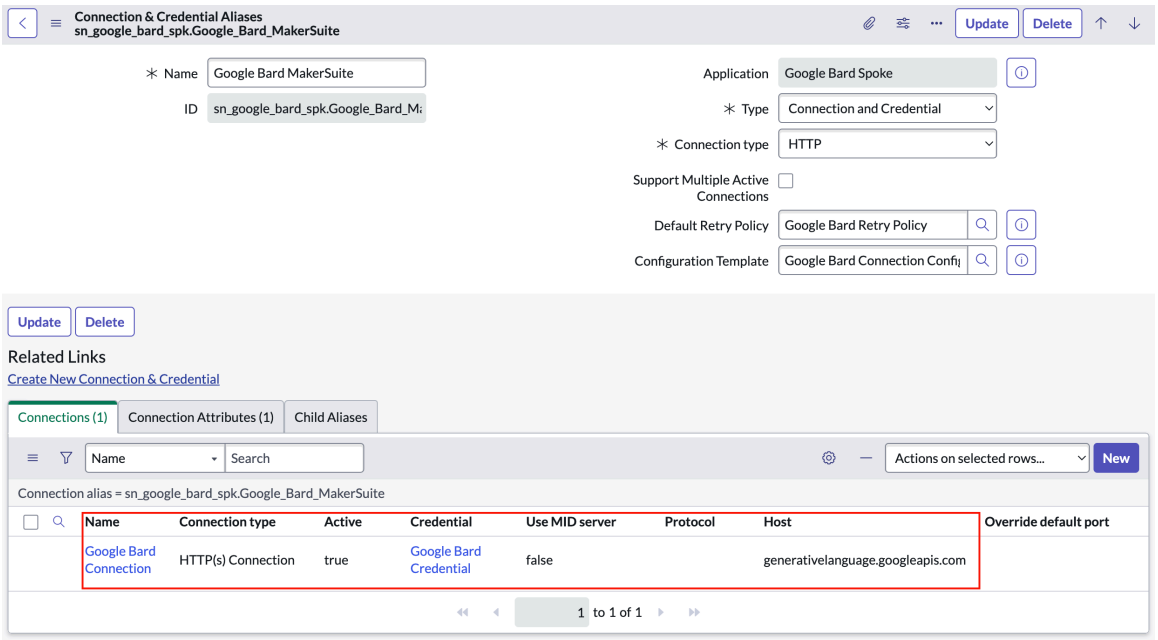
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. Google Bard MakerSuite のレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。



4. API キーを入力します。
   AI Studio で API キーを見つけるには、ナビゲーションメニューから **[Get API Key**] を選択します。
5. **[Create** (作成)] を選択します。

タスクの結果
フローデザイナー、仮想エージェントデザイナー、およびスクリプトで AI スタジオ (Google Cloud Chat Completion) と AI スタジオ (Google Cloud Chat Completion) を使用して、生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成できるようになりました。



次のタスク
LLM プロバイダーを使用して、フローデザイナーでフロー、仮想エージェントデザイナーでトピック、または生成 AI のメリットをユーザーに提供するスクリプトを作成します。

Google Vertex AI の API 認証情報を作成する

カスタムワークフローと仮想エージェントデザイナーのトピックで Google Vertex AI を使用するように API 認証情報を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

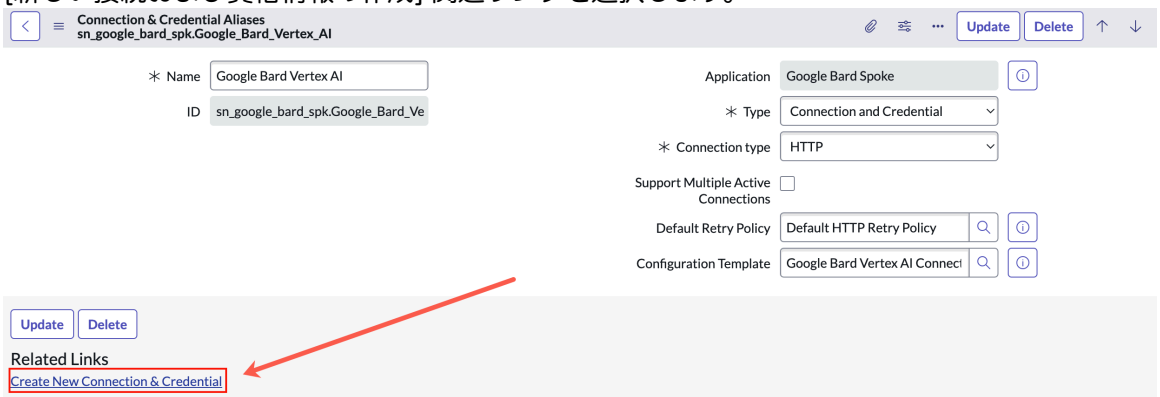
始める前に
Google Cloud プロジェクトと、新しい OAuth 認証情報を生成する権限が必要です。

必要なロール：admin

このタスクについて
生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして Google Vertex AI を使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. Google Bard Vertex AI のレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。



4. 必須フィールドに入力します。

Google OAuth 接続

フィールド	Value (値)
プロジェクト ID	Google Cloud コンソールで見つかったプロジェクト ID
認証情報名	`Google OAuth` 認証情報などの認証情報の名前
OAuth 名	OAuth 認証の名前 (`Google` レジストリなど)
OAuth クライアント ID	OAuth クライアント ID を取得するには、次の属性を使用して Google Cloud コンソールで新しい OAuth クライアント ID を作成します。 **a.** アプリケーションタイプ: `Web アプリケーション` **b.** 許可されたリダイレクト URI:[OAuth リダイレクト URL] フィールドの URL (通常は `<instance>.service-now.com/oauth_redirect.do` 詳細については、 OAuth クライアント ID の作成に関する Google のドキュメント を参照してください。OAuth クライアントを作成すると、ポップアップウィンドウに [クライアント ID (Client ID)] と [クライアントシークレット (Client secret)] が表示され、クリップボードにコピーできます。
OAuth クライアントシークレット	Google Cloud コンソールにある OAuth クライアント ID のクライアントシークレット

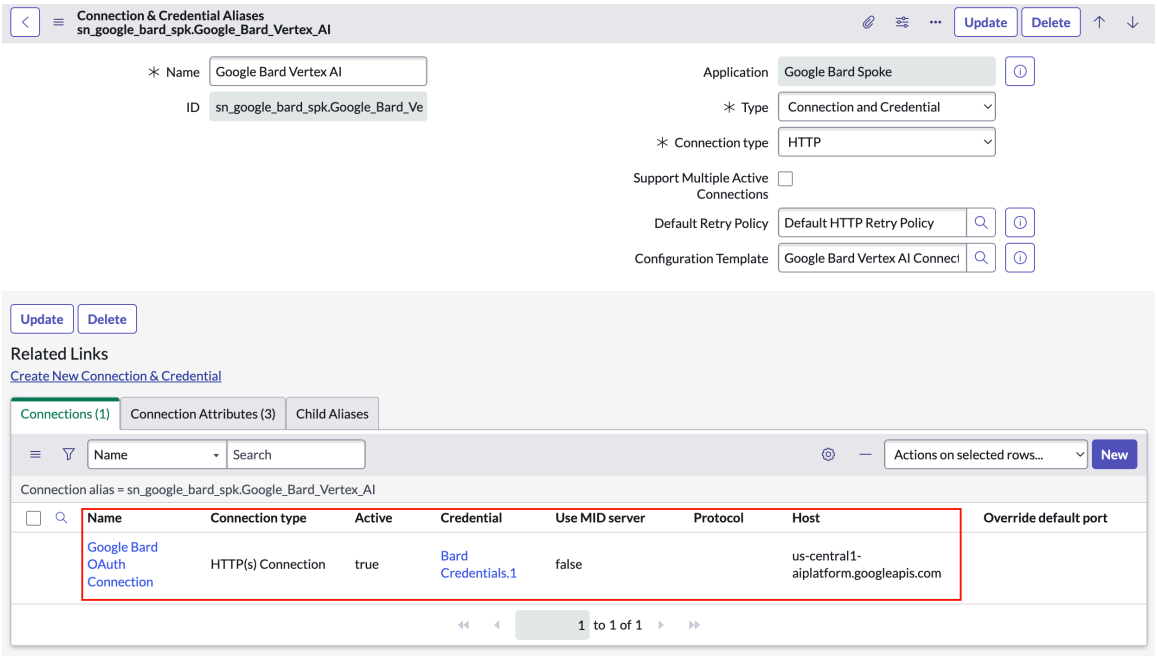
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ポップアップウィンドウで、プロジェクトへのアクセス権を持つ Google アカウントにログインします。
6. gsuite スポークの Google Cloud アクセスを求められたら、[許可] を選択します。

タスクの結果

フローデザイナー、仮想エージェントデザイナー、およびスクリプトで補完 - Vertex AI とチャット補完 - Vertex AI を使用して、生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成できるようになりました。



次のタスク

LLM プロバイダーを使用して、フローデザイナーでフロー、仮想エージェントデザイナーでトピック、または生成 AI のメリットをユーザーに提供するスクリプトを作成します。

IBM watsonx の API 認証情報の設定

カスタムワークフローおよび仮想エージェントデザイナーのトピックで IBM watsonx Granite モデルを使用するように API 認証情報を構成します。

始める前に

IBM watsonx 大規模言語モデル (LLM) を使用するには、 生成 AI コントローラー 機能を使用するように認証情報を構成する必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

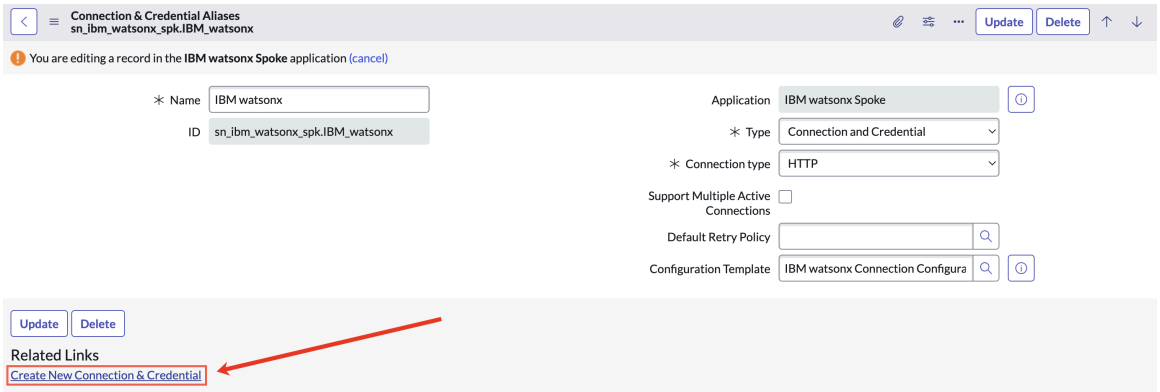
生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして IBM watsonx でモデルを使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. IBM watsonx という名前のレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



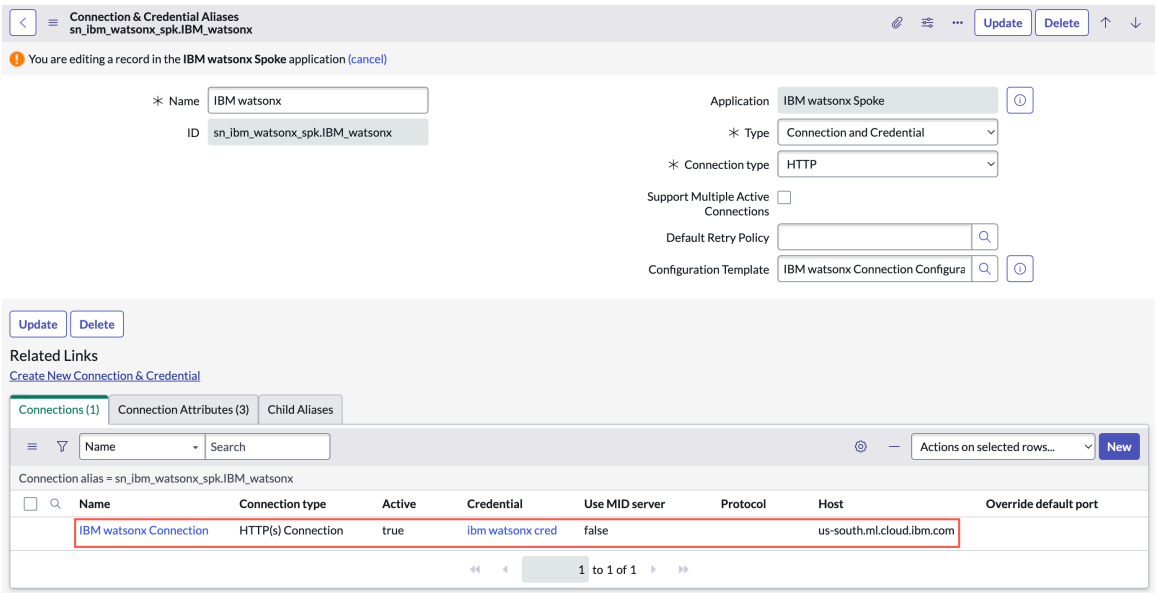
4. [API キー] フィールドに API キーを入力します。

   API キーの生成の詳細については、 認証用の API キーの生成に関する IBM のドキュメントを参照してください。

5. [作成] を選択して接続を作成します。

タスクの結果

フローデザイナー、仮想エージェントデザイナーで IBM watson とラベル付けされた機能、およびバックグラウンドスクリプトやビジネスルールなどのスクリプトを使用して、生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成できるようになりました。



次のタスク

MID サーバーで生成 AI 機能を使用する場合は、新しい接続レコードを開き、[**MID** サーバーを使用] チェックボックスをオンにして、レコードを保存します。

OpenAI の API 認証情報の設定

カスタムワークフローおよび仮想エージェントデザイナーのトピックで OpenAI を使用するように API 認証情報を構成します。

始める前に

OpenAI および Azure OpenAI 大規模言語モデル (LLM) を使用するには、 生成 AI コントローラー機能を使用するように認証情報を構成する必要があります。

必要なロール：admin

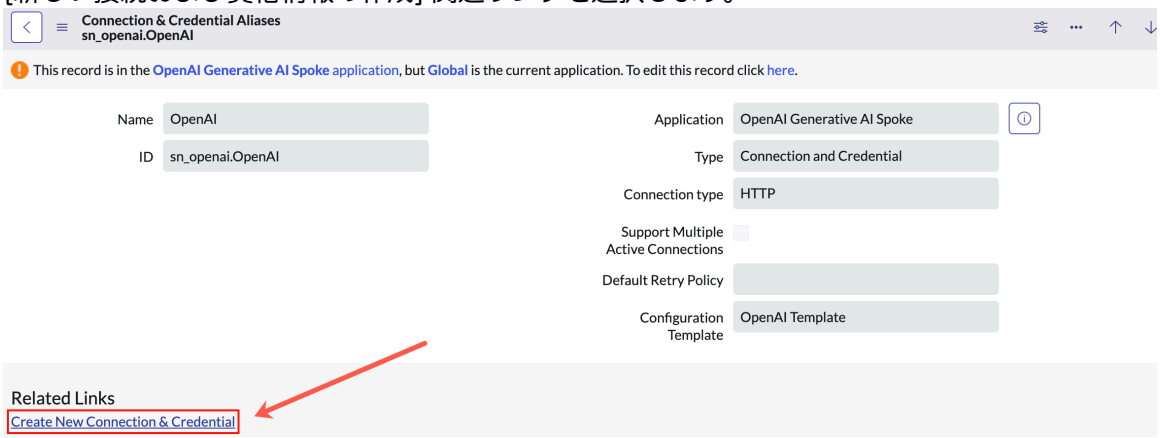
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
生成 AI コントローラー機能の LLM プロバイダーとして Azure OpenAI のモデルを使用するには、アクティブな接続が構成されている必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. OpenAI の生成 AI プロバイダーレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

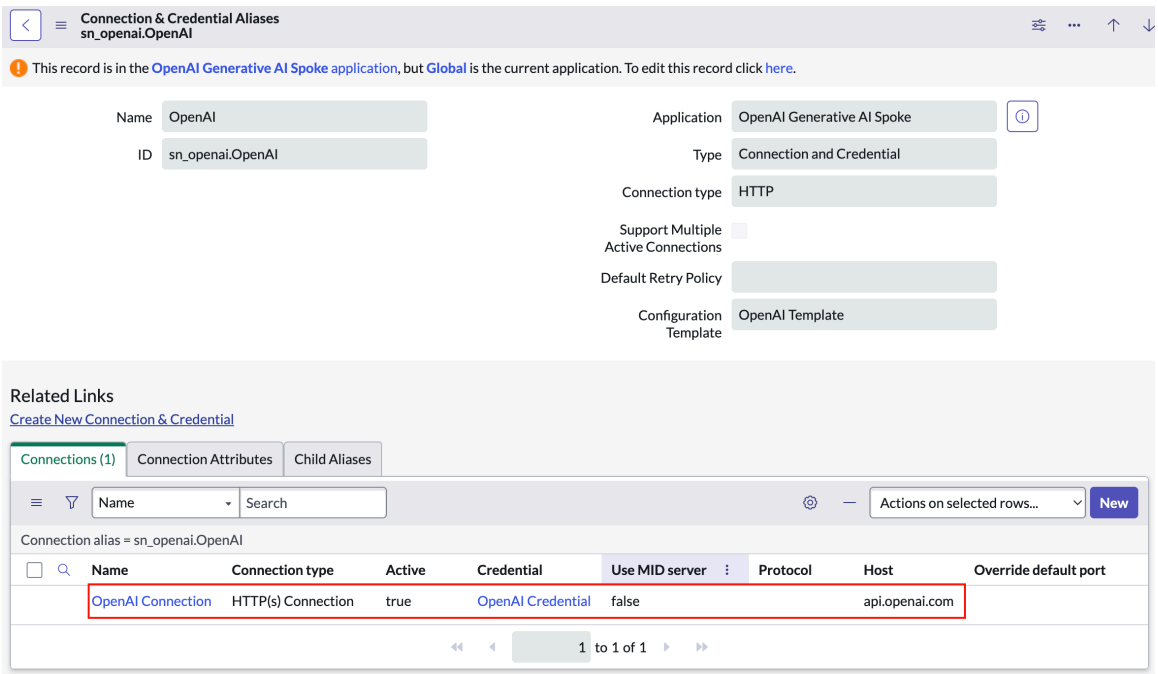


4. [API キー] フィールドに API キーを入力します。

   OpenAI の場合、認証情報情報については OpenAI API キー を参照してください。

5. [作成] を選択して接続を作成します。

タスクの結果
フローデザイナー、仮想エージェントデザイナーで OpenAI でラベル付けされた機能、およびバックグラウンドスクリプトやビジネスルールなどのスクリプトを使用して、生成 AI でカスタムエクスペリエンスを作成できるようになりました。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
MID サーバーで生成 AI 機能を使用する場合は、新しい接続レコードを開き、[**MID** サーバーを使用] チェックボックスをオンにして、レコードを保存します。

汎用大規模言語モデル **(LLM)** コネクタの **API** 認証情報の構成

汎用 LLM コネクタを使用して Now Platform を外部 AI プロバイダーに接続し、バックグラウンドやビジネスルールスクリプトなどのカスタム 仮想エージェント トピック、フロー、またはスクリプトで生成 AI 機能を使用します。

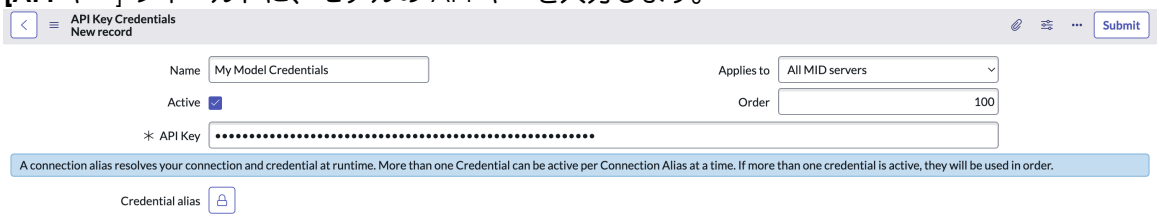
始める前に
認証情報を設定するには、外部 LLM の API にアクセスできる必要があります。

必要なロール：admin

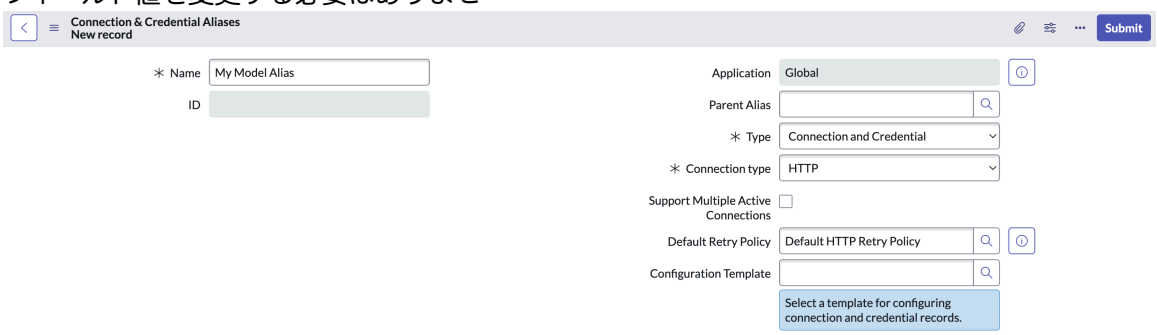
このタスクについて
外部 LLM を Now Platform に接続するには、モデルの接続エイリアスを作成し、エイリアスを指すモデルレコードを作成し、モデルのプロンプトレコードを作成してから、トランスフォーマーレコードを作成して LLM からの要求または応答を変換します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 認証情報.
2. **API** キー認証情報を選択
3. [名前] フィールドで、API 認証情報に名前を付けます。
   API キー認証情報にモデルの名前を含めると、後で識別しやすくなります。
4. **[API** キー] フィールドに、モデルの API キーを入力します。



5. [送信] を選択して認証情報を作成します。
   このステップでは、外部 LLM の API キー情報が設定されています。
6. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
7. **[New** (新規)] を選択します。
8. [名前] フィールドに、認証情報エイリアスの名前を入力します。
   他のフィールド値を変更する必要はありませ



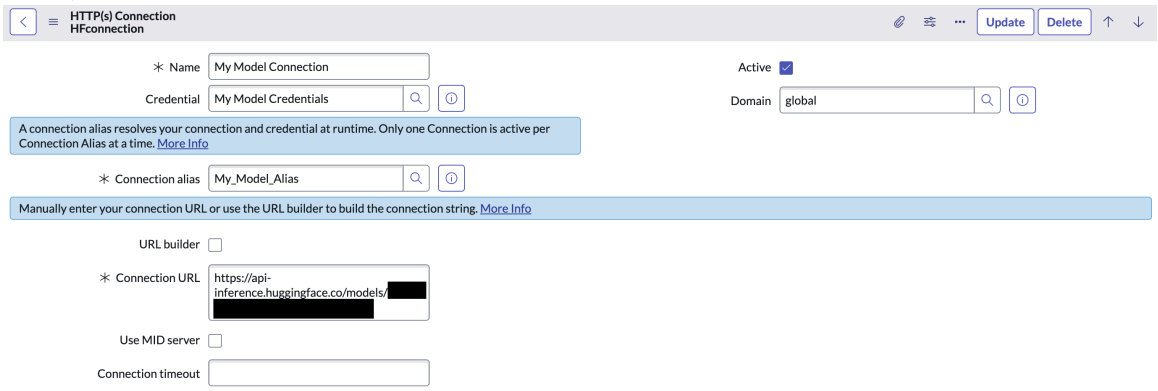
   ん。
9. **[Submit** (送信)] を選択します。
10. リストビューにリダイレクトされたら、作成したレコードを見つけて開きます。
11. [接続] 関連リストで [新規] を選択して、新しい接続レコードを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

12. [名前] フィールドに接続の名前を入力します。
13. [認証情報] フィールドで、モデルの API キーを使用して作成した認証情報レコードを選択します。

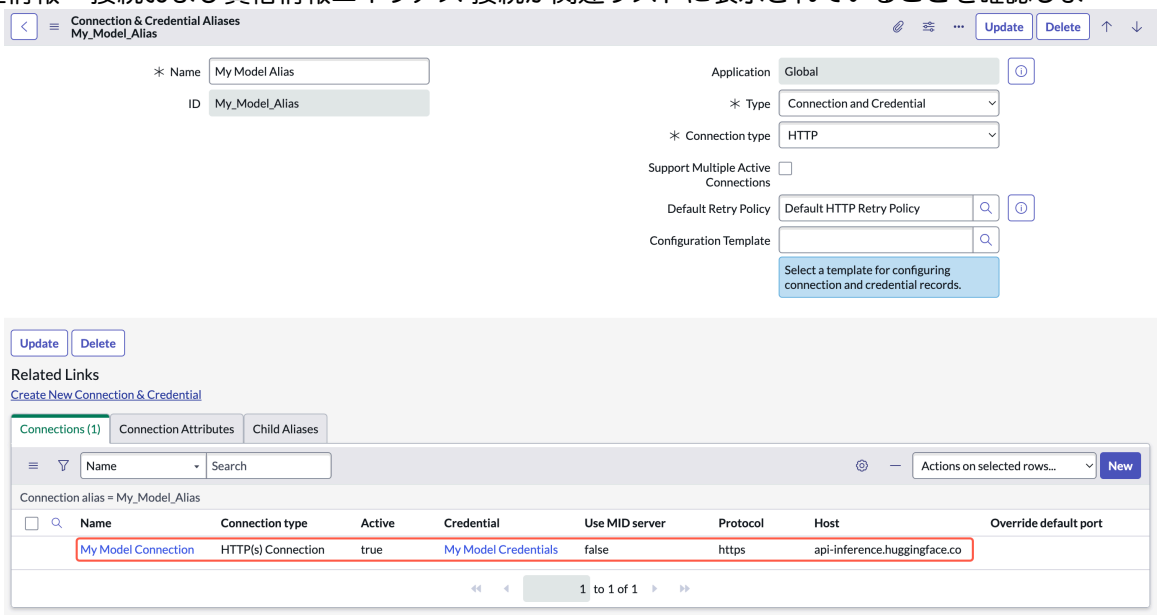
    フィールドに認証情報の名前を入力します。ルックアップアイコン ( )を選択して、完全なリストを含むモーダルを開くこともできます。
14. [接続エイリアス] フィールドで、作成したエイリアスレコードを選択します。
15. [接続 URL] に、モデルのエンドポイント URL を入力します。
    たとえば、「Hugging Face」のモデルは「https://api-inference.huggingface.co」で始まる場合があります。残りのフィールドはそのままにしておくことができます。



16. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

Now Platform で生成 AI 機能を使用するように汎用 LLM を接続するために使用する接続および資格情報エイリアスがあります。これを確認するには、次に移動します: **All** (すべて) > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス 接続が関連リストに表示されていることを確認します。



次のタスク

汎用 LLM の構成の詳細については、「汎用 LLM コネクタの構成」を参照してください。

汎用大規模言語モデル **(LLM)** コネクタの構成

汎用 LLM コネクタを使用して、外部 LLM を Now Platform に接続します。コネクタを使用すると、独自のプロンプトを作成して LLM に送信し、独自の生成 AI 機能を作成できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

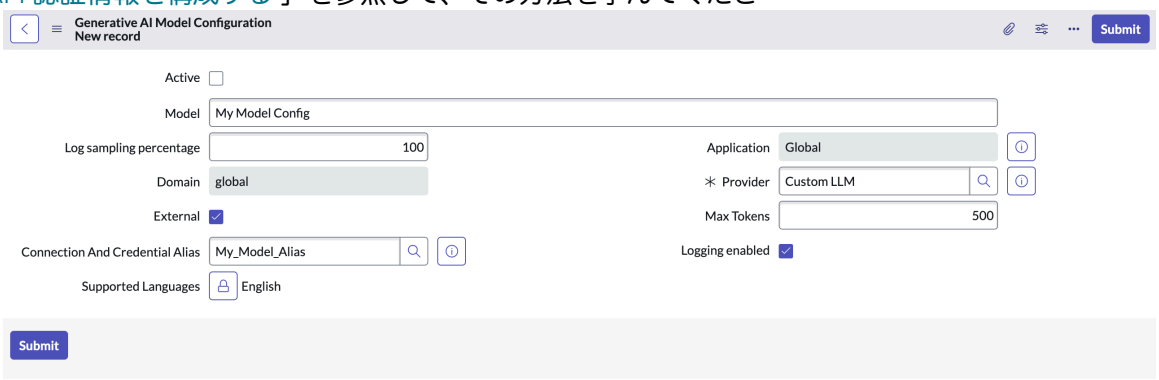
始める前に
コネクタを設定する前に、LLM の API 認証情報を設定する必要があります。詳細については、「汎用 LLM の API 認証情報の構成」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
生成 AI コントローラー は、 Azure OpenAI や Google Vertex などの一般的な AI サービスプロバイダーへのベースシステム接続を複数提供します。ただし、業界の LLM、ケース固有の LLM、または組織のデータ処理ポリシーに準拠する LLM をカスタムワークフローに組み込むことができます。

注: 生成 AI コントローラー はテキスト生成のみをサポートしています。

手順

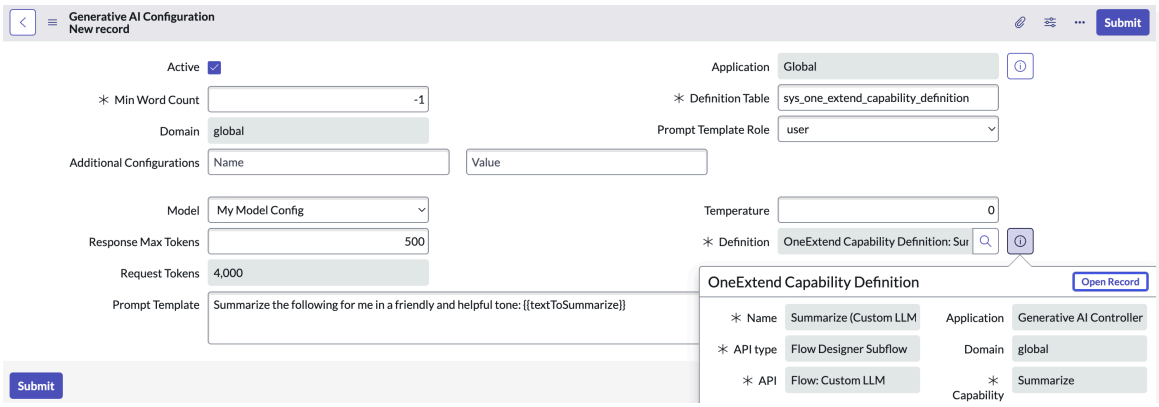
1. ナビゲーションフィルターで、「`sys_generative_ai_model_config.list`」と入力して生成 AI モデル構成 [sys_generative_ai_model_config] テーブルに移動します。
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. [モデル] フィールドにモデルの名前を入力します。
   Azure OpenAI を使用している場合、モデル名はリソースのデプロイ名です。
4. [プロバイダー] フィールドで、[カスタム **LLM**] を選択します。
5. [接続および資格情報エイリアス] フィールドで、認証情報の設定時に作成したエイリアスを選択します。
   API 認証情報をまだ構成していない場合は、「汎用大規模言語モデルの API 認証情報を構成する 」を参照して、その方法を学んでくださ
   

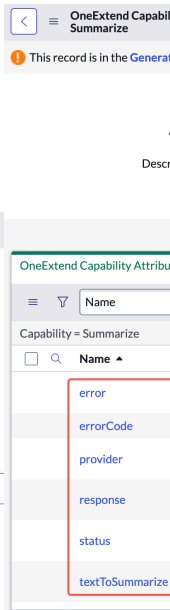
   い。
6. [送信] を選択してモデル構成を作成します。
   モデル構成は、外部モデルの API キーに関連付けられています。
7. ナビゲーションフィルターで、「`sys_generative_ai_config.list`」と入力して生成 AI 構成 [sys_generative_ai_config] テーブルに移動します。
8. **[New** (新規)] を選択します。
9. [定義] フィールドの横にあるリストルックアップアイコン ( )を選択します。
10. [ドキュメントを選択] モーダルで、カスタム LLM プロバイダーで構成する機能を選択します。
    たとえば、要約作成機能を構成する場合は、[要約を作成 (カスタム **LLM)]** を選択します。
11. **[OK**] を選択して選択内容を保存し、モーダルを閉じます。
12. [モデル] フィールドで、ステップ 6 で作成したモデル構成を選択します。
    定義を選択すると、[モデル] フィールドが、カスタム LLM プロバイダーを使用するオプションを含むドロップダウンメニューに変わります。行ったモデル構成がこのリストに表示されます。そうでない場合は、ステップ 1 に戻り、モデル構成の [プロバイダー] フィールドが [カスタム **LLM**] に設定されていることを確認します。
13. [プロンプトテンプレート] フィールドに、ケイパビリティのプロンプトを入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロンプトテンプレートは、機能を実行するために LLM に送信される指示です。機能属性の名前を 2 つの中括弧で囲んで、プロンプトテンプレートに組み込みます。たとえば、要約作成機能を設定している場合、プロンプトテンプレートは、 `親しみやすく役立つ口調で「次を要約してください:{{textToSummarize}}」` になります。プロンプトに含めることができる属性を確認するには、OneExtend 機能 [sys_one_extend_capability] テーブルに移動し、構成している機能のレコードを見つけて、[OneExtend 機能属性] 関連リストを確認します。





す。
スケースに最適なプロンプトを判断するために、さまざまなプロンプトを試す必要がある場合があります。

14. [送信] を選択して、新しい生成 AI 構成を作成します。
15. ナビゲーションフィルターで、「`sys_generative_ai_custom_llm_transformer`」と入力して生成 AI カスタム LLM トランスフォーマー [sys_generative_ai_custom_llm_transformer] テーブルに移動します。
16. **[New** (新規)] を選択します。
17. トランスフォーマースクリプトを記述します。
カスタム LLM の入力と出力の形式 生成 AI コントローラー 理解できるようにするには、トランスフォーマースクリプトを記述する必要があります。トランスフォーマーレコードを作成すると、編集時のガイドとして使用できるコードとコメントが提供されます。これらのスクリプトは、モデルによって解釈される予期される要求オブジェクトと応答オブジェクトに依存します。

    たとえば、 Azure OpenAI 要求構造は次のスクリプトのようになります。

```
{"messages": [{"role":"user", "content":"Summarize the following text:
 <<content>>"}], "max_tokens": 800, "temperature": 0.7}
```

    その要求構造の要求トランスフォーマースクリプトは、次のスクリプトです。

```
(function(inputs) {
    /* write code here to construct the request body and any custom
 headers needed using the inputs object.
    inputs structure: {
        prompt_data: object,
        request_data: object
    } */
    var requestData = inputs.request_data;
    var promptData = inputs.prompt_data;
    var prompt = promptData.prompt;
    var model = promptData.model;
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    // construct body using the inputs
    var body = {
        messages: [{
        "role": "user",
        "content": prompt
        }],
        max_tokens: parseInt(promptData.max_tokens),
        temperature: parseInt(promptData.temperature)
    };

    //construct headers using the inputs
    var headers = {};
    return {
        body: body,
        headers: headers
    };
})(inputs);
```

Azure OpenAIからの応答構造は、次のスクリプトのようになります。

```
{
    "choices": [{
    "finish_reason": "stop",
    "index": 0,
    "message": {
        "content": "<<response>>",
        "role": "assistant"
        }
    }],
    "created": 1714994995,
    "id": "chatcmpl-9LqpXeLVXDAi6kciPfLeIDjmALeea",
    "model": "gpt-35-turbo-16k",
    "object": "chat.completion",
    "usage": {
        "completion_tokens": 47,
        "prompt_tokens": 70,
        "total_tokens": 117
    }
}
```

このような応答構造のため、応答トランスフォーマースクリプトは次のスクリプトのようになります。

```
(function(inputs) {
    /* write code here to transform the llm response into an array of
 text responses, using the inputs object
    inputs structure: {
        prompt_data: object,
        request_data: object,
        response_body: string,
        response_headers: string
    } */
    var requestData = inputs.request_data;
    var promptData = inputs.prompt_data;
    var responseBody = JSON.parse(inputs.response_body);
    gs.info("response : " + inputs.response_body);
    var responseTexts = [];
```


© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    // write code here to populate the responseTexts array.
    responseTexts.push(responseBody.choices[0].message.content);

    return responseTexts;

})(inputs);
```

18. [送信] を選択してトランスフォーマースクリプトを作成します。

タスクの結果
外部 LLM が 生成 AI コントローラー に接続されています。Now Platformの生成 AI 機能に AI サービスプロバイダーを使用できます。

次のタスク
LLM を接続すると、 生成 AI コントローラー の生成 AI 機能のプロバイダーを設定できます。機能は、汎用プロンプト、コンテンツの生成、感情分析、要約作成です。プロバイダーの選択の詳細については、「 生成 AI 機能のプロバイダーを設定する」を参照してください。

生成 AI 機能のプロバイダーの設定

生成 AI コントローラー の各生成 AI 機能に使用する AI プロバイダーを決定します。

始める前に
希望するプロバイダーの認証情報を設定します。詳細については、「生成 AI 機能の API 認証情報の構成」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
生成 AI コントローラー にはデフォルトで 4 つの機能があります。プロバイダーは、ステップ 2 のテーブルにリストされている機能に対してのみ構成できます。他の Now Assist アプリケーションをインストールしている場合は、OneExtend 機能テーブルに他の機能が表示されることがあります。これらの他の機能はプロバイダーとして Now LLM サービス を使用し、再構成することはできません。

手順
1. ナビゲーションフィルターで、「`sys_one_extend_capability.list`」と入力して OneExtend 機能テーブルを検索します。
2. 感情分析など、構成する機能のレコードを開きます。

生成 AI コントローラー Cアパビリティ

機能	定義
コンテンツの生成	指定されたトピックに関するテキストを フローデザイナー と 仮想エージェントデザイナーで生成します。
汎用プロンプト	独自のユースケースとプロンプトを作成します。
感情分析	フローデザイナーと仮想エージェントデザイナーを使用してユーザーの感情を分析します。

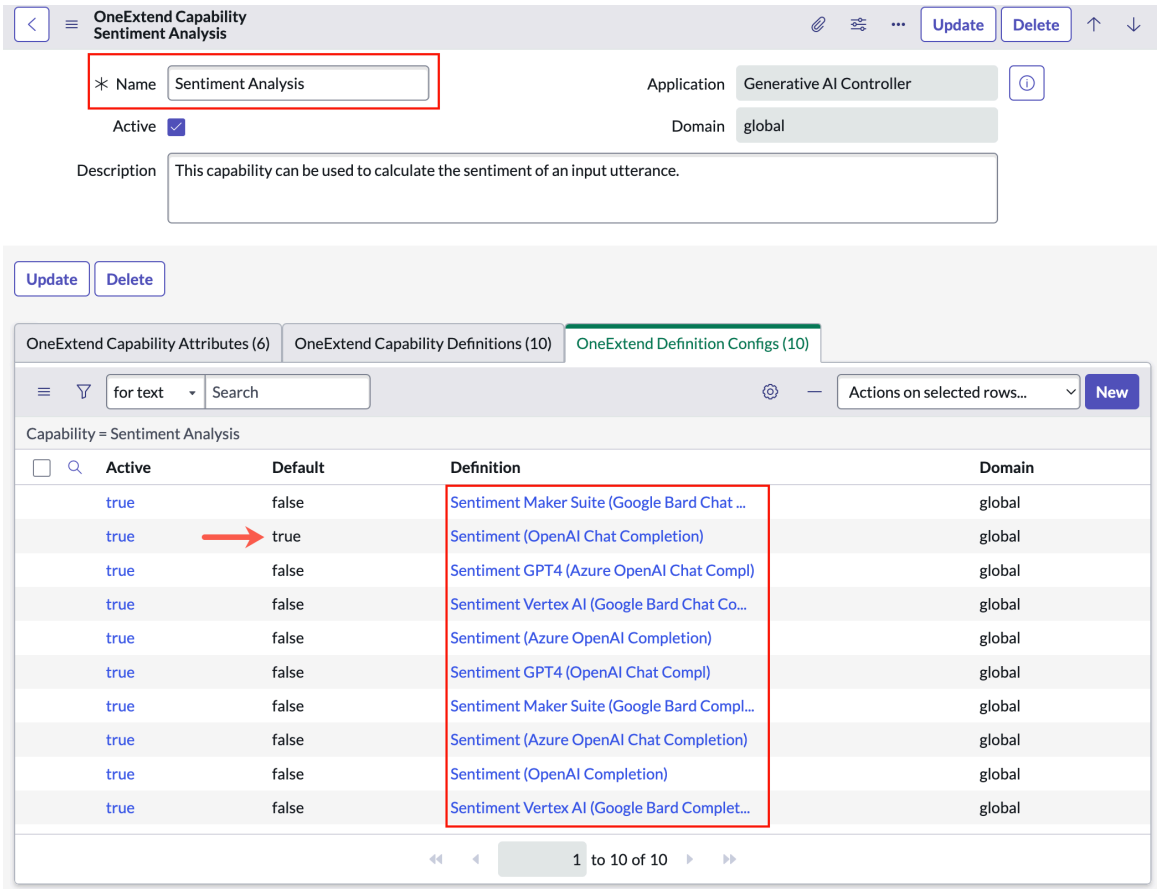
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

機能	定義
要約を作成	フローデザイナーと仮想エージェントデザイナーを使用してトピックのサマリーを作成します。

3. [OneExtend 定義構成] 関連リストで、希望する機能プロバイダーの [デフォルト] を `true` に設定します。

   注: デフォルトでは、1 つの機能に対して選択できるプロバイダーは 1 つだけです。たとえば、感情 (OpenAI Completion) のデフォルトが `true`の場合、感情 (OpenAI) のデフォルトを `true`に変更する前に、[デフォルト] を `false` に設定する必要があります (Azure OpenAI)。



モデルオプション
機能ごとに複数の異なるモデルから選択できます。

機能定義	モデル
◦ OpenAI 完了 ◦ Azure OpenAI 完了	GPT-3
◦ OpenAI Chat 補完 ◦ Azure OpenAI Chat 補完	GPT-3.5

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

機能定義	モデル
◦ GPT4(OpenAI Chat Compl) ◦ GPT4 (Azure OpenAI Chat Compl)	GPT-4
◦ AI スタジオ (Google Cloud Completion) ◦ AI スタジオ (Google Cloud Chat Completion) ◦ Vertex AI (Google Cloud Completion) ◦ Vertex AI (Google Cloud Chat Completion)	グーグルジェミニ
Aleph Alpha 完了	明るい
IBM watsonx	花崗岩

タスクの結果
生成 AI 機能を使用するフロー、トピック、およびスクリプトは、指定したプロバイダーを使用します。

次のタスク
生成 AI を使用してフローを作成し、仮想エージェントトピックをビルドし、スクリプトを記述して、エージェントとユーザー向けのコンテンツを作成する際の効率を向上させます。

Amazon Bedrockのモデルを選択

カスタムスキルに Amazon Bedrock で使用する大規模言語モデル (LLM) を選択します。

始める前に
最新バージョンの 生成 AI コントローラー と Amazon Bedrock スポークがインスタンスにインストールされている必要があります。API 認証情報も設定する必要があります。詳細については、次を参照してください。 の API 認証情報の構成 Amazon 岩盤.

必要なロール：admin

このタスクについて
Amazon Bedrock で使用するために複数のモデルが設定されている場合があります。デフォルトでは、設定では Amazon の Titan モデルが使用されますが、生成 AI モデル構成レコードを変更することで、別のモデルを使用するようにスポークを構成できます。

手順

1. フィルターナビゲーターで、「`sys_generative_ai_model_config.list`」と入力して生成 AI モデル構成テーブルに移動します。
2. [プロバイダー] フィールド列で `Amazon Bedrock` を検索し、結果のレコードを開きます。
3. [モデル] フィールドに、使用するモデルの ID を入力します。
   モデル ID は 基盤モデル > ベースモデル Amazon Bedrockのページ。
4. [保存] をクリックしてレコードを更新します。
5. 選択したモデルをカスタムスキルにマッピングします。

   a. フィルターナビゲーターで、「`sys_generative_ai_config.list`」と入力して生成 AI 構成テーブルに移動します。

   b. サービスプロバイダーとして Amazon Bedrock を使用する作成したカスタムスキルを検索し、レコードを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

定義は OneExtend 機能定義:<スキルの名前>である必要があります。

c. [モデル] フィールドを手順 3 で入力したモデル ID に設定します。

タスクの結果
Amazon Bedrock プロバイダーで選択したモデルは、カスタムスキルに使用されます。

次のタスク
Now Assist スキルキットの Amazon Bedrock プロバイダーを使用してカスタムスキルを作成し、ステップ 6 を実行して新しいモデルを設定できます。

で生成 AI 機能を有効にする 仮想エージェントデザイナー

生成 AI 機能を 仮想エージェント トピックに追加して、テキストの生成、情報の要約、ユーザーの感情の分析、大規模言語モデル (LLM) の操作を行います。

始める前に
Vancouverパッチ 2 以降のリリースを使用している必要があります。

必要なロール：admin

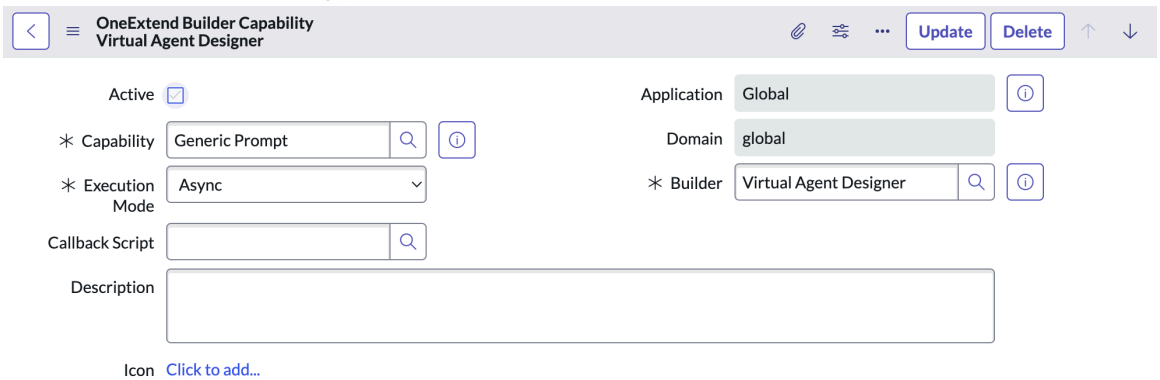
手順

1. ナビゲーションフィルターに 「sys_one_extend_builder_config.list 」と入力して、[OneExtend Builder 構成] テーブルに移動します。
2. 仮想エージェントデザイナーレコードを開きます。
3. OneExtend Builder 機能の関連リストで、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

OneExtend Builder 機能フォーム

フィールド	説明
機能	希望するプロバイダーの 仮想エージェントデザイナー で利用できる機能。機能には少なくとも 1 つのプロバイダーが必要ですが、すべての機能に同じプロバイダーを使用する必要はありません。
実行モード	他のプロセスに関連して機能をいつ実行するかを決定するモード。[仮想エージェントデザイナー] で [非同期] を選択します。[同期] および [起動して忘れる] オプションはサポートされていません。

汎用プロンプトビルダー定義フォーム



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。
6. 有効にする機能ごとに手順 3 ～ 5 を繰り返します。

タスクの結果
仮想エージェントデザイナーでは生成 AI 機能を利用できます。

次のタスク
トピックとトピックブロックを作成し、生成 AI 機能で仮想エージェントを拡張します。

仮想エージェントデザイナーのアクショントピックブロックを使用して、フローデザイナーアクションに直接アクセスすることもできます。

雑談フィルターの設定

挨拶、感謝の気持ち、苦情、クローズ要求などの雑談が会話で検出された場合は、ユーザーを別の仮想エージェントトピックにリダイレクトします。

始める前に
必要なロール：admin

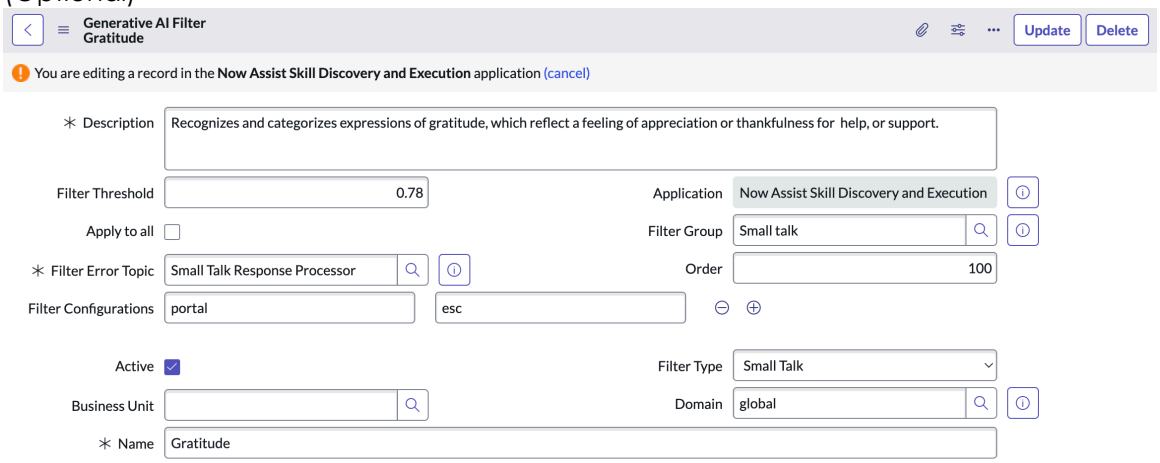
このタスクについて
生成 AI と関わるとき、多くの人が会話メッセージを送信しますが、それはユーザーの目標達成を支援する方法を決定する際に、最終的に仮想エージェントにとって役に立ちません。これらの会話メッセージをキャッチする雑談フィルターを設定できます。ユーザーが挨拶などのメッセージを送信したり、会話に関する不満を表明したりしている場合は、ユーザーのニーズに合わせてリダイレクトできます。

手順
1. ナビゲーターで、「`sys_gen_ai_filter.list`」と入力して生成 AI フィルター [sys_gen_ai_filter] テーブルに移動します。
2. 構成する雑談フィルターのレコードを開くか、[新規] を選択して作成します。
   デフォルトでは、雑談に使用できる 4 つのフィルターは、[挨拶]、[感謝]、[苦情]、および [終結] です。他のフィルターが表示されている場合、それらのフィルターは Now Assist アドミンコンソールでセットアップできる機密トピックフィルターです。詳細については、「生成 AI の件名フィルターの構成」を参照してください。
3. フィルターを作成する場合は、フィルターの [名前] と [説明] を追加します。
4. 雑談フィルターが検出されたときにユーザーをリダイレクトするフィルターエラートピックを選択します。
   デフォルトでは、ユーザーは [Small Talk 応答プロセッサ] トピックにリダイレクトされます。
5. [順序] フィールドで、フィルターを適用する順序を選択します。
   フィルターは、最も小さい順に処理されます。順序 100 のフィルターは、順序 200 のフィルターの前に処理されます。
6. オプション: [フィルター構成] フィールドで、「portal」という名前を使用して、フィルターを実行する場所を決定します。たとえば、「portal」を値「sp」に設定して、sp ポータルにのみフィルターを適用します。
   複数の値を選択するには、カンマ区切りリストを使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

(Optional)



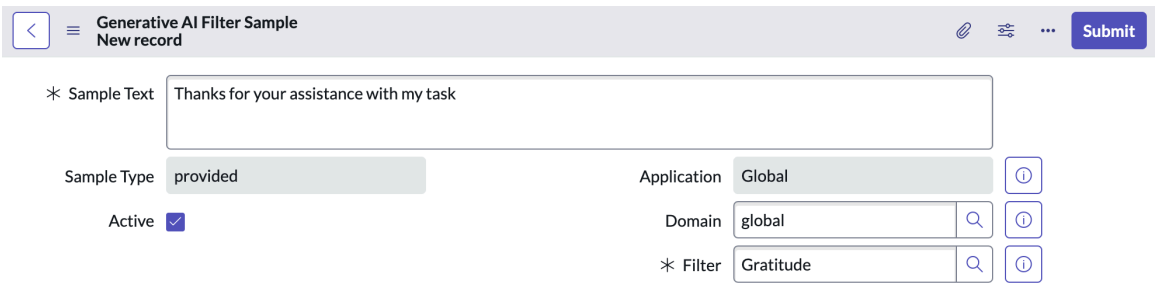
7. [保存] を選択して変更を保存します。
8. ナビゲーターで、「`sys_gen_ai_filter_sample.list`」と入力して生成 AI フィルターサンプル [sys_gen_ai_filter_sample] テーブルに移動します。
9. オプション: 各フィルターのサンプルフレーズを確認します。
   これらのサンプルフレーズに一致するステートメントは、選択したフィルターをアクティブにします。サンプルフレーズを手動で作成するには、テーブルにレコードを作成するか、生成 AI を使用してサンプルを生成します。

   a. サンプルを手動で作成するには、 新規 を選択します。

   b. [サンプルテキスト] フィールドに、フィルターで捕捉するテキストのサンプルテキストを入力します。

   c. [フィルター] フィールドで、サンプルを適用するフィルターを選択します。

   d. 生成 AI でさらにサンプルフレーズを生成する場合は、目的のフィルターのサンプルフレーズのレコードを開きます。
   たとえば、感謝フィルターの "タスクのサポートに感謝" サンプル フィルターなどです。



   (Optional)

   e. [サンプルを生成] を選択して、フィルターをトリガーする追加のサンプルステートメントを作成します。
   指定するサンプルステートメントが多いほど、フィルターがその動作に対する期待と一致する可能性が高くなります。

タスクの結果
生成 AI との会話中に、フィルタリングされた件名または感情が検出されると、ユーザーは新しいトピックにリダイレクトされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

大規模な入力に対して再帰的な要約を有効にする

再帰要約を使用して、大規模言語モデル (LLM) への要求を小さな断片に分割し、生成 AI 機能のコンテキストを維持できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
LLM には、1 回の要求で処理できるトークンの最大数があります。アクティビティフィールドなどの特定のフィールドには、これらの制限内に収まりきらない情報が含まれている場合があります。再帰要約では、LLM に提供された情報がチャンクに分割され、各チャンクが個別に要約されてから、要約されたチャンクで元の要求が処理されます。チャンクは、すべてのピースでコンテキストが保持されるように、ピース間のオーバーラップで編成されます。

注: 再帰要約を有効にすると、LLM に対して 1 回だけでなく複数の呼び出しを行う必要があるため、大きな入力の処理が遅くなる可能性があります。

手順

1. ナビゲーターフィルターで、「`sys_one_extend_capability.list`」と入力して [OneExtend 機能] リストに移動します。
2. 変更する OneExtend 機能のレコードを開きます。
3. [OneExtend 定義構成] 関連リストで、再帰要約を有効にする OneExtend 定義の [大規模な入力サポート を有効にする] を true に設定します。
4. [OneExtend 機能属性] 関連リストで、再帰要約を追加するフィールドの [大きな入力を含む] を true に設定します。
   アクティビティフィールドなど、大量のデータを含む可能性が最も高いフィールドの値は true に設定する必要があります。OneExtend 機能属性レコードの [大きな入力を含む] チェックボックスをオンにし、レコードを保存して値を true に設定することもできます。

タスクの結果
再帰要約は、この手順で指定されたフィールドの OneExtend 機能に対して有効になっています。

生成 AI コントローラーの機能の 動的翻訳 を有効にする

英語以外の言語を話すユーザーをサポートするために、 動的翻訳 を使用して生成 AI 機能の複数言語サポートを追加します。

始める前に
動的翻訳 および Conversational 動的翻訳 プラグインをインスタンスにインストールして有効にする必要があります。動的翻訳の設定の詳細については、「 動的翻訳の構成」 を参照してください。

翻訳構成テーブル (sn_dt_translator_configuration) にデフォルトの翻訳構成を設定する必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて
デフォルトでは、生成 AI コントローラーを使用する機能では 動的翻訳 は非アクティブです。

動的翻訳 は、 仮想エージェント または Now Assist パネルの機能では使用できません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ナビゲーターに「sys_one_extend_capability.list」と入力して、OneExtend 機能 (sys_one_extend_capability) テーブルに移動します。
2. 動的翻訳を有効にするケイパビリティのレコードを開きます。
3. [OneExtend 機能属性] 関連リストで、翻訳する属性 (応答など) のレコードを開きます。
4. [翻訳] を選択して翻訳を有効にします。
   フォームにフィールドが表示されない場合は、フォームを編集して [翻訳] を表示する必要があります。フィールドをフォームに追加する方法の 1 つは、フォームのテーブル名の横にあるメニューアイコンを選択して、 構成 > フォームレイアウト. [選択済み] リストに [翻訳] フィールドを追加します。次に、[保存] を選択してフォームを保存します。その後、フィールドが選択可能なレコードにリダイレクトされます。
5. [送信] をクリックしてレコードを保存します。

タスクの結果
動的翻訳 は、選択した属性の生成 AI 機能に対してインストールされます。

LLM 仮想エージェント会話の動的翻訳を無効にする

他の言語を話すユーザーをサポートするために、生成 AI トピックでチャットメッセージを ServiceNow 大規模言語モデル (Now LLM) に送信する前に、チャットメッセージを英語に動的に翻訳できるようにします。

始める前に
仮想エージェント動的翻訳がインストールされ、仮想エージェントに対してアクティブになっている必要があります。詳細については、 仮想エージェント での言語の検出と動的機械翻訳の使用 をご覧ください。

必要なロール：admin

このタスクについて
動的翻訳 はデフォルトで有効になっています。

仮想エージェント動的翻訳には一定の制限があります。カタログアイテム名は自動的に翻訳されず、言語検出用に構成された言語のみが認識されます。

手順

1. ナビゲーターに「sys_properties.list 」と入力して、[システムのプロパティ] テーブルに移動します。
2. 虫眼鏡アイコン (を選択して、列検索行を展開します。
3. [名前] 列に「 `sn_generative_ai.disable_dynamic_translation` 」と入力し、 **Enter** キーを押して検索し、一致するレコードを開きます。
4. このプロパティの値を `true` に設定します。
5. [保存] を選択してレコードを保存します。

タスクの結果
チャット要求者の発言は、 Now LLM に送信される前に英語に翻訳され、出力メッセージは要求者の優先言語に翻訳されます。

プロバイダーのレート制限の設定

特定の期間内に実行できる要求の数を制限することで、one_extend要求へのトラフィックフローを制御するレート制限を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
one_extend要求のレート制限を行うには、受信要求のレート制限ルールを定義する必要があります。One Extend レート制限ルールテーブルで独自のルールを作成できます。

手順

1. ServiceNowインスタンスで、One Extend レート制限ルール [sys_one_extend_rate_limit_rules_list] テーブルに移動し、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

One Extend レート制限ルールフォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	レート制限ルールの名前。レート制限ルールを名前で識別します。
アプリケーション	グローバルに設定する必要があるアプリケーションスコープ。
リソース	レート制限ルールに対して選択するリソース。 レート制限ルールには、次のいずれかのリソースを使用します。 ◦ **LLM** プロバイダー:LLM プロバイダーの場合は、生成 AI プロバイダーマッピングを選択します。 ◦ 機能定義:[機能定義] で、[One Extend 機能定義] を選択します。 ◦ すべての機能:すべてのプロバイダーとすべての機能定義に適用されます。
ルール タイプ	レート制限ルールのルールタイプ。 次のオプションを使用してルールタイプを定義します。 ◦ インスタンス:そのインスタンスのすべてのユーザーからデータを蓄積します。 ◦ ユーザー:ユーザーごとの要求数を保持します。
1 時間当たりの要求制限	1 時間あたりに受信する要求の最大数。
[Active (アクティブ)]	レート制限ルールのステータス。

3. [**Submit** (送信)] を選択します。

生成 **AI** コントローラー の使用

生成 AI コントローラーを使用して、生成 AI をフローデザイナー、仮想エージェントデザイナー、およびスクリプティングと統合します。

での 生成 AI コントローラー の使用 フローデザイナー

フローデザイナーのあるフローで生成 AI コントローラー機能を使用します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

での 生成 AI コントローラー の使用 仮想エージェントデザイナー

仮想エージェントデザイナーを使用して仮想エージェントトピックで生成 AI コントローラー機能を使用します。

での感情分析の使用 フローデザイナー

[感情の分析] 機能を使用して、ユーザーの態度と、 フローデザイナーを含むフローになる使用を判断します。

でのスクリプトの使用 生成 AI コントローラー

生成 AI の力を直接活用するためのスクリプトを記述します。

での 生成 **AI** コントローラー の使用 フローデザイナー

情報を自動的に要約し、フローデザイナー の [要約を作成] アクション生成 AI コントローラー使用してフォームに追加します。任意のフィールドを要約するフローをビルドできます。

始める前に

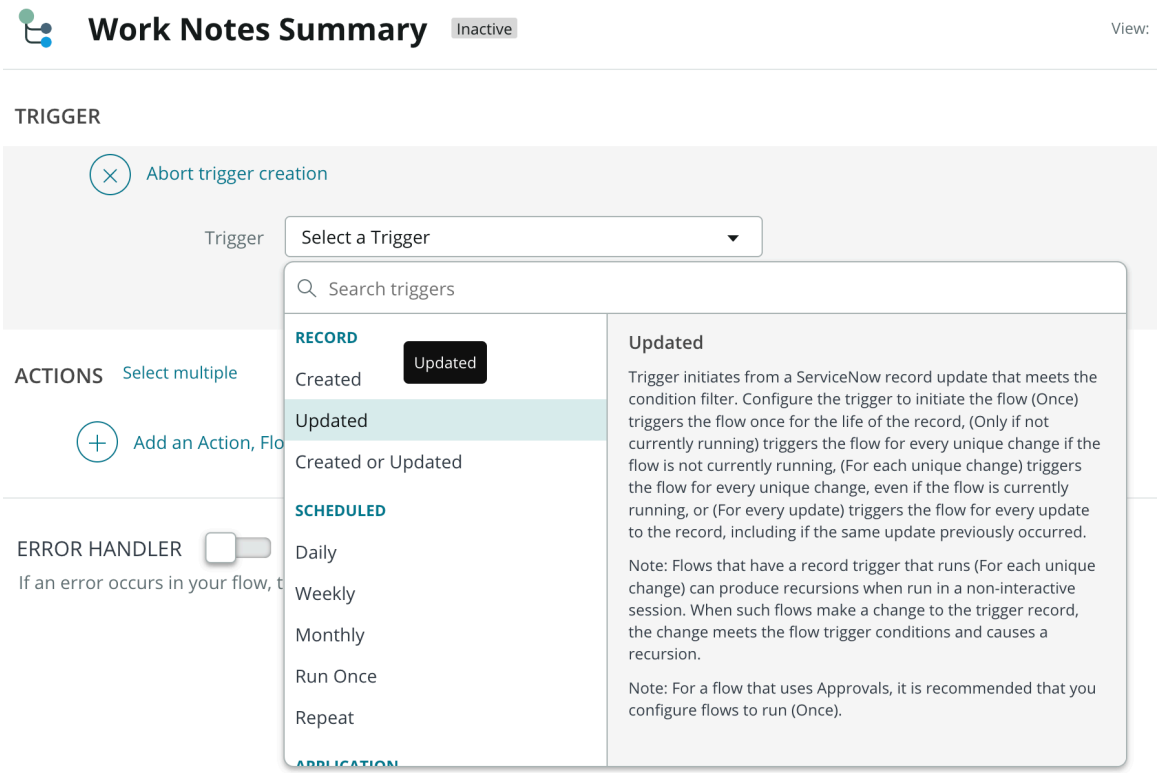
必要なロール：admin

このタスクについて

この例では、フローをビルドしてインシデントの作業メモのコメントを要約し、その要約を解決メモで使用できます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
2. 選択 新規 > フロー.
3. 「 コメントと作業メモの要約」など、フローの名前を入力します。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. **[Add a trigger** (トリガーを追加)] を選択します。
6. フローを実行するタイミングを選択します。
   この例に従うには、 レコード > 更新日



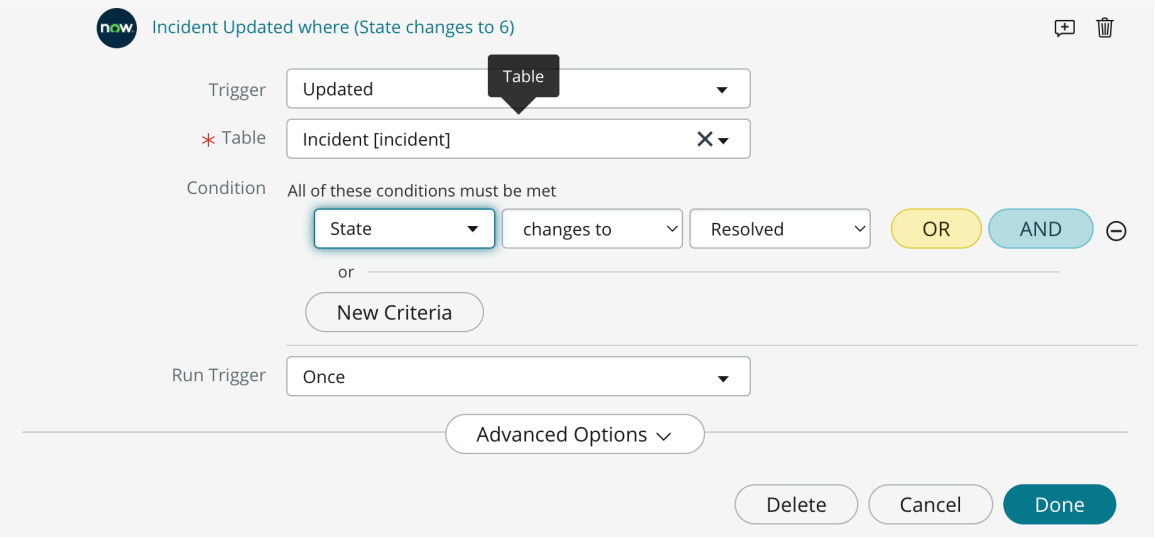
時.

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

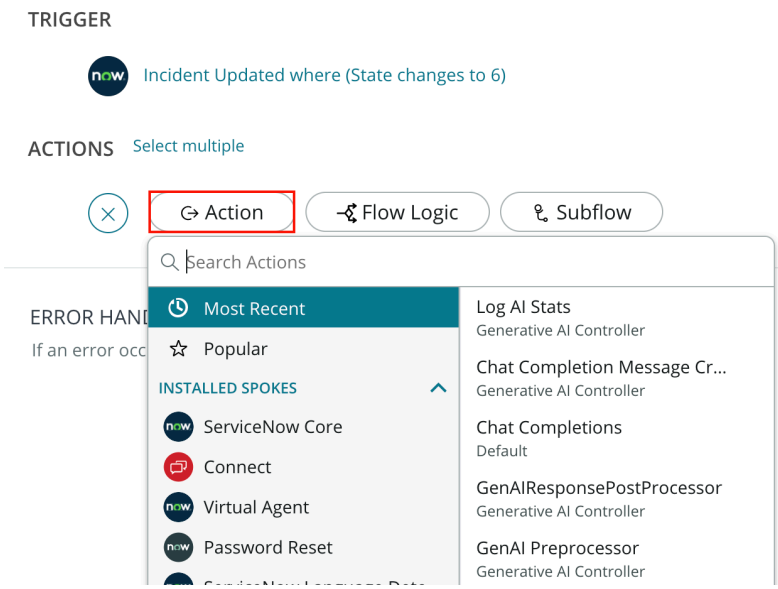
7. フローを実行するテーブルを選択します。
   この例では、インシデントテーブルを選択します。
8. [フィルターを追加] ボタンを選択して、フローの条件を追加します。
   [状態] が [解決済み] に変わることが条件で

TRIGGER



す。

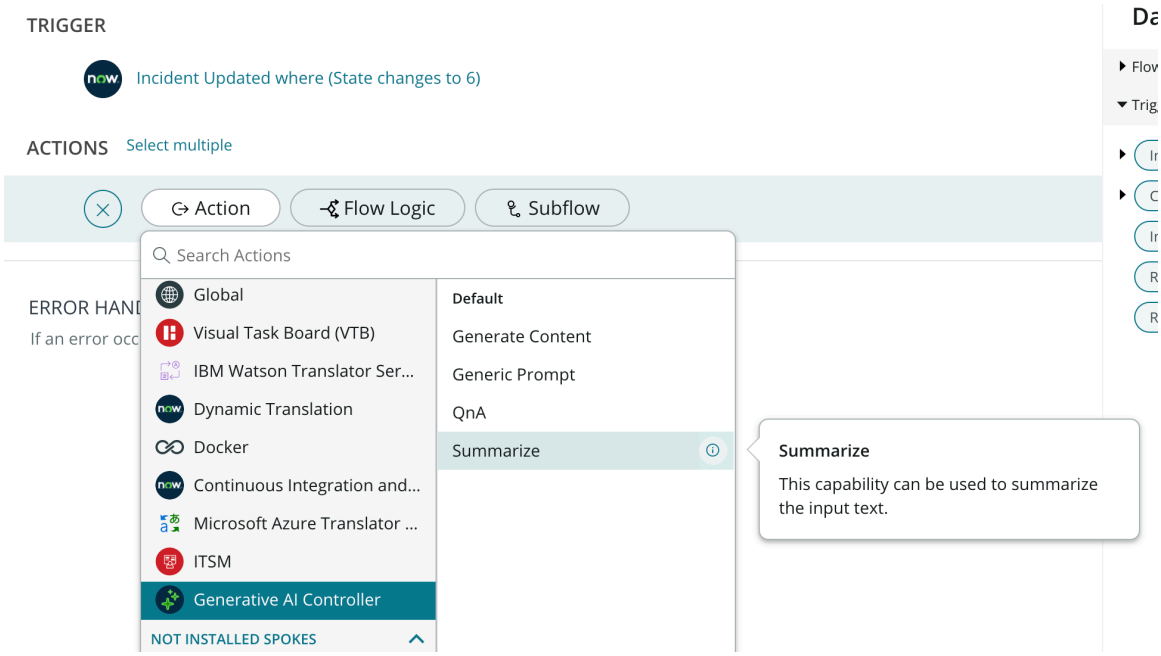
9. **[Done** (完了)] を選択します。
10. [アクション] で、[アクション]、[フローロジック]、または [サブフロー を追加] を選択し、[アクション] を選択して [アクション] パネルを開きます。



11. [生成 **AI** コントローラー > 要約を作成 アクションを選択して選択します。

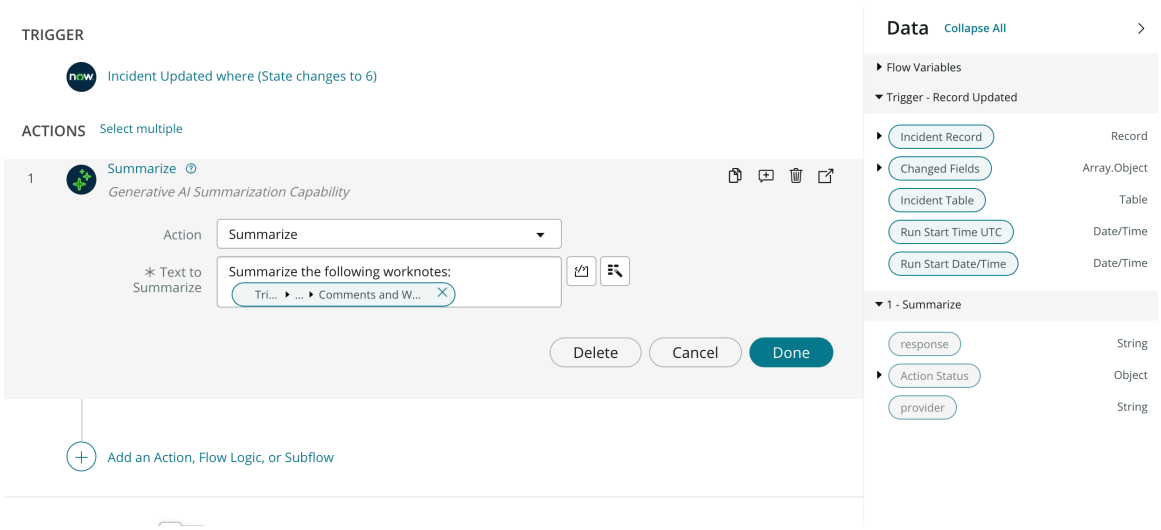
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



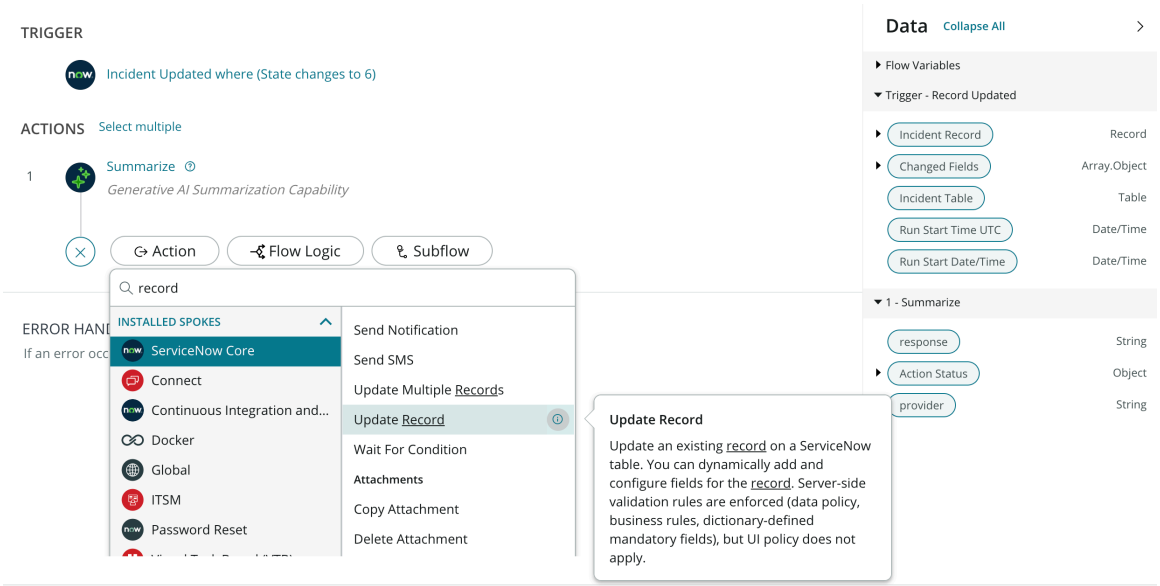
12. [データ] パネルからデータピルをドラッグするか、データピルピッカーアイコン ( ) を選択して検索します。
この場合は、 トリガー > インシデントレコード > コメントと作業メモ 錠剤。

> **注:** 要約するフィールドが文字列フィールドでない場合は、フィールドを文字列としてキャストする必要があります。スクリプティングを使用するか、次の例のように、データピルに加えて **textToSummarize** フィールドにテキストを追加することで、フィールドを文字列としてキャストできます。



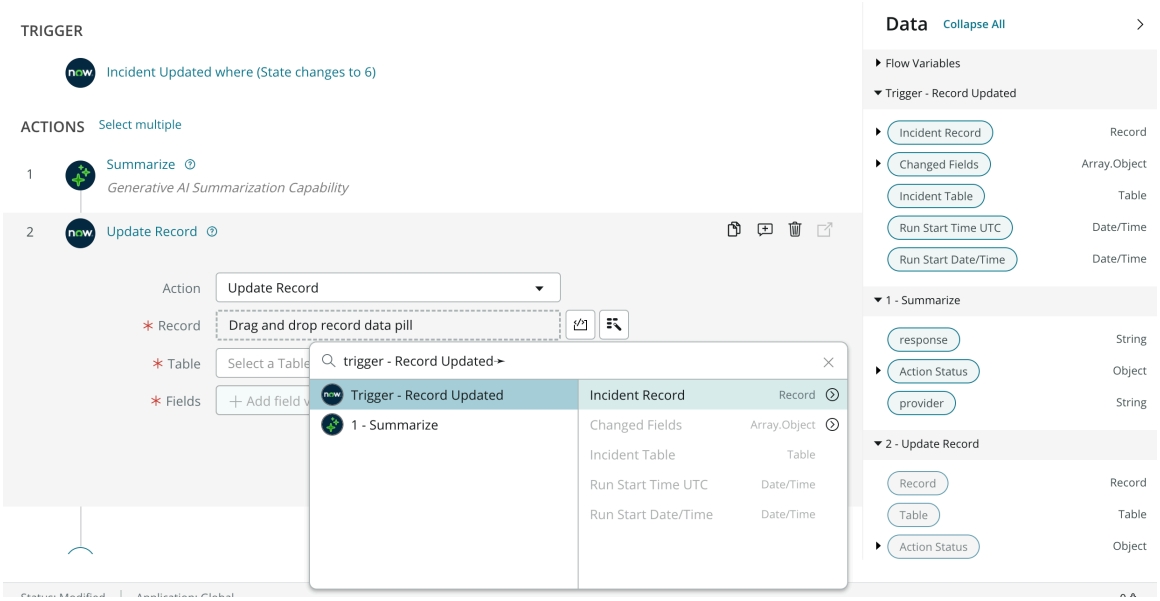
13. **[Done** (完了)] を選択します。
14. [アクション]、[フローロジック]、または [サブフローを追加] を選択してアクションを追加します。
15. アクションセレクターで「 レコードの更新 」を検索し、アクションを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



16. を トリガー > インシデントレコード データピルを [レコード] フィールドに入力するか、検索するアイコンを選択します。

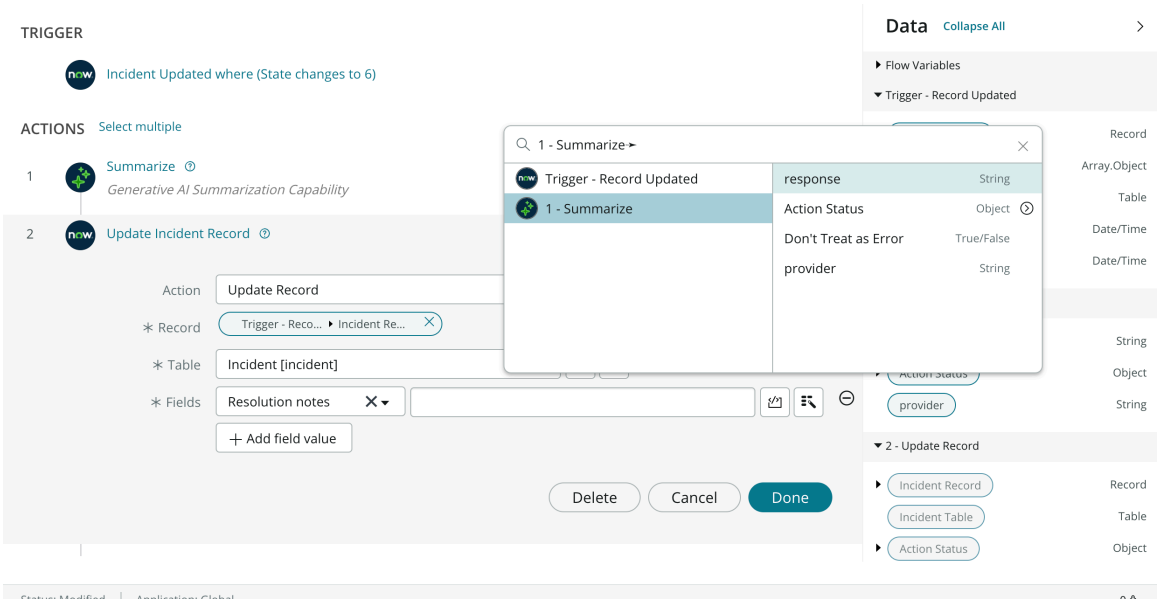
    [テーブル] フィールドは、トリガーレコードに基づいて自動的に入力されます。



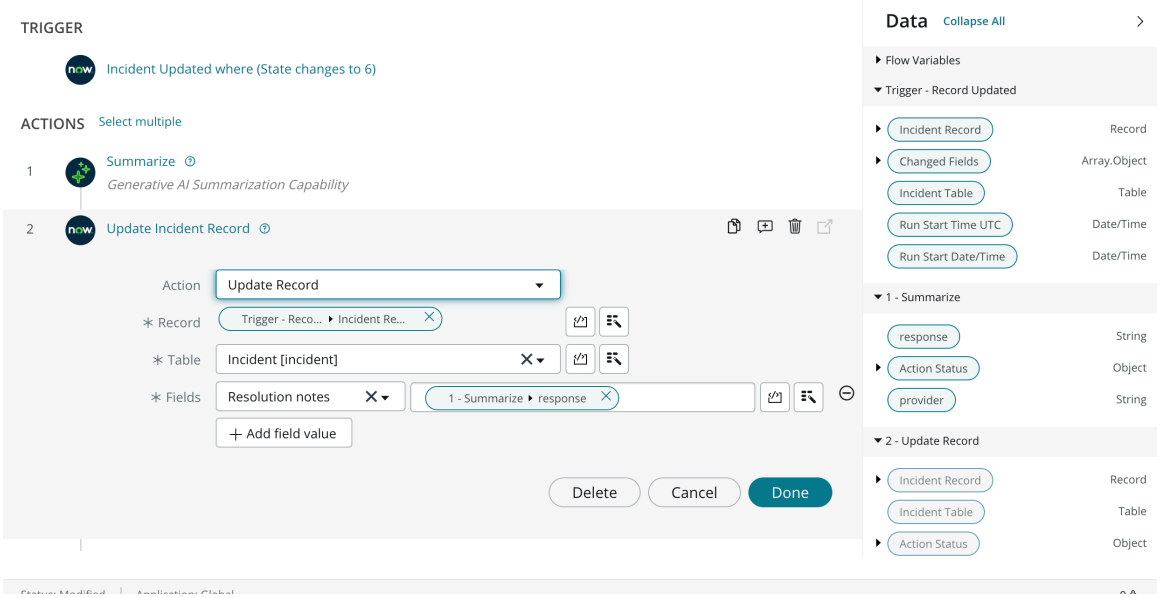
17. [フィールド値の追加] を選択し、更新するフィールドを検索します。
    次の例では、[解決メモ] を選択します。
18. Catalogs List に [要約を作成 > 対応 データピルを [データ] パネルからドラッグするか、データピルピッカーを使用してデータフィールドに挿入します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



19. [Done (完了)] を選択します。



20. [保存] を選択してフローを保存します。

次のタスク
フローを保存したら、フローをアクティブ化して本番環境に移行するか、さらにテストします。

での 生成 **AI** コントローラー の使用 仮想エージェントデザイナー

仮想エージェントトピック内の生成 AI コントローラー機能を使用して、ナレッジ記事のドラフトを作成します。

始める前に
最初に 仮想エージェントデザイナー の機能を有効にする必要があります。詳細については、「で生成 AI 機能を有効にする 仮想エージェントデザイナー」を参照してください。

必要なロール：admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

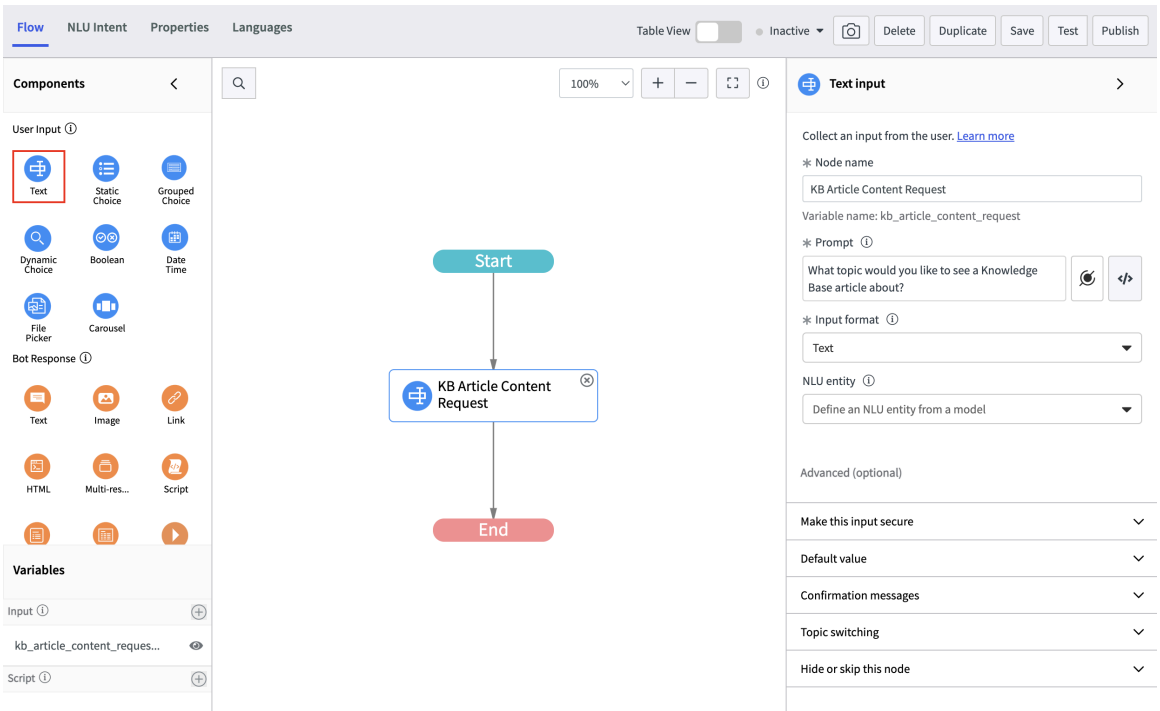
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 対話型インターフェース > 仮想エージェント > デザイナー.
2. [作成] カードを選択してトピックを作成します。
3. トピックの一意の名前を入力します。

   自然言語理解 (NLU) モデルやアクセス制限など、その他のトピックオプションを構成できます。

   この例では、トピック名として `KB 記事の生成` を使用します。

4. **[Create** (作成)] を選択します。
5. 開始と終了の間にユーザー入力ノードを作成します。 ユーザー入力 > テキスト コンポーネントを [コンポーネント] パネルから選択します。
6. キャンバスの情報パネルにノード名を入力します。

   この例では、ノード名は `KB 記事コンテンツ要求` です。



7. プロンプトフィールドに、ユーザーに表示するメッセージを入力します。

   ユーザーはナレッジベース (KB) 記事コンテンツのトピックを指定するため、この例のプロンプトは [ナレッジベース記事の内容を参照するトピックは?] です。

8. すべてのユーザー入力ノードを追加して、すべての必須フィールドに入力します。

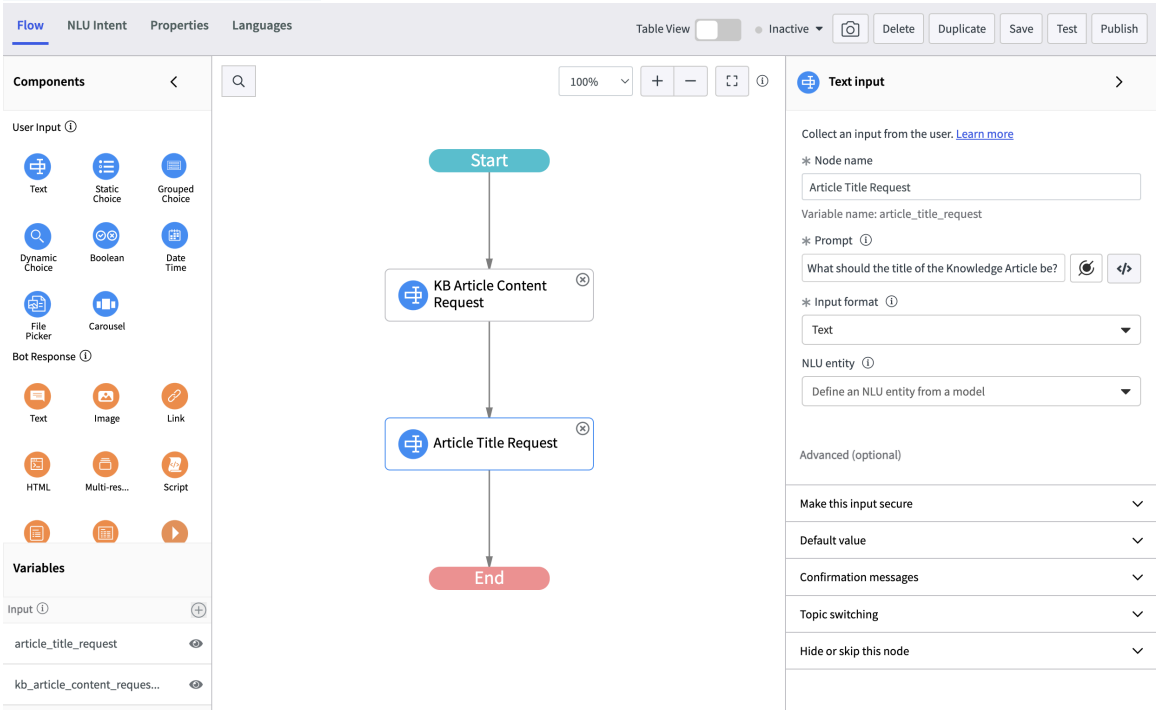
   注: レコードを正常に作成するには、すべての必須フィールドに値が含まれている必要があります。次の手順では、KB 記事の必須フィールドに入力する方法について説明します。フォームに必須フィールドがない場合は、ユーザー入力ノードを追加する必要はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

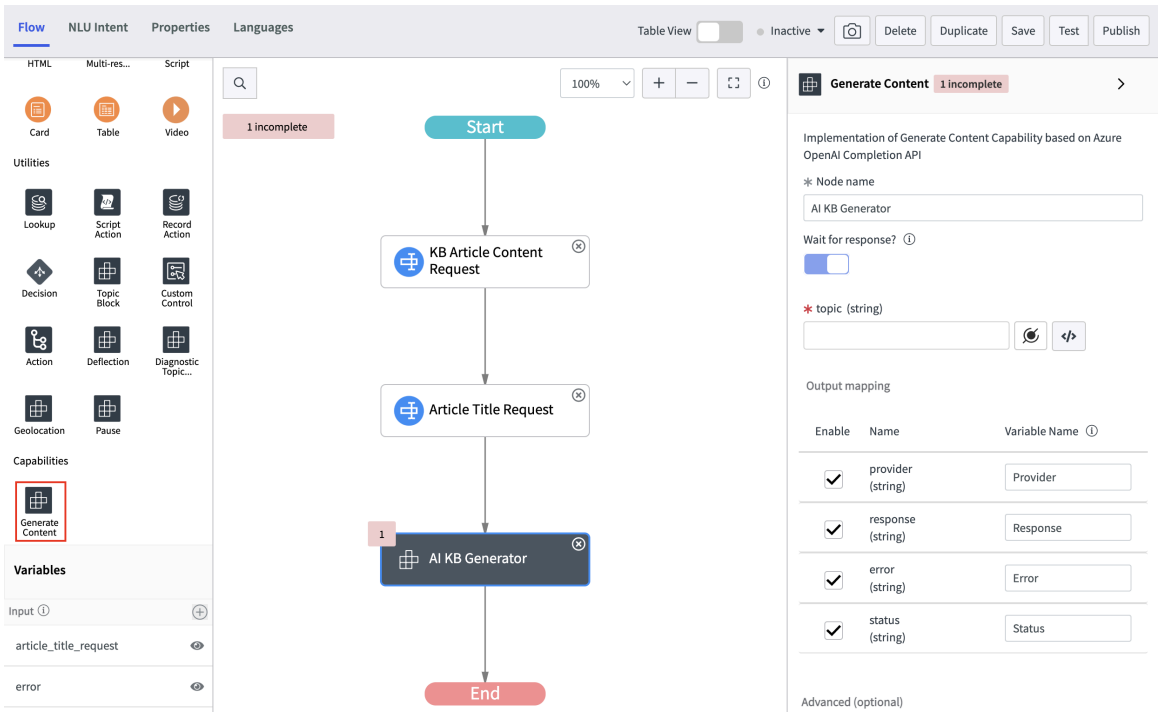
a. 別のものを追加 ユーザー入力 > テキスト ノードに名前を付けて「`Article Title Request`」という名前を付けます。

b. 必要な [記事タイトル] フィールドにプロンプトを追加します (「ナレッジ記事のタイトルはどうあるべきですか?」など)。



9. [コンポーネント] パネルで、[機能] セクションが表示されるまで下にスクロールし、トピックフローの隣に [コンテンツの生成] アクションをドラッグします。
10. [情報] パネルで、ノードに名前を付けます。

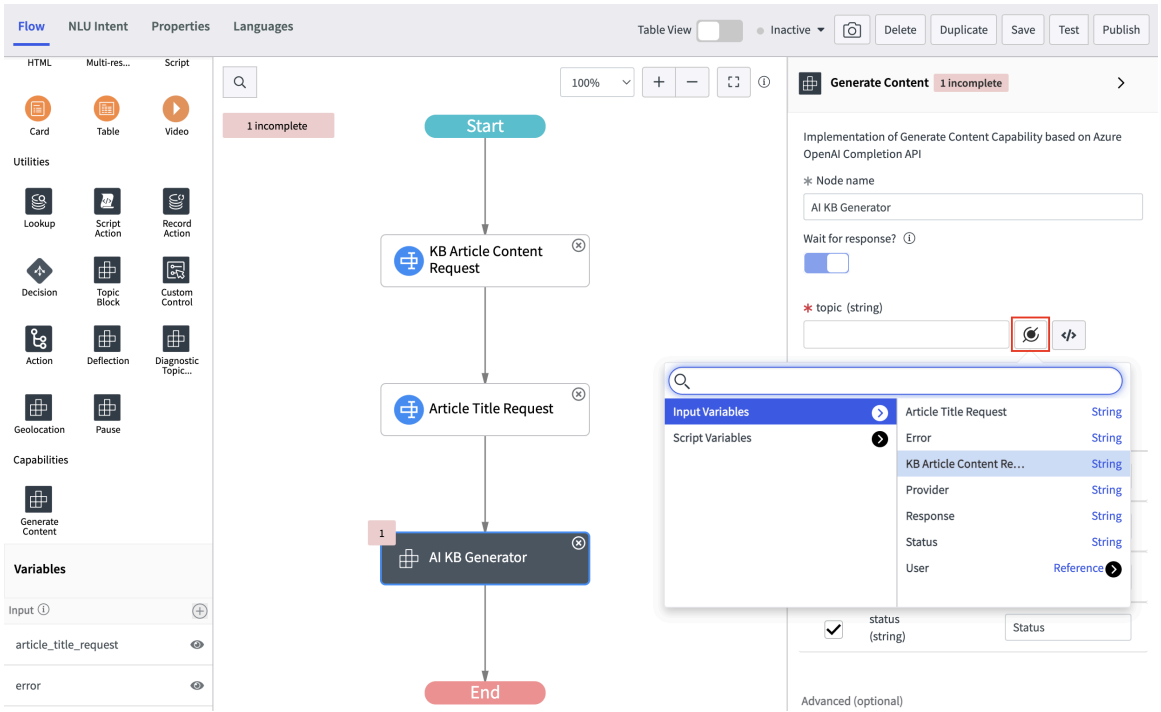
この例で使用されているノード名は `AI KB ジェネレーター`です。



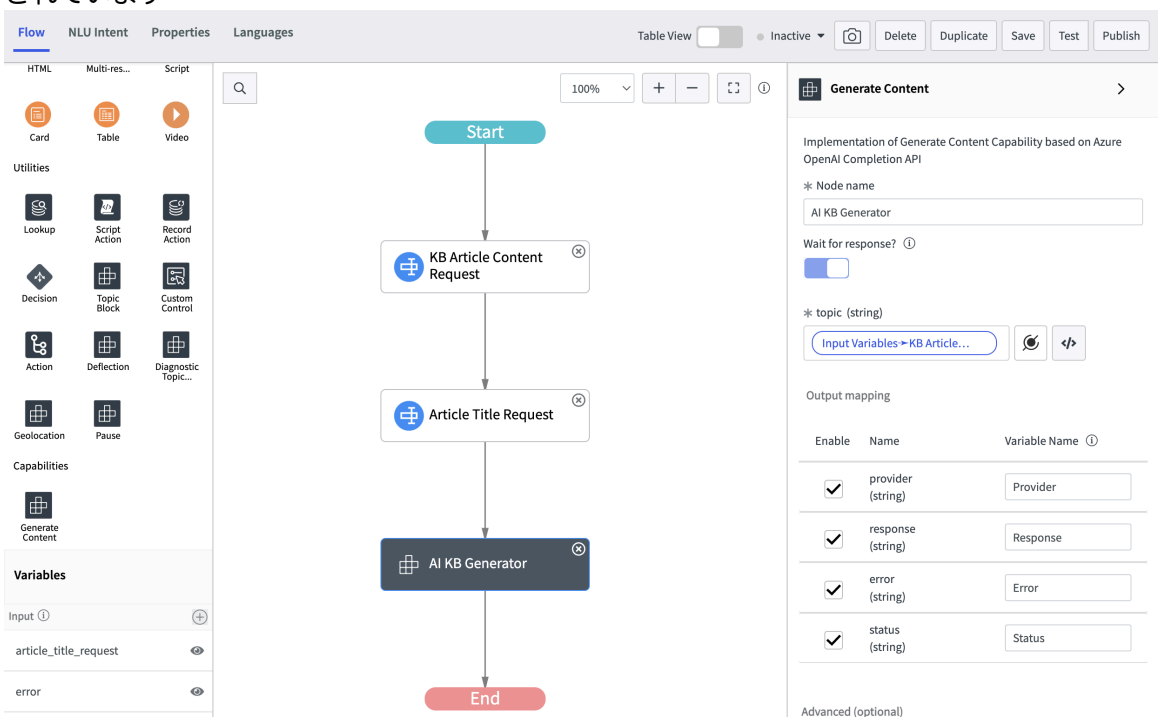
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

11. トピックフィールドの横にあるデータピルアイコン ( を選択して、データピルセレクターを開きます。



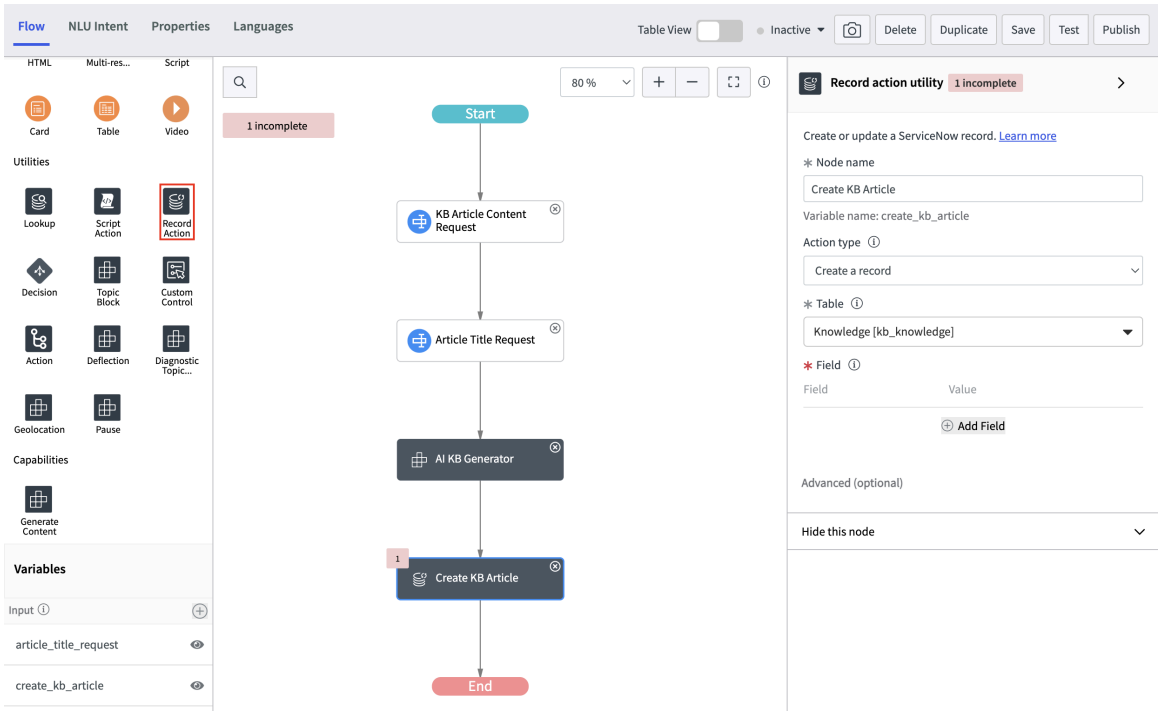
12. インタラクションで作成されたテキストを使用するには、 **Input Variables** (入力変数) > 対応 入力されています



13. を ユーティリティ > レコードアクション コンポーネントを [コンポーネント] パネルの [コンテンツの生成] ノードの後にあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



14. ノードの名前を入力します。

    この例では、ノード名は「KB 記事の作成」です。

15. その他の必須フィールドに入力します。

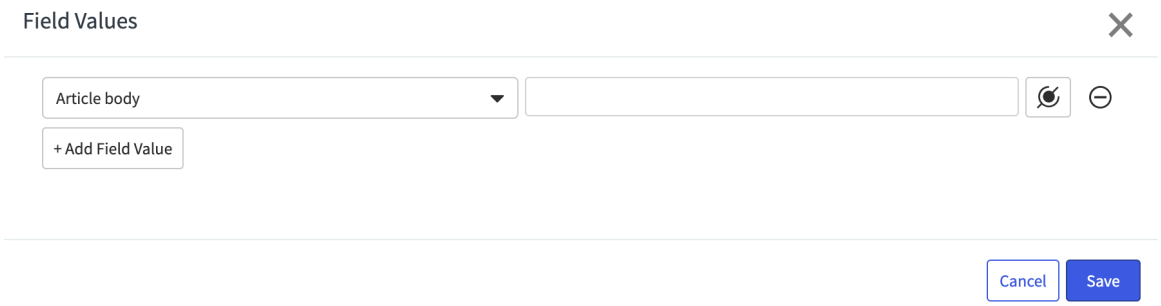
    a. [アクションタイプ] で、レコードを作成するか既存のレコードを更新するかを選択します。

       この例では、アクションタイプは [レコードを作成] です。

    b. 新規または更新されたレコードのテーブルを選択します。

       この例では、ナレッジ (kb_knowledge) テーブルを使用します。

16. [フィールド] で、[フィールドの追加] ボタンを選択して [フィールド値] ウィンドウを開きます。
17. [フィールド値の追加] を選択して、フィールド値を設定します。



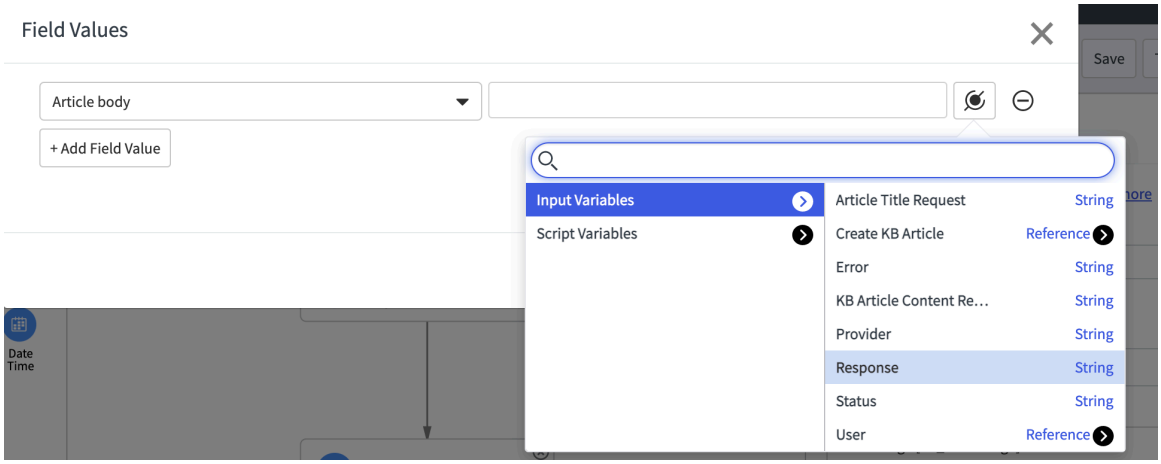
18. 更新するフィールドをリストから選択します。

    フィールドはいくつでも追加できます。この例では、フィールドは [記事本文]、[ナレッジベース]、および [簡単な説明] です。

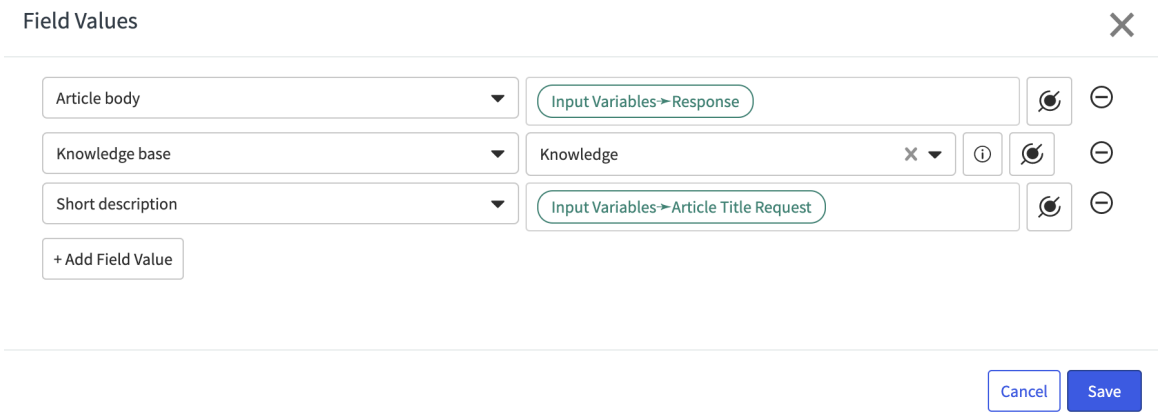
19. データピルアイコンを選択して、データピル選択メニューを開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



20. [記事本文] フィールドで、[入力変数< 応答] を選択して、コンテンツ生成ノードによって生成された応答を使用します。
21. [ナレッジベース] フィールドで、[ナレッジ] または希望するカテゴリを選択します。
22. [`Short description`] フィールドで、データピルアイコンを選択し、 **Input Variables** (入力変数) > 記事タイトルの要求、またはタイトルの入力を求めるユーザー入力ノードの名前。



23. フィールドの選択内容を保存し、[保存] を選択して [フィールド値] ウィンドウを閉じます。
24. [保存] を選択してトピックを保存します。

次のタスク

この例のトピックは、簡単なナレッジ記事を作成します。より複雑な記事の場合は、コンテキストや背景情報などの追加のユーザー入力を使用します。

> **注:** 公開する前に、生成されたコンテンツを確認します。詳細については 、「AI の制限事項」を参照してください。

での感情分析の使用 フローデザイナー

ユーザーの簡単な説明に否定的な感情がある場合に、インシデントのアサイン先グループをアップグレードするフローを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

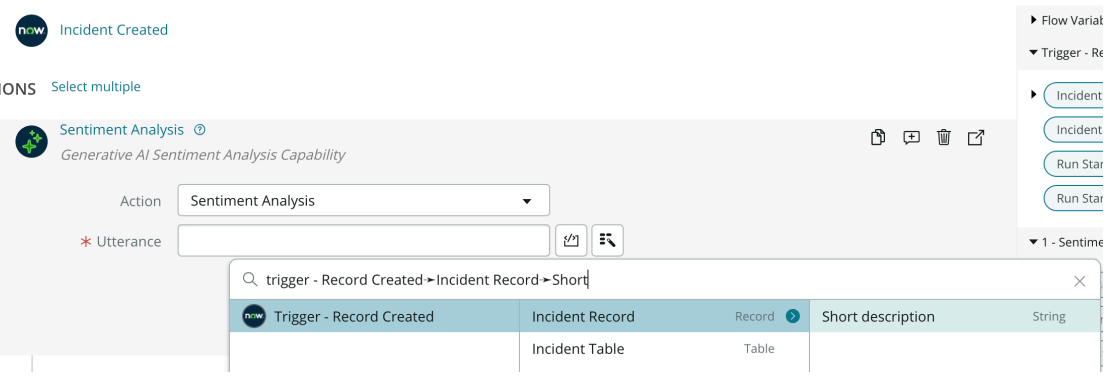
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > **Flow Designer** (フローデザイナー).
2. 選択 新規 > フロー.

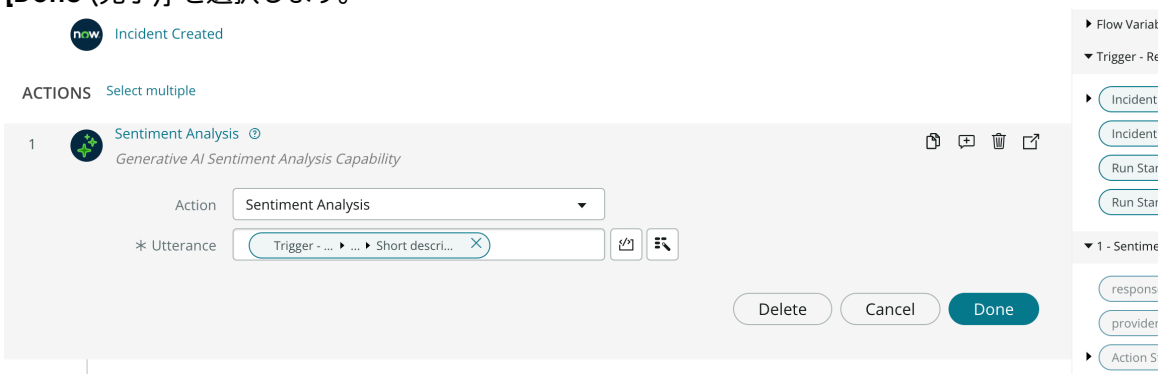
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 「否定的な感情の場合、アサイン先グループを変更する」など、フローの名前を入力します。
4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. **[Add a trigger** (トリガーを追加)] を選択します。
6. 選択 レコード > 作成日時 をクリックして新しいレコードを更新します。
7. フローを実行するテーブルを選択します。
   この例では、インシデント (incident) テーブルを選択します。
8. **[Done** (完了)] を選択します。
9. [アクション] で 、[アクション]、[フローロジック]、または [サブフローを追加] を選択し、[アクション] を選択して [アクション] パネルを開きます。
10. アクションセレクターで、 生成 **AI** コントローラー > 感情分析 アクションを選択して選択します。
11. [データ] パネルからデータピルをドラッグするか、データピルピッカーアイコンを選択します。
    この場合は、 トリガー > インシデントレコード > 簡単な説明.



12. **[Done** (完了)] を選択します。

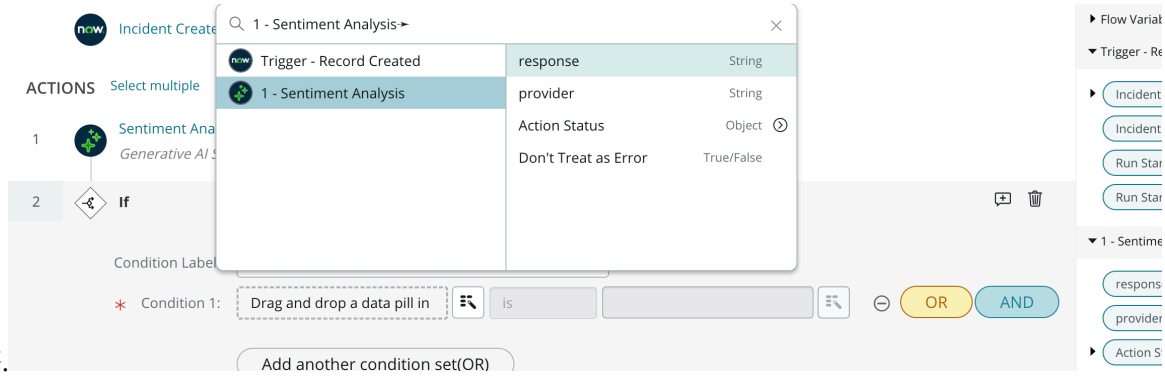


13. [アクション]、[フローロジック]、または [サブフローを追加] を選択してアクションを追加します。
14. 選択 フローロジック > **If**.
15. 条件ラベルに「否定的な感情」などの名前を付けます。
16. [条件] フィールドで、データピルをドラッグするか、データピルピッカーアイコンを選択して、正しい条件を検索します。

自動翻訳

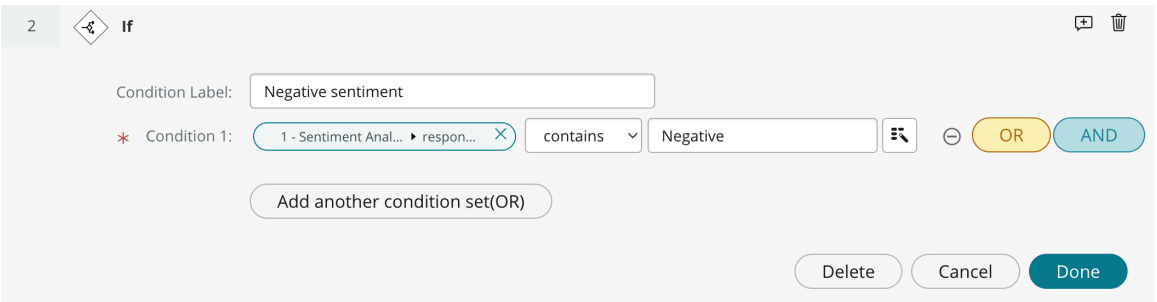
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この場合は、 感情分析 > 応答.



17. 選択には負の値が含まれます。

> **注:** 資本化が重要です。値が 負に設定されている場合、このフローは機能しません。

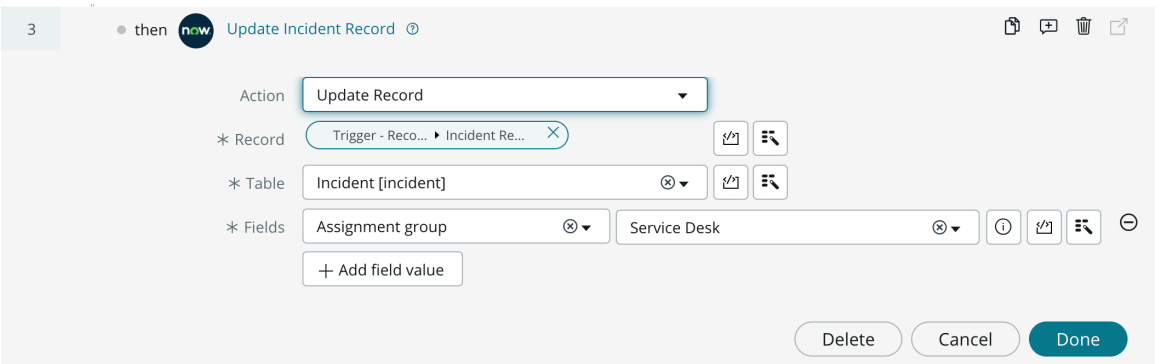


18. 「レコードの更新」を検索し、アクションを選択します。
19. を トリガー > ケースレコード データピルを [レコード] フィールドに入力するか、検索するアイコンを選択します。

    [テーブル] フィールドは、トリガーレコードに基づいて自動的に入力されます。

20. [フィールド値の追加] を選択し、更新するフィールドを検索します。
    この例では、[アサイン先グループ] を選択します。
21. フィールドを設定する値を選択します。

    フィールド値はユースケースによって異なります。この例では、値は [サービスデスク] に設定されています。



22. **[Done** (完了)] を選択します。
23. [保存] を選択してフローを保存します。

次のタスク
フローを保存した後、フローをアクティブ化して本番環境に移行するか、さらにテストする必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

でのスクリプトの使用 生成 AI コントローラー

バックグラウンドスクリプトと 生成 AI コントローラー 汎用プロンプトを使用して、生成 AI モデル API と直接やり取りします。

始める前に

sn_one_extendを使用してスクリプトを作成するには Vancouver パッチ 2 以降である必要があります 。OneExtendUtil オブジェクト。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スクリプト - バックグラウンド.
2. 単一の `executionRequests` オブジェクトを持つ要求アレイを作成して、汎用プロンプトのテキストコンテンツを作成します。
3. `executionRequests` 内に、`payload` 属性と `capabilityID` 属性を追加します。`capabilityID` は、汎用プロンプトなどの OneExtend 機能 (sys_one_extend_capability) テーブルの機能のsys_idです。
4. 必要な入力を属性として `ペイロード` オブジェクトに追加します。

機能	必要な属性
汎用プロンプト	prompt:生成 AI が応答するためのプロンプト。
コンテンツの生成	トピック:コンテンツ生成の件名。
感情分析	発言:ユーザーの感情を分析するテキスト。
要約を作成	textToSummarize:AI がサマリーを生成するためのトピック。

汎用プロンプト機能 `の要求` アレイの例を次に示します。

```
var request = {
   "executionRequests": [
    {
       "payload": {
          "prompt": "Can you act like my business partner and give me
 some advice on a pitch?"
        },
        "capabilityId": "0c90ca79533121106b38ddeeff7b12d7"
     }
  ]
};
```

5. sn_one_extendで `execute` メソッドを呼び出します。OneExtendUtil。
6. オプション: バックグラウンドスクリプトを実行した後に応答を表示するには、次のコードを使用して、応答を読み取り可能な JSON 形式で出力します。

```
gs.info(JSON.stringify(sn_one_extend.OneExtendUtil.execute(request)));
```

生成 AI コントローラー の参照

参照トピックには、 生成 AI コントローラー フローアクション、テーブル、およびプロパティに関する情報が記載されています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フローアクション

アクション	説明
コンテンツの生成	インタラクション、ケース、またはインシデントからナレッジベース記事を生成するなど、人工知能モデルを使用してコンテンツを生成し、テキスト本文をすばやく作成します。
要約を作成	大量のテキストや複雑なやり取りを要約して、仮想エージェントとライブエージェント間のハンドオフ時などに情報の転送を容易にします。
感情分析	インタラクションやフォームに入力されたテキストに基づいてユーザーの感情を分析し、カスタマーエクスペリエンスを向上させます。
汎用プロンプト	生成 AI を使用して、エンゲージメントを高めるためのアイデアなど、あらゆるトピックについてアイデアを生成し、ブレインストーミングを行います。

インストールされるテーブル

[Name (名前)]	テーブル	説明
OneExtend の機能	sys_one_extend_capability	生成 AI コントローラー 機能には、要約、レコードの要約、コンテンツの生成、汎用プロンプトなどがあります。
OneExtend 機能の定義	sys_one_extend_capability_definition	フローデザイナーサブフローの入力変数と出力変数の属性構成。
OneExtend 機能定義属性	sys_one_extend_definition_attribute	フローデザイナーサブフローの入力変数と出力変数。機能がアクティブでインスタンスで使用されている場合、変数名は変更できません。OneExtend の使用状況テーブルに移動すると、機能が使用されているかどうかを確認できます。
OneExtend Builder 構成	sys_one_extend_builder_config	フローデザイナーおよび仮想エージェントデザイナーの各ビルダーコンポーネントに関連する機能とプロバイダーを決定します。
OneExtend Builder の機能	sys_one_extend_builder_capability	ビルダーコンポーネントのキャパシティとそのプロバイダーの定義。
OneExtend の使用状況	sys_one_extend_usage	フローデザイナートピックまたは仮想エージェントデザイナートピックでのケイパビリティの各使用、およびビジネスルールや UI アクションなどのスクリプト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Name (名前)]	テーブル	説明
生成 AI ログメタデータ	sys_gen_ai_log_metadata	定義、エラー、ユーザー、および提供されたフィードバックに関する情報を含む、LLM への要求に関するログデータ。

プロパティ

生成 AI コントローラーのプロパティ

プロパティ	説明
com.sn.generative.ai.provider	機能定義にデフォルトがない場合のデフォルトのプロバイダー。 タイプ：選択リスト デフォルト値なし
com.sn.generative.ai.ais.message	AI 検索がクエリに対する回答を見つけられなかった場合に表示されるメッセージ。 タイプ: 文字列 デフォルト値:回答が見つかりません。
com.sn.generative.ai.log_prompt	生成 AI API 呼び出しをログに記録するかどうかを決定するプロンプト。 タイプ：true | false デフォルト値：true
com.sn.generative.ai.moderation.message	OpenAI または Azure OpenAI モデレートツールが利用規約に違反するコンテンツを特定した場合に表示されるメッセージ。 タイプ: 文字列 デフォルト値:OpenAI が不適切と判断した場合、応答を表示できません。
com.glide.one.extend.token.buffer	OneExtend 機能が実行される前にトークン数の要求をチェックするバッファー。許可された最大要求トークンは、AI プロバイダーの API によって許可された最大トークンから、このシステムプロパティで指定された応答トークンとバッファー値を差し引いた値に基づいて計算されます。 タイプ：整数 デフォルト値：250

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

外部リンク

プロバイダー	データポリシー	使用ポリシー
Amazon 岩盤	データ保護	AWS サービス条件
Aleph Alpha	データプライバシー	契約条件
Google Cloud	Google Cloud Platform 利用規約	Google Cloud Platform 利用規約
IBM watsonx	データの安全性とコンプライアンスの維持	watsonx.ai における基盤モデル利用規約
Microsoft Azure OpenAI	のデータ、プライバシー、セキュリティ Azure OpenAI サービス	の行動規範 Azure OpenAI サービス
OpenAI	API データ使用ポリシー	使用ポリシー

「コンテンツの生成」アクション

テキスト本文を生成するには、 フローデザイナー と 仮想エージェント を使用して [コンテンツの生成] アクションを使用します。

フィールド

フィールド	説明
トピック	AI モデルがテキストを生成するサブジェクト。テキストを直接入力することも、[データ] パネルからピルを使用することもできます。

入力

フローに必要な各入力の値を指定します。動的な値を追加するには、[データ] パネルからピルをドラッグするか、ピルピッカーから選択します。

トピック

データタイプ：*String*

AI モデルがテキストを生成するサブジェクト。テキストを直接入力することも、[データ] パネルからピルを使用することもできます。

出力

これらの出力は [データ] パネルに表示されます。フローの他の場所で入力として使用できます。

対応

データタイプ：*String*

AI モデルによって生成されたコンテンツ。

プロバイダー

データタイプ：*String*

応答を生成した AI モデルの名前。

アクションステータス

データタイプ：*String*

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アクションの成功に関する詳細。

汎用プロンプトアクション

汎用プロンプトアクションを使用して、 フローデザイナー AI モデルで一般的なプロンプトに応答します。

フィールド

フィールド	説明
プロンプト	AI モデルが応答を生成するステートメントまたは質問。テキストを直接入力することも、[データ] パネルからピルを選択することもできます。

入力

フローに必要な各入力の値を指定します。動的な値を追加するには、[データ] パネルからピルをドラッグするか、ピルピッカーから選択します。

プロンプト

データタイプ：*String*

テキストを直接入力することも、[データ] パネルからピルを選択することもできます。

出力

これらの出力は [データ] パネルに表示されます。フローの他の場所で入力として使用できます。

対応

データタイプ：*String*

AI モデルによって生成されたコンテンツ。

プロバイダー

データタイプ：*String*

応答を生成した AI モデルの名前。

アクションステータス

データタイプ：*String*

アクションの成功に関する詳細。

感情分析アクション

フローデザイナーと仮想エージェントを備えた感情分析アクションを使用して、ユーザーの入力からユーザーの感情を検出します。

フィールド

フィールド	説明
発言	ユーザーの感情を分析するテキスト。

入力

フローに必要な各入力の値を指定します。動的な値を追加するには、[データ] パネルからピルをドラッグするか、ピルピッカーから選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発言

データタイプ：*String*

感情を分析するためのユーザー生成テキスト。テキストを直接入力することも、[データ] パネルからピルを使用することもできます。

出力

これらの出力は [データ] パネルに表示されます。フローの他の場所で入力として使用できます。

対応

データタイプ：*String*

AI モデルによって生成されたコンテンツ。

プロバイダー

データタイプ：*String*

応答を生成した AI モデルの名前。

アクションステータス

データタイプ：*String*

アクションの成功に関する詳細。

要約アクション

フローデザイナーで要約アクションを使用して、AI モデルで情報を要約します。

フィールド

フィールド	説明
要約するテキスト	AI モデルによって要約されるテキスト。テキストを直接入力することも、データパネルからピルをドラッグすることもできます。

入力

フローに必要な各入力の値を指定します。動的な値を追加するには、[データ] パネルからピルをドラッグするか、ピルピッカーから選択します。

入力

データタイプ：*String*

AI モデルによって要約されるテキスト。

注: ピルピッカーからのデータピルだけでなく、ある程度の量のテキストを直接追加する必要があります。

出力

これらの出力は [データ] パネルに表示されます。フローの他の場所で入力として使用できます。

対応

データタイプ：*String*

AI モデルによって生成されたコンテンツ。

プロバイダー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データタイプ：*String*

応答を生成した AI モデルの名前。

アクションステータス

データタイプ：*String*

アクションの成功に関する詳細。

Now Assist AI エージェント

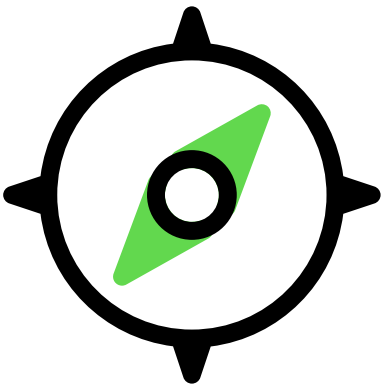
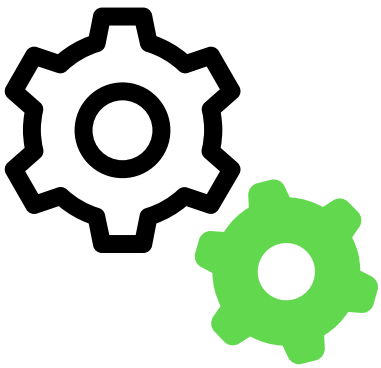
Now Assist AI エージェント は、大規模言語モデル (LLM) を使用して人間のような知能を模倣し、単純な自動応答から複雑な問題解決まで、さまざまなタスクを実行するエンティティです。AI エージェントは、一連の指示を使用して、インシデントやケースの解決などの特定の目標に向かって行動します。AI エージェントは、ライブエージェントの作業負荷を軽減し、生産性の向上に役立ちます。

https://players.brightcove.net/5764318617001/default_default/index.html?videoId=6369456205112

AI エージェントの背後にある概念と、AI エージェントが特定のビジネスニーズにどのように適合するかについて詳しく説明します。

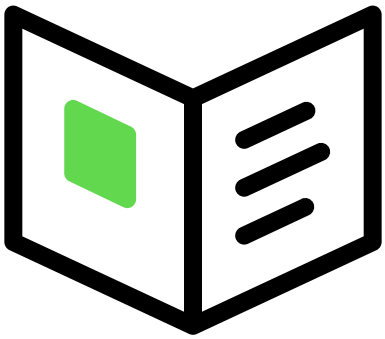
始めましょう

タイルを選択して Now Assist AI エージェントを開始します。

探索	構成	AI エージェントを作成
		
Now Assist AI エージェントの詳細をご覧ください。	AI エージェントスタジオでエージェント AI エクスペリエンスを構成します。	高度なマルチエージェント推論フレームワークを使用して、独自のカスタム AI エージェント を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユースケースを作成	参照	
		
予定されている手順とトリガーを使用してユースケースを作成します。	ユーザーロール、テーブル、およびプロパティの詳細については、以下を参照してください。 Now Assist AI エージェント	

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

自動翻訳

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

詳細については、を参照してください。 Now Assist ドキュメント.

Now Assist AI エージェント の探索

Now Assist AI エージェント アプリケーションが、AI エージェントを使用してタスクを実行することで、組織のライブエージェントの生産性を向上させるのにどのように役立つかについて説明します。AI エージェントは、人間のような知能をシミュレートして、自動応答から複雑な問題解決まで、さまざまなタスクを処理します。

Now Assist AI エージェント 用語

- エージェントシステム:エージェントシステムは、環境を認識し、その認識に基づいて意思決定を行い、多くの場合、人間の介入を最小限に抑えて、特定の目標を達成するためのアクションを実行するソフトウェアまたはAIの一種です。エージェントシステムは、問題を解決したりタスクを実行したりするために、独立して学習、適応、および動作できます。
- **AI** エージェント: Now Platform エージェントシステムでは、AI エージェントは、一連の大規模言語モデル (LLM) 命令と、特定のタスクを実行するためのツールで構成されます。
- ユースケース:インスタンスのエージェントシステムでは、ユースケースは一連の LLM 指示と、目標の実行に必要な 1 つ以上の AI エージェントで構成されます。

AI エージェントの概要

Now Platform 上にビルドされた Now Assist AI エージェント アプリケーションは、データ、ワークフロー、および統合をネイティブかつ安全に活用するように設計されています。AI エージェントは、インシデントまたはケースの進捗状況や変化する条件に基づいてアクションを動的に調整し、目標の達成に集中し続けることができます。

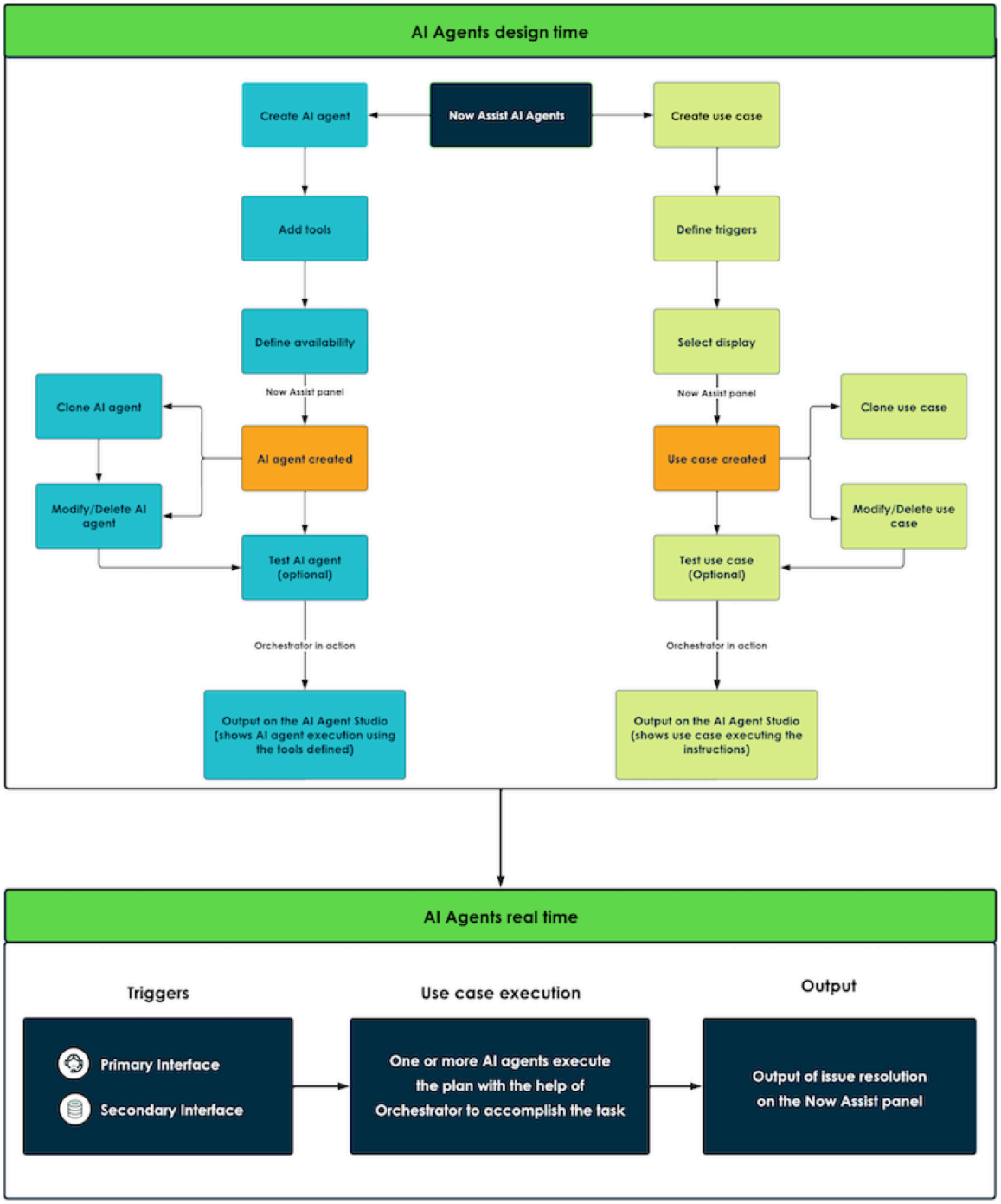
AI エージェントを使用して、組織で次のタスクを実行します。

- インシデントまたはケースを解決するための計画を動的に把握します。
- 必要に応じて、サブタスクについて他の AI エージェントとコラボレーションします。
- 必要に応じて、人間からのフィードバックを受け取ってください。
- 知識集約型のタスクに取り組む。
- 複数のナレッジソースまたは類似のインシデントを使用してソリューションを検索します。
- ヒューマンインザループコラボレーションで問題を解決する計画を立てます。
- 反復と検出を回避し、特定のフローを定義します。

ユースケースを作成し、複製して変更することもできます。ベースシステムのユースケースは読み取り専用のままです。ユースケースの複製またはクローン作成の詳細については、「 でのユースケースのクローン AI エージェントスタジオ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

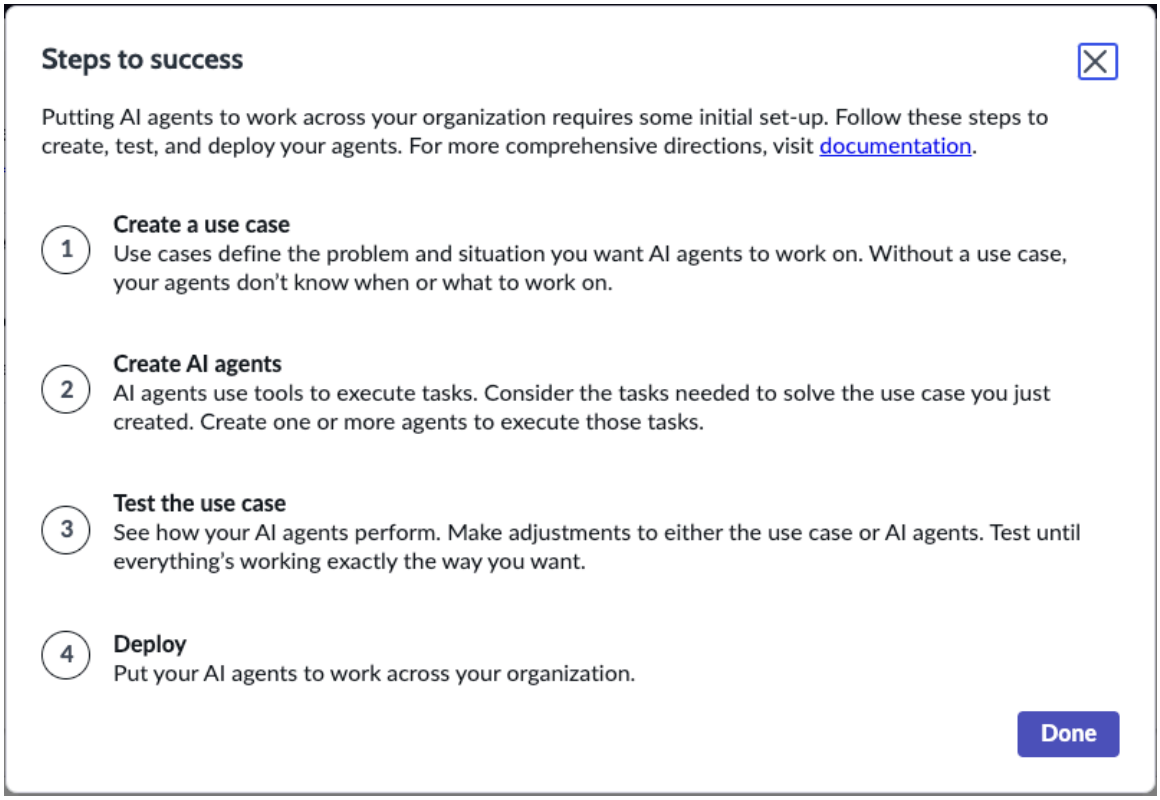


Now Assist AI エージェントを機能させる方法

AI エージェントは、さまざまなツールを使用して、定義したユースケースを処理できます。この AI エージェントスタジオ は、AI エージェントの使用中に成功するためのステップに役立ちます。

次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 をクリックし、[AI エージェントを職場に配置する方法 (How to put AI agents to work)] パネルで [ステップを表示 **(View steps**)] を選択して、AI エージェントを機能させるためのステップを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Now Assist AI エージェント オーケストレータ

AI オーケストレーターを活用して、AI エージェントのチームが調和して連携していることを確認し、AI エージェントを管理および統制し、企業全体のユースケースと価値を追跡する AI エージェントコントロールタワーを設定します。

エージェントフレームワークのオーケストレーターは、あるエージェントから別のエージェントに要求をルーティングすることで複数のエージェント間のコラボレーションを処理し、複雑なタスクの実行を支援するコーディネーター エンティティです。オーケストレーターは、タスクの完了に関与するエージェントの 1 つに連絡して、不足しているコンテキストや情報をユーザーから取得してタスクを完了することもできます。

AI エージェントは単独では機能しません。特定のタスクの完了で行き詰まったり、失敗したりした場合は、AI エージェントの反復的な側面を使用して、Orchestrator に戻ってサポートを求めることができます。

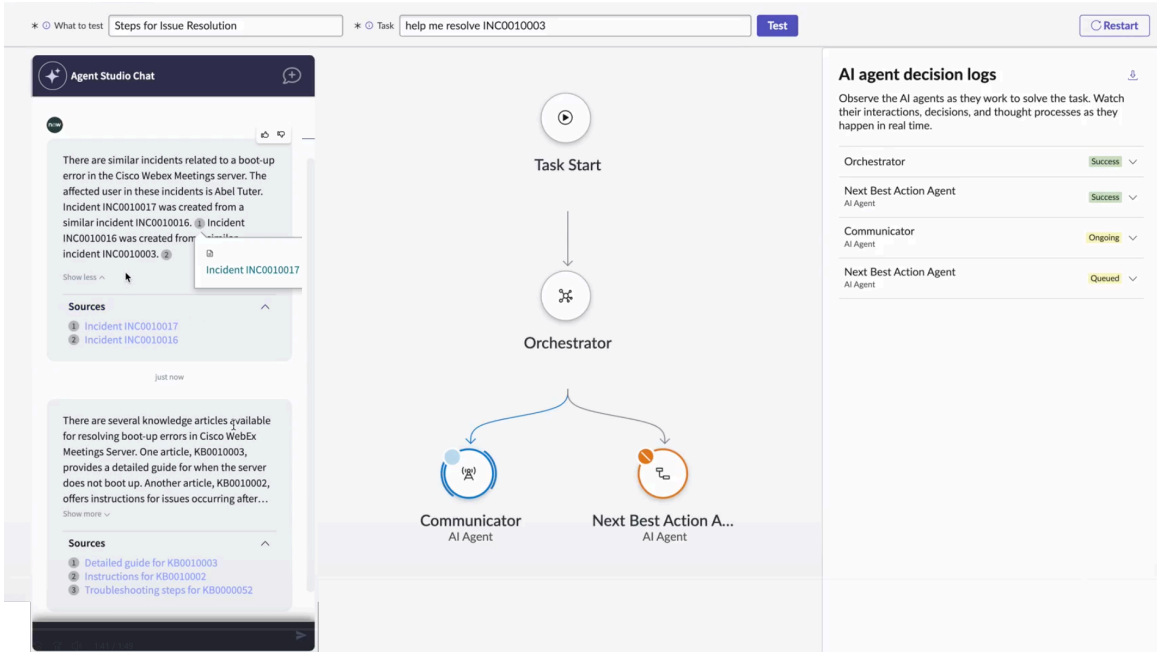
での引用 Now Assist AI エージェント

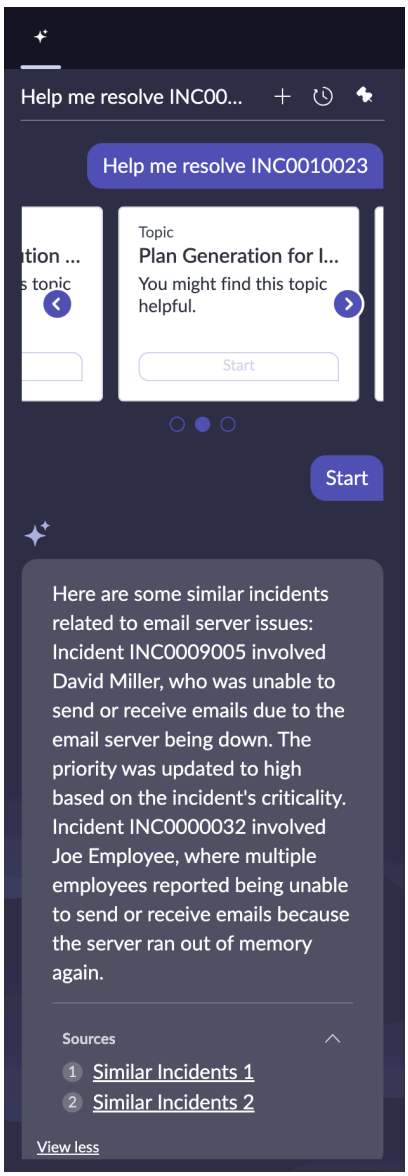
Now Assist AI エージェントの引用は、類似のインシデントと関連するナレッジベース記事を取得するための要約を提供し、出力変換戦略を言い換えます。[関連するナレッジ記事を取得] および [類似のインシデントを取得] エージェントツールの引用を ServiceNow インスタンスで有効にできます。

類似のインシデントおよび関連するナレッジ記事を含む引用は、エージェントスタジオチャットの [ソース] セクションと、それぞれのインシデントまたはナレッジベースに移動するクリック可能なリンクとともにNow Assistパネルに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのユーザーの代理操作 **Now Assist AI** エージェント

ユースケースでは、[Now Assist] パネルでログインしたユーザーとしてツールを実行し、このフローのツール内で実行されるすべての操作もログインしたユーザーとして実行します。代理操作が有効になると、AI エージェントのテストではインスタンスレベルの代理操作が使用されます。

アドミニストレーターは、ユースケースのエージェントアクションを承認したユーザーのレコードとして、個々の AI エージェント名を含むログを表示できます。ログは、AI エージェントによって承認されたエージェントアクションに問題がある場合に、連絡先を特定する際に役立ちます。

代理操作では、 Now Assist パネルの履行者と 仮想エージェント の要求者には、 Now Assist ユーザーと呼ばれる単一の AI エージェントユーザーが表示されます。

のドメインセパレーション **Now Assist AI** エージェント

Now Assist AI エージェント 基本的なドメインセパレーション機能を使用して、ユーザーのデータを保護します。AI エージェントのドメインセパレーションサポートは、設計時と実行時に適用されます。

設計時サポート

設計時とは、ユースケース、エージェント、ツール、トリガー構成などを作成または更新することを指します。AI エージェント構成は、個々のエージェントと実際のユースケースに対してドメイン固有にすることができます。アドミニストレーターは、これらのレコードに特定のドメインを適用できます。他の基本的なドメインセパレーションと同様に、ユーザーがそれらのレコードと同じかそれ以上のドメインに属している場合、AI エージェントテーブルのレコードにアクセスできます。

実行時間のサポート

実行時間とは、 Now Assist パネル、Web クライアント、または任意の会話チャネルでのエージェント会話を指します。これらの会話では、エージェントが代理操作するユーザー (会話がトリガーを介して行われている場合は [run_as] フィールド) が、オンデマンドで会話を開始する AI エージェントとともにエージェントとして機能します。さらに、エージェントが代理操作するユーザーが同じまたはそれ以上のドメインに属している場合、そのエージェントはそのドメインに関連付けられた構成にアクセスして使用できます。ユースケースのドメイン可視化は、ユースケースのトリガー条件 の実行方法 属性に基づいて実行時に解決されます。詳細については、「 ユースケースのトリガーの定義」を参照してください。

ドメインの可視化

- エージェントの会話がオンデマンドでトリガーされると、ドメインの可視化が動作中の特定のエージェントに適用されます。
- エージェント会話がトリガーを介して開始されると、会話がインシデントレコードに対して実行されると、([実行方法] が [発信者] に設定されているインシデントレコードで) 問い合わせユーザーを解決するユーザーにドメインの可視化が適用されます。

注: Now Assist AI エージェント でドメインセパレーションを実現するために **[sys_domain]** フィールドがすべての AI エージェントテーブルに追加され、ドメインセパレーションに利用可能なsys_domain_pathがインスタンスで有効になります。

ServiceNowでのドメインセパレーションの詳細については、「ドメインセパレーションの概要」を参照してください。

AI エージェントスタジオ

1 つのアドミンエクスペリエンスで AI エージェントとユースケースを作成、管理、テストし、自己実行型のワークフローを作成してビジネスゴールの達成を支援します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

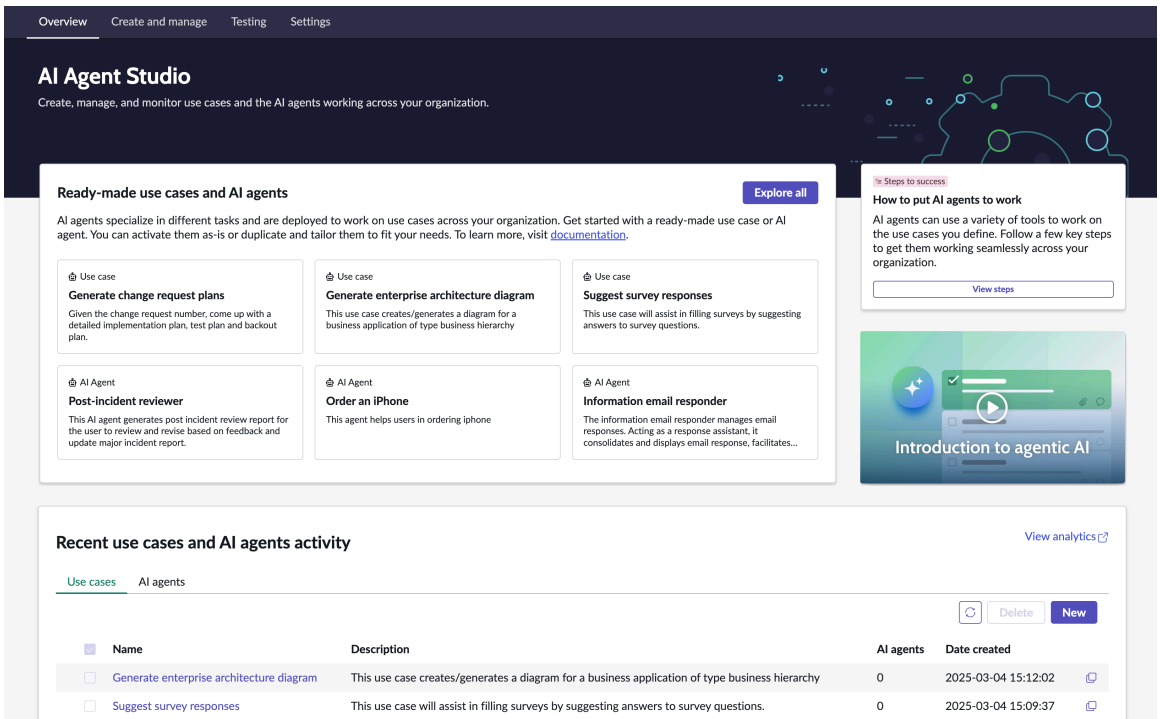
AI エージェントスタジオの概要

AI エージェントスタジオを使用すると、AI エージェントとユースケースをすべて 1 か所で作成、管理、テストできます。メインの [概要] ページには、AI エージェントとユースケースを理解して開始し、開発を継続するために必要な情報を提供するように設計された 3 つのセクションがあります。

最初のセクションには、テンプレート、既製の AI エージェント、ユースケースが含まれており、そのまま、または作成するカスタムワークフローに組み込むことができます。他のテンプレートを調べて、ニーズに最適なテンプレートを見つけることができます。

[最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ] セクションには、最近作成または構成されたユースケースまたは AI エージェントを表示する 2 つのタブがあります。どちらのリストビューにも、ユースケースまたは AI エージェントを作成、複製、削除するオプションがあります。このタブには、AI エージェントの使用状況とパフォーマンスに関する詳細を確認できる AI エージェントダッシュボードへのリンクも含まれています。

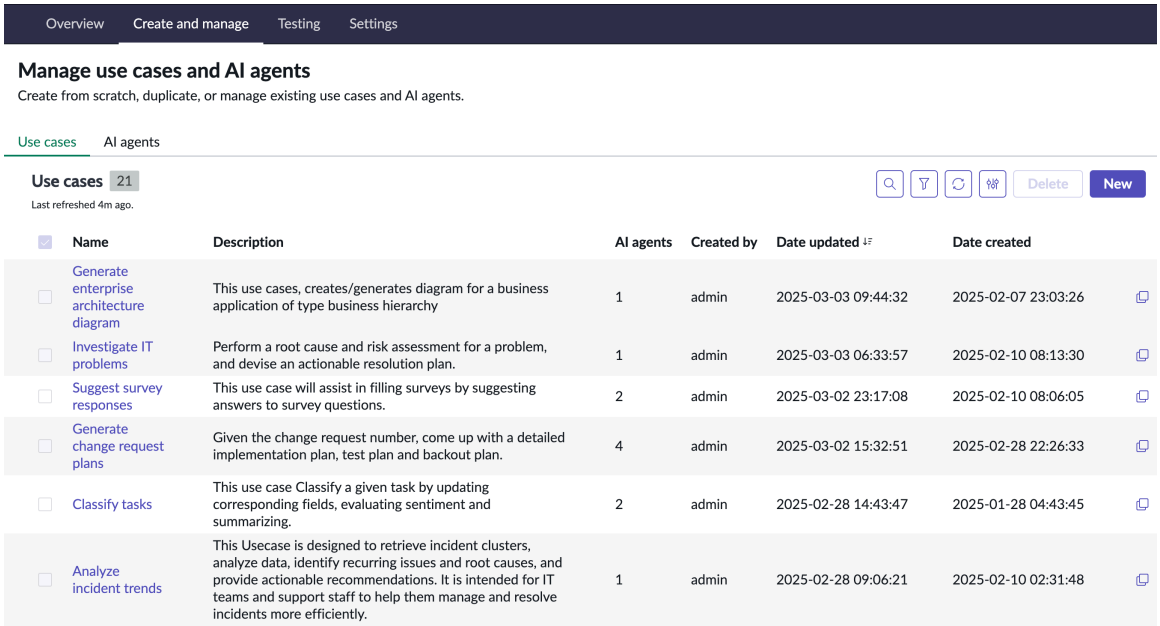
インスタンスに AI エージェントを実装する際の方向性を理解するために、AI エージェントをワークフローに正常に組み込むために必要な手順が記載されたジャーニーチェックリストがあります。AI エージェントとエージェントワークフローの一般的な概要を説明するビデオもあります。



ユースケースと AI エージェントを管理

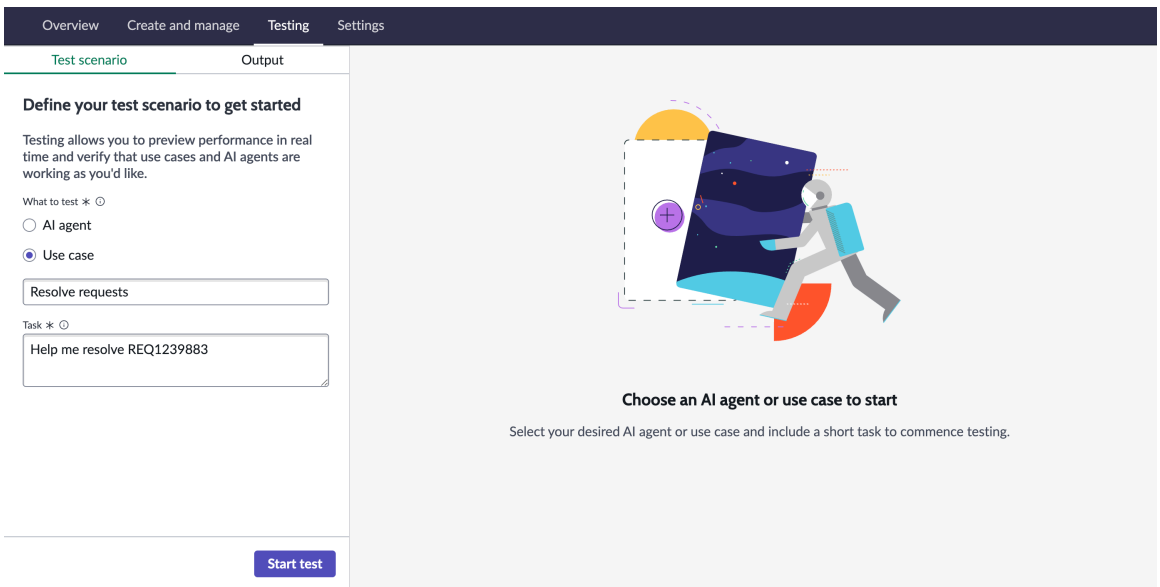
[作成と管理] ページから、既存のユースケースと AI エージェントを作成、複製、管理できます。ユースケース用と AI エージェント用の 2 つのタブがあります。リストビューの列を編集して、表示される情報を変更できます。このページから、リストを検索またはフィルタリングして、探しているユースケースと AI エージェントをすばやく見つけることもできます。ユースケースまたは AI エージェントの名前を選択すると、ユースケースまたは AI エージェントを構成または再構成するためのガイド付きセットアップが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



AI エージェントテスト

より高度なワークフローの一部である短いタスクを完了するように依頼することで、ユースケースと AI エージェントをテストできます。たとえば、特定のインシデントを解決するために インシデントの解決 ユースケースのタスクを作成できます。タスクが開始されると、AI エージェントの会話、AI エージェントオーケストレーター、およびタスクの実行に使用されているロジックのチェーンを確認できます。

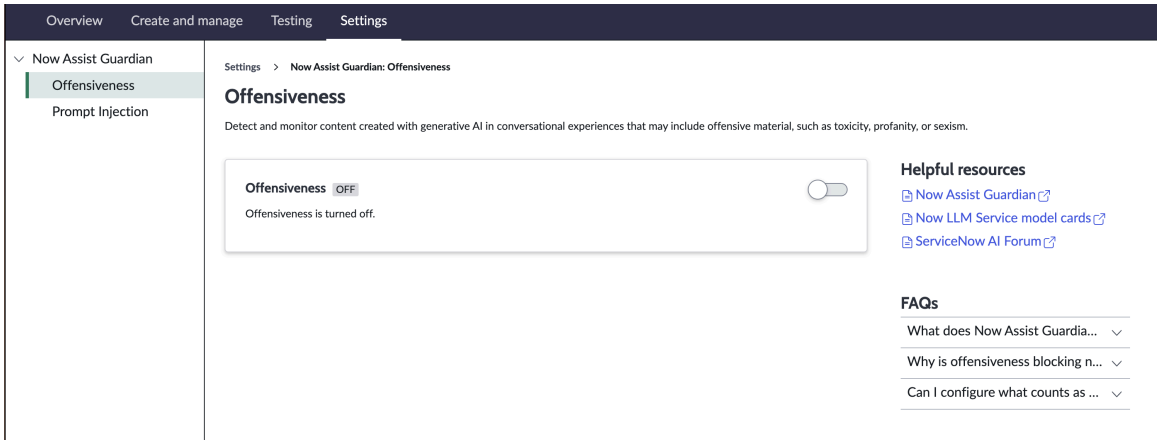


AI エージェントスタジオ の設定

[設定] ページから、AI エージェントのNow Assist ガーディアンを有効にすることができます。攻撃性検出とプロンプトインジェクション試行検出を構成できます。詳細については、次を参照してください。 Now Assist ガーディアン AI エージェントでの.

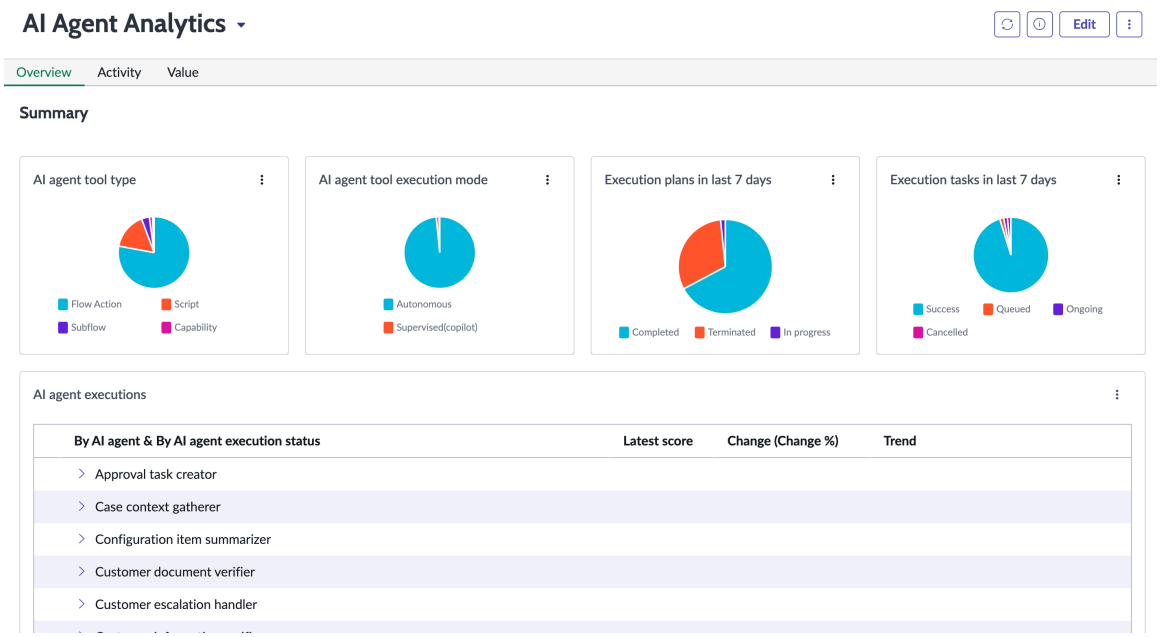
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



AI エージェントアナリティクスダッシュボード

AI エージェントアナリティクスダッシュボードから、AI エージェントとユースケースに関する重要な統計情報を確認できます。表示されるデータには、使用されたエージェントとユースケースの数、解決までの時間の効率の向上、および実行数が含まれます。



AI エージェントアナリティクスダッシュボード

インスタンスでの AI エージェントの使用と効率の向上を追跡および監視します。

必要な **Now Platform** ロール

- sn_aia.viewer は、AI エージェントアナリティクスダッシュボードを表示するために必要です
- sn_aia.admin は、AI エージェントアナリティクスダッシュボードを表示および編集できます

AI エージェントアナリティクスダッシュボードへのアクセス

ダッシュボードを開くには、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > アナリティクス.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションの AI エージェントスタジオの概要ページから、[アナリティクスを表示] リンクを選択してダッシュボードにアクセスすることもできます。

インジケーター

平均解決時間
: インシデントの解決にかかった平均時間。

ユースケースの数
: 非アクティブなユースケースを含む、インスタンス上のユースケースの合計数。

AI エージェントの数
: 非アクティブなエージェントを含む、インスタンス上の AI エージェントの合計数。

ツールの数
: 非アクティブなエージェントにマッピングされたツールを含む、インスタンス上の AI エージェントにマッピングされたツールの合計数。

AI エージェント実行計画
: ユースケース別の実行計画。

AI エージェントによる実行
: AI エージェントと AI エージェントの実行ステータス別に分類された実行。

AI エージェント/ツールの実行
: AI エージェントとツール別に分類された実行ステータス別の実行。

AI エージェントアシストによるタスクの平均クローズ所要時間
: AI エージェントの支援によるタスクのクローズに要した平均時間。この値は、AI エージェントによってクローズされたタスクにかかった合計時間で、AI エージェントによってクローズされたタスクの合計数で割って計算されます。

クローズ済みタスクの数
: クローズ済みタスクの合計数。

AI エージェントアシストによるクローズ済みタスクの数
: 合計 AI エージェントとユースケースによってクローズされたタスクの数。

クローズ済みタスクの合計期間
: すべてのクローズ済みタスクのクローズに要した合計時間。

AI エージェントアシストによるクローズ済みタスクの合計期間
: ワークフローの一部として AI エージェントとユースケースを使用したすべてのクローズ済みタスクのクローズに要した合計時間。

ブレークダウン

- AI エージェント
- AI エージェントのユースケース
- AI エージェントの実行ステータス
- ツール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィルター

名前	タイプ	説明
作成時刻	日付範囲	一定期間の AI エージェントのアクティビティをレビューして成功を評価し、経時的な効率の向上を追跡します。

データの可視化

AI エージェントアナリティクスダッシュボードには、次の可視化が含まれています。

Title (役職)	タイプ	説明
AI エージェントツールタイプ	円グラフ	すべての AI エージェントで使用されるさまざまなツールを表示します。
AI エージェントツール実行モード	円グラフ	監視対象および自律型の実行タイプのブレークダウンを表示します。
過去 7 日間の実行計画	円グラフ	過去 1 週間以内に実装されたさまざまな実行計画のステータスを表示します。
過去 7 日間の実行タスク	円グラフ	過去 1 週間以内に実装されたさまざまな実行済みタスクのステータスを表示します。
AI エージェント実行計画	単一スコア	[準備完了]、[現在進行中]、[完了]、および [終了] ステータスの計画の合計数を表示します。
AI エージェントによる実行	単一スコア	現在進行中、完了、成功、およびエラー/キャンセルステータスの実行の合計数を表示します。
アクティブな AI エージェント	円グラフ	アクティブまたは非アクティブなエージェントのブレークダウンを表示します。
AI エージェントを使用してクローズされたタスク	線グラフ	AI エージェント実行計画が関連付けられているタスクの量を表示します。
AI エージェントによる平均クローズ所要時間	線グラフ	AI エージェント実行計画が関連付けられているタスクのタスクのオープンとクローズにかかった平均時間を表示します。
AI エージェントの日次会話	線グラフ	AI エージェントが使用された 1 日あたりの平均会話数を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Title (役職)	タイプ	説明
AI エージェントを使用した会話の割合	線グラフ	AI エージェントを使用するさまざまなチャネルの会話の割合を表示します。
過去 7 日間のチャネルタイプ	円グラフ	AI エージェントに使用されたチャネル (Web クライアントや Now Assist パネルなど) の内訳を表示します。

での複数会話のサポート Now Assist AI エージェント

複数のアクティブな会話により、ライブエージェントは異なるレコードに対して別々の会話を維持できます。複数の会話では、会話のコンテキストを保持し、複数の AI エージェントが Now Assist パネルを介して同時に対話できるようにすることができます。

AI エージェント向けの複数の会話の概要

ライブエージェントは、任意の時点で、 Now Assist パネルを介して複数の AI エージェントの会話と対話できます。

注: デフォルトでは、 Now Assist パネルは現在単一の会話のみをサポートしています。

複数の会話の有効化

メッセージングチャネル [sys_cs_channel_list] テーブルのServiceNowインスタンスで複数の会話を有効にするには、Now Assistパネルレコードの [複数の会話をサポート] フィールドの値を **true** に設定します。レコードを保存してインスタンスを更新すると、 Now Assist パネルに複数のアクティブな会話機能が表示されます。

Now Assistパネルでの会話のタイトル

Now Assistパネルで複数の会話機能を有効にすると、その会話のタイトルとして設定されたライブエージェントからの最初の発言が表示されます。たとえば、ユーザーの最初の発言が [変更リスクの説明 `(Explain change risk)`] の場合、その会話のタイトルが Now Assist パネルに表示されるため、[変更リスクの説明 (Explain change risk)] が設定されます。

Now Assistパネルで新しい会話を開始する

プラスアイコン ( を選択してトピックを選択し、新しい会話を開始します。[すべてのチャット] アイコン ([) を選択して、アクティブなチャットとクローズ済みのチャットを表示して、会話リストを表示することもできます。

会話リストの未読チャット

会話リストアイコンの未読チャットのバッチ数を確認します ( たとえば、[すべてのチャット] アイコン ( に数字の 6 が表示されている場合は、 Now Assist パネルに 6 つの未読の会話があることを意味します。

Now Assist AI エージェント ユースケース

Now Assist 製品は、さまざまなワークフローでユーザーのニーズを満たすように調整された AI エージェントのユースケースを提供します。

次のセクションでは、Now Assistで利用可能なAI エージェントユースケースについて説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークフローおよび製品別の利用可能なユースケース

ワークフロー	製品	利用可能なエージェントのユースケース
カスタマー	CSM の Now Assist	トリアージケース
カスタマー	通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assist	電気通信サービスの問題をテストおよび修復する
テクノロジー	IT Service Management の Now Assist	• 変更要求計画を生成 • インシデントの分類 • インシデントの事後レビューの生成 • Twilio でユーザーに通知
テクノロジー	エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist	エンタープライズアーキテクチャ図を生成
テクノロジー	セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assist	セキュリティインシデントをクローズ
テクノロジー	SPM のゴールフレームワーク	プロジェクトタスクの監視
従業員	HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist	奨学制度のポリシーを解決
プラットフォーム	Now Assist AI エージェント	• サービスの分析と改善 • インシデント傾向の分析 • タスクを分類 • IT の問題の調査 • 要求の解決 • サーベイ回答を提案

自動翻訳

プラットフォームのユースケース

これらのプラットフォームのユースケースを使用して、自己実行型の自律型 AI エージェントでビジネス成果を達成します。

プラットフォームワークフローで利用可能なユースケース

ユースケース名	説明	利用可能な AI エージェント
サービスの分析と改善	フィードバック、傾向、およびメトリクスを分析し、プロセスの最適化に役立つ推奨事項を提供します。	• サーベイ要件コレクター • サーベイアナライザー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラットフォームワークフローで利用可能なユースケース

(続く)

ユースケース名	説明	利用可能な AI エージェント
インシデント傾向の分析	繰り返し発生するパターンを検出し、中断を予測して、プロアクティブな解決策を可能にします。	インシデント傾向アナライザー
タスクを分類	フィールドの更新、感情の評価、要約によってタスクをトリアージします。	• レコードハンドラー • フィールド予測
IT の問題の調査	インシデントまたは問題の詳細からのインサイトを提供します。	問題調査担当者
要求の解決	タスクを分析し、解決サマリーを生成し、コメントまたは作業メモを更新します。	• 次のベストアクション推奨者 • ユーザー詳細エージェント • レコードハンドラー
サーベイ回答を提案	サーベイの質問に対する回答を提案します。	• サーベイ入力回答提案者 • サーベイ入力データコレクター

重要: デフォルトでは、すべてのユースケースと AI エージェントレコードは読み取り専用です。

AI エージェントを自律的に実行するには、 ユースケーステンプレートをアクティブ化 するか、ユースケースを複製してから、次の手順に進む必要があります。

- ユースケースをアクティブ化します。
- ユースケース内のすべてのエージェントをアクティブ化します。
- ユースケースを自動的に呼び出すトリガーをアクティブ化します。手動で呼び出す場合は、トリガーをアクティブ化する必要はありません。

サービスのユースケースの分析と改善

サービスの分析と改善のプラットフォーム AI エージェント ユースケースを使用して、フィードバック、パフォーマンスメトリクス、および過去の傾向を継続的に分析し、サービス改善が必要な領域を特定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サービスの分析と改善のユースケースの概要

サービスの分析と改善のユースケースは、フィードバック、メトリクス、傾向を分析して実用的なプロセス改善の推奨事項を提供することで、サービスデリバリと顧客満足度の最適化に役立ちます。

ServiceNow によって提供されるサービスの分析と改善のユースケースに関連するエージェント、ツール、トリガーは次のとおりです。ユースケーステンプレートを有効にするには、トリガーをアクティブにし、Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定します。このユースケースの指示を変更する場合は、手順を 複製し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

サービスのユースケースの分析と改善で使用されるエージェント

サービスの分析と改善のユースケースにおける **AI** エージェントの名前と説明

AI エージェント名	AI エージェントの説明
サーベイ要件コレクター	ユーザー調査データを取得して検証し、後続の分析のための正確でシームレスなデータ引き継ぎを保証します
サーベイアナライザー	メトリクス、傾向、および推奨事項に関するインサイトを含むサーベイデータを収集して構造化します

サービスを分析および改善するためにマッピングされたツール **AI** エージェント

次のツールは、サービスの分析と改善のユースケースで使用される AI エージェントにマッピングされます。

サーベイ要件コレクター

サーベイ分析の日付ピッカー

- タイプ:会話のトピック
- 実行モード:自律

サーベイアナライザー

サーベイインテリジェンススキル

- タイプ:スクリプト
- 実行モード:自律

サービスの分析と改善のトリガー

サービスの分析と改善のユースケースには、事前定義されたトリガーはありません。ユースケースを有効にするには、ガイド付きセットアップを使用して独自のものを作成する必要があります。

その他のプラットフォームのユースケース

Platform ワークフローに関連するその他のユースケースについて詳しくは、 Platform の使用例を参照してください。

インシデント傾向のユースケースの分析

インシデントの傾向の分析 プラットフォーム AI エージェント ユースケースを使用して、繰り返し発生するインシデントパターンを検出し、エスカレートする前にプロアクティブな解決のフラグを付けます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデント傾向の分析の概要

インシデント傾向の分析のユースケースは、繰り返し発生するパターンを検出し、中断を予測し、プロアクティブな解決を可能にしてダウンタイムを短縮し、信頼性を向上させることで、インシデント管理の強化に役立ちます。

ServiceNow によって提供されるインシデント傾向分析のユースケースに関連するエージェント、ツール、トリガーは次のとおりです。ユースケーステンプレートを有効にするには、トリガーをアクティブにし、Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定します。このユースケースの指示を変更する場合は、手順を 複製し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

インシデント傾向の分析で使用されるエージェント

インシデント傾向の分析ユースケースの **AI** エージェントの名前と説明

AI エージェント名	AI エージェントの説明
インシデント傾向アナライザー	インシデントデータを分析して、繰り返し発生する問題と根本原因を特定し、推奨事項を提供します

インシデントの傾向を分析するためにマッピングされたツール **AI** エージェント

次のツールは、インシデント傾向の分析のユースケースで使用される AI エージェントにマッピングされます。

インシデント傾向アナライザー

インシデントの GAF データを取得

- タイプ:スクリプト
- 実行モード:自律

注: GAF を開始するには、「グループ アクション フレームワークを設定する」を参照してください。

インシデント傾向の分析のトリガー

インシデント傾向の分析ユースケースには、事前定義されたトリガーはありません。ユースケースを作成およびアクティブ化するには、ガイド付きセットアップを使用して独自のものを作成する必要があります。

その他のプラットフォームのユースケース

Platform ワークフローに関連するその他のユースケースについて詳しくは、 Platform の使用例を参照してください。

タスクを分類するユースケース

タスクの分類 プラットフォーム AI エージェント ユースケースを使用して、タスクに関する関連情報を自動的に収集し、優先度とアサインに関する決定を行います。

分類タスクの概要

タスクを分類するユースケースは、自動的に情報を収集し、タスクに優先順位を付け、チームをアサインし、感情を検出し、タスクのサマリーを生成することで、効率と精度の向上に役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow によって提供される分類タスクのユースケースに関連付けられているエージェント、ツール、トリガーは次のとおりです。ユースケーステンプレートを有効にするには、トリガーをアクティブにし、Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定します。このユースケースの指示を変更する場合は、手順を 複製し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

タスクの分類に使用されるエージェント

タスクの分類ユースケースにおける **AI** エージェントの名前と説明

AI エージェント名	AI エージェントの説明
レコードハンドラー	指定された詳細でレコードをフェッチ、作成、および更新します
フィールド予測	sys_idを指定してレコードのフィールドを予測します

タスクを分類するためにマッピングされたツール **AI** エージェント

次のツールは、タスクの分類ユースケースで使用される AI エージェントにマッピングされます。

レコードハンドラー

- レコードの詳細を更新
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律
- レコードメタデータを取得
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律
- レコードを作成
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:監視中

フィールド予測

- レコードのフィールドを予測
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律
- 感情データを取得
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律
- 類似のレコードを取得
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律

分類タスクのトリガー

分類タスクのユースケースには、事前定義されたトリガーはありません。ユースケースを作成およびアクティブ化するには、ガイド付きセットアップを使用して独自のものを作成する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

その他のプラットフォームのユースケース

Platform ワークフローに関連するその他のユースケースについて詳しくは、 Platform の使用例を参照してください。

IT の問題のユースケースの調査

IT の問題の調査 プラットフォーム AI エージェント ユースケースを使用して、問題の根本原因とリスクのアセスメントを実行し、実行可能な解決計画を作成します。

IT の問題を調査するための概要

IT の問題の調査のユースケースは、エージェントと中小企業が IT ランドスケープの問題を調査するのを支援することを目的としています。問題は多くのインシデントに関連付けられる可能性があり、調査担当者は問題を調べる際に多数の詳細に注意する必要があります。ユースケースは、インシデントと問題の詳細からインサイトを提供し、計画または考えられるソリューションを提案するのに役立ちます。

ServiceNow によって提供される IT の問題の調査のユースケースに関連付けられているエージェント、ツール、トリガーは次のとおりです。ユースケーステンプレートを有効にするには、トリガーをアクティブにし、Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定します。このユースケースの指示を変更する場合は、手順を 複製し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

IT の問題の調査に使用されるエージェント

IT の問題の調査ユースケースの AI エージェントの名前と説明

AI エージェント名	AI エージェントの説明
問題調査担当者	根本原因を特定し、影響度評価を実施し、解決策を計画します

IT の問題を調査するためにマッピングされたツール AI エージェント

次のツールは、IT の問題の調査のユースケースで使用される AI エージェントにマッピングされます。

問題調査担当者

- 問題の詳細を取得
  - タイプ:フローアクション
  - 実行モード:自律
- 問題に関連するインシデントの詳細を収集する
  - タイプ:フローアクション
  - 実行モード:自律
- 問題調査スキル
  - タイプ: Now Assist スキル
  - 実行モード:自律

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT の問題を調査するためのトリガー

IT の問題の調査のユースケースには、事前定義されたトリガーはありません。ユースケースをアクティブ化または作成するには、ガイド付きセットアップを使用して独自のものを作成する必要があります。

その他のプラットフォームのユースケース

Platform ワークフローに関連するその他のユースケースについて詳しくは、 Platform の使用例を参照してください。

要求のユースケースを解決

解決要求 プラットフォーム AI エージェント ユースケースを使用して、タスクレコードの詳細をフェッチし、解決サマリーステップを生成し、コメントまたは作業メモを更新します。

解決要求の概要

解決要求のユースケースは、レコードの詳細を収集し、コメントまたは作業メモに追加できる解決サマリーを生成することで、タスクの解決に役立ちます。AI エージェントの動的な性質により、このユースケースは、最小限の詳細が提供された場合でも、複雑なロジックを必要とするタスクに使用できます。

ServiceNow によって提供される解決要求のユースケースに関連付けられているエージェント、ツール、トリガーは次のとおりです。ユースケーステンプレートを有効にするには、トリガーをアクティブにし、Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定します。このユースケースの指示を変更する場合は、手順を 複製し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

要求の解決に使用されるエージェント

要求解決ユースケースの **AI** エージェントの名前と説明

AI エージェント名	AI エージェントの説明
次のベストアクション推奨者	類似のタスクの詳細を参照し、ナレッジ記事を確認することで、タスクを解決するためのステップを特定します
フィールド予測	受信タスクsys_idを収集して、受信タスク/レコードのフィールドを予測します

要求を解決するためにマップされたツール **AI** エージェント

次のツールは、要求の解決のユースケースで使用される AI エージェントにマップされます。

次のベストアクション推奨者

- 関連するナレッジ記事を取得
  - タイプ:検索取得
  - 実行モード:自律
- 類似のレコードを取得
  - タイプ:フローアクション
  - 実行モード:自律

レコードハンドラー

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- レコードの詳細を更新
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律
- レコードメタデータを取得
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:自律
- レコードを作成
  - タイプ:サブフロー
  - 実行モード:監視中

解決要求のトリガー

解決要求のユースケースには、事前定義されたトリガーはありません。ユースケースを作成およびアクティブ化するには、ガイド付きセットアップを使用して独自のものを作成する必要があります。

その他のプラットフォームのユースケース

Platform ワークフローに関連するその他のユースケースについて詳しくは、 Platform の使用例を参照してください。

サーベイ回答のユースケースを提案

サーベイ回答の提案 プラットフォーム AI エージェント ユースケースを使用して、要求者が要求のサーベイに回答するのを支援します。

サーベイ回答の提案の概要

サーベイ回答の提案ユースケースは、サーベイ回答を簡素化し、増やすのに役立ちます。多くの要求者は、要求が満たされた後にサーベイに回答しなくなります。このユースケースは、サーベイの質問に迅速に回答するために、十分な情報に基づいた意思決定ができるようにすることを目的としています。

ServiceNow によって提供されるサーベイ回答の提案ユースケースに関連付けられているエージェント、ツール、トリガーは次のとおりです。ユースケーステンプレートを有効にするには、トリガーをアクティブにし、Now Assistパネルを含めるように表示設定を設定します。このユースケースの指示を変更する場合は、手順を 複製し、特定のニーズに合わせて設定を調整し、代わりにユースケースの複製バージョンをアクティブ化する必要があります。

サーベイ回答の提案で使用されるエージェント

サーベイ回答の提案ユースケースの **AI** エージェントの名前と説明

AI エージェント名	AI エージェントの説明
サーベイ入力回答提案者	レコードの詳細に基づいて質問に対する回答を提案
サーベイ入力データコレクター	フィードバックを収集するために、レコードとサーベイの質問に関連するデータを収集します

サーベイ回答を提案するためにマッピングされたツール **AI** エージェント

次のツールは、[サーベイ回答を提案] ユースケースで使用される AI エージェントにマッピングされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サーベイ入力回答提案者

サーベイ回答提案ツール

- タイプ:スクリプト
- 実行モード:自律

サーベイ入力データコレクター

ケース/インシデント/要求およびサーベイの質問に関連する詳細をフェッチ

- タイプ:フローアクション
- 実行モード:自律

サーベイ回答を提案するトリガー

サーベイ回答を提案する事前定義トリガーは、ユースケースが機能する前にアクティブ化する必要があります。ユースケースはサーベイに使用されるため、[Now Assist] パネルで有効にするオプションは使用できません。

その他のプラットフォームのユースケース

Platform ワークフローに関連するその他のユースケースについて詳しくは、 Platform の使用例を参照してください。

AI エージェントとユースケースを作成するための一般的なガイドライン

AI エージェントとユースケースの効率と有効性を最大化するには、次の一般的なガイドラインに従ってください。

AI エージェントとユースケースの作成の概要

AI エージェントとユースケースは大規模言語モデル (LLM) に依存しているため、指示に使用する単語は重要です。エージェントまたはユースケースの AI 指示を記述する場合に適用されるヒントがいくつかあります。

- 簡潔、明確、正確であること。シンプルな言葉で、エージェントの進行を遅らせたり中断させたりする可能性のある曖昧な状況を取り除くことができます。例:あなたは、サーベイの質問に対する回答を提案することで、タスクの問い合わせユーザーまたは要求者を支援する任務を負っているアシスタントです。
- 専門用語を制限します。専門用語は、アクセスできない、または普遍的でない可能性があるため、適用範囲が制限される可能性があります。
- 例を含めます。指示を書くとき、例を含めることは、エージェントがそれから何が期待されているかについての一般的な感覚を学ぶのに役立ちます。
- 結果に焦点を当てます。結果を明確にすることで、エージェントは個々のタスクを完了して結果を達成できます。例:解決に関する詳細な作業メモを書き、ケースのステータスを [完了してクローズ] に更新します。

AI エージェントを作成するためのガイドライン

LLM にタスクを実行するためのコンテキストと指示を提供する 3 つのセクション (説明、AI エージェントロール、指示) があります。これらは一緒になって、複雑なワークフローでその役割を完了するために必要な詳細計画を形成します。これらのガイドラインに従うことで、ユースケースを実行する際のエージェントの精度、適応性、および最適化を向上させることができます。

AI エージェントの説明

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- エージェントが処理する主要な領域またはタスクを指定します。例:問い合わせへの対応と顧客の問題の解決を専門としています。
- 明確で焦点を絞った言葉を使用し、曖昧な用語は避けてください。
- エージェントの入力、出力、およびコンテキストを定義します。
- エージェント固有のロールを他のエージェントと区別します。

AI エージェントロール

- AIエージェントの主要な機能を1つまたは2つの文で明確に述べます。例:AI エージェントはカスタマーサービスアシスタントとして機能します。
- AI エージェントが対処しようとしている具体的なビジネス上の課題を明確にします。例:顧客の待ち時間を 50% 短縮します。
- AI エージェントの使用方法の簡単なシナリオを提供します。例:一般的なクエリへの応答を自動化し、複雑な問題を人間のエージェントにエスカレーションします。

AI エージェントの指示

- AI エージェントを使用するメリットと成果を強調します。例:AI エージェントを使用すると、解決時間が短縮され、顧客満足度スコアが高くなります。
- アクション指向の言語を使用します。例:「検証」、「更新」、「送信」。
- 各ステップの出力を含めて、タスクの完了度を測定します。例:インシデントの合計数を、それを必要とする他のエージェントまたはプロセスに返します。
- 不測の事態を追加して、予期しないシナリオを考慮します。例:レコードのルックアップ中にエラーが発生した場合は、もう一度やり直してください。それでもエラーが発生する場合は、エラーが発生したことを報告します。

ユースケースを作成するためのガイドライン

ユースケースの説明には、目的やタスクの実行に必要な手順に関する詳細情報が記載されています。

ユースケースの説明

- 論理的で実行可能なフローが存在するように、各ステップを順番に記述します。
- ギャップを避けるために、できるだけ多くの可能性を考慮してください。
- 開始条件、アクション、意思決定ポイント、および終了状況を定義します。

その他のヒント

ユースケースごとに最大 10 人のエージェントを関連付けます。エージェントの数が多いからといって、必ずしも結果が良くなったり、結果が速くなったりするわけではありません。ユースケースに対してスコープが小さく明確に定義されているほど、パフォーマンスが向上します。

> **注:** ユースケースには最大 100 人のエージェントをアサインできます。ただし、プランを実行するエージェントを Orchestrator が決定するため、100 エージェントすべてがユース ケースの解決に関与するわけではありません。インシデントの解決は、ユースケースのサイズとそれにアサインされたエージェントの数に基づいて影響を受けます。

複数のエージェントがアサインされているユースケースを作成する場合は、責任が重複しないように明確に定義し、エージェントのロールに明示的な制限を含めるようにしてください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの一般的なガイドラインに従うことで、 AI エージェントスタジオ を最大限に活用できる明確で効果的なプロンプト指示を作成できます。

Now Assist AI エージェント の構成

AI エージェントとマッピングされたツールを使用してユースケースを実行するように Now Assist AI エージェント を構成します。

AI エージェントは、一連の指示を使用し、エージェント用に構成された特定のツールセットを使用してアクションを実行し、特定の目標と結果に向かって進むように設計されています。AI エージェントは、チケットのコンテキストと検索可能なコンテンツを使用して、計画とアクションを生成します。AI エージェントは、大規模言語モデル (LLM) に送信されるプロンプトと組み合わせたビジネスロジックを使用してタスクを計画および推論し、実行するネクストベストアクションを提案できます。

注: 最良の結果を得るには、チケットデータとナレッジベースに最新の正確な情報が含まれていることを確認してください。

AI エージェントの構成

前提条件

- ユースケースで処理できる必要のあるさまざまな種類のタスクについての良いアイデア。
- ユースケースとエージェントの一般的なフローの概要を理解します。
- 適切に記述された説明を備えたエージェントツール。

構成可能な要素

ユースケースと AI エージェントは、フレームワーク内の次の要素を使用して指示できます。

- 基本プラン:ユースケースレベルで構成された初期計画手順のためにオーケストレーターに提供される一連の指示。
- ロール:AI エージェントの明確な ID を表します。多くの場合、エージェントのペルソナとスコープを非常に高いレベルで説明します。ロールは、AI エージェントの次の 2 つの要素に影響します。
  - エージェントの推論:各推論プロンプトにロールが追加されると、その時点で LLM によって生成されたコンテンツに同一性が与えられます。
  - エージェントの習熟度:大規模言語モデル (LLM) によって生成された、エージェントの能力に関する説明。これには、ロールの内容、指示、AI エージェントにアサインされたツールの説明が含まれます。

    注: エージェントの習熟度は自動生成されます。

- 手順:エージェントが従う必要がある一連の明確な指示を表します。命令は、ほとんどの場合、独自の推論に基づいて動的に動作するエンティティに決定論的な動作を強制しようとします。指示は、AI エージェントの運用フローを記述するステップバイステップのアルゴリズムとして記述でき、ロールと同様に AI エージェントの習熟度に影響を与えます。

ユースケース用のツールの構成

ユースケースに対応する機能ツールをビルドする手順を、エージェントフレームワーク内での使いやすさを決定する次の 3 つの要素を使用して定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

機能

機能とは、AI エージェントがユースケースに貢献するものを指します。ツールは常に単一の目的を念頭に置いて構成する必要があります。多目的ツールは、次のようなエージェントにとって問題があります。

- AI エージェントがツールを使用する適切な状況を推論して判断するのは難しいです。
- ツールの説明は、定義するツールの使用に最適なすべてのシナリオを考慮するのに十分なほど包括的である必要があります。

注: パラメータに応じて異なるモードで動作できるツールは、上記の理由によりお勧めしません。単一のシナリオの単一の問題の解決策としてツールの機能要素にアプローチすることは、ツールを構築するための理想的な方法です。

ツールの説明

ツールの説明は、ツールによって提供されるユーティリティを高レベルで説明する自然言語の説明です。ツールの範囲と制限を明確に定義して、次の方法で、適切なシナリオ用に選択され、間違ったシナリオ用に選択されないようにします。

- ツールの実行内容の概要。
- ツールを呼び出すことができるシナリオを説明します。ツールとその機能を使用できる特定のユースケースとタスクを含めます。
- ツールが明示的に役に立たないが、役に立つと混同される可能性があるシナリオの調査。
- 上記で用いる用語について解説。たとえば、ユーザーにロールをアサインするためのツールがある場合は、特定のインスタンスのエージェントシステムにおけるロールを説明する必要があります。

エラーメッセージ

エージェントがどのように機能するかの大部分は、反復/反射戦略の試行錯誤によるものです。誤って誤ったツールを実行した実行には、エラーメッセージが解釈され、AI が将来、より有効な結論に到達するのに役立ちます。エラーメッセージは、他の選択肢を振り返り、探求するためのセカンドチャンスを提供します。

ツールがうまくいかない可能性があるシナリオと、どのような種類の入力を理解し、(これらすべてのエラー シナリオで) 説明的で判読可能なエラー メッセージを発行するようにツールを設計すると、実行を軌道に乗せることができます。

Now Assist AI エージェント のインストール

ServiceNow インスタンスに Now Assist AI エージェント をインストールして、エージェント AI エクスペリエンスを有効にします。

始める前に

必要なロール:sn_aia_admin

このタスクについて

AI エージェント の使用を開始するには、次のものが必要です。

- ServiceNow Pro Plus または Enterprise Plus ライセンス。
- Xanaduパッチ 7+ またはYokohamaのインスタンス。
- AI 検索 インスタンスで有効になっています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > プラグイン.
2. プラットフォームの IT Service Management の Now Assist や Now Assist などのNow Assistアプリケーションを検索して選択します。
3. **[Install** (インストール)] を選択します。

タスクの結果
AI エージェント がインスタンスにインストールされます。

次のタスク
Now Assistパネルで AI エージェントにアクセスするには、パネルを有効にする必要があります。「」を参照してください。 をオンにする Now Assist パネル.

AI 検索結果の代わりに関連レコードの収集に使用できるグループアクションフレームワークを設定する場合は、「 グループアクションフレームワークの設定」を参照してください。

グループアクションフレームワークの設定

グループアクションフレームワーク (GAF) を設定して、AI エージェントにインスタンス全体の関連レコードに関する情報を収集する別のオプションを提供します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
グループアクションフレームワーク (GAF) は、AI エージェントが効果的に検索できるように、タスクテーブルのレコードに関する情報を収集してインデックスを作成します。デフォルトでは、エージェントは AI 検索を使用して関連レコードを取得しますが、GAF をアクティブ化して、AI エージェントに代わりにそのインデックスとクラスターを使用することはできません。

Now Assist アプリケーションごとに異なる GAF 構成を設定できます。

注: GAF の設定には、グループ内のレコード数に応じて、10 分から 1 時間かかる場合があります。スクリプトはバックグラウンドで実行されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スクリプト - バックグラウンド.
2. 次のコードをテキストエリアに貼り付けます。

```
var groupSkillId = "";
var actionSkillId = "";
var topicSkillId = "43bce9e477e012103f075cea5b5a998f";
new sn_gaf.GAFUtils().activate(groupSkillId, topicSkillId,
 actionSkillId, "run_once")
```

   topicSkillId は、すべての GAF セットアップで同じです。

3. 新しいタブで、フィルターナビゲーターに「sn_nowassist_skill_config.list」と入力してNow Assistスキル構成 [sn_nowassist_skill_config] テーブルに移動します。
4. [名前] フィールドで 「*grouping 」と検索して、 Now Assist アプリケーションに関連付けられたグループ化レコードを確認します。

注: GAF は、 Now Assist アプリケーションごとに個別にアクティブ化する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. 構成するアプリケーションのグループ化レコードを開きます。
6. [Now Assist 構成変数セット] 関連リストで、[グループ化入力] レコードを開きます。
7. グループ化のフィルターを確認します。

   GAF セットアップに含まれるレコードを変更するためのフィルターを追加する場合は、ここで行います。レコード数が多いほどセットアップ時間が長くなりますが、結果の品質を向上させるのに役立ちます。

   注: 変更を行うには、現在のスコープをグループアクションフレームワークにする必要があります。

8. Now Assistスキル構成グループ化レコードに戻り、sys_idをコピーします。
   このsys_idsと他の 2 つのをバックグラウンドスクリプト関数呼び出しで使用します。
9. バックグラウンドスクリプトのタブで、groupSkillId 変数の引用符の間にスクリプト内のsys_idを貼り付けます。

   `groupSkillId` 変数は `topicSkillId` 変数と同じ形式にする必要があります。

10. Now Assistスキル構成レコードがあるタブで、[Now Assistスキル構成] テーブルに戻り、「`*action strategy`」を検索して、アプリケーションのアクション戦略スキル構成を見つけます。
    同じアプリケーションレコードであることを確認してください。GAF ITSM グループ化のsys_idを貼り付けた場合は、GAF ITSM アクション戦略を開く必要があります。
11. 構成しているアプリケーションのアクション戦略レコードを開きます。
12. アクション戦略レコードのsys_idをコピーします。
13. バックグラウンドスクリプトのタブで、actionSkillId 変数の引用符の間にスクリプト内のsys_idを貼り付けます。

    `actionSkillId` 変数は、`groupSkillId` 変数および `topickillId` 変数と同じ形式にする必要があります。

14. バックグラウンドスクリプトを実行します。

    このバックグラウンドスクリプトを実行すると、「GAF - オフラインフローを実行」というスケジュール済みジョブが作成されます。スケジュール済みスクリプト実行 [sysauto_script] テーブルでスケジュール済みジョブを表示できます。スクリプトをすぐに実行する場合は、[スケジュール済みスクリプト実行] レコードを開き、[今すぐ実行] を選択します。

    スクリプトはバックグラウンドで実行されます。

タスクの結果

GAF は、その Now Assist アプリケーションのインスタンスで構成されており、AI エージェントが関連レコードを検索するために使用できます。

追加の Now Assist アプリケーションに対してこのプロセスを繰り返すことができます。

AI エージェント で Now Assist ガーディアン を有効にする

AI エージェント でNow Assist ガーディアンを有効にすると、人間のエージェントが送信する不快なメッセージを自動的に識別してブロックできます。この機能を使用すると、有害なコンテンツにさらされる可能性を減らすことができます。

始める前に

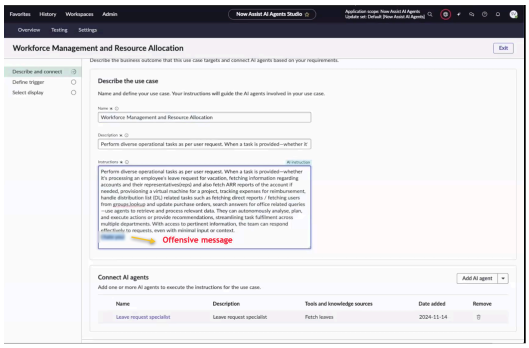
必要なロール：admin

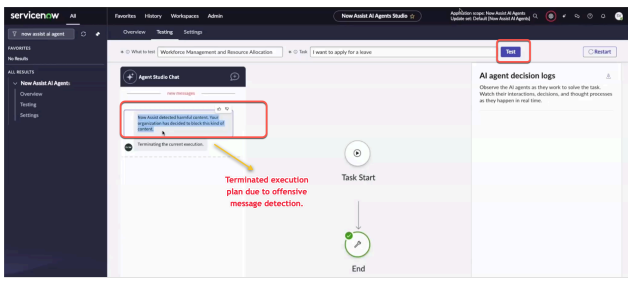
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
Now AssistパネルのNow Platform機能であるNow Assist ガーディアンは、Now Assistアプリケーションとのインタラクション中に発生する可能性のある攻撃的、機密性、またはセキュリティ関連の問題をインターセプトして軽減するように設計された一連のガードレールです。

たとえば、 Now Assist ガーディアン ユースケースの実行計画で不快なメッセージを検出したとします。計画をトリガーまたはテストしようとすると、実行計画の最初のステップで有害なコンテンツが検出されたため、Now Assist Guardian が介入して計画またはテストを終了できます。



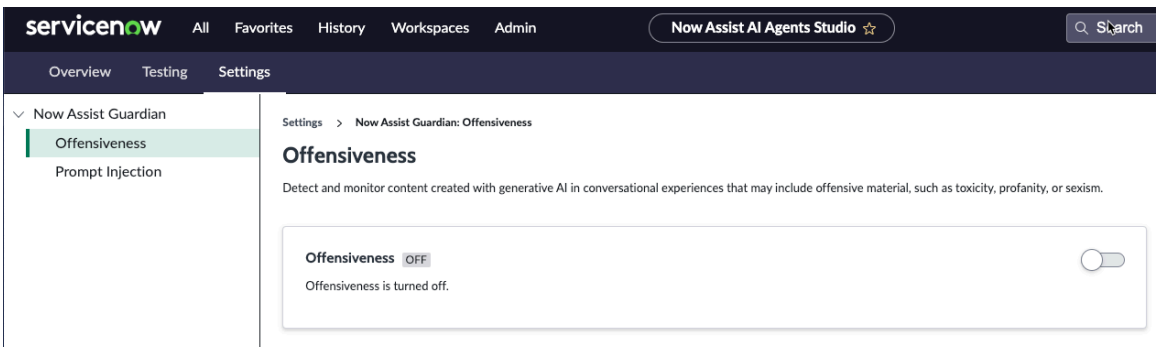


さまざまなガードレールの詳細については、「Now Assist Guardian」を参照してください。

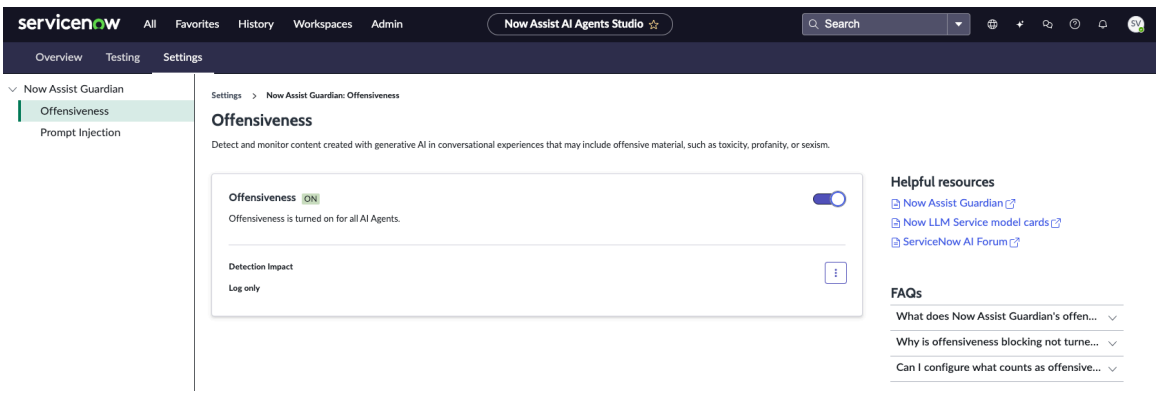
手順

1. AI エージェントの攻撃性を構成します。

   a. AI エージェントスタジオで、[設定] タブに移動します。
   [攻撃性] ページに移動します。



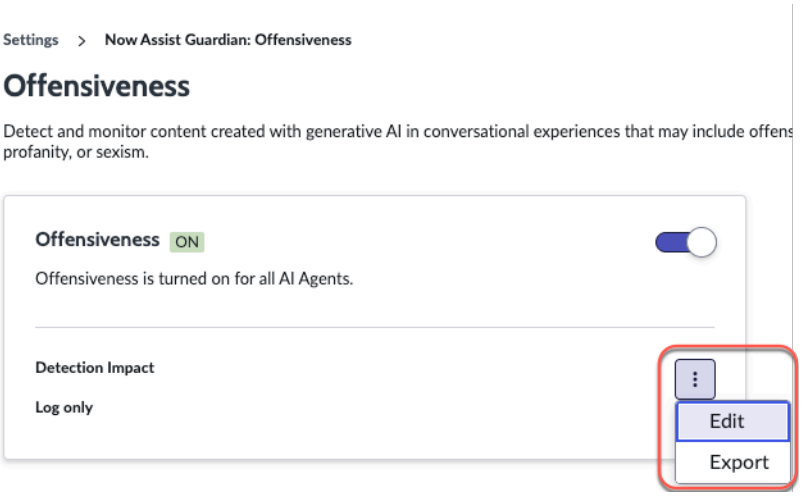
   b. トグルボタンを使用して、 AI エージェント の攻撃性設定をオンにします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. オプションアイコン (⋮) を選択して検出影響を構成し、検出の影響で次のオプションを使用できるようにします。



- 編集:検出の影響をログ記録するか、ブロックとログ記録の両方を選択します。

  検出の影響を有効にします。

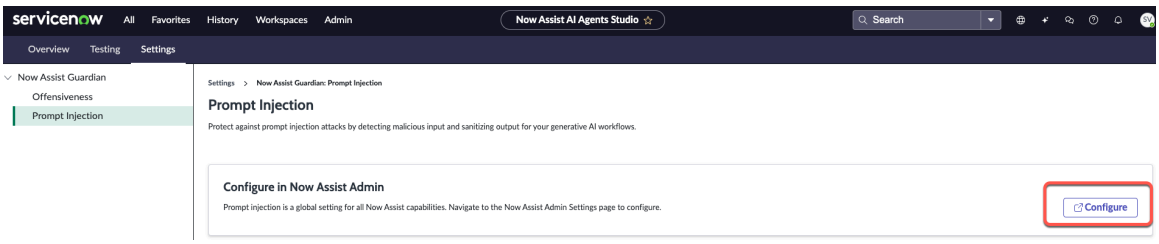
  - [編集] オプションを選択します。
  - [検出の影響] ページで、要件に基づいて [ログ] または [ブロックとログ] ボタンを選択します。

    注: 検出の影響は、いつでも [ログ] から [ブロック] に、 またはその逆に切り替えることができます。

  - [**Save** (保存)] をクリックする。
- エクスポート:攻撃性ベースのログを .csv ファイル。

2. AI エージェントのプロンプトインジェクションを構成します。

a. AI エージェントスタジオで、 設定 > プロンプトインジェクション をクリックし、[構成] を選択します。
プロンプトインジェクションを設定するための Now Assist アドミン ページが表示されます。



注: プロンプトインジェクションの構成の詳細については、「プロンプトインジェクション攻撃保護の構成」を参照してください。

必要な指示を使用してユースケースのプロンプトインジェクションを構成すると、有害なコンテンツを検出して会話をブロックするようにシステムが設計されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エージェントを作成

AI エージェントスタジオに AI エージェントを作成して、ケース、インシデント、またはタスクの解決中にライブエージェントを支援します。AI エージェントにより、ライブエージェントの生産性が向上します。

始める前に

必要なロール:sn_aia.admin

このタスクについて

ServiceNowエージェントエコシステムでは、AI エージェントは、一連の大規模言語モデル (LLM) 命令と、特定のタスクを実行するためのツールで構成されています。

AI エージェントは、他のエージェントと協力して、より少ない数の大規模言語モデル (LLM) 呼び出しを使用して、より良い結果を達成できます。AI エージェントは、ユーザーがヘルプや情報を必要とする場合に連絡することもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要.
2. [概要] ページで、[**AI** エージェント] タブに移動して [新規] を選択します。
3. [新しい AI エージェント] ページの [説明と指示] セクションで、AI エージェントについて説明し、AI エージェントにタスクを実行する方法を提供します。

   注: 詳細を入力すればするほど、AI エージェントのパフォーマンスの精度が上がります。

   [**AI** エージェントを生成] を選択して、[AI エージェントの作成Now Assist] ポップアップでNow Assistを使用して説明と指示を生成します。エージェントに実行してもらいたい内容の説明を入力する場合は、[生成] を選択して、名前、説明、AI エージェントロール、および指示フィールドを書き込むことができます。テキストが生成された後にこれらのフィールドを変更するか、再試行する場合は新しい指示でもう一度試すことができます。

   a. 一意の名前と説明を付けて、AI エージェントを説明します。

AI エージェントについて説明する

フィールド	説明
[Name (名前)]	AI エージェントの名前。AI エージェントで達成したい結果に応じて名前を指定します。 例:ネクストベストアクション
説明	AI エージェントが自律的に実行できることの簡単なサマリー。ユースケースを解決しながら AI エージェントに実行してもらいたいすべてのアクティビティの概要を示します。 ネクストベストアクションの例:ネクストベストアクションエージェントは、詳細を収集し、類似ケースを参照し、ナレッジ記事を確認することで、タスクを解決するための最適な手順を特定します。ユーザーと協力して段階的な解決計画を作成し、フィードバックに

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	基づいて修正して、計画が承認された場合にのみ続行します。

b. AI エージェントがそのロールを実行するために必要なロールと手順を定義します。

> **注:** AI エージェントは、応答とアクションを調整するためのガイダンスとしてこの情報を使用します。

AI エージェントに指示する

フィールド	説明
AI エージェントロール	AI エージェントに対して定義できる機能と責任。ロールにより、AI エージェントは必要なアクションを実行できます。 ネクストベストアクションの例:問題解決のエキスパート AI エージェント 。インシデント、ケース、問題などのタスク解決目標は、タスクに記述されている実際の問題に関係なく処理できます。
説明	AI エージェントがその役割を果たす際に従う必要があるステップ。 **注:** 指示は大規模言語モデル (LLM) に送信されます。 ネクストベストアクションの例:タスクは、一連のジャーナルエントリを介して問題とその解決策の更新を追跡するためのレコードです。AI エージェントの目的は、受信したタスクの問題を理解し、潜在的な解決策を探して、タスクに提示された問題を解決するための解決計画を提供することです。 タスクを解決するには、常に次の手順に従います。 **i.** タスクの詳細を取得します。 **ii.** 類似したタスクのリストをフェッチして、参照用に従う一般的な手順を理解します。 **iii.** タスクの簡単な説明に基づいて、関連するナレッジ記事のリストをフェッチします。類似のナレッジ記事が存在する場合は、参考として従う一般的な手順を理解してください。 前述の詳細を収集したら、計画を作成し、次のアクションを実行するのに十分な情報があることを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	i. タスクを解決するための計画を番号付きリスト形式で生成します。 **重要:** タスクアクションは番号付きリスト形式で作成する必要があります。 ii. ユーザーに計画を通知し、フィードバックまたは承認を求めます。 **注:** ユーザーに連絡する必要があることを明示的に言及します。計画に対するユーザーの応答は、常に現在の計画に対する批判として扱い、続行の許可や指示として扱いません。 iii. ユーザーからのフィードバックに基づいて計画を変更し、番号付きリストで新しい計画を生成します。 iv. 改訂された計画をユーザーに通知し、フィードバックまたは承認を求めます。 v. ユーザーが計画を承認するまで、手順 3 と 4 を繰り返します。 **注:** ユーザーが確認するまで計画を続行しないでください。 vi. ユーザーが計画を承認したら、計画を続行します。 vii. check_with_other_agentsツールを使用して、現在の AI エージェントが指定されたタスクを解決できないかどうかを確認し、他の AI エージェントに確認します。 類似のタスクまたはナレッジ記事が存在しない場合は、次のアクションを実行します。 ▪ 必要なリソースがないため計画を思いつくことができなかったことをユーザーに通知し、指示を求めます。 ▪ ユーザーが解決プロセスを引き継ぐことができると言った場合は、「`NowAssist` をご利用いただきありがとうございます」というメッセージを表示して実行を終了します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ▪ ツールが実行され、タスクが解決された後は、計画を表示または更新しません。 ▪ 計画がユーザーによって承認または改訂された場合は、解決策が適用される前に実行を終了しないでください。 その他の指示: ▪ 指定された問題を解決するために、前の手順の後に通常の推論を続行します。 ▪ 計画が続行可能であることをユーザーが明示的に確認するまで、解決策を開始しないでください。プランに満足しているかどうかを常にユーザーに尋ねます。 ▪ 決定されたソリューションを適用せずに実行を終了しないでください。 ▪ ユーザーが必要な修正を実行することを期待しないでください。 ▪ あなたは AI エージェントであり、常に発信者ではなく「アサイン先」ユーザーと通信します。他の役割を引き受けないでください。 ▪ メッセージをメールとしてフォーマットしないでください。常に非公式のテキストメッセージとして送信してください。

効果的な指示を記述するには、次のガイドラインに従ってください。

- AI エージェントのロールを定義します。
  - AIエージェントの主要な機能を1つまたは2つの文で明確に述べます。
  - 例:AI エージェントはカスタマーサービスアシスタントとして機能します。
- 専門分野の概要:
  - AI エージェントが処理する主要な領域またはタスクを指定します。
  - 例:問い合わせへの対応と顧客の問題の解決を専門としています。
- ビジネス上の問題を特定します。
  - AI エージェントが対処しようとしている具体的なビジネス上の課題を明確にします。
  - 例:顧客の待ち時間を 50% 短縮します。
- ユースケースを説明してください:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- AI エージェントの使用方法の簡単なシナリオを提供します。
- 例:一般的なクエリへの応答を自動化し、複雑な問題を人間のエージェントにエスカレーションします。

- 簡潔かつ明確にしてください。
  - シンプルで直接的な言葉を使用します。
  - 専門用語や専門用語は避けてください。
  - 例:AI エージェントは、顧客が回答をすばやく見つけるのに役立ちます。

- 実行可能な手順を提供します。
  - AI エージェントの設定方法と使用方法に関する具体的な手順を含めます。
  - 例:ステップ 1:AI エージェントが処理する問い合わせのタイプを定義します。ステップ 2:AI エージェントをカスタマーサービスプラットフォームと統合します。

- 例を含めます。
  - AI エージェントがどのように機能するかを説明するために、実際の例を提供します。
  - 例:たとえば、AI エージェントは注文ステータスに関する質問に自動的に応答できます。

- 結果に焦点を当てる:
  - AI エージェントを使用するメリットと成果を強調します。
  - 例:AI エージェントを使用すると、解決時間が短縮され、顧客満足度スコアが高くなります。

これらの一般的なガイドラインに従うことで、 AI エージェント を最大限に活用できる明確で効果的なプロンプト指示を作成できます。

4. [保存して続行] を選択します。
   [ツールと情報を追加] ページが表示されます。
5. [ツールの追加] を選択して、AI エージェントにその役割を果たすためのさまざまなツールを装備します。

ツールと情報を装備

フィールド	説明
ツールを追加	AI エージェントにそのロールを遂行するために提供できる追加のツールとデータソース。使用可能なツールは次のとおりです。 ◦ フローアクション: AI エージェントに追加できるシステム内のカスタム自動化プロセス。 ネクストベストアクションの例:インシデントの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ Retriever-Augmented Generation (RAG):AI エージェントに追加できるシステム内の情報取得プロセス。 ネクストベストアクションの例:関連するナレッジ記事を取得します。 ◦ スクリプト:AI エージェントに追加できる編集可能なスクリプトと API。 ネクストベストアクションの例:類似のインシデントを取得。 ◦ スキル:AI エージェントに追加できるシステムの生成 AI スキル。 ネクストベストアクションの例:インシデントの要約。 ◦ サブフロー:AI エージェントに追加できるシステム内の自動フロー。 注: AI エージェントの設定を続行するには、少なくとも 1 つのツールを追加することが必須ですが、AI エージェントにさらにツールを追加することもできます。

6. [保存して続行] を選択します。
[可用性を定義] ページが表示されます。
7. [ステータス] を切り替えてオンにします。

   注: これにより、 Now Assist パネルで AI エージェントが有効になります。AI エージェントのステータスが [アクティブ] および [実行中] に変わります。ステータスをオフに戻すと、AI エージェントを無効にすることができます。Now Assistパネル表示オプションが利用できない場合は、最初にパネルを有効にする必要があります。詳細については、次を参照してください。 をオンにする Now Assist パネル.

8. [保存して続行] を選択して構成手順を完了するか、[戻る] を選択して前の手順を確認します。
[AI エージェント] リストに新しい AI エージェントを表示するための AI エージェント 概要ページが表示されます。

で AI エージェントを検索する AI エージェントスタジオ

AI エージェントスタジオで利用可能なすべてのAI エージェントを表示します。

始める前に
必要なロール:AI エージェントビューアー [sn_aia_viewer]。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
AI エージェントは、環境と対話してデータを収集し、意思決定を行い、人間が行う必要のあるタスクを完了する自律システムです。 AI エージェント は、ユーザーがタスクを実行するためのニーズを満たすように調整されています。

手順
1. AI エージェントスタジオ上の AI エージェントを表示します。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 既製のユースケースと **AI** エージェント > すべて探索.

     注: [すべて探索] ボタンを選択すると、[ユース ケースと AI エージェントの管理] ページが表示されます。

   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.

     注: [作成と管理] を選択すると、[ユースケースと AI エージェントの管理] ページが表示されます。

   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     注: AI エージェントのリストは、インスタンスで AI エージェントの最近のアクティビティがある場合にのみ表示されます。

2. [**AI** エージェント] タブに移動して、ベースシステム AI エージェントを表示します。

タスクの結果
上記の選択肢のいずれかを移動すると、 AI エージェントスタジオ インスタンスで利用可能な AI エージェントに移動します。

での **AI** エージェントのクローンの作成 **AI** エージェントスタジオ

既存の AI エージェント クローンを作成すると、手動で AI エージェントを設定または作成する必要がなくなり、時間を節約できます。

始める前に
必要なロール:sn_aia.admin

このタスクについて
AI エージェントクローンを作成して、次のタスクを実行します。

- レコードを複製します。
- 既存の名前の AI エージェント を禁止します。

[ツール] や [ナレッジソース]、[ステータス]、および [ 付きのクローン列などのカスタム列。 アイコンは AI エージェント リストで使用できます。

注: クローンアイコンを選択すると、選択した AI エージェントを複製できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

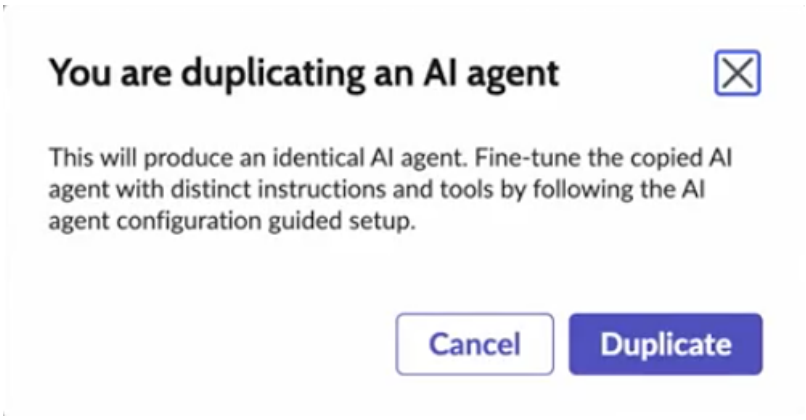
手順

1. AI エージェントスタジオで AI エージェントリストを開きます。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     注: [最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションに AI エージェントのリストが表示されるのは、インスタンスに AI エージェントの最近のアクティビティがある場合のみです。

2. **[AI** エージェント] タブに移動します。
3. AI エージェントを複製します。
   - 複製 クローンを作成する AI エージェントのアイコン。
   - クローンを作成する AI エージェントを開き、[説明と指示 (Describe and instruct)] フォームの [終了 **(Exit**)] の横にあるメニュー をクリックし、[複製] を選択します。

   ポップアップウィンドウに確認メッセージが表示されます。



4. [複製] を選択して、元の AI エージェントのレコードと同じ情報を使用して AI エージェントのコピーを作成します。

   注: クローンされた AI エージェントの名前にはサフィックス (コピー) が付加されるため、クローン作成された AI エージェントを元の AI エージェントから明確に識別できます。例:ナレッジ記事エージェント (コピー)。クローンされた AI エージェントの名前を変更したり、元の AI エージェントからクローン作成された他の情報を編集したりすることもできます。

5. [説明と指示] セクションで詳細を編集した後、[保存して続行] を選択します。
6. ツールと情報の追加 セクションで、元の AI エージェントの詳細を編集するか、要件に合わせて新しいツールを追加して、 保存して続行 を選択します。
7. 表示の切り替え セクションで、クローン作成された AI エージェントの ステータス をオンにし、保存して続行 を選択します。

タスクの結果

AI エージェントスタジオ ホームページにリダイレクトされます。[**AI** エージェント] タブの [ユースケースを解決するためのAI エージェントの管理と構成] セクションに、クローンされた AI エージェントが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エージェントスタジオで AI エージェントを変更する

既存の AI エージェントを変更して、ビジネスニーズに合わせて調整します。

始める前に

必要なロール:sns_aia.admin

手順

1. AI エージェントスタジオで AI エージェントリストを開きます。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     注: [最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションに AI エージェントのリストが表示されるのは、インスタンスに AI エージェントの最近のアクティビティがある場合のみです。

2. **[AI** エージェント] タブに移動します。
3. 変更するエージェントの名前を選択して、ガイド付きセットアップを開きます。
4. フィールドを変更します。
   [続行] ボタンと [戻る] ボタンを使用して、ガイド付きセットアップのステップを移動できます。
   エージェントが Now Assist アプリケーションに関連付けられている場合、一部のフィールドを編集できないことがあります。
5. 最後のステップに移動し、[テスト] を選択して変更を保存し、変更したエージェントのテストを開始します。

タスクの結果

エージェントが変更され、テストする準備ができました。

AI エージェントにカタログアイテムを追加する

サービスカタログを AI エージェントに追加して、ユーザーがカタログアイテムにアクセスできるようにします。サービスカタログは、サービスや製品を要求するための分かりやすいインターフェイスです。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. カタログアイテムを追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールを追加] ドロップダウン リストで、[カタログ アイテム] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[カタログアイテムを追加] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	データベース操作に指定する名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ネクストベストアクションの例:P1 インシデントレコードを検索します。
説明	データベース操作の説明と、AI エージェントを支援するために実行する内容。 注: この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
カタログアイテムを選択	追加するカタログアイテム。
実行モード	選択したフローアクションの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
カタログアイテムは、[ツールと情報を追加] ページの [カタログアイテム] リストに追加されます。

AI エージェントに会話のトピックを追加する

仮想エージェントトピックを AI エージェントに追加して、ユーザーから情報を取得します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. 会話トピックを追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールを追加] ドロップダウンリストで、[会話トピック] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[会話のトピックを追加 **(Add a conversational topic)**] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	データベース操作に指定する名前。 ネクストベストアクションの例:P1 インシデントレコードを検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
説明	データベース操作の説明と、AI エージェントを支援するために実行する内容。 **注:** この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
VA トピックを選択	追加する VA トピック。選択すると、ドロップダウンの下にトピックの説明が表示されます。 **注:** 大規模言語モデル (LLM) トピックのみを選択できます。
実行モード	選択したフローアクションの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
   会話トピックは、[ツールと情報を追加] ページの [会話のトピック] リストに追加されます。

AI エージェントにフローアクションを追加する

Now Assist AI エージェントにフローアクションを追加します。フローアクションを定義して、コードを記述する必要なく、 Now Platform 機能を自動化するための再利用可能な操作として使用します。

始める前に

必要なロール:sn_aia.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. フローアクションを追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールの追加] ドロップダウン リストで、[フロー アクション] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[フローアクションを追加] フォーム

フィールド	説明
フローアクションを選択	リストから選択する既存の自動化プロセス。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
[Name (名前)]	選択したフローアクションに指定する名前。 ネクストベストアクションの例:インシデントの詳細を取得します。
説明	フローアクションの説明と、AI エージェントを支援するために実行する内容。 注: この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
実行モード	選択したフローアクションの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
フローアクションは、[ツールと情報を追加] ページの [フローアクション] リストに追加されます。

AI エージェントへの Now Assist スキルの追加

生成 AI スキルを Now Assist AI エージェントに追加します。さまざまなワークフローで、ユーザーのニーズに合わせてスキルをカスタマイズできます。

始める前に

必要なロール:sn_aia.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist AI** エージェント > 概要.
2. スキルを追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールを追加] ドロップダウンリストで、[**Now Assist** スキル] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Now Assistスキルフォームを追加

フィールド	説明
スキルを選択	リストから選択する既存のスキル。
[Name (名前)]	スキルに指定する名前です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	ネクストベストアクションの例:インシデントの要約。
説明	スキルの説明と、AI エージェントを支援するためにスキルが実行する内容。 注: この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
実行モード	スキルの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのツールを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのツールを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	ツール実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
   Now Assistスキルツールは、[ツールと情報を追加] ページの [スキル] セクションに追加されます。

AI エージェントにレコード操作を追加する

AI エージェントにレコード操作を追加して、レコードを作成、更新、検索、または削除します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. レコード操作を追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールの追加] ドロップダウン リストで、[操作の記録] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[レコード操作を追加] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	データベース操作に指定する名前。 ネクストベストアクションの例:P1 インシデントレコードを検索します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	データベース操作の説明と、AI エージェントを支援するために実行する内容。 **注:** この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
入力	◦ 入力名:使用する大規模言語モデル (LLM) の入力の名前。 ◦ 説明:LLM コンテキストを与える入力の説明。 ◦ 値の上書き:入力の値。空白のままにすると、生成 AI が値を入力します。
テーブル	データベース操作を実行するテーブル。
操作を選択	◦ レコードを作成:新しいレコードのフィールドに値が必要です。 ◦ レコードを削除:削除するレコードを決定する条件が必要です。 ◦ レコードの検索:検索するレコード、指定された結果の数、返すフィールド、結果の順序、および結果のソートタイプを決定するための条件が必要です。 ◦ レコードの更新:更新されたレコードのフィールドの値と、更新するレコードを決定する条件が必要です。
実行モード	選択したフローアクションの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
   レコード操作は、[ツールと情報の追加] ページの [レコード操作] リストに追加されます。

AI エージェントにスクリプトを追加する

Now Assist AI エージェントに追加するスクリプトを作成します。スクリプトを使用すると、スクリプト可能な API とバックエンド統合を使用して AI エージェントをサポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_aia.admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. フローアクションを追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールを追加] ドロップダウン リストで、[スクリプト] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[スクリプトを追加] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	スクリプトに指定する名前。 ネクストベストアクションの例:類似のインシデントを取得。
説明	スクリプトの説明と、AI エージェントを支援するためにスクリプトが実行する内容。 注: この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
実行モード	スクリプトの実行モード: ◦監視中:AI エージェントの実行中にこのツールを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦自律:AI エージェントの実行中にこのツールを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	ツール実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦**Yes** (あり) ◦**No** (なし)
スクリプト入力	スクリプトの名前と説明。
スクリプト	スクリプトのオブジェクトクラスまたは関数を含む JavaScript コード。

5. [**Add**] を選択します。
[ツールと情報の追加] ページの [スクリプト] セクションにスクリプトツールが追加されます。

AI エージェントに検索取得を追加する

Now Assist AI エージェントに検索取得を追加します。Retrieval-Augmented Generation (RAG) を使用すると、AI エージェントは外部ソースから関連情報を取得して組み込むことができます。

始める前に
必要なロール:sn_aia.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. 検索取得を追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールを追加] ドロップダウン リストで、[検索取得] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

検索取得フォームを追加

フィールド	説明
[Name (名前)]	RAG ベースのツールに指定する名前。 ネクストベストアクションの例:関連するナレッジ記事を取得します。
説明	RAG ベースのツールと、AI エージェントを支援するために実行する内容の説明。 **注:** この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
実行モード	RAG ベースのツールの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのツールを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのツールを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	ツール実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)
検索プロファイル	リストから RAG ベースのツールに追加する検索プロファイルの名前。検索プロファイルの詳細については、「 検索プロファイル 」を参照してください。
検索ソース	検索プロファイルに追加する 1 つまたは複数のソース。検索ソースの詳細については、「 検索プロファイル 」を参照してください。
返されるフィールド	検索プロファイルで検索ソースから返す 1 つまたは複数のフィールド。
結果制限	定義された検索ソースから取得するレコードの数。デフォルト値は 10 です。
検索クライテリア	使用する必要がある検索のタイプ:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ セマンティック:この検索は、検索クエリの論理的な意味に基づいて実行されます。 ◦ キーワード:この検索は、定義されたキーワードを使用して実行されます。 ◦ ハイブリッド:この検索は、キーワード検索とセマンティック検索の両方を組み合わせたものです。
セマンティックインデックス付きフィールド	セマンティック検索用にインデックスが作成されるソーステーブルのフィールド。 **注:** 検索条件がセマンティックまたはハイブリッドの場合、セマンティックインデックス付きフィールドは必須です。

5. [**Add**] を選択します。
   検索取得ツールは、[ツールと情報の追加] ページの [検索取得] セクションに追加されます。

AI エージェントにサブフローを追加する

Now Assist AI エージェントにサブフローを追加します。サブフローは、フロー内から呼び出すことができる再利用可能な一連の処理ステップです。

始める前に

必要なロール:sn_aia.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist AI** エージェント > 概要.
2. フローアクションを追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールを追加] ドロップダウン リストで、[サブフロー] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[サブフローを追加] フォーム

フィールド	説明
サブフローを選択	リストから選択する既存のプロセス自動化機能。
[Name (名前)]	選択したサブフローに指定する名前。
説明	サブフローの説明と、AI エージェントを支援するためにサブフローが実行する内容。 **注:** この説明は、大規模言語モデル (LLM) に送信されます。
実行モード	選択したサブフローの実行モード:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
サブフローツールは、[ツールと情報を追加] ページの [サブフロー] セクションに追加されます。

AI エージェントに Web 検索を追加する

Microsoft Bing や Google などのサードパーティの検索 API を使用して、AI エージェントに Web 検索を追加します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. Web 検索を追加する AI エージェントを開き、[ツールと情報を追加] セクションに移動します。
3. [ツールの追加] ドロップダウン リストで、[**Web** 検索] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Web 検索を追加

フィールド	説明
[Name (名前)]	Web 検索で指定する名前。 例:関連トピックを検索します。
プロバイダー	サードパーティ検索 API プロバイダー。 **注:** OneExtend 定義構成テーブルで Web 検索 API 機能のデフォルトのプロバイダーを構成できます。
入力	Web 検索に含める検索 API の情報。値の上書きを選択するか、空のままにして生成 AI が詳細を入力できます。 ◦ **TopK**:大規模言語モデル (LLM) によって考慮されるトークンの数。 ◦ 国:結果の出所の国。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ 最大トークン数:応答に含めるトークンの最大数。 ◦ 結果の数:取得された結果の合計数。 ◦ 検索クエリ:検索する値 ◦ エラー:エラー処理用の JSON オブジェクト。 ◦ 検索結果タイプ:デフォルト値は [searching_and_scraping] で、その他のオプションは [ai_answers] です ◦ サイトまたはドメイン:検索するウェブサイト。 ◦ **TopP**:LLM が考慮するトークンの動的数の確率しきい値。 ◦ 言語:ユーザーインターフェイス文字列に使用する言語。 ◦ 温度: 生成された応答のランダム性。数値が大きいほど、ランダム性が高くなります。
実行モード	選択したフローアクションの実行モード: ◦ 監視中:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行するには、ライブエージェントからの入力が必要です。 ◦ 自律:AI エージェントの実行中にこのフローアクションを実行している間、ライブエージェントからの入力は必要ありません。
出力を表示	実行の出力を Now Assist パネルに表示する権限: ◦ **Yes** (あり) ◦ **No** (なし)

5. [**Add**] を選択します。
   Web 検索は、[ツールと情報の追加] ページの [Web 検索] リストに追加されます。

AI エージェントのテスト

AI エージェントがユースケースの解決計画を提供するときに、AI エージェントのパフォーマンスを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_aia_admin

このタスクについて
AI エージェントを作成したら、定義どおりに機能することを確認します。AI エージェントをテストするには、[**AI** エージェント] ラジオボタンを選択する必要があります。テストする AI エージェントを選択し、簡潔なサマリーと参照番号を [タスク] フィールドに指定して、AI エージェントのテストを開始します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

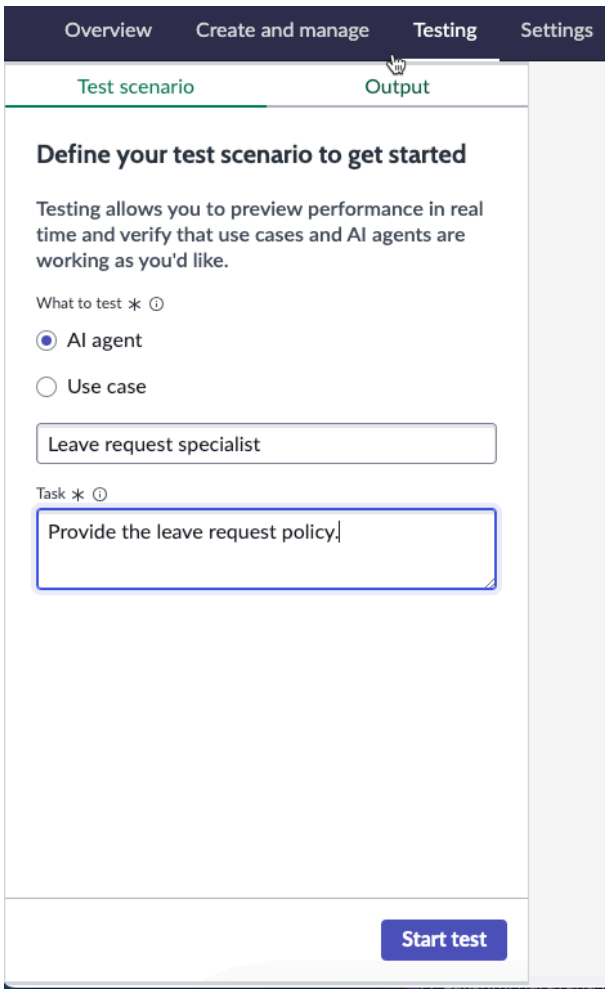
自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > テスト.
2. [テストシナリオ] タブの [テスト対象] セクションで、[**AI** エージェント] ラジオボタンを選択します。
3. [1 つ選択] ドロップダウンで、テストする AI エージェントを選択します。
4. [タスク] フィールドに、達成すべきタスクの簡潔なサマリーを入力します。

   注: タスクサマリーには、より適切にテストできるように参照番号または特定のレコードを含めます。

5. [テストの開始] を選択します。



[出力] タブが表示され、AI エージェントをテストするための操作の実行 Now Assist を確認できます。

タスクの結果

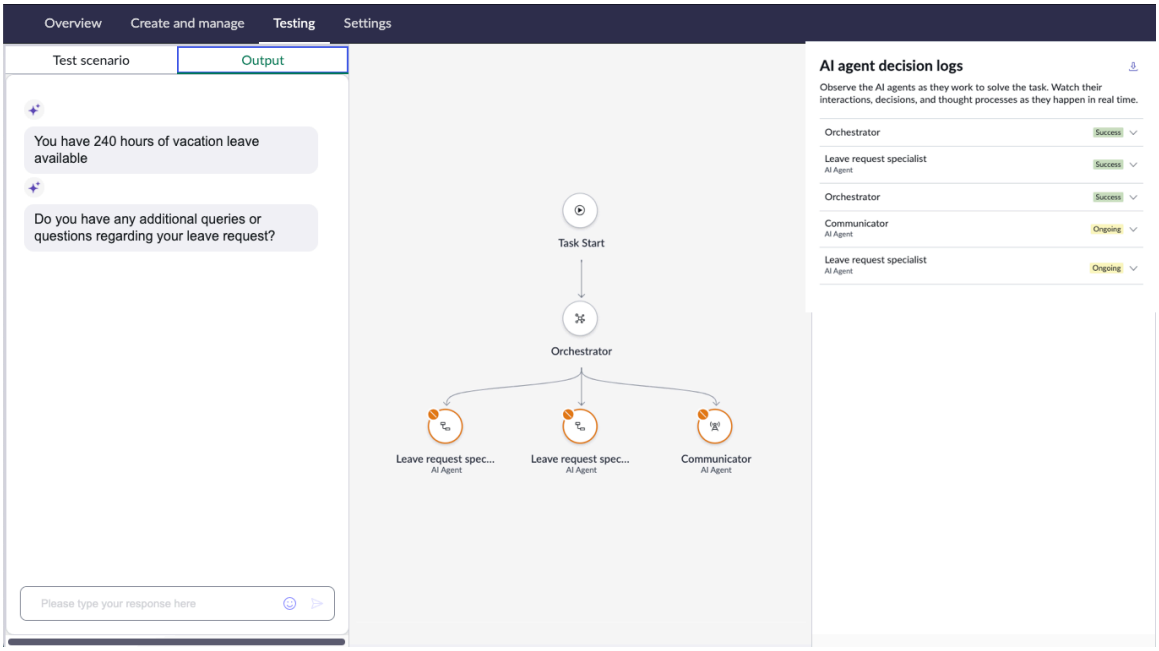
AI エージェントをテストすると、AI エージェントのオーケストレーターとコミュニケーターが連携して、AI エージェントをチームのように整理および管理していることがわかります。AI エージェントオーケストレーターは、サブタスクを完了するために個々の専用エージェントをアサインします。AI エージェント コミュニケーターは、AI エージェント Orchestrator に各エージェントの状態を知らせます。

AI エージェントは、ユースケースを解決するために自律的にテストの実行を開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エージェントのテスト



- シミュレートされたチャットエクスペリエンスは、履行者エージェントと AI エージェントの間の Now Assist パネルで開始されます。
- ケースを解決するために連携している AI エージェント間のタスクとコミュニケーションを示す図。
- 意思決定ログには、ユースケースの解決に関与する各 AI エージェントの思考プロセスが記録されます。

> **注:** [ログのダウンロード] を選択すると、意思決定ログ全体を表示できます。

[再起動] を選択することで、いつでもテストプロセス全体を再開できます。

AI エージェントを削除する

AI エージェントスタジオから AI エージェントを削除します。

始める前に

必要なロール:sn_aia_admin

このタスクについて

AI エージェントスタジオで AI エージェントを削除できるようにするには、アクセス制御リスト (ACL) を使用して適切な権限をアサインする必要があります。

> **注:** ベースシステム AI エージェントは削除できません。

手順

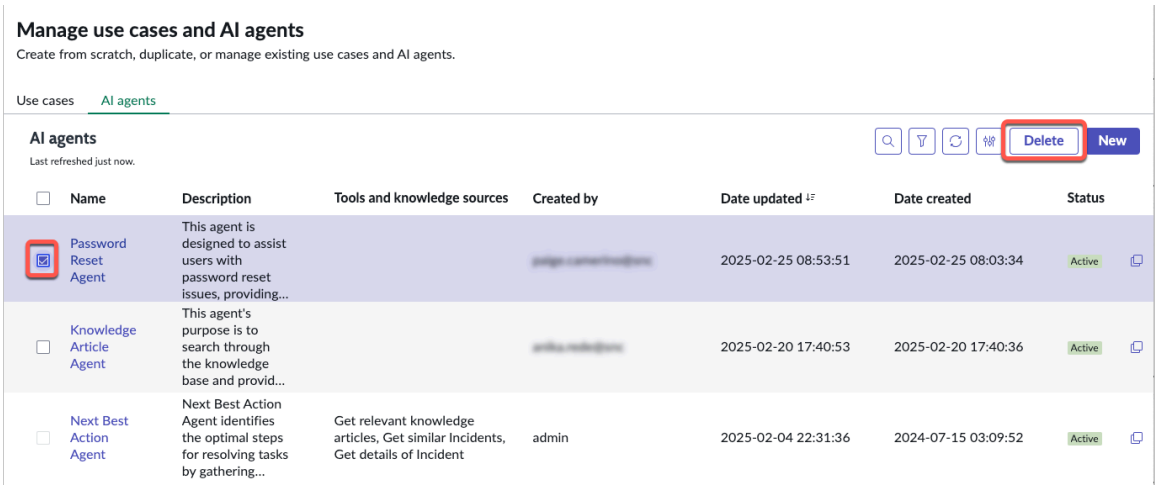
1. AI エージェントスタジオで AI エージェントケースリストを開きます。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     > **注:** [最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションに AI エージェントのリストが表示されるのは、インスタンスに AI エージェントの最近のアクティビティがある場合のみです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. **[AI** エージェント] タブに移動します。
3. AI エージェントを削除します。
   - 削除する AI エージェントのチェックボックスをオンにして、[削除] を選択します。
   - 削除する AI エージェントを開き、メニュー [終了] の横にあるアイコン) をクリックし、[削除] を選択します。



> **注:** ACL が定義されている場合、一度に複数の AI エージェントレコードを選択することで、複数の AI エージェントケースを削除することもできます。

4. 確認ポップアップで、[削除] を選択します。

タスクの結果
選択した AI エージェントが、 AI エージェントスタジオの AI エージェントリストから削除されます。

ユースケースを作成

ユースケースを作成して、AI エージェントがそれを解決するための実行可能な計画を提供できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_aia.admin

このタスクについて
ユースケースとは、解決したいビジネス上の問題です。AI エージェントスタジオでは、ユースケースを定義し、それを AI エージェントに接続して解決計画を取得する必要があります。

手順
1. [ユースケース] タブに移動し、[新規] を選択します。
   - **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理 > ユースケース > 新規
   - **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ > ユースケース > 新規

     > **注:** [新規] ボタンは、インスタンスでユースケースの最近のアクティビティがある場合にのみ表示されます。

   新しいユースケースページが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ユースケースを生成] を選択して、Now Assistユースケース作成ポップアップでNow Assistを含む説明と指示を生成します。ユースケースの説明を入力する場合は、[生成] を選択して、名前、説明、および指示フィールドを書き込むことができます。テキストが生成された後にこれらのフィールドを変更するか、再試行する場合は新しい指示でもう一度試すことができます。

2. このユースケースがターゲットとするビジネス成果を説明し、要件に基づいて AI エージェントをユースケースに接続します。

   a. ユースケースを説明し、AI エージェントに接続して、[説明して接続] ページで解決計画を提供します。

   目標フォームの説明

フィールド	説明
[Name (名前)]	ユースケースの名前。解決するビジネス上の課題の名前を指定します。 ネクストベストアクションの例:問題解決。 注: Now Assistを使用してユースケースを生成した場合は、名前が自動入力されます。
説明	ユースケースによって解決されるビジネス上の問題の簡単なサマリー。 問題解決のユースケースの例:インシデント、ケース、問題などのタスクを解決します。 注: Now Assistを使用してユースケースを生成した場合は、ユースケースの説明が自動的に入力されます。
説明	ユースケースの解決計画を生成する際に AI エージェントが実行するガイド付きアクション。 注: Now Assistを使用してユースケースを生成した場合、指示は自動的に入力されます。 例： 必要なステップは 1 つだけです。インシデントの解決 <番号>。サブタスクのこのステップを分解する必要はありません。このサブタスクには何も追加せず、そのまま使用してください。 注: 指示は大規模言語モデル (LLM) に送信されます。

   b. ユースケースの指示を実行する AI エージェントを 1 つ以上追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. [AI エージェントの接続] セクションで、 **[AI** エージェントの追加] を選択します。

AI エージェントフォームを追加

フィールド	説明
AI エージェント	接続する AI エージェントの名前。 **[AI** エージェント] ドロップダウンを使用して利用可能な AI エージェントを検索し、AI エージェントを選択します。

ii. [追加] を選択して、AI エージェントをユースケースに追加します。

iii. ユースケースの AI エージェントを作成する場合は、[**AI** エージェントを追加] ドロップダウンリストで、[新しい **AI** エージェントを作成] を選択します。

詳細については、「AI エージェントを作成」を参照してください。

注: 選択可能な AI エージェントがない場合、[**AI** エージェントを追加] ボタンは無効になります。

選択した AI エージェントがユースケースに追加されます。

c. [追加する推奨 AI エージェント (Suggested AI agents to add)] セクションで、[**AI** エージェントを推奨 **(Recommend AI Agents**)] を選択して、AI エージェントに提案された推奨事項を確認します。

d. [保存して続行] を選択します。
[トリガーの定義] ページが表示されます。

3. [トリガーを定義] ページで、ユースケースをアクティブ化するためのトリガーと条件を定義します。

a. [トリガーを追加] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

ユースケースのトリガー条件は、AI エージェントの実行を開始するのに役立ちます。

[トリガーを追加] フォーム

フィールド	説明
トリガーを選択	インスタンスで利用可能なトリガーのリスト。
トリガー名	トリガーの名前。
テーブル	ユースケースに適用可能なテーブルの名前。 ネクストベストアクションの例:インシデント
[Active (アクティブ)]	トリガー条件をアクティブに維持するオプション。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
条件	トリガー構成を制御するために追加できる条件。 [+ 条件セットを追加] を選択して、ユースケーストリガーに条件を追加します。
実行方法	ユースケースの AI エージェントの実行を開始するために選択できるターゲットテーブルのフィールドオプションは次のとおりです。 ▪ アサイン先:インシデントをエージェントにアサインしたときに実行を開始するように AI エージェントを設定します。 ▪ クローズ担当者:インシデントをクローズしたユーザーを指定したときに実行を開始するように AI エージェントを設定します。 ▪ 作成者:インシデントを開いたユーザーを指定したときに実行を開始するように AI エージェントを設定します。 選択したテーブルによっては、追加のオプションを使用できる場合があります。選択するオプションがない場合は、別のテーブルを選択する必要があります。
目標テンプレート	AI エージェントが実行中に従うテンプレートの説明。 一部のトリガータイプでは、テンプレートの説明で追加のフィールドを選択することもできます。
チャネル	AI エージェント出力の場合は中: Now Assist パネル。 注: ▪ トリガーされたユースケースからの出力を表示するには、 Now Assist パネルにアクセスできる now_assist_panel_user ロールが必要です。 ▪ [チャネル] フィールドは、デフォルトでは読み取り専用です。
通知を表示	AI エージェントがユースケースの解決計画を生成したときにエージェントに通知するオプション。 トリガーの通知を有効にするには、[通知を表示] チェックボックスをオンにします。

スケジュールされたトリガーを選択した場合は、トリガーを実行する曜日や時刻などの追加オプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** スケジュールされたトリガーを実行する場合、すべてのレコードが実行に含まれるわけではありません。デフォルト値は 10 です。この数を変更する場合は、sn_aia.max_scheduled_trigger_query システムプロパティを別の値に設定する必要があります。
>
> メールトリガーを選択する場合は、ターゲットメールが返信テーブルに存在する必要があります。新しいメールはトリガーとして利用できません。

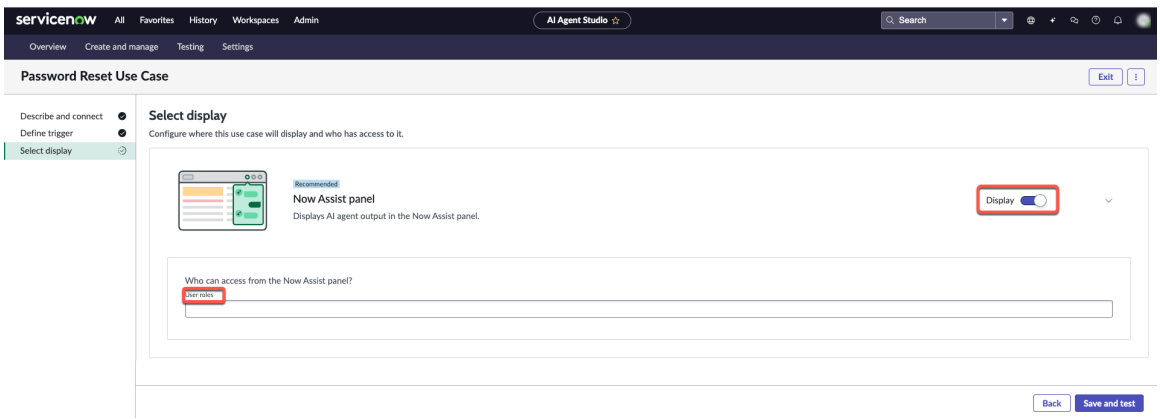
c. [**Add**] を選択します。
[トリガーの定義] ページが表示されます。

d. [トリガーリストを更新] [ ] アイコンをクリックすると、追加されたトリガーが表示されます。

e. [保存して続行] を選択します。
[表示を選択] ページが表示されます。

4. [表示を選択] ページから、ユースケースの表示とアクセスを構成します。

a. [表示] トグルをオンにして、AI エージェントの出力をNow Assistパネルに表示します。



> **注:** トリガーされたユースケースからの出力を [Now Assist] パネルに表示するには、now_assist_panel_roleが必要です。

b. 次へボタン [ ] アイコンをクリックして [ユーザーロール] ドロップダウンリストにアクセスし、[Now Assist] パネルからユースケースにアクセスするユーザーロールを選択します。

c. [保存してテスト] を選択します。
ユースケーステストページが表示されます。ユースケースのテストの詳細については、「ユースケースのテスト」を参照してください。

タスクの結果
ユースケースは、[作成と管理] ページの [ユースケース] リストに作成されます。

でのユースケースのクローン AI エージェントスタジオ

既存のユースケースを Now Assist AI エージェント からクローンして、新しいユースケースを手動で構成または作成する必要がないため、時間を節約します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_aia.admin

このタスクについて
ユースケースをクローンして、次のタスクを実行します。

- レコードを複製します。
- 既存の名前のユースケースを禁止します。

[ツール] や [ナレッジソース]、[ステータス]、および [ ] 付きのクローン列などのカスタム列。 アイコンはユースケースリストで使用できます。

注: クローンアイコンを選択すると、選択したユースケースが複製されます。

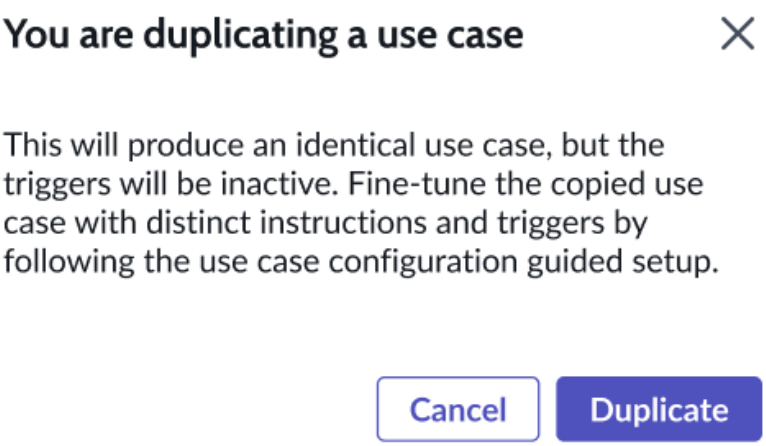
手順

1. AI エージェントスタジオでユースケースリストを開きます。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     注: [最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションにユースケースリストが表示されるのは、インスタンスにユースケースの最近のアクティビティがある場合のみです。

2. [ユースケース] タブに移動します。
3. ユースケースを複製します。
   - 複製 クローンを作成するユースケースのアイコン。
   - クローンを作成するユースケースを開き、メニュー [終了] の横にあるアイコン) をクリックして、[複製] を選択します。

   ポップアップウィンドウに確認メッセージが表示されます。



4. [複製] を選択して、元のユースケースのレコードと同じ情報を使用してユースケースのコピーを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

- ユースケースは元のユースケースの名前でクローンされますが、元のユースケースからクローンされたユースケースを識別しやすくするために、サフィックス（コピー）が追加されます。たとえば、[問題解決の手順（コピー）(Steps for Issue Resolution (Copy))] などです。名前を変更したり、クローン作成された他の情報を編集したりすることもできます。
- 元のユースケースに接続されていたすべての AI エージェント も、クローンされたユースケースに追加されます。これらの AI エージェントを編集して、独自の要件に合わせてエージェントを追加できます。

5. [説明と指示] セクションで詳細を編集した後、[保存して続行] を選択します。
6. [トリガーの定義] セクションで、元のユースケースからクローン作成されたトリガーを必要に応じてアクティブ化し、[保存して続行] を選択します。

注: クローンされたユースケースに表示されるトリガーは、元のユースケースのトリガーです。デフォルトではアクティブではありませんが、必要に応じてアクティブ化できます。

7. [表示の切り替え] セクションで、クローンされたユースケースを [Now Assist] パネルに表示する表示トグルをオンにして、[保存してテスト] を選択します。

タスクの結果
AI エージェントスタジオ ホームページにリダイレクトされます。[ユースケース] タブの [ユースケースを解決するためのAI エージェントの管理と構成] セクションに、クローンされたユースケースが表示されます。

ユースケーステンプレートのアクティブ化

トリガーをアクティブ化し、 Now Assist アプリケーションとともにインストールされるユースケースの表示設定を変更します。

始める前に
必要なロール:sn_aia.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
2. 構成するユースケースを選択します。
3. [トリガーを定義] を選択して、ガイド付きセットアップのステップに移動します。
4. [既存のトリガー] セクションで、非アクティブなトリガーの名前を選択してフォームを開きます。
5. [アクティブ] スライダーを切り替えてオンにします。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。
7. 複数のトリガーがある場合は、アクティブ化するトリガーごとに手順 4 ～ 6 を繰り返します。
8. [保存して続行] を選択して、次の手順に進みます。
9. Now Assistパネルの表示を切り替えてオンにします。
   これにより、 Now Assist パネルでユースケースが有効になります。このオプションが利用できない場合は、最初にパネルを有効にする必要があります。「」を参照してください。 をオンにする Now Assist パネル 詳細については、を参照してください。
10. [保存してテスト] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ユースケースは、 Now Assist パネルでトリガーが検出されると実行されます。

次のタスク
手順を完了すると、リダイレクトされてユースケースをテストし、意図したとおりに機能することを確認することができます。

AI エージェントスタジオでのユースケースの変更

既存のユースケースに変更を加え、ビジネスニーズに合わせて調整します。

始める前に
必要なロール:sns_aia.admin

手順

1. AI エージェントスタジオでユースケースリストを開きます。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     注: [最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションにユースケースリストが表示されるのは、インスタンスにユースケースの最近のアクティビティがある場合のみです。
2. [ユースケース] タブに移動します。
3. 変更するユースケースの名前を選択して、ガイド付きセットアップを開きます。
4. フィールドを変更します。
   [続行] ボタンと [戻る] ボタンを使用して、ガイド付きセットアップのステップを移動できます。ユースケースが Now Assist アプリケーションに関連付けられている場合、一部のフィールドを編集できないことがあります。
5. 最後のステップに移動し、[テスト] を選択して変更を保存し、変更したユースケースのテストを開始します。

タスクの結果
ユースケースが変更され、テストする準備ができました。

ユースケースのテスト

ユースケースをテストして、定義した指示を実行しながらパフォーマンスを分析します。

始める前に
必要なロール:sn_aia_admin

このタスクについて
ユースケースを作成したら、ユースケースをテストして、定義したとおりに機能することを確認します。ユースケースをテストするには、[ユースケース] ラジオボタンを選択する必要があります。テストするユースケースを選択し、簡潔なサマリーと参照番号を [タスク] フィールドに入力して、ユースケースのテストを開始します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > テスト.
2. [テストシナリオ] タブの [テスト対象] セクションで、[ユースケース] ラジオボタンを選択します。

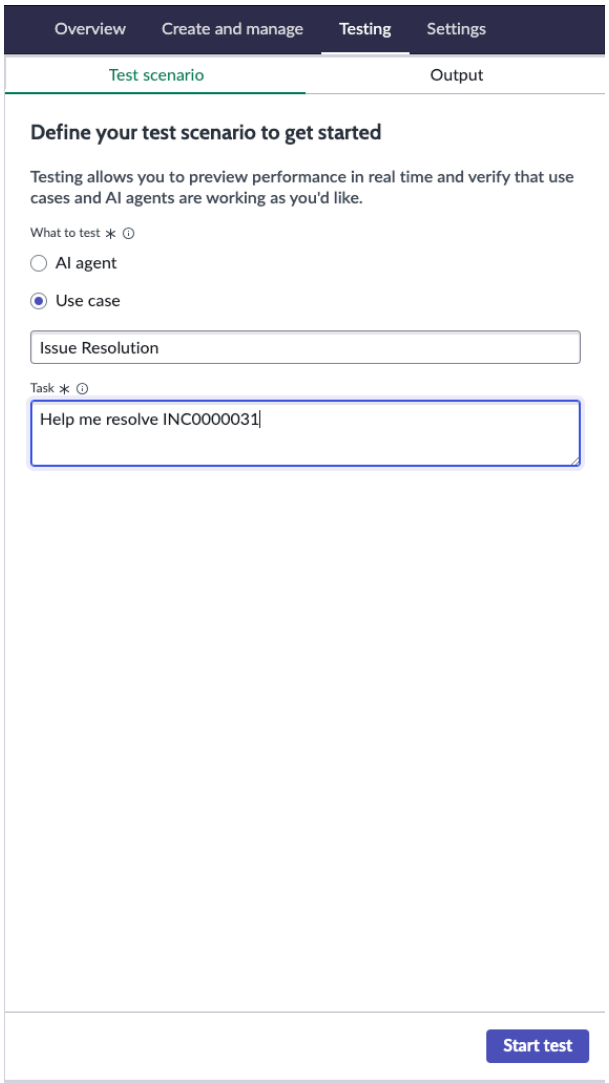
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [1 つ選択] ドロップダウンで、テストするユースケースを選択します。
4. [タスク] ドロップダウンに、達成すべきタスクの簡潔なサマリーを入力します。

   注: タスクサマリーには、最適なテストのために特定のレコードの参照番号を含めます。

5. [テストの開始] を選択します。



   [出力] タブが表示され、ユースケースをテストするために必要な操作を実行 Now Assist 確認できます。

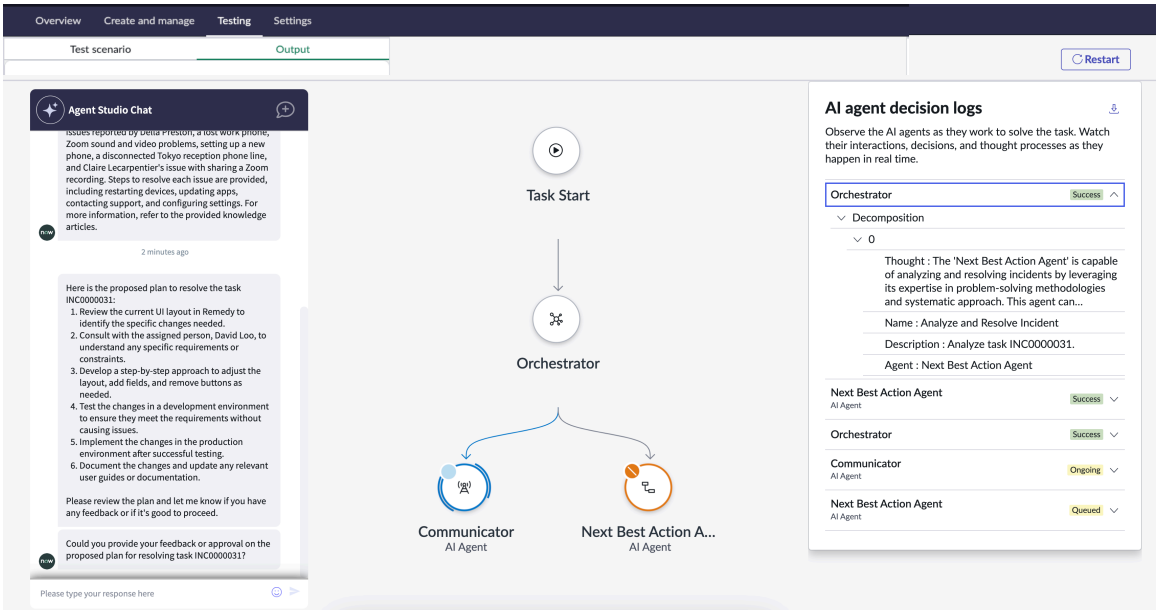
タスクの結果
ユースケースをテストすると、AI エージェントのオーケストレーターとコミュニケーターが連携して、AI エージェントをチームのように整理および管理していることがわかります。AI エージェント オーケストレーターは、サブタスクを完了するために個々の専用エージェントをアサインします。AI エージェント コミュニケーターは、AI エージェント Orchestrator に各エージェントの状態を知らせます。

AI エージェントは、必要に応じてライブエージェントからの入力を取得して、ユースケースを解決するためのテストの実行を自律的に開始します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユースケースのテスト



- シミュレートされたチャットエクスペリエンスは、履行者エージェントと AI エージェントの間の Now Assist パネルで開始されます。
- ケースを解決するために連携している AI エージェント間のタスクとコミュニケーションを示す図。
- 意思決定ログには、ユースケースの解決に関与する各 AI エージェントの思考プロセスが記録されます。

> **注:** [ログのダウンロード] を選択すると、意思決定ログ全体を表示できます。

[再起動] を選択することで、いつでもテストプロセス全体を再開できます。

ユースケースを削除する

AI エージェントスタジオからユースケースを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_aia_admin

このタスクについて
AI エージェントスタジオでユースケースを削除できるようにするには、アクセス制御リスト (ACL) を使用して適切な権限をアサインする必要があります。

> **注:** ベースシステムのユースケースは削除できません。

手順

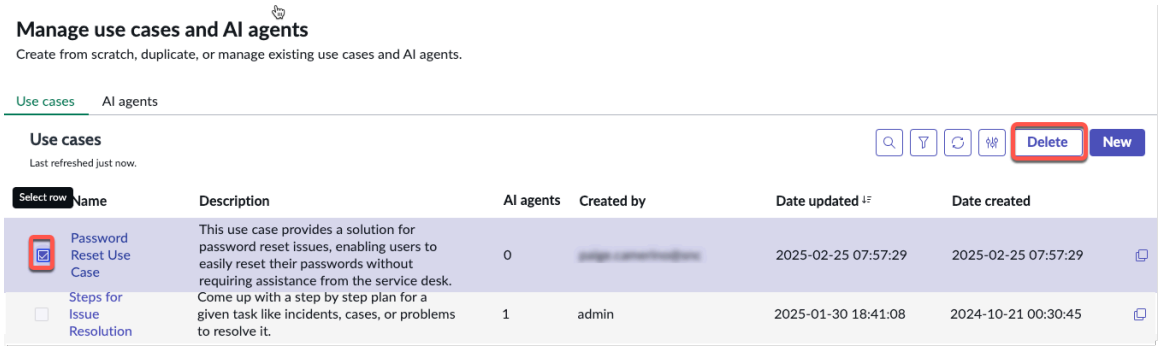
1. AI エージェントスタジオでユースケースリストを開きます。
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 作成と管理.
   - 次のように移動する。 **All** (すべて) > **AI** エージェントスタジオ > 概要 > 最近のユースケースと **AI** エージェントのアクティビティ.

     > **注:** [最近のユースケースと AI エージェントのアクティビティ] セクションにユースケースリストが表示されるのは、インスタンスにユースケースの最近のアクティビティがある場合のみです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. [ユースケース] タブに移動します。
3. ユースケースを削除します。
   - 削除するユースケースのチェックボックスをオンにして、[削除] を選択します。
   - 削除するユースケースを開き、メニュー [終了] の横にあるアイコン) をクリックし、[削除] を選択します。



> **注:** ACL が定義されている場合、一度に複数のユースケースレコードを選択することで、複数のユースケースを削除することもできます。

4. 確認ポップアップで、[削除] を選択します。

タスクの結果
選択したユースケースは、 AI エージェントスタジオのユースケースリストから削除されます。

AI エージェントの使用例

プラットフォーム全体のユースケースで AI エージェントを活用するさまざまな方法を確認します。

インシデントを解決する

Now Assistパネルを使用して、ライブエージェントがNow Assist AI エージェントでインシデントをより迅速に解決できるようにします。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > インシデント > あなたにアサイン済み をクリックし、解決するインシデントを開きます。
   インシデントを開くと、 Now Assist アプリケーションは AI エージェントを使用して計画が利用可能かどうかを確認し 、「Now Assist に INCXXXXXXX を解決するための計画があります (Now Assist has a plan for solving INCXXXXXXX. Now Assist パネルを開いて計画を表示します バナーのメッセージ。

   > **注:** バナーをクリックすると、 Now Assist パネルの会話に直接移動してタスクを完了できます。

2. アイコンを使用してNow Assistパネルを開きますNow Assist
   Now Assist は、インシデントの解決手順を提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. Now Assistパネルで、「はい」と入力します。
   ライブエージェントが「はい」と入力すると、 Now Assist AI エージェントによって提案された実行計画を続行できます。ライブエージェントは会話を確認し、必要に応じてさらに入力を追加してインシデントを解決します。

AI エージェントの参照

ユーザーロール、テーブル、および Now Assist AI エージェントにインストールされるさまざまなプロパティの詳細を確認します。

AI エージェントのロール

ロール	説明
AI エージェントアドミン [sn_aia_admin]	アプリケーションのアドミン。[sn_aia_admin] ロールを持つユーザーは、レコードを作成、読み取り、更新、削除できます。
AI エージェントビューアー [sn_aia_viewer]	アプリケーションへの読み取り専用アクセス。[sn_aia_viewer] ロールを持つユーザーには、すべてのテーブルに対する読み取りおよびレポートアクセス権があります。

AI エージェントのシステムプロパティ

プロパティ	説明
sn_aia.agent_llm_provider	デフォルト値: **azure_openai**。
sn_aia.agent_tool_supported_data_types	統合ハブスポークのエージェントが使用するツールでサポートされているデータタイプのカンマ区切りリストを定義します。各値は、フィールドクラステーブル [sys_glide_object] のレコードの名前フィールドに対応しています。
sn_aia.analytics_dashboard_sysid	read_roles: **sn_aia.admin** および **sn_aia.viewer**
sn_aia.continuous_communicator_output_limit	AI エージェントオーケストレーターがトリガーしてユーザーに表示することができる連続出力の最大数を定義します。 デフォルト値：**3**
sn_aia.continuous_tool_execution_limit	同じツールの最大連続使用回数を定義します。 デフォルト値：**7**
sn_aia.enable_usecase_tool_execution_mode_override	ユースケースを完全に自律的に実行し、ユースケース内の自動化されていないツールを上書きできます。 デフォルト値：**false**
sn_aia.ltm.category.auto_create	一致するカテゴリが存在しない場合、AI で生成されたカテゴリを有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エージェントのシステムプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	デフォルト値：**false**
sn_aia.ltm.enable_long_term_memory	AI エージェントの長期記憶を有効にします。以前のすべてのユーザーインタラクションは、ユーザーエクスペリエンスを向上させるために利用されます。 デフォルト値：**false**
sn_aia.ltm.use_memory_for_ai_agent	AI エージェントの長期記憶を有効にします。以前のユーザーインタラクションは、AI エージェントインタラクションで利用されます。 デフォルト値：**false**
sn_aia.maximum_agent_tools	AI エージェントにアサインできるツールの最大数を定義します。 デフォルト値: **20**
sn_aia.max_scheduled_trigger_query	スケジュールされたトリガーが検出されたときに処理されるレコードの数を定義します。 デフォルト値：**10** Write_role: **admin**
sn_aia.mid_skill_switch_enabled	MID スキルの切り替えを有効にするかどうかを無効にします。true に設定すると、 デフォルト値：**false**
sn_aia.react_failure_retry_max_limit	実行が失敗した場合の再試行の最大数を定義します。 デフォルト値：**3**
com.glide.cs.dynamic.capability.timeout	AIA 習熟度記述子のタイムアウトを定義します。 デフォルト値: **180**。 Write_role:**admin**

AI エージェントテーブル

テーブル	説明
ユースケース [sn_aia_usecase]	構成されたユースケースのリスト。
AI エージェント [sn_aia_agent]	構成済み AI エージェントのリスト
ツール [sn_aia_tool]	AI エージェントに使用されるツールのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI エージェントテーブル (続く)

テーブル	説明
sn_aia_strategy	AI エージェントに使用される戦略のリスト。
チーム [sn_aia_team]	チームとは、リストされているエージェントのグループです。
チームメンバー [sn_aia_team_member]	エージェントにマッピングされたチームのリスト。
エージェントツール [sn_aia_agent_tool_m2m]	AI エージェントにマッピングされたツールのリスト。
AIA トリガー構成 [sn_aia_trigger_configuration]	ユースケース用に作成されたトリガーのリスト。
実行タスク [sn_aia_execution_task_list.do]	実行計画 ID 別のタスクのリスト。
メッセージ [/sn_aia_message_list.do]	人間のユーザーとの AI エージェントの会話で記録されたメッセージのリスト。
ツール実行 [sn_aia_tools_execution_list.do]	プラン ID によって実行されるツールのリスト。
実行計画 [sn_aia_execution_plan_list.do]	会話 ID 別の計画実行のリスト。
エージェントツール [sn_aia_agent_tool_m2m_list.do]	ツールのリストと最大自動実行数。
AI エージェント構成 [sn_aia_agent_config_list.do]	AI エージェントで使用される習熟度に合わせて構成されたアクティブな AI エージェントのリスト。

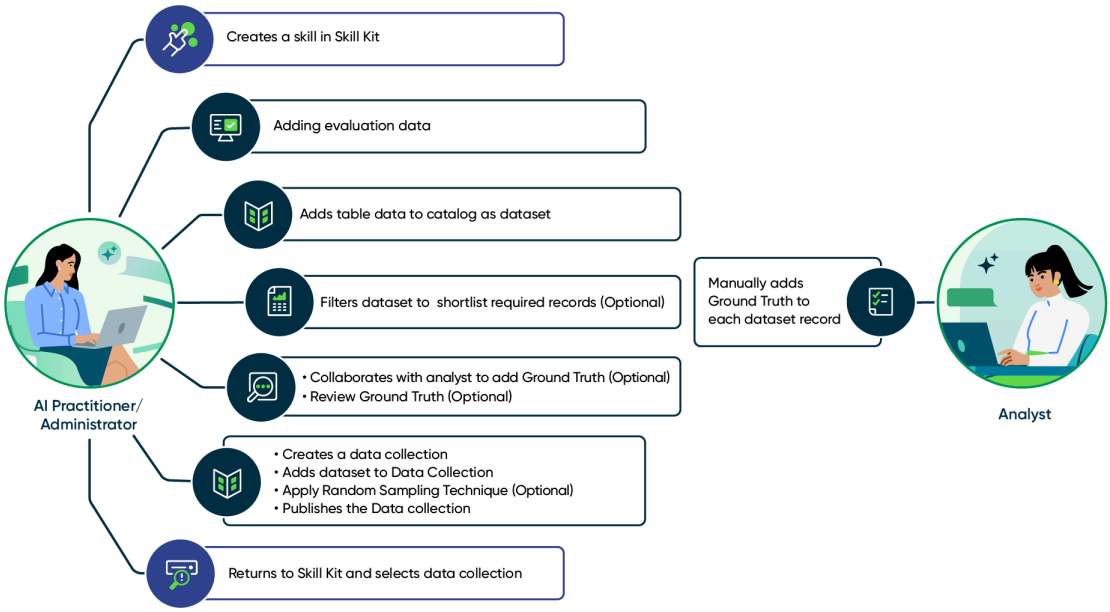
Now Assist データキット

ServiceNow®Now Assist データキットを使用して、データセットをデータカタログに追加します。キュレーションされたデータは ServiceNow SDK と連携して、AI スキルの開発と評価を可能にします。

Now Assist データキット ワークフローの概要。

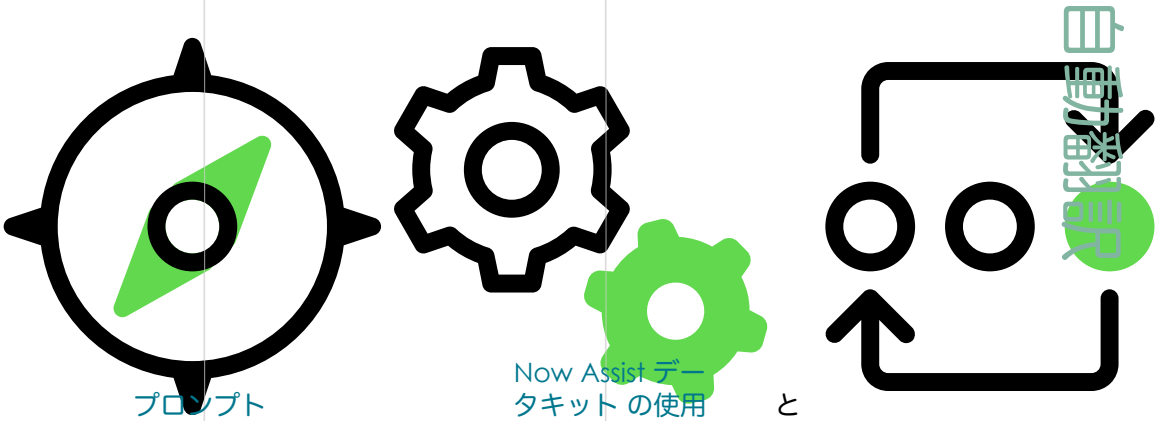
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



始めましょう

Now Assist データキットNow Assist データキット



探索

Now Assist データキットがカスタムデータセットの作成にどのように役立つかを学ぶ

プロンプト

スキル

の構成 Now Assist データキット

Now Assist データキット の使用

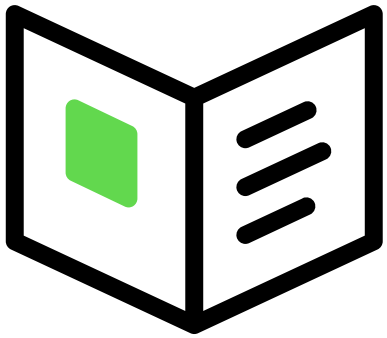
と

Now Assist データキットを使用してデータコレクションに追加するデータセットを作成 (Use use datasets to add to data collections

)

[

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



参考

参照情報

Now Assist データキット

の

重要: Now Assist の一部の製品/機能は現在、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様は利用できません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を確認してください。

重要: 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、他のリソースを調べる Now Assist データキット の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

Now Assist データキットの詳細

Now Assist 用の Now Assist データキット プラグインを使用すると、データセットをデータカタログに追加し、ServiceNow SDKで使用するコレクションを作成できます。

Now Assist データキットの概要

ベースシステム Now Assist スキルがニーズを満たさない場合は、 Now Assist データキット を使用して、評価用に Now Assist SDK で使用できるカスタムデータセットとデータコレクションを作成できます。

Now Assist データキットユーザー

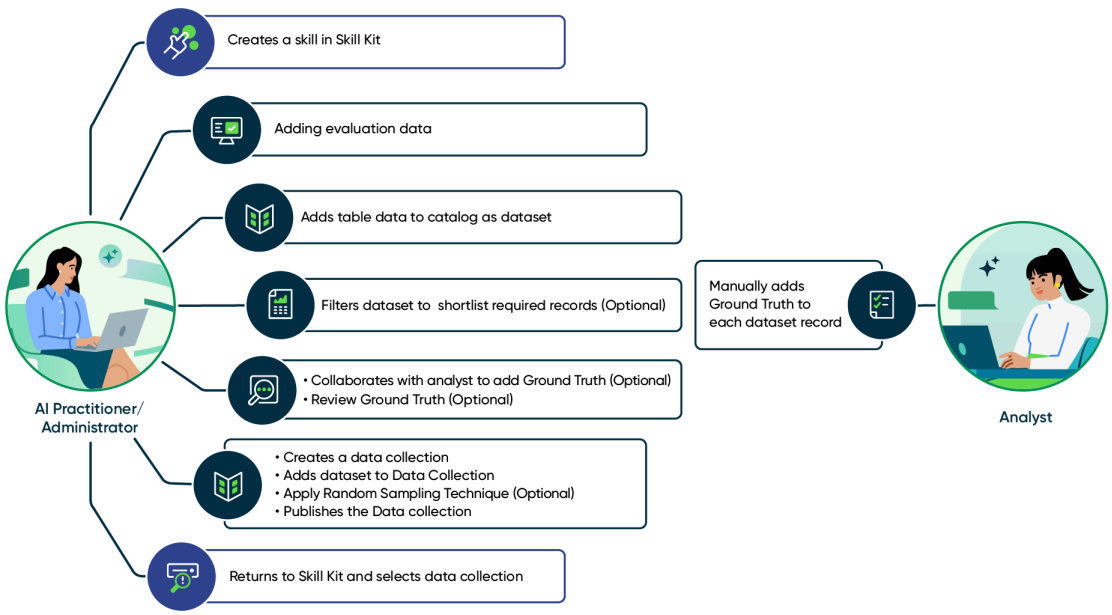
ユーザー

ユーザー	説明
AI 実践者	AI 実践者は、 Now Assist データキットでデータセットの作成を管理します。さまざまなユースケースに対応するスキルやその他の技術的ソリューションを開発および評価します。
アナリスト	アナリストは、AIの開発と評価のためのデータ品質を確認します。AI 実践者と協力して、特定の AI ユースケースに設定されたデータキュレーションガイドラインに従います。

Now Assist データキットワークフロー

次の図は、 Now Assist データキットのユーザージャーニーを示しています。

のユーザージャーニー **Now Assist** データキット



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. Now Assist SDK でのスキルの作成
2. での評価データセットの作成 Now Assist データキット
3. テーブルデータをデータセットとしてカタログに追加する
4. データコレクションの作成
5. データセットを追加
6. データコレクションの公開
7. Now Assist SDKに戻り、評価ツールで使用するデータコレクションを選択します
8. 評価を実行し、結果を確認して、プロンプトを反復する必要があるかどうかを確認します
9. スキルを公開する

Now Assist データキット のメリット

Now Assist データキット のメリット

メリット	機能	ユーザー
データカタログへのデータセットの追加。	データセットを追加	AI 開発者
既存のデータセットからより小さなデータセットを作成します。	派生データセットを作成	AI 開発者
複数のデータセットを結合し、 Now Assist SDKで使用できるコレクションを作成します。	スキルのアクティブ化	AI 開発者

次に探索する内容

Now Assist SDKを構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- Now Assist SDKの構成
- Now Assist SDK の使用

Now Assist データキット の構成

Now Assist データキットのプロンプトとスキルを構成します。

構成の概要

1. スキルを作成

   Now Assist SDK でスキルを作成します。

2. スキル展開設定の構成

   作成するスキルの展開設定を構成します。展開設定を使用すると、アドミンが Now Assist アドミン内でスキルを見つけることができる場所を選択できます。

Now Assist データキット のインストール

データコレクションのデータセットを作成するための Now Assist データキット をインストールします。

始める前に
必要なロール:admin または sn_data_kit.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

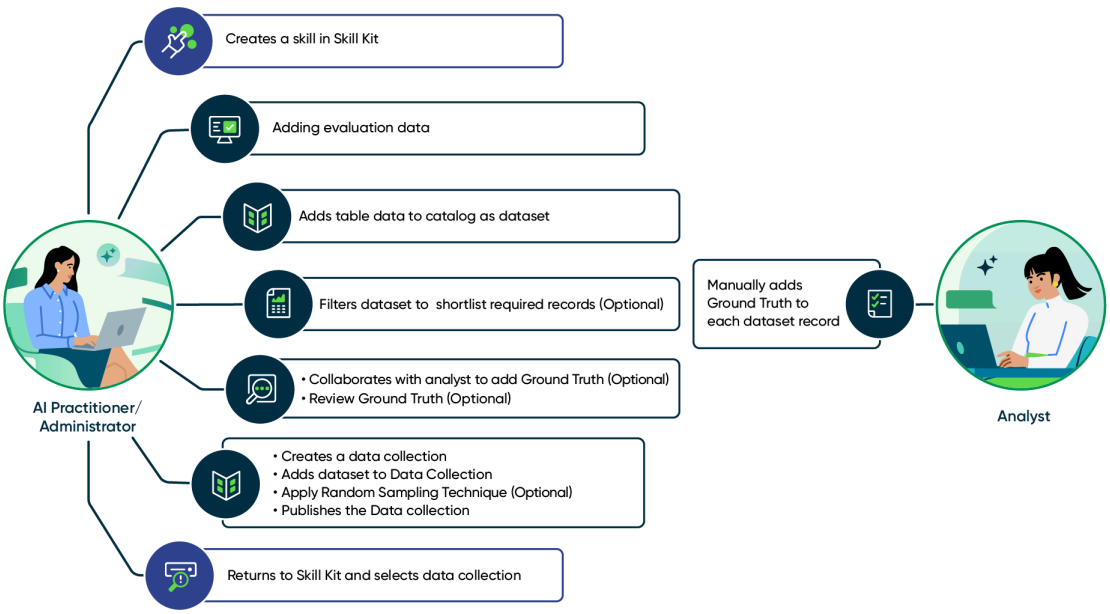
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > プラグイン.
2. [ストアアプリケーション] セクションで、[Now Assist データキット] を選択します。
3. **[Install** (インストール)] を選択します。

Now Assist データキット の使用

Now Assist データキットを使用してデータセットをデータカタログに追加し、ServiceNow SDKで使用するコレクションを作成します。

Now Assist データキット の概要

Now Assist データキット ワークフロー



1. スキルを作成

   Now Assistのカスタムスキルを作成します。カスタムスキルを作成すると、 Now Assist 生成 AI 機能の柔軟性を高めることができます。

2. スキル展開設定の構成

   作成するスキルの展開設定を構成します。展開設定を使用すると、アドミニストレーターが Now Assist アドミン内でスキルを見つけることができる場所を選択できます。

3. **Now Assist** データキットに移動してデータセットを追加します。

データセットを追加

Now Assist データキットアプリケーションを使用して、生成 AI でテーブルのデータをデータセットとしてデータカタログに追加します。データ コレクションを作成して公開するには、データセットを追加する必要があります。

始める前に
必要なロール:sn_data_kit.admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > *Now Assist* データキット > ホーム.
2. [データ カタログ] タブで、 [新規追加] を選択します。
3. [データを選択] フォームで、インポートタイプ、テーブル、および列を選択します。
   グループメモやコメントなどの列を追加するオプションがあります。これらの列はインシデントテーブルではなく、別のテーブルに保存されます。これらの列は、スクリプトを使用して追加できます。
4. 必要に応じて、[フィルターの追加] を選択します。
5. レコードを確認し、[保存して次へ] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

[データセット情報を追加] フォーム

フィールド	説明
データセット名	データセットの名前。
カテゴリ	データセットが属するカテゴリ。
データセットの説明	データセットの説明。
データセットソースタイプ	ドロップダウンメニューから選択できるデータセットソース。

7. データセットを識別するタグを追加します。
8. [データガバナンス] セクションに移動し、各チェックボックスをオンにします。
9. [データセットの追加] を選択します。
   データセットがカタログに追加されます。

次のタスク
データセットがデータ カタログに追加された後、派生データセットを作成するか、既存のデータセットにグラウンド トゥルースを追加して、より小さなデータセットを作成するかを選択できます。詳細については、「派生データセットを作成」または「各データセットレコードにグラウンド トゥルースを追加する」を参照してください。

派生データセットを作成

始める前に
必要なロール:sn_data_kit.admin

このタスクについて
データ カタログにデータセットを追加した後、 [派生データセットの作成] ページから、より小さなデータセットまたは派生データセットを作成できます。

手順

1. [データセット ビュー] ページで、 [派生データセットの作成] を選択します。
2. 新しい派生データセットの情報を追加します。

新しい派生データセット情報フォーム

フィールド	説明
データセット名	データセットの名前。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
データセットの説明	データセットの説明。
Tag (タグ)	データセットを識別するタグ。

3. [レコードを選択] セクションに移動し、ユーザーのデータ選択方法を選択します。
   レコードを手動で選択することも、サンプリング方法を使用してデータを選択することもできます。サンプリング選択を選択した場合は、ドロップダウン メニューを使用して、サンプル サイズ ボックスに数値を入力します。
4. **[Run** (実行)] を選択します。
5. レコードの結果をプレビューし、[データセットの作成] を選択します。
   派生データセットは、別のデータセットとしてデータ カタログに追加されます。

次のタスク
派生データセットが完成したら、グラウンドトゥルースを追加できます。

各データセットレコードにグラウンドトゥルースを追加する

グラウンドトゥルース (AI モデルのトレーニングとテストに使用される実世界のデータ) を各データセットレコードに追加します。このタスクは、Now Assist データキット アプリケーションを使用して行うことができます。

始める前に
必要なロール:sn_data_kit.admin、sn_data_kit.analyst

このタスクについて
派生データセットをデータ カタログに正常に追加すると、ポップアップ ウィンドウが開き、 [グラウンド トゥルースの追加] を選択できます。

手順

1. データセット内のレコードのグラウンドトゥルースを追加する方法を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

グラウンドトゥルース情報フォームを追加

フィールド	説明
タイプ	現在、手動での追加がサポートされています。
グラウンドトゥルース タイプ	タイプ。
グラウンドトゥルース 指針	グラウンドトゥルースを手動で追加するラベラーおよびリンギスト向けのガイドライン。
列名	名前。

3. [**Confirm** (確認)] を選択します。
   新しいレコード詳細ページが開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコード詳細情報フォーム

フィールド	説明
フォームラベル	インシデントレコード番号。
ステータス	レコードの作成時刻。
要約	グラウンドトゥルースの手動入力。

グラウンドトゥルースを手動で入力して、グラウンドトゥルースを評価できます。これらのオプションは、データセットレコードの別の列に表示されます。

5. [保存して次へ] を選択します
グラウンド トゥルース列は、データセット内の別の列に追加されます。[データコレクションに追加] ポップアップウィンドウを使用して、異なるデータセットの類似したレコードを結合します。
6. [データ コレクションに追加] を選択して、既存のコレクションにデータセットを追加します。
   a. データコレクション名、説明、データコレクションカテゴリ、および関連するタグを入力します。
   b. 新しいデータコレクションを作成するには、トグルバーをスライドします。
7. **[Next** (次へ)] を選択します。
新しいデータコレクションページが設定されます。
8. [列を選択] フォームを選択し、データコレクションに追加する列を選択します。
9. [レコードを選択] フォームを選択し、データセットを再度サンプリングする方法 (手動またはサンプリング方法) を選択します。
ランダムサンプルの場合は、[実行] を選択してレコードをプレビューします。サンプリング方法を選択し、[実行] を選択してレコードをプレビューします。
選択したレコードがデータコレクションに追加されます。
10. レコードをプレビューするデータコレクションを選択します。
11. [公開] を選択して、データを検証に使用できるようにします。
コレクションを発行すると、データはキュレーションを固定し、データセットは ServiceNow SDKで使用できるようになります。
12. [確認] を選択して、コレクションを利用できるようにします。
データコレクションが公開され、評価のために Mobile SDK で利用可能になります。

合成データを生成

Now Assist データキット アプリケーションを使用して、サンプルデータセットと生成 AI によるプロンプトで合成データを作成します。合成データを使用して、テストモデルまたは評価データセットのトレーニングを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_data_kit.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** データキット > ホーム.
2. [データの生成] セクションで、[開始] を選択します。
合成データ生成ページが開き、以前に実行したジョブが表示されます。
3. [新規] を選択して合成データを生成します。
4. [ジョブ情報を追加] ページで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ジョブ情報を追加] フォーム

フィールド	説明
ジョブ名	生成されたデータの名前。

5. [データを定義] に移動し、必須フィールドに入力します。

[データの定義] フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	データが属する部門または業界。
タイプ	生成するデータ。
カテゴリ	キーワードで分類されたデータ。
カウント	生成するレコードの数。

注: サンプルデータが利用可能な場合は、[サンプルデータを選択] に移動して、生成されるデータの精度を高めることができます。サンプルデータがない場合は、製品内のヘルプでガイダンスを参照してください。

6. **[Continue** (続行)] を選択します。
7. [データを生成する列を定義します] に移動して、サンプルデータを追加します。
サンプルデータを追加すると、列に値が入力されます。サンプルデータが利用できない場合は、列に手動でデータを入力する必要があります。

サンプルデータを選択

利用可能なサンプルデータを追加して、 Now Assist データキット アプリケーションで生成されたデータの精度と関連性を高めます。サンプルデータは、キュレーションしたり、データコレクションに追加したり、公開したりできます。

始める前に

必要なロール:sn_data_kit.admin

手順

1. 次のように移動する。 サンプルデータを選択.
2. (テーブルと列を選択)ポップアップウィンドウの[Data collection] (データコレクション)フィールドで既存のデータセットを選択します。
3. 次のように移動する。 続行 をクリックして最大 3 つのレコードを選択します。
データはさまざまな列に入力されます。
4. データを生成する各列の説明を入力します。
大規模言語モデル (LLM) の列について説明し、それに応じて値を生成します。
5. 1 つの列にキー列切り替えスイッチを設定します。
キー列は必須であり、他の列のデータを作成するためのベースラインとして使用されます。
6. 次のように移動する。 テストの生成 完全なデータセットを生成する前に少数のレコードをプレビューします。
少数のレコードをプレビューする場合は、完全なデータセットを生成する前に調整できます。
7. テスト用に生成するレコードを選択します。
8. [テストの開始] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プレビュー生成データの結果ページが表示されます。さらに絞り込んだ結果が必要な場合は、[データを定義] または [サンプルデータを選択] を選択して基準を更新します。

9. プレビュー結果に問題がない場合は、すべてのデータに対して [生成の開始] を選択します。
   生成されたデータが完了しました。

データを生成する列を定義します

データで結果を生成する各列のテストをプレビューするための詳細な定義を指定します。

始める前に
必要なロール:sn_data_kit.admin

このタスクについて
データの品質を高めるには、使用する列を 20 未満にしてください。

手順

1. データを生成する各列の説明を入力します。
   大規模言語モデル (LLM) の列について説明し、それに応じて値を生成します。この説明には、範囲と、考慮すべきルールまたは制限を含めることができます。
2. 1 つの列をキー列として有効にします。
   キー列は必須であり、他の列にデータを作成するためのベースラインとして使用されます。
3. **[Continue** (続行)] を選択します。
   テスト生成ページが開きます。
4. 完全なデータセットを生成する前に、[テスト生成] に移動して少数のレコードをプレビューします。
5. テスト用に生成するレコードを選択します。
6. [テストの開始] を選択します。
   プレビュー生成データの結果ページが表示されます。さらに絞り込んだ結果が必要な場合は、[データを定義] または [サンプルデータを選択] に移動して基準を更新します。
7. **[** 生成の開始] を選択します。
   生成されたデータが完了しました。

Now Assist データキットの参照情報

Now Assist データキット の参照トピック。

Now Assist データキット ロール (sn_data_kit.admin)

このユーザーは、 Now Assist データキット でデータセットを作成、更新、および公開できます。Now Assist データキットを使用するには、このロールが必須です。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

特別な考慮事項

なし。

Now Assist データキット ロール (sn_data_kit.analyst)

このユーザーは、グラウンドトゥルースを編集および保存できます Now Assist データキット。このロールには、 Now Assist データキット 内で読み取り専用アクセス権があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

Now Assist SDK

ServiceNow® Now Assist SDKを使用して、Now Assistのカスタムプロンプトとスキルを作成および公開します。カスタムスキルとプロンプトを作成すると、 Now Assistの生成 AI 機能の柔軟性が高まります。

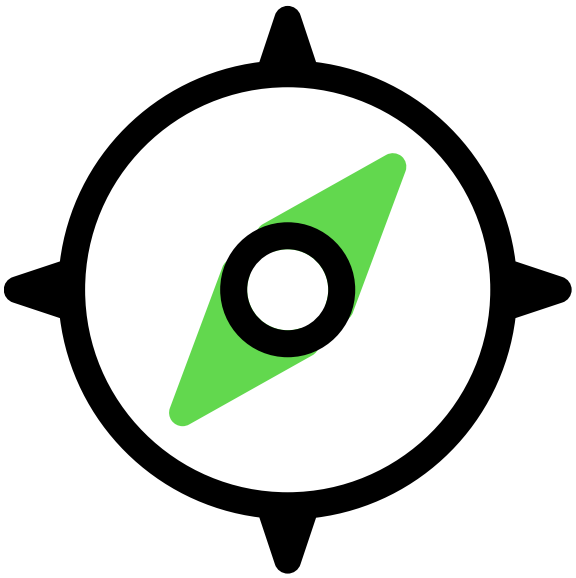
https://player.vimeo.com/video/985874233?h=2ccc18794b&badge=0&autopause=0&app_id=58479

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

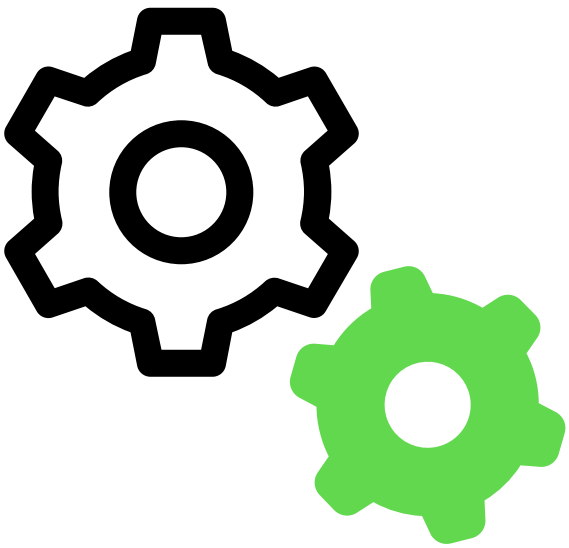
始めましょう

探索



効果的なプロンプトの Now Assist SDK と作成の詳細について説明します。

構成



Now Assist SDKプロンプトと展開設定を構成します。

使用



Now Assist SDKを使用してカスタムスキルを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- について質問し、他のリソースを調べる Now Assist SDK の ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

Now Assist SDK の探索

Now Assist 用の Now Assist SDK プラグインを使用すると、Now Assistのカスタムプロンプトとスキルを作成してアクティブ化できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assist SDKの概要

ベースシステム Now Assist スキルがニーズに合わない場合は、 Now Assist SDK を使用してカスタムスキルを作成できます。これらのカスタムスキルにより、 Now Assistの生成 AI 機能の柔軟性を高めることができます。

Now Assist SDK を取得

Now Assist SDKを使用するには、Now Assistプラグインを アプリケーションマネージャー . たとえば、 ITSM の Now Assist プラグインを Xanadu リリースに更新します。

また、 Now Assist SDKを使用するすべてのユーザーに sn_skill_builder.admin ロールを割り当てる必要があります。

Now Assist SDK ユーザー

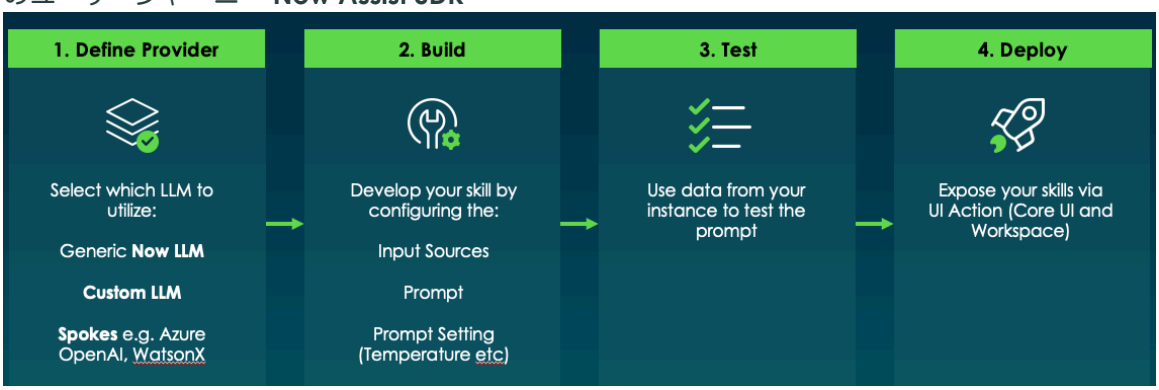
Now Assist SDK ユーザー

ユーザー	説明
AI 開発者	AI 開発者は Now Assist SDK でスキル開発を管理します。新しいスキルを作成し、プロンプトを作成し、スキル設定を構成します。
Now Assist アドミン	Now Assist アドミンは公開されたスキルをアクティブ化します。

Now Assist SDK のワークフロー

次の図は、 Now Assist SDKのユーザージャーニーを示しています。

のユーザージャーニー **Now Assist SDK**



1. プロバイダーの定義

   使用を検討している各大規模言語モデル (LLM) の利点と潜在的な欠点を理解する必要があります。

2. プロンプトを作成

   Now Assistインスタンスのアーキテクチャを理解し、入力データの取得元を定義できる必要があります。また、効果的なプロンプトをビルドするために、LLM の基礎を理解している必要があります。

3. プロンプトのテスト

   Now Assist SDK を使用すると、エディターからプロンプトをテストできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. スキルを展開する

Now Assist SDK を使用すると、スキルを UI アクションに直接デプロイできます。

Now Assist SDK のメリット

Now Assist SDKのメリット

メリット	機能	ユーザー
カスタムスキルまたはワークフローをビルドして、カスタムソリューションを作成します。	スキルを作成	AI 開発者
スキルのプロンプトを作成および編集し、プロンプトを強化するためにデータを取り込む場所を構成します。	プロンプトを作成	AI 開発者
スキルをアクティブ化する前に、スキルをテストして反復します。	プロンプトのテスト	AI 開発者

次に探索する内容

Now Assist SDKを構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- Now Assist SDKの構成
- Now Assist SDK の使用

の一般的なガイドライン Now Assist SDK

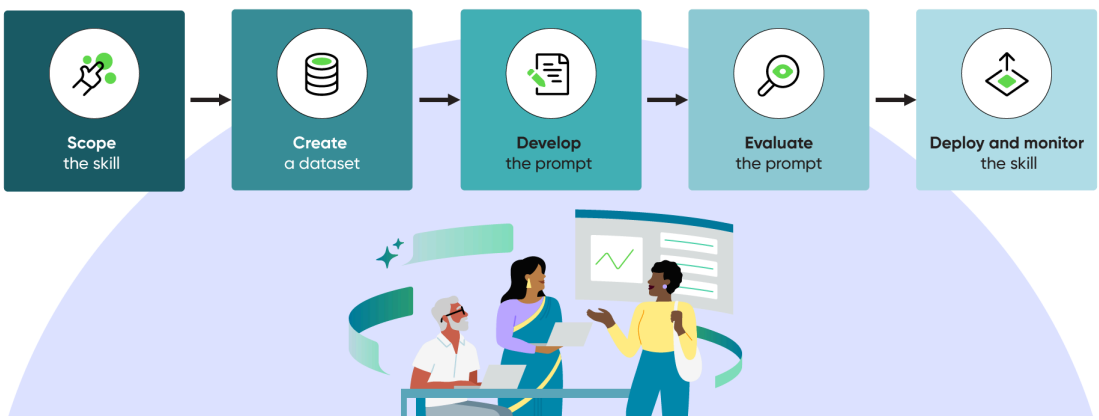
一般的なガイドラインは、 Now Assist SDKで使用できます。

Now Assist SDK ガイドラインの概要

カスタムスキルをビルドするプロセスには、次のフェーズがあると考えてください。

1. スキルのスコーピング
2. データの収集とデータセットの作成
3. プロンプトの開発
4. パフォーマンス評価の実施
5. スキルの展開と監視

カスタムスキルをビルドするステージ



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキルを構築する際には、データドリブンな考え方を取り入れる必要があります。データドリブンな考え方とは、証拠に基づく意思決定を強調し、大規模言語モデル (LLM) がプロンプトの特定の文言をどのように解釈できるかについての憶測を最小限に抑えることを意味します。

Now Assist SDK プロンプトエンジニアリングの中間スキルが必要です。開発者でない場合は、このツールを使用する前に、関連する知識を身に付ける必要があります。

製品全体の多くの場所に情報と役立つツールヒントがあります。この情報を使用して、ツールをより効果的に使用する方法を理解してください。

職務を適切に分離するために、開発者または生成 AI の実務者がスキルを作成して公開します。スキルが公開されると、 Now Assist アドミン によってスキルがアクティブになり、構成されたタッチポイントに表示されて使用できるようになります。

スキルのスコーピング

スキルをビルドする前にスコーピングすることで、スキルに必要な要件と期待される結果を決定できます。

事前準備

Now Assist SDKを使用してカスタムスキルのビルドを開始する前に、まず Now Assist アドミン コンソールで利用可能なベースシステムスキルを確認する必要があります。可能な限り、これらの既存のスキルを使用してください。

ユーザー前提条件

Now Assist SDK は、開発者または生成 AI の使用経験を持つユーザーが使用することを目的としています。最初のプロンプトテンプレートを作成する必要があるため、次のことを行う必要があります。

1. 次のようなプロンプトエンジニアリングに精通している
   - 機械学習システムの開発とテストに精通している。
   - プロンプト大規模言語モデル (LLM) の動作と機能についての期待情報を得る。次のことを理解する必要があります。
     - LLM の根本的に確率的な性質。
     - そのパフォーマンスは、LLM やターゲットタスクによって大きく異なる可能性があります。
   - LLM のプロンプトの作成と評価の経験またはトレーニングを受けている。
2. 解決しようとしているユースケースと、スキルを構築しているペルソナを深く理解している。

設計

カスタムスキルの構築を開始する前に、全体的な設計について検討し、要件を文書化する必要があります。次の点を考慮してください。

1. スキルに具体的に何をさせたいですか?
   - モデルへの入力は何ですか?
   - モデルの出力は何ですか? (内容と形式の両方)
   - 誰がスキルを使用しますか?
   - 成功をどのように特徴づけることができますか?
2. モデルに何をさせたくないですか?

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 開発やテスト中にそれらを防ぐことができるように、生成 AI 出力を使用することの考えられるリスクと欠点について考えておくと便利です。
- 特定のユースケースで有害または有害な特定のモデル動作 (LLM 出力) をリストアップする価値があります。

を使用したデータセットの作成 Now Assist SDK

これらのガイドラインを使用して、効果的なデータセットを作成してください。効果的なデータセットを使用すると、プロンプトでより良い結果が得られます。

Now Assist SDK データセット作成の概要

スキル開発に対するデータ駆動型アプローチは、スキルを開発およびテストするための高品質のデータセットの収集に依存しています。Now Assist SDKを使用すると、Now Platformの既存の機能を活用して高品質のデータセットを作成することもできます。

この目的でデータを収集する場合は、次のようなデータセットを作成することを目指す必要があります。

1. スキルの意図するデプロイ環境を表します。データは次のものである必要があります。
   - 展開環境で予想される入力の分布を反映させます。
   - 識別されたいくつかの軸 (入力の長さ、緊急度など) に沿った差異をキャプチャします。
   - ユースケースにとって重要であるとわかっている入力の例を含めます。
   - エッジケース (まれな場合もあります) ですが、問題を引き起こす疑いがあるケース (長い例など) を検討してください。
2. チームのリスク選好度に合わせて適切なサイズ。
   - データをほとんど使わずにスキルを開発してデプロイすることは可能です。ただし、データが不足していると、展開でのスキルのパフォーマンスに関する不確実性が高まります。
   - 統計学者のように考え、関連するパフォーマンススコアの信頼区間を作成し、迅速に比較する必要があります。
3. プロンプトの開発と作成に使用されるデータから分離されています。
   - 収集したデータを開発セットとテストセットに分割する必要があります。データを分割することで、一部のデータを評価目的でのみ保護することになります。
   - プロンプトの開発中にすべてのデータを使用すると、スキルの最終評価にバイアスがかかり、パフォーマンスが過大評価されます。このバイアスは、プロンプトオーバーフィッティングと呼ばれる現象によるものです。

プロンプトの開発

ガイドラインを使用して、スキルのプロンプトを作成します。具体的で明確なコンテキストプロンプトは、より良い結果を提供します。

プロンプト開発の概要

プロンプトエンジニアは、さまざまな入力に適用されるプロンプトに応答して生成されるモデル出力を調べて、開発上の決定を下す必要があります。ただし、ユーザーがプロンプトデザインを開始するのに役立つ可能性のある特定のガイドラインがまだあります。

1. 具体的に

   望ましい結果を明確に定義します。モデルに実行させたいタスクについて具体的にします。モデルに提供する入力を明確に識別し、モデルに期待する出力 (書式設定を含む) を指定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 適切なコンテキストを含める

   タスクの遂行に関連する背景情報とコンテキストを提供します。この情報により、より絞り込んだ応答を生成できます。

3. 分かりやすい言葉を使う

   プロンプトを記述するときは、正確で明確な表現を使用します。

4. デモンストレーションを含める

   可能であれば、指示の後のプロンプトで完成した例またはデモンストレーションを提供して、モデルで生成する内容を示します。デモンストレーションは、望ましい出力を生成する可能性を高める強力な方法です。ただし、選択したデモによってパフォーマンスは異なります。

5. シンプルなものから始めて、バリエーションをテストします

   複雑なタスクを、より小さく明確な指示に分割します。制御された反復的なアプローチを使用します。さまざまな構造を試してみてください。

その他の考慮事項

- 言葉遣いの微妙な違いが、パフォーマンスの大きな違いにつながる可能性があります。大規模言語モデル (LLM) がプロンプトの指示をどのように「解釈」するかを推論しようとしても、そこまでしかできません。プロンプト文言のどの特定の選択が最も効果的かは、基礎となるモデルによって異なり、理想的には証拠に基づいて選択する必要があります(つまり、多くの出力を調べる)。
- データ制約のある設定では、開発データを使用して複数の候補プロンプトを繰り返し開発し、テストセットで各候補プロンプトのパフォーマンスを測定し、最適なプロンプトを選択する必要があります。

プロンプトの評価

プロンプトの評価は、プロンプトの開発と完了の最中および完了後に行われる継続的なプロセスです。

プロンプト評価の概要

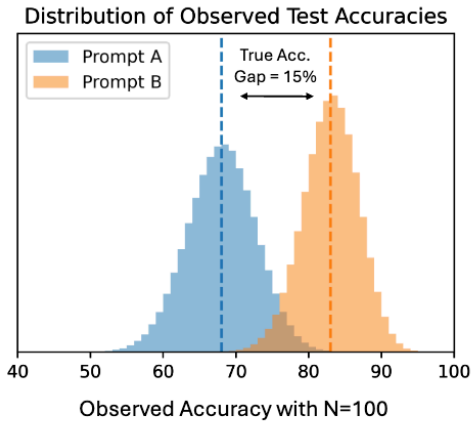
プロンプトの有効性を判断するには、テストデータのバッチを評価する必要があります。モデルで生成された応答をコピーし、 Now Assist SDKの外部で評価を実行する必要があります。

プロンプト開発中

プロンプトの開発と並行して、継続的で即興的な評価が行われるべきです。この継続的な評価により、観察されたモデル出力に基づいてプロンプトを調整できます。プロンプトへの変更を 1 つか 2 つの例だけでテストしたくなるかもしれませんが、ノイズに反応しないようにするには、より大きなバッチを調べて、観察したパフォーマンスの違いの統計的有意性を考慮する必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Chance of Seeing Better Performance from the Worse of Two Prompts

Data used in evaluation	"True" Underlying Accuracy Gap 5%	10%	15%	20%
N=10	30%	21%	14%	9%
N=25	28%	16%	8%	3%
N=50	24%	10%	3%	0.6%
N=100	18%	4%	0.5%	0.02%
N=250	9%	0.4%	<0.01%	<0.001%
N=500	3%	0.01%	<0.001%	<0.0001%

The approximate probability of observing better performance from the less accurate prompt among two (2) candidates, tabulated as a function of the evaluation dataset size (N) and the "true" underlying accuracy gap between the prompts (as measured on "infinite" data).

最終業績評価

スキルをデプロイする前に、開発プロセスから分離された代表的なデータ・バッチ、つまり「テスト」データでプロンプトをテストする必要があります。分離されたテストデータを使用するのは、プロンプトオーバーフィットと呼ばれる現象があるためです。テストに使用されるものと同じデータで生成されたモデル出力に基づいてプロンプトを繰り返し編集すると、パフォーマンスが大幅に過大評価される可能性があります。この結果は、プロンプトが開発で使用される特定の例に過度に特殊化される可能性があるためです。通常、この影響は、機械学習モデル パラメーターをテスト データセットに適合させるときに発生する影響よりも劇的ではありませんが、同じ基本的な原則に基づいているため、避ける必要があります。

評価メトリクス

評価のための適切なメトリクスを選択することは、重要な考慮事項です。次のリストにはいくつかのアプローチが示されていますが、それぞれがユースケースに応じて多かれ少なかれ適切である可能性があります。

- 短世代の分類ベースの評価

  このアプローチにはラベル付きレコードが必要であり、ラベルが短く、明確に定義された「正しい回答」である場合に最適です (true または false、複数選択肢、カテゴリ選択など)。このような場合、通常はモデル出力を解析して書式設定してから、精度、再現率、F1 スコアなどのメトリクスを直接計算できます。

- より長い世代の評価

  最も興味深い生成AIのユースケースの多くは、より長いモデル生成を必要とし、多くの可能な「正解」があります。このような場合、出力は (人間の評価者によって) いくつかの異なる軸に沿ってスコアリングできます。

  - 信実

    生成されたテキストは、スキルプロンプトで指定されたコンテキストに忠実ですか? (忠実さの反対は幻覚であり、つまり、モデルが文脈外の情報を注入するということです。

  - 正確性

    生成されたテキストはスキルの指示に対して正しいですか?

  - 有用性

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

生成されたテキストは、スキルが達成したいタスクに関連して役立ちますか? (有用性は主観的なものですが、測定しようとすることが重要です。適切に行うには、最終的にスキルを使用する人々のニーズをしっかりと理解する必要があります。

- 流暢

  生成されたテキストは文法的に正しいですか? 誤字脱字や一貫性の問題などはありますか?

注: これらのプロパティは、「はい」または「いいえ」ではなく、1～5 などのスケールでスコアを付けると便利です。

スキルの展開と監視

プロンプトを評価した後、カスタムスキルを展開してその有効性を監視できます。

Now Assist SDK 展開と監視の概要

準本番インスタンスでスキルをビルドして評価する必要があります。準本番環境のテストデータのバッチに対する最終的なパフォーマンス評価に満足したら、スキルのデプロイを開始できます。

1. エンドユーザーがスキルを利用できるように表示できるタッチポイントを特定します。それに応じて展開設定を構成します。
2. しばらくの間、準本番環境でさまざまなユーザーと入力を使用してエンドツーエンドのユーザーテストを実行します。
3. 結果が許容できるものになったら、スキルを本番インスタンスに展開します。
4. スキルを監視します。

の使用例 Now Assist SDK

AI 開発者は、 Now Assist SDK を使用してカスタムスキルを作成できます。この例では、子インシデントを要約するためのカスタムスキルを作成します。

AI 開発者は、子インシデントを要約するためのスキルを作成する必要があります。このスキルを作成すると、同じ親に関連する複数のインシデントを整理して理解するのに役立ちます。

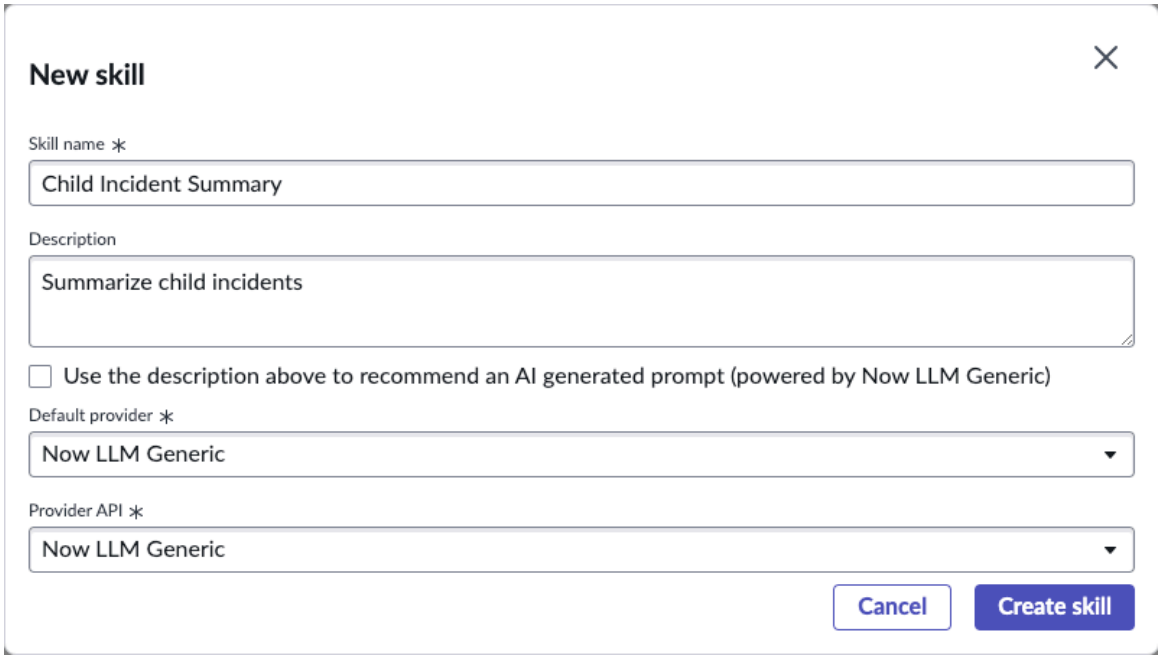
スキルを作成して構成します

スキルを作成するには:

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. [新しいスキルの作成] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。この例では、次の情報を使用してフォームに入力します。
   - スキル名: `子インシデントの要約`
   - 説明: `子インシデントの要約`
   - デフォルトのプロバイダー: `Now LLM 汎用`
   - プロバイダー API: `Now LLM 汎用`

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. [スキルの作成] を選択します。

スキルを作成したら、スキル設定を構成する必要があります。

1. [構成] を選択します。

2. 使用するモデルを選択します。この例では、[`llm_generic`] を選択できます。

3. 0～1の温度を選択して、出力のランダム性と創造性を決定します(`0.2`など)。

プロンプトの開発

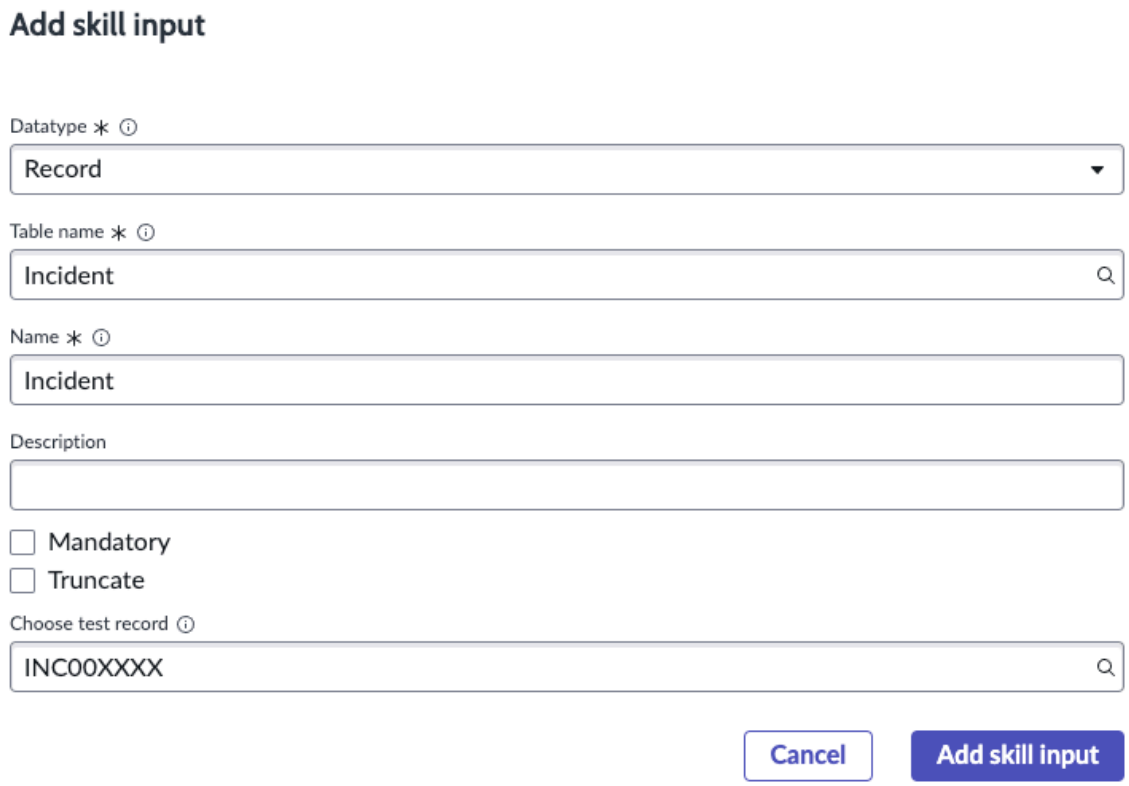
スキルを作成して設定を構成したら、プロンプトを作成する必要があります。この例に従うには、次のプロンプトを使用します。

カスタマーサービス担当者である。以下に示す親インシデントの子インシデントを要約します。サマリーには、子インシデント全体の重要な問題と影響が含まれ、パターン、繰り返し発生する問題、または重大な外れ値が強調表示されます。要約を作成するときは、次の点を考慮してください。 親インシデントの簡単な説明:`{{incident.short_description}}` 親インシデントの説明:`{{incident.description}}` 子インシデントの詳細は次のとおりです: `{{ChildIncidents.output}}`

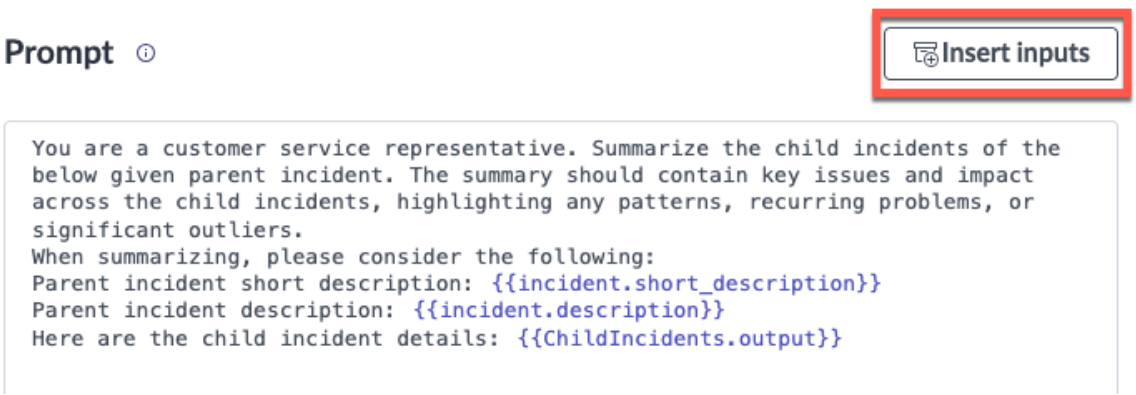
スキル の入力を選択します 。この例では、レコードが入力として選択されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



プロンプトの入力を挿入を選択します。



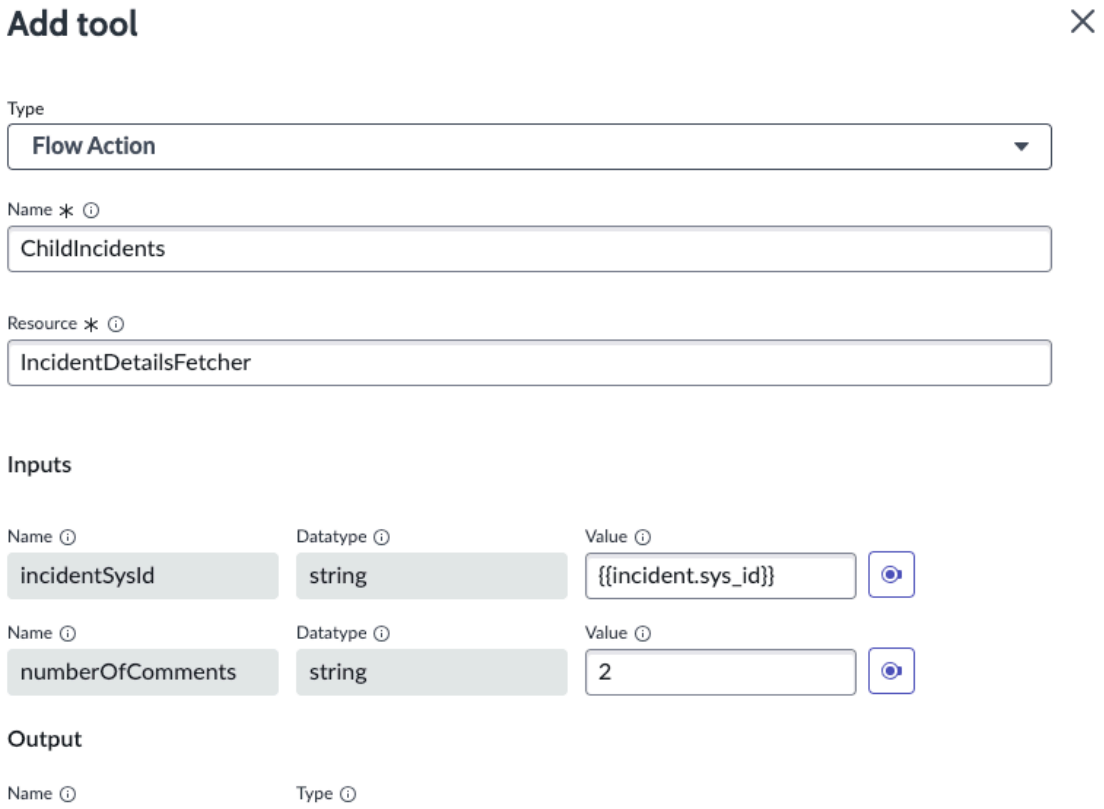
この例では、以下が使用されます。

親インシデントの簡単な説明: `{{incident.short_description}}` 親インシデントの説明: `{{incident.description}}` 子インシデントの詳細は次のとおりです: `{{ChildIncidents.output}}`

スキルのツールを選択します。この例では、フローアクションと IncidentDetailsFetcher フローリソースを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スキル展開オプションの構成

次のステップでは、スキル展開オプションを構成します。これらのオプションを使用すると、 Now Assist アドミン内のスキルを検索する場所を選択できます。

1. [スキル設定] タブを選択します。
2. [展開設定] を選択します。
3. アドミニストレーターが **[UI** アクション] チェックボックスをオンにして、コア UIからスキルを有効にできるようにします。
4. [**Save** (保存)] をクリックする。

スキルをテストして公開する

スキルプロンプトをテストして、正しいタイプのデータが取り込まれていることを確認することが重要です。

1. [テストを実行] を選択します。
2. レコードまたはインシデントを選択します。
3. [テストの実行] を選択します。

応答を見てください。

スキル入力とツールからプロンプトに取り込まれたデータを確認するには、接地プロンプトタブを確認します。

すべて問題がなければ、[プロンプトのファイナライズ] を選択します。プロンプトが完成し、実装する準備ができたら、[公開] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スキルをアクティブ化

スキルをテストして確定し、公開した後、アドミニストレーターが Now Assist アドミン でスキルをアクティブ化する必要があります。スキルのアクティブ化の詳細については、「スキルのアクティブ化」を参照してください。

Now Assist SDKの構成

Now Assist SDKのプロンプトとスキルを構成します。

構成の概要

Now Assist SDKを使用するには、Now Assistプラグインを アプリケーションマネージャー . たとえば、 ITSM の Now Assist プラグインを Xanadu リリースに更新します。

プラグインをインストールした後、 Now Assist SDK でスキルを構成するには、2 つの部分があります。まず、スキルの展開方法を構成する必要があります。次に、プロンプトを設定する必要があります。

スキルプロンプトの構成

スキルプロンプトを構成して、使用するモデルと、応答のランダム性と創造性を設定します。

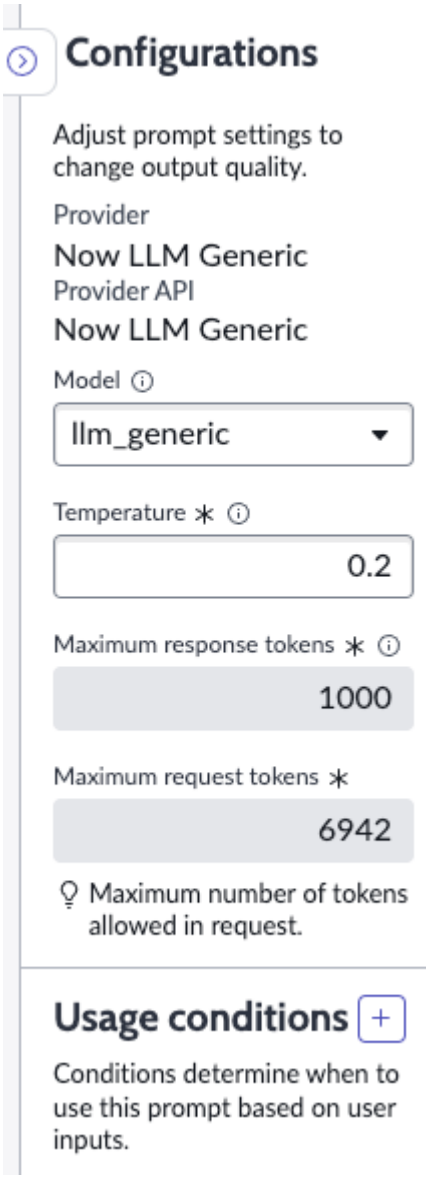
始める前に
必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 構成するスキルを選択します。
3. [構成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. フォームのフィールドに入力します。

構成フォーム

フィールド	説明
モデル	モデルは、プロンプトに使用する大規模言語モデル (LLM) です。
温度	温度は、出力のランダム性と創造性を決定します。値を大きくすると、ランダム性が高くなります。値は 0 ～ 1 の範囲でなければなりません。
最大応答トークン数	モデルが返すことができるトークンの最大数。Now LLM サービスを使用している場合、最大値は 1000 です。
最大要求トークン数	要求で許可されるトークンの最大数。

5. プロンプトを使用するタイミングを決定する 使用条件 を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
スキル設定を構成したら、スキルをテストできます。スキルのテストの詳細については、「プロンプトのテスト」を参照してください。

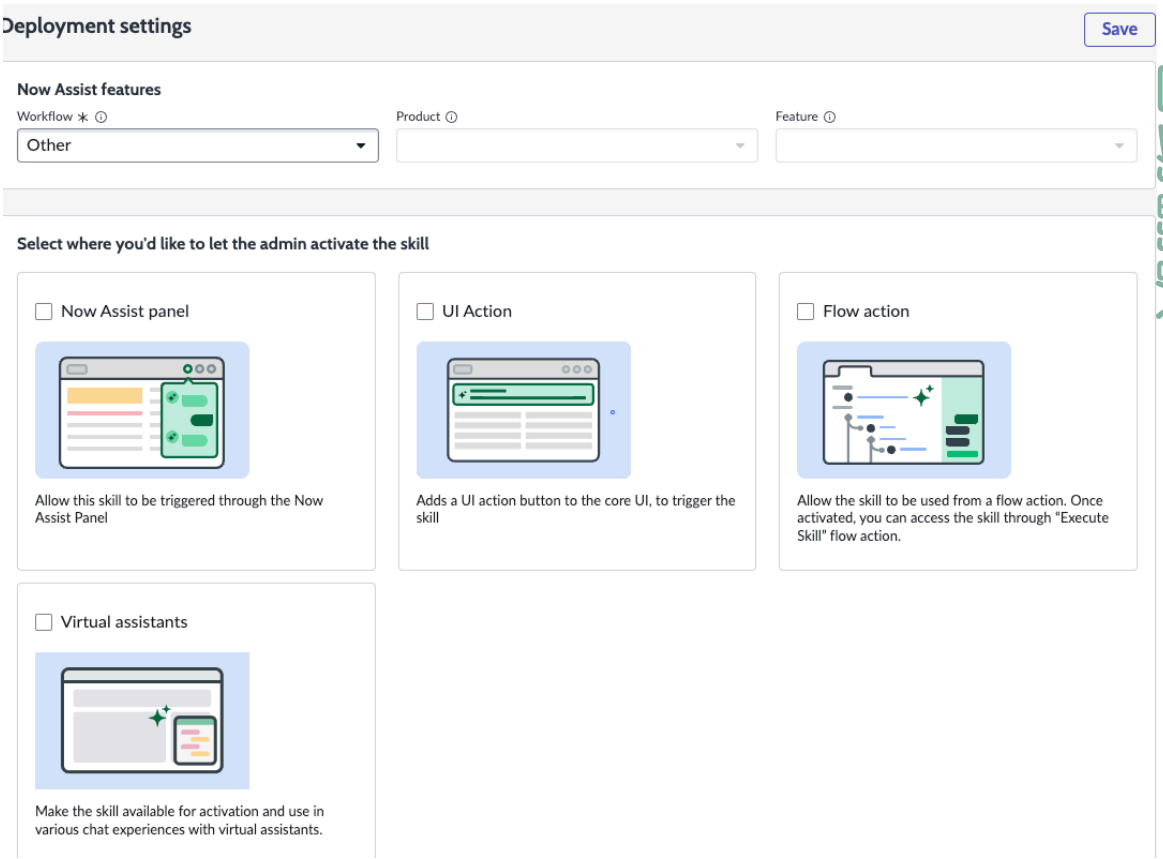
スキル展開設定の構成

作成するスキルの展開設定を構成します。展開設定を使用すると、アドミンが Now Assist アドミン内でスキルを見つけることができる場所を選択できます。

始める前に
必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 構成するスキルを選択します。
3. [スキル設定] タブを選択します。
4. [一般情報] を選択します。
   このセクションには、スキルの作成時に追加した情報が表示されます。ここでスキルの名前と説明を編集できます。
5. [展開設定] を選択します。



6. フォームのフィールドに入力します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

展開設定フォーム

フィールド	説明
ワークフロー	このスキルが関連する高レベルのカテゴリ (テクノロジー、 従業員、 作成者、 プラットフォームなど)。どのカテゴリも当てはまらない場合は、[その他] を選択することもできます。 選択したワークフローによって、Now Assist アドミン コンソールでスキルが表示されます。
製品	このスキルが動作する特定の製品 (ITSM、 ITOM、 HR サービスデリバリ (HRSD)、 Now Assist アドミンなど)。
機能	スキルが使用される機能 (エージェントチャット、 ナレッジ、 仮想エージェントなど)。必要に応じてカスタム機能を定義することもできます。
[Name (名前)]	機能の名前。
説明	機能の説明。

7. アドミンにスキルを有効にする場所を選択します。
   - Now Assist パネル
   - UI アクション
   - フローアクション
   - 仮想アシスタント

   仮想エージェントでの Now Assist の詳細については、「仮想エージェントでの Now Assist の構成」を参照してください。
8. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
スキル設定を構成したら、スキルを公開できます。スキルの公開の詳細については、次を参照してください。 スキルのファイナライズと公開

Now Assist SDK の使用

Now Assist SDKを使用して、Now Assistのプロンプトとカスタムスキルを作成および公開します。

スキルを作成

Now Assistのカスタムスキルを作成します。カスタムスキルを作成すると、 Now Assistの生成 AI 機能を柔軟に使用できます。

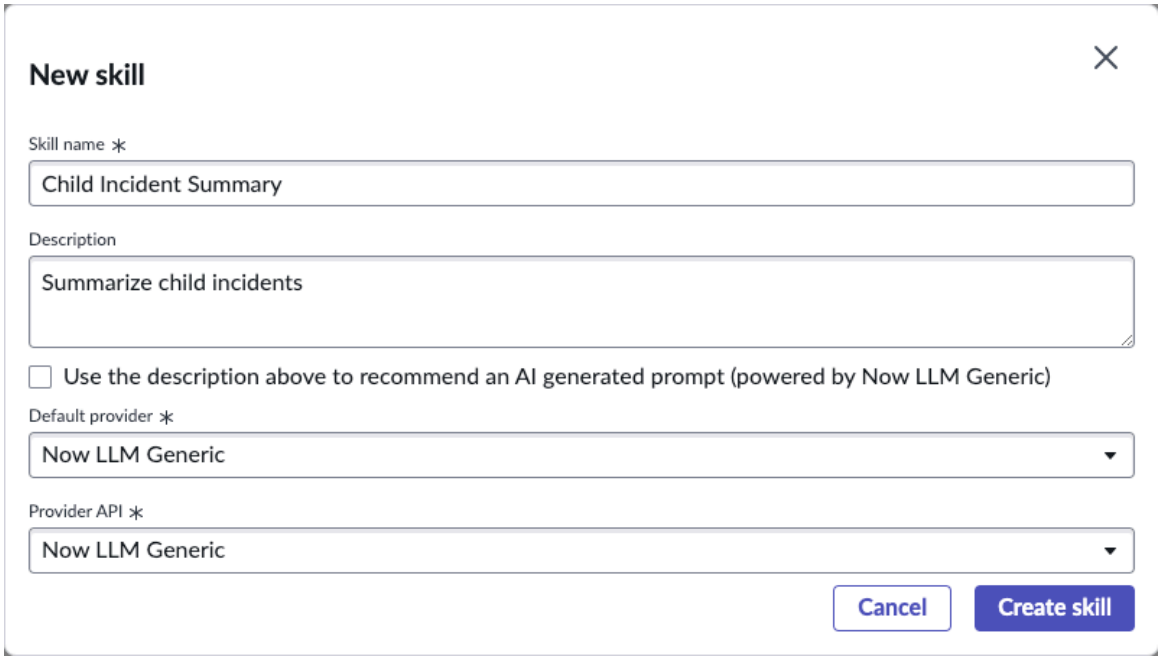
始める前に
必要なロール:sn_skill_builder.admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. [新しいスキルの作成] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。



新しいスキルフォーム

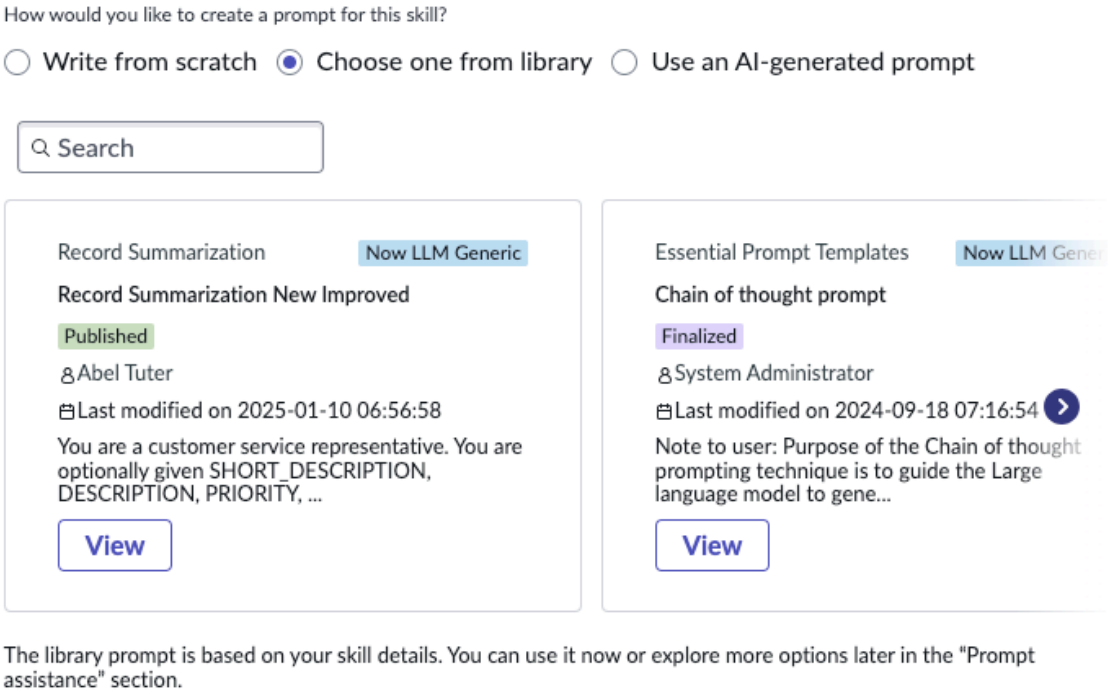
フィールド	説明
スキル名	スキルの名前。
説明	スキルの説明。
デフォルトのプロバイダー	利用可能なプロバイダー: ◦ Now LLM サービス ◦ 外部 LLM ▪ スポーク ▪ カスタム LLM カスタム大規模言語モデル (LLM) の設定の詳細については、次を参照してください。汎用大規模言語モデル (LLM) コネクタの構成 外部 LLM との接続を可能にするビルド済みスポークを利用できます。 ◦ Microsoft Azure OpenAI Generative AI スポーク ◦ OpenAI Generative AI スポーク ◦ Aleph Alpha

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ ワトソンエックス ◦ Google Gemini(MakerSuiteおよびVertex AI) **注:** スポークは 統合ハブ トランザクションを消費しません。スポークはアシストを消費します。
プロバイダー API	選択した LLM の API のプロバイダー。

4. スキルのプロンプトを作成する方法を選択します。
   - 最初から記述
   - ライブラリから選択
     a. 使用するプロンプトを見つけます。
     b. [View (ビュー)] を選択します。
     c. [プロンプトを使用] を選択します。
   - AI で生成されたプロンプトを使用する



5. **[Next** (次へ)] を選択します。
6. オプション: スキルの入力と出力を追加します。
7. [概要に移動] を選択します。
8. [完了] を選択します。

次のタスク
スキルを作成したら、それを構成する必要があります。スキルの構成の詳細については、「スキルプロンプトの構成」を参照してください。

スキルの構成を設定する必要がない場合は、スキルプロンプトとツールを作成できます。詳細については、「プロンプトを作成」と「ツールを追加」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow スキルのクローン作成と編集

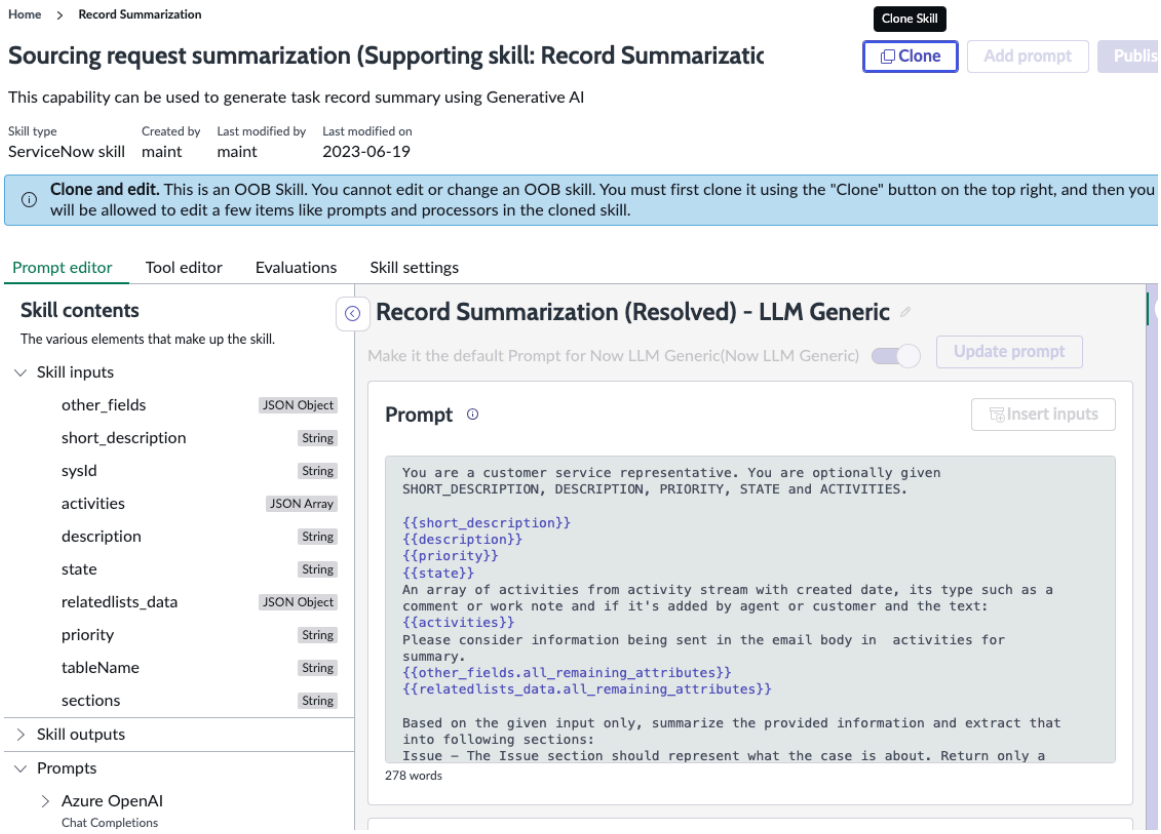
ServiceNow Now Assist アプリケーションで提供される対象スキルを Now Assist スキルキットでクローン作成して、プロンプトを編集したり、AI サービスプロバイダーを変更したりできます。プロンプトを編集すると、LLM 応答の形式と内容を調整できます。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. *ServiceNow* スキルを選択
3. クローンを作成する *ServiceNow* スキルを選択します。
4. [クローン] を選択します。



5. フォームのフィールドに入力します。

クローンスキルフォーム

フィールド	説明
スキル名	スキルの名前。
説明	スキルの説明。
デフォルトのプロバイダー	利用可能なプロバイダー: ◦ Now LLM サービス ◦ 外部 LLM ▪ スポーク ▪ カスタム LLM

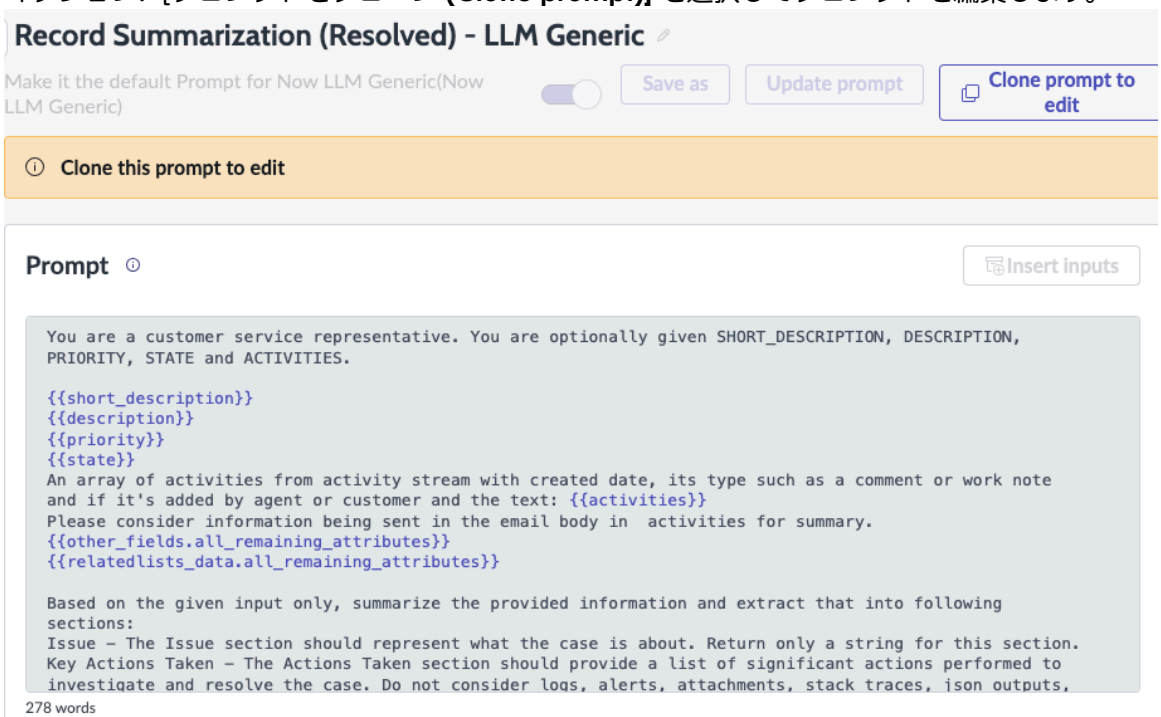
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	カスタム大規模言語モデル (LLM) の設定の詳細については、次を参照してください。汎用大規模言語モデル (LLM) コネクタの構成 外部 LLM との接続を可能にするビルド済みスポークを利用できます。 ◦ Microsoft Azure OpenAI Generative AI スポーク ◦ OpenAI Generative AI スポーク ◦ Aleph Alpha ◦ ワトソンエックス ◦ Google Gemini(MakerSuiteおよびVertex AI) 注: スポークは 統合ハブ トランザクションを消費しません。スポークはアシストを消費します。
プロバイダー API	選択した LLM の API のプロバイダー。

6. [クローン] を選択します。

   注: スキルをクローンする場合、スキル入力、スキル出力、ツール、または展開設定を変更することはできません。

7. オプション: [プロンプトをクローン **(Clone prompt)]** を選択してプロンプトを編集します。



8. [スキル設定] タブを選択します。
9. オプション: トグルを選択して、デフォルトのプロバイダーを変更します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
スキルプロンプトを作成します。プロンプトの作成の詳細については、「プロンプトを作成」を参照してください。

スキルとプロンプトをクローンして編集した後、プロンプトを評価できます。プロンプトの評価の詳細については、「プロンプトの評価」を参照してください。

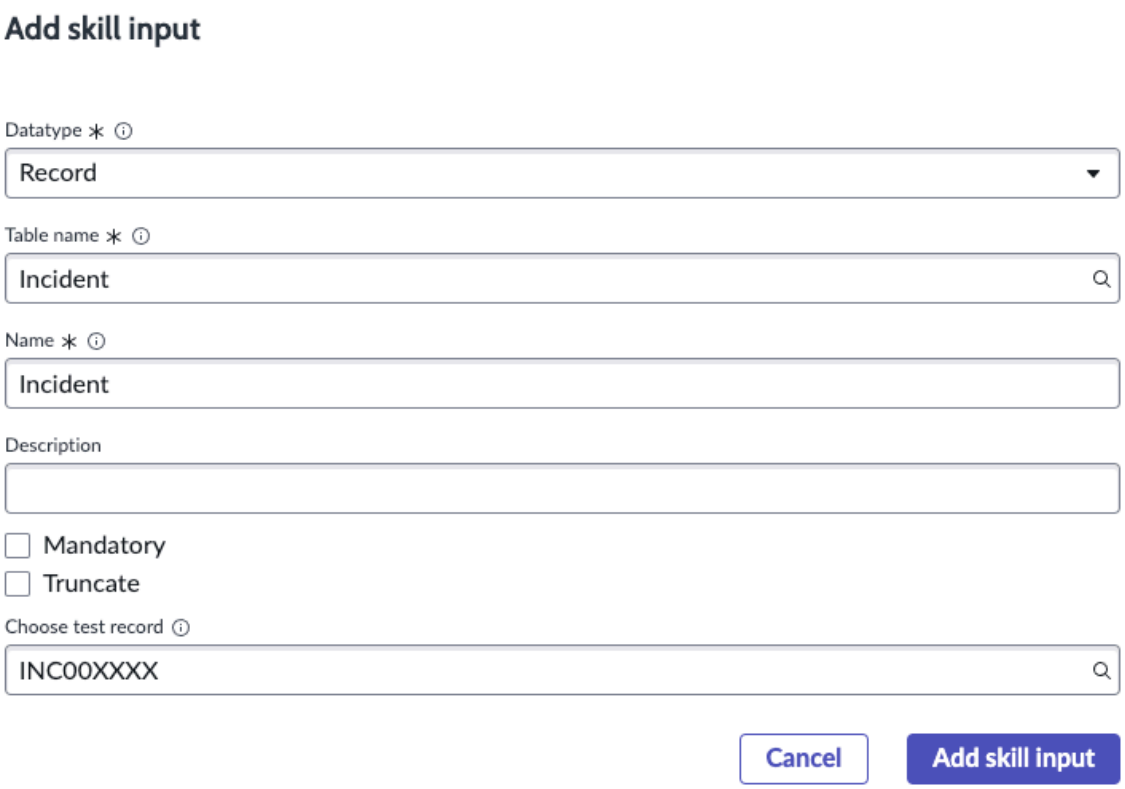
プロンプトを作成

カスタムスキルを作成したら、プロンプトを作成します。プロンプトを作成すると、使用するスキル入力とツールの種類を選択できます。

始める前に
必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. プロンプトを作成するスキルを選択します。
3. 編集アイコン ( ) を選択し、プロンプトに名前を付けます。
4. プロンプトを記述します。
5. スキル入力を選択します。



スキル入力オプション

入力タイプ	説明
データタイプ	◦ レコード ◦ 文字列 ◦ 数値

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力タイプ	説明
	◦ ブール ◦ 簡易アレイ ◦ JSON オブジェクト ◦ JSON アレイ
[Name (名前)]	入力の名前。
説明	入力の説明。
必須	[必須] オプションは、スキルの実行時に入力の値を指定する必要があることを意味します。
切り捨て	[切り捨て] オプションは、プロンプトが大きすぎる場合に、プロンプトコンテキストがモデルコンテキストの長さに合わせて短縮されることを意味します。
レコードの場合	
テーブル名	テーブルの名前。
テストレコードを選択	プロンプトのテストに使用されるレコード。
文字列の場合は数値。ブール、簡易アレイ、JSON オブジェクト、JSON アレイ	
値	プロンプトをテストするために使用される値。

6. [スキル入力を追加] を選択します。
7. [入力の挿入] を選択します。
   入力オプションは、選択したデータタイプの種類に応じて変わります。
8. プロンプトに使用する入力を検索します。
   たとえば、インシデントの簡単な説明や優先度を検索できます。
9. プロンプトを完成させてスキルを公開する準備ができていない場合は、[保存] または [名前を付けて保存] を選択します。

次のタスク
プロンプトを作成したら、それをテストする必要があります。プロンプトのテストの詳細については、「プロンプトのテスト」を参照してください。

ツールを追加

ツールエディターでツールを視覚的に追加および管理し (意思決定分岐を含む)、スキルのさまざまなツールを実行します。ツール間に意思決定分岐を追加すると、ツールを実行するために満たす必要がある条件を定義できます。条件が満たされない場合、デフォルトの分岐のステップが実行されます。

始める前に
必要なロール:sn_skill_builder.admin

このタスクについて
ツールは、スキル入力をスキル出力に変換するように構成されたユーティリティです。ツール出力をプロンプトテンプレートで参照して、プロンプトにコンテキストを導入できます。ツールの入力は、スキル入力または別のツールの出力にすることができます。

ツールエディターを使用してツールを構成し、ツールを相互にリンクすることができます。

意思決定ノードを使用すると、分岐のロジックに基づいてさまざまなツールを実行できます。意思決定ノードには複数の分岐を含めることができますが、常に 1 つのデフォルト分岐が必要です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

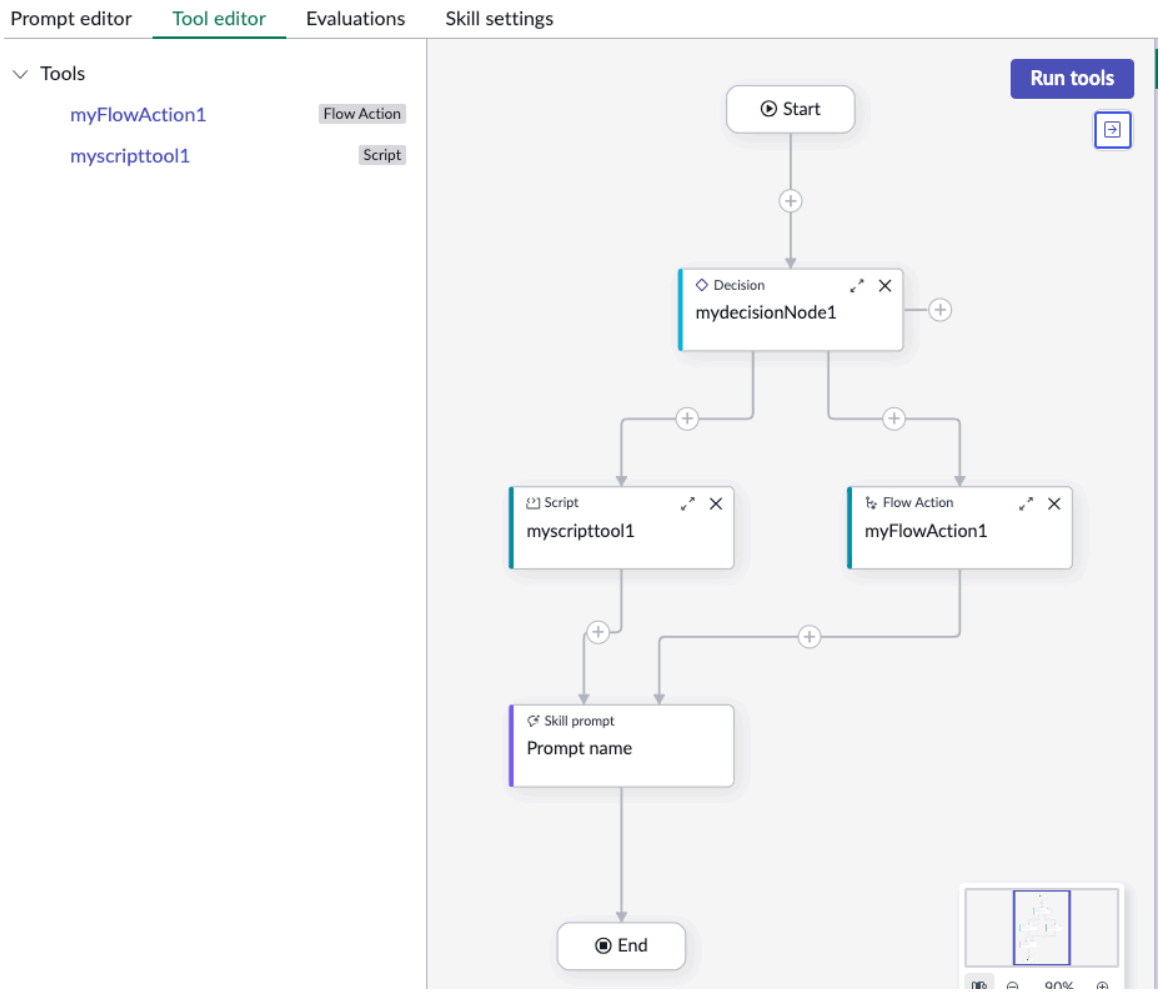
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. ツールを追加するスキルを選択します。
3. [ツールエディター] タブを選択します。
4. [+] アイコンを選択してノードを追加します。
5. 追加するノードのタイプを選択します。

ノードの追加

ノードタイプ	ステップ
ツールノード ツールの種類: ◦ スクリプト ◦ サブフロー ◦ フローアクション ◦ リトリーバー ◦ スキル ◦ Web 検索	**a.** ツールタイプを選択します。 **b.** ツールに名前を付けます。 **c.** 条件を選択します。
意思決定ノード	**a.** ノードに名前を付けます。 **b.** [分岐を追加] を選択します。 **i.** 分岐に名前を付けます。 **ii.** 宛先ノードを選択します。 **iii.** 条件を設定します。 **c.** 宛先ノードを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [**Add**] を選択します。
7. [ツールの実行] を選択して、ツールをテストします。

レトリーバーを追加

プロンプトにレトリーバーを追加して、AI 検索結果でプロンプトを拡張してコンテキストを追加します。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

このタスクについて

スキルでレトリーバーを使用すると、ソースから関連情報をプルし、それを大規模言語モデル (LLM) にフィードして最終出力を作成することで、応答の関連性と一貫性が向上します。このプロセスにより、モデルの微調整を必要とせずに、会話の流れがスムーズになり、データの増加に応じたスケーラビリティが向上します。

レトリーバーを使用すると、チャットボットは関連する背景情報を取得することで外部ナレッジにアクセスできるようになり、より事実に基づいた詳細な情報に基づいた応答が得られます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 新しいスキルを作成するか、レトリーバーを追加するスキルを選択します。
3. [ツールエディター] タブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [+] アイコンを選択してノードを追加します。
5. ツールノードを選択します。
6. ドロップダウンメニューから [レトリーバー] を選択します。
7. [レトリーバーの構成] を選択します。
8. フォームのフィールドに入力します。

ツールフォームを追加

フィールド	説明
[Name (名前)]	レトリーバーの名前。
検索クエリ	検索する情報。静的テキストまたはスキル入力を指定できます。
検索プロファイル	検索ソースのグループ。
検索ソース	インデックスが作成され、検索に使用できる ServiceNow 内のテーブル。
返されるフィールド	検索ソースから返して大規模言語モデル (LLM) に送信するフィールド。
制限	返される結果の最大数。
検索クライテリア	◦ Hybrid (ハイブリッド) ◦ セマンティック ◦ キーワード 注: [ハイブリッド] または [セマンティック] を選択した場合は、チャンクと再ランク付けを選択できます。チャンクと再ランク付けの詳細については、「レトリーバーのチャンクと再ランク付け」を参照してください。

9. **[Next** (次へ)] を選択します。
10. [ハイブリッド] または [セマンティック] 検索条件を選択した場合は、セマンティックインデックスを選択します。
セマンティックインデックスを使用すると、コンテキスト上の意味に基づいてデータを検索できます。
11. オプション: [ハイブリッド**]** または [セマンティック検索条件] を選択した場合は、[詳細] を選択してドキュメント一致しきい値を変更します。
ドキュメント一致しきい値は、セマンティック一致のしきい値です。デフォルト値は 0 です。0 から 1 までの任意の値を入力できます。値が大きいほど、より正確な結果が得られます。
12. **[Next** (次へ)] を選択します。

注: [ハイブリッド**]** または [セマンティック] 検索条件を選択した場合は、「レトリーバーのチャンクと再ランク付け」を参照してレトリーバーの設定を完了してください。

13. レトリーバーツール情報を確認します。
14. [ツールの追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レトリーバーのチャンクと再ランク付け

レトリーバーを使用するスキルプロンプトを作成する場合は、チャンキングと再ランク付けを使用して、応答の精度と関連性を高めることができます。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

このタスクについて

レトリーバーのチャンクと再ランク付けのオプションを設定するには、 ハイブリッド 検索基準または セマンティック 検索基準を持つレトリーバーツールをスキルに追加する必要があります。次の手順は、 レトリーバーを追加 のセマンティック構成の後に実行します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. レトリーバーを追加するスキルを選択します。
3. レトリーバーを追加.
4. フォームのフィールドに入力します。

フォームのチャンクと再ランク付け

フィールド	説明
ドキュメントあたりの最大チャンク数	ドキュメントごとに返されるチャンクの最大数。デフォルト値は 10 です。
チャンキング戦略	◦ 固定サイズ 固定サイズでは、全文が小さな文章に分割されます。パッセージサイズの制限は、単語数または文数で選択できます。 ◦ 小さい順 小から大では、上位 K 個の最も一致するインデックス付きチャンクを選択し、周囲のチャンクを含むように拡張できます。次に、展開されたチャンクは大きなテキストにリンクされ、小さなパッセージに分割されます。 全文またはインデックスの切り捨てチャンク構成を使用している場合は、小規模から大規模へのチャンク戦略を使用しないでください。
チャンク単位	◦ 単語 ◦ 文章
チャンクサイズ	返されるチャンクのサイズ。ワードサイズのデフォルト値は 750 です。文サイズのデフォルト値は 40 です。
拡張スニペットサイズ	小から大のチャンク戦略を選択したときに含まれる展開されたチャンクのサイズ。
上位 K 件の結果	リランカーが返すチャンクの数。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[Next** (次へ)] を選択します。
6. ツールの実行時に評価する条件のタイプを選択します。
7. **[Next** (次へ)] を選択します。
8. ツールに対して行った選択内容を確認し、[ツールの追加] を選択します。

への **Web** 検索の追加 **Now Assist SDK**

Now Assist スキルキットに Web 検索をツールとして追加します。Web 検索をツールとして追加すると、検索結果をプロンプトに追加できます。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

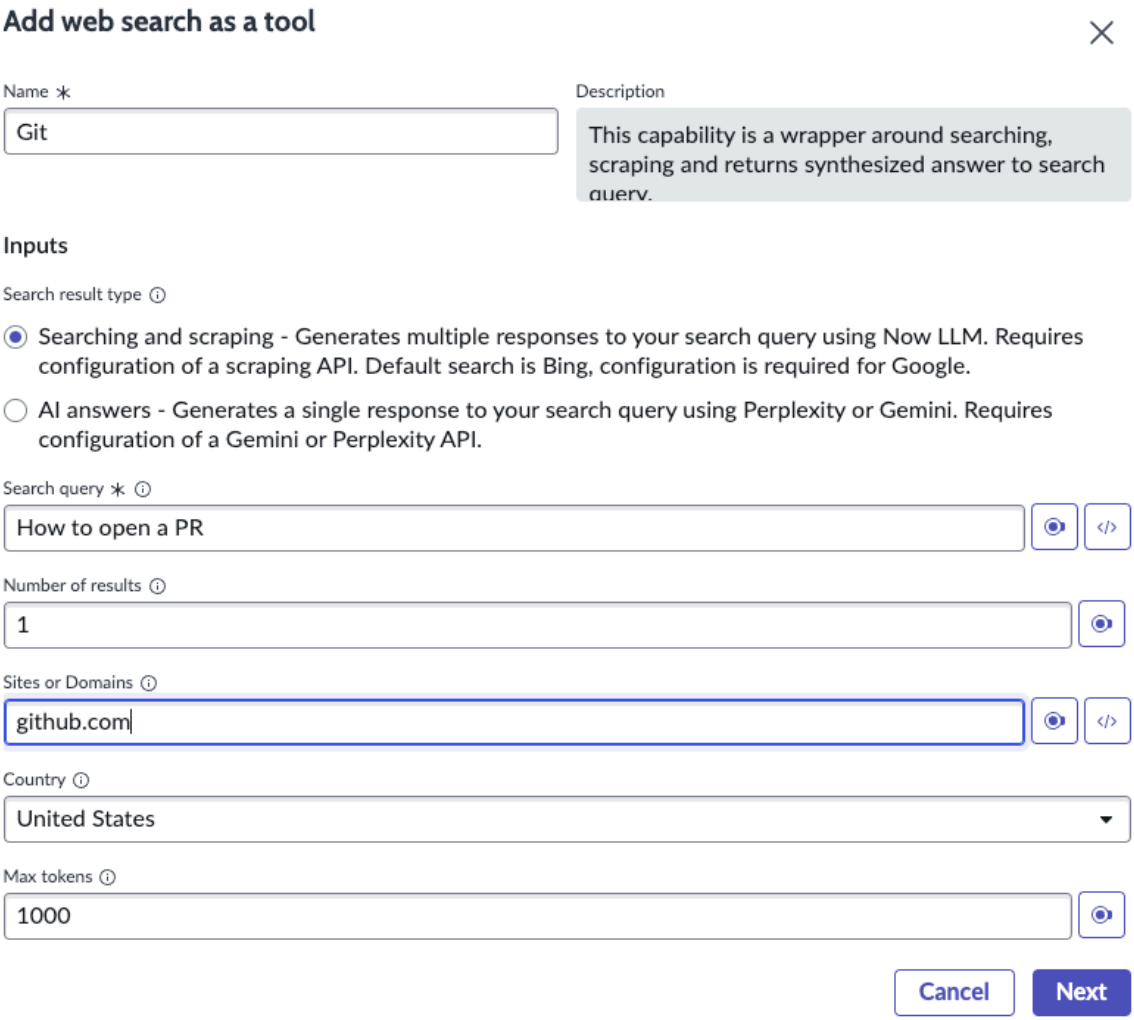
Web 検索をツールとして使用するには、独自の検索エンジン API キーを使用して Now Platform で設定する必要があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 新しいスキルを作成するか、レトリーバーを追加するスキルを選択します。
3. [ツールエディター] タブを選択します。
4. [+] アイコンを選択してノードを追加します。
5. ツールノードを選択します。
6. **[Web** 検索] を選択します。
7. [**Web** 検索の構成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

8. フォームのフィールドに入力します。

Web 検索構成フォーム

フィールド	説明
[Name (名前)]	Web 検索ツールの名前。
検索結果タイプ	検索から得られる結果のタイプ。 ◦ 検索とスクレイピングでは 、Now LLM サービスを使用して検索クエリに対する複数の応答が生成されます。スクレイピング API を構成する必要があります。デフォルトの検索は Bing です。Google を使用するには設定が必要です。 ◦ **AI** の回答 は、Perplexity または Gemini を使用した検索クエリに対する単一の応答を生成します。使用するには、Perplexity API または Gemini API を設定する必要があります。
検索クエリ	検索する単語、またはフレーズ。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
結果の数	返される結果の数。
サイトまたはドメイン	検索する特定の Web アドレス。
Country (国)	結果が出る国。
最大トークン数	応答に含めるトークンの最大数。

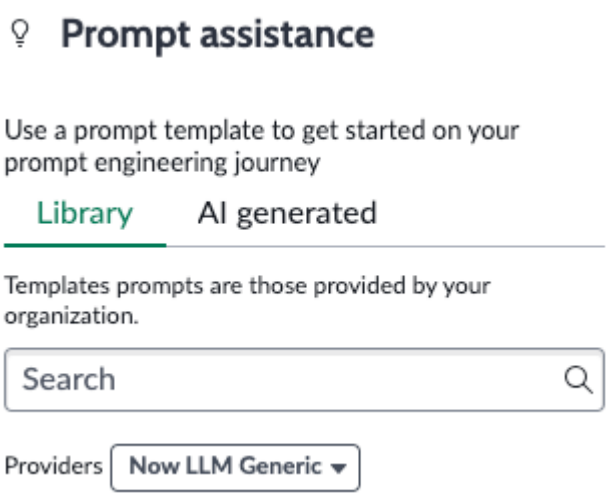
9. **[Next** (次へ)] を選択します。
10. [ツールの追加] を選択します。

プロンプトアシスタンスの使用

プロンプトアシスタンスを使用して、プロンプトライブラリから例を選択するか、Now Assist を使用して例を生成することで、プロンプト開発をすぐに開始できます。

始める前に
必要なロール:sn_skill_builder.admin

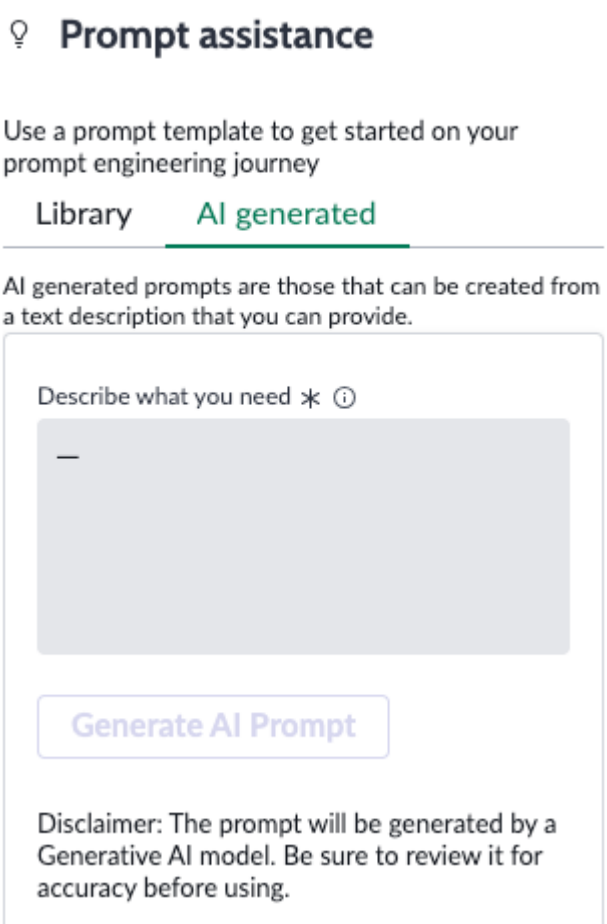
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 新しいスキルを作成するか、プロンプトアシスタンスを使用するスキルを選択します。
3. プロンプトアシスタンスアイコンを選択します。
4. [ライブラリ] タブを選択して、プロンプトライブラリからプロンプトを検索します。
5. 

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. AI で生成されたタブを選択して、AI がニーズに基づいてプロンプトを作成するのを支援します。



プロンプトのテスト

カスタムスキルのプロンプトを作成したら、プロンプトテンプレートをテストしてから完成させてください。プロンプトをテストすると、アクティブ化される前に予想されるプロンプト結果が表示されていることを確認します。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. プロンプトを作成したスキルを選択します。
3. [テスト プロンプト] セクションで、[テストの実行] を選択します。
4. テストインシデントまたはレコードを選択します。
5. [テストの実行] を選択します。

> **注:** スキルをテストするとアシストが消費されます。

プロンプト結果

タブ	説明
対応	応答は、大規模言語モデル (LLM) がプロンプトから返す結果です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	説明
接地プロンプト	接地プロンプトを使用すると、スキル入力とツールからプロンプトに取り込まれたデータを確認できます。このビューでは、スキルの入力とツールが正しいデータを返しているかどうかを確認できます。

6. オプション: 必要に応じてプロンプトを調整し、必要に応じてテストを繰り返します。
7. オプション: [テスト実行履歴] アイコンを選択します を選択して、以前に実行したテストの結果を表示します。

次のタスク

プロンプトをテストした後、完成させて公開する必要があります。スキルの公開の詳細については、スキルのファイナライズと公開を参照してください。

スキルの展開設定を構成していない場合は、 スキル展開設定の構成を参照してください。

プロンプトの評価

Now Assist SDK評価ツールを使用して、スキルプロンプトの有効性を評価します。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 評価するスキルを選択します。
3. [評価] タブを選択します。
4. テーブルまたはデータコレクションからデータセットを作成します。

データセットの作成

メソッド	ステップ
テーブルからのデータセットの作成	a. データセットに名前と説明を付けます。 b. [テーブル] を選択します。 c. 使用するテーブルを見つけます。 d. 使用するレコードの最大数を選択します。 e. 条件を追加します。 f. [プレビューの生成] を選択します。 g. マッピングを選択します。 h. **[Create** (作成)] を選択します。
データコレクションからデータセットを作成する	a. データセットに名前と説明を付けます。 b. [データコレクション] を選択します。 c. Now Assist データキット で作成したデータコレクションを選択します。 d. [プレビューの生成] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メソッド	ステップ
	e. マッピングを選択します。 **f. [Create** (作成)] を選択します。

5. [評価実行] の [追加] ＋ を選択します。
6. 評価実行に名前と説明を付けます。
7. 評価するプロンプトを 1 つ以上選択します。
8. [保存して次へ] を選択します。
9. データセットを選択します。
10. [保存して次へ] を選択します。
11. [品質] タブを展開します。
12. 評価するメトリクスを選択します。

評価メトリクス

アセスメント方法	メトリクス	説明
人間	人間によるフィードバック	人間による評価は、応答を生成するすべてのプロンプト実行で使用できるデフォルトのオプションです。満足度に基づいて、賛成または反対で応答を評価できます。評価の選択を説明するために、より詳細なフィードバックを提供するオプションもあります。
自動化	正確性	正確性メトリクスは、生成された応答の正確性、完全性、適切性、および文章品質を指定された指示に照らして評価します。このメトリクスは、テキストが指示を正確に反映していること、すべての重要なポイントをカバーしていること、関連性を保持していること、および適切に記述されていることを確認するのに役立ちます。
自動化	ゴールデンレスポンスによる正確性	ゴールデンレスポンスを使用した正確性メトリクスでは、事前定義された参照を使用して、生成された応答の正確性、完全性、適切性、および記述品質を指定された指示に照らして評価します。このメトリクスは、テキストが指示を正確に反映していること、すべての重要なポイントをカバーしていること、関連性を保持していること、および適切に記述されていることを確認するのに役立ちます。可能な限り、このメトリクスを使用してください。
自動化	信実	忠実度メトリクスは、生成された応答が、指定された指示で提供された情報とコンテキストを正確に反映しているかどうかを評価します。この指標は、テキストに幻、捏造された事実、または根拠のない結論が含まれていないことを確認し、ソース資料との整合性を維持するのに役立ちます。

13. [保存して次へ] を選択します。
14. 行った評価の選択肢をレビューします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

15. [保存して評価] を選択します。
16. オプション: 人間による評価を行います。
    a. [人間による評価] を選択します。
    b. 評価で使用するレコードを選択します。
    c. プロンプトを展開して結果を読みます。
    d. 賛成または反対のアイコン を選択して、評価を行います。
    e. さらに情報を追加し、[送信] を選択します。

スキルのファイナライズと公開

プロンプトに問題がなければ、カスタムスキルを公開できます。スキルを公開すると、 Now Assist アドミンがスキルをアクティブ化できるようになります。

始める前に

必要なロール:sn_skill_builder.admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** スキルキット > ホーム.
2. 公開するスキルを選択します。
3. プロンプトに必要な変更を加えます。
4. プロンプトを変更した場合は、テストします。
5. プロンプトに問題がなければ、[プロンプトのファイナライズ] を選択します。
6. **[Publish** (公開)] を選択します。

次のタスク

Now Assistアドミンがスキルをアクティブ化する必要があります。スキルをアクティブ化する方法の詳細については、 スキルのアクティブ化を参照してください。

スキルのアクティブ化

カスタムスキルを作成して公開した後、 Now Assist アドミン でアクティブ化する必要があります。スキルをアクティブ化すると、UI 内でスキルをトリガーできます。

始める前に

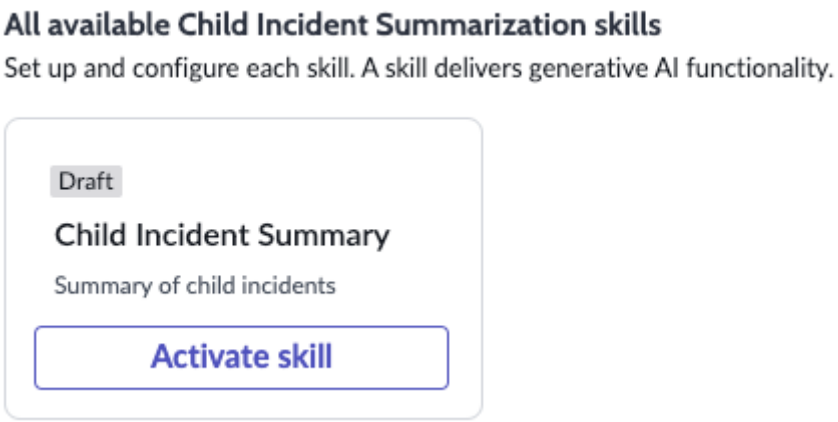
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.
2. 作成したカスタムスキルを見つけます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [スキルのアクティブ化 **(Activate skill)**] を選択します。



スクリプトからのカスタムスキルの呼び出し

スクリプトを使用してカスタムスキルを呼び出すことができます。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム **UI** > **UI** アクション.
2. UI アクションを作成します。
   UI アクションの作成の詳細については、「UI アクションの作成」を参照してください。
3. スクリプトを追加します。

   次のスクリプトは一例です。変数を自分のデータに置き換えることができます。

```
var inputsPayload = {};

// create the payload to deliver input data to the skill

inputsPayload['input name'] = {

  tableName: 'table name',

  sysId: 'sys_id',

  queryString: ''

};


//create the request by combining the capability sys ID and the skill
 config sys ID

var request = {

    executionRequests: [{

        payload: inputsPayload,
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        capabilityId: 'capability sys id',

        meta: {

            skillConfigId: 'skill config sys id'

        }

    }],

    mode: 'sync'

};


//run the custom skill and get the output in a string format
try {
var output =
 sn_one_extend.OneExtendUtil.execute(request)['capabilities'][request.e
xecutionRequests[0].capabilityId]['response'];
var LLMOutput = JSON.parse(output).model_output;
} catch(e) {
 gs.error(e);
 gs.addErrorMessage('Something went wrong while executing the skill.');
}
action.setRedirectURL(current);
```

Now Assist SDKの参照

の参照トピック Now Assist SDK

Now Assist SDK ロール

Now Assist SDK機能を使用するには、特定のロールが必要です。

スキルキットアドミン **(sn_skill_builder.admin)**

このユーザーは、 Now Assist SDK でスキルを作成、更新、公開できます。Now Assist SDKを使用するには、このロールが必須です。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の使用分野 Now Assist SDK

Now Assist SDK は、特定の顧客が Now Assist スキルをビルドできることをカバーするさまざまな Now Assist パッケージに含まれています。

次の表は、このようなカスタムスキルを作成して各カスタマー環境に展開する方法に関する質問を明確にするために提供されています。

想定される使用分野

ワークフローの拡張性	Now Assist SDK を使用すると、顧客は、インシデントの要約など、ライセンスが付与された構築済みの Now Assist スキルの使用を補完できます。 Now Assist SDK により、顧客は Now Assist 購入の範囲内で新しいワークフロー関連のスキルを作成することもできます。たとえば、ITSM Pro/Enterprise Plus の ITx 内、ITSM を使用している顧客の ITx と HR、HRSD Pro/Enterprise Plus 内などです。
非重複	現在購入可能な構築済みスキルが ServiceNow Now Assist パッケージで存在することを確認するには、Now Assist の概要 を参照してください。顧客は、購入せずにライセンス可能な ServiceNow スキルの複製バージョンを作成するのではなく、購入したスキルからビルドする必要があります。
カスタムテーブルの活用	カスタムスキルは、 Now Assist SDK を使用してビルドし、顧客のライセンスで提供されるカスタムテーブルで生成 AI 機能を有効にすることができます。

AI ガバナンス

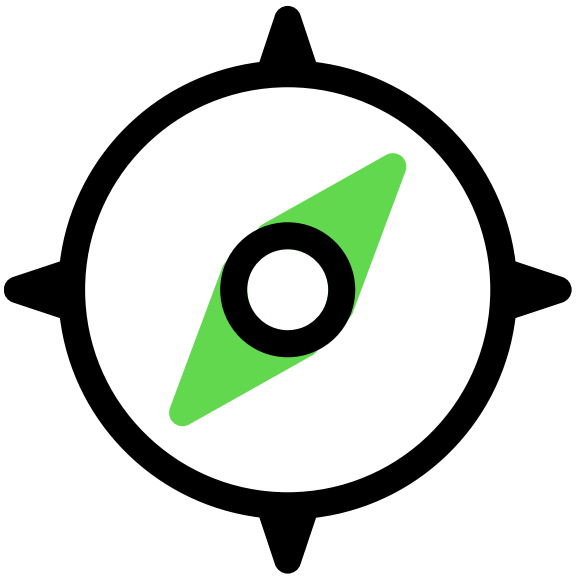
AI ガバナンスワークスペース、AI インベントリ、構成、および承認フローの詳細を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

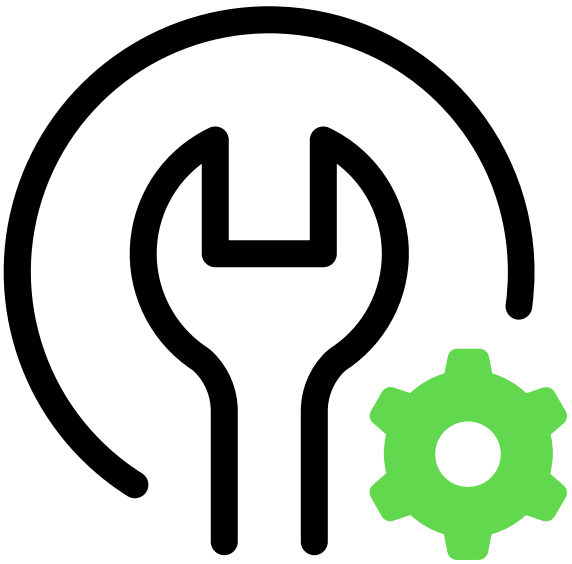
始めましょう

探索



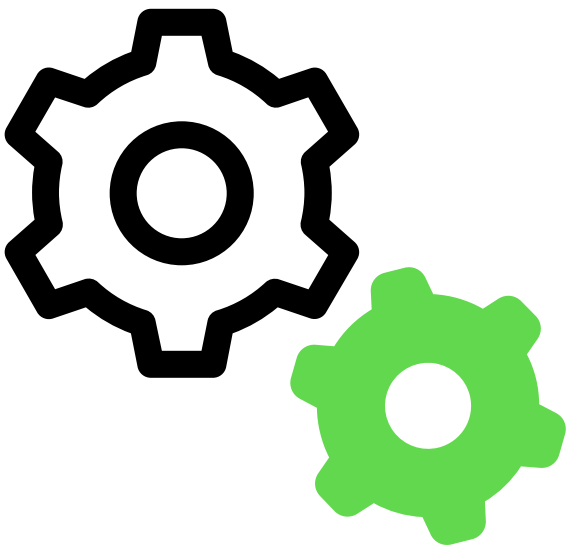
AI ガバナンスワークスペースの詳細をご覧ください。

構成



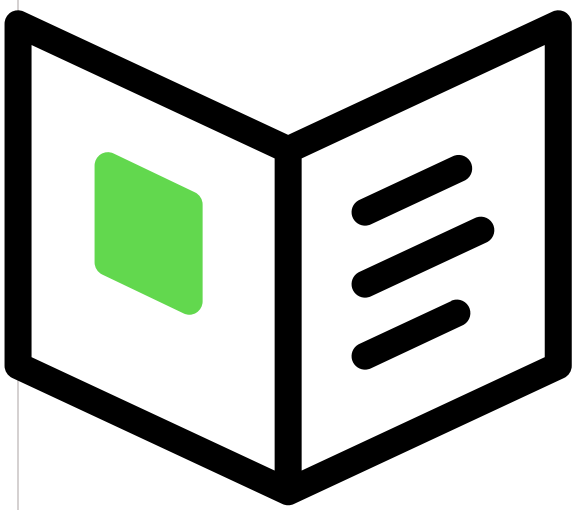
AI ガバナンスの構成。

使用中



AI ガバナンスワークスペースを使用して AI 資産を監視し、プレイブックワークフローを作成します。

参照



ユーザーロールの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。お客様は、次の説明に従って、いつでも将来のデータ収集をオプトアウトできます。 Now Assist オプトアウトページ.

AI ガバナンス の探索

共通データモデルのNow Assistを含め、AI ガバナンス が AI インベントリを管理する方法について説明します。

AI ガバナンスの概要

AI ガバナンス は、組織が Now Platform上の AI 資産を監視、管理、統制するのに役立ちます。AI ガバナンスフレームワークは、AI システムの開発、使用、および展開を導く一連の原則、プラクティス、およびプロトコルです。AI ガバナンスフレームワークは、組織が独自の責任ある AI の原則に準拠した AI を提供するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AI 資産データモデル

AI 資産データモデルは、スキル、モデル、データセット、プロンプトなどのさまざまな AI 資産をカタログ化します。また、さまざまな資産間の関係性も管理し、AI インベントリを効果的に管理するのに役立ちます。

AI ガバナンス のメリット

- 組織内の AI プレゼンスを追跡します。
- AI 資産のガバナンスを監視します。

次に探索する内容

AI ガバナンスを構成して使用する方法の詳細については、以下を参照してください。

- AI ガバナンスの構成については、次を参照してください。AI ガバナンス の構成
- AI ガバナンスの使用方法については、次を参照してください。AI ガバナンス の使用
- AI ガバナンスのロール、既知の問題、および参照については、「」を参照してください。AI ガバナンス -参照

AI ガバナンス

AI ガバナンス は、AI スチュワードが企業内の AI を管理および監視するための一元化されたワークスペースを提供します。このワークスペースでは、 Now Platform の統合 AI 資産データモデルに基づく AI インベントリと、関連するガバナンスビジネスプロセスを利用できます。

AI ガバナンス ワークスペース

AI ガバナンスワークスペースは、企業内に展開された AI の鳥瞰図を提供します。[AI ガバナンスワークスペース] メニューに、資産と承認のリストが表示されます。

[資産] リストには、スキル、モデル、プロンプト、データセットなど、すべてのタイプの AI 資産が表示されます。

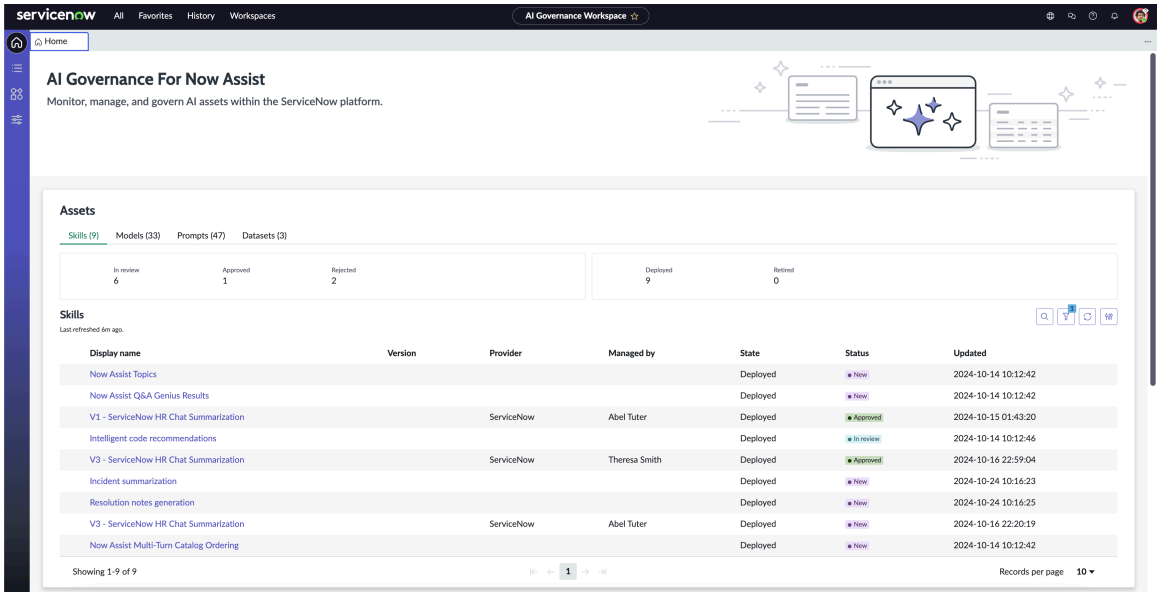
資産リストの列は、[表示名]、[バージョン]、[プロバイダー]、[管理担当者]、[ステータス]、[ステータス]、および [更新済み] です。

資産ステータスの値は、[展開]、[廃止]、[開発]、[不明]、[承認済み]、[却下]、および [レビュー中] です。


、 
、リフレッシュ 
、 
、アセットリストの列編集機能を使用できます。

自動翻訳

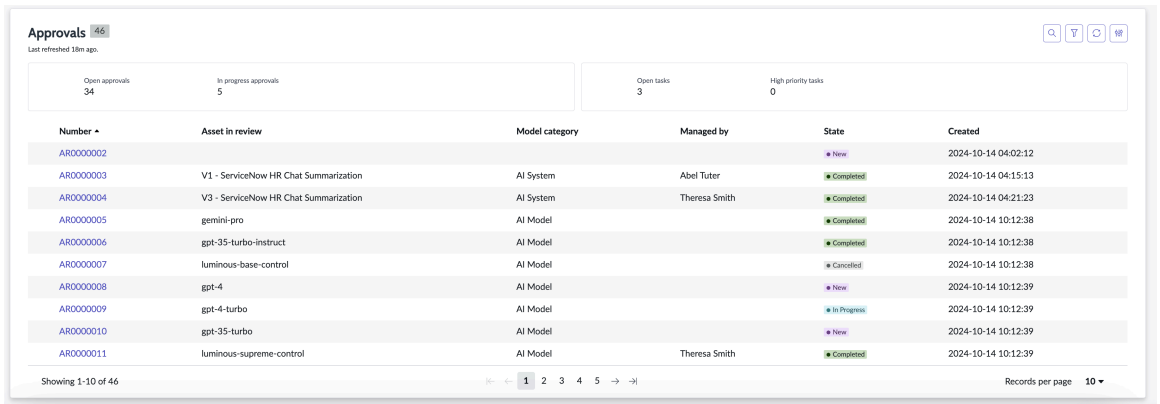
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[承認] リストには、資産に対して作成されたすべての承認要求が表示されます。オープン中の承認、進行中の承認、オープンタスク、および高優先度のタスクの数を表示できます。

[承認] リストの列は、[番号]、[レビュー中の資産]、[モデルカテゴリ]、[管理担当者]、[ステータス]、および [作成済み] です。

[承認] リストの [検索  フィルター ]、[フィルター]、[リフレッシュ]、[]、および [列の編集] の ] 機能を使用できます。



資産

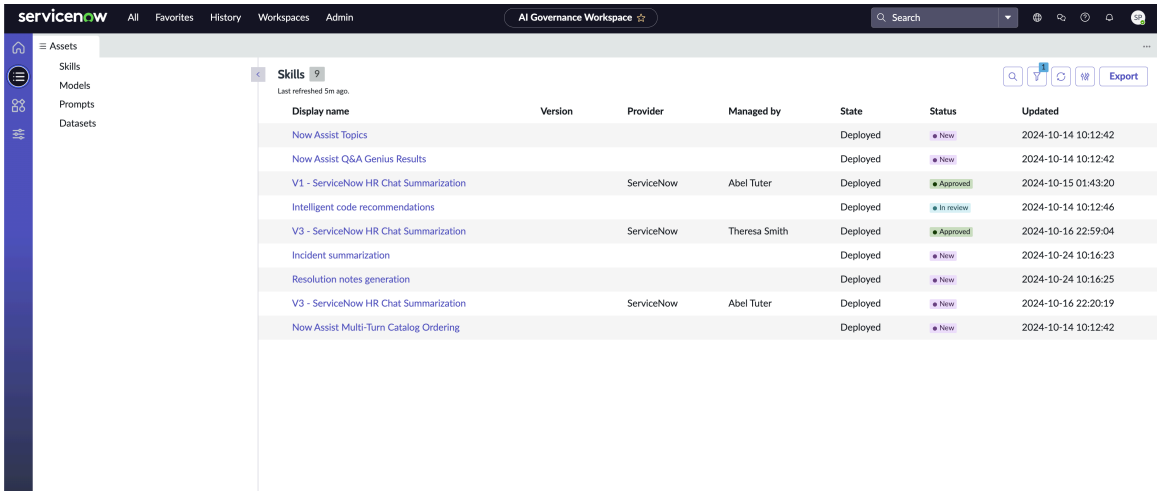
資産は、アクティブなライフサイクルを持つ AI システムのアーティファクトです。AI 資産には、AI スチュワードによってアサインされた生成 AI 機能があります。

[資産] リストには、すべての資産が AI 資産インベントリの一部として表示されます。

- スキル
- モデル
- プロンプト
- データセット

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[資産] リストの [検索 検索]、[フィルターフィルター]、[リフレッシュ]、[ ]、および [列の編集] の 機能を使用できます。 資産は、[エクスポート] オプションを使用してエクスポートできます。

資産レコード

資産レコードには、次のタブの特定の資産に関連するすべての情報が含まれています。

- 詳細:特定の資産のすべての詳細を表示します。

  フィールドの情報を表示するには、ユーザー設定 (sys_user_preference) で **glide.ui.accessibility.accessible.tooltips** プロパティを有効にします。

  ツールヒントの有効化の詳細については、「アクセス可能なフォームのツールヒント機能を有効にする」を参照してください。

- 関連資産:特定の資産に関連するすべての資産タイプを表示します。
- 承認:特定の資産のすべての承認要求を表示します。
- **KPI** とメトリクス: 評価メトリクスレポートを表示します。

重要: 進行中の承認がない場合、承認を要求すると、確認アラート 承認要求作成 メッセージが資産アドミニストレーターに送信されます。

資産に対して既に発生した承認要求がある場合、資産アドミニストレーターは別の承認要求を出すことはできません。

[作成] でコメントを投稿し、[アクティビティ] でアセットのステータスを追跡できます。

承認

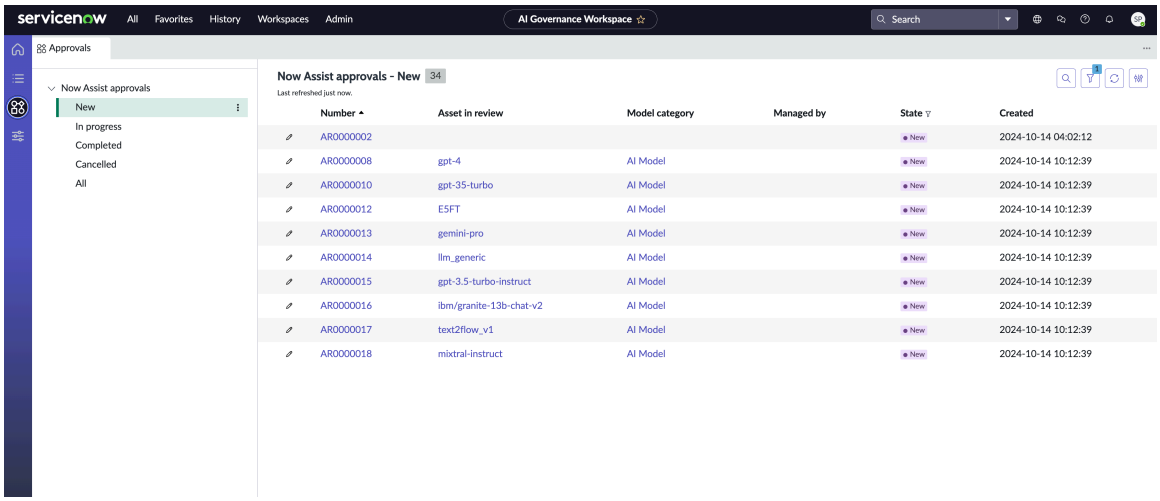
承認は、資産を承認または却下するために作成される承認要求です。[承認] メニューには、 Now Assist 承認のリストが表示されます。

[新規]、[処理中]、[完了]、[キャンセル]、および [すべて] に分類された承認 Now Assist を表示できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Now Assist承認] リストの [検索 検索]、[フィルター]、[リフレッシュ]、[ ]、および [列の編集] の] 機能を使用できます。



承認レコード

Now Assist承認レコードには、[詳細] セクションと [プレイブック] セクションが表示されます。[詳細] セクションには、承認とレビュー中の資産のすべての詳細が表示されます。[アサイン先] フィールドは編集可能で、残りのフィールドは自動入力されます。

AI スチュワードは、[保存] オプションをクリックし、その他のアクションアイコンを選択して [承認要求をキャンセル] または [承認要求を削除] を選択することで、承認レコードを保存できます。

[コメント] セクションに作業メモを投稿し、[アクティビティ] セクションから承認タスク要求を追跡できます。

[プレイブック] セクションには、 Now Assist 承認が資産を承認または却下するためのワークフローが表示されます。プレイブックワークフローの詳細については、「 AI ガバナンスプレイブックワークフローの作成」を参照してください。

AI ガバナンス の構成

AI ガバナンスのベースシステム構成をセットアップします。

始める前に

必要なロール:sn_ai_governance_ai_steward

手順

1. AI ガバナンスワークスペースの [構成] メニューに移動します。
2. [データ] を選択し、[データ共有] で [オプトイン] を選択します。
   [データ] セクションを表示するには、生成 AI コントローラープラグインがインストールされていることを確認します。
   [オプトイン] オプションはデフォルトで有効になっています。

   注: データ共有のオプトアウトは、アカウントエグゼクティブまたは Now Support チームのみが元に戻すことができます。

   データ共有の詳細については、「データ共有」ページの「FAQ」セクションを参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

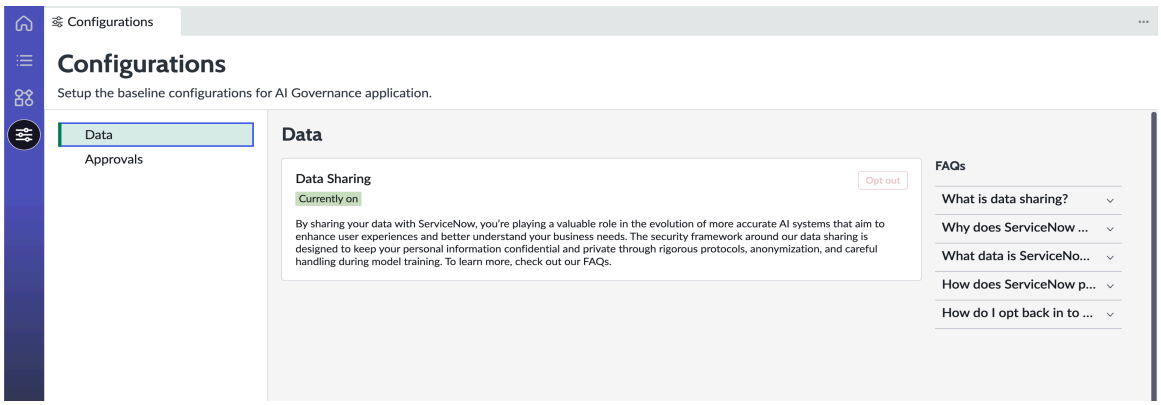
3. [承認] を選択し、[承認の委任] オプションを有効にします。
[承認の委任] オプションは、デフォルトでは無効になっています。
承認委任を有効にし、この環境に AI 資産を追加すると、承認要求が自動的にトリガーされます。

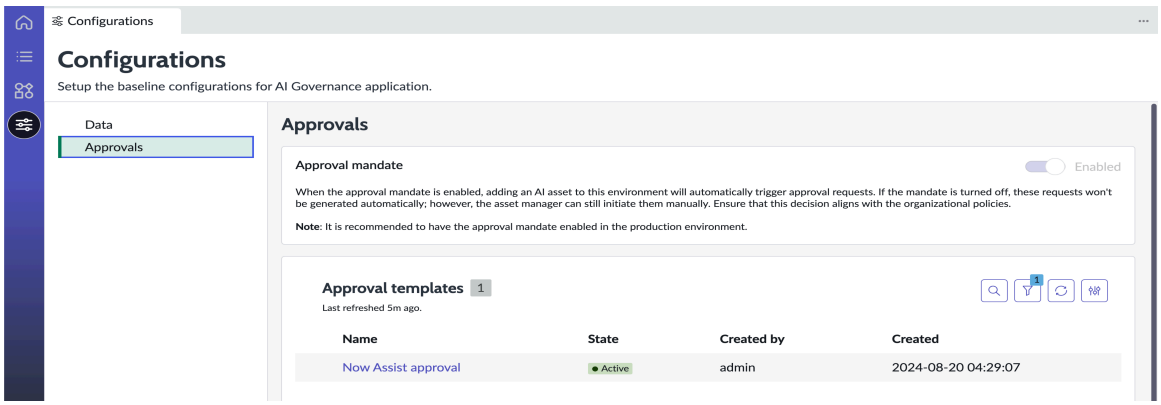
   注: 委任が有効になっていない場合、承認要求は自動的に生成されませんが、資産アドミニストレーターは手動で開始できます。

   本番環境で 承認委任 オプションが有効になっていることを確認します。

承認テンプレートを表示できます。これは承認テンプレートリストで、資産のレビュー、資産の評価、資産の承認または却下の 3 つのステップで承認レコードを構成するプレイブックのレコードが含まれています。

ユーザーは、多かれ少なかれステップをカスタマイズしたり、同じステップを別の順序で使用したり、異なるセキュリティポリシーを設定したりして、独自のプレイブックワークフローを作成できます。AI ガバナンスプレイブックワークフローの作成の詳細については、「」を参照してください。AI ガバナンスプレイブックワークフローの作成





AI ガバナンス の使用

AI ガバナンスを使用してガバナンスワークフローを作成します。

AI ガバナンスプレイブックワークフローの作成

Now Assist承認が資産を承認または却下するための AI ガバナンス プレイブックワークフローを作成します。

始める前に

注: Now Assist承認のためのAI ガバナンスプレイブックワークフローは手動では作成されません。これらは、承認委任が有効になっているときに承認要求が作成されると自動的にトリガーされます。

必要なロール:sn_ai_governance_ai_steward

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [Now Assist 承認] に移動し、承認レコードを開きます。
2. [プレイブック] セクションに、 Now Assist 承認 ワークフローが表示されます。

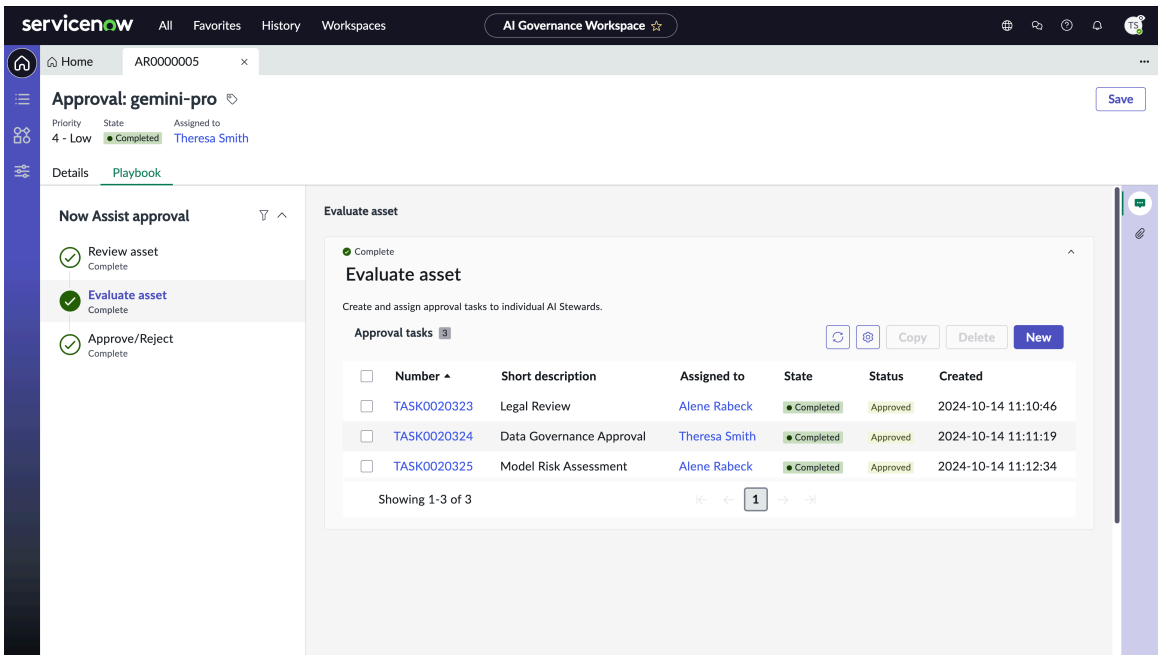
   [保存] オプションを使用してプレイブックレコードを保存するか、[承認要求をキャンセル] を選択して任意のステップでワークフローをキャンセルできます。

3. 資産をレビュー:レビュー中の資産のすべての詳細を表示できます。
4. **[Next** (次へ)] を選択します。
   [資産のレビュー] ステップが完了としてマークされると、承認ステータスが変更されます。
5. 資産の評価:AI スチュワードは、承認タスクを作成し、他の個々の AI スチュワードにアサインして資産を評価することができます。
   資産を評価するための Now Assist 承認タスクの作成の詳細については、 Now Assist承認タスクの作成

   > **注:** タスクをコピーまたは削除し、[承認タスク] リストの [新規] オプションを使用してタスクを作成できます。

6. 承認/却下:AI スチュワードは、ドロップダウンメニューからリスクスコアを選択してクローズメモを入力しながら、タスクの評価に基づいて資産を承認または却下できます。
7. [資産の却下] または [承認] を選択して、ワークフローを完了します。

   承認/却下ステップが完了としてマークされた後は、リスクスコアとクローズメモを変更できません。



Now Assist承認タスクの作成

資産を評価するための Now Assist 承認タスクを作成します。Now Assist承認タスクは、法務レビュー、セキュリティレビュー、データレビュー、著作権侵害レビューなどの他の組織やエンティティからの承認が必要な承認要求のサブタスクです。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [Now Assist 承認] に移動し、承認レコードを開きます。
2. [プレイブック] セクションで、[資産のレビュー] ステップが完了としてマークされていることを確認します。
3. [資産の評価] で [新しいタスクの作成] を選択します。
   新しい承認タスクが作成されます。タスク番号とタスクタイプのフィールドは自動入力されます。
4. [簡単な説明]、[説明]、[期日]、および [クローズメモ] を入力します。
5. ドロップダウンメニューからタスクの [優先度]、[ステータス]、および [ステータス] を選択します。
6. [アサイン先] と [親の承認] レコードを入力して検索します。
   親承認レコードが自動入力され、読み取り専用モードで表示されます。
7. [**Save** (保存)] をクリックする。
   承認要求の Now Assist 承認タスクが作成されます。

AI ガバナンス -参照

AI ガバナンス の参照トピック。

AI ガバナンスとともにインストールされるロール

特定のロールは、 AI ガバナンス プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

AI ガバナンスとともにインストールされるロール

AI ガバナンスとともにインストールされるロール

ロールタイトル [名前]	説明	含まれるロール	グループ
AI スチュワード [sn_ai_governance_c	注: 組織は、AI スチュワードロールのアサインを決定します。 AI ガバナンスイニシアチブのすべての実行を担当します。 AI 資産と AI ガバナンス ポリシーを理解します。 組織内の部門横断型のチームが協力して、組織のポリシーが遵守されていることを確認します。	• sn_nowassist_admin.user • sn_ai_governance_workspace_admin	なし
AI ガバナンス ワークスペースユーザー [sn_ai_governance_workspace_user]	AI 資産を所有および管理するユーザー AI ガバナンスワークスペースへのアクセス .	なし	なし

自動翻訳

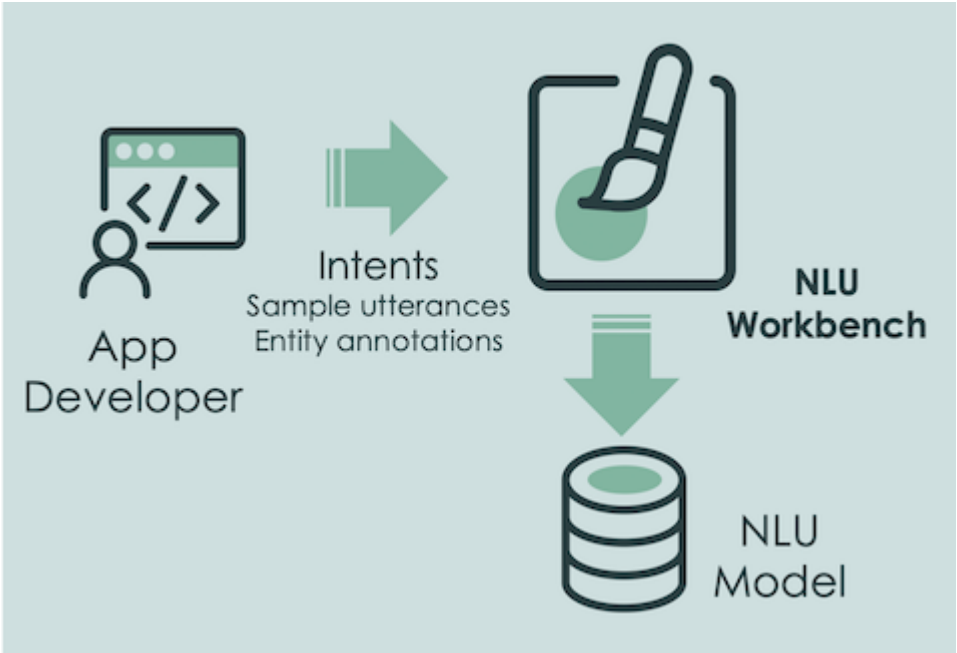
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自然言語理解 (NLU)

ServiceNow® 自然言語理解 (NLU) (NLU) は、人間が表現したインテントをシステムが学習して応答できるようにするために使用できる NLU ワークベンチ および NLU 推論サービスを提供します。システムに自然言語の例を入力することで、単語の意味とコンテキストを理解し、ユーザーまたはシステムのアクションを推測できるようにします。

自然言語理解 (NLU)の概要

NLU モデルビルドプロセスのユーザー入力フロー



この画像は、NLU モデルビルドプロセスにおけるユーザー入力フローを示しています。

NLU の用語

NLU用語では、これらの用語は、システムが自然言語コンテンツを分類、解析、またはその他の処理に使用する主要な言語コンポーネントを識別します。

インテント

ユーザーが実行しようとしていること、またはアプリケーションに処理させたいこと (アクセスの許可など)。

発言

ユーザーインテントの自然言語の例。たとえば、インシデントの簡単な説明のテキスト文字列、チャットエントリ、メールの件名などです。発言はインテントをビルドおよびトレーニングするために使用されるため、複数の意味やあいまいなインテントを含めることはできません。

エンティティ

アクションのオブジェクトまたはコンテキスト。たとえば、ラップトップ、ユーザーロール、優先度レベルなどです。

システムエンティティ

これらはインスタンスで事前定義されており、日付、時刻、場所など、再利用性の高い意味を持ちます。

ユーザー定義エンティティ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらはユーザーによってシステムで作成され、ユーザーが作成した発言の単語から作成できます。

共通エンティティ

通貨、組織、人、数量など、事前定義されたエンティティモデルを介して一般的に使用および抽出されるコンテキスト。

語彙

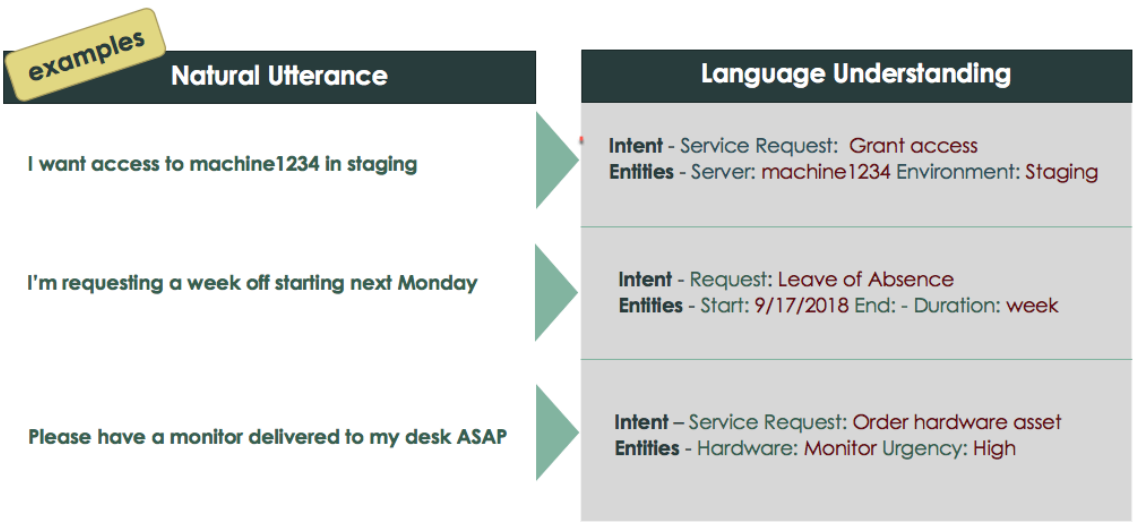
語彙は、単語の意味を定義したり上書きしたりするために使用されます。たとえば、同義語「Microsoft」を頭字語「MS」に割り当てることができます。

NLU モデル

新しい発言のインテントとエンティティを推測するための参照としてシステムが使用する、発言例とそれに関連するインテントおよびエンティティのコレクション。NLU ワークベンチには、ITSM モデルなど、特定の事業部門向けにビルド済みの NLU モデルが付属しています。カスタムモデルを作成することもできます。

この画像は、 自然言語理解 (NLU) が発話例を処理してシステム内のインテントとエンティティに変換する方法を示しています。

NLU は、発言例を処理してインテントとエンティティにレンダリングします



自動翻訳

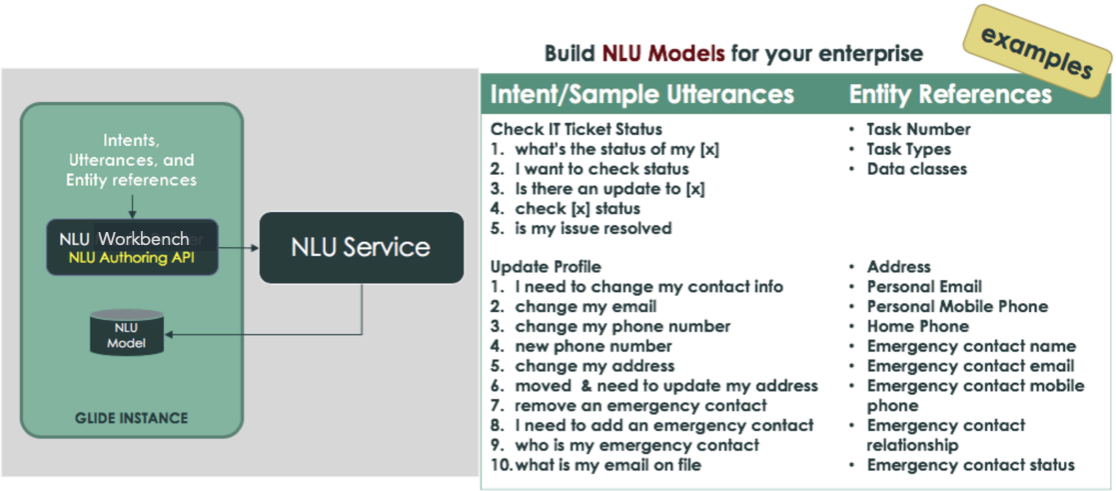
NLU ワークベンチ

NLU ワークベンチを使用して、人間の言語の形態学的表現を作成します。これらのモデルを使用すると、自然言語の発言で表現されるインテントとエンティティを作成できます。どの ServiceNow アプリケーションでも、 NLU モデルを呼び出して、特定の発言のインテントとエンティティの推測を取得できます。

nlu_adminロールを使用して、NLU ワークベンチでモデルをビルドし、そこで作成、トレーニング、テスト、公開を繰り返し行います。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アドミニストレーターがモデルをビルドするのに役立つ **NLU** オーサリング **API** の概要

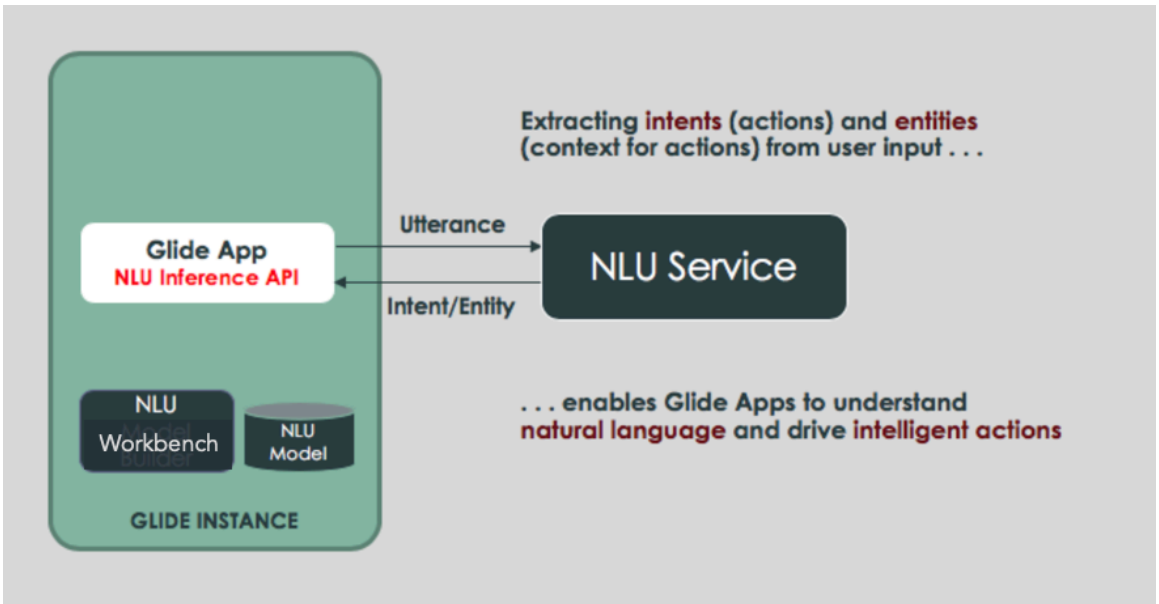


NLU モデルをビルドして使用する方法については、「NLU モデルの作成」を参照してください。

NLU 推論サービス

自然言語理解 (NLU) は、システムが自然言語を理解し、インテリジェントなアクションを駆動するのに役立つ NLU 推論サービスを提供します。このサービスは、モデル内の特定のユーザーの発言のインテントとエンティティをトレーニングおよび予測して、そのテキストを API やパラメーターなどの機械が理解できる形式に変換できるようにします。

システムが **NLU** 推論 **API** を使用してインテントとエンティティを抽出する方法の概要



ここでは、システムは推論 API を使用して、サンプルレコードデータを使用して正確な予測の有力な候補であるインテントとエンティティを識別することで、 NLU アルゴリズムをトレーニングします。

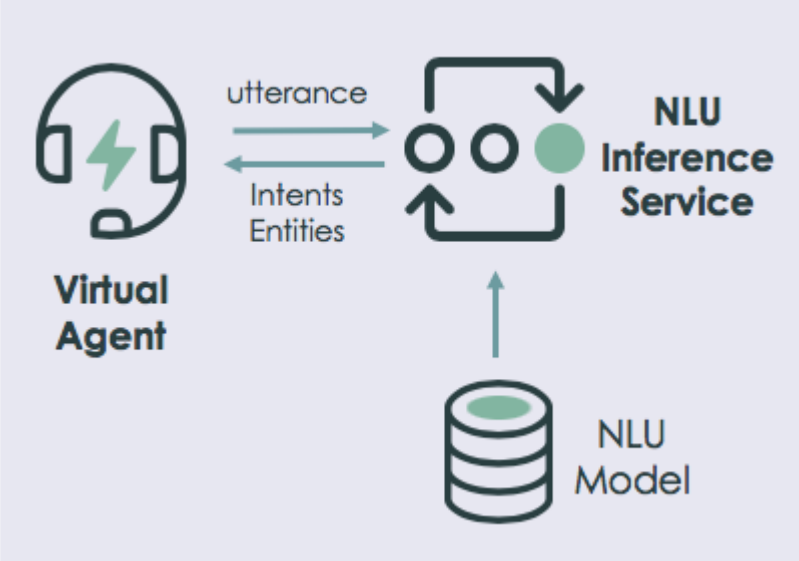
NLU モデル消費

その他のServiceNow®アプリケーションは、仮想エージェントなどのNLUモデル出力を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU を使用する仮想エージェントアプリケーションの概要



たとえば、 仮想エージェント アドミニストレーターは、エージェントチャットボットが会話内でのユーザーの発言をよりよく理解できるように、NLU モデルを使用するように 仮想エージェントデザイナー 会話フローを構成できます。仮想エージェント が NLU モデルを使用する方法の詳細については、「仮想エージェントでの自然言語理解 (NLU) トピックディスカバリー」を参照してください。

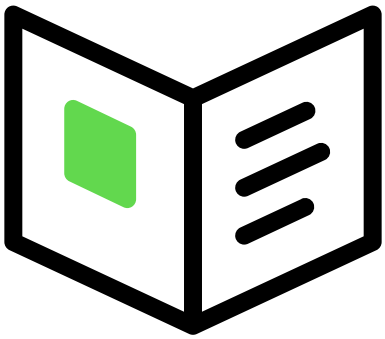
始めましょう

探索	使用	統合
NLUの概念と機能について説明します。	NLU モデルを作成、テスト、翻訳、公開します。	仮想エージェントアドミニストレーターが仮想エージェントデザイナー内からNLUモデルを更新する方法について説明します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

参照



他のアプリケーションで使用するためにさまざまな言語のモデルを使用する方法について説明します

トラブルシューティングとサポート

- 仮想エージェントと NLU コミュニティページ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

自然言語理解 (NLU)の詳細

ServiceNow® 自然言語理解 (NLU) (NLU) は、人間が表現したインテントをシステムが学習して応答できるようにするために使用できる NLU ワークベンチ および NLU 推論サービスを提供します。システムに自然言語の例を入力することで、単語の意味とコンテキストを理解し、ユーザーまたはシステムのアクションを推測できるようにします。

自然言語理解 (NLU)の概要

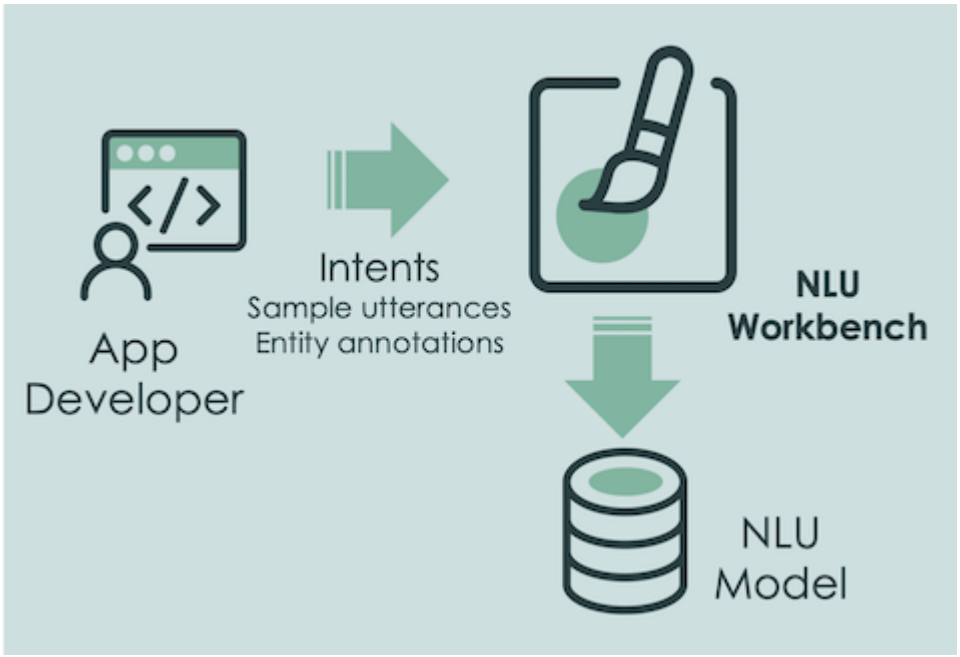
自然言語理解 (NLU) は、機械読解を扱う人工知能自然言語処理のコンポーネントです。 予測インテリジェンス は NLU を使用して、システムが単語の意味と単語のコンテキストを理解して、ユーザーまたはシステムのアクションを推測できるようにします。

自然言語理解 (NLU) のワークフロー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU モデルビルドプロセスのユーザー入力フロー



この画像は、NLU モデルビルドプロセスにおけるユーザー入力フローを示しています。

自然言語理解 **(NLU)** のメリット

メリット	機能	ユーザー
NLU ワークベンチを使用して、仮想エージェントおよびAI 検索のモデルを作成します。	NLU ワークベンチ	NLU 管理者
インテント、エンティティ、語彙、およびテストセットの発言を追加して、モデルのコンテンツをビルドします。NLUモデルのコンテンツによって、モデルがユーザー入力にどのように応答するかが決まります。	モデル管理	NLU 管理者
既存の NLU モデルを翻訳して、言語を追加します。サポートされている言語でセカンダリモデルを追加するには、いくつかの翻訳オプションのいずれかを使用します。	モデル管理	NLU 管理者
仮想エージェントアドミニストレーターは、仮想エージェントデザイナー ユーザーインターフェイス内から NLU モデルにアクセスして更新できます。	仮想エージェントの統合	仮想エージェントアドミン

の有効化 **NLU** ワークベンチ

NLU ワークベンチ をアクティブ化するには、次のプラグインをアクティブ化します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
インスタンスで、次のプラグインが有効になっていない場合はアクティブ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プラグイン	説明
NLU ワークベンチ - Core com.glide.nlu	NLU ワークベンチ を使用して作成した NLU モデルを保持するために必要なテーブルをインストールします。
NLU ワークベンチ com.snc.nlu_studio	自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを作成することができます。これらのモデルでは、特定のユーザーの発言のインテント (アクション) とエンティティ (アクションに関する詳細) を理解できます。任意の ServiceNow アプリケーションで NLU モデルを呼び出すことができます。 NLU ワークベンチ - Core プラグインと NLU Common Model プラグインが必要です。
予測インテリジェンス com.glide.platform_ml	モデルの作成と推定に使用する NLU サービス API を有効にします。インスタンス内のデータでトレーニングされた機械学習ソリューションの作成を有効にします。分類、類似性、およびクラスタリングのためのフレームワークを提供します。トレーニングされたソリューションは、Prediction API を使用して任意のアプリケーションから呼び出せます。
NLU 共通モデル com.glide.nlu.model	すべての言語の NLU 共通モデルをパッケージ化します。NLU ワークベンチ の任意の NLU モデルでインポートして使用できる、一般的に使用されるパターンエンティティも含まれています。メール、電話などの一般的に使用されるパターンと、INT、RITM などの ServiceNow 固有のパターンエンティティが利用可能になります。NLU ワークベンチ - Core プラグインが必要です。
NLU アクティブラーニングプロパティ com.glide.nlu.active_learning_properties	nlu_admin で専門家フィードバックループアプリケーションのシステムプロパティを設定することができます。専門家フィードバックループアプリケーションを使わない場合、このプラグインを使用しないで、無視しても問題ありません。専門家フィードバックループのシステムプロパティの詳細については、「NLU 専門家フィードバックループ」のドキュメントを参照してください。

次の 2 つのプラグインは、有償サブスクリプションに関連付けられたアプリ用で、ServiceNow Store で入手できます。これらのアプリをインストールすると、NLU Workbench に機能が追加されます。これらのアプリに興味をお持ちの場合は、アカウントマネージャーにお問い合わせください。

プラグイン	説明
インテントディスカバリー sn_nlu_discovery	インテントディスカバリー 機能を提供し、インシデントデータやケースデータの分析からユーザーのインテントを識別します。このアプリケーションを使用して、仮想エージェントの会話用にモデル化および構築を行うインテントを特定して転送を最大化します。詳細について

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プラグイン	説明
	は、「インテントディスカバリー のインストール」を参照してください。
NLU Workbench - Advanced Features sn_nlu_workbench	モデルのパフォーマンス、マルチモデルバッチテスト、モデル間競合レビュー、および専門家フィードバックループの各機能を提供します。 詳細については、「NLU ワークベンチのインストール - 拡張機能」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).
2. フィルター基準と検索バーを使用して、次のプラグインを検索します。 NLU ワークベンチ - Core (com.glide.nlu)、 NLU ワークベンチ (com.snc.nlu_studio)、 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml)、および NLU Common Model (com.glide.nlu.model)。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。
3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

   注: ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます： 「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません： <プラグイン名> のプラグインの有効化 (`Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>`)」

   インストールが完了するとメッセージが表示されます。プラグインとともにインストールされるコンポーネントの詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

NLU ワークベンチロール

NLU ワークベンチ はこれらのロールに併せてインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理 」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

NLU ユーザー [nlu_user]

NLU ワークベンチ のモデルへの読み取りアクセス権を持つユーザー。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

このロールは、 NLU ワークベンチ Core とともにインストールされます。このロールには、 NLU モデルのパフォーマンスへのアクセス権がありません。

NLU エディター [nlu_editor]

NLU ワークベンチ で割り当てられたNLUモデルを編集できるユーザー。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- import_admin
- sn_ace.ace_user
- nlu_user

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

このロールは、 NLU ワークベンチ Core とともにインストールされます。

NLU アドミニストレーター [nlu_admin]

NLU ワークベンチを使用してNLUモデルを管理できるユーザー。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- sn_ace.ace_user
- sn_nlu_workbench.nlu_feedback_admin
- nlu_editor
- nlu_user

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

このロールは、 NLU ワークベンチ Core とともにインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU フィードバックアドミン [sn_nlu_workbench.nlu_feedback_admin]

データのラベル付け (フィードバックNLU) アドミンロール - モデル間でデータのラベル付けを管理することも、モデルを最適化する機能。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- sn_ace.ace_user
- platform_ml_write
- platform_ml_create
- ml_labeler

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

このロールは、 NLU ワークベンチ - 拡張機能とともにインストールされます。詳細については、「NLU Workbench - Advanced Features」を参照してください。

このロールは、専門家フィードバックループモジュールで使用されます。詳細については、「#unique_301」または「NLU での問題の自動解決の調整」を参照してください。

NLU ワークベンチのプロパティ

自然言語理解 (NLU) (NLU) アプリケーションの次のシステムプロパティを参照してください。

NLU ワークベンチ プロパティとその使用方法

システムプロパティにアクセスするには、admin または nlu_admin ロールを使用し、アプリケーションナビゲーターで次のパスを使用します。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > 設定.

モデル設定

ラベルと名前	デフォルト値	プラグイン	推奨される使用方法
インテントごとの最大発言数 *glide.nlu.utterances_per_intent.value_limit*	200	NLU ワークベンチ	インテントごとに使用する発言は 200 未満にして、インテントのサイズに関してモデルのバラン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モデル設定 (続く)

ラベルと名前	デフォルト値	プラグイン	推奨される使用方法
			スを保ちます。 **注:** 値は 5 より大きく 300 以下でなければなりません。
テーブル語彙ソースの最大レコード数 *glide.platform_ml.api.max_nlu_lookupsource_records*	100,000	NLU ワークベンチ	値を 100,000 未満に保ちます。
リスト語彙ソースの値の最大数 *glide.nlu.static_lookup.value_limit*	1,000	NLU ワークベンチ	値を 1,000 未満に保ちます。
ソフトウェア名の構築済み語彙を有効にする *glide.mlpredictor.option.nlu.@LookupSources:software*	enabled	NLU ワークベンチ	システムがソフトウェア名を認識できるように、ビルド済みの語彙を有効にします。
ハードウェア名の構築済み語彙を有効にする *glide.mlpredictor.option.nlu.@LookupSources:hardware*	enabled	NLU ワークベンチ	システムがハードウェア名を認識できるように、ビルド済みの語彙を有効にします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細設定

ラベルと名前	デフォルト値	プラグイン	推奨される使用方法
インテントディスカバリー分類の最大レコード数 *sn_nlu_discovery.intent_discovery_max_classification_limit*	300,000	インテントディスカバリー	レコード数は 50 万未満に抑えます。
インテントディスカバリー分類の最小レコード数 *sn_nlu_discovery.intent_discovery_min_classification_limit*	10,000	インテントディスカバリー	高品質の結果を得るには、少なくとも 10,000 件のレコードを使用します。
NLU パフォーマンス分析の最小レコード数 *sn_nlu_workbench.glide.nlu.performance.min_clustering_records*	5,000	NLU ワークベンチ - Advanced Features	高品質の結果を得るには、少なくとも 5,000 件のレコードを使用します。
NLU 競合の検出 (NLU Conflict Detection)：中しきい値 *sn_nlu_workbench.glide.nlu.conflict.moderate_threshold*	.85	NLU ワークベンチ - Advanced Features	0 から 1 までの 10 進数である必要があります。このしきい値は、重大しきい値未満にしてください。
NLU 競合の検出 (NLU Conflict Detection)：重大しきい値 *sn_nlu_workbench.glide.nlu.conflict.critical_threshold*	.95	NLU ワークベンチ - Advanced Features	0 から 1 までの 10 進数である必要があります。このしきい値は、中しきい値よりも大きく保ちます。
バッチテストインポートファイルの最大行数 *sn_nlu_workbench.glide.nlu.batch_test.max_import_rows*	10,000	NLU ワークベンチ - Advanced Features	バッチテストインポートファイルの行数が 10,000 行以下であることを確認してください。
専門家フィードバックループのフィードバックに表示する発言の最大数 *glide.mlpredictor.option.nlu.activeLearning.label.candidate.threshold.max_response_size*	300	NLU ワークベンチ - Advanced Features	ユーザーの 仮想エージェント チャットログから 300 件以下の発言を取得して、専門家フィードバックループアプリケーションでフィードバック用に表示します。モデルを調整する前にユーザーが確認する必要がある発言の最小数
モデルを調整する前にユーザーが確認する必要がある発言の最小数 *sn_nlu_workbench.glide.nlu.optimize.min_labeled_data*	100	NLU ワークベンチ - Advanced Features	ユーザーの 仮想エージェント チャットログから少なくとも 100 件の発言のフィードバックを提供して保存し、専門家フィードバックループアプリケーションで [モデルの調整] 機能を実行できるようにします。
仮想エージェントチャットログからフェッチするレコードの最大数	3,000 回	NLU ワークベンチ -	NLU 使用率が高い場合、デフォルト値を最大

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細設定 (続く)

ラベルと名前	デフォルト値	プラグイン	推奨される使用方法
glide.mlpredictor.option.nlu.activeLearning.log_candidate_table.max_data_size - 3000		Advanced NLU Features	50,000 レコードまで増やすと、アクティブな学習ジョブで利用可能なデータが増え、フィルタリングして専門家フィードバックループアプリケーションで表示し、フィードバックを提供できます。
ラベル候補テーブルのサイズ制限 (テーブルのプルーニングに使用) *glide.mlpredictor.option.nlu.activeLearning.label_candidate_table.max_data_size - 10000*	10,000	NLU ワークベンチ - Advanced Features	このプロパティの推奨される使用法は、上記のプロパティと同じです。
ラベル付きデータテーブルのサイズ制限 (テーブルのプルーニングに使用) *glide.mlpredictor.option.nlu.activeLearning.label_table.max_data_size - 10000*	10,000	NLU ワークベンチ - Advanced Features	このプロパティの推奨される使用法は、上記のプロパティと同じです。
NLU モデルのトレーニング中にインスタンスのブロックを解除するには、このプロパティを有効にします。トレーニングはオフピーク時間にスケジュールされ、完了したら通知されます。 *glide.mlpredictor.scheduled.nlu.model.training*	誤り	NLU ワークベンチ - 高度な機能	誤り

仮想エージェント (VA) チャットログからさらにフィードバックデータを取得するには、専門家フィードバックループドキュメントの「**Procuring additional VA feedback data on demand** (オンデマンドで追加の **VA** フィードバックデータを取得する)」セクションを参照してください。

NLU の言語サポート

NLU ワークベンチ アプリケーションは、仮想エージェントなどの他のアプリケーションで使用するために、さまざまな言語でNLUモデルを作成するためのサポートを提供します。

プラットフォームは 17 言語の NLU をサポートしています。モデルで使用できるこれらの言語のうち 10 個には、インテントとエンティティの両方のサポートがあります。残りの 7 つの言語は、インテントのみをサポートしています。(日本語のエンティティサポートには文字注釈が含まれます。

東京、ユタ、バンクーバーで利用可能	インテントとエンティティのサポート **(Utah** と **Vancouver)**	インテントのみのサポート **(Utah** と **Vancouver)**
• ブラジル系ポルトガル語 • 簡体字中国語 • デンマーク語 • オランダ語	• ブラジル系ポルトガル語 • オランダ語 • 英語 • フランス語	• 簡体字中国語 • デンマーク語 • フィンランド語 • 韓国語

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

東京、ユタ、バンクーバーで利用可能	インテントとエンティティのサポート (Utah と Vancouver)	インテントのみのサポート (Utah と Vancouver)
• 英語 • フィンランド語 • フランス語 • フランス系カナダ人 • ドイツ語 • イタリア語 • 日本語 • 韓国語 • ノルウェー語 • ポーランド語 • ポルトガル語 • スペイン語 • スウェーデン語	• フランス系カナダ人 • ドイツ語 • イタリア語 • 日本語 • ポルトガル語 • スペイン語	• ノルウェー語 • ポーランド語 • スウェーデン語

インテントとエンティティのサポートにより、 NLU インテントとエンティティの関係、システムエンティティ、ユーザー定義エンティティなどの高度な発言を理解できます。 NLU この情報を 仮想エージェントに中継し、通常、ユーザーは解決策を提供する会話トピックに直接誘導されます。

インテントのみのサポートでは、インテント認識に重点が置かれます。NLUを使用した仮想エージェントを使用すると、ユーザーは目的の会話トピックに誘導され、解決策となるトピックに移動する前に、適格なフォローアップの質問を行うことができます。

すべての言語の発言では、インテントの予測時に大文字と小文字が区別されません。

以下に、現在使用可能な NLU 言語と、それらがサポートするインテント、エンティティ、語彙、機能、およびアプリケーションの詳細なリストを示します。

サポートされている言語と機能

	Intents	System-Defined Entities	User-Defined Entities	Vocabulary	Vocabulary Sources	Prebuilt SW/HW Vocabulary	Intent Discovery	Conflict Review	Batch Testing	NLU Performance	Fast Training	Expert Feedback Loop	Model Use
English	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	VA, Search
French	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		VA, Search
Spanish	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		VA, Search
German	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		VA, Search
Japanese	✓	✓	✓	✓	✓		✓	✓	✓	✓	✓		VA, Search
Portuguese	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓		VA
Swedish	✓			✓					✓	✓	✓		VA
Italian	✓		✓	✓	✓				✓	✓	✓		VA
Chinese (simplified)	✓			✓					✓	✓	✓		VA
Brazilian Portuguese	✓	✓	✓	✓	✓				✓	✓	✓		VA
Dutch	✓		✓	✓	✓				✓	✓	✓		VA
French Canadian	✓		✓	✓	✓				✓	✓	✓		VA
Polish	✓			✓					✓	✓	✓		VA
Korean	✓			✓					✓	✓	✓		VA
Danish	✓			✓					✓	✓	✓		VA
Finnish	✓			✓					✓	✓	✓		VA
Norwegian	✓			✓					✓	✓	✓		VA

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU サービスの更新

NLUサービスの変更に関する最新情報を入手するには、このドキュメントを参照してください。

サービス更新サマリー

NLUサービスは、システムが自然言語を理解し、インテリジェントなアクションを推進するのに役立ちます。このサービスは、 NLU モデル内の特定のユーザーの発言のインテントとエンティティをトレーニングおよび予測して、人間が表現した自然言語 (話し言葉か書き言葉かを問わず) を理解できるようにします。このドキュメントのソースは KB0953693 です。

このサービスは、インスタンスのアップグレードとは無関係に更新され、ユーザーによるアクションは必要ありません。これらの更新は、 NLU モデルのトレーニングと予測の品質を向上させるために、隔月ベース (2 か月に 1 回) で行われます。メジャーアップデートは、Rome、San Diego、Tokyo などのファミリーリリースに合わせて調整されています。マイナーアップデートは自動的に更新されるため、NLU モデルを再トレーニングするときに最新バージョンを使用します。これらの更新のほとんどは、既存の NLUの使用には影響しませんが、注意が必要な変更がいくつかあります。

2023 年 5 月 NLU サービスの更新

- 仮想エージェント (VA) で自然な会話の途中を可能にし、会話の流動性を向上させるために、ダイアログアクションが導入されました。肯定、否定、および変更ダイアログアクションは英語でサポートされており、すべての新しい VA トピックに対してデフォルトで有効になっています。
- 新しい言語モデルを使用するようにすべての言語を移行し、すべての言語で平均インテント予測品質を 10% 向上させました。
- 顧客がモデルの無関係な発言を管理および編集して、無関係の検出を改善できるようにしました。
- モデルに 2 つ以上のインテントを含めるという要件が削除され、VA でのエンドツーエンドのトピックテストが容易になりました。

2023 年 3 月 NLU サービスの更新

- 語彙ソースの一般的な単語の処理を改善することで、インテント/エンティティの検出が改善されました。
- システムエンティティ (NER) 検出のレイテンシとメモリ使用率が改善されました。
- バージョンのサポートが更新され、顧客は新しいバージョンの NLU サービスを使用する必要があり、現在の Glide バージョンよりも古い n-2 リリースを指定することはできません。

2023 年 1 月 NLU サービスの更新

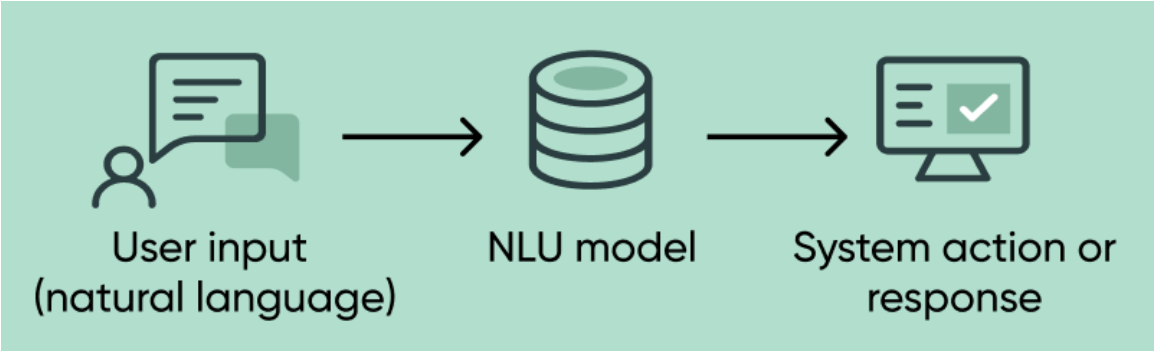
- 仮想エージェントで使用するための新しい DATE-TIME システムエンティティ (英語のみ) を作成しました。
- オランダ語とイタリア語の語彙ソースとエンティティのサポート (シンプル、マッピング、オープンエンド) と、ポルトガル語とブラジルポルトガル語のシステムエンティティのサポートが追加されました。
- デンマーク語、スウェーデン語、フィンランド語、ノルウェー語の ServiceNow 言語モデルをアップグレードし、東京からの平均予測品質を 17% 向上させました。
- エンティティの句読点と語彙ソースの特殊文字の処理を改善しました。
- 仮想エージェントのモデルトレーニングデータを改善するために、NLU ワークベンチのアドミンユーザーによるインテント予測に関するフィードバックを組み込みました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU モデル

NLUモデルを使用して、インスタンスにServiceNow 自然言語理解 (NLU)を適用します。NLU ワークベンチを使用してNLUモデルを作成、管理、テスト、公開します。

ユーザー入力をシステムアクションに変換する方法の概要



モデルは、発言、インテント、エンティティ、および語彙のコレクションであり、システムからの自然言語入力に応答するためにシステムが使用されます。このモデルは、ユーザーからの自然言語入力を受け取り、システムによって実行されるアクションと照合します。

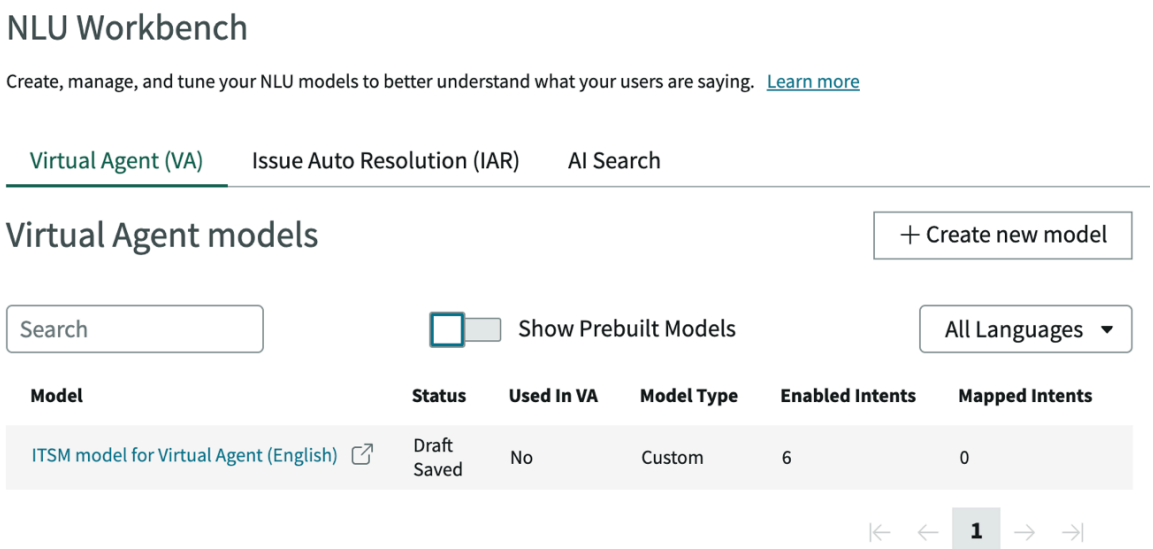
モデルデータ内の発言は、ユーザーが求める可能性のあるものの例です。これらの例は、応答して実行するシステムアクションを認識するようにモデルをトレーニングするために使用されます。これらのシステムアクションはインテントと呼ばれます。

使用法、ロール、ナビゲーション

NLU ワークベンチにアクセスするには、nlu_adminロールを使用します。

次のように移動する。 **NLU** ワークベンチ > モデル.

NLU ワークベンチホームページには、[仮想エージェント]、[問題の自動解決]、および [AI 検索] の 3 つのタブがあります。デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。アプリケーションに適したタブを選択します。



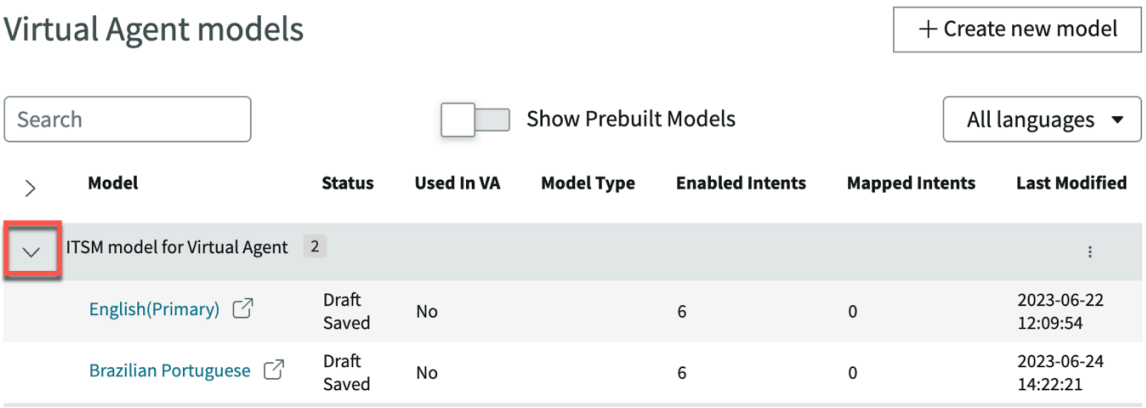
[検索] フィールドを使用して、モデルを名前で検索できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[すべての言語] フィルターのデフォルト設定では、言語に関係なくすべてのモデルが表示されます。[すべての言語] のリストを使用して、モデルを言語でフィルタリングできます。使用可能な言語の詳細については、「NLU の言語サポート」を参照してください。

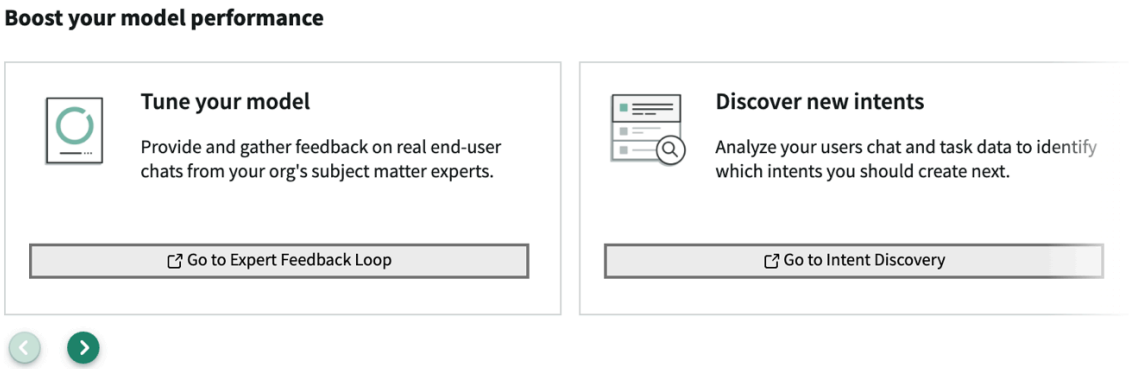
多言語でグループ化されたモデルがある場合、モデルリストのその行の左側に矢印が表示されます。矢印を選択してグループを展開すると、モデルのすべての言語バージョンが表示されます。モデル言語とグループ化の詳細については、「多言語モデル管理」を参照してくださ



い。

[VA で使用] 列は、モデルが既に別のアプリケーション (仮想エージェント など) にリンクされているかどうかを示します。AI 検索の場合、この列はモデルが既に Genius 結果にリンクされているかどうかを示します。同様に、[マップされたインテント] 列には、 仮想エージェント トピックにマップまたはリンクされたインテントの数が表示されます。

NLU ワークベンチホームページを下にスクロールして、[モデルのパフォーマンスの向上] セクションを表示します。このセクションには、モデルタイプで利用可能な機能にアクセスするために使用できるカードが表示されま



す。

モデルアプリケーション

NLUモデルの出力は、ServiceNowアプリケーション仮想エージェント、問題の自動解決、およびAI検索で使用できます。NLU ワークベンチホームページでは、各アプリケーションのモデルがタブ別に整理されています。モデルのリストには、アプリケーションに応じて異なる列が表示されます。

NLU のモデル 仮想エージェント

仮想エージェントの詳細については、「仮想エージェント」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 仮想エージェント のタブには、モデルのリストが表示されます。モデル名を選択すると、そのモデルの概要ページが開きます。
- [ビルド済みモデルを表示] トグルは、デフォルトではオフになっています。この切り替えをオンにすると、コピーしてカスタムモデルのベースとして使用できる読み取り専用モデルが表示されます。
- [モデルのパフォーマンスを向上 **(Boost your model performance)**] セクションには、仮想エージェント可能な機能の合計 5 枚のカードが表示されます。

NLU のモデル IAR

IARに表示される関数と列は、NLU ワークベンチ内の他のアプリケーションよりも少なくなります。これは、 IAR モデルが事前にビルドされており、 IAR 管理コンソールで構成されているためです。

- NLU ワークベンチでIARモデルの名前を選択すると、モデルの概要ではなくIAR調整に移動します。詳細については、「NLU での問題の自動解決の調整」を参照してください。
- [ビルド済みモデルを表示] トグルは表示されません。
- 構築済みモデルが直接使用されるため、[新しいモデルを作成] ボタンは表示されません。
- [モデルのパフォーマンスを向上させる] セクションは表示されません。

IAR のセットアップの詳細については、「問題の自動解決 の使用」を参照してください。

NLU のモデル AI 検索

- AI 検索ビルド済みモデルが 1 つあります。このモデルをカスタムモデルの基礎としてコピーできます。
- [ビルド済みモデルを表示] トグルはデフォルトでオンになっています。
- [新しいモデルを作成] ボタンを使用できます。
- [モデルのパフォーマンスを向上 **(Boost your model performance)**] セクションには、AI 検索可能な機能のカードが 2 つ表示されます。

NLU ワークベンチでのAI 検索管理の概要については、次のビデオをご覧ください。 NLU ワークベンチで AI 検索を管理する方法に関するビデオ。

詳細については、 AI 検索 ランディングページを参照してください。

次に実行できること

モデル コンテンツとモデル ライフ サイクルの詳細については、「 モデル管理」を参照してください。

モデル管理

NLU ワークベンチでNLUモデルのライフサイクルを管理します。モデル管理フェーズでは、モデルのビルド、テスト、公開の反復プロセスをガイドします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



NLUモデルの作成から展開までには、フェーズに分けられた複数の手順が必要です。モデルを調整して維持する場合は、前のフェーズに戻ることができます。

モデルで使用できるフェーズは、モデルのアプリケーションによって異なります。フェーズ、ボタン、または機能は、モデルのアプリケーションに適用される場合にのみ表示されます。

モデル管理フェーズを使用するには、必要なすべての NLU プラグインがあることを確認してください。詳細については、次のリソースを参照してください。

- の有効化 NLU ワークベンチ
- NLU ワークベンチのインストール - 拡張機能
- インテントディスカバリー のインストール

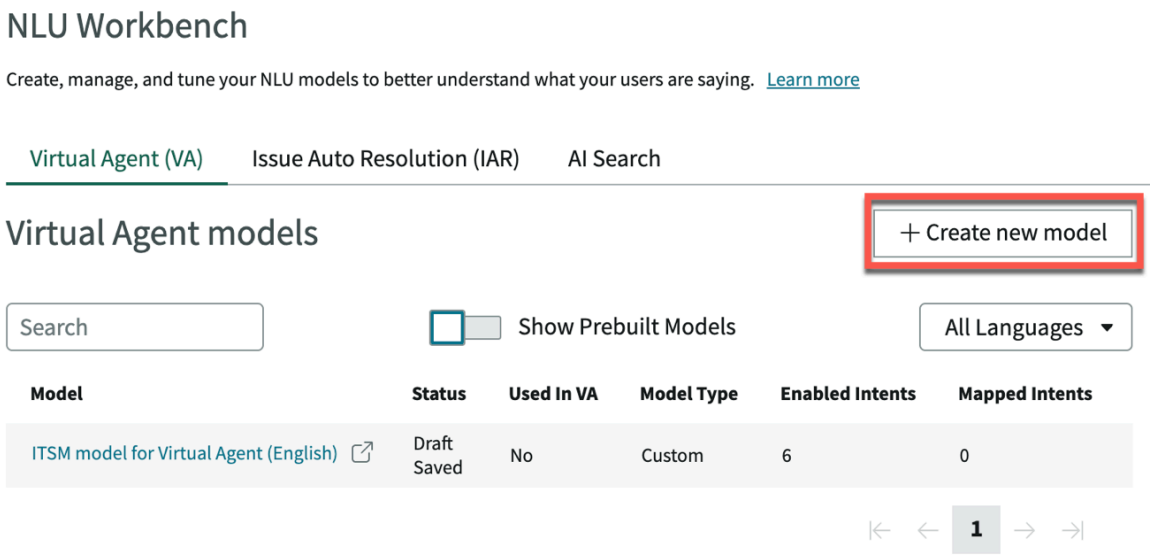
注: NLU ワークベンチ - 高度な機能と インテントディスカバリー は、 ServiceNow Storeから利用できます。 NLU モデルのテストとパフォーマンス監視には、 NLU ワークベンチ - 高度な機能が必要です。

モデルを作成

仮想エージェントまたはAI 検索のモデルを作成するには、 **NLU** ワークベンチ > モデル. デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。作成するモデルに適したタブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



モデルを作成するには、次のさまざまな方法を選択できます。

- 構築済みモデルを使用する: 含まれている読み取り専用モデルの 1 つをコピーし、ビジネスに固有のコンテンツを追加します。
- **CSV** からデータをインポート:トレーニング発言と一致したインテントを含む CSV ファイルをアップロードします。
- 空白から開始:新しいモデルを最初から設定するプロセスを実行します。

開始するには、「モデルの作成」を参照してください。

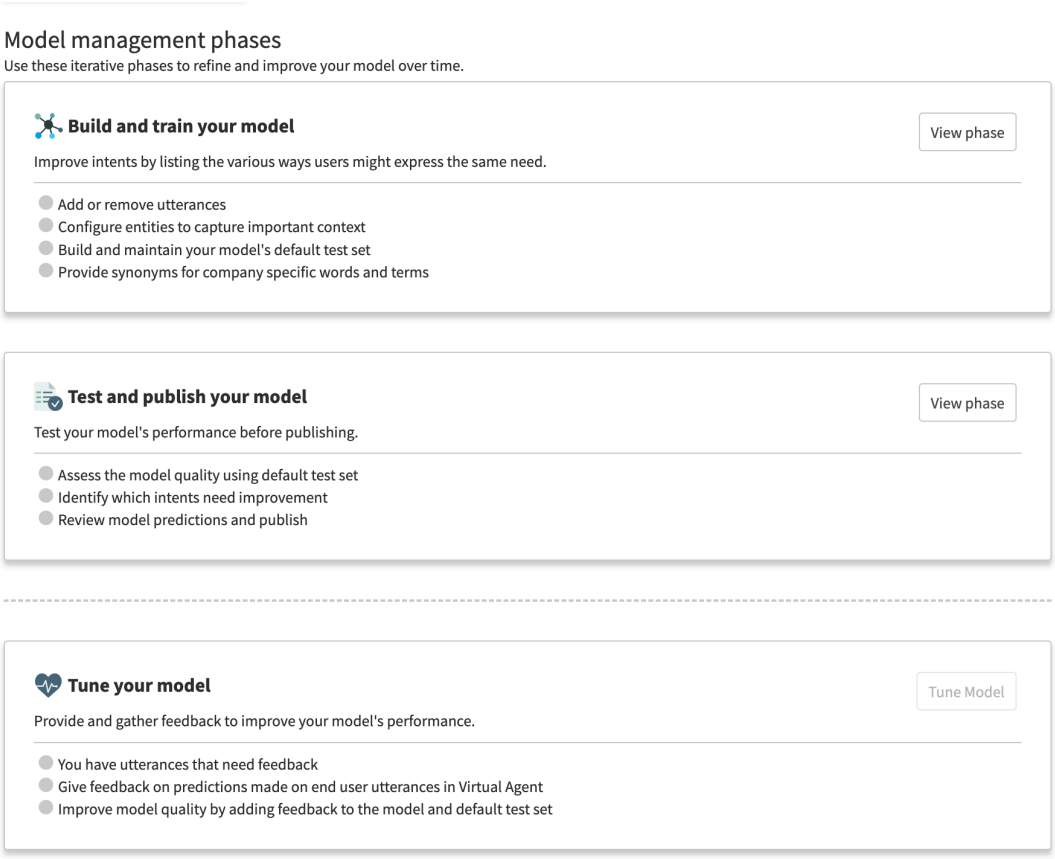
モデル管理フェーズ

モデルを作成したら、次の場所に移動して管理フェーズにアクセスします **NLU** ワークベンチ > モデル. モデルのアプリケーションのタブを選択し、モデルの名前を選択して、モデルの概要で [モデルの詳細] ページを開きます。

仮想エージェントモデルの概要ページには、モデルのビルドとトレーニング、モデルのテストと公開、およびモデルの調整の 3 つのフェーズがあります。これらのフェーズは、モデルをビルドおよび改善する際のガイドとなります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



モデルの構築とトレーニング

コンテンツを追加および管理してモデルをビルドします。

- インテント:インテントを追加して、モデルが理解できるユーザー要求の範囲を広げます。
- エンティティ:モデルがユーザーの要求からより多くのコンテキストの詳細を抽出できるように、エンティティを追加します。
- 語彙:語彙を追加して、業界用語や頭字語など、ビジネスに固有の単語やフレーズをモデルが理解しやすくします。
- テストセット:テスト発言とその想定されるインテントを、モデルのデフォルトのテストセットに追加します。

詳細については、「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。

モデルがユーザーから遭遇する可能性が高い発言を使用して、モデルをトレーニングします。詳細については、「NLU モデルをトレーニングして試す」を参照してください。

モデルをテストおよび公開

モデルをテストしてパフォーマンスを測定し、改善が必要な領域を特定します。

注: モデルテストには、 NLU ワークベンチ - 拡張機能ストアアプリケーションが必要です。詳細については、「NLU Workbench - Advanced Features」を参照してください。

テストとしきい値の詳細については、「 モデルをテストおよび公開」を参照してください。

テストの結果に満足したら、モデルを公開して他のアプリケーションで使用できるようにします。詳細については、「NLUモデルの公開」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルを調整

NLU ワークベンチ - 拡張機能がインストールされていて、モデルが仮想エージェント用に作成されている場合、[モデルを調整] フェーズが有効になります。このフェーズでは、 専門家フィードバックループ を使用して、実際のユーザーの発言をモデルに組み込むことができます。

詳細については、「モデルを調整」を参照してください。

モデルが問題の自動解決用に作成されている場合は、NLU ワークベンチホームページのIARタブでモデルの名前を選択すると、IAR Tuning に移動します。詳細については、「NLU での問題の自動解決の調整」を参照してください。

モデル設定

モデル概要の [設定] ページを使用して、モデルの名前と説明を変更します。また、モデルの信頼性しきい値を変更することもできます。信頼度しきい値は、インテントを予測するためにモデルが必要とする信頼性を決定します。

詳細については、「NLU モデル設定」を参照してください。

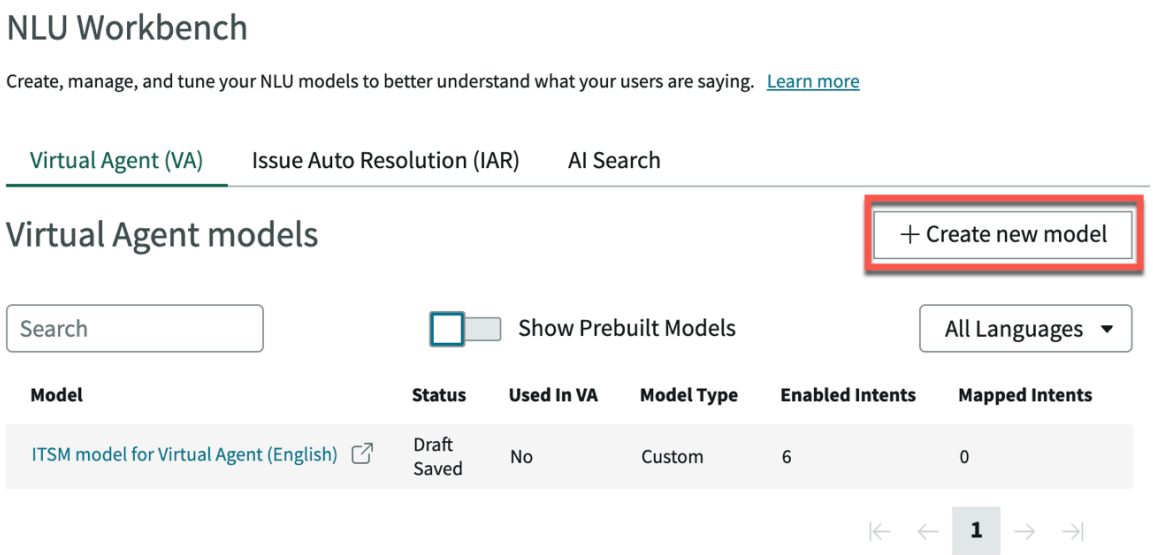
モデルの作成

モデルの作成は、インスタンスで 自然言語理解 (NLU) (NLU) を活用するための最初のステップです。NLU ワークベンチ内の仮想エージェントとAI 検索のモデルを作成します。

ServiceNowアプリケーション、仮想エージェント、またはAI 検索で使用するNLUモデルを作成します。

注: 問題の自動解決には、構成用のビルド済みモデルが用意されています。

モデルの作成を開始するには、スコープを新しいモデルに必要なアプリケーションスコープに設定します。次に、 **NLU** ワークベンチ > モデル. デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。作成するモデルに適したタブを選択します。

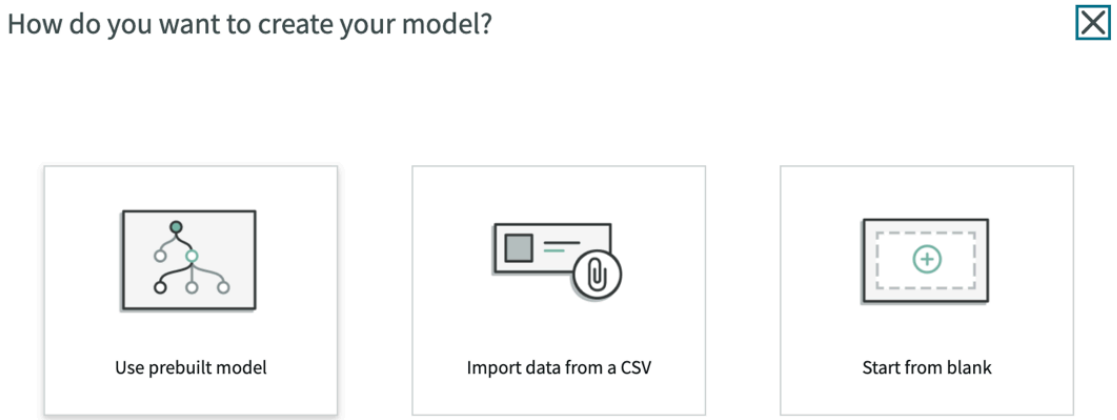


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいモデルの作成

[新しいモデルを作成] ボタンを選択すると、モーダルが開き、モデル作成オプションが表示されます。まず、次のいずれかのアイコンを選択します



- 構築済みモデルを使用して NLU モデルを作成する:ビルド済みモデルとそのコンテンツを新しいモデルの開始点としてコピーします。
- CSV ファイルから NLU モデルを作成する:インテントと対応する発言のリストを含む CSV ファイルをアップロードします。
- NLUモデルを空白から作成:モデルを最初から構築し、必要に応じてインテントと発言を追加します。

作成後、モデルにコンテンツを追加します。追加したインテント、発言、エンティティ、語彙は、モデルの自然言語解釈能力の向上に役立ちます。「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。

複製、エクスポート、更新

モデルを作成した後、そのモデルを他のモデルやインスタンスで使用するオプションがあります。NLU ワークベンチを使用すると、モデルで次のアクションを実行できます。

- NLU モデルの複製:モデルをコピーして、同じ内容のモデルを作成します。
- NLU モデルのエクスポート:関連する発言とインテントを含む CSV ファイルとしてモデルをエクスポートします。モデルを共有するか、モデルを使用してモデルを作成します。
- 更新セットへの NLU モデルの追加:モデルとそのアーティファクトを更新セットに追加して、インスタンス間でモデルを転送します。

NLUモデルを空白から作成

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを最初から作成します。空のモデルから開始して、モデルのコンテンツを完全に制御します。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェントおよびAI 検索用のNLUモデルを作成できます。
- 必要なロール:nlu_admin または admin

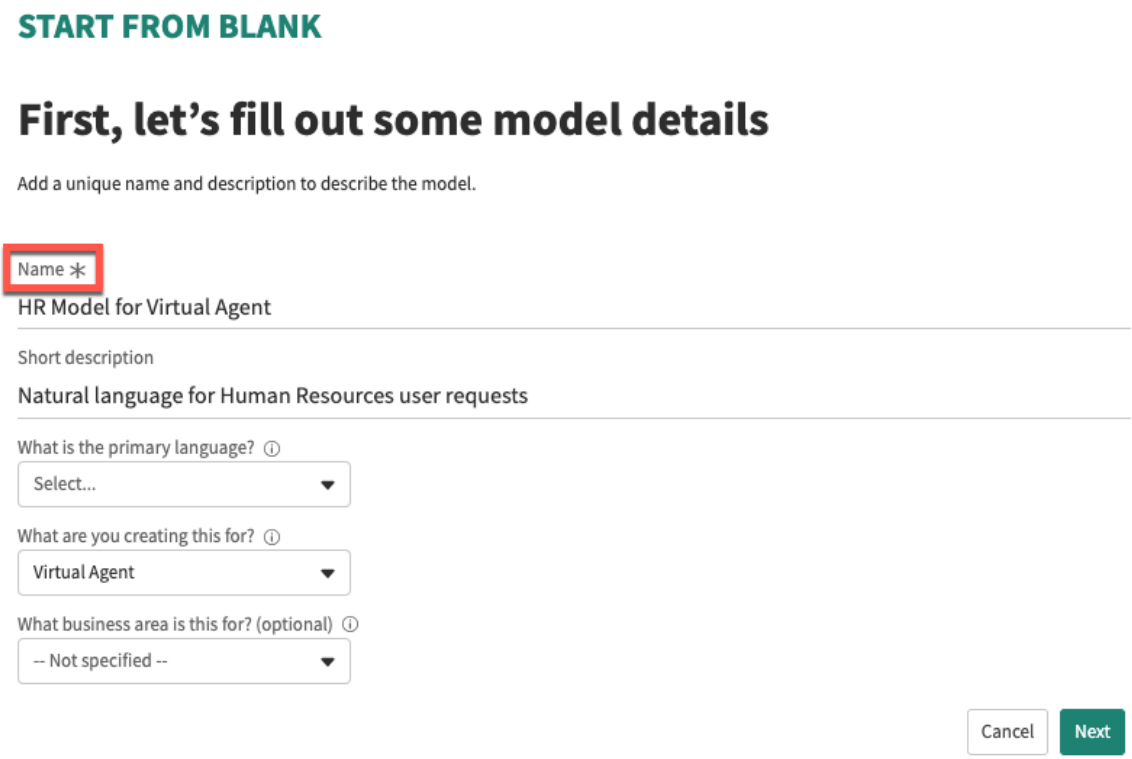
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
この手順例では、ヒューマンリソース (HR) に関して人間が表現した意図を仮想エージェント理解するのに役立つNLUモデルを構築しています。

手順

1. スコープをモデルに必要なアプリケーションスコープに設定します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
3. AI 検索など、作成するモデルのタイプのタブを選択します。
4. [新しいモデルの作成] ボタンを選択します。
5. [詳細を追加] ウィンドウで、[空白から開始] ボタンを選択します。
6. [詳細を定義] ページで、一意の [名前] と [簡単な説明] を入力します。



自動翻訳

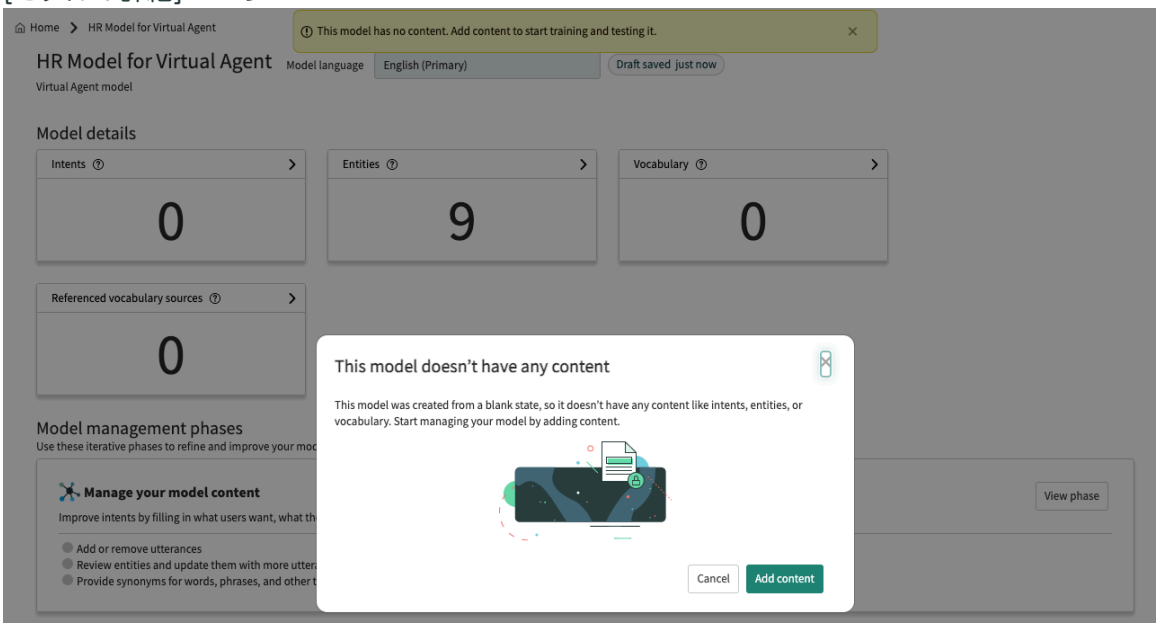
この例のシナリオでは、名前に「`HR Model for Virtual Agent`」と入力し、説明に「Natural `language for Human Resources user requests`」と入力します。

7. ドロップダウンリストから言語と目的を選択します。
   このシナリオ例では、 英語 と 仮想エージェントを選択します。
8. オプション: モデルのビジネスエリアを選択します。
9. **[Next** (次へ)] を選択します。
   モデルの構築が開始されます。完了したら、[モデルの表示] を選択して、新しいモデルの [モデルの詳細] ページを開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク

[モデルの詳細] ページ



新しいモデルにはコンテンツが含まれていません。[コンテンツの追加] を選択して、インテント、エンティティ、語彙の追加を開始します。詳細については、「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。

テスト発言とインテントを追加して、モデルのデフォルトのテストセットを構築します。詳細については、「テストセットの作成と管理」を参照してください。

CSV ファイルから NLU モデルを作成する

発言とそのインテントを含む CSV または XLSX (Excel ワークブック) ファイルをアップロードして、自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを作成します。この方法を使用すると、データまたはエクスポートされた他のモデルからモデルをすばやく作成できます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント および AI 検索用のNLUモデルを作成できます。
- 必要なロール:admin または nlu_admin

このタスクについて

この手順例では、カレンダーに関するユーザー要求仮想エージェント理解するのに役立つNLUモデルを構築しています。

CSV ファイルでは、インテントと発言を 2 つの列にリストしました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSV のセットアップ例

Intent	Utterance
schedule	when is my next meeting
schedule	what time is my next meeting
schedule	schedule a meeting for 11am
schedule	cancel my 4:30 meeting
holiday	when is the next holiday
holiday	do we get Black Friday off
timeoff	request friday off
timeoff	how many PTO days do i have

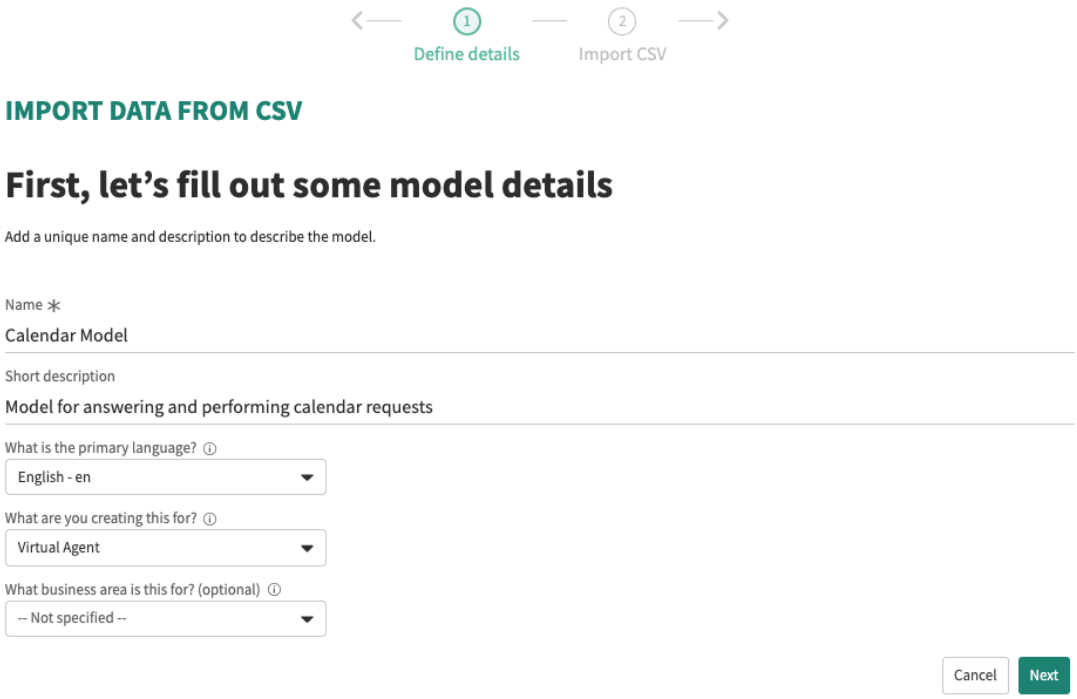
CSV インポートで NLU モデルを作成する場合は、次の点に注意してください。

- モデルには少なくとも 1 つのインテントが必要であり、各インテントには最低 5 つのトレーニング発言が必要です。最適なパフォーマンスを得るには、インテントごとに 15 のトレーニング発言を用意することを目指します。
- 発言にカンマを含めることはできません。
- CSV ファイルでインポートしても、エンティティは保持されません。インポート後、必要に応じて発言に注釈を付けてください。

手順

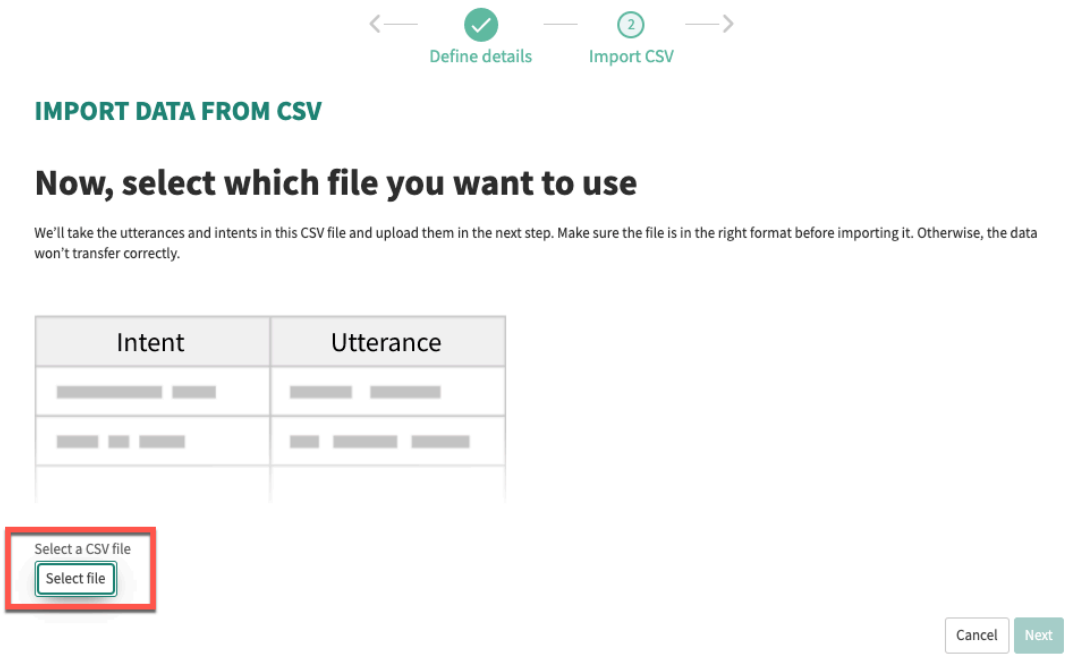
1. スコープを新しいモデルに必要なアプリケーションスコープに設定します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
3. AI 検索など、作成するモデルのタイプのタブを選択します。
4. [新しいモデルの作成] ボタンを選択します。
5. [**How do you want to create your model?**] ウィンドウで、[**Import data from a CSV (CSV** からデータをインポート)] を選択します。
6. [詳細を追加] ウィンドウで、モデルの [名前] と [簡単な説明] を追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このシナリオ例では、名前に [カレンダーモデル] を入力し、[簡単な説明] の カレンダー要求に応答して実行するために [モデル] を入力します。

7. ドロップダウンリストから言語と目的を選択します。
   この例のシナリオでは、 英語 と 仮想エージェント を選択します。
8. [次へ] をクリックします。
9. **[CSV** のインポート] 画面で、[ファイルを選択] をクリックします。



10. ポップアップから CSV または XLSX (Excel ワークブック) ファイルを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. **[Next** (次へ)] を選択します。
    モデルの構築が開始されます。完了したら、[モデルの表示] を選択してモデルの詳細ページを開きます。

次のタスク

インテントとトレーニング発言を追加して、モデルのビルドを続行します。エンティティと語彙を追加して、モデルがユーザーからの入力を理解できるようにします。詳細については、「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。

テスト発言とインテントを追加して、モデルのデフォルトのテストセットを構築します。詳細については、「テストセットの作成と管理」を参照してください。

構築済みモデルを使用して **NLU** モデルを作成する

NLU ワークベンチのビルド済み自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを使用して、新しいモデルを作成します。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェントおよびAI 検索用のNLUモデルを作成できます。
- 必要なロール:nlu_admin または admin

このタスクについて

この手順例では、VA 用のビルド済み HR NLU モデルに基づいて NLU モデルを構築しています。構築済みモデルに基づいてモデルを作成し、ビジネス要件を満たすようにモデルのコンテンツを編集または追加します。

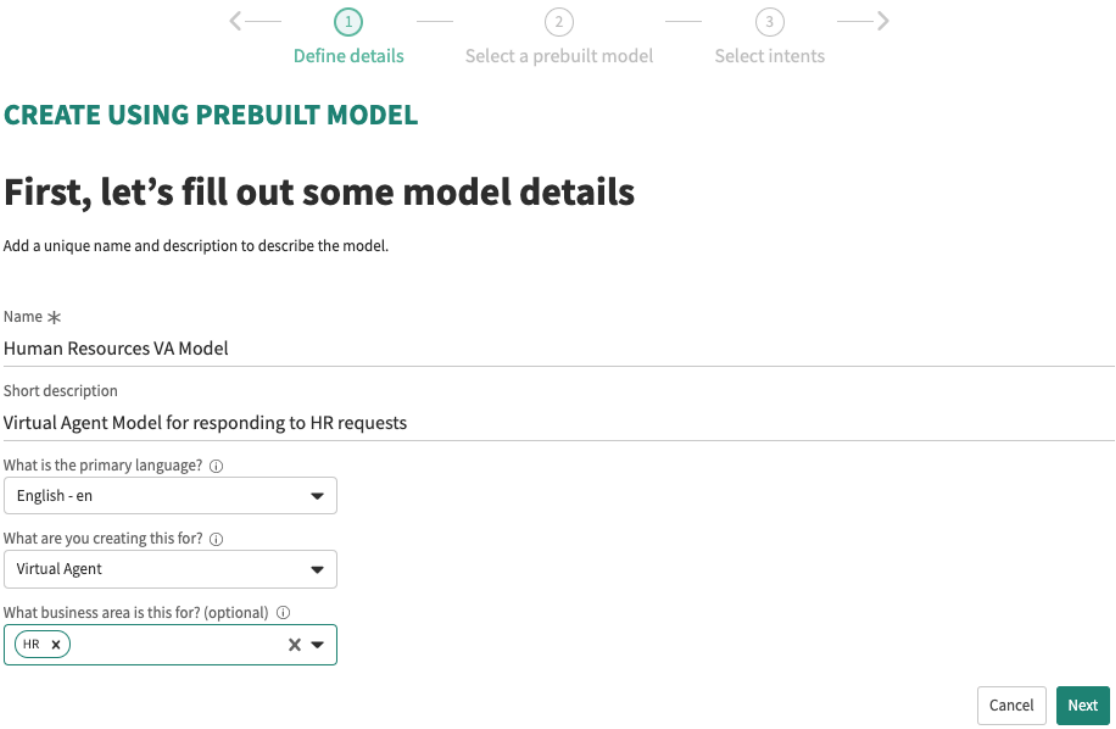
新しいモデルには、ビルド済みモデルのインテント、エンティティ、および語彙が含まれています。新しいモデルには、テスト発言を入力する準備ができている空のデフォルトのテストセットも含まれています。

手順

1. スコープを新しいモデルに必要なアプリケーションスコープに設定します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
3. 作成するモデルのタイプ (AI 検索 など) のタブを選択します。
4. [新しいモデルの作成] ボタンを選択します。
5. [**How do you want to create your model?**] ウィンドウで、[**Use prebuilt model**] を選択します。
6. [詳細を追加] ウィンドウで、モデル の名前 と 簡単な説明 を入力します。

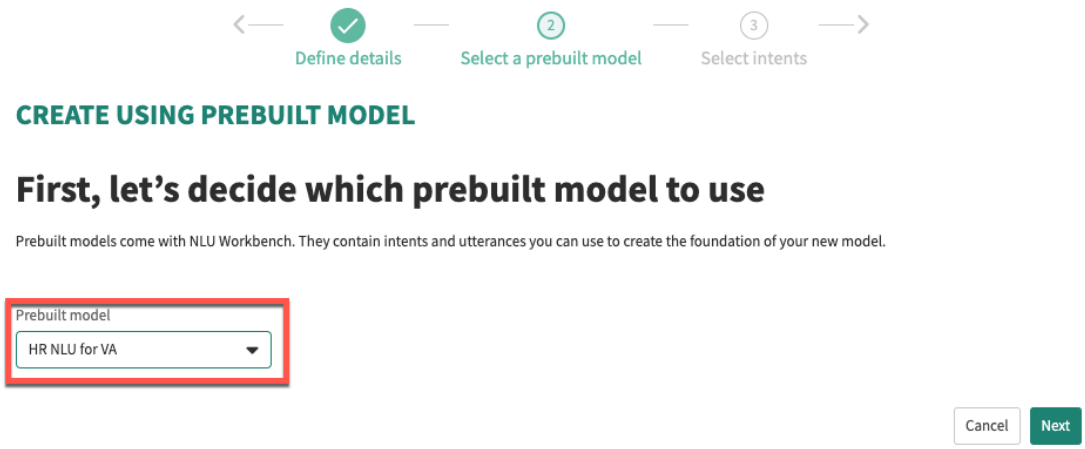
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



このシナリオ例では、名前に「ヒューマンリソース (HR) VA モデル」と入力し、簡単な説明に「HR 要求に応答するための仮想エージェントモデル」と入力します。

7. ドロップダウンリストから言語と目的を選択します。
   この例のシナリオでは、 英語 と 仮想エージェントを選択します。
8. オプション: モデルのビジネスエリアを選択します。
   このシナリオ例では、[HR] を選択します。
9. [次へ] をクリックします。
10. ドロップダウン リストから構築済みモデルを選択します。

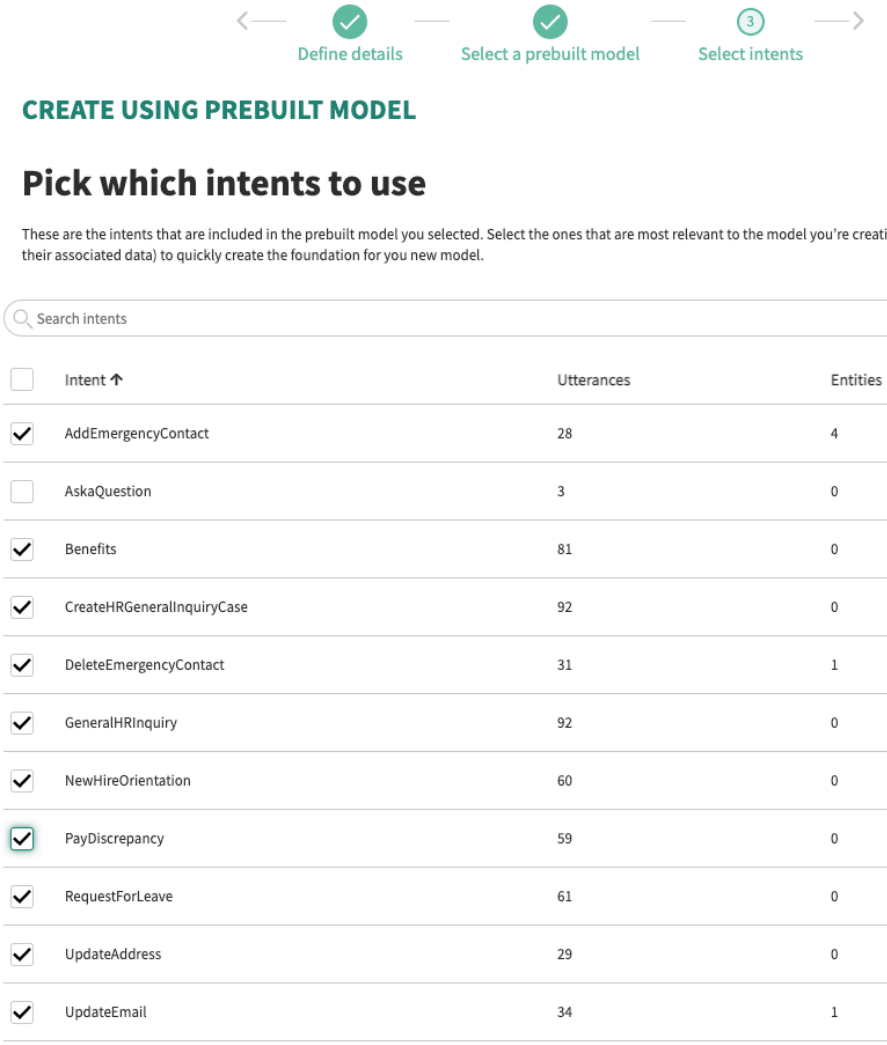


この例のシナリオでは、[VA の HR NLU] を選択します。

11. **[Next** (次へ)] を選択します。
12. [インテントを選択] 画面で、モデルに追加する事前構築済みインテントを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



この例のシナリオでは、リストから 10 個のインテントを選択します。

注: リストの上部にある [インテント] ボックスをオンにすると、すべてのビルド済みインテントを選択できます。

13. **[Next** (次へ)] を選択します。
モデルの構築が開始されます。完了したら、 [モデルの表示] を選択して、新しいモデルの [モデルの詳細] ページを開きます。

次のタスク
インテントとトレーニング発言をさらに追加して、モデルのビルドを続行します。エンティティと語彙を更新して、モデルがユーザーからの入力を理解できるようにします。詳細については、「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。

テスト発言とインテントを追加して、モデルのデフォルトのテストセットを構築します。詳細については、「テストセットの作成と管理」を参照してください。

NLU モデルの複製

既存の 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを複製して新しいモデルを作成します。モデルを複製すると、デフォルトのテストセットを含む元のモデルの設定と内容がコピーされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- コピー元の既存の NLU モデルを特定します。ソースモデルには、新しいモデルに必要な言語と目的が含まれている必要があります。適切なモデルが存在しない場合は、モデルを作成してトレーニングします。
- 必要なロール:nlu_admin または admin

このタスクについて

この手順例では、「 アクセス要求の NLU」というタイトルのモデルが既に作成されています。別の部門向けにカスタマイズしたい。モデルを複製して、新しい別のモデルを作成します。新しいモデルをカスタマイズするには、他の部門に関連するコンテンツを追加します。

手順

1. 作成するモデルのスコープにスコープを設定します。
   作成後は、モデル設定(言語、目的、範囲)は変更できません。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
3. モデル リストの右端の列で、複製するモデルの [その他のオプション] メニューを選択します。



4. [このモデルを複製] を選択します。
5. [このモデルを複製] ウィンドウで、新しいモデルの名前と説明を入力します。



   この例のシナリオでは、説明に `Access Requests Copy1 に NLU` と入力します。

6. [複製] をクリックします。
   モデルが複製されます。新しいモデルの [モデルの詳細] ページがロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
新しいコンテンツを追加することで、新しいモデルをカスタマイズできます。新しいモデルをトレーニング、テスト、公開します。詳細については、「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。

モデル グループ全体、またはグループ内のモデルの 1 つを複製するには、「 多言語モデル管理」を参照してください。

モデルを別のインスタンスに転送するには、「 更新セットへの NLU モデルの追加」を参照してください。

NLU モデルのエクスポート

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルをエクスポートして、インテントと発言の CSV ファイルを作成します。その後、CSV ファイルを使用して編集、共有、およびインポートできます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin

このタスクについて
NLU モデルをエクスポートすると、CSV ファイルが作成されます。ファイルには、モデルからの発話と一致したインテントのテーブルが含まれています。データは、モデル内の各インテントの [発言] タブから取得されます。

> **注:** ファイルには発言のソースが含まれていません。また、このファイルでは、モデルに関連付けられたエンティティや語彙は転送されません。すべてのモデル データをエクスポートするには、「 更新セットへの NLU モデルの追加」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択し、リストからモデルを見つけます。
3. モデルの行の右端の列にスクロールし、エクスポートするモデルの [その他のオプション] メニューを選択します。



4. [その他のオプション] メニューで、[モデルを **CSV** としてエクスポート] をクリックします。
   モデルの CSV ファイルがブラウザーにダウンロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
CSV ファイルを使用して、モデルを共有したり、発言を編集したりできます。CSV ファイルをインポートしてモデルを作成することもできます。詳細については、「CSV ファイルから NLU モデルを作成する」を参照してください。

更新セットへの **NLU** モデルの追加

更新セットを使用して、 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルをあるインスタンスから別のインスタンスに移動します。更新セットには、ターゲットインスタンスでモデルが機能するために必要なすべてのレコードが含まれています。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 次の手順は、仮想エージェント および AI 検索 の NLU モデルに適用されます。
- 必要なロール：admin

このタスクについて
更新セットを使用して、ソースインスタンスからターゲットインスタンスにモデルを転送します。ターゲットインスタンスには、ソースインスタンスのモデルのスコープと同じスコープが既に存在している必要があります。

更新セットへのモデルの追加には、以下のリソースが含まれます:

- モデルコンテンツ (インテント、発言、エンティティ、注釈、語彙、およびデフォルトのテストセット)
- 関連語彙ソース
- 対応する最新のアクティブな ML ソリューション
- ML モデルのアーティファクト
- ML ソリューションと定義 (最近の 3 回の実行。そのうちの 1 回が成功した場合)

更新セットの詳細については、「 システムアップデートセット 」を参照してください。

別の更新セットにモデルを追加する場合は、その更新セットを現在の更新セットにする必要があります。「更新セットを現在のセットとして作成し選択する 」を参照してください。

移植性を最適化するために、 NLU モデルをシステムのデフォルトの更新セットではなく、新しい専用の更新セットに追加します。これを行うには、新しい更新セットをモデルのスコープに手動で作成する必要があります。現在の更新セットがスコープのデフォルトである場合は、エラーが表示されます。このエラーには、新しい更新セットを手動で作成するためのリンクが含まれています。

語彙テーブルなど、モデルに複数のスコープのレコードが含まれている場合、その更新セットは 親子 (バッチ) 構造である必要があります。ステップ5の手順に従って、親子更新セットを作成します。

モデル (グローバルまたはスコープ対象) を更新セットを使用して移動しても、転送後もトレーニングと公開のステータスは変わりません。したがって、更新セットに追加される前にトレーニングおよび公開されたモデルでは、ターゲットインスタンスでの再トレーニングや再公開は必要ありません。

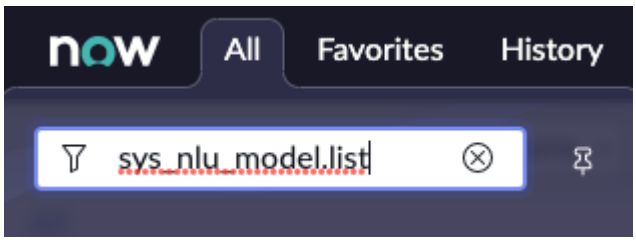
親子更新セットの詳細については、「 更新セットの一括 」を参照してください。次のビデオでは、このプロセスのデモを行います。 Vancouver リリースの更新セットによる NLU モデルの移行に関するビデオチュートリアル。

自動翻訳

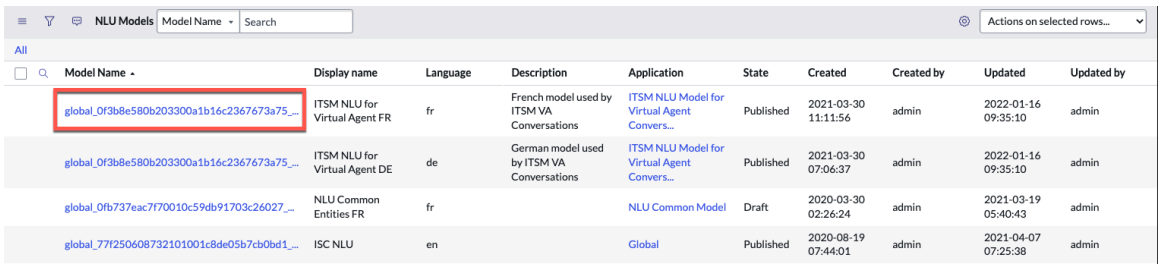
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. **[All]** を選択し、ナビゲーターに「sys_nlu_model.list」と入力します。

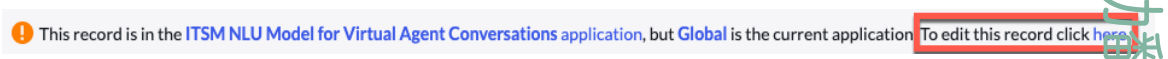


2. モデルの モデル名 を選択します。

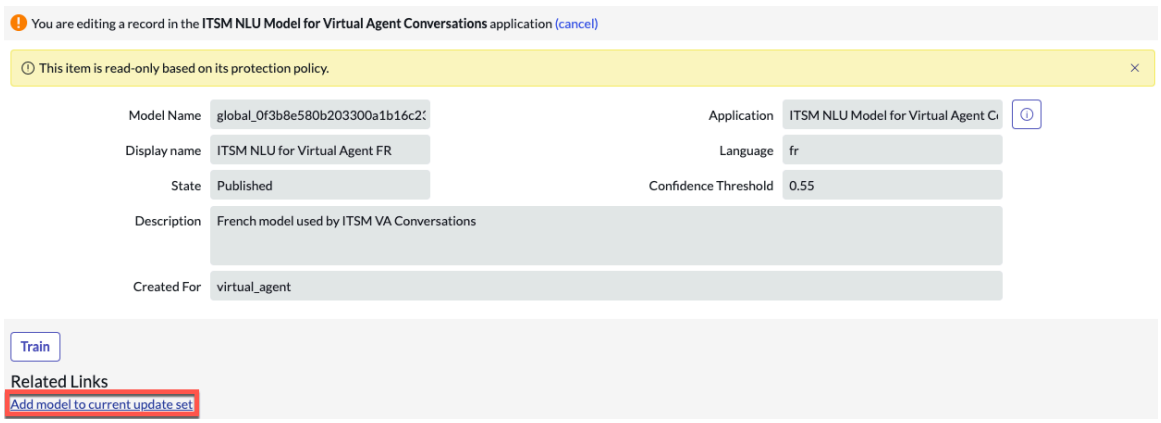


表示名は、モデルの作成時に付けた名前です。モデル名は、システムによってモデルに与えられます。

3. オプション: グローバルが現在のアプリケーションである場合は、上部のプロンプトに従ってレコードを編集します。

(Optional) 

4. [関連リンク] セクションで、[現在の更新セットにモデルを追加] をクリックします。

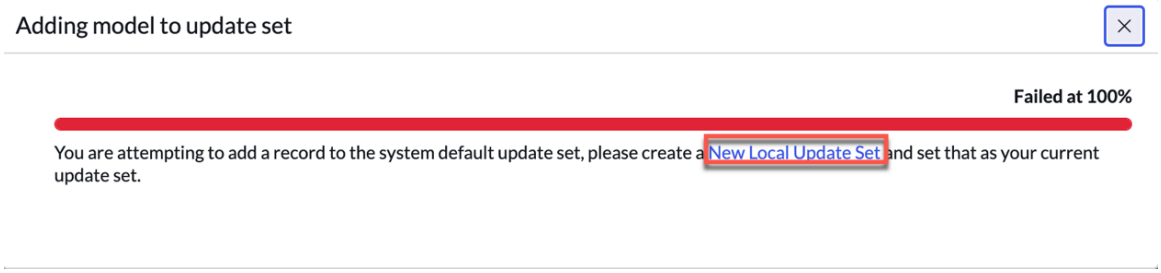


モデルのレコードがすべて 1 つのスコープ内にある場合、システムはモデルを現在の更新セットに追加します。完了すると、レコードはsys_update_setテーブルで見つけることができます。

ただし、指定されたスコープがデフォルトスコープの場合はエラーが表示されます。次の手順に進みます。

5. 「システムのデフォルトの更新セットにレコードを追加しようとしています」というエラーが表示された場合は、この手順の残りの手順に進みます。

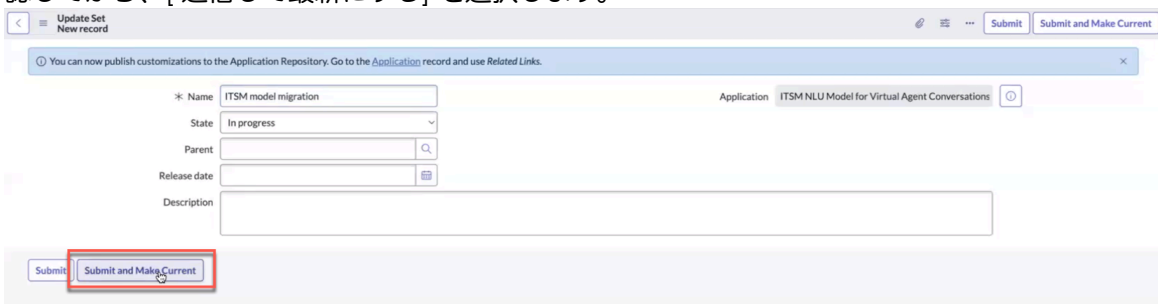
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



エラーバナーで、[新しいローカル更新セット] リンクを選択して、デフォルトではない新しい更新セットを作成します。親子更新セットの場合、親は最初にモデルのスコープ内に作成されます。(子更新セットは後のステップで作成されます)。

新しいローカル更新セット は、sys_update_setテーブルに新しいレコードを開きます。

6. 新しい更新セットレコードの場合は、名前を指定し、アプリケーションスコープを含む他の値を確認してから、[送信して最新にする] を選択します。

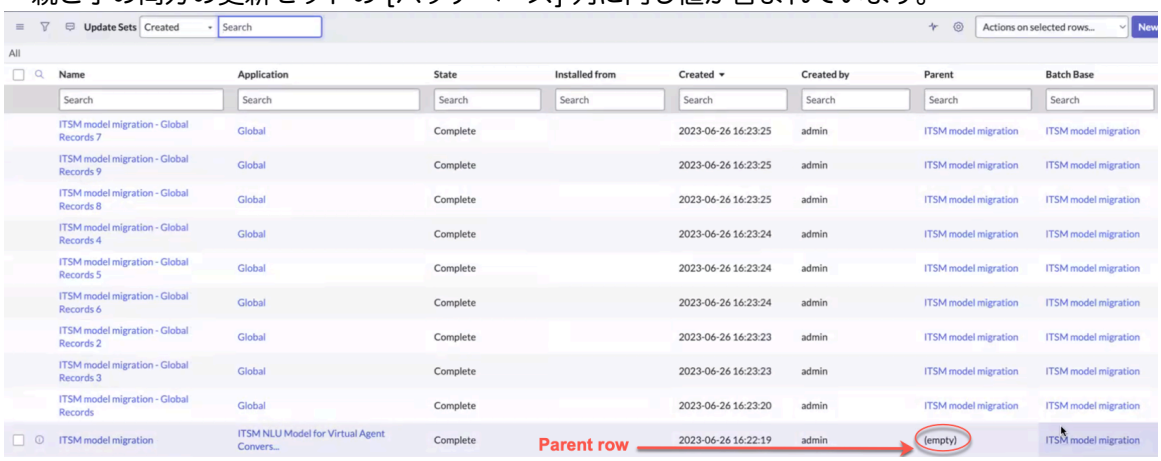


新しい更新セットが作成され、sys_nlu_modelテーブル内のモデルのレコードが再び開きます。

7. sys_nlu_modelのモデルのレコードで、[関連リンク] の下にある [現在の更新セットにモデルを追加] を選択します。
モデルのレコードが複数のスコープにある場合、この手順ではグローバルスコープを持つ子更新セットを作成します。

> **注:** モデルのレコードがすべて 1 つのスコープ内にある場合、システムはモデルを現在の更新セットに追加します。完了すると、レコードはsys_update_setテーブルで見つけることができます。

8. モデルが非グローバルスコープ内にある場合: [更新セット] テーブルsys_update_setで、親の更新セットとその子の更新セットを見つけます (必要に応じてページを更新します)。
   - 親更新セットの [親] 列の値は 空です 。
   - 子更新セットには、[親] 列に親の名前があり、[アプリケーション] 列には [グローバル] があります。
   - 親と子の両方の更新セットの [バッチベース] 列に同じ値が含まれています。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

9. sys_update_set で親のレコードを開き、[ステータス] フィールドを [完了] に設定します。
[確認] ダイアログボックスがポップアップ表示されます。[はい] を選択して確定します。これにより、親とすべての子の更新セットが [完了] に設定されます。
10. 更新セットファイルを移行するには、sys_update_set の親のレコードで [更新セットバッチを **XML** にエクスポート] を選択します。
親と子の更新セットが一緒にパッケージ化されてエクスポートされます。

次のタスク
ターゲットインスタンスで、[取得済み更新セット] に移動し、[**XML** から更新セットをインポート] を選択します。パッケージ化を解除すると、親とすべての子が [取得済み更新セット] テーブルに一覧表示されます。親を開き、[更新セットバッチをプレビュー] を選択します。

ソースインスタンスの参照レコードがターゲットインスタンスに存在しない場合、更新セットの適用中にエラーが発生することがあります。たとえば、sys_nlu_intentの origin フィールドは、ターゲットインスタンスに存在しない別のモデルのインテントを参照できます。失敗したレコードの [リモート更新を承認] をクリックして、更新セットをコミットできます。

NLU モデルの削除

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを完全に削除します。

始める前に
必要なロール:admin または nlu_admin

このタスクについて
NLU モデルを削除すると、モデルとそのコンテンツ (デフォルトのテストセットを含む) がシステムから削除されます。次のいずれかの条件を満たすモデルは削除できません。

- モデルが構築済みである
- モデルには、仮想エージェントトピックにマップされているインテントが少なくとも 1 つ含まれている

警告: モデルの削除を取り消すことはできません。

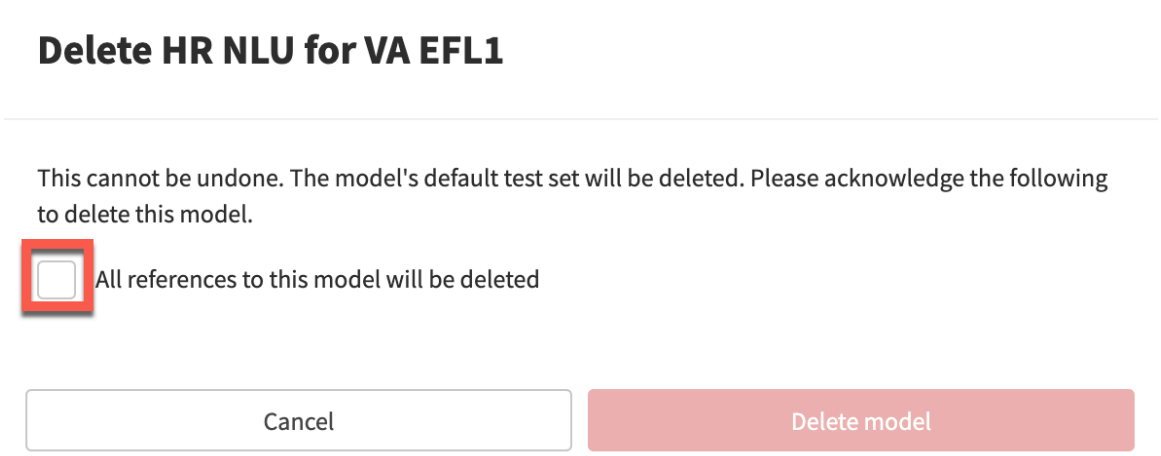
手順
1. 削除するモデルのスコープにスコープを設定します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
3. モデル リストの右端の列で、削除するモデルの [その他のオプション] メニューをさらに選択します。



4. このモデルを削除するオプションを選択します。
5. チェックボックスをオンにすると、このモデルへのすべての参照が削除されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [モデルの削除] を選択します。
   モデルが削除され、ページが再ロードされます。

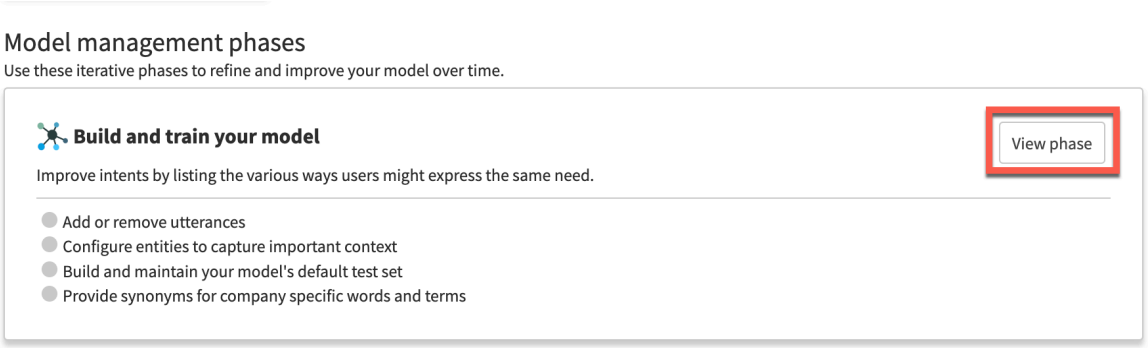
モデルの構築とトレーニング

モデルを作成した後、インテント、エンティティ、語彙、およびテストセットの発言を追加して、モデルのコンテンツをビルドします。NLUモデルのコンテンツによって、モデルがユーザー入力にどのように応答するかが決まります。

モデルは次のコンテンツで構成されます。

- インテント:ユーザーが実行したいアクション、またはアプリケーションに実行させたいアクション。
- エンティティ:アクションのオブジェクトまたはコンテキスト。
- 語彙:モデルがユーザーの発言に含まれる単語の範囲を理解するのに役立つ語彙を追加します。
- テストセット:モデルのパフォーマンスを評価するには、テスト発言と、それらの発言に対して予測されると予想されるインテントを追加します。

モデルコンテンツにアクセスするには、次に移動します: **NLU** ワークベンチ > モデル. デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。モデルのアプリケーションのタブを選択し、モデルの名前を選択して [モデルの詳細] ページを開きます。[モデルの構築とトレーニング] カードで、[フェーズを表示] を選択します。



インテント

モデルは、ユーザー入力を受け取ると、 インテント を使用してシステムアクションを実行します。たとえば、ユーザーが「 低速ラップトップに重大な問題があります」と入力します。モデルは、発言入力をインテント #TroubleshootSlowComputer に一致させます。インテントが 仮想エージェントトピックにリンクされている場合は、さらなるアクションがトリガーされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インテントには、トレーニング発言、またはシステムアクションをトリガーするユーザー入力の例が含まれています。モデルがユーザーから遭遇する可能性のある現実的な発言を提供します。トレーニング発言の品質は、モデルの精度に影響します。

詳細については、「NLU インテント」を参照してください。

エンティティ

インテントは エンティティ を使用して、入力を受け取るときにモデルに追加のコンテキストを提供します。コンピューターの例では、ラップトップがアクションのエンティティまたはオブジェクトです。

NLU エンティティは、 システム定義 と ユーザー定義の 2 つのカテゴリに分類されます。日付、時刻、場所などのシステムエンティティは、インスタンスでデフォルトで使用できます。独自のユーザー定義エンティティを作成して、ビジネス要件に追加の関連付けと意味を提供することができます。

すべてのエンティティは、他の NLU モデル間で再利用できます。ただし、使用するには、各モデルのトレーニング発言に追加する必要があります。

詳細については、「NLU エンティティ」を参照してください。

語彙

ユーザーの入力には、さまざまな単語やフレーズが含まれる場合があります。また、モデルは、特殊なドメインやビジネス領域で使用される一部の用語を理解しない場合があります。

幅広いユーザー入力を理解するモデルの能力を向上させるために、語彙アイテムを作成して同義語を定義できます。

たとえば、モデルに 「コンピューター」という用語のエンティティが含まれているとします。ユーザーが 「新しいコンピューターが必要です」と入力すると、モデルは応答方法を認識します。ただし、ユーザーが ラップトップ または ワークステーションを入力した場合、モデルはインテントを予測できない可能性があります。モデルに語彙を追加して、同義語とバリエーションを理解できるようにトレーニングできます。

テーブルとリストを語彙ソースとして使用することもできます。モデルでは、インテントを予測するときに語彙ソースを検索できます。

詳細については、「NLU 語彙」を参照してください。

テストセット

モデルには、モデルのパフォーマンスを評価するために使用できるデフォルトのテストセットが含まれています。最初は、テストセットは空で、コンテンツを入力する準備ができています。テスト発言と予想されるインテントを追加して、テストセットをビルドします。

詳細については、「テストセットの作成と管理」を参照してください。

テストパネル

[モデルの構築とトレーニング] フェーズで [モデルのトレーニング] または [モデルの試行] をクリックして、テスト パネルにアクセスします。トレーニングでは、新しいコンテンツがモデルに組み込まれます。**Try** モデルを使用すると、個々の発言を手動で入力して、モデルが予測するインテントをテストできます。

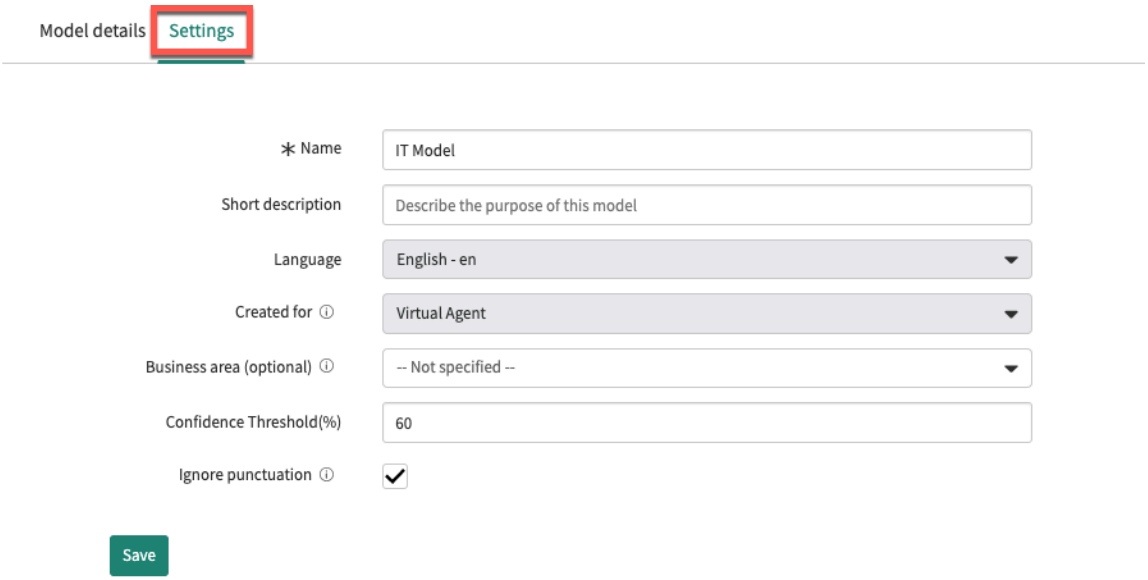
詳細については、「NLU モデルをトレーニングして試す」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テストパネルを使用して、モデルの予測に関するフィードバックを提供することもできます。フィードバックはインテント予測の改善に役立ちます。「テストパネルのフィードバック」を参照してください。

設定

[設定] タブを使用して、モデルの名前、簡単な説明、および信頼度しきい値を編集します。モデルの言語や目的を変更することはできません。



信頼度しきい値の詳細については、「 モデルをテストおよび公開」を参照してください。設定の詳細については、「 NLU モデル設定」を参照してください。

NLU インテント

インテントは、システムアクションをユーザー入力と照合することで、モデルの応答を促進します。適切な意図を持つモデルは、 仮想エージェント と検索がユーザーに正確に応答するのに役立ちます。

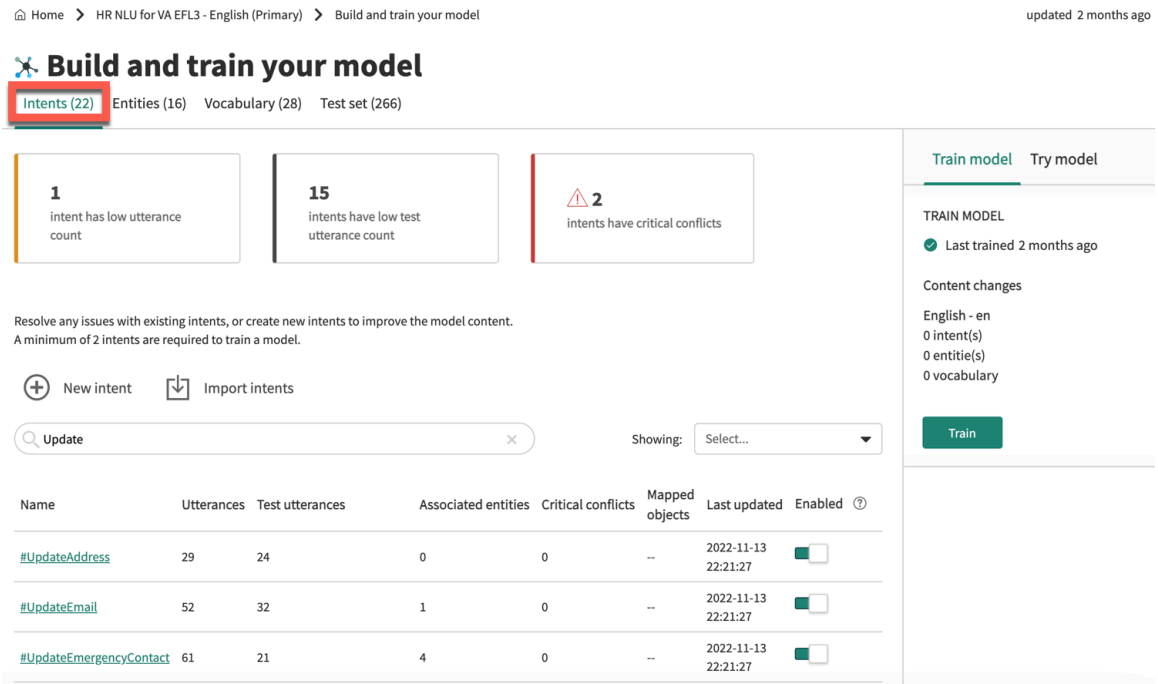
インテントは、自然言語の理解を促進するコアと考えてください。インテントは、ユーザーからの発言をシステムが実行できるアクションにモデルが変換するのに役立ちます。発言、エンティティ、語彙が連携してモデルをサポートする場合、インテントのパフォーマンスは最も高くなります。語彙と現実的な発話の例を使用すると、システムがインテントをより正確に予測するのに役立ちます。

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを作成するときは、ユーザー入力をシステムアクションと照合するインテントを追加します。モデルのインテントが多いほど、ユーザーから発言を受け取ったときに実行できるアクションが増えます。モデルインテントは、ハードウェアサービス要求の作成からグループへのユーザーの追加まで、さまざまなアクションを実行できます。

モデルのインテントにアクセスするには、モデルの概要ページに移動します。[モデルの構築とトレーニング] フェーズで、 [フェーズを表示] を選択します。デフォルトで [インテント] タブが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



モデルには最大 750 個のインテントを含めることができます。ただし、300 を超えるインテントまたは 4500 件の発言のいずれか早い方を含むモデルでは、トレーニング、テスト、公開に時間がかかります。

注: インテントを作成するときは、相互に影響を与える場合があることに注意してください。たとえば、1 つまたは 2 つの発言で動作するインテントをビルドしてテストします。ただし、より大きなインテント環境でテストすると、動作が異なる場合があります。このようなイベントが発生する可能性を減らすには、適切なテストを開始する前に、モデルに少なくとも 5 つのインテントを作成できます。

モデルへのコンテンツの追加を開始するには、「NLU インテントの作成」を参照してください。

[有効] 列には、インテントが予測でアクティブかどうかが表示されます。NLU アドミニストレーターは、個々のインテントを非アクティブ化できますが、モデル内に保持します。

ただし、インテントが公開された仮想エージェントトピックにマッピングされている場合は、次のようになります。

- インテントを非アクティブ化することはできません。
- インテントを削除することはできません。

インテントの [有効] ステータスを変更した後、モデルを再トレーニングします。

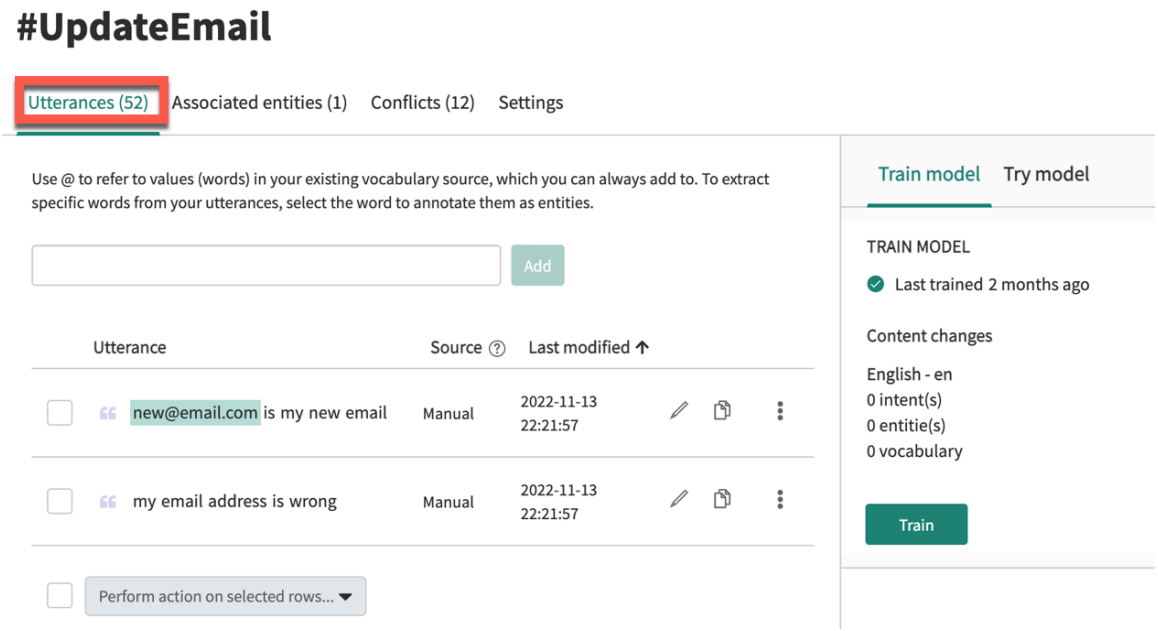
発言

インテントにはトレーニング発言が含まれています。これは、モデルがユーザーから確認できる入力の例です。モデル内の各インテントには独自の発言があります。トレーニングされると、モデルはユーザーからの類似の発言を認識し、一致するインテントで応答することを学習します。

インテントを選択すると、インテントの詳細ページにアクセスできます。[発言] タブには、現在インテントにあるすべての発言が一覧表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



発言を追加した後、右側の列のアイコンを使用して、発言を編集、コピー、移動、または削除できます。複数の発言を移動または削除するには、最初に左側のボックスを選択し、[選択した行でアクションを実行] ボタンを使用します。

インテントに発言を追加する際の考慮事項を次に示します。

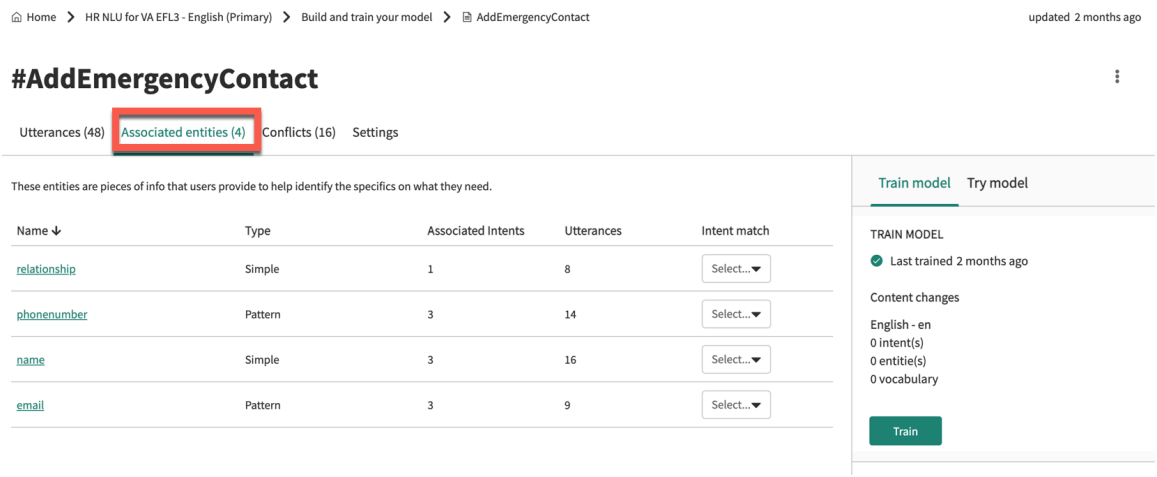
- モデルには少なくとも 1 つのインテントが必要であり、各インテントには少なくとも 5 つの発言が必要です。
- トレーニングを開始するには、インテントに少なくとも 5 つの発言が必要です。
- 現在、システムでは最大 25 単語または 200 文字の発言をサポートしています。この制限を超える発言は、インテント予測を返すことができません。
- 現在、システムでは 1 つのモデルで最大 20,000 件の発言をサポートしています。
- 4,500 を超える発言を含むモデルは、トレーニング、テスト、公開に時間がかかります。

モデルに発言を追加するときに、組織またはドメインに関連する単語またはフレーズの語彙を提供します。語彙は、ユーザーが使用する可能性が高い単語やフレーズのインテント予測に役立ちます。語彙ソースを呼び出す発言を追加する場合は、@ 記号を使用できます。詳細なコンテキストと例については、「NLU 語彙」を参照してください。

関連エンティティ

モデルはエンティティを使用して、ユーザー入力を予測するときに追加のコンテキストと意味を提供します。インテントのトレーニング発言にエンティティを追加して、意図したアクションを実行するためのより多くの情報をシステムに提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

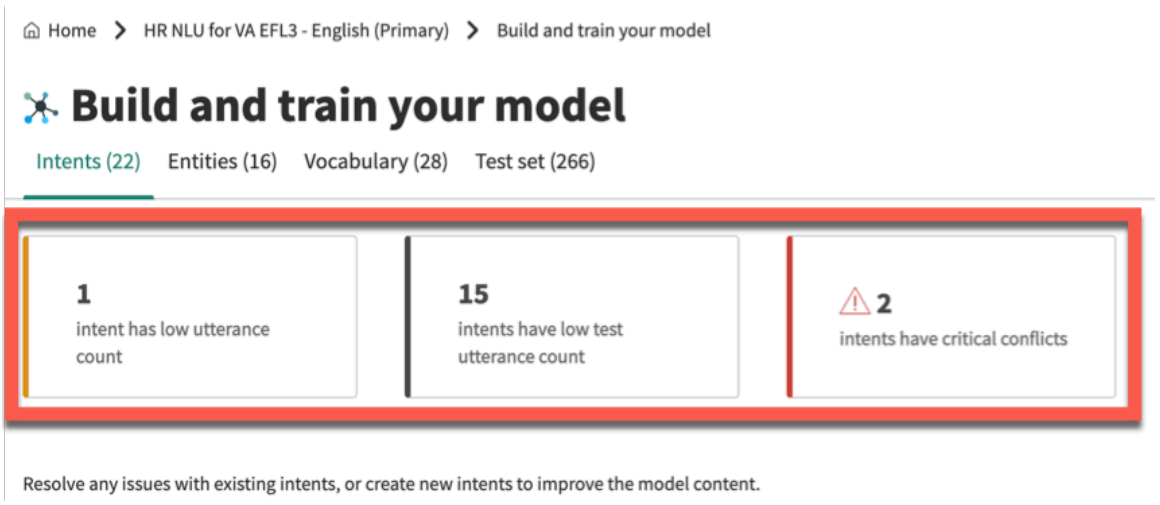


詳細については、「NLU エンティティ」を参照してください。

インテントの問題

大規模なモデルをビルドすると、インテントが重複したり、競合したり、十分なトレーニング発言が含まれなかったりする可能性が高くなります。たとえば、あるインテントの発言例が、別のインテント例と同じになる場合があります。インテントが競合する場合、モデルはユーザー入力を受信するときにどのインテントを予測するかわからない可能性があります。

モデルに問題や競合がある場合、[インテント] ページには、影響を受けるインテントの数を示すカードが表示されます。



カードを選択すると、その問題があるインテントのフィルター済みリストが表示されます。問題を解決することで、インテントが要件を満たし、意図したとおりに機能することが保証されます。

詳細については、「インテントの問題を解決」を参照してください。

NLU インテントの作成

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルのインテントを作成します。インテントは、ユーザー入力を受信したときに実行するシステムアクションをモデルに提供します。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ - Core プラグイン、NLU ワークベンチ - 拡張機能NLUプラグイン、共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- モデルと同じアプリケーションスコープ内にいることを確認してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- NLU ワークベンチ で 仮想エージェント モデルと AI 検索モデルのインテントを作成できます。
- 必要なロール:admin または nlu_admin

このタスクについて
この手順では、インテントを作成する方法を示します。他のモデルのインテントを再利用するには、「 ビルド済み NLU モデルのインテントの再利用」を参照してください。

インテントがトレーニング発言の語彙とやり取りする方法の例を次に示します。

- 目的:#AddMembersToDistributionList
- 発言 A: 「Carlos Santana を uxinfodev リストに追加してください」
- 発言 B:「誤って arlo-drury-directreports グループから削除されました」
- 結果:システムは uxinfodev または arlo-drury-directreports を認識せず、これらの単語を使用してインテントを予測することができません。
- 解決策: uxinfodev と arlo-drury-directreports を語彙項目として追加し、それらに同義語を追加します。指定した同義語は、発言とそれが存在するインテントにさらにコンテキストを追加するのに役立ちます。インテントをエンティティとしてマークすると、インテント予測の信頼性がさらに高くなる可能性があります。

注: ユーザーのトレーニング発言および発言には、25 語または 200 文字の制限があります。この制限を超える発言は、インテント予測を返すことができません。

トレーニング発言には、「OrderLaptop」や「sfsdfasdfas」などの非現実的な用語を含めないでください。発言は、モデルの言語における正確で自然な例である必要があります。

次の手順例では、インテントを作成し、ユーザーが支払いに関する情報を要求するときに言う可能性のある発言を追加します。「仮想エージェントの HR モデル」というタイトルのNLUモデルを既に作成しており、そのモデルでインテントを作成しています。

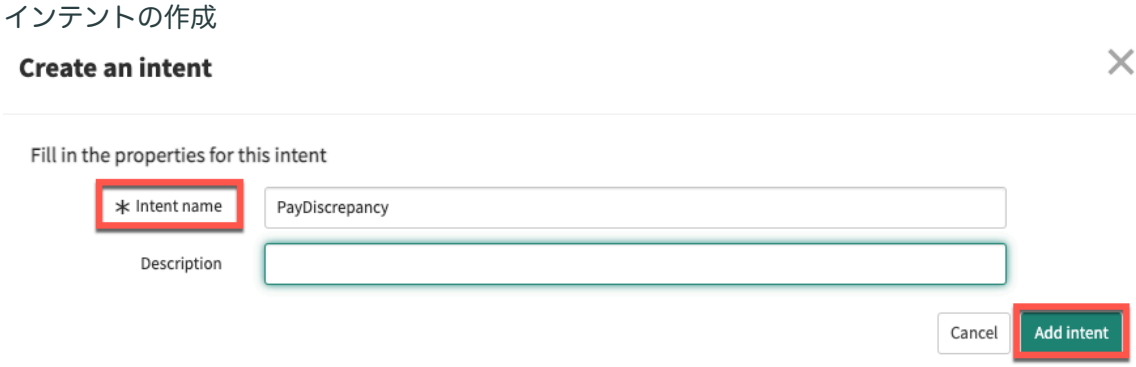
手順

1. アプリケーションスコープをモデルのスコープに設定します。
2. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
3. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、インテントを追加するモデルの名前を選択します。
   このモデルの例では、 仮想エージェントモデルの HR モデル を選択します。
4. [モデルの構築とトレーニング] カードで、[フェーズを表示] を選択します。
5. インテントを選択します。
6. [新しいインテント] を選択します。
7. [インテントを作成] ウィンドウで、インテントの名前と説明を追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インテントの作成



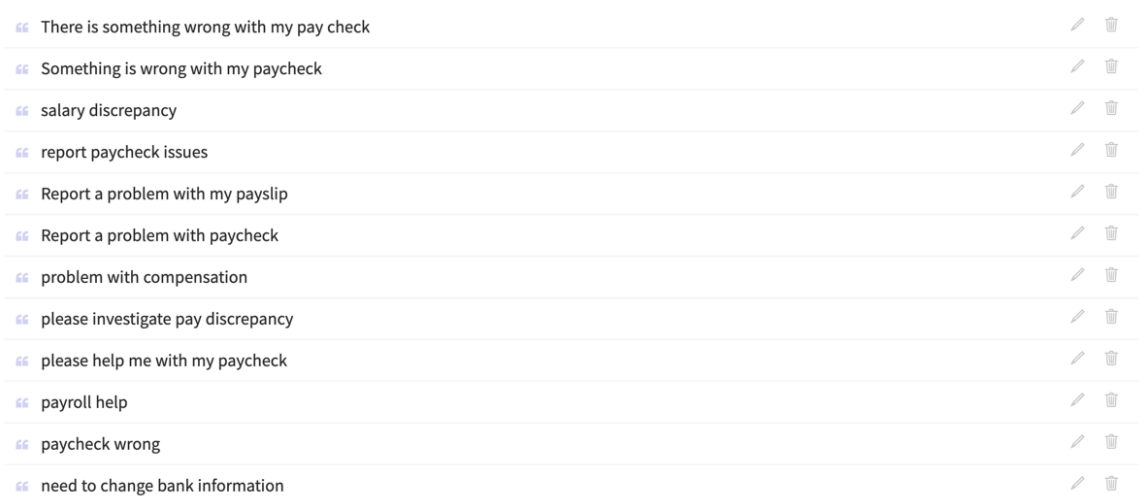
この例のシナリオでは、名前に「PayDiscrepancy」と入力します。説明を追加することもできます。

注: インテントを作成すると、インテント名にハッシュタグが追加されます。

8. [インテントを追加] を選択します。
#PayDiscrepancy インテント画面が表示され、その発言、関連エンティティ、および設定のセクションが含まれます。インテントドラフトステータスは、インテント画面の右上隅にも表示されます。
9. [発言] タブで、インテントに関連するトレーニング発言の例を入力します。

注: 指定する発言例は一意で、25 語または 200 文字未満である必要があります。少なくとも 15 個の発言を追加し、できるだけ多様性を持たせることを目指します。モデルのトレーニングを開始するには、少なくとも 5 つの発言を追加する必要があります。

このシナリオでは、次の発言をフィールドに追加し、[追加] を選択します



モデルを繰り返しビルドして再トレーニングすると、更新されたインテントがモデルの予測にどのように影響するかを確認できます。「NLU モデルをトレーニングして試す」を参照してください。

次のタスク

モデルをトレーニングして更新を保存します。インテントに関する問題については、「インテントの問題を解決」を参照してください。

発言を改善するには、コンテキストを提供するエンティティを追加します。「NLU エンティティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な インテントディスカバリー 機能は、履歴データに基づいて追加できるインテントを特定するのに役立ちます。

ビルド済み **NLU** モデルのインテントの再利用

自然言語理解 (NLU) (NLU) インテントを事前にビルドされた NLU モデルから他のモデルにインポートして再利用します。インテントを再利用すると、モデルを構築する際の時間を節約できます。

ビルド済みの 仮想エージェント NLU モデルは、ITSM、CSM、および HR トピックのチャットボット会話フローに必要な言語理解を提供します。これらのモデルの各NLUインテントは、それに応じて仮想エージェントデザイナー で作成された単一の仮想エージェント会話トピックにマップされます。

ビルド済みモデルは読み取り専用ですが、 NLU モデルで再利用できる検証済みのインテントが含まれています。たとえば、 仮想エージェント ビルド済みの HR モデルには、HR 要求に関する複数のインテントが含まれています。モデルの 1 つにインテントを追加すると、そのモデルは HR に関するユーザー入力に応答できるようになります。

モデルコンテンツ 仮想エージェント ビルド済み

事前構築済みの各 仮想エージェント モデルでは、それぞれの事業部門 (BU) に関連する言語が使用されます。300万語のワードコーパスから構築されたこの言語を処理する NLU は、一般的な言語パターンと、 ServiceNow 定義語彙とユーザー定義語彙の両方をコンテキスト認識します。

General Patterns	ServiceNow Vocabulary	User Defined Vocabulary
• Date • Time • Duration • Location • Phone number • Phone extension • Email • Email domain • Website address • Computer drive • Executable file • IP address • Bytes • Proper Names	• Task number • Incident number • Change number • Case number • KB article number • Problem number	• Standard phrases • List – ServiceNow Table: Field Examples • Change request: Type • Task: Impact • Task: Urgency • List – user defined • Regular expressions

ビルド済みモデルは、3 つの BU のそれぞれの 仮想エージェント チャットボットで使用される一般的な会話トピックにマッピングされます。これらのトピックは、BU 固有のアクションを実行するインテントに対応しています。

EMPLOYEE EXPERIENCE PORTAL			CUSTOMER SERVICE PORTAL
ITSM		**HR**	**CSM**
1. Check IT ticket status 2. Open IT ticket 3. Order an item 4. Search Knowledge Base 5. Process approval 6. My Assigned Equipment 7. Reset password 8. Update assigned task 9. Create change request 10. Escalate Ticket 11. Resolve Incident 12. Create Problem 13. Update Change Request 14. Identify Next Change Window 15. Identify Scheduled Changes	16. Guest Wifi Access 17. Reset RSA Token 18. Local Admin Access 19. Repository Access 20. VPN connectivity 21. Slow Computer 22. Walk-up Support 23. Manage Distribution List 24. Meeting Room Issues 25. Printer Issues 26. Email Setup 27. Email Issues 28. Get Password Reset link 29. Service Disruptions	1. General HR Inquiry 2. Request for Leave 3. Pay Discrepancy 4. Update Address 5. Update Email 6. Update Phone Number 7. Add Emergency Contact 8. Delete Emergency Contact 9. Update Emergency Contact	1. Check Case Status 2. Get Help with Product 3. Get Help with Order
VA Common Topics	• Greetings	• End Conversations	• What can you do • Live agent • Feedback

詳細な NLU と 仮想エージェント コンテキストについては、次の製品ドキュメントを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ITSM コンテキストについては、「ITSM 仮想エージェント」を参照してください。
- HR コンテキストについては、「HR サービスデリバリ (HRSD) 用の仮想エージェント」を参照してください。
- CSM コンテキストについては、「カスタマーサービス仮想エージェントの会話」を参照してください。

仮想エージェント および **NLU** プラグインとロール

NLU ワークベンチのビルド済み仮想エージェントモデルにアクセスするには、admin ロールを使用してこれらのプラグインをインストールしてアクティブ化する必要があります。

プラグイン	説明
• CSM 仮想エージェント対話 [com.sn_csm.virtualagent] • ヒューマンリソース (HR) スコープ対象のアプリ：仮想エージェントの会話 [com.sn_hr_virtual_agent] • ITSM 仮想エージェント対話 [com.snc.itsm.virtualagent]	カスタマーサービス管理 (CSM)、HR サービスデリバリ (HRSD)、および IT Service Management アプリケーションに対して 、構築済みの仮想エージェントトピック、トピックブロック、および ServiceNow NLU モデル を有効にします。 • Glide Virtual Agent (com.glide.cs.chatbot) プラグインをアクティブ化する必要があります。 • NLU ワークベンチ (com.snc.nlu_studio) プラグインを自動的にアクティブ化します。

事前定義された仮想エージェントインテントを再利用する**NLU**モデルの作成

ビルド済み 仮想エージェント モデルは読み取り専用に設定され、編集できません。ただし、これらのモデルのインテントは、モデルで作成した新しいインテントとともに、新しいモデルにインポートできます。ビルド済みモデルをコピーし、そのインテントを新しいモデルの基盤として使用することもできます。

ビルド済み 仮想エージェント モデルのインテントを再利用するには、インテントをインポートするときにビルド済みモデルを選択します。「NLUインテントのインポート」を参照してください。

NLU モデルとそのインテントおよびエンティティは、アプリケーションスコープに関連付けられています。スコープは後で変更できないため、開始する前にターゲットアプリケーションのスコープを確認してください。

NLUインテントのインポート

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルのインテントを作成するときに、同じアプリケーションスコープ内の他のモデルからインテントをインポートして再利用することもできます。インテントを再利用することで、新しいモデルをビルドする時間を節約できます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント モデルと AI 検索モデルのインテントをインポートできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソースモデルとターゲットモデルのアプリケーションスコープが同じであることを確認します。
- 必要なロール:admin または nlu_admin

このタスクについて
インテントをインポートすると、次の関連アイテムもインポートされます。

- エンティティ注釈を含むトレーニング発言
- エンティティ

インテントをインポートする場合、次のアイテムは含まれません。

- デフォルトのテストセット内の発言をテストする
- 通常の語彙とパターン語彙

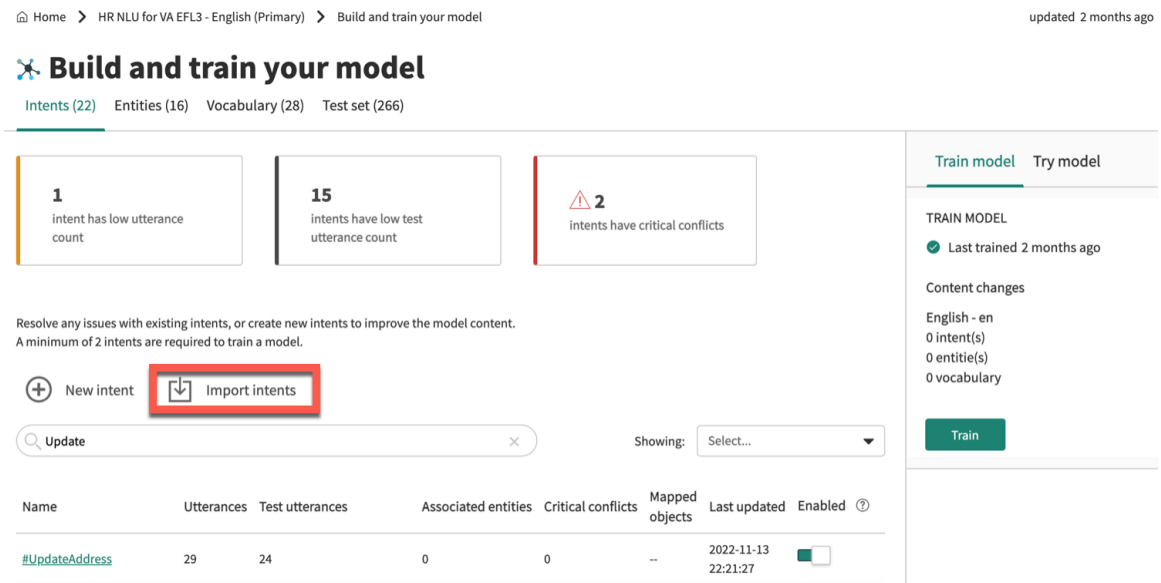
注: 次の状況ではインテントをインポートできません。

- インポートしようとしているインテントと同じ名前のインテントがモデルに既に存在する場合。
- モデルに、インポートしようとしているものと同じ名前で異なる属性を持つエンティティが既に存在する場合。

この例のシナリオでは、 NLU モデルのコンテンツをビルドしており、別のモデルのインテントを再利用してモデルを拡張したいと考えています。

手順

1. ターゲットアプリケーションスコープ内であることを確認し、次の場所に移動します。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択し、インテントを追加するモデルの名前を選択します。
3. モデルの概要ページで、 [モデルの構築とトレーニング] フェーズを見つけて、 [フェーズを表示] を選択します。
4. [インテント] タブで、[インテントをインポート] を選択します。

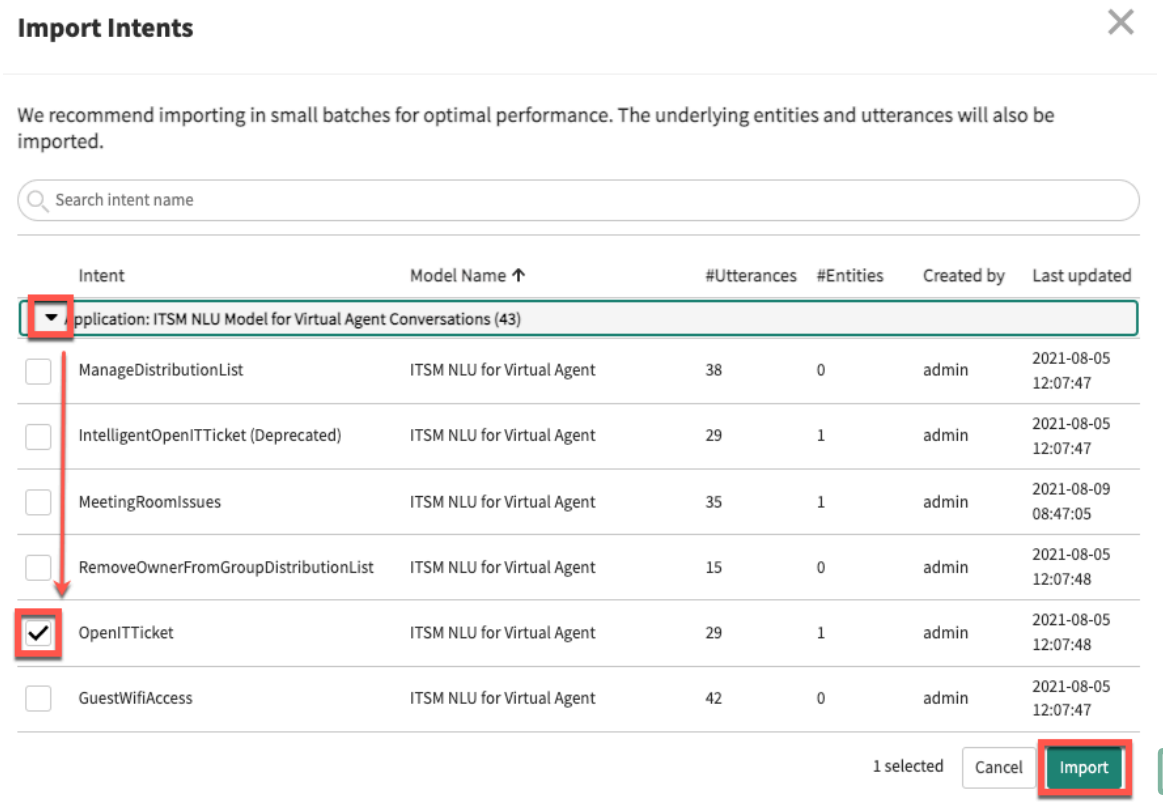


[インテントをインポート] 画面が表示され、インポートするインテントを選択できる NLU モデルのリストが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. インポートするインテントを見つけて、チェックボックスをオンにします。



このシナリオでは、仮想エージェント対話モデルの ITSM NLU モデルで **OpenITTicket** インテントを選択します。

6. [インポート] を選択します。

結果：**#OpenITTicket** インテントは、ターゲットモデルのインテントリストに表示されます。この特定のインテントをインポートすることで、モデルに 29 個のトレーニング発言を追加しました。

次のタスク
新しくインポートされたトレーニング発言の注釈を確認します。必要に応じて語彙の注釈を追加します。

モデルをトレーニングして更新を保存します。インテントに関する問題については、「インテントの問題を解決」を参照してください。

ターゲットモデルにセカンダリ言語モデルが関連付けられている場合は、新しいコンテンツをインポートして翻訳することを検討してください。「セカンダリモデルへのプライマリモデルコンテンツのインポート」を参照してください。

インポートできるビルド済み 仮想エージェント モデルの詳細については、「ビルド済み NLU モデルのインテントの再利用」を参照してください。

インテントの問題を解決

問題カードを使用して、競合があるインテント、レビューが必要なインテント、またはさらに発言が必要なインテントを特定します。インテントの問題を解決すると、 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルのインテントが正しく機能するようになります。

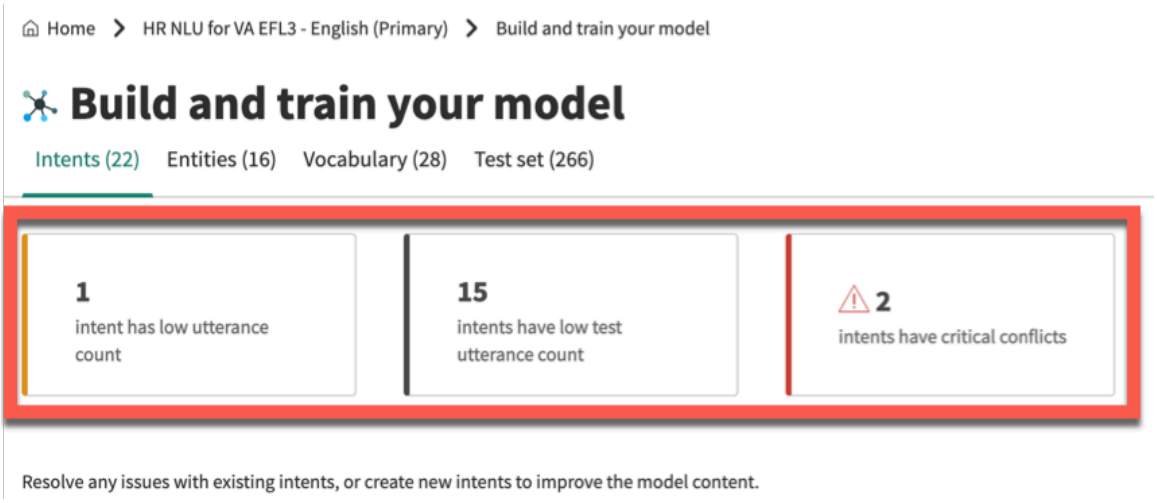
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ - Core プラグイン、NLU ワークベンチ - 拡張機能型プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェントモデルとAI 検索モデルの競合を解決できます。
- 必要なロール:nlu_admin または admin モデルにアサインされると、nlu_editorそのモデルのインテントの問題を解決できます。

このタスクについて
トレーニング済みモデルに問題のあるインテントが含まれている場合、問題カードは [モデルの構築とトレーニング] ページの [インテント] タブに表示されます。各カードを選択して、その問題のインテントのリストをフィルタリングします。



カードにはさまざまな問題が表示されます。

- インテントの発言数が少ない:インテントに最低 5 つのトレーニング発言が含まれていません。このカードは、インテントに含まれる発言が推奨数である 15 未満の場合にも表示されます。
- インテントのテスト発言数が少ない:デフォルトのテストセットには、インテントに対する十分なテスト発言がありません。このカードは、インテントのテスト発言の数が推奨される 15 を下回ると表示されます。
- インテントに重大な競合があります:インテントには、別のインテントの発言と重複するトレーニング発言が含まれています。

  注: 関連なしとしてマークされた発言も、インテントにアサインされた発言と競合する可能性があります。詳細については、「NLU での無関係の検出」を参照してください。

- インテントのレビューが必要:インテントは翻訳されましたが、nlu_adminまたはnlu_editorによるレビューが必要です。

問題カードは、次の状況では非表示になります。

- モデルは構築済みモデルです
- モデルはドラフトステータスで、トレーニングされていません
- モデルに競合はありません
- 最新のトレーニング済みバージョンの成功競合レポートが存在しない
- NLU ワークベンチ - 拡張機能型プラグインがインストールされていません

次の方法で問題を解決します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題	解決
インテントの発言数が少数	インテントにトレーニング発言をさらに追加します。インテントには少なくとも 5 つの発言が必要です。少なくとも 15 件の発言が推奨されます。
インテントのテスト発言数が少ないです	モデルのデフォルトのテストセットに、インテントのテスト発言をさらに追加します。推奨数は 15 以上です。
インテントに重大な競合があります	各発言が 1 つのインテントにのみ適用されるように、発言を削除または編集します。
インテントのレビューが必要です	nlu_adminまたはnlu_editorにインテントをレビューしてもらいます。詳細については、「セカンダリモデルインテントの有効化または無効化」を参照してください。

この手順例では、インテントの 1 つで重大な競合を解決しています。HR 要求を処理するための 仮想エージェント モデルをビルドしましたが、 GeneralHRInquiry と CreateHRGeneralInquiryCase という 2 つのインテントに同様の発言が含まれていました。

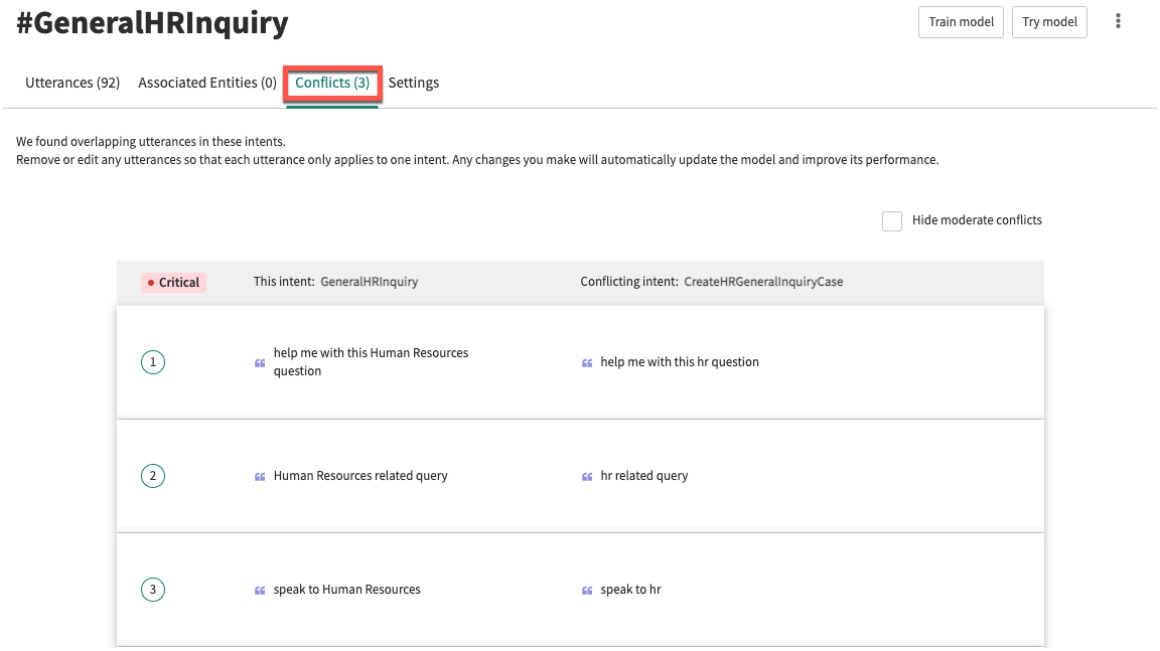
手順

1. モデルと同じアプリケーションスコープ内にいることを確認し、次に移動します: **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、モデルの名前を選択します。
3. [モデルの構築とトレーニング] カードで、[フェーズを表示] をクリックします。
4. [インテント] タブで、 インテントに重大な競合がある カードをクリックします。
   インテントリストは、重大な競合があるインテントをフィルタリングして表示します。
5. 解決するインテント名をクリックします。
   この例では、 GeneralHRInquiry インテントをクリックします。
6. [競合] タブをクリックします。

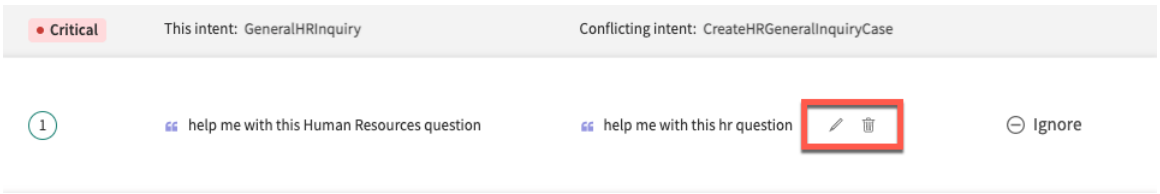
   [競合] タブが表示され、競合する発言が一覧表示されます。現在のインテントの発言が左側に表示されます。他のインテントの競合する発言が右側に表示されます。

   注: 中程度の競合を非表示にして、重大な競合に集中することができます。競合を無視することもできます。ただし、最高のパフォーマンスを得るには、必ずすべての競合を修正してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. 編集または削除する発言をポイントします。



この手順例では、ごみ箱アイコンをクリックして、 CreateHRGeneralInquiryCase インテントから発言を削除します。

発言がインテントから削除されます。

注: 加えた変更は自動的に保存されます。

次のタスク

「無関係」または「関連なし」と指定された発話も、トレーニング発話と競合する可能性があります。無関係な発言は、 **NO_INTENT** という名前の独自のインテントであるかのように表示されます。ただし、これらの発言は競合では編集または削除できません。発言を無関係検出モジュールにコピーして編集または削除します。詳細については、「NLU での無関係の検出」を参照してください。

すべての競合の解決を続行します。完了したら、モデルをトレーニングして、更新された競合がある場合はそのリストを表示します。モデルをテストして公開する前に、すべてのインテントの問題を解決します。

NLU エンティティ

エンティティは、ユーザー入力を受け取るときにモデルに追加のコンテキストを提供します。発言とインテントにエンティティを追加して、 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルの予測を改善します。

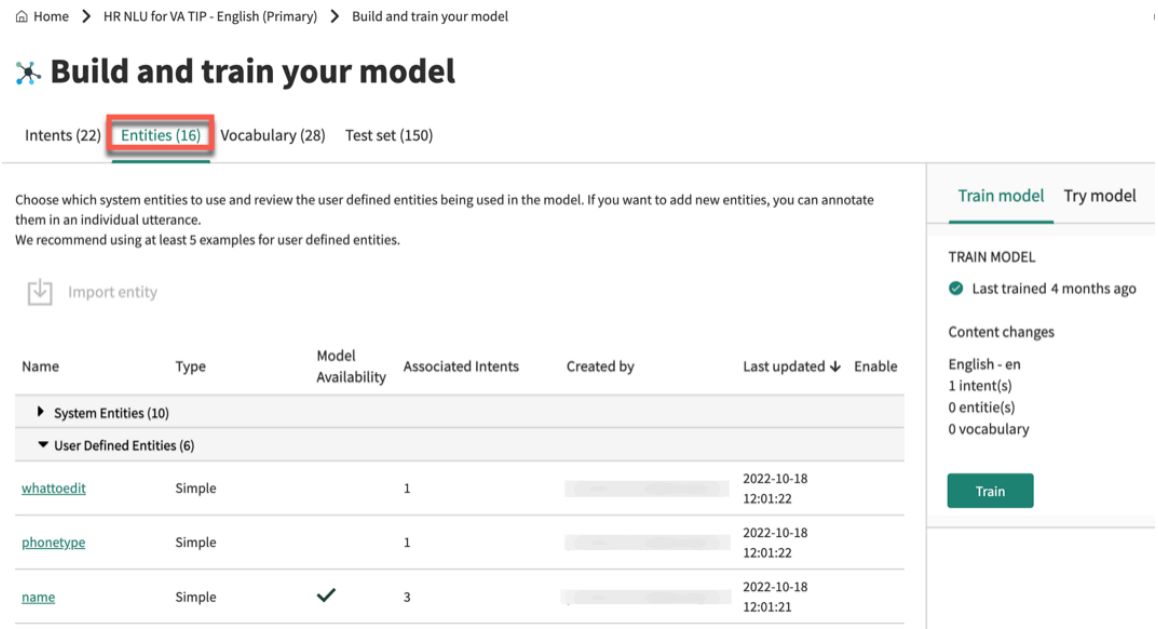
エンティティは、ユーザーが実行するアクションのオブジェクトと考えてください。モデルは、発言をインテントと照合することで解釈しますが、エンティティを使用して要求の詳細を収集します。

たとえば、ユーザーが 「遅いラップトップに重大な問題があります」と入力すると、システムはインテント #TroubleshootSlowComputer との一致を予測します。この発言から、モデルは次のエンティティも識別します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ハードウェア (エンティティ): ラップトップ (値)
- 緊急度 (エンティティ): 高 (値)



NLUエンティティは、システムとユーザー定義の 2 つのカテゴリに分類されます。日付、時刻、場所などのシステムエンティティは、インスタンスでデフォルトで使用できます。独自のユーザー定義エンティティを作成して、ビジネスに関連するコンテキストを提供できます。

ユーザー定義エンティティには 5 つのタイプがあります。詳細については、次のいずれかのリンクを選択してください。

- 単純なエンティティの作成
- マップされたエンティティを作成する
- パターンエンティティを作成する
- システム派生エンティティの作成
- 無制限のエンティティを作成する

エンティティを作成するときは、発言に注釈を付けて、モデルの学習に役立つ例を提供します。エンティティに注釈を付けることで、システム語彙の言語的関連付けと意味のあるコンテキストをモデルに提供します。注釈はエンティティの関連性を強化し、ユーザーの入力に応答してモデルが正しいアクションを実行するのに役立ちます。

インテントを作成するときに、発言にエンティティを追加します。その後、エンティティはそのインテントに関連付けられ、 関連するインテント 番号が付与されます。

正規表現

正規表現は、テキストの検索、照合、および管理を行うモデルの能力を向上させるパターンをモデルが確立するのに役立ちます。パターンエンティティで正規表現を使用すると、モデルがメールアドレス、電話番号、インシデント番号などの形式を理解できるようになります。

詳細については、「エンティティでの正規表現の使用」を参照してください。

自動翻訳

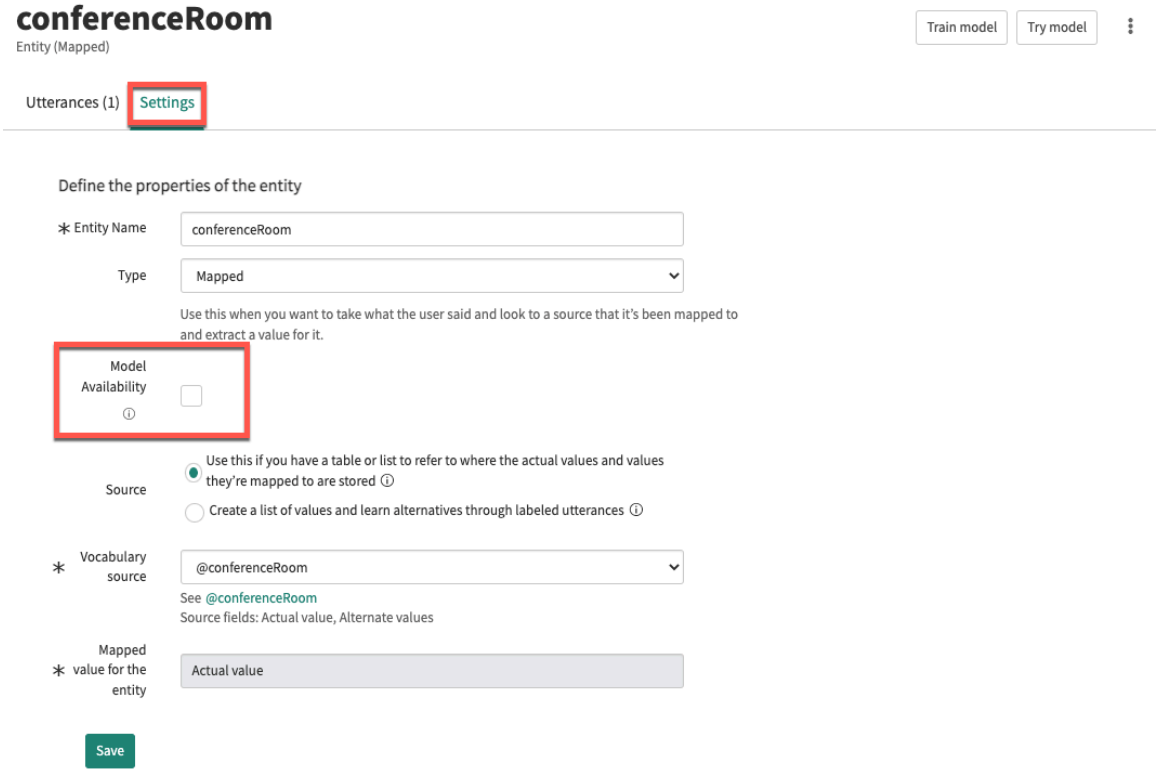
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルの可用性

エンティティを作成するときに、エンティティをモデル内の他のインテントで再利用できるようにすることを選択できます。エンティティの作成時に [モデルの可用性] ボックスを選択しなかった場合は、後でエンティティを編集できます。

[モデルの詳細] ページで、 [エンティティ] を選択します。エンティティの名前を選択して、エンティティの詳細ページを表示します。次に、[設定] タブを選択します。

エンティティ設定ページ



単純なエンティティの作成

発言例の単語から 1 つ以上の単純なエンティティを作成します。エンティティは、アクションのオブジェクトまたはコンテキストです。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索の NLU モデルを作成または使用します。
- インテントを作成するか、既存のインテントを使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin nlu_editorをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて

単純なエンティティは、モデルによって値を抽出できる単語またはフレーズです。単純なエンティティは、エンティティが発言で使用されているコンテキストに基づいて識別されます。

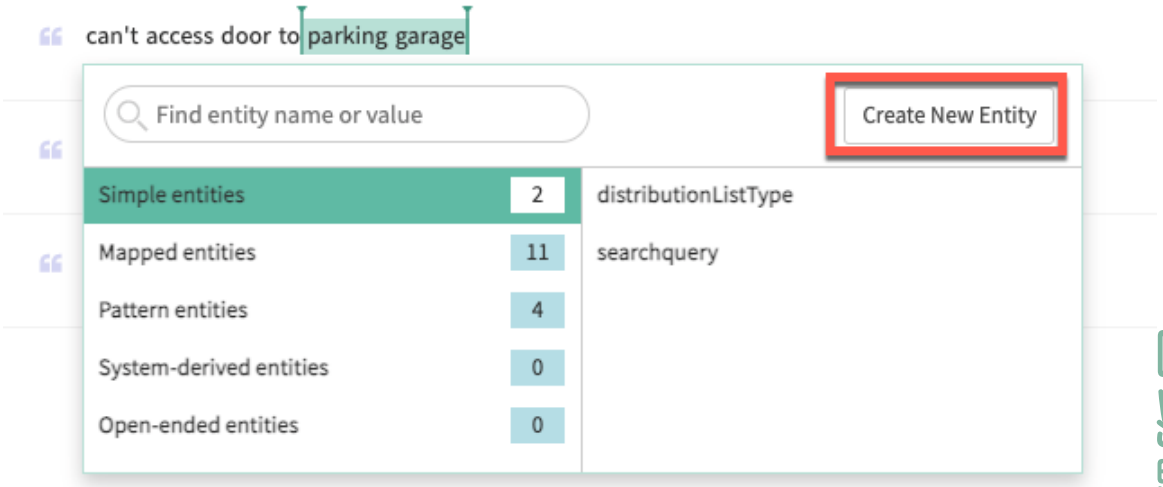
次の手順の例では、 SubmitAccessRequest というタイトルのインテントを既に作成しており、ユーザーが要求しているアクセスタイプの単純なエンティティを作成しています。

自動翻訳

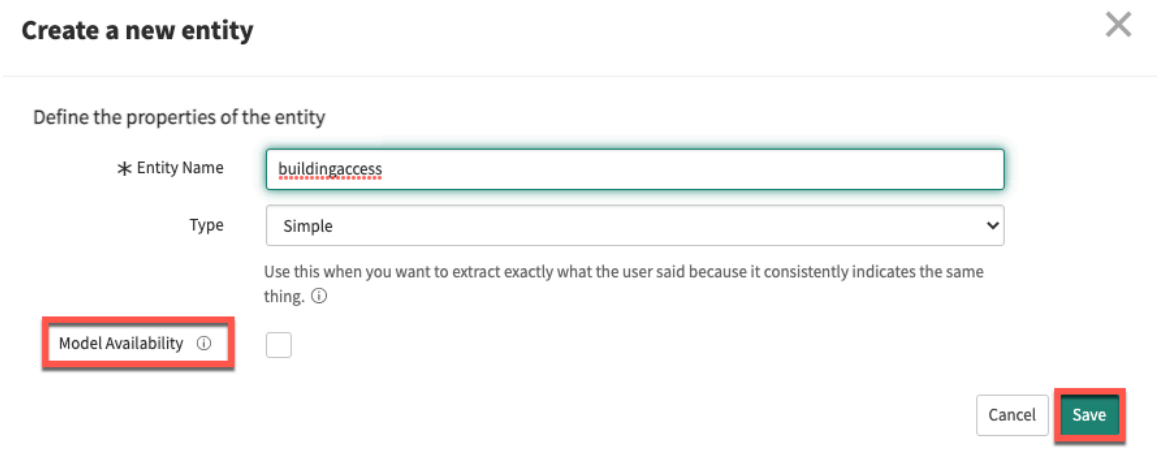
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、エンティティを追加するモデルの名前を選択します。
   この例では、 アクセス要求モデルの NLU を選択します。
3. [モデルの構築とトレーニング] カードで、[フェーズを表示] をクリックします。
4. [インテント] タブで、インテントの名前をクリックします。
   この例では、[SubmitAccessRequest] をクリックします。
5. 発言の 1 つで単語をクリックすると、エンティティウィンドウが表示されます。
   この例では、「 parking garage」という単語をクリックします。



6. **Create New Entity**をクリックします。
7. [新しいエンティティを作成] 画面で、名前を入力し、[シンプル] エンティティタイプを選択します。
   この例では、[エンティティ名] に「buildingaccess」と入力します。



注: [モデルの可用性] を選択して、モデル内のすべてのインテントでエンティティを使用できるようにします。チェックボックスをオンにすると、エンティティが [関連エンティティ] タブに表示されます。

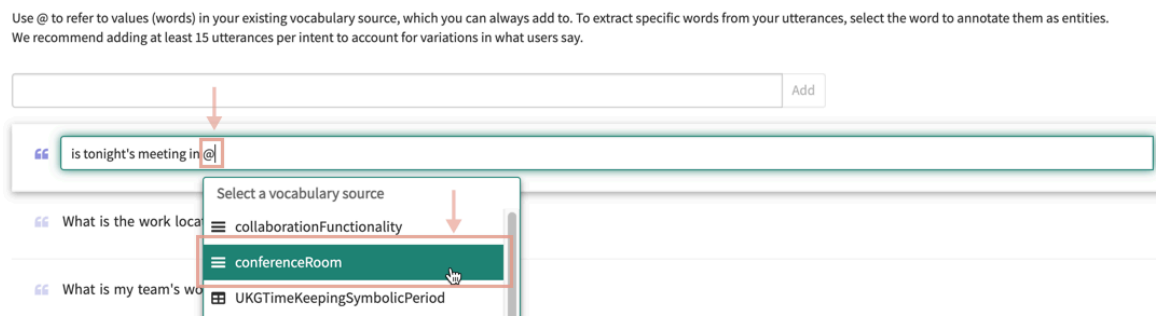
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. **[Save** (保存)] をクリックします。
   エンティティが保存され、発言内の単語が強調表示されたままになります。

次のタスク
発言は、@ ハンドルを使用して語彙ソースを参照できます。語彙ソースで定義されている値のリストがある場合は、すべての値に対して発言を繰り返すのではなく、@ ハンドルを単純なエンティティとして注釈を付けて抽出できます。参照される語彙ソースは、テーブルまたはリストです。たとえば、次の画像は、さまざまな会議室名をリストする語彙ソースを呼び出す方法を示しています。

語彙ソースを使用した発言の例



詳細については、「NLU 語彙」を参照してください。

マップされたエンティティを作成する

語彙ソース、またはエンティティに対して手動で作成した値のリストにマッピングされたエンティティを作成します。マッピングされたエンティティは、発言を解釈するときにモデルがコンテキストとして使用できる複数の値を提供するのに役立ちます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索の NLU モデルを作成または使用します。
- インテントを作成するか、既存のインテントを使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin nlu_editorをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて

マッピングされたエンティティは、発言の単語を取得し、指定されたソースに基づいて値を抽出します。モデルは、インテントを予測するときにソースを使用します。

マッピングされたエンティティを作成する場合、ソースには次の 3 つのオプションがあります。

- 値の手動リスト:このオプションを使用して、エンティティの値のリストを手動で入力します。たとえば、 priority という名前のマッピングされたエンティティを作成し、それを発言の単語「 緊急 」にマッピングしてから、高、中、低の値を持つリストを手動で作成できます。
- テーブル語彙ソース:探している値を持つ ServiceNow テーブルがある場合は、このオプションを使用します。エンティティをテーブル語彙ソースにマッピングすると、エンティティはテーブルから複数の値を参照できます。たとえば、@Location語彙ソースを使用する場合、@Locationには都市と国の値があります。
- リスト語彙ソース:探している値を持つ ServiceNow テーブルがない場合は、このオプションを使用します。たとえば、@mouse語彙ソースを使用します。@mouseには、ハンドヘルドコンピューターデバイスのさまざまなモデルの値があります。

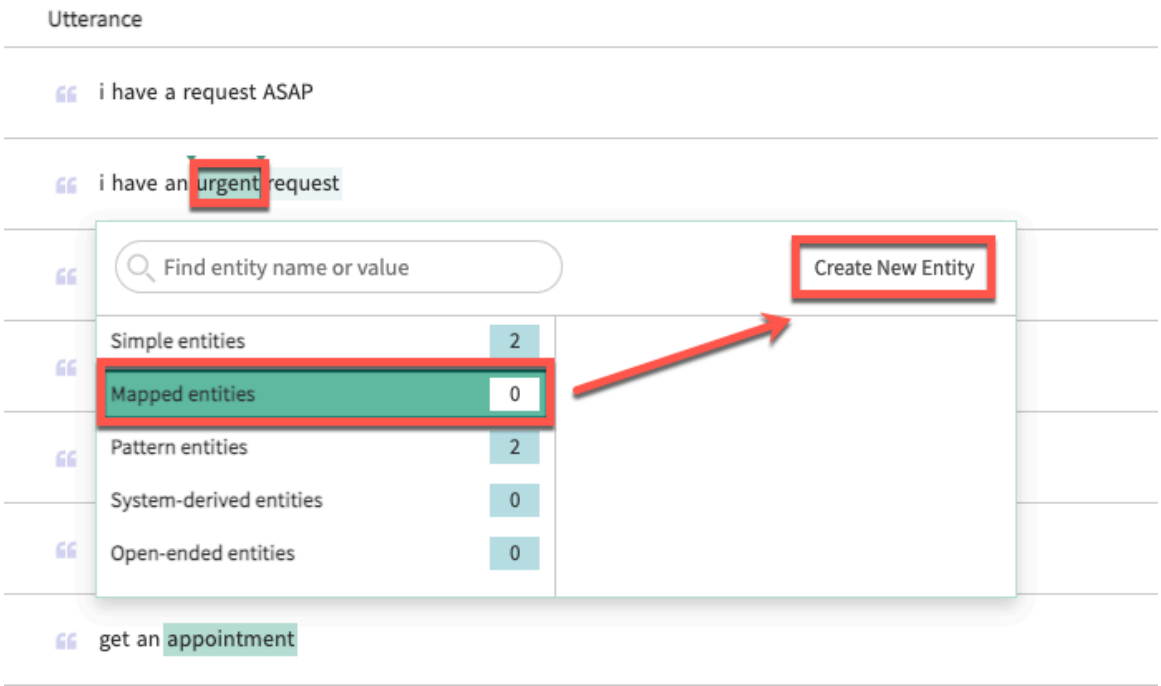
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この手順例では、緊急度用にマッピングされたエンティティを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択してから、モデルの名前を選択します。
3. モデルの詳細ページで、[インテント] タブを選択します。
4. モデルの [インテント] セクションで、インテントの名前を選択します。
   この手順の例では、[**#SubmitRequest**] を選択します。
5. [発言] タブで、発言の単語を選択します

   このシナリオでは、「緊急の要求があります」という発言で「緊急」という単語を選択します。
6. [マップされたエンティティ] を選択します。
7. [新しいエンティティの作成] を選択します。



8. フォーム上のフィールドを設定します。

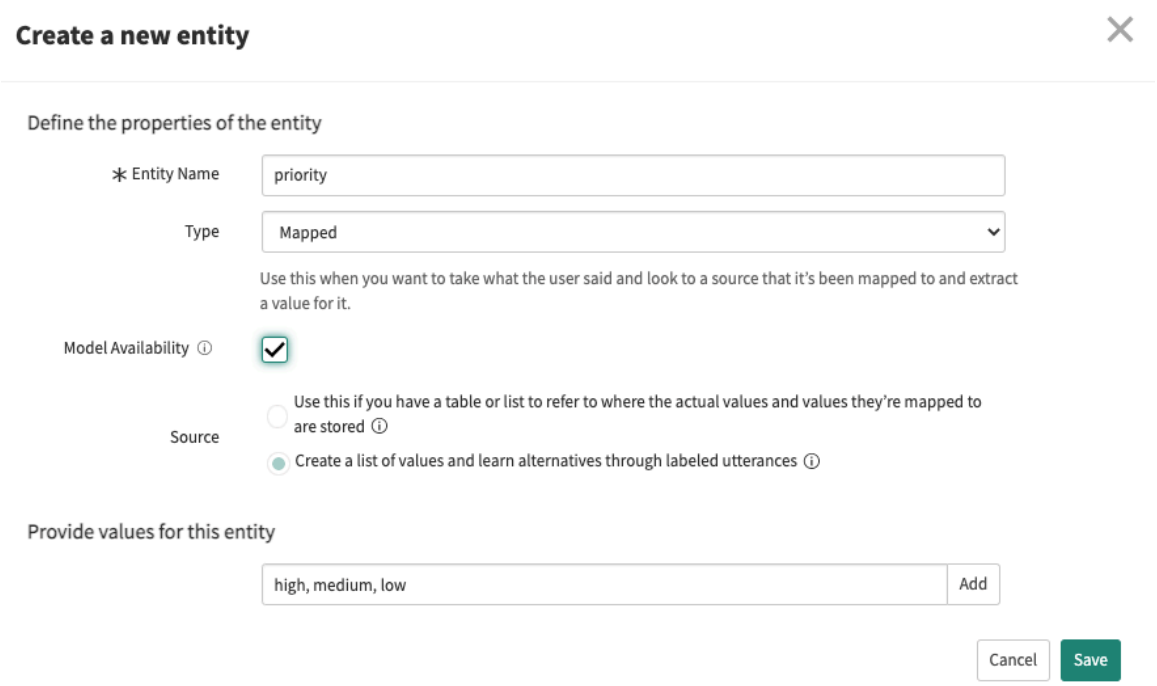
フィールド	説明
エンティティ名	エンティティの名前。
タイプ	エンティティのタイプ。
モデルの可用性	このエンティティをモデル内のすべてのインテントに含める場合は、このオプションを選択します。
ソース	エンティティ値のソース。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
このエンティティに値を指定してください。	モデルのコンテキストを提供するために使用される値。

この手順例では、次の構成を使用します。

- エンティティ名: `priority`
- タイプ:マップ済み
- モデルの可用性:チェックボックスをオンにします
- ソース: 実際の値とマップ先の値が格納されている場所を参照するテーブルまたはリストがある場合に、これを使用します
- エンティティにマップされた値: `高`、`中`、`低`。



9. **[Save** (保存)] をクリックします。

結果： マッピングされたエンティティが保存されます。エンティティが [関連エンティティ] タブに表示されます。モデルで機械学習を活用し、指定された値を使用して可能な値を識別できるようになりました。



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
語彙ソースを使用してマッピングされたエンティティを作成し、ソースの値をマッピングされたエンティティとして使用できます。

関連情報

テーブル語彙ソースの作成

リスト語彙ソースの作成

パターンエンティティを作成する

メールアドレスや電話番号など、繰り返し可能なパターンを持つ単語またはフレーズからパターンエンティティを作成します。これらのパターンは、システムがパターンに基づいて類似の発言を認識するのに役立ちます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索の NLU モデルを作成または使用します。
- インテントを作成するか、既存のインテントを使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin nlu_editorをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて
パターンエンティティは、モデルが類似するタイプのコンテンツを識別、コンテキスト化、および管理するのに役立ちます。電話番号やメールアドレスなどの入力も同じパターンに従います。パターンエンティティを作成することで、これらの入力のすべてのバリエーションを認識するようにモデルをトレーニングできます。

注: パターンエンティティは正規表現 (regex) を使用します。正規表現フィールド値は Java 正規表現です。正規表現の使用方法の詳細については、「エンティティでの正規表現の使用」を参照してください。

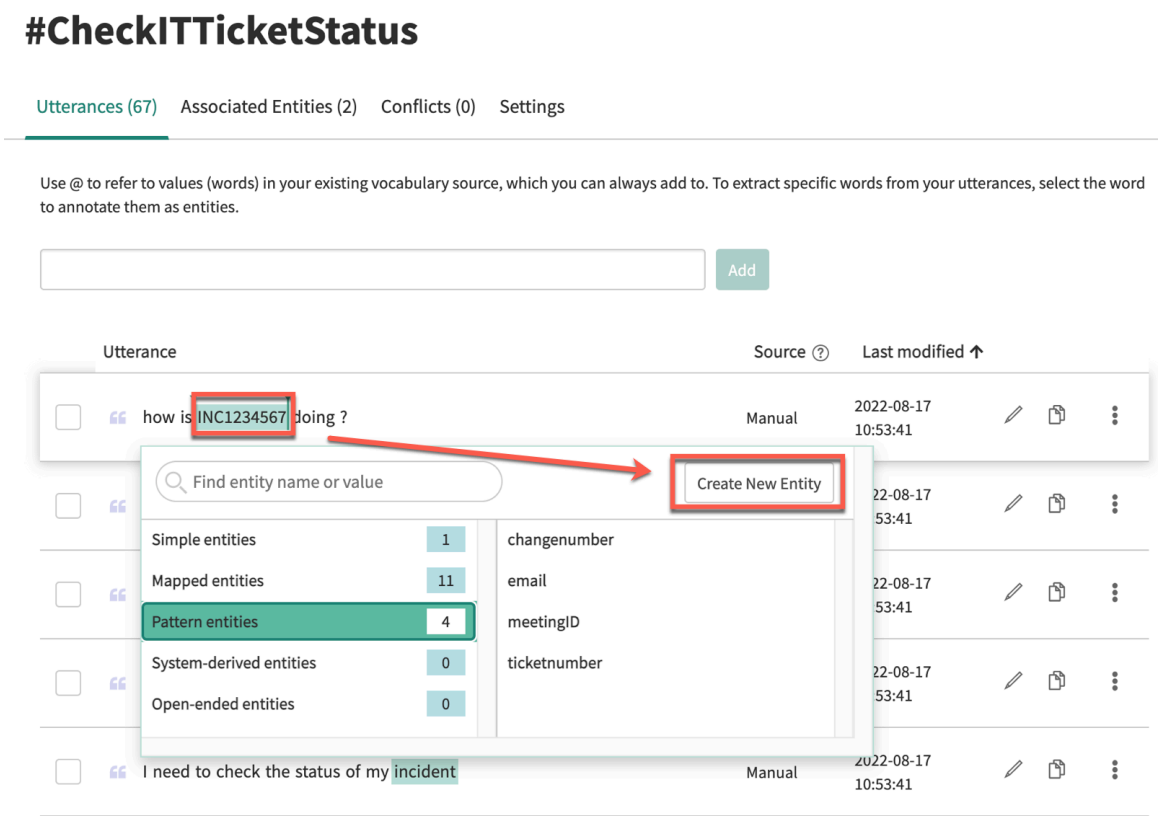
このシナリオ例では、「 #CheckITTicketStatus」というタイトルのインテントを作成しました。この手順例では、インシデントレコード番号のパターンエンティティを作成します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択してから、モデルの名前を選択します。
3. モデルの詳細ページで、 [インテント] を選択します。
4. インテントの名前を選択します。
   この例のシナリオでは、[#CheckITTicketStatus] を選択します。
5. 発言の単語を 1 つ選択します。
   このシナリオでは、[**INC1234567**] をクリックします。

自動翻訳

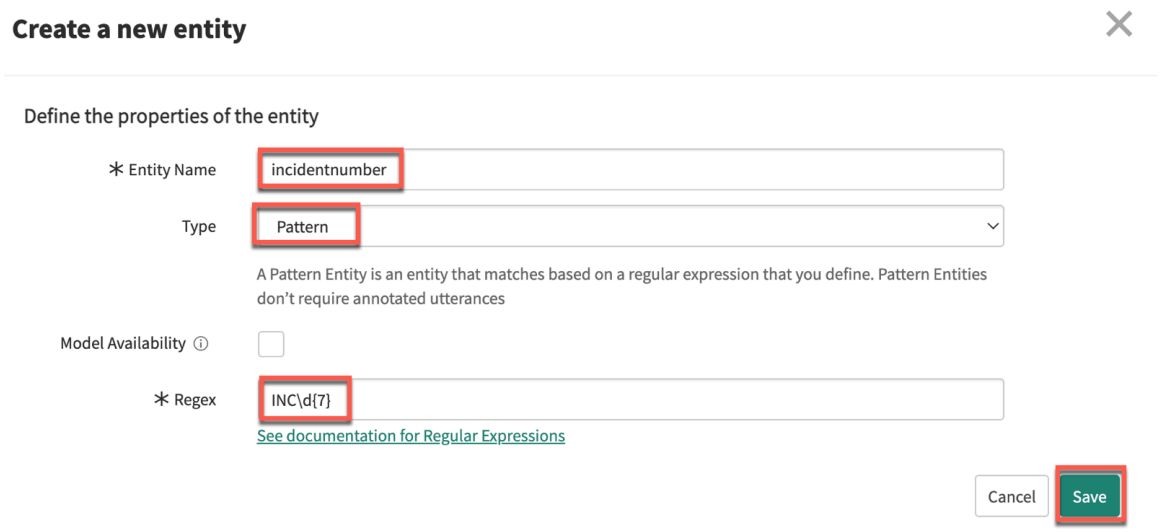
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [新しいエンティティの作成] を選択します。
7. [新しいエンティティを作成] ウィンドウで、フィールドを構成します。

   この手順例では、次の構成を使用します。

   - エンティティ名:`incidentnumber` を入力
   - タイプ:パターンを選択
   - モデルの可用性:このエンティティをモデル内のすべてのインテントに含める場合は、このボックスを選択します
   - 正規表現: `INC\d` と入力します`{7}`



8. **[Save** (保存)] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パターンエンティティ が保存され、[関連エンティティ] タブに表示されます。モデルは、パターンエンティティを使用して、注釈付き発言のバリエーションを解釈できます。たとえば、ユーザーがインシデントレコード番号を入力した場合、モデルは #CheckITTicketStatus インテントと一致させることができます。

システム派生エンティティの作成

日付、時刻、期間、場所などのデフォルトのシステムエンティティから派生したカスタムエンティティを作成します。

始める前に

- 必ず、 NLU ワークベンチ プラグイン、 NLU ワークベンチ - コアプラグイン、 NLU Common Model プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されている。
- 仮想エージェント または AI 検索用のNLUモデルを作成または既存のモデルを使用します。
- インテントを作成するか、既存のインテントを使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin nlu_editorをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて

システムエンティティは、デフォルトで ServiceNow インスタンスにビルド済みで、[モデル] 画面の [エンティティ] セクションに表示されます。DATE、TIME、DATE_TIME などのエンティティは、デフォルトで有効になっています。必要に応じて、[有効化] をクリックすると、これらを無効にしたり再度有効にしたりできます。

システム派生エンティティは 、システムエンティティを拡張し、より多くのコンテキストを提供します。たとえば、システムエンティティ DATE により、モデルはすでに日付形式を理解しています。ただし、 開始日 や 終了日などのシステム派生エンティティを作成して、日付に関するユーザーの発話からより多くの情報を抽出できます。

次のシナリオ例では、フライト、車、ホテル、およびイベントを予約するためのモデルを作成しています。インテント #FlightBooking で、ユーザーのフライト要求を含む発言を解釈する必要があります。モデルにはシステムエンティティ LOCATION が含まれていますが、通常、フライトプランには 2 つの場所が含まれます。

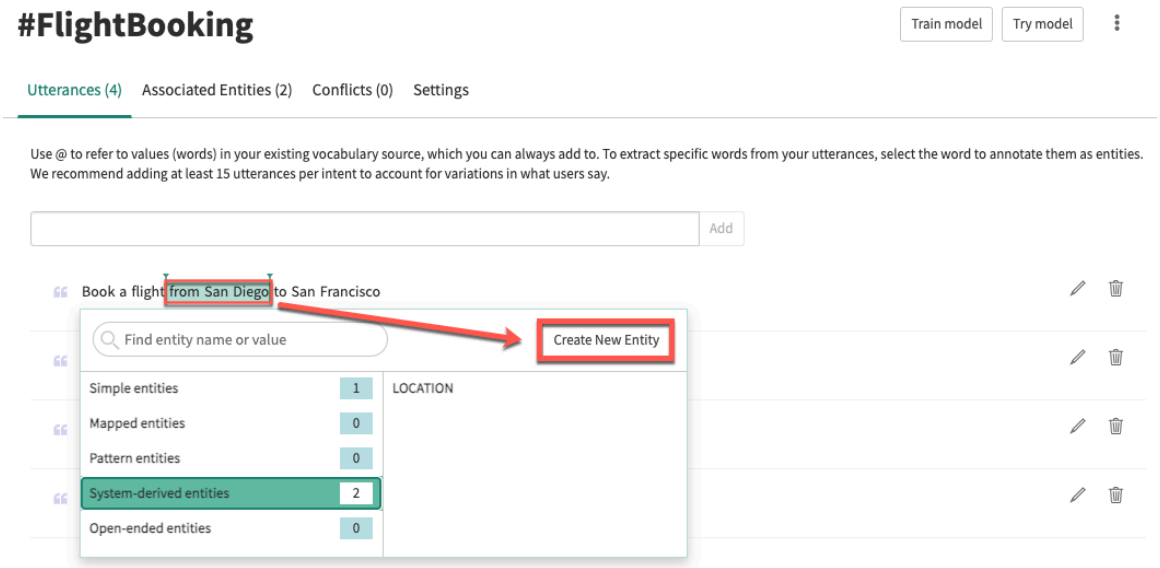
この手順例では、2 つのシステム派生エンティティを作成して、フライトの出発地と到着地を収集します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択してから、モデルの名前を選択します。
3. モデルの詳細ページで、 [インテント] を選択します。
4. インテントの名前を選択します。
   この例では、 **#FlightBooking** インテントを選択します。
5. [発言] タブで、いずれかの発言から単語またはフレーズを選択します。
   このシナリオ例では、 サンディエゴからサンフランシスコへのフライトを予約する発話の例があります。このステップでは、 **San Diego** からクリックします。

自動翻訳

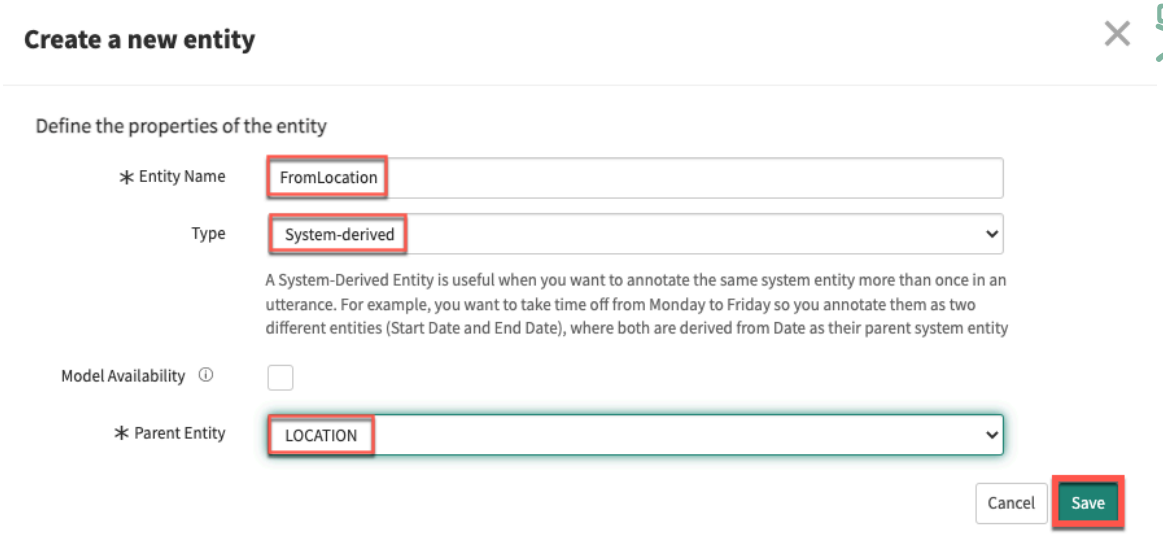
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



6. [新しいエンティティの作成] を選択します。
7. [新しいエンティティを作成] 画面で、フィールドを構成します。

   この例では、次の構成を使用します。

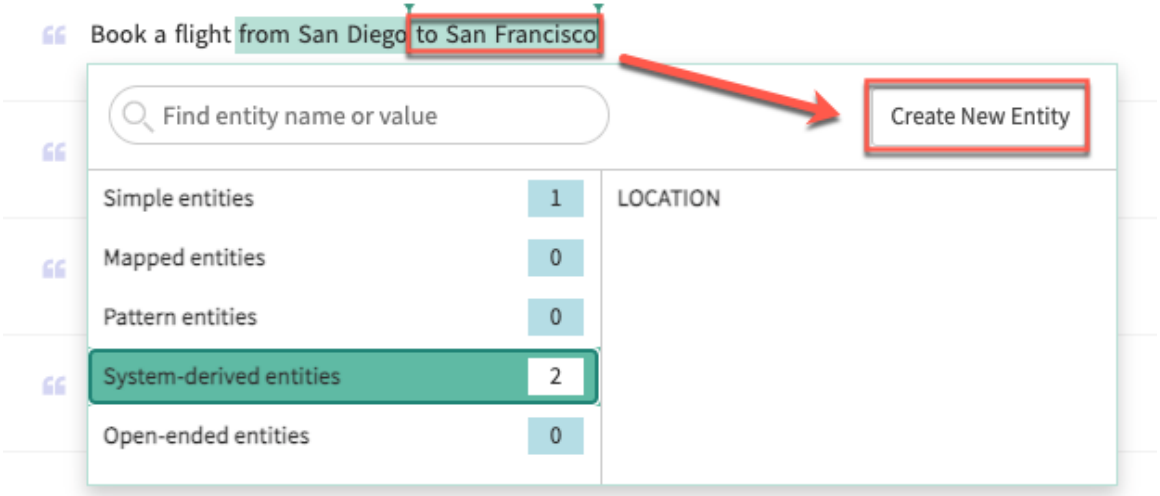
   - エンティティ名:`FromLocation` を入力
   - タイプ:システム派生を選択
   - モデルの可用性:このエンティティをモデル内のすべてのインテントに含める場合は、このチェックボックスをオンにします
   - 親エンティティ:場所を選択



8. [**Save** (保存)] をクリックする。
9. 同じ発言で、別の単語またはフレーズを選択します。
   このシナリオ例では、[サンフランシスコ] をクリックします。

自動翻訳

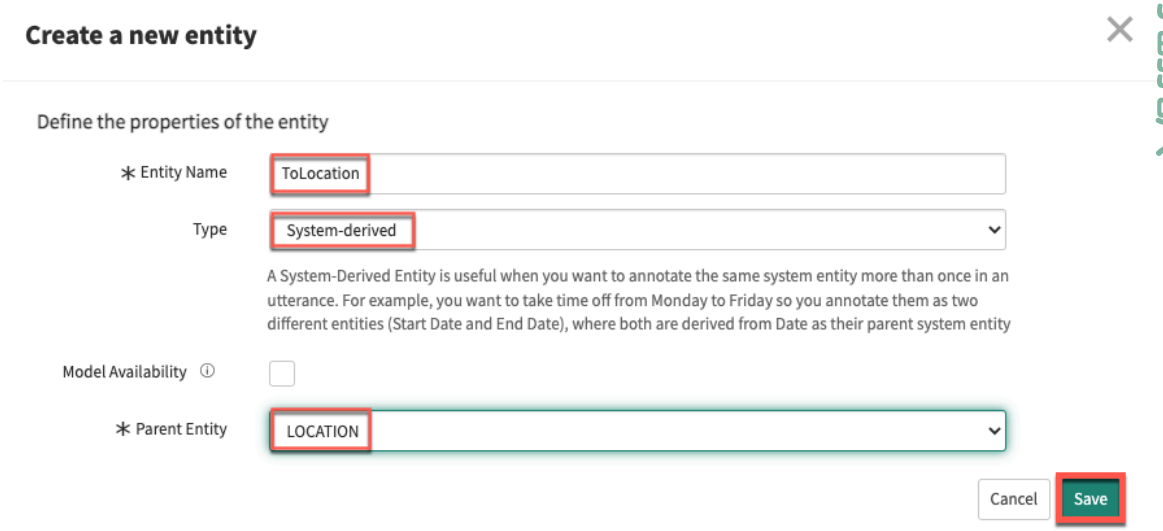
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



10. [新しいエンティティの作成] を選択します。

    この例では、次の構成を使用します。

    - エンティティ名:`ToLocation` と入力
    - タイプ:システム派生を選択
    - モデルの可用性:このエンティティをモデル内のすべてのインテントに含める場合は、このチェックボックスをオンにします
    - 親エンティティ:場所を選択



11. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果： 2 つのシステム派生エンティティがエンティティウィンドウに表示されます。

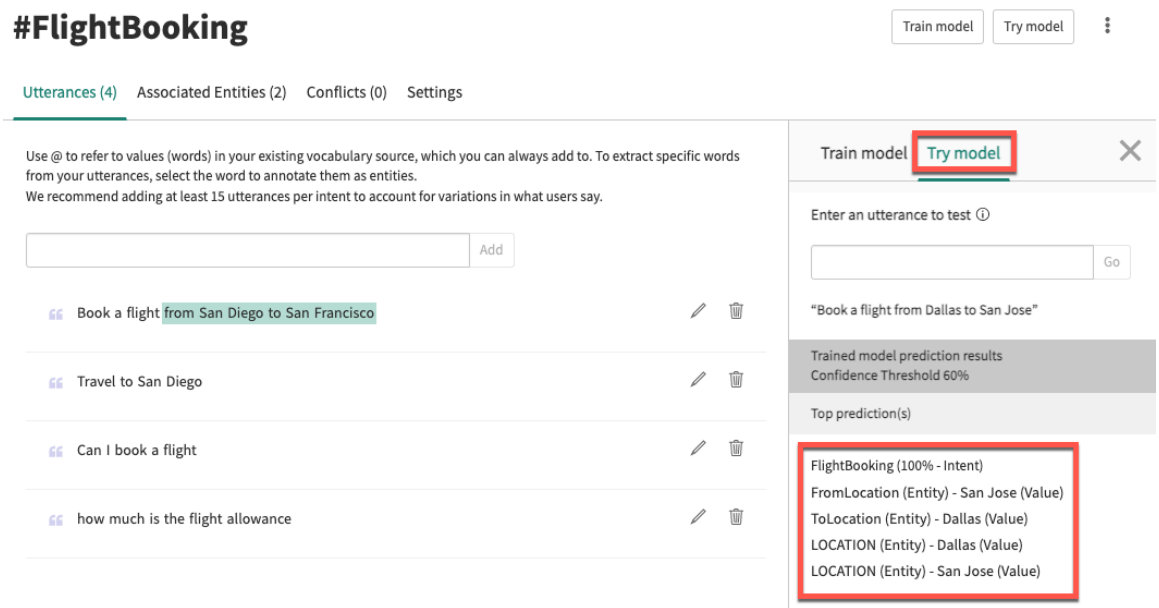


次のタスク
モデルをトレーニングしてエンティティを保存します。モデルを試して、作成したエンティティのバリエーションを認識して解釈するかどうかを確認できます。

この例では、異なる出発地と到着地でモデルをテストできます。

1. [モデルを試す] を選択します。
2. ダラスからサンノゼへのフライトを予約します。
3. [移動 **(Go)**] を選択します。

テストパネルを含むインテントの詳細ページ



モデルはインテントを予測し、値を決定するために使用されたエンティティを示します。予測時にシステムエンティティとシステム派生エンティティの両方がどのように使用されるかに注意してください。

無制限のエンティティを作成する

インテント予測の精度を向上させる場合は、無制限のエンティティを使用します。無制限のエンティティは、モデルが発言のコンテキストに焦点を当てるのに役立ちます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索の NLU モデルを作成または使用します。
- インテントを作成するか、既存のインテントを使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin nlu_editorをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて
無制限のエンティティは 、エンティティ自体ではなくエンティティのコンテキストに焦点を当てるようにモデルに指示します。単語またはフレーズを無期限としてマークすると、システムはエンティティをスキップし、発言のエンティティの前または後のコンテキストからインテントを予測します。

たとえば、「 `iPhone`を注文したい」という発言で、「iPhone」という単語に無制限のエンティティとして注釈を付けます。このモデルはコンテキストに焦点を当て、ユーザーが何かを注文したいと予測します。ユーザーが注文したいものはたくさんあるので、それらすべてに名前を付けることは、モデル作成者にとって耐え難い作業です。

単純なエンティティの代わりに無制限のエンティティを使用すると、モデルがエンティティではなく残りの発言に焦点を合わせるのに役立ちます。iPhone の例では、エンティティ自体の関連性は低くなります。したがって、システムに無視させたいのです。

他のシナリオでは、システムにエンティティを無視させてはならない複数のインテントが存在する可能性があるため、単純なエンティティを使用する必要があります。

> **注:** 語彙ソース (発言の@vocab_sourceによって参照される) をオープンエンドのエンティティとして注釈を付けることはできません。語彙ソースには、単純なエンティティまたはマッピングされたエンティティとしてのみ注釈を付けることができます。たとえば、発言が「ラップトップを注文したい」である場合、「ラップトップ」という単語に無制限のエンティティとして注釈を付けることができます。ただし、発言が「@laptopを注文したい」で、@laptop テーブル語彙ソースまたはリスト語彙ソースを参照している場合、無制限のエンティティとして注釈を付けることはできません。

この例のシナリオでは、ユーザーが会社の商品を注文することを意図した NLU モデルを作成しました。

次の手順例では、発言の 1 つからエンティティを作成して、インスタンス内の他の NLU モデルで無期限で再利用可能であるとシステムが認識できるようにします。

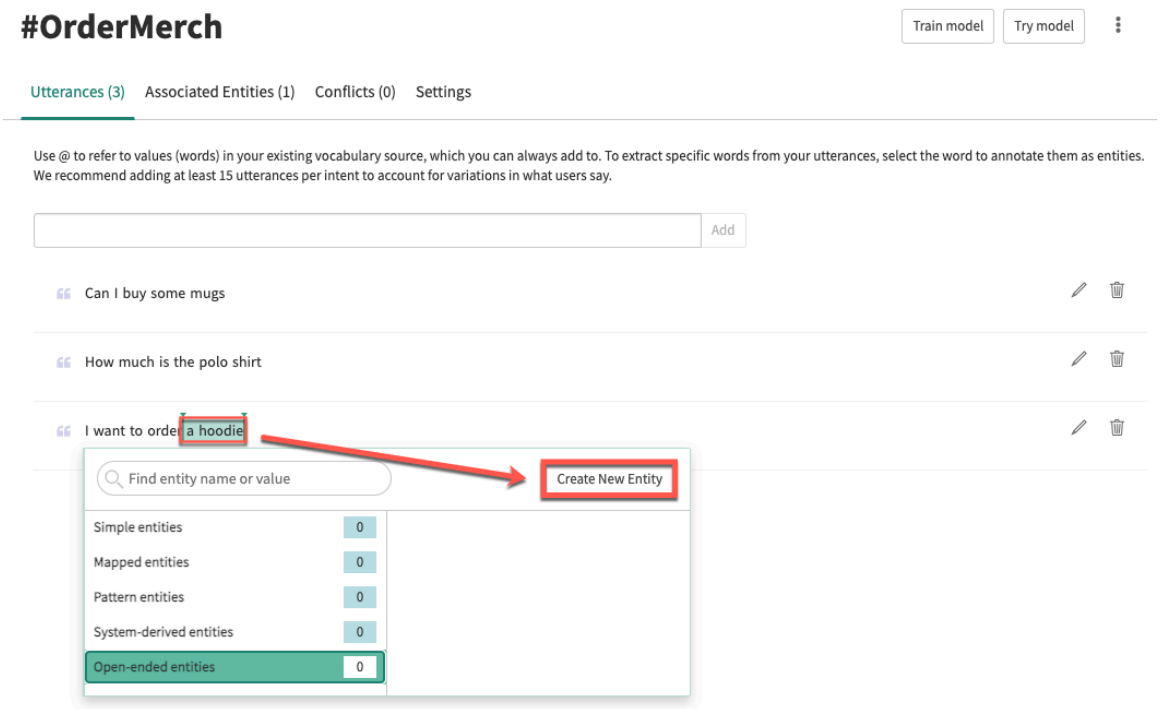
> **注:** 使用できるオープンエンドエンティティは、インテントごとに 1 つだけです。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択し、モデルの名前を選択します。
3. [モデルの詳細] ページで、[インテント] をクリックします。
4. エンティティを追加するインテントの名前を選択します。
   この例では、 #OrderMerch インテントを選択します。
5. [発話] タブで、いずれかの発話の単語またはフレーズを選択して、エンティティウィンドウを表示します。
   この例では、 パーカーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンティティウィンドウ

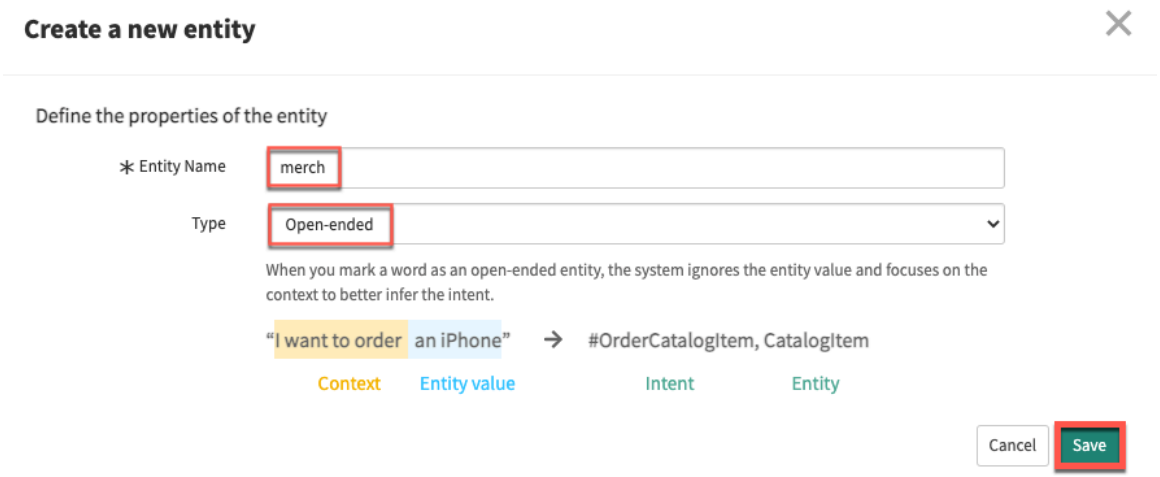


6. [新しいエンティティを作成] を選択します。
7. [新しいエンティティを作成] 画面で、フィールドを構成します。

   この例では、次の構成を使用します。

   - エンティティ名: `merch`
   - タイプ:[無期限] を選択

エンティティを作成



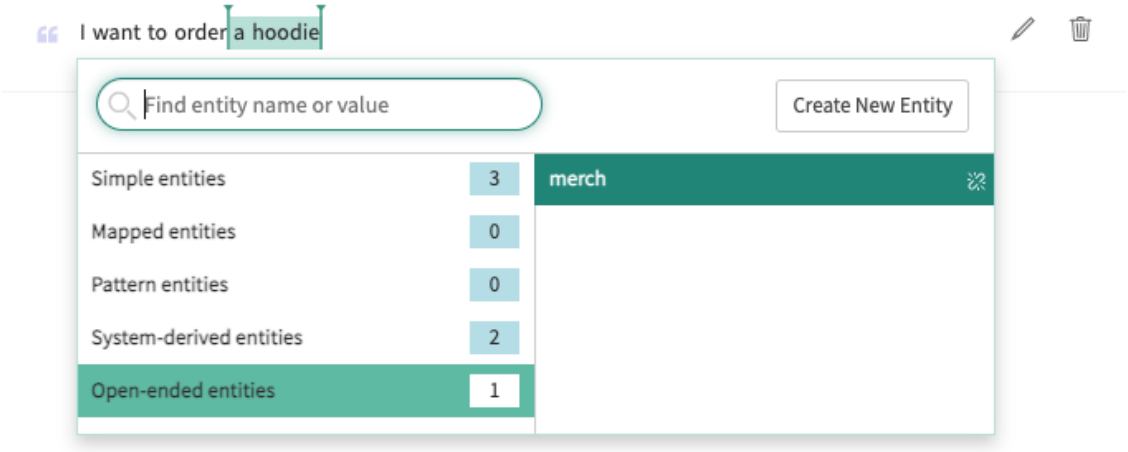
8. [**Save** (保存)] をクリックする。

   マーチャントの無期限エンティティには、モデルのインテント画面の [発話] セクションに注釈が付けられます。その名前をポイントすると、注釈の詳細で新しいエンティティとして保持されてい

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

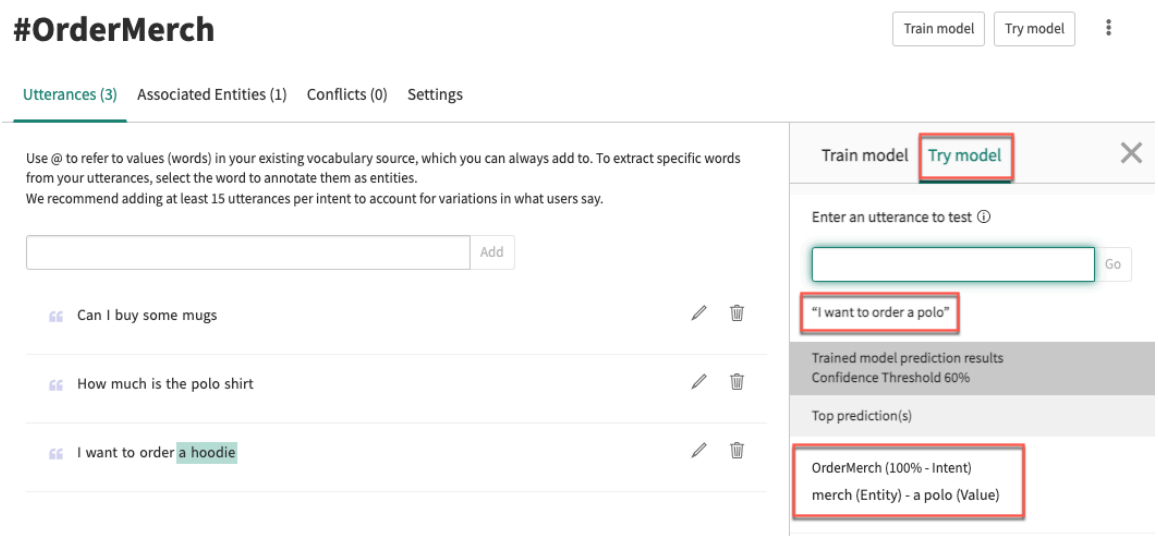
ることがわかります。このエンティティは、インスタンス内の他のすべての NLU モデルで再利用できます。



次のタスク
モデルをトレーニングしてエンティティを保存します。モデルを試して、エンティティ自体ではなく、エンティティのコンテキストに基づいて発言が解釈されるかどうかを確認できます。

この例では、別の商品アイテムでモデルをテストできます。

1. [モデルを試す] を選択します。
2. 「ポロを注文したい」と入力します。
3. [移動 **(Go)**] を選択します。



モデルはインテントを予測し、ポロの値に商品エンティティを使用したことを示します。

エンティティのインポート

作成したエンティティを他の 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルで再利用します。エンティティをインポートすると、時間が節約され、モデルのインテントが改善されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 既存の NLU モデルを作成または使用します。
- インテントとエンティティを作成するか、既存のものを使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin nlu_editorをモデルに割り当てる必要があります。

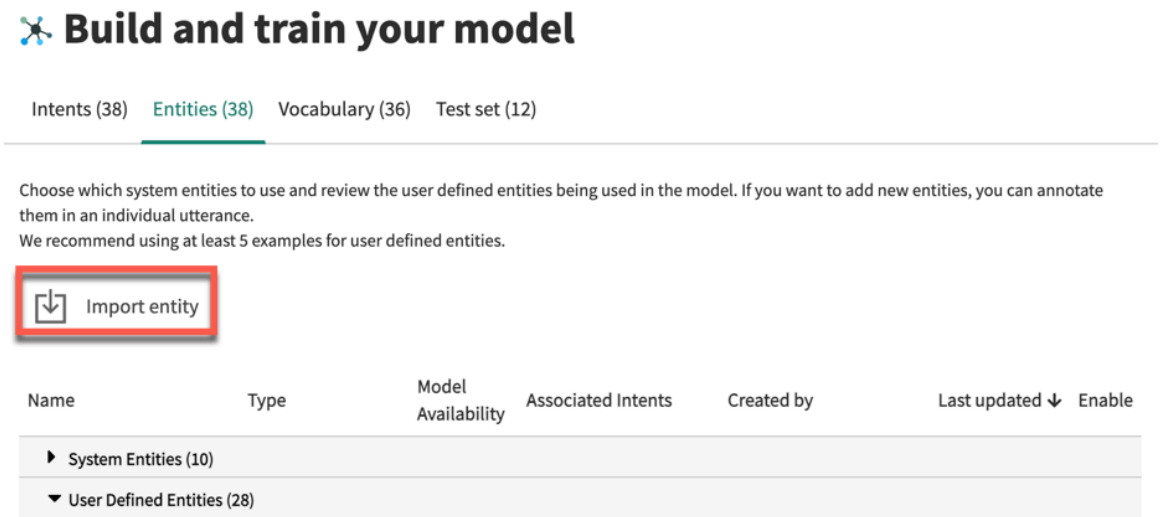
このタスクについて
通常、新しいエンティティは個々のインテント内に作成されます。時間を節約し、インテントを改善するために、他のモデルのエンティティをインポートして再利用することもできます。エンティティをモデルにインポートした後、新しいエンティティを使用してモデルの発言に注釈を付けます。

注: すべてのモデルには、デフォルトで複数のシステムエンティティが含まれています。

この手順例では、複数のエンティティを新しいモデルにインポートします。

手順

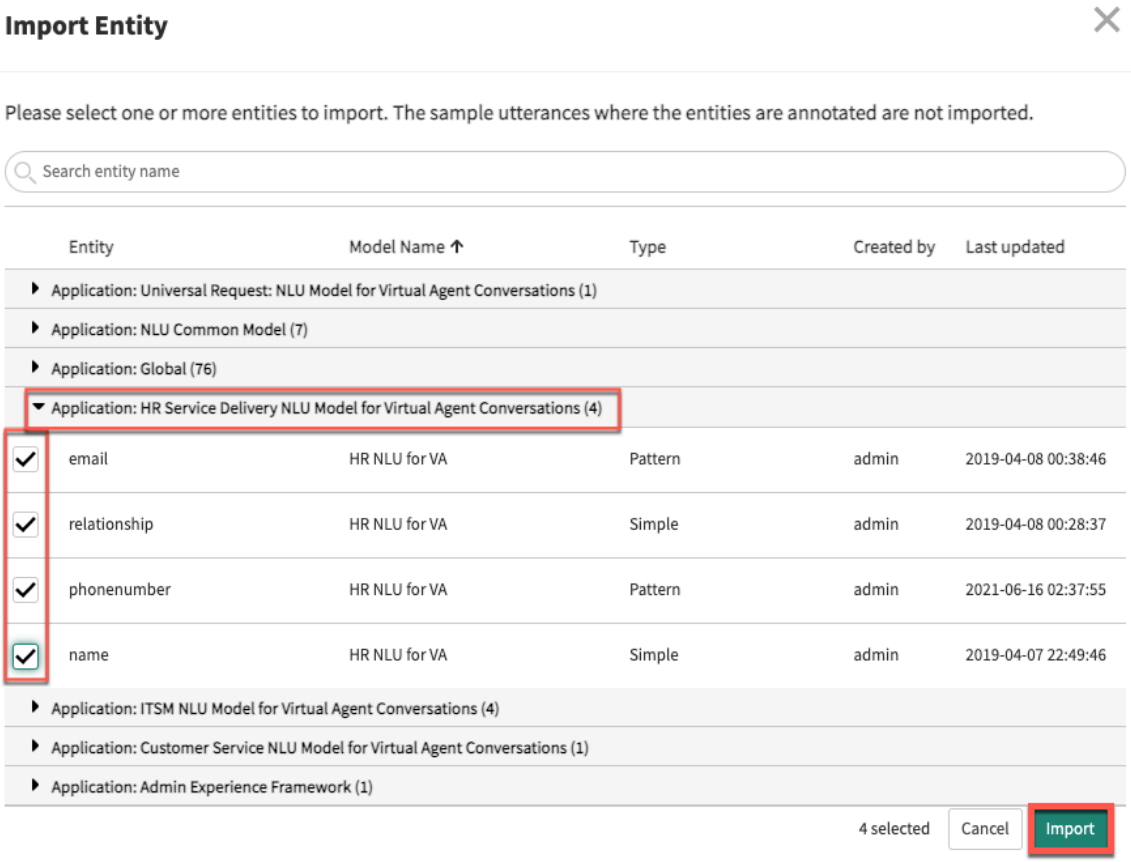
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、エンティティを追加するモデルの名前を選択します。
3. [モデルの構築とトレーニング] フェーズで、[エンティティ] タブを選択します。
4. [エンティティのインポート] を選択します。



5. [Import Entity] ウィンドウで、インポートするエンティティを選択します。
   この例では、[アプリケーション:仮想エージェント会話用の HR サービスデリバリ (HRSD) NLU Model] のドロップダウン矢印をクリックします。4 つのエンティティを選択します。

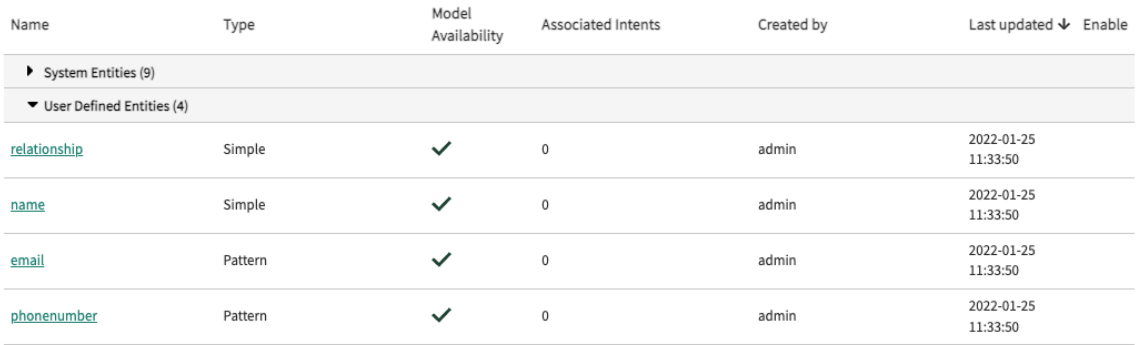
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



> **注:** エンティティをインポートしても、それらのエンティティに注釈が付けられている発言はインポートされません。新しくインポートされたエンティティを使用して現在のモデルの発言に注釈を付け、モデルを再トレーニングする必要があります。

6. [インポート] をクリックします。
   選択したエンティティがモデルにインポートされます。エンティティは、[エンティティ] タブの [ユーザー定義エンティティ] の下に表示されます。デフォルトでは、モデル内のすべてのインテントがエンティティを使用できるように、 モデルの可用性 が有効になります。



次のタスク
インポートされたエンティティを使用して、モデルの発言に注釈を付けます。モデルをトレーニングして変更を保存します。

関連情報

NLUインテントのインポート

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンティティでの正規表現の使用

NLUエンティティで正規表現を使用して、システムがテキストを検索、照合、管理するのに役立つパターンを確立する方法について説明します。

パターンエンティティは、正規表現 (regex) を使用して、メールアドレス、電話番号、インシデントやケース ID の形式など、任意のパターンのテキストに一致させます。

注: ServiceNow は Java 正規表現のみを使用してサポートし、Perl 正規表現などの他のベンダーオプションはサポートしません。

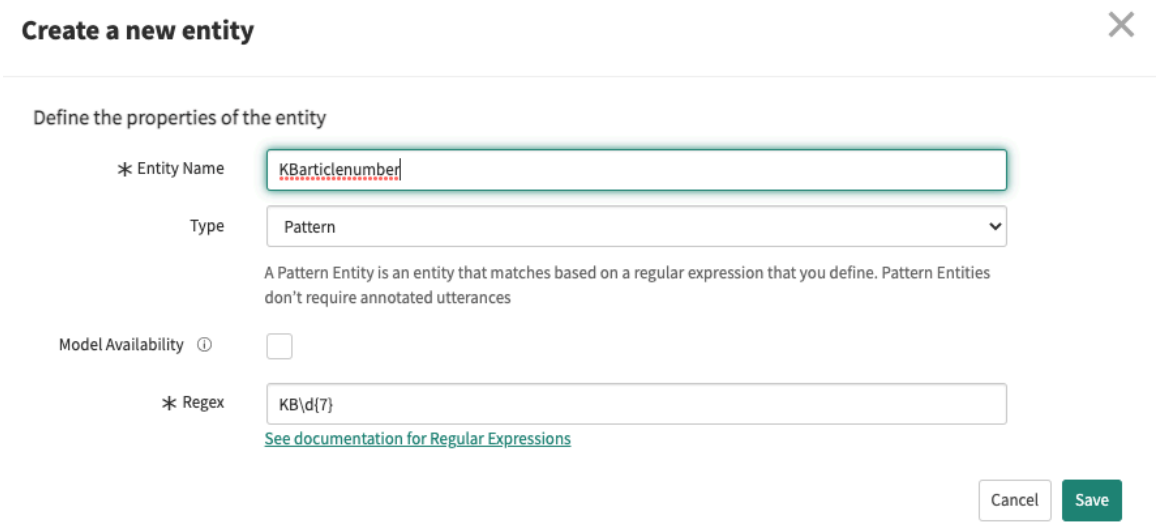
正規表現の例

パターンエンティティで使用される正規表現コードの完全な例については、「パターンエンティティの作成」を参照してください。

次の 4 つの例は、さまざまなパターンエンティティの形式と正規表現コードを示しています。

ナレッジベース記事

ServiceNow ナレッジベース (KB) 記事では、 形式 KB1234567 が使用されます。正規表現コードは KB\d{7} で、 KB = ナレッジベースレコード、 d{7} = 7 桁です。

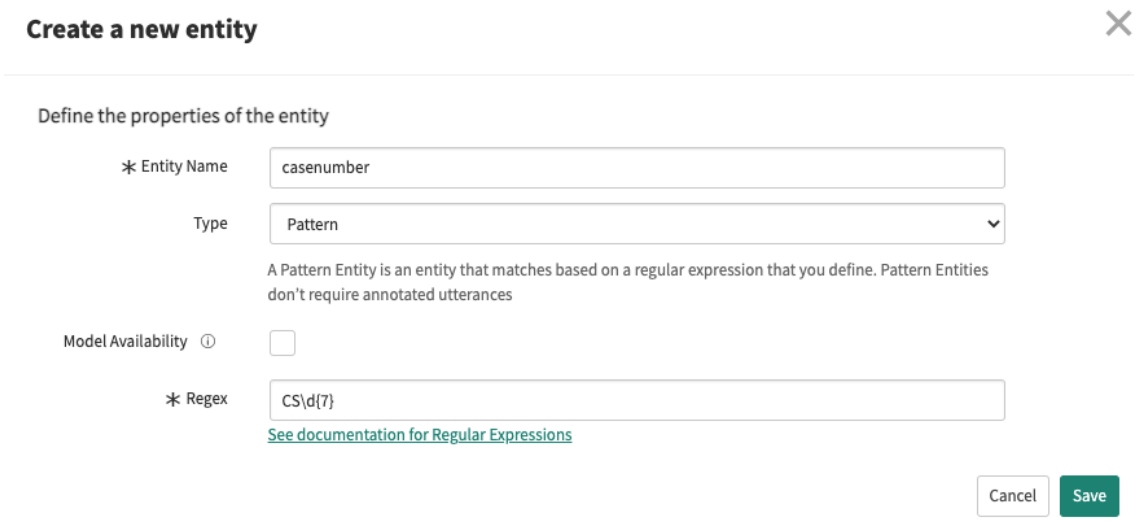


ケース番号

ケースタスクは形式 CS1234567 を使用します。正規表現コードは CS\d です。 ここで {7}CS = ケースレコード、 d{7} = 7 桁です。

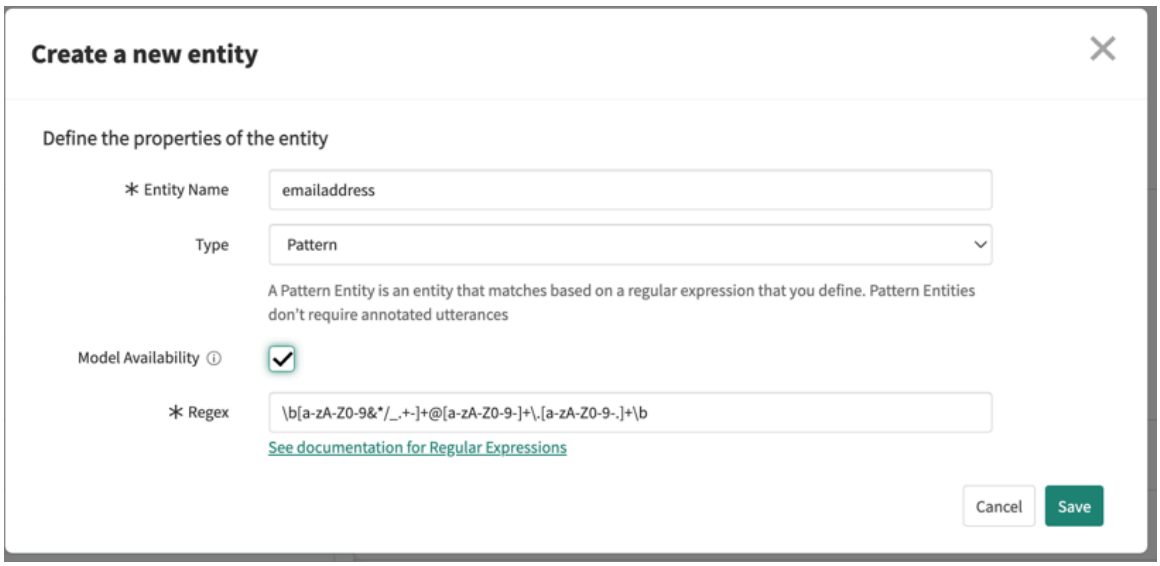
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



メールアドレス

メールアドレスの形式は name@servicenow.com です。正規表現コードは \b[a-zA-Z0-9&*/_.+-]+@[a-zA-Z0-9-]+\.[a-zA-Z0-9-.]+\b は、 name@servicenow.com と name@servicenow.co.in の形式をサポートします。

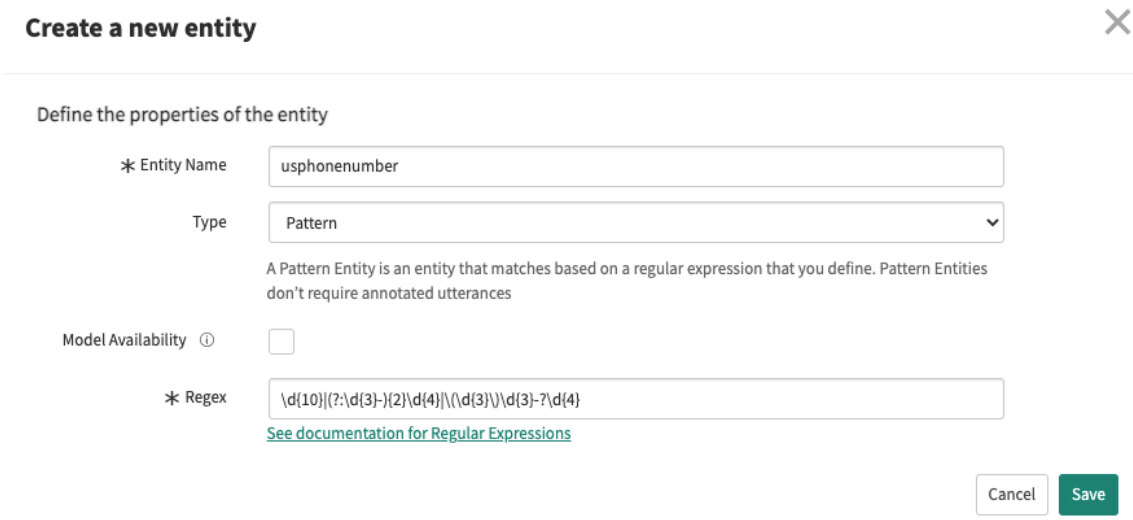


電話番号

米国の電話番号は、 555-123-4567 という形式を使用します。正規表現コードは \d{10}|(?:\d{3}-){2}\d{4}|\(\d{3}\)\d{3}-?\d{4} で、5108882062,510-888-2062 および (510)888-2062 の形式をサポートしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



正規表現リソース

正規表現の詳細については、次の外部リンクを参照してください。

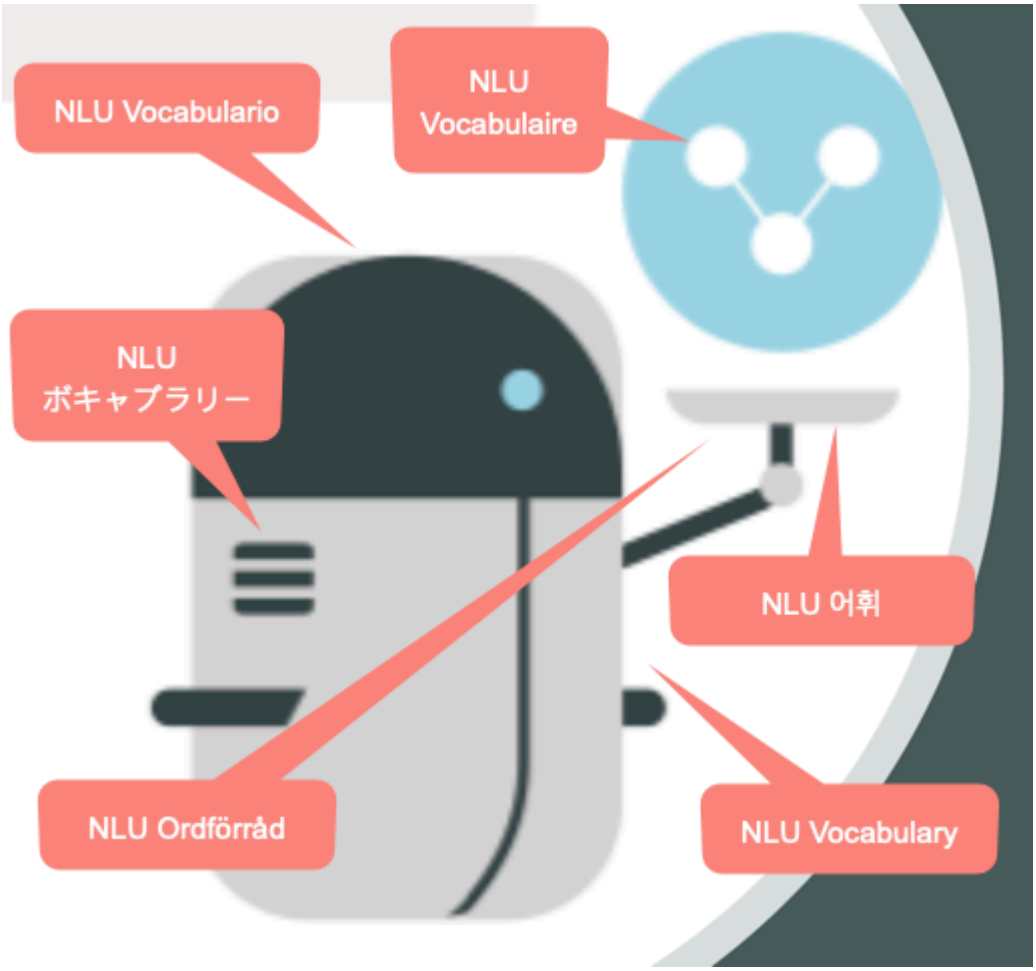
- Java 正規表現
- Java 正規表現テスター
- パターン (Java プラットフォーム SE7)
- Java 正規表現一致の省略形

NLU 語彙

NLU語彙アイテムを使用して、ユーザーが要求を表現するさまざまな方法をシステムが認識できるようにします。語彙ソースを使用すると、会議室の名前やカタログアイテムなど、テーブルまたはリスト内のオブジェクトがシステムで認識できるようになります。

自動翻訳

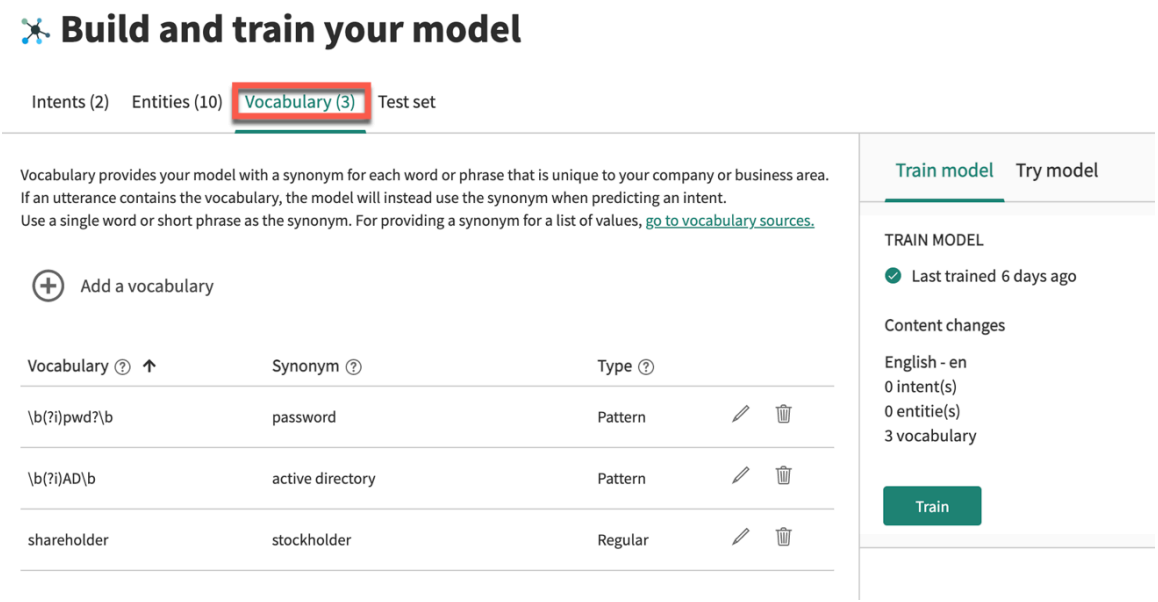
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



語彙の用法とコンテキスト

語彙は、ユーザーが遭遇する可能性のあるさまざまな単語やフレーズをモデルが処理するのに役立ちます。人間はコンピュータではないので、同じことを言うために異なる方法を思いつくかもしれません。たとえば、1 人のユーザーがフレーズ全体ではなく頭字語を入力した場合、システムは発言のコンテキストを使用して正しいインテントを予測できる可能性があります。ただし、語彙アイテムで頭字語を定義することで、インテントを正しく予測するためのモデルの信頼性レベルと機能が向上します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



語彙アイテムには、発言に現れる可能性のあるさまざまな単語やフレーズが含まれます。語彙アイテムは、インテント予測のために、指定した同義語にマッピングされます。これにより、システムはユーザーが要求を表現するさまざまな方法を認識すると同時に、予測の一貫性、信頼性、および正確性を確保できます。

語彙アイテムタイプ

NLU には、語彙アイテムの作成と設定に使用できる次の語彙タイプが用意されています。

タイプ	定義
正規	ビジネスまたは業界固有の用語や頭字語など、一般的に知られていない単語またはフレーズ。通常の語彙では大文字と小文字が区別されないため、すべての大文字と小文字のバリエーションは、作成した語彙によってキャプチャされます。 「通常の語彙アイテムの作成」を参照してください。
パターン	メールアドレスや電話番号などの特定の形式をキャプチャできる正規表現 (regex)。 「パターン語彙アイテムの作成」を参照してください。

語彙ソース

語彙ソースを使用して、ユーザーが要求する可能性のあるさまざまなオブジェクトをカバーすることもできます。語彙項目と語彙ソースは、その使用法が異なります。

- モデルが使用する単一の同義語に簡単にマッピングできる個々の単語、フレーズ、またはパターンの語彙アイテムを使用します。
- 語彙ソースを使用して ServiceNow テーブルまたはリストを参照し、すべての値を定義した単一の同義語で置き換えることができます。語彙ソースは、すべての NLU モデルで再利用できます。

ユーザーの発言がセット内のオブジェクトを参照する場合は、語彙ソースを使用します。ソースは、ServiceNow テーブルの値のリスト、またはカタログアイテムのリストや会議室のリストなど、定義

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

した静的リストから参照できます。これらのソースを作成して保存したら、@ 記号を使用してトレーニング発言で指定できます。これらのソースをエンティティ値として使用することもできます。

たとえば、オフィスのすべての会議室のリストが既にあるとします。インテントのトレーニング発話に各会議室名を入力する代わりに、そのリストを参照する語彙ソースを作成できます。

語彙ソースを作成するには、「テーブル語彙ソースの作成」と「リスト語彙ソースの作成」を参照してください。

インテントに関連する語彙の使用

インテントが発話の例の語彙とやり取りする方法の例を次に示します。

注: NLU 語彙では、同義語が発話に表示される語彙に置き換わります。

目的:OrderSoftware

発言	問題および解決策
「sfcrm にアクセスする必要があります」	• 問題:システムが頭字語 SFCRM を認識しないため、インテントを正確に予測できません。 • 解決策: sfcrm を通常の語彙アイテムとして追加し、 CRM ソフトウェアなどの同義語を指定します。
「Word をインストールする必要があります」	• 問題: この用語 は非常に一般的であり、必ずしもソフトウェア製品を示すものではありません。インストールという用語は有用なコンテキストを提供する可能性がありますが、信頼スコアが低すぎて OrderSoftware インテントを予測できない場合があります。 • 解決方法 : 大文字の Word の正規表現を使用してパターン語彙アイテムを作成し、システムがソフトウェア製品として認識できるようにします。この追加の制約により、 OrderSoftware インテントが予測される可能性が高くなります。 **注:** 仮想エージェントの会話トピックで使用する特定のソフトウェア名を抽出するには、発言のエンティティとして注釈を付けます。

最良の結果を得るには、単一の単語または短いフレーズを同義語として使用します。複数の語彙アイテムを 1 つの同義語にマッピングできます。1 つの語彙アイテムを複数の同義語にマッピングしないでください。

詳細なコンテキストと例については、「NLU インテントの作成」を参照してください。

パターン語彙アイテムの正規表現の例

語彙アイテムを使用して頭字語 IT を識別し、それを同義語 の情報技術にマッピングするとします。

通常の語彙アイテムでは、デフォルトで大文字と小文字が区別されません。これは、通常の語彙項目が頭字語 IT と一般的な単語 it の両方と一致することを意味します。そこで、パターン語彙アイテムを使用することにしました。

使用できる正規表現パターンは `\bIT\b` です。`\b` は単語境界マーカーです。これにより、パターンが ITSM または JIT などと一致しなくなります。パターン語彙アイテムのデフォルトの大文字と小文字の区別は、 `\bIT\b` が一般語 it と一致しないことを意味します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

正規表現の詳細: `(?i)` を使用して、パターンの大文字と小文字の区別をオフにすることができます。`(?-i)` のようにマイナス記号を使用して、そのモードを終了できます。たとえば、`(?i)te(?-i)st` は test と TEst の両方に一致する必要がありますが、 teST または TEST には一致しません。

詳細については、「エンティティでの正規表現の使用」を参照してください。

関連情報

NLU インテントの作成

通常の語彙アイテムの作成

ユーザーが使用する可能性がある単語またはフレーズを追加し、その語彙アイテムを同義語と照合します。モデルは、インテント予測時に同義語を使用します。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索の NLU モデルを作成または使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin エディターをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて

通常の語彙アイテムは、ユーザーが発言で使用する可能性のある単語またはフレーズの同義語をモデルに提供します。モデルでは、インテントを予測するときに同義語を使用して語彙を置き換えます。可能な場合は、同義語に単一の単語を使用します。

通常の語彙アイテムでは、デフォルトで大文字と小文字が区別されません。大文字と小文字を区別する語彙アイテムを作成する必要がある場合は、パターン語彙アイテムを使用します。詳細については、「パターン語彙アイテムの作成」を参照してください。

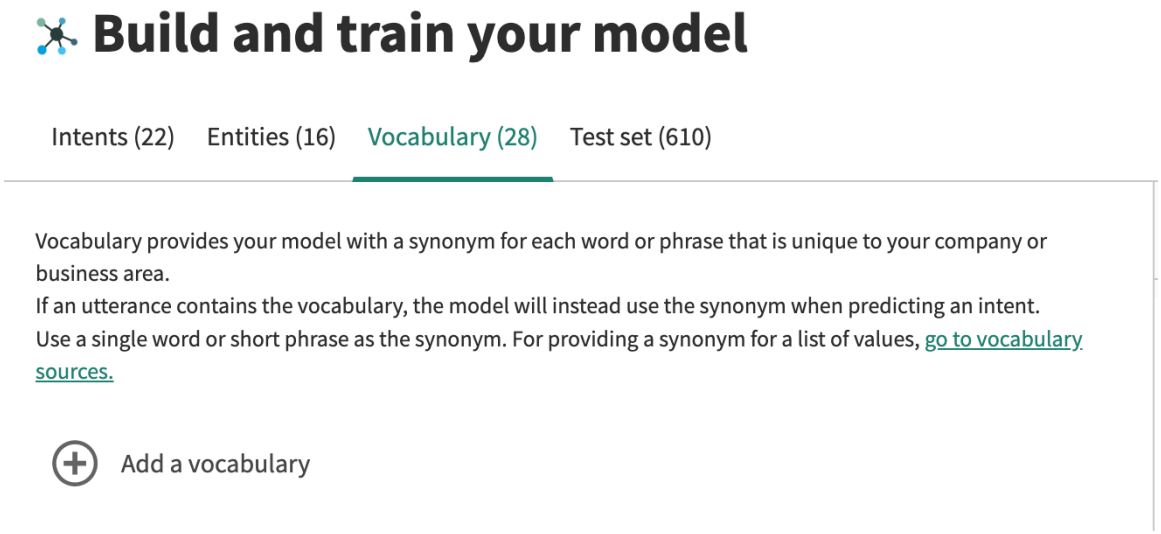
注: モデルと同じ言語でよく使われる単語である同義語を選択します。

この例のシナリオでは、 認証情報という単語の語彙アイテムを追加します。ユーザーが 認証情報 を使用して パスワードを参照できるとします。語彙アイテムを作成することで、「 認証情報のリセット」などの発言のインテントがシステムによって正しく予測されるようにすることができます。

手順

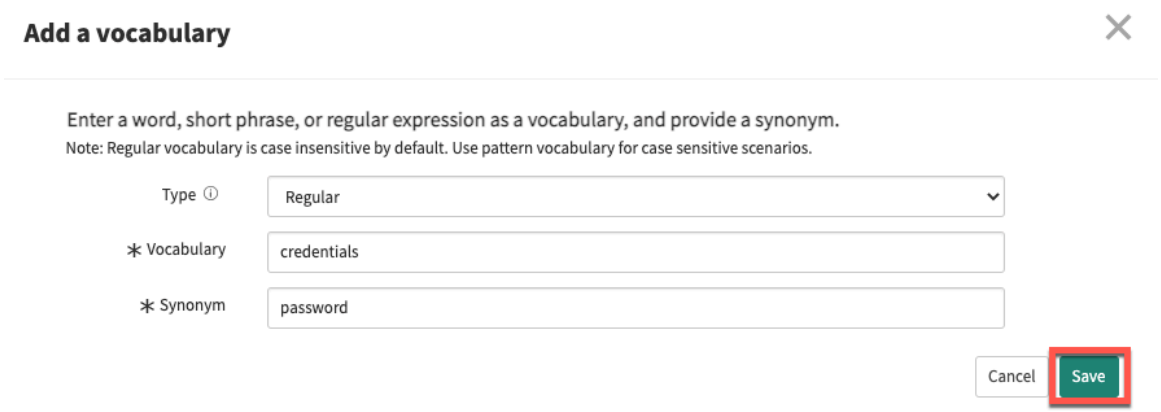
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、モデルの名前を選択します。
3. モデル概要の [モデルの詳細] タブで、[語彙] カードを選択します。
4. [語彙] タブで、[語彙の追加] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [語彙を追加] ウィンドウで、[タイプ] として [標準] を選択します。
6. ユーザーが使用する可能性がある語彙またはフレーズを追加し、モデルがインテント予測に使用する同義語を追加します。

   この手順例では、 認証情報 を語彙として、 パスワードを 同義語として追加します。



7. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
新しい語彙アイテムを展開するには、モデルを再度トレーニングして公開します。

語彙アイテムを追加して、モデルの範囲と精度を向上させます。

パターン語彙アイテムの作成

正規表現 (regex) エンコーディングを使用して、メールアドレス、電話番号、レコードの命名規則などの語彙アイテムのパターン形式を確立します。インスタンス内の語彙データに対して独自のパターンを作成できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索の NLU モデルを作成または使用します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin エディターをモデルに割り当てる必要があります。

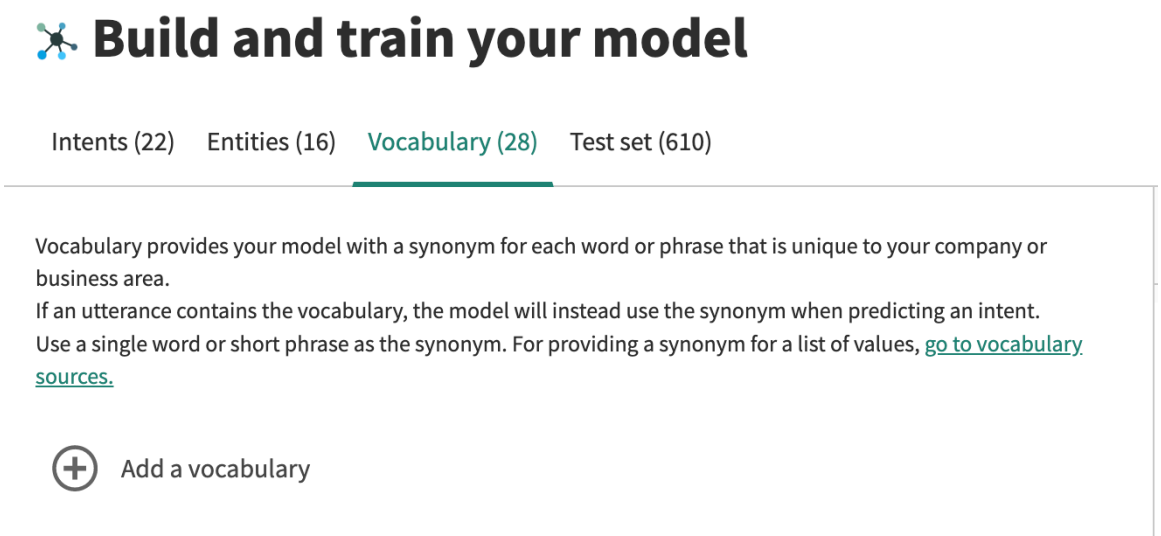
このタスクについて
パターン語彙アイテムは、正規表現 (regex) を使用して、ユーザーの発言に含まれる単語やフレーズのバリエーションを検索します。パターンは、これらのバリエーションを指定した同義語にマッピングします。同義語はインテント予測時に使用されます。

このシナリオ例では、認証に関連する要求の NLU 仮想エージェント モデルを作成しました。マルチファクター認証を参照する場合、ユーザーは「MFA」、「MFA」、または「MFA 認証」を使用することがよくあります。これらのバリエーションをカバーするパターンを指定できます。これらは、インテントを予測するときに、一致する同義語 のマルチファクター認証 に置き換えられます。

正規表現の詳細については、 エンティティでの正規表現の使用 を参照してください。

手順

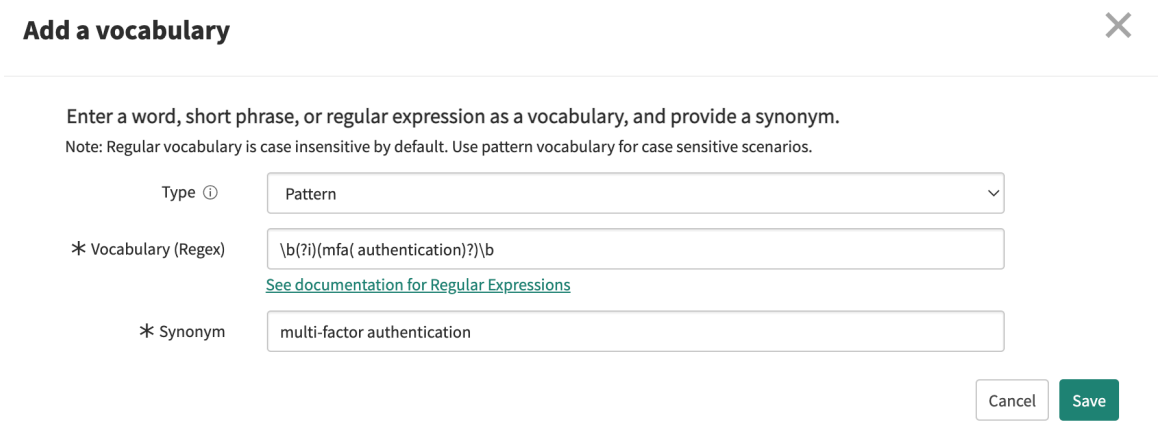
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、モデルの名前を選択します。
3. [モデルの詳細] タブで、[語彙] カードを選択します。
4. [語彙を追加] をクリックします。



5. [語彙を追加] ウィンドウの [タイプ] フィールドで、[パターン] を選択します。
6. ユーザーの発言に含まれる単語やフレーズをカバーする正規表現と、モデルがインテントを予測するために使用する同義語を追加します。
   この例では、正規表現は「mfa 認証」のいくつかのバリエーションをカバーしています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. **[Save** (保存)] をクリックします。

   結果： パターン語彙アイテムは、[モデル] 画面の [語彙] セクションに表示されます。この例では、ユーザーの発言にいずれかのスペルバリエーションが含まれるたびに、システムはその意味をマルチファクター認証として認識します。

関連情報

NLU 語彙

エンティティでの正規表現の使用

リスト語彙ソースの作成

語彙ソースとして機能する単語またはフレーズのリストを作成します。ユーザーの発言で検出された場合、リストソースの値は同義語に置き換えられます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 必要なロール:admin、nlu_admin、または nlu_editor

このタスクについて

リスト語彙ソースを作成すると、ユーザーの発言にリストが表示された場合に、リストのすべての代替値と実際の値をモデルが解釈できるようになります。モデルは、これらの値をインテントを予測するときに指定した同義語として解釈します。

> **注:** インテントの予測では、指定した同義語によって値が置き換えられます。エンティティ予測中に、実際の値または代替値の 1 つが発言で検出された場合、実際の値がエンティティとして使用されます。

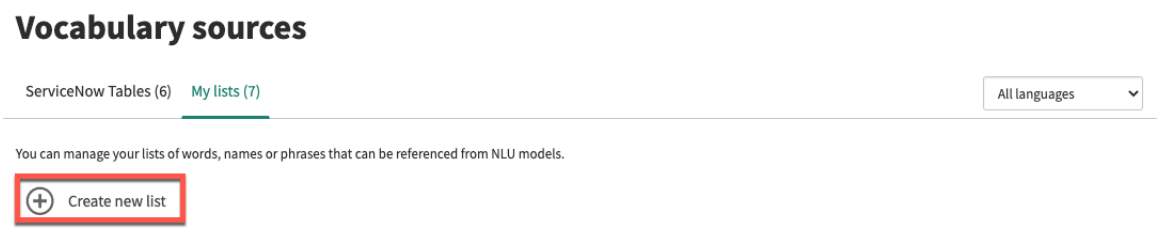
この手順例では、会社の会議室のリスト語彙ソースを作成します。ルームの名前と、ユーザーがルームと呼ぶ可能性のある代替名を追加します。リストを作成したら、モデルのインテントの発言に追加します。モデルはインテントを解釈し (例:#BookMeetingRoom)、ユーザーがエンティティとして入力した名前 (例:エベレスト) を使用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > 語彙ソース.
2. [自分のリスト] タブをクリックします。
3. [新しいリストを作成] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

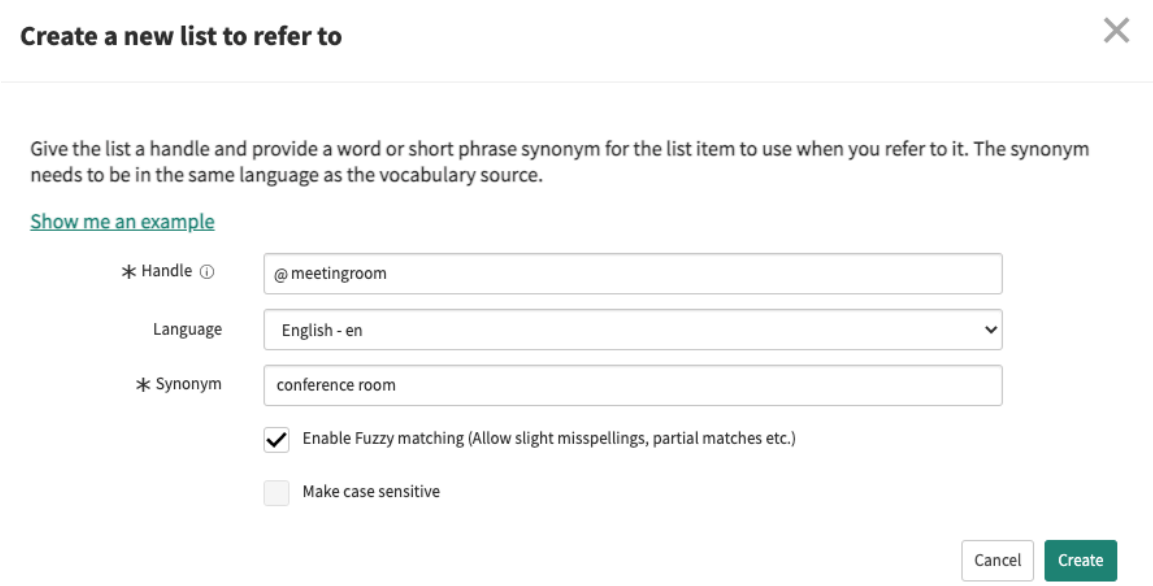


4. [参照する新しいリストを作成] ウィンドウで、フィールドを構成します。

フィールド	説明
ハンドル	語彙ソースの名前。発言で参照するために使用されます。
言語	語彙ソースの言語。同義語は同じ言語である必要があります。
同義語	モデルがインテント予測中に使用する単語またはフレーズ。モデルと同じ言語でよく使われる単語を選択します。
あいまい一致を有効にする	ユーザーの発話にわずかなスペルミスがある場合にリストのアイテムを一致させる場合は、このボックスをオンにします。
大文字と小文字を区別	リストの値を大文字と小文字を区別するには、このボックスをオンにします。間違ったケースを含む発言は一致しません。

この例では、次の構成を使用します。

- ハンドル: `@meetingroom`
- 言語: `English - en`
- 同義語: 会議室
- あいまい一致を有効にする:ボックスを選択します。
- 大文字と小文字を区別:ボックスをオフのままにします。

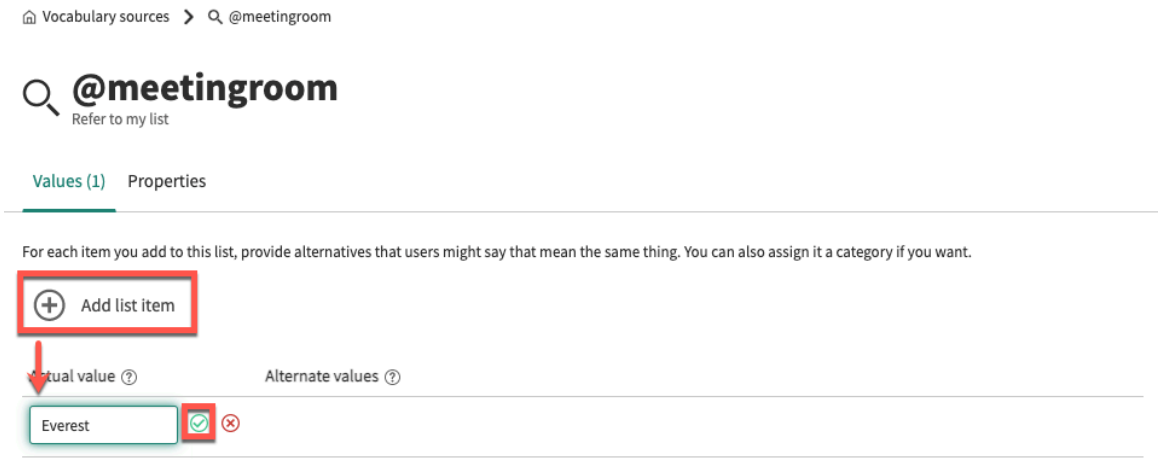


5. [作成] をクリックします。
リストの語彙ソースのドラフトが、[語彙ソース] 画面の [自分のリスト] セクションに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. リスト語彙ソースの名前をクリックします。
7. [リストアイテムを追加] をクリックします。
8. リストの値を入力し、緑色のチェックマークをクリックします。



この例では、「`Everest`」と入力します。

9. [代替値] の下の領域をダブルクリックして、カンマで区切って代替を追加します。



10. リスト語彙ソースを利用できるようにモデルをトレーニングします。

次のタスク
残りの休憩室名と代替案を追加します。

リスト語彙ソースを更新した後、モデルを再トレーニングする必要があります。詳細については、「NLU モデルをトレーニングして試す」を参照してください。

これにより、トレーニング発言に注釈を付けるときに、リスト語彙ソースを使用できます。ハンドル付きの @ 記号を使用して、この語彙ソースを参照します。

テーブル語彙ソースの作成

ServiceNowテーブルの値を語彙ソースとして使用します。自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルは、指定された同義語を使用して、テーブルの選択されたソースフィールドの値を含む発言を解釈します。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 必要なロール:admin または nlu_admin

このタスクについて
語彙ソースとして使用する ServiceNow テーブルを追加します。テーブルの 1 つ以上のソースフィールドを選択します。次に、テーブルの値を含む発言を解釈するときにモデルが使用する同義語を指定します。参照フィールドはソースフィールドとしてサポートされていないことに注意してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル語彙ソースを作成して同期すると、インスタンス内のテーブルから値が抽出され、語彙ソースが NLU サービスに作成されます。NLUサービスの詳細については、「NLU サービスの更新」を参照してください。

> **注:** 同じテーブルとフィールドを参照する複数の語彙ソースを作成しないでください。モデルで参照する特定のテーブルとフィールドに対して、語彙ソースを 1 つだけ作成します (同義語を指定します)。そうしないと、モデルに混乱が生じ、予測品質が妨げられます。

この手順例では、モデルが場所を含む発言を解釈できるようにします。ServiceNow場所 (cmn_location) テーブルには、重要な場所に関する情報が既に含まれています。語彙ソースとして使用する場所テーブルを設定します。

手順

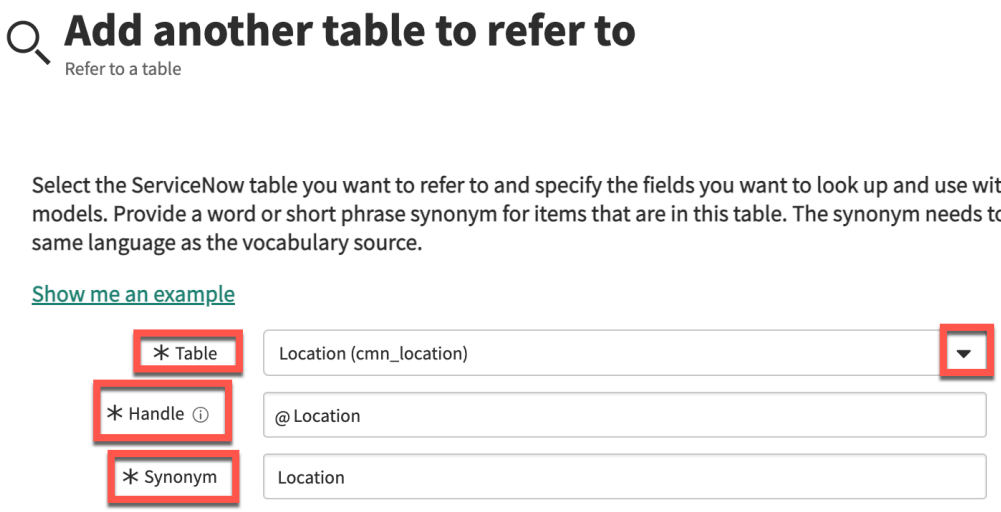
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > 語彙ソース.
2. [**ServiceNow** テーブル] をクリックします。
3. [別のテーブルを追加] をクリックします。
4. [参照する別のテーブルを追加] ページで、フィールドを構成します。

   a. テーブル、ハンドル、およびテーブルの同義語を選択します。

   この例では、次の構成を使用します。

   - テーブル: 場所 **(cmn_location)** を選択します。
   - ハンドル: システム生成ハンドル @Location を使用します。
   - 同義語:システムによって生成された同義語である Location を使用します。この値を更新して、語彙ソース内の個々のアイテムの同義語であることを確認できます。

   > **注:** 語彙ソースと同じ言語でよく使われる単語である同義語を選択します。



   b. ソーステーブルから参照するフィールドを選択します。

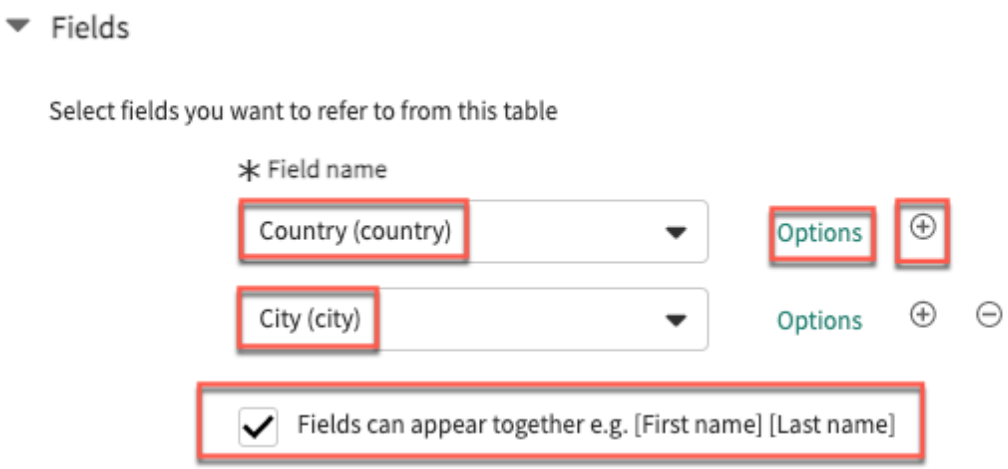
   > **注:** 複数のフィールドを追加するには、プラスアイコンを選択します。

   この例では、次の構成を使用します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- フィールド名: [国] フィールドと [市区町村 (市区町村)] フィールドを選択します。
- オプション: [オプション] をクリックし、両方の [フィールド名] の値に対して [このフィールドを使用して値を検索する] チェック ボックスをオンにします。このボックスをオンにすると、語彙ソース内のレコードを検索するための発言で国名または都市名のいずれかを使用できるようになります。たとえば、市区町村の列に NYC、New York、New York City など複数の名前がある場合など、このフィールドでは複数のカンマ区切りの値を使用することもできます。
- フィールドは一緒に表示できます:チェックボックスをオフのままにします。このフィールドは通常、ユーザーが発言の中で単語を並べて入力してレコードを見つけることができる NLU 検索モデルで使用されます。たとえば、開発チームで働く Pierre という名前の従業員を検索するときに「Pierre `Development`」と入力できます。この場合、 名前 と チームは テーブルの 2 つのフィールドです。



c. 詳細オプションを設定します。

この例では、次の構成を使用します。

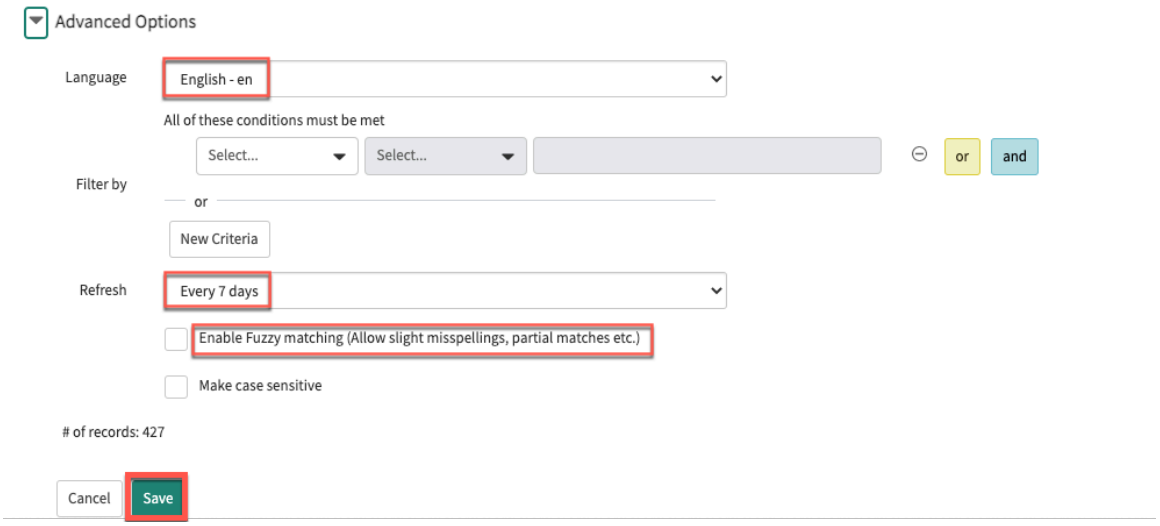
- 言語: [英語 **- en**] を選択します。
- フィルター基準:条件ビルダーを使用して、語彙ソースのソーステーブルの値をフィルタリングできます。このシナリオでは空のままにします。
- 更新: **[7** 日ごと] を選択します。これを選択すると、7 日ごとにテーブルから新しい値を取得するようにシステムを設定します。ソーステーブルの更新頻度に基づいて選択できるさまざまな更新オプションがあります。
- あいまい一致を有効にする:このボックスをオンにすると、発話にわずかにスペルミスのある単語や単語の一部が含まれている場合でも、レコードを一致させることができます。たとえば、カンザスシティなどの都市を検索する場合に、「カンザスシティ」または「カンザス」とだけ入力しても、システムは正しい場所レコードと照合できます。あいまい一致は、場合に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

よっては false 一致を返すことがあります。ファジーマッチングは控えめに使用し、使用する前にモデルをテストしてください。

- 大文字と小文字を区別:あいまい一致を有効にしない場合は、このボックスをオンにして、ソーステーブルの値を大文字と小文字を区別できます。発言で正しい大文字と小文字が使用されていない場合、モデルはインテントを予測しません。



5. **[Save** (保存)] をクリックします。

   結果：**@Location**テーブルの語彙ソースが [語彙ソース] 画面に表示され、ソーステーブルとの同期が開始されます。

6. 同期がすぐに開始されない場合は、右端にある 同期ルックアップ アイコンを選択して、ソーステーブルデータを NLU サービスと同期します。
   結果： 同期が完了すると、モデルで語彙ソースを使用できるようになります。テーブル語彙ソースを更新した後にモデルを再トレーニングする必要はありません。

次のタスク
発言に注釈を付けて、語彙ソースをモデルに追加します。発言の例をインテントに追加する場合は、@ 記号を使用します。

テーブル語彙ソースの同期

テーブル語彙ソースを同期して、 ServiceNow ソーステーブルに対する最新の変更を取得します。語彙ソースを同期することで、インテントを予測するときに NLU モデルが最新の値を確実に取得できます。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU共通モデルプラグイン、予測インテリジェンス プラグインがすべてインスタンスにインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 必要なロール:admin または nlu_admin

このタスクについて
発言で語彙ソースを参照すると、モデルのトレーニング時に値がプルされます。ただし、テーブルの値が時間の経過とともに変化しても、モデルは最後のトレーニングセッションの値を参照します。

NLUで使用される語彙値を自動的にリフレッシュするスケジュールを選択できます。このスケジュールは後で編集できます。詳細については、「テーブル語彙ソースの作成」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

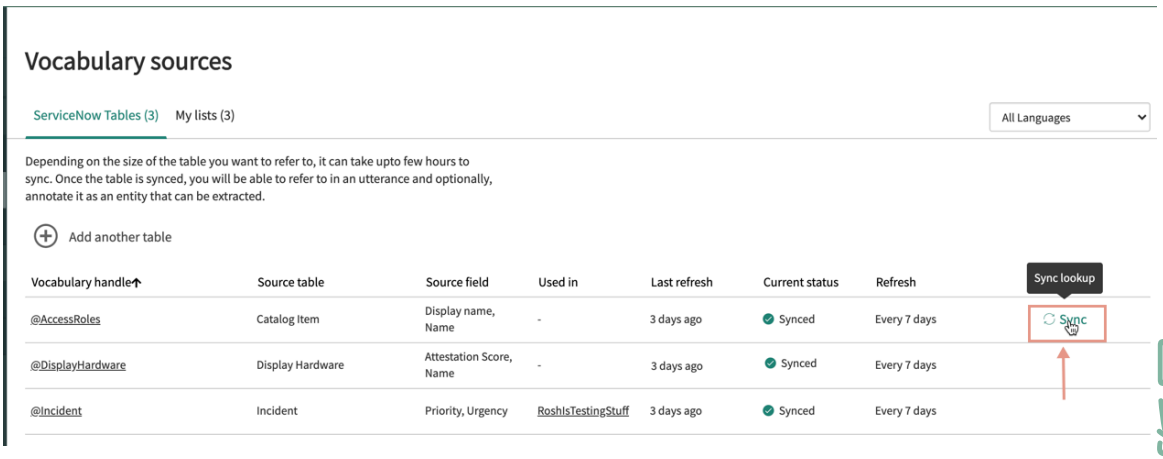
モデルトレーニング前など、テーブル語彙ソースを手動で同期することもできます。

注: 同期されていないテーブル語彙ソースを発言が参照している場合、モデルのトレーニングに失敗します。語彙ソースの現在のステータスを確認し、[同期しない] の場合は手動で同期します。

次のシナリオ例では、@AccessRoles語彙ソースをカタログアイテムテーブルに手動で同期しています。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > 語彙ソース.
2. [ServiceNowテーブル] タブで、[リフレッシュ] 列の右をポイントして、[同期] ルックアップアイコンを呼び出します。

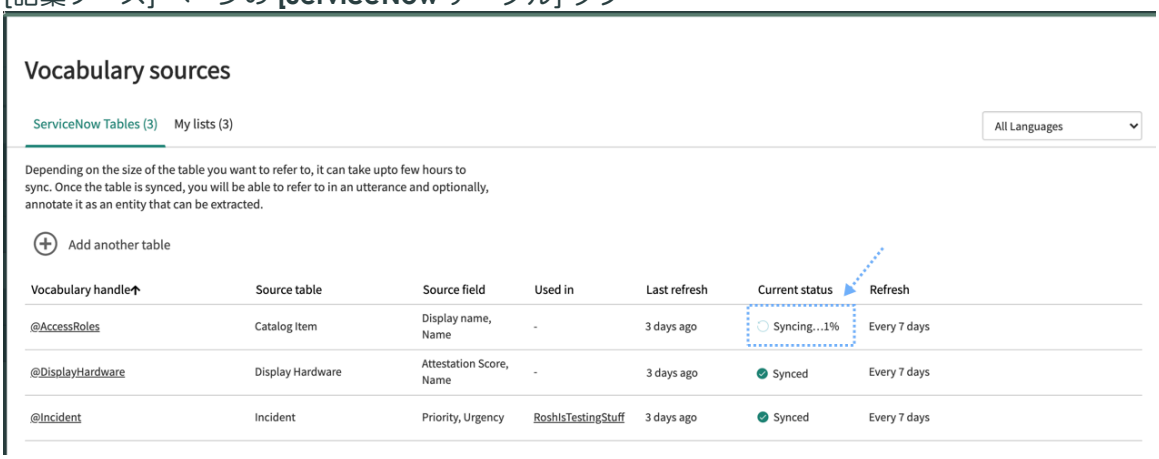


3. [同期] を選択します。
   語彙ソースが同期を開始します。

次のタスク

ソーステーブルのサイズによっては、同期操作に時間がかかる場合があります。

[語彙ソース] ページの **[ServiceNow** テーブル] タブ

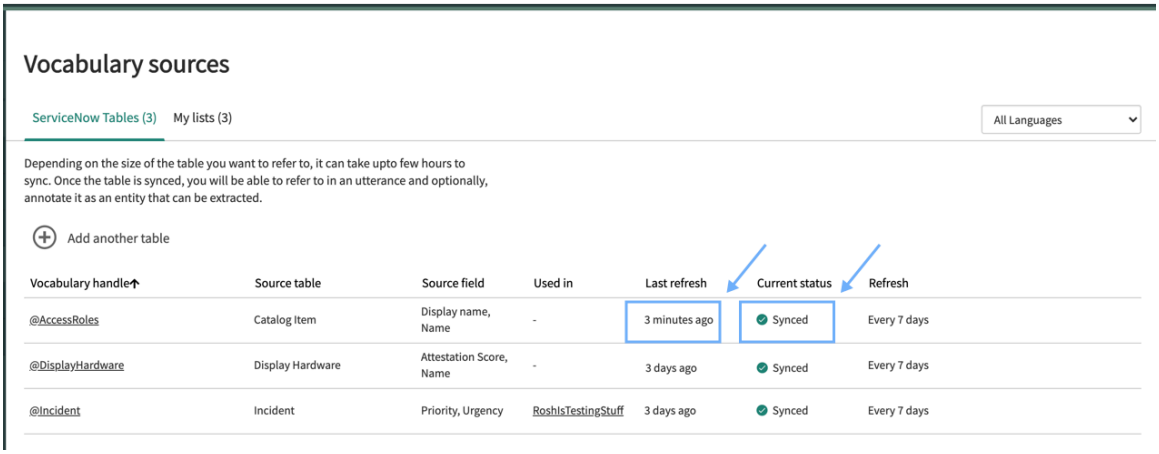


[前回の更新] 列と [現在のステータス] 列の値は、語彙ソースの現在のステータスを反映しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[語彙ソース] ページの **[ServiceNow テーブル]** タブ



モデルのトレーニングに進みます。モデルのトレーニングの詳細については、「NLU モデルをトレーニングして試す」を参照してください。

テーブル語彙ソースを同期するときのエラーの詳細については、Now Support ナレッジベースの記事KB1588239 を参照してください。

関連情報

テーブル語彙ソースの作成

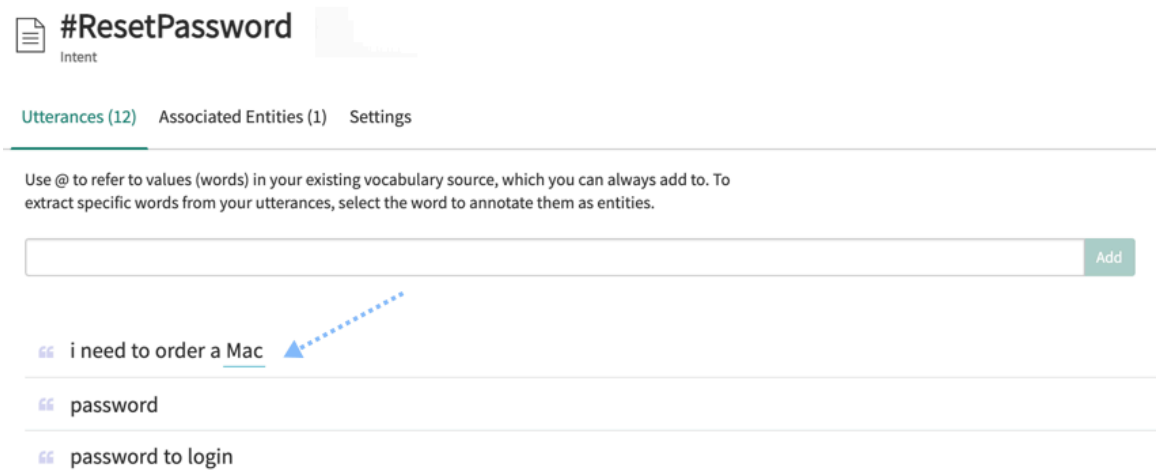
構築済み語彙

ソフトウェアおよびハードウェアの用語には ServiceNow® ビルド済みの語彙を使用して、発言の複数のバリエーションをシステムが認識できるようにします。

自然言語理解 (NLU)モデルには、サンプル発言を追加するときに使用できるビルド済みの語彙設定が含まれています。この語彙は、ソフトウェアとハードウェアの用語がスラングで表現されているか、専門的な用法で表現されているかにかかわらず、定義を提供します。語彙は、製品のスペルミスを認識することもできます。

たとえば、発話の例の 1 つについて、「`Mac` を注文する必要があります」と入力します。システムがビルド済みの語彙アイテムを認識すると、その用語の下に青い線が表示されます。

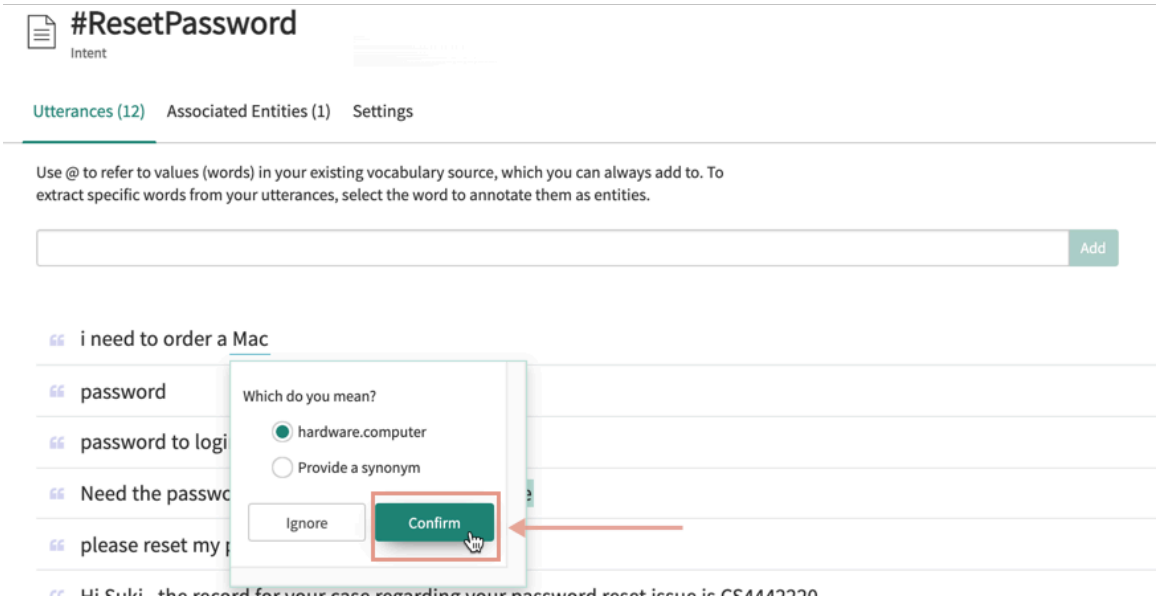
インテントの詳細ページの [発言] タブ



単語をクリックすると、単語に対して選択できる 2 つのオプションを示すウィンドウが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 単語のビルド済み定義の提案
- 同義語を追加するオプション



最初のオプションを選択して [確認] をクリックすると、ビルド済みの提案された定義が使用され、青い線が消えます。

2番目のオプションを選択し、単語の同義語を入力して [確認]をクリックすると、単語と同義語がモデル語彙に追加されます。

2 つのオプションのいずれかを選択して [無視] をクリックすると、青い線が消え、単語は以前の状態のままになります。

テストセットの作成と管理

NLUモデルのデフォルトのテストセットを使用して、モデルのパフォーマンスと精度をテストします。NLU ワークベンチでテストセットのコンテンツをビルドまたは更新することで、時間の経過とともにテストセットを管理します。

埋め込みビデオ:NLU ワークベンチでのテストセット管理

注: モデルをテストするには、 ServiceNow® Store アプリケーション NLU ワークベンチ - 拡張機能 をインストールします。詳細については、「NLU ワークベンチのインストール - 拡張機能」を参照してください。

仮想エージェントまたはAI 検索のNLUモデルを作成すると、デフォルトのテストセットが作成され、モデルに関連付けられます。デフォルトのテストセットを使用して、モデルのパフォーマンスを評価できます。最初は、テストセットは空で、コンテンツを入力する準備ができています。

デフォルトのテストセットへのアクセス

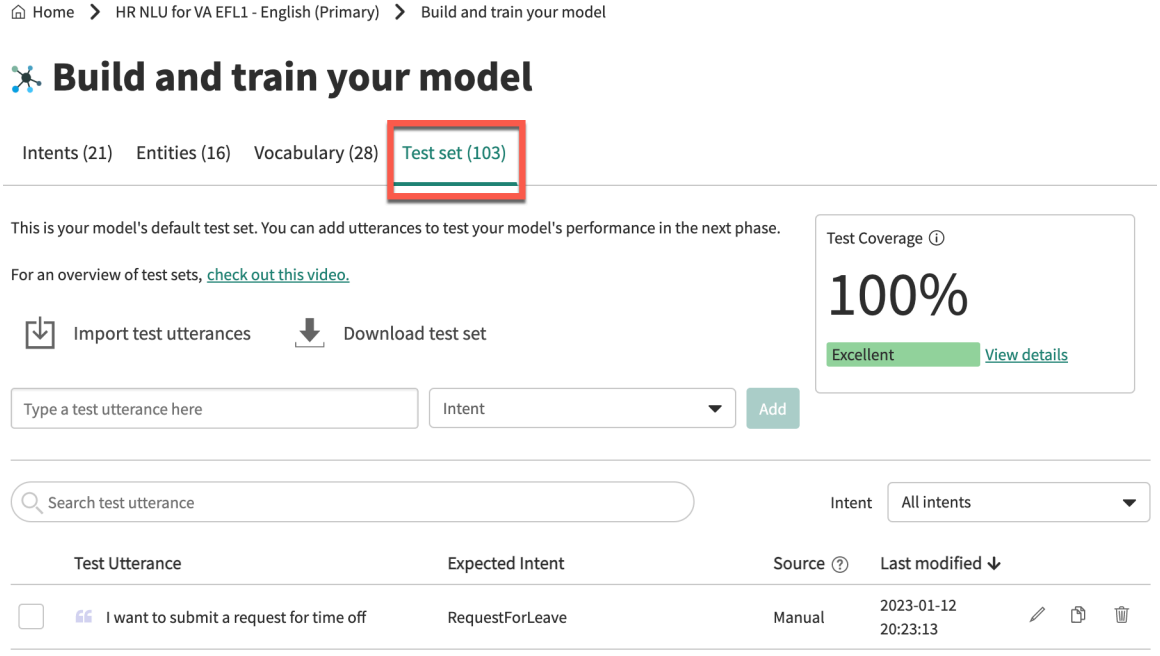
次のいずれかの方法で、デフォルトのテストセットにアクセスします。

- 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル. モデルのアプリケーションのタブを選択し、リストからモデルの名前を選択します。モデルの概要ページで、 [モデルの構築とトレーニング] カードを見つけ、その

自動翻訳

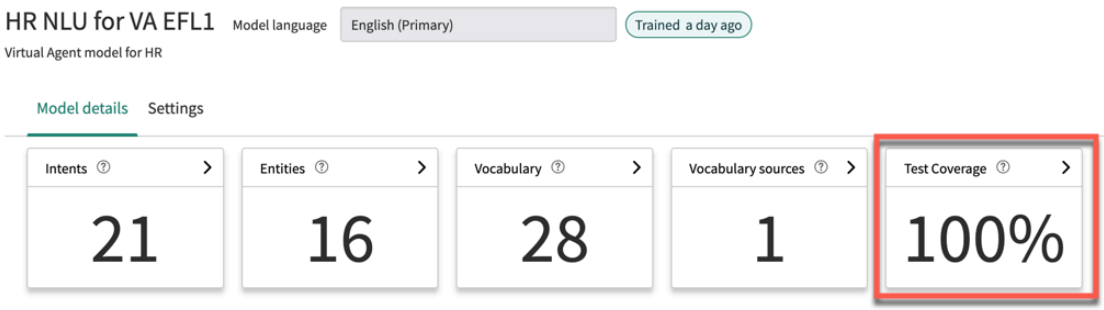
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[フェーズを表示] ボタンを選択します。次に、[テストセット] タブを選択しま



す。

- 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル. モデルのアプリケーションのタブを選択し、リストからモデルの名前を選択します。モデルの概要ページで、[テスト範囲] タイルを選択しま



す。

- 次のように移動する。 **All** (すべて) > マルチモデルバッチテスト > テストセット 学習します。モデルの名前を見つけます。デフォルトのテストセットには [デフォルト] というラベルが付けられます。



デフォルトのテストセットにコンテンツを追加する

発言とその想定されるインテントを追加して、時間の経過とともにテストセットをビルドおよび管理します。次の方法で、デフォルトのテストセットにコンテンツを追加できます。

- テスト発言とその想定されるインテントを手動で追加します。モデルの概要ページから、 モデルの構築とトレーニング > テストセット 学習します。[ここに テスト発言を入力] フィールドに入力し、適切なインテントを選択して、[追加] ボタンを選択します。

  これらのテスト発言には、 手動のソースが割り当てられます。

- テスト発言とその想定されるインテントを CSV ファイルまたは他のモデルからインポートします。デフォルトのテストセットにコンテンツをインポートするには、モデルの概要ページから モデルの構築とトレーニング > テストセット 学習します。[テスト発言をインポート] を選択します。

  インポートされたテスト発言には、 手動のソースが割り当てられます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 専門家フィードバックループ機能を使用すると、 仮想エージェント チャットログから実際のユーザーの発言をテストセットに追加できます。

  これらのテスト発言には 、専門家フィードバックのソースが割り当てられます。詳細については、「#unique_301」を参照してください。

テスト範囲

テスト範囲スコアは、デフォルトのテストセットにテスト発言があるモデルの有効なインテントの割合です。モデルをテストする前に、少なくとも 60% のカバレッジがあることを確認してください。テスト範囲スコアが高いほど、パフォーマンステスト結果の精度が高くなります。

バッチテスト中にシステムが最適な信頼度しきい値を提供するには、テストカバレッジが 60% 以上で、インテントごとに少なくとも 5 つのテスト発言が必要です。信頼度しきい値の詳細については、「 NLU モデル設定」を参照してください。

モデルのテスト発言の約 10% を「関連なし」、つまり関連付けられたインテントがないとマークすることを目指します。これは、予測されるべきではないインテントを持つべきではない無関係な発言をモデルがどのように処理するかを評価するのに役立ちます。無関係な発言の詳細については、「 NLU での無関係の検出」を参照してください。

テストセットを使用

「モデルのテストと公開」フェーズのデフォルトのテストセットを使用するには、「モデルをテストおよび公開」を参照してください。

マルチモデルバッチテストでテストセットを使用するには、「 #unique_354」を参照してください。

デフォルトのテストセットの特性

インスタンスをアップグレードすると、まだテストセットがない既存のモデルに対してデフォルトのテストセットが作成されます。

[このモデルを複製] を使用してモデルをコピーすると、元のデフォルトのテストセットが新しいモデルにコピーされます。詳細については、「NLU モデルの複製」を参照してください。

テストセット内の発言は、トレーニングセット内の発言と同じにすることはできません。

デフォルトのテストセットをモデルとは別に削除することはできません。

テストセットの発言は、モデルと同じ言語である必要があります。

テストセットは、 仮想エージェント モデルまたは AI 検索 モデルで使用できます。

デフォルトのテストセットをダウンロードまたは移動する

デフォルトのテストセットは、次のようにダウンロードまたは移動できます。

- デフォルトのテストセットは、CSV 形式で個別にダウンロードできます。テストセットをダウンロードするには、モデルの概要ページから モデルの構築とトレーニング > テストセット 学習します。[テストセットのダウンロード] を選択します。

  注: [ダウンロードテストセット] からダウンロードされるテストセットには、テスト発言とその想定されるインテントが含まれていますが、ソースは含まれていません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デフォルトのテストセットは、更新セットとともに移動できます。NLUモデルを更新セットに追加すると、テスト発言、予想されるインテント、ソースなど、デフォルトのテストセットが追加されます。詳細については、「更新セットへの NLU モデルの追加」を参照してください。
- [既存のすべてのモデル] テーブルで [モデルを **CSV** としてエクスポート] 機能を使用する場合、デフォルトのテストセットは含まれません。詳細については、「NLU モデルのエクスポート」を参照してください。

NLU モデルをトレーニングして試す

モデルを繰り返しトレーニングして試し、そのインテントとエンティティが検証され、コンパイルされ、モデルに保存されます。

始める前に

- NLU ワークベンチ Core プラグイン、NLU ワークベンチ プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- NLUモデルを作成します。詳細については、「モデルの作成」を参照してください。
- モデルの 1 つ以上の NLU インテントとそれに関連付けられたエンティティを作成します。詳細については、「NLU インテント」を参照してください。
- 発言がテーブル語彙ソースを参照している場合は、その値がモデルで使用できるようにソースが同期されていることを確認してください。詳細については、「テーブル語彙ソースの同期」を参照してください。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または adminNLUエディターをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて

モデルをトレーニングすると、コンテンツに加えた変更が保存され、競合やエラーがチェックされます。トレーニングにより、モデルを公開できるようになります。

トレーニング後、個々の発言を手動で入力してモデルを試し、予測されるインテントを確認できます。

> **注:** テスト発言のリストに対してモデルのテストを実行するには、「 モデルをテストおよび公開」を参照してください。

ダイアログアクトの会話中の応答は、 NLU ワークベンチ では試したりテストしたりすることはできません。

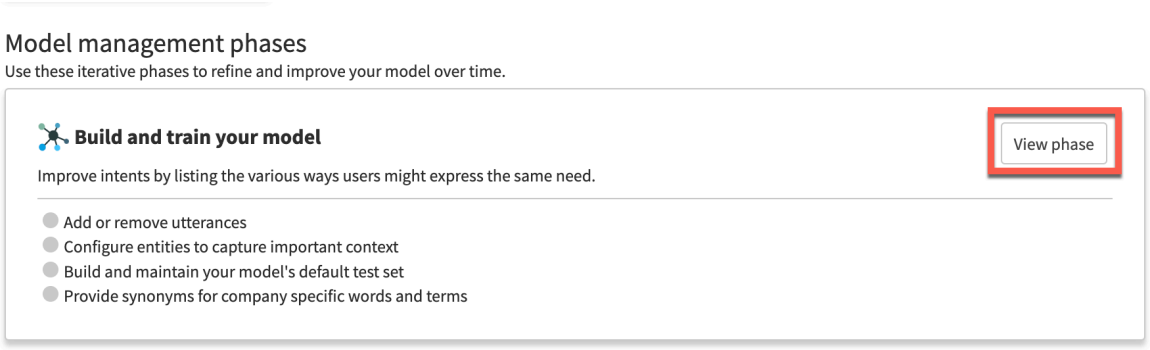
このシナリオ例では、インテント、発言、エンティティ、および関連する注釈を追加することで、十分なモデルコンテンツを既にビルドしています。手順例に従って、最初に NLU モデルをトレーニングします。次に、予測結果と信頼スコアを確認できるように、発言を手動で入力してモデルを試します。

手順

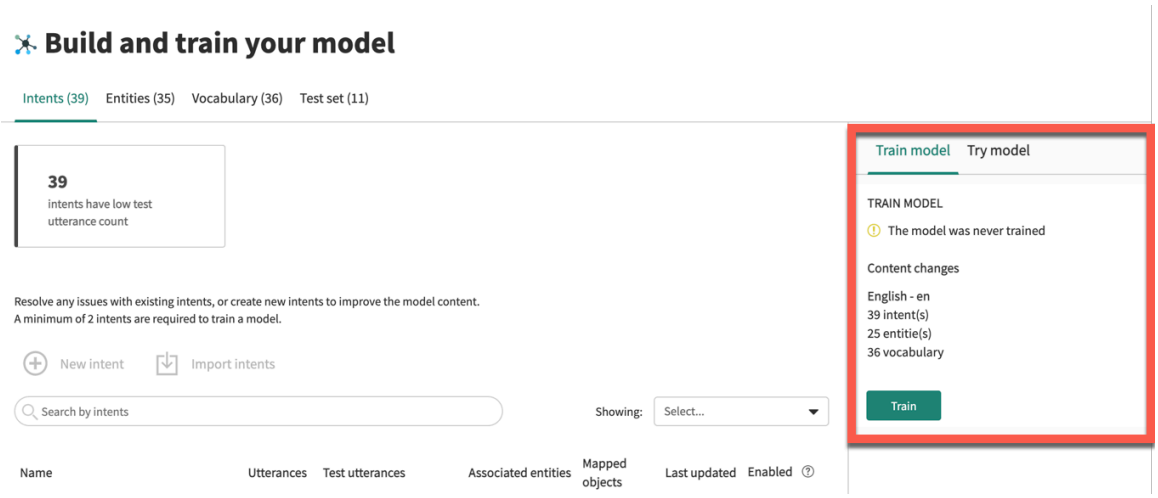
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択し、モデルの名前を選択します。
3. モデル概要の [モデルの詳細] タブで、[インテント]、[エンティティ]、および [語彙] に十分なコンテンツがあることを確認します。
4. モデルの概要の モデルの構築とトレーニング カードで、 フェーズの表示 を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



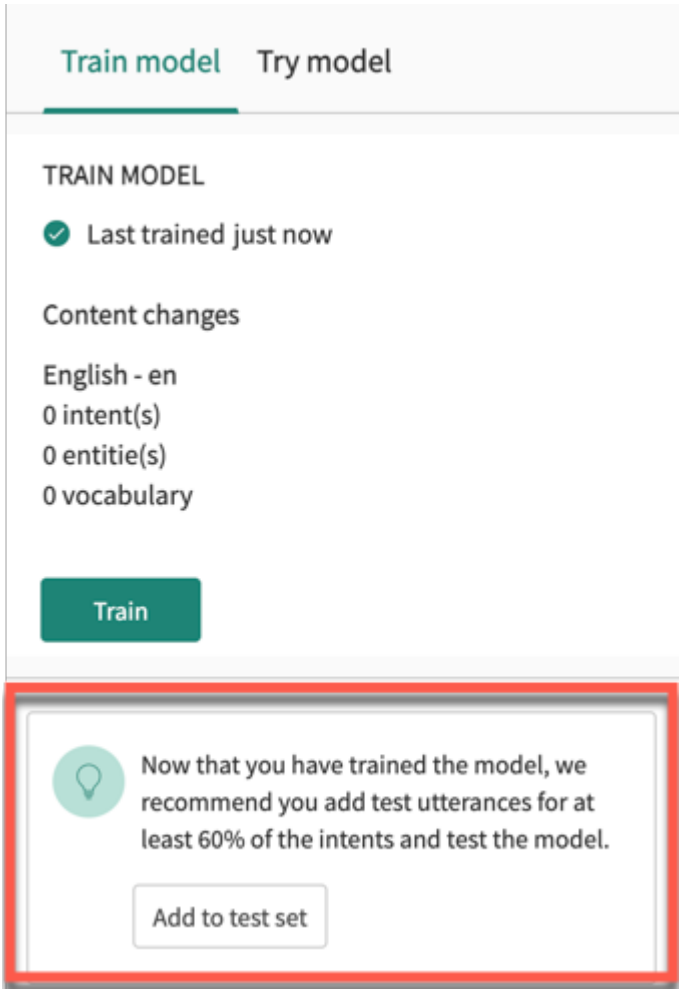
5. [モデルの構築とトレーニング] フェーズが開いたら、[モデルをトレーニング] タブが選択されていることを確認します。
結果： [モデルをトレーニング] タブには、モデルが最後にトレーニングされた時刻が表示され、前回のトレーニング以降のコンテンツの変更がある場合はその変更も要約されます。



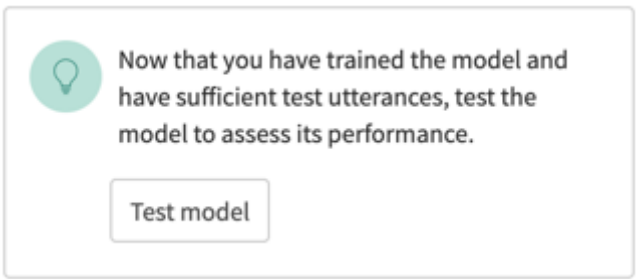
6. [トレーニング] ボタンを選択します。
結果： トレーニング中は進捗状況バーが表示されます。完了すると、次の 2 つの推奨事項のいずれかが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- デフォルトのテストセットでモデルのインテントの 60% 未満しかカバーされていない場合、システムはさらにテスト発言を追加することを推奨します。「テストセットの作成と管理」を参照してください。



- モデルのインテントの 60% 以上がデフォルトのテストセットでカバーされている場合、システムはテストに進むことを推奨します。「モデルをテストおよび公開」を参照してください。

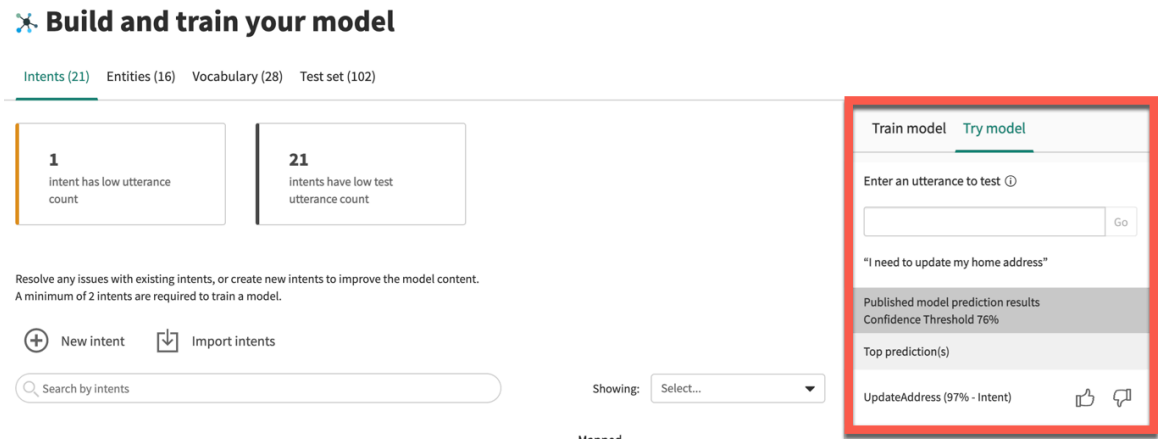


7. 個々の発言を手動で試すには、 [モデルを試す] タブを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [テストする発言を入力してください] の下のテキスト フィールドに、発話を入力して [移動] を選択します。



タスクの結果
この例では、試行する発言として「`I need to update my home address`」と入力しました。

1. モデルの信頼性しきい値 (この例では 76%) が表示されます。
2. [上位の予測] には、しきい値より大きい信頼スコアで予測されたすべてのインテントが表示されます。
3. この例では、インテント UpdateAddress は、しきい値の 76% を上回る 97% の信頼スコアで予測されます。

モデルを試す結果には、フィードバックを提供するための賛成アイコンと反対アイコンも表示されます。詳細については、「テストパネルのフィードバック」を参照してください。

次のタスク

- 引き続きさまざまな発言を試して、モデルコンテンツの更新が有効であることを確認します。「NLU モデルのドラフトバージョンと公開済みバージョンの比較」を参照してください。
- テスト発言のリストに対してモデルをテストするには、 モデルをテストおよび公開 フェーズでデフォルトのテストセットを使用するか、 #unique_354に移動します。
- モデルの信頼性しきい値を調整するには、モデルの概要ページの [設定] タブを使用します。詳細については、「NLU モデル設定」を参照してください。
- テストの結果に満足した場合は、 NLU モデルを公開します。

テストパネルのフィードバック

テストパネルの [モデルを試す] セクションで NLU モデルをテストするときは、この機能を使用して、モデルのインテント予測に関するフィードバックを提供します。

サマリーコンテキスト

モデルが発話についてトレーニングおよびテストされ、モデルがインテント予測を返す場合、返される予測インテントに賛成または反対の評価を指定できます。別のインテント予測を正しいとマークすると、修正されたインテントに発言が追加されます。他のすべてのフィードバックは、継続的な学習のためにキャプチャされます。フィードバックがシステムに組み込まれ、モデル予測が最適化されます。この機能を使用するには、モデルにアクセスしてテストするための nlu_admin ロールが必要です。 NLU エディターは、 NLU アドミンによってアサインされている場合は、テストパネルにアクセスすることもできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測フィードバックの提供

指定した評価は、システムがインテントと発言を一致させるのに役立ちます。これらの評価は、システムがユーザー入力に基づくインテント予測の精度を継続的に学習、進化、改善するために不可欠です。また、インテント予測が正しいかどうかをシステムに通知することもできます。

次のシナリオは、モデルテストパネルを操作し、予測フィードバックをシステムに提供する方法の例を示しています。すべてのシナリオで、次の 4 つの手順を使用します。

1. モデルの [モデルの構築とトレーニング] フェーズで、[モデルの試行] を選択してテスト パネルを開きます。
2. テストパネルの [テストする発言を入力してください] フィールドで、いずれかのインテントのトレーニング発言に似た簡単な発言を入力します。
3. **[GO]** をクリックします。

   結果:システムは、テストパネルの [上位の予測] セクションにテスト発言の予測を返します。
4. [賛成] アイコンまたは [反対] アイコンをクリックします。

   発言の正しいインテントが予測されたことをシステムに知らせたい場合は、[賛成] アイコンを選択します。

   それ以外の場合は、[反対] アイコンを選択すると、[この 予測を改善するためにフィードバックを提供する] セクションが開きます。ここでは、上位の予測インテント以外のインテントを選択できます。

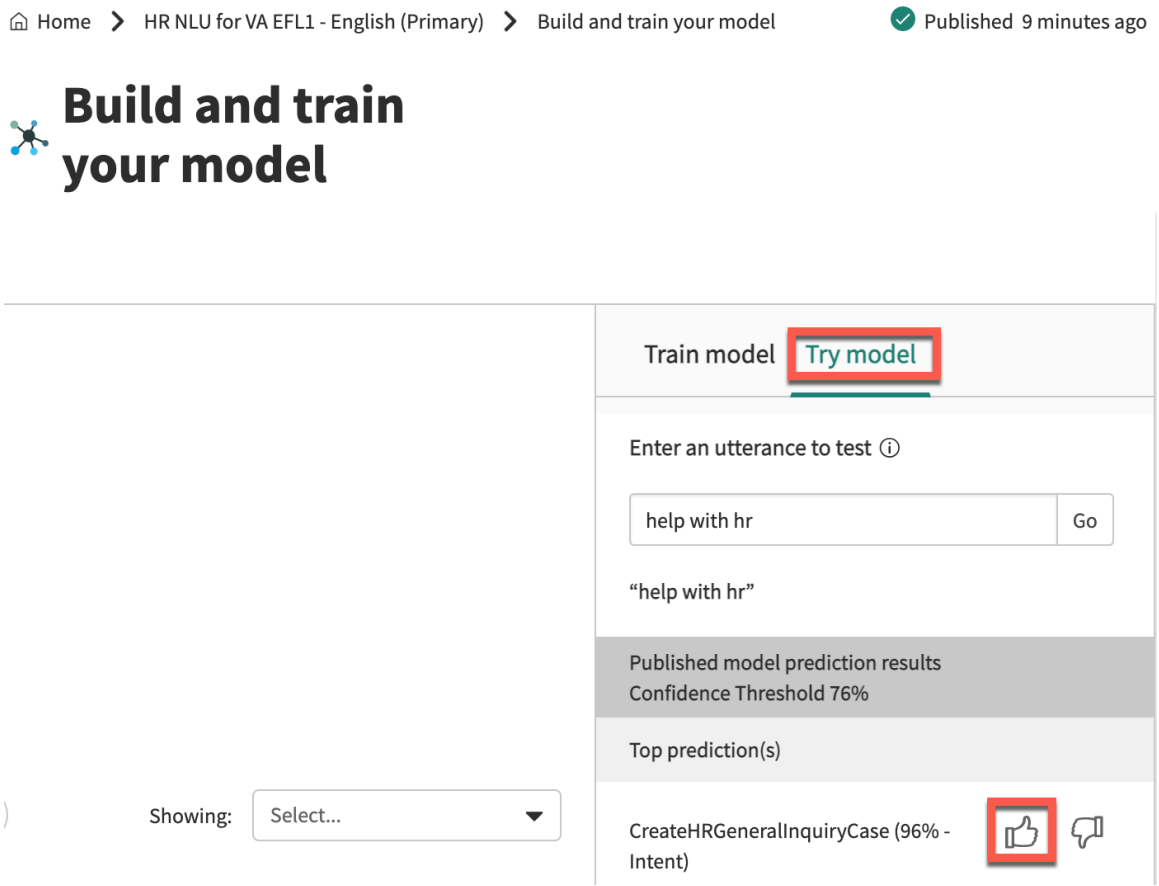
シナリオ **1**: テストパネルの [モデルを試す] セクションで、発言として「hr のヘルプ」と入力します。上位の予測結果が表示されると、予測されたインテントが発言と正しく一致していると確信できます。この場合は、[賛成] アイコンをクリックします。

結果:

- システムは正しいインテントを予測しました。この場合は **#CreateHRGeneralInquiryCase** です。
- フィードバックによって、正しいインテントがテスト発言と一致したことがシステムによって通知されます。

自動翻訳

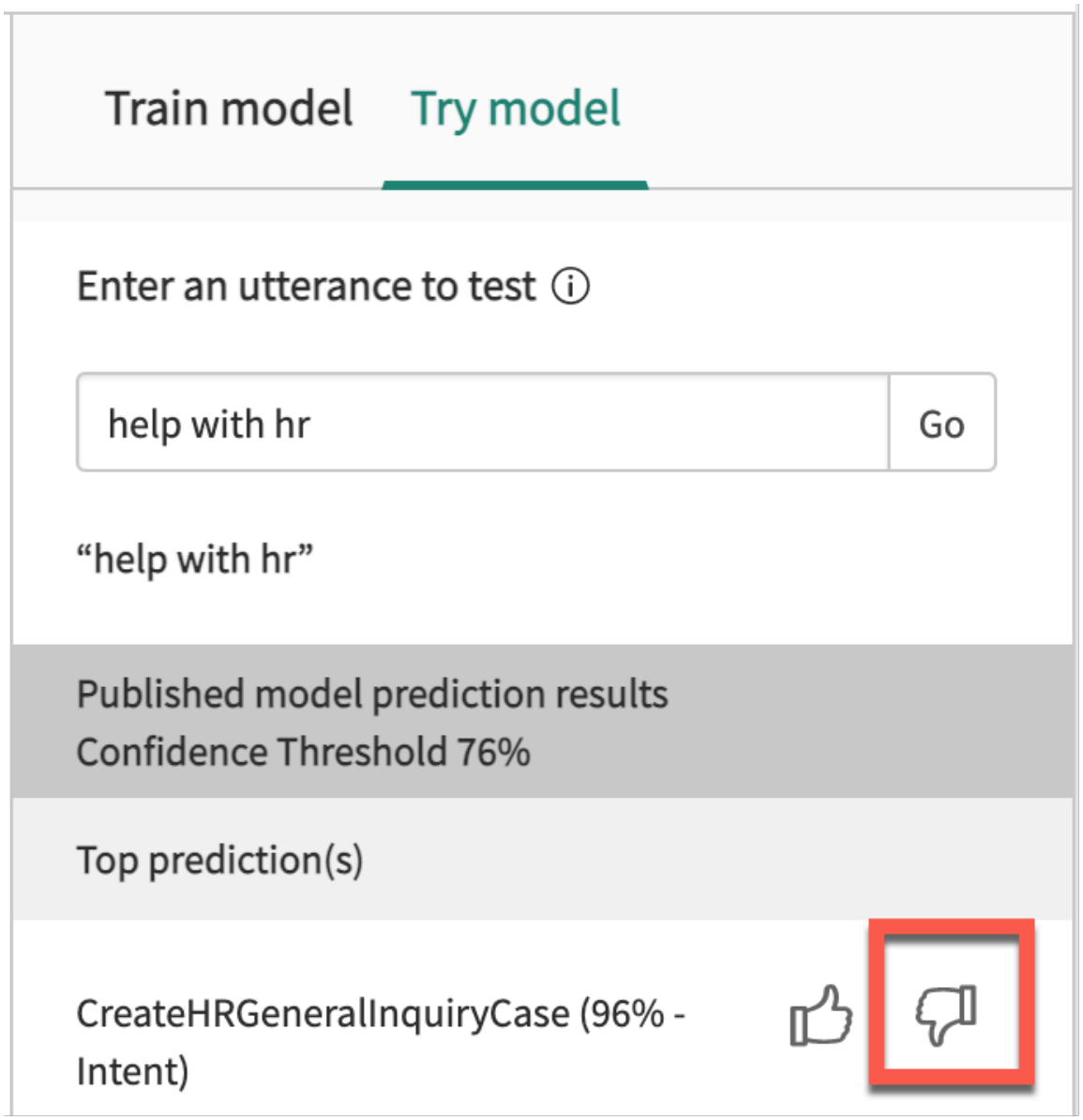
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



シナリオ **2**: 別のインスタンスの別のモデルで、別のユーザーが 人事発言で同じヘルプ を入力します。システムはインテントの上位の予測結果で応答しますが、ユーザーがそれが正しいインテントかどうかはわかりません。したがって、このユーザーは、下の画像に示すように [反対] アイコンをクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



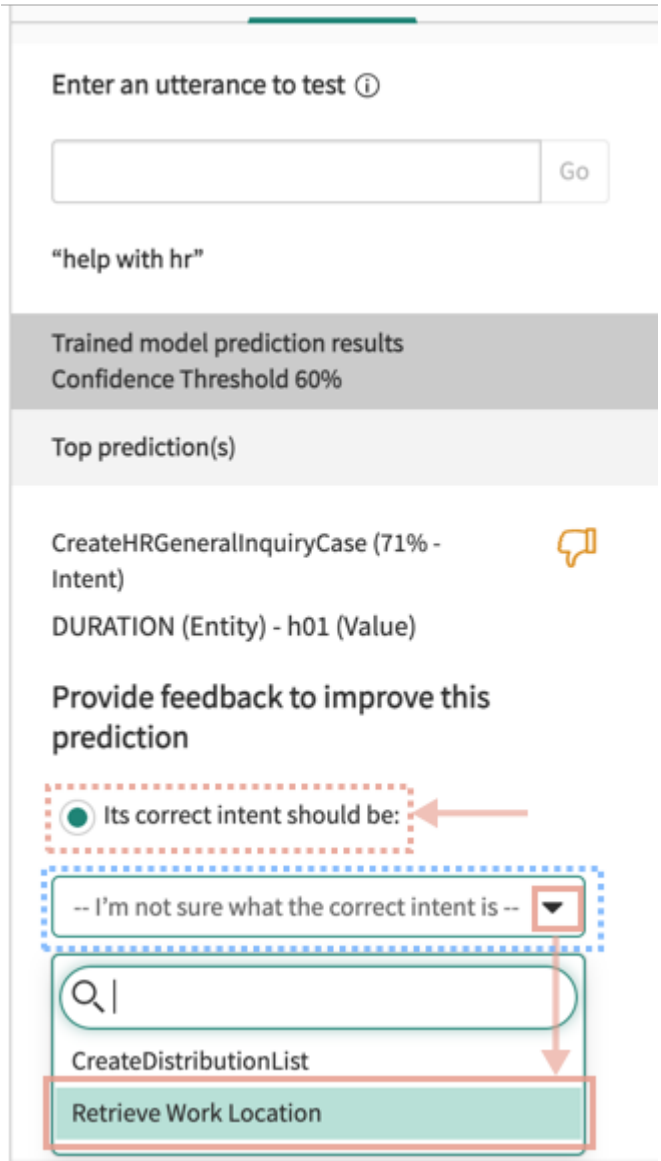
結果: パネルが展開されて [この予測を改善するためにフィードバックを提供] セクションが表示され、ユーザーはインテント予測の改善に役立つ可能性のあるフィードバックを送信できます。

ここには 2 つのオプションがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ユーザーが「 正しいインテントは: 」ボタンをクリックすると、テスト発言により適切なインテントを選択できるリストが表示されます。この例のシナリオでは、次の画像に示すように、ユーザーが [作業場所の取得] インテントを選択します。

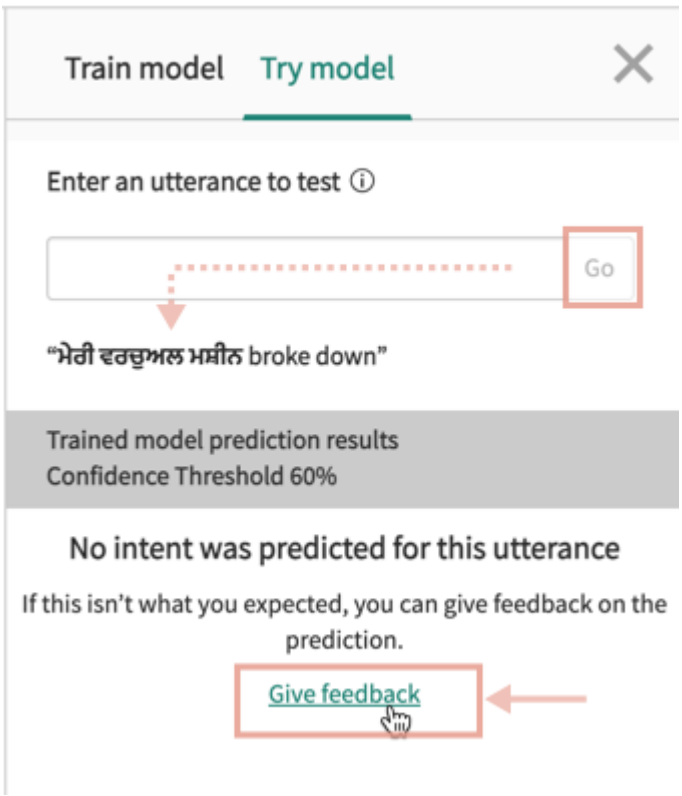


- [正しいインテントが何であるかわからない] プロンプトをクリックすると、上位の予測を返す代わりに、利用可能な次善のインテント予測が表示されます。

シナリオ **3**: 別のインスタンスの別のモデルで、別のユーザーが意味不明な発言、またはモデルが使用する言語とは異なる言語を使用する発言を送信します。たとえば、次の画像に示すように、ユーザーが英語以外の言語と英語の両方の言語で構成される発言を誤って送信した場合です。

自動翻訳

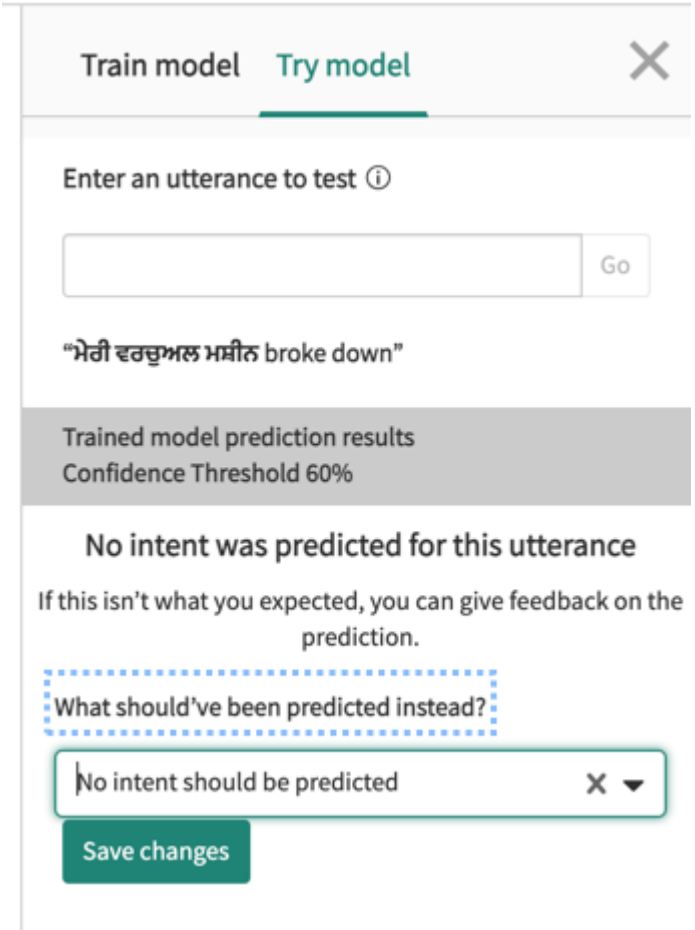
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結果:発言が 2 つの異なる言語を一緒に使用しているため、システムは予測を返しません。インテントが予測されなかったため、ユーザーは [フィードバックを送信] オプションをクリックして [モデルを試す] セクションを展開し、他のインテントの代替案を表示します。

自動翻訳

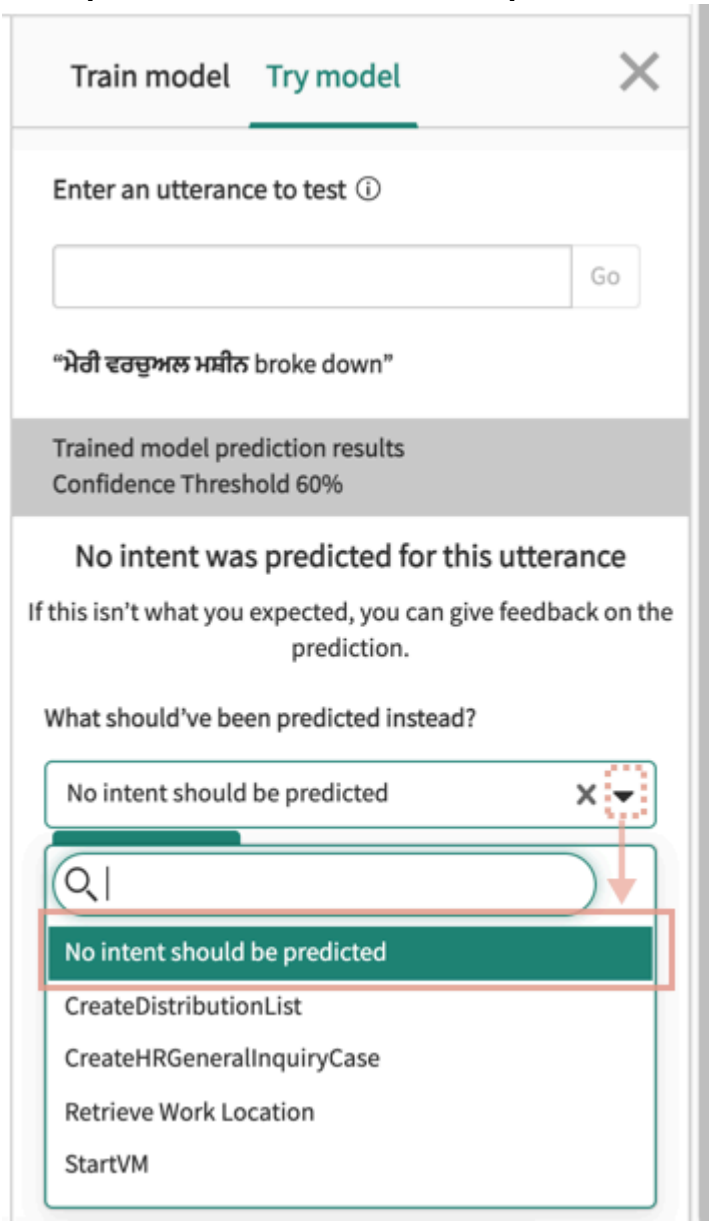
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

したがって、このユーザーは、プロンプトからインテントを選択する代わりに、[予測するインテントはありません] オプションを選択しま



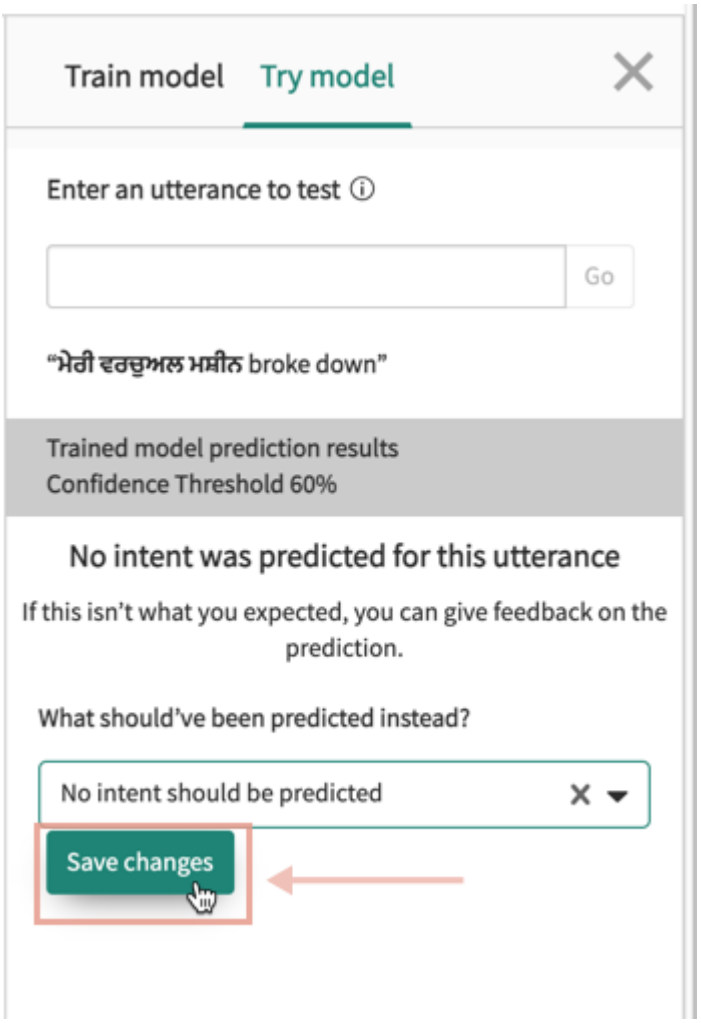
す。

注: [予測するインテントはありません] を選択して保存すると、発言が含まれているすべてのインテントから発言が削除されます。

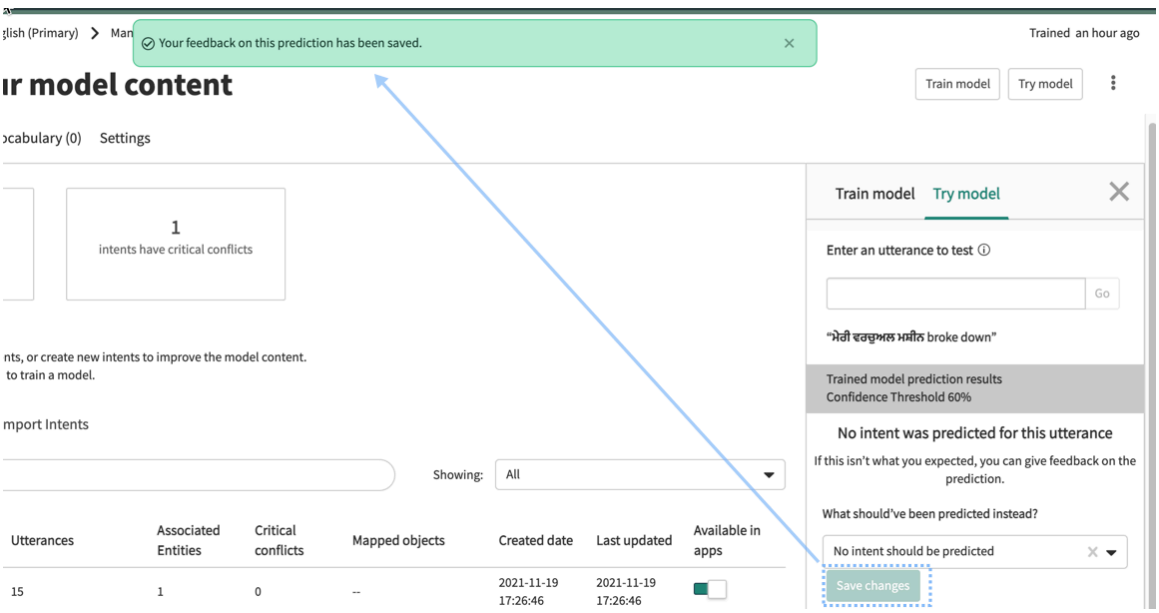
シナリオ **4**:予測のモデルのインテントのリストから選択するだけでなく、発言がモデルに無関係であることをシステムに直接通知することもできます。これを行うには、 [この発言のこのモデルの予測を除外 する] ボタンをクリックし、 [変更の保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結果:次の画像に示すように、予測に対するユーザーフィードバックが保存されたことを確認するバナーが画面の上部に表示されます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィードバックレコードへのアクセス

フィードバックデータは、他のServiceNow製品でも使用される**ml_labeled_data**テーブルに保存されます。このテーブルには、将来の予測に使用できる 仮想エージェント チャットログなど、複数のソースを格納することもできます。

モデルをテストおよび公開

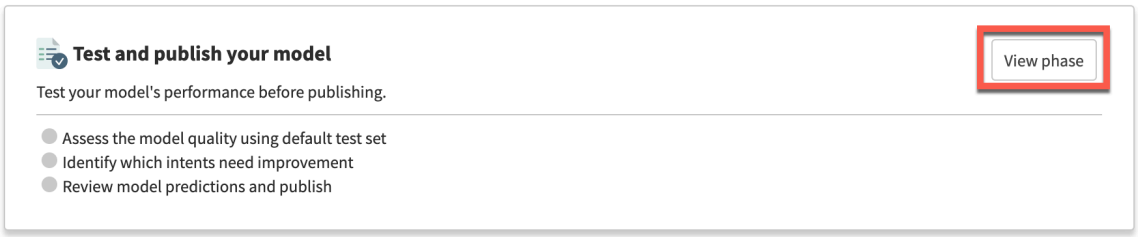
NLUモデルのパフォーマンスを評価して、改善が必要な領域を特定します。次に、モデルを公開して、 仮想エージェントなどの他のアプリケーションで使用できるようにします。

使用方法の概要

仮想エージェントまたはAI 検索モデルをデフォルトのテストセットに対してテストし、モデルがどのように応答するかを確認します。テスト結果は、モデルを改善するために使用できる情報を提供します。

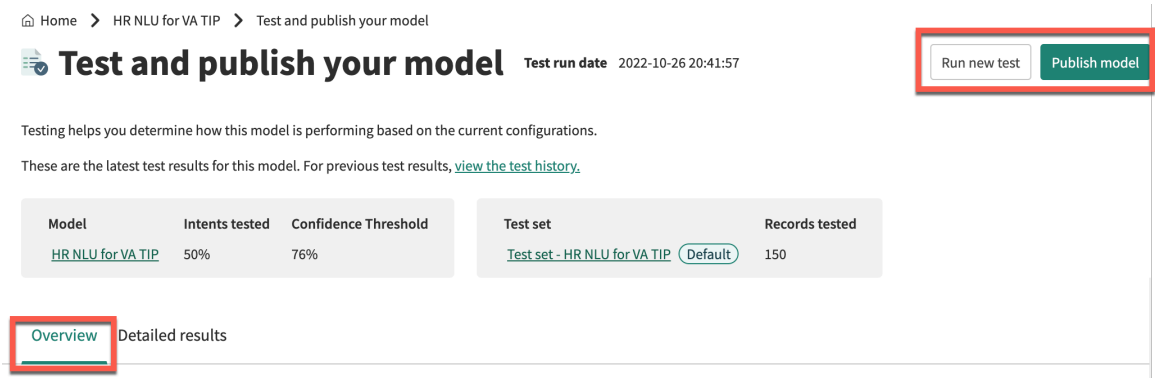
注: モデルをテストするには、 ServiceNow® Store の NLU ワークベンチ - 拡張機能型アプリケーションで使用できるマルチモデルバッチテスト機能が必要です。詳細については、「NLU ワークベンチのインストール - 拡張機能」を参照してください。

モデルをテストするには、次の場所に移動します: **NLU** ワークベンチ > モデル. モデルのアプリケーションのタブを選択し、モデルの名前を選択します。[モデルをテストして公開する] カードで、[フェーズを表示] を選択します。



モデルのテストと公開の概要

デフォルトでは、[概要] ページで [モデルのテストと公開] フェーズが開きます。[新しいテストを実行] ボタンと [モデルを公開] ボタンはここにあります。

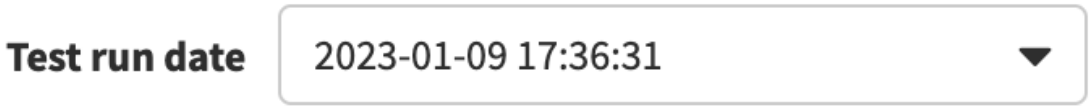


[概要] では、以前のテスト実行に関する情報が、テスト結果を棒グラフでまとめたものになります。

それ以前のテスト実行がある場合は、[テスト実行日] リストから選択して表示できます。

自動翻訳

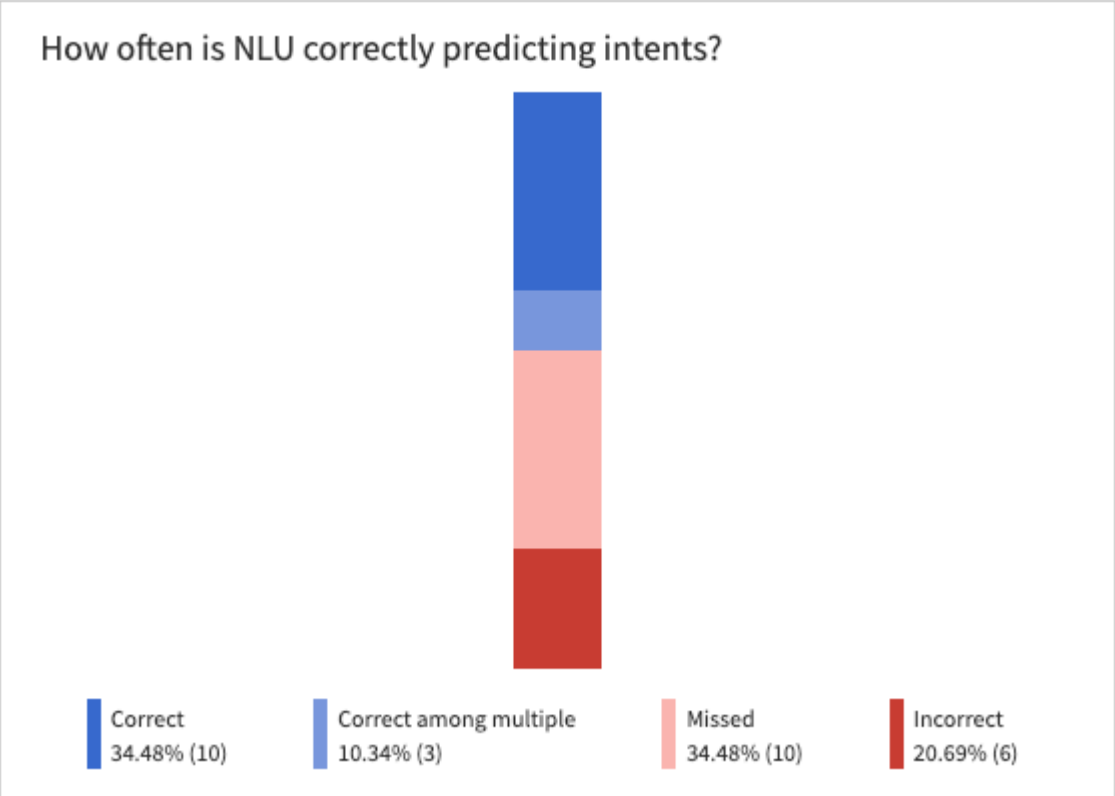
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



テスト結果テーブルにドリルダウンするには、[詳細な結果] タブを選択します。各テスト発言は、その予測とともに [詳細な結果] に一覧表示されます。

テスト結果について

テスト結果は、モデルがテストセットの発言にどのように応答したかを示します。



棒グラフには、正解、複数の中で正解、見落とし、不正解の予測率が表示されます。

パーセンテージ	説明
正解	モデルがインテントを正しく予測した発言の割合。 [関連なし] とマークされた発言に対してモデルが予測するインテントがない場合、その結果は [正解] としてカウントされます。
複数の中で正しい	複数のインテントが予測された発言の場合。 モデルがインテントを正しく予測した発話の割合ですが、発言に属していないインテントも予測しました。
欠落	予期されたインテントがあったにもかかわらず、モデルがインテントを予測しなかった発言の割合。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パーセンテージ	説明
正しくありません	モデルが正しくないインテントを予測した発言の割合。

テストは、モデルの信頼度しきい値に影響を与える可能性があります。信頼度しきい値は、発言のインテントを予測するためにモデルが必要とする信頼度を決定します。信頼性しきい値の詳細については、「NLU モデル設定」を参照してください。

予測されるべきではない発言の詳細については、「NLU での無関係の検出」を参照してください。

モデルを公開

[モデルを公開] ボタンをクリックすると、モデルの現在のバージョンを 仮想エージェントなどの他のアプリケーションで使用できるようになります。

> **注:** モデルがトレーニングされていない場合、[モデルを公開] ボタンは使用できません。公開する前にモデルをトレーニング するには、「モデルをビルドしてトレーニングする」 フェーズに戻ります。

モデルの公開の詳細については、「NLUモデルの公開」を参照してください。

マルチモデルバッチテスト

モデルのテストと公開フェーズでは、デフォルトのテストセットに対してモデルをテストします。マルチモデルバッチテストを使用すると、他のテストセットに対してテストしたり、一度に複数のモデルをテストしたり、テスト結果を確認したりできます。マルチモデルバッチテストを使用するには、**NLU** ワークベンチ > **NLU** の高度な機能 > マルチモデルバッチテスト.

詳細については、「#unique_354」を参照してください。

テストセットの詳細については、以下を参照してください。

- テストセットの作成
- テストセットの作成と管理

テストのプロセスの詳細については、「モデルをテスト」を参照してください。

モデルをテスト

デフォルトのテストセットに対して 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルをテストします。テストは、モデルが現在のコンテンツでどのように動作しているかを判断するのに役立ちます。

始める前に

- NLU モデルビルダー - コアプラグイン、NLU モデルビルダープラグイン、 NLU ワークベンチ - 拡張機能型プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 仮想エージェント または AI 検索用のトレーニング済みモデルを用意します。詳細については、「モデルの構築とトレーニング」を参照してください。
- モデルをテストするためのテストセットを用意します。詳細については、「テストセットの作成と管理」を参照してください。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin エディターをモデルに割り当てる必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
テスト発言と予想されるインテントを含むデフォルトのテストセットを使用して、モデルのテストを実行します。

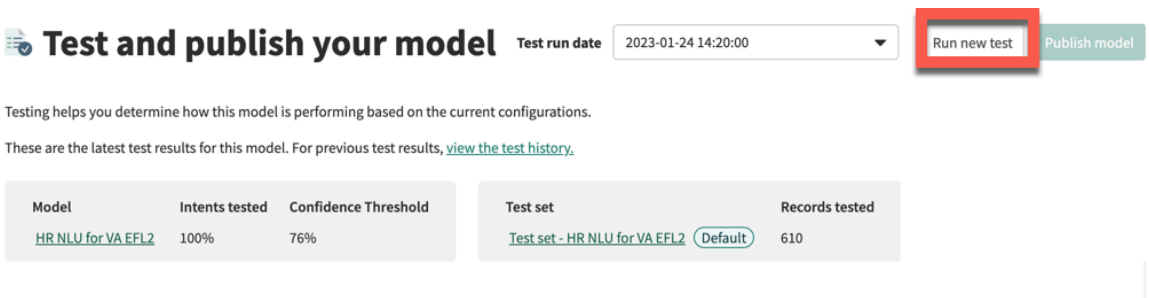
- テストセットで想定されるインテントがモデル内のどのインテントにも対応しない場合、それらのインテントを含む発言はテストに使用されません。これらはテスト結果に含まれていません。
- ダイアログアクトの会話中の応答は、 NLU ワークベンチ では試したりテストしたりすることはできません。
- [関連なし] とマークされた発言に対してモデルが予測を返さない場合、その結果は [正解] としてカウントされます。
- テストセットがモデル内のインテントの少なくとも 60% をカバーしていない場合、システムは信頼度のしきい値を推奨しません。ただし、テストは引き続き実行できます。

このシナリオ例では、モデルをトレーニング済みで、パフォーマンスを評価したいと考えています。

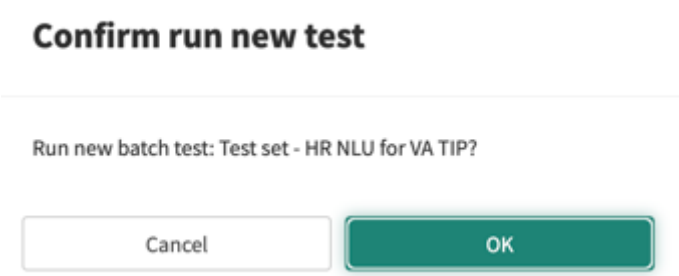
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションのタブを選択し、テストするモデルの名前を選択します。
3. モデル概要の [モデルの詳細] タブで、[モデルをテストして公開する] フェーズのカードを見つけて、[フェーズを表示] をクリックします。
4. [新しいテストを実行] を選択します。

   注: 他のフェーズは、テスト中は利用できません。



5. [新しいテストの実行の確認] ダイアログ ボックスが開くので、[**OK]** を選択します。



   テストが開始され、 テストが進行中です... ページがロードされます。

タスクの結果
テストが完了すると、[モデルをテストして公開します] ページがリロードされます。[テスト実行日] フィールドには、このテストの日時が反映されます。

[概要] タブには、テスト結果のチャートが表示されます。また、上位 5 つの誤ったインテントと上位 5 つの欠落しているインテントのリストも表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[詳細な結果] タブには、すべてのテスト発言とその予測結果が一覧表示されます。

以前のテスト結果を表示するには、[モデルをテストして公開] で [テスト履歴を表示] をクリックするか、 バッチテスト > テスト結果.

次のタスク
その結果を使用して、モデルのコンテンツを編集および改善します。満足のいく結果が得られたら、モデルを公開して、 仮想エージェントなどの使用アプリケーションで使用できるようにします。

NLUモデルの公開

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを公開してアクティブ化し、NLUを使用する他のアプリケーションで使用できるようにします。

始める前に

- - NLU ワークベンチ - Core プラグイン、 NLU ワークベンチ プラグイン、および 予測インテリジェンス プラグインがすべてインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- トレーニングおよびテスト済みの NLU モデルを用意します。
- 必要なロール:admin または nlu_admin

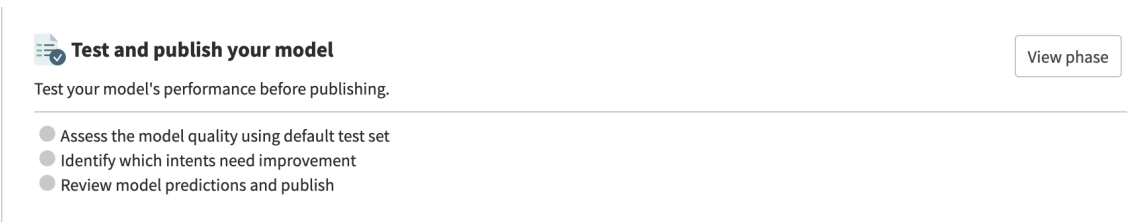
このタスクについて
この手順では、 NLU モデルを既にトレーニング、テスト、および調整しており、結果に満足しています。

モデルが既に公開されている場合は、再度公開できます。ただし、再公開する前にモデルを再度トレーニングする必要があります。

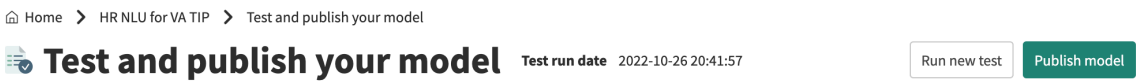
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、モデルの名前を選択します。
3. [モデルの概要] ページで、[モデルをテストして公開する] を見つけ、[フェーズの表示] を選択します。

   > **注:** モデルがまだビルドまたはトレーニングされていない場合、 モデルのテストと公開フェーズは利用できません。



4. [モデルをテストして発行する] 画面で、[新しいテストの実行] を選択し、既定のテスト セットを使用してモデルを評価します。
   テストはスキップできますが、モデルのパフォーマンスが最適ではない可能性があります。テストがスキップされた場合は、テストなしで続行するかどうかを尋ねる確認メッセージが表示されます。テストの詳細については、「 モデルをテストおよび公開」を参照してください。
5. [**Publish model** (モデルを公開)] をクリックします。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** モデルがまだテストされていない場合、[モデルを公開] ボタンは白色になります。モデルが既にテストされている場合、ボタンは緑色です。前回のトレーニング済みモデルが既に公開されている場合、[モデルを公開] ボタンは使用できません。「モデルの構築とトレーニング」に戻り、再度トレーニングします。

結果：NLUモデルの最新バージョンが公開されます。モデルがアクティブで、仮想エージェントなどの他のServiceNowアプリケーションで使用できます。また、公開により、これらのアプリケーションで現在使用されている古いバージョンのモデルが置き換えられます。

NLU モデルのドラフトバージョンと公開済みバージョンの比較

ドラフトのトレーニング済み 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを最新の公開バージョンと比較します。変更をテストおよびレビューして、ドラフトモデルのパフォーマンスが向上することを確認します。

始める前に

- NLU ワークベンチ プラグイン、NLU ワークベンチ - Core プラグイン、NLU ワークベンチ - 拡張機能型プラグイン、および Predictive Intelligence プラグインがインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。
- 必要なロール:nlu_editor、nlu_admin、または admin エディターをモデルに割り当てる必要があります。

このタスクについて

このシナリオ例では、予測信頼スコアを向上させることを目的として、NLU ワークベンチで公開されたNLUモデルを繰り返しトレーニングして試しています。

NLUモデルに対して発言を試みると、次のようになります。

- モデルがトレーニング済みで公開されていない場合、[モデルをテスト] パネルにはトレーニング済みモデルの結果のみが表示されます。
- モデルがトレーニングされて公開されている場合、[モデルをテスト] パネルには公開されたモデルの結果のみが表示されます。
- 公開されたモデルに変更を加えてトレーニングした場合、[モデルをテスト] パネルには、比較のためにトレーニング済みモデルの結果と公開されたモデルの結果の両方が表示されます。

この手順例では、ビルド済みの読み取り専用の HR モデルからモデルのクローンを作成しました。モデルをクローン作成して、ビルド済みモデルの既存のインテントを活用しながら、独自のビジネス固有バージョンを作成しました。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. モデルのアプリケーションに対応するタブを選択し、公開したモデルの名前を選択します。
3. モデルの概要ページから、[モデルの構築とトレーニング] カードを見つけて、その [表示フェーズ] をクリックします。
4. インテント、発言、エンティティ、または語彙を変更します。
   このシナリオ例では、 #UpdateEmail インテントにさらにいくつかのトレーニング発言を追加します。
5. 変更されたモデルをトレーニングして試し、公開バージョンのスコアと比較して予測スコアを確認できるようにします。
   a. [モデルのトレーニング] タブで、[トレーニング] ボタンをクリックします。
   b. トレーニングが終了すると、「 モデルが正常にトレーニングされました」と表示されます。

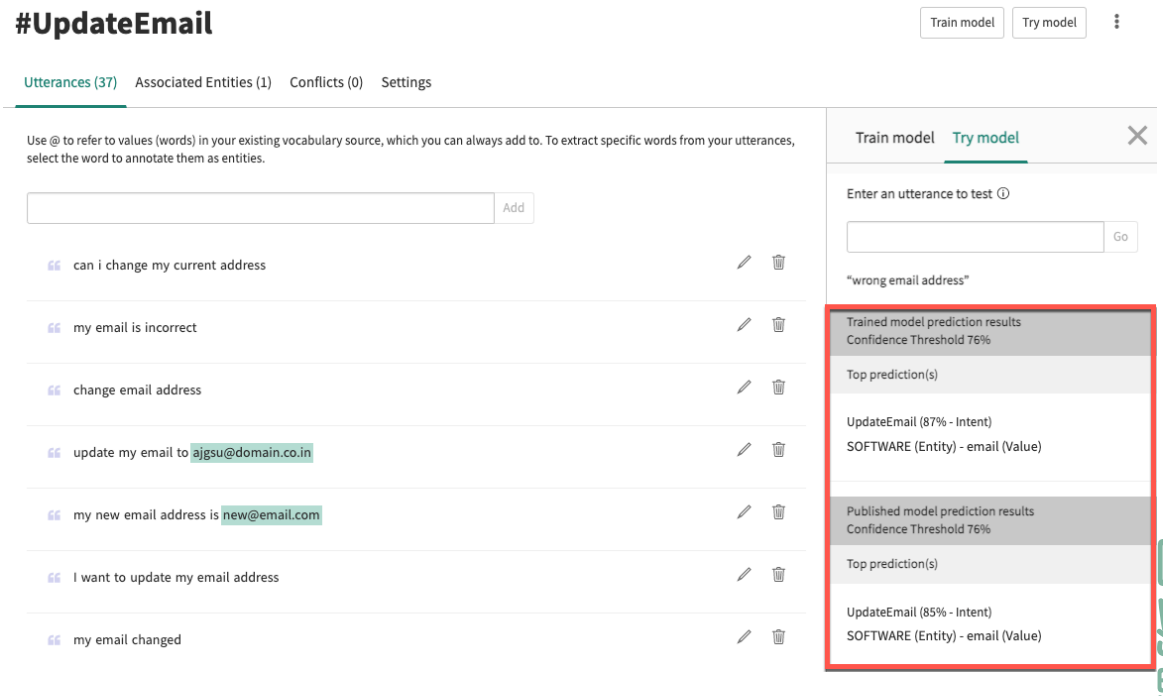
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [モデルを試す] タブで、「メールアドレス が間違っている」という発言を入力します。

d. [移動 **(Go)**] をクリックします。

パネルには、公開されたモデルとトレーニング済みモデルの両方の予測結果が表示されます。変更前と変更後のモデルの 2 つのバージョンの結果を比較します。この例では、信頼スコアがわずかに増加しています。モデルコンテンツに大幅な変更を加えると、信頼スコアやインテント予測が変更される可能性があります。



次のタスク
テスト パネルの情報を使用して、行った変更によってモデルのパフォーマンスが向上するかどうかを確認します。変更に問題がなければ、公開する前にモデルをテストしてください。次に、モデルを公開して、現在公開されているバージョンを置き換えます。

NLU での無関係の検出

無関係の検出により、 仮想エージェント チャットに集中できるようにします。無関係検出機能を使用して NLU モデルをトレーニングし、関連性のない発言の予測が行われないようにします。

サマリー情報

無関係検出機能は、特定の発言を無視するように NLU モデルをトレーニングすることで、モデルの予測精度を向上させます。ユーザーからのこれらの発言はどのインテントにも適用されない可能性があるため、予測は取得されません。

想定されていないときにモデルがインテントを予測しないようにするために、発言を [関連なし] としてマークできます。これらのマークされた発言は、モデルトレーニングの一部として含まれています。公開されたモデルがユーザーからの同様の発言を検出した場合、インテントは一致せず、予測されません。

無関係検出テーブルでは、 関連なしとしてマークされた発言を管理できます。

自動翻訳

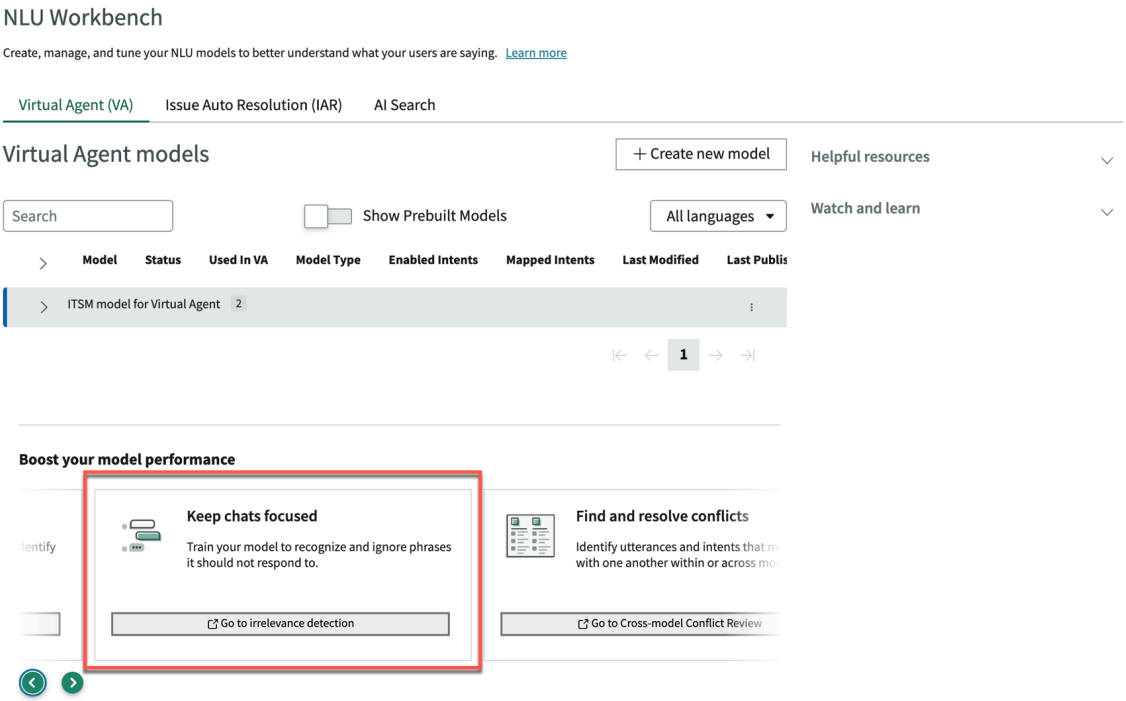
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロール、使用法、ナビゲーション

nlu_admin ロールまたは admin ロールを使用して、無関係検出にアクセスします。nlu_editorロールも無関係検出にアクセスできますが、モデルのコンテンツを編集するにはモデルにアサインする必要があります。

無関係検出は、 仮想エージェント モデルでのみ使用できます。

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル. デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。
2. 仮想エージェントモデルのリストを下にスクロールして、[モデルのパフォーマンスを向上させる]セクションに移動します。
3. 水平方向にスクロールしてカードを見つけます チャットの 集中を維持し、そのボタンを選択します 無関係の検出に移動します。



> **注:** この機能のインスタンス URL は <instance-name>.servicenow.com/now/nlu-workbench/irrelevant-utterances です。

無関係検出への発言の追加

無関係の検出に発言を追加するには、いくつかの方法があります。

- 仮想エージェントチャットログ:NLU ワークベンチ の専門家フィードバックループでは、仮想エージェントチャットログから収集された発言を確認するときに、それを [関連なし] としてマークできます。システムは、特定のモデルに関係がないか、すべてのモデルに関係がないかを尋ねます。追加すると、これらの発言が専門家フィードバックループで **NO_INTENT** として表示される場合があります。

  NLU の専門家フィードバックループの詳細については、「#unique_301」を参照してください。

  これらの発言には、無関係検出テーブルに **VA** チャットログ のソースがあります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 手動入力: [無関係の検出] で、 [ここに 発言を入力] フィールドに発言を入力し、 [追加] を選択します。システムは、特定のモデルに関係がないか、すべてのモデルに関係がないかを尋ねます。

  これらの発言の [ソース] は [無関係] 検出テーブルに [手動] です。

- インポート:CSV または XLSX (Excel ワークブック) ファイルを使用してトレーニング発言とそのインテントをインポートする場合、[インテント] 列を空のままにすることで、無関係な発言を示すことができます。これらの発言は、専門家フィードバックループや競合レビューなどの領域で **NO_INTENT** として表示される場合があります。

  発言とインテントのインポートの詳細については、「 CSV ファイルから NLU モデルを作成する」を参照してください。

  これらの発言の [ソース] は [無関係] 検出テーブルに [手動] です。

無関係な発話の動作

無関係な発話には、ある特定のモデルに関連付けられた発話と、どのモデルにも無関係な発話の 2 種類があります。モデルには、最大 200 件の無関係な発言を関連付けることができます。

これら2つのタイプと最大200カウントがどのように相互作用するかの詳細を以下に示します。

モデルがトレーニングのために送信されると、最大 200 件の無関係な発言がモデルとともに送信されます。まず、そのモデルに直接関連付けられた無関係な発言が送信されます。その後、どのモデルにも関連しないと指定された発言が送信されます。これらのタイプの合計は 200 を超えません。

モデルに 200 件の無関係な発言が関連付けられており、新しい無関係な発言が追加されると、モデルの最も古い発言が削除されます。新しい無関係な発話は、いずれかのタイプである可能性があります (特定のモデルに関連しないか、どのモデルにも関連していません)。

モデルには、通常のトレーニング発言よりも無関係な発言を含めることはできません。

競合レビュー

発言が無関係としてマークされていて、インテントに同様の発言がある場合、モデルはその発言の予測を行いません。つまり、無関係な発話はトレーニング発話よりも優先されます。

無関係な発言はモデルの予測に影響を与えるため、トレーニング発言と重複する場合は競合として表示されます。

無関係な発言との競合が強調表示される場所は 2 つあります。

- モデル間競合レビューモジュール。このモジュールの詳細については、「 #unique_358」を参照してください。

  > **注:** モデル間競合レビューモジュールは、ServiceNow® Store の NLU ワークベンチ - 拡張機能型アプリケーションで利用できます。詳細については、「NLU Workbench - Advanced Features」を参照してください。

- インテントの [競合] タブ。インテント内の競合の詳細については、「 インテントの問題を解決」を参照してください。

競合を確認する目的で、無関係な発言は、 **NO_INTENT** という名前の独自のインテントであるかのように表示されます。

無関係な発言は、競合ページでは編集または削除できないことに注意してください。競合ページから無関係な発言を [無関係な検出] ページにコピーして、発言を変更または削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細情報

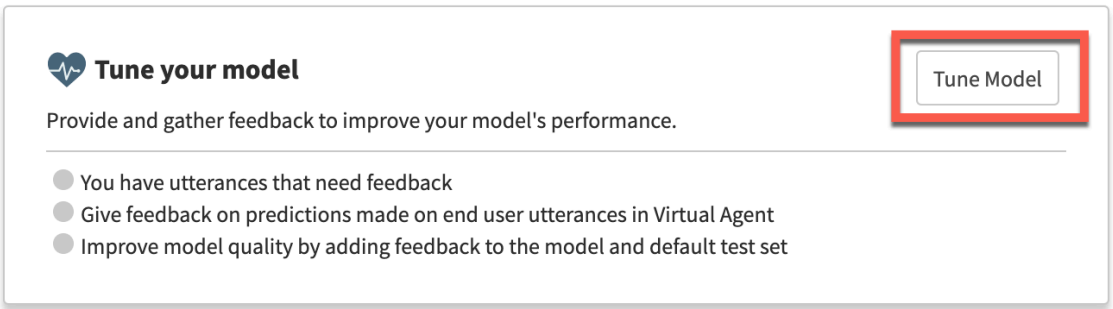
- テストセットでは、テスト発言の約 10% を無関係として含めることを目標とします。これは、インテントが予測されるべきではない発言をモデルがどのように処理するかを評価するのに役立ちます。CSV または XLSX (Excel ワークブック) ファイルからトレーニングまたはテスト発言をインポートする場合、[インテント] 列を空のままにすることで、発言が無関係であることを示すことができます。
- テストセットに対してモデルをテストする場合、無関係な発言のインテントが予測されない場合、結果は 正しい と見なされます。
- 関連なしとしてマークされた発言は、後で再アサインできます。たとえば、新しいインテントが作成された場合、既存の無関係な発言を新しいインテントに手動でアサインできます。その後、通常のトレーニング発言の一部になります。

  無関係の検出で発言を再アサインするには、[修正されたインテント] 列のリストを展開し、適切なインテントを選択します。再アサイン後は、必ず [フィードバックを保存] ボタンを選択してください。また、これらの更新をモデルに組み込むには、必ずモデルを再トレーニングしてください。

- 無関係な発言は、モデル内の特定のインテントに関連付けられません。これらは、1 つのモデルに関連付けられているか、どのモデルにも関連していないとマークされています。
- どのモデルにも関連しないとマークされた発言は、各モデルのトレーニングデータの一部として送信されます。つまり、これらはすべてのモデルに適用されます。
- 関連のない発言を組み込むには、モデルトレーニングが必要です。モデルをトレーニングすると、新しくマークされた発言がすべてのモデルに追加されます。
- 発言は、無関係検出テーブルで削除または編集できます。
- 無関係な発言には、インテントに関連付けられた発言とは異なるコンテンツを含める必要があります。

モデルを調整

NLU ワークベンチのモデルの概要で、モデルの調整フェーズを開き、専門家フィードバックループからのユーザーの発言を確認して組み込みます。



使用方法の概要

モデルの概要の [モデルの調整] フェーズでは、仮想エージェントチャットログからデータを収集してフィードバック用に提供する、NLU 専門家フィードバックループ機能に移動します。

注: [モデルの調整] を表示するには、ServiceNow® Storeアプリケーション NLU ワークベンチ - 拡張機能がインストールされている必要があります。仮想エージェントプラグインも必要です。

専門家フィードバックループにレビュー待ちのフィードバックがある場合は、 フィードバックが必要な発言が カードでハイライト表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

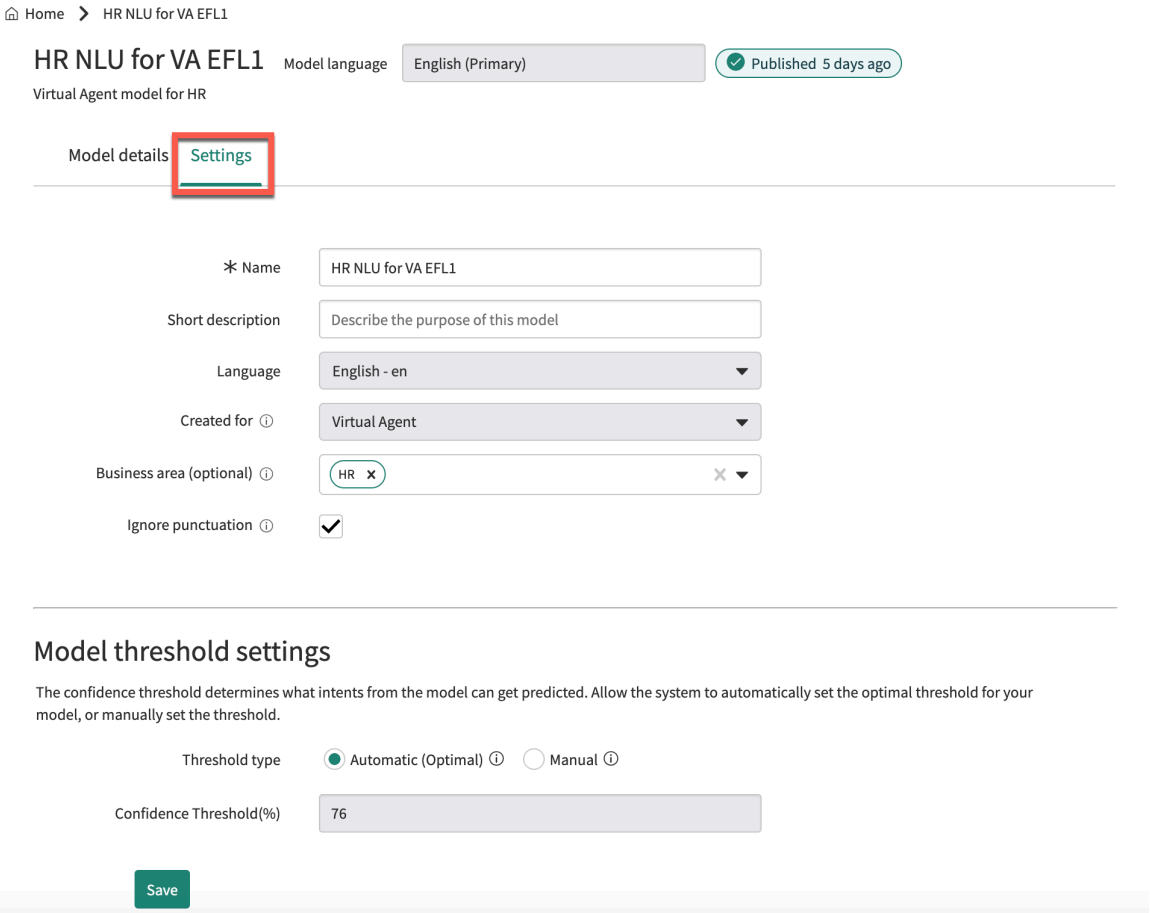
自動翻訳

詳細については、「#unique_301」を参照してください。

NLU モデル設定

モデル概要の [設定] ページで、NLUモデルの名前、説明、または信頼度しきい値を変更します。

に移動して、モデルの設定にアクセスします **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル. モデルのアプリケーションのタブを選択してから、モデルの名前を選択します。モデルの概要で、[モデル設定] タブを選択しま



す。

モデル設定

モデル設定ページの上部セクションでは、モデルの名前、簡単な説明、およびビジネスエリアを変更できます。モデルの言語、目的、またはスコープを変更することはできません。別の言語、目的、またはスコープでモデルを作成するには、「 モデルの作成」を参照してください。

デフォルトでは、[句読点を無視] チェックボックスはオンになっています。句読点を無視すると、句読点がわずかに異なる発言の予測されるインテントと信頼スコアの間の差異が少なくなります。最良の結果を得るには、チェックボックスをオンのままにします。

モデルのしきい値設定

ここでは、モデルでの信頼性しきい値の動作を調整できます。

しきい値は、パーセンテージで表される信頼スコアです。モデルの信頼度しきい値によって、特定の発言に対してそのモデルのどのインテントが予測されるかが決まります。たとえば、モデルのしきい値が 65% の場合、インテントの信頼スコアが 65% 以上である場合にのみ、発言のインテントが予測されます。しきい値の設定が低すぎると、発言に一致すべきではないインテントが予測されるため、誤検出が増加する可能性があります。一方、モデルしきい値が高すぎると、予測するインテントが除

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

外される可能性があります。理想的なしきい値を見つけることで、インテントを正しく予測するモデルの能力が向上します。

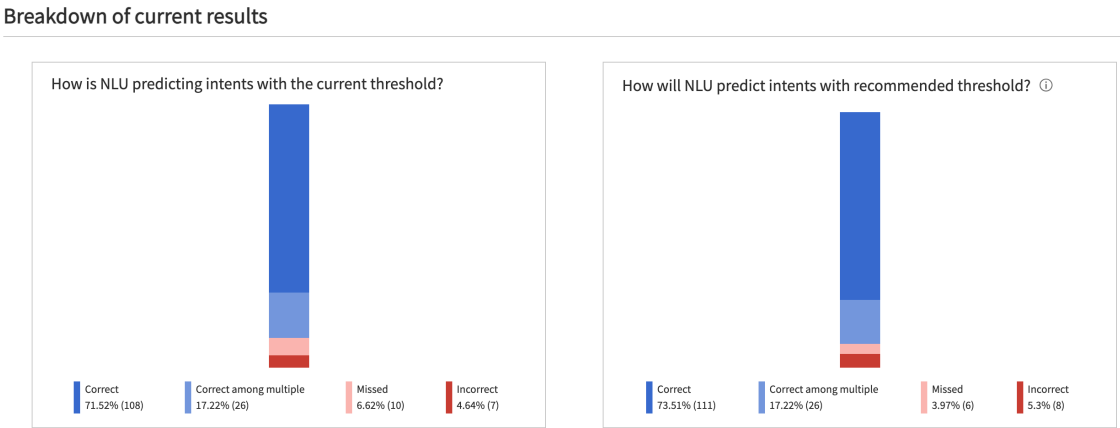
モデルしきい値設定には、次の 2 つのタイプがあります。

- 自動 - モデルに最適な信頼度しきい値が自動的に選択されます。値はテスト結果に基づいて動的に更新されます。これは、モデルのデフォルトのテストセットが使用されるモデルを テストして公開 するフェーズで発生します。
- 手動 :信頼度しきい値を手動で設定できます。システムは、テスト中にモデルに対してより適切なしきい値を推奨する場合もあります。推奨事項を受け入れることを選択できます。

ビルド済みモデルには、調整されたしきい値が付属しています。構築済みモデルの信頼度しきい値は、そのモデル専用に選択されています。

テスト結果には、次の要件を満たす場合にのみ 、モデルしきい値の推奨事項 が含まれます。

- テストセットのテスト範囲スコアが 60% 以上で、インテントごとに少なくとも 5 つのテスト発言がある。詳細については、「テストセットの作成と管理」を参照してください。
- テストセットに少なくとも 100 個の発言がある。
- モデルは構築済みモデルではありません。
- 推奨されるしきい値を使用すると、現在のしきい値よりも良い結果が得られます。



推奨されるしきい値を持つテスト結果には、2 番目のグラフィックが含まれます。2 番目のグラフは、推奨しきい値を適用した場合の予測の割合を示しています。

しきい値の推奨事項を適用すると、モデルの予測率が向上する場合があります。[推奨事項の適用] を選択して、しきい値を変更します。モデルは自動的に再トレーニングされ、テスト結果には新しいしきい値での予測率が表示されます。

多言語モデル管理

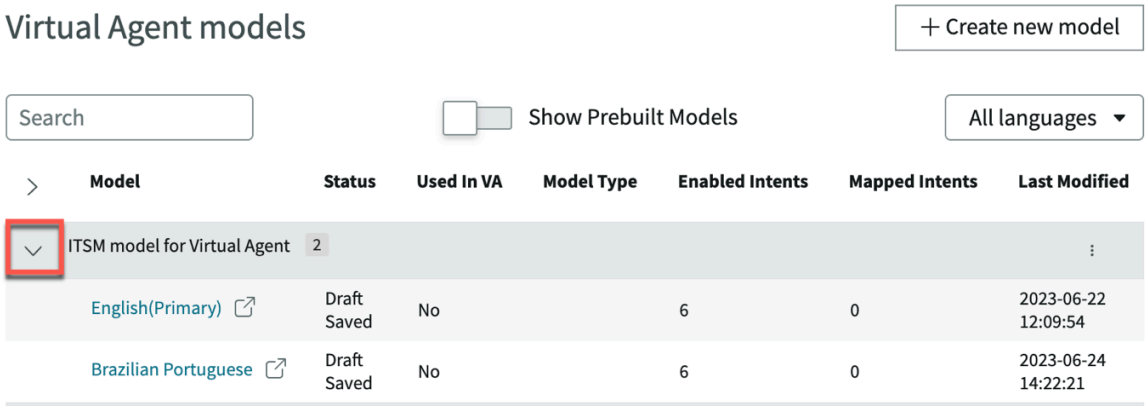
システムに多言語 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルを使用して、複数の言語でのユーザー入力を理解します。この NLU ワークベンチ は、言語間でコンテンツの一貫した構造を管理および維持し、統一されたエクスペリエンスを提供するのに役立ちます。

第 1 言語と第 2 言語

プライマリ言語は、モデルの作成時に選択するソース言語です。これらのモデルは プライマリモデルと見なされます。その後、プライマリモデルをさまざまな言語に翻訳できます。これらの変換されたモデルは、 セカンダリモデルと呼ばれます。翻訳される言語は、セカンダリ言語と呼ばれます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU ワークベンチ ホームには、モデル名の下にネストされたプライマリ言語モデルとセカンダリ言語モデルが表示されます。モデル名の左側にある矢印を選択して、言語グループを展開します。



多言語モデル管理は、 NLU モデルをグループ化、監視、および更新する方法を提供します。モデル言語の指定は次のように機能します。

- プライマリモデルには、モデルの作成時にアサインした言語があり、英語 (プライマリ) としてリストされます。プライマリモデルの言語は、後からセカンダリモデルに続く翻訳のソース言語です。
- セカンダリモデルは、プライマリモデルの変換コピーです。各セカンダリモデルは、ブラジルポルトガル語、ポーランド語、フィンランド語などの異なる言語を使用します。
- サポートされているどの言語でも、プライマリモデルのプライマリ言語またはセカンダリモデルのセカンダリ言語にできます。
- モデル グループ内に同じ言語を使用する 2 つのセカンダリ モデルを持つことはできません。

NLUで使用可能な言語の詳細については、「NLU の言語サポート」を参照してください。

言語グループ化の実装

言語のグループ化はオプションですが、モデルのさまざまな言語バージョンを整理するのに役立ちます。モデル言語を確実にグループ化するには、次の 2 つの方法があります。

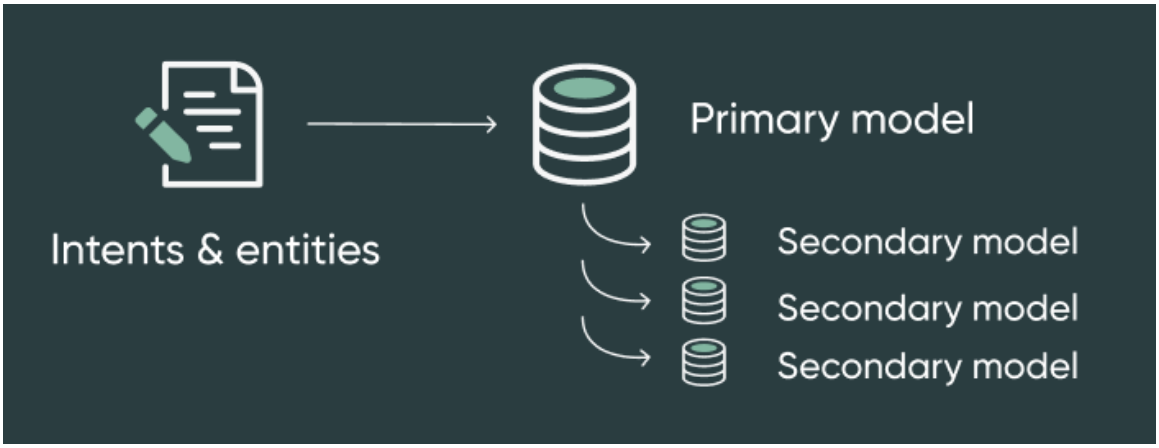
- モデルの [その他のオプション] メニューでプライマリモデルに言語を追加できます。これにより、翻訳オプションを含むセカンダリ言語モデルが自動的に作成されます。言語の追加と翻訳の詳細については、「 多言語モデルの翻訳」を参照してください。
- `<instance_name>.service-now.com/$nlu-studio.do#/model-migration` にアクセスして、インスタンスモデルの移行ページに直接アクセスできます。この方法を使用した言語のグループ化の詳細については、「 モデル言語のグループ化」を参照してください。

プライマリモデルとセカンダリモデルの交互作用

モデルグループ内の一貫性を確保するために、すべてのセカンダリモデルのインテントとエンティティの名前はプライマリモデルのコンテンツと同じです。新しいインテントは、プライマリモデルでのみ作成できます。プライマリモデルでインテントを作成すると、モデルグループ内のすべてのセカンダリモデルにインテントが追加されますが、発言は含まれません。新しいインテントはデフォルトで無効になっています。新しいエンティティは、エンティティをサポートする言語のセカンダリ モデルで作成することもできます。プライマリモデルにエンティティを追加すると、モデルグループ内のすべてのセカンダリモデル間でエンティティが作成されます (有効な場合)。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライマリモデル、セカンダリモデル、およびコンテンツ間のインタラクション



プライマリモデルにインテントを追加すると、そのインテントはすべてのセカンダリモデルに追加されます。セカンダリモデルのすべてのインテントは、プライマリモデルの対応するインテントにマップされます。インテントのマッピングにより、これらのインテントを使用するすべてのアプリケーションが、対応するプライマリインテントを介してすべてのセカンダリインテントにアクセスできるようになります。

プライマリモデルのインテントまたはエンティティを削除すると、対応するインテントとエンティティもセカンダリモデルで削除されます。したがって、セカンダリモデルは常にプライマリモデルコンテンツのステータスに従う必要があります。セカンダリモデルのインテントは削除できませんが、無効にすることはできます。

インテントインタラクションの詳細については、「 セカンダリモデルへのプライマリモデルコンテンツのインポート」を参照してください。

セカンダリモデルで作成されたエンティティが、プライマリモデルで作成された対応するエンティティのコピーである場合、削除することはできません。ただし、プライマリモデルに対応するエンティティがない場合は、セカンダリモデルでエンティティを追加または削除できます。

モデルを翻訳したり、セカンダリモデルにインテントやエンティティを追加したりするたびに、モデルをレビューする必要があります。[要レビュー] とマークされたセカンダリモデルは、公開する前に手動でレビューする必要があります。

レビューが必要なセカンダリモデルの表示



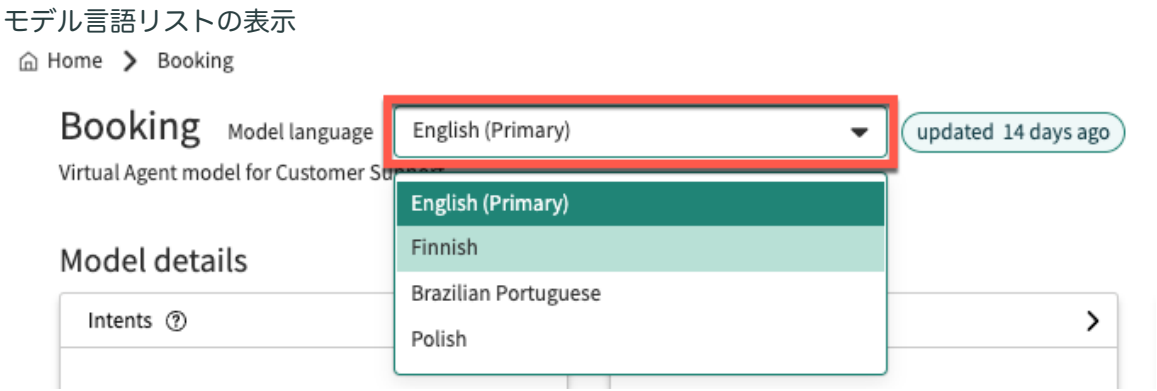
セカンダリモデルのすべてのインテントが無効になっている場合、モデルで [トレーニング] ボタンと [試行] ボタンも無効になります。ただし、モデルで有効になっているインテントが 1 つしかない場合でも、モデルをトレーニングしてテストできます。一部のインテントがセカンダリモデルでそれら翻訳のために有効になっていることを確認します。

注: トレーニングとテストの際、プライマリモデルとセカンダリモデルで類似の発言の予測スコアが異なる場合があります。文脈は、固有の構造的差異により、言語間で異なって出くわします。

モデルを確認するときに、モデルグループ内の言語間を移動できます。[モデルの詳細] ページで、[モデル言語] ドロップダウンリストを使用して他のモデルに移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



グループ化されたモデルとモデルグループの複製

nlu_adminロールを使用すると、プライマリモデル、セカンダリモデル、およびモデルグループ全体を複製できます。モデルグループの中から、プライマリモデルのみ、またはセカンダリモデルのセットを複製できます。

これらのモデルを複製するときに発生する可能性のあるシステム動作のリストを以下に示します。

- モデルグループ内のセカンダリモデルを複製すると、複製されたバージョンは、そのモデルグループ外の別のプライマリモデルになります。
- すべてのインテントが複製されます。複製されたインテントは、元のインテントと同じ [有効] ステータスを維持します。
- プライマリモデルを複製する場合、一連のセカンダリモデルを複製することも、すべてのセカンダリモデルも一緒に複製することができます。このアクションでは、複製されたバージョンで構成されるモデルグループを作成し、それぞれの元のモデルをソースモデルとしてマークします。
- モデルグループを複製する場合、既存のセカンダリモデルを複製グループのプライマリモデルとして選択できます。
- グループの複製中に、既存のモデル グループ内のセカンダリ モデルを新しいプライマリ モデルとして選択すると、無効化されたすべてのエンティティがセカンダリ モデルの複製バージョンに対して有効になります。セカンダリモデルは、新しい重複モデルグループ内のプライマリモデルになります。
- セカンダリモデルなしでプライマリモデルを複製すると、複製されたバージョンが別のプライマリモデルになります。

詳細については、「NLU モデルの複製」を参照してください。

モデル言語のグループ化

言語のグループ化により、多言語 自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルの管理が容易になります。既存の言語グループを確認し、新しい言語グループを指定できます。

言語のグループ化

言語のグループ化では、 NLU モデルがプライマリモデルとセカンダリモデルに整理され、グループのプライマリ言語とプライマリモデルが示されます。

モデルに新しい言語を追加した場合は、言語グループが自動的に作成されるため、既存の言語グループが既に存在する可能性があります。新しい言語モデルの追加と翻訳の詳細については、「 多言語モデルの翻訳」を参照してください。

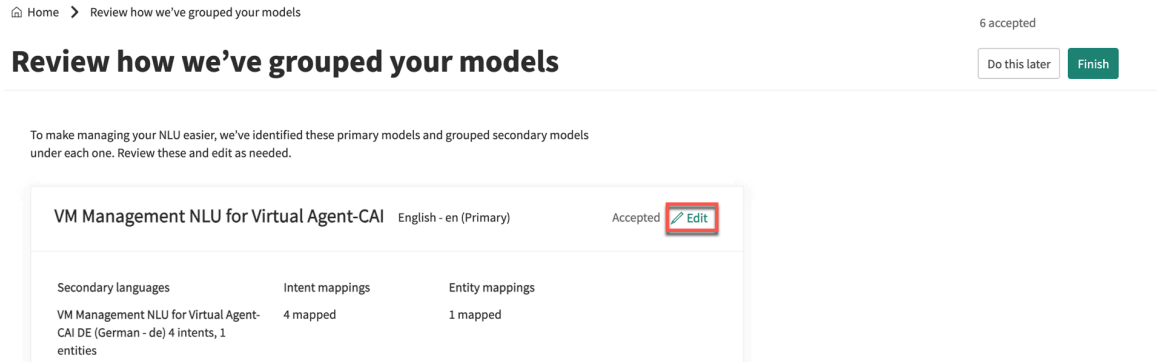
現在の言語グループを表示し、新しい言語グループの可能性を検査するには、次の場所に移動します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

`<instance_name>.service-now.com/$nlu-studio.do#/model-migration`.

[モデルをどのようにグループ化したかを確認する] というタイトルのページが開きま

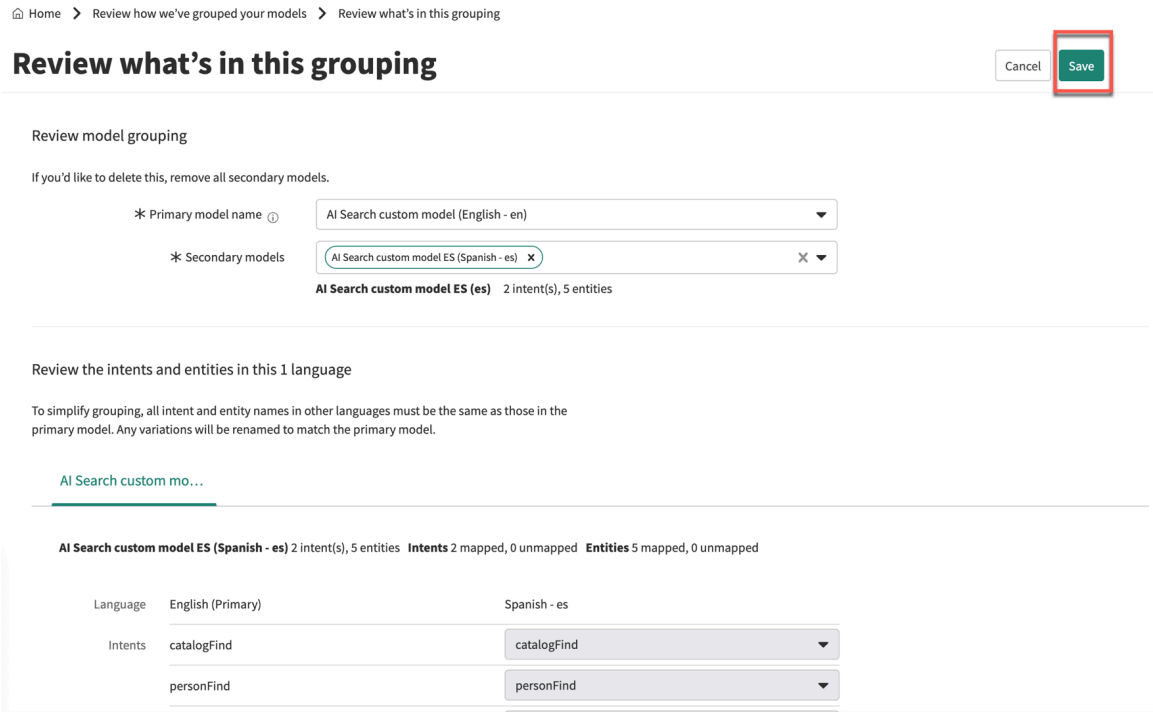


す。

グループ化されたモデルの確認

nlu_adminロールを使用する場合は、[モデルをどのようにグループ化したかを確認する] 画面で 2 つの操作を実行できます。

- 上部のセクションで、現在のモデル言語グループを確認および編集できます。既存の言語グループの場合、 仮想エージェント (VA) からのインテントとエンティティのマッピングが表示されます。VA マッピングを更新するか、セカンダリ言語の 1 つをグループ内のプライマリ言語にするには、[編集] ボタンを選択します。[このグループ化の内容を確認する] というタイトルのページが開きます。編集が完了したら、[保存] ボタンを選択しま

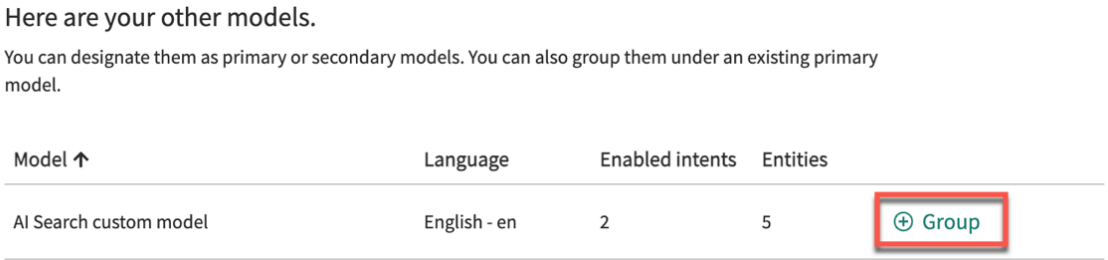


す。

自動翻訳

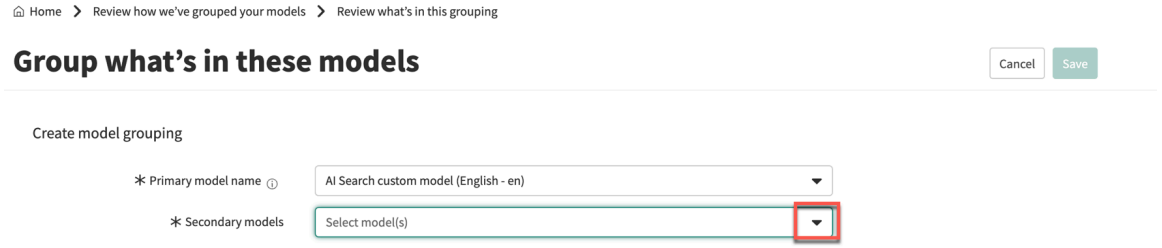
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 画面の [他のモデルはこちら] セクションで、モデルを手動でグループ化できます。必要に応じて、ページを下にスクロールしてこのセクションを表示します。モデルの言語グループを設定するには、その [グループ] ボタンを展開します。



す。

[グループ] 関数により、[これらのモデルの内容をグループ化] というタイトルのページが開きます。使用可能なセカンダリモデルのリストを展開し、[保存] ボタンを選択できます。新しいグループは、ページを更新した後、[モデルをどのようにグループ化したかを確認する] の上部セクションに表示されます。



す。

注: システムがモデルをグループ化するのに要する時間は、モデルの数とサイズによって異なります。

多言語モデルの翻訳

既存の NLU モデルを翻訳して、言語を追加します。サポートされている言語でセカンダリモデルを追加するには、いくつかの翻訳オプションのいずれかを使用します。

始める前に

- ローカリゼーションフレームワーク (com.glide.localization_framework.installer) プラグインをアクティブ化します。「ローカリゼーションフレームワーク」を参照してください。
- ターゲットアプリケーションスコープで、プライマリ言語モデルを作成するか、既存のプライマリモデルを使用します。
- 多言語は、 仮想エージェント モデルと AI 検索 モデルで使用できます。
- 必要なロール:nlu_admin または admin

注: nlu_editorロールには新しいモデルを作成する権限がないため、nlu_editorロールはモデルの変換を開始できません。「モデルへの NLU エディターの割り当て」を参照してください。

このタスクについて

モデルを翻訳すると、プライマリモデルと同じアプリケーションスコープ内に、選択した言語のセカンダリモデルが作成されます。

セカンダリモデルには、プライマリと同じコンテンツが含まれています。ただし、セカンダリモデルのインテントは無効になっているため、セカンダリモデルを公開する前にレビューする必要があります。

プライマリモデルを翻訳してセカンダリモデルを作成するには、翻訳モードを選択する必要があります。モードは、この手順のステップ 4 で使用する個別のカードとしてユーザーインターフェイスに表

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

示されます。アクティブ化されたカードは、細い緑色の境界線で囲まれて表示されます。アクティブ化されたカードのみを翻訳モードとして選択できます。[AI を使用] モードと [サードパーティを使用] モードでは、アクティブ化されたカードの [追加] ボタンを選択すると、翻訳が開始されます。

翻訳なしモードはデフォルトで有効になっており、すべての言語で使用できます。ただし、[AI を使用] モードと [サードパーティを使用] モードは、セカンダリ言語のローカリゼーションフレームワーク (LF) 設定が設定されている場合にのみアクティブ化されます。

注: セカンダリ言語で新しいモデルを追加する前に、セカンダリ言語の ローカリゼーションフレームワーク (LF) 設定が完了していることを確認する必要があります。

翻訳モード	説明
AI を使用	Google などの機械学習プロバイダーを使用して翻訳します。カードを選択すると、翻訳されたセカンダリモデルが作成されます。機械翻訳は正しくないか、直訳が多すぎる可能性があるため、翻訳されたコンテンツの正確性を確認してください。詳細については、「動的翻訳」を参照してください。 [AI を使用] モードを有効にするには、ローカリゼーションフレームワーク を構成してアクティブ化する必要があります。
サードパーティを使用	プロの翻訳チームに翻訳を依頼してください。このモードを選択すると、セカンダリ言語の LF 言語グループ設定に従って LF タスクが作成されます。翻訳が完了すると、翻訳されたモデルが作成され、レビューの準備が整います。詳細については、「ローカリゼーションフレームワーク と 翻訳モード」を参照してください。
翻訳なし	デフォルトです。プライマリ言語をセカンダリ言語に手動で翻訳します。このモードを選択すると、プライマリモデルと同じインテント名を持つドラフトセカンダリモデルが作成されます。これらのインテントはデフォルトでは無効になっており、発言を手動で入力する必要があります。プライマリモデルからインポートされたインテントの名前とエンティティの名前は編集できません。セカンダリモデルで直接作成したエンティティの名前は編集可能です。このモードは、最初にプライマリモデルのドラフトを作成して保存し、後で発言を翻訳する場合にも役立ちます。

多言語モデルは 17 の言語でサポートされています。

注: これらの言語の一部は、エンティティではなくインテントのみをサポートしています。言語がインテント専用の場合、プライマリモデルエンティティは翻訳もコピーもされません。詳細については、「NLU の言語サポート」を参照してください。

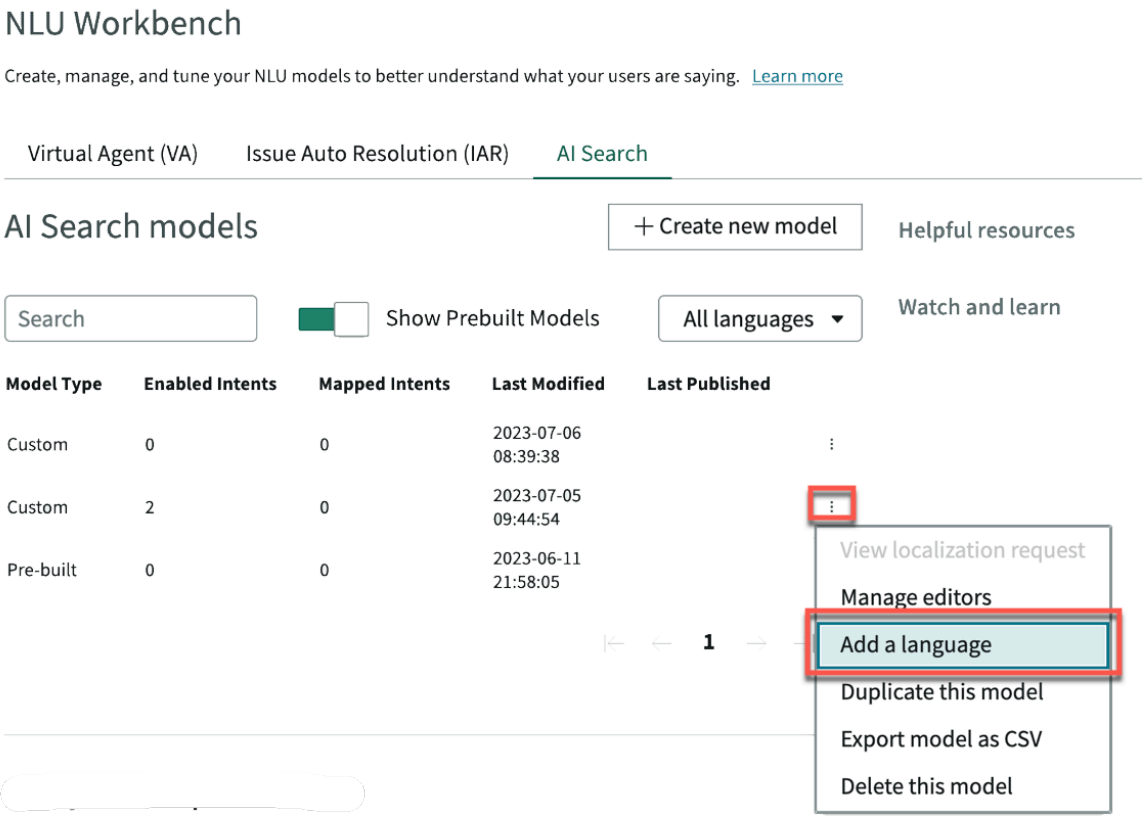
この例のシナリオでは、プライマリモデルが英語を使用し、発言を翻訳せずにフランス語のバージョンを追加しています。

手順

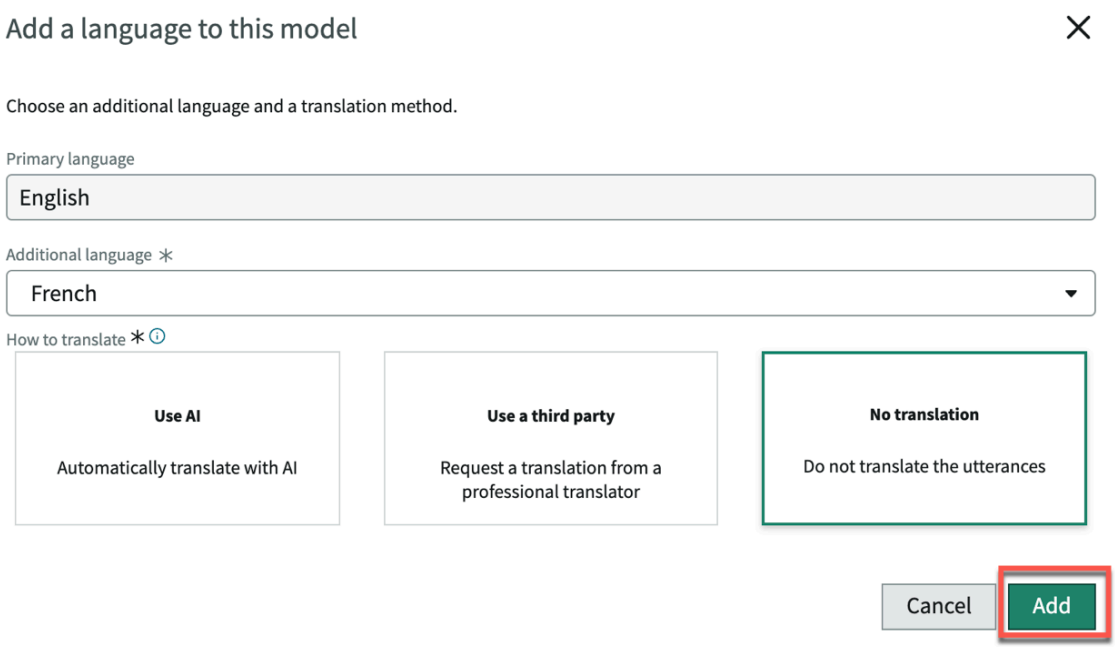
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。必要に応じて、[AI 検索] タブを選択します。
2. セカンダリ言語をアサインするプライマリモデルを特定します。
3. プライマリ モデルの行で、その他のオプション メニューを選択し、 言語の追加 を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: [その他のオプション] メニューを見つけるために、右にスクロールする必要がある場合があります。



4. [このモデルに言語を追加] ウィンドウで、セカンダリ モデルに使用する言語と翻訳方法を選択します。



5. [追加] ボタンを選択します。
セカンダリモデルが作成され、セカンダリモデルの [モデルの構築とトレーニング] フェーズがロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
翻訳なしでモデルを有効にする場合は、インテントごとにトレーニング発言を手動で入力する必要があります。ソフトウェアまたはサードパーティの翻訳ツールを使用する場合は、モデルの作業を続行する前に翻訳をレビューする必要があります。

トレーニング発言の入力とセカンダリモデルのレビューは、nlu_editorロールを持つユーザーに委任できます。詳細については、「モデルへの NLU エディターの割り当て」と「インテントの問題を解決」を参照してください。

セカンダリモデルインテントの有効化または無効化

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルのインテントを有効または無効にして、アクティブまたは非アクティブにします。エディターまたはアドミニストレーターがコンテンツと翻訳を編集、レビュー、または更新している間は、インテントを無効にします。

始める前に
必要なロール:nlu_admin または nlu_editor

このタスクについて
NLU アドミンと NLU エディターは、セカンダリモデルのインテントを有効または無効にすることができます。インテントが無効になっている場合、モデルはそれを使用して予測を行いません。ただし、仮想エージェントや検索などのモデルを使用する ServiceNow アプリケーションからアクセスすることもできません。

インテントのステータスは [有効] 列に表示されます。

インテントリスト

Name	Utterances	Associated Entities	Critical conflicts	Mapped objects	Created date ↓	Last updated	Enabled
#401kBenefitsInquiry	19	0	0	--	2022-05-10 01:27:07	2022-05-10 01:27:07	
#AddEmergencyContact	28	4	0	--	2022-05-10 01:27:07	2022-05-10 01:27:07	

インテントの有効化は、次のように機能します。

- プライマリモデルで作成されたインテントは、デフォルトでアクティブになっています。
- プライマリモデルのインテントは、セカンダリモデルで自動的に作成されますが、有効になっていません (インポート待ち)。
- プライマリモデルでインテントを無効にすると、すべてのセカンダリモデルで対応するインテントが無効になります。
- プライマリモデルでインテントが無効になっている場合、セカンダリモデルでインテントを再度有効にすることはできません。
- プライマリモデルで無効なインテントを有効にしても、セカンダリモデルで対応するインテントは有効になりません。
- セカンダリモデルでインテントを無効にしても、プライマリモデルまたは他のセカンダリモデルには影響しません。
- [要レビュー] とマークされたセカンダリモデルインテントは、デフォルトでは無効になっています。
- 仮想エージェント (VA) トピックにマッピングされているプライマリモデルインテントを無効にすると、確認メッセージが表示されます。
- VA トピックにマッピングされているセカンダリモデルインテントを無効にすると、確認メッセージが表示されます。

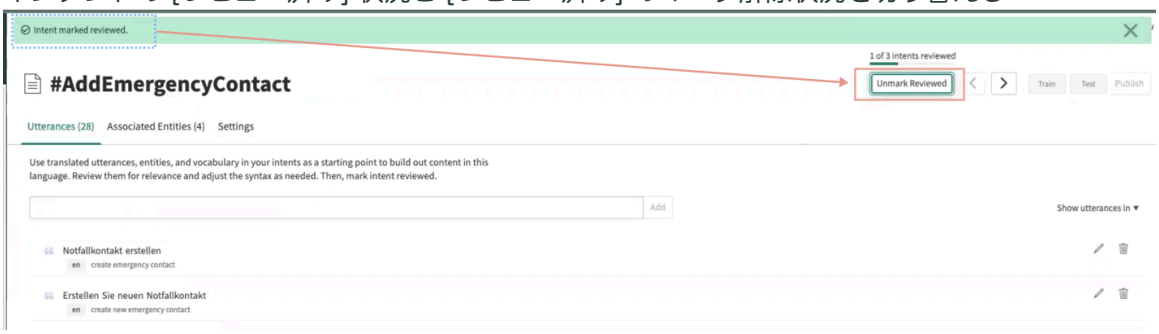
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- NLU アドミニストレーターは、任意のモデルのインテントを有効または無効にすることができます。
- NLU エディターは、アサインされているモデルに対してのみインテントを有効または無効にすることができます。

インテントを無効にすると、エディターはインテントの翻訳をレビューし、必要に応じて更新する時間が与えられます。コンテンツに問題がなければ、インテントを有効にして、他の NLU モデルや ServiceNow アプリケーションからアクセスできるようにします。

このレビューの例では、[要レビュー] ステータスの無効なインテントのリストがあります。このタスクの目的は、セカンダリモデルの翻訳されたコンテンツをレビューすることです。レビューを完了する場合、または内容がそのまま問題ない場合は、[レビュー済みとしてマーク] をクリックします。これにより、インテントが [レビュー済み] ステータスに移行します。[レビュー済みとしてマーク解除] ボタンをクリックして、インテントの [レビュー済みとしてマーク] ステータスを元に戻すこともできますが、これは [インテント] 画面に留まっている場合に限られます。途中で画面を離れると、[レビュー済みとしてマーク解除] ボタンが消え、元に戻すことができなくなります。

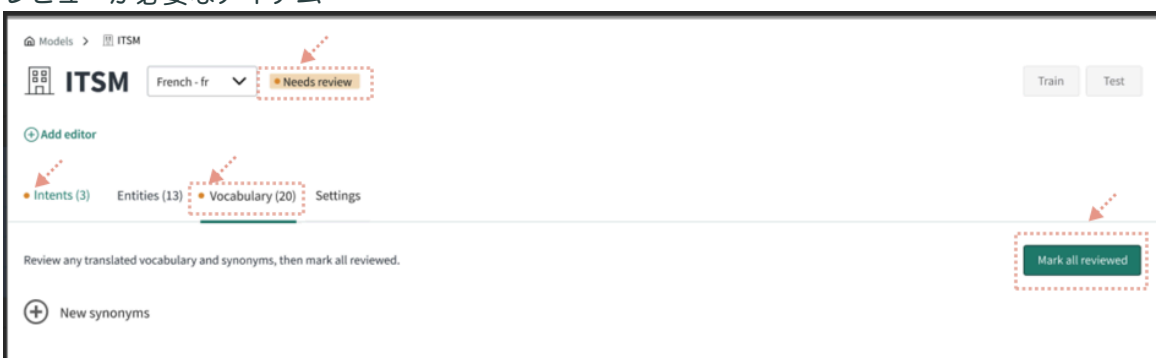
インテントの [レビュー済み] 状況と [レビュー済み] のマーク解除状況を切り替える



編集レビューには、モデル画面の語彙セクションも含まれており、プライマリモデルからセカンダリモデルに翻訳された語彙はオレンジ色の点でマークされ、[レビューが必要] ステータスになります。レビュー中であっても、語彙アイテムは編集または削除できます。語彙をレビューし、必要に応じて翻訳を更新した後、[すべてのレビュー済み としてマーク] ボタンをクリックして、一度にすべての語彙にマークを付けることができます。この操作により、[モデル] 画面の [語彙] セクションからオレンジ色の点が消えます。

注: [モデル] 画面の [トレーニング] ボタンと [試す] ボタンは、語彙がレビューされるまで無効になり、[要レビュー] ステータスのインテントはレビューまたは無効になります。

レビューが必要なアイテム



このシナリオ例では、[ソフトウェア翻訳モードを使用] を適用してセカンダリモデルを日本語に翻訳しました。翻訳はまだレビューされていないため、システムは [要レビュー] ステータスのインテントとモデルをマークします。モデルが [要レビュー] ステータスの場合、トレーニング、テスト、または公開はできません。[要レビュー] ステータスから移行したら、モデルをトレーニングしてテストできます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: NLUエディターはモデルを作成または公開できません。NLUアドミンのみがこれを行う権限を持っています。

この手順例では、モデル内のインテントを一度に 1 つずつレビューします。

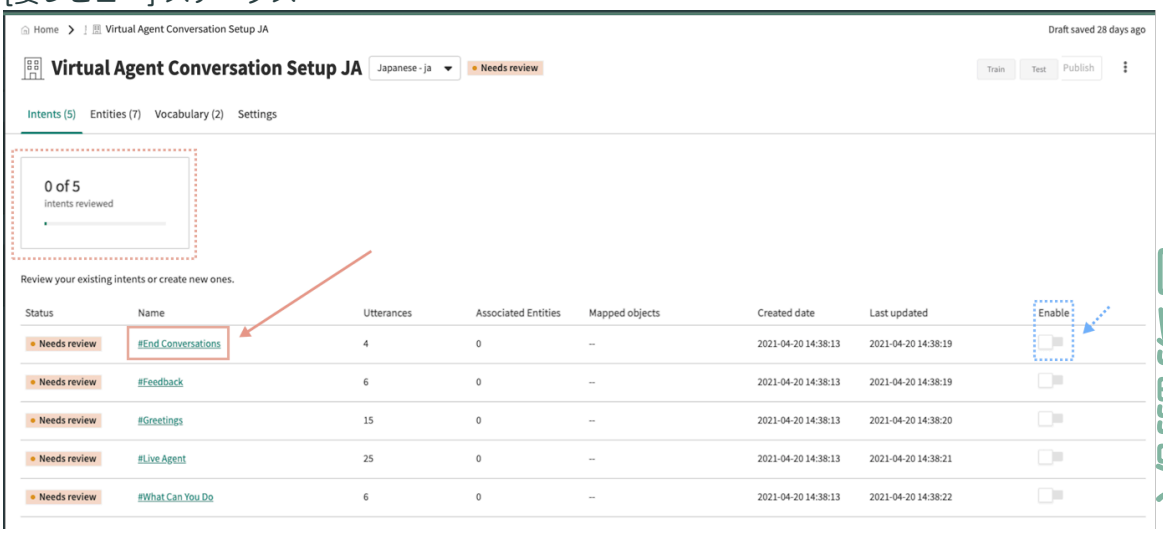
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
2. すでに翻訳されているセカンダリモデルの 1 つを見つけます。

   この例のシナリオでは、次の画像に示すように、 仮想エージェント会話のセットアップ JA モデルを見つけます。

   モデルの [インテント] セクションには、[要レビュー] ステータスでマークされた 5 つのインテントのリストがあります。インテントのリストの上には、レビューが必要なインテントの現在数を示すボックスもあります。

   [要レビュー] ステータス



3. インテントのコンテンツにアクセスできるように、インテント名をクリックします。
   このシナリオでは、[**#End** 会話] インテント名をクリックします。
4. モデルの発言、エンティティ、語彙のセカンダリ言語翻訳を確認し、必要に応じてコンテンツを更新します。
   インテントのレビューが完了すると、[レビュー済みとしてマーク] ボタンが表示されます。
5. [レビュー済みとしてマーク] をクリックします。
   結果: **#End** 会話 インテントが [レビュー済みとしてマーク] ステータスから [レビュー済み] ステータスに更新されます。さらに、[レビュー済み] インテントボックスの実行中の数が 0/5 から 1/5 に変更されます。
6. インテントレビューに問題がない場合は、[有効化] ボタンをクリックして、インテントを使用可能にし、 仮想エージェント (VA) や検索などの任意のアプリケーションからアクセスできるようにします。

次のタスク

リスト内の残りの 4 つのインテントについて、ステップ 1 ～ 6 を繰り返します。各インテントレビューが完了し、[レビュー済み] ステータスとしてマークされると、[インテントレビュー済み] ボックスの現在までのカウントが 5/5 に向かって増加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルへの NLU エディターの割り当て

自然言語理解 (NLU) (NLU) モデルの翻訳をレビューし、モデルコンテンツを編集するエディターをアサインします。モデルコンテンツのメンテナンス、テスト、最適化をエディターに委任します。

始める前に

- モデルを作成するか、既存のモデルを使用します。翻訳レビュー用に、プライマリモデルとセカンダリ (翻訳済み) モデルの両方を作成します。多言語モデルグループの詳細については、「多言語モデル管理」を参照してください。
- ユーザーにnlu_editorロールを割り当てます。ユーザーへのロールの割り当て を参照してください。
- 必要なロール:nlu_admin。nlu_editor別のエディターをモデルに割り当てることはできません。

このタスクについて

nlu_adminは、モデルコンテンツの作業をnlu_editorに委任できます。言語スペシャリストをエディターとしてアサインして、プライマリモデルとセカンダリ (翻訳済み) モデルの一貫性を確認したり、インテントや発言を編集して翻訳をさらにローカライズしたりします。モデルの公開ステータスに影響を与えずに、既存のモデルのコンテンツのメンテナンスを委任します。

モデルにアサインされると、nlu_editorは次の操作を実行できます。

- モデルをトレーニングしてテストします。
- NLU モデルのエクスポート CSVとして。
- モデルまたはインテントが [要レビュー] ステータスの場合、エディターは それを [レビュー済み] としてマークできます。
- モデルの信頼性しきい値を変更します。
- [設定] でモデル名と説明を編集します。
- 翻訳された発言をレビュー、編集、および承認します。
- トレーニング発言を追加、編集、削除します。
- トレーニング発言に注釈を付けます (NLU 語彙 と NLU エンティティ への参照を追加します)。
- エンティティのプロパティを更新します (セカンダリモデルのエンティティ名を除く)。
- モデルの語彙を追加、編集、または削除します。
- 語彙ソースモジュールを表示します (読み取り専用)。
- プライマリモデルとセカンダリモデルの NLU インテント を追加、アクティブ化、非アクティブ化します。
- 競合するインテントを解決します。 #unique_358 モジュールにもアクセスします。
- NLU での無関係の検出モジュールを表示します。
- テストセットでテスト発言を追加、編集、または削除します。 #unique_354 モジュールにもアクセスします。

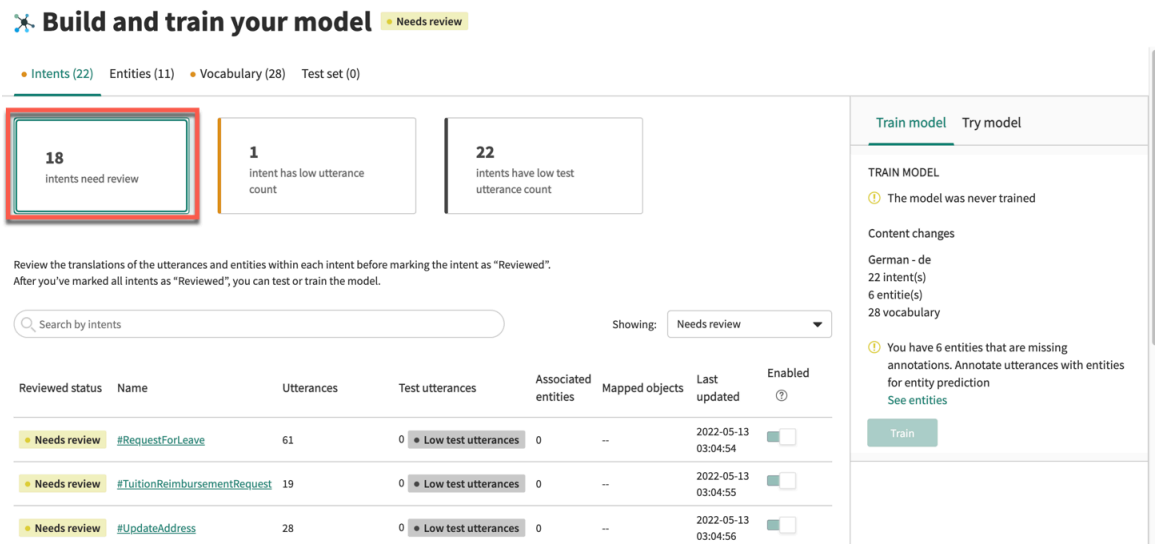
> **注:** 特に指定がない限り、これらのアクションを実行するには、エディターをモデルのアプリケーションスコープ内でモデルにアサインする必要があります。

nlu_editorは次の操作を実行できません。

- モデルを作成、追加、公開、または削除します。
- モデルを複製します。
- モデルを翻訳します (翻訳されたセカンダリモデルを開始します)。
- プライマリモデルコンテンツをセカンダリ (翻訳された) モデルにインポートします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 語彙ソースを同期または編集します。
- モデルのパフォーマンスを表示します。
- #unique_301でフィードバックを提供します。
- モデルへのエディターの割り当てやモデルからのエディターの削除など、他のエディターを管理します。



まず、アドミニストレーターがユーザーにnlu_editorロールを割り当てます。次に、NLU アドミニストレーターがエディターをモデルにアサインします。

エディターをモデルに割り当てる場合は、個々のモデル レベルで行う必要があります。モデルグループレベルでエディターをアサインすることはできません。

次のモデルはエディターにアサインできません。

- 構築済みモデル
- 翻訳中のモデル

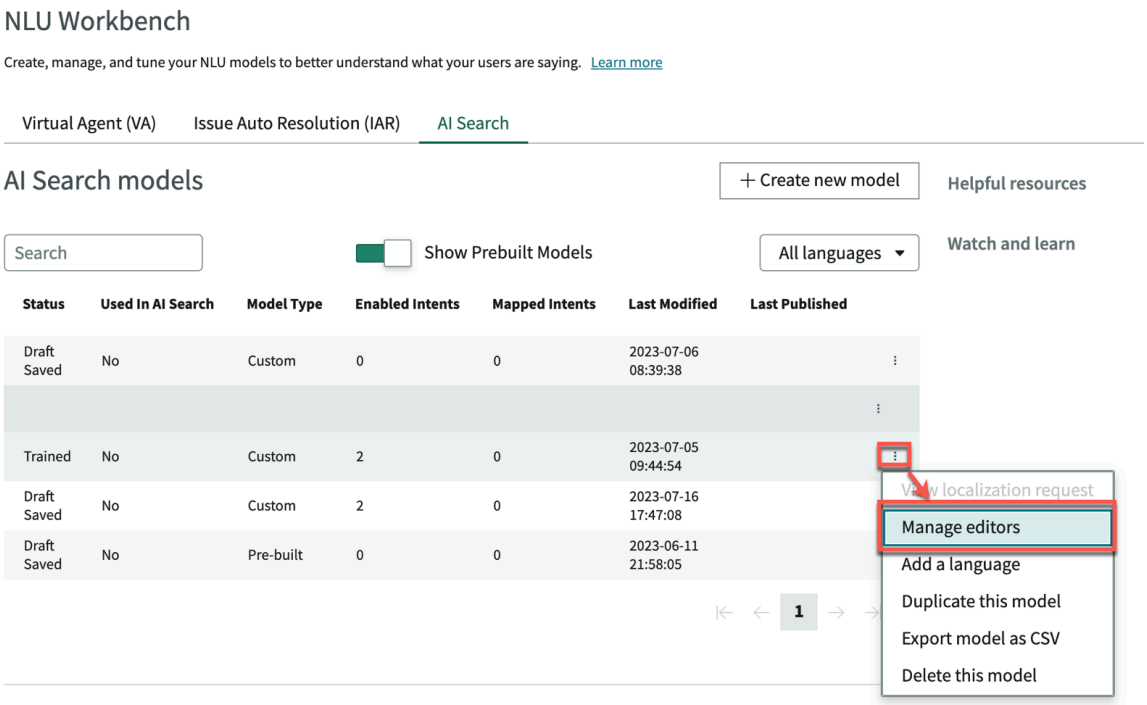
この手順例では、レビューが必要なセカンダリモデルに NLU エディターを追加します。

手順

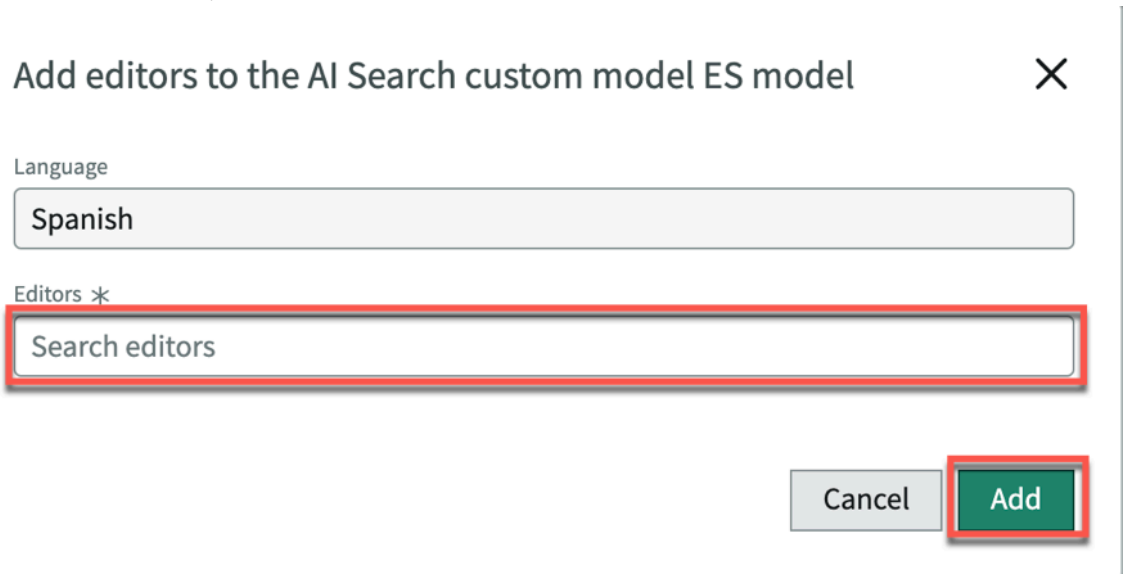
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。モデルに適したタブを選択します。
2. NLUモデルの名前を見つけて、その行の右端までスクロールします。
   モデルが多言語グループにある場合は、グループを展開して個々のモデルを見つけます。エディターをグループに割り当てることはできません。
3. モデルの [その他のオプション] メニューを選択し、一覧で [エディターの管理] を選択します。

自動翻訳

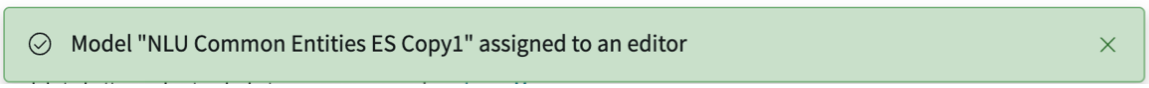
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. (エディターの追加)ウィンドウで、ドロップダウンリストと検索バーを使用して、モデルに割り当てるエディターの名前を追加します。



5. [**Add**] を選択します。
エディターがモデルに割り当てられます。画面上部にバナーの確認応答が表示されます。
エディターを追加したり、エディターを削除したりするには、この手順を繰り返しま す。



次のタスク
必要に応じて、モデルにさらにエディターを割り当てます。一度に 4 人のエディターをモデルに割り当てることができます。エディターを追加したり、エディターを削除したりするには、上記の手順を繰り返します。
NLUアドミンは、エディターがモデルを適切にレビューおよび編集するために必要なものを持っていることを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セカンダリモデルへのプライマリモデルコンテンツのインポート

プライマリ NLU モデルのコンテンツが更新されたら、その更新をセカンダリモデルに直接インポートできます。

始める前に

- ローカリゼーションフレームワーク (com.glide.localization_framework.installer) プラグインをアクティブ化します。「ローカリゼーションフレームワーク」を参照してください。
- 仮想エージェントモデルまたは AI 検索モデルの場合は、少なくとも 1 つのセカンダリモデルを持つプライマリモデルを作成または既存のプライマリモデルを使用します。
- 必要なロール:nlu_admin または admin

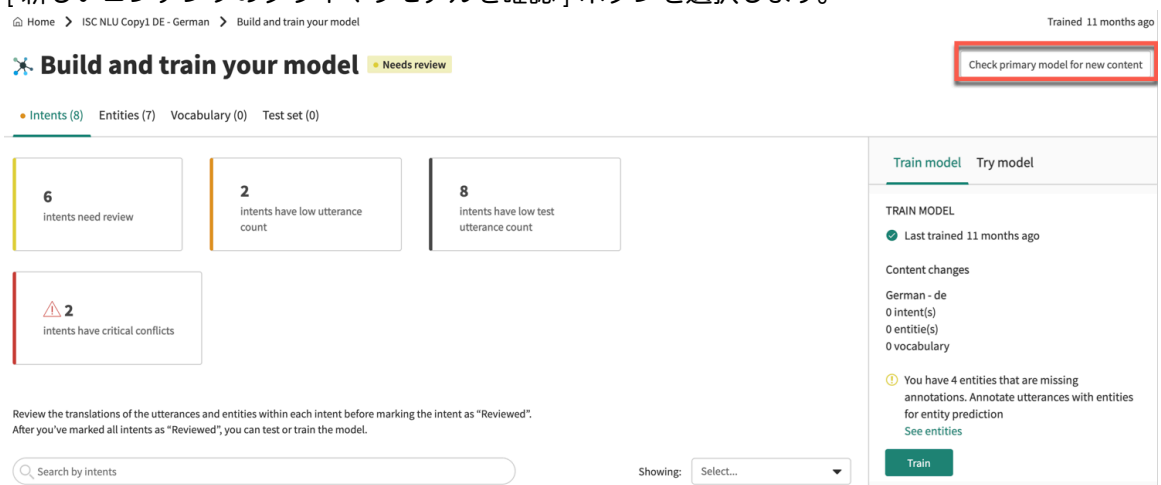
このタスクについて

最初の翻訳後に、プライマリモデルからセカンダリモデルにコンテンツをインポートできます。プライマリモデルを変更した場合、プライマリモデル全体をもう一度変換することなく、それらの変更をセカンダリモデルにインポートできます。

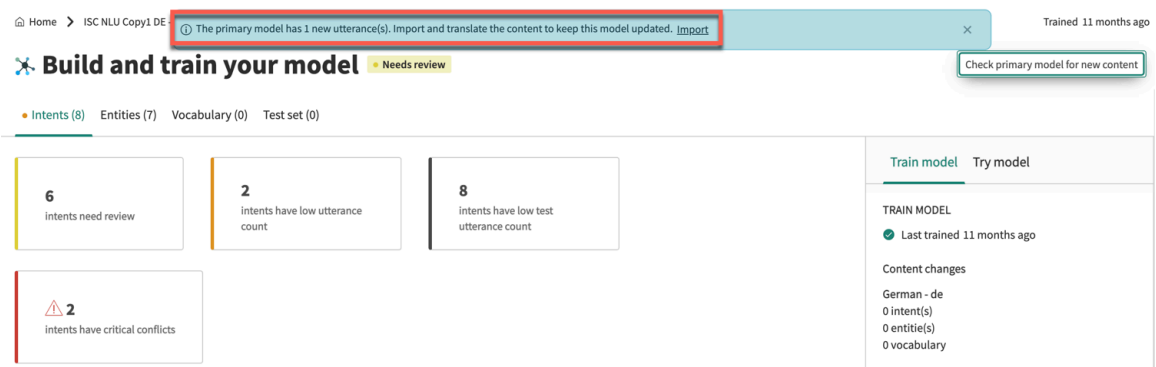
プライマリモデルコンテンツは、一度に 1 つのセカンダリモデルにのみインポートできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
   デフォルトで [仮想エージェント] タブが開きます。モデルに適したタブを選択します。
2. プライマリ モデルで翻訳されたセカンダリ モデルにアクセスし、 モデルの構築とトレーニング で フェーズの表示 を選択します。
   デフォルトでは、[インテント] タブに移動します。
3. [新しいコンテンツのプライマリモデルを確認] ボタンを選択します。



[コンテンツをインポートして翻訳し、このモデルを最新の状態に保ちます] というバナーが、プライマリモデルの更新の概要とともに画面の上部に表示されます。

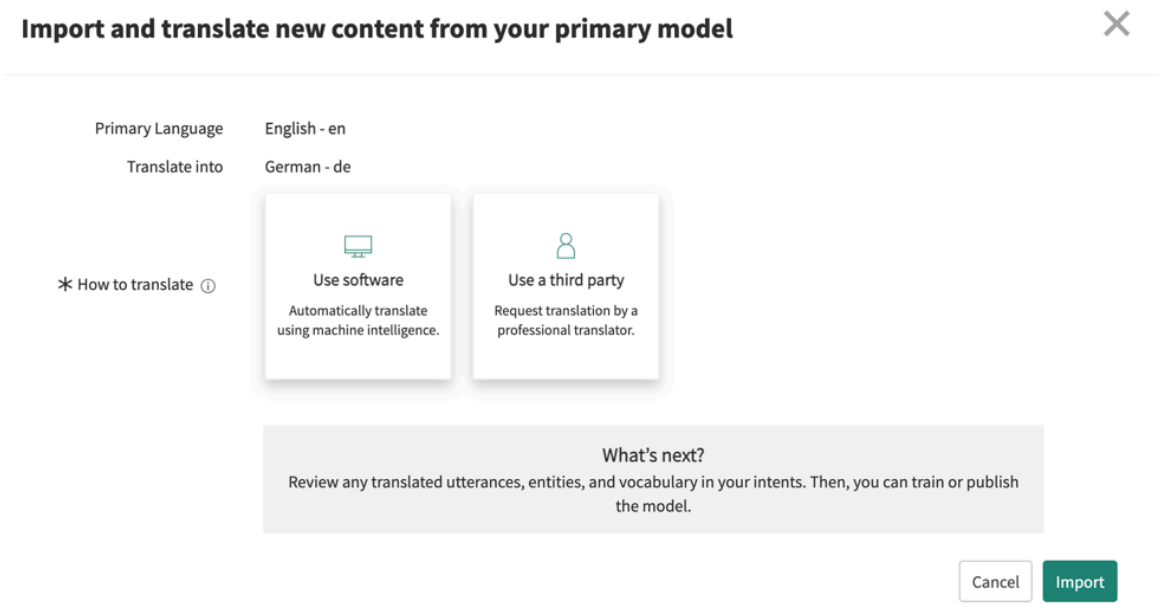


自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: デフォルトでは、新しくインポートされたインテントはセカンダリモデルで無効になっています。インポートされたインテントを手動でアクティブ化します。

4. バナーで [インポート] を選択します。
5. [プライマリ モデルから新しいコンテンツをインポートして翻訳する] ウィンドウで、翻訳方法を選択し、[インポート] を選択します。



新しいコンテンツの翻訳が開始されます。完了したら、翻訳されたコンテンツをレビューする必要があります。

次のタスク
各セカンダリモデルがプライマリモデルから新しいコンテンツを受け取っていることを確認します。セカンダリモデルを公開する前に、翻訳された新しいコンテンツをすべてレビューします。

仮想エージェント および **NLU** ワークベンチ の統合

仮想エージェントアドミニストレーターは、仮想エージェントデザイナー ユーザーインターフェイス内から NLU モデルにアクセスして更新できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: 仮想エージェントにNow Assistがある場合は、既存のNLUトピックを引き続き使用し、仮想エージェントデザイナー内のトピック移行機能を使用して新しい LLM トピックに移行できます。トピックの移行の詳細については、「NLUトピックを LLM トピックに移行する」を参照してください。

統合セットアップタスク、ロール、および詳細

仮想エージェントアドミニストレーターは、会話トピックを作成して構成するときは、まず NLU ワークベンチ でNLUモデルとそれに関連するインテントを作成する必要があります。このアクションでは、 NLU ワークベンチ と admin または nlu_admin ロールを使用する必要があります。

さらに、[仮想エージェント 全般設定] で次のタスクを完了する必要があります。

- NLUを有効にします。
- NLUサービスプロバイダーを選択します。
- 言語固有の NLU モデルを使用している場合は、それらのモデルの言語を有効にします。

仮想エージェントアドミニストレーターは、仮想エージェントデザイナーで次のタスクを実行して、NLUモデルを会話トピックに適用することもできます。

- [トピックのプロパティ] で、NLUモデル、NLUインテント、およびトピックの切り替え動作を選択します。
- トピックフローで使用される入力コントロールの場合は、エンティティ抽出の NLU プロパティを設定します。

オプションで、アドミニストレーターはダイアログアクションを有効にして、ユーザーが会話の途中で変更を加えたときに 仮想エージェント 柔軟に対応できるようにすることができます。現在使用可能な応答タイプは、会話の最後の 5 回のやり取りに基づいて、[変更]、[肯定]、および [否定] です。ダイアログアクションは、[トピックのプロパティ] で英語のみに設定できます。詳細については、「仮想エージェントのダイアログアクション」を参照してください。

NLUモデルが完成し、仮想エージェント会話トピックに関連付けられた後、virtual_agent_admin または admin ロールを持つアドミニストレーターは、仮想エージェントデザイナーユーザーインターフェイス内から次の操作を実行できます。

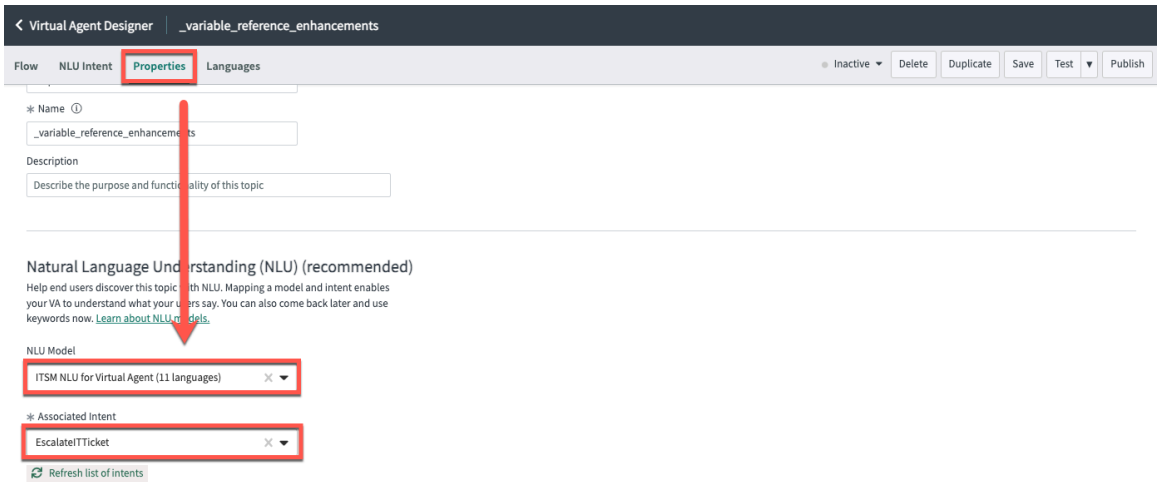
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- NLUインテント発話を更新します。
- NLUモデルをトレーニング、テスト、公開します。

詳細については、「仮想エージェントでの自然言語理解 (NLU) トピックディスカバリー」を参照してください。

仮想エージェントからのトピックの公開

モデルが NLU ワークベンチで公開されると、 仮想エージェントデザイナーで使用できるようになります。トピックを編集するときは、[プロパティ] タブをクリックして、そのトピックにマップするモデルとインテントを選択します。



[公開] をクリックすると、モデルとインテントがそのトピックにマップされ、シームレスに公開されます。

マップされたインテントでのトピックの公開は、次の理由で失敗します。

- モデルがトレーニングされていないか、トレーニングが進行中です。
- 最後にトレーニングしたモデルは、VA トピックとともに既に公開されています。
- モデルでインテントが有効になっていません。

NLU Workbench - Advanced Features

NLU ワークベンチ - 高度な機能で NLU ワークベンチ の機能を拡張して、モデルの管理と改善ができます。

使用方法の概要

NLU ワークベンチ - 高度な機能アプリケーションには次の機能が含まれています。

- #unique_354：NLU モデルに対して大規模な発言のグループをテストして、モデルがどのようにインテントを予測するかを確認します。
- #unique_358：モデル内またはモデル間で競合するインテントを特定して、モデルのパフォーマンスを向上します。
- #unique_362：NLU モデルのパフォーマンスを使用して、エンドユーザーの確認に基づいて 仮想エージェント のインテントをモデルがどの程度正確に予測したかを確認します。
- #unique_301 VA の場合: 仮想エージェント チャットログ発言に関するフィードバックを提供して、システムが継続的に学習し、ユーザー入力をより適切に予測できるようにします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- NLU での無関係の検出:関連性のない発言を無視するように 仮想エージェント モデルをトレーニングします。
- NLU での問題の自動解決の調整 (IAR に対する専門家フィードバックループ):ITSM 問題の自動解決 モデルにフィードバックを提供して、予測を改善します。

アプリケーションをインストールしてアクティブ化すると、モデルパフォーマンス、VA に対する専門家フィードバックループ、および IAR に対する専門家フィードバックループが [**All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ. マルチモデルバッチテストとモデル間競合レビューは、 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > **NLU** の高度な機能.

インストール

NLU ワークベンチ - Advanced Features は、ServiceNow Storeから利用できます。購入とダウンロードの手順については、「NLU ワークベンチのインストール - 拡張機能」を参照してください。

注: 利用可能な インテントディスカバリー ServiceNow Store アプリケーションは、 NLU ワークベンチ - 拡張機能とは別にインストールされます。

関連機能

NLU ワークベンチのインストール - 拡張機能

admin ロールを持っている場合は、 NLU ワークベンチ - 拡張機能 型アプリケーション (com.snc.nlu.workbench.advanced) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeにある NLU ワークベンチ - 拡張機能 型アプリケーションリストを確認してください。
- NLU ワークベンチ:拡張機能 には次のプラグインが必要です。NLU ワークベンチ:拡張機能をインストールする前に、これらのプラグインがアクティブ化されていることを確認してください。

  必須の ServiceNow プラグイン

  予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml)

  モデルをトレーニングするためのさまざまな予測インテリジェンスと機械学習機能を有効にします。「予測インテリジェンス」を参照してください。

  NLU ワークベンチ - コア (com.glide.nlu)

  NLU モデル機能を追加します。「の有効化 NLU ワークベンチ」を参照してください。

  NLU ワークベンチ (com.snc.nlu_studio)

  NLU モデルを作成してトレーニングします。。「の有効化 NLU ワークベンチ」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

テーブルは、 NLU ワークベンチ:拡張機能とともにインストールされます。

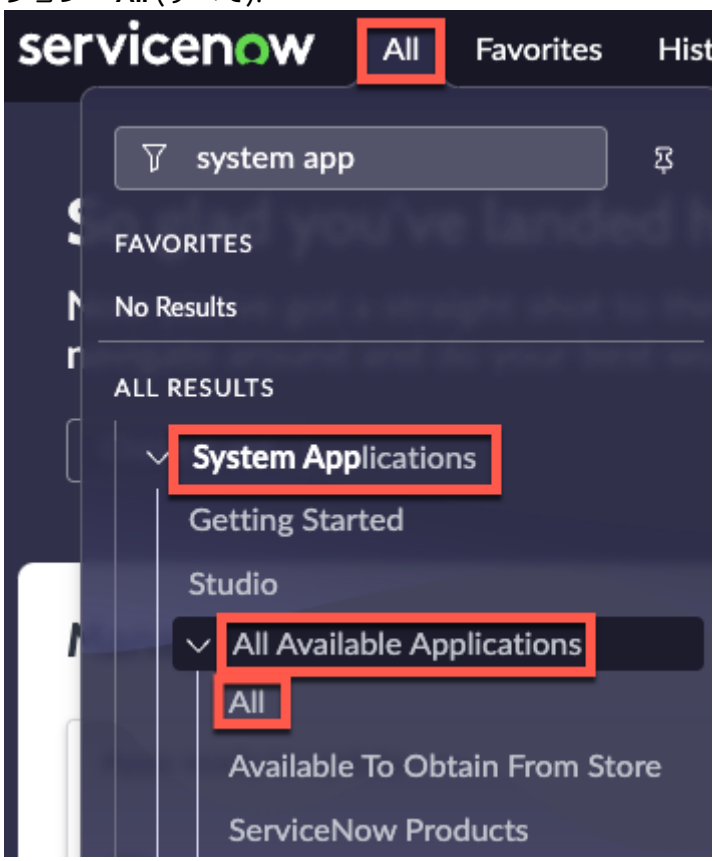
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「NLU ワークベンチ:拡張機能とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 NLU ワークベンチ - 拡張機能 型アプリケーション (com.snc.nlu.workbench.advanced) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、 NLU ワークベンチ:拡張機能をインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] を選択します。

次のタスク

次の利用可能な ServiceNow Store アプリケーションは、NLU Workbench - Advanced Featuresとは別にインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Intent Discovery

要求、インシデント、ケースからユーザーのインテントを検出し、仮想エージェント と NLU を使用して転送を最大化します。詳細については、「インテントディスカバリーのインストール」を参照してください。

NLU ワークベンチ:拡張機能とともにインストールされるコンポーネント

com.snc.nlu.workbench.advanced プラグインを有効にすると、テーブルを含むいくつかのタイプのコンポーネントがインストールされます。

注: アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
クラスターを無視した NLU パフォーマンス [nlu_performance_ignored_clusters]	無視されたクラスターに関する情報が含まれます。ユーザーが [無視] をクリックすると入力されます。
NLU バッチテスト結果 [nlu_batch_test_result]	各発言と予測されたインテントを含む、バッチテストの解析結果が含まれます。
NLU 競合実行 [nlu_conflict_execution]	指定された定義に対する競合分析実行の各実行に関連する情報を保存します。
NLU バッチテストラン定義 [nlu_batch_test_run_definition]	バッチテストの実行に関連する基本情報が含まれています。
NLU バッチテストラン実行 [nlu_batch_test_run_execution]	バッチテストの各実行に関連する情報が含まれています。
NLU 競合結果 [nlu_conflict_result]	競合分析実行の完全な結果を保存します。
NLU バッチテスト発言 [nlu_batch_test_utterance]	テストセットに使用される発言が含まれます。インポートセットによって設定されます。
NLU バッチテストセット [nlu_batch_test_set]	バッチテストの情報が含まれます。発言レコードと実行定義によって参照されます。
NLU パフォーマンス発言トレース [nlu_performance_utterance_trace]	インテントに追加された発言に関する情報が含まれます。
NLU 競合定義	競合に使用される NLU モデルまたはモデルのペアの詳細が含まれます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[nlu_conflict_definition]	
NLU モデル分析定義 [nlu_analysis_definition]	NLU ワークベンチでのIARモデル調整をサポートします。
NLU モデル分析実行 [nlu_analysis_execution]	NLU ワークベンチ内のIARモデル調整の各インスタンスのレコードを保存します。
ML ラベルユーザーフィードバック [ml_label_user_feedback]	[要レビュー] とマークされた発言を保存します。

インストールされるロール

NLU ワークベンチ - 高度な機能

ロール	説明
NLU フィードバックアドミン [nlu_feedback_admin]	データラベリング (NLU フィードバック) アドミンロール:モデル間のデータラベリングを管理し、モデルを最適化する機能も

NLU での問題の自動解決の調整

NLU ワークベンチホームページを使用して、NLU での問題の自動解決 (IAR) の調整をサポートします。

NLU ワークベンチでの問題の自動解決の調整を紹介するビデオ

使用法とロールの概要

nlu_admin または admin ロールを使用して、NLU ワークベンチで IAR 調整にアクセスします。NLU ワークベンチでの IAR の調整には、少なくとも nlu_feedback_admin ロールが必要です。nlu_admin ロールには nlu_feedback_admin ロールが含まれていることに注意してください。また、virtual_agent_admin ロールには nlu_admin ロールが含まれています。

IARモデル名をクリックすると、製品のチューニングに直接移動します。モデルの概要ページには移動されないため、この動作はNLU ワークベンチ内の仮想エージェントモデルやAI 検索モデルとは異なります。

IAR 調整ワークフロー

IAR アドミンは、IAR アドミンコンソールでモデル調整の過程を開始し、NLU ワークベンチに移動して ITSM モデルを調整します。コンソールで ITSM モデルをまだトレーニングしていない場合、NLU ワークベンチの「 モデルのパフォーマンスの向上」 セクションにある専門家フィードバックループドキュメントにワークフローにより送信されます。

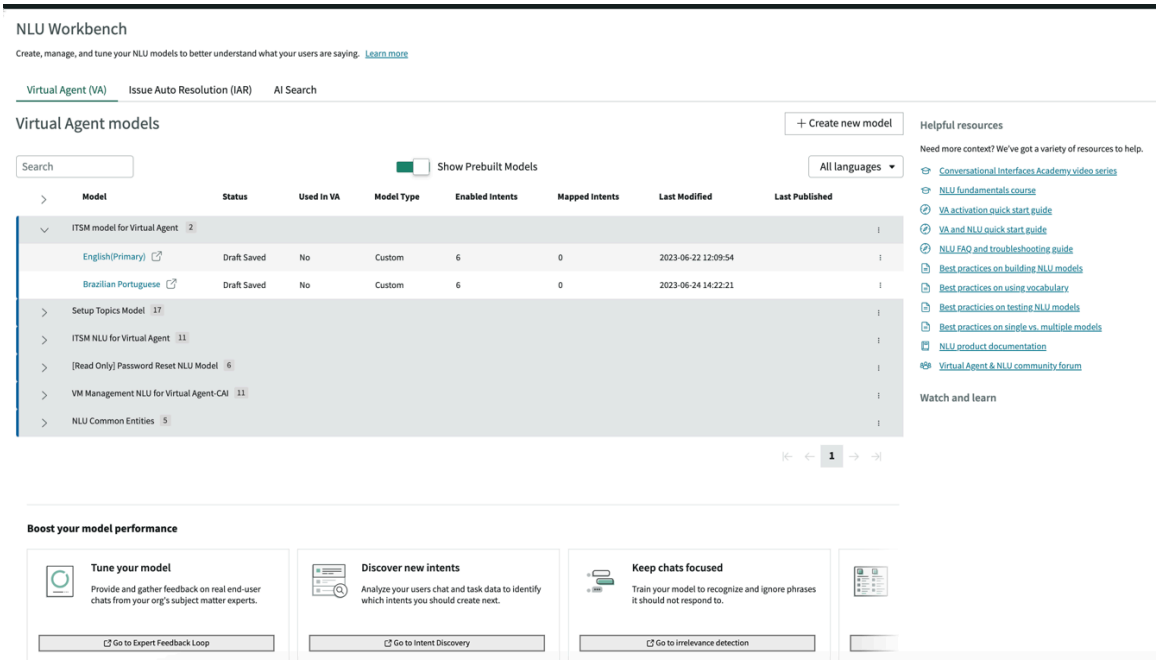
IAR モデルと NLU モデルの違い

[仮想エージェント] タブや [AI 検索] タブとは異なり、[IAR] タブでは [新規モデルを作成] ボタンは使用されません。IAR アドミニストレーターが使用する IAR-ITSM モデルはビルド済みモデルです。IAR モデルは、更新セットを使用して移動することはできません。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NLU ワークベンチの詳細



[NLU ワークベンチ] ページの上部には、仮想エージェント、問題の自動解決、AI 検索モデルを個別にグループ化する 3 つのタブがあります。これらのタブの下には、灰色に着色されたモデルのリストが表示されます。リストの [モデル] 列で、モデル名の左側にあるキャレットをクリックすると、モデルの色が灰色から白に変わり、開いてモデルの言語が表示されます。地位;使い;モデルタイプ;有効なインテントとマップされたインテントの数、およびモデルが最後に変更または最後に公開された日付。

問題の自動解決の調整オプション

NLU ワークベンチ で問題の自動解決モデルを調整する場合、精度、自動化、またはその 2 つのバランスなど、いくつかの目標に合わせて出力を調整できます。コミットする前に、選択したチューニングオプションがマッチ率とカバー率にどのように影響するかを比較してください。

使用方法の概要

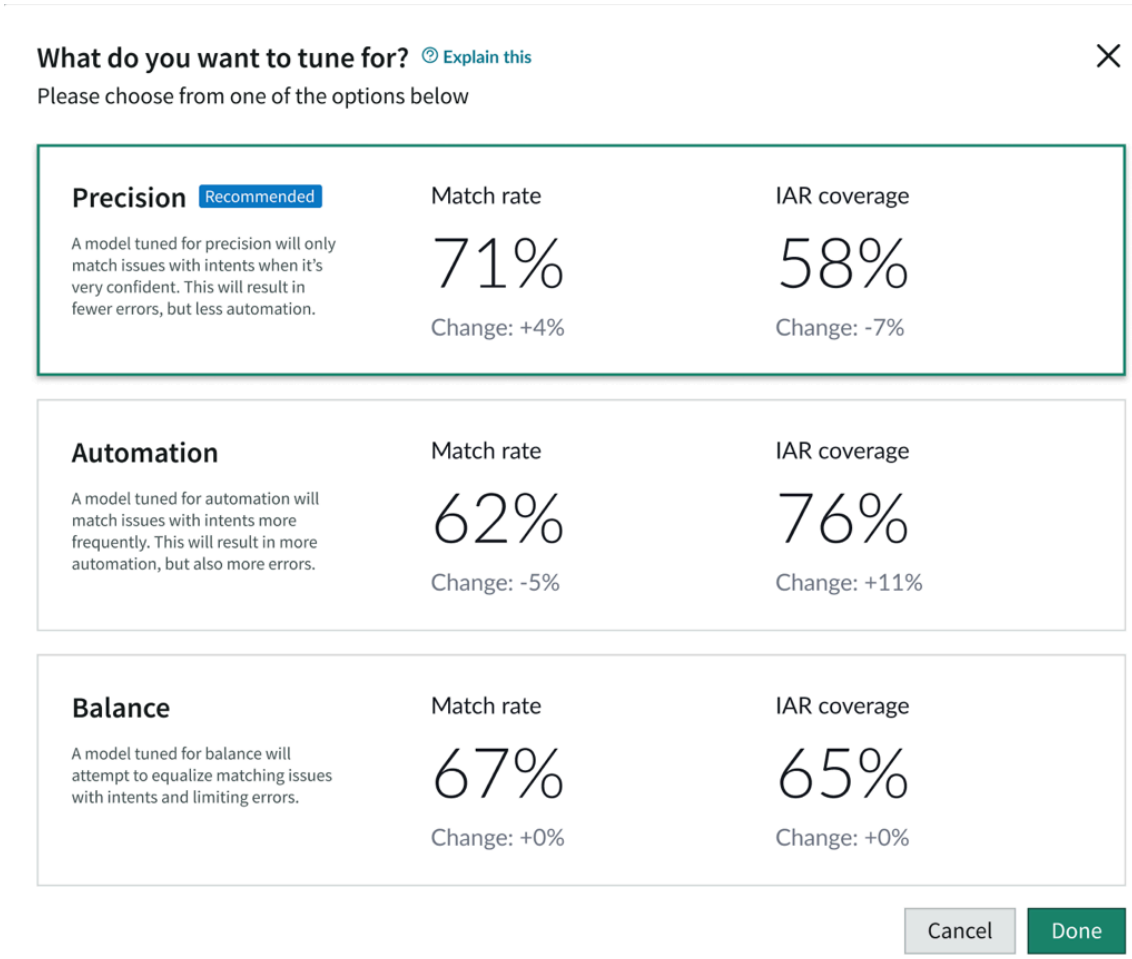
デフォルトでは、NLU ワークベンチの問題の自動解決調整は精度を最適化します。ビジネス要件に応じて、他の目標に合わせてモデルを調整することもできます。問題の自動解決調整の [分析] ステップでは、調整目標リストを使用して、[精度]、[自動化]、または [バランス] を調整できます。これらのオプションのいずれかを選択すると、それに応じて予測 されるマッチ率 と IAR カバレッジ 率が変化するため、考えられる結果を比較できます。

IAR調整の分析ステップにアクセスするには、nlu_admin ロールを使用して次のように移動します。

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > モデル.
2. [問題の自動解決] タブを選択し、モデル名を選択します。調整エクスペリエンスは、最初にステップ 1 (フィードバック) で開きます。
3. フィードバックを提供し、[分析] ボタンを選択します。ステップ 2 (分析) が開きます。
4. [調整 オプションと予測結果を以下に示します] セクションで、リストを使用して精度 、自動化、またはバランスを調整できます。オプションを選択して、予測されたシナリオを表示します。[目標の調整について学ぶ] リンクを選択して、次のウィンドウを開くこともできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



精度

精度を調整すると、 IAR モデルは、その信頼性が比較的高い場合にのみ予測を行います。これにより、エラー率は低下しますが、解決されるインシデントも少なくなります。

精度は IAR ITSM モデルに推奨される調整オプションであるため、このオプションがデフォルトで選択されています。

自動化

自動化用に調整すると、 IAR モデルはより低い信頼度しきい値で予測を行います。これにより、より多くの予測が得られるため、より多くのインシデントが解決されます。ただし、エラー率が高くなる可能性があります。

残高

バランス調整すると、 IAR モデルは精度と自動化のバランスを取ろうとします。

マッチ率

一致率は、インテントが正しく予測されたインシデントの数を、そのインテントの予測の数で割って定義されます。この比率は、 **NO_INTENT**を除くすべてのインテントで平均されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IAR 範囲

カバー範囲は、モデルがその信頼度しきい値を超える予測を行うことができたために解決されるインシデントの割合として定義されます。予測にエラーが含まれている可能性があります。

チューニングオプションの使用

予測される結果を比較するには、いくつかの異なる調整オプションを選択します。選択したオプションに応じて、予測されるマッチ率と IAR カバレッジ率のシナリオが表示されます。また、これらのレートが選択に応じてどの程度変化するかも表示されます。

「分析」の 「詳細ブレークダウンは次のとおりです」 セクションで詳細情報を確認します。ここでは、モデル内の各インテントに固有の結果にドリルダウンできます。

インテントは、 仮想エージェント トピックにマップされているかどうかに応じて、マップされたインテントとマップされていないインテントにグループ化されることに注意してください。IAR調整でフィードバックを提供した後、インテントからトピックへのマッピングを有効にすることができます。これを行うには、 マップされていないインテントを表示する を展開し、 [その他のインテントをマップする] ボタンを選択します。これにより、 IAR 管理コンソールが開きます。

要件に最適なチューニングオプションを決定したら、[調整目標の詳細] ウィンドウで [選択肢の保存] ボタンを選択します。次に、 [モデルを調整して公開する] ボタンを選択して、次の手順に進みます。

インテントディスカバリー

インテントディスカバリー アプリケーションを使用すると、インシデント回避の機会を特定できます。たとえば、これを使用して、次にアクティブ化する 仮想エージェント 会話を特定できます。

使用方法の概要

仮想エージェントやAI 検索など、NLUを使用するアプリケーションの場合、インテントディスカバリーは、どの構築済みインテントがメリットを得られるか、およびどのカスタムインテントを作成するのが便利かをよりよく理解するのに役立ちます。

インテントディスカバリー は、過去のインシデントデータまたはその他のタスクデータに対して実行する分析を提供します。また、実行の残りのレコードをさまざまなクラスターにグループ化して、NLU インテントに発言を手動で追加することもできます。さらに、特定のクラスターを使用して、モデルに新しいインテントを作成することもできます。

このシナリオ例では、 インテントディスカバリー を使用して、インスタンスの上位インテントと、それらが過去のインシデントレコード全体で提供できる範囲を特定しています。

インストール

インテントディスカバリー は ServiceNow Store から利用できます。詳細については、「インテントディスカバリー のインストール」を参照してください。

インテントディスカバリーをインストールしてアクティブ化すると、[**All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > **NLU** の高度な機能.

> **注:** ナビゲーションペイン NLU 「拡張機能」の下に整理されていますが、 インテントディスカバリー は「 NLU ワークベンチ - 拡張機能」のインストール時に含まれない別のアプリケーションです。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インテントディスカバリー レポートの詳細

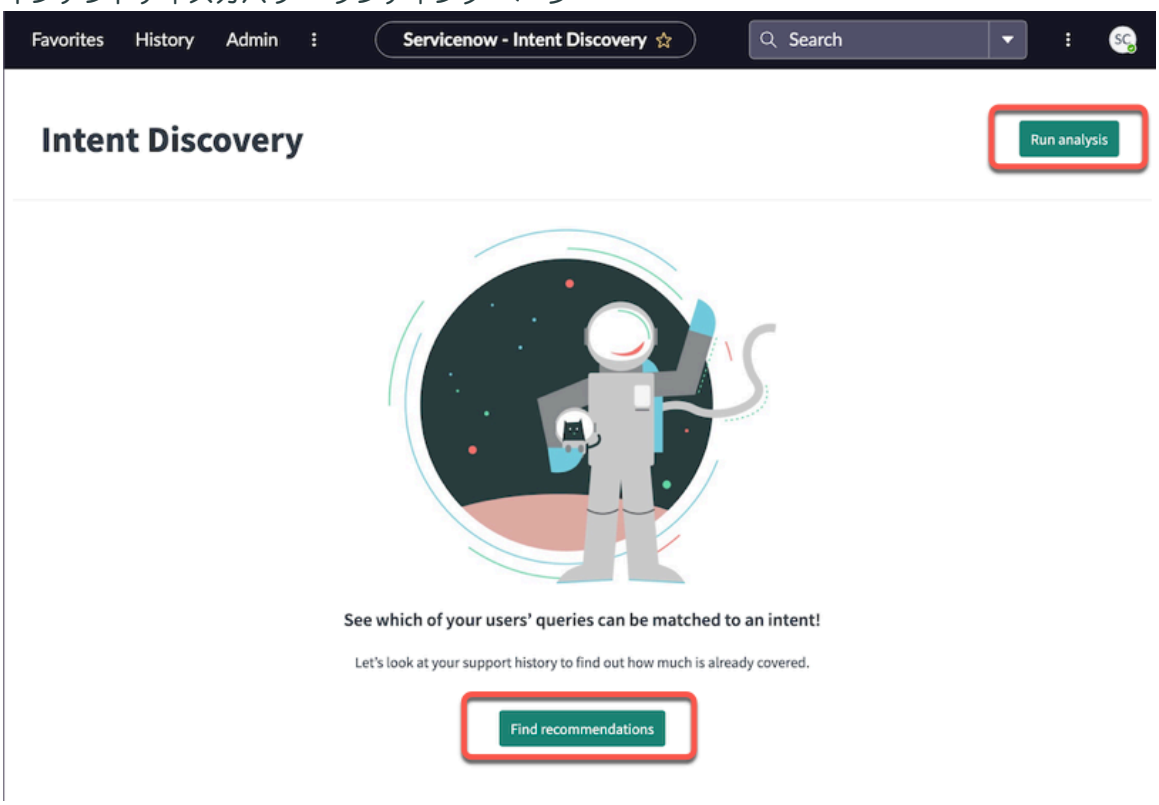
- [分類] を選択すると、生成されたレポートには、選択した分類に対するインテントの推奨事項が含まれます。分類は、特定のドメイン内のインテントのビルド済みライブラリです。基になるインテントにアクセスすることはできませんが、特定の分類に対して インテントディスカバリー を実行すると、分類内の任意のインテントにマッピングされるデータが識別されます。
- 一致しないレコード は、分類のどのインテントとも一致できなかった発言です。
- 推奨インテント は、データが実行された発言から見つかったインテントです。
- 一致しないレコード (クラスター化) の割合は、分類されていないレコード (推奨インテントのいずれにも属していないレコード) です。
- 一致しないレコードの割合と推奨インテントの数は一致する必要はありません。それらが一致するのは偶然です。

インテントディスカバリーレポートの作成

1. admin または nlu_admin ロールを使用して、次に移動します: **All** (すべて) > **NLU** ワークベンチ > **NLU** の高度な機能 > インテントディスカバリー.

2. [分析を実行] または [推奨事項を検索] を選択します。

インテントディスカバリー ランディング ページ



レポートでの分析の実行

1. このレポート例では、 インテントディスカバリー > 新規作成 画面の次のフィールドを設定します。

- データソース: インシデント **(incident)** テーブルを選択します。
- フィルター基準: [作成済み] [オン] [今四半期]

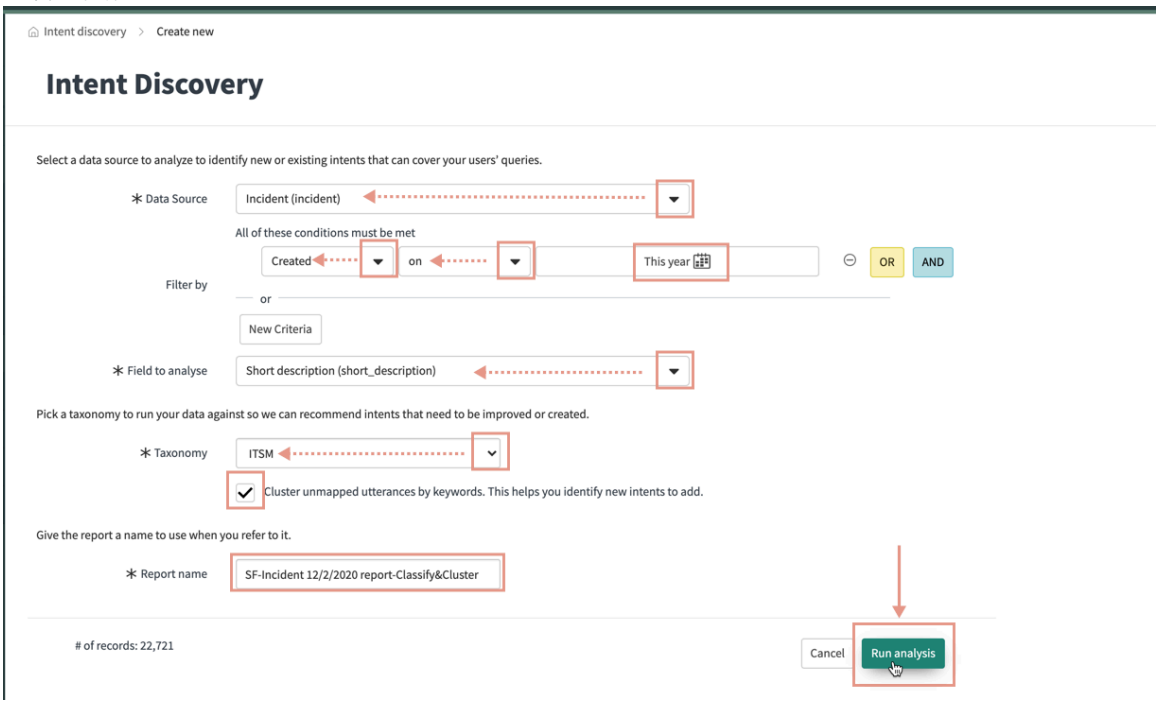
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 分析するフィールド:簡単な説明 (short_description)。[簡単な説明] を選択するのは、システムがインテントを識別するのに役立つ単語を参照する、頻繁に使用される文字列フィールドであるためです。
- 分類: **[ITSM]** を選択します。このフィールドは、ITSM インシデントレコードで分類処理を実行するようにシステムに指示します。分類、ITSM、または空白 (デフォルトは [分類]) の 3 つのオプションがあります。
- マップされていない発言をキーワードでクラスター化... : チェックボックスをオンにします。このボックスをオンにすると、分類されなかったインシデントレコードがクラスターにグループ化されます。
- レポート名:このフィールドは自動的にデフォルトで [インシデント] <月/日/年>になります。必要に応じて名前を編集できます。このシナリオ例では、「`インシデント 12/16/2020 - SF テスト`」と入力します。

2. 「解析を実行」を選択します。

分析を実行するために インテントディスカバリー のデータソースを選択

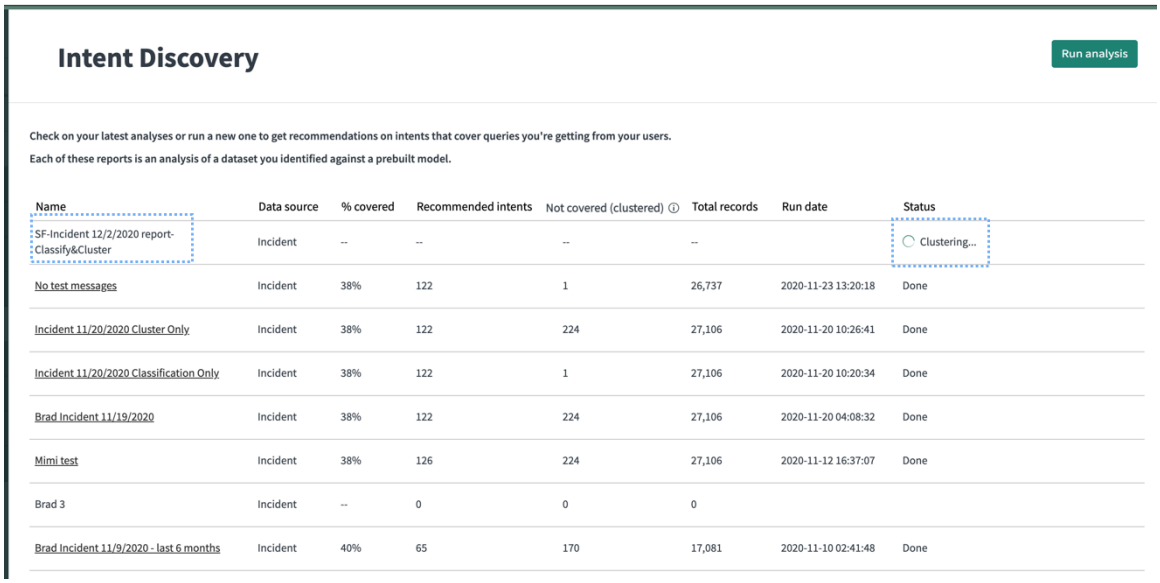


結果:レポートが インテントディスカバリー 画面に表示され、分析が開始されるとそのステータスが示されます。後続のステータス値は、分析中に [実行準備中]、[対応中]、[クラスタリング]、および [完了] の順序で表示されます。完了するまでに 5 分から 30 分かかる場合があります。クラスター内のレコードが少ないほど、所要時間は短くなります。クラスタリングをオフにすると、プロセスが高速化されることもあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

進行中の分析の実行

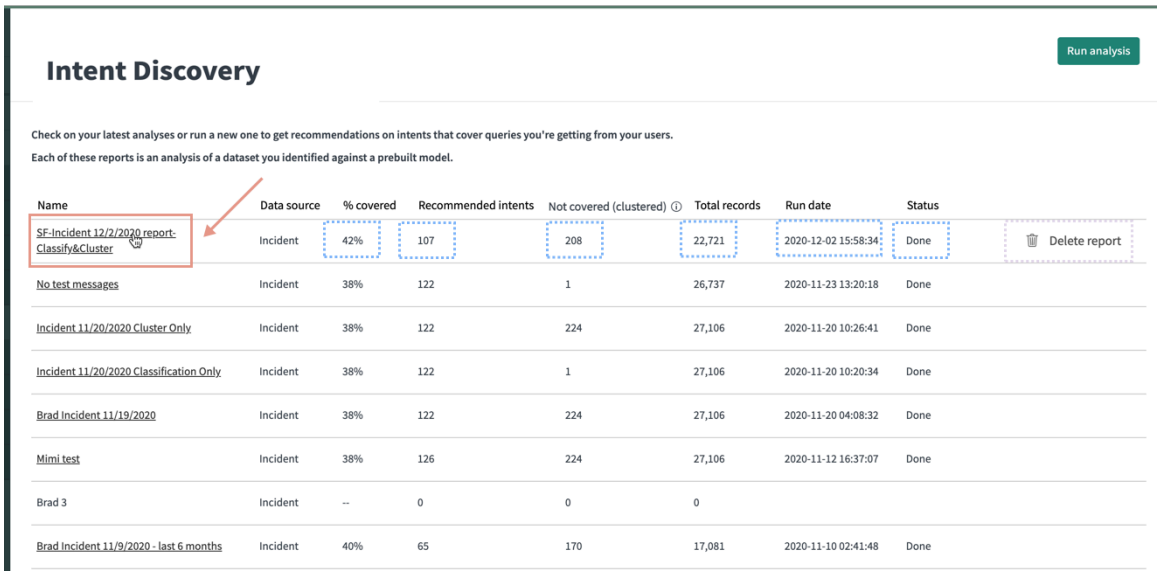


分析が完了すると、下の画像に示すように、画面に列の値が表示され、[ステータス] 列の値が [完了] に設定されます。

注: レポートを削除して最初からやり直す場合は、[ステータス] 列の右側をポイントして [レポートの削除] アイコンを呼び出します。

3. レポート の名前 を選択します。

完了した分析の実行



結果:画面が更新され、分析されたインシデントレコードと分類されなかった残りのインシデントレコードが表示されます。

新規または既存のカスタムモデルへの推奨インテントのインポート

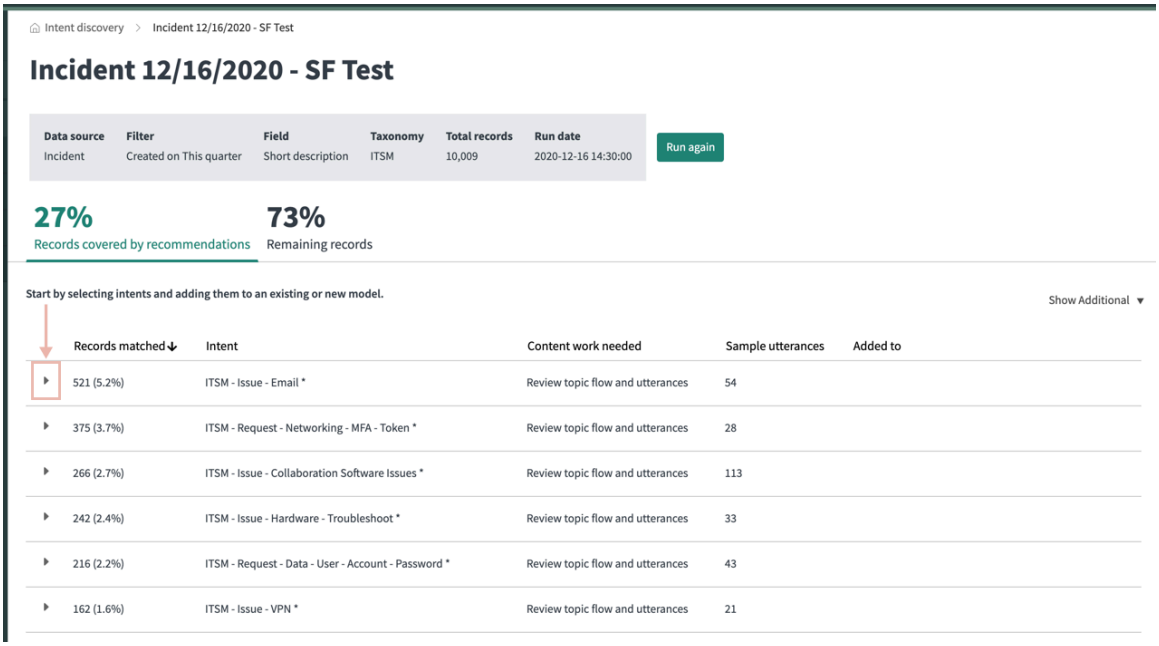
NLUモデルにインテントをインポートする前に、モデルと同じアプリケーションスコープ内にいることを確認してください。詳細については、「アプリケーション ピッカーからのアプリケーションの選択 」を参照してください。

1. 画面の [推奨事項の対象となるレコード] セクションで、カスタムモデルに追加する推奨インテントのキャレットアイコンを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

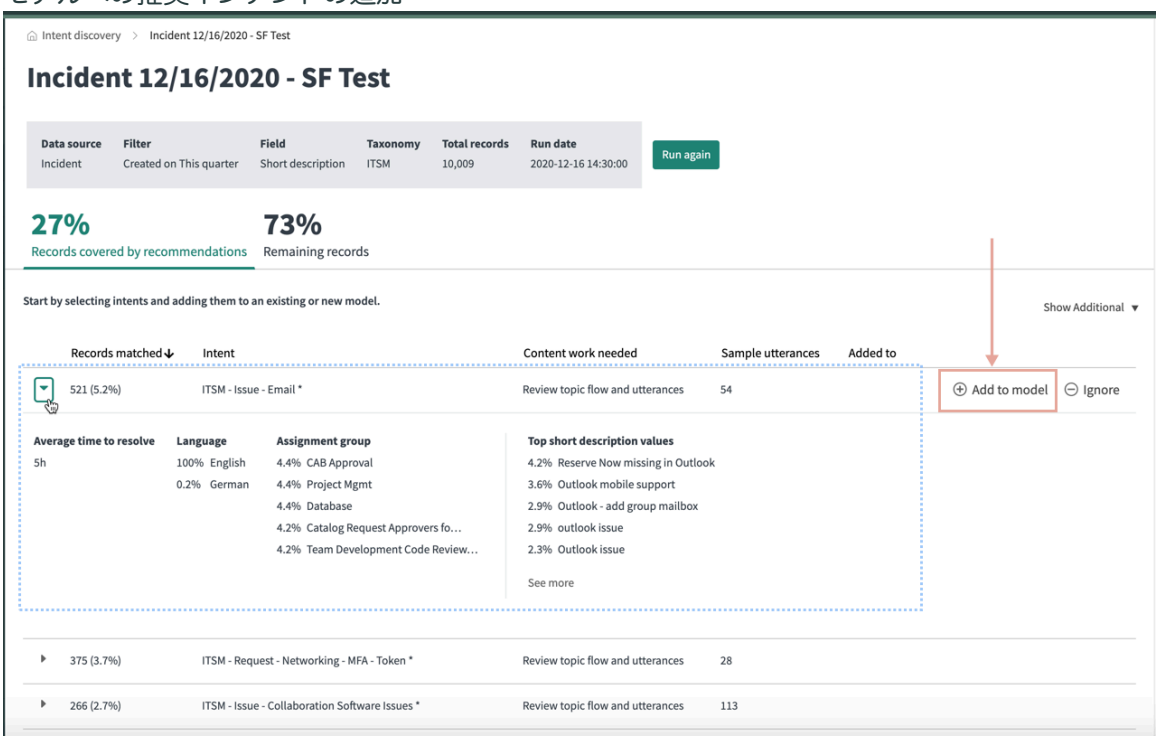
推奨インテントのレビュー



結果:下の画像に示すように、推奨インテントの詳細が表示されるので、確認することができます。

2. [モデルに追加] を選択します。

モデルへの推奨インテントの追加



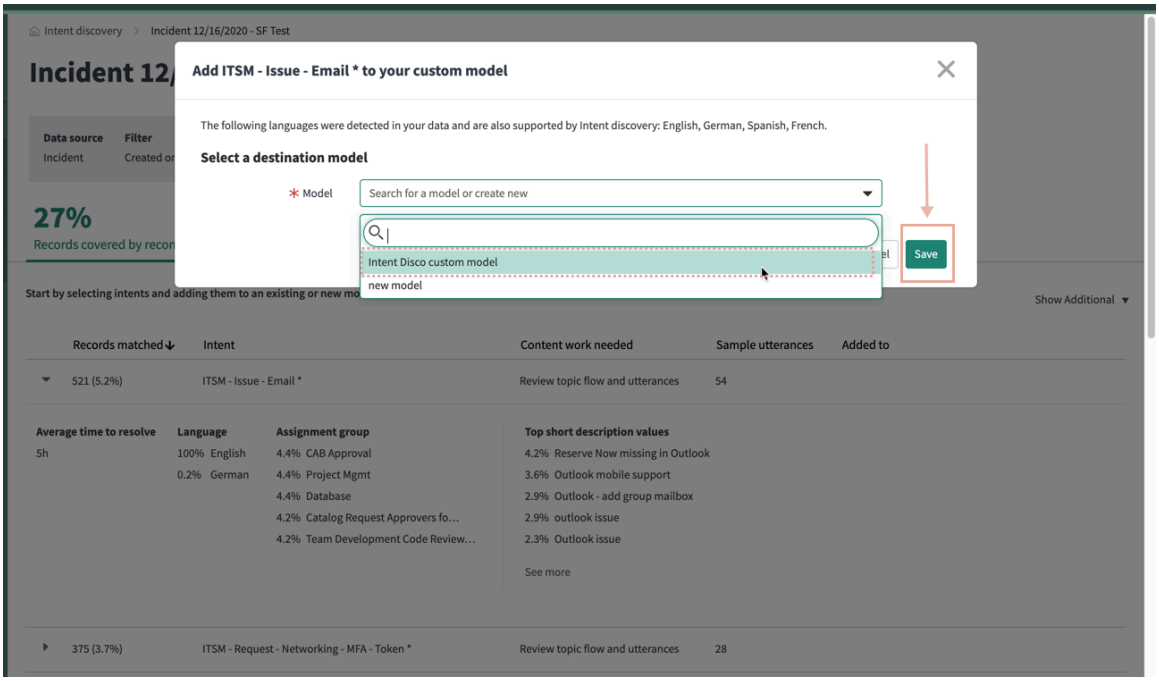
3. 表示される [移動先モデルの選択] 画面で、推奨インテントを追加するモデルを選択します。適切なモデルが見つからない場合は、新しいモデルを作成してレポートに戻り、新しいモデルを追加します。

注: 選択するモデルは、現在のスコープと同じアプリケーションスコープである必要があります。

4. [保存] を選択します。

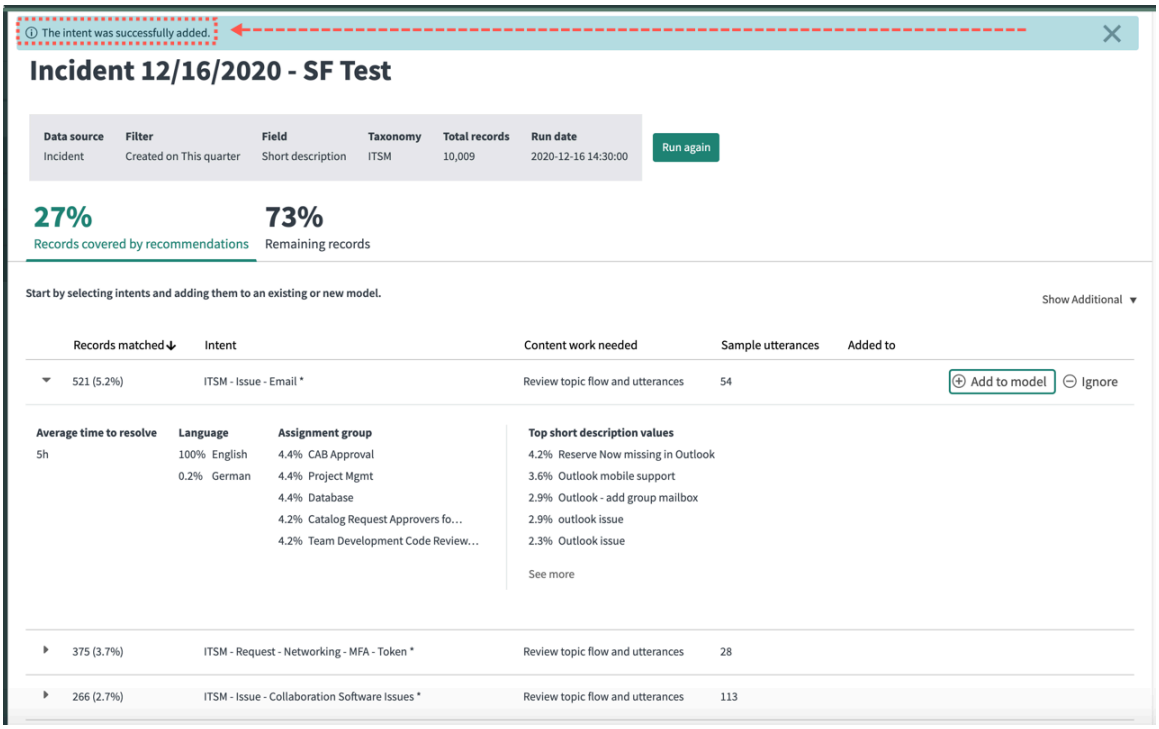
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨インテントをモデルに保存する



結果:インテントがターゲットモデルに追加されたことを確認するバナーが画面に表示されます。

ターゲットモデルへの推奨インテントの追加の確認

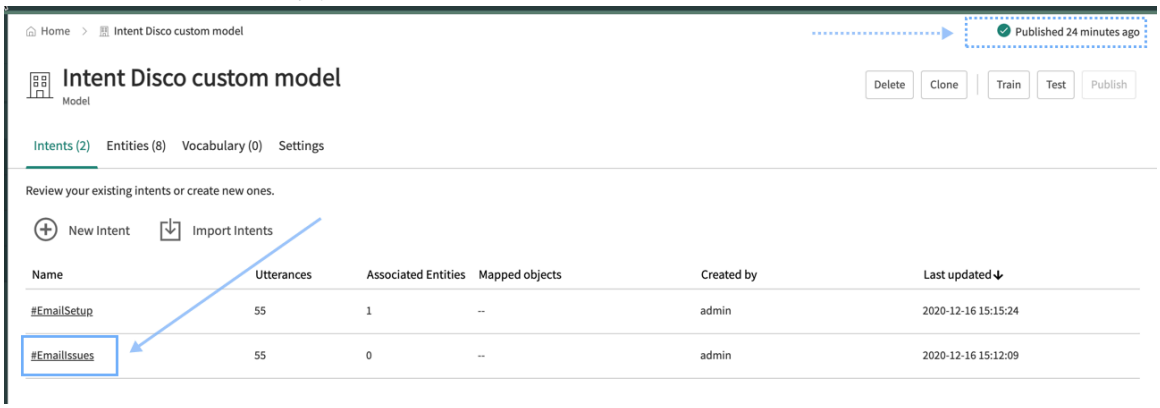


推奨インテントは、下の画像に示すように、ターゲットモデルの [モデル] 画面にも表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲットモデルでの推奨インテントの表示



クラスター化された発言をインテントとそのモデルに追加する

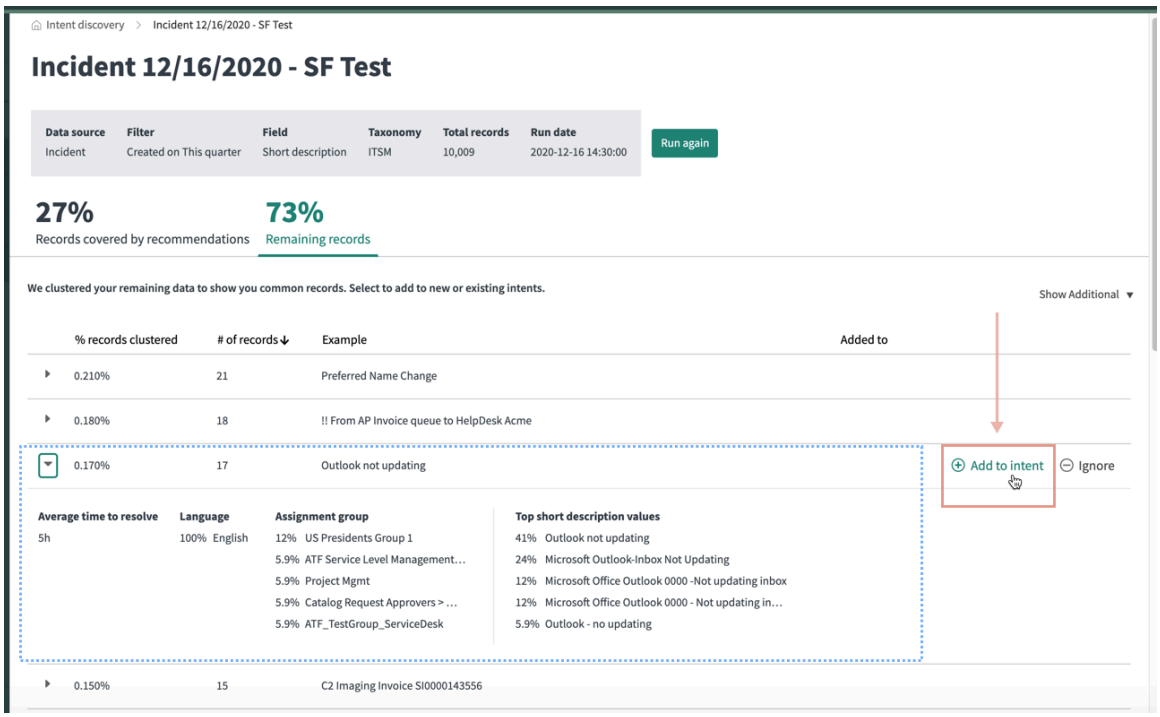
1. インテントディスカバリーレコード画面の 残りのレコード セクションで、インテントとその関連モデルに追加する発言と簡単な説明データのクラスターを選択して開きます。

これらのクラスターから新しいインテントをビルドし続ける場合は、[無視] アイコンをクリックして、レポートから不要なインテントを削除できます。

追加されたインテントと無視されたインテントを表示または非表示にするために使用できる [追加の表示] フィルターもあります。

2. [インテントに追加] を選択します。

インテントへのクラスターの追加

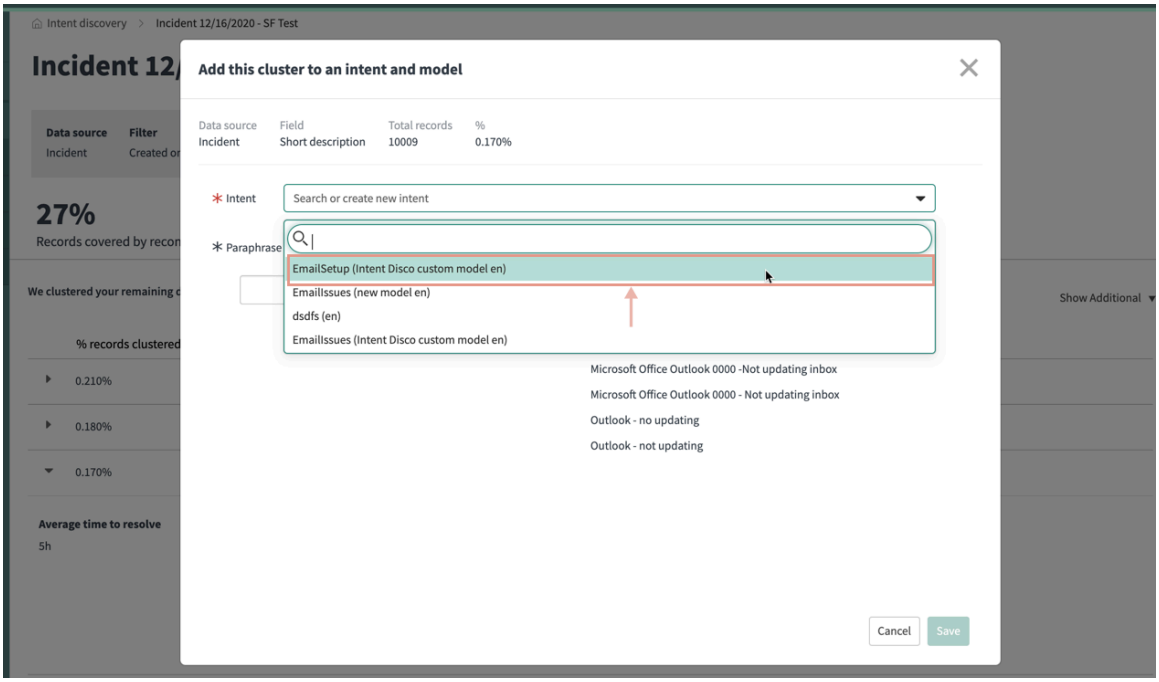


3. [このクラスターをインテントとモデルに追加] 画面で、このクラスターに関連付けるインテントとモデルのペアを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

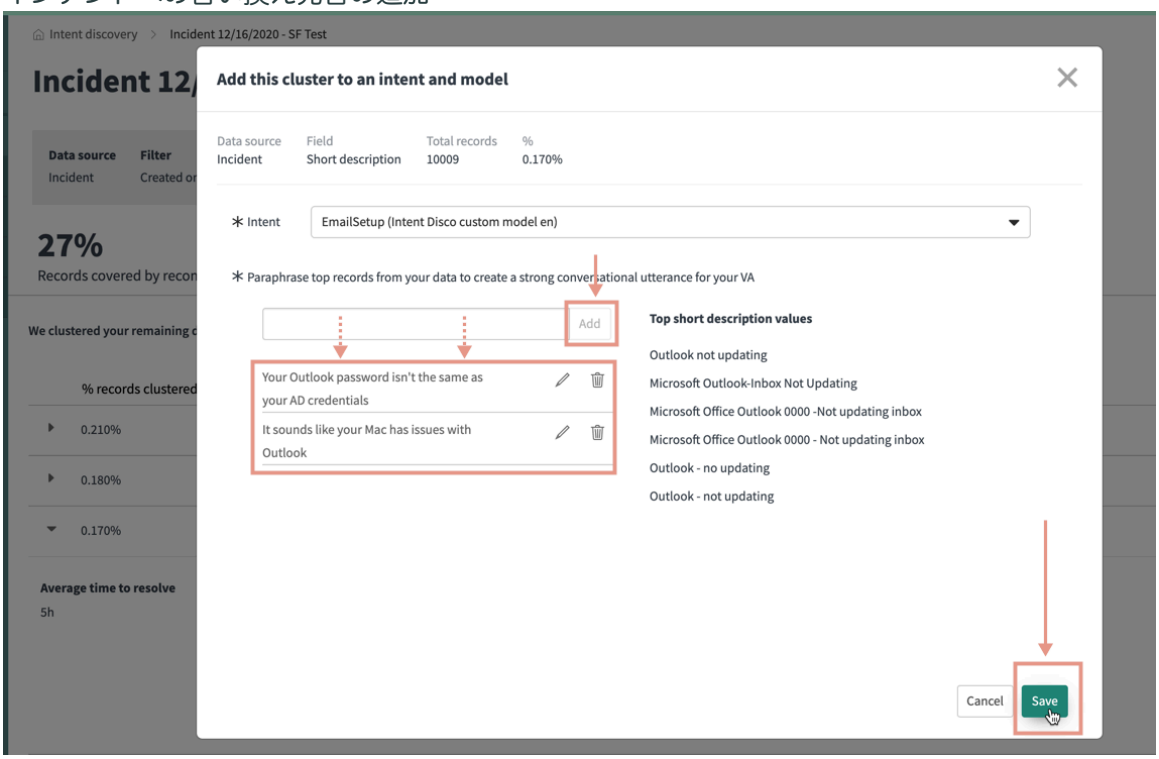
インテントとモデルへのクラスターの追加



4. 空いているテキストフィールドに発言の例をいくつか入力します。入力を完了するたびに [追加] を選択して、システムに保存します。鉛筆アイコンまたはゴミ箱アイコンをそれぞれ使用して、エントリを編集または削除します。

5. [保存] を選択します。

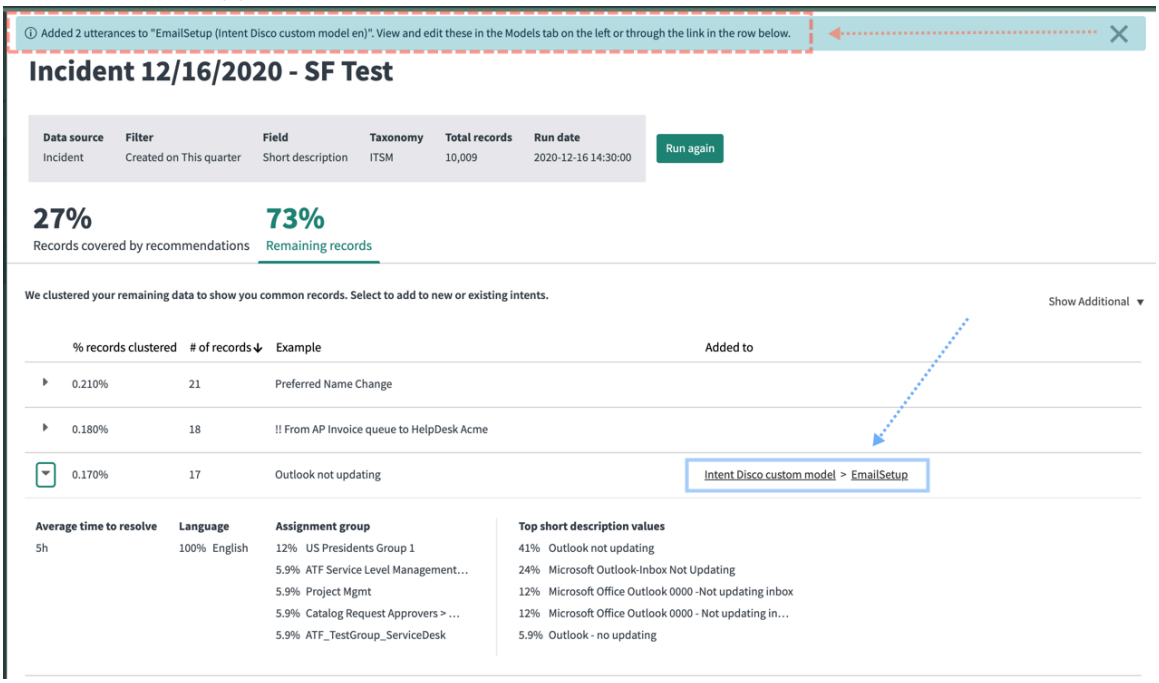
インテントへの言い換え発言の追加



結果:レコード画面が表示され、ターゲットインテントとその関連モデルに 2 つの新しい発言を追加したことを確認するバナーが表示されます。下の画像に示すように、モデルとインテントのペアが [追加先] 列に表示されます。

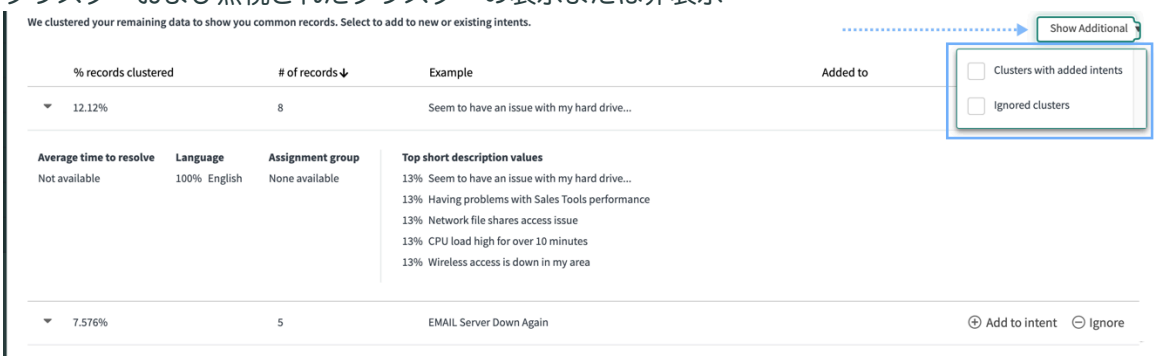
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インテントに言い換えられた発言を追加する確認



インテントを追加したクラスターと無視されるクラスターを表示または非表示にする場合は、[追加の表示] フィルターを使用します。

クラスターおよび無視されたクラスターの表示または非表示

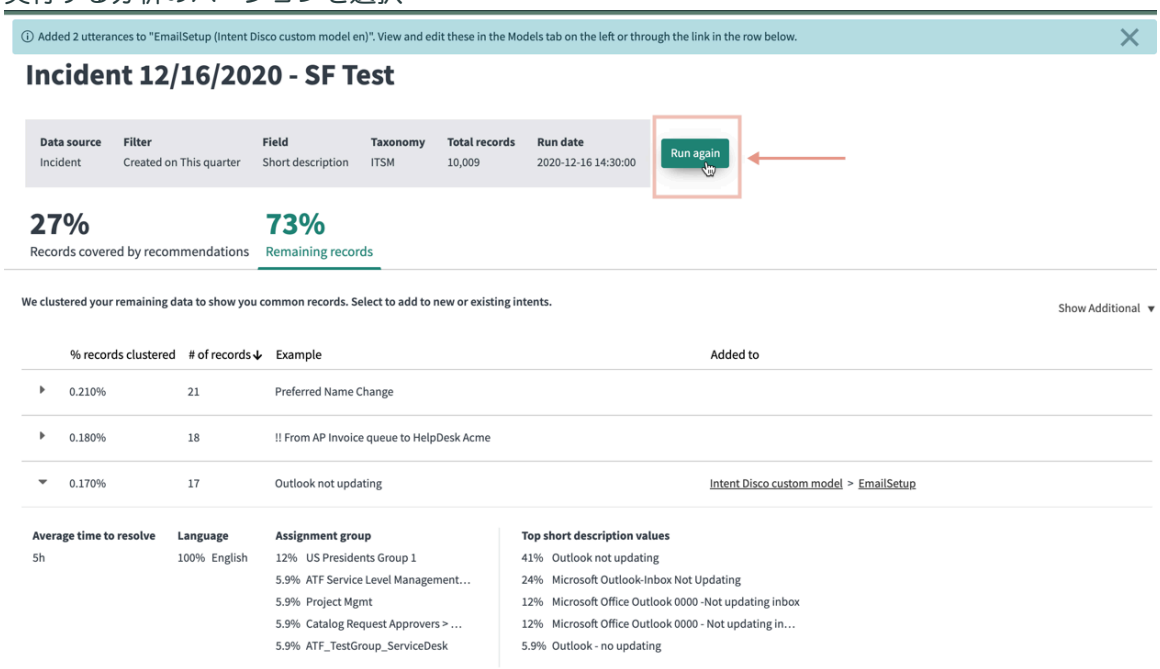


インテントディスカバリーレポートで別の分析を実行する

1. [再実行] を選択します。

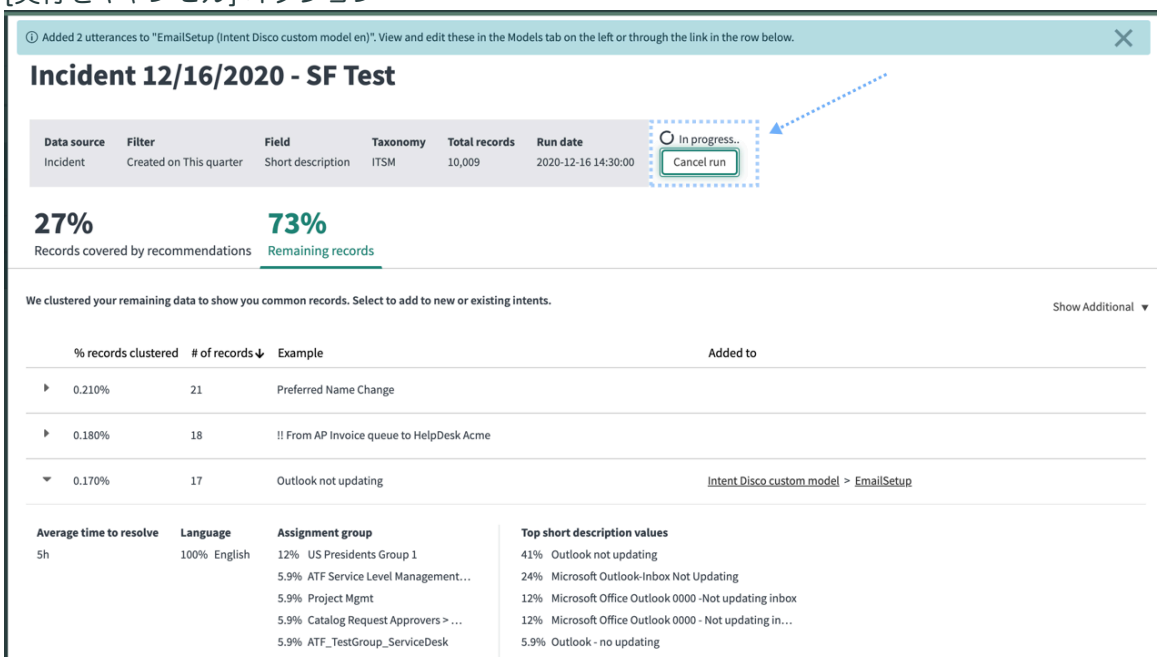
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実行する分析のバージョンを選択



結果:新しい実行が開始されます。進行中の場合は、次の図に示すように、実行をキャンセルするオプションが表示されます。

[実行をキャンセル] オプション

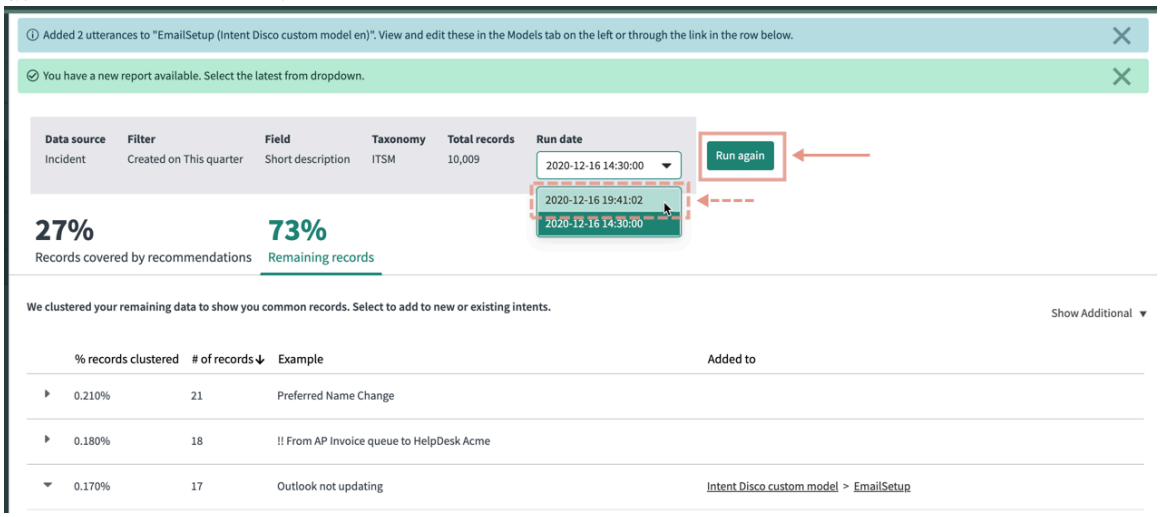


実行が完了すると、新しいバージョンのレポートがあることを示す新しいバナーが表示されます。

2. 新しいバージョンを選択し、[再実行] を選択します。

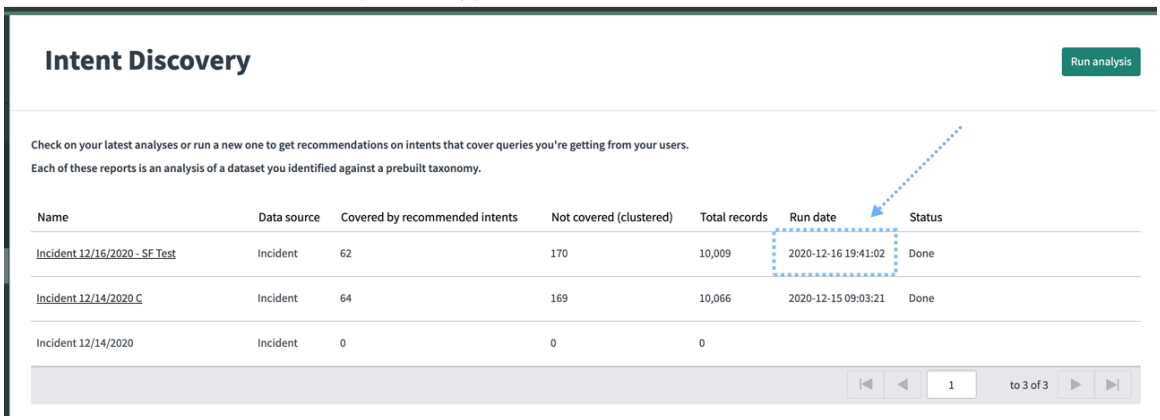
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいバージョンのレポートの選択



結果:最新の実行に対して選択したタイムスタンプが、インテントディスカバリー画面の [実行日] 列に表示されます。

インテントディスカバリーレポートの新しいタイムスタンプを表示する



自動翻訳

インテントディスカバリー のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 インテントディスカバリー アプリケーション (sn_nlu_discovery) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeにある インテントディスカバリー アプリケーションリストを確認してください。
- インテントディスカバリー には次のプラグインが必要です。インテントディスカバリー をインストールする前に、これらのプラグインがアクティブ化されていることを確認してください。

  必須の ServiceNow プラグイン

  予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml)

  モデルをトレーニングするためのさまざまな予測インテリジェンスと機械学習機能を有効にします。「予測インテリジェンス のインストール」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLU ワークベンチ - コア (com.glide.nlu)

NLU モデル機能を追加します。「の有効化 NLU ワークベンチ」を参照してください。

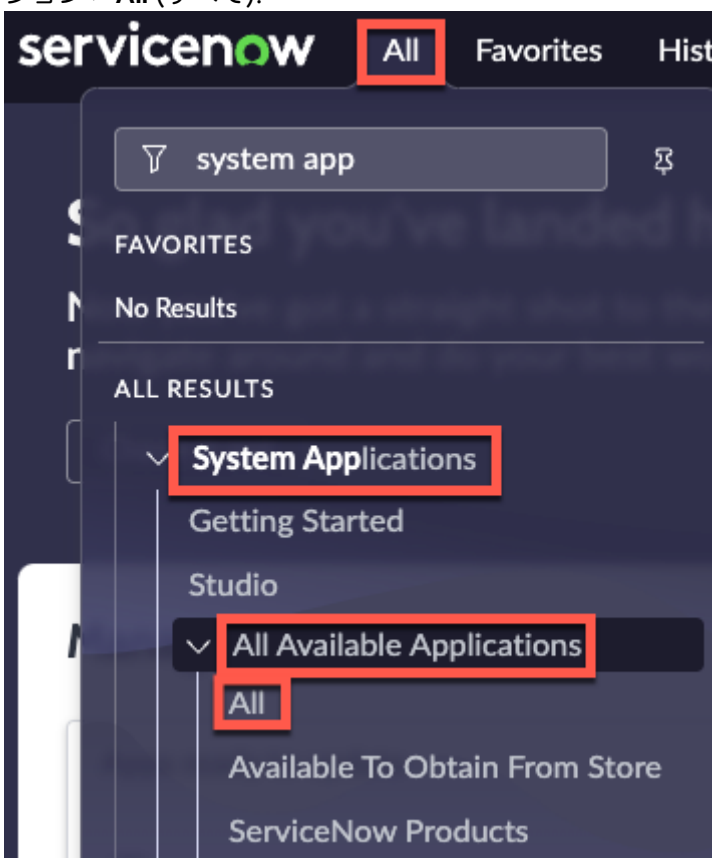
必要なロール：admin

このタスクについて
テーブルは、次の インテントディスカバリーとともにインストールされます。

詳細については、「インテントディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 インテントディスカバリー アプリケーション (sn_nlu_discovery) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、インテントディスカバリー をインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] を選択します。

インテントディスカバリーとともにインストールされるコンポーネント

sn_nlu_discovery プラグインを有効にすると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブルなど) がインストールされます。

> **注:** アプリケーションファイルテーブルには、このアプリケーションとともにインストールされたコンポーネントがリストされています。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
ディスカバリーレポート [sn_nlu_discovery_report]	ディスカバリークラスターとインテントの参照テーブル。
ディスカバリーメッセージ [sn_nlu_discovery_processed_message]	分析に使用されたソースレコードとフィールドへの柔軟な参照が含まれています。
ディスカバリーレポートトレース [sn_nlu_discovery_report_trace]	インテントに追加された発言に関する情報が含まれます。
ディスカバリーインテント [sn_nlu_discovery_intent]	レポートのインテントが含まれます。
ディスカバリークラスター [sn_nlu_discovery_cluster]	レポートのクラスターが含まれます。
ディスカバリーレポート定義 [sn_nlu_discovery_report_definition]	レポートの生成に必要な情報が含まれています。

自然言語クエリー

自然言語クエリー (NLQ) を使用すると、ユーザーインターフェイスにプレーン言語の要求を入力して、インスタンス内のデータを照会できます。

開始するには

いずれかのタイルを選択して開始します。

自動翻訳

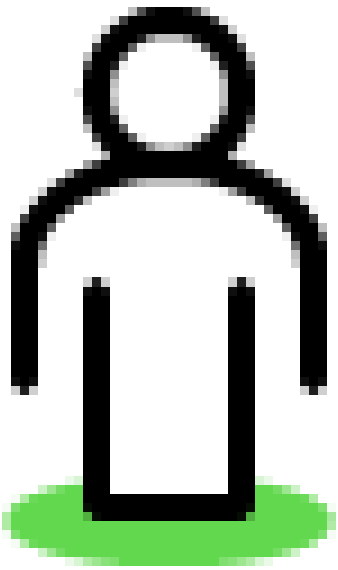
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



NLQの概念と機能について説明します。

使用



NLQを使用して、自然言語での要求でデータをクエリします。

構成



環境に合わせて NLQ を設定します。

参照



NLQ とともにインストールされるプロパティとロールの詳細を取得します。

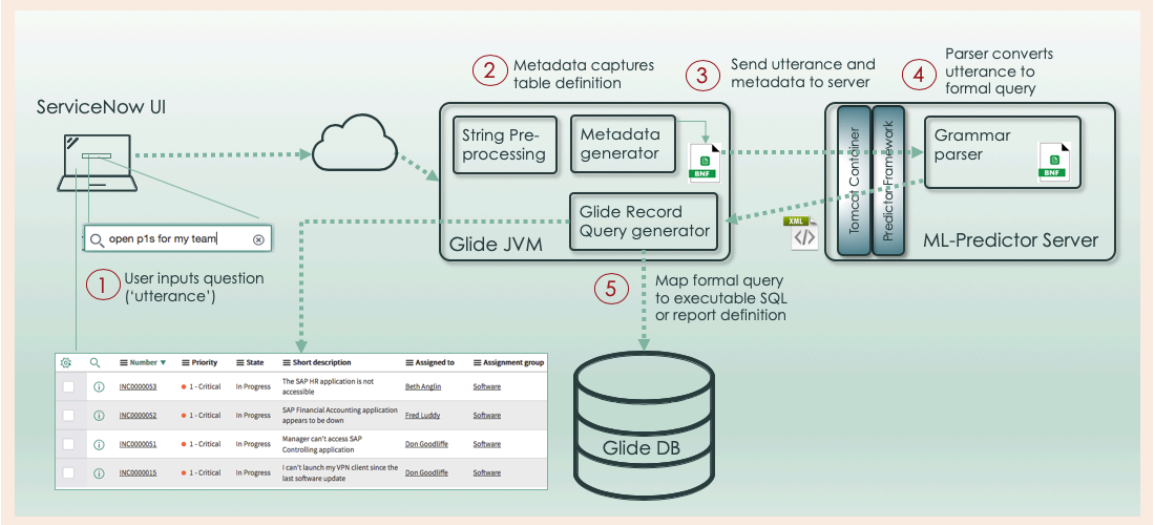
自動翻訳

自然言語クエリの詳細

NLQ はデフォルトで有効な Now Platform の機能です。ユーザーインターフェイスにプレーン言語の要求を入力することで、 NLQ を使用してインスタンス内のデータをクエリします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLQ ユーザー入力と処理のデータフロー



ServiceNow® NLQ 自然言語のユーザー入力を Glide レコードクエリに変換します。クエリは、JavaScript Object Notation (JSON) ファイルやビジュアル定義などの実行可能な構造化形式にレンダリングされます。出力は、形式に関係なく、ユーザーの要求に対する応答です。

注: ユーザーがユーザーインターフェイス (UI) に要求を直接入力すると、要求のテキストは、NLQログなどのテーブルでは発言と呼ばれます。

NLQ はデフォルトで有効になっている Now Platform 機能であり、次のデータ操作をサポートしています。

- 駆動テーブルの提案
- フィルタリング
- グループ化と集計
- 分別
- データの可視化 (単一スコア、リスト、棒グラフ、円グラフ、時系列)
- ビジネスカレンダー
- 単一の番号
- 複数テーブル

詳細については、「自然言語クエリー の使用」を参照してください。

NLQではドメインセパレーションはサポートされていません。また、オンプレミスインスタンスもサポートしていません。

言語サポート

NLQ はデフォルトでアメリカ英語をサポートしています。CMDB を除くすべてのアプリケーションと機能について、NLQ はスペイン語、フランス語、フランス語 (カナダ)、ドイツ語、および日本語のクエリもサポートしています。

NLQがそれらの言語でクエリを解析するには、まずインスタンスで言語をアクティブ化する必要があります。詳細については、「言語のアクティブ化」を参照してください。

他のアプリケーションや機能での **NLQ** の使用

他の ServiceNow® アプリケーションや機能は、 NLQ 機能を使用できます。詳細については、次のリソースを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

NLQ を消費する可能性がある機能

アプリケーションまたは機能	情報
アナリティクス Q&A	アナリティクス Q&A を含むレポートの作成
構成管理データベース (CMDB)	テーブルの関係やデータ構造を理解しなくても、 CMDB データをクエリします。 • CMDB のクエリ • CMDB のインテリジェントな検索 CMDBでサポートされている言語は英語のみです。
NLQ グローバル検索での AI 検索 の使用	NLQ Genius 結果 AI 検索 (英語のみをサポート)
リスト V2	平易な言葉で要求を入力して、プラットフォームリストをフィルタリングします。

自然言語クエリー の使用

自然言語クエリー (NLQ) では、自然で日常的な言語で要求を入力することで、テーブル内のデータを照会できます。

NLQの概要

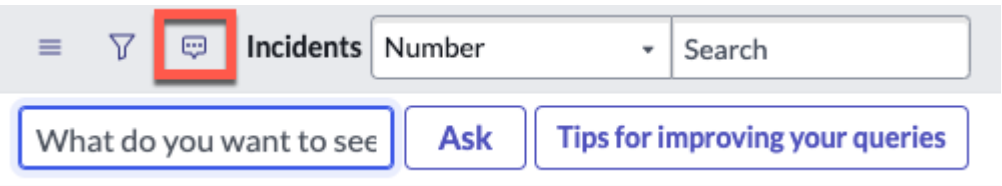
NLQ は、平易な言葉での要求をデータの構造化クエリに変換します。条件ビルダーは、 NLQ によって自動的に条件が作成および表示されるため、使用方法を知る必要はありません。

テーブルを表示および操作できる itil などのロールがある場合は、自然言語フィルターアイコンを選択して NLQ を使用できます。

NLQ はプラットフォーム上の任意のリストで動作します。クエリを実行したテーブルまたはリストからのみ結果を返します。

自然言語フィルターを検索して使用する

自然言語フィルターアイコンを選択すると、 NLQ インターフェイスが表示されます。



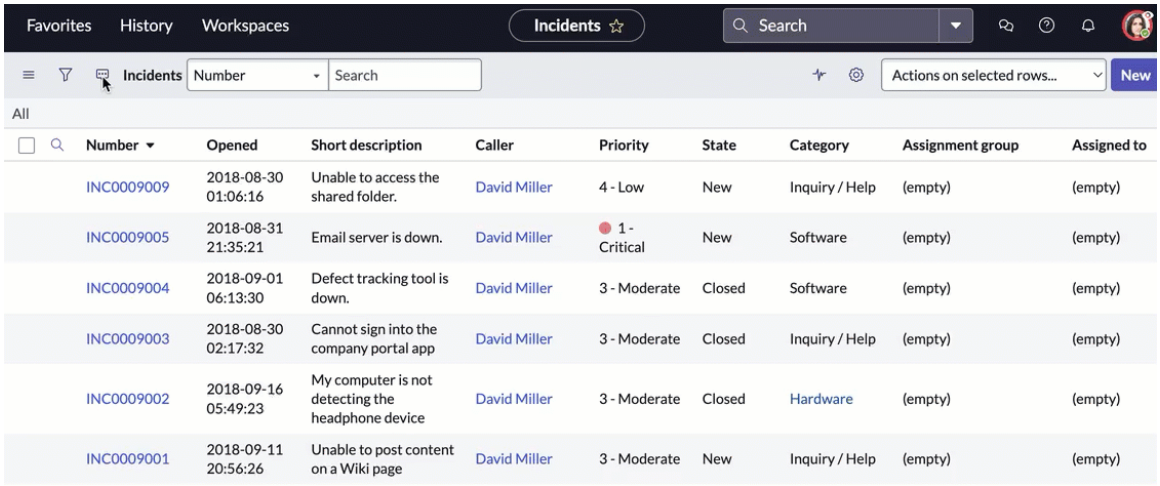
[何を見たいですか] フィールドに要求を入力し、[確認] を選択します。 NLQ が要求を解析し、条件ビルダーにクエリを表示します。クエリの結果がリストに表示されます。

デフォルト構成の NLQ では、[表示内容] フィールドに別の要求を入力して、クエリを絞り込むことができます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

NLQ を使用して以前のクエリに基づいて構築する



Number	Opened	Short description	Caller	Priority	State	Category	Assignment group	Assigned to
INC0009009	2018-08-30 01:06:16	Unable to access the shared folder.	David Miller	4 - Low	New	Inquiry / Help	(empty)	(empty)
INC0009005	2018-08-31 21:35:21	Email server is down.	David Miller	1 - Critical	New	Software	(empty)	(empty)
INC0009004	2018-09-01 06:13:30	Defect tracking tool is down.	David Miller	3 - Moderate	Closed	Software	(empty)	(empty)
INC0009003	2018-08-30 02:17:32	Cannot sign into the company portal app	David Miller	3 - Moderate	Closed	Inquiry / Help	(empty)	(empty)
INC0009002	2018-09-16 05:49:23	My computer is not detecting the headphone device	David Miller	3 - Moderate	Closed	Hardware	(empty)	(empty)
INC0009001	2018-09-11 20:56:26	Unable to post content on a Wiki page	David Miller	3 - Moderate	New	Inquiry / Help	(empty)	(empty)

次の例の画像と手順は、 NLQを使用してクエリーをビルドする方法を示しています。

1. 自然言語フィルターの [インシデント] テーブルに「 アクティブなハードウェア チケットを表示する」 と入力し、[**Ask**] ボタンを選択します。
2. 条件ビルダーが表示されます **All** (すべて) > **Active = true** > カテゴリ **=** ハードウェア クエリーとして。フィルタリングされた結果がリストに表示されます。
3. 結果のリストをさらに絞り込むには、 アサイン先グループなしで入力します。入力すると、列とフィールドに一致する可能性のある列とフィールドが NLQ 表示されます。提案のリストから アサイン先グループ を選択し、[確認する] を選択します。
4. 条件ビルダーで、 NLQ は **>**アサイン先グループが空です 。リストが更新され、一致する行のみが表示されます。
5. 新しいクエリをリセットして開始するには、条件ビルダーですべてを削除し、[すべて] のみが残るようにします。

お役立ち情報

NLQを使用するときは、次の情報に留意してください。

- 要求にはピリオドとアポストロフィを含めることができますが、アスタリスクや正規表現などのワイルドカード文字を含めることはできません。
- フィールドまたは列でグループ化するには、その列がリストビューに表示されている必要があります。列を表示または非表示にするには、[リストをカスタマイズ] アイコン ([を使用します。
- CMDBテーブルのクエリの詳細については、「CMDB のクエリ」 を参照してください。

クエリを改善するためのヒント

[クエリを改善するためのヒント] ボタンを選択すると、ユーザーインターフェイスにモーダルウィンドウが表示されます。このウィンドウには、 NLQ の質問や要求で使用できる用語に関する次の情報が表示されます。

- ソートまたはグループ化:グループ化;ソート基準;A-Z;Z から A
- 日付:今日;昨日;最後;これ;翌日 ; 週;クォーター;年
- フィルタリング: 次で始まる。 で終わる; 以上; 次の値未満; 空っぽ; 空ではありません。 そして; 又は
- その他の情報: 私の; 私のチーム; 作成者; 未割り当て

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クエリ	例
ソートまたはグループ化	カテゴリ別にグループ化されたインシデント
日付	先月作成
フィルタリング	コンピューターで始まる簡単な説明
その他の情報	未アサインチケット
単一の番号	INC0777

NLQ の構成

環境で使用される単語や用語で NLQ を補足することで、ユーザーのクエリエクスペリエンスを向上させます。NLQログでユーザーの実際の要求を確認し、追加する可能性のある同義語とショートカットを見つけます。

自然言語クエリー 機能はベースシステムに含まれています。アドミニストレーターは、必要に応じて、ユーザーの要求によく使用される用語を追加することで、 NLQ理解の範囲を広げることができます。詳細については、次のトピックを参照してください。

NLQに関連するシステムプロパティの詳細については、「自然言語クエリー 参照」を参照してください。

NLQ 同義語を作成

同義語を追加して、ユーザーがデータを要求するさまざまな方法を NLQ 認識する能力を向上させます。同義語を使用すると、よく使用される単語や用語をテーブルの列にマッピングできます。

始める前に
必要なロール:admin、nlq_admin、または pa_analyst

このタスクについて
NLQ 同義語を使用すると、ユーザーの要求の一般的な単語をインスタンステーブルの列にマップできます。これらの単語が自然言語クエリで検出されると、 NLQ それらを実際の列名とテーブル名に置き換え、正式なクエリを送信します。

ベースシステムにはいくつかの同義語が用意されており、ユースケースやビジネス要件に合わせてさらに同義語を追加できます。実際のユーザーの発言の NLQ ログを確認して、追加できる同義語を探します。詳細については、「NLQ ログを表示」を参照してください。

次のように、新しい同義語を作成したり、既存の同義語を変更したりできます。

- ターゲットテーブルと列に同義語がすでに存在する場合は、現在のレコードに新しい同義語を追加する必要があります。複数の同義語を指定する場合は、カンマで区切ります。
- 同義語は、ドット連結を使用して参照フィールドを指すことができます。詳細については、「ドット連結の例」を参照してください。
- 同義語は、クエリで大文字と小文字を区別しません。
- 同義語にはアポストロフィとピリオドを含めることができますが、カンマを含めることはできません。
- 同義語レコードは 1 つのテーブルに関連付けられています。複数のテーブルに同じ同義語を使用できますが、テーブルごとにレコードを作成する必要があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 同義語に必要なアプリケーションスコープ内にいることを確認し、次に移動します: **All** (すべて) > **NLQ** > 同義語.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   既存のレコードを更新する場合は、リストでその 列名 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
同義語タイプ	同義語のタイプ。 ◦テーブルまたは列:テーブルの値またはそのテーブルの特定の列の値の同義語。 ◦レコード:CMDB テーブル [cmdb_rel_type_table] の値の同義語。詳細については、「 CMDB のクエリ 注: cmdb_rel_type、cmdb_group、cmdb_ci_service_technical、cmdb_ci_service_discovered、cm テーブルをサポートします。
アプリケーション	[読み取り専用]クエリで同義語を使用できるアプリケーションスコープ。デフォルトは [グローバル] です。 同義語を作成するときは、同義語に必要な範囲内にいることを確認してください。
テーブル	ソーステーブル。 複数のテーブルに同じ用語を使用できますが、テーブルごとに同義語レコードを作成する必要があります。 ルに対して一意です。
列名	ソーステーブルの特定の列。
言語	同義語の言語。ソース値の言語と一致する必要があります。
同義語	発言を正式なクエリに変換するときに、システムが列名またはテーブルにマッピングする必要がある単語ま 複数の同義語を指定する場合は、カンマで区切ります。
すべての子テーブルに拡張	テーブルタイプまたは列 タイプのみ。 ソーステーブルのすべての子テーブルが同義語を継承するようにするには、このオプションを選択します。

4. 新しい場合は [送信] を選択し、既存のレコードを変更する場合は [更新] を選択します。

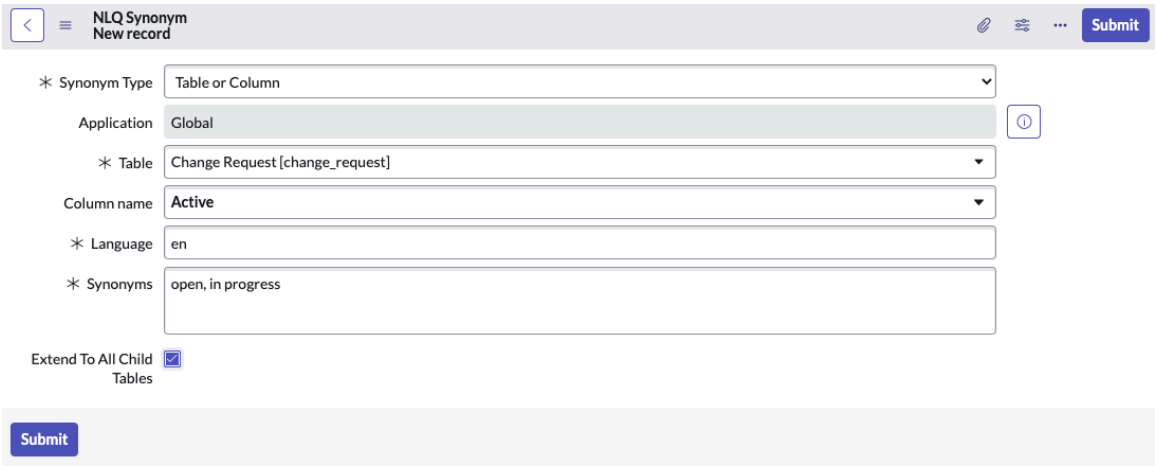
タスクの結果
ユーザーがリストのブラウザーウィンドウを更新するとすぐに、新しい同義語を使用できるようになります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: アクティブフィールドの NLQ 同義語

次の画像は、変更要求の [アクティブ] フィールドの NLQ 同義語レコードの例を示しています。オープンで処理中の同義語は、システムがクエリを送信するときに「アクティブ」という用語に置き換えられます。



この同義語レコードを使用すると、ユーザーは「オープンな変更要求を表示 」または「対応中の変更要求」と入力でき、システムはアクティブな変更要求を表示します。

NLQ ショートカットを作成

セマンティックショートカットを作成して、ユーザーがデータを要求するさまざまな方法を NLQ 認識する能力を向上させます。セマンティクスショートカットは、一般的な単語を列にマッピングすることで NLQ 同義語と同様に動作しますが、特定の条件が満たされた場合に選択したテーブルに対して動作します。

始める前に
必要なロール:admin、nlq_admin、または pa_analyst

このタスクについて
NLQ同義語と同様に、セマンティクスショートカットを使用すると、ユーザーの要求の一般的な単語をインスタンステーブルの列にマッピングできます。これらの単語が自然言語クエリで検出されると、 NLQ それらを実際の列名とテーブル名に置き換え、正式なクエリを送信します。

セマンティクスショートカットには条件ビルダーがあり、指定した条件の対象となるレコードをフィルタリングできます。

一部のセマンティクスショートカットはベースシステムで提供されており、ユースケースやビジネス要件に合わせてさらに追加できます。実際のユーザーの発言の NLQ ログを確認して、追加できる用語を探します。詳細については、「NLQ ログを表示」を参照してください。

次のように、新しいショートカットを作成したり、既存のショートカットを変更したりできます。

- ターゲットテーブルとフィルター条件のショートカットが既に存在する場合は、現在のレコードに新しいショートカットを追加する必要があります。複数のショートカットはカンマで区切ります。
- ショートカットは、ドット連結を使用して参照フィールドを指すことができます。詳細については、「ドット連結の例 」を参照してください。
- 同義語は、クエリで大文字と小文字を区別しません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 同義語にはアポストロフィとピリオドを含めることができますが、カンマを含めることはできません。
- 同義語レコードとショートカットレコードは 1 つのテーブルに関連付けられています。同じ同義語を複数のテーブルに関連付けることができますが、テーブルごとにレコードを作成する必要があります。

手順

1. ショートカットに使用するアプリケーションスコープ内にいることを確認してから、 **All** (すべて) > **NLQ** > セマンティクスショートカット.
2. **[New** (新規)] を選択します。
   既存のレコードを更新する場合は、リストでその行を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

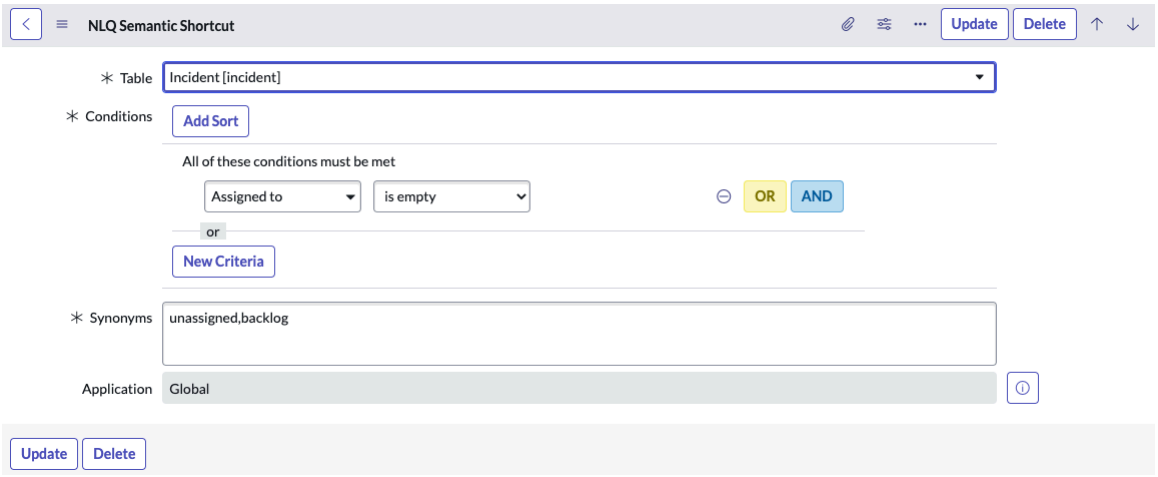
フィールド	説明
テーブル	ソーステーブル。 複数のテーブルに同じ用語を使用できますが、テーブルごとにレコードを作成する必要があります。同義語のマッピングはテーブルに対して一意です。
条件	同義語が機能するために満たす必要があるソーステーブルの条件。
同義語	発言を正式なクエリに変換するときに、システムが列名またはテーブルにマッピングする必要がある単語またはフレーズ。 複数の同義語を指定する場合は、カンマで区切ります。
アプリケーション	[読み取り専用]クエリで同義語を使用できるアプリケーションスコープ。デフォルトは [グローバル] です。ショートカットを作成する前に、ショートカットのターゲットアプリケーションスコープ内にいることを確認してください。

4. 新しい場合は [送信] を選択し、既存のレコードを変更する場合は [更新] を選択します。

タスクの結果
新しいショートカットは、ユーザーがリストのブラウザーウィンドウを更新するとすぐに使用できるようになります。

Example: インシデントバックログのセマンティクスショートカット
次の画像は、インシデントレコードで使用されるセマンティックショートカットの例を示しています。インシデントには [アサイン先] フィールドが含まれています。条件ビルダーを使用して、フィールドが空の場合の同義語を指定できます。NLQユーザーの入力で未アサインとバックログが検出されると、SQL 句`assigned_toISEMPTY`に置き換えられます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユーザーが「インシデントバックログを表示」 または 「未アサインのインシデント」と入力すると、[アサイン先] フィールドが空のインシデントが表示されます。

NLQ ログを表示

NLQログを確認して、システムがユーザーの平易な言葉での要求をどのように処理したかを確認します。試行された要求のログレコードを使用して NLQ 同義語またはショートカットを展開します。

始める前に

必要なロール:nlq_admin、pa_analyst、または admin

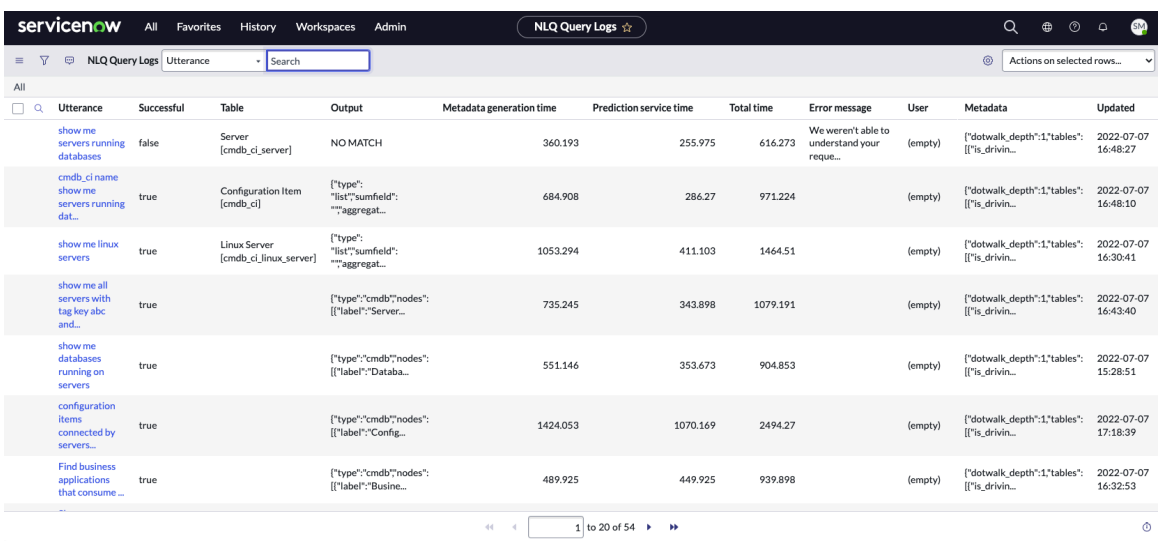
このタスクについて

すべての自然言語クエリは、 *NLQ* クエリログ テーブル [nlq_query_log] に記録されます。各ログエントリには、クエリが実行されたテーブル、クエリが成功したかどうか、結果がどのように生成されたかなどの詳細が表示されます。その他の利用可能なフィールドは次のとおりです。

- 出力ソース:結果の生成方法。値 **BNF** は、ルールベースのメソッドを示します。値 **GAI** は、Now LLM サービス (フォールバック) メソッドを示します。
- ソース:クエリが開始された場所。値 **AC** はアナリティクスセンターを示します。**CMDB_WS**値はCMDBワークスペースを示します。
- 発言: NLQをトリガーした元の自然言語要求。

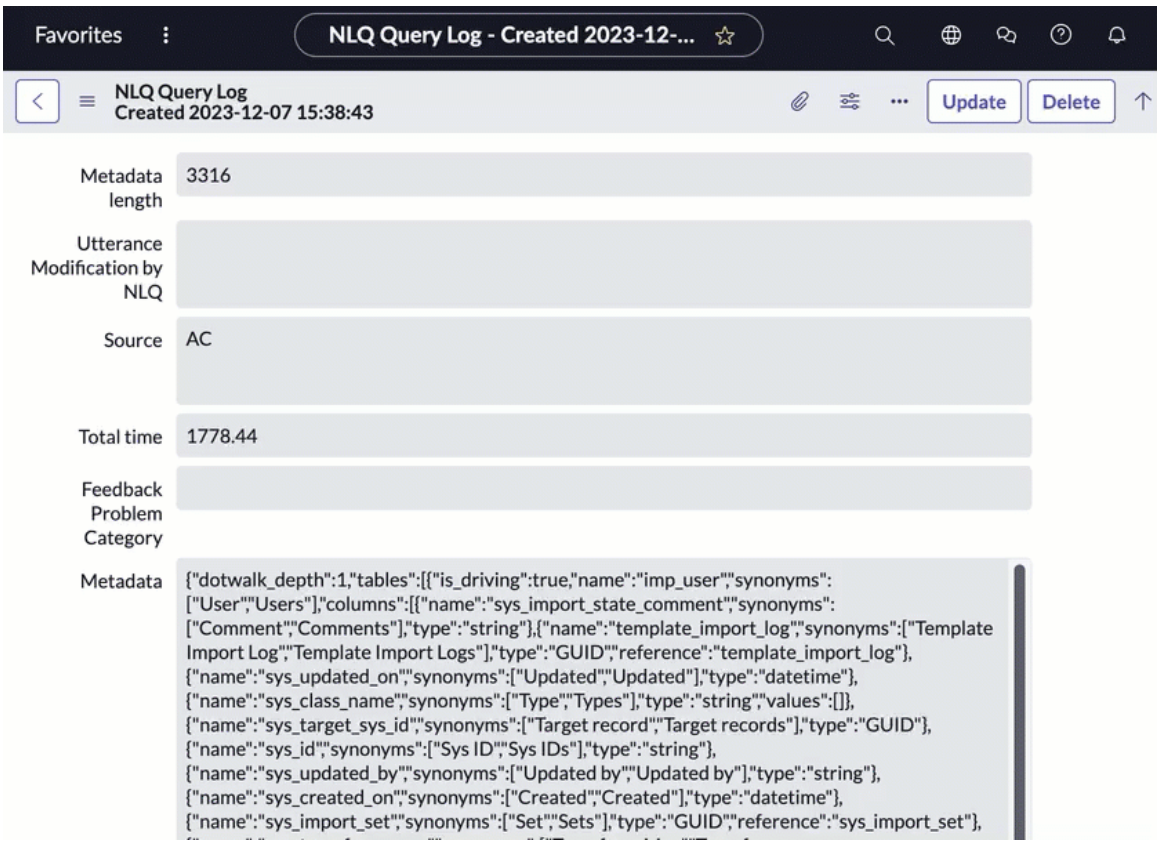
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLQ** > ログ.



© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [発言] 列の値を選択して、完全なログエントリを開きます。



次のタスク
ユーザーが試行したクエリに基づいて、 同義語 または ショートカットを追加することを検討してください。

NLQ テーブル Guesser ログを表示

Table Guesser ログを使用して、プレーン言語のクエリに応答してNLQによって選択されたCMDBテーブルを確認します。

始める前に
このモジュールは読み取り専用です。

必要なロール:nlq_admin。

このタスクについて
CMDBデータに対する平易な言葉での要求がNLQによって解析されると、システムはユーザーが意図した特定のテーブルの判別を試みます。信頼性レベルを含むシステムの推測は、 NLQ Table Guesser ログモジュール [nlq_table_guesser_log] に記録されます。

これらのログを確認して、NLQによって推定されたCMDBテーブルをトラブルシューティングします。

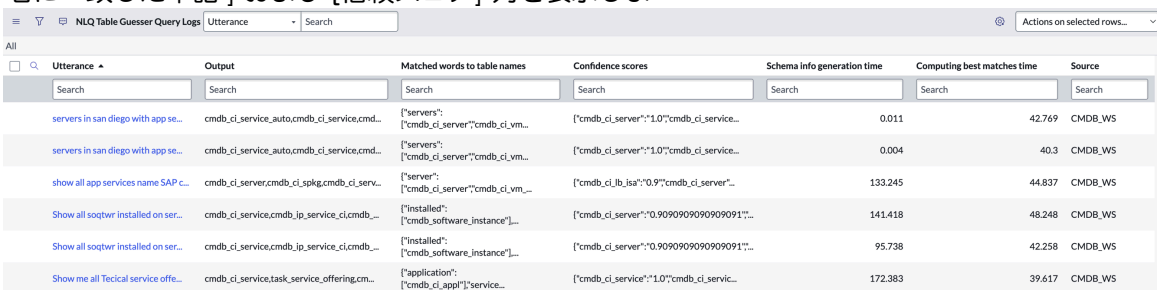
注: このリストは、 NLQ アドミンには読み取り専用です。UI にはボタンやアクション可能な機能はありません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **NLQ** > テーブル **Guesser** ログ.
2. [リストをカスタマイズ] アイコン ([ ]) を選択して、[テーブル名に一致した単語] および [信頼スコア] 列を表示します。



[発言] 列には、ユーザーの自然言語クエリが表示されます。

3. 必要に応じて、トラブルシューティングのために [テーブル名に一致した単語] 列の情報を使用します。
この列の値フィールドで、発言の最初の単語が見つかりました。次は、その単語に一致した CMDB テーブルのリストです。

次のタスク
CMDBクエリの詳細については、「CMDB クエリビルダーの詳細」を参照してください。

自然言語クエリー 参照

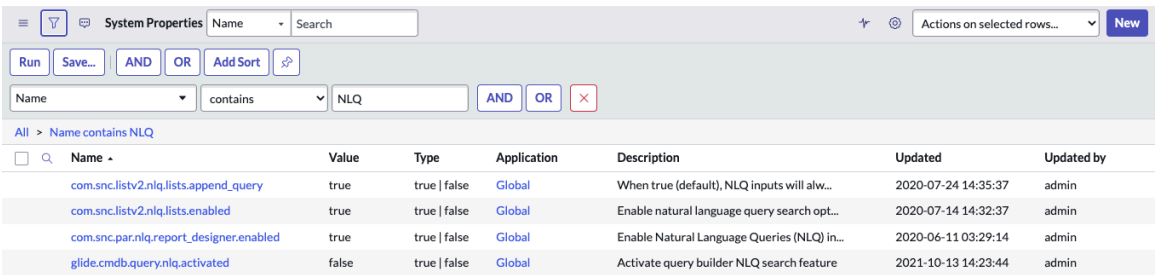
次のコンポーネントが 自然言語クエリー とともにインストールされます。

NLQ プロパティ

自然言語クエリー (NLQ) プロパティは、NLQの動作方法と場所を制御します。

アドミニストレーターは、次に移動して NLQ のプロパティを編集できます。 **All** (すべて) > システムプロパティ > すべてのプロパティ.NLQプロパティのフィルター。

> **注:** これらのシステムプロパティを編集するには、admin ロールが必要です。nlq_adminロールには、このテーブルのレコードを編集する権限がありません。



プロパティ	説明
com.snc.listv2.nlq.lists.append_query	• True: NLQ 入力は「and」演算子を介して既存のクエリに追加されます • false:既存のクエリ NLQ 新しい入力が置き換えられます

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ	説明
	例:2 つのクエリを実行します。 • クエリ 1:優先度が「最重要」のインシデント • クエリ 2:John Smith にアサイン済み このプロパティが true に設定されている場合、結果には John Smith にアサインされた「最重要」のインシデントが表示されます。プロパティが false に設定されている場合、結果には John Smith に割り当てられたアイテムのみが表示されます。
com.snc.listv2.nlq.lists.enabled	• true:リスト v2 NLQ 検索オプションを有効にします • False:リスト v2 NLQ 検索オプションを削除します
com.snc.nlq.gai_enabled	• true: Now LLM サービス フォールバックが利用可能です • false: Now LLM サービス フォールバックは利用できません 最初は、クエリはルールベースの方法を使用して解釈されます。このメソッドが失敗した場合、クエリはフォールバックとして Now LLM サービス に渡されます。これらの方法の両方が失敗した場合は、NLQ ログで失敗としてマークされます。
com.snc.par.nlq.report_designer.enabled	• true:レポートデザイナーで NLQ を有効にします • false:レポートデザイナーで NLQ を削除します
glide.cmdb.query.nlq.activated	• true: NLQ 検索機能が CMDB クエリビルダーでアクティブになっています • 誤り: NLQ 検索機能は CMDB クエリビルダーで無効になっています
glide.service_portal.ais_nlq_enabled	• true:グローバル検索で NLQ を有効にします • false: NLQ はグローバル検索では使用できません

Natural Language Query ロール

自然言語クエリー (NLQ) は次のロールとともにインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

NLQ アドミン [nlq_admin]

自然言語クエリー のアドミニストレーター。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モジュールアクセス

次のモジュールへのフルアクセス権があります。

- NLQ Cmdb の暗黙的な関係。詳細については、「CMDB のインテリジェントな検索」を参照してください。
- NLQ クエリログ
- NLQ セマンティクスショートカット。
- NLQ 同義語。

次のモジュールに対する読み取り専用アクセス権があります。

NLQ テーブル Guesser クエリログ。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

なし。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

admin ロールの付与を回避するには、NLQ CMDB の暗黙的な関係、NLQ セマンティクスショートカット、および NLQ 同義語に pa_analyst ロールを使用します。

予測インテリジェンス

予測インテリジェンス は、機械学習モデルをトレーニングするための強力なインターフェイスです。予測インテリジェンスを使用すると、複数の事業部門にまたがるシステムのパフォーマンス、効率、および柔軟性を向上させることができます。

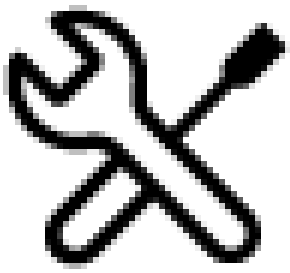
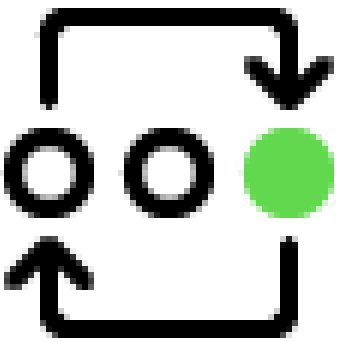
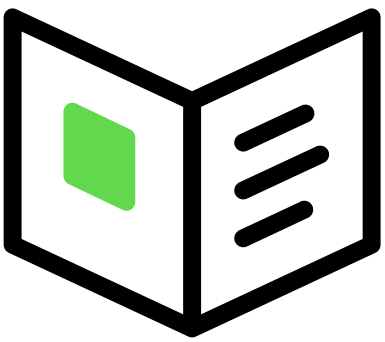
予測インテリジェンス を開始するには

アドミニストレーターは機械学習の力を活用して、エージェントと履行者の生産性と効率を向上させることができます。 予測インテリジェンス は、人工知能を使用してプラットフォーム全体のプロセスを改善します。 予測インテリジェンス を使用すると、次のようなことができます。

- ケースの作成時にフィールドに自動的に入力します。
- 過去のレコードの処理方法に基づいて作業を分類してルーティングします。
- 以前のケースと類似したケースに解決策を推奨します。
- 受信インシデントに基づいて重大な機能停止を特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索	インストール	構成
		
予測インテリジェンスと機械学習について学ぶ	予測インテリジェンス とその関連アプリのインストール	プラットフォームでの 予測インテリジェンス の構成
トレーニング	**使用**	**参照**
		
機械学習ソリューションを作成してトレーニングします。	機械学習に 予測インテリジェンス を使用します。	プロパティや言語サポートなどの 予測インテリジェンス コンポーネントの詳細を取得します。

自動翻訳

予測インテリジェンスの詳細

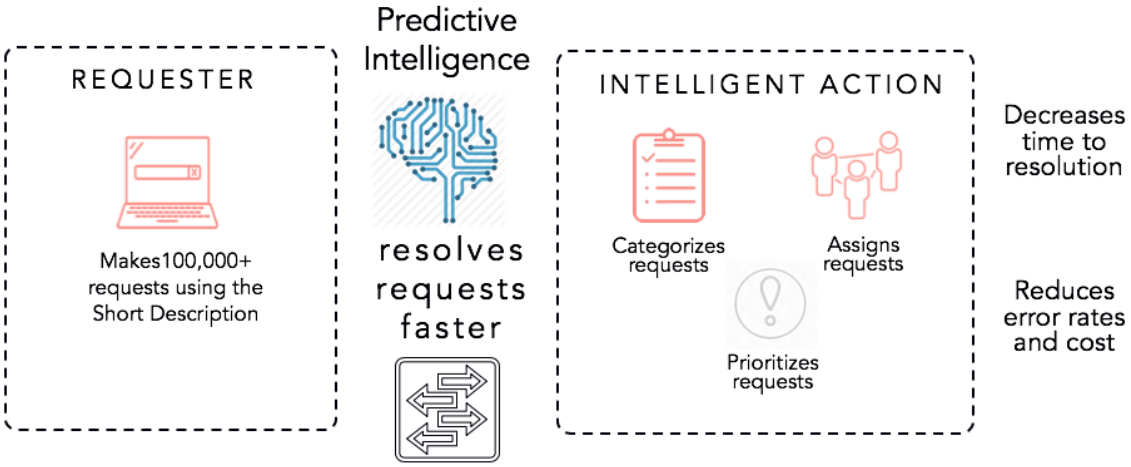
ServiceNow® 予測インテリジェンス は、ServiceNow®アプリケーション全体の機能を強化して、より優れたワークエクスペリエンスを提供する人工知能のレイヤーを提供するプラットフォーム機能です。

予測インテリジェンスの概要

予測インテリジェンス は、人工知能と機械学習を使用して作業エクスペリエンスを向上させるための強力なツールセットです。プラットフォームでモデルを作

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成してトレーニングし、他の ServiceNow 製品やアプリケーションと統合できま



す。

以下では、 予測インテリジェンス の背後にある基本的な概念と、利用可能なさまざまなフレームワークを紹介します。

既存のモデルを使用する方法の詳細については、「 予測インテリジェンス の使用」を参照してください。

予測インテリジェンス オンプレミスのお客様向け

予測インテリジェンス はオンプレミスの顧客も利用できます。この製品をオンプレミスで展開することに関心がある場合は、アカウントマネージャーにお問い合わせください。オンプレミスのインストールと構成の手順については、セルフホステッドナレッジベースNow Supportのセルフホステッドのお客様向けの機械学習エンジンのインストールと構成 [KB0782052] の完全な手順を参照してください。

注: オンプレミスアカウントのみが Now Support セルフホスト ナレッジベースにアクセスできます。

用語

人工知能
: 達成するために一定レベルの人間の知性を必要とする作業を行うように設計されたシステム。

機械学習
: より多くの経験を積むことで、時間の経過とともにモデルを改善する能力。

モデル
: 入出力データに基づいて予測と意思決定を行うアルゴリズム、数学、および統計のコレクション。

トレーニング
: 将来の予測に影響を与えるモデルの基になるデータを追加または変更します。

教師ありトレーニング
: モデルが 2 つを接続するルールを生成できるように、入力出力ペアを提供します。

教師なしトレーニング
: モデルがデータセット内の構造を識別できるように生データを提供します。

トレーニング頻度

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

既存のモデルを新しいトレーニングデータと組み合わせるためにモデルを再トレーニングする頻度。

ワードコーパス

モデルがテキストの類似性を探すために使用できる語彙。

予測モデルのコンポーネント

予測モデルにはこれらのコンポーネントが含まれており、その一部を指定する必要があります。

ソリューション定義

作成および設定して、予測モデルをトレーニングするために次の値を指定するデータレコード

- モデルのトレーニングに使用されるレコード。たとえば、過去 6 か月以内に解決またはクローズされたインシデントのみをトレーニングします。
- モデルが予測を行うために使用する入力フィールド。たとえば、インシデントの簡単な説明を使用して予測を行います。
- モデルが予測する値の出力フィールド。たとえば、簡単な説明に基づいてインシデントカテゴリを設定します。
- モデルを再トレーニングする頻度。たとえば、30 日ごとにモデルを再トレーニングします。

ソリューション

ソリューションは、ServiceNow データセンターでトレーニングしたソリューション定義の結果です。予測インテリジェンス は、ソリューションを使用して 1 つ以上の入力フィールド値が指定されたターゲットフィールド値を予測します。すべてのソリューションでこれらの値を指定します。

- ソリューション「精度」は、正しい予測の合計パーセンテージです。たとえば、精度が 50 の場合、100 件の予測のうち半分が正しい値であることを意味します。
- ソリューション「範囲」は、予測を受け取るレコードの合計パーセンテージです。たとえば、範囲が 50 の場合、対象となるすべてのレコードの半分が実際に予測を受け取ることを意味します。
- ソリューション「クラス」はモデルが予測を行うことができる出力フィールド値です。各クラスは、選択可能な精度、範囲、および分布測定基準のリストを含む出力フィールド値です。たとえば、インシデント分類ソリューションには、ソフトウェア、照会、データベースなどのカテゴリごとにクラスがあります。
- クラス「分布」は、この特定の出力フィールド値を持つテーブル全体のレコードの割合です。たとえば、照会クラスの分布が 50 の場合、インシデントの半分が照会カテゴリであることを意味します。

Predictive Intelligence のフレームワーク

予測インテリジェンス は、 Yokohama リリースで 3 つのフレームワークを提供します。各フレームワークには、データの結果を予測、推奨、および整理するようにシステムをトレーニングするためのさまざまなソリューションタイプがあります。トレーニングされたソリューションは、API を使用して任意のアプリケーションから呼び出し、予測を行うことができます。詳細については、 予測インテリジェンス フレームワークを参照してください。

予測インテリジェンス フレームワーク

予測インテリジェンス は、 Yokohama リリースで分類、類似性、クラスタリングの 3 つの異なるモデルフレームワークを提供します。各フレームワークは、さまざまなタイプの予測に特化しています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

予測インテリジェンス 分類フレームワーク

予測インテリジェンス分類フレームワークを使用すると、機械学習アルゴリズムを使用して、レコードの作成時にカテゴリフィールド値を設定できます。たとえば、モデルを使用して、簡単な説明に基づいてインシデントカテゴリを設定できます。予測モデルをトレーニングして、過去のレコード処理経験に基づいて作業を自動的に分類してルーティングするエージェントとして機能するようにできます。

予測インテリジェンス が大量の受信要求を低コストで処理できるようにします。要求の分類とアサインを自動化して以下を削減します。

- タスク解決時間
- タスクの解決に必要な操作の数
- 作業の分類およびアサインの誤り率

詳細については、「分類ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

予測インテリジェンス の類似性フレームワーク

予測インテリジェンス の類似性フレームワークは新規レコードに類似した値を持つ既存レコードを特定します。たとえば、インシデントレコードのサブセットをトレーニングし、類似のインシデントレコードの情報に基づいて解決策を推奨できます。解決策が実証済みの類似のクローズ済みインシデントから借用することで、エージェントと履行者が受信したインシデントに対して最適な解決策を迅速に提供できるようになります。

類似性フレームワークは、アルゴリズムが類似のコンテキストに基づいて類似の単語や同義語を識別するため、テキスト比較にキーワードの完全一致を必要としません。たとえば、「 プリンターが機能しない 」と「 プリンターが壊れている 」というフレーズは、どちらも類似していると認識されます。フレームワークは、業界固有のコンテキストの収集、学習、適用も行います。たとえば、「 ネットワークに参加できない 」というフレーズは、コンピューターネットワーク会社とヘルスケア保険会社では異なるコンテキストを持ちます。

類似性フレームワークは、ワークフロー類似性ソリューションを使用します。詳細については、「類似性ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

予測インテリジェンス のクラスタリングフレームワーク

クラスタリングでは、データをグループに分割し、それを使用してパターンを識別できるようにします。その後、レコードをまとめて処理したり、既存のデータのギャップを見つけたりすることができます。たとえば、類似の新しいインシデントをグループ化して、重大な機能停止を特定できます。

クラスタリングフレームワークは、ワークフロークラスタリングソリューションを使用します。詳細については、「クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする」を参照してください。

Washington DC リリースで廃止:予測インテリジェンス回帰フレームワーク

重要: 新しい回帰ソリューションの作成のサポートは、 Washington DC リリースで削除されました。既存のソリューションをトレーニングおよび編集することはできますが、新しいソリューションを作成することはできません。この情報は、従来のコンテキスト用に提供されています。

回帰は、履歴データを使用して気温や株価などの数値出力を予測する機械学習フレームワークです。

詳細については、「回帰ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測インテリジェンス のインストール

インスタンスで 予測インテリジェンス をアクティブ化し、基本構成を開始します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
予測インテリジェンス プラグイン (com.glide.platform_ml) はベースシステムに含まれていますが、必要に応じて次の手順でアクティブ化できます。

その他の関連プラグインとストアアプリケーションが利用可能です。たとえば、 予測インテリジェンス for フィールドサービス管理 (FSM) (com.snc.fsm_ml) は、 FSMに関連するソリューションを提供します。これらのプラグインの中には、別のライセンスが必要なものがあります。

インスタンスで初めて 予測インテリジェンス プラグインを有効にすると、ホームページが起動します。ホームページには、分類、類似性、クラスタリング、および回帰フレームワークでのソリューション定義の概要が表示されます。ホームページで直接ソリューションを作成、トレーニング、およびテストできます。最新のトレーニング済みソリューションの概要も利用できます。

手順

1. 次のように移動する。 システム定義 > プラグイン.
2. 検索バーを使用して、 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) プラグインを見つけます。
3. [インストール] を選択し、[プラグインのアクティブ化] ダイアログ ボックスで [アクティブ化] を選択します。
   プラグインをアクティブ化すると、依存プラグインが自動的にアクティブ化されます。
4. アクティベーションによって sharedservice.worker ユーザーが正常に作成されたことを確認します。
   ソリューションをトレーニングする場合、 予測インテリジェンス このユーザーとして動作します。

   注: sharedservice.worker ユーザーには、次のロールが含まれます。
   - platform_ml_read
   - platform_ml_write
   - platform_ml_create

   これらのロールは、ソリューションを作成、トレーニング、および表示するために必要です。これらは内部ロールであり、編集したり他のユーザーにアサインしたりするためのものではありません。

予測インテリジェンス の実装

予測インテリジェンス の初期セットアップと構成の手順を実装し、過去のレコードデータに基づいて予測を行う機械学習 (ML) アルゴリズムをトレーニングします。

始める前に
必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
トレーニングプロセスでは、最寄りのデータセンターのトレーニングサービスにレコードデータを送信する必要があります。すべてのデータセンターには専用のトレーニングサーバーがあり、データはデータセンターに留まるため、このサービスはデータ主権要件のある顧客も利用できます。プロセスの詳細については、「予測インテリジェンスの詳細」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

初期設定とセットアップに関するよくある質問については、「KB0781894 」を参照してください。

手順

1. 非本番インスタンスで 予測インテリジェンス をアクティブ化します。
2. 本番インスタンスから 予測インテリジェンス ソリューションで処理するレコードをエクスポートします。
   たとえば、12 か月分のインシデントレコードを非本番インスタンスにエクスポートします。
3. 非本番インスタンスで、エクスポートしたレコードをインポートします。
4. 非本番インスタンスで、デフォルトのソリューション定義レコードを確認して、フィルター、入力フィールド、および出力フィールドがインシデントまたはタスクレコードを十分に予測できるかどうかを判断します。
   必要に応じて、予測するレコードセットごとにソリューション定義を作成します。
5. 非本番インスタンスで、ソリューション定義レコードをトレーニングします。
6. テストレコードを作成するか、本番からさらにレコードをインポートして、非本番インスタンスでソリューション予測をテストします。
7. 分類ソリューションの場合は、予測レポートを確認して、ソリューションと個々のクラスの精度と範囲を決定します。
8. 類似性ソリューションについては、類似性の例を確認して、必要に応じて類似性スコアのしきい値を更新します。
9. 必要に応じて、ソリューション定義フィルターを更新して、より多く、さまざまなトレーニングレコードを含めます。
10. 更新されたソリューション定義レコードを再トレーニングして再テストします。
11. ソリューションに満足したら、本番インスタンスで 予測インテリジェンス をアクティブ化します。
12. カスタムソリューション定義レコードを再作成してソリューションをトレーニングするか、非本番インスタンスから本番インスタンスにソリューションをインポートします。

関連情報

分類ソリューションの作成とトレーニング

類似性ソリューションの作成とトレーニング

予測インテリジェンス の構成

ソリューション定義のトレーニング、テスト、監視を行う 予測インテリジェンス のソリューション定義を構成する

構成

次のリンクを使用して、ソリューション定義を設定します。

- の構成のヒント 予測インテリジェンス
- カスタムストップワードリストの作成
- ワードコーパスの作成
- 予測インテリジェンスのクイックスタートテスト
- ソリューションバージョンのアクティブ化

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- トレーニング済みソリューションの本番環境へのエクスポート
- ML ソリューションの詳細設定

の構成のヒント 予測インテリジェンス

ソリューショントレーニングとソリューション予測中に問題が発生した場合は、次の提案された解決策に従ってください。

入力データ

モデルをトレーニングするために少なくとも 30,000 件のレコードを用意することをお勧めしますが、モデルの精度は入力データによって決まります。

ソリューションのトレーニングに使用される入力データの品質を決定する主な要因は 3 つあります。

- 清潔さ:サニタイズされたデータはノイズを低減し、モデルをより正確にします。
- 品質:入力と出力は、正確な予測を行うようにモデルをトレーニングするために有効かつ正確である必要があります。
- 分布: データセット全体を表すデータは、より一般化された予測を行うことができるモデルになります。

ほとんどの生データセットには、ダーティで使用できないデータが含まれています。トレーニングの前に入力セットを確認することは、正確な予測モデルを維持するために不可欠です。

入力データの約 80% をモデルのトレーニングに使用し、データの約 20% をモデルが正確かどうかを評価することをお勧めします。モデルの予測結果を、残りのデータの 20% の実際の値と比較できます。

ソリューショントレーニング

問題	解決策または提案されたアクション
スケジューラージョブが誤った Glide コールバックインスタンス URL を使用しているため、ソリューショントレーニングが [トレーニング待ち] ステータスのままになる時間が長すぎます。	Glide インスタンスの *glide.servlet.uri* プロパティが正しいインスタンス URL に設定されていることを確認します。この問題は、次の場合に発生する可能性があります。 • インスタンスは本番環境からクローンされますが、引き続き *glide.servlet.uri* プロパティの本番 URL を参照します。 • Glide インスタンスがプロビジョニングされ、初めてトレーニングが実行されます。
新しいカテゴリが追加されましたが、まだトレーニングには影響していません。	ソリューションが再トレーニングされるまで新しいカテゴリにはまだ十分なデータがない可能性があるため、これは正常な動作です。
ソリューショントレーニングは失敗します。	トレーニングに失敗した場合は、ソリューション画面の [トレーニング進捗状況を表示] 関連リンクをクリックして、潜在的な問題がどこにあるかを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題	解決策または提案されたアクション
ユーザー認証が原因でソリューショントレーニングが失敗します。	[システムセキュリティ> [ユーザー] に移動し、sharedservice.worker ユーザーが [アクティブ] に設定されていることを確認します。
モデルを作成できないというモデルトレーニングが返されます。トレーニングは失敗し、「トレーニングソリューション中にエラーが発生しました (Error while training solution)」というメッセージが表示されます。トレーニングの進捗状況ウィンドウに、「使用されたデータが十分でないか、入力フィールドが出力フィールドを予測できないため、ソリューショントレーニングに失敗しました」というメッセージが表示されます。	この問題は、データ量またはフィールド値の分布がモデルを正常にビルドするのに十分でない場合に発生する可能性があります。トラブルシューティングを行うには、次の手順に従います。 1. 出力フィールドの分布が偏っていないことを確認します。 2. 大量のデータを使用するように日付フィルターを変更して、モデルを再トレーニングします。 3. 入力フィールドが完全に入力されていない場合は、null レコードを削除するフィルターを追加します。
ソリューションには複数の言語のデータがありますが、カバレッジと精度の結果は劣っています。	メトリクスを改善するには、次のオプションを使用します。 オプション 1:ソリューションの処理言語を最も目立つ英語以外の言語に更新します。 注: デフォルトでは、すべてのデータセットに英語が適用されます。 オプション 2: 各言語または地域に十分なデータがある場合: 1. プライマリ言語を特定できる特定の言語/地域 (オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、またはスペイン語) のフィルター基準を追加します。 2. 言語/地域ごとにソリューションを生成し、適切な処理言語を各ソリューションに適用します。

ソリューション予測

問題	解決策または提案されたアクション
予測は失敗し、原因が不明な Java 例外が返されます。	1. 予測インテリジェンス Glide ログで例外を検索します。 2. 例外、影響を受けるインスタンス、ソリューション名、入力文字列など、関連するすべての詳細を含む 予測インテリジェンス のインシデントレコードを送信します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

問題	解決策または提案されたアクション
インシデント/ケースレコードに適用される予測はありませんが、Rest API エクスプローラーでテストすると予測は値を返します。	これは、予測の信頼性が予測を行うために必要なしきい値を下回る場合に発生する可能性があります。ソリューションがトレーニングされたら、次の手順を使用して、ソリューション設定を調整する必要があるかどうかを確認します。 1. **REST API** エクスプローラー> [システム **Web** サービス] >に移動して、予測の信頼性レベルを確認します。「分類のソリューション予測のテスト」を参照してください。 2. ML ソリューション定義レコードで、クラスの名前をクリックして、予測で返された結果クラスのしきい値セットを確認します。[クラス] ページが表示されます。 3. [推定精度] と [推定カバー範囲] の値を確認します。対応するしきい値が結果の予測の信頼性よりも高い場合、これが予測が表示されない根本原因です。 4. クラスの精度と範囲の値を調整して、範囲または精度を上げます。「トレーニング済み分類ソリューションの調整」を参照してください。

インスタンスのクローン

問題	解決策または提案されたアクション
インスタンスがクローンされた後は、既存のソリューションの予測は失敗します。	[ml_artifacts] テーブルの ML ソリューションアーティファクトは、[sys_attachment テーブル] に保存されます。実行時に [ml_artifacts] テーブルがクローンに含まれていない場合、予測は失敗します。機械学習アーティファクトは予測インテリジェンス ソリューションの重要なコンポーネントであるため、クローンに含めてください。
インスタンスがクローンされると、ソリューショントレーニングは失敗します。	クローン作成の実行が進むにつれて、sharedservice.worker ユーザーが非アクティブ化されているか、ロックアウトされているか、ユーザー ID が設定されていない可能性があります。ソリューショントレーニングが成功するように、これらの問題を解決します。

カスタムストップワードリストの作成

トレーニングと予測中にシステムが無視する一般的な単語を除外します。

始める前に

必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

ストップワードリストを使用すると、検索やデータの全体的な自然言語処理を妨げる可能性のある無関係な単語を除外できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

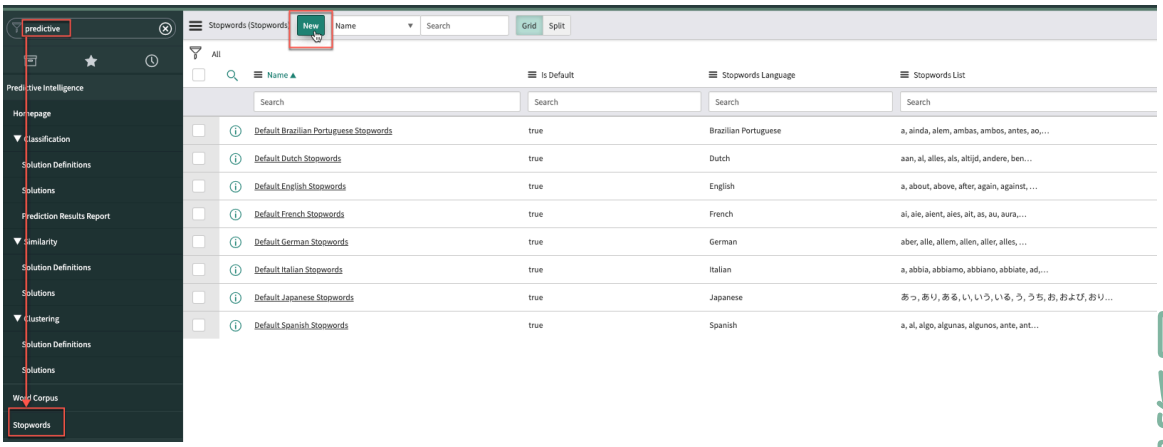
予測インテリジェンス は、システムがサポートする各言語のデフォルトのストップワードリストを提供します。ストップワードの例としては、 in、 the、人名、会社名などの単語があります。組織や業界に固有の単語で構成される独自のストップワードリストを定義することもできます。

指定したカスタムリストは、システムがデフォルトで既に使用しているリストと並行して機能します。たとえば、インシデントレコードが分類ソリューションで使用され、それらのレコードで会社名が使用されている場合は、ビルドしているソリューションに関連する情報を提供する可能性が低いため、その名前をリストに追加することを検討してください。

この例のシナリオでは、ブラジルポルトガル語のカスタムストップワードリストを作成します。

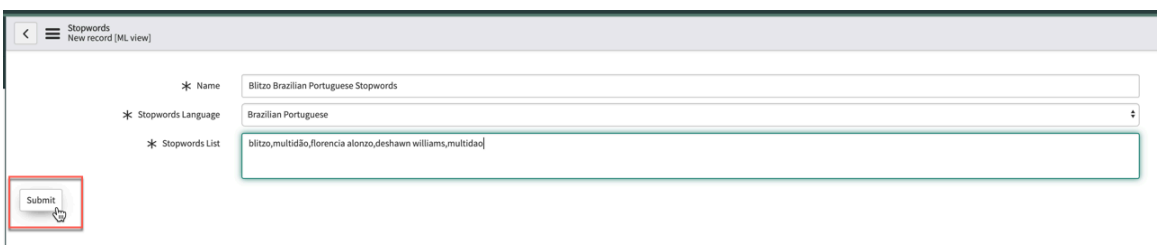
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > ストップワード.
2. [ストップワード] リストで、[新規] をクリックします。



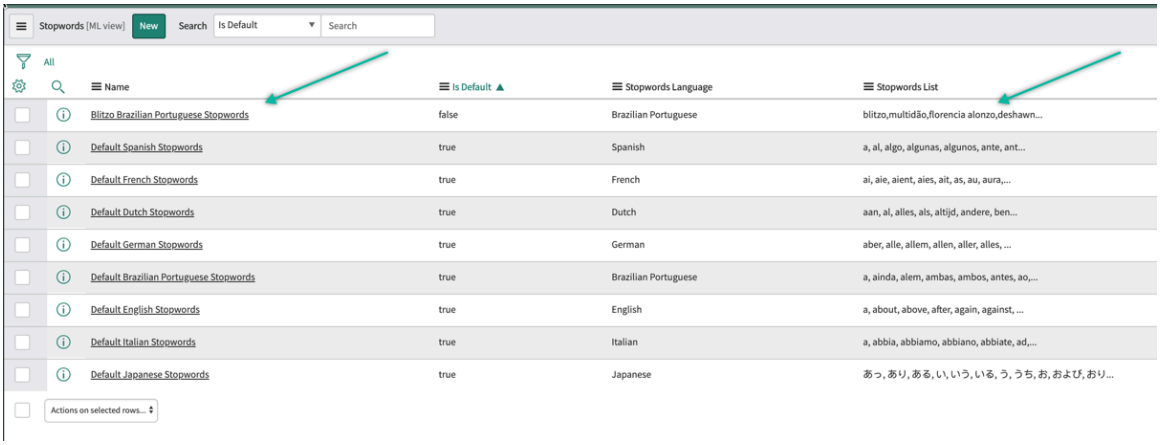
3. ストップワードフォームで、次のフィールドを設定します。

フィールド	値
[Name (名前)]	会社の名前や処理言語など、リストの一意の名前を入力します。例: `Blitzo Brazilian Portuguese Stopwords`。
ストップワードの言語	ブラジルポルトガル語を選択
ストップワードのリスト	ストップワードをカンマ区切り形式を使用して手動で入力します。ストップワードのその他の例については、この手順のステップ 2 の画像を参照してください。

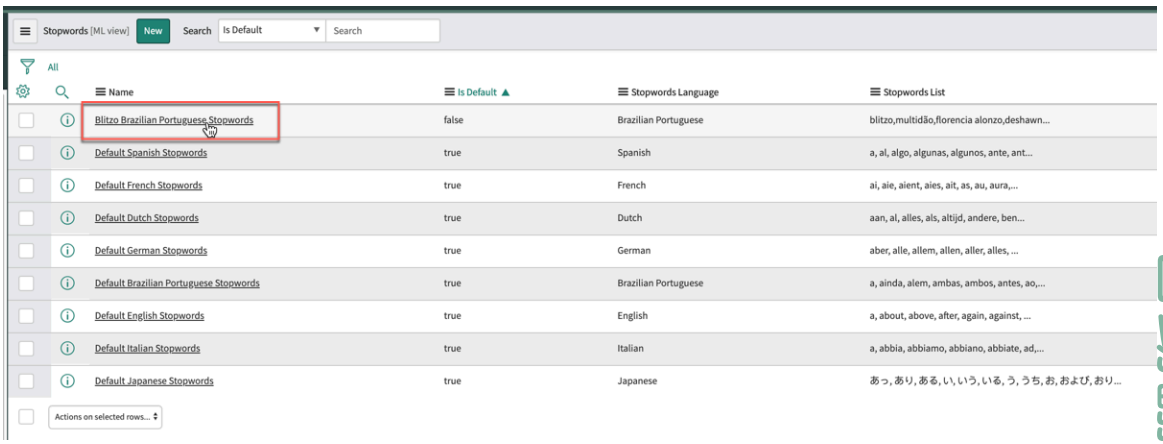


4. [**Submit** (送信)] を選択します。
   カスタムストップワードリストがストップワードリストビューに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. オプション: ストップワードリストを更新する必要がある場合は、ストップワードリストの名前をクリックし、リストから単語を追加または削除して、[更新]をクリックします。



次のタスク
カスタムまたはデフォルトのストップワードリストを分類、類似性、クラスタリング、または 回帰ソリューション定義に割り当てます。

ワードコーパスの作成

テキストの類似性に基づいてインスタンスレコードを比較するために使用する語彙として機能する単語とフレーズのコレクションをビルドします。ワードコーパスは、機械学習システムに理解させたい辞書と考えることができます。

始める前に
必要なロール：admin または ml_admin

重要: Yokohamaリリースでは、分類、クラスタリング、および類似性フレームワークのモデルでワークフローソリューションが使用されます。これらは事前にトレーニングされているため、新しいソリューションにワードコーパスは必要ありません。

アップグレード後、ワードコーパスを含む既存のソリューションは、次回の再トレーニング時にワークフローソリューションになります。また、[ワードコーパス] フィールドがフォームから削除されます。

従来のコンテキスト用に次の情報が提供されています。

このタスクについて
ワードコーパスの主な目的は、 NLU モデルをトレーニングするためのテキストデータを推測することです。ソリューションでワードコーパスを使用する場合は、ソリューションのソリューション定義

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フェーズでのトレーニング用に指定する必要があります。トレーニング済みのワードコーパスは、ソリューションと機能全体で再利用できます。

ワードコーパスを使用すると、テーブル内または複数のテーブル間で類似するレコードテキストを比較できます。ワードコーパスは、データ分析、再利用、またはレビューのために類似のレコードをグループ化するクラスタリングなどの他のシナリオでも役立ちます。コーパスに追加するアイテムは、他の類似性ソリューションやクラスタリングソリューションで再利用したり、さまざまなユースケースに適用したりできるように、会社や業界に固有のものにする必要があります。

この手順例では、インシデントレコードを操作しており、それらのインシデントケースの解決策を提供できる関連するナレッジベース (KB) 記事を探す必要があります。ここでの目標は、アクティブなインシデントを公開済みの KB 記事と比較する新しい類似性ソリューションに適用できるワードコーパスを作成することです。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > ワードコーパス.
2. [ワードコーパス] フォームで、[新規] をクリックします。
3. 次のガイダンスに従って、これらのフィールドを設定します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	コーパスの内容を参照する一意のタイトル。たとえば、このユースケースでは、「`アクティブなインシデント`」や「`公開された KB`」などの名前を入力できます。名前は、ソリューションの作成に役立つコーパスがマイニングするテーブルを示すためです。
[Active (アクティブ)]	一度に複数のワードコーパスを作成し、それらの詳細コンポーネントを後で構成する場合は、このチェックボックスをオンにします。それ以外の場合は、後のステップで選択できるため空白のままにします。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。
5. [ワードコーパス] リストビューで、新しいワードコーパスを見つけ、その 名前 の値をクリックしてレコードを開きます。
6. [ワードコーパスコンテンツ] セクションで、[新規作成] をクリックします。
7. [ワードコーパスコンテンツ] フォームで、次のガイダンスに従ってこれらのフィールドを設定し、ワードコーパスのコンテンツコンポーネントを定義します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	コーパスに追加するデータを参照するタイトル (`「過去 6 か月間にクローズされたインシデント」` など) を入力します。
テーブル	ワードコーパスに含めるデータを含むテーブルを選択します。このユースケースでは、 インシデント **[incident]** を選択します。 **注:** 類似性ソリューションおよびクラスターリングソリューションで使用されるワードコーパス作成のテーブルあたりのレコード数は 30 万件に制限されています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

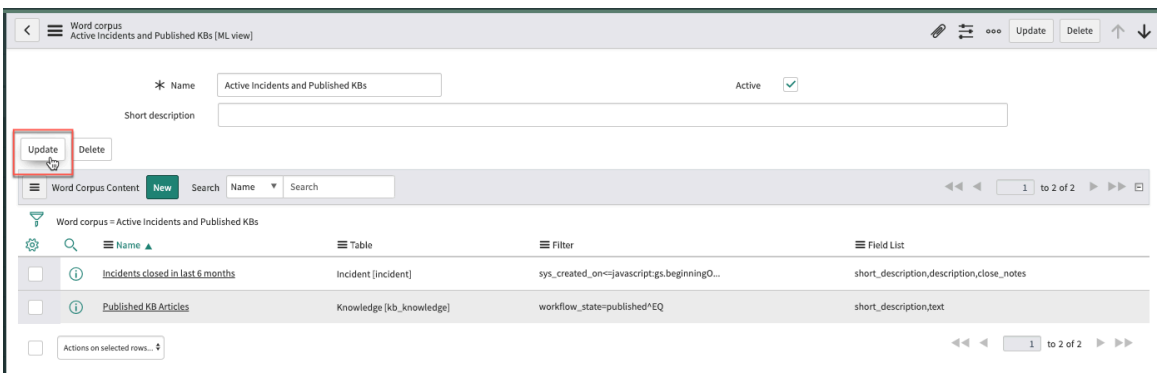
フィールド	説明
フィルター	フィルター条件値として 、[クローズ済み]、[空でない]、および [過去 **6** か月間に作成] を選択します。
フィールドリスト	このユースケースでは、[簡単な説明]、[説明]、および [解決メモ] を選択します。
ドメイン	コーパスのユーザーグループが自動的に表示されます。たとえば、このユースケースでは、グローバルユーザーグループが表示されています。他のユーザーグループも選択できます。

8. [**Submit** (送信)] を選択します。
9. ワードコーパスの詳細 セクションで、 新規 を選択します。
10. 次のガイダンスに従ってこれらのフィールドを設定し、ワードコーパスの 2 番目のコンテンツコンポーネントを定義します。

フィールド	説明
[Name (名前)]	公開された KB 記事など、最初のコンテンツコンポーネントと比較するデータを参照するタイトルを入力します。
テーブル	最初のコンテンツコンポーネントと比較するデータを含むテーブルを選択します。このユースケースでは、 ナレッジ **[kb_knowledge]** を選択します。 **注:** 類似性ソリューションおよびクラスタリングソリューションで使用されるワードコーパス作成のテーブルあたりのレコード数は、テーブルあたり 300,000 レコードに制限されています。
フィルター	フィルター条件値として 、[ワークフロー] [次の値に等しい] [公開済み] を選択します。
フィールドリスト	[簡単な説明] と [記事本文] を選択します。

11. [**Submit** (送信)] を選択します。

    2 つのワードコーパスコンテンツコンポーネントがワードコーパスフォームに表示されます。

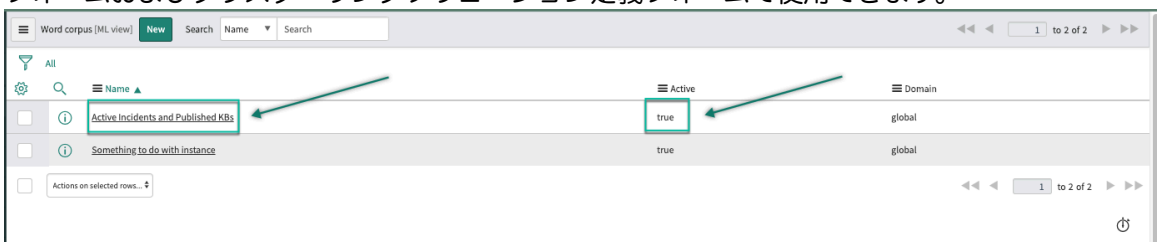


12. [**Update** (更新)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクの結果
作成した完成したワードコーパスがワードコーパスフォームに表示され、類似性ソリューション定義フォームおよびクラスターリングソリューション定義フォームで使用できます。



次のタスク
適切なフレームワークでソリューションを作成します。詳細については、このページの [関連コンテンツ] パネルのリンクを参照してください。

関連情報

- 分類ソリューションの作成とトレーニング
- 類似性ソリューションの作成とトレーニング
- クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする

予測インテリジェンスのクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、予測インテリジェンス が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

予測インテリジェンスクイックスタートテストでは、予測インテリジェンス [com.glide.platform_ml] プラグインを有効にする必要があります。既存の機械学習ソリューションで重要なアップグレードテストを実行するには、基本認証設定テーブル (sys_auth_profile_basic.list) で ml_atf という名前の基本認証プロファイルを作成する必要があります。テストを正常に実行するには、 ml_atf 認証プロファイルに添付されたユーザーに ml_admin ロールを割り当てる必要があります。

予測インテリジェンス：分類と類似ソリューションの予測テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
PI ： ML モデルのアーティファクトの存在を Glide に保持	ML の予測呼び出しを正常に完了させるため、モデルトレーニング/インスタンスのクローン後に、トレーニング済み ML モデルアーティファクトがすべて Glide (sys_attachments テーブル) に保存されていることを確認します。	New York
PI ： Glide 内の ML ユーザー (sharedservice. worker) のセットアップが有効	モデルトレーニングを成功させるため、Glide 内の ML ユーザー (sharedservice.worker) がアクティブであり、ログアウトしていないことを検証します。	New York
PI ：分類ソリューションのための Glide アップグレードテスト	Glide アップグレード後に、既存のアクティブなモデルでの分類モデル予測が、クラスメンバーシップと信頼値に関して同	New York

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

予測インテリジェンス：分類と類似ソリューションの予測テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	じ結果を生成していることを検証します。	
PI ：類似ソリューションのための Glide アップグレードテスト	Glide アップグレード後に、アクティブなモデルで類似性モデル予測 API が正しく呼び出されることを検証します。	New York

関連情報

クイックスタートテスト

ソリューションバージョンのアクティブ化

ソリューションのトレーニングが完了すると、ソリューションの最新バージョンがアクティブ化され、一度にアクティブ化できるソリューションバージョンは 1 つだけです。ただし、 予測インテリジェンス 予測に使用する、以前にトレーニングされたソリューションバージョンをアクティブ化することはできます。

始める前に

- ソリューションを手動で複数回トレーニングするか、トレーニングスケジュールを設定します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

ソリューション定義をトレーニングするたびに、ソリューションのバージョンが作成されます。通常、ソリューション定義フィルターを変更してテストする場合にのみ、新しいソリューションバージョンを手動で作成します。そうでない場合、ほとんどのソリューションバージョンは、スケジュール設定済みソリューショントレーニング中に作成されます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション または 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション 又は 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション または 予測インテリジェンス > 回帰 > ソリューション .
2. [ML ソリューション] リストビューで、アクティブ化するトレーニング済みソリューションの [参照ルックアップ] アイコンをクリックします。
3. [レコードを開く] をクリックします。
4. ソリューションレコードで、[有効化] をクリックします。
   このソリューションバージョンが有効になり、他のソリューションバージョンが無効になります。

次のタスク

分類ソリューションについては、 トレーニング済みのソリューションの精度と範囲の統計情報を確認します。類似性ソリューションについては、 類似性の例を確認してください。

トレーニング済みソリューションの本番環境へのエクスポート

非本番インスタンスで ML ソリューションを繰り返し調整してテストし、更新セットを使用して変更を本番インスタンスにエクスポートします。この方法により、本番インスタンスでソリューションを再トレーニングするリスクが軽減されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
テストインスタンスでテストする前に、本番インスタンスから最近クローン作成されたデータがインスタンスでホストされていることを確認し、テストインスタンスでトレーニングしたソリューションを本番環境にエクスポートしたときに有効なままになるようにします。

必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
変更は慎重に計画してください。更新セットはバージョン番号ではなくシステム ID [sys-id] に基づいてレコードと一致することに注意してください。ソリューションをインスタンスに移動すると、予測できない結果が生じる場合があることに注意してください。このような問題が発生した場合は、ソリューションを再度再トレーニングします。ソリューションごとに 5 分かかります。更新セットの詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション定義 または 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. トレーニング済み ML ソリューション定義レコードの名前をクリックして開きます。
3. [関連リンク] セクションで、[現在の更新セットにソリューションを追加する] をクリックします。
4. **[Update** (更新)] をクリックします。

タスクの結果
ソリューション定義、テンプレートレコード、予測モデル統計情報などのトレーニング済み ML ソリューションアーティファクトが、現在の更新セットに追加されます。

次のタスク
ソリューションテストのどの段階にいるかに応じて、更新セットを別の非本番インスタンスにエクスポートしてさらにテストするか、または本番環境にエクスポートするようにスケジュールします。

注: 類似性ソリューションをエクスポートした後、対応する ML ソリューション定義フォームの [関連リンク] セクションで [類似ウィンドウの更新] (ソリューションのインポート後に必要) をクリックします。

ML ソリューションの詳細設定

予測インテリジェンス機械学習 (ML) ソリューションの詳細設定について説明します。分類、類似性、およびクラスタリング機能にオプションのテクノロジーとアルゴリズムを適用します。

ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからユースケースが恩恵を受けていることを確認してください。これらのパラメーターのいくつかの詳細については、ServiceNow コミュニティ の「クラスタリングの詳細パラメーターで詳しく調べる」の記事を参照してください。

分類、類似性、およびクラスタリングの詳細設定

admin または ml_admin ロールを使用して、ML ソリューション定義フォームの [Advanced Solution Settings] タブでパラメーターを構成することで、これらのテクノロジーを適用します。これらの設定は、特定のユースケースを対象とした機能を提供します。

既存の設定を更新または削除するには、ソリューション定義フォームで、ソリューションの詳細設定タブを選択し、ソリューション パラメーターの名前を選択します。1 つ以上を有効にするには、次の手順を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 分類ソリューションのクラスリコールの構成
- ソリューションの TF-IDF の構成
- クラスタリングソリューションの DBSCAN の構成
- クラスタリングソリューションの HDBSCAN の構成
- 分類または回帰ソリューションの XGBoost の構成
- クラスタリングソリューションの Connect Component アルゴリズムとレーベンシュタイン距離法の構成
- クラスタリングソリューションに純度を適用する
- データソースを使用したクラスターの分析

分類ソリューションのクラスリコールの構成

データをトレーニングする前に、クラス再現率パラメーターを作成して ML ソリューションに適用します。たとえば、メールクラスでトレーニングするすべてのレコードについて、このソリューションパラメーターを 90% の精度に設定し、適用します。

始める前に

注: ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからメリットを得るユースケースがあることを確認してください。

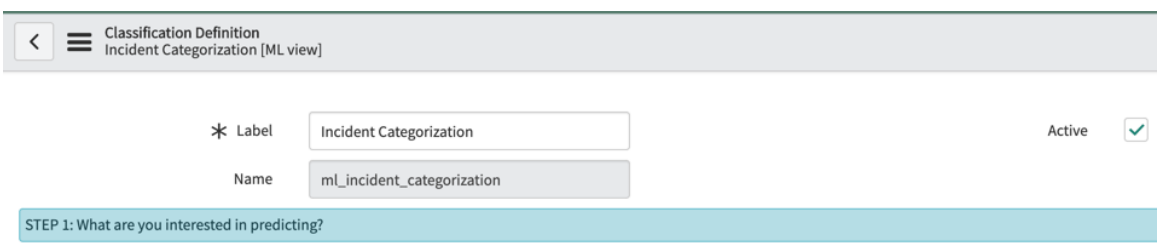
- 分類ソリューション定義を作成して保存するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

クラスリコールソリューションパラメーターを使用すると、ソリューションのトレーニングを特定のクラスにバイアスをかけるように誘導できます。たとえば、受信メールをフィッシングとして分類するかどうかは、セキュリティ関連の機械学習ソリューションにおける重要なユースケースになる可能性があります。このような状況では、すべてのフィッシングを識別することが非常に重要であり、非フィッシングをフィッシングとして報告しても問題ない場合もあります。ただし、実際のフィッシングは非フィッシングとして分類されるべきではありません。このような状況では、リコールメトリクスの値を高くする必要があります。これにより、精度と範囲の割合が低くなる可能性があります。

手順

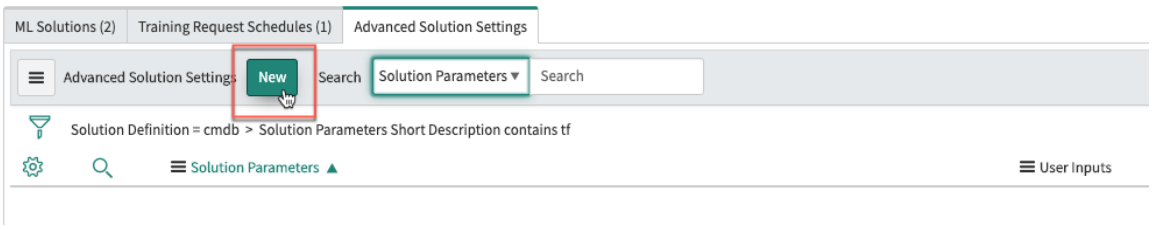
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション定義.
2. 保存された分類ソリューション定義フォームを開きます。
   この例のシナリオでは、まだトレーニングしていないインシデント分類ソリューション定義フォームを使用します。



3. [ソリューションの詳細設定] タブのフォームの [関連リンク] セクションで、[新規] をクリックします。

自動翻訳

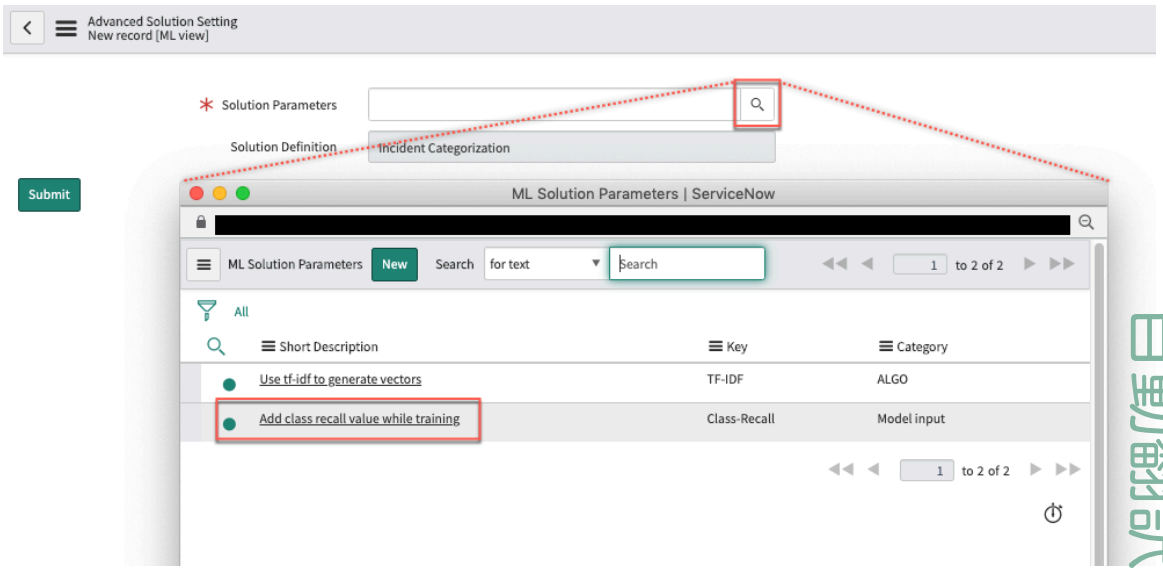
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



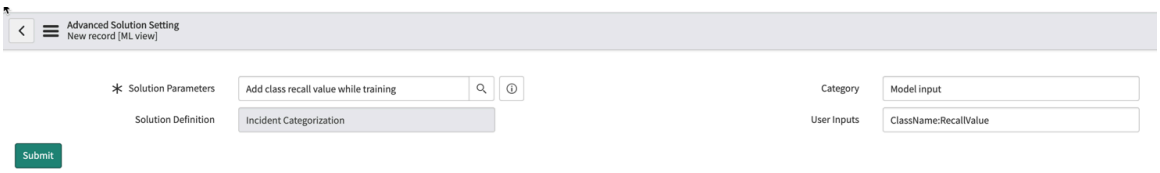
4. パラメーターレコードを作成します。

a. [ソリューションパラメーター] フィールドで、検索アイコンをクリックします。

b. [ML ソリューションパラメーター] 画面で、[トレーニング中にクラス取り消し値を追加] を選択します。



5. [**Submit** (送信)] を選択します。
[詳細ソリューション設定] レコードが表示されます。



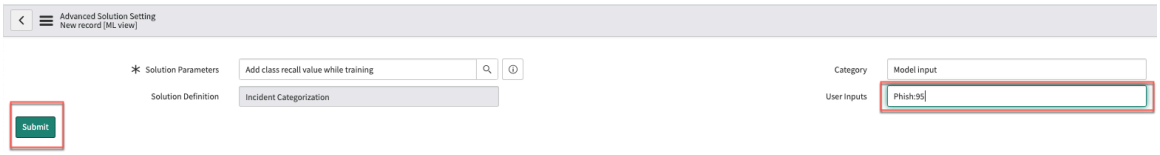
6. [ユーザー入力] フィールドを設定します。

a. 取り消し値を追跡するクラス名を入力します。
このシナリオでは、**ClassName** に「Phish」と入力します。

b. 取り消しの値を入力します。
RecallValue に `90` を入力します。

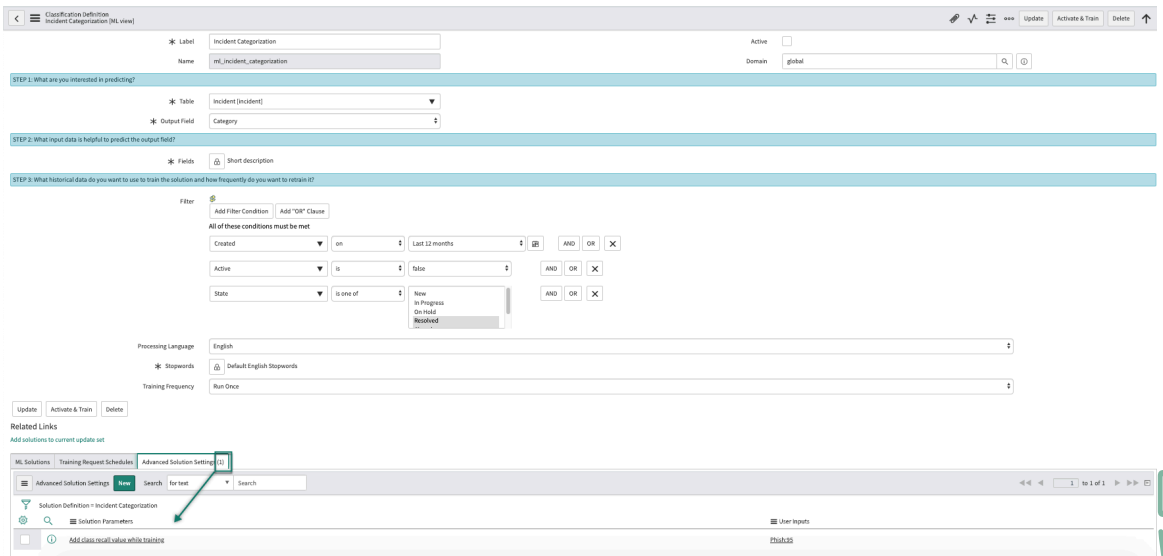
ここでは、ターゲットクラスとして Phish を指定しています。 95 は、ソリューショントレーニング中にシステムに提供するように要求しているリコール率です。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. [**Submit** (送信)] を選択します。

   結果： クラスの取り消しは分類ソリューション用に構成されます。そのソリューション パラメーターは、分類ソリューション定義フォームの [ソリューションの詳細設定] タブに表示されます。



次のタスク
保存した分類ソリューションをトレーニングします。

関連情報

- 分類ソリューションの作成とトレーニング
- トレーニング済み分類ソリューションのターゲットメトリクスの設定
- ソリューションの TF-IDF の構成

ソリューションの **TF-IDF** の構成

用語頻度 - 逆ドキュメント頻度 (TF-IDF) エンコードを、 予測インテリジェンスの分類、クラスタリング、または類似性ソリューションに適用します。

始める前に

注: ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからメリットを得るユースケースがあることを確認してください。詳細については、「https://www.servicenow.com/community/intelligence-ml-articles/dive-deeper-with-clustering-advanced-parameters/ta-p/2695847 」を参照してください。

- 分類、クラスタリング、または類似性ソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

自動翻訳

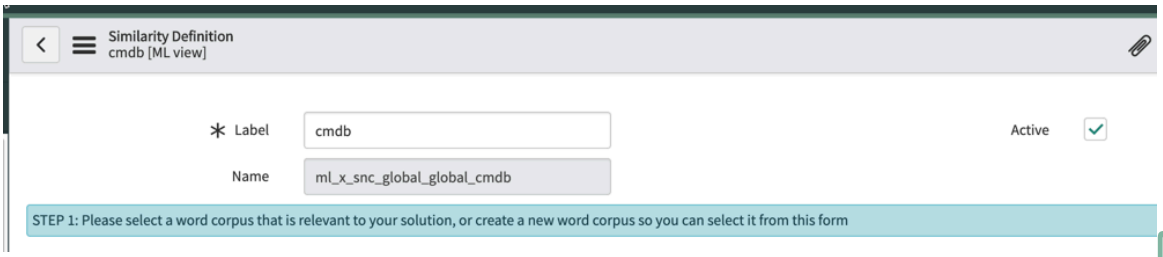
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
予測インテリジェンス 分類フレームワークと類似性フレームワークでデフォルトで段落ベクトル単語埋め込みを使用します。これは、主に人間が判読できるコンテンツで構成されるデータの処理に非常に効果的です。ただし、TF-IDF は、ログファイルのアラートやエラーメッセージなど、マシンで生成されたコンテンツを含むレコードに対して、より良い予測結果を返す場合があります。ソリューションが処理するデータの種類に適した詳細設定を選択します。

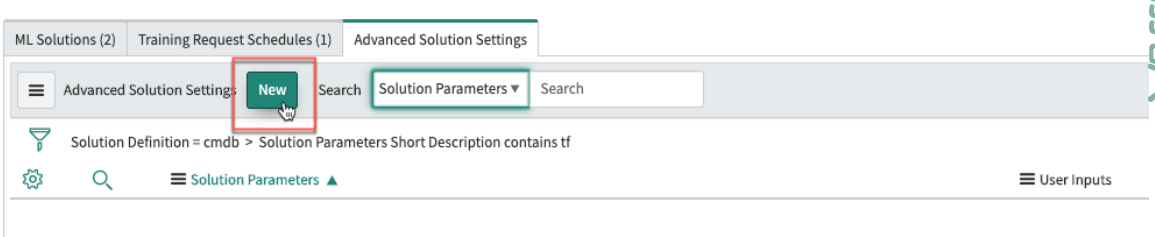
注: TF-IDF を構成する手順はすべてのモデル フレームワークで同じですが、クラスタリング ソリューション定義に対する TF-IDF のサポートは、Professional サブスクリプションがある場合にのみ適用されます。

手順

1. ソリューション定義 (など) に移動します。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. ソリューション定義フォームを開きます。
   この例のシナリオでは、 CMDB 類似性定義フォームを使用します。



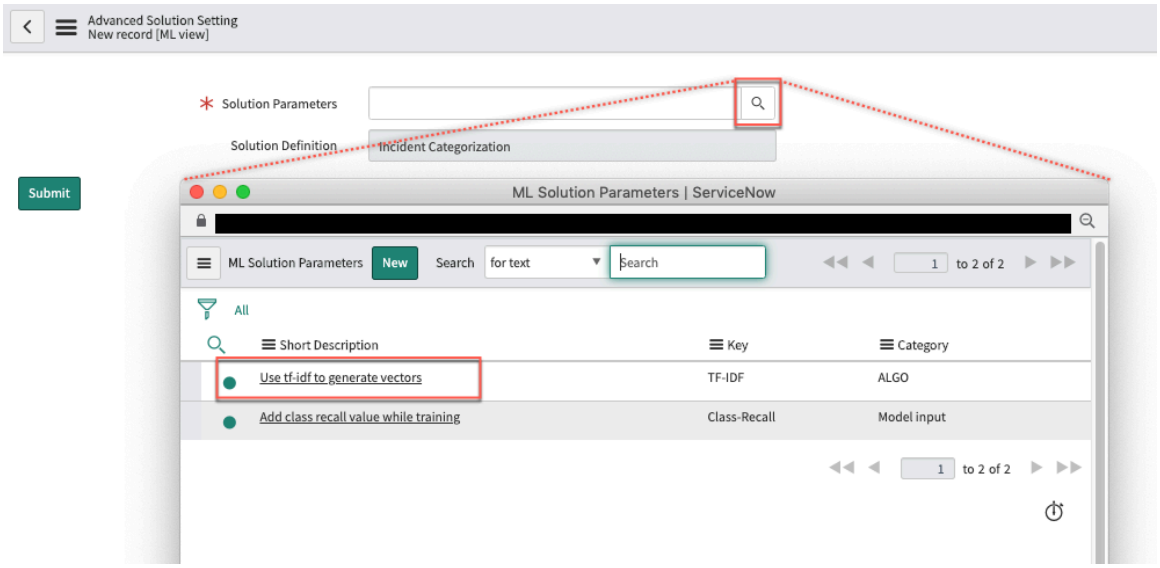
3. [ソリューションの詳細設定] タブのフォームの [関連リンク] セクションで、[新規] をクリックします。



4. パラメーターレコードを作成します。
   a. [ソリューションパラメーター] フィールドで、検索アイコンをクリックします。
   b. [ML Solution Parameters] 画面で、[**Use tf-idf to generate vectors**] を選択します。

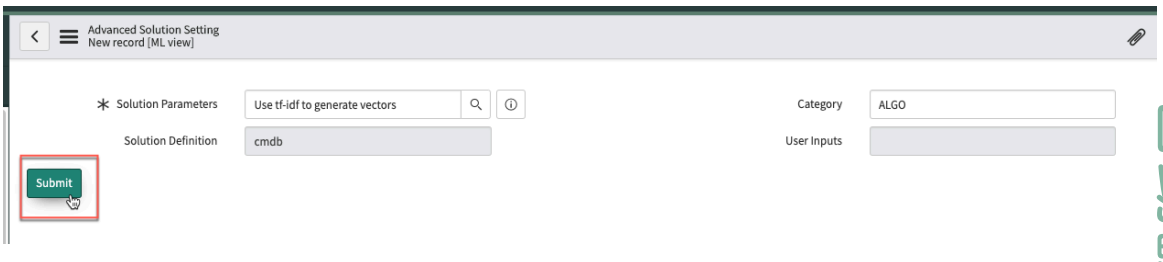
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [**Submit** (送信)] を選択します。

   [Advanced Solution Setting] レコード画面が更新されます。

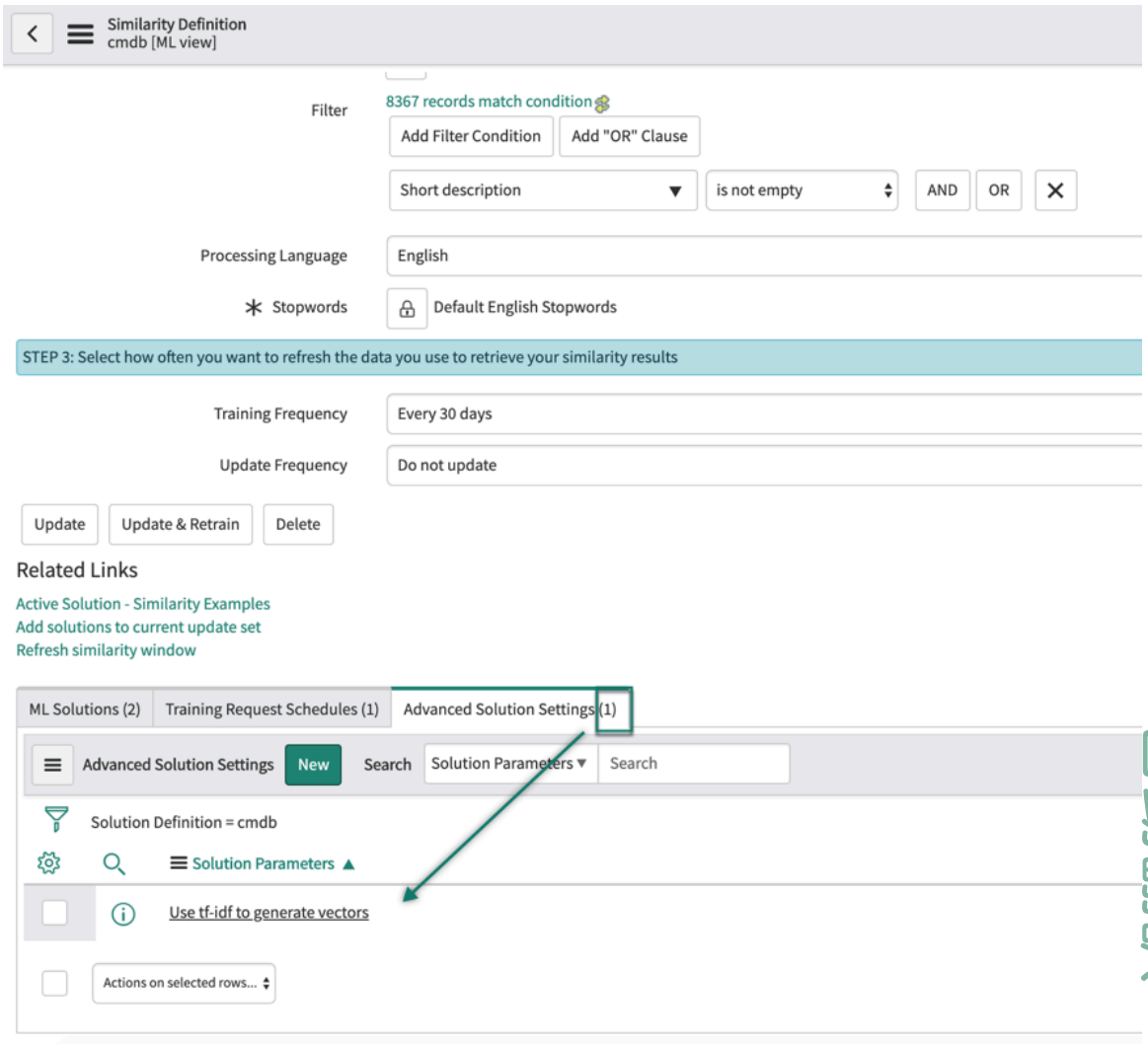


6. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果： TF-IDF は類似性ソリューション用に構成されます。そのソリューション パラメーターは、類似性定義フォームの [高度なソリューション設定] タブに表示されます。



関連情報

- 分類ソリューションの作成とトレーニング
- 類似性ソリューションの作成とトレーニング
- 回帰ソリューションの作成とトレーニング
- クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする

分類または回帰ソリューションの **XGBoost** の構成

XGBoost エンコーディングを適用して、分類または回帰ソリューションのトレーニングを最適化します。

始める前に

注: ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからメリットを得るユースケースがあることを確認してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

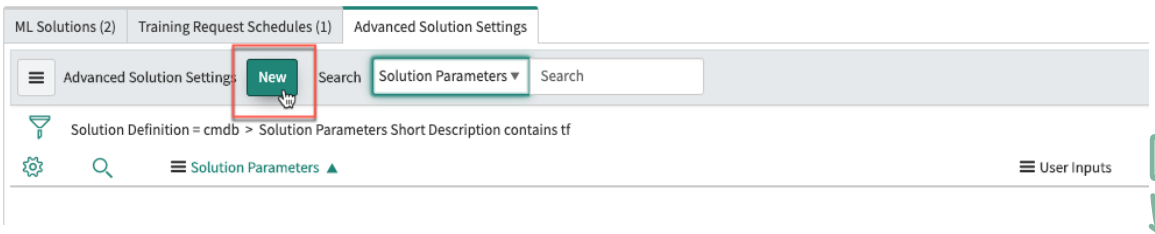
- 分類ソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 回帰ソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
XGBoost は、複数のディシジョンツリーを使用し、パラグラフベクターベースのテキストと TF-IDF 距離ベースのテキストの両方をサポートするオプションのグラデーションブースティングフレームワークです。LogR は、デフォルトの距離ベースのモデルアルゴリズムです。

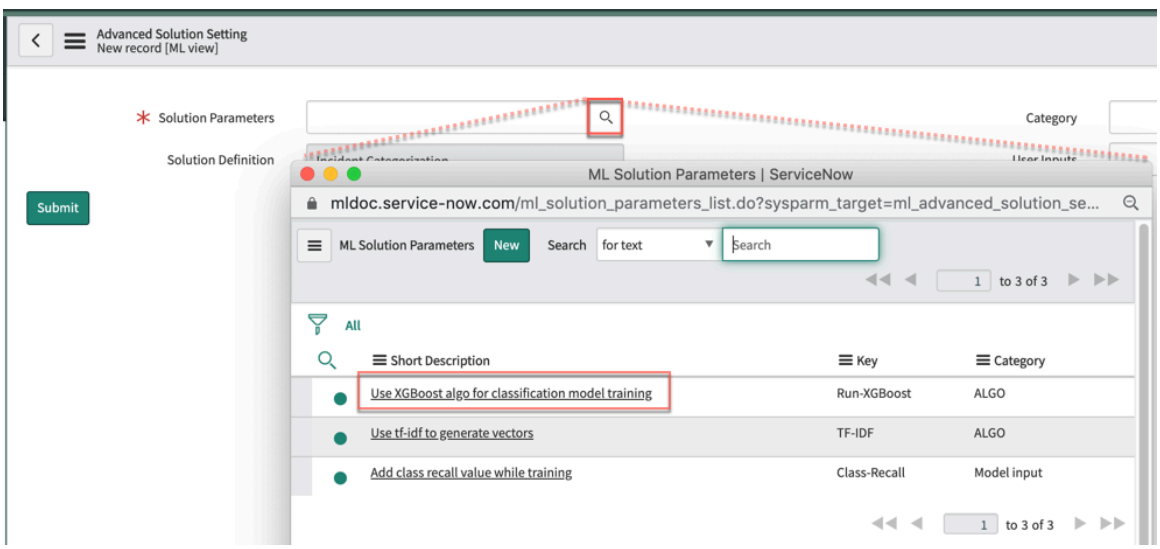
この例のシナリオでは、XGBoost を分類ソリューションと回帰ソリューションの両方に適用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション定義.
2. 分類ソリューション定義フォームを開きます。
3. [ソリューションの詳細設定] タブのフォームの [関連リンク] セクションで、[新規] をクリックします。



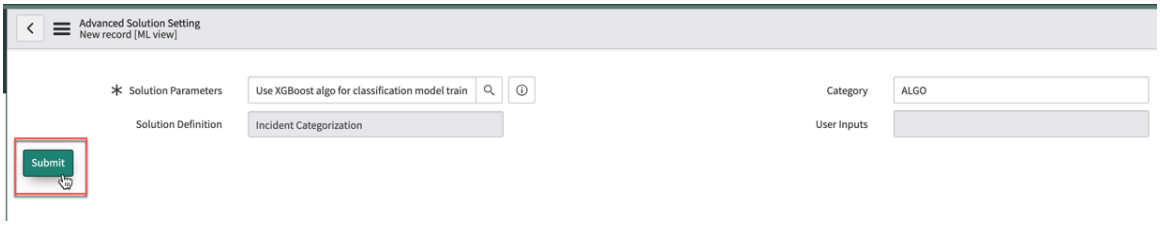
4. パラメーターレコードを作成します。
   a. [ソリューションパラメーター] フィールドで、検索アイコンをクリックします。
   b. [ML Solution Parameters] 画面にて、[**Use XGBoost algo for classification model training**] を選択します。



5. [**Submit** (送信)] を選択します。
   [Advanced Solution Setting] レコード画面が更新されます。

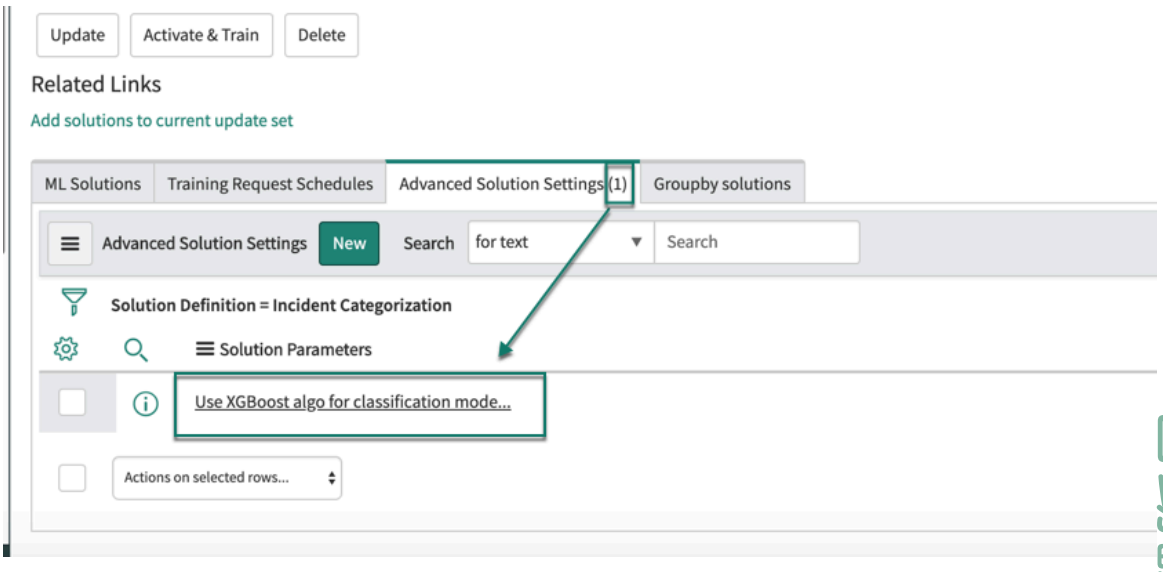
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



6. [**Submit** (送信)] を選択します。

   結果： XGBoost が分類ソリューション用に構成されます。そのソリューション パラメーターは、分類定義フォームの [高度なソリューション設定] タブに表示されます。



> **注:** 回帰ソリューションで XGBoost を設定する場合は、次の手順に従います。

7. 次のように移動する。 予測インテリジェンス > 回帰 > ソリューション定義.
8. この 2 番目のシナリオでは、回帰ソリューション定義フォームを開きます。
9. 前の分類ソリューションの例の手順 1 ～ 5 を繰り返しますが、今回は回帰ソリューションを使用します。
10. [**Submit** (送信)] を選択します。

    結果：

    XGBoost が回帰ソリューション用に構成されます。そのソリューション パラメーターは、回帰ソリューション定義フォームの [高度なソリューション設定] タブに表示されます。

関連情報

分類ソリューションの作成とトレーニング

回帰ソリューションの作成とトレーニング

クラスタリングソリューションの **DBSCAN** の構成

クラスタリング ソリューションに DBSCAN (Density Based Spatial Clustering of Applications with Noise) アルゴリズムを適用することを検討してください。DBSCAN は、デフォルトのクラスタリングアルゴリズムである k 平均法の代替として使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

注: ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからユースケースが恩恵を受けていることを確認してください。詳細については、ServiceNow コミュニティ の「クラスタリングの詳細パラメーターで詳しく調べる」の記事を参照してください。

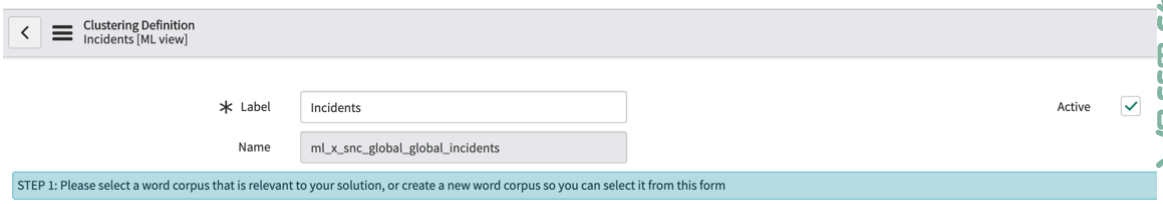
- クラスタリングソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
予測インテリジェンスは、クラスタリングフレームワークでデフォルトで K-Means アルゴリズムを使用します。DBSCAN は、データ マイニングや機械学習でも使用される別のクラスタリング アルゴリズムです。クラスタリングの前にデータ内のクラスター数を指定する必要がないため、DBSCAN を好むユーザーもいます。各アルゴリズムの長所と短所の概要については、この 会話 と この記事 を参照してください。

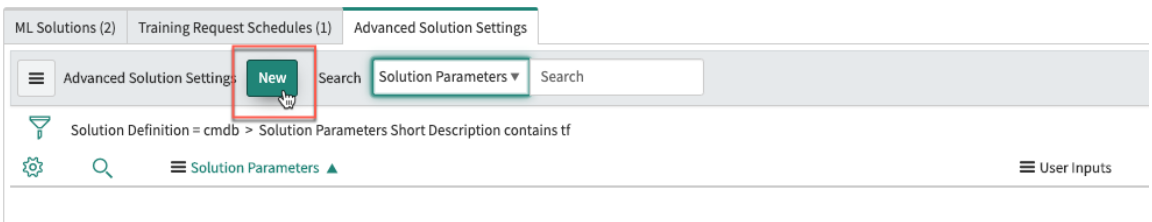
この例のシナリオでは、クラスタリング ソリューションに DBSCAN を適用します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.
2. クラスターリングソリューション定義フォームを開きます。
   この例のシナリオでは、インシデントクラスタリングソリューション定義フォームを使用します。



3. フォームの [関連リンク] セクションの [Advanced Solution Settings] タブで、ピッカーから **[Solution Parameters**] を選択し、[**New**] をクリックします。

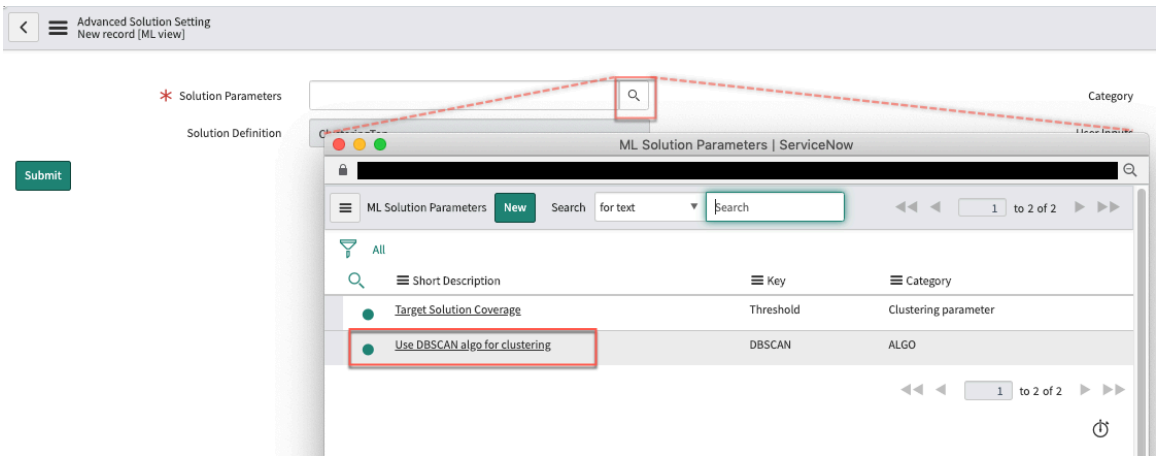


4. パラメーターレコードを作成します。

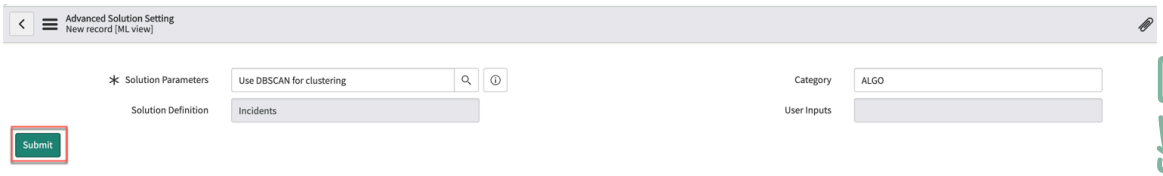
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ソリューションパラメーター] フィールドで、検索アイコンを選択します。

b. [ML Solution Parameters] 画面で、[**Use DBSCAN algo for clustering**] を選択します。



5. [**Submit** (送信)] を選択します。
[詳細ソリューション設定] レコードが表示されます。[ユーザー入力] フィールドは、このアルゴリズムに適用されないため、グレー表示されます。

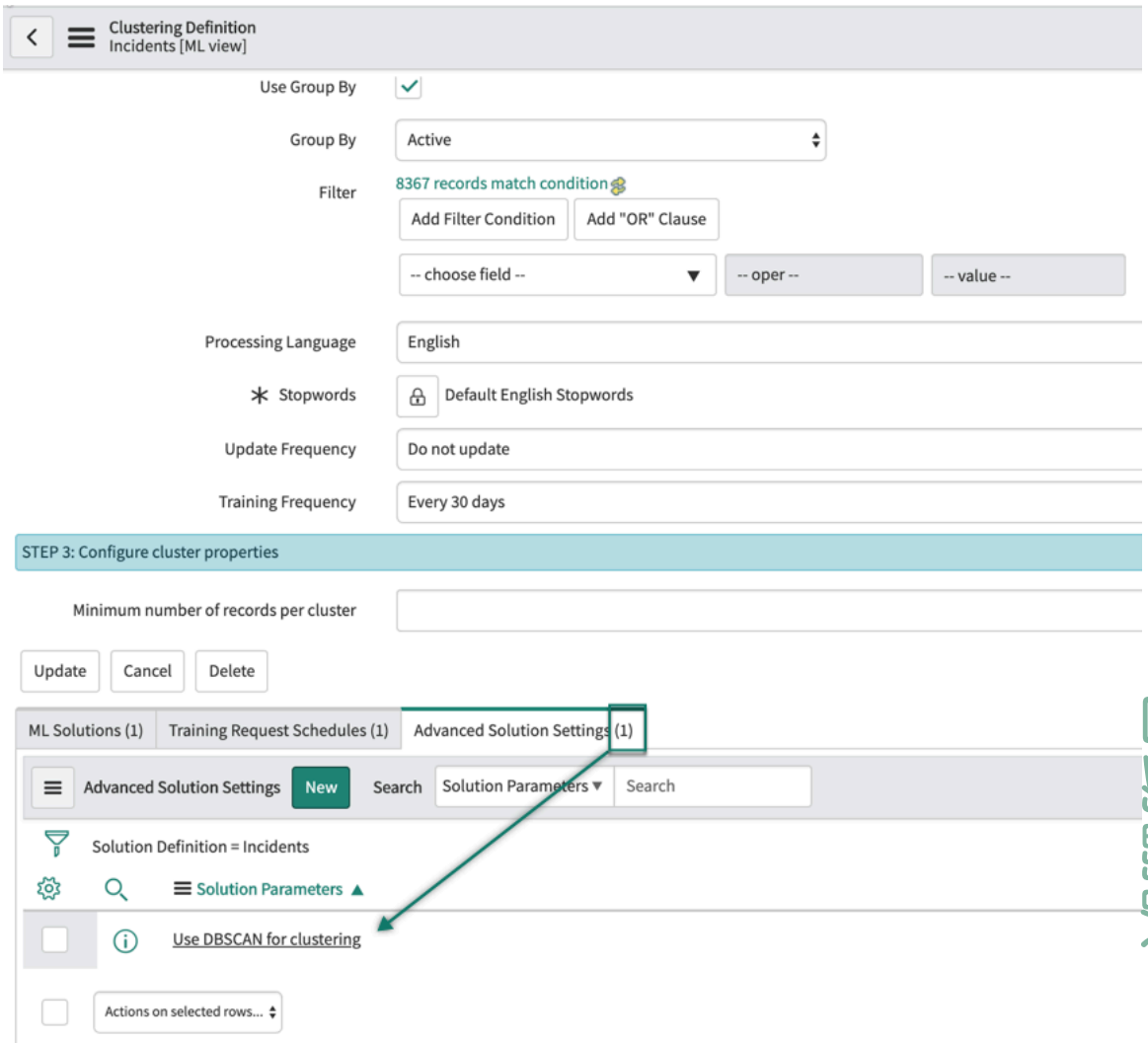


6. [**Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果： DBSCAN がクラスタリングソリューション用に構成されている。そのソリューション パラメーターは、クラスターリング ソリューション定義フォームの [高度なソリューション設定] タブに表示されます。



自動翻訳

関連情報

クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする

クラスタリングソリューションの **HDBSCAN** の構成

クラスタリング ソリューションには、Hierarchical Density Based Spatial Clustering of Applications with Noise (HDBSCAN) アルゴリズムを適用することを検討してください。HDBSCAN は、既定のクラスタリング アルゴリズムである k 平均法の代替として使用できます。

始める前に

注: ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからユースケースが恩恵を受けていることを確認してください。詳細については、ServiceNow コミュニティ の「クラスタリングの詳細パラメーターで詳しく調べる」の記事を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- クラスタリングソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

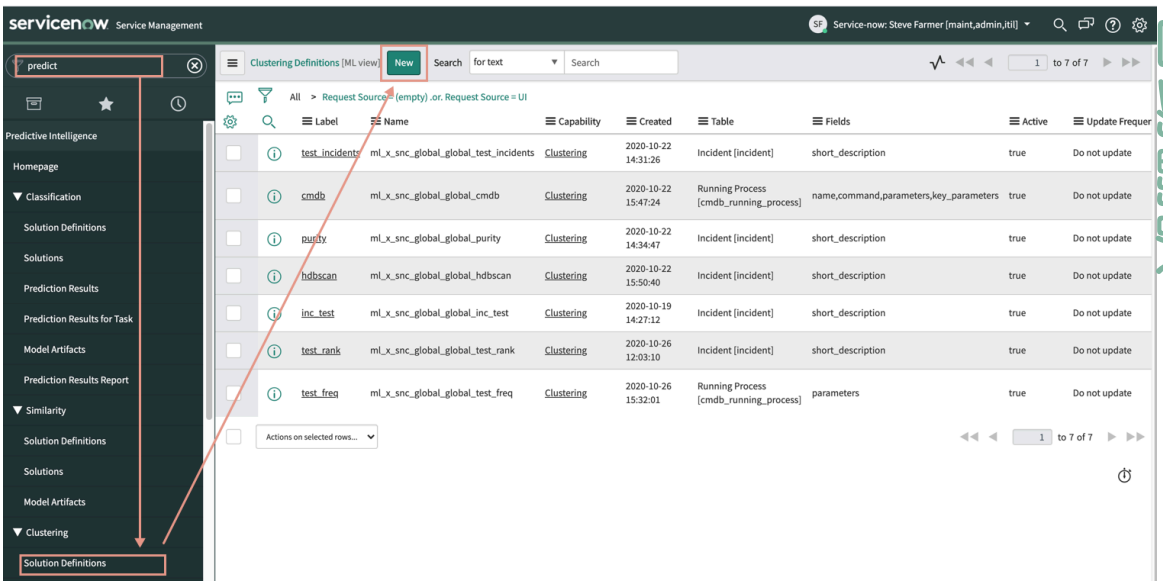
このタスクについて
HDBSCAN アルゴリズムを適用して、どのクラスターにも割り当てられていないデータ サンプルをシステムで識別できるようにすることができます。たとえば、HDBSCAN を適用してトピックディスカバリーをサポートできます。

予測インテリジェンス クラスタリングフレームワークにデフォルトで K-Means アルゴリズムを実装します。HDBSCAN は、最小サイズのクラスターで動作し、より安定した永続的なクラスターを提供するのに役立つ点を除いて、DBSCAN クラスタリング アルゴリズムに似ています。HDBSCAN の仕組みの概要については、 こちらの記事 を参照してください。DBSCAN と HDBSCAN の比較については、 この記事 と この記事 を参照してください。

注: HDBSCAN でトレーニングされたクラスタリングソリューションは、クラスターの更新をサポートしていません。これらのソリューションの更新は失敗し、ソリューションは ml_cluster_detail_tableに記録されません。クラスターの更新を有効にする場合は、DBSCAN または k-means トレーニング方法を使用します。

手順

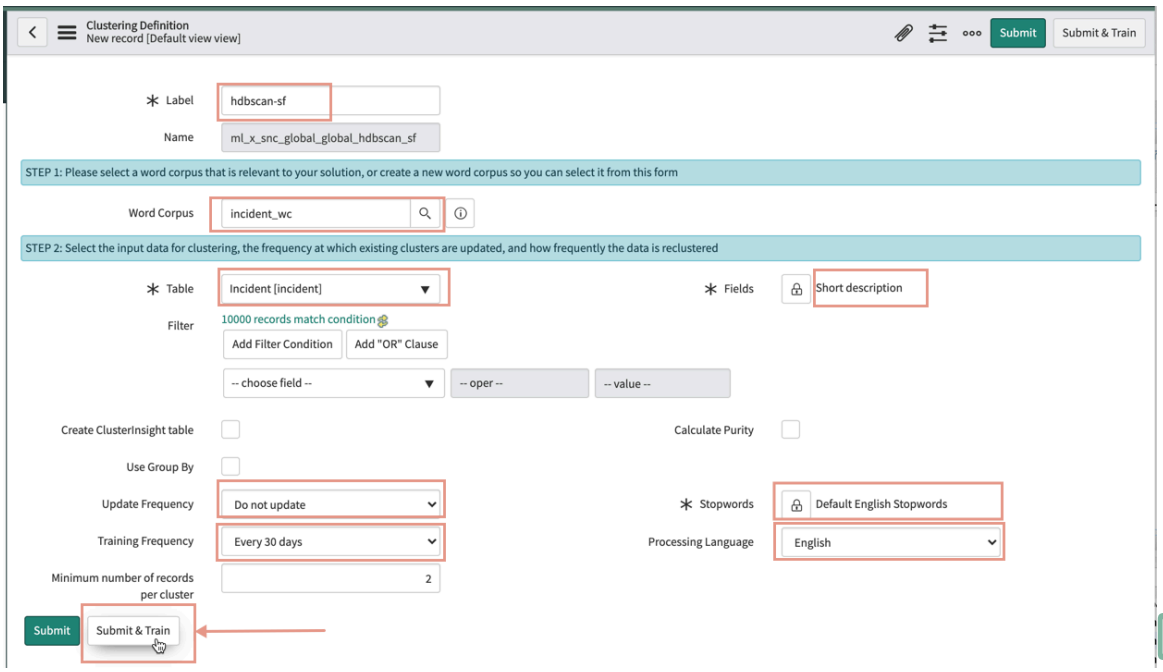
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.



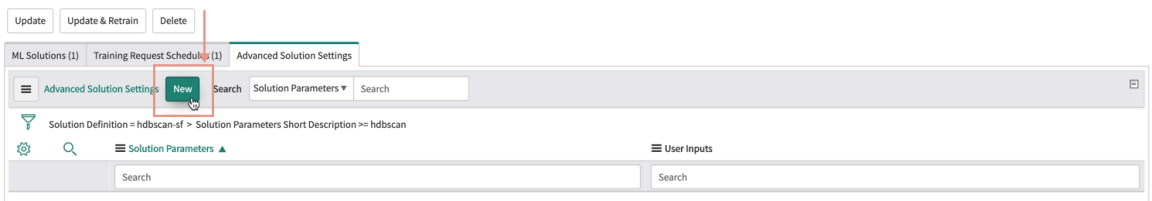
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. 新しいクラスターリングソリューション定義フォームを作成するか、既存のクラスターリングソリューション定義フォームを使用します。
   この例のシナリオでは、次の図のように hdbscan-sf クラスタリング定義フォームを作成します。フィールドを次のように構成します。
   - ラベル: `hdbscan-sf`
   - ワードコーパス: `incident_wc`、またはインシデントレコードデータを含むその他のワードコーパス (Washington DC リリース以降、ワードコーパスは必要ないため、このフィールドは表示されません)。
   - テーブル：インシデント [incident]
   - フィールド:簡単な説明

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 更新頻度:更新しない
- ストップワード:デフォルトの英語のストップワード
- トレーニング頻度:30 日ごと
- 処理言語:英語



4. [送信してトレーニング] を選択します。
5. トレーニング済みフォームの 関連リンク セクションの Advanced Solution Settings タブで、ピッカーから ソリューション パラメーター を選択し、 新規 を選択します。



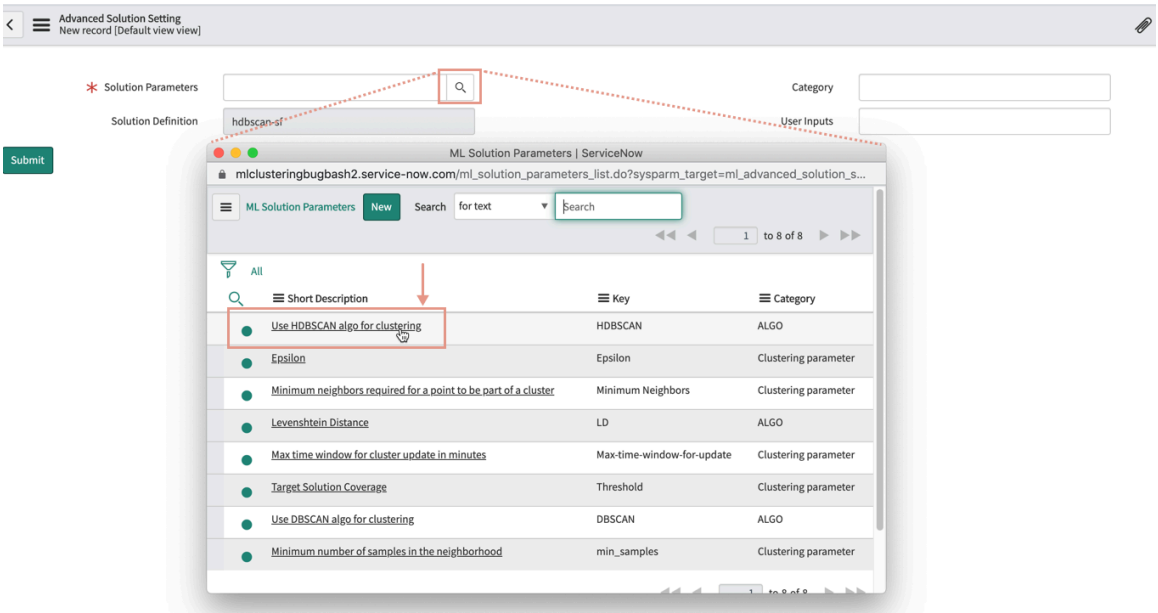
6. パラメーターレコードを作成します。

自動翻訳

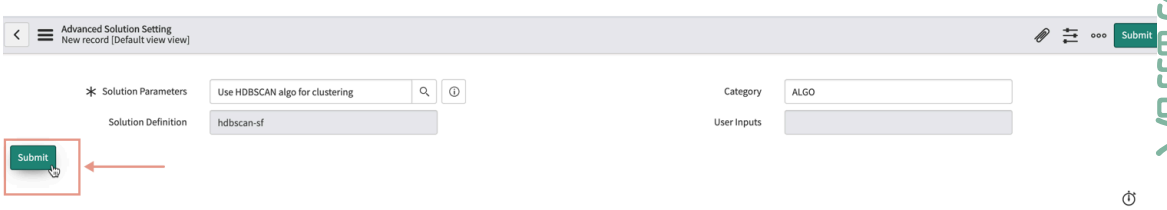
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ソリューションパラメーター] フィールドで、検索アイコンをクリックします。

b. [ML Solution Parameters] 画面で、[**Use HDBSCAN algo for clustering**] を選択します。



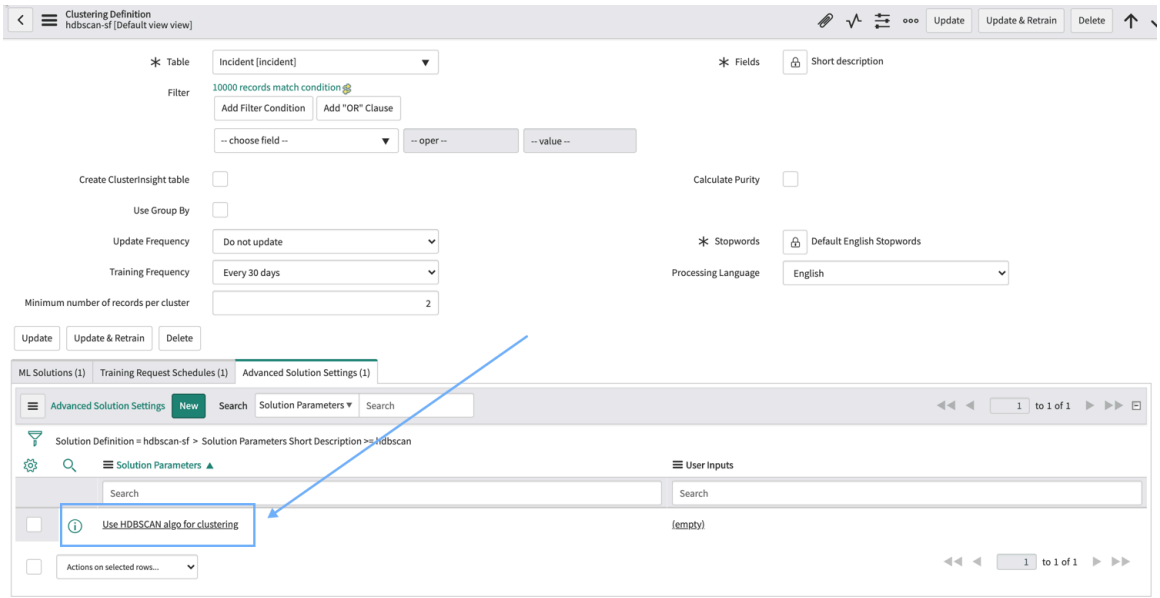
7. [**Submit** (送信)] を選択します。
HDBSCAN アルゴリズムが適用された [Advanced Solution Setting] レコードが表示されます。[ユーザー入力] フィールドは、このアルゴリズムに適用されないため、グレー表示されます。



8. [**Submit** (送信)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

結果:HDBSCAN がクラスタリングソリューション用に構成されました。そのソリューション パラメーターは、クラスターリング ソリューション定義フォームの [高度なソリューション設定] タブに表示されます。



関連情報

クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする

クラスタリングソリューションの **Connect Component** アルゴリズムとレーベンシュタイン距離法の構成

Configure Connect Component とレーベンシュタイン距離メソッドのエンコーディングを適用して、クラスタリングソリューションのトレーニングを最適化します。

始める前に
必要なロール：admin または ml_admin

注: ML ソリューションの詳細設定の構成はオプションです。これらの設定のいずれかを構成する場合は、ソリューションで有効にしているテクノロジーについて十分な情報を得ていること、およびテクノロジーが提供するものからユースケースが恩恵を受けていることを確認してください。詳細については、ServiceNow コミュニティ の「クラスタリングの詳細パラメーターで詳しく調べる」の記事を参照してください。

- クラスタリングソリューション定義を作成してトレーニングするか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
クラスタリングソリューションをトレーニングする場合、次の 3 つのオプションがあります。

- デフォルトの k 平均アルゴリズムを使用します。
- オプションの DBSCAN ソリューションパラメーターとユークリッド距離法をメトリクスとして使用します。
- オプションの [DBSCAN]、[最小近傍]、および [レーベンシュタイン距離] 解析パラメーターを使用します。Connect コンポーネントは、DBSCAN と最小近傍によって有効になり、段落ベクト

自動翻訳

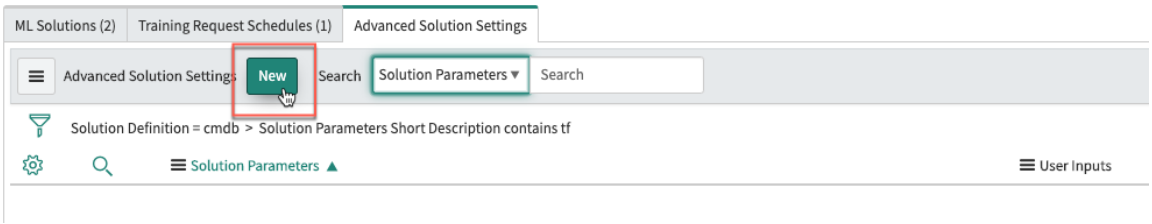
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ルベースのテキストとレーベンシュタイン距離ベースのテキストの両方をサポートします。レーベンシュタイン距離法を使用してソリューションをトレーニングする場合は、クラスタリング ソリューションでワード コーパスを使用する必要はありません。

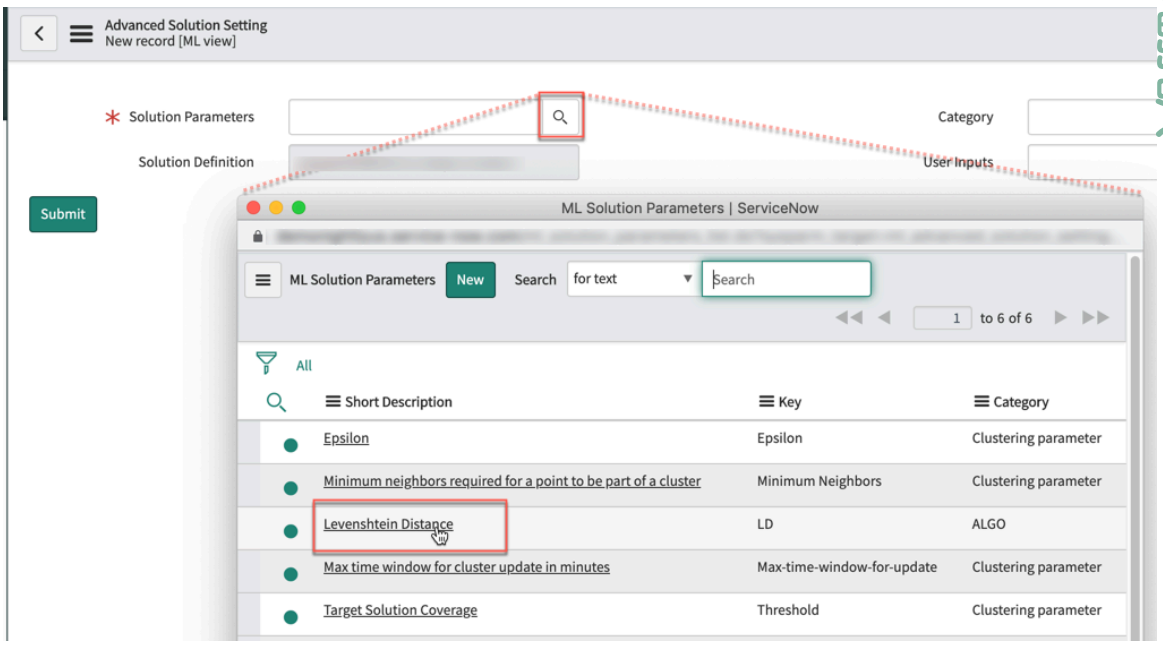
この例のシナリオでは、上記の 3 番目のオプションを使用してソリューション定義をトレーニングします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.
2. トレーニング済みのクラスタリングソリューション定義フォームを開きます。
3. [ソリューションの詳細設定] タブのフォームの [関連リンク] セクションで、[新規] を選択します。



4. パラメーターレコードを作成します。
   a. [ソリューションパラメーター] フィールドで、検索アイコンを選択します。
   b. [ML ソリューションパラメータ] 画面で、[レーベンシュタイン距離] を選択します。

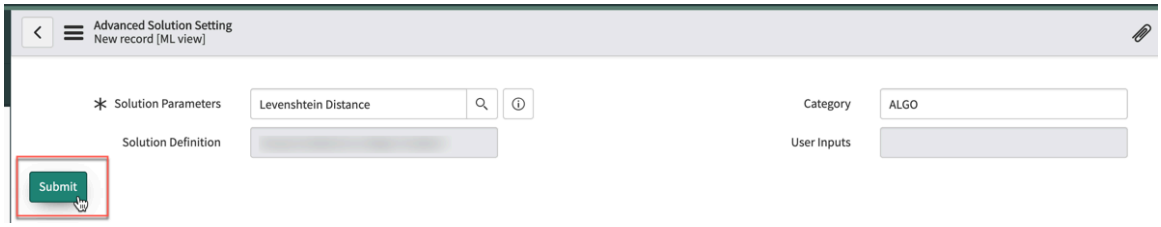


5. [**Submit** (送信)] を選択します。

   [Advanced Solution Setting] レコード画面が更新されます。

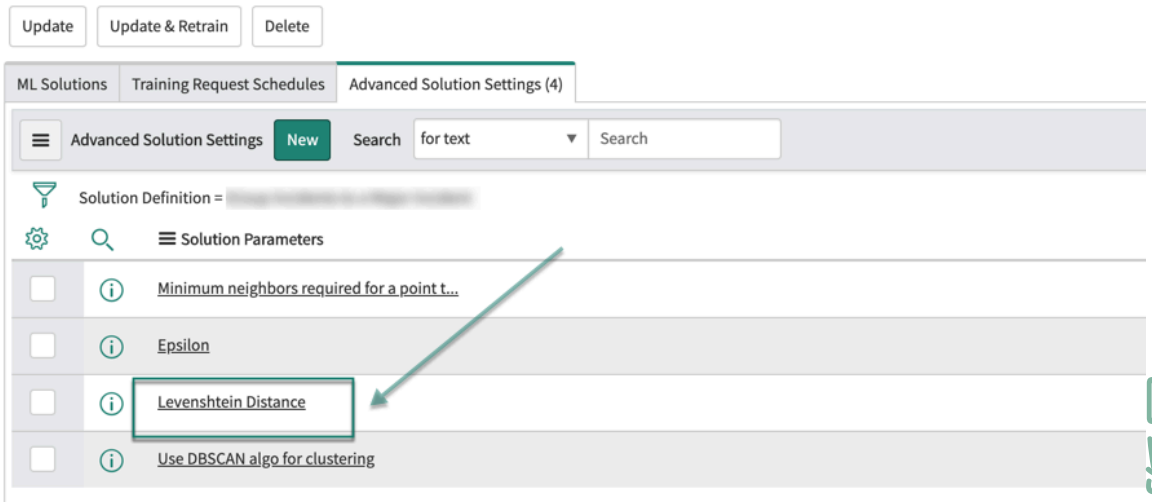
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

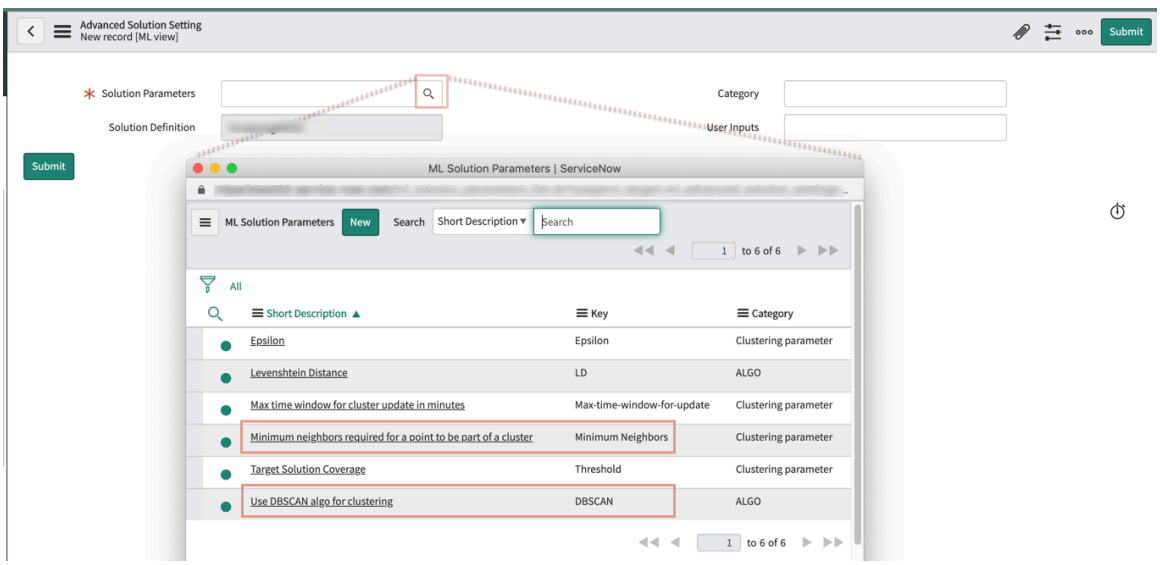


6. [**Submit** (送信)] を選択します。

   結果： レーベンシュタイン距離がクラスタリングソリューション用に構成されます。そのソリューション パラメーターは、クラスタリング定義フォームの [ソリューションの詳細設定] タブに表示されます。



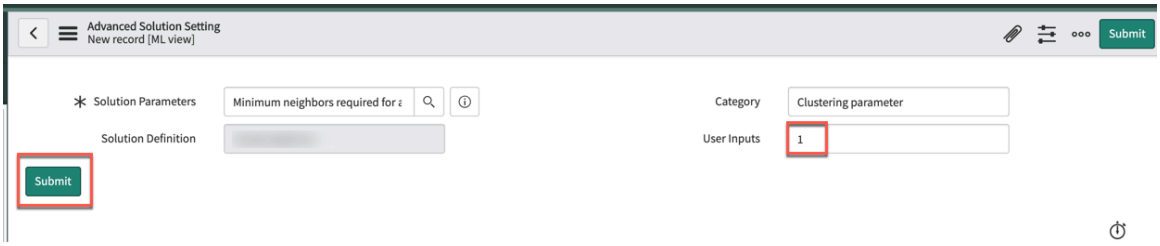
7. 前のレーベンシュタイン距離の例の手順 1 ～ 6 を繰り返しますが、今回は [最小近傍] と **[DBSCAN**] ソリューション パラメーターを作成し、これらを組み合わせて [コンポーネントの接続] 機能を有効にします。



   [最小近傍] ソリューション パラメーターを選択、構成、および送信するときは、必ず [ユーザー入力] フィールドに値 `1` を設定してください。一部のパラメーターにのみ [ユーザー入力] フィールドがあります。

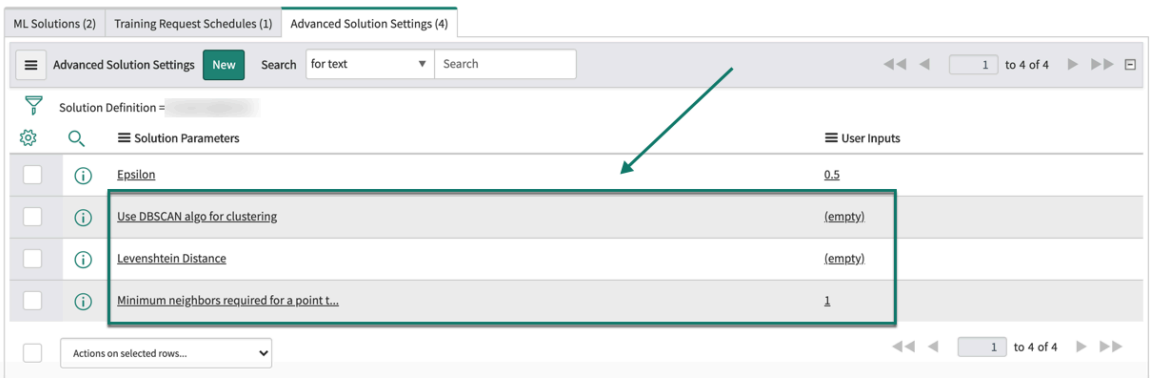
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結果：

Connect コンポーネントがクラスターリングソリューション用に構成されました。その 2 つのソリューション パラメーターは、クラスタリング定義フォームの [高度なソリューション設定] タブに、この手順のステップ 1 から 6 で構成した [レーベンシュタイン距離] パラメーターとともに表示されます。



関連情報

クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする

ソリューションの作成とトレーニング

予測インテリジェンス (PI) フレームワークのいずれかを使用して、機械学習ソリューションを作成およびトレーニングします。各フレームワークは、データの結果を予測、推奨、および整理するためにシステムをトレーニングする、異なるソリューションタイプを提供します。

ソリューションのタイプ

3 つの PI フレームワークは、予測 API を介して任意のアプリケーションから呼び出して予測を行うことができるさまざまなソリューションを提供します。以前のデータを使用して独自のソリューションを作成してトレーニングします。次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > ホームページ ソリューションを表示および作成します。

目的の予測に最適なフレームワークを選択します。

- 分類ソリューション:

  レコード作成時にフィールド値を設定して、過去のレコードに基づいて作業を自動的に分類してルーティングします。「分類ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

- 類似性ソリューション:

  新規レコードと既存レコードの類似性を識別して、解決策を推奨します。「類似性ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

- クラスタリングソリューション:

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

類似のレコードをクラスターにグループ化して、パターンと重大なインシデントを特定します。「クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする」を参照してください。

- 回帰ソリューション:

> **重要:** Yokohama リリースでは、新しい回帰ソリューションの作成のサポートが削除されました。既存の回帰ソリューションを編集およびトレーニングすることはできますが、新しい回帰ソリューションを作成することはできません。

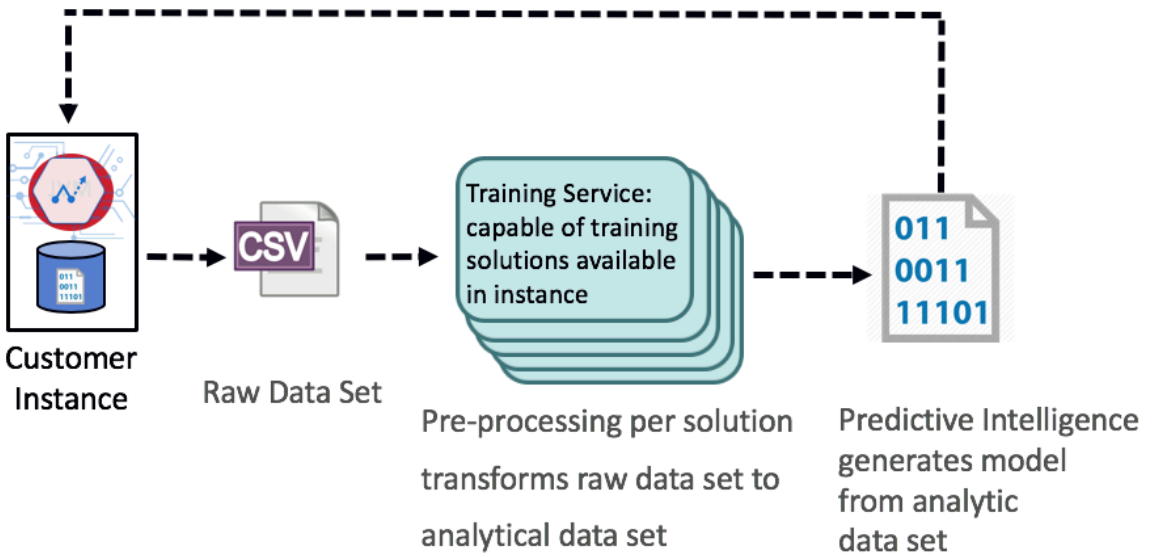
履歴データを使用して、インシデントまたはケースの解決にかかる時間の推定などの数値出力を予測します。「回帰ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

ソリューションをトレーニングするためのデータレコードの選択

ソリューションの品質は、トレーニングに使用するレコードデータによって決まります。一般に、優れたトレーニングデータセットにはこれらの特性があります。

- ソリューション定義の入力フィールドは、ユーザーがレコードを作成するときに使用できます。レコード作成時に予測を行うには、レコード作成時に入力フィールド値がソリューションに含まれている必要があります。
- ソリューション定義の出力フィールドは選択フィールドです。より正確な予測を行うには、出力フィールドを可能な値の有限セットに制限します。
- トレーニングレコードには、出力フィールドの正しい値のみが含まれます。より正確な予測を行うには、信頼性の低い出力フィールド値を含むレコードを除外します。たとえば、最近クローズしたインシデントが 1 か月間レビューおよび変更される場合は、最近クローズしたインシデントを除外します。
- トレーニングレコードには、ソリューションで予測する各出力フィールド値の複数の例が含まれています。レコード範囲を拡大するには、各出力フィールド値の例を複数含めます。
- トレーニングレコードには、入力フィールドの一般的なバリエーションが含まれています。レコード範囲を拡大するには、入力フィールド値の例を複数含めます。

トレーニング用のソリューションのエクスポート



ソリューションをトレーニングするには、そのソリューション定義と関連レコードを、同じデータセンター内の一元化されたトレーニング サーバーにエクスポートします。トレーニングが完了すると、トレーニングサーバーはソリューションをインスタンスにエクスポートし、サーバーからすべてのトレーニングデータを削除します。すべてのデータセンターには独自のトレーニング サーバーが

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

あり、データはデータセンターから離れないため、このサービスは、データ主権要件を持つ顧客も利用できます。

予測は、インスタンスと同じデータセンター内の一元化された予測サーバーで行われます。予測が初めて呼び出されたときに、トレーニング済みモデルアーティファクトがインスタンスサーバーから予測サーバーに送信されます。その後、トレーニングされたモデルアーティファクトは、後続の予測のために予測サーバーにキャッシュされます。

注: インスタンスとトレーニングサービス間のすべての通信は、同じデータセンターのファイアウォール内で行われます。それでも、すべての通信はHTTPSを介して行われます。

ソリューショントレーニングのトラブルシューティング

一般的なトレーニングの問題のトラブルシューティングについては、Now Support ナレッジベースの Predictive Intelligence の一般的な問題 [KB781893] の記事を参照してください。

分類ソリューションの作成とトレーニング

分類ソリューションのトレーニングに使用するレコード、予測をトリガーするフィールド、およびソリューションを再トレーニングする頻度を指定します。

始める前に

- カスタムストップワードリストの作成 必要に応じて。
- 必要なロール：admin または ml_admin

重要: Yokohamaリリースでは、分類、クラスタリング、および類似性フレームワークのモデルでワークフローソリューションが使用されます。これらは事前にトレーニングされているため、新しいソリューションにワードコーパスは必要ありません。ワードコーパスを含む既存のソリューションがアップグレード後に再トレーニングされると、それらはワークフローソリューションになり、[ワードコーパス] フィールドはフォームから削除されます。

このタスクについて

予測モデルの品質は、そのトレーニングに使用するデータによって決まります。トレーニングに適したレコードを選択するには、テーブルのデータベースディクショナリと、使用するレコード値の現在の品質を調べます。

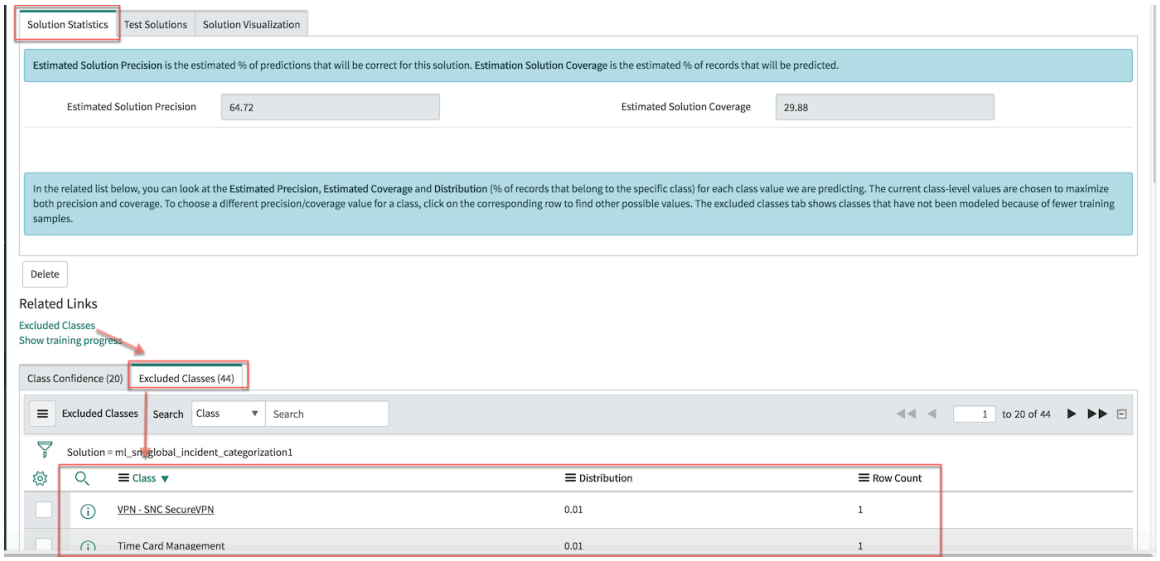
暗号化されたトレーニングデータの使用については、「予測インテリジェンスでのデータ暗号化」を参照してください。

トレーニングに使用できるレコードの最小数と最大数の詳細については、「予測インテリジェンスのプロパティ」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: トレーニングデータセット内のレコードが 30 未満のクラスは、ソリューショントレーニングから除外されます。ソリューションがトレーニングされて完了すると、除外されたクラスが ML ソリューションフォームの [ソリューション統計情報] セクションに一覧表示されます。



サポートする予測モデルごとに個別のソリューション定義を作成する必要があります。次の手順では、新しい分類ソリューションを作成する方法について説明しますが、コンテキストメニューから [ソリューション定義をコピー] を選択して、既存のソリューション定義とその構成を新しいレコードにコピーすることもできます。必要に応じて、新しいレコードのフィールド値を編集します。

Yokohama リリースから、モデルの予測に影響を与える主要な特徴の分析を含める場合は、スクリプトを使用してワークフロー分類ソリューションを作成することもできます。詳細については、「モデルの説明可能性」を参照してください。

手順

1. ソリューション定義に必要なアプリケーションスコープ内にいることを確認し、次に移動します: **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション定義.
2. [分類定義] リストで、[新規] を選択します。
3. 空の [分類定義] フォームで、次のガイダンスに従ってフィールドを設定します。

フィールド	値
ラベル	ソリューションレコードの一意の名前を入力します。
[Name (名前)]	入力したラベル値に基づいて、この読み取り専用フィールドの値が生成されます。
ワードコーパス	ソリューションに関連するワードコーパスを選択します。詳細については、「ワードコーパスの作成」を参照してください。 **注:** ワードコーパスは、Utah 以降に初めて予測インテリジェンスを実装するお客様の必須フィールドではありません。代わりに、事前トレーニング済みモデルが使用されます。事前トレーニング済みモデルの [ワードコーパス] フィールドが削除されました。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
テーブル	システムで予測するターゲットレコードを含むテーブルを選択します。
出力フィールド	予測モデルで値を設定するフィールドを選択します。 一般に、適切な出力フィールドには次の特性があります。 ◦これは、可能な値の有限セットを持つ選択フィールドまたは文字列フィールドです。 ◦入力フィールドと何らかの因果関係があります。 たとえば、デフォルトの インシデント分類 ソリューション定義では、出力フィールドは [カテゴリ] に設定されています。
フィールド	予測の生成にソリューションで使用する入力フィールドを選択します。 入力フィールドは、予測ソリューションの成功に必要な分類情報を含むレコード内のフィールドです。たとえば、インシデントレコードをトリアージするための正しいクラスを予測する場合、予測ではクラスを参照するテキストを含むレコードを収集する必要があります。ほとんどのレコードの [簡単な説明] フィールドにはコンテキストテキストがあるため、一般的に使用するのに最適な入力フィールドです。解決メモもインシデントの詳細メモでインシデントクラスを参照する可能性があるため、入力フィールドとして使用することもできます。 一般に、適切な入力フィールドには次のような特徴があります。 ◦このフィールドは、ユーザーがレコードを作成するときに使用できます。 ◦フィールドのデータタイプは、文字列、参照、選択肢、または HTML です。フィールドが提供する情報が多いほど、ソリューションが予測を行うことができる頻度が高くなり、予測が正確になる頻度も高くなります。 ◦このフィールドにはデフォルト値があるため、空白にすることはできません。 すべてのデフォルトソリューション定義は、[簡単な説明] フィールドを使用します。
フィルター	[フィルター条件の追加] をクリックして、トレーニング対象のレコードに条件を適用します。 たとえば、 インシデント分類 ソリューション定義では、[作成日][日付][過去 **12** か月] **AND** [アクティブ][次の値に等しい]**[false] AND** [ステータス][次の値のいずれか][解決済み | クローズ] ソリューションをトレーニングするには、フィルターで少なくとも 1 つのレコードを返す必要があります。フィルターでレコードが返されない場合は、トレーニング用のレコードが返されるまでフィルターを更新します。 **注:** 優れたソリューションのトレーニングに推奨されるレコード数は、30,000 ～ 300,000 です。300,000 件以上のレコードを送信する場合は、ソリューションをトレーニングするために最新の 300,000 件のレコードが使用されます。データベースからの真正なレコードのみを使用します。 一般に、優れたフィルターにはこれらの特性があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ トレーニングレコードは非アクティブであり、そのステータスは、解決済みやクローズ済みなど、標準プロセス内で完了した作業を示します。 ◦ ターゲットフィールドには正しい値のみが含まれます。信頼性の低いターゲットフィールド値を含むレコードを除外します。たとえば、アサイン先グループ/カテゴリを予測していて、過去のインシデントデータに使用されなくなったアサイン先グループ/カテゴリが含まれている場合は、フィルターを追加して、そのようなレコードをトレーニングから削除します。 ◦ トレーニングレコードには、ソリューションで予測するターゲットフィールド値ごとの複数の例が含まれています。 ◦ トレーニングレコードには、入力フィールドの一般的なバリエーションが含まれています。 過去 3 か月や過去 12 か月などの相対日付フィルターを使用します。ハードコードされた日付は使用しないでください。これらのフィルターは、手動で更新しない限り、ソリューションの再トレーニング時に更新されないためです。
処理言語	ソリューション定義でトレーニングしているデータセットの主要言語を選択します。データセットの言語がイタリア語の場合は、[イタリア語] を選択します。また、デフォルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。たとえば、イタリア語を選択した場合、システムは英語とイタリア語の両方でデータを処理します。 **注:** 「処理」という用語は、ソリューションのトレーニングの一環として使用される言語固有の手順の一部を示します。たとえば、単語のトークン化、ストップワードの削除、語幹の解釈などがあります。
ストップワード	処理言語を選択すると、その言語のストップワードリストが自動的に追加されます。たとえば、処理言語がイタリア語の場合、[デフォルトのイタリア語のストップワード **(Default Italian Stopwords)**] リストが表示されます。デフォルトの英語のストップワードリストも含まれています。カスタムストップワードリストを作成する場合は、[ストップワード] フィールドから選択してソリューションに追加できます。
トレーニング頻度	ソリューションが再生成される頻度を選択します。使用可能なオプションの範囲は、[**1** 回実行] から **[180** 日ごと] までです。 **注:** 分類ソリューション トレーニングに必要なレコードの最小数は 10,000 に設定されています。 デフォルトでは、システムはトレーニングを 1 回実行します。これにより、許容可能な範囲と精度の値が提供されるまで、ソリューション定義を確認および更新する時間が与えられます。 ソリューション定義がかなり安定している場合は、スケジュールされたトレーニングを検討してください。データが時間の経過とともに古くなり、予測モデルの精度が低下する可能性があるためです。 **注:** ML スケジューラーは、インスタンスがコミットできるトレーニングの数を、24 時間枠でインスタンスあたり 50 件の新規 ML トレーニング要求に制限します。この制限では、新しいトレーニング要求が 24 時間以内に 50 件を超えた場合でも、スケジュールされた再トレーニング要求、クラスタリングの更新、および類似性の更新は除外されます。

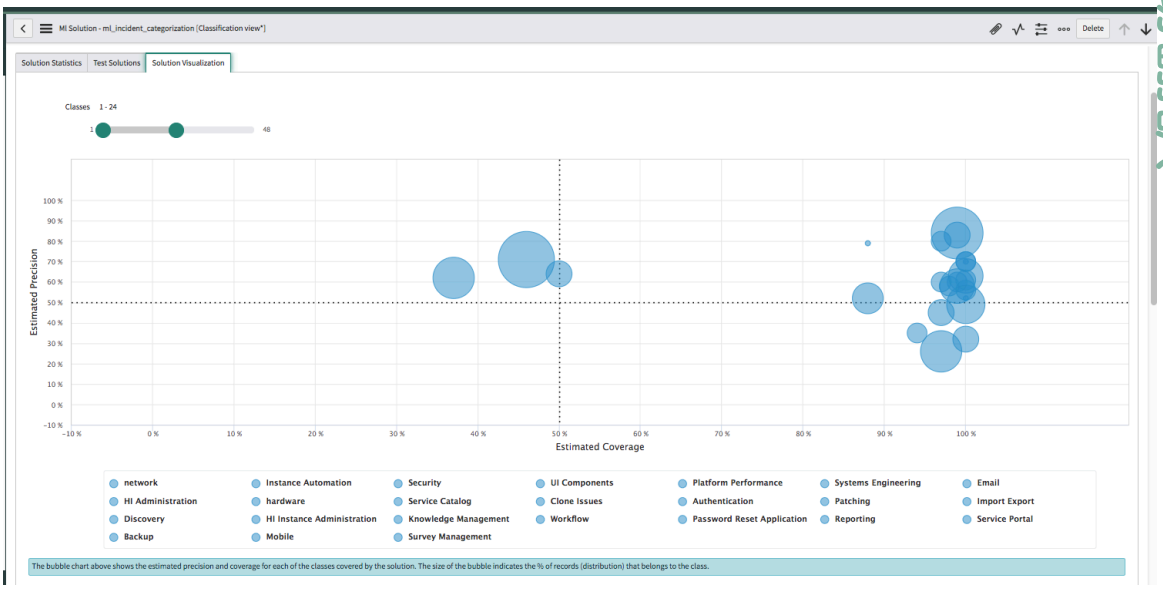
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ソリューション定義に該当するコンテキストメニューのオプションまたはボタンをクリックします。

オプション	説明
[保存] または [保存してトレーニング]	ソリューション定義レコードを保存して、後でそれに戻ることができるようにするか、または保存して、それをトレーニング用に送信します。
[送信] または [送信してトレーニング]	ソリューション定義レコードを作成して、それを送信するか、または送信してトレーニングします。

5. トレーニング用にソリューションを送信した場合は、[トレーニングのアクティブ化] ウィンドウで **[OK]** をクリックして確定します。

   - システムは、最寄りのトレーニングサービスでトレーニングを受けるようにソリューションをスケジュールします。トレーニングが完了すると、それを知らせる通知が送信されます。トレーニング中にエラーが発生した場合には、そのエラーも通知に記載されます。他のユーザーは、予測インテリジェンス 通知カテゴリに登録できます。トレーニングが完了すると、ソリューションは添付ファイルレコードとしてアップロードされます。
   - バブルチャートがソリューションフォームの [ソリューション可視化] タブに入力され、ソリューションの対象となる各クラスの推定精度と範囲が表示されます。バブルのサイズは、クラスに属するレコードの割合 (分布) を示します。バブルをポイントすると、その推定カバー範囲、推定精度、および分布を確認できます。

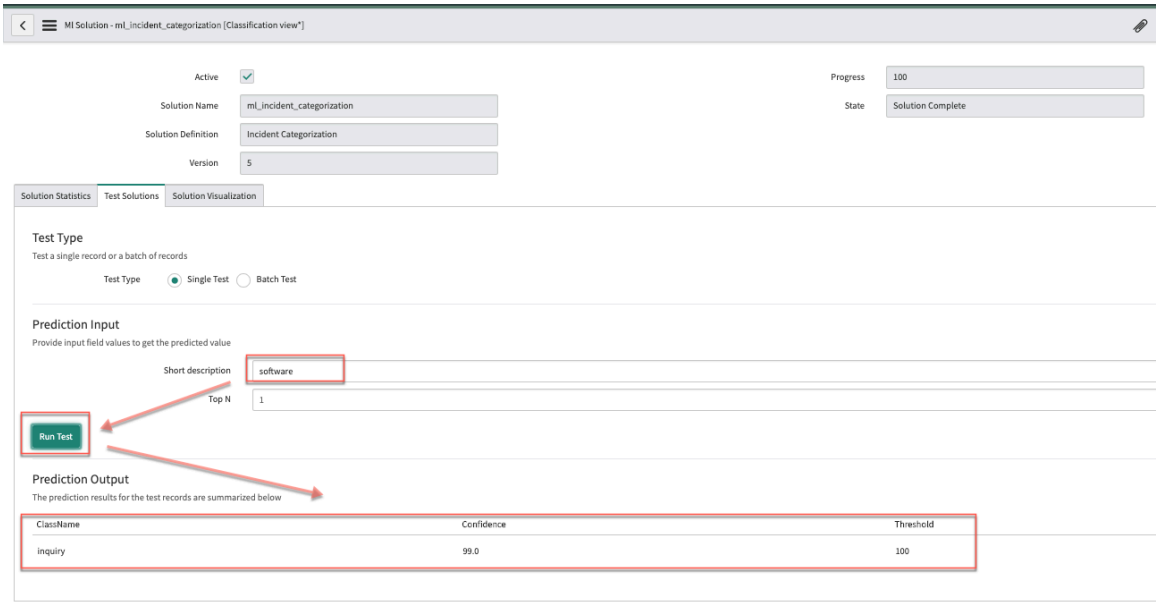


次のタスク
ソリューションの [ソリューション統計情報] タブの [クラスの信頼性] セクションで、トレーニング済みのソリューションの精度と範囲の統計情報を確認します。

ソリューションの [ソリューションをテスト] タブで、[簡単な説明] などの入力フィールドから値を入力して、予測出力をテストできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



予測からクラスを除外する

精度または範囲が不十分な場合は、クラスを予測から除外します。クラスを除外すると、分類モデルが特定の出力フィールド値を予測できなくなります。

始める前に

- 出力フィールド値を除外するソリューション定義をトレーニングします。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

分類ソリューションのテストと改良の一環として、出力クラスを除外して、モデルの結果への影響を確認できます。

予測からのクラスの除外は一時的なものです。ソリューション定義が同じである限り、次回ソリューションをトレーニングしたときにクラスが復元されます。それでも精度または範囲のターゲットが達成されない場合は、ソリューションを非アクティブ化するか、ソリューション定義を変更することを検討してください。

通常、除外されたクラスの値をユーザーが手動で設定できるようにする場合は、予測からクラスを除外します。たとえば、ソリューションで十分な精度や範囲が提供されない場合、またはクラスがレビューや承認を必要とする他のビジネスロジックをトリガーするという理由で、特定のインシデントカテゴリを除外します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション.
2. [ML ソリューション] リストで、クラスを除外するソリューションを選択します。
   このソリューションのステータスは「ソリューション完了」である必要があります。
3. [クラスの信頼性] 関連リストで、除外するクラスを選択します。
4. [クラス信頼性] レコードで、[正確な範囲のルックアップ] 埋め込みリストで利用可能な精度と範囲の組み合わせを確認します。
5. 精度 100 と範囲 0 の組み合わせのチェックボックスをオンにします。

   選択できるチェックボックスは 1 つだけです。

6. [選択した行のアクション] コントロールから、[値の適用] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[精度/範囲設定] 確認ウィンドウが表示されます。

7. **[OK]** をクリックして変更を確定するか、[キャンセル] をクリックして破棄します。

タスクの結果
このソリューションでは、次のトレーニングサイクルまで、すべての予測からクラスが除外されます。

次のタスク
このクラスが意味のある予測に寄与しないと判断した場合は、ソリューションを非アクティブ化するか、ソリューション定義を変更することを検討してください。

ソリューショントレーニングからのクラスの除外

ソリューショントレーニングからクラスを除外して、モデルが特定の出力フィールドクラスを予測しないようにします。たとえば、特定のインシデントカテゴリを廃止または変更する場合は、そのカテゴリをトレーニングから除外することができます。

始める前に
必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
トレーニングからクラスを除外しても、ソリューションが除外されたクラスを使用するレコードの予測を行うことが妨げられることはありません。ソリューショントレーニングでは、入力フィールド値と出力フィールド値を引き続きデータとして使用し、入力フィールド値を新しい出力フィールドクラスに一致させようとします。除外されたクラス値を置き換える別の適切なクラスがないと、この試行によって望ましくない予測結果が生じる可能性があります。

通常、トレーニングからクラスを除外するのは、有効な出力フィールド値のリストを変更する場合のみです。たとえば、あるインシデントカテゴリを別のインシデントカテゴリに置き換えた場合、古いカテゴリをトレーニングから除外して、ソリューションが予測に新しいカテゴリのみを使用するようにすることができます。

注: クラスのターゲット取り消しを指定する場合は、そのクラスのレコード数が 30 未満であっても、そのクラスをトレーニングから除外しないでください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション定義.
   ソリューション定義の現在のリストが表示されます。
2. 編集するソリューション定義を選択します。

   Example
   たとえば、[インシデント分類] を選択して、トレーニングからインシデントカテゴリを除外します。
3. フィルターを編集してクラスを除外します。
   [is one of] または **[is not one of]** 演算子を使用して、特定のクラスを除外できます。

   Example

   たとえば、ハードウェアクラスを除外する場合は、[カテゴリ] [は次の値ではない] [ハードウェア] という条件を追加します。
4. **[Update & Train]** をクリックします。
   システムは、最寄りのトレーニングサービスでトレーニングを受けるようにソリューションをスケジュールします。トレーニングが完了すると、ソリューションは添付ファイルレコードとしてアップロードされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
このソリューションでは、すべての予測からクラスが除外されます。

次のタスク
トレーニング済みソリューションの精度と範囲の統計を確認します。

トレーニング済み分類ソリューションの調整

クラスレベルの精度と範囲値を設定して、トレーニング済みの分類ソリューションのパフォーマンスを調整します。

始める前に

- 出力フィールド値を設定するソリューション定義をトレーニングします。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
予測可能な出力フィールド値ごとに クラス レコードが作成されます。各クラスレコードには、選択可能な精度と範囲の組み合わせのリストが含まれています。デフォルトでは、ソリューションは利用可能な精度と範囲の最高の組み合わせを使用します。別の組み合わせを選択して、許容可能な精度と範囲の値に基づいて予測を絞り込むことができます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション.
   利用可能なソリューションのリストが表示されます。
2. クラスを設定するソリューションを選択します。
   このソリューションのステータスは「ソリューション完了」である必要があります。
   ソリューションレコードが表示されます。
3. [クラスの信頼性] 関連リストから、構成するクラスを選択します。
   ソリューションには、予測を行うことができる出力フィールド値のみがリストされます。出力フィールド値がこのリストにない場合は、ソリューション定義フィルターを更新して、この出力フィールド値により多くのデータを提供し、ソリューションを再トレーニングします。
   クラス信頼度レコードが表示されます。
4. [正確な範囲のルックアップ] 埋め込みリストで利用可能な精度と範囲の組み合わせを確認します。
5. このクラスの予測に使用する精度と範囲の組み合わせのチェックボックスをオンにします。

   選択できるチェックボックスは 1 つだけです。組み合わせによっては、特別な予測結果が生成されます。

   特殊な予測の組み合わせ

予測結果	精度	範囲
予測にクラスを含めない	100	0
予測には常にクラスを含める	0	100

6. [選択した行のアクション] コントロールから、[値の適用] を選択します。
   [精度/範囲設定] 確認ウィンドウが表示されます。
7. **[OK]** をクリックして変更を確定するか、[キャンセル] をクリックして破棄します。

次のタスク
このクラスの予測をテストして、システムが許容できる結果を生成することを確認します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トレーニング済み分類ソリューションのターゲットメトリクスの設定

トレーニング済み機械学習ソリューションの精度、範囲、再現率の統計情報の値を設定します。

クラスまたはソリューションレベルでの分類メトリクス値の設定

予測インテリジェンス には、精度、カバー範囲、再現率の 3 つの分類メトリクスタイプがあります。これらのメトリクスは、トレーニング済み分類ソリューションフォームの [ソリューション統計情報] タブで構成します。クラスレベルでこれらのメトリクスに手動で値を設定することもできますが、カバーするクラスが多数ある場合は、この操作が困難な場合があります。多くの場合、ソリューションがトレーニングされるまで、設定する最適な値がわからないことがあります。このトピックでは、ソリューションレベルでのメトリクス値の設定のみに焦点を当てます。

ソリューションメトリクスの構成

1 つのメトリクスに値を適用すると、他の 2 つのメトリクスの値が変更されます。この動作により、メトリクスをリアルタイムで繰り返し変更し、どの値の組み合わせが特定の結果を表示するかを確認できます。メトリクスに新しい値を適用すると、新しいターゲットを考慮してメトリクスが再計算されます。

メトリクスに値を適用すると、最も高いパーセンテージ値に基づいて設定したメトリクスを優先し、その他のメトリクスを犠牲にして、予測をトレーニングするようにシステムに求められます。システムはこれらの値を満たそうとしますが、トレーニング中のデータの分散方法によっては、要求どおりに設定されない場合があります。

ソリューションレベルでメトリクス値を適用すると、クラスレベルで適切な値が自動的に設定されます。

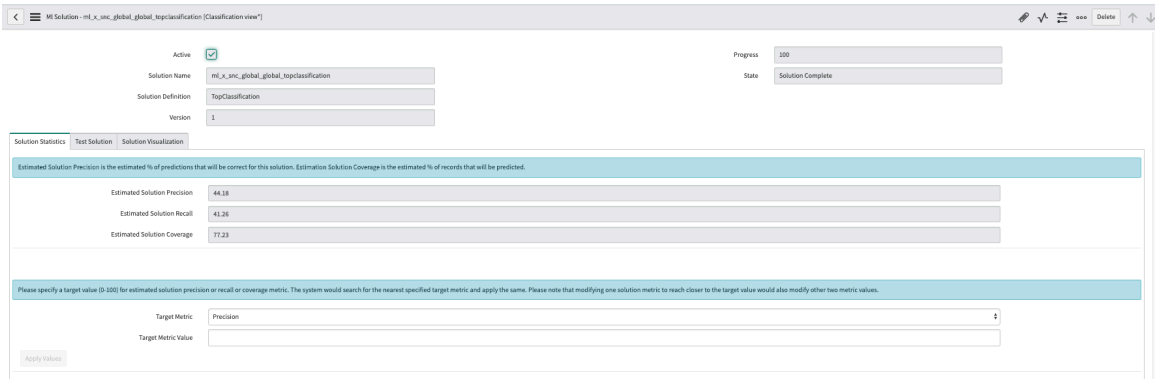
ソリューションのターゲットメトリクスを構成するための基本的な手順は次のとおりです。

1. トレーニング済み ML ソリューションの [ソリューション統計情報] タブに移動します。
2. 各メトリクスを定義する画面の緑色のバナーのメッセージを確認して、ソリューションに割り当てる値をよりよく理解できるようにします。最初の 2 つのメッセージバナーは、推定ソリューションレベルのメトリクスに対応しています。3 番目のバナーは、適用したソリューション値に基づいてクラスレベルの結果に対応します。
3. [ターゲットメトリクス] 選択リストで、構成するメトリクスを選択します。
4. [ターゲットメトリクス値] フィールドに、0 ～ 100 のパーセンタイル値を入力します。
5. [値の適用] をクリックします。
6. 結果： [ソリューション統計情報] タブで、[推定ソリューションの精度]、[推定ソリューションの再現率]、および [推定ソリューション カバレッジ] の値の変更を確認できます。これらの値は、選択した ターゲットメトリクス とソリューションに入力した ターゲットメトリクス値 に基づいて計算されます。

最近トレーニングされた分類ソリューションのサンプルランディングページを次に示します。ご覧のように、精度メトリクスは44.18、再現率は41.26、カバレッジは77.23です。

自動翻訳

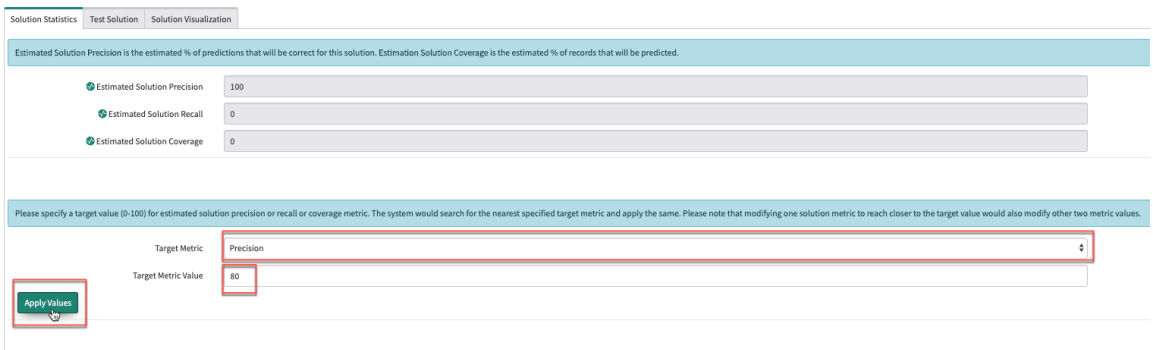
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



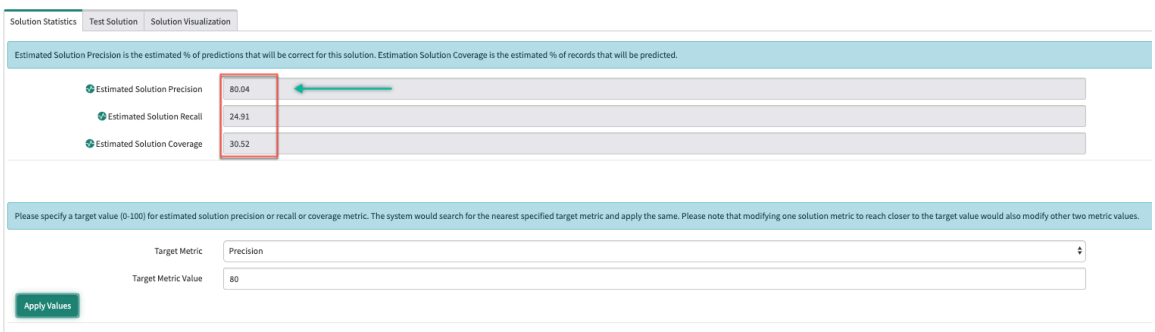
ユースケースに合わせてこれらのデフォルト値を調整する必要がある場合は、以下の設定例を参照してください。たとえば、実装している分類ソリューションに基づいて、精度、再現率、または範囲のターゲットメトリクス値を変更できます。1 つのメトリクスのターゲットメトリクス値 (精度など) を変更すると、取り消しおよび範囲のメトリクスの値にも影響することに注意してください。

精度の構成例

このシナリオ例では、インシデントレコードをルーティングするための手動トリアージプロセスを、レコードを正しいアサイン先グループに自動的にアサインする ML 分類ソリューションに置き換えます。このシナリオでは、ターゲット値を念頭に置いており、システムは少なくとも 80% の確率で正しく予測する必要があります。そのため、精度メトリック値を `80` に設定し、[値の適用] をクリックします。



ソリューションに適用されたメトリクス値は次のとおりです。このシナリオでは、精度値 80.04 が要求の 80% をわずかに上回っているため、この値で満足している可能性があります。

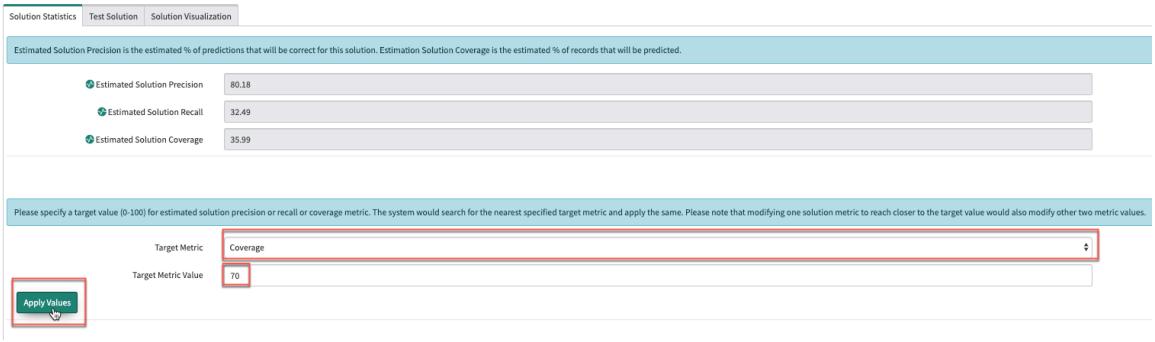


範囲の構成例

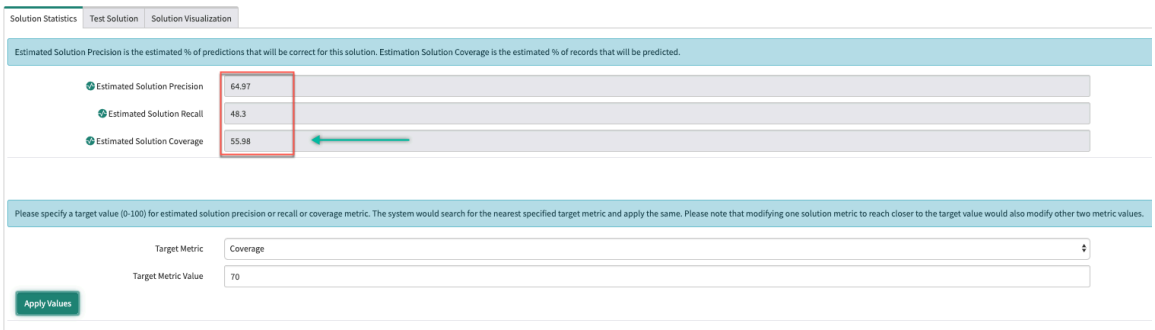
インシデントレコードをルーティングするための手動トリアージプロセスを置き換える別のシナリオの例では、最小目標は、年の第 1 四半期に受信インシデントの少なくとも 70% を予測することです。そのため、対象範囲メトリック値を `70` に設定し、[値の適用] をクリックします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

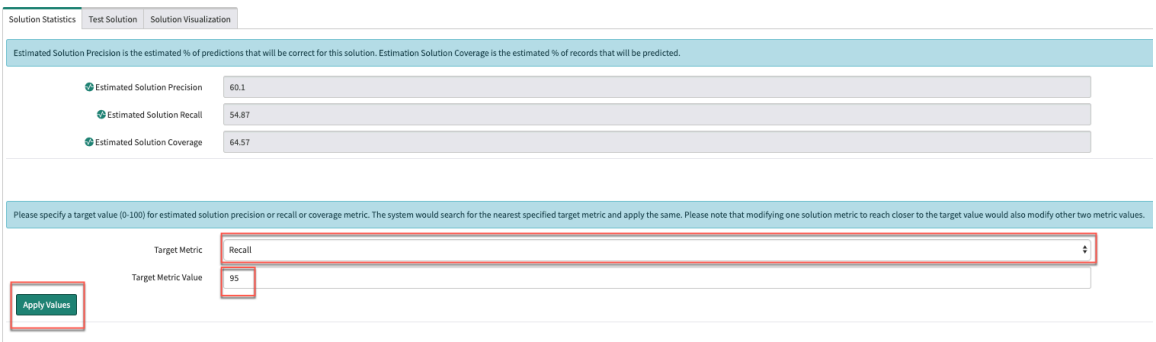


システムがソリューションに適用したメトリクス値を次の画像に示します。カバレッジメトリクスの値が 35.99 から 55.98 に増加しました。ただし、精度メトリックは 80.18 から 64.97 に低下しました。これは、カバレッジメトリクスを比較的高い値である 70 に設定したためか、トレーニング中のデータの分散方法が原因である可能性があります。



リコール構成の例

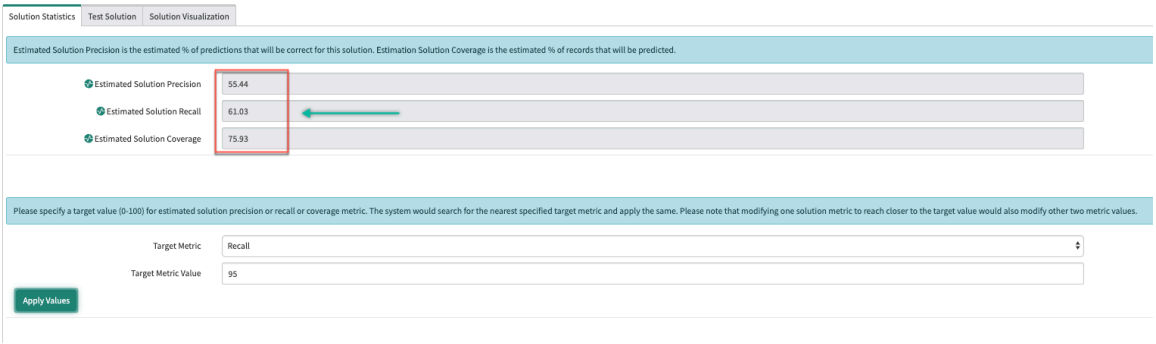
別のシナリオでは、受信メールがフィッシングかどうかの分類が、セキュリティ関連の機械学習ソリューションにおける重要なユースケースになる可能性があります。このような状況では、すべてのフィッシングを識別することが非常に重要であり、非フィッシングをフィッシングとして報告しても問題ない場合もあります。ただし、実際のフィッシングは非フィッシングとして分類されるべきではありません。このような状況では、リコールメトリクスの値を高くする必要があります。これにより、精度と範囲の割合が低くなる可能性があります。ここでは、リコールメトリクスを `95` に設定し、[値を適用] をクリックします。



ソリューションに適用されたメトリクス値は次のとおりです。リコールメトリクス値は 54.87 から 61.03 に増加しました。ただし、精度メトリックは 60.1 から 55.44 に低下しました。これは、リコールメトリクスを高い値である 95 に設定したことが原因である可能性があります。

自動翻訳

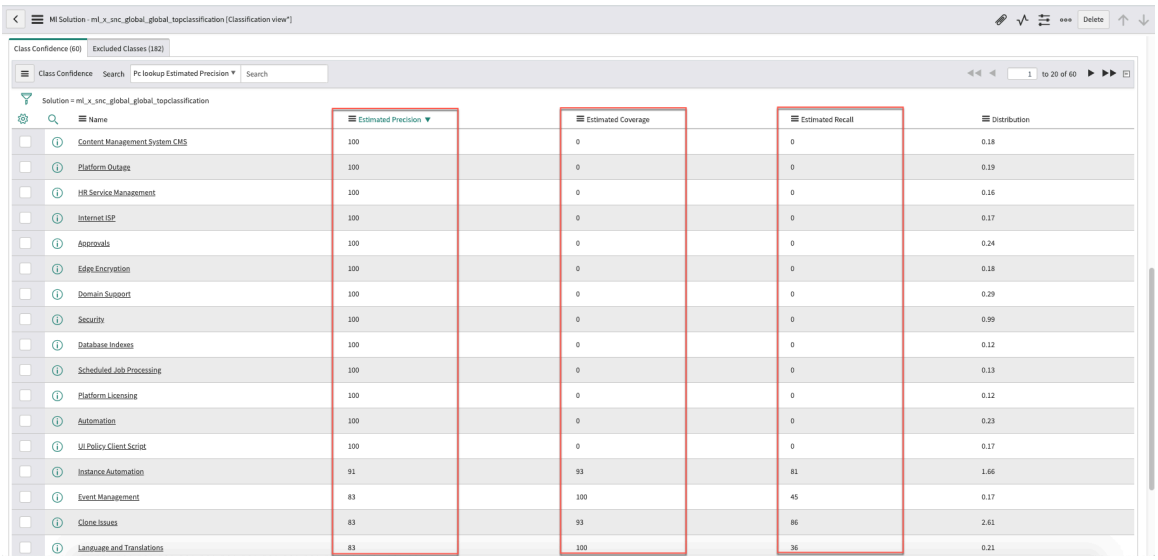
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソリューションに適用するソリューションメトリクス値のクラスレベルの結果

次の画像は、37 クラスのソリューションの精度、範囲、および再現率の統計に適用されたクラス レベルの結果の例を示しています。満足のいく結果が得られるまで、メトリクス値を変更し続けることができます。

[推定精度] 列でソート (z から a) すると、解の精度が最も高いクラスを確認できます。



分類に **Group By** を使用

API を使用して、[グループ] フィールドに基づいてトレーニング用の複数の分類ソリューションを同時に送信します。

オプションの [グループ] 機能を使用して、地理的な場所やドメインなど、複数のデータ領域をカバーする 1 つの分類ソリューションをトレーニングおよび管理できます。

Group By を使用してソリューションをトレーニングするには、API を使用して分類ソリューション定義を作成するときに groupby パラメーターを追加する必要があります。groupby パラメーターは、カテゴリ列のみを入力として受け入れ、各 groupby 値に属するデータのサブセットに対して個々のモデルが作成されます。機能に設定された最小レコード基準を満たす子ソリューションのみが作成されます。ここで、予測呼び出しは、予測入力に存在する [グループ] 値に基づいて、対応する [グループ] モデルにルーティングされます。バッチ予測はサポートされていません。

地理的な場所のグループ化シナリオ

たとえば、グローバル企業が受信レコードに分類ルーティングを使用し、米国とヨーロッパに 1 つずつサポートセンターがあるとします。ここでは、米国のインシデント用の 1 つのモデルとヨーロッパのインシデント用の別のモデルを持つ単一の分類ソリューションを作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このシナリオでは、次の 2 つの方法のいずれかを使用できます。

- 2 つの別々の ML 分類ソリューション定義を作成してトレーニングします。1 つは米国のインシデントのみでフィルターされ、もう 1 つはヨーロッパのインシデントのみでフィルタリングされます。
- groupby パラメーターを使用して国の場所の Groupby を作成し、すべての米国の定義で米国のモデルを作成し、すべてのヨーロッパの定義でヨーロッパのモデルを作成します。次に、インシデントに基づいて、正しい分類カテゴリを予測するために使用するモデルを識別します。

2 番目のアプローチには、使用するモデルが医療や財務などのさまざまな領域に存在する可能性があるという利点があります。このアプローチは、複数の国の場所またはドメインを維持する場合に特に役立ちます。

API を介したグループ化を使用したトレーニングと予測の使用例

```
var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
    'tableName' : 'incident',
    'fieldNames' :
 ['category','short_description','assignment_group','description','priori
ty'],
    'encodedQuery' : 'activeANYTHING'
});

var mySolution = new sn_ml.ClassificationSolution({
    'label': 'solution label',
    'dataset' : myIncidentData,
    'groupByFieldName' : 'assignment_group',
    'predictedFieldName': 'category',
    'inputFieldNames': ['short_description','description','priority']
});
//Add solution definition
var solution_gr = sn_ml.ClassificationSolutionStore.add(mySolution)
//Get existing solution
var my_unique_name = sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('solution
 name');
// submit training job
var solutionVersion = my_unique_name.submitTrainingJob();


// Run prediction
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("sys_id");
// configure optional parameters
var options = {};
options.apply_threshold = false;
var mlSolution = sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('solution name');
//Prediction using glide record
var results = mlSolution.getActiveVersion().predict(input, options);
//Prediction using map
var results =
 mlSolution.getActiveVersion().predict([{ 'short_description':
 input.short_description,

 'assignment_group': input.assignment_group }], options);
```

この例と機械学習 API の一般的な使用法に関する詳細なコンテキストについては、このページの「関連コンテンツ」セクションのリンクを参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

DatasetDefinition - グローバル

ClassificationSolution - グローバル

ClassificationSolutionStore - グローバル

ClassificationSolutionVersion - グローバル

モデルの説明可能性

モデルの説明可能性を使用して、モデルの予測に対する各入力フィールドの重要性を分析します。提供されたスクリプトを実行して、機能重要度のグラフィカル分析を含むワークフロー分類モデルを作成します。

始める前に

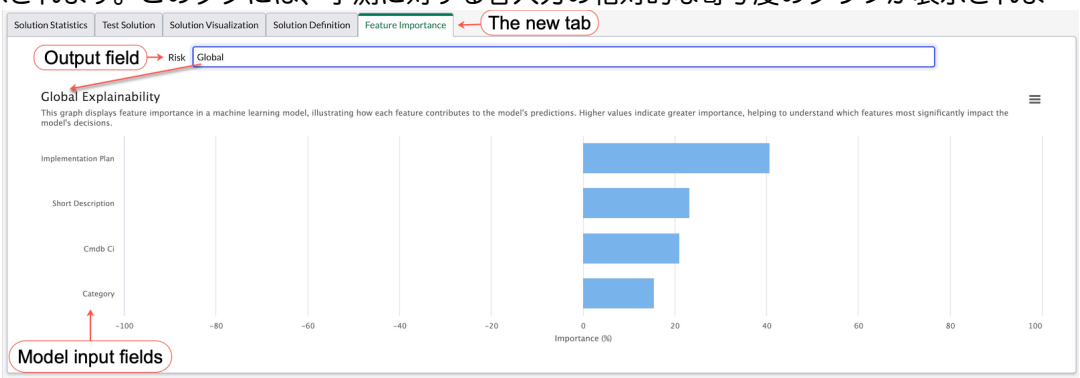
- この方法では、ソリューション定義フォームの代わりにワークフロー分類ソリューション API を使用して、説明可能性が追加されたモデルを作成してトレーニングします。ワークフロー分類モデルのコンポーネントについては、「分類ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。
- 必要なロール:ml_admin または admin

このタスクについて

モデルの説明可能性は、トレーニング中にモデルの予測に影響を与える主要な特徴を特定するのに役立ちます。

注: 説明可能性を既存のモデルに追加することはできません。この方法では、スクリプトを使用して新しいワークフロー分類モデルを作成し、トレーニングします。機械学習モデルのスクリプティングの詳細については、「機械学習 API の使用」を参照してください。

手順で提供されるスクリプトは、説明可能性が true に設定されたモデルを作成してトレーニングします。新しいモデルのソリューションフォームに、[特徴の重要度] というラベルの付いた追加のタブが表示されます。このタブには、予測に対する各入力の相対的な寄与度のグラフが表示されます。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スクリプト - バックグラウンド.
2. 計画したモデルに従って、次のスクリプトのクエリフィルターとテーブル、フィールド、および変数の値を編集し、スクリプトを実行します。

```
// Define a dataset
                    var myIncidentData = new sn_ml.DatasetDefinition({
                    'tableName': 'incident',
                    'fieldNames': ['category', 'short_description',
 'sys_updated_by', 'assignment_group', 'description', 'priority'],
                    'encodedQuery': 'activeANYTHING'
                    });
```

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

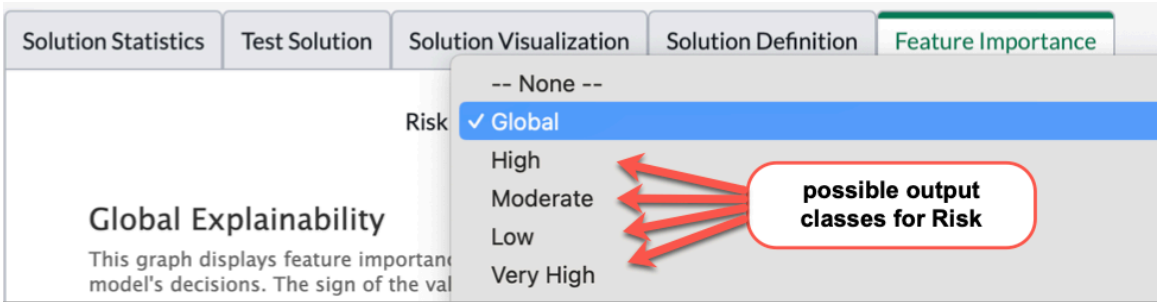
```
                    // Define a classification solution definition with
explainability field
                    var mySolution = new sn_ml.ClassificationSolution({
                    'label': 'model explainability',
                    'dataset': myIncidentData,
                    'predictedFieldName': 'category',
                    'inputFieldNames': ['short_description',
'priority'],
                    //setting the explainability field to true.
                    'explainability': true,
                    });

                    // Add solution to ClassificationSolutionStore
                    var my_unique_name =
sn_ml.ClassificationSolutionStore.add(mySolution)

                    // Submit training job
                    var solutionVersion =
mySolution.submitTrainingJob();
```

注: このスクリプトのクエリフィルターとテーブル、フィールド、および変数の名前を独自の値に置き換えます。

3. ML ソリューション [ml_solution] テーブルに移動し、[アクティブ] フィールドの値を選択して新しいソリューションを開きます。
4. ソリューションフォームで、[機能の重要性 **(Feature Importance)]** タブを見つけて開きます。[機能重要度] にドロップダウンリストが表示されます。



- このドロップダウンリストのラベルは出力 (予測) フィールドの名前であるため、ラベルは各モデルに固有です。
- ドロップダウンリストの値は、出力フィールドの可能な出力クラスと、[グローバル] オプションです。

リストオプション	説明
グローバル	すべての予測でモデルがどのように動作するかの概要を示し、各入力特徴の全体的な影響を示します。 [グローバル] を選択すると、すべての出力クラス全体の予測に対する入力フィールドの重要性のグラフが開きます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

リストオプション	説明
出力クラス値	選択したクラスのモデルの動作のみに焦点を当て、入力特徴がクラスごとに予測にどのように寄与するかを示します。 可能な出力クラスのいずれかを選択して、そのクラスの予測に対する入力フィールドの重要性のグラフを開きます。

5. ドロップダウンリストから値を選択して、グラフィカル分析を開始します。
   Y 軸は入力フィールドを示し、X 軸は各入力の数値的重要度を示します。グラフのラベルには、ドロップダウンリストで選択したクラスが反映されます。



   バーにカーソルを合わせると、各入力の重要性のパーセンテージが表示されます。

タスクの結果
正の重要度の値は、入力フィールドがモデルの予測スコアを増加させることを意味します。負の値は、入力フィールドが予測スコアを減少させることを意味します。

次のタスク
重要度スコアの低い入力フィールドを削除することを検討してください。変更後にモデルを再トレーニングします。

類似性ソリューションの作成とトレーニング

機械学習ソリューションを作成およびトレーニングして、既存のレコードを新しい類似のレコードに収集して比較します。たとえば、オープンインシデントレコード内のテキストを解決済みインシデントレコードと比較して、その解決方法を再利用できます。

始める前に
- 必要なロール:ml_admin または admin

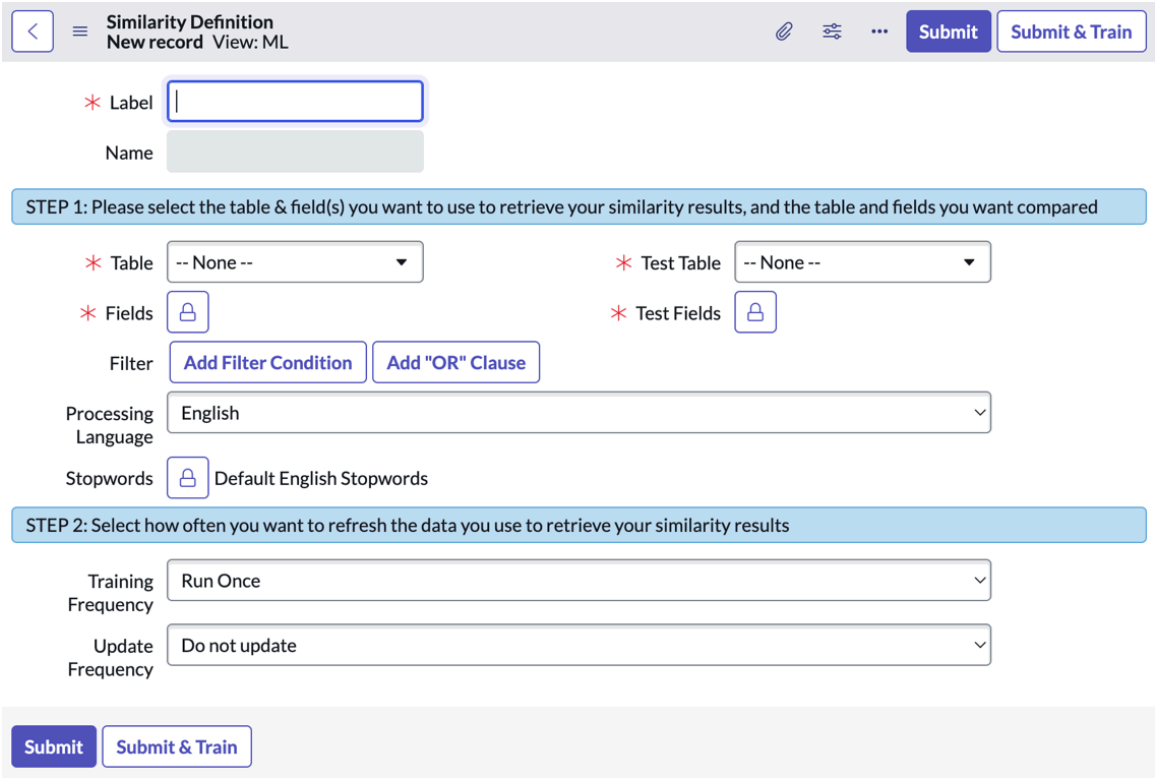
> **重要:** Yokohamaリリースでは、分類、クラスタリング、および類似性フレームワークのモデルでワークフローソリューションが使用されます。これらは事前にトレーニングされているため、新しいソリューションにワードコーパスは必要ありません。ワードコーパスを含む既存のソリューションがアップグレード後に再トレーニングされると、それらはワークフローソリューションになり、[ワードコーパス] フィールドはフォームから削除されます。

このタスクについて
システムでは、事前トレーニング済みでワードコーパスを作成する必要のないワークフロー類似性ソリューションを使用します。類似性に基づいて既存のレコードを比較した後、ソリューションで確認および再利用できる例が推奨されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

暗号化されたトレーニングデータの使用については、「予測インテリジェンスでのデータ暗号化」を参照してください。

この手順例では、インシデントレコードの作業を行っており、インシデントの解決策を提供できる関連するナレッジベース記事を見つけたいと考えています。



手順

1. ソリューション定義に必要なアプリケーションスコープ内にいることを確認し、次に移動します: **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. [類似性定義] リストで、[新規] を選択します。
3. [類似性定義] フォームで、フィールドに入力します。

フィールド	値
ラベル	類似性ソリューションの一意の名前を入力します。たとえば、このユースケースでは、「ナレッジ記事をインシデントと照合 (Match Knowledge Articles to Incidents)」と入力します。
[Name (名前)]	ラベル値を入力すると、ラベル値に基づいてシステムによって割り当てられた読み取り専用の名前がこのフィールドに自動的に入力されます。
ワードコーパス	従来の類似性ソリューションを使用している場合は、定義フォームの [ワードコーパス] フィールドから関連するワードコーパスを選択できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	注: Washington DC リリース以降は、代わりに事前トレーニング済みモデルが使用されるため、ワードコーパスは必要ありません。[ワードコーパス] フィールドは、事前トレーニング済みモデルの定義フォームには表示されません。 詳細については、「ワードコーパスの作成」を参照してください。
テーブル	[テーブル] フィールドで、情報源として使用するレコードを含むテーブルを選択します。このユースケースでは、ナレッジ **[kb_knowledge]** テーブルを選択します。これは、その KB 記事レコードが、解決しようとしているインシデントに関連する情報を提供する可能性があるためです。 テーブルをアサインすると、フィルター条件に一致するレコードの数がリンクとして表示されます。レコードリストを表示するには、このリンクを選択します。
テストテーブル	[テストテーブル] フィールドで、ターゲットとするレコードを含むテーブルを選択します。このユースケースでは、解決しようとしているインシデントレコードを含む [インシデント **[incident]]** テーブルを選択します。 注: [テーブル] と [テストテーブル] に同じテーブルを選択できます。たとえば、フィルター条件を使用すると、最近のインシデントから情報を収集して、ターゲットインシデントに役立てることができます。
フィールド	選択したテーブルについて、解決しようとしているインシデントに関連する単語やフレーズが含まれている可能性が高いフィールドに入力します。この例では、[簡単な説明] と [記事本文] を選択します。記事本文を含めることで、主題に関する有益な詳細をキャプチャできる可能性が高くなります。 注: [ジャーナルタイプ] は、サポートされているデータタイプではありません。
テストフィールド	選択したテストテーブルについて、他の類似レコードと比較するテキストを含むフィールドに入力します。この例では、解決しようとしているインシデントレコードの 簡単な説明 を選択します。
フィルター	[フィルター条件の追加] を選択して、情報ソースとして使用しているフィールドレコードに条件を適用します。たとえば、このユースケースでは、公開された KB 記事のみを取得するように **workflow_state=published** 条件を設定できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	注: スクリプトインクルードをフィルターから参照することはできません。代替手段としてデータベースビューを使用します。
処理言語	トレーニングするデータセットの主要言語を選択します。また、デフォルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。たとえば、イタリア語を選択した場合、システムはイタリア語と英語の両方でデータを処理します。 注: 「処理」という用語は、単語のトークン化、ストップワードの削除、語幹の解釈など、ソリューションのトレーニングの一環として使用される言語固有の手順の一部を示します。
ストップワード	処理言語を選択すると、その言語のストップワードリストが自動的に追加されます。たとえば、処理言語がイタリア語の場合、[デフォルトのイタリア語のストップワード **(Default Italian Stopwords)**] リストが表示されます。デフォルトの英語のストップワードリストも含まれています。 カスタムストップワードリストを使用するには、ロックアイコン (を選択し、[ターゲットレコードを選択] フィールドで検索します。
トレーニング頻度	再トレーニング頻度を選択します。使用可能なオプションの範囲は、[**1** 回実行] から **[180** 日ごと] までです。
更新頻度	類似結果を取得するために使用するデータをリフレッシュする頻度を選択します。 たとえば、新しいインシデントは通常 1 日を通して頻繁に発生するため、オープンインシデントレコードの場合、更新頻度として **[15** 分ごと] を選択できます。この頻度によって、新たにオープンされたレコードが更新の対象になる可能性が高まります。 ただし、通常は頻繁に作成されない KB ナレッジ記事レコードの場合は、[**1** 日ごと] などの頻度の低い更新頻度を選択できます。 注: ML スケジューラーは、インスタンスがコミットできるトレーニングの数を、24 時間枠でインスタンスあたり 50 件の新規 ML トレーニング要求に制限します。これにより、スケジュール済みの再トレーニング要求は除外されます。さらに、新規トレーニング要求が 24 時間枠内で 50 件を超えた場合でも、クラスタリングと類似性の更新もこの制限から除外されます。

4. ソリューション定義に適したボタンを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
保存	後で戻ることができるように、ソリューション定義レコードを保存します。
送信 & トレーニング	ソリューション定義レコードを作成して、それをトレーニングします。

5. トレーニング用にソリューションを送信した場合は、[トレーニングのアクティブ化] ウィンドウで **[OK]** を選択して確定します。

タスクの結果

- 最寄りのトレーニングサービスで処理するソリューション定義がスケジュールされ、トレーニングが完了すると通知が送信されます。通知には、トレーニング中に発生した可能性のあるすべてのエラーが含まれています。他のユーザーは、予測インテリジェンス 通知カテゴリに登録できます。
- トレーニングされたソリューションによって [ソリューション定義] フォームが更新され、類似度によってランク付けされたソリューション例のペアが提供されます。
- トレーニングが完了すると、ソリューションは添付ファイルレコードとしてアップロードされます。

次のタスク

ソリューション定義フォームの [関連リンク] セクションで、トレーニング済み類似ソリューションの例を確認します。「ソリューションの類似例を確認する」を参照してください。

類似スコアしきい値を更新する

システムによって提供される類似例を確認した後、ソリューションによって返される結果を多かれ少なかれ類似させたい場合は、ソリューションの類似スコアしきい値を更新します。

始める前に

- 類似の例の類似スコアしきい値を確認します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション.
2. [ML ソリューション] リストで、ソリューションを見つけて [参照ルックアップ] アイコン (i) をクリックします。
3. [レコードを開く] をクリックします。
4. [ソリューション統計情報] セクションで、[類似スコアのしきい値] フィールドにパーセンテージを表す新しい数値を入力します。
   たとえば、現在のスコアが 80 であるとします。類似例のレビューで、予測範囲を下げる代わりに類似性の推奨事項の精度を高めることにしました。そのため、より高いスコアの 90 を入力してフィールドを更新します。
5. コンテキストメニューで、[**Save**] をクリックします。
   ソリューションでは、割り当てた新しいしきい値が使用され、スコアが 90 を超える類似の結果が返されます。スコアを 90 に設定すると、ワードコーパスの類似度は 91% 以上の確率で正確になります。

クラスタリングソリューションを作成してトレーニングする

類似レコードをまとめて処理したり、パターンを判断したりできるように、当該レコードをクラスターにグループ化します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:ml_admin または admin

重要: Yokohamaリリースでは、分類、クラスタリング、および類似性フレームワークのモデルでワークフローソリューションが使用されます。これらは事前にトレーニングされているため、新しいソリューションにワードコーパスは必要ありません。ワードコーパスを含む既存のソリューションがアップグレード後に再トレーニングされると、それらはワークフローソリューションになり、[ワードコーパス] フィールドはフォームから削除されます。

このタスクについて
この手順例では、最近発生した類似のインシデントをグループ化して重大なインシデントを識別するソリューションを作成します。

暗号化されたトレーニングデータの使用については、「予測インテリジェンスでのデータ暗号化」を参照してください。

手順

1. ソリューション定義に必要なアプリケーションスコープ内にいることを確認し、次に移動します: **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.
2. [クラスタリング定義] リストで、[新規] を選択します。
3. [クラスタリング定義] フォームで、次のガイダンスに従ってフィールドを設定します。

フィールド	値
ラベル	クラスタリングソリューションの一意の名前を入力します。たとえば、このユースケースでは、「グループインシデントから重大なインシデント」と入力します。
[Name (名前)]	ソリューションラベルを入力すると、ラベル値に基づいてシステムによってアサインされた名前がこのフィールドに自動的に入力されます。
ワードコーパス	従来のクラスタリングソリューションを使用している場合は、定義フォームの [ワードコーパス] フィールドから関連するワードコーパスを選択できます。 **注:** Yokohamaリリースでは、事前トレーニング済みモデルが代わりに使用されるため、ワードコーパスは必要ありません。[ワードコーパス] フィールドは、事前トレーニング済みモデルの定義フォームには表示されません。 詳細については、「ワードコーパスの作成」を参照してください。
テーブル	1 つ以上のクラスターにグループ化するレコードタイプを含むテーブルを選択します。たとえば、このユースケースでは、重大なインシデント分析のためにグループ化するインシデントレコードが含まれている [インシデント **[incident]**] テーブルを選択します。 テーブル値をアサインすると、現在の条件に一致するレコード件数を示すリンクがフォームに表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
フィールド	クラスターに含めるレコードをシステムで特定できるように、1 つ以上の入力フィールドタイプを選択します。このユースケースでは、[簡単な説明] を使用します。 **注:** 参照タイプフィールドを選択するときは、フィールドのプロパティ名にドット連結する必要があります。たとえば、`short_description` の代わりに「`short_description.name`」と入力します。
グループ化を使用	このチェックボックスは、クラスターを作成する前に入力レコードをフィールドでグループ化する場合にのみオンにします。 **注:** このチェックボックスをオンにすると、[グループ] リストがアクティブ化されます。チェックボックスを選択しない場合、すべてのテーブルレコードがクラスターにグループ化されます。
グループごと	このリストからの値の選択はオプションです。これを行うと、選択に基づいてレコードが 1 つ以上のクラスターにグループ化されます。
純度フィールド	システムがクラスター内で最も頻度が高いクラスを特定するために役立つフィールドをテーブルから選択します。この例のシナリオでは、[カテゴリ] と [アサイン先グループ名 **(Assignment group.Name)]** を選択します。
フィルター	クラスターに含める入力フィールドレコードに適用するフィルター条件を追加します。クラスタリングのレコード数は 30 万レコードに制限されます。 **注:** スクリプトインクルードをフィルターから参照することはできません。代替手段としてデータベースビューを使用します。
処理言語	ソリューション定義でトレーニングしているデータセットの主要言語を選択します。データセットの言語がイタリア語の場合は、[イタリア語] を選択します。また、デフォルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。たとえば、イタリア語を選択した場合、システムは英語とイタリア語の両方でデータを処理します。 **注:** 「処理」という用語は、ソリューションのトレーニングの一環として使用される言語固有の手順の一部を示します。たとえば、単語のトークン化、ストップワードの削除、語幹の解釈などがあります。
ストップワード	処理言語を選択すると、その言語でストップワードリストが自動的に追加されます。たとえば、処理言語がイタリア語の場合、[デフォルトのイタリア語のストップワード **(Default Italian Stopwords)**] リストが表示されます。デフォルトの英語のストップワードリストも含まれています。カスタムストップワードリストを作成する場合は、[ストップワード] フィールドから選択してソリューションに追加できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
更新頻度	新規または更新されたレコードでシステムがクラスターを更新する頻度を選択します。 注: クラスタリングソリューションで設定した [グループ] フィルター条件に基づいてレコードがプルされます。 たとえば、**[15** 分ごと] を選択すると、その時間枠内に到着したレコードが識別されます。既存のクラスターへのアサインが試行されるか、可能であれば新しいクラスターが作成されます。 この例では、20 件の新しいレコードが到着します。これらのレコードのうち 16 件が既存のクラスターになり、4 件がそうでない場合、システムは 4 つの未アサインレコードに対して新しいクラスターを形成します。 クラスターをまったく更新しないこともできます。
トレーニング頻度	システムが以前のすべてのクラスター結果を破棄し、最初からクラスターを再作成する頻度を選択します。オプションの範囲は、毎日、3 日ごと、7 日ごと、または毎月です。クラスターを 1 回トレーニングすることもできます。 注: ML スケジューラーは、インスタンスがコミットできるトレーニングの数を、24 時間枠でインスタンスあたり 50 件の新規 ML トレーニング要求に制限します。この制限により、スケジュール済みの再トレーニング要求は除外されます。さらに、新規トレーニング要求が 24 時間枠内で 50 件を超えた場合でも、クラスタリングと類似性の更新もこの制限から除外されます。
クラスターあたりの最小レコード数	クラスターに含めるレコードの最小数を入力します。入力する値は 2 以上でなければなりません。

4. ソリューション定義に適切なコンテキストメニューオプションまたはボタンを選択します。

オプション	説明
[保存] または [保存してトレーニング]	ソリューション定義レコードを保存して、後でそれに戻ることができるようにするか、または保存して、それをトレーニング用に送信します。
[送信] または [送信してトレーニング]	ソリューション定義レコードを作成して、それを送信するか、または送信してトレーニングします。

5. トレーニング用にソリューションを送信した場合は、[トレーニングのアクティブ化] ウィンドウで **[OK]** をクリックして確定します。

タスクの結果

ソリューションがトレーニングされ、トレーニングが完了するとリアルタイムで通知されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

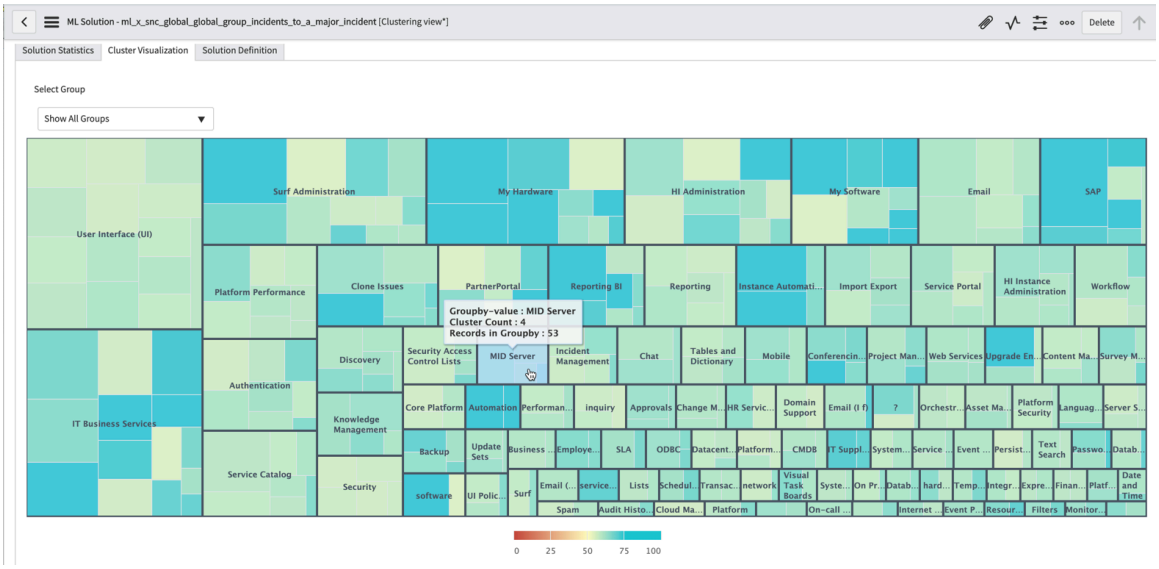
自動翻訳

[クラスタリングソリューション定義] フォームの [クラスターのビジュアル化] タブにツリーマッププロットが表示されます。プロットには、ソリューションに対してシステムが形成したクラスターが左上隅から右下隅に降順に表示されます。ツリーマップノードのラベルはクラスターの概念であり、クラスターの上位の単語によって作成され、各クラスターで最も目立つコンテンツを確認するのに役立ちます。

注: クラスターの概念では、処理された入力データの上位の単語が、データの言語で表示されます。言語によっては、クラスターの概念が単語を語根形式で表示し、切り捨てて表示される場合があります。

そのノードのクラスターの品質に応じて、各ノードが赤から緑に色分けされます。[グループを選択] フィルターは、[クラスタリング定義] フォームで [グループを使用] および [グループ] フィールドを選択した場合にのみ表示されます。クラスターをポイントすると、その Groupby 値、クラスター数、および Groupby のレコードを確認できます。

クラスターのビジュアル化例



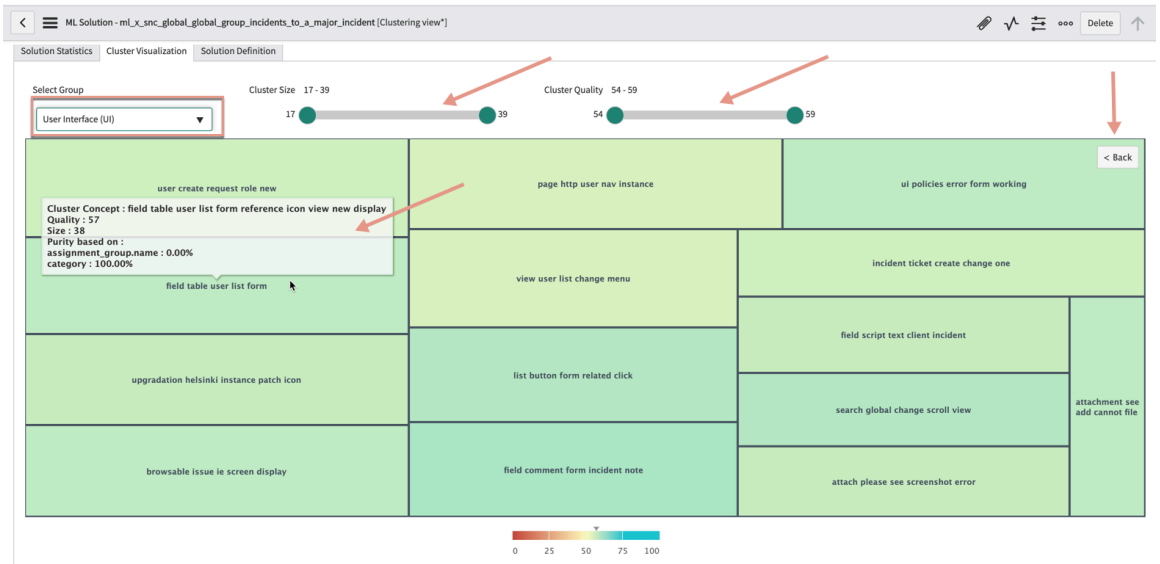
クラスターを開くには、クラスターをクリックするか、[すべてのグループを表示] フィルターから選択します。

クラスターのグループ内で、クラスターサイズとクラスター品質に対して 2 つのスライドバーをそれぞれ使用して、結果をさらにフィルタリングできます。[戻る] ボタンをクリックして後方に移動することもできます。このボタンは、クラスタリング階層が存在する場合にのみ表示されます。このレベルでクラスターをポイントすると、[純度] フィールドのパーセンタイル値が [クラスターの概念]、[品質]、および [サイズ] の値とともに表示されます。

自動翻訳

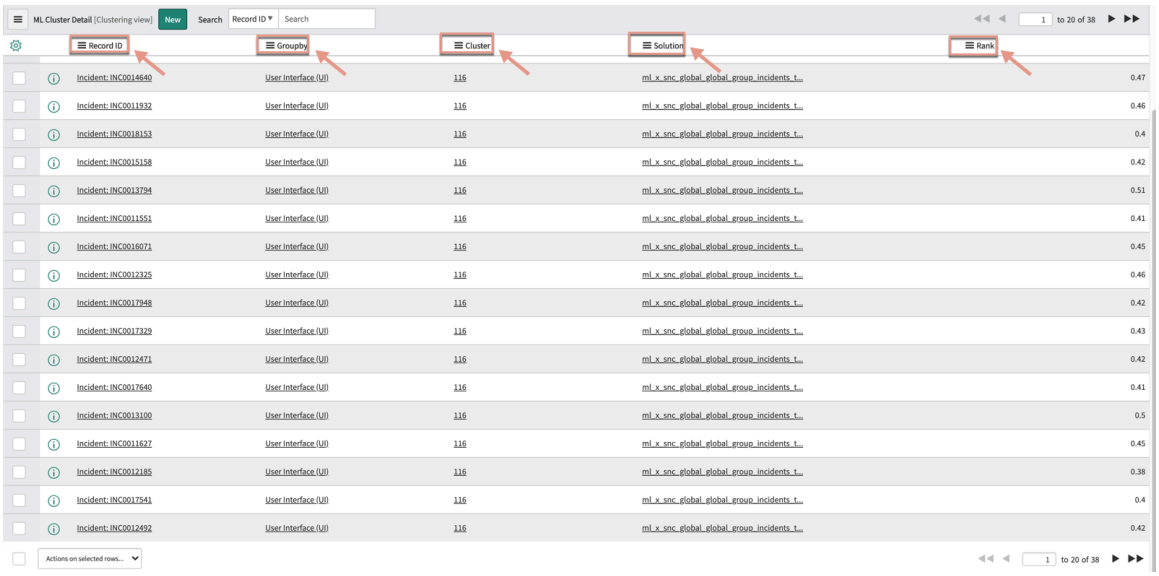
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターグループ例



クラスターノードをクリックすると、その ML クラスターの詳細がリストビュー形式で表示されます。

クラスターの詳細ページ



次のタスク

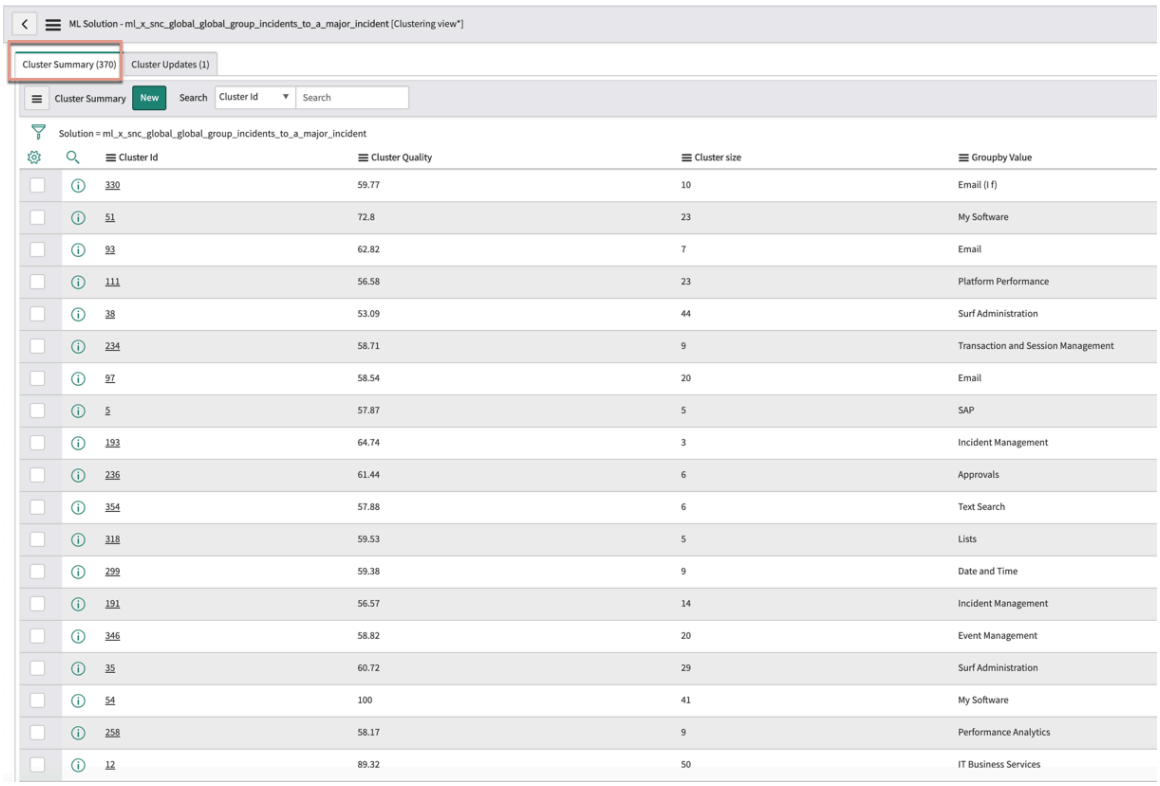
- ソリューションの [ソリューション統計情報] タブでソリューションの出力を確認します。クラスタリングソリューションの結果に満足できない場合は、ソリューションに設定した値を再構成し、結果に満足するまで再トレーニングします。

- [クラスターサマリ] タブで、クラスター ID、品質サイズ、および Groupby 値のリストビューを確認します。

自動翻訳

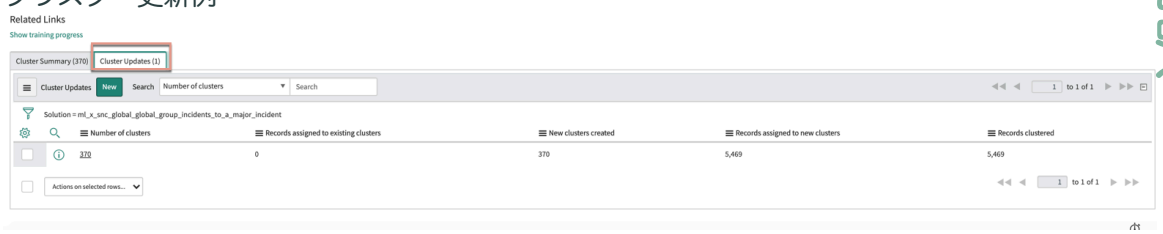
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラスターサマリ例



- [クラスター更新] タブで、ソリューション定義で設定した各クラスター更新間隔について、クラスターに対する変更の概要を確認します。

クラスター更新例



クラスターに名前を割り当てる

クラスターを識別して整理しやすい名前を付けます。

始める前に

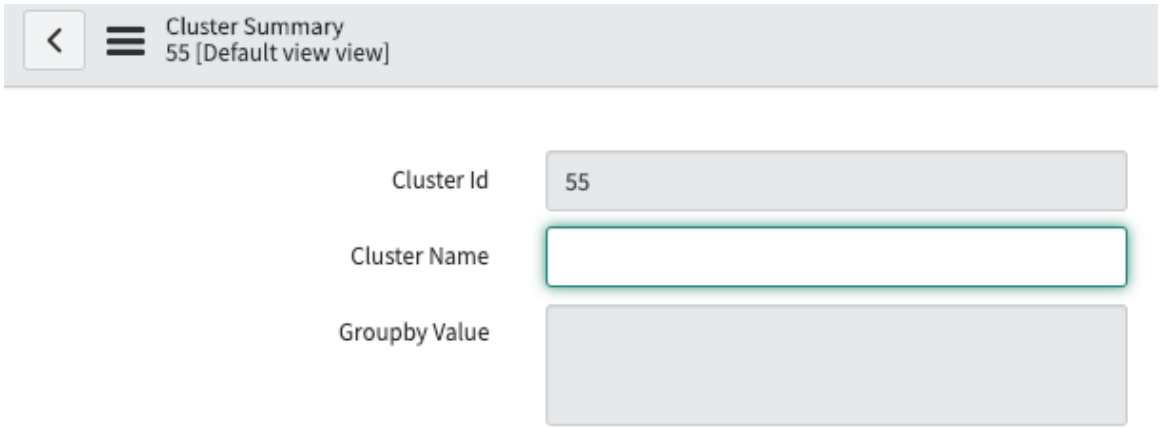
- クラスタリングソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション.
2. ソリューションを選択します。
3. [クラスターサマリー] 関連リストで、クラスター ID を選択します。
4. [クラスター名] フィールドに名前を入力します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [**Update** (更新)] を選択します。

クラスターの代表的なサンプルを生成

クラスターの最も代表的な上位 25 件のレコードを表示します。

始める前に

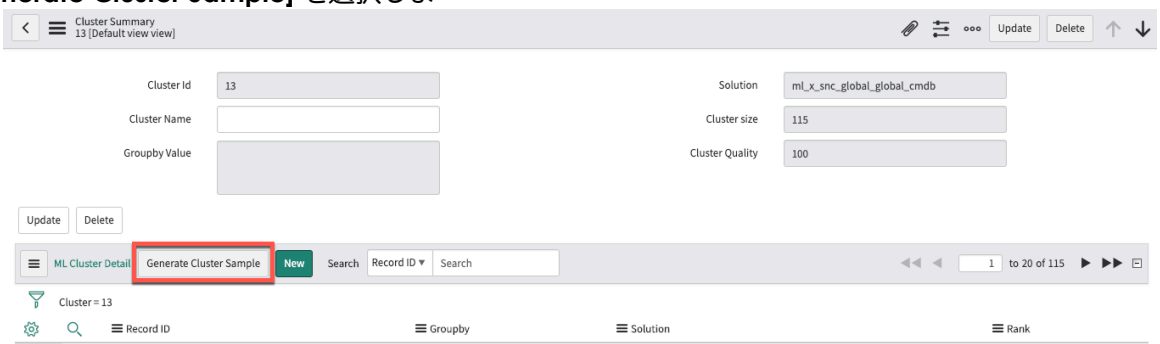
- クラスタリングソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

クラスターのサンプルを生成すると、そのクラスターのレコードがフィルタリングされます。サンプルの生成は、25 を超えるレコードを含むクラスターで機能します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション.
2. クラスタリングソリューションを選択します。
3. [クラスターサマリー] 関連リストで、クラスター ID を選択します。
4. **[Generate Cluster Sample]** を選択しま



す。

タスクの結果

[ML クラスターの詳細] リストには、クラスター内の上位 25 件のレコードが表示されます。クラスターサンプルは、クラスターの可視化にも適用されます。

クラスタリングソリューションに純度を適用する

クラスタリングソリューションに純度を適用して、クラスターのインサイトを一目で確認できます。自動純度を使用して、定義を指定せずにインサイトを表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- クラスタリング定義ソリューションを作成するか、既存のソリューションを使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

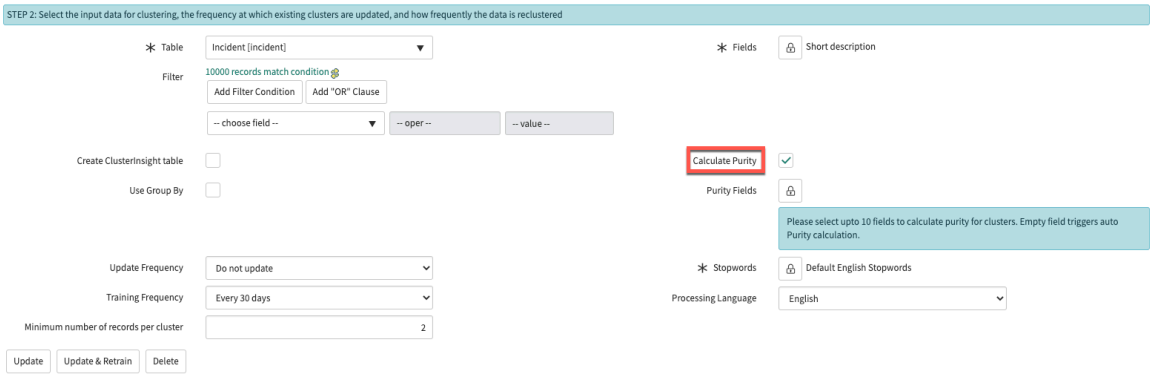
このタスクについて

純度を使用すると、クラスターを表示するときに表示するインサイトを選択できます。詳細については、「https://www.servicenow.com/community/intelligence-ml-articles/predictive-intelligence-using-the-cluster-insight-table-to/ta-p/2301006」を参照してください。

自動純度を適用すると、分布の有意性に基づいて表示するインサイトが自動的に決定されます。デフォルトでは、自動純度によって [アサイン先グループ]、[カテゴリ]、および [優先度] が選択されます。デフォルトの自動純度の選択を変更するには、ml_autopurity_configテーブルを編集します。

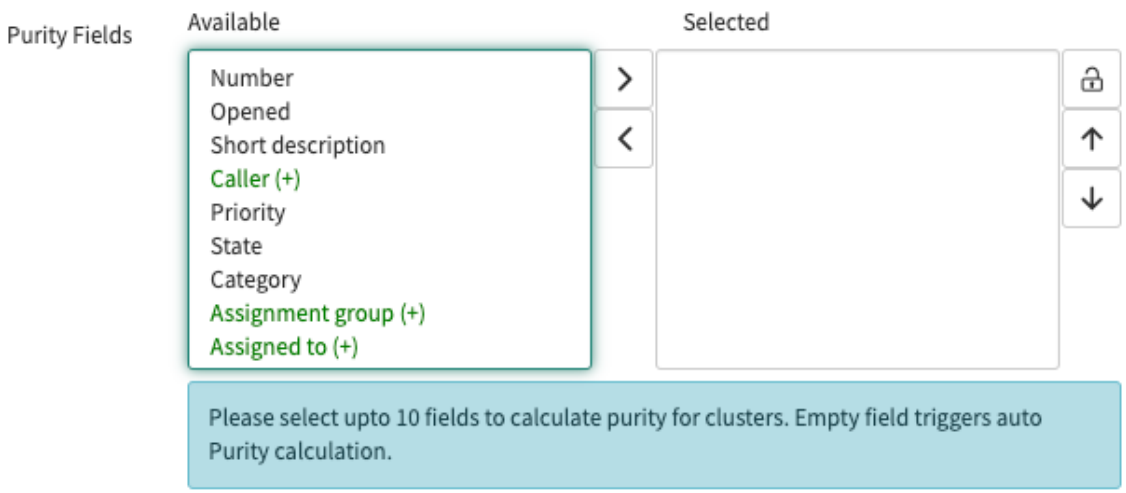
手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション定義.
2. ソリューション定義を選択するか、新しい定義を作成します。
3. ステップ **2** で、純度の計算 チェック ボックスをオンにします。



4. オプション: 純度ロックアイコンを選択し、インサイトを選択します。

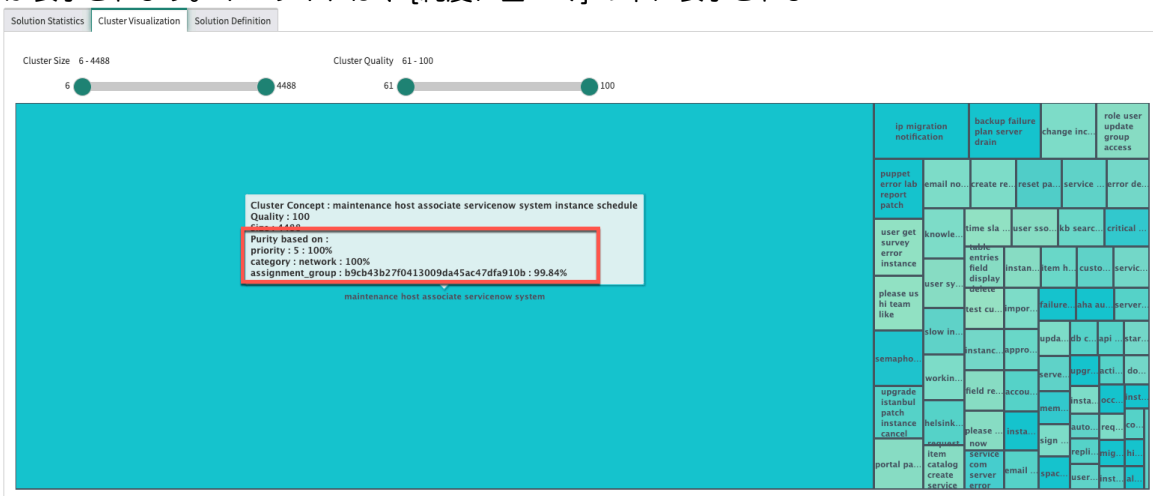
   注: 純度フィールドを空のままにすると、自動純度がトリガーされます。



5. [更新] または [保存] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
クラスターの可視化を表示すると、クラスターをポイントするとインサイトが表示されます。インサイトは 、[純度に基づく] の下に表示されます。



データソースを使用したクラスターの分析

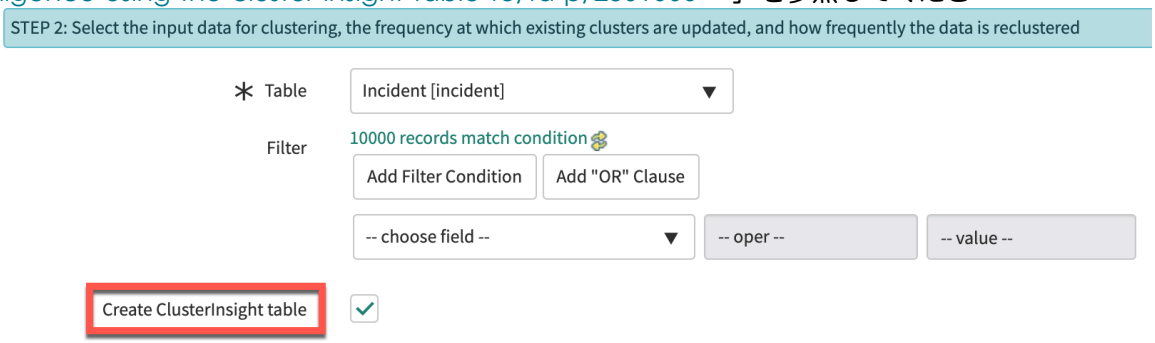
ソーステーブルで利用可能な任意のディメンションでクラスターを分析します。

始める前に

- クラスタリングソリューション定義を作成するか、既存の定義を使用します。
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

クラスターインサイトテーブルにアクセスして、データソースを使用してクラスターを分析します。ソリューションを作成するとき、または既存のソリューションを編集するときに、クラスターインサイトテーブルを追加できます。詳細については、「https://www.servicenow.com/community/intelligence-ml-articles/predictive-intelligence-using-the-cluster-insight-table-to/ta-p/2301006 」を参照してください。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > クラスタリング > ソリューション.
2. ソリューションを選択します。
3. [クラスターの可視化] で、クラスターを選択します。
4. クラスターインサイトテーブルで、列ヘッダーの横にあるリストメニューアイコン ( )を選択し、[棒グラフ] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
[レポートを作成] ページには、選択したインサイトデータが棒グラフで表示されます。この方法は、さまざまなインサイトとテーブルで、さまざまな可視化で使用できます。

回帰ソリューションの作成とトレーニング

履歴データを使用してソリューションをトレーニングし、温度や株価などの数値出力を予測します。たとえば、回帰を使用して、インシデントやケースの解決にかかる時間を見積もることができます。

始める前に

重要: 新しい回帰ソリューションのサポートは、 Yokohama リリースで廃止されました。既存のソリューションの編集とトレーニングは引き続きできますが、新しいソリューションを作成することはできません。

必要なロール:ml_admin または admin

このタスクについて

回帰ソリューションを使用すると、ポイント推定と予測間隔を予測できます。結果のモデルは、次の統計を提供します。

- 平均絶対誤差 (MAE) は、実際の値からの予測値の平均偏差を測定します。このメトリクスは、そのスケールがターゲットと同じであるため、理解しやすいため便利です。ただし、MAEは制限がないため、モデル間で比較することは困難です。
- 対称平均絶対パーセント誤差 (SMAPE)は、予測値と実際偏差のパーセンテージ値です。SMAPE は、値の範囲が 0 ～ 100 である点を除いて、MAE のバインド バージョンです。SMAPE 値が低いほど、モデルの精度は高くなります。
- 範囲の精度 は、予測範囲間の実際の値の割合です。つまり、予測の上限と下限の範囲です。たとえば、5 つの実績のうち 4 つが予測範囲内にある場合、範囲の精度は 80% です。
- 平均間隔幅 は、予測の上限と下限の差です。このメトリクスは、間隔がどの程度有益であるかを説明します。平均幅が小さいほど、モデルは優れています

予測を行う場合、回帰では、予測間隔 (範囲) の信頼性レベルを指定することもできます。

この手順例では、回帰ソリューション定義を作成してトレーニングし、クラウドデータベースの復元にかかる時間を予測します。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 回帰 > ソリューション定義.
2. 「回帰定義」リストで、「 新規」をクリックします。
3. [回帰定義] フォームで、次のガイダンスに従ってこれらのフィールドを設定します。

フィールド	値
ラベル	回帰ソリューションの一意の名前を入力します。たとえば、このユースケースでは、「 `DB 復元の回帰テスト`」と入力できます。
[Name (名前)]	ソリューションラベル値を入力すると、このフィールドには、ラベル値に類似したシステムアサインされた名前が自動的に入力されます。
ワードコーパス	ソリューションに関連する既存のワードコーパスを選択します。たとえば、このユースケースでは、「 過去 **3** か月間

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
	のインシデント」などのタイトルを持つワードコーパスを選択します。 関連するワードコーパスがない場合は、最初に ワードコーパスを作成する 手順に従います。ワードコーパスが完成したら、[回帰定義] フォームの [ワードコーパス] フィールドでそれを選択できます。 ただし、ワードコーパスの選択はオプションです。入力データにテキスト列があり、ワードコーパスを選択しない場合、回帰ソリューションでは、入力データのテキスト列を使用して新しいワードコーパスモデルのトレーニングが行われます。結果のワードコーパスは、他の回帰ソリューションや他の ML ソリューションタイプで再利用できます。 **注:** Utah 以降に予測インテリジェンスをアクティブ化したユーザーの場合、ワードコーパスの代わりに事前トレーニング済みモデルが使用されます。
テーブル	回帰を適用するデータベーステーブルを選択します。テーブルには、システムがデータベースの復元にかかる時間を予測するために使用できる履歴レコードが含まれている必要があります。
出力フィールド	予測モデルで値を設定するフィールドを選択します。 一般に、適切な出力フィールドは、数値、整数、または浮動小数点フィールドです。 この例のシナリオでは、[期間] フィールドを使用して時間の長さを測定します。出力フィールドでは数値を生成する必要があります。
Fields	回帰によりトレーニングするレコードをシステムで特定できるように、1 つ以上のフィールドタイプを選択します。この例のシナリオでは、[簡単な説明]、[ソースデータセンター]、[ターゲットデータセンター]、および [データベースサイズ] を使用します。(short_description、Sourcedc、Targetdc、および Dbsize)。入力フィールドタイプは、文字列、公称値、または数値です。
フィルター	(オプション)回帰を使用してトレーニングする出力フィールドレコードにフィルター条件を追加します。 **注:** ◦ 回帰トレーニングの最小レコード数は 10,000 レコードです。 ◦ 回帰トレーニングの最大レコード数は 30 万レコードです。
処理言語	ソリューション定義でトレーニングするデータセットのプライマリ言語を選択します。データセットの言語がイタリア語の場合は、[イタリア語] を選択します。また、デフォ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	ルトでは、すべてのデータセットに英語の処理が適用されます。たとえば、イタリア語を選択した場合、システムは英語とイタリア語の両方でデータを処理します。 注: 「処理」という用語は、ソリューションのトレーニングの一環として使用される言語固有の手順の一部を示します。これらの手順には、単語のトークン化、ストップワードの削除、語幹の解釈などが含まれます。
ストップワード	処理言語を選択した場合、システムは同じ言語を使用しているストップワードリストを自動的に追加します。たとえば、処理言語がイタリア語の場合、[デフォルトのイタリア語のストップワード] リストが表示されます。選択内容には、[デフォルトの英語のストップワード **(Default English Stopwords**)] リストも表示されます。カスタムストップワードリストを作成する場合は、[ストップワード] フィールドから選択して、それをソリューションに追加します。このシナリオでは、[デフォルトの英語のストップワード **(Default English Stopwords)]** リストを使用します。
トレーニング頻度	[フィルター] と一致するレコードに基づいて、システムがソリューションを再生成する頻度を選択します。次の選択肢があります。 ◦ 1 回実行 ◦ 30 日ごと ◦ 60 日ごと ◦ 90 日ごと ◦ 120 日ごと ◦ 180 日ごと このシナリオでは、[30 日ごと] を選択します。 デフォルトでは、システムはトレーニングを 1 回実行します。このプラクティスにより、許容される範囲と精度の値が提供されるまで、必要に応じてソリューション定義をレビューして更新する時間が与えられます。 注: ◦ 回帰ソリューション トレーニングに必要なレコードの最小数は 10,000 に設定されています。 ◦ ML スケジューラーは、インスタンスがコミットできるトレーニングの数を、24 時間枠でインスタンスあたり 50 件の新規 ML トレーニング要求に制限します。この制限では、再トレーニングのスケジュール設定済み要求は除外されます。さらに、新規トレーニング要求が 24 時間枠内で 50 件を超えた場合でも、クラスタリングと類似性の更新もこの制限から除外されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. ソリューション定義に該当するコンテキストメニューのオプションまたはボタンをクリックします。

オプション	説明
[保存] または [保存してトレーニング]	ソリューション定義レコードを保存して、後でそれに戻ることができるようにするか、または保存して、それをトレーニング用に送信します。
[送信] または [送信してトレーニング]	ソリューション定義レコードを作成して、それを送信するか、または送信してトレーニングします。

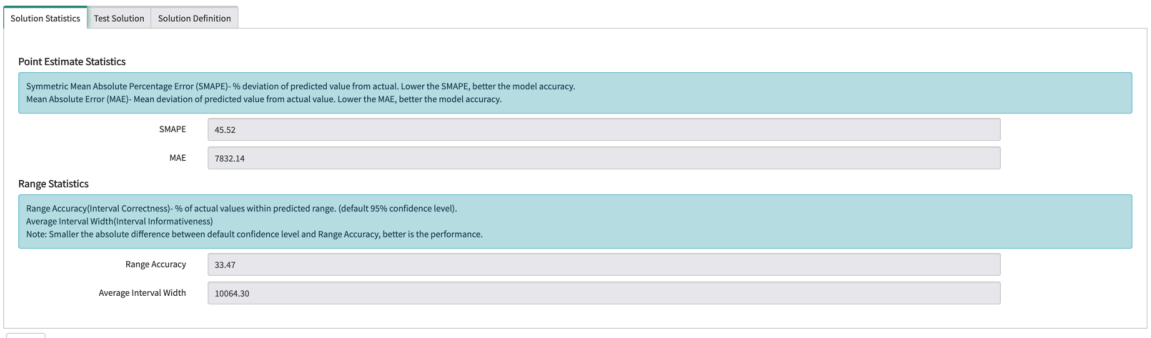
5. トレーニング用にソリューションを送信した場合は、[トレーニングのアクティブ化] ウィンドウで **[OK]** をクリックして確定します。

   システムは、最寄りのトレーニングサービスでトレーニングを受けるようにソリューションをスケジュールします。トレーニングが完了すると、それを知らせる通知が送信されます。トレーニング中にエラーが発生した場合には、そのエラーも通知に記載されます。他のユーザーは、予測インテリジェンス通知カテゴリに登録できます。トレーニングが完了すると、ソリューションは添付ファイルレコードとしてアップロードされます。

次のタスク

この例のシナリオでは、ソリューション定義から ML ソリューションを作成しました。[ソリューション統計情報]、[ソリューションをテスト]、および [ソリューション定義] タブは、ML ソリューションの [関連リンク] セクションに表示されます。

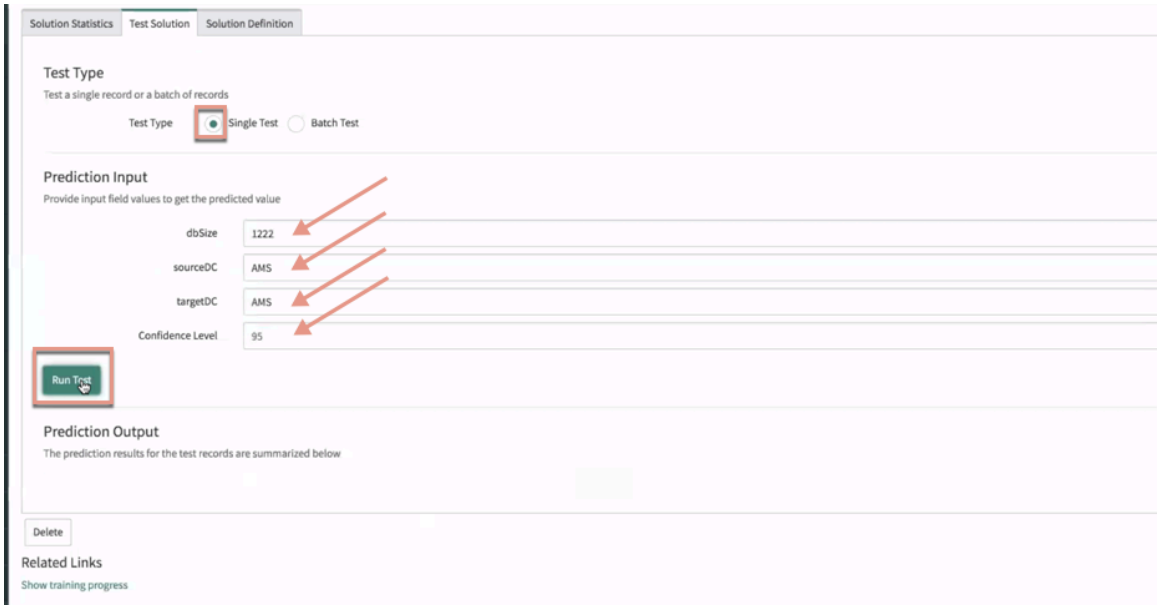
[ソリューション統計] タブで、ソリューションによって生成されたポイント推定と範囲 (予測間隔) の統計を確認します。



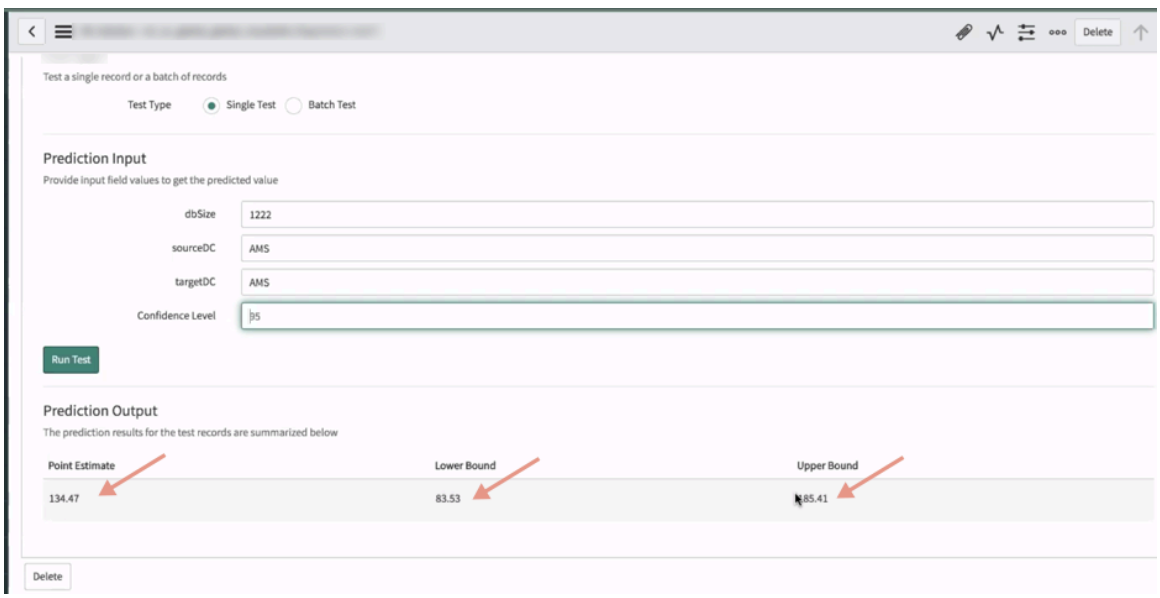
ソリューションの [ソリューションをテスト] タブで、[ソースデータセンター]、[ターゲットデータセンター]、[データベースサイズ] などの入力フィールドに値を入力することで、予測への入力として使用したレコードの予測出力をテストできます。また、デフォルトの予測信頼レベルである `95` を使用するか、`0` から `100` までの異なるレベルを入力することができます。値として 95 を使用することは、実際の予測が予測間隔内に収まる確度が 95% であることを意味します。[テストを実行] ボタンをクリックして予測出力を検索します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



テストの実行後に、予測出力の統計情報が表示されます。画面上の [ポイント推定] は、ある時点での単一の値です。たとえば、データベースの復元が完了するまでに 134.47 秒かかります。画面上の下限と上限は、範囲の精度の値を示します。たとえば、データベースの復元が完了するまでに 84.53 秒から 185.41 秒かかります。



ソリューショントレーニングの進捗状況の表示

ソリューショントレーニングの進捗状況や統計情報を表示して、ソリューションが利用可能かどうか、または次のトレーニングサイクルが完了するまでにかかる時間を判断します。

始める前に

必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて

ソリューショントレーニングには、次の手順が含まれます。

1. トレーニング用のファイルを取得する。システムはトレーニング レコードをダウンロードし、最寄りのトレーニングサービスに送信します。
2. データを準備する。システムは、トレーニング セットから重複したレコードを削除します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

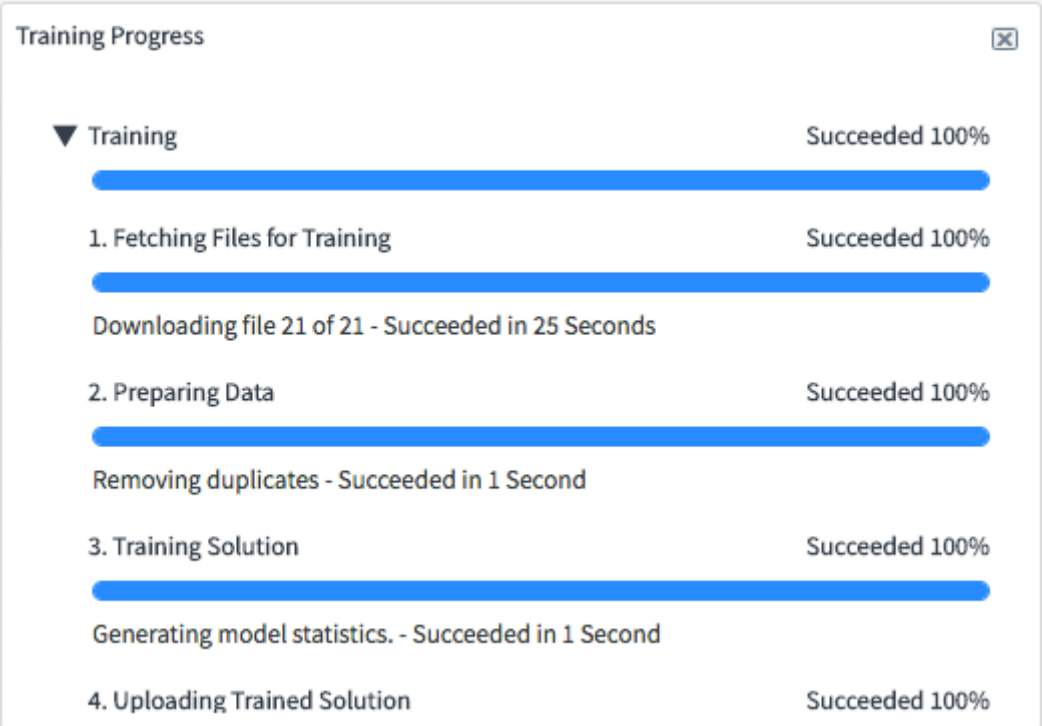
3. ソリューションをトレーニングする。トレーニング サービスはソリューションをトレーニングします。
4. トレーニング済みのソリューションをアップロードする。トレーニングサービスは、ソリューションを添付ファイルとしてアップロードします。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション または 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション.
2. [ML ソリューション] リストで、進捗状況または統計情報を表示するソリューションを選択します。

   Example
   たとえば、[インシデント分類] を選択してトレーニング履歴を表示します。
3. [関連リンク] セクションで、[トレーニング進捗状況の表示] をクリックします。
   トレーニング時間は、トレーニングセット内のレコードおよびクラスの数に応じて異なります。使用するレコードやクラスが多いほど、トレーニングにかかる時間が長くなります。たとえば、100,000 レコードと数百クラスを含むデータセットの場合は、完了するまでに約 5 時間かかります。

   システムに [トレーニングの進捗状況] ポップアップ ウィンドウが表示されます。



次のタスク

分類ソリューションについては、「 分類ソリューションの統計情報の確認」を参照してください。

類似性ソリューションについては、「 類似性ソリューションの例とスコアの確認」を参照してください。

分類ソリューションの統計情報の確認

予測インテリジェンス のソリューション統計ダッシュボードは、Xanadu リリースで廃止されました。分類ソリューションの各クラスの精度と範囲の統計を提供しました。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- 必要なロール:admin、ml_admin、または ml_report_user

このタスクについて

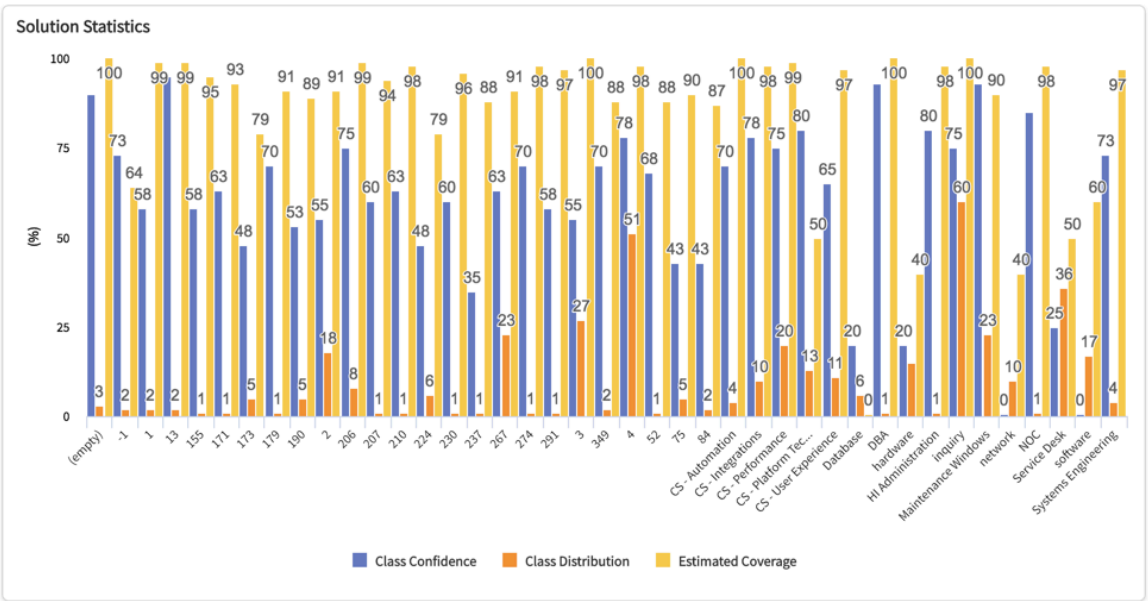
> **重要:** Yokohama リリースで、ソリューション統計ダッシュボードは廃止されました。アップグレードの顧客は、アプリケーションメニューから既存のソリューション統計情報ダッシュボードを引き続き使用できます。Yokohama リリースでオンボーディングする新規顧客の場合、ソリューション統計情報ダッシュボードは利用できません。従来のコンテキスト用に次の情報が提供されています。

ソリューション統計情報ダッシュボードには、アクティブなソリューションの各クラスの精度、範囲、および分布が一覧表示されます。ソリューションをビルドするときに、レコード数が最も多いクラスが使用されます。予測されるクラスの数は 50 未満である可能性があり、クラスを確実に予測できるソリューションを構築するのに十分な履歴データがない場合は、クラスをスキップすることがあります。

ソリューション統計ダッシュボードは、ML ソリューションレコードの [ソリューション統計] タブとは異なります。詳細については、「分類ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション統計情報.
2. [ソリューションでフィルター] から、統計情報を確認するソリューションを選択します。
3. [バージョンでフィルター] から、統計情報を確認するソリューションのバージョンを選択します。
4. [**Apply**] をクリックします。
   選択したフィルターに基づいてダッシュボードが更新されます。



5. 精度、範囲、および分布値の不要な組み合わせを持つクラスを特定します。

   Example
   たとえば、精度や範囲は低いが分布は高いクラスを特定します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. モデルに含める欠落しているクラスを特定します。

   Example
   たとえば、インシデント分類ソリューションから不足しているインシデントカテゴリを特定します。

次のタスク
レビューしたソリューションに問題がなければ、最新バージョンは既にアクティブであり、すぐに使用できます。満足できない場合は、ソリューションの別のバージョンを選択してアクティブにすることができます。許容可能な値を使用するようにクラスの精度と範囲を設定することで、ソリューションを調整および再調整することもできます。

ソリューションの類似例を確認する

ソリューション トレーニング中に生成された類似の例とスコアを確認して、類似スコアのしきい値が十分かどうかを判断します。

始める前に
- 類似性ソリューションのトレーニング
- 必要なロール：admin または ml_admin

このタスクについて
ソリューション トレーニングでは、2 つのレコード間の類似度を表すパーセンタイル スコアを持つペアのデータ レコードの例が生成されます。スコアが高いほど、類似性が高くなります。スコア 100 は同一のレコードを示し、スコア 0 は類似していないレコードを示します。

このソリューションは、しきい値よりも高いスコアを持つ類似結果のみを返します。

> **注:** ソリューション定義で指定された類似フィルターは、類似の例には適用されず、予測中にのみ適用されます。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション.
2. [ML ソリューション] リストで、ソリューションを見つけて [参照ルックアップ] アイコンをクリックします。
   
3. [レコードを開く] をクリックします。
4. [関連リンク] セクションで、[類似の例] をクリックします。
5. 類似例とそのしきい値のスコアをレビューし、ソリューションの類似性の結果に適用する精度と範囲レベルを判断します。
   類似スコアが高いほど、精度が高くなり、範囲が小さくなります。類似スコアが低いほど、範囲が大きくなり、精度が低くなります。
6. レビューに基づいて、類似性ソリューションの類似スコアしきい値を増減するかどうかを決定します。

次のタスク
類似性ソリューションのスコアを調整する場合は、 類似性ソリューションのしきい値を更新します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測インテリジェンス の使用

予測インテリジェンスソリューションをトレーニングして使用し、さまざまなタスクを実行し、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)やタスクインテリジェンスなどの他のServiceNow製品と統合します。

予測インテリジェンスの概要

予測インテリジェンス は、 ServiceNow AI Platform でモデルをトレーニングできるインターフェイスです。これらのモデルを使用すると、作業のルーティング、フォームフィールドへの入力、待機時間の推定などに使用できるパターンを予測、推定、および特定できます。

- 関連する記事の提案を表示します。
- タスクをアサイン、分類、および優先順位付けします。
- 重大なインシデントを検出します。
- ケースの解決を推奨します。
- 記事やアイデアの重複を防ぎます。
- フィッシングの試行を検出します。

利用可能なさまざまなタイプのソリューションの詳細については、「 予測インテリジェンスの詳細」を参照してください。

ML ソリューションのトレーニング

予測インテリジェンス では、インスタンスのデータを使用して適用できる予測モデルと機械学習ソリューションをトレーニングできます。作成するソリューションでは、フレームワークを使用してデータを予測、推奨、および整理します。開始するには、「ソリューションの作成とトレーニング」を参照してください。

次のような他のプロセスやアプリケーションに 予測インテリジェンス を拡張することもできます。

- インシデント分類 (Incident categorization)：簡単な説明に基づいてインシデントカテゴリを予測します。「インシデント管理の予測インテリジェンス」を参照してください。
- CSM ケースアサイン (CSM case assignment)：簡単な説明に基づいてケースレコードのアサイン先グループを予測します。ケース管理の予測インテリジェンス を参照してください。

詳細については、「ServiceNow 使用するアプリと機能 予測インテリジェンス」を参照してください。

予測のテストと監視

リューションの作成およびトレーニング後、Predictive Intelligence API を呼び出してソリューション予測を行います。結果を使用してソリューションのパフォーマンスを評価し、必要に応じて変更を加えます。

ソリューション統計情報ダッシュボードを使用して、展開された予測モデルの範囲と精度を追跡できます。このダッシュボードは、デフォルトでこれらの予測領域に関するレポートを提供します。

レポート	説明
平均予測補償 (過去 30 日)	試行された予測の総数に対する結果を算出した予測の割合。範囲スコアをクリックすると、クラス別のブレークダウンが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	説明
日次予測負担	ソリューションが結果を予測できた特定の日に作成されたレコードの割合。
平均予測精度 (過去 30 日間)	レコードが閉じられたときに予測値がフィールドの最終値と同じであった予測の割合。精度スコアをクリックすると、クラス別のブレークダウンが表示されます。
日次予測精度	特定の日にクローズされたレコードのうち、予測フィールド値が最終値と同じであったレコードの割合。

詳細については、「予測のテストと監視」を参照してください。

インスタンスの準備

予測インテリジェンスを最大限に活用するには、準備が必要です。コードを記述したり、計算を行ったりする必要はありませんが、ソリューション定義で何を実行するかを決定すると、実装が容易になります。

- 予測インテリジェンスで解決したい問題を特定します。
- 30,000～300,000の高品質のレコードを用意し、そこから 予測インテリジェンス 学ぶことができます。
- 期待値を設定します。

注: トレーニングデータの不整合やギャップにより、予測が不正確になったり、信頼性が低下したりする可能性があります。

実装プロセス

予測インテリジェンス 本番インスタンスに実装するには約 14 日かかります。

- 1 日目:本番インスタンスを非本番インスタンスにクローンします。
- 2 ～ 10 日目:ソリューション定義を作成し、履歴レコードでトレーニングして、ソリューションが非本番インスタンスで目的どおりに機能することを検証します。
- 11 ～ 13 日目:ソリューションを本番環境に移行するためのインポートセットと更新セットを作成し、新しいインスタンスでトレーニングと検証を行い、再トレーニング頻度を設定します。
- 14日目以降:ソリューションを監視します。

一般に、非本番環境では、ワークフローをテストしてフォーマットしてから本番インスタンスに移動し、さらにモデルをトレーニングし、予測をテストできます。

予測インテリジェンス の使用を開始する方法の詳細については、次を参照してください。 の始め方に関するガイド 予測インテリジェンス.

機械学習 API の使用

機械学習 (ML) API を使用して ServiceNow 機械学習モデルをトレーニングし、推論を実行します。

ML API を使用すると、ソリューションのトレーニングとソリューションバージョンの管理が可能になります。アクティブなバージョンの取得と設定、トレーニングステータスの監視などを行うことができます。ML API にはエンコーダーも用意されており、用語頻度逆ドキュメント頻度 (TF-IDF) をワードコーパスとして使用できます。予測可能性の推定により、テーブルの列の予測値を評価できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 予測インテリジェンス 実行された API 実行されます。このリリース以降は、ACL を使用してアクセス権を付与します。詳細については、「クエリー ACL」を参照してください。

ML API クラスの概要

このセクションでは、ML ソリューションをトレーニングし、トレーニング済みソリューションを使用して推論を実行するためのクラスについて簡単に説明します。

データセット

データセットは ML トレーニングアルゴリズムの入力として使用する、テーブル名、列、および行の選択基準を含むレコードのセット。データセットには実際のデータは含まれません。

詳細については、「DatasetDefinition」を参照してください。

ML オブジェクト – ソリューション、エンコーダー、推定値

ML オブジェクトは、データセットに適用する特定のトレーニング構成を定義します。一部の操作は ML オブジェクト間で共通です。ソリューションオブジェクトには、分類、クラスタリング、回帰、および類似性が含まれます。

エンコーダーは、事前にトレーニングされたか、指定した言語データセットに基づいてトレーニングされたテキスト処理オブジェクトです。システムがテキストフィールドをどのように解釈して処理するかを決定するエンコーダーをトレーニングできます。テキストを含む ML ソリューションの場合は、テキストを処理する方法を指定するようにエンコーダーをトレーニングし、 トレーニング済みの エンコーダーをソリューションで使用できます。

PredictabilityEstimate オブジェクトは、データセット内のどのフィールドが予測可能か、およびこの予測可能性の基になっている特徴量を推定します。

詳細については、以下を参照してください。

- ClassificationSolution
- ClusteringSolution
- Encoder
- PredictabilityEstimate
- RegressionSolution
- SimilaritySolution

店舗

ML オブジェクトは、オブジェクトタイプごとに特定のストアに保持されます。各ストア クラスには、追加、取得、更新、および削除操作のメソッドが含まれています。

詳細については、以下を参照してください。

- 分類ソリューションストア
- クラスタリングソリューションストア
- エンコーダーストア
- PredictabilityEstimateStore
- 回帰ソリューションストア
- 類似ソリューションストア

バージョン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

トレーニングされた各オブジェクトは、タスクを実行できる新しいバージョンになります。バージョン API を使用してソリューションバージョンを取得し、そのバージョンでタスクを実行します。

詳細については、以下を参照してください。

- 分類ソリューションバージョン
- ClusteringSolutionVersion
- エンコーダーバージョン
- PredictabilityEstimateVersion
- RegressionSolutionVersion
- SimilaritySolutionVersion

まとめ:ML API フロー

次のフローを使用して、ソリューション、エンコーダー、予測可能性の推定を構成およびトレーニングできます。

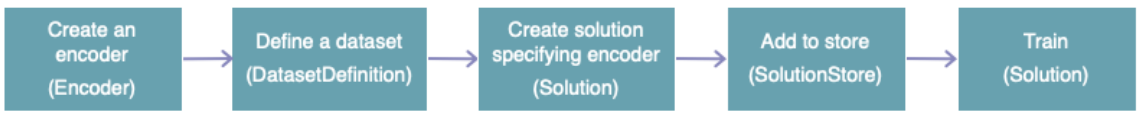
ML API フロー – ソリューション、エンコーダー、見積もりのトレーニング



注: エンコーダー定義は複数のデータセット定義をサポートしますが、トレーニング フローは同じです。

エンコーダーを使用してソリューションをトレーニングするには、最初にエンコーダーを作成してから、ソリューション構成にエンコーダーを含めます。

ML API フロー – エンコーダーを使用したソリューション API トレーニング



ML オブジェクトエンコーダーの要件:

- 類似性 API ソリューションで必須です。
- レーベンシュタイン距離アルゴリズムを使用する場合を除き、クラスタリング API ソリューションで必須です (その場合、エンコーダーは省略可能です)。
- 分類および回帰ソリューションではオプションです。
- 予測可能性の推定には使用できません。

ML API ソリューショントレーニングの開始

このブレークダウンの例に従って、ソリューションを構成およびトレーニングする方法を学習します。

ソリューションの構成とトレーニング

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



1. *DatasetDefinition* API を使用してデータセットを定義します。

```
var myData = new sn_ml.DatasetDefinition({

  'tableName' : 'incident',
  'fieldNames' : ['assignment_group', 'short_description',
 'description'],
  'encodedQuery' : 'activeANYTHING'

});
```

2. コンストラクターを使用して、構成内のデータセットを含むソリューションを定義します。

```
var mySolution = new sn_ml.ClassificationSolution({

  'label': "my solution definition",
  'dataset' : myData,
  'predictedFieldName' : 'assignment_group',
  'inputFieldNames':['short_description']

});
```

   - 分類ソリューション *()*
   - クラスタリングソリューション *(ClusteringSolution()*
   - エンコーダー *()*
   - *PredictabilityEstimate()*
   - 回帰ソリューション *()*
   - *SimilaritySolution()*

3. *add()* メソッドを使用して、ソリューション定義をストアに追加します。

```
var my_unique_name =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.add(mySolution);
```

   - 分類ソリューションストア *- add()*
   - *ClusteringSolutionStore - add()*
   - *EncoderStore - add()*
   - *PredictabilityEstimateStore - add()*
   - *RegressionSolutionStore - add()*
   - *SimilaritySolutionStore - add()*

4. *submitTrainingJob()* メソッドを使用してソリューションをトレーニングします。トレーニングが完了したら、ソリューションバージョン API を使用してトレーニング済みソリューションを管理できます。ソリューションは複数回再トレーニングできます。各トレーニングにより、推論を実行できる新しいソリューション「バージョン」が作成されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
var myClassifierVersion = mySolution.submitTrainingJob();
```

- *ClassificationSolution - submitTrainingJob()*
- *ClusteringSolutionVersion - submitTrainingJob()*
- *Encoder - submitTrainingJob()*
- *PredictabilityEstimate - submitTrainingJob()*
- *RegressionSolution - submitTrainingJob()*
- *SimilaritySolution - submitTrainingJob()*

ストア内のすべての分類ソリューションの表示

ストアの *getAllNames()* メソッドを使用して、ストアに追加されたすべてのソリューションのリストを表示できます。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(sn_ml.ClassificationSolution
Store.getAllNames()), null, 2));
```

出力では、ソリューションに `ml_x_snc_global_global_my_solution_definition` という名前が付けられています。バージョン情報を取得するには、後続の例でこの名前を使用します。

```
*** Script: [
  "ml_incident_assignment",
  "ml_x_snc_global_global_my_solution_definition",
  "ml_incident_categorization"
]
```

- 分類ソリューションストア:getAllNames()
- *ClusteringSolutionStore - getAllNames()*
- *EncoderStore - getAllNames()*
- *PredictabilityEstimateStore - getAllNames()*
- *RegressionSolutionStore - getAllNames()*
- *SimilaritySolutionStore - getAllNames()*

ML API ソリューションバージョンの開始

トレーニング済みソリューションバージョンを管理する方法については、これらの例のブレークダウンに従ってください。

トレーニングステータスを確認

ストアから分類ソリューションを入手し、バージョンを選択して、そのトレーニングステータスを確認します。トレーニングステータスの確認に使用されるメソッドは、すべての ML オブジェクトタイプに適用できます。



自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. *get()* メソッドを使用して、分類ソリューションストアからソリューションを取得します。

```
// Get the solution created in the previous example from the
 classification solution store
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_globa
l_my_solution_definition');
```

   - 分類ソリューションストア - *get()*
   - *ClusteringSolutionStore - get()*
   - *EncoderStore - get()*
   - *PredictabilityEstimateStore - get()*
   - *RegressionSolutionStore - get()*
   - *SimilaritySolutionStore - get()*

2. *getLatestVersion()* ソリューションメソッドを使用して最新のソリューションバージョンにアクセスし、*getStatus()* バージョンメソッドを使用してそのトレーニングステータスを取得します。

```
// Access the latest version of the solution and print its
 training status
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(mlSolution.getLatestVersio
n().getStatus(), null, 2)));
```

   トレーニング完了時の出力:

```
*** Script:
 {"state":"solution_complete","percentComplete":"100","hasJob
Ended":"true"}
```

getLatestVersion()	getStatus()
ClassificationSolution - getLatestVersion()	分類ソリューションバージョン - *getStatus()*
ClusteringSolution - getLatestVersion()	*ClusteringSolutionVersion - getStatus()*
Encoder - getLatestVersion()	*EncoderVersion - getStatus()*
PredictabilityEstimate - getLatestVersion()	*PredictabilityEstimateVersion - getStatus()*
RegressionSolution - getLatestVersion()	*RegressionSolutionVersion - getStatus()*
SimilaritySolution - getLatestVersion()	*SimilaritySolutionVersion - getStatus()*

ソリューションバージョンを使用して予測を取得

ソリューションがトレーニングされたら、トレーニング済みバージョンを取得し、予測を実行します。作成したソリューションをストアから入手します。次に、

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トレーニング済みバージョンを選択し、トレーニング済みバージョンを予測しま



す。

注: エンコーダーと予測可能性の推定では予測を行うことはできません。

1. *get()* メソッドを使用して、分類ソリューションストアからソリューションを取得します。

```
// Get the solution created in the first example from the
 classification solution store
var mlSolution =
 sn_ml.ClassificationSolutionStore.get('ml_x_snc_global_globa
l_my_solution_definition');
```

2. GlideRecord API の *get()* メソッドを使用して、インシデント [incident] テーブルのレコードを提供します。

```
// single GlideRecord input
var input = new GlideRecord("incident");
input.get("<sys_id>");
```

3. オプション。上位 3 つの結果を返し、すべての結果を返すように *ClassificationSolutionVersion - predict()* メソッド *options* パラメーターを構成します。

```
// configure optional parameters
var options = {};
options.top_n = 3;
options.apply_threshold = false;
```

4. `results` という変数を宣言し、それを予測ジョブに割り当てます。予測ジョブを実行するには、*ClassificationSolution - getLatestVersion()* メソッドを使用して最新のソリューションバージョンを取得し、そのバージョンで *ClassificationSolutionVersion - predict()* メソッドを呼び出します。

```
var results = mlSolution.getLatestVersion().predict(input,
 options);
```

   - *ClassificationSolutionVersion - predict()*
   - *ClusteringSolutionVersion - predict()*
   - *RegressionSolutionVersion - predict()*
   - *SimilaritySolutionVersion - predict()*

5. 予測結果出力を出力します。

```
gs.print(JSON.stringify(JSON.parse(results), null, 2));
```

予測結果の出力例:

```
*** Script: {
  "<sys_id>": [
    {
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      "confidence": 99,
      "threshold": 24.75,
      "predictedValue": "Email",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 5.88210244009169,
      "threshold": 100,
      "predictedValue": "Email (I/f)",
      "predictedSysId": ""
    },
    {
      "confidence": 2.3461203499840932,
      "threshold": 14.81,
      "predictedValue": "Authentication",
      "predictedSysId": ""
    }
  ]
}
```


予測のテストと監視

機械学習 (ML) ソリューションをテストして、その範囲と精度を評価します。展開後は、パフォーマンスを経時的に追跡して、ソリューションのパフォーマンスを確認します。この情報を使用してソリューションを変更し、予測を改善します。

ソリューションのテスト

ML ソリューションがトレーニングされたら、予測インテリジェンス API を呼び出してソリューション予測を行うことができます。API を使用して、次のソリューションをテストします。

- 分類のソリューション予測のテスト
- 類似性ソリューション予測のテスト

予測の監視

分類予測の場合は、予測結果ダッシュボードを使用して、予測の範囲と精度を経時的に追跡します。

方法については、「分類予測結果を経時的に追跡する」を参照してください。

予測のトラブルシューティング

ソリューション予測に関する一般的な問題のトラブルシューティングについては、Now Support ナレッジベース の Predictive Intelligence の一般的な問題 [KB781893] の記事を参照してください。

分類のソリューション予測のテスト

機械学習 (ML) ソリューションがトレーニングされたら、予測インテリジェンス API を呼び出してソリューション予測を行うことができます。この手順例では、REST API エクスプローラーを使用して、インシデント分類の分類ソリューション予測をテストします。

始める前に

予測をテストする前に ML ソリューションをトレーニングします。

必要なロール：web_service_admin、rest_api_explorer、または admin または ml_admin

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

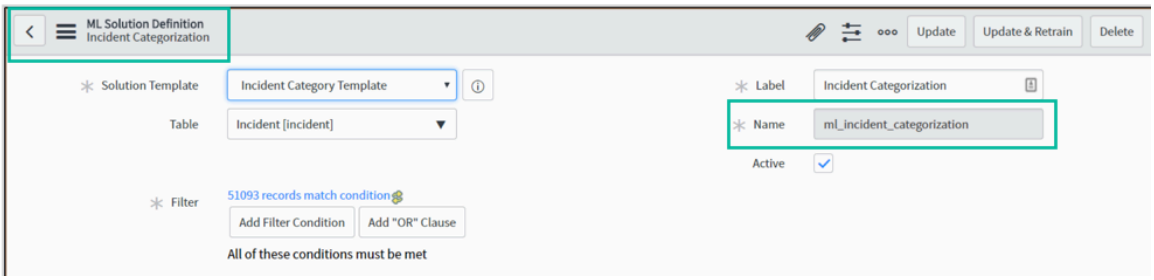
自動翻訳

このタスクについて
この手順では、インスタンスで実行できる内容を説明するためにサンプルデータを使用しており、実際にインスタンスに存在するデータやレコードを表していない場合があります。

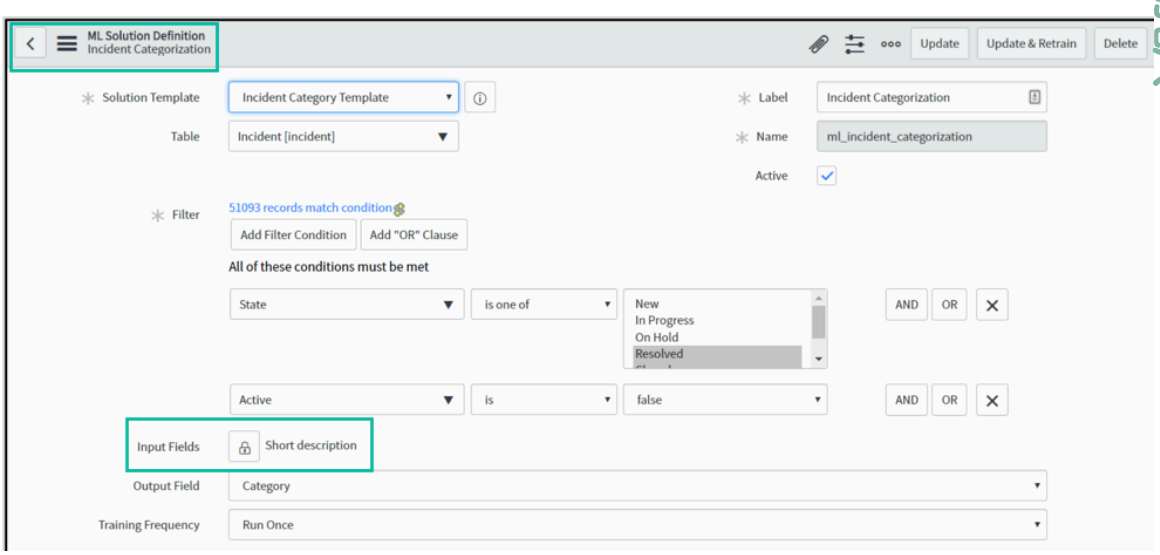
このシナリオは、以前に作成してトレーニングした仮想的な ML ソリューションの分類ソリューション予測を示しています。REST API エクスプローラーを使用して、類似性ソリューション予測をテストすることもできます。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > ソリューション定義.
2. 予測をテストする ML ソリューション定義を見つけて、その [名前] 値をクリップボードまたはメモ帳ファイルにコピーします。
   この場合、次の例に示すように、ML ソリューション定義「インシデント分類」レコードの [名前] フィールド値を使用します。



3. REST API エクスプローラーによる 予測インテリジェンス API への呼び出しで使用する ML ソリューション定義レコードで使用される [入力フィールド] を書き留めて保存します。
   この場合、[簡単な説明] フィールドを使用します。これは、このフィールドを使用してカテゴリ定義を学習するように予測モデルがトレーニングされているためです。



4. 次のように移動する。 システム **Web** サービス > **REST** > **REST API** エクスプローラー.
5. これらの選択フィールドを次のように設定します。

フィールド	値
名前空間	now (デフォルトのまま)
API 名	予測インテリジェンス

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
API バージョン	最新 (デフォルトのまま)

予測インテリジェンス フォームが表示されます。このフォームを使用して 予測インテリジェンス API へのコール要求を準備します。

6. ソリューション名の [値] フィールドに「`ml_incident_categorization`」と入力します。

   注: これは、この手順のステップ 1 で取得した [名前] の値です。

7. [クエリパラメーターを追加] をクリックします。
   予測インテリジェンス フォームが更新されて [クエリパラメーター] セクションが表示されます。
8. 最初のフィールドに「`short_description`」を貼り付けます。

   注: これは、この手順のステップ 2 で取得した入力フィールドです。

9. 2 番目のフィールドにインシデントの簡単な説明を入力します。
   たとえば、「接続できません」と入力します。
10. [送信] ボタンをクリックします。
    REST API エクスプローラーは要求を 予測インテリジェンス API に送信します。
    システムは、API 出力の [応答本文] セクションの出力値を予測します。他の簡単な説明を使用して、ソリューションの予測をテストできます。
11. オプション: 予測モデルを再度テストできるように、予測インテリジェンス API に別の要求を送信します。

    a. 予測インテリジェンス フォームの [クエリパラメーター] セクションに戻ります。

    b. 2 番目のフィールドに別の種類のインシデントを参照する簡単な説明を入力します。
    たとえば、「`MSSQL` に接続できません」と入力します。

    c. [送信] ボタンをクリックします。

    ソリューション定義設定で構成したインシデントカテゴリによっては、[応答本文] セクションが更新されてステップ 9 とは異なる結果が表示される場合があります。つまり、簡単な説明のテキストを変更すると、インシデントを別の種類の問題として再分類できます。

Example:
インシデントフォームを使用して新しいインシデントレコードを作成するときに、予測インテリジェンス 予測モデルをテストすることもできます。

1. 次のように移動する。 インシデント > 新規作成.
2. ロードされる新しいインシデントフォームで、フィールドを次のように設定します。
   - ユーザー： 発信者名を入力します。
   - カテゴリ：デフォルトのままにします。
   - 簡単な説明： テストする簡単な説明を入力します。
3. インシデントフォームを送信します。

結果：フォームが更新されると、インシデントカテゴリが特定の値に自動的に設定された情報メッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 簡単な説明によっては、この入力の値を予測するだけの十分な信頼性がソリューションにないため、処理されない可能性があります。

関連情報

Predictive Intelligence API

MLPredictor - グローバル

類似性ソリューション予測のテスト

機械学習 (ML) ソリューションがトレーニングされたら、予測インテリジェンス API を呼び出してソリューション予測を行うことができます。この手順例では、REST API エクスプローラーアプリケーションを使用して、解決済みインシデントの推奨事項の類似ソリューション予測をテストします。

始める前に

予測をテストする前に ML ソリューションをトレーニングします。

必要なロール：web_service_admin、rest_api_explorer、または admin または ml_admin

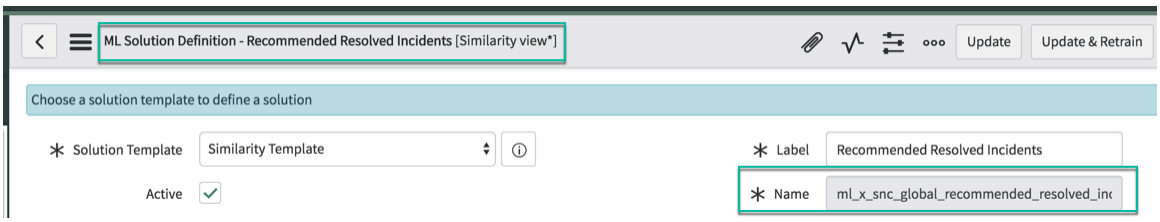
このタスクについて

この手順では、インスタンスで実行できる内容を説明するためにサンプルデータを使用しており、実際にインスタンスに存在するデータやレコードを表していない場合があります。

このシナリオは、以前に作成してトレーニングした仮想的な ML ソリューションの類似性ソリューション予測を示しています。REST API エクスプローラーを使用して、分類ソリューション予測をテストすることもできます。

手順

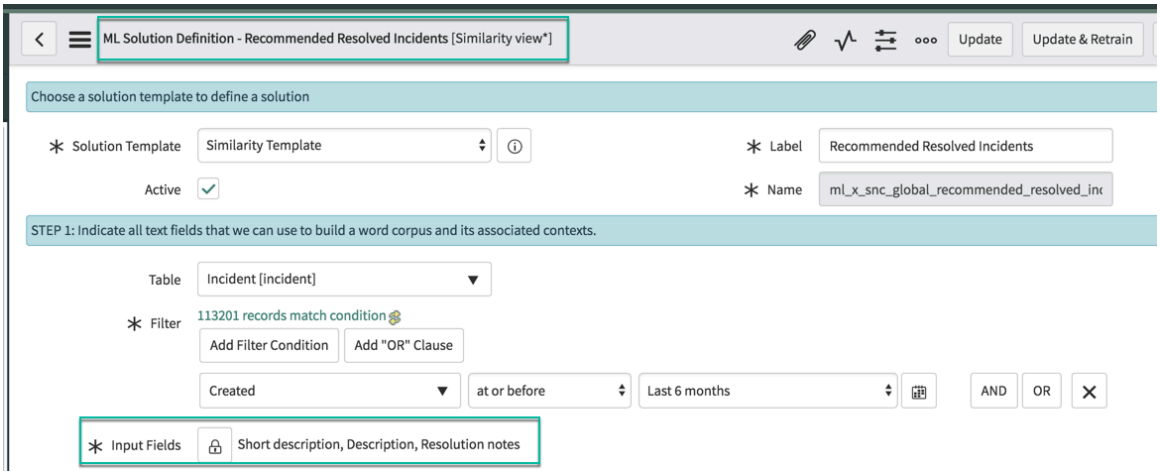
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 類似性 > ソリューション定義.
2. 予測をテストする ML ソリューション定義を見つけて、その [名前] 値をクリップボードまたはメモ帳ファイルにコピーします。
   この場合、次の例に示すように、ML ソリューション定義「推奨される解決済みインシデント」レコードの [名前] フィールド値を使用します。



3. REST API エクスプローラーによる 予測インテリジェンス API への呼び出しで使用する ML ソリューション定義レコードで使用される [入力フィールド] 値をコピーします。
   この場合、[簡単な説明] フィールドタイプを使用します。これは、このフィールドを使用して類似レコードを学習、ペアリング、および推奨するように予測モデルがトレーニングされているためです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. インスタンスの表示に使用しているブラウザータブを右クリックして、[複製] を選択します。
5. 複製するブラウザータブで、 システム **Web** サービス > **REST** > **REST API** エクスプローラー.
6. [探索]をクリックします。
7. これらの選択フィールドを次のように設定します。

フィールド	値
名前空間	now (デフォルトのまま)
API 名	予測インテリジェンス
API バージョン	最新 (デフォルトのまま)

予測インテリジェンス フォームが表示されます。このフォームを使用して 予測インテリジェンス API へのコール要求を準備します。

8. solution-name の [値] フィールドに、
「`ml_x_snc_global_recommended_resolved_incidents`」と入力します。

   注: これは、この手順のステップ 2 で取得した [名前] の値です。

9. [クエリパラメーターを追加] をクリックします。
10. [クエリパラメーター] セクションで、テストしているソリューションのいずれかの入力フィールドの値を入力します。

    a. 最初のフィールドに「`short_description`」を貼り付けます。

       注: これは、この手順のステップ 2 で取得した入力フィールドの値です。

       [説明] や [解決メモ] などの他のフィールドタイプを使用して、ソリューションの予測をテストできます。

    b. 2 番目のフィールドには、インシデントレコードで見つかる可能性のあるテキストを入力します。
    たとえば、「検出エラー」と入力します。

11. [+] ボタンをクリックして、クエリする結果の数を定義する 2 つ目のクエリ条件を作成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 最初のフィールドに「top_n」と入力します。

b. 2 番目のフィールドに「3」と入力します。
これらの条件は、最も類似した上位 3 つのインシデントレコードを取得するようにクエリを設定します。

12. [送信] をクリックします。
REST API エクスプローラーは要求を 予測インテリジェンス API に送信します。

13. [応答本文] セクションで、下の画像に示すように、API 呼び出しから返された 3 つの結果値をコピーします。



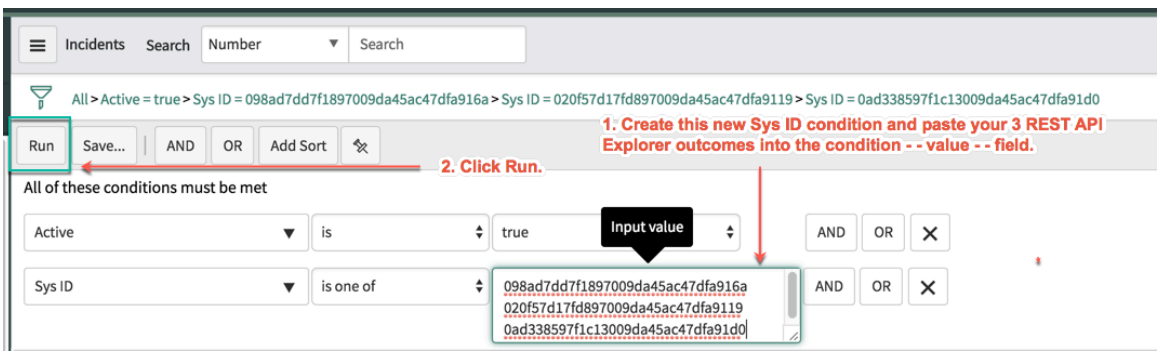
14. 元のブラウザータブで、 サービスデスク > インシデント.

15. 下の画像に示すように、3 つの REST API 結果のフィルター条件をインシデントテーブルリストビューに設定します。

a. 以下の [アクティブ] および [Sys ID] 条件を [インシデント] リストビューのフィルターアイコンに追加します。

b. 作成した [Sys ID] 条件の [値を入力] フィールドに 3 つの REST API の結果を貼り付けます。

c. [実行] をクリックします。

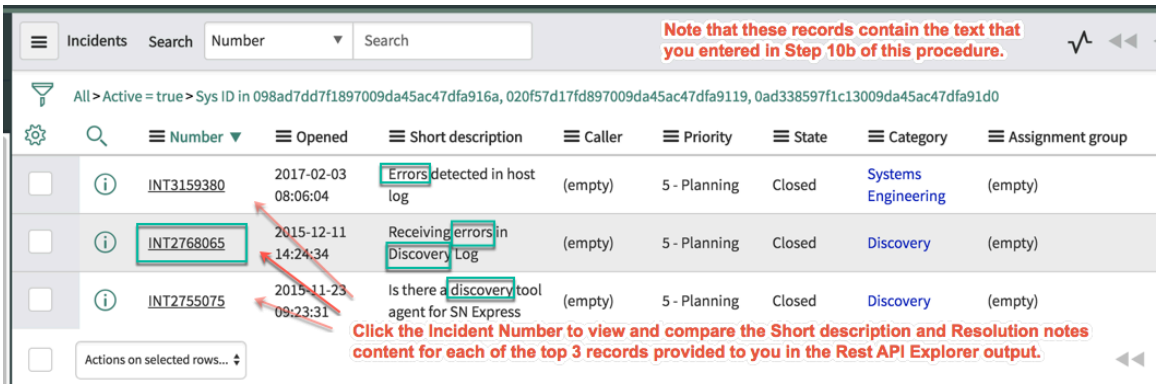


自動翻訳

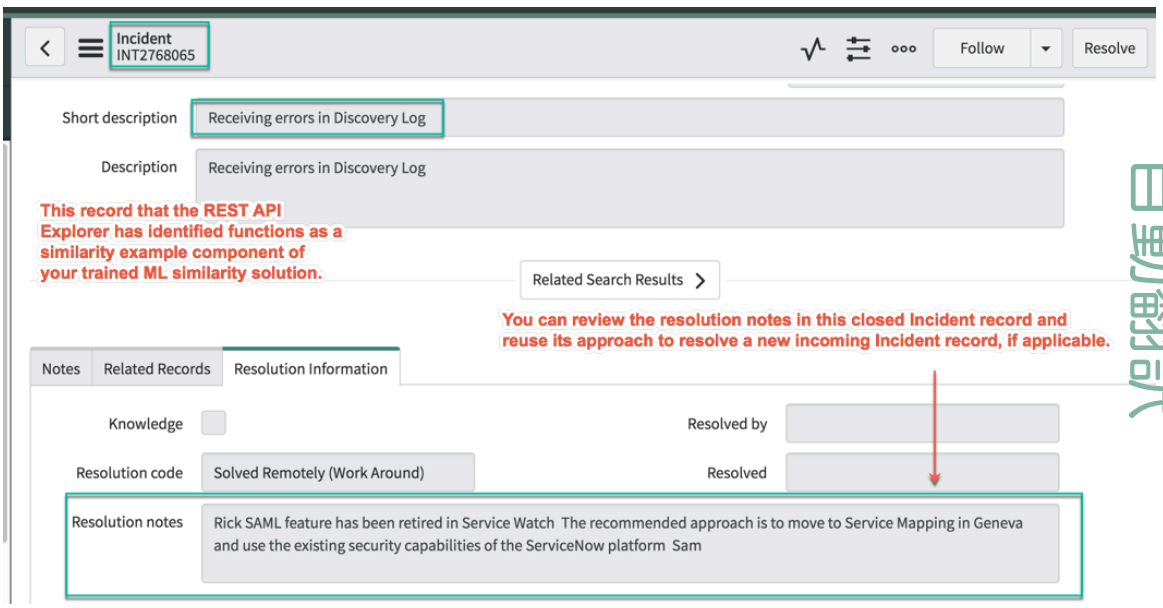
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

16. 以下の画像に従って、返されたインシデントのリストを REST API エクスプローラーの予測出力の入力と比較します。

    a. インシデント番号をクリックして、インシデントレコードを開きます。



    b. 下の画像に従って、インシデントレコードの [解決メモ] テキストを確認します。



関連情報

Predictive Intelligence API

MLPredictor - グローバル

分類予測結果を経時的に追跡する

予測結果ダッシュボードを使用して、分類ソリューションの予測が時間の経過とともに改善されているかどうかを判断します。改善または再トレーニングが必要なソリューションを特定します。

始める前に

- 必要なロール:admin、ml_admin、または ml_report_user

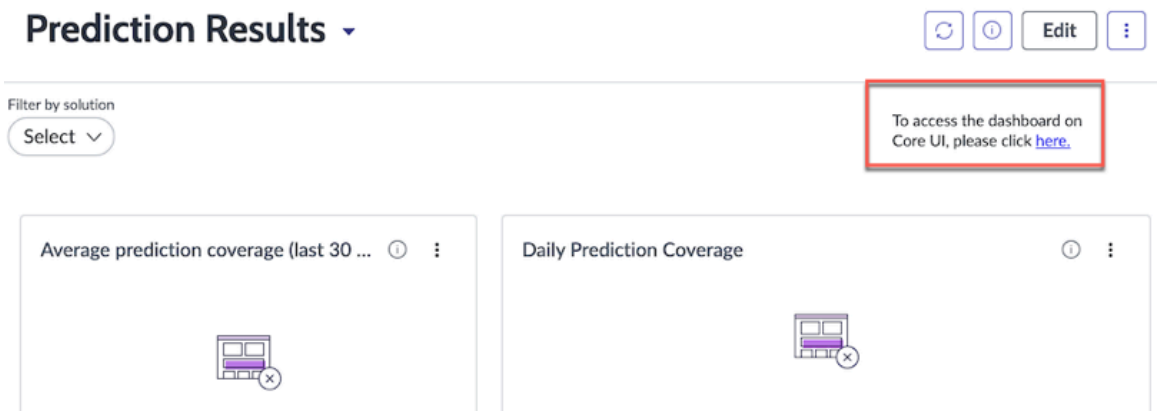
このタスクについて

予測結果ダッシュボードは、分類ソリューションのカバー範囲、精度、および時間の経過に伴う再現率についてレポートします。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Xanadu リリースでは、このダッシュボードがネクストエクスペリエンス UI に移行されました。以前のリリースからアップグレードする顧客は、現在のダッシュボードから コア UI バージョンにアクセスできます。



予測結果ダッシュボードでは、過去 30 日間の平均と日次の 2 つの時間枠で統計情報が提供されます。インジケーター の範囲、 精度、 および再現率は 次のように定義されます。

予想結果インジケーター

レポートタイプ	定義
範囲	試行された予測の合計数から結果を算出した予測の割合。
精度	レポートが閉じられたときに予測値がフィールドの最終値と同じであった予測の割合。
取り消し	試行された予測の総数から結果を算出した正確な予測の割合。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > 予測インテリジェンス > 分類 > 予想結果レポート.
2. 予測結果ダッシュボードの [ソリューションでフィルター **(Filter by solution**)] プロンプトで、確認するソリューションの統計情報を選択します。
   選択したソリューションに基づいてダッシュボードが更新されます。
3. 例外範囲、精度、または再現率の値を持つクラスを識別します。

   Example
   たとえば、カバー範囲、精度、または再現率が時間の経過とともに低下しているソリューションを特定します。

次のタスク
必要に応じてクラスを含めたり除外したりして、ソリューション定義フィルターを絞り込みます。更新後、ソリューションを再トレーニングします。

ML ソリューションのトレーニングジョブの確認

ML ソリューション (ML トレーニングジョブビュー) モジュールを使用して、 予測インテリジェンス ソリューションのトレーニングステータスと進行状況を監視します。モジュールには、ユーザーインターフェイスと API ソリューションの両方のトレーニングジョブが表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

背景と使用法

トレーニング用に ML ソリューションまたは ML ソリューション定義を送信すると、データの結果を予測して提供するための処理のために ServiceNow データセンターに送られます。ソリューションのサイズによっては、トレーニングが完了するまでに数時間から数日かかる場合があります。[ML トレーニングジョブ] ビューは、インスタンス内のすべての進行中および完了済みの ML ソリューショントレーニングジョブを把握するのに役立ちます。

このビューにアクセスするには、admin ロールまたは ml_admin ロールとナビゲーションパス「 予測インテリジェンス > トレーニングジョブ」を使用します。

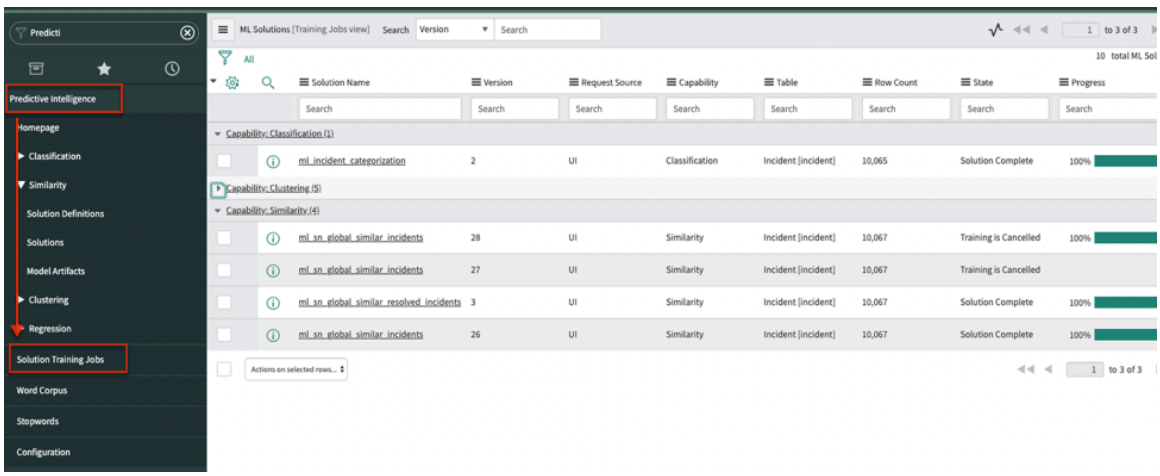
注: ML スケジューラーは、インスタンスがコミットできるトレーニングの数を、24 時間枠でインスタンスあたり 50 件の新規 ML トレーニング要求に制限します。これにより、スケジュール済みの再トレーニング要求は除外されます。さらに、新規トレーニング要求が 24 時間枠内で 50 件を超えた場合でも、クラスタリングと類似性の更新もこの制限から除外されます。

ML トレーニングジョブの概要を表示

ビューには、分類、類似性、クラスタリング、回帰の 4 つの 予測インテリジェンス 機能フレームワーク別にグループ化されたすべての ML トレーニングジョブが表示されます。

各レコードには、ソリューション名、バージョン、トレーニングステータス、トレーニング完了率などの値が表示されます。

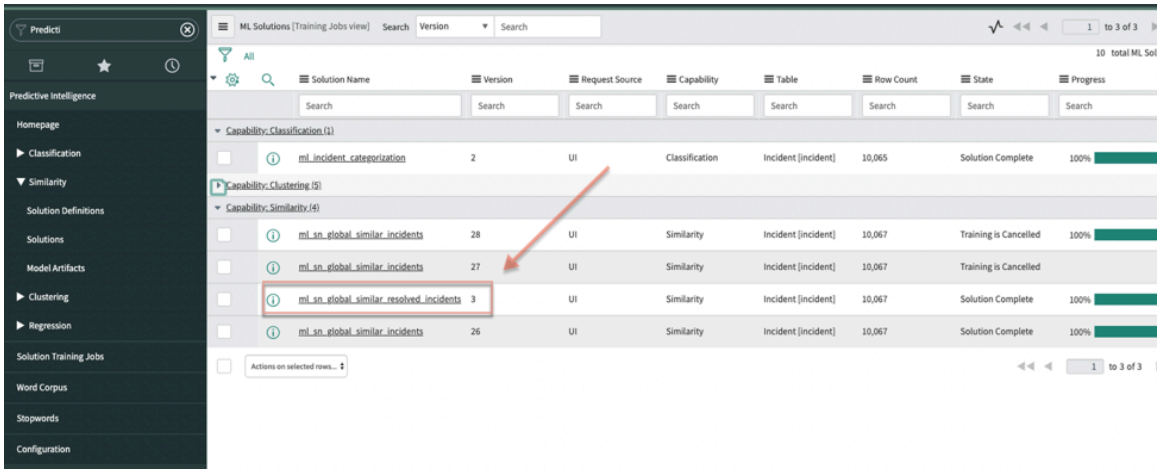
特定のケイパビリティのトレーニングジョブがない場合、そのケイパビリティのグループはリストに表示されません。たとえば、このシナリオでは、トレーニングに送信した回帰ソリューションがまだないため、回帰のグループはありません。

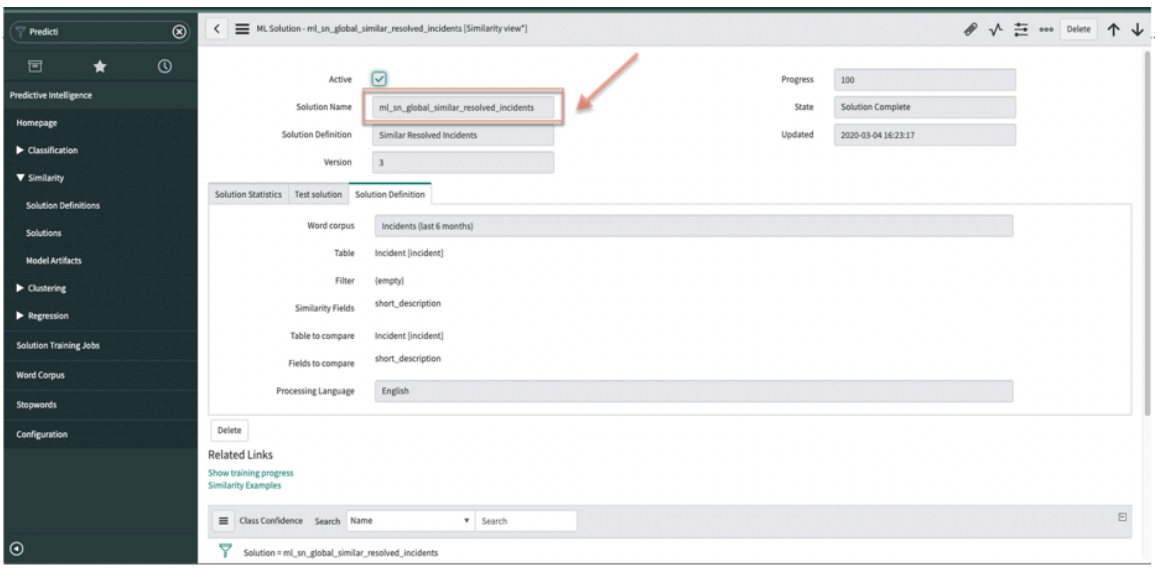


以下の画像に示すように、ソリューション名を選択して ML ソリューションの詳細を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。





自動翻訳

ドメインセパレーションと 予測インテリジェンス

ドメインセパレーションは、予測インテリジェンス アプリケーションでサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルのサポートのすべての側面が含まれています。
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドメインセパレーションの概要と 予測インテリジェンス

予測インテリジェンスでは、履歴データセットを使用して機械学習ソリューションを作成できます。機械学習ソリューション定義はドメインごとに 予測インテリジェンス で構成できるため、ソリューションで使用されるデータがドメイン固有のデータであることが保証されます。ドメイン内でソリューションがトレーニングされると、ソリューションの予測をそのドメイン内で適用できます。

予測インテリジェンスにおけるドメインセパレーションの仕組み

インスタンスオーナーは、各ドメインのソリューション定義を作成し、それらのソリューションをトレーニングすることで、各ドメインの機械学習 (ML) ソリューションをトレーニングできます。このようにして、各ソリューションは対応するドメインに固有のデータを使用します。

- データはドメインセパレーションにすることができる
- ベース システムのアプリケーション テーブルにドメイン列がある
- ドメイン固有の構成は、インスタンス所有者によって管理される
- テナント ドメインは、独自のアプリケーション データを管理できる
- アプリケーションプロパティは、必要に応じてドメイン対応です

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

のデータベースビューのサポート 予測インテリジェンス

データベースビューを使用して、機械学習 (ML) ソリューションの入力として 2 つ以上のテーブルを結合します。

ML ソリューションでのデータベースビューの使用

データベースビューは、ソリューションがトレーニングに使用できるフィールドの数を増やすのに役立ちます。ML ソリューション定義フォームで複数のテーブルを使用することで、より多くの入力データにアクセスして、ソリューションの成果を高めることができます。

データベースビューを使用すると、2 つ以上のテーブルを 1 つの統合ビューに結合できます。これを ML ソリューションで機能させるには、まずデータベースビューを作成する必要があります。データベースビュー を参照してください。

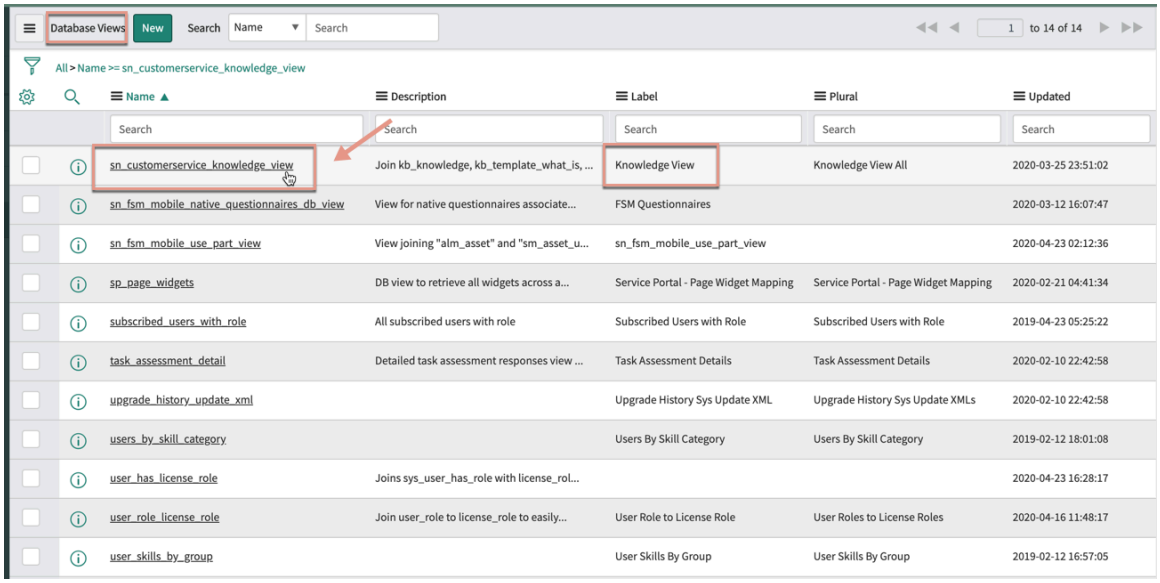
データベースビューは、分類、類似性、クラスタリング、回帰の 4 つの 予測インテリジェンス 機能フレームワークすべてでサポートされています。

のデータベースビューの例 予測インテリジェンス

次のシナリオ例では、ML 類似性ソリューションで使用するデータベースビューを作成しました。以下の画像は、作成したデータベースビューレコードの名前とラベルを示しています。

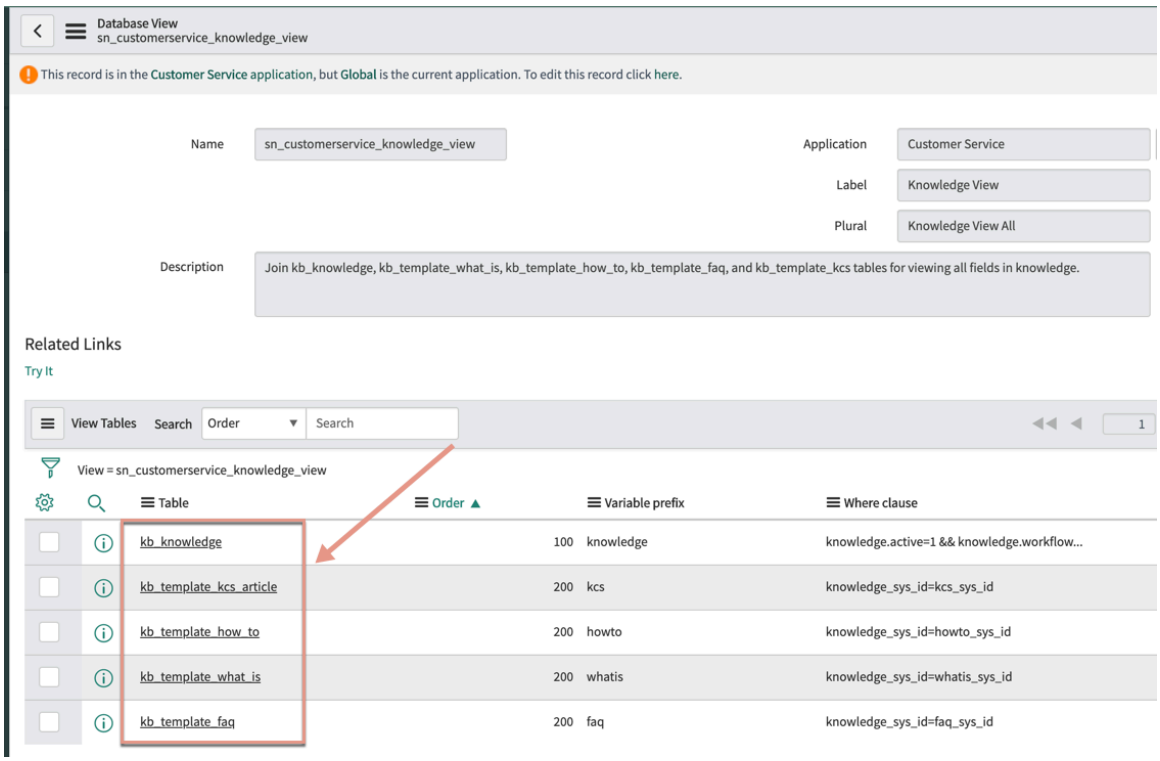
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レコード 名をクリックすると、次の画像に示すように、そのコンテンツが表示されます。データベースビューのコンテンツ内に、ビューに結合した 5 つのナレッジベーステーブルが一覧表示されます。これらのテーブルのほとんどには、FAQ やハウツー記事など、さまざまなナレッジ記事テンプレートタイプが含まれています。

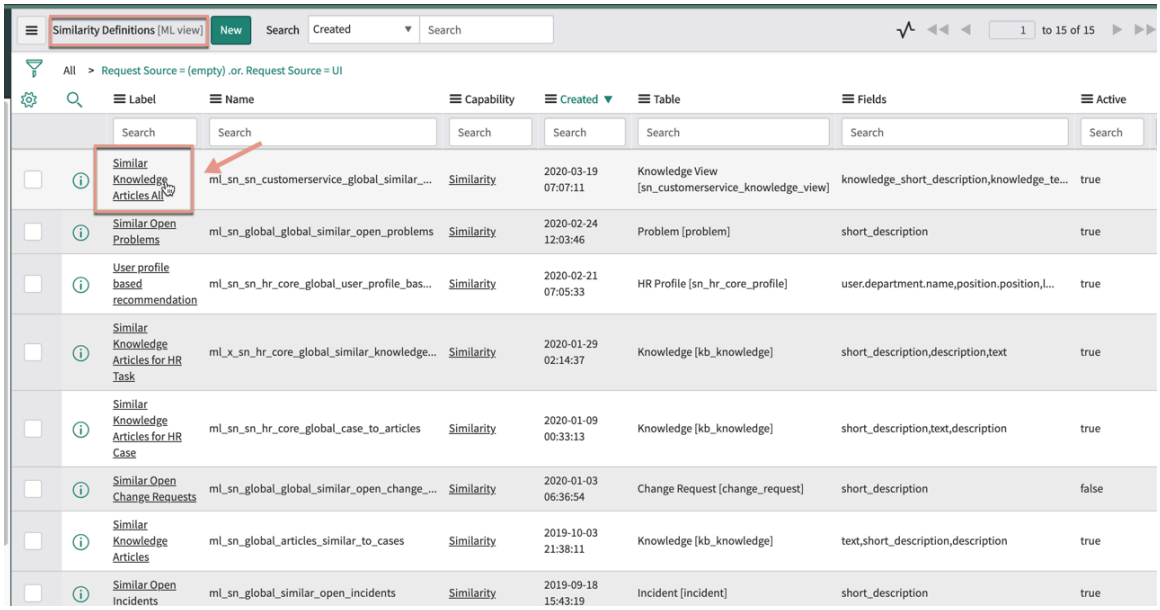
データベースビューを類似性ソリューションへの入力として使用する場合、ビューを構成する各テーブルには、少なくとも必要な数のレコードが ServiceNow インスタンスの構成で設定されている必要があります。デフォルトで必要な最小数は 10,000 です。たとえば、 ナレッジビュー データベースビューには 5 つのテーブルがあり、各テーブルには 10,000 レコードが必要です。テーブルに 10,000 件のレコードがない場合は、そのテーブルの結果が表示されないことがあります。この値を変更する必要がある場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。



以下の画像では、データベースビューに関連付ける予定の、作成済みの類似性ソリューション定義レコードを確認できます。類似レコードの ラベル をクリックすると、その類似性定義フォームが表示されます。

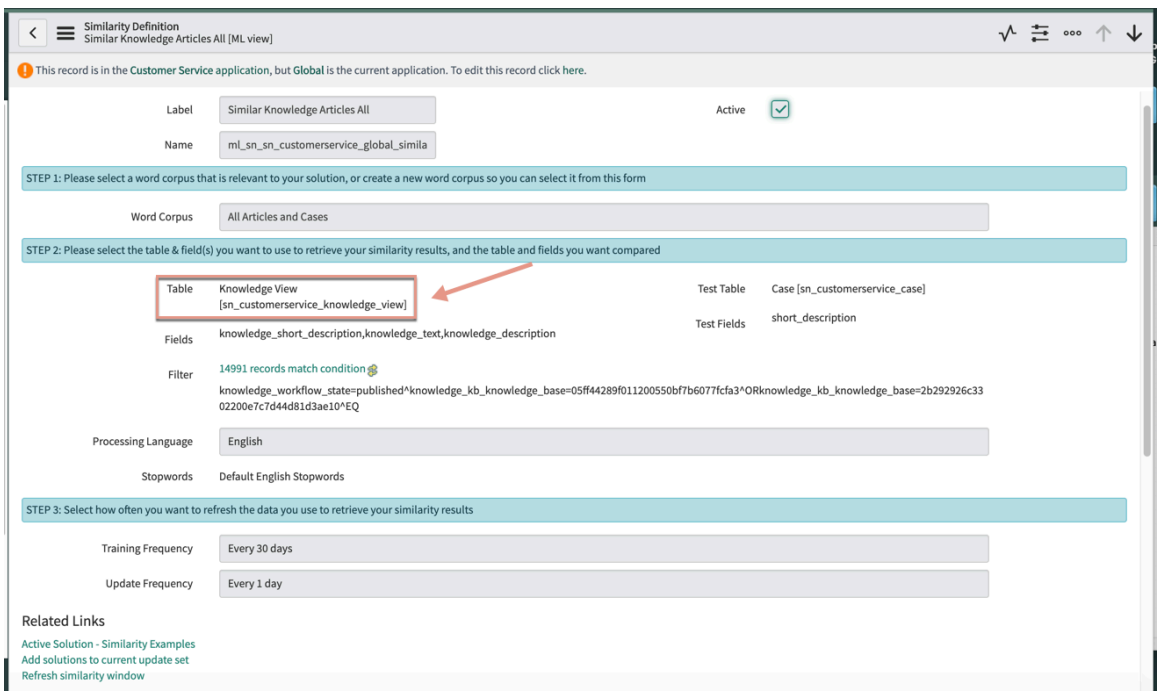
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



類似性定義フォームでは、[テーブル] フィールドのテーブルと [テストテーブル] フィールドの別のテーブルを使用して、類似性に基づいて既存のテーブルレコードを比較します。

類似性ソリューションでデータベースビューを使用するには、[テーブル] フィールドでテーブルを選択する代わりに、作成したデータベースビュー (このシナリオ例では [ナレッジビュー] データベースビュー) を選択します。この構成では、システムが 1 つではなく 5 つのデータテーブルを比較して処理するため、ソリューションがトレーニングで使用するレコードの数が増加します。



ServiceNow® 使用するアプリと機能 予測インテリジェンス

このトピックでは、予測インテリジェンス機能を利用するServiceNowアプリケーションと機能のサンプルを確認してください。

該当する場合、 ServiceNow チームは協力して、 予測インテリジェンス が提供する人工知能と機械学習機能を適用する製品を作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらのチームには、さまざまな事業部門 (BU) と業界の顧客がいます。たとえば、 カスタマーサービス管理 (CSM) (CSM) のマーケティング、製品、設計、開発、およびドキュメント作成チームは、プラットフォーム 予測インテリジェンス チームと連携して、 ServiceNow CSM の顧客に BU 固有の製品を提供します。

予測インテリジェンス機能を使用するServiceNow製品の一部を次に示します。

戦略的ポートフォリオ管理 (SPM) の機械学習ソリューション	ナレッジ管理の機械学習ソリューション	IT Service Management の機械学習ソリューション
HR サービスデリバリ (HRSD) 向けの機械学習ソリューション	HR サービスデリバリエージェントワークスペースの機械学習ソリューション	ガバナンス、リスク、コンプライアンス 予測インテリジェンス プラグインを使用して問題をアサイン
脆弱性対応の機械学習ソリューション	カスタマーサービス管理 (CSM) の機械学習ソリューション	検索管理のための機械学習ソリューション
フィールドサービス管理 (FSM) の機械学習ソリューション	イベント管理の機械学習ソリューション	フローデザイナーの機械学習ソリューション

ML アクションでのワークフロースタジオでの予測インテリジェンスの使用

ワークフロースタジオ で予測インテリジェンスアクションを使用して、モデル予測を組み込んだフローを作成します。

始める前に

- インスタンスで 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) および 予測インテリジェンス for フローデザイナー (com.snc.ml_flowdesigner) プラグインがアクティブ化されていることを確認します。
- 既存のトレーニング済み 予測インテリジェンス ソリューションを作成または使用します。
- 必要なロール:admin または ml_admin、flow_designer または delegated_developer。

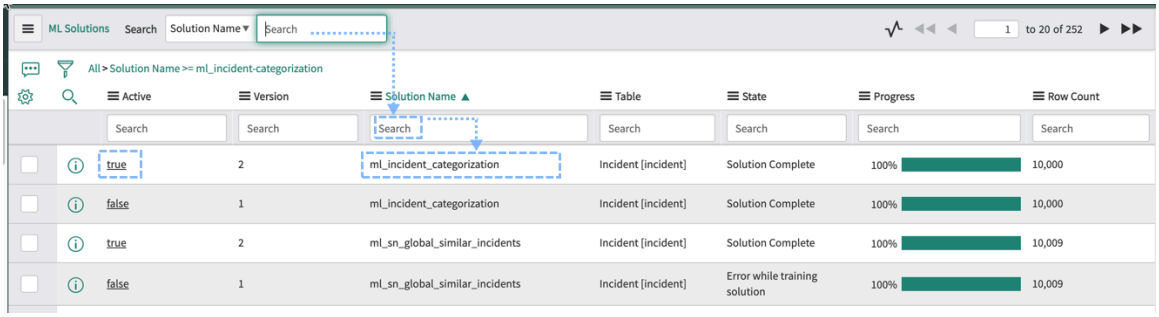
このタスクについて
ワークフロースタジオ を使用すると、複雑なプロセスを自動化できます。最初に特定することは、自動化するプロセスです。この例のシナリオでは、インシデントレコードへのカテゴリの割り当てを自動化しています。フローを完了すると、インスタンスに作成された次のインシデントレコードが、[簡単な説明] フィールドに入力されたテキストに基づいてレコードの [カテゴリ] フィールドを更新します。

ユースケースに応じて、アクティブでトレーニング済みの分類、類似性、または回帰 ML ソリューションをフローに展開できます。

この手順例では、フローデザイナーアクションでml_incident_categorizationソリューションを展開するフローを作成します。このソリューションを見つけるには、次の画像に示すように、ML ソリューションテーブルで検索します。使用するソリューションがトレーニングされ、その [アクティブ] の値が **true** に設定されていることを確認します。

自動翻訳

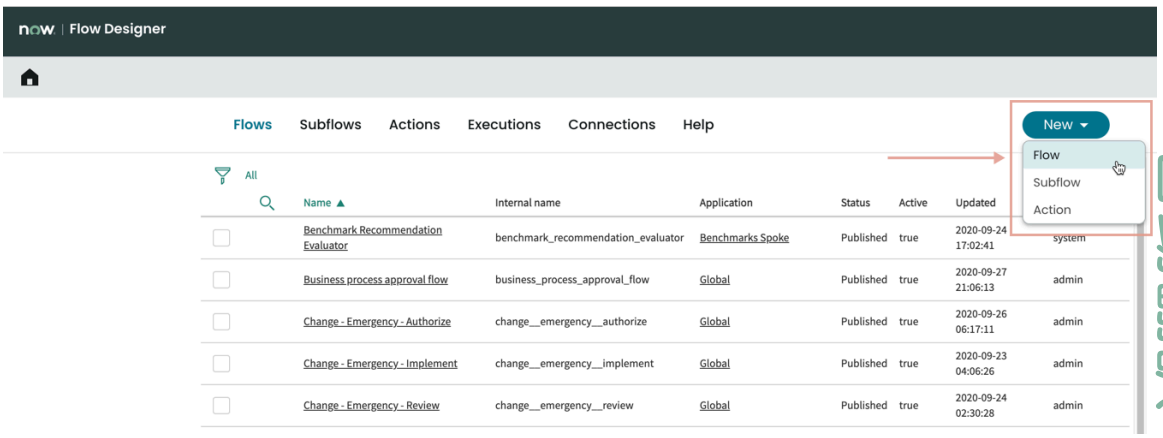
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ワークフロースタジオ でフローデザイナーを使用する方法の詳細については、「フローの探索」を参照してください。予測インテリジェンス for フローデザイナー に含まれるアクションの詳細については、「フローデザイナーの機械学習ソリューション」の「スポークアクション」テーブルを参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > プロセス自動化 > ワークフロースタジオ.
2. 選択 新規 > フロー.



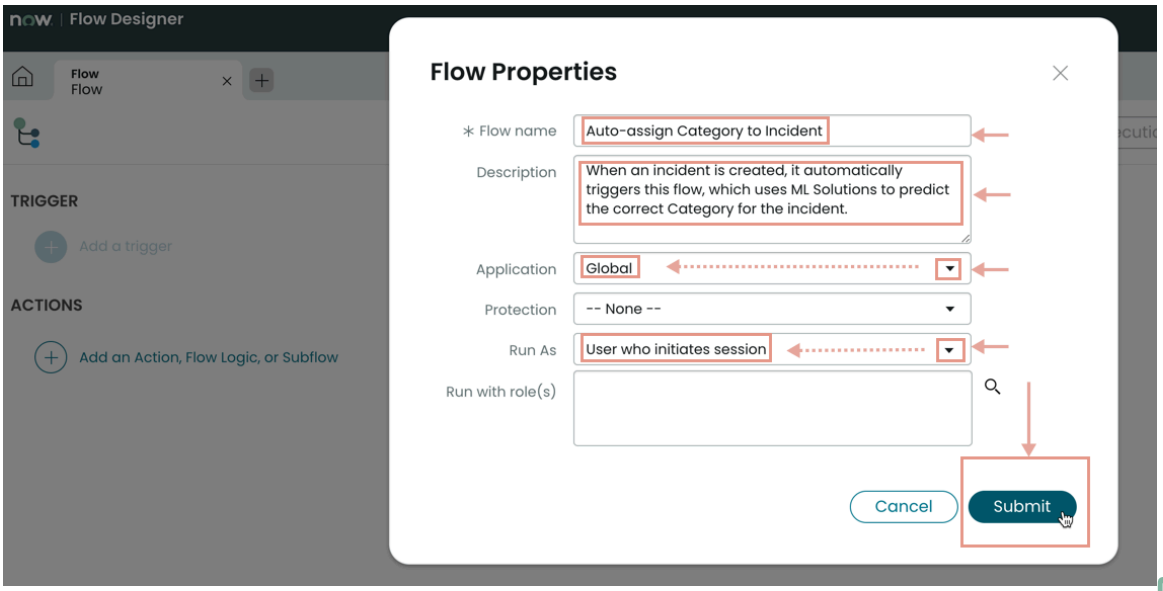
3. [フローの詳細を取得しましょう] 画面で、次のフィールドを構成します。

フィールド	説明
フロー名	フローの名前を入力します。このシナリオでは、「 カテゴリをインシデントに自動アサイン」と入力します。
説明	フローが提供する内容の簡単な概要説明を入力します。たとえば、次のように入力します。 インシデントが作成されると、このフローが自動的にトリガーされ、ML ソリューションを使用してインシデントの正しいカテゴリが予測されます。
アプリケーション	**[Global** (グローバル)] を選択します。
保護	**[--**なし--] または [読み取り専用] を選択します。このシナリオでは、[**--**なし--] を選択します。
実行方法	セッションを開始するユーザーを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ロールを使用して実行	空白のままにします。
フローのデフォルトの優先度	中 (デフォルト)。

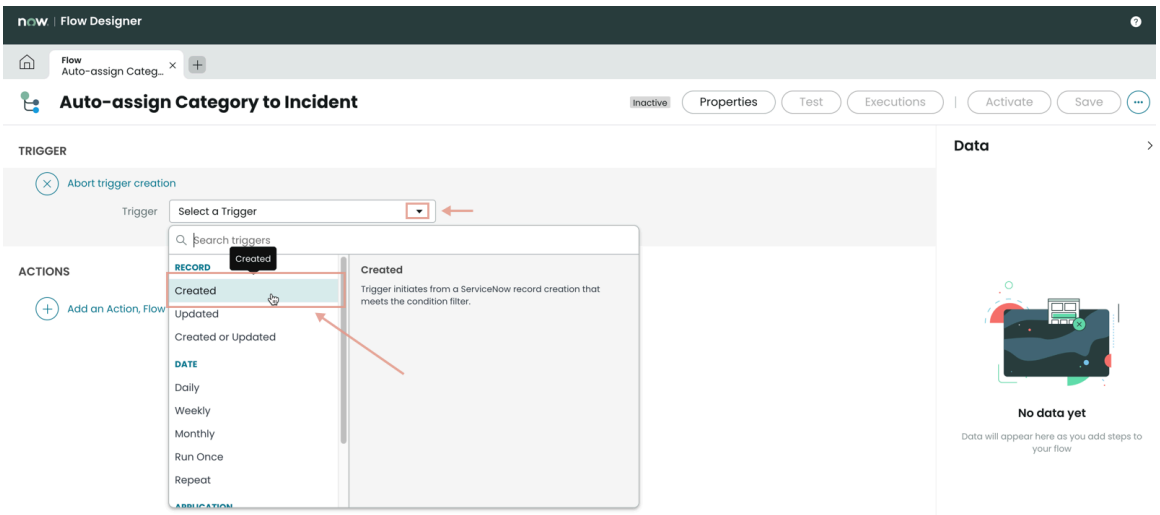
4. [**Submit** (送信)] を選択します。



[フロー] 画面が表示され、フローに割り当てた インシデント名にカテゴリを自動アサイン することが表示されます。[はじめに] 画面が表示されたら、[ツアーをスキップ] を選択します。

5. 画面の [トリガー] セクションで、次のフィールドを設定してフローのトリガーを作成します。

   a. トリガーを追加する: [作成済み] を選択します。

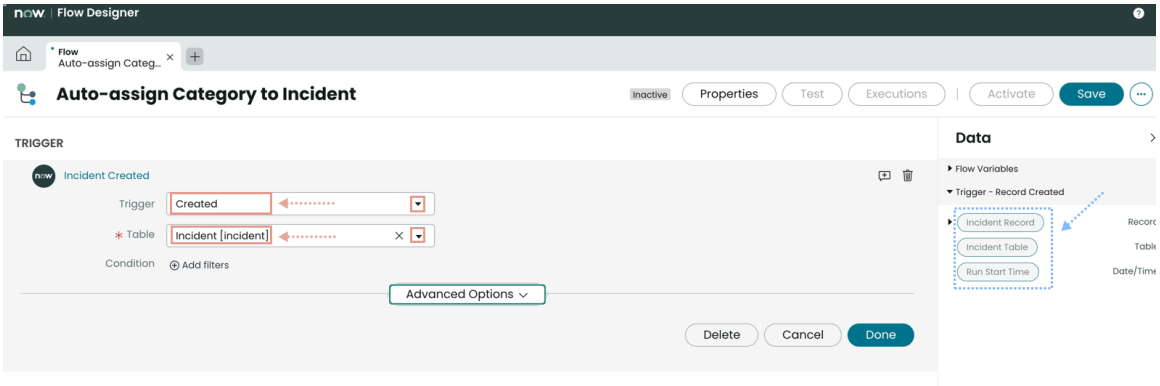


   b. テーブル: インシデント **[incident]** を選択します。

   注: [トリガー] フィールドと [テーブル] フィールドの両方を設定すると、レコードデータピルが画面の [データ] セクションに表示されるため、フローで使用できます。

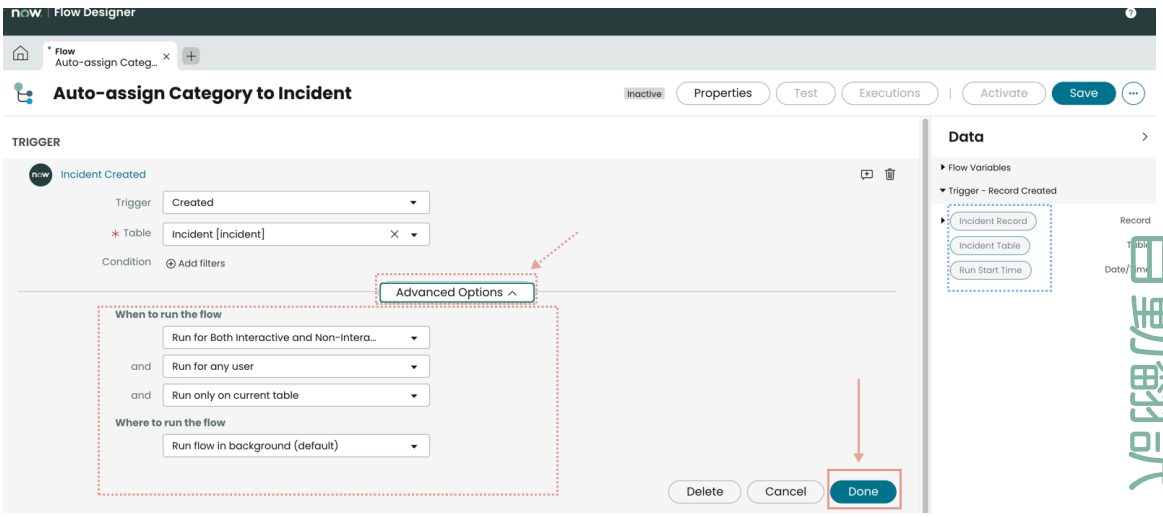
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



c. 条件:フローに条件を追加する場合は、[フィルターの追加] を選択します。

d. オプション: [詳細オプション] パネルを開くと、フローに適用できる追加の条件が表示されます。



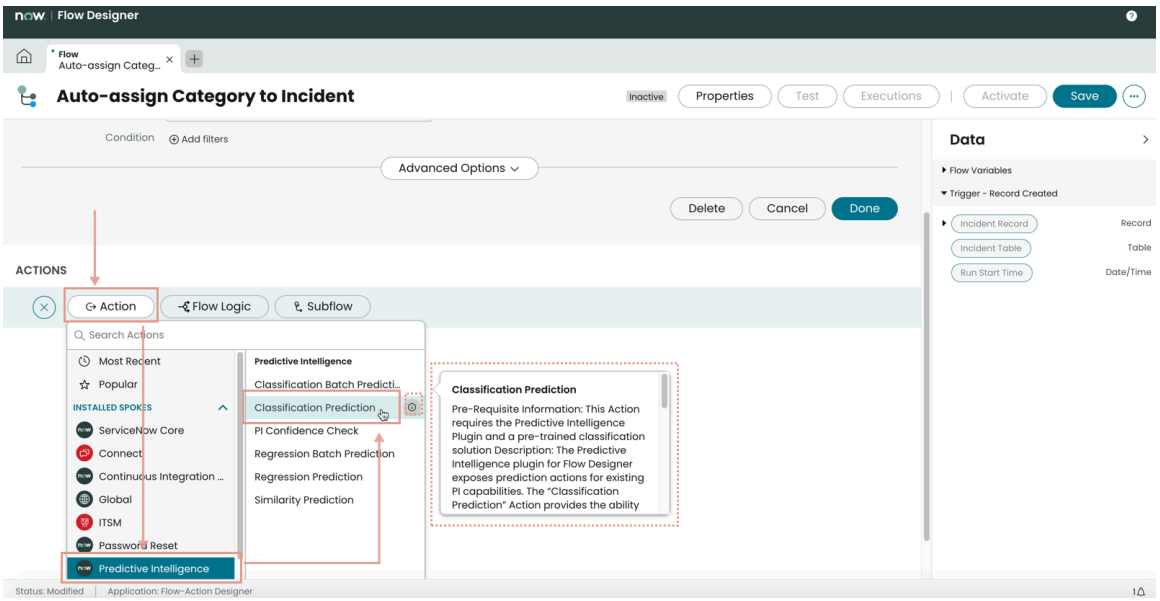
e. オプション: パネルを閉じるには、[詳細オプション] を選択します。

f. **[Done** (完了)] を選択します。

6. 画面の [アクション] セクションで、次のフィールドを設定して分類予測アクションを作成します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アクション、フローロジック、またはサブフローの追加:選択 アクション > 予測インテリジェンス > 分類予測.

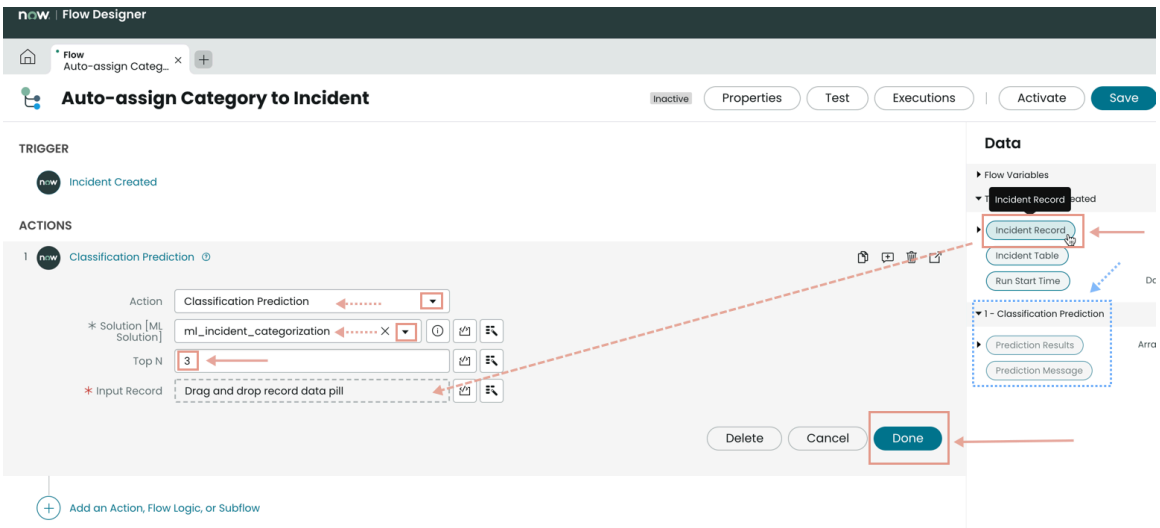


ツールヒントを選択すると、分類予測の説明が表示されます。

b. ソリューション名 **[ML ソリューション]:ml_incident_categorization**を選択します。

c. 上位 **N**: 3 を入力します。
3 などの数値を入力すると、予測信頼スコアが最も高い上位 3 つの ML 予測が使用されます。何も入力しない場合、デフォルト値は 1 に設定されます。

d. 入力レコード: [トリガー] → [インシデントレコード] データピルを [入力レコード] フィールドにドラッグアンドドロップします。



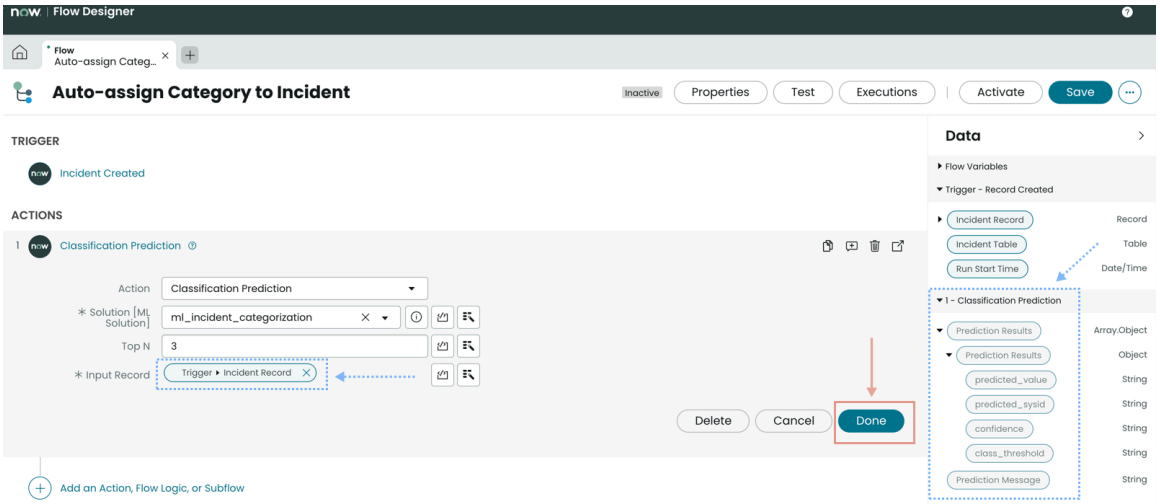
[アクション]、[ソリューション名]、[上位 N]、および [入力レコード] の値は、カテゴリ予測の基礎となります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** このレコードにドロップするデータピルもレコードである必要があります。たとえば、テーブルピルや日付/時刻ピルを [入力レコード] フィールドにドロップしないでください。

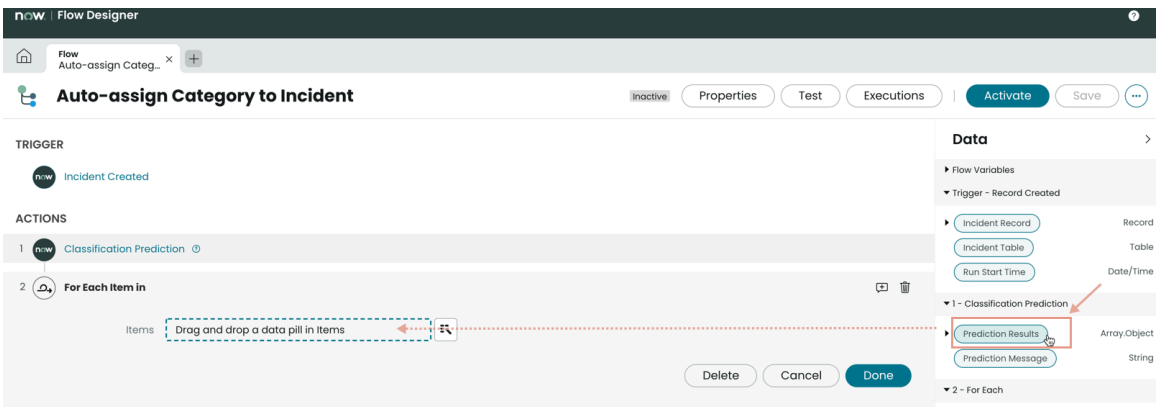
e. **[Done** (完了)] を選択します。
結果:分類予測アクションがフローで完了し、そのデータピルが画面の [データ] セクションに表示されます。



7. 画面の [アクション] セクションで、次の手順を使用して、インシデントの予測結果のアクションとフローロジックを作成します。

> **注:** ループを使用してすべての予測結果を反復処理できますが、このドキュメントに示すシナリオでは、比較的少数のアクションを使用します。より高度なフロー構成については、フローデザイナー を参照してください。

a. アイテムリスト内の各アイテムの場合:[予測結果] データピルを [アイテム] フィールドにドラッグアンドドロップします。

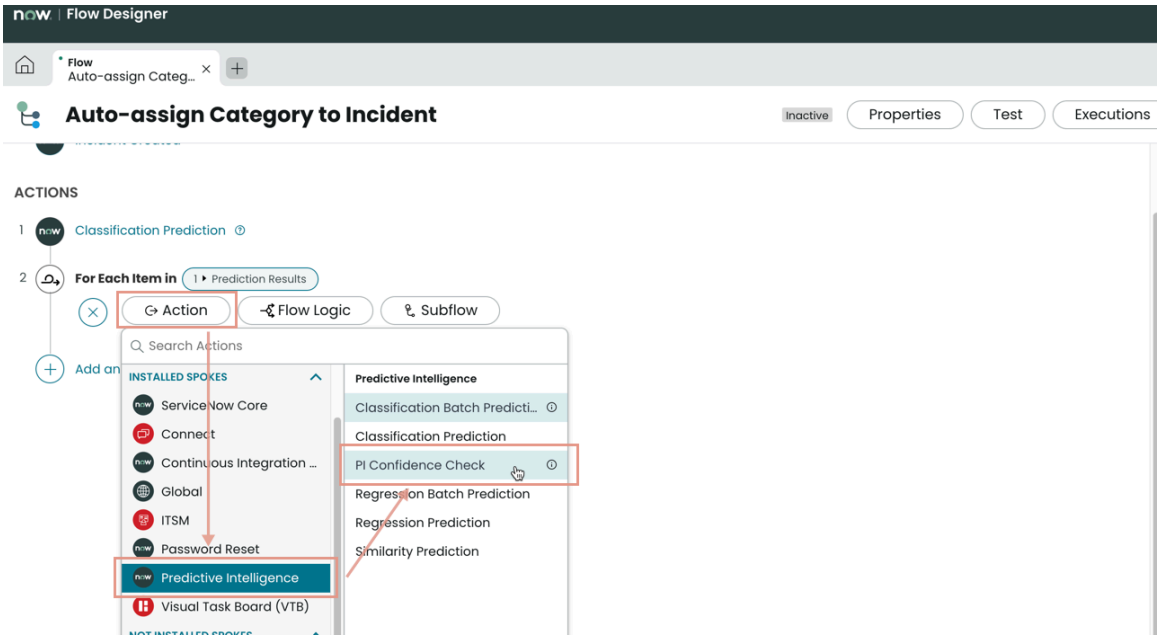


> **注:** 回帰予測アクションのアイテムのリストにアクセスするために、For **Each Item in** フローロジックは必要ありません。

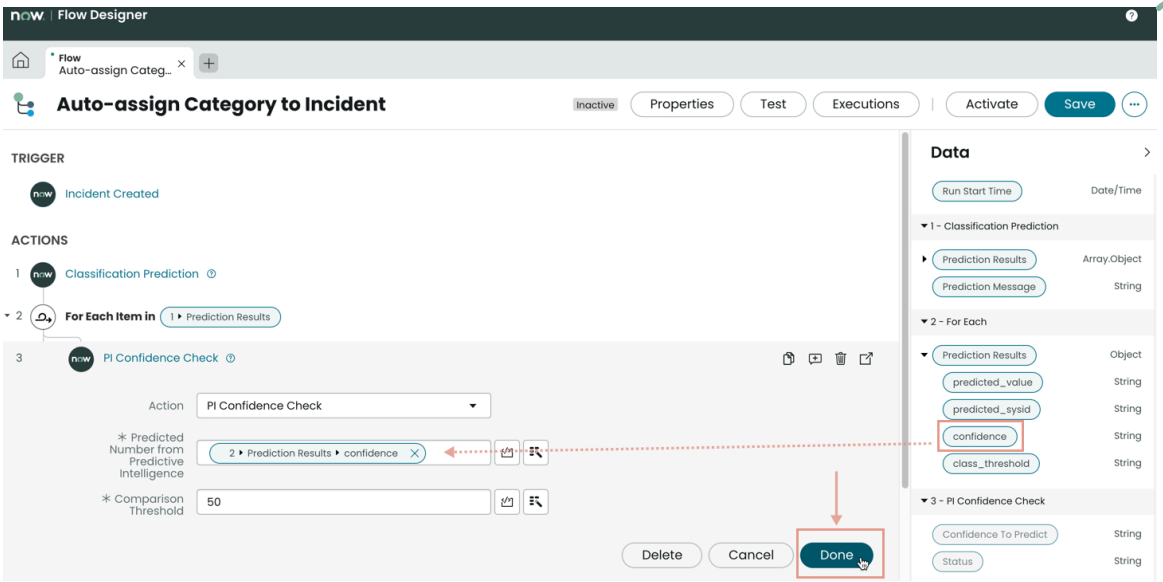
b. [完了] をクリックします。
結果:フローで [予測結果] アクションが開始され、そのデータピルが画面の [データ] セクションに表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 画面の [アクション] セクションで、 アクション > 予測インテリジェンス > **PI** 信頼性チェック.
   PI 信頼性チェックは、フロー内の値を比較するために使用できるツールです。このユースケースでは、予測結果の値を比較し、チェックからの出力は True または False のいずれかになります。

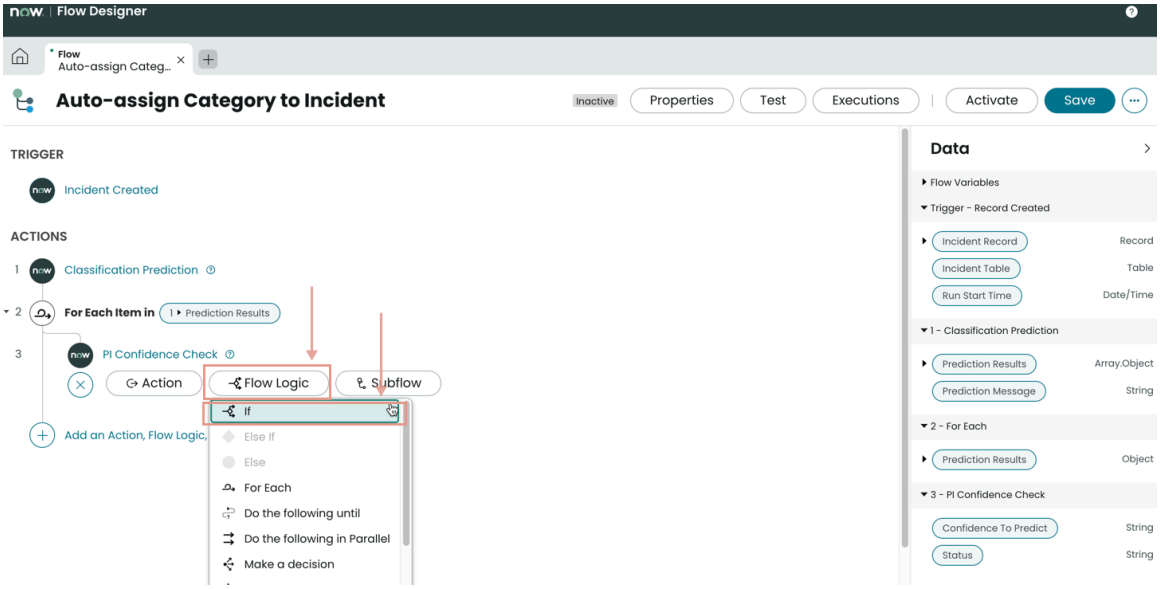


9. 信頼性データピルを [予測インテリジェンスからの予測数] フィールドにドラッグアンドドロップします。
10. [比較しきい値] フィールドに 50 を入力します。
    このシナリオ例では、50 という数字を入力し、信頼スコアが 50% を超える予測を使用するようにシステムに指示します。
11. **[Done** (完了)] を選択します。

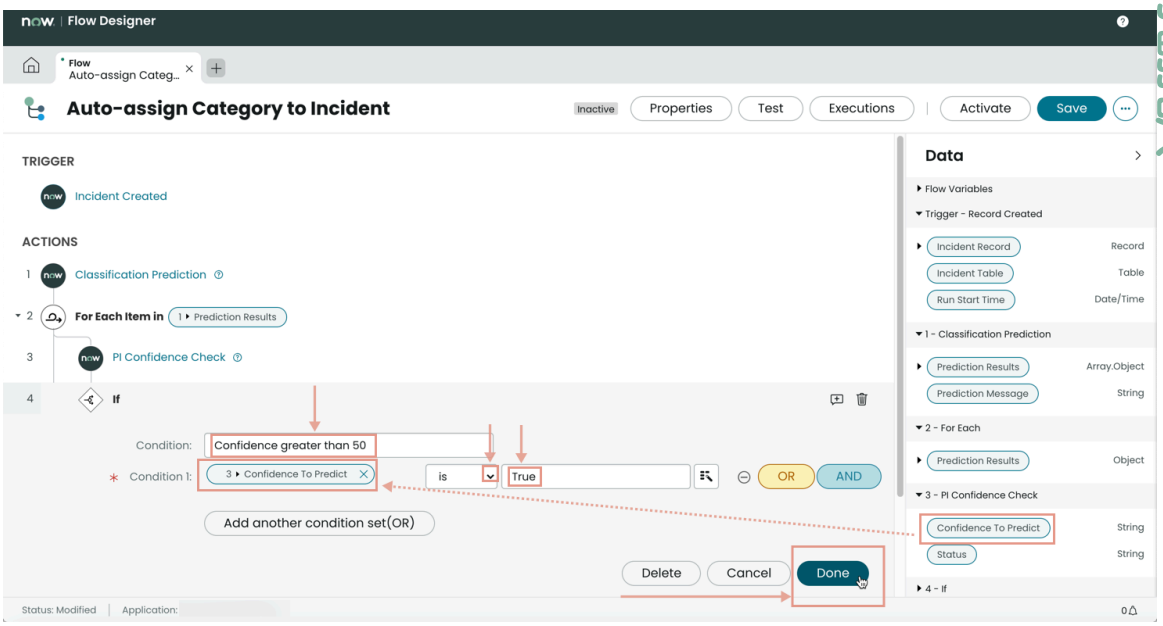


12. 選択 フローロジック > **If** をクリックしてフローに条件を追加します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



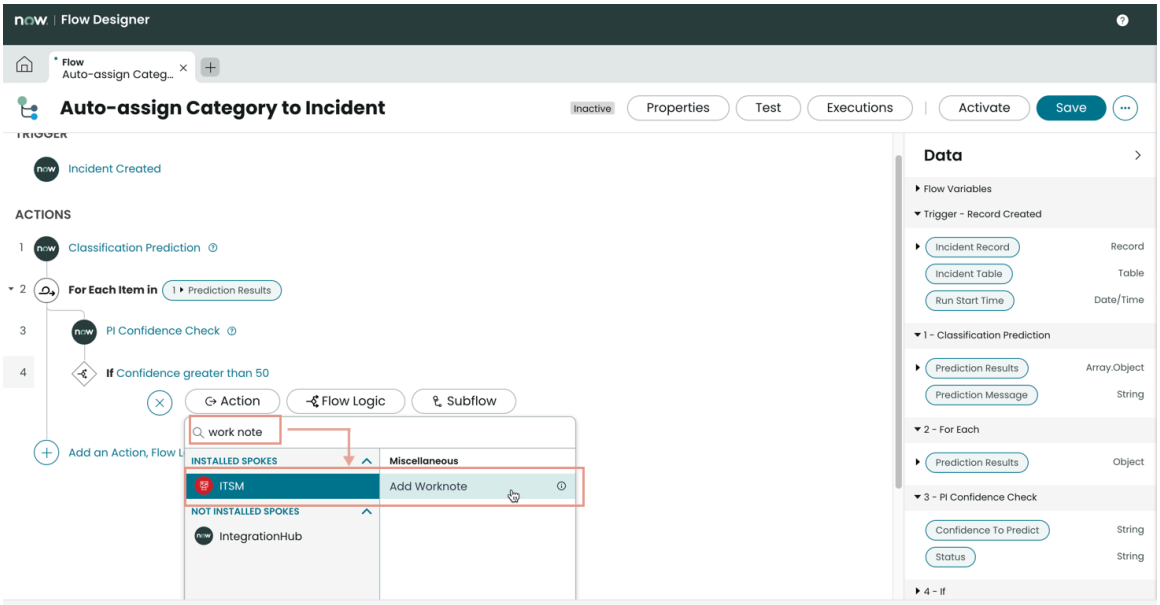
13. 次のフィールドを設定して、条件フローロジックの最初の部分を定義します。
    - 条件:実行する内容を定義する条件の名前を入力します。このシナリオ例では、「`50 より大きい信頼性`」と入力します。
    - 条件 **1**: [予測の信頼性] データピルをフィールドにドラッグアンドドロップします。[次の値に等しい] を選択し、値 `True` を入力します。このステップにより、条件フローロジックの最初の部分 (前提) が完了します。
    - **[Done** (完了)] を選択します。



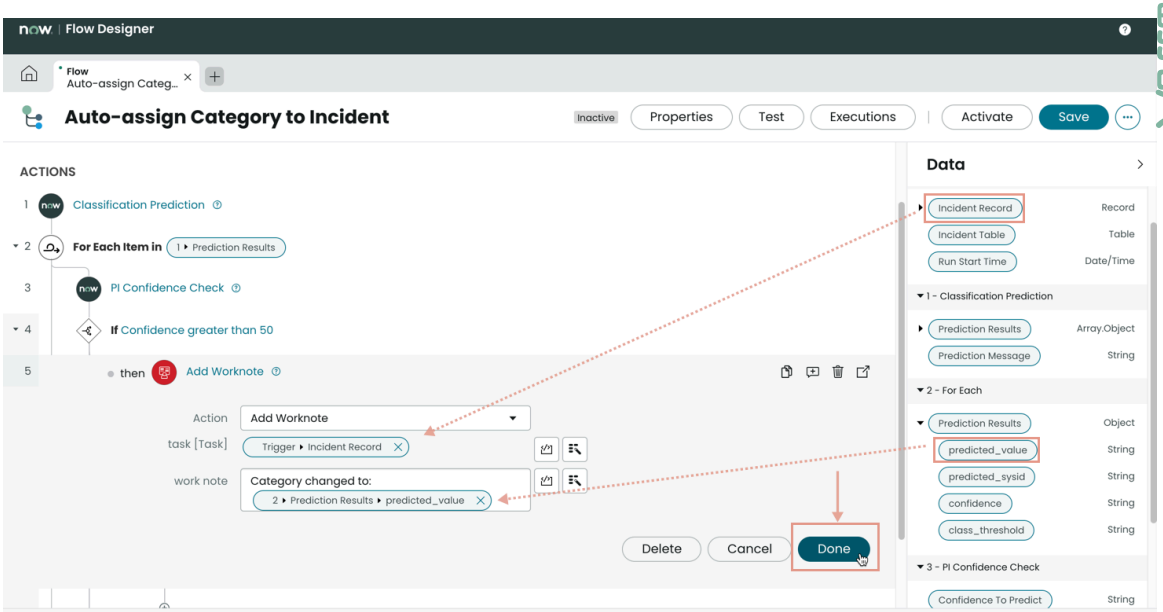
14. [アクション] を選択し、検索フィールドに`作業メモ`を入力します。
15. 選択 **ITSM** > 作業メモを追加 をクリックして、条件の 2 番目の部分 (結論) として作業メモを追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

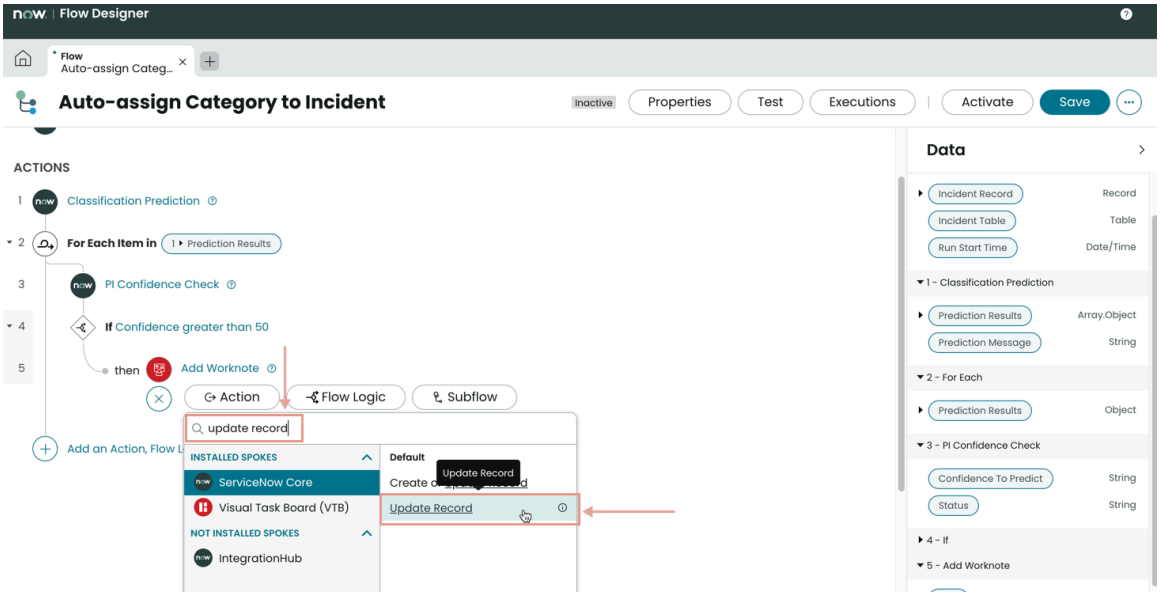


16. 次のフィールドを設定して、条件フローロジックの 2 番目と最後の部分を定義します。
    - 処置: 上記のステップ 14 の結果として、このフィールドに [作業メモを追加] が自動的に表示されます。
    - タスク **[task]**:インシデントレコードデータピルをフィールドにドラッグアンドドロップします。
    - 作業メモ: **predicted_value** データピルをフィールドにドラッグアンドドロップします。このステップにより、条件フローロジックの結論は完了です。
    - **[Done** (完了)] を選択します。

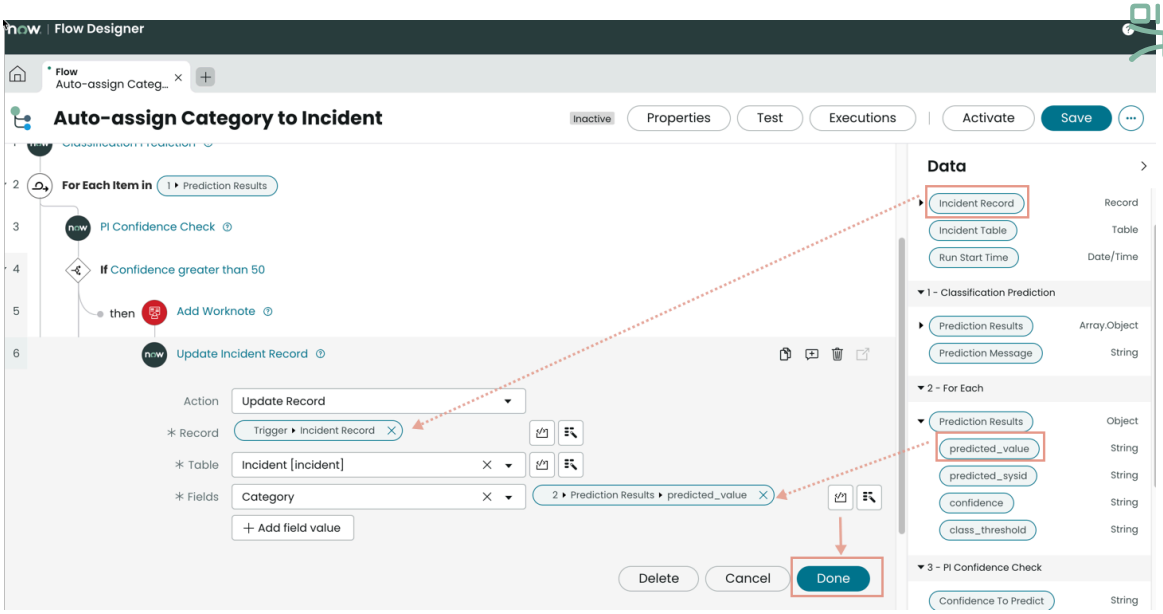


17. [アクション] を選択し、検索フィールドに「レコードの更新」と入力します。
18. [**Update Record** (レコードを更新)] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



19. インシデントレコードを更新するには、次のフィールドを設定します。
    - アクション:上記のステップ 16 の結果として、 このフィールドに [レコードの更新] が自動的に表示されます。
    - レコード: インシデントレコード データピルをこのフィールドにドラッグアンドドロップします。
    - テーブル: インシデント **[incident]** を選択します。
    - フィールド: [カテゴリ] を選択します。次に、 **predicted_value** データピルをこのフィールドの [カテゴリ] 値の横にドラッグアンドドロップします。
    - [完了] をクリックします。

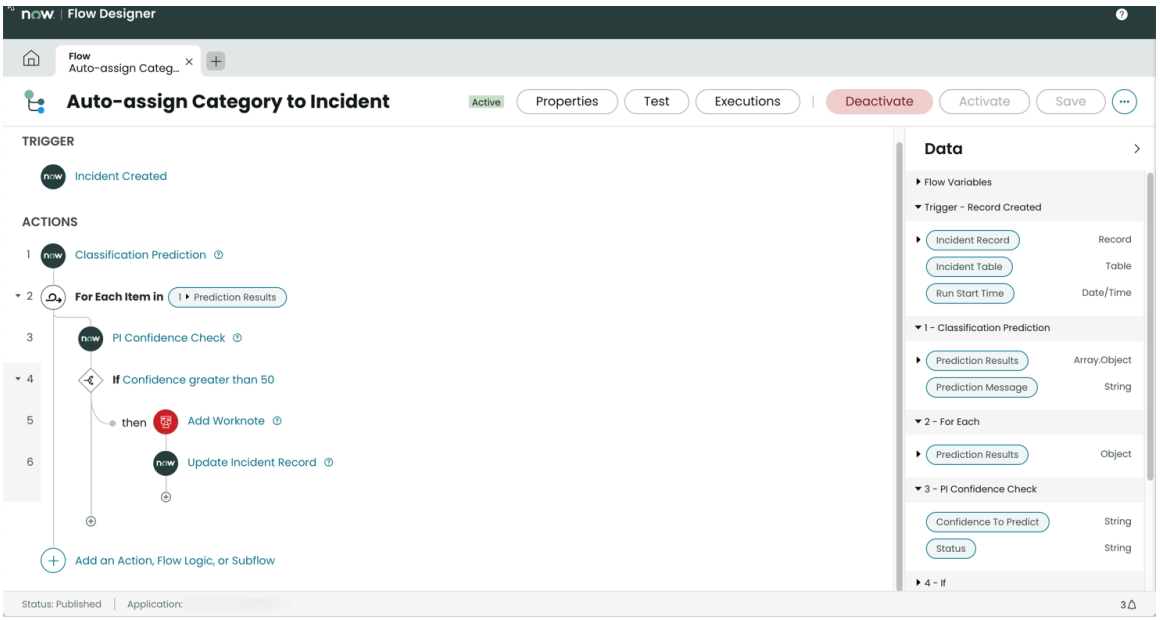


20. [**Save** (保存)] をクリックする。
21. **[Activate** (アクティブ化)] を選択します。

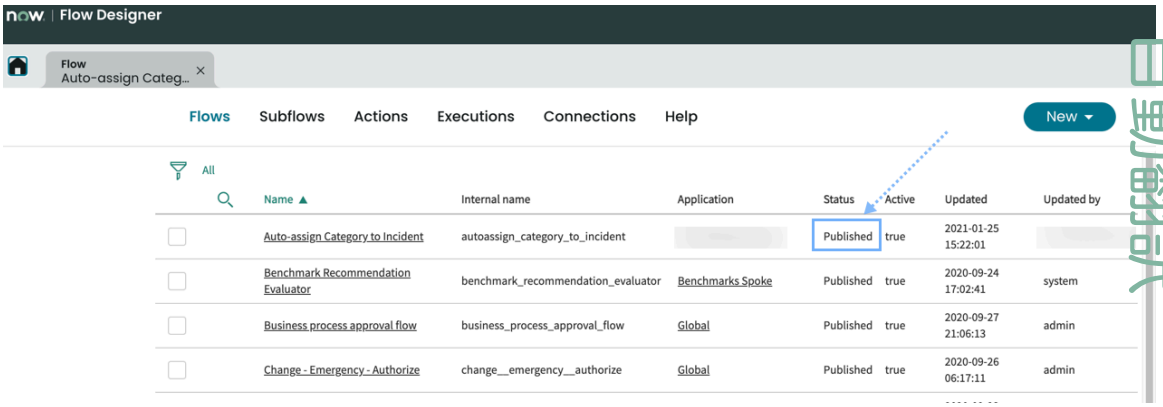
    結果

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ [カテゴリをインシデントに自動アサイン] フローがアクティブ化され、完了しました。

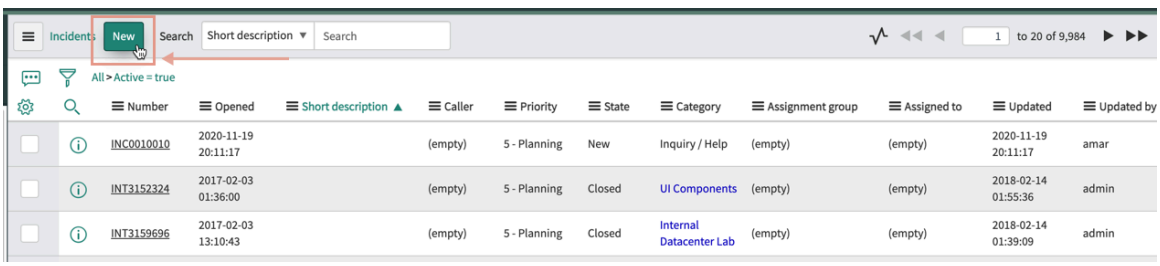


◦ また、 フローデザイナー ホーム画面の [フロー] 列にも公開済みとして表示されます。



22. [インシデント] に移動します。

23. [新規] を選択して、インシデントテーブルにテストインシデントレコードを作成します。
このシナリオ例では、レコードINC0010011を作成します。

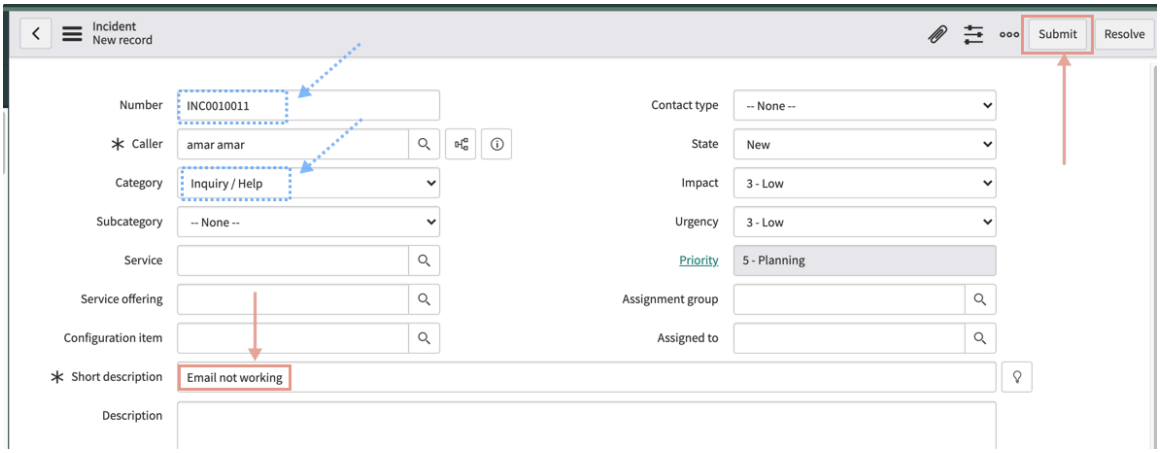


24. 作成したレコードで、[カテゴリ] の値が [問い合わせ/ヘルプ] に設定されていることを次の画像で確認してください。

25. [簡単な説明] フィールドに、「`Email not working`」と入力します。

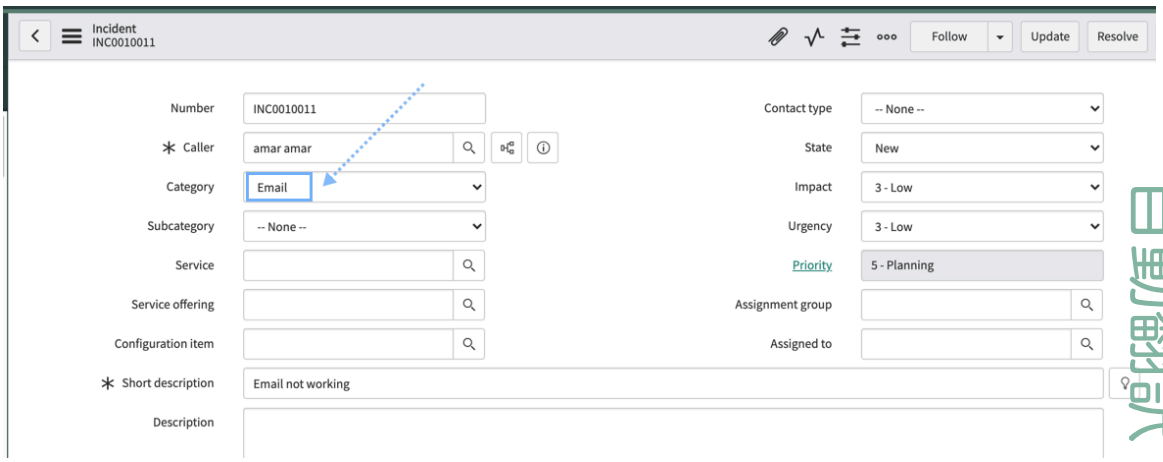
26. [**Submit** (送信)] を選択します。

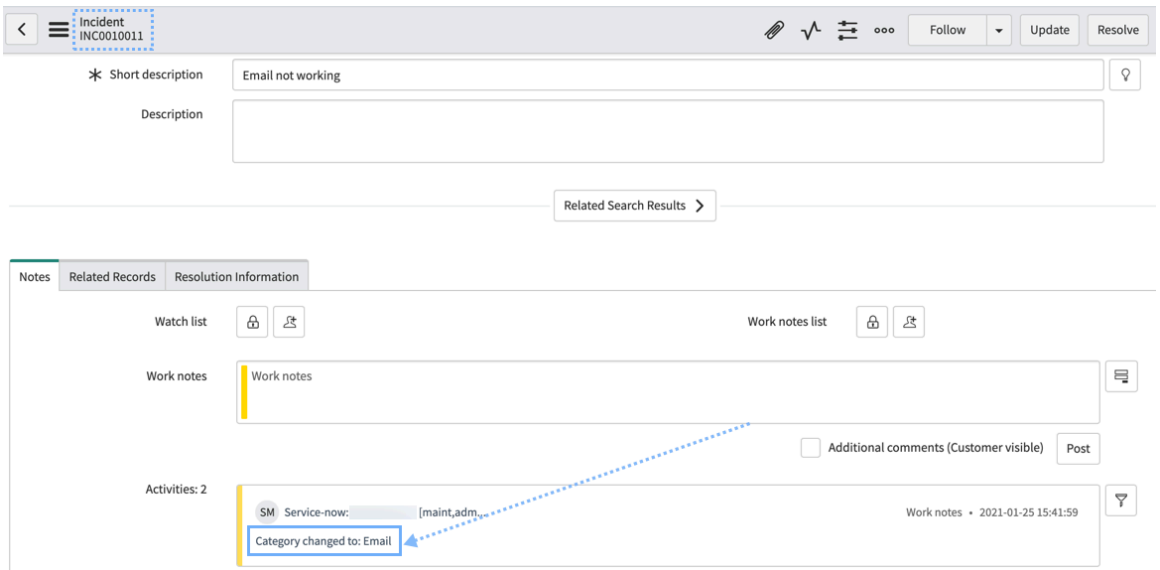
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結果

インシデントレコードが更新され、そのカテゴリ値が [問い合わせ/ヘルプ] から [メール] に変更されたことが示されます。





関連情報

フローデザイナーの機械学習ソリューション

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLSolutionFactory スクリプト可能オブジェクトの使用

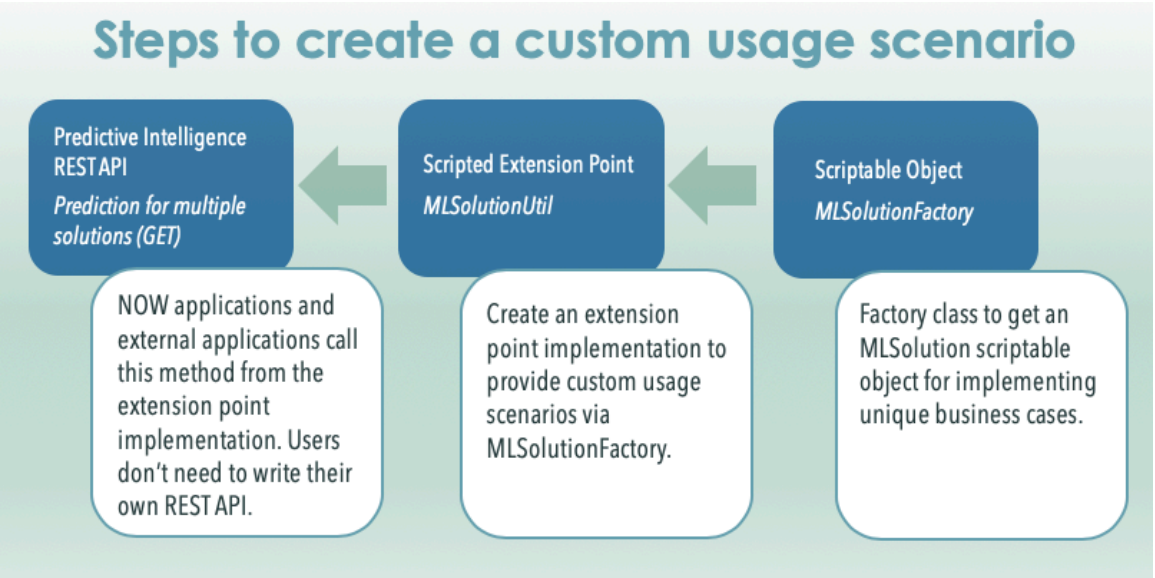
MLSolutionFactory スクリプト可能オブジェクトを使用すると、ML 機能を定義できます。API を使用して、大規模なクラスターや複数の PRB が添付されたクラスターのサブクラスタリングなど、データ駆動型機能を作成できます。

スクリプト拡張ポイントでスクリプト可能オブジェクトを使用して、 予測インテリジェンス REST API メソッドを変更して、固有のビジネスユースケースに対応できます。

Now Platform 上の ServiceNow アプリケーションは、スクリプト可能オブジェクトとスクリプトインクルードを呼び出すことができます。外部アプリケーションは、スクリプト化された REST API を呼び出すことができます。デフォルトでは、 Predictive Intelligence REST API - 複数ソリューションの予測 (GET) メソッドでは、 MLSolutionUtil スクリプト化拡張ポイントを使用して、アクティブなソリューション名のリストを取得し、入力を指定してそれらに対して予測を実行し、結果を返します。MLSolutionUtil 拡張ポイントを使用すると、特定の使用シナリオのカスタム実装を作成できます。たとえば、最初のソリューション予測の条件が満たされた後にのみ 2 番目のソリューション予測を実行するなどできます。

カスタム使用シナリオを作成するためのプロセスの概要を次に示します。

1. 開発者は、MLSolutionFactory スクリプト可能オブジェクトを使用して、MLSolutionUtil スクリプト拡張ポイントの実装をカスタマイズします。
   - グローバルとしてリストされます。拡張ポイント [sys_extension_point] テーブルの MLSolutionUtil
   - カスタムスクリプトインクルードの登録を参照してください。
2. MLSolutionUtil スクリプト拡張ポイントの実装では、`MLSolutionFactory` を使用してスクリプト可能オブジェクトを取得し、そのオブジェクトに対して予測メソッドを呼び出します。
3. 予測インテリジェンス REST API - 複数のソリューションの予測 (GET) メソッドは、要求のスコープに応じて `MLSolutionUtil` 拡張ポイントの実装を呼び出します。
4. アプリケーションは、スクリプトインクルードフォームから Predictive Intelligence REST API - Prediction for multiple solutions (GET) エンドポイントを呼び出します。



詳細については、次を参照してください。

- 予測インテリジェンス REST API
- MLSolutionFactory - グローバル

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

システムクローン作成中の ML ソリューションの保持

システムクローン作成中にトレーニング済みの機械学習 (ML) ソリューションデータを保存します。

始める前に
必要なロール：clone_admin または admin

このタスクについて
トレーニング済み ML ソリューションは添付ファイルレコードとして保存されます。これらのレコードには、ソリューション定義、テンプレートレコード、予測モデル統計情報などのソリューションアーティファクトが含まれ、これらはすべて 予測インテリジェンス 予測機能の必須コンポーネントです。これらのレコードを保持するには、システムクローンを実行するたびに以下の大まかな手順に従います。

注:

クローン作成ソリューションに関する一般的な問題のトラブルシューティングについては、Now Support ナレッジベース の「予測インテリジェンスの一般的な問題 [KB0781893] 」の記事を参照してください。

手順

1. アプリケーションナビゲーターに「sys_properties.list」と入力して、[システムのプロパティ] リストにアクセスします。
2. *glide.platform_ml.clone_artifacts*システムプロパティが **True** に設定されていることを確認します。
3. ML ソリューションレコードのみを保持し、sys_attachmentsテーブル内の他の多くのレコードを保持しない場合は、クローン実行から sys_attachments テーブルを除外します。
4. システムクローンを要求します。
   システムのクローン作成中も ML ソリューションレコードは保持されます。

予測インテリジェンスの参照情報

予測インテリジェンス のコンポーネントの参照ページ

予測インテリジェンスでのデータ暗号化

トレーニング 予測インテリジェンス ソリューションでサポートされている暗号化のタイプについて説明します。

暗号化されたトレーニングデータの予測インテリジェンスサポート

暗号化タイプ	サポート対象	メモ
フィールド暗号化	要	sharedservice.worker ユーザーに、暗号化に使用されたものと同じ暗号化モジュールロールがあることを確認します。
エッジ暗号化	いいえ	なし
FDE (フルディスク暗号化)	要	なし

予測インテリジェンス の言語サポート

予測インテリジェンス は多言語サポートを提供します。ソリューション 予測インテリジェンス で利用できる言語について説明します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

予測インテリジェンスソリューションを作成するときに、システムがトレーニングレコードの処理に使用する言語を選択できます。デフォルト言語は英語です。

ソリューションに言語を割り当てる方法の例については、 分類ソリューションの作成とトレーニング ドキュメントのステップ 3 にある「処理言語」セクションを参照してください。

言語のカスタムストップワードリストを作成することもできます。詳細については、「カスタムストップワードリストの作成」を参照してください。

言語サポートの範囲

予測インテリジェンスソリューションとストップワードのリストで現在利用可能な言語は次のとおりです:ブラジルポルトガル語、中国語 (簡体字)、デンマーク語、オランダ語、英語、フィンランド語、フランス語、フランス語 (カナダ)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、スペイン語、スウェーデン語。

予測インテリジェンスのプロパティ

予測インテリジェンス のプロパティは、機械学習ソリューションの特定のパラメーター、ソリューション トレーニング プロセス、およびキャッシュを制御します。

maint ロールを使用して、次の場所に移動します: 予測インテリジェンス > 構成 確認または編集します。

注: トレーニングに関連するほとんどのプロパティでは、レビューまたは編集するために maint ロールが必要です。一部のプロパティには他のロールが必要な場合があります。

予測インテリジェンスのプロパティ

プロパティ	プロパティ名	説明
トレーニング中に ml_solution_definition レコード の読み取り専用 ステータスを上書きします	glide.platform_ml.override_training_lock	• True:トレーニング中に 読み取り専用 ステータスを上書きし、ml_solution_definition を編集できるようにします。 • false:ml_solution_definition 読み取り専用 状態のままになります。
回帰の最小レコード数	glide.platform_ml.api.min_regression_records	回帰ソリューションのトレーニングに必要なレコードの最小数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 10000

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測インテリジェンスのプロパティ (続く)

プロパティ	プロパティ名	説明
		注: 新しい回帰ソリューションのサポートは、Washington DC リリースで廃止されました。既存のソリューションを編集してトレーニングすることはできますが、新しいソリューションを作成することはできません。
回帰の最大レコード数	glide.platform_ml.api.max_regression_records	回帰ソリューショントレーニングで使用できるレコードの最大数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 300000 **注:** 新しい回帰ソリューションのサポートは、Washington DC リリースで廃止されました。既存のソリューションを編集してトレーニングすることはできますが、新しいソリューションを作成することはできません。
タイムアウト前に良好なソリューションが更新なしで待機する時間 (ミリ秒)	glide.platform_ml.training_timeout	トレーニング中ソリューションのタイムアウト時間をミリ秒単位で設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 21600000 (ミリ秒)
最大モデル サイズ	glide.platform_ml.api.model_size	モデルのトレーニングに使用できるレコードの最大数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 524288000
トレーニングで使用するレコードの最大数	glide.platform_ml.api.csv_最大行数	分類ソリューショントレーニングで使用できるレコードの最大数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 300000
トレーニングで使用するレコードの最小数	glide.platform_ml.api.csv_min_line	分類ソリューショントレーニングに必要なレコードの最小数を設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予測インテリジェンスのプロパティ (続く)

プロパティ	プロパティ名	説明
		• タイプ：整数 • デフォルト値: 10000
要求時に取得できるレコードの最大日数	glide.platform_ml.api.csv_split_days	1 回の要求でレコードから取得できる最大日数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 30
ワードコーパスのテーブルあたりの最大レコード数	glide.platform_ml.api.max_ワードコーパス_レコード	類似性ソリューションおよびクラスタリングソリューションのワードコーパス作成のテーブルあたりの最大レコード数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 300000 注: Washington DC リリースでは、分類、クラスタリング、および類似性のソリューションでワークフローソリューションが使用されます。これらは事前にトレーニングされているため、ワードコーパスは必要ありません。[ワードコーパス] フィールドがワークフローソリューションフォームから削除されました。
類似ウィンドウ (ルックアップ結果) の最大レコード数	glide.platform_ml.api.max_similarity_window_records	結果を検索するために類似ウィンドウが取得できるレコードの最大数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 100000
クラスタリングの最大レコード数	glide.platform_ml.api.max_clustering_records	クラスターに含めることができるレコードの最大数を設定します。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 100000

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

シェアードサービススケジューラ

プロパティ	プロパティ名
シェアードサービススケジューラ URL	glide.shared_service_scheduler.url

機械学習アーティファクト

プロパティ	プロパティ名
キャッシュされるアーティファクトの最大数 (MB)	glide.cache.size.ml_object_cache
アーティファクト キャッシュ圧縮スキーム	glide.platform_ml.artifact.cache_compression_scheme

予測インテリジェンスのロール

予測インテリジェンス はこれらのロールに併せてインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

ML アドミン [ml_admin]

ml_predictor_resultsテーブルとml_predictor_results_taskテーブルの作成、読み取り、書き込み、または削除を行うことができます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- *pa_data_collector*
- *pa_viewer*

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ML ラベラー [ml_labeler]

ml_label_candidateテーブルの作成、読み取り、書き込み、または削除を行うことができます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- *sn_ace.ace_user*
- *nlu_user*

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

ML レポートユーザー [ml_report_user]

ml_predictor_resultsテーブルとml_predictor_results_taskテーブルを読み取ることができます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

pa_viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

なし。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) は、あらゆる組織がドキュメントからデータを抽出するプロセスを自動化および高速化できるようにする AI ソリューションです。そのデータをより大規模な自動化ワークフローに簡単に統合して、時間とリソースを節減できます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を使用してドキュメント処理を高速化および自動化する方法を示すビデオ

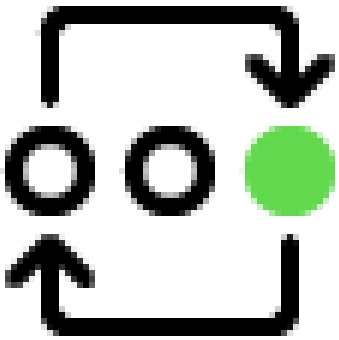
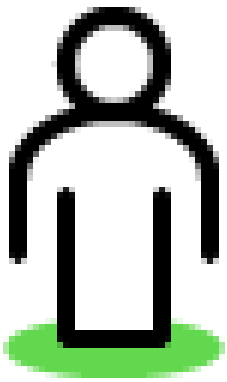
ストアでアプリを要求する

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始めましょう

探索  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の概念と機能について学ぶ	構成  さまざまなタイプのドキュメントを処理するようにドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を設定する	統合  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションと他のアプリケーションとの統合
使用  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションを使用して、ドキュメント内のテキストを検出して分析することにより、ドキュメントを処理します	監視  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の使用状況と有効性を追跡する	参照  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) とともにインストールされるプロパティの詳細を取得します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

	Now Assist は ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の値のいずれか  生成 AI を使用してドキュメントから情報を分析および抽出します	

トラブルシューティングとサポート

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) リリースノート の新機能と変更点の詳細をご覧ください。
- AI 製品とソリューションの追加リソース.
- AI とインテリジェンスに関する ServiceNow コミュニティ 。
- でリアルタイムコース、自分のペースで進められるトレーニング、キャリアリソースにアクセスします ServiceNow University .
- 既知のエラーポータル で既知のエラー記事を検索します。
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート .

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の探索

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、人工知能 (AI) を使用してドキュメントから情報を迅速かつ正確に分類して抽出するのに役立ちます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の概要

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、光学式文字認識 (OCR) と AI モデルを使用して、さまざまな構造と形式のドキュメントから情報を検出して抽出します。これにより、情報を正確に抽出し、文書処理を自動化することができます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のワークフロー

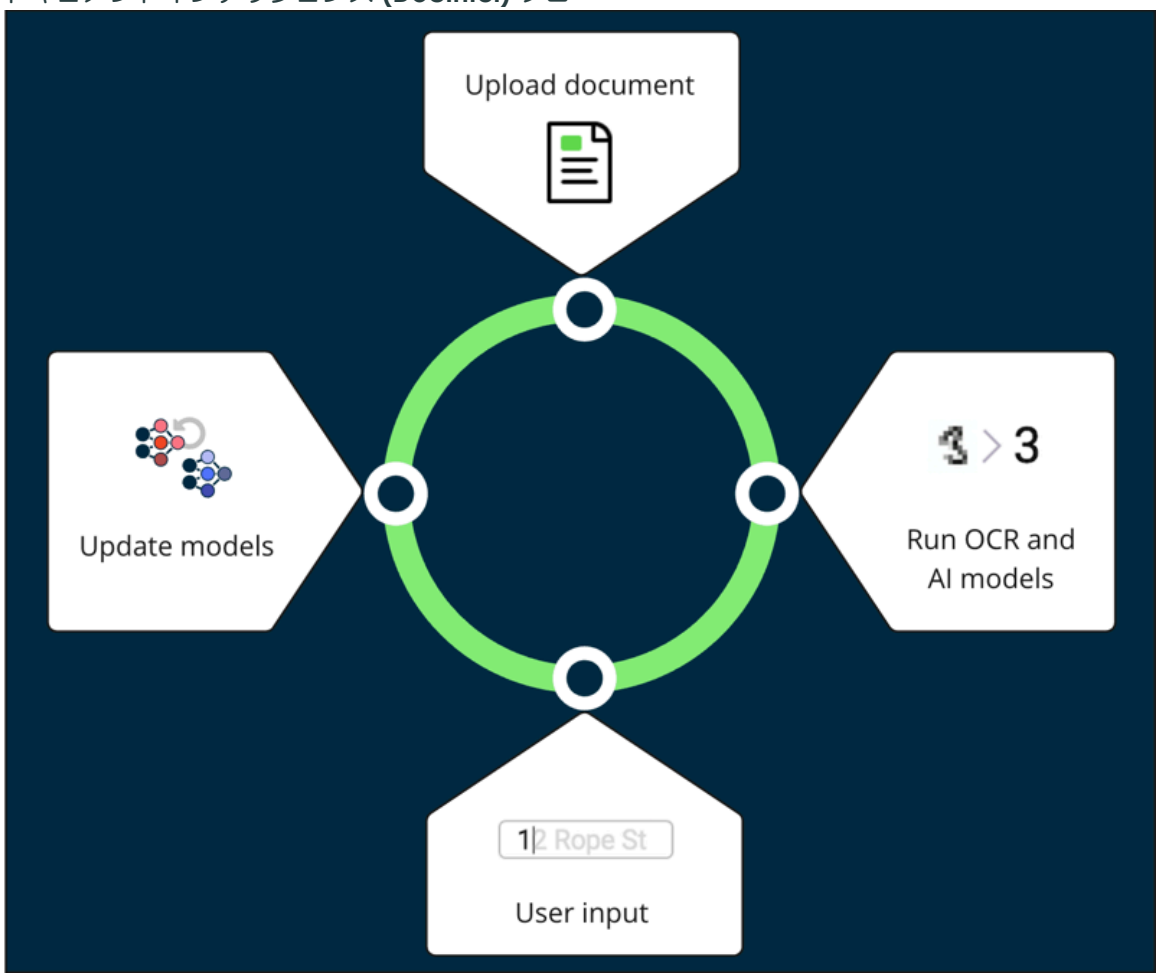
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) を使用すると、JPEG、PNG、または PDF 形式の単一または複数ページのドキュメントを処理できます。フォーム、請求書、身分証明書など、入力されたテキストを含むドキュメントを処理できます。

次の図は、ドキュメント抽出が ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)でどのように機能するかを示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** フロー



このワークフローの場合：

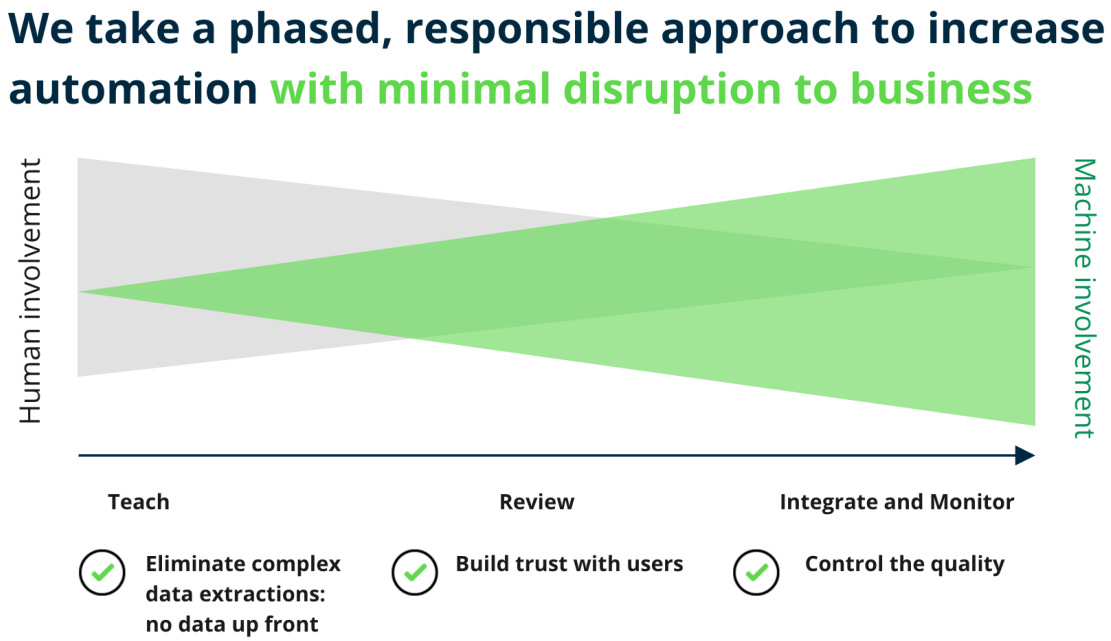
1. ドキュメントは、ドキュメントタスクで処理するためにアップロードされます。
2. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) OCR および AI モデルを使用してドキュメントからデータを抽出します。
3. ユーザーは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 推奨事項を検証または修正するための入力を提供します。
4. より正確な結果が得られるようにモデルが更新され、トレーニングされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のメリット

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のメリット



ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) には次のメリットがあります。

メリット	機能	ユーザー
PDFやスキャンした紙の文書など、多くの文書タイプからデータを抽出できるノーコードのセットアップで迅速に開始できます。	ドキュメント抽出ユースケースの設定	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン [sn_docintel.admin] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー [sn_docintel.manager]
定義したすべてのタイプのドキュメントの分類を有効にします。	ドキュメント分類ユースケースの設定	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン [sn_docintel.admin] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー [sn_docintel.manager]
継続的な学習のため、責任ある、フィードバック主導の AI を使用してインテリジェントに自動化できる。	データ抽出モードを構成する	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン [sn_docintel.admin] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー [sn_docintel.manager]

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
ドキュメント処理ステップをワークフローにシームレスに統合します。	他のアプリケーションとの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の統合	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン [sn_docintel.admin] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー [sn_docintel.manager]
フォーム、請求書、ID などの構造化ドキュメントおよび半構造化ドキュメントの抽出を高速化します。	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用したフィールドの抽出	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 作成エージェント [sn_docintel.creation_agent] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 抽出エージェント [sn_docintel.extraction_agent]
単一ページおよび複数ページのドキュメントの分類を迅速化します。	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用したドキュメントの分類	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 作成エージェント [sn_docintel.creation_agent] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 抽出エージェント [sn_docintel.extraction_agent]

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成

インスタンスで ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をアクティブ化し、基本構成を開始します。

1. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をインストールして設定します。
   - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の設定.

     ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の設定を開始する前に、重要な情報を確認してください。

   - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール.

     ドキュメント抽出 のユースケースに最適な構成エクスペリエンスを得るには、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンアプリケーションをインストールします。

   - バージョン 2.4 以前から ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降にアップグレード.

     ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降には、スコープ対象のアプリケーションから Now Platform プラグインへの移行をサポートする更新されたデータベーススキーマが含まれています。

   - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 設定を構成.

     全般設定を使用して、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) がユーザーに情報を表示する方法を制御します。

2. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ユースケースを構成します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

抽出するデータと適用するクラスまたはカテゴリを指示することで、さまざまなタイプのドキュメントを処理する ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を設定します。

- ドキュメント抽出ユースケースの設定.

  抽出ユースケースを作成し、フィールドとフィールドグループを追加し、データ抽出モードを設定して、ドキュメントからデータの抽出を開始します。

- ドキュメント抽出ユースケースの管理.

  ドキュメント抽出要件をサポートする ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ユースケースを管理します。

- ドキュメント分類ユースケースの設定.

  分類ユースケースを作成し、フィールド (クラス) を追加し、ユースケースをトレーニングしてドキュメントの分類を開始します。

- ドキュメント分類ユースケースの管理

  ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ユースケースを管理して、ドキュメントの分類要件をサポートします。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** の設定

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の設定を開始する前に、次の情報を確認します。

チェックリスト

セットアップタスク	説明
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) をサポートするために必要な ServiceNow コアアプリケーションまたはプラグインがインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。	次のアプリケーションまたはプラグインが ServiceNow Store からインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。最初のプラグインをアクティブ化すると、その依存プラグインが自動的にアクティブ化されます。インストールされていない場合は、スムーズに実装できるように、次の順序で一度に 1 つずつアプリケーションをインストールしてアクティブにします。 • 予測インテリジェンス (com.glide.platform_ml) • プラットフォーム ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (com.glide.platform_ml_di) • ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) UIB コンポーネント (sn_docintel_iframe) 詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール」を参照してください。
(オプション) ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンアプリケーションをインストールすると、プロセスオーナーがドキュメント抽出ソリューションを設定、構成、監視す	をインストールする ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン ServiceNow® Storeからのアプリケーション。依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チェックリスト (続く)

セットアップタスク	説明
るためのユーザーエクスペリエンスが向上します。	リースの互換性については、リストを確認してください。 アプリケーションの主な機能は次のとおりです。 • ドキュメントから抽出する対象を定義することで、ドキュメント抽出ソリューションを簡単に構成できます。 • ドキュメント抽出ソリューションのパフォーマンスを監視し、自動化のレベルを調整します。
必要な Now Platform ロールがアサインされていることを確認します。	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の機能全体で次のロールが使用されます。 • アドミニストレーター (admin) が ServiceNow Store からアプリケーションをインストールし、ロールをアサインします。 • sn_docintel.admin • sn_docintel.creation_agent • sn_docintel.extraction_agent • sn_docintel.manager • sn_docintel.viewer
ドメインセパレーション	データ、プロセス、および管理タスクを分離する場合は、 ドメインセパレーションのトピック 情報を確認してください。 「ドメインセパレーションとドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)をサポートするために必要なファイル拡張子が、glide.attachment.extensions システムプロパティのカスタマイズに含まれていることを確認します。	glide.attachment.extensions システムプロパティは、デフォルトでは空です。カスタマイズするときは、次のファイル拡張子が含まれていることを確認してください。 • jpeg • jpg • png • PDF 詳細については、「添付ファイルの拡張子の制限 」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チェックリスト (続く)

セットアップタスク	説明
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の実装をサポートするために必要なユースケースをコピーします。	ユースケースをそのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともにコピーするには、「ドキュメント抽出ユースケースの複製」の手順に従います。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)実装をサポートするために必要なユースケースをインポートします。	ユースケースをそのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともにインポートするには、「ドキュメント抽出ユースケースのインポート」の手順に従います。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** のインストール

admin ロールを持っている場合は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (sn_docintel) とドキュメントインテリジェンス (DocIntel) Admin (sn_docintel_admin) をインストールできます。sn_docintel_admin アプリケーションは、関連するServiceNow® Store依存関係をインストールします (まだインストールされていない場合)。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションリストを確認してください。
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeアドドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ミン アプリケーションリストを確認してください。
- 必要なロール：admin

このタスクについて

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ロール
- テーブル

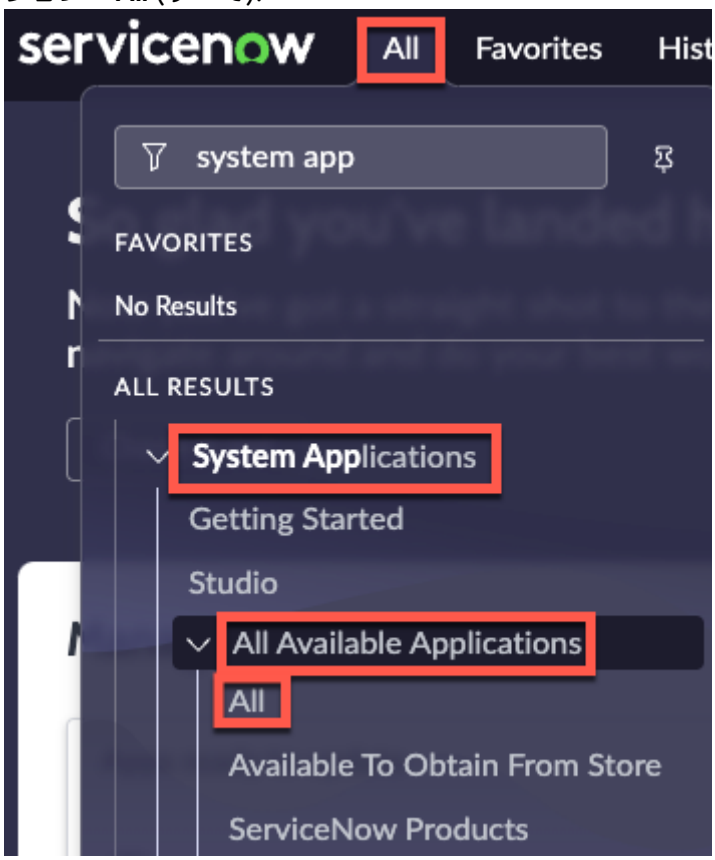
詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)と一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンアプリケーション (sn_docintel_admin) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store への要求が必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. [インストール] を選択します。

バージョン 2.4 以前から ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降にアップグレード

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降には、スコープ対象のアプリケーションから Now Platform プラグインへの移行をサポートする更新されたデータベーススキーマが含まれています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アップグレードタスク

バージョン 2.4 以前から ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) 3.0 以降にアップグレードする前に、このトピックの情報を確認してください。

インストールの詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール」を参照してください。

アップグレード前

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のアップグレード前のチェックリスト

アップグレード前のタスク	説明
アップグレードをスケジュールする時間を選択	夜間のタスク定義 (ユースケース) アップグレードジョブの実行中は、アップグレードを実行しないでください。その時点でアプリケーションをアップグレードすると、翌日の実行時刻までユースケースのアップグレードが妨げられます。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) データベーステーブルを直接指すカスタムコードを更新します	バージョン 2.4 以前から ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降にアップグレードすると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は新しいフローアクションを使用します。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、スコープ対象のアプリケーションテーブル (di_) の代わりに Now Platform データベーステーブル (sys_di_) も使用します。すべての ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) データは、これらのプラットフォームテーブルに自動的に移行されます。 **注:** 移行が完了するまで、ドキュメント抽出ユースケースを使用できない場合があります。 スコープ対象のアプリケーションテーブル (di_) を直接指すカスタムコードがインスタンスにある場合は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) API を使用してプラットフォームコンポーネントを更新することをお勧めします。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 2.4 以前のフローアクションを使用するカスタムコードがある場合は、3.0 以降のフローアクションを使用するように更新する必要があります。 テーブルのリストについては、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)と一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のアップグレード前のチェックリスト (続く)

アップグレード前のタスク	説明
統合のためのクロススコープレコードの追加	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)との統合の場合は、新しいドキュメントインテリジェンス (DocIntel)データベーステーブルのクロススコープレコードを追加します。 **注:** 古いテーブルの既存のクロススコープレコードが削除されていないことを確認します。 追加するレコードのリストについては、「クロススコープレコード」セクションを参照してください。 クロススコープレコードの詳細については、「クロススコープ特権レコード」を参照してください。

アップグレード中

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のアップグレードチェックリスト

アップグレードタスク	説明
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用したフィールドの抽出を避ける	ドキュメントタスクがsys_di_taskテーブルに移行されるまで待ってから、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを使用して完了してください。アップグレード中にタスクを完了すると、データが失われる可能性があります。

アップグレード後

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のアップグレード後のチェックリスト

アップグレード後のタスク	説明
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)統合とカスタムワークフローのテスト	ユースケース統合をテストして、新しいデータベーススキーマで機能することを確認します。
データ損失を確認する	データが失われる可能性があるケースには、次のようなものがあります。 • 古いdi_taskレコードの添付ファイルが削除されるアクションを行うと、新しいsys_di_taskレコードの添付ファイルがなくなります。 • データ移行中 (つまり、3.0 以降のアップグレード中またはアップグレード直後) に作成された新しいタスクを削除すると、それらのレ

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のアップグレード後のチェックリスト (続く)

アップグレード後のタスク	説明
	コードはdi_taskテーブルにエントリがない可能性があるため、完全に削除されます。 • 古い「process_task」フロー (またはそのフローの削除につながるアクション) を削除すると、新しい統合セットアップレコードのフロー参照が空になります。
更新セットを介してインポートされた従来のユースケースのアップグレード後の移行	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降のアップグレードとデータ移行が完了したら、いつでも、アップグレード中に実行された移行バッチスクリプトを再実行できます。 プラットフォームテーブル (sys_di_) への移行が必要なインポートされたユースケースを移行する必要がある場合は、このスクリプトを実行できます。 **1.** 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スケジュール済みジョブ. **2.** *DocIntel migrate remaining data* スケジュール済みジョブを開きます。 **3.** [**Active** (有効)] チェックボックスをオンにします。 **4.** [今すぐ実行] をクリックします。 ⚠ **警告:** sys_diテーブルからすべてのレコードを削除した後、 *DocIntel migrate remaining data* バッチジョブを使用して移行を再実行しないでください。これは、不足しているデータをdi_テーブルからsys_diテーブルに移行する場合にのみ使用してください。

クロススコープレコード

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のクロススコープレコード

ソーススコープ	ターゲットスコープ	ターゲット名	操作	ターゲットタイプ	ステータス
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_task	読み取り	テーブル	許可
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_key	読み取り	テーブル	許可
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_key_group	読み取り	テーブル	許可

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0** 以降のクロススコープレコード (続く)

ソーススコープ	ターゲットスコープ	ターゲット名	操作	ターゲットタイプ	ステータス
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_ocr_input	読み取り	テーブル	許可
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_pdf_input	読み取り	テーブル	許可
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_prediction_input	読み取り	テーブル	許可
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_training_input	読み取り	テーブル	許可
BU 統合の範囲	グローバル	sys_di_key_hint	読み取り	テーブル	許可

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** 設定を構成

全般設定を使用して、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) がユーザーに情報を表示する方法を制御します。

始める前に

必要なロール:sn_docintel.admin、sn_docintel.manager、または admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメントデータ抽出管理 > 設定.
2. 必要に応じて設定を調整します。

   注: 次の設定は、ドキュメント抽出機能にのみ適用されます。

ドキュメントインテリジェンス *(DocIntel)* 設定

設定	説明
完全一致オプション	[自動同期] を選択して、完全一致オプションを有効にします。これにより、ユーザーはアイコンを選択して、入力した内容と正確に一致する推奨事項のみを表示できます。
候補スコア	[自動同期] を選択すると、各推奨事項の横に信頼スコアが表示されます。 詳細については、「信頼スコア」を参照してください。
サイドパネル	ナビゲーションパネルとドキュメントフィールドパネルの場所を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	説明
抽出パネルのデフォルト幅	ドキュメントフィールド (抽出) パネルのデフォルトの幅をピクセル単位で入力します。
サムネイルパネルのデフォルト幅	ナビゲーション (サムネイル) パネルのデフォルトの幅をピクセル単位で入力します。
画像パネルに適したデフォルトのドキュメント	文書(画像)パネルに文書を表示する方法を選択します。

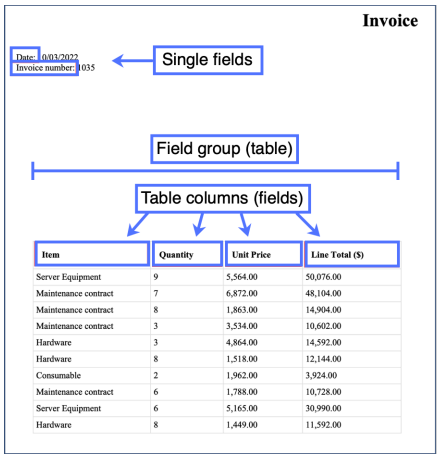
ドキュメント抽出ユースケースの設定

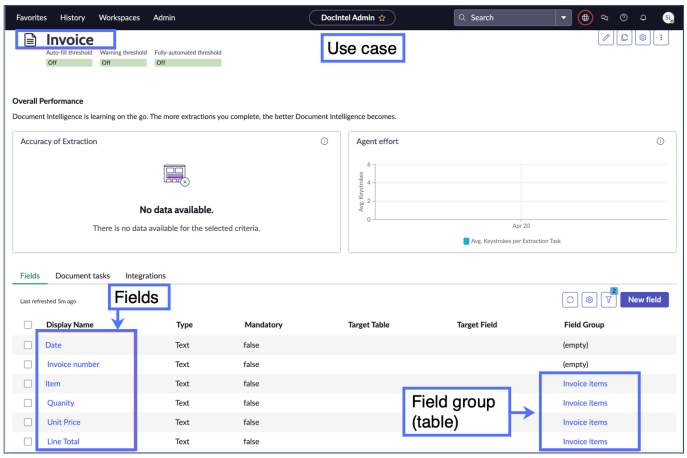
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)では、ユースケースを使用して、処理するドキュメントのタイプの構造を定義します。これは、ユースケースレコードとその関連フィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルで構成されています。

ドキュメント抽出ユースケースの概要

ドキュメント抽出のユースケースでは、AI がドキュメント内で検出する情報を定義します。これを行うには、処理するドキュメントのタイプ、検出するフィールド、およびドキュメント処理結果を保存する場所を指定します。

たとえば、請求書ドキュメントを処理する場合は、「請求書」ユースケースが必要になる場合があります。このユースケースには、ドキュメントから抽出する必要がある情報を定義するために、日付、請求書番号、アイテムなどのフィールドを含めることができます。





ドキュメント抽出ユースケースを定義したら、エージェントはドキュメントタスクでそのドキュメントの処理を開始できます。

注: ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistユースケースには、別のセットアッププロセスがあります。詳細については、「Now Assistでのドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成」を参照してください。

ワークフロー

次の手順で、ドキュメント抽出ユースケースを設定します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. ユースケースを作成します。

   ユースケースの名前、、および言語を定義します。

2. データ抽出用のフィールドの作成.

   AI が値を検出して抽出するために学習するフィールドを定義します。

   チェックボックスリストなど、テーブルまたは情報パターンから収集されたデータを抽出および整理するのに役立つフィールドのグループを定義します。

3. データ抽出モードを構成する.

   ドキュメントタスクでドキュメントからフィールドを抽出する方法を定義します。

4. 統合を設定します。

   他のアプリケーションとのワークフローのドキュメントタスク処理または値抽出をトリガーする統合を構成します。

エージェントが個々のドキュメントからフィールド値を抽出するドキュメントタスクを行うと、AI はフィードバックから学習し、改善を続けます。

ドキュメント抽出ユースケースの作成

ユースケースレコードを作成して、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)で処理するドキュメントを定義します。たとえば、請求書や運転免許証などです。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. [新しいユースケース] を選択します。
3. ユースケースの名前を入力します。
4. このユースケースのドキュメント処理結果を保存するターゲットテーブルを選択します。
5. オプション: ドキュメント抽出をサポートするために使用される言語モデルを変更します。
   詳細については、「でサポートされている言語 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

次のタスク
ユースケースを作成したら、 フィールド を追加し、 データ抽出モードを構成して、セットアップを完了します。

データ抽出用のフィールドの作成

ユースケースの一部としてフィールドを設定します。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、フィールドを使用してドキュメントからデータを識別して抽出します。フィールドをグループ化して ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) テーブル、チェックボックスリスト、およびその他の論理的なフィールドグループを含むドキュメントからデータを抽出できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストでユースケースを選択します。
3. [フィールド] タブに移動し、[フィールドを定義] を選択します。
   既に 1 つ以上のフィールドを定義していて、別のフィールドを追加する場合は、[新しいフィールド] を選択します。
4. ドキュメントから抽出するデータのタイプを選択します。

   次のいずれかのタイプのデータを選択して抽出できます。

   単一フィールド

   単一フィールドは、ドキュメント内の単一の情報を抽出するために使用されます。たとえば、ドキュメント番号や顧客名などです。

   チェックボックスリスト

   チェックボックスリストは、チェックボックスまたはチェックボックスのグループを抽出するために使用されます。各チェックボックスはオンまたはオフにすることができます。

   テーブル

   テーブルは、情報のリストまたはテーブルを抽出するために使用されます。テーブルには複数の列を含めることができます。リストアイテムまたはテーブルの行数を事前に把握する必要はありません。

   単一フィールドグループ

   単一フィールドグループは、ドキュメント内でグループ化された値を抽出するために使用されます。たとえば、住所、市区町村、国がある場所などです。テーブルに対して複数の行が抽出されるのとは対照的に、単一のフィールドグループに対して抽出できるアイテムは 1 つだけです。

   選択したデータタイプに基づいてフォームが表示されます。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フォームのタイプは、前のステップで選択したフィールドのタイプによって異なります。
   - 単一フィールドフォーム
   - 単一フィールドグループフォーム
   - チェックボックスリストフォーム
   - テーブルフォーム
6. [**Save** (保存)] をクリックする。

タスクの結果
ユースケースに関連付けられた [フィールド] リストに新しいフィールドが追加されました。

データ抽出フィールドを非アクティブ化する

ユースケースの一部として使用しないフィールドを非アクティブ化します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストでユースケースを選択します。
3. [フィールド] タブに移動し、非アクティブ化するフィールドを選択します。
4. フォームで、[フィールドの非アクティブ化] を選択します。
5. 確認ボックスで、 [非アクティブ化] を選択します。

⚠ 警告: フィールドを非アクティブ化した後に再度アクティブ化する方法はありません。

タスクの結果
非アクティブ化されたフィールドは、データ抽出やトレーニングに使用されません。

データ抽出モードを構成する

ユースケースの抽出モードを構成して ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントからフィールドを抽出する方法を定義します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

このタスクについて
抽出モードは、ドキュメントタスクでデータを抽出する方法とタスクを処理する方法を決定します。このモードは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペース内のフィールドの動作を変更します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次の抽出モードを使用します。

抽出モード	説明
推奨事項	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのフィールドの推奨事項を提供します。推奨事項を選択するか、手動で値を入力します。すべてのフィールドを確認する必要があります。 推奨事項は、AI の予測における信頼性に基づいて順序付けされます。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) がドキュメントの処理を続行するにつれて、時間の経過とともに推奨事項が改善されます。
オートフィル	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのフィールドに自動入力します。すべてのフィールドを確認する必要があります。 自動入力は、AI に十分な予測信頼性がある場合にのみ機能します。ユースケースの [オートフィルしきい値] フィールドを更新することで、信頼性しきい値を変更できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

抽出モード	説明
全自動 (ストレートスルー処理)	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はすべてのフィールドのデータを自動的に抽出し、すべての必須フィールドの信頼スコアが定義された信頼度しきい値を超えている場合にドキュメントタスクを処理します。フィールドを確認する必要はありません。 時間の経過とともにドキュメントの処理量が増え、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の信頼性が高まります。処理頻度の高いドキュメントの場合や、システムを信頼できる場合は、[全自動モード] を選択してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. 構成するユースケースを選択します。
3. 設定アイコン ( ) を選択します。
4. ユースケースの抽出モードを選択します。
   - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) AI モデルで信頼スコアの高い推奨事項を作成するためにさらにトレーニングが必要な場合は、他のモードを選択せずにデフォルトの推奨事項モードのままにします。
   - 指定したしきい値を超える信頼スコアを持つ推奨事項 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 提供される場合は、[オートフィルモード] オプションを選択します。
   - ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) で必須フィールドに非常に高い信頼スコアが自動入力される場合は、[全自動モード] オプションを選択します。
5. オプション: オートフィルモードのオートフィルしきい値と警告しきい値を調整します。
   - (Optional) オートフィルしきい値:上位の推奨事項の信頼スコアが定義したパーセンテージ以上の場合にのみ、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) フィールドが自動入力されます。

     信頼スコアがしきい値よりも低いフィールドは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースで空のままになり、推奨モードを使用してこれらのフィールドを抽出することができます。
   - (Optional) 警告しきい値:空のフィールドと、信頼スコアが定義したパーセンテージ以下の自動入力フィールドに対して ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 警告が表示されます。
6. オプション: 全自動モードで必須フィールドの信頼度しきい値を調整します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- (Optional) ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、すべての必須フィールドの信頼スコアが [全自動しきい値] フィールドで定義した割合以上の場合、ドキュメントタスクを自動的に完了して送信します。

- (Optional) 必須フィールドがしきい値を下回っている場合、ドキュメントタスクは自動的に送信されず、エージェントによるレビューが必要です。必須でないフィールドは空白または未確認のままにしておくことができます。

- (Optional) ドキュメントタスクに必要なフィールドが定義されていない場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は自動的にドキュメントタスクを完了して送信します。

7. [**Save** (保存)] をクリックする。

ドキュメント抽出ユースケースの管理

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ユースケースを管理して、ドキュメント抽出要件を効率的にサポートします。

次のトピックでは、ドキュメント抽出ユースケースを管理するために使用できる機能について説明します。

- ユースケースを複製し、必要に応じて変更して、類似のフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルを使用して新しいユースケースをすばやく設定します。
- トレーニング済みユースケースをエクスポートおよびインポートして、 ServiceNow® インスタンス間で共有します。
- ドキュメントを処理する必要がなくなった場合は、ユースケースを削除します。

ドキュメント抽出ユースケースの複製

ユースケースのコピーを作成して、類似の構造を共有する新しいユースケースを作成する場合に時間を節約します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

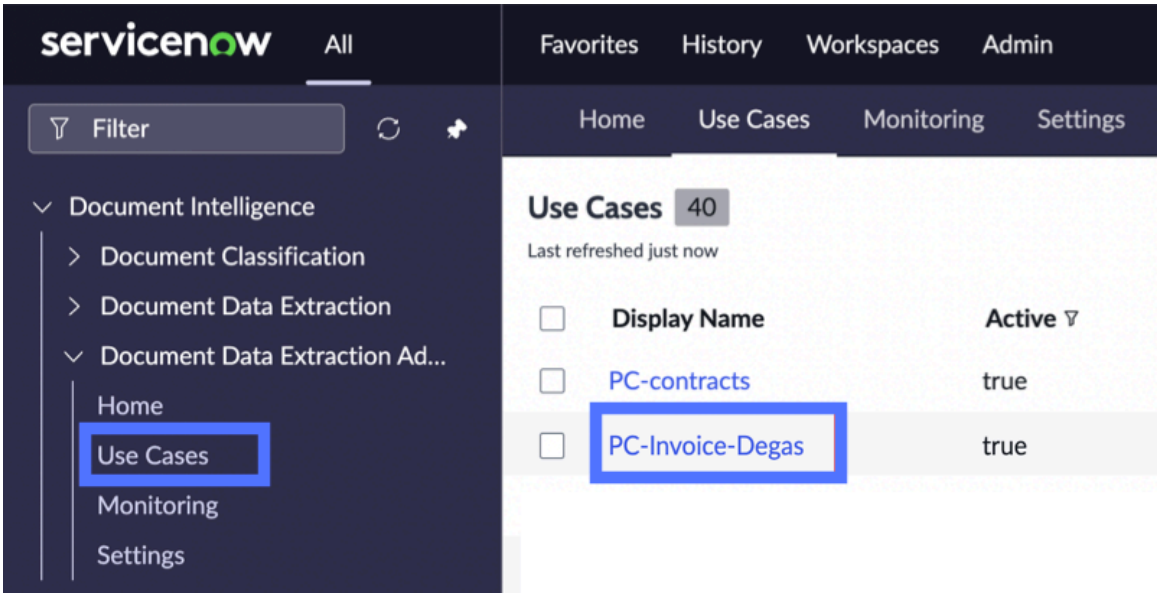
このタスクについて
次の手順に従って、ユースケースのコピーを、そのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともに作成します。

手順

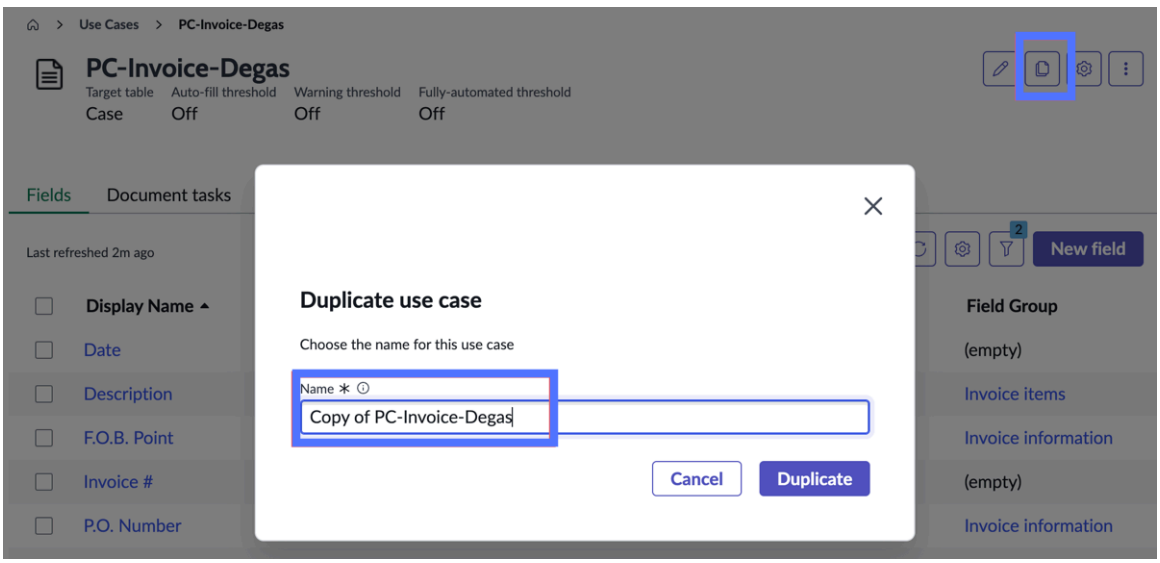
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストで、コピーするユースケースの表示名を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. ユースケース画面で、このユースケースを複製アイコン ( ) を選択します。
4. [重複するユースケース] ボックスに、新しいユースケースの名前を入力します。



5. [複製] を選択します。

タスクの結果
重複したユースケースがユースケースリストに表示されます。

ドキュメント抽出ユースケースのエクスポート

ドキュメント抽出ユースケースをエクスポートし、別の ServiceNow インスタンスで使用するために更新セットに追加します。

始める前に

- ユースケースをエクスポートおよびインポートするときは、両方のインスタンスに同じファミリリリースと同じバージョンがインストールされていることを確認してください ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。
- 必要なロール:sn_docintel.manager

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
次の手順に従って、ドキュメント抽出ユースケースを、そのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともに更新セットに追加します。その後、更新セットを別のインスタンスで使用するためにエクスポートできます。

更新セットが自動的に作成され、バックグラウンドプロセスとして「完了」に設定されます。このプロセスには数分かかります。バックグラウンドジョブが終了する前に、結果の更新セットを手動で「完了」に設定したり、エクスポートしたりしないでください。

詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストで、エクスポートするユースケースの表示名を選択します。
3. ユースケース画面で、オプションアイコン ( ) を選択し、[更新セットに追加] を選択します。
4. [更新セットに追加] を選択します。
   ユースケースがシステムアップデートセットに追加されます。
5. 次のように移動する。 システムアップデートセット > ローカル更新セット.
6. 追加した更新セットを選択します。
7. 更新セットフォームで、[関連リンク] の下の **[XML** にエクスポート] を選択します。

ドキュメント抽出ユースケースのインポート

ServiceNowインスタンスで使用するドキュメント抽出ユースケースをインポートします。

始める前に

- ドキュメント抽出ユースケースの更新セットは、「ドキュメント抽出ユースケースのエクスポート」に記載されている手順に従ってダウンロードされます。
- ユースケースをエクスポートおよびインポートするときは、両方のインスタンスに同じファミリリリースと同じバージョンがインストールされていることを確認してください ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。
- 必要なロール:sn_docintel.manager

このタスクについて
次の手順に従って、ドキュメント抽出ユースケースをそのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともにインポートします。

詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアップデートセット > 取得済み更新セット.
2. [関連リンク] で、[**XML** から更新セットをインポート] を選択します。
3. エクスポートされた XML ファイルを選択してアップロードします。
4. 更新セットレコードを開きます。
5. [**Preview Update Set** (更新セットをプレビュー)] をクリックします。

   sys_di_extracted_valuesには、「 この更新で参照されている列画像の`sys_di_image`にレコードが見つかりませんでした」というエラーがいくつか表示される可能性があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このエラーは、抽出された値が空であり、di_imageがないためです。

6. [リモート更新を受け入れる] を選択します。
7. 他にエラーがない場合は、[更新セットのコミット] を選択します。
8. 更新セットごとに手順3～7を繰り返します。

タスクの結果
ユースケースがインスタンスにインポートされ、ユースケースリストに表示されます。

ドキュメント抽出ユースケースの削除

ドキュメントで不要になったユースケースを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストで、削除するユースケースの表示名を選択します。
3. ユースケース画面で、オプションアイコン ( ) を選択し、[削除] を選択します。
4. 確認ボックスで、[削除] を選択します。

タスクの結果
ユースケースが、関連するフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、機械学習 (ML) モデルとともに削除されます。

ドキュメント分類ユースケースの設定

ドキュメント分類ユースケースは、ドキュメントとその個々のページを分類するために使用される一連のカテゴリです。これは、ユースケースレコードとその関連フィールド (クラス)、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルで構成されています。

ドキュメント分類ユースケースの概要

ドキュメント分類のユースケースでは、AI が検出してドキュメントに適用するクラスまたはカテゴリを定義します。これを行うには、処理するドキュメントのタイプ、適用するクラス、およびドキュメント処理結果が格納される場所を指定します。

たとえば、本人確認書類を処理する場合は、「本人確認書類」のユースケースが必要な場合があります。次に、パスポート、運転免許証、軍人 ID などのクラスを追加して、処理されるドキュメントのタイプをラベル付けします。

ドキュメント分類ユースケースを定義したら、エージェントはドキュメントタスクでそのドキュメントの処理を開始できます。

ワークフロー

次の手順でドキュメント分類ユースケースを設定します。

1. ユースケースを作成します。

   ユースケースの名前とプロパティを定義します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. フィールドを使用してドキュメントクラスを作成します。

   AI が検出してドキュメントに適用するために学習するクラスまたはカテゴリを定義します。

3. ユースケースをトレーニングします。

   継続的な改善のために、完了したドキュメントタスクから AI にユーザー入力を提供するトレーニングジョブを開始します。

エージェントがドキュメントとその個々のページを分類するドキュメントタスクに取り組むと、AI はフィードバックから学習し、改善を続けます。

ドキュメント分類ユースケースの作成

ユースケースレコードを作成して、ドキュメントのタイプまたはドキュメント内のページに適用するクラスまたはカテゴリの定義を開始します。

始める前に

必要なロール:sn_docintel.manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメント分類 > **Use Cases** (ユースケース).
2. **[New** (新規)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ユースケースフォーム

フィールド	説明
表示名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるユースケースの名前。
ドキュメントタイプ	ユースケースで処理されるドキュメントのタイプ。
ドキュメント構成	ユースケースに対して処理されるドキュメントの構成。
オートフィルしきい値	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) では、上位推奨事項の信頼スコアが定義した割合以上の場合にのみ、クラス (フィールド) が自動入力されます。 信頼スコアがしきい値よりも低いフィールドは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースで空のままになり、推奨モードを使用してこれらのフィールドを抽出することができます。 このフィールドは、オートフィルモードが有効になっている場合にのみ使用できます。
全自動しきい値	ドキュメント分類の信頼スコアしきい値。これにより、全自動 (ストレートスルー処理) モー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ドでドキュメントタスクを完全に自動化できます。
警告しきい値	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 空のフィールドと、信頼スコアが定義したパーセンテージ以下の自動入力フィールドに警告を表示します。 このフィールドは、オートフィルモードが有効になっている場合にのみ使用できます。

4. [**Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ユースケースを作成したら、 ドキュメントクラスを作成するためのフィールドを追加して、設定を完了します。次に、 ユースケースをトレーニングします。

ドキュメントクラスの作成

ドキュメント分類ユースケースの一部としてフィールドを作成します。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、フィールドを使用して、ドキュメントに適用するクラスまたはカテゴリを定義します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメント分類 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストでユースケースを選択します。
3. [フィールド] タブに移動し、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいフィールドを定義] フォーム

フィールド	説明
表示名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるクラスの名前。
Use Case (ユースケース)	このフィールド (クラス) レコードに関連付けられたユースケース。
タイプ	フィールドのタイプ (テキストフィールドやチェックボックスオプションなど)。テキストを選択します。

自動翻訳

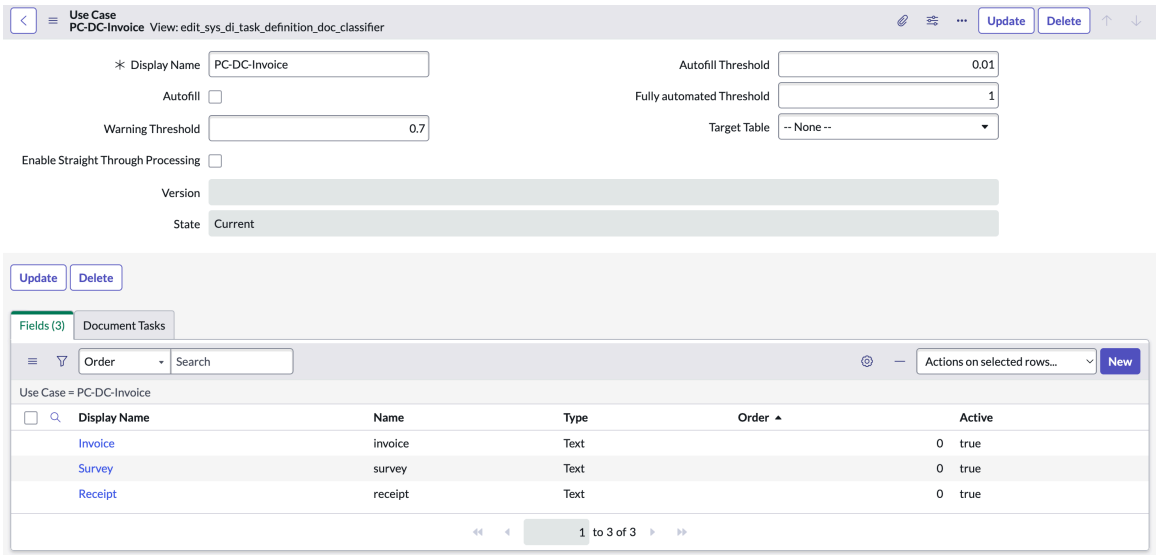
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
[Active (アクティブ)]	クラスが使用されているかどうかを示すオプション。

5. [**Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
ユースケースに関連付けられた [フィールド] リストに新しいクラスフィールドが追加されました。

クラスを含むドキュメント分類のユースケース



ユースケースのトレーニング

完了したドキュメントタスクからのユーザー入力を使用してドキュメント分類ユースケースをトレーニングし、時間の経過とともに ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 推奨事項を改善します。

始める前に

- トレーニングするには、ユースケースに関連付けられたレビュー済みドキュメントタスクが少なくとも 1 つ必要です。すべてのレビュー済みタスクには、ユースケースで定義したタイプごとに少なくとも 2 つの添付ファイルが必要です。

  まず、ドキュメントタスクを作成し、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して完了します。

  注: ユースケースがトレーニングされるまでタスクを処理できませんが、すべてのフィールドに入力して送信することでタスクを完了できます。

- 必要なロール:sn_docintel.manager

このタスクについて

ドキュメント分類のユースケースは事前トレーニング済み AI モデルから始まるわけではないため、完了したドキュメントタスクからのユーザー入力を使用してモデルをトレーニングすることが重要です。

注: サーバーの負荷を軽減し、パフォーマンスの問題を最小限に抑えるために、ユースケースのトレーニングのデフォルトの制限は 30 日に 1 回です。

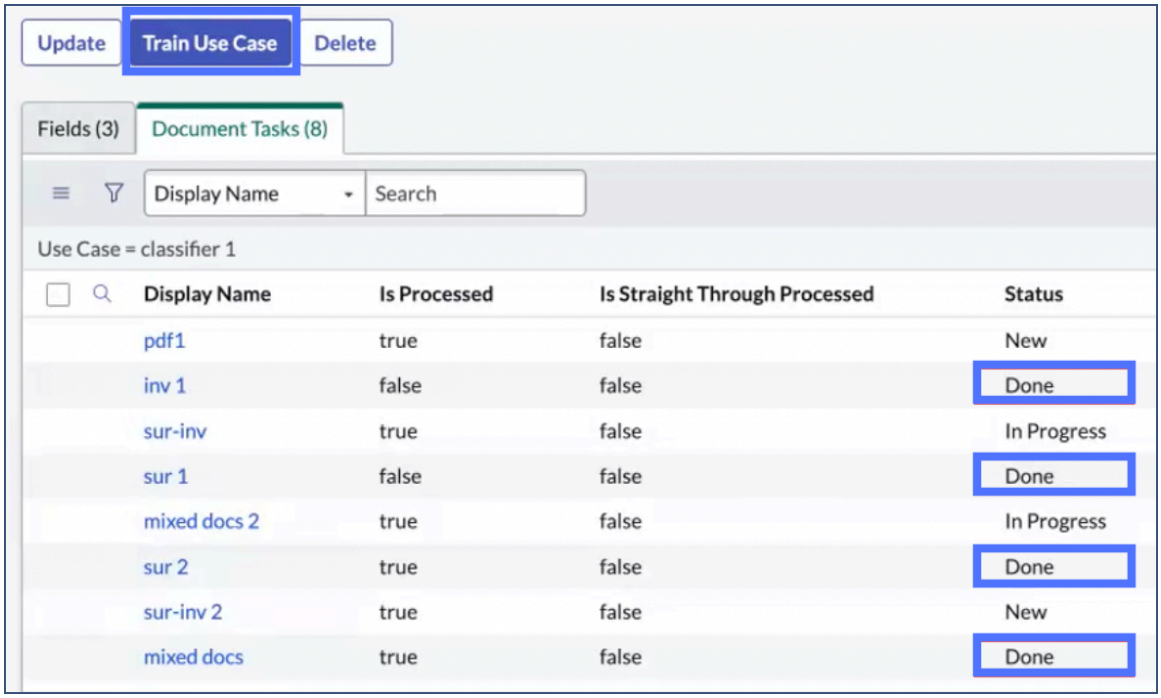
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメント分類 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストでユースケースを選択します。
3. [トレーニングユースケース] を選択します。

   ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、[完了] ステータスのドキュメントタスクから抽出された値を使用してモデルをトレーニングします。



タスクの結果
トレーニングユースケースジョブが開始されます。このジョブは、完了するまでに数時間かかる場合があります。

ドキュメント分類ユースケースの管理

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ユースケースを管理して、ドキュメントの分類要件を効率的にサポートします。

次のトピックでは、ドキュメント分類ユースケースを管理するために使用できる機能について説明します。

- トレーニング済みユースケースをエクスポートおよびインポートして、 ServiceNow® インスタンス間で共有します。
- ドキュメントを処理する必要がなくなった場合は、ユースケースを削除します。

ドキュメント分類ユースケースのエクスポート

ドキュメント分類ユースケースをエクスポートし、別の ServiceNow® インスタンスで使用するために更新セットに追加します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- ユースケースをエクスポートおよびインポートするときは、両方のインスタンスに同じファミリリリースと同じバージョンがインストールされていることを確認してください ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。
- 必要なロール:sn_docintel.manager

このタスクについて
次の手順に従って、ドキュメント分類ユースケースを、そのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともに更新セットにエクスポートします。その後、更新セットを別のインスタンスで使用するためにエクスポートできます。

更新セットが自動的に作成され、バックグラウンドプロセスとして「完了」に設定されます。このプロセスには数分かかります。バックグラウンドジョブが終了する前に、結果の更新セットを手動で「完了」に設定したり、エクスポートしたりしないでください。

詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システム定義 > スクリプト – バックグラウンド.
2. 以下のスクリプトをコピーして、[スクリプトを実行] ボックスに貼り付けます。

```
var TASK_DEFINITION_TO_EXPORT_SYS_ID = "";
var TASK_BATCH_SIZE = 50;

var scopeToUpdateSet = {};
var taskDefinitionName = "";

function getTaskSuffix(taskBatchNum) {
   if (taskBatchNum != null) {
      return (
         " task " +
         ((taskBatchNum - 1) * TASK_BATCH_SIZE + 1) +
         "-" +
         taskBatchNum * TASK_BATCH_SIZE
      );
   } else {
      return "";
   }
}

function createUpdateSet(taskBatchNum) {
   var taskSuffix = getTaskSuffix(taskBatchNum);
   var globalNameSuffix = " global update set" + taskSuffix;
   var docintelNameSuffix = " docintel update set" + taskSuffix;
   var globalKey = "global" + taskSuffix;
   var docintelKey = "19b40605edae411005e8007f82757635" + taskSuffix;

   // Create a new global update set
   var globalUpdateSetGR = new GlideRecord("sys_update_set");
   globalUpdateSetGR.initialize();
   globalUpdateSetGR.name = taskDefinitionName + globalNameSuffix;
   globalUpdateSetGR.application = "global";
   var globalUpdateSetID = globalUpdateSetGR.insert();
   scopeToUpdateSet[globalKey] = globalUpdateSetID;
   // Create a new DocIntel scope update set
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
   var updateSetGR = new GlideRecord("sys_update_set");
   updateSetGR.initialize();
   updateSetGR.name = taskDefinitionName + docintelNameSuffix;
   updateSetGR.application = "19b40605edae411005e8007f82757635";
   updateSetGR.parent = globalUpdateSetGR.sys_id;
   var updateSetID = updateSetGR.insert();
   scopeToUpdateSet[docintelKey] = updateSetID;
}

function saveToUpdateSet(glideRecord, taskCount) {
   var gum;
   var scope = String(glideRecord.sys_scope || "global");
   if (scope !== "global" && scope !==
 "19b40605edae411005e8007f82757635") {
      gs.info("unknown scope: " + scope + "|" +
 glideRecord.getDisplayValue());
      return;
   }

   var taskBatchNum = taskCount ? Math.ceil(taskCount /
 TASK_BATCH_SIZE) : null;
   var updateSetSysId = scopeToUpdateSet[scope +
 getTaskSuffix(taskBatchNum)];
   if (!updateSetSysId) {
      createUpdateSet(taskBatchNum);
      updateSetSysId = scopeToUpdateSet[scope +
 getTaskSuffix(taskBatchNum)];
   }

   try {
      gum = new GlideUpdateManager2(updateSetSysId);
   } catch (e) {
      var gus = new GlideUpdateSet();
      gus.set(updateSetSysId);
      gum = new GlideUpdateManager2();
   }
   gum.saveRecord(glideRecord);
}

function exportTaskDefinition(taskDefinitionId) {
 var currentUpdateSetSysId = gs.getPreference("sys_update_set");
 // Get task definition
 var taskDefinitionGR = new GlideRecord("di_task_definition");
 if (!taskDefinitionGR.get(taskDefinitionId)) {
 gs.info("task definition not found.");
 return;
 }

taskDefinitionName = taskDefinitionGR.getValue("display_name");
 createUpdateSet(null);

 //Push records into the current update set
 // Task Definition
 saveToUpdateSet(taskDefinitionGR);
 saveToUpdateSet(taskDefinitionGR.ml_definition_ocr.getRefRecord());
 saveToUpdateSet(taskDefinitionGR.ml_definition_training.getRefRecord(
));
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
saveToUpdateSet(taskDefinitionGR.ml_definition_prediction.getRefRecord
());
saveToUpdateSet(
taskDefinitionGR.ml_definition_pdf_preprocessing.getRefRecord()
);

// KeyGroups
var keyGroupGR = new GlideRecord("di_key_group");
keyGroupGR.addQuery("task_definition", taskDefinitionId);
keyGroupGR.query();
while (keyGroupGR.next()) {
saveToUpdateSet(keyGroupGR);
}

// Keys
var keyGR = new GlideRecord("di_key");
keyGR.addQuery("task_definition", taskDefinitionId);
keyGR.query();
while (keyGR.next()) {
saveToUpdateSet(keyGR);
}

// ML Solutions
var mlSolutionGR = new GlideRecord("ml_solution");
mlSolutionGR.addQuery("solution_name", "CONTAINS", taskDefinitionId);
mlSolutionGR.addQuery("active", true);
mlSolutionGR.query();
while (mlSolutionGR.next()) {
saveToUpdateSet(mlSolutionGR);
// ML Model Artifacts
var mlModelArtifactGR = new GlideRecord("ml_model_artifact");
mlModelArtifactGR.addQuery("solution", mlSolutionGR.sys_id);
mlModelArtifactGR.query();
while (mlModelArtifactGR.next()) {
saveToUpdateSet(mlModelArtifactGR);
}
// ML progress tracker
saveToUpdateSet(mlSolutionGR.progress_tracker.getRefRecord());
}

// Tasks
var taskCount = 0;

var taskGR = new GlideRecord("di_task");
taskGR.addQuery("task_definition", taskDefinitionId);
taskGR.query();
while (taskGR.next()) {
taskCount += 1;
saveToUpdateSet(taskGR, taskCount);
// PDFs
var pdfGR = new GlideRecord("di_pdf");
pdfGR.addQuery("task", taskGR.sys_id);
pdfGR.query();
while (pdfGR.next()) {
saveToUpdateSet(pdfGR, taskCount);
}
// Images
```

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
 var imageGR = new GlideRecord("di_image");
 imageGR.addQuery("task", taskGR.sys_id);
 imageGR.query();
 while (imageGR.next()) {
 saveToUpdateSet(imageGR, taskCount);
 // Candidate Scores
 var candidateScoreGR = new GlideRecord("di_candidate_score");
 candidateScoreGR.addQuery("image", imageGR.sys_id);
 candidateScoreGR.query();
 while (candidateScoreGR.next()) {
 saveToUpdateSet(candidateScoreGR, taskCount);
 }
 }
 // Extracted Values
 var extractedValueGR = new GlideRecord("di_extracted_value");
 extractedValueGR.addQuery("task", taskGR.sys_id);
 extractedValueGR.query();
 while (extractedValueGR.next()) {
 saveToUpdateSet(extractedValueGR, taskCount);
 }
 // Prediction Inputs
 var predictionInputGR = new GlideRecord("di_prediction_input");
 predictionInputGR.addQuery("task", taskGR.sys_id);
 predictionInputGR.query();
 while (predictionInputGR.next()) {
 saveToUpdateSet(predictionInputGR, taskCount);
}

 // Training Inputs
 var trainingInputGR = new GlideRecord("di_training_input");
 trainingInputGR.addQuery("task", taskGR.sys_id);
 trainingInputGR.query();
 while (trainingInputGR.next()) {
 saveToUpdateSet(trainingInputGR, taskCount);
 }
 }

 // Reset current update set
 new GlideUpdateSet().set(currentUpdateSetSysId);

 // Mark as completed
 for (var updateSetKey in scopeToUpdateSet) {
 var globalUpdateSetGR = new GlideRecord("sys_update_set");
 globalUpdateSetGR.get(scopeToUpdateSet[updateSetKey]);
 globalUpdateSetGR.setValue("state", "complete");
 globalUpdateSetGR.update();
 }
}

exportTaskDefinition(TASK_DEFINITION_TO_EXPORT_SYS_ID);
```

3. 新しいブラウザータブでインスタンスを開き、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメント分類 > **Use Cases** (ユースケース).
4. エクスポートするユースケースを開きます。
5. URL からsys_idをコピーします。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、次の URL から `fda6a8b36b700210f465ee188e44afe8%26` をコピーします。

```
https://instancename.service-now.com/nav_to.do?
uri=sys_di_task_definition.do?
sys_id=fda6a8b36b700210f465ee188e44afe8%26sysparm_view=edit_sys_di_task_definition_doc
```

ヒント: URL を取得するには、[他のアクション] アイコン (☰) を選択し、[**URL** のコピー] を選択します。

6. [スクリプト - バックグラウンド] タブで、 `TASK_DEFINITION_TO_EXPORT_SYS_ID` 変数の 1 行目にsys_idを貼り付けます。

   たとえば、スクリプトの行は次の行のようになります。

   ```
   var TASK_DEFINITION_TO_EXPORT_SYS_ID =
   "9f426b878749e110ba3540809bbb35a6";
   ```

7. グローバルスコープでバックグラウンドスクリプトを実行するには、[スクリプトを実行] を選択します。

   このスクリプトの実行には数分かかる場合があります。

8. 次のように移動する。 システムアップデートセット > ローカル更新セット.

   ユースケースの名前で始まる名前の更新セットがいくつか表示される場合があります。

9. 名前に「グローバル更新セット」と「グローバル更新セットタスク x-y」が含まれる各更新セットを選択し、関連リンクで [更新セットバッチを **XML** にエクスポート] を選択して XML ファイルをダウンロードします。

   注: 「グローバル更新セットタスク x-y」という名前では、x-y は更新セットの一部である一連のタスクを指します。たとえば、100 件のドキュメントタスクがある場合、2 つのバッチ更新セットがあり、1 つは名前に「グローバル更新セットタスク 1-50」、もう 1 つは「グローバル更新セットタスク 51-100」です。

タスクの結果

ユースケースは XML ファイルとしてコンピューターにエクスポートされます。

次のタスク

ユースケースをエクスポートした後、 ServiceNow® インスタンスで使用するためにインポートします。詳細については、「ドキュメント分類ユースケースのインポート」を参照してください。

ドキュメント分類ユースケースのインポート

ServiceNow®インスタンスで使用するドキュメント分類ユースケースをインポートします。

始める前に

- ドキュメント分類ユースケースの更新セットは、 ドキュメント分類ユースケースのエクスポートに記載されている手順に従ってダウンロードされます。
- ユースケースをエクスポートおよびインポートするときは、両方のインスタンスに同じファミリリリースと同じバージョンがインストールされていることを確認してください ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。
- インポートするドキュメント分類ユースケースがドキュメント抽出ユースケースと統合されている場合は、ワークフローが正しく機能するように、関連するドキュメント抽出ユースケースを最初に

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インポートします。詳細については、「ドキュメント抽出ユースケースのインポート」を参照してください。

- 必要なロール:sn_docintel.manager

このタスクについて
ドキュメント分類ユースケースを、そのフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルとともにインポートするには、次の手順に従います。

詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアップデートセット > 取得済み更新セット.
2. [関連リンク] で、[**XML** から更新セットをインポート] を選択します。
3. エクスポートされた XML ファイルを選択してアップロードします。
4. 更新セットレコードを開きます。
5. [**Preview Update Set** (更新セットをプレビュー)] をクリックします。
6. [リモート更新を受け入れる] を選択します。
7. エラーがない場合は、[更新セットのコミット] を選択します。
8. 更新セットごとに手順3～7を繰り返します。

タスクの結果
ユースケースがインスタンスにインポートされ、ユースケースリストに表示されます。

ドキュメント分類ユースケースの削除
ドキュメントで不要になったユースケースを削除します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.manager

手順
1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメント分類 > **Use Cases** (ユースケース).
2. リストで、削除するユースケースの表示名を選択します。
3. ユースケース画面で、[削除] を選択します。
4. 確認ボックスで、[削除] を選択します。

タスクの結果
ユースケースは、関連するフィールド、フィールドグループ、統合、フロー、機械学習 (ML) モデルとともに削除されます。関連レコードを削除すると、関連する削除がトリガーされる場合があります。

フィールド値の管理
処理されたドキュメントタスクから収集されたフィールド値を表示します。値を確認し、情報があれば追加します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.admin または sn_docintel.manager

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ドキュメントタスクが完了すると、抽出されたデータまたは分類が [フィールド値] リストに表示されます。フィールド値フォームには、値に関する詳細情報が含まれています。

手順

1. ドキュメントデータ抽出フィールドの場合は、 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出 > フィールド値.

   ドキュメント分類フィールドまたはクラスについては、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメント分類 > フィールド値.

2. 値の名前 (data) を選択します。
3. フォームのフィールドを確認します。

フィールド	説明
データ	ドキュメントから抽出されたフィールド値。
レビュー対象か	このフィールド値がユーザーによってレビューされたかどうかを示します。
候補 ID (推奨事項 ID)	選択した推奨事項の内部システム ID。
インデックス	フィールドグループの一部であるフィールドの場合:同じフィールドの他のフィールド値を参照するフィールド値の順序。 通常のフィールドの場合、インデックスは常に 0 です。
候補の完全一致 (推奨事項)	フィールド値が AI の上位推奨事項と完全に一致するかどうかを示します。
フィールド	値が属するユースケースのフィールド。
候補 (推奨事項) ランク	選択した推奨事項に AI が割り当てたランク。
フラグ付きか	ユーザーが ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースでこのフィールド値にフラグを設定したかどうか。
ドキュメントタスク	データ値の抽出元の添付ドキュメントを含むドキュメントタスク。
可用性	このフィールド値がドキュメントで利用可能であったか、または欠落していたかを示します。
キーストローク	このフィールド値を抽出するのに必要なキーストローク数。
ターゲットレコード	フィールド値が使用されるレコード。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メタデータ	フィールド値に関連付けられたメタデータ。
ターゲットテーブル	フィールド値を格納するテーブル。
ドメイン	このフィールド値にリンクされたドメイン。 「ドメインセパレーションとドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

4. [**Update** (更新)] を選択します。

他のアプリケーションとの ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** の統合

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の機能を他のServiceNowアプリケーションに拡張します。他のアプリケーションでは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用してドキュメントの分類と抽出を利用できます。

カスタムアプリケーションまたはワークフローとの統合

ドキュメントタスク処理または値抽出をトリガーする統合を構成します。統合を使用すると、他のアプリケーションとのフローをすばやく設定できます。

始める前に

- 統合を作成する前に、まずユースケースにターゲットテーブルを追加する必要があります。
- ターゲットテーブルは、読み取りおよび書き込み可能である必要があります。ターゲットテーブルレコードの [アプリケーションのアクセス] タブで、[読込可能] および [更新可能] チェックボックスがオンになっていることを確認します。詳細については、「テーブルの作成」を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.admin または sn_docintel.manager

このタスクについて

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ソリューションの統合ポイントを定義します。データ抽出のユースケース用に、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクを自動的に作成して処理する統合ポイントと、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 年に抽出が完了したときにフィールド値を別のアプリケーションに自動的に伝播する統合ポイントの 2 つが提供されています。ドキュメント分類のユースケースには、データ抽出のユースケースにマッピングする統合ポイントもあります。

手順

1. 次のいずれかの操作を行います。
   a. データ抽出ユースケースを統合するには、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
   b. ドキュメント分類ユースケースを統合するには、次の場所に移動します **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメント分類 > **Use Cases** (ユースケース).
2. 統合ポイントを設定するユースケースを選択します。

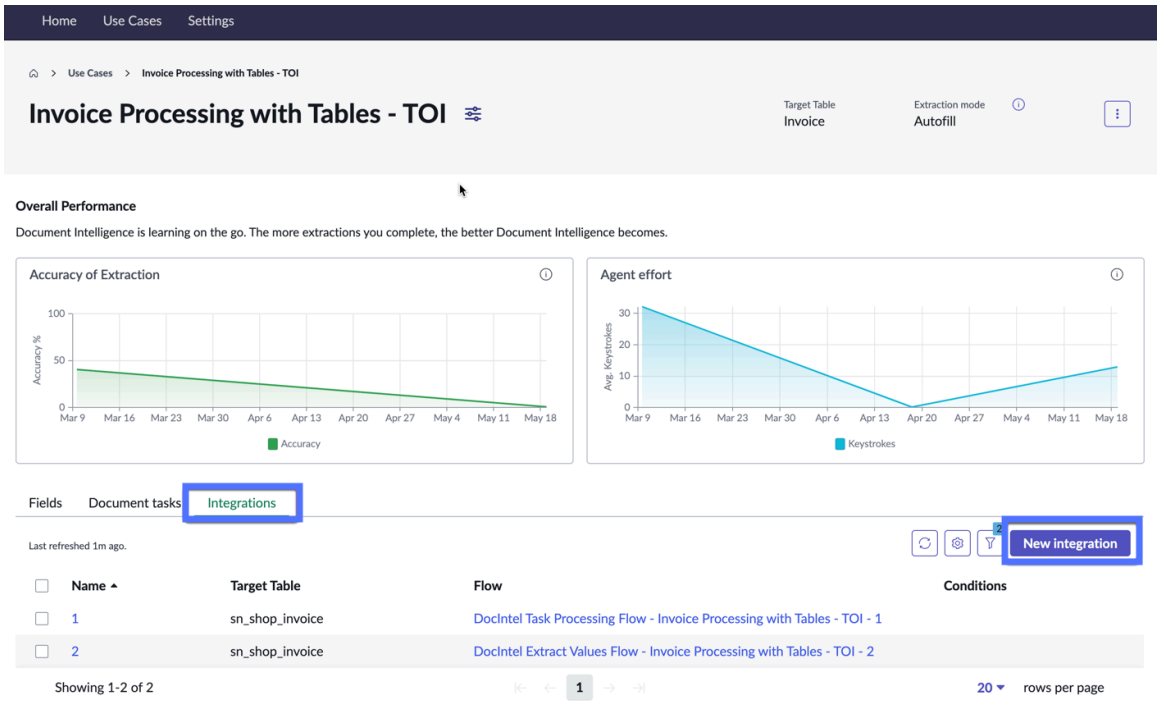
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 次のいずれかの操作を行います。

   a. データ抽出のユースケースの場合は、[統合] タブに移動し、[最初の統合を設定] を選択します。

   既に 1 つ以上の統合を定義していて、別の統合を追加する場合は、 [新しい統合] を選択します。



   b. ドキュメント分類のユース ケースの場合は、 統合のセットアップ タブに移動し、 新規 を選択します。

4. フォームのフィールドに入力します。

データ抽出のフィールド	ドキュメント分類のフィールド	説明
統合に名前を付ける	[Name (名前)]	統合の名前。
ユースケース	ユースケース	統合タスクに使用するユースケース。
どこからドキュメントを取り出し、どこに抽出したデータを保存しますか？	ターゲットテーブル	データの送受信先のテーブル。 注: ターゲットテーブルはユースケースから取得されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データ抽出のフィールド	ドキュメント分類のフィールド	説明
どのようなタイプの統合を設定しますか?	タイプ	データ抽出とドキュメント分類のユースケースの場合、オプションには [タスクを処理] または [値の抽出] が含まれます。ドキュメント分類ユースケースには、[ドキュメントデータ抽出ユースケースにマップ] オプションもあります。 [タスクを処理] タイプでは、ターゲットテーブルで発生した特定のトリガーに基づいてドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ドキュメントタスクを自動的に作成して処理するための統合ポイントが作成されます。 [値の抽出] タイプでは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) で抽出が完了したとき (つまり、ドキュメントタスクのステータスが [完了] に変わったとき) に、抽出された値をターゲットテーブルに自動的に伝播する統合ポイントが作成されます。 [ドキュメントにマッピング] データ抽出ユースケースタイプでは、処理済みドキュメント分類値で新しいデータ抽出タスクを自動的に作成できるようにする統合ポイントが作成されます。
条件		統合の特定のトリガーとして使用する特定のフィールドを選択するために使用するフィルター。 タスクのみを処理します。
フローを作成		このオプションを選択すると、この統合のフローデザイナーフローが作成されます。 統合を設定するために独自のカスタムスクリプトを記述する予定がない限り、このオプションを選択する必要があります。

5. 次のいずれかの操作を行います。
   a. データ抽出の場合は、[保存] を選択します。
   b. ドキュメント分類の場合は、[送信] を選択します。

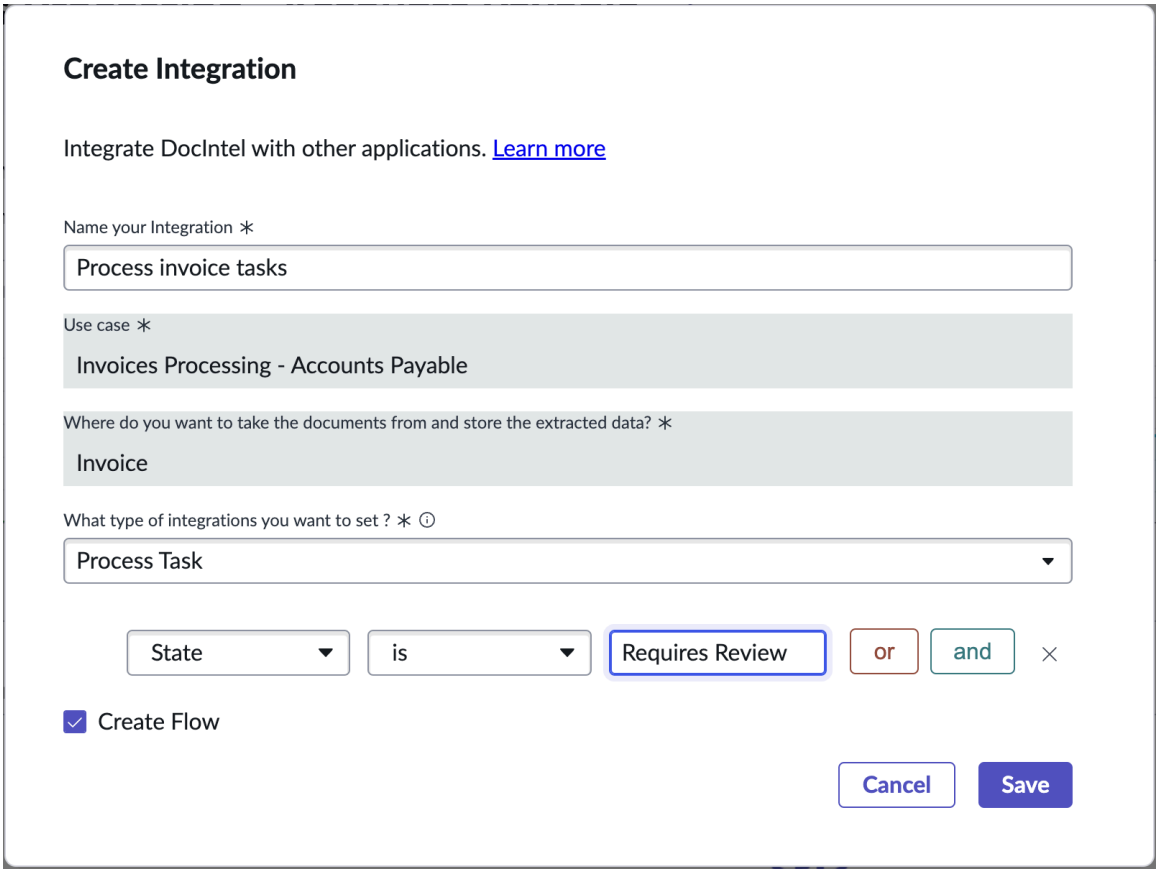
Example: Integration (統合)

次の画像は、2 つの統合の例を示しています。最初の画像は、レコードのレビューが必要なときにトリガーするプロセスタスク統合です。2 番目の画像は、抽出されたフィールドを請求書テーブルに自動的に送信できる値の抽出統合です。

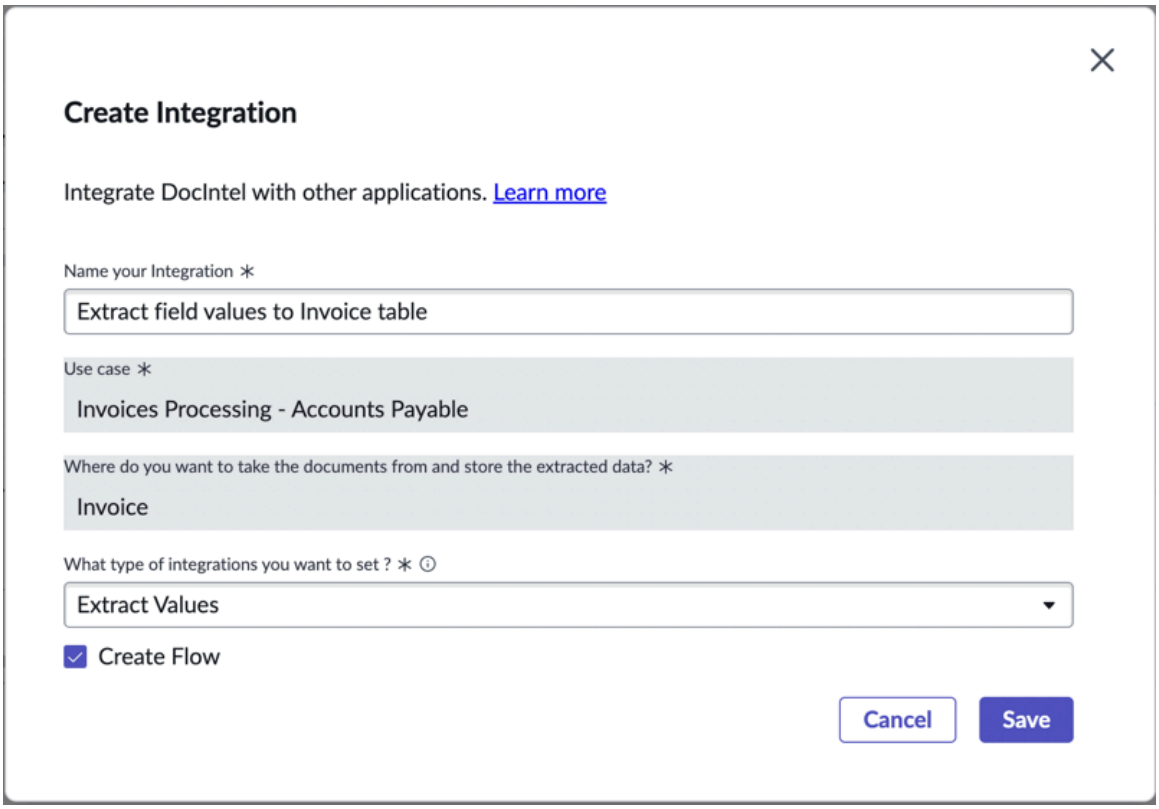
自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいプロセスタスクの統合

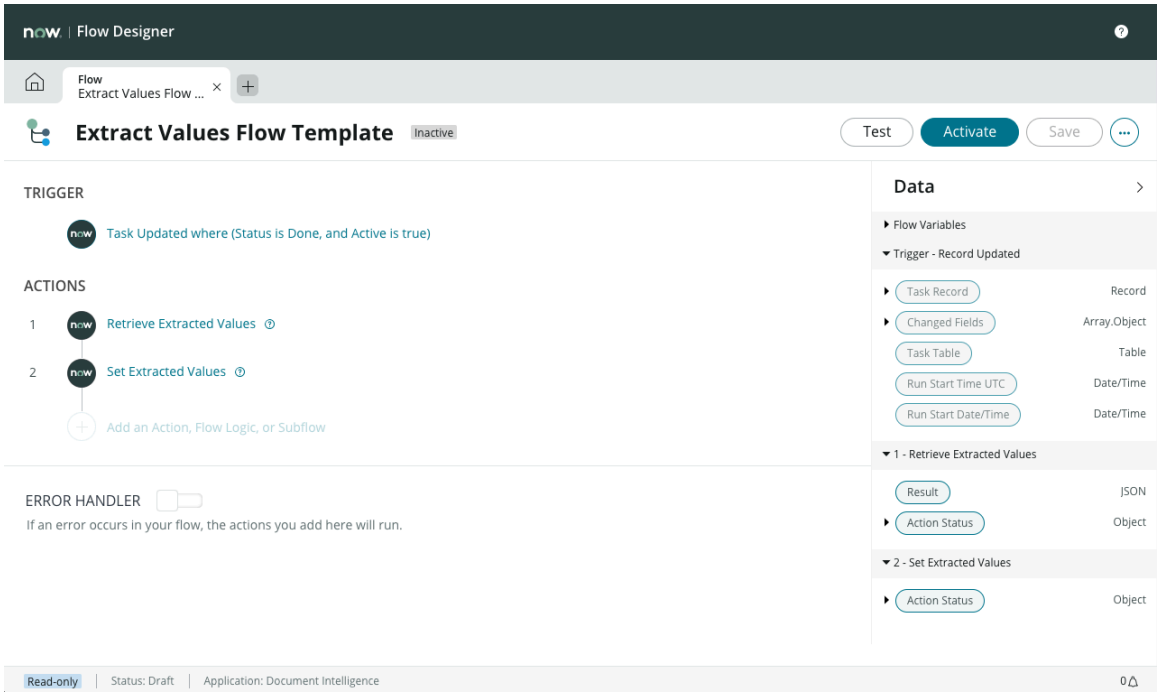


新しい値の抽出の統合



次のタスク
フローの作成を選択した場合は、 フローデザイナーでアクティブ化を完了します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



詳細については、「フローデザイナーでのフローのビルド」を参照してください。

カスタマーサービス管理 (CSM) との統合

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、 カスタマーサービス管理 (CSM) にドキュメント抽出機能を提供します。クレジットカード番号や顧客の住所など、メールやケースの添付ファイルから関連情報を抽出し、その情報をケースに追加します。

エージェントは、ケースから ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) インターフェイスに直接アクセスして、抽出されたフィールドの値を確認し、必要に応じて修正できます。このインターフェイスから、エージェントは、正しい値を確認し、誤った値を修正して、モデルのトレーニングを続行できます。推奨値を検証するこのヒューマンインザループ (HITL) インタラクションにより、エージェントはモデルを調整し、パフォーマンスを継続的に改善できます。

請求書などの添付ファイルから抽出する情報を識別するユースケースを作成し、構成に応じてその情報をケースフィールドに自動的に追加します。ラベルは、ケースフォームで抽出されたフィールドを識別します。

詳細については、「CSM 向けドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) CSM との連携

ケースが作成されると、CSM 機能の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次のことを確認します。

- ケースに 1 つ以上の添付ファイルがある場合
- 添付ファイルタイプが sn_csm_ml_task.case.docintel.parsing_supported_types システムプロパティで指定されている場合

ケースがこれらの要件を満たしている場合、機能は次のことを行います。

- ケースまたはケースタイプとユースケースフィルターに基づいて、使用する適切なユースケースを特定します。
- ユースケース、各添付ファイルの sys_id、およびケース参照を使用してタスクを作成します。
- タスク、添付ファイル sys_id、およびケース参照を予測モデルへの入力として送信します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 光学式文字認識 (OCR) ソリューションを使用してドキュメントからデータを抽出します。
- ソリューションが完了した後、タスクのステータスを [完了] に設定します。
- ユースケースの抽出モードが [全自動 (ストレートスルー処理)] に設定されている場合、抽出されたフィールド値がケースに追加されます。
- 抽出モードが [オートフィル] または [推奨事項] に設定されている場合、エージェントは ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) インターフェイスでフィールド値を検証できます。

CSM の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を有効にする

システムプロパティを設定し、必要なフローをアクティブ化して、CSM の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を有効にします。

「カスタマーサービス向けドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 」を参照してください。

ファイナンシャルサービスオペレーションとの統合

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、 ファイナンシャルサービスオペレーション (FSO) にドキュメント抽出機能を提供します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) FSO との統合により、機械学習 (ML) により、ドキュメント処理を迅速に自動化し、ドキュメントから情報を正確に抽出できるようになります。アドミニストレーターは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を FSO ドキュメントプロセッサ とさらに統合して、ユーザーがドキュメントからフィールドを抽出して保存できるようにすることができます。

詳細については、「 FSO 向けドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) と FSO の連携

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は ドキュメントプロセッサ 内で次のように機能します。

- ドキュメントタイプ (sn_doc_processor_type) を作成すると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ユースケース (sys_di_task_definition) にレコードが作成されます
- ドキュメント属性 (sn_doc_processor_attribute) を作成すると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) フィールド (sys_di_key) レコードが作成されます
- ドキュメント属性レコードを更新すると、フィールドレコードが更新されます

ドキュメント検証タスク (sn_doc_processor_verification_task) を作成すると、次の要件を満たしている場合に ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスク (sys_di_task) が作成されます。

- ドキュメント検証タスクで「ocr_processing_needed」をオンにしています
- ドキュメント検証タスクにドキュメントが添付されています
- ドキュメント検証タスクのステータスが「送信済み」です

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ドキュメントタスクが完了したら、値を [抽出されたフィールド (sn_doc_processor_extracted_value)] テーブルに抽出する必要があります。

FSO の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を有効にする

FSO ドキュメントプロセッサでドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を有効にするために必要なすべてのアプリケーションとプラグインがインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。

FSO 向けドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の有効化 を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

買掛金オペレーション との統合

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)買掛金オペレーション (com.sn_ap_ic) にドキュメント抽出機能を提供します。

買掛金オペレーション は ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の機能を使用して、メールの添付ファイルとして受信した請求書ドキュメントから情報を迅速かつ正確に抽出し、 買掛金オペレーション アプリケーションで請求書レコードを作成します。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンスの買掛金オペレーション統合」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** と 買掛金オペレーション の連携の仕組み

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) for 買掛金オペレーション は、メールの添付ファイルとして受け取った請求書から必要な情報を抽出し、買掛金管理で請求書レコードを作成して、抽出した情報を請求書レコードに追加します。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンスの買掛金オペレーション統合 の仕組み」を参照してください。

買掛金オペレーション 向け ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** の有効化

買掛金オペレーションアプリケーションプラグインでドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を有効にするために必要なすべてのアプリケーションとプラグインがインストールされ、アクティブ化されていることを確認します。

「ドキュメントインテリジェンスの買掛金オペレーション統合とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

オートメーションセンター との統合

オートメーションセンターを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)でドキュメント処理を自動化する機会を見つけます。

オートメーションセンター では、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)自動化メトリクスを表示し、自動化の機会を見つけることができます。オートメーションセンター の詳細については、「オートメーションセンター」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** の使用

ドキュメントタスクを使用して、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)での分類とデータ抽出のためにドキュメントを処理します。

ドキュメントタスクでは、処理する単一または複数ページのドキュメントをアップロードします。次に、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) それらのドキュメント内のテキストを検出して分析し、ユースケースで定義されたフィールドに入力するための推奨事項を自動入力または提供することで、それらを処理します。

まだ完全に自動化されていないドキュメントタスクの場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) AI のトレーニングは完全自動化を実現するための重要な部分です。

次の手順でドキュメントタスクを処理します。

1. ドキュメントタスクの作成.
   a. タスクレコードを作成します。
   b. ドキュメントタスクを処理します。
2. ドキュメントタスクの完了.

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して AI をトレーニングします。

b. ドキュメントタスクを送信します。

ドキュメントタスクの作成

ドキュメントタスクを作成し、JPEG、PNG、PDF 形式の単一または複数ページのドキュメントをアップロードして、テキストの抽出またはドキュメントの分類を開始します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.creation_agent

このタスクについて
これらは、ドキュメントタスクを手動で作成する手順です。他のワークフローとの統合を設定している場合、このタスクは自動化されている可能性があります。「他のアプリケーションとの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の統合」を参照してください。

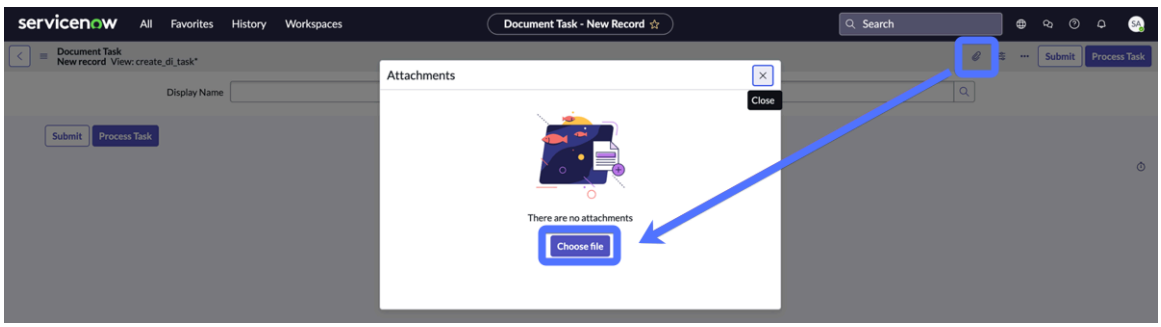
手順

1. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメントデータ抽出用のドキュメントタスクを作成するには、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメントデータ抽出 > ドキュメントタスクを作成.
   - ドキュメント分類のドキュメントタスクを作成するには、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメント分類 > ドキュメントタスクを作成.
2. フォームのフィールドに入力します。

新規ドキュメントタスクレコード

フィールド	説明
表示名	このユースケースに関連付けられた名前。例:PO-1。
Use Case (ユースケース)	このドキュメントタイプに対して作成されたユースケース。

3. [添付ファイルを管理] アイコンを選択し、処理のためにアップロードするドキュメントを選択します。



4. [タスクを処理] を選択します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はドキュメントを分析し、ユースケースで定義されたフィールドのデータまたはクラスを抽出します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ドキュメントタスクリストでドキュメントタスクを検索します。[処理済み] フィールドが True に変更されると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントの分析が完了します。ドキュメント タスクの完了に進むと、抽出されたフィールドの入力またはレビューを通じて AI をトレーニングするのに役立ちます。

ドキュメントタスクの完了

ドキュメントタスクの処理が完了したら、AI をトレーニングするための入力またはレビューを提供してタスクを完了します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

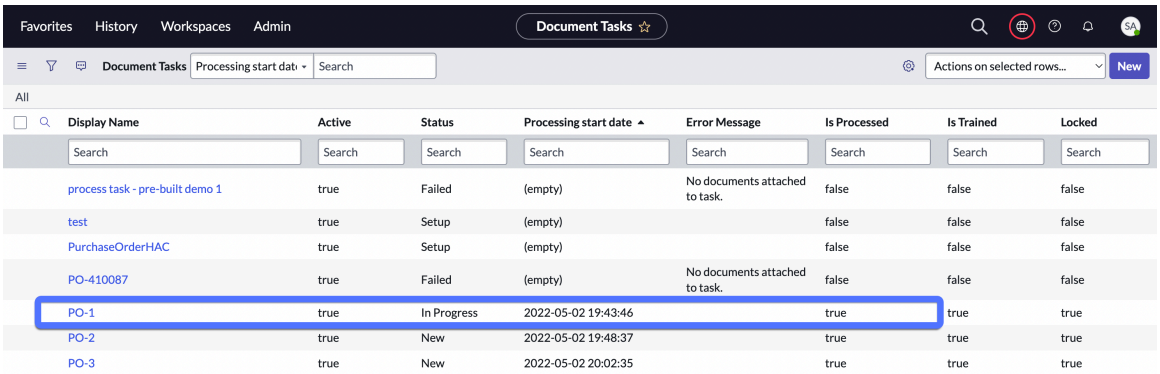
手順

1. 次のいずれかの操作を行います。
   - ドキュメントデータ抽出のドキュメントタスクを完了するには、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメントデータ抽出 > ドキュメントタスク.
   - ドキュメント分類のドキュメントタスクを完了するには、次に移動します: **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**) > ドキュメント分類 > ドキュメントタスク.
2. ドキュメントタスクリストをレビューし、ドキュメントタスクの [処理済み] フィールドが true に設定されていることを確認します。

   次の画像は、ドキュメントタスクのリストを示しています。PO-1 タスクの [処理済み] フィールドは true で、タスクが処理され、ユーザー入力に使用できることを示します。

   ステータスが [セットアップ] と表示されている場合は、ドキュメントタスクレコードに移動し、[タスクを処理] を選択します。

   ドキュメントタスクリスト

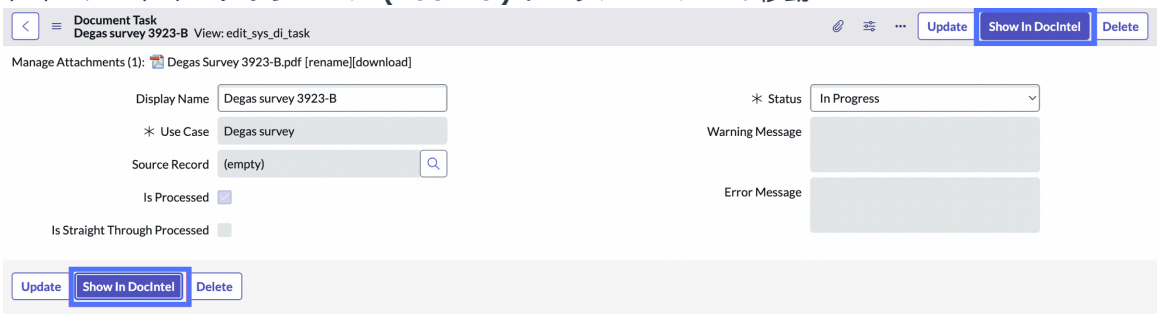


3. 処理済みドキュメントタスクを選択します。
4. [ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** に表示] を選択します。
   次の図は、データ抽出のために ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースに移動する方法を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** ワークスペースへの移動



ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースが新しいタブで開きます。

5. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用してドキュメントフィールドを確認し、適切な推奨事項を選択します。

   次の方法を学ぶ 次を使用: ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペース をクリックしてフィールドを抽出します。

   次の方法を学ぶ 次を使用: ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントを分類するためのワークスペース。

6. [送信] を選択して、ドキュメントタスクを完了します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースを使用したフィールドの抽出

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して、フィールドの抽出、推奨事項の検索、フィールドのフラグ設定、不足しているフィールドの特定を行い、ドキュメントタスクを完了します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースの概要

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) ワークスペースには、テキスト抽出をすばやく確認して処理できるドキュメント管理機能があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースでは、次のことができます。

- AI の推奨事項を効率的に確認し、ドキュメントの抽出されたテキストを確認します。
- フィールドにフラグを設定し、欠落しているフィールドを特定し、処理待ちのフィールドを確認します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを開始するには:

- ドキュメントタスクの作成 ドキュメントデータ抽出ユースケースの場合は、ドキュメントをアップロードし、タスクを処理します。
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)タスクを処理したら、ワークスペースの使用を開始できます。「ドキュメントタスクの完了」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースのレイアウト

次の図は、ドキュメントタスクの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを示しています。ワークスペースには、次の領域が含まれています。

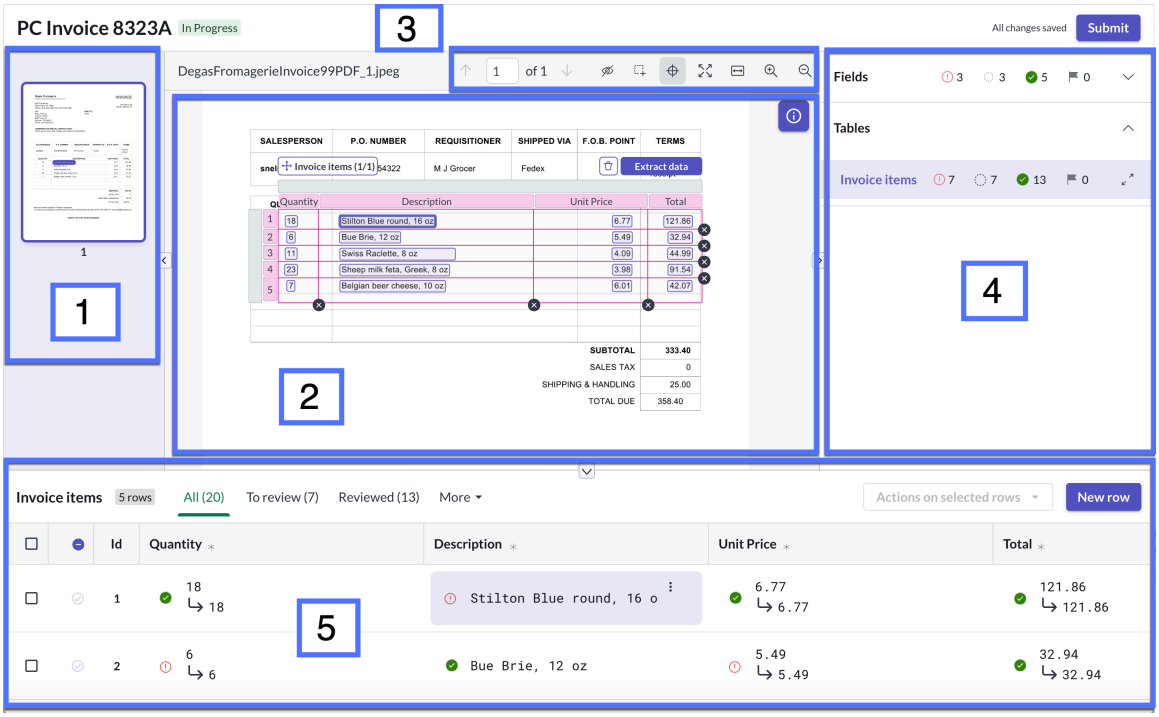
- 1 - サムネイルパネル
- 2 - ドキュメント画像パネル
- 3 - ドキュメントコントロール

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 4 - [ドキュメントフィールド] パネル
- 5 - テーブルパネル

注: このビューでは、ドキュメントフィールドパネルが展開され、フィールドが表示されます。



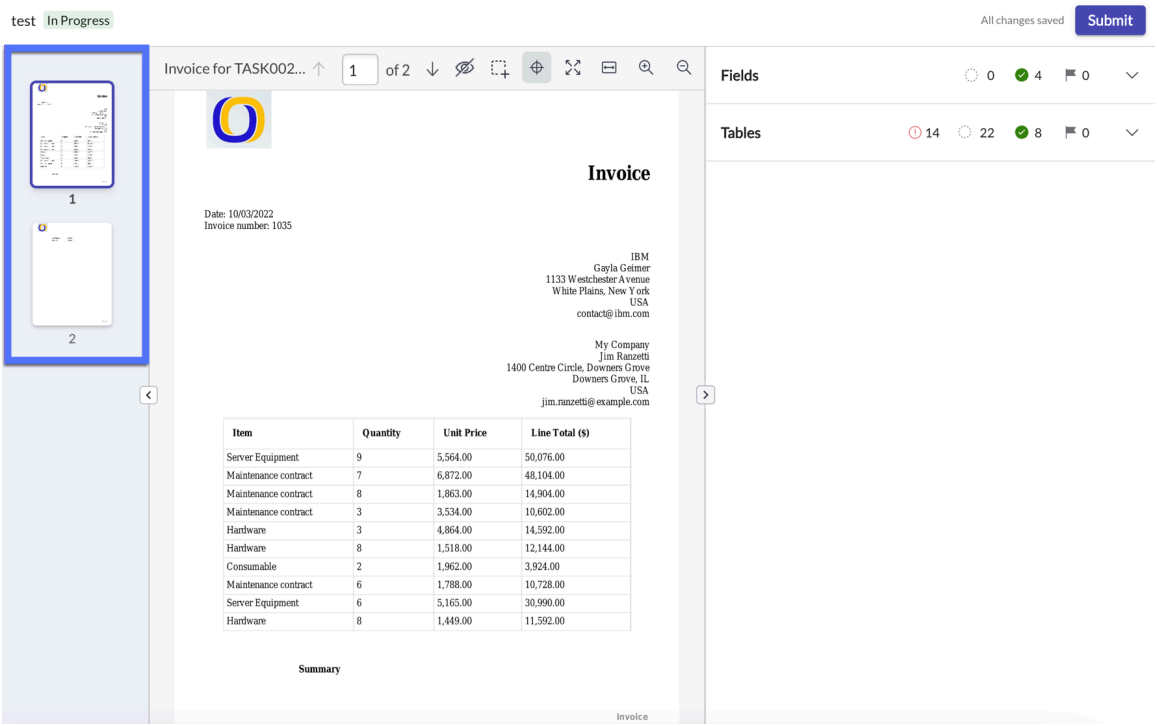
サムネイルパネル

ワークスペースのサムネイルパネルで、複数ページのドキュメントから 1 ページを選択できます。選択したページがドキュメント画像パネルに表示されます。ページを選択しても、ドキュメントフィールドパネルに表示される内容には影響しません。

次の画像は、サムネイルパネルに 2 ページあるドキュメントを示しています。

自動翻訳

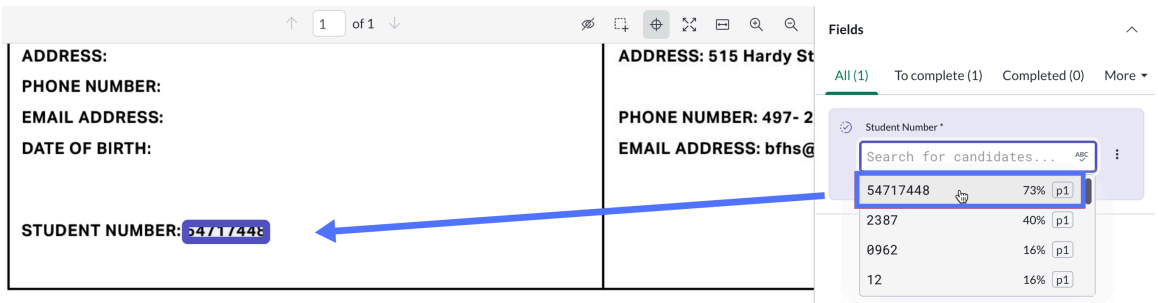
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ドキュメント画像パネル

文書画像パネルには、サムネイルパネルで選択したページが表示されます。

ドキュメントフィールドパネルのフィールドの推奨事項を移動すると、ドキュメント画像パネルでハイライト表示され、正しいオプションを選択するのに役立ちます。



描画ツールを使用して、ドキュメント画像から情報を直接抽出することもできます。詳細については、「描画ツールを使用したフィールドの抽出」を参照してください。

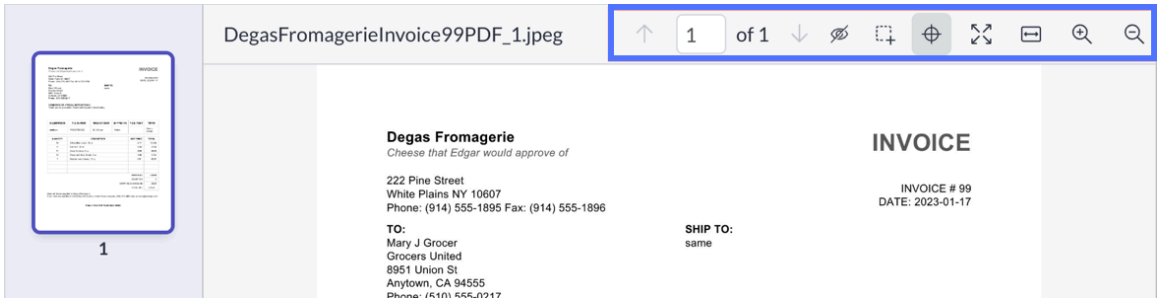
ドキュメントコントロール

抽出するドキュメントをレビューするときは、さまざまなコントロールを使用して、表示領域を最大化したり、ズームしたり、必要な領域に焦点を合わせたりすることができます。描画ツールを使用して、ドキュメント画像から情報を直接抽出することもできます。詳細については、「描画ツールを使用したフィールドの抽出」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の図は、ドキュメントコントロールを示していま



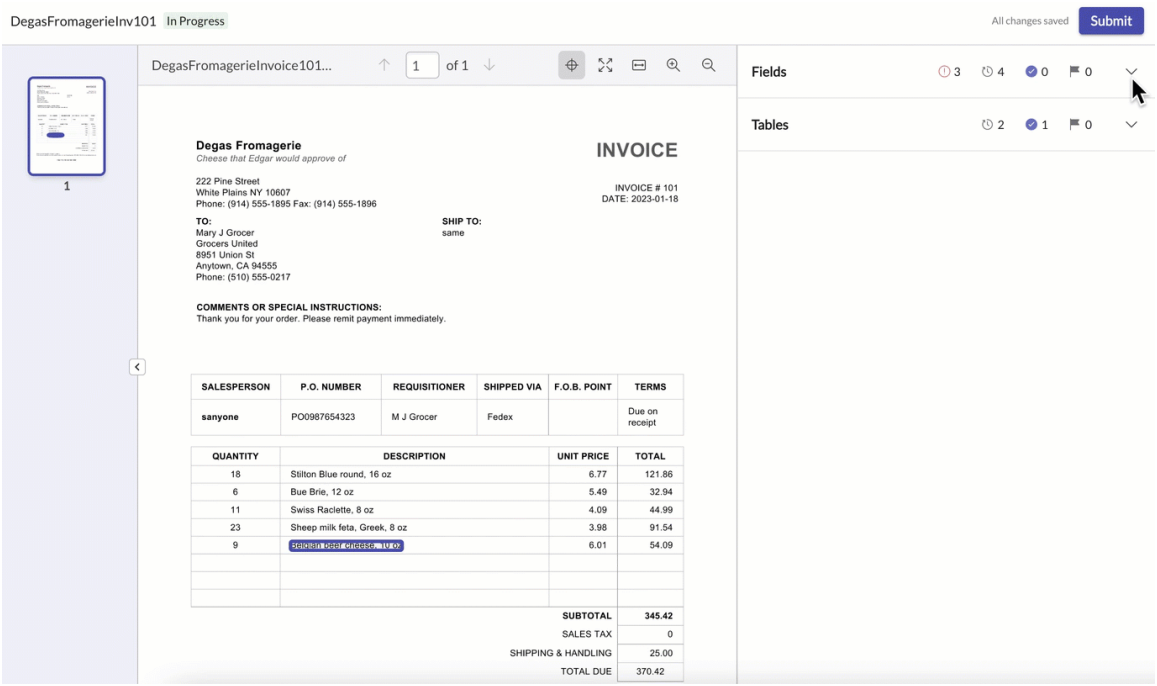
す。

ドキュメントフィールドパネル

ドキュメントフィールドパネルを使用すると、AI の推奨事項の表示など、レビューのためにアイテムを開くことができます。フィールドにフラグを設定したり、ドキュメントにないフィールドとしてマークしたりすることもできます。

注: アスタリスクは必須フィールドを示します。

次の図は、ドキュメントフィールドパネルのさまざまな機能を示しています。



テーブルパネル

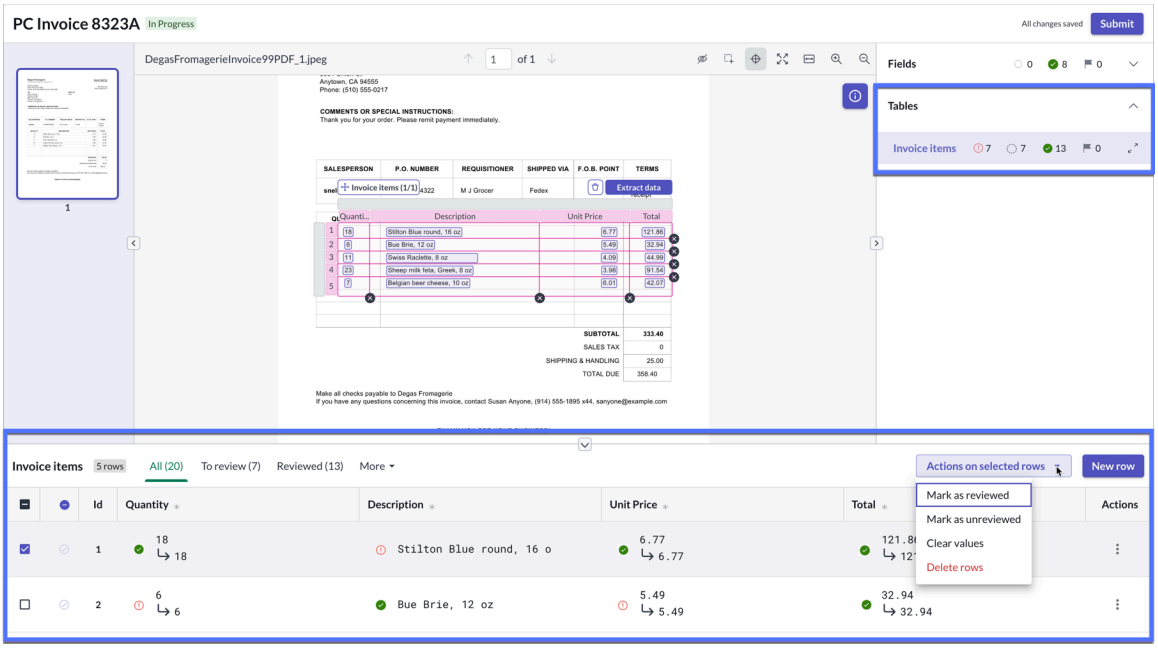
テーブルパネルを使用すると、AI の推奨事項の表示など、レビュー用にテーブルの行を開くことができます。フィールドにフラグを設定したり、ドキュメントにないフィールドとしてマークしたりすることもできます。他のテーブルコントロールを使用すると、必要に応じて行を挿入したり、列のサイズを変更したりできます。

注: 列見出しのアスタリスクは必須フィールドを示します。

次の図は、テーブルパネルのさまざまな機能を示しています。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



単一フィールドを抽出

ドキュメントフィールドパネルで、ドキュメントからテキストフィールドと数値フィールドを抽出します。

始める前に

必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて

ドキュメントから単一フィールドを抽出するには、次の手順に従います。

フィールドに既に値が自動入力されている場合は、値を確認して正しいことを確認したり、必要に応じてフィールドを調整したりできます。

> **ヒント:** 描画ツールを使用して、ドキュメント画像上のフィールドを直接簡単に抽出することもできます。詳細については、「描画ツールを使用したフィールドの抽出」を参照してください。

手順

1. ドキュメントフィールドパネルで、[フィールド] を展開します。
2. フィールドを選択します。
3. フィールドに入力し、ドロップダウンリストから推奨事項を選択します。

   信頼スコアが最も高い推奨事項がリストの一番上に表示されます。

   > **ヒント:** ドロップダウンリストで推奨事項を移動すると、ドキュメント内で推奨事項がハイライト表示され、正しいオプションを選択するのに役立ちます。

4. オプション: 必要に応じて、推奨事項をフィルタリングするか、フラグを設定します

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

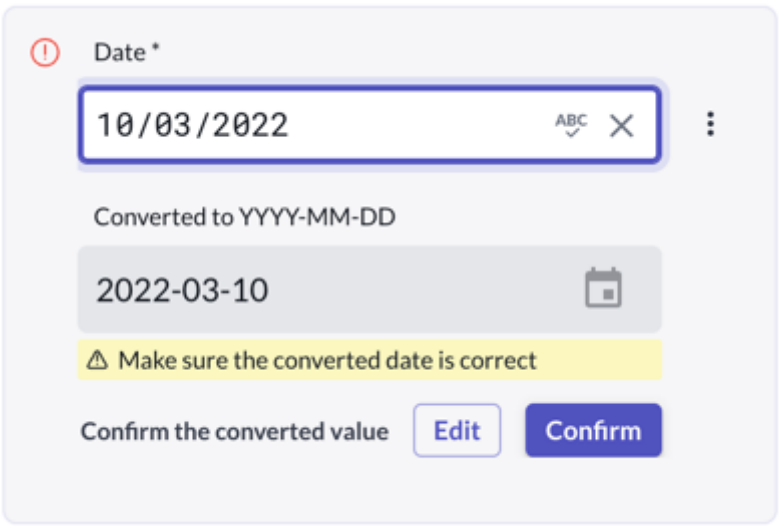
- 入力した内容と完全に一致する推奨事項のみを表示するようにリストをフィルタリングするには、フィールドで完全一致モードアイコン ( ) を選択します。
- 後で注意できるようにフィールドにフラグを設定するには、フィールドオプションメニュー( ) で「フォローアップ用にフラグを付ける」を選択します。
- ドキュメント内で適切な一致が見つからない場合は、フィールドオプションメニューの ドキュメントで [欠損] を選択します。 元に戻すには、フィールドで [編集] アイコン ( ) を選択します。

次のフィールドに移動すると、フィールドは完了としてマークされます。

5. オプション: 必要に応じて、フィールド値の変換を確認または修正します。

   (Optional) 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。「データ正規化」を参照してください。

   抽出された値がドキュメント内であいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はそれをフィールド構成で定義されたとおりに解釈します。換算値を確認または編集することを確認するメモが表示されます。



   - 換算値フィールドで [確認] を選択して、換算値が正確であることを確認します。
   - [編集] を選択し、更新された値を入力し、[保存] を選択して変換を修正します。

チェックボックスフィールドを抽出

ドキュメントフィールドパネルで、ドキュメントからチェックボックスフィールドを抽出します。

始める前に

必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて

ドキュメントからチェックボックスフィールドを抽出するには、次の手順に従います。

チェックボックスフィールドが既に自動入力されている場合は、それらを確認して正しいことを確認したり、必要に応じてフィールドを調整したりできます。

手順

1. ドキュメントフィールドパネルで、[フィールド] を展開します。
2. フィールドを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールドがチェックボックスフィールドタイプとして指定されている場合は、チェックボックスのリストが表示されます。

3. フィールドグループに適用するチェックボックスをオンにします。
選択したチェックボックスごとに、ドキュメント内の一致する可能性のある ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を 1 つ以上提供できます。

   a. チェックボックスをオンにします。

   b. ドキュメント画像にチェックボックスに一致する推奨事項が複数ある場合は、該当する推奨事項を選択します。

      ドキュメントの推奨事項はいつでも選択または選択解除できます。

      ヒント:
      - キーボードの **Tab** キーを押して、推奨事項間を移動します。
      - **Enter** キーまたは **Return** キーを押していずれかを選択します。
      - 推奨事項の選択を解除するには、別の推奨事項を選択します。

   c. 推奨事項が見つからない場合、またはどの推奨事項も正しくない場合は、チェックボックスオプションメニュー ( ) で [すべてのチェックボックスの推奨事項を表示] を選択し、ドキュメント内の他のオプションを選択します。

      ヒント: チェックボックスオプションメニューで [フォローアップ用にフラグを付ける] を選択して、後で注意できるようにチェックボックスにフラグを設定します。

   d. ドキュメント内のチェックボックスに適切な一致が見つからない場合は、チェックボックスオプションメニューで [一致項目は見つかりません] を選択します。

   e. フィールドグループに適用するチェックボックスごとに、これらの手順を繰り返します。

4. 推奨事項モードの場合は、すべてのフィールドが完了としてマークされていることを確認します。
オートフィルモードの場合は、フィールドをレビュー済みとしてマークします。

テーブルフィールドの抽出

テーブルパネルでドキュメントからテーブルフィールドを抽出します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて
ドキュメントからテーブルフィールドを抽出するには、次の手順に従います。

フィールドに既に値が自動入力されている場合は、値を確認して正しいことを確認したり、必要に応じてフィールドを調整したりできます。

ヒント: 描画ツールを使用して、ドキュメント画像で直接テーブルを簡単に抽出することもできます。詳細については、「描画ツールを使用したフィールドの抽出」を参照してください。

手順

1. ドキュメントフィールドパネルで、[テーブル] を展開します。
[テーブル] セクションには、テーブル フィールドグループにアサインされたフィールドのみが表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

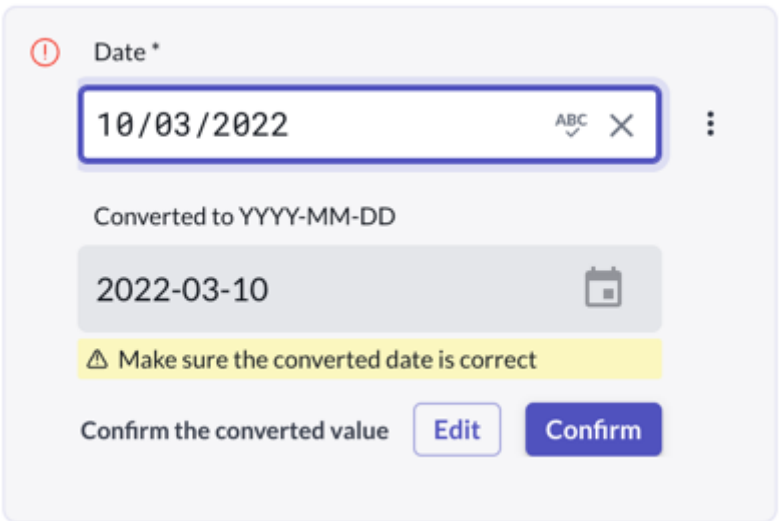
2. テーブルを選択します。
テーブルパネルが表示されます。
3. 各テーブルフィールドに適用する推奨事項を選択します。
   - 推奨事項を選択するには、フィールドに入力し、ドロップダウンリストから推奨事項を選択します。

     ヒント: ドロップダウンリストで推奨事項を移動すると、ドキュメント内で推奨事項がハイライト表示され、正しいオプションを選択するのに役立ちます。

   - 後で注意できるようにフィールドにフラグを付けるには、フィールドオプションメニュー( )でフォローアップ用にフラグを付けるを選択します。
   - ドキュメント内で適切な一致が見つからない場合は、フィールドオプションメニューの ドキュメントで [欠損] を選択します。 元に戻すには、フィールドで [編集] アイコン ( )を選択します。
4. オプション: 必要に応じて、フィールド値の変換を確認または修正します。

   (Optional) 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。「データ正規化」を参照してください。

   抽出された値がドキュメント内であいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はそれをフィールド構成で定義されたとおりに解釈します。換算値を確認または編集することを確認するメモが表示されます。



   - 換算値フィールドで [確認] を選択して、換算値が正確であることを確認します。
   - [編集] を選択し、更新された値を入力し、[保存] を選択して変換を修正します。
5. 必要に応じてテーブルの行を調整します。

   警告: ドキュメント画像にグリッドがある場合、テーブルの行に直接加えられた変更をグリッドに同期することはできません。データの競合を避けるために、グリッドが削除されます。

   - 行を追加するには、[新しい行] を選択します。
   - 行のすべてのフィールド値をクリアするには、行オプションメニュー ( )の [行の値をクリア] を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 行を挿入するには、行オプションメニューの[上に行 を挿入]または[下に行を挿入]を選択します。
- 行を削除するには、行オプションメニューで [行を削除] を選択します。
- 行をレビュー済みとしてマークするには、行オプションメニューで 行をレビュー済みとしてマーク します。
- 複数の行を変更するには、各行の最初の列にあるチェックボックスをオンにし、[選択した行のアクション] リストからアクションを選択します。

6. 行を確認して完了します。
   - フィールドに入力した場合は、すべての行が完了としてマークされていることを確認します。
   - フィールドに値が自動入力されると、すべての行がレビュー済みとしてマークされます。

描画ツールを使用したフィールドの抽出

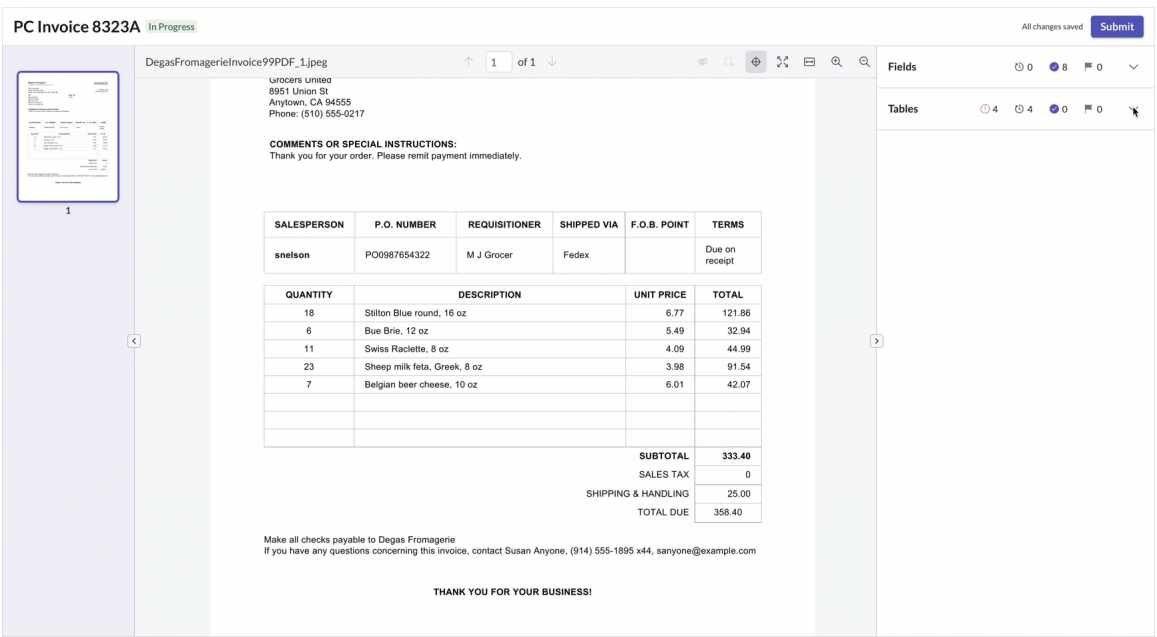
描画ツールを使用して、ドキュメント画像上の テキストと 表から情報を直接抽出します。

描画ツールの概要

処理されたドキュメントを ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースで表示するときに、描画ツールを使用して、ドキュメント画像からフィールドを抽出して確認できます。

特に、推奨事項がまだない場合や推奨事項が正しくない場合、描画ツールは、抽出するドキュメントの特定の領域を選択するのに役立ちます。

抽出されたテーブルフィールドは、テーブルの上のグリッドに既に表示されているはずです。抽出された単一フィールドは、テキスト上にラベル付きのボックスとして表示されます。 抽出されたフィールドをグリッド またはボックス から直接確認し、必要に応じて調整できます。テーブルフィールドが空であるかグリッドがない場合は、テーブル上に 1 つ以上のグリッドを作成してフィールドを抽出できます。



描画ツールを使用した 1 つのフィールドの抽出

描画ツールを使用して、ドキュメント画像から 1 つのフィールドを直接抽出します。

始める前に

必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
描画ツールを使用してドキュメントから単一のフィールドを抽出するには、次の手順に従います。抽出されたデータは、ドキュメントフィールドパネルの関連フィールドに入力するために使用されます。

フィールドが自動入力されている場合、抽出されたテキストの上にボックスが既に表示されています。必要に応じてフィールドを調整できます。

手順

1. ドキュメントフィールドパネルで、[フィールド] を展開します。
2. フィールドを選択します。

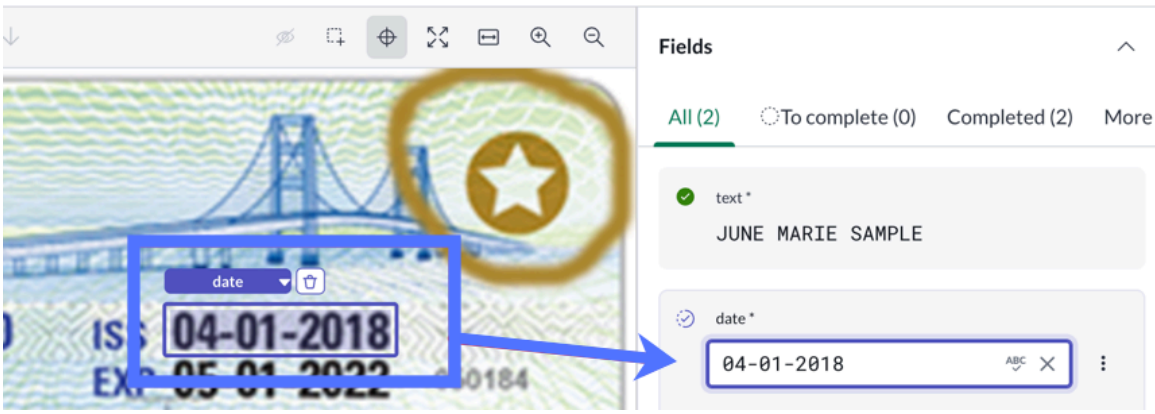
   描画ツールアイコン ( ) は、ドキュメントコントロールツールバーで有効になっています。

   フィールドが既に自動入力されていて、フィールドの上にボックスが表示されている場合、または既にボックスを描画している場合は、手順 5 に進みます。

3. 描画ツールアイコン( )
4. 抽出するドキュメント画像上の領域にボックスを描画します。

   テキストの上に編集可能なボックスが表示されます。フィールド名がボックスの横に表示されます。ボックス内の抽出されたテキストがハイライト表示されます。

   1 つのフィールドに描画されたボックス



   抽出されたテキストは、ドキュメントフィールドパネルの関連フィールドに入力されます。

   ヒント: 入力されたフィールドで **Enter** キーまたは **Return** キーを押すと、次のフィールドに移動して新しいボックスが描画されます。

5. オプション: 必要に応じてボックスを調整します。

オプション	説明
ボックスのサイズを変更する	(Optional) ボックスを選択します。ボックスの端または角を目的の位置にドラッグします。 ボックス内の更新されたテキストが抽出され、ドキュメントフィールドパネルの関連フィールドに入力されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
ボックスを削除	(Optional) ボックスを削除アイコン (アイコン) を選択します。 ボックスが削除され、抽出された値がフィールドから削除されます。
別のフィールドに抽出	(Optional) ボックスの横にあるフィールド名を選択し、リストから別のオプションを選択します。

6. オプション: フィールドに変更を入力して、抽出されたテキストを編集します。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 選択した領域内のすべてのテキストを検出できない場合があります。この場合、フィールドに情報を直接入力する必要があります。

描画ツールを使用したテーブルの抽出

描画ツールを使用して、ドキュメント画像から直接テーブルを抽出します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて
描画ツールを使用してドキュメントからテーブルを抽出するには、次の手順に従います。抽出されたデータは、関連するテーブルフィールドに入力するために使用されます。

テーブルフィールドが自動入力されている場合、抽出されたフィールドに基づいて描画ツールグリッドが既に使用可能です。必要に応じてフィールドを調整できます。詳細については、「描画ツールのグリッドを調整する」を参照してください。

ドキュメントのページ全体で、テーブルの複数のセクションを選択できます。

手順

1. ドキュメントフィールドパネルで、[テーブル] セクションを展開します。
[テーブル] セクションには、テーブル フィールドグループにアサインされたフィールドのみが表示されます。
2. [テーブル] セクションでテーブルを選択します。

   テーブルパネルが表示され、[描画 ツール] アイコン (は、ドキュメントコントロールツールバーで有効になっています。

   テーブルフィールドが既に自動入力されていて、グリッドがテーブル上に表示されている場合、または既にグリッドを描画している場合は、手順 5 に進みます。

   ヒント: 必要に応じて、[テーブルパネルを折りたたむ] アイコン ([ ) を使用して、テーブルパネルを折りたたみます。

3. 描画 ツールアイコン(
4. 抽出するドキュメント画像上の領域にボックスを描画します。

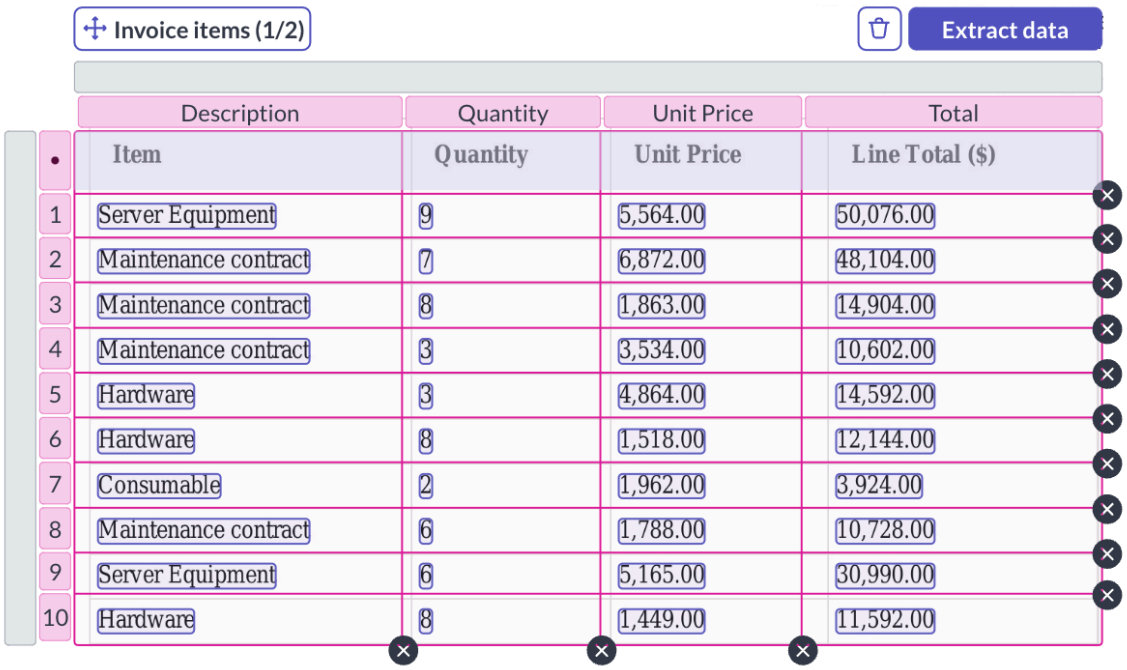
   ヒント: 選択エリアにテーブルのヘッダー行を含めます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

編集可能なグリッドがテーブルの上に表示されます。グリッドは、選択した領域のテーブルセルを定義します。グリッドの行番号は、[テーブル] パネルの行に対応しています。

セル内のテキストは、テーブルフィールドに抽出される前に、点線のボックスで囲まれて表示されます。抽出されると、実線のボックスに表示されます。



5. 必要に応じてグリッドを調整します。

   詳細については、「描画ツールのグリッドを調整する」を参照してください。

6. オプション: ドキュメントの同じページまたは別のページでテーブルの別のセクションを選択するには:

   a. 描画 ツールアイコン(

   b. 抽出するドキュメント画像の他の領域にボックスを描画します。

      注: 既存のグリッドの上に新しいグリッドを描画することはできません。

      テーブル名の横にあるグリッド番号には、更新されたグリッド番号が表示されます。たとえば、「品目 (2/2)」は、[品目] テーブルのフィールドを抽出するために使用される 2 つのグリッドのうちの 2 番目であることを示します。

   c. 必要に応じてグリッドを調整します。

7. オプション: グリッドを非表示にするには、[グリッドを表示/非表示] アイコン (

   (Optional) 部分的に透明なボックスは、ドキュメント上の非表示のグリッドの位置を示します。

   非表示のグリッドまたは [グリッドを表示/非表示 (Hide/Show the grid(s))] アイコンを選択してグリッドを表示します。

8. 、データを抽出します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ [データの抽出] を選択します。

データがまだ抽出されていない場合に、このボタンが表示されます。

◦ [フィールドを更新] を選択します。

このボタンは、テーブルフィールドが既に入力されており、変更を行ってその一部が上書きされた場合に表示されます。

[フィールドを更新] ボタンには、更新するフィールドの数が表示されます。

グリッド内のデータが抽出され、関連するテーブルフィールドに入力するために使用されます。

グリッドに空のセルまたは欠落している列がある場合、関連するテーブルフィールドは ドキュメントで [欠落] に設定されます。

描画ツールのグリッドを調整する

描画ツールのグリッドを調整して、ドキュメント画像から抽出する情報に合わせます。

始める前に

- これらの手順は、ドキュメント画像に描画ツールグリッドがあるテーブルに適用されます。詳細については、「描画ツールを使用したテーブルの抽出」を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて

グリッドを変更するには、次の手順に従います。その後、関連するテーブルフィールドの更新を抽出できます。

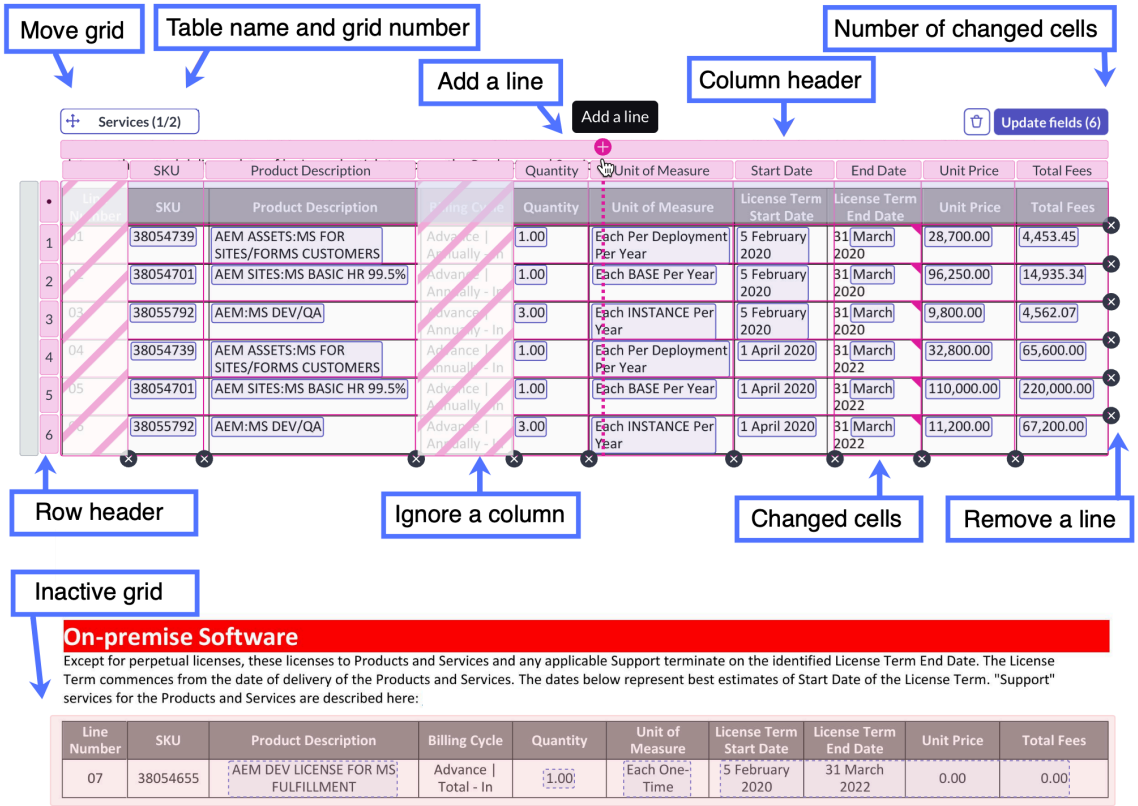
手順

1. ドキュメント画像で、変更するグリッドを選択します。

   ドキュメントに複数のグリッドがある場合は、1 つだけに編集ツールが表示されます。もう一方のグリッドは、編集用に選択するまでオーバーレイとして表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Line Number	SKU	Product Description	Billing Cycle	Quantity	Unit of Measure	License Term Start Date	License Term End Date	Unit Price	Total Fees
07	38054655	AEM DEV LICENSE FOR MS FULFILLMENT	Advance | Total - In	1.00	Each One-Time	5 February 2020	31 March 2022	0.00	0.00

2. 必要に応じてグリッドを調整します。

調整は自動保存されます。

以前の抽出を変更する調整は、セルの隅に表示されます。

セル内のテキストが既に抽出されている場合は、実線で囲まれて表示されます。まだ抽出されていない場合は、点線のボックスで表示されます。

オプション	説明
グリッドの移動	移動アイコン ( ) を目的の位置にドラッグします。
列ヘッダーの変更	列ヘッダーを選択し、テーブルフィールドでデータの抽出先の列を選択します。
最初の行をヘッダー行にする	行ヘッダーを選択し、[これはヘッダー行です] チェックボックスをオンにします。
列または行の境界線を移動する	境界線を目的の位置にドラッグします。
新しい列または行を追加	グリッドの外側の境界線に移動し、線の追加アイコン (

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	線を追加すると、影響を受けるセルが分割され、個別のフィールドに抽出できるようになります。
列または行の境界線を削除する	グリッドの外側の境界線の端にある [線の削除] アイコン ( ) を選択します。 線を削除すると、影響を受けるセルが結合され、同じフィールドに抽出できるようになります。
グリッドを削除	[グリッドを削除] アイコン ( ) を選択します。 このアクションではグリッドのみが削除され、抽出されたデータは削除されません。
テーブルの列または行を無視する	a. 列または行の見出しを選択します。 b. [この列/行を抽出しない] チェックボックスをオンにします。 c. [**Save** (保存)] をクリックする。

自動翻訳

ドキュメント画像のフィールドを確認する

描画ツールを使用して、文書の画像パネルから直接オートフィルされたフィールドを確認します。

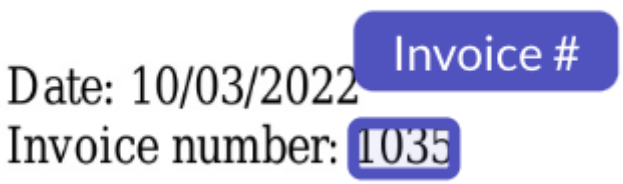
始める前に

- これらの手順は、描画ツール グリッドを持つテーブル 、またはドキュメント上に描画ツール ボックスを持つ 1 つのフィールド に適用されます。詳細については、 描画ツールを使用したテーブルの抽出 または 描画ツールを使用した 1 つのフィールドの抽出を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

手順

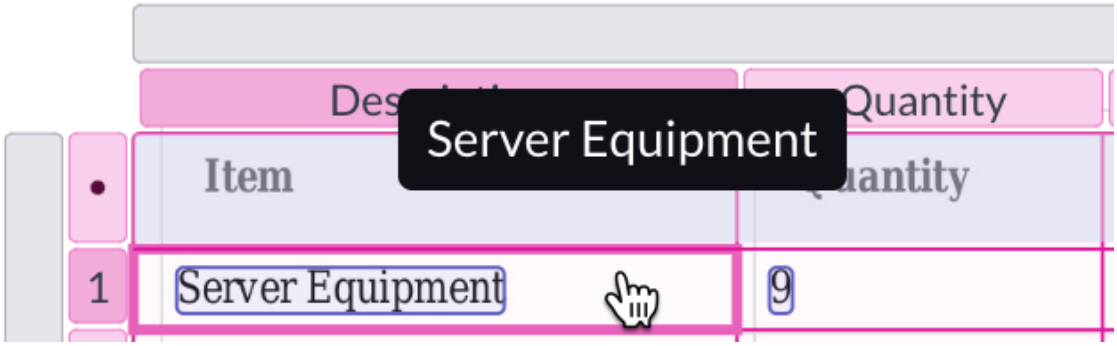
1. ドキュメント画像で、確認するグリッド セル またはフィールド ボックス をポイントします。

   単一のフィールドの場合、テキストの上に編集可能なボックスが表示されます。フィールド名がボックスの横に表示されます。



   テーブルフィールドの場合、値が抽出されると、グリッドセル内のテキストがボックスで囲まれて表示されます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



2. フィールドのツールヒントに表示される値を確認します。
   - 値が正確な場合は、次のフィールドのレビューに進みます。
   - 値を変更する必要がある場合は、フィールドを編集します。

     「ドキュメント画像のフィールドを編集する」を参照してください。

3. 確認するフィールドごとに手順 1 と 2 を繰り返します。

ドキュメント画像のフィールドを編集する

ドキュメント画像のフィールドを編集して、正しい情報が抽出されていることを確認します。

始める前に

- これらの手順は、描画ツール グリッドを持つテーブル 、またはドキュメント上に描画ツール ボックスを持つ 1 つのフィールド に適用されます。詳細については、 描画ツールを使用したテーブルの抽出 または 描画ツールを使用した 1 つのフィールドの抽出を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

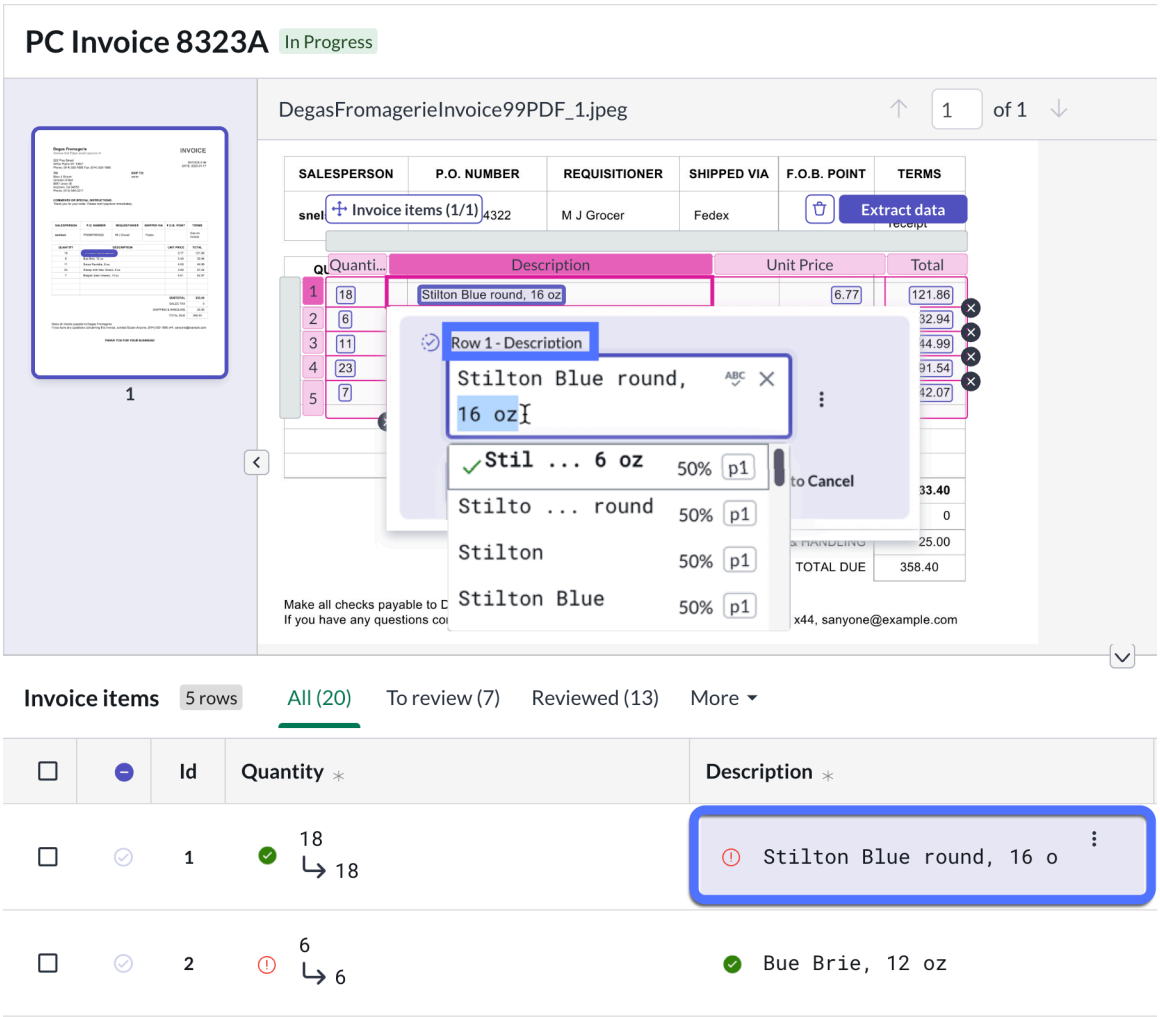
このタスクについて

ドキュメント画像の推奨事項を編集してフィールドを変更するには、次の手順に従います。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)によって検出されたテキストは、ボックスで囲まれて表示されます。

手順

1. ドキュメント画像で、編集する テキストボックスまたは グリッドセルを選択します。
   ダイアログボックスが表示され、関連フィールドが表示されます。
2. テキストボックスに値を入力するか、リストから別の推奨事項を選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [**Save** (保存)] をクリックする。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースを使用したドキュメントの分類

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して、ドキュメントにラベルを付けます。ワークスペースを使用すると、直接入力を提供し、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) から提供された推奨事項を検証または修正することで、AI モデルをトレーニングできます。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースの概要

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) ワークスペースには、添付ドキュメントとその各ページにクラスまたはカテゴリをすばやく適用できる機能があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを開始するには、次の手順を実行します。

- ドキュメントタスクの作成 ドキュメント分類ユースケースの場合は、ドキュメントをアップロードし、タスクを処理します。
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)タスクを処理したら、ワークスペースの使用を開始できます。「ドキュメントタスクの完了」を参照してください。

自動翻訳

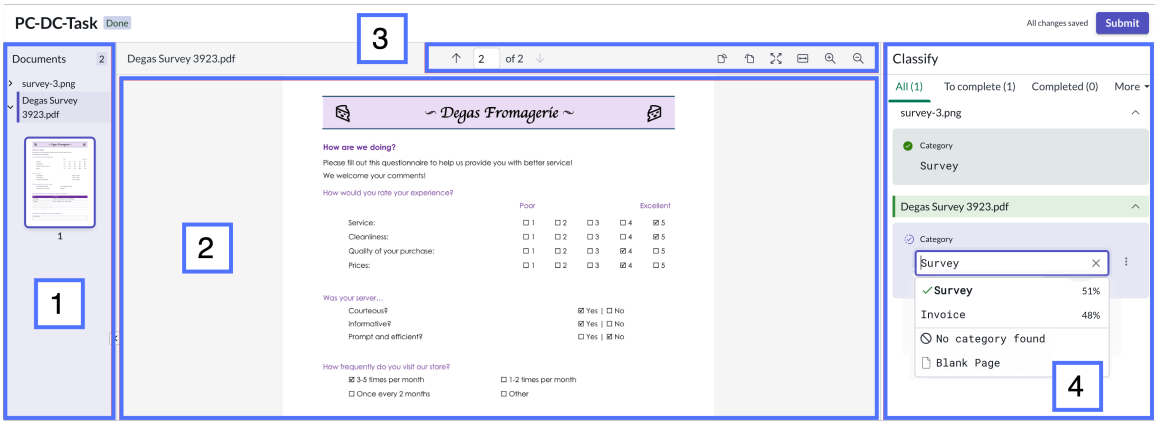
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースのレイアウト

次の画像は、ドキュメントタスクの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを示しています。ワークスペースには、次の領域が含まれています。

- 1 - サムネイルパネル
- 2 - ドキュメント画像パネル
- 3 - ドキュメントコントロール
- 4 - [分類] パネル

注: このビューでは、[分類] パネルのドキュメントが展開され、カテゴリが表示されます。



サムネイルパネル

ワークスペースのサムネイルパネルで、1 つ以上の複数ページのドキュメントから 1 つのページを選択できます。選択したページがドキュメント画像パネルに表示されます。ページを選択しても、[分類] パネルに表示される内容には影響しません。

ドキュメント画像パネル

文書画像パネルには、サムネイルパネルで選択したページが表示されます。

ドキュメントコントロール

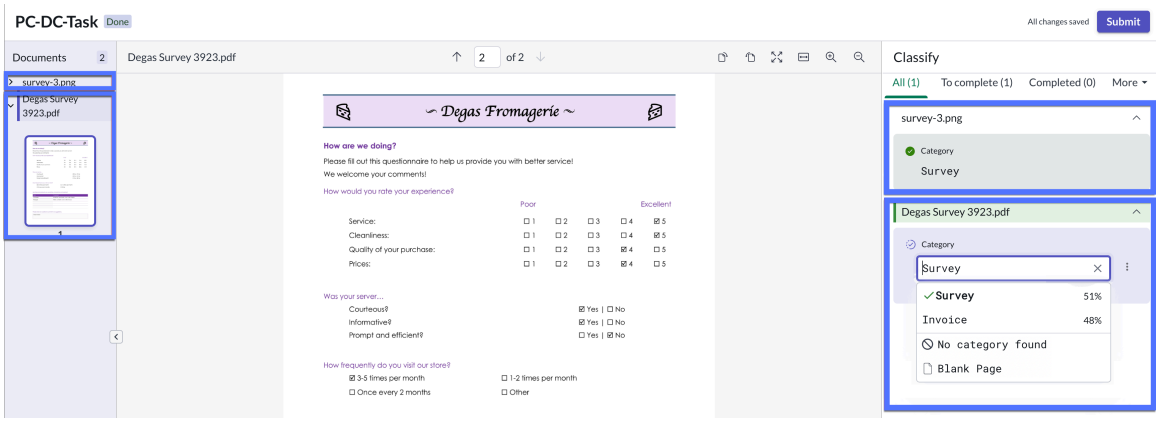
ドキュメントの分類を確認するときは、さまざまなコントロールを使用して、回転、表示領域の最大化、ズーム、または必要な領域へのフォーカスを行うことができます。

[分類] パネル

[分類] パネルを使用すると、AI の推奨事項の表示など、レビューのために各ドキュメントとページの分類を開くことができます。

次の画像は、ドキュメントタスクの各添付ファイルのカテゴリフィールドを含む [分類] パネルを示しています。カテゴリを入力または確認することができます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ドキュメントとドキュメントページを分類

[分類] パネルでドキュメントを分類します。

始める前に

必要なロール:sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて

ドキュメントの添付ファイルとその各ページにカテゴリを適用するには、次の手順に従います。

このコンテキストでは、ドキュメントページは、ワークスペースのサムネイルパネルに表示されるデジタルドキュメントファイルの個々のページオブジェクトです。ドキュメントファイルには、ドキュメントの複数の論理グループが含まれている場合があります (たとえば、それぞれが複数のページにまたがる複数の請求書を含む PDF ファイルなど)。内容に基づいて、ドキュメントファイルとファイルページに分類を適用します。

カテゴリに既に値が自動入力されている場合は、値を確認して正しいことを確認したり、必要に応じて調整したりできます。

手順

1. [分類] パネルで、各ドキュメントの自動入力カテゴリを確認して、それらが正しいことを確認します。
2. [カテゴリ] フィールドを選択して、ドキュメントのカテゴリを選択します。
3. 推奨事項リストを使用して、ドキュメントの適切な推奨事項を選択します。

   - [カテゴリ] フィールドに入力し、リストから推奨事項を選択します。

     信頼スコアが最も高い推奨事項がリストの一番上に表示されます。

   - 複数のドキュメントタイプを含む複数ページのドキュメントには、[混在カテゴリ] を選択します。

     それ以外の場合、複数ページのドキュメントにカテゴリを選択すると、そのカテゴリはドキュメントのすべてのページに適用されます。

   - ドキュメント内の空白ページの場合は 、[空白ページ] を選択します。

   - 正しい一致が見つからない場合は、[カテゴリが見つかりません] を選択します。

     次の [カテゴリ] フィールドに移動すると、ドキュメントは完了としてマークされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 混合カテゴリドキュメントの各ページの推奨事項を選択します。
   次のページに移動すると、ページは完了としてマークされます。

5. オプション: 必要に応じて、オプションアイコン ( ) からオプションメニューの [フォローアップ用にフラグを付ける] を選択して、後で注意を払えるようにドキュメントまたはページにフラグを付けます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のパフォーマンスの監視

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) でドキュメント抽出のパフォーマンスを追跡して、その使用状況と有効性を把握します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンホームページでレポートを表示する

アドミンエクスペリエンスでドキュメント抽出のパフォーマンスを監視します。

始める前に

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン (com.snc.docintel_admin) ServiceNow® Store アプリケーションがインストールされ、アクティブになっていることを確認します。詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール」を参照してください。
- 複数の完了したドキュメントタスクを含むアクティブなユースケースがある。詳細については、「ドキュメント抽出ユースケースの設定」を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.admin、sn_docintel.manager、または admin。

このタスクについて

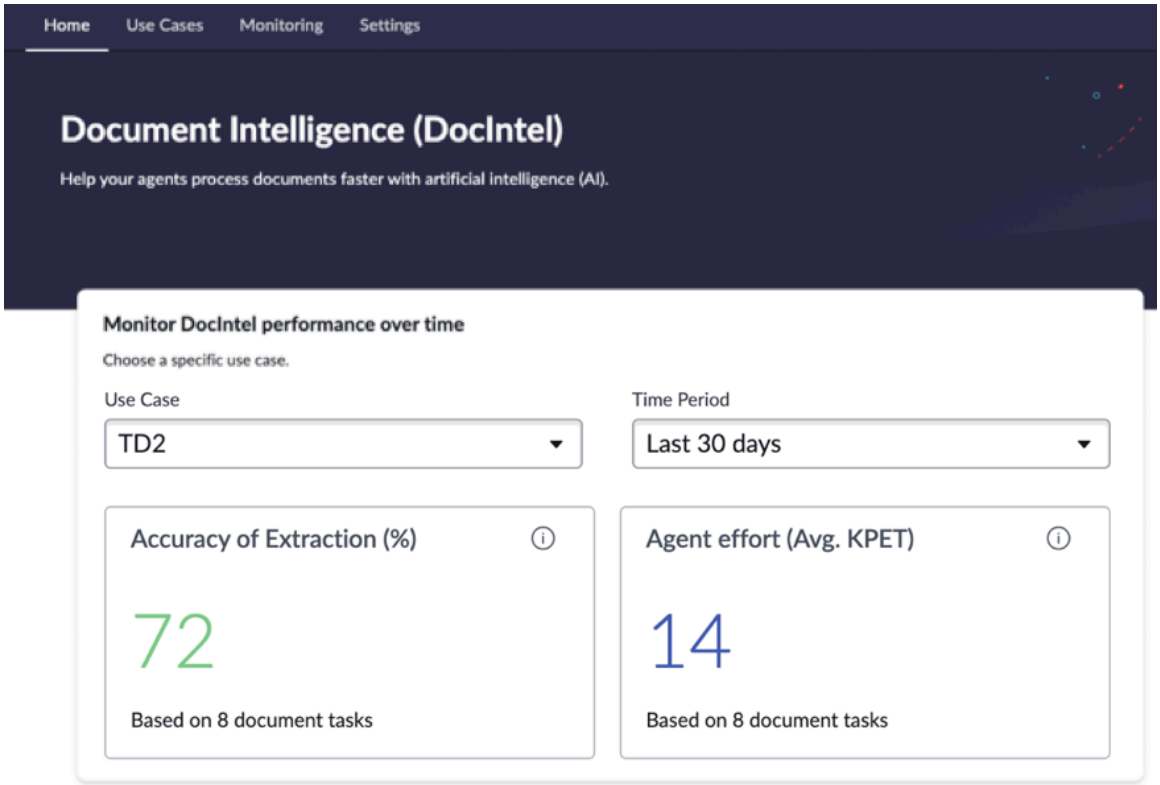
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミンエクスペリエンスのホームページを開くと、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) 実装の価値を確認できます。

[一定期間のドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** パフォーマンスの監視 **(Monitor DocIntel performance over time**)] セクションには、次の測定値が表示されます。

- [抽出の精度] ウィジェットには、選択したユースケースの期間あたりの平均抽出精度が表示されます。精度は、AI の最上位の推奨が正しい回答であった回数によって定義されます。
- エージェントの労力ウィジェットには、ドキュメントタスクのすべてのフィールド値を抽出するためにエージェントが実行する必要があるキーストロークの数が表示されます。数値はドキュメントタスクごとの平均です。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > ホーム.
2. ユースケースリストを展開し、ユースケースを選択します。
3. [期間] リストを展開し、日付範囲を選択します。
4. 抽出の精度ウィジェットとエージェントの労力ウィジェットに表示される結果を確認します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** モニタリングダッシュボード

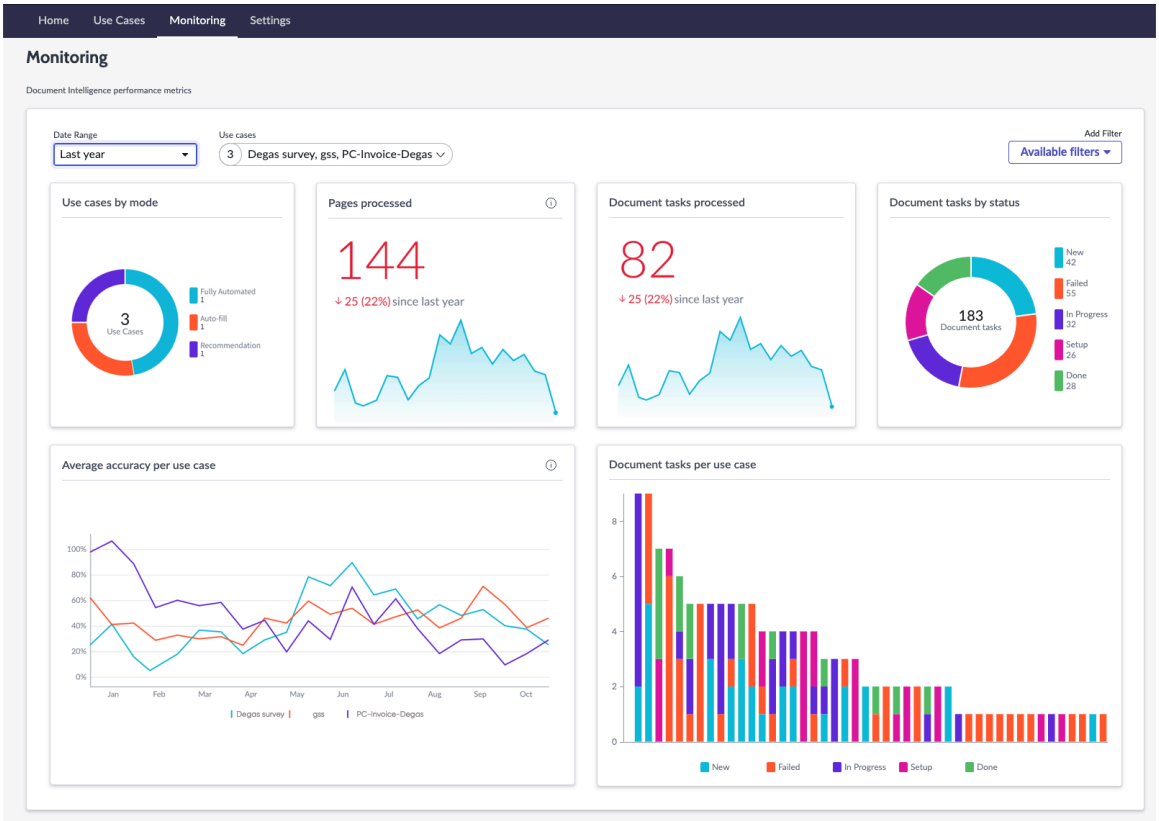
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)監視ダッシュボードで、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の全体的なパフォーマンスを経時的に監視します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**モニタリングダッシュボードの概要

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)監視ダッシュボードには、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の使用状況と価値の概要が表示されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化には、インスタンス内のドキュメント抽出アクティビティが表示されます。例：

- アクティブなユースケース
- アクティブなドキュメントタスク
- 処理されたページ
- 処理されたドキュメントタスク
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)推奨事項の正確性

このダッシュボードは、次の質問に対する有用な回答を提供します。

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用して処理されるドキュメントの数はいくつですか?
- ドキュメント抽出のどの程度が自動化されていますか?
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)精度は時間の経過とともにどのように向上しましたか?

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**監視ダッシュボードの表示

アドミンエクスペリエンスの [監視] 画面で ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 監視ダッシュボードにアクセスします。

始める前に

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン (com.snc.docintel_admin) ServiceNow® Store アプリケーションがインストールされ、アクティブになっていることを確認します。詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール」を参照してください。
- 複数の完了したドキュメントタスクを含むアクティブなユースケースがある。詳細については、「ドキュメント抽出ユースケースの設定」を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.admin、sn_docintel.manager、または admin。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > モニタリング.
2. オプション: [日付範囲] フィルターで日付範囲を選択すると、選択した日付内のデータのみが表示されます。
3. オプション: [ユースケース] フィルターで 1 つ以上のユースケースを選択すると、選択したユースケースに適用されるデータのみが表示されます。
4. オプション: チャート内のオブジェクトを選択すると、追加の詳細が表示されます。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**モニタリングダッシュボードでのデータの可視化

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)モニタリングダッシュボードでは、データのビジュアル化を使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) の使用状況とパフォーマンスデータを表示します。

次の表では、[監視] 画面に表示されるデータの可視化について説明します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**使用状況とパフォーマンスを示すデータの可視化

[Name (名前)]	説明
モード別のユースケース	抽出モード別にグループ化された、このインスタンスのドキュメント抽出ユースケースの数。
処理されたページ	選択した日付範囲で、このインスタンスで ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を使用してデータ抽出のために処理されたページ数。
処理されたドキュメントタスク	選択した日付範囲内に、このインスタンスで処理された ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクの数。
ステータス別のドキュメントタスク	ステータス別にグループ化された、このインスタンス内の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクの数。
ユースケースあたりの平均精度	ユースケースに対して完了したタスクに基づく、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) からの上位推奨事項がフィールドの正しい値である回数の割合。
ユースケースあたりのドキュメントタスク	ステータス別にグループ化された、各ユースケースの ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクの数。

ユースケースパフォーマンスダッシュボード

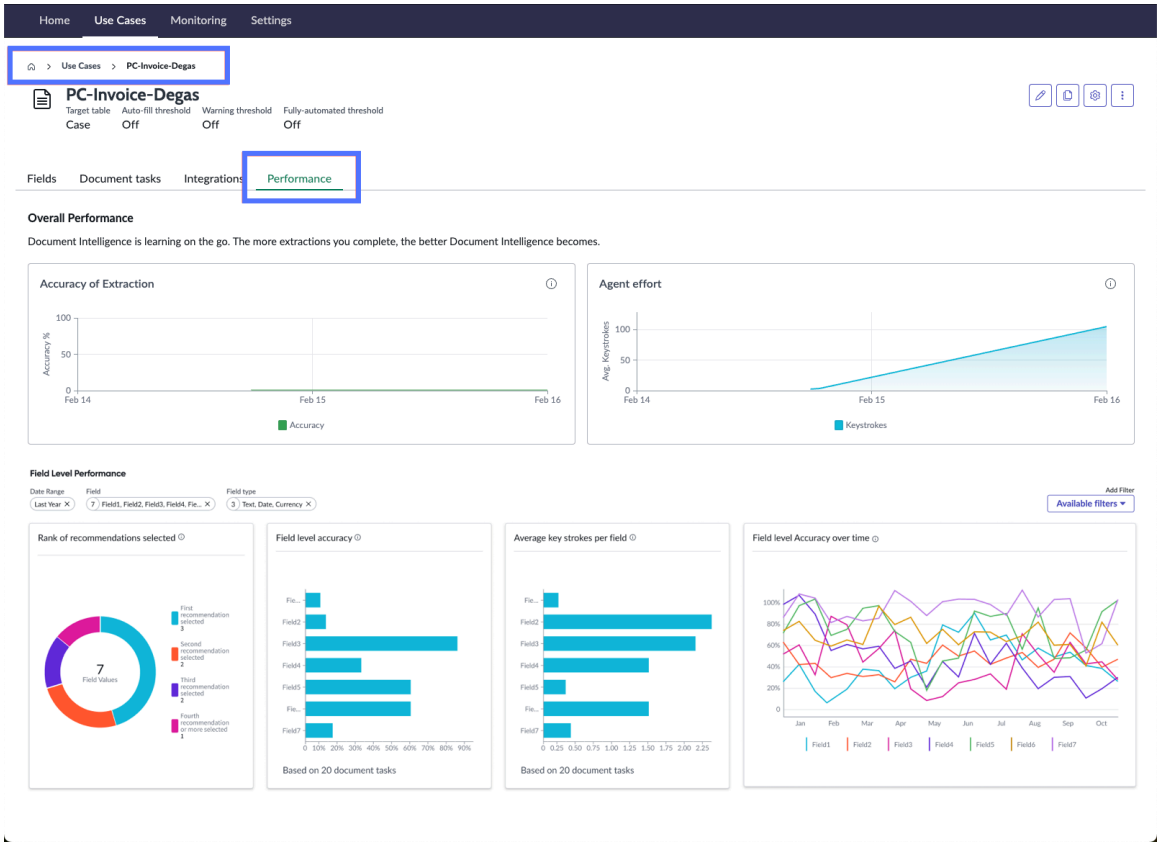
ユースケースパフォーマンスダッシュボードで、ユースケースおよびフィールドレベルで ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) パフォーマンスを監視します。

ユースケースパフォーマンスダッシュボードの概要

ユースケースパフォーマンスダッシュボードは、ユースケースの品質メトリクスを提供します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



データの可視化には、ユースケースのドキュメント抽出アクティビティが表示されます。例：

- ドキュメントタスクを処理するエージェントの労力
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)推奨事項の正確性

このダッシュボードは、次の質問に対する有用な回答を提供します。

- このユースケースのドキュメントタスクを完了するために必要な工数はどれくらいですか?
- このユースケース ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 精度はどのように向上しましたか?

ユースケースパフォーマンスダッシュボードの表示

ユースケース画面の [パフォーマンス] タブからユースケースパフォーマンスダッシュボードにアクセスします。

始める前に

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーション (sn_docintel) および ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン (com.snc.docintel_admin) ServiceNow® Store アプリケーションがインストールされ、アクティブになっていることを確認します。詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール」を参照してください。
- 複数の完了したドキュメントタスクを含むアクティブなユースケースがある。詳細については、「ドキュメント抽出ユースケースの設定」を参照してください。
- 必要なロール:sn_docintel.admin、sn_docintel.manager、または admin。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Document Intelligence** (ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel))** > ドキュメントデータ抽出管理 > **Use Cases** (ユースケース).
2. [パフォーマンス] タブを選択します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. オプション: [日付範囲] フィルターで日付範囲を選択すると、選択した日付内のデータのみが表示されます。
4. オプション: [フィールド] フィルターで 1 つ以上のフィールドを選択して、選択したフィールドに適用されるデータのみを表示します。
5. オプション: 選択したフィールドタイプに適用されるデータのみを表示するには、[フィールドタイプ] フィルターで 1 つ以上のフィールドタイプを選択します。
6. オプション: データビジュアル化内のオブジェクトを選択すると、追加の詳細が表示されます。

ユースケースパフォーマンスダッシュボードでのデータの可視化

ユースケースパフォーマンスダッシュボードでは、データを可視化して、ユースケースの使用状況とパフォーマンスデータを表示できます。

次の表では、[パフォーマンス] タブに表示されるデータの可視化について説明します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ユースケースアクティビティを示すデータの可視化

[Name (名前)]	説明
抽出の精度	ユースケースの期間あたりの平均抽出精度。精度は、AI の最上位の推奨が正しい回答であった回数によって定義されます。
エージェントの労力	ドキュメントタスクのすべてのフィールド値を抽出するためにエージェントが押す必要があるキーストロークの回数。数値はドキュメントタスクごとの平均です。
選択された推奨事項のランク	ドキュメントタスクの完了時にエージェントがドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 推奨事項から選択した回数。提示された順序でグループ化されます。
フィールドレベルの精度	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)からの上位推奨事項がフィールドの正しい値である回数の割合。
フィールドあたりの平均キーストローク数	フィールドの値を抽出するためにエージェントが実行する平均キーストローク回数。
一定期間のフィールドレベル精度	選択した日付範囲内における、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) からの上位推奨事項がフィールドの正しい値である回数の割合。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**の参照情報

次のトピックでは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) とともにインストールされる機能とプロパティに関する追加情報を提供します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**と一緒にインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**とともにインストールされるロール

ロールに関する詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ロール」を参照してください。

ロールタイトル [名前]	説明	含まれるロール
DocIntel アドミン [sn_docintel.admin]	システムプロパティのサブセット、請求処理テーブル、および内部テーブルの変更を除き、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションへのフルアクセス権があります。	• platform_ml_di.admin • action_designer • flow_designer • sn_ace.ace_user • canvas_user • usage_admin
DocIntel ビューアー [sn_docintel.viewer]	表示が許可されている ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクに対する表示専用アクセス権があります。	• snc_read_only • platform_ml_di.viewer
DocIntel 抽出エージェント [sn_docintel.extraction_agent]	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して、ドキュメントからデータとテキストを抽出します。	platform_ml_di.extraction_agent
DocIntel 作成エージェント [sn_docintel.creation_agent]	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用してドキュメントから情報を抽出します。また、ユーザーが ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクを作成し、処理のために送信することもできます。	platform_ml_di.creation_agent
DocIntel マネージャー [sn_docintel.manager]	ユースケース、フィールド、フィールドグループ、ドキュメントタスクを作成および編集します。プラットフォームドキュメントインテリジェンス (DocIntel)使用状況ダッシュボードを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の使用状況と有効性を表示、測定、分析します。ドキュメントタスクを送信し、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースとやり取りするためのアクセス権を付与します。	• platform_ml_di.manager • action_designer • flow_designer • sn_ace.ace_user • canvas_user • usage_admin

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**とともにインストールされるテーブル

注: ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はスコープ対象のアプリケーションテーブル (di_) の代わりにNow Platformデータベーステーブル (sys_di_) を使用します。「バージョン 2.4 以前から ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降にアップグレード」を参照してください。

テーブル	説明
請求可能なイベント [sys_di_billable_event]	インスタンスのすべての請求可能なイベントが含まれます。請求可能なイベントは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用して処理されたページに対応します。
推奨のメタ情報 [sys_di_candidate_meta_info]	[内部テーブル] フィールドグループの抽出と欠落している値の予測のために AI が返したデータが記入されています。
推奨のスコア [sys_di_candidate_score]	[内部テーブル] AI が算出した各推奨のスコアが記入されています。ドキュメントの各ページに、フィールドごとに 1 つのレコードがあります。
フィールド値 [sys_di_extracted_value]	すべてのドキュメントタスクで、インスタンスで抽出されたすべてのデータが含まれます。
イメージ [sys_di_image]	[内部テーブル] ドキュメントの各ページに関する情報が記入されています。レコードはドキュメントページごとに 1 つです。
統合のセットアップ [sys_di_integration_setup]	DocIntel のユースケースの統合が含まれています。
フィールド [sys_di_key]	すべてのユースケースで、インスタンスで作成されたすべてのフィールドが含まれます。フィールドは、ドキュメントから抽出される推奨に対応しています。
フィールドグループ [sys_di_key_group]	すべてのユースケースで、インスタンスで作成されたすべてのフィールドグループが含まれています。フィールドグループは通常、テーブルやリストからのデータの抽出を促すために作成されます。
ロック [sys_di_lock]	ロックされたタスクのソリューション定義のインデックスが含まれています。スケジュール済みジョブのパフォーマンスを向上させるために使用されます。
DocIntel アグリゲーションメトリクス	[内部テーブル] アグリゲーションメトリクスが含まれています。アグリゲーションは、システムプロパティに応じて 1 日に複数回実行される場合があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sys_di_metrics_aggregated]	
DocIntel 日次メトリクス [sys_di_metrics_daily]	[内部テーブル] 毎日アグリゲートされるメトリクスが含まれています。レコードはアグリゲーションメトリクスごとに 1 つです。
DocIntel メトリクスジョブログ [sys_di_metrics_job_log]	[内部テーブル] インスタンスで発生した、メトリクスの日次アグリゲーションジョブのログが含まれています。
DocIntel 未加工メトリクス [sys_di_metrics_raw]	[内部テーブル] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)によって収集された生のメトリクスのリストが含まれています。メトリクスのアグリゲーションが行われるとレコードは削除されます。
DocIntel OCR 入力 [sys_di_ocr_input]	[内部テーブル] 処理のために OCR モジュールに送信される画像データが含まれています。処理が完了するとレコードは削除されます。
PDF [sys_di_pdf]	[内部テーブル] タスク間で保存された PDF ファイルのリストが含まれています。
DocIntel PDF 入力 [sys_di_pdf_input]	[内部テーブル] 処理のために PDF モジュールに送信される PDF データが含まれています。処理が完了するとレコードは削除されます。
DocIntel 予測入力 [sys_di_prediction_input]	[内部テーブル] 特定のドキュメントタスクのため、すべてのフィールドで提案を行うのに必要なデータが含まれています。レコードはドキュメントページごとに 1 つです。
ドキュメントタスク [sys_di_task]	すべてのユースケースで、インスタンスで作成されたすべてのドキュメントタスクが含まれています。ドキュメントタスクには、フィールドを抽出する必要があるドキュメントが 1 つ以上含まれています。
タスクのソリューション定義 [sys_di_task_def_solution_def]	DocIntel のユースケースに関連するソリューション定義が含まれています。
DocIntel ユースケース [sys_di_task_definition]	インスタンスで作成されたすべてのドキュメント処理のユースケースが含まれています。ユースケースは、ドキュメントのセットからどのデータをどのような方法で抽出するかを定義します。
DocIntel トレーニング入力 [sys_di_training_input]	[内部テーブル] AI モデルの改善に必要なデータが含まれています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

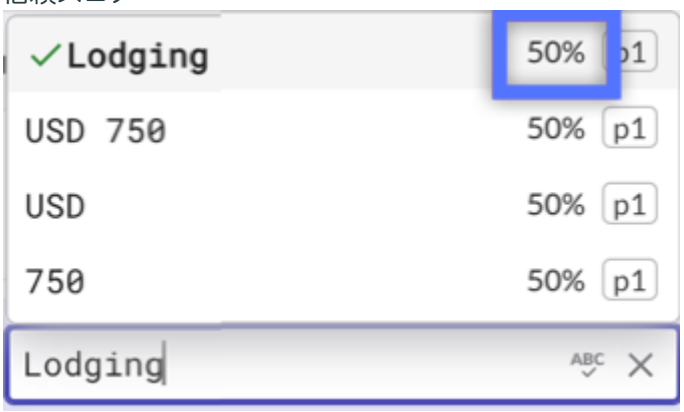
信頼スコア

信頼スコアは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) がフィールドの推奨事項を提供する際の信頼性の測定値 (パーセンテージ) です。このスコアが高いほど推奨の信頼度は高くなります。

ドキュメントタスクを処理するときにユーザー入力によって AI モデルがトレーニングされると、信頼スコアが増加します。

各推奨事項の横にスコアが表示されます。

信頼スコア



一部の領域では、信頼スコア範囲ごとに異なる色でスコアが色分けされています。

- 緑は高い信頼性(76%-100%)を示します
- 黄色は中程度の信頼性 (50% ～ 75%) を示します。
- 赤は信頼性が低いことを示します (0%-49%)

信頼スコアのしきい値を設定するには、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。

データ抽出モード

抽出モードは、ドキュメントタスクでデータを抽出する方法とタスクを処理する方法を決定します。このモードは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペース内のフィールドの動作を変更します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次の抽出モードを使用します。

抽出モード	説明
推奨事項	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのフィールドの推奨事項を提供します。推奨事項を選択するか、手動で値を入力します。すべてのフィールドを確認する必要があります。 推奨事項は、AI の予測における信頼性に基づいて順序付けされます。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) がドキュメントの処理を続行するにつれて、時間の経過とともに推奨事項が改善されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

抽出モード	説明
オートフィル	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのフィールドに自動入力します。すべてのフィールドを確認する必要があります。 自動入力は、AI に十分な予測信頼性がある場合にのみ機能します。ユースケースの [オートフィルしきい値] フィールドを更新することで、信頼性しきい値を変更できます。
全自動 (ストレートスルー処理)	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はすべてのフィールドのデータを自動的に抽出し、すべての必須フィールドの信頼スコアが定義された信頼度しきい値を超えている場合にドキュメントタスクを処理します。フィールドを確認する必要はありません。 時間の経過とともにドキュメントの処理量が増え、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の信頼性が高まります。処理頻度の高いドキュメントの場合や、システムを信頼できる場合は、[全自動モード] を選択してください。

データ正規化

ドキュメントから抽出された特定のタイプのデータは、すべてのフィールドで同じように表示されるように標準形式に変換されます。

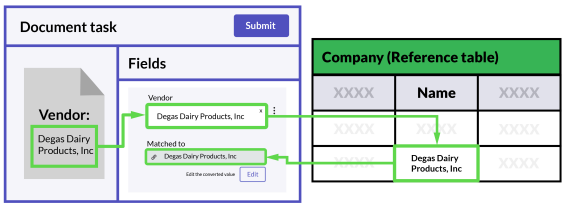
このプロセスにより、データのグループ化と分析が容易になり、データの有用性が高まります。また、 Now Platform上の他のアプリケーションとの統合もサポートしています。

フィールドタイプ

次のフィールドタイプは、データ正規化をサポートするために変換されます。

フィールドタイプ	説明
日付	標準の日付形式。例:YYYY-MM-DD。
参照フィールド	別のテーブルのフィールドを標準として使用するフィールド。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 、抽出されたデータを標準に一致させます。 たとえば、ユースケースに [会社] テーブルの [名前] 列を参照としてポイントする [ベンダー] という参照フィールドがあるとします。ドキュメントタスクを処理するときに、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はドキュメントから「Degas Dairy Products, Inc」を抽出し、[ベンダー] フィールドにその値を入力します。 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 、その

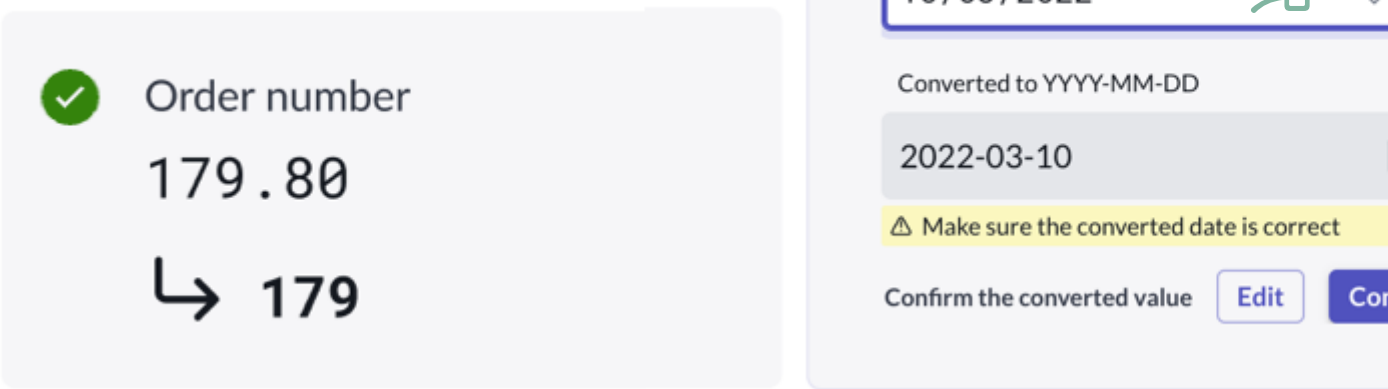
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドタイプ	説明
	値を参照テーブルの会社名と比較し、「Degas Dairy Products, Inc」を一致するものとして検索します。ドキュメントタスクでは、参照で「Degas Dairy Products, Inc」が「Degas Dairy Products, Inc」と照合されます。 
整数	整数。例:12。
10 進数	小数点以下 2 桁までの数値。たとえば、12.5 や 12.55 などです。
浮動小数点数	小数点以下 7 桁までの数値。たとえば、12.0 から 12.0000000 です。

フィールドタイプを設定するには、「 データ抽出用のフィールドの作成」を参照してください。

表示

完了したデータ抽出フィールドには、その横に換算値が表示されます。



[編集] を選択すると、換算された日付値を調整できます。

注: 場合によっては、ドキュメントから抽出されたデータが変換できる有効な形式でないことがあります。たとえば、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 日付フィールド (11.12.2o23) で数字の 0 の代わりに文字 O を読み取ると、変換されません。この場合、フィールドを正しい形式に編集します。

あいまいなデータ

ドキュメントに複数の方法で理解できるデータがある場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ユースケース構成で選択されたデフォルトに基づいてその値を解釈します。 ドキュメン

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トインテリジェンス (DocIntel) 、あいまいな値を正規化された形式に正確に変換するために解釈する必要があります。

たとえば、ユースケースに [日付] フィールドがあり、あいまいな日付を解釈するデフォルトの順序として [まず月] が選択されているとします。2024 年 1 月 2 日の日付を含むドキュメントがユースケースで処理されると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) その日付を抽出して変換するときに、その日付を 2 月 1 日ではなく 1 月 2 日と解釈します。

このような場合、ドキュメントタスクを完了するユーザーは、あいまいな値の変換を確認または修正する必要があります。ユースケースでのフィールドの構成によっては、変換が正確であることを確認するために、自動ドキュメント処理が中断される場合があります。

ドキュメントフィールドステータス

以下は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクのフィールドのステータスのリストです。これらのステータスは、ドキュメント分類とデータ抽出の両方のフィールドに適用されます。

ドキュメントフィールドのステータス

ステータス	アイコン	説明
完了する		ドキュメントでフィールドに値を入力するか、欠損としてマークする必要があります。
完了		ドキュメントでフィールドに値が入力されているか、または「なし」としてマークされている場合。
レビュー		フィールドは自動入力され、ユーザーによるレビューが必要です。
レビュー済み		オートフィルされたフィールドがユーザーによってレビューされました。
進行中		フィールドは入力中かレビュー中です。
要注意		自動入力フィールドで警告がトリガーされました。警告の原因は次のとおりです。 • 必須フィールドに入力するか、ドキュメントに「なし」とマークする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントフィールドのステータス (続く)

ステータス	アイコン	説明
		• 抽出された値は信頼スコアが低いため、レビューする必要があります。 • 抽出された値はあいまいであるため、検証する必要があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) フォーム

フォームを使用して ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 情報を表示および更新します。

チェックボックスリストフォーム

チェックボックスリストフォームを使用すると、抽出用のチェックボックスリストを定義できます。

チェックボックスリストフォームには、次のフィールドが含まれています。

チェックボックスリストフォーム

フィールド	説明
チェックボックスリスト	
チェックボックスリスト名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるチェックボックスリストの名前。
ターゲットテーブル	チェックボックスリストのドキュメント処理結果を格納するテーブル。
フィールドへの親のマッピング	このチェックボックスリストを調整するターゲットテーブルのフィールド。 注: 最初にターゲットテーブルを選択する必要があります。
チェック ボックス	
チェックボックスのタイトル	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるチェックボックスの名前。
ターゲットフィールドを選択	このフィールドを配置するターゲットテーブルのフィールド。 このフィールドは、他のアプリケーションとの統合に使用されます。「カスタムアプリケーションまたはワークフローとの統合」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チェックボックスリストフォーム (続く)

フィールド	説明
このフィールドは抽出に必要です	フィールドを必須にするオプション。 必須フィールドを未確認のままにすることはできません。 必須フィールドは、全自動抽出モードでのドキュメントタスクの処理方法に影響します。詳細については、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。
[新規] チェックボックス	リストにチェックボックスを追加するオプション。 並べ替えアイコン (⠿) を使用して、リスト内のチェックボックスを並べ替えます。
複数のチェックボックスリストを作成	ポップアップウィンドウを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のチェックボックスリストを追加する場合は、このオプションを有効にします。

単一フィールドフォーム

単一フィールドフォームでは、抽出用に単一のフィールドを定義できます。

単一フィールドフォームには、次のフィールドが含まれています。

単一フィールドフォーム

フィールド	説明
単一フィールド名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるフィールドの名前。
タイプ	フィールドのタイプ。たとえば、テキストフィールドや日付フィールドなどです。 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。詳細については、「データ正規化」を参照してください。
変換後の日付形式	データ正規化のために抽出された値が変換される日付形式。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [日付] に設定されている場合に使用できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドフォーム (続く)

フィールド	説明
ターゲットテーブル	このユースケースのドキュメント処理結果を保存するテーブル。
ターゲットフィールド	このフィールドを配置するターゲットテーブルのフィールド。 注: ユースケースでは、ターゲットテーブルを選択する必要があります。 このフィールドは、他のアプリケーションとの統合に使用されます。詳細については、「カスタムアプリケーションまたはワークフローとの統合」を参照してください。
ドキュメント内で日付があいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次の順序で解釈します	日付形式のデフォルトの解釈。 たとえば、このフィールドで [月] を選択すると、ドキュメントから値を抽出するときに ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 、2024 年 1 月 2 日のようなあいまいな日付が 1 月 2 日として解釈されます。[最初に日] を選択すると、2 月 1 日と解釈されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [日付] に設定されている場合に使用できます。
ドキュメント内で番号があいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) それを次のように解釈します	数値形式のデフォルトの解釈。 たとえば、このフィールドで `1,00` を選択すると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントから値を抽出するときに、5 のようなあいまいな数値を 5.00 ではなく 5,00 と解釈します。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [整数]、[`10` 進数]、または [浮動小数点数] に設定されている場合に使用できます。
参照テーブル	参照列を格納するテーブル。選択したターゲットフィールドに基づいて自動的に入力されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に表示されます。
参照列	参照データを含む参照テーブルの列。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドフォーム (続く)

フィールド	説明
	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントタスクの処理時に参照列を使用して、抽出されたフィールド値に一致するデータを検索します。その後、フィールド値は参照の形式に変換されます。換算値の詳細については、「データ正規化」を参照してください。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に使用できます。
識別子	ユーザーが類似のレコードを区別するのに役立つ参照テーブルの追加列。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に使用できます。
この単一フィールドは抽出に必要です	フィールドを必須にするオプション。 必須フィールドを空または未確認のままにすることはできません。また、あいまいな値を含めることもできません。あいまいな値は、複数の方法で解釈できるフィールドエントリです。 参照フィールドタイプの場合、必須フィールドは有効な完全一致である必要があります。デフォルトでは、最初に一致したレコードが使用されます ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。 必須フィールドは、全自動抽出モードでのドキュメントタスクの処理方法に影響します。詳細については、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。
次の場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • ドキュメント内の日付/数値があいまいです • ドキュメント内に複数の一致する参照があります	必須フィールドであいまいな値が見つかった場合 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) エージェントレビューのオプション。 このような場合、抽出された値には、選択したデフォルトの解釈が適用されます。 オプションは、エージェントが解釈された値を検証できるように、ドキュメントタスクの完全自動化を中断するかどうかです。それ以外の場合は、エージェントのレビューなしにドキュメントタスクの自動処理を続行します。
複数の単一フィールドを作成	ポップアップウィンドウを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のフィールドを

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドフォーム (続く)

フィールド	説明
	追加する場合は、このフィールドを有効にします。

単一フィールドグループフォーム

単一フィールドグループフォームを使用すると、抽出用の単一フィールドの関連グループを定義できます。

単一フィールドグループフォームには、次のフィールドが含まれています。

単一フィールドグループフォーム

フィールド	説明
フィールドグループ	
フィールドグループ名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるフィールドグループの名前。
ターゲットテーブル	フィールドのドキュメント処理結果を格納するテーブル。
フィールドへの親のマッピング	このフィールドグループを配置するターゲットテーブルのフィールド。 注: 最初にターゲットテーブルを選択する必要があります。
このフィールドグループは抽出に必要です	フィールドを必須にするオプション。 必須フィールドを空または未確認のままにすることはできません。また、あいまいな値を含めることもできません。あいまいな値は、複数の方法で解釈できるフィールドエントリです。 参照フィールドタイプの場合、必須フィールドは有効な完全一致である必要があります。デフォルトでは、最初に一致したレコードが使用されます ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。 必須フィールドは、全自動抽出モードでのドキュメントタスクの処理方法に影響します。詳細については、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。
フィールド	
フィールド名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるフィールドの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドグループフォーム (続く)

フィールド	説明
タイプ	フィールドのタイプ。たとえば、テキストフィールドや日付フィールドなどです。 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。詳細については、「データ正規化」を参照してください。
ターゲットフィールドを選択	このフィールドを配置するターゲットテーブルのフィールド。 このフィールドは、他のアプリケーションとの統合に使用されます。詳細については、「カスタムアプリケーションまたはワークフローとの統合」を参照してください。
ドキュメント内で日付があいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次の順序で解釈します	日付形式のデフォルトの解釈。 たとえば、このフィールドで [月] を選択すると、ドキュメントから値を抽出するときに ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 、2024 年 1 月 2 日のようなあいまいな日付が 1 月 2 日として解釈されます。[最初に日] を選択すると、2 月 1 日と解釈されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [日付] に設定されている場合に使用できます。
ドキュメント内で番号があいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) それを次のように解釈します	数値形式のデフォルトの解釈。 たとえば、このフィールドで 1,00 を選択すると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントから値を抽出するときに、5 のようなあいまいな数値を 5.00 ではなく 5,00 と解釈します。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [整数]、[10 進数]、または [浮動小数点数] に設定されている場合に使用できます。
参照テーブル	参照列を格納するテーブル。選択したターゲットフィールドに基づいて自動的に入力されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に表示されます。
参照列	参照データを含む参照テーブルの列。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドグループフォーム (続く)

フィールド	説明
	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントタスクの処理時に参照列を使用して、抽出されたフィールド値に一致するデータを検索します。その後、フィールド値は参照の形式に変換されます。換算値の詳細については、「データ正規化」を参照してください。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に使用できます。
識別子	ユーザーが類似のレコードを区別するのに役立つ参照テーブルの追加列。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に使用できます。
このフィールドは抽出に必要です	フィールドを必須にするオプション。 必須フィールドを空または未確認のままにすることはできません。また、あいまいな値を含めることもできません。あいまいな値は、複数の方法で解釈できるフィールドエントリです。 参照フィールドタイプの場合、必須フィールドは有効な完全一致である必要があります。デフォルトでは、最初に一致したレコードが使用されます ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。 必須フィールドは、全自動抽出モードでのドキュメントタスクの処理方法に影響します。詳細については、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。
次の場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • ドキュメント内の日付/数値があいまいです • ドキュメント内に複数の一致する参照があります	必須フィールドであいまいな値が見つかった場合 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) エージェントレビューのオプション。 このような場合、抽出された値には、選択したデフォルトの解釈が適用されます。 オプションは、エージェントが解釈された値を検証できるように、ドキュメントタスクの完全自動化を中断するかどうかです。それ以外の場合は、エージェントのレビューなしにドキュメントタスクの自動処理を続行します。
新規の単一フィールド	グループにフィールドを追加するオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドグループフォーム (続く)

フィールド	説明
	並べ替えアイコン (⠿) を使用して、グループ内のフィールドを並べ替えます。
複数のフィールドグループを作成	ポップアップウィンドウを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のフィールドグループを追加する場合は、このオプションを有効にします。

テーブルフォーム

[テーブル] フォームでは、抽出するテーブルを定義できます。

[テーブル] フォームには、次のフィールドが含まれています。

テーブルフォーム

フィールド	説明
テーブル	
テーブル名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるテーブルの名前。
ターゲットテーブル	これらのテーブルフィールドのドキュメント処理結果を格納するテーブル。
フィールドへの親のマッピング	このテーブルを配置するターゲットテーブルのフィールド。 **注:** 最初にターゲットテーブルを選択する必要があります。
このテーブルは抽出に必要です	テーブルフィールドを必須にするオプション。 必須テーブルフィールドを空または未確認のままにすることはできません。また、あいまいな値を含めることもできません。あいまいな値は、複数の方法で解釈できるフィールドエントリです。 必須フィールドは、全自動抽出モードでのドキュメントタスクの処理方法に影響します。詳細については、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。
列	
列タイトル	テーブル内の列ヘッダーの名前。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
タイプ	テーブル列のフィールドのタイプ。たとえば、テキストフィールドや日付フィールドなどです。 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。詳細については、「データ正規化」を参照してください。
ターゲットフィールドを選択	このフィールドを配置するターゲットテーブルのフィールド。 このフィールドは、他のアプリケーションとの統合に使用されます。詳細については、「カスタムアプリケーションまたはワークフローとの統合」を参照してください。
ドキュメント内で日付があいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次の順序で解釈します	日付形式のデフォルトの解釈。 たとえば、このフィールドで [月] を選択すると、ドキュメントから値を抽出するときに ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 、2024 年 1 月 2 日のようなあいまいな日付が 1 月 2 日として解釈されます。[最初に日] を選択すると、2 月 1 日と解釈されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [日付] に設定されている場合に使用できます。
ドキュメント内で番号があいまいな場合、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) それを次のように解釈します	数値形式のデフォルトの解釈。 たとえば、このフィールドで `1,00` を選択すると、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントから値を抽出するときに、5 のようなあいまいな数値を 5.00 ではなく 5,00 と解釈します。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [整数]、[`10` 進数]、または [浮動小数点数] に設定されている場合に使用できます。
参照テーブル	参照列を格納するテーブル。選択したターゲットフィールドに基づいて自動的に入力されます。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に表示されます。
参照列	参照データを含む参照テーブルの列。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、ドキュメントタスクの処理時に参照列を使用して、抽出されたフィールド値に一致するデータを検索します。その後、フィールド値は参照の形式に変換されます。換算値の詳細については、「データ正規化」を参照してください。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に使用できます。
識別子	ユーザーが類似のレコードを区別するのに役立つ参照テーブルの追加列。 このフィールドは、[タイプ] フィールドが [参照フィールド] に設定されている場合に使用できます。
このフィールドは抽出に必要です	列が必須かどうかを示します。テーブルが必須かどうかに基づいて、自動的に選択またはクリアされます。 必須列フィールドを空または未確認のままにすることはできません。また、あいまいな値を含めることもできません。あいまいな値は、複数の方法で解釈できるフィールドエントリです。 参照フィールドタイプの場合、必須フィールドは有効な完全一致である必要があります。デフォルトでは、最初に一致したレコードが使用されます ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 。 必須フィールドは、全自動抽出モードでのドキュメントタスクの処理方法に影響します。詳細については、「データ抽出モードを構成する」を参照してください。
次の場合は、次のいずれかのオプションを選択します。 • ドキュメント内の日付/数値があいまいです • ドキュメント内に複数の一致する参照があります	必須フィールドであいまいな値が見つかった場合 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) エージェントレビューのオプション。 このような場合、抽出された値には、選択したデフォルトの解釈が適用されます。 オプションは、エージェントが解釈された値を検証できるように、ドキュメントタスクの完全自動化を中断するかどうかです。それ以外の場合は、エージェントのレビューなしにドキュメントタスクの自動処理を続行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
新規の列	テーブルに列を追加するオプション。 並べ替えアイコン (⠿) を使用して、テーブル内の列を並べ替えます。
複数のテーブルを作成	ポップアップウィンドウを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のテーブルを追加する場合は、このオプションを有効にします。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**のプロパティ

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) システムプロパティは、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションの動作を制御します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)マネージャー (sn_docintel.manager) は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のシステムプロパティを変更できます。

注:

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 には、新規および更新されたシステムプロパティが含まれています。アップグレードの詳細については、「 バージョン 2.4 以前から ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 3.0 以降にアップグレード」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 2.4 -** システムプロパティ

プロパティ名	説明	値
sn_docintel.default_field_sidebar_width	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースのドキュメントフィールドパネルのデフォルトのサイドバー幅。	許可される値:`[integer]px`の形式 デフォルト:416px
sn_docintel.default_image_fit	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースのドキュメントパネルビューアーに適したデ	許可:fit_to_page、fit_to_width デフォルト:fit_to_page

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ名	説明	値
	フォルト画像。	
sn_docintel.default_thumbnail_sidebar_width	ドキュメントインテリジェンス(DocIntel)ワークスペースのナビゲーションパネルのデフォルトのサムネイルサイドバーの幅。	許可される値:`[integer]px`の形式 デフォルト:167px
sn_docintel.field_sidebar_layout_position	ドキュメントフィールドパネルのサイドバーに対する、ドキュメントインテリジェンス(DocIntel)ワークスペースのドキュメントフィールドパネルのレイアウト位置。	許可:右、左 デフォルト:right
sn_docintel.show_exact_match_option	ドキュメントインテリジェンス(DocIntel)ワークスペースのドキュメントフィールドパネルの各フィールドの完全一致オプションを表示します。	許可される値:true、false デフォルト：true
sn_docintel.show_candidate_score	ドキュメントインテリジェンス(DocIntel)ワークスペースのドキュメントフィールドパネルにある推奨	許可される値:true、false デフォルト：true

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ名	説明	値
	事項選択メニューに信頼スコアを表示します。	
sn_docintel.warning_score_threshold	ドキュメントインテリジェンス(DocIntel)ワークスペースのドキュメントフィールドパネルに低スコアの推奨事項の警告アイコンを表示するために使用されるしきい値。	許容値:0.0 から 1.0 までの数値 デフォルト:0.7
sn_docintel.autofill_threshold	推奨事項を自動入力するために必要な最小スコアしきい値。	許容値:0.0 から 1.0 までの数値 デフォルト:0.0
sn_docintel.straight_through_processing_threshold	ドキュメントタスクのストレートスルー処理に必要な最小スコアしきい値。	許容値:0.0 から 1.0 までの数値 デフォルト:1.0

自動翻訳

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel) 3.0+** システムプロパティ

プロパティ名	説明	値
glide.platform_ml_di.doc_classifier。days_between_trainings	ドキュメント分類子プロパティ 特定のドキュメント分類子ユースケースのトレーニング間	デフォルト値

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ名	説明	値
	の最小日数。	
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。warning_score_threshold	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのドキュメントフィールドパネルに低スコアの推奨事項の警告アイコンを表示するために使用されるしきい値。	許容値:0.0 か値 デフォルト:0.
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。straight_through_processing_threshold	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントタスクのストレートスルー処理に必要な最小スコアしきい値。	許容値:0.0 か値 デフォルト:1.
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。show_exact_match_option	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワー	許可される値: デフォルト：

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ名	説明	値
	クスペースのドキュメントフィールドパネルの各フィールドの完全一致オプションを表示します。	
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。show_candidate_score	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのドキュメントフィールドパネルにある推奨事項選択メニューに信頼スコアを表示します。	許可される値: デフォルト：f
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。field_sidebar_layout_position	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントフィールドパネルのサイドバーに対する、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワーク	許可:右、左 デフォルト:rig

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ名	説明	値
	スペースのドキュメントフィールドパネルのレイアウト位置。	
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。default_thumbnail_sidebar_width	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのナビゲーションパネルのデフォルトのサムネイルサイドバーの幅。	許可される値:形式 デフォルト:16
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。default_image_fit	ドキュメント抽出プロパティ ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのドキュメントパネルビューアーに適したデフォルト画像。	許可:fit_to_pag デフォルト:fit
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。default_field_sidebar_width	ドキュメント抽	許可される値:形式

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プロパティ名	説明	値
	出プロパティ ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースのドキュメントフィールドパネルのデフォルトのサイドバー幅。	デフォルト:4
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。autofill_threshold	ドキュメント抽出プロパティ 推奨事項を自動入力するために必要な最小スコアしきい値。	許容値:0.0 か値 デフォルト:0.
glide.platform_ml_di.doc_data_extractor。draw_tool_enable	このプロパティは、テーブル抽出用の描画ツール機能を有効または無効にするために使用されます。	許可される値: デフォルト：

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** ロール

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) はこれらのロールに併せてインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** アドミン **[sn_docintel.admin]**

システムプロパティのサブセット、請求処理テーブル、および内部テーブルの変更を除き、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションへのフルアクセス権があります。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- platform_ml_di.admin
- action_designer
- flow_designer
- sn_ace.ace_user
- canvas_user
- usage_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** ビューアー **[sn_docintel.viewer]**

表示が許可されている ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクに対する表示専用アクセス権があります。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- snc_read_only
- platform_ml_di.viewer

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** 抽出エージェント **[sn_docintel.extraction_agent]**

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用してドキュメントから情報を抽出します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト:platform_ml_di.extraction_agent。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** 作成エージェント **[sn_docintel.creation_agent]**

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用してドキュメントから情報を抽出します。また、ユーザーが ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクを作成し、処理のために送信することもできます。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト:platform_ml_di.creation_agent。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** マネージャー **[sn_docintel.manager]**

ユースケース、フィールド、フィールドグループ、ドキュメントタスクを作成および編集します。プラットフォームドキュメントインテリジェンス (DocIntel)使用状況ダッシュボードを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の使用状況と有効性を表示、測定、分析します。ドキュメントタスクを送信し、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースとやり取りするためのアクセス権を付与します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- platform_ml_di.manager
- action_designer
- flow_designer
- sn_ace.ace_user
- canvas_user
- usage_admin

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の用語

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)) を開始する前に、アプリケーションで使用されるいくつかの重要な概念を理解することが重要です。

更新された用語

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) v2.3 の時点で、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)機能には更新された用語が含まれています。

用語の更新

新しい用語	旧用語
ドキュメントタスク	タスク、抽出タスク
フィールド	キー、属性
フィールドグループ	キーグループ
フィールド値	抽出値
Integration (統合)	統合セットアップ
推奨	候補、提案
全自動	直接処理 (Straight through processing)
ユースケース	タスク定義

分類

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)で、タイプに基づいてドキュメントとドキュメントページを分類するプロセス。

信頼スコア

抽出された情報の確実性を示す ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) によって推奨事項にアサインされた数値。このスコアが高いほど推奨の信頼度は高くなります。

ドキュメントクラス

ドキュメントおよび ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)内のドキュメント内のページにカテゴリまたはラベルを適用するために使用されるフィールド。

たとえば、身分証明書のユースケースの場合、クラスはパスポート、運転免許証、出生証明書などです。

ドキュメントタスク

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のドキュメント処理アクティビティ。これには、ユーザーがドキュメントから抽出しようとしている情報が含まれます。

抽出

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)で、ドキュメント内の関連情報を識別し、AI がフィールド値を推奨するための基礎として使用するプロセス。

field

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のドキュメントから抽出する 1 つの情報。例えばドキュメントの日付などです。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールドは、キーまたは属性と呼ばれることもあります。

フィールドグループ

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 内で一緒に属するフィールドのグループ。フィールドグループは、リストやテーブルから情報を抽出するために使用されます。

例えば「item」という名前のグループには、発注書 (PO) の説明、数量、単価のフィールドが含まれています。

フィールド値

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)アプリケーションの最終出力。出力には、特定のドキュメントタスクで抽出された指定フィールドの値が含まれます。

推奨事項

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)では、ドキュメント上で見つかったテキストのビット。推奨事項には、ドキュメントのページやそのページ上の特定の場所など、ドキュメント内の場所に関する情報が含まれます。

AI が表示する推奨は、その推奨が現在のフィールドの正しい値であると AI が判断する可能性に基づいて並べ替えられます。

非構造化ドキュメント

主に自由形式のテキスト情報を含み、特定の形式や構造に準拠していないドキュメント。

ユースケース

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)では、ユースケースは、処理するドキュメントのタイプの構造を定義するために使用される一連の構成です。これは、ユースケースレコードとその関連フィールド、フィールドグループ、統合、フロー、および関連するすべての機械学習 (ML) モデルで構成されています。このユースケースには、抽出の実行方法に関するモードも含まれています。

ドキュメントタスクステータス

以下は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメントタスクのステータスのリストです。これらのステータスは、ドキュメント分類とデータ抽出の両方のタスクに適用されます。

ドキュメントタスクのステータス

ステータス	説明
セットアップ	タスクが作成され、処理の準備が整っています。
新規	タスクは、アドミンまたは [タスクを処理] を選択したユーザーによって開始されました。タスクのドキュメントは処理中で、フィールドはまだ入力されていません。
進行中	タスクのドキュメントが処理されます。フィールドは、オートフィルによって入力されるか、ユーザーが必要に応じて AI によって生成された予測をレビューして更新します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントタスクのステータス (続く)

ステータス	説明
完了	タスクは、全自動モードで自動的に処理された後、またはユーザーがフィールドをレビューして [送信] を選択した後に完了します。
失敗	タスクの処理中にエラーが発生し、処理に失敗しました。

ドメインセパレーションとドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

このドメインセパレーションの概要は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)に関連しています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクを、「ドメイン」と呼ばれる論理的なグループに分けることができます。その後、どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル

サポート：ベーシック。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のドメインセパレーションの仕組み

ドメインセパレーションを実現するには、次の手順に従います。

- それぞれのドメインで必要な sn_docintel.admin ロールを持つユーザーを作成します。
- すべてのドメインについて次を複製します。
  - ドキュメントタスク
  - フィールド

でサポートされている言語 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションは、さまざまな言語のドキュメントをサポートしています。

ユースケース用に構成された言語モデルにより、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメント内のデータを検出し、フィールド値を予測し、選択した言語でモデルをさらにトレーニングできます。

ドキュメント抽出ユースケースを作成するときに言語モデルを選択します。詳細については、「ドキュメント抽出ユースケースの作成」を参照してください。

次の表に、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) でサポートされている言語と、それらをサポートするために使用されるモデルを示します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 言語とモデル

モデル	言語
デフォルト	英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、イタリア語、チェコ語、デンマーク語、フィンランド語、ノルウェー語、スウェーデン語。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** 言語とモデル (続く)

モデル	言語
日本語と中国語の OCR	中国語 (簡体字) と日本語

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**の制限事項

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用する際には、注意すべき重要な制限事項がいくつかあります。また、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のNow Assistには、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の制限とは異なるいくつかの制限があります。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** 切り

次の表は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の重要な制限事項の一覧です。

の制限 ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

制限	説明
ファイル形式	サポートされているファイル形式は、JPEG、PNG、PDF です。
ファイルサイズ制限	ファイルサイズの制限は 10 MB です。
ドキュメントタスクごとのページ数制限	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、JPEG と PNG の 10 ページ数の制限をサポートしています。 PDF の場合、ページ数の制限は 25 です。
サポート対象の言語	サポートされている言語の詳細については、「でサポートされている言語 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。
ドキュメントローテーション	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 90 度刻みでの回転をサポートします。
テキストの配置	テキストは、ドキュメント内で水平方向に配置する必要があります。
最小文字サイズ	最小文字サイズは 15 ピクセルです。
文字タイプ	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ドキュメント内の印刷文字タイプのみをサポートします。
文字セット	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は次の文字を検出します。 • az、AZ、0〜9 • á à â ä ã å ß ç é è ê ë î ï í ñ ó ò ô ö õ ú ù ü û œ • Á À Â Ä Ã Å # Ç É È Ê Ë Î Ï Í Ñ Ó Ò Ô Ö Õ Ú Ù Ü Û Œ • , : ; . ‘ \ ” ! ? ¿ ¡ + - * ( ) [ ] } { & % @ # / | ~ ^ < > ` ± = _ $ £ ¢ €

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の制限 ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** (続く)

制限	説明
同期/非同期操作	非同期
インスタンスごとに処理されるドキュメントタスクの 1 日あたりの最大数	1 つのインスタンスで処理されるドキュメントタスクの、1 日あたりの上限は 2000 件です。
ユースケースあたりの最大フィールド数	ドキュメント抽出の、ユースケースあたりのフィールドの上限は 50 です。 ドキュメント分類の、ユースケースあたりのフィールド (カテゴリ) の上限は 30 です。

Now Assistドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**制限内

次の表は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の制限とは異なる、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)Now Assistの重要な制限の一覧です。

の制限 **Now Assist**ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

制限	説明
ファイル形式	ドキュメント抽出の場合、サポートされているファイル形式は PDF です。PDF には、デジタルまたはスキャンした紙のドキュメントから作成されたページが含まれている場合があります。 ドキュメント分析の場合、サポートされているファイル形式は docx (Microsoft Word ドキュメント) です。
ファイルサイズ制限	ファイルサイズの制限は 50 MB です。 ファイルサイズ制限も、*com.glide.attachment.max_size* システムプロパティによって決定されます。 詳細については、「添付ファイルのシステムプロパティの構成」を参照してください。
ドキュメントタスクごとのページ数制限	ページ数の制限は、ファイルあたり 15 ページです。

Now Assist は ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** の値のいずれか

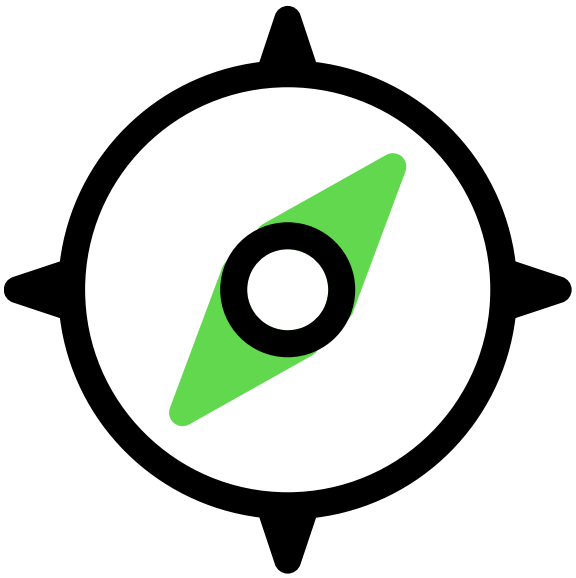
ServiceNow® Now Assist in ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用すると、生成 AI を使用して、デジタルドキュメントから重要な情報を自動化ワークフローに取得できます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始めましょう

探索



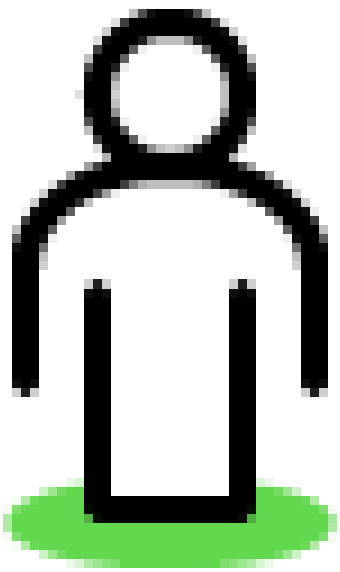
で利用可能な生成 AI スキルについて学習する Now Assist ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

構成



ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) で Now Assist をアクティブ化し、生成 AI スキルを構成します

使用



で Now Assist が提供する生成 AI 機能を使用します ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

参照



フォーム、テーブルなどの詳細情報を取得

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、FedRAMP、NSC DOD IL5、オーストラリアの IRAP で保護されたデータセンターのお客様、セルフホスト型のお客様、またはその他の制限された環境のお客様はご利用いただけません。詳細については、Now Support ナレッジベース 記事「KB0743854」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。
- 現在、一部の Now Assist 製品/機能は、一部の地域のお客様にのみご利用いただけます。詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「KB1699552」を参照してください。将来のリリースで可用性の更新を必ず確認してください。

トラブルシューティングとサポート

- AI 製品とソリューションの追加リソース.
- AI とインテリジェンスに関する ServiceNow コミュニティ 。
- でリアルタイムコース、自分のペースで進められるトレーニング、キャリアリソースにアクセスします ServiceNow University .
- 既知のエラーポータル で既知のエラー記事を検索します。
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート .

高度なAIおよびデータ製品はいずれも、法的または専門的なアドバイスを提供していません。Advanced AI およびデータ製品によって提供される出力は情報提供のみを目的としており、資格のある専門家からのアドバイスに代わるものではありません。お客様は、高度な AI およびデータ製品に依存してお客様が行った決定または行動を含むがこれらに限定されない、サービスの使用の結果として作成または与えられた決定、アドバイス、結論、法的意見、推奨事項に関するすべての責任と義務を負います。

Advance AIおよびデータ製品およびサービスは、法的助言を構成するものではなく、またそのことを意図したものでもなく、弁護士と依頼人の関係を構築するものでもありません。

AI の制限事項

このアプリケーションは、データ内のパターンに基づいて予測を生成する急速に進化している研究分野である人工知能 (AI) と機械学習を使用しています。その結果、このアプリケーションは必ずしも正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。さらに、このアプリケーションがユースケースに合わせて完全にトレーニングまたはテストされているという保証はありません。これらの問題を軽減するために、このアプリケーションの使用の正確性、害、ユースケースへの適合性をテストおよび評価し、出力を人間が監視し、意思決定の目的で AI で生成された出力のみに依存しないようにすることは、お客様の責任です。これは、医療、ファイナンス、法務、雇用、セキュリティ、インフラストラクチャなど、結果が影響を与える分野にこのアプリケーションを展開することを選択した場合に特に重要です。お客様は、ServiceNow によって更新される可能性のある ServiceNow の AI 利用規定 に従うことに同意するものとします。

データ処理

このアプリケーションでは、ServiceNow 顧客の個々のインスタンスから一元化された ServiceNow 環境にデータを転送する必要があります。この環境は、インスタンスが存在するデータセンターとは異なるデータセンターリージョンに配置されている可能性があり、場合によっては Microsoft Azure などのサードパーティクラウドプロバイダーにも転送されます。このデータは、コアコンプライアンスポータル から利用可能なポリシーを含む、ServiceNow の内部ポリシーと手順に従って処理されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

データコレクション

ServiceNow は、このアプリケーションの入力、出力を収集して使用し、出力を編集して、ServiceNow モデルや AI 製品などの ServiceNow テクノロジーを開発および改善します。さらに、このアプリケーションは ドキュメントから抽出された情報。 お客様は、「Now Assistオプトアウトに関するページ」の説明に従って、いつでも将来のデータコレクションをオプトアウトできます。

詳細については、を参照してください。 Now Assist ドキュメント.

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)での Now Assist の詳細

Now Assist in ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)を使用すると、エージェントは生成 AI を使用して、重要な情報についてドキュメントをレビューし、ワークフローで使用するドキュメントデータを抽出できます。

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の概要で

Now Assist in ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) では、エージェントが次の生成 AI 機能を利用できるようにします。

- ドキュメント抽出:エージェントはドキュメントから情報を抽出し、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースで情報を確認できます。その後、マッピングされたフィールドに情報を格納し、ワークフローの定義に従って使用できます。
- ドキュメント Q&A:エージェントは、生成 AI の予測機能を使用して事前定義された質問に回答することで、ドキュメントをレビューする時間を節約できます。
- 契約メタデータの抽出と契約分析。契約メタデータ抽出と契約分析のスキルは、契約管理アプリケーションのNow Assistでのみ使用できます。詳細については、「Now Assist は 契約管理 の値のいずれか 」を参照してください。

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルの

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルは、Now Assistアドミンコンソールのプラットフォームワークフローで有効になります。スキルのアクティブ化の詳細については、「 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistアクティブ化」を参照してください。

ドキュメント抽出

ドキュメント抽出スキルを使用すると、エージェントはドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースでNow Assist予測を使用して、ドキュメントからデータをすばやく抽出できます。詳細については、「で Now Assist を使用してドキュメントデータを抽出 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

ドキュメントに関する Q&A

ドキュメント Q&A (質問と回答) スキルを使用すると、エージェントは Now Assist を使用して、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペース内のドキュメントから事前定義された質問に対する回答を見つけることができます。詳細については、「での Now Assist に関するドキュメントのレビュー Q&A ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のメリット

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) での Now Assist には次のメリットがあります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
ユースケースのガイド付きセットアップから迅速に開始して、ドキュメントから取得する情報を特定します。	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ユースケースの設定	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン [sn_docintel.admin] ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー [sn_docintel.manager]
ドキュメントからの情報の抽出を高速化し、プラットフォームで構造化データに変換します。	ドキュメント抽出	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 抽出エージェント [sn_docintel.extraction_agent]
特定の質問に対する回答を得ることで、ドキュメント内の重要な情報をすばやく見つけます。	ドキュメントに関する Q&A	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 抽出エージェント [sn_docintel.extraction_agent]

のユースケース **Now Assist**ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

Now Assist in ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)では、ユースケースを使用して、生成 AI がドキュメントから検出する情報を定義します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**スキルの**Now Assist**ユースケース

Now Assist の ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は、次のスキルのユースケースをサポートしています。

ドキュメント抽出

ドキュメント抽出のユースケースで、 Now Assist ドキュメントから抽出するテキストを定義します。

たとえば、従業員ドキュメントを処理する必要がある場合は、従業員名、部門、緊急連絡先名などのフィールドを含む「緊急連絡先情報フォーム」ユースケースを使用して、ドキュメントから抽出する必要がある情報を定義することができます。

ドキュメントQ&A(質疑応答)

ドキュメント Q&A のユースケースでは、ドキュメント内のテキストに基づいて生成 AI に回答してもらいたい質問を定義します。

たとえば、サービス契約からの情報が必要な場合は、「関係者が関与するもの」や「契約期間は 3 年から 5 年以内ですか」などの質問を含む「サービス契約」ユースケースが必要になる場合があります。

ユースケース構造

ユースケースは、ユースケースレコードとその関連フィールド、フィールドグループ、統合、およびフローで構成されます。

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)では、フィールドを使用して、予測を行うときに考慮するドキュメント内の情報を識別します。フィールドをグループ化して構造化セクションを形成したり、テーブルやその他の論理的なフィールドグループからデータを抽出したりできます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユースケースのセットアップ

Now Assist機能インターフェイスを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistユースケースを設定します。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションのユースケースには、個別のセットアッププロセスがあります。詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成」を参照してください。

ユースケースのセットアップには、ユースケース名とターゲットテーブルの定義、フィールドの定義、統合とフローの設定、ユースケースのテストが含まれます。

詳細については、「での Now Assist のユースケースの設定 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

ヒント: 類似の構造を共有する新しいユースケースを作成する必要がある場合の時間を節約するために、既存のユースケースのコピーを作成し、コピーの詳細を編集します。詳細については、「でのユースケースのコピーの作成 Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

ユースケースのセットアップが完了すると、エージェントはそのドキュメントの処理を開始できます。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** を使用したワークスペース **Now Assist**

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して、ドキュメントのNow Assistによって行われた生成 AI 予測を確認します。フィールドにフラグを立てたり、ドキュメント内の不足している情報を特定したりすることもできます。

を使用した ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** ワークスペースの概要 **Now Assist**

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースには、ドキュメントをすばやくレビューして処理できるドキュメント管理機能があります。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースでは、次のことができます。

- 生成 AI の推奨事項を効率的にレビューし、ドキュメントの抽出されたテキストを確認します。
- 事前定義された質問に対する生成 AI の回答を確認して、ドキュメントから重要な情報を導き出します。
- フィールドにフラグを設定し、欠落しているフィールドを特定し、処理待ちのフィールドを確認します。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**ワークスペースのレイアウト

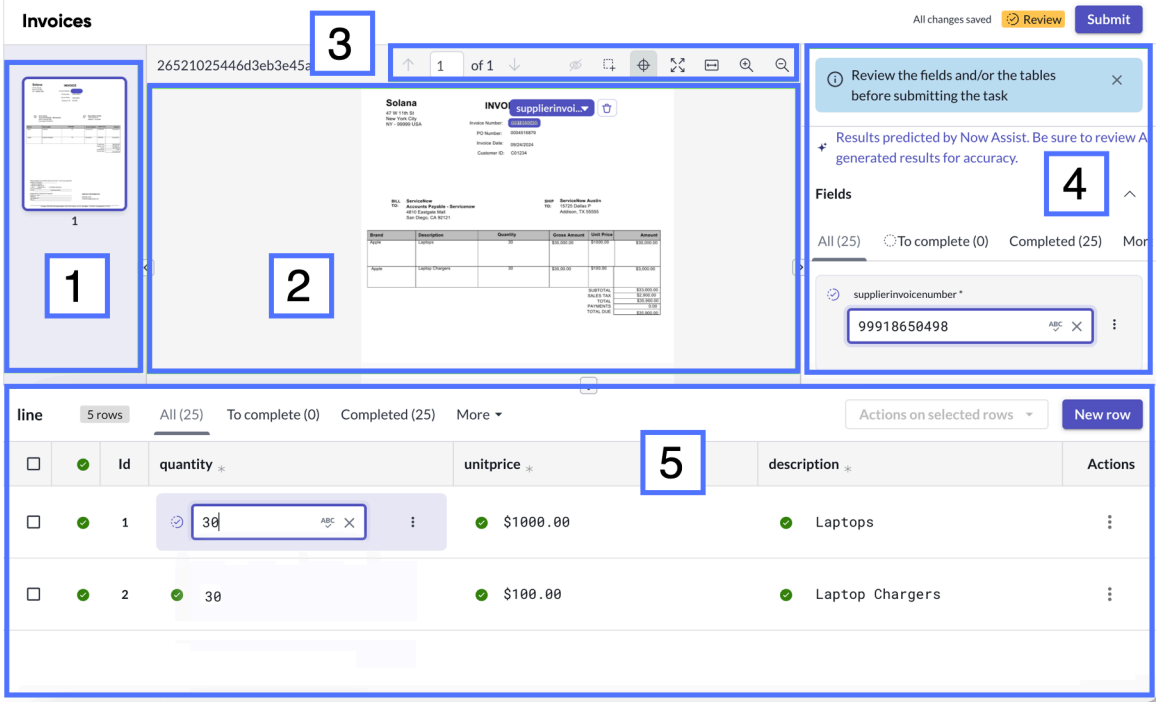
次の図は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを示しています。ワークスペースには、次の領域が含まれています。

- 1 - サムネイルパネル
- 2 - ドキュメント画像パネル
- 3 - ドキュメントコントロール
- 4 - [ドキュメントフィールド] パネル
- 5 - テーブルパネル

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペース



サムネイルパネル

ワークスペースのサムネイルパネルで、複数ページのドキュメントから 1 ページを選択できます。選択したページがドキュメント画像パネルに表示されます。ページを選択しても、ドキュメントフィールドパネルに表示される内容には影響しません。

ドキュメント画像パネル

文書画像パネルには、サムネイルパネルで選択したページが表示されます。

Now Assistドキュメント内で予測のソースを検出できる場合は、レビューするフィールドを選択すると、ドキュメント画像パネルで強調表示されます。

ドキュメントコントロール

抽出するドキュメントをレビューするときは、さまざまなコントロールを使用して、表示領域を最大化したり、ズームしたり、必要な領域に焦点を合わせたりすることができます。

ドキュメントフィールドパネル

ドキュメントフィールドパネルを使用すると、生成 AI の推奨事項の表示など、レビューのためにアイテムを開くことができます。フィールドにフラグを設定したり、ドキュメントにないフィールドとしてマークしたりすることもできます。

注: アスタリスクは必須フィールドを示します。

テーブルパネル

テーブルパネルを使用すると、生成 AI の推奨事項の表示など、レビュー用にテーブルの行を開くことができます。フィールドにフラグを設定したり、ドキュメントにないフィールドとしてマークしたりすることもできます。追加のテーブルコントロールを使用すると、必要に応じて行を挿入したり、列のサイズを変更したりできます。

注: 列見出しのアスタリスクは必須フィールドを示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での Now Assist に関するサポート情報 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)アプリケーションのNow Assistに関連する重要な情報の概要を簡単に把握します。

サポート対象のバージョン

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel) は Yokohama (パッチ 1) 以降でサポートされています。

- Now Assist 管理コンソール v5.0
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) v6.0
- Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel) v2.0

サポート対象のユーザーインターフェイス

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)アプリケーションのNow Assistは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースでサポートされています。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を使用したワークスペース Now Assist」を参照してください。

サポート対象の言語

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の Now Assist でサポートされている言語には、英語が含まれます。

アプリケーション情報

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルはプラットフォームワークフローで使用できます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ストアアプリ (sn_docintel_gen_ai) の Now Assist を有効にして、ドキュメント抽出と Q&A スキルを構成します。

このストアアプリには、次の依存関係があります。

- Now Assist 管理コンソール (sn_nowassist_admin)
- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) (sn_docintel)

詳細については、「Now Assistでのドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成」を参照してください。

Now Assistでのドキュメントインテリジェンス (DocIntel)の構成

admin ロールを持っている場合は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)機能でNow Assistを構成して、エージェントがアプリケーションワークスペース内で生成 AI スキルを使用できるようにすることができます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistアクティブ化

エージェントが生成 AI を使用してドキュメントからの情報を分析および抽出するために使用できるドキュメントインテリジェンス (DocIntel) スキルのNow Assistを有効にします。

始める前に

Now Assist でドキュメントインテリジェンス (DocIntel) スキルをアクティブ化する前に、次のアプリケーションとそれぞれのプラグインをインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Now Assist

  詳細については、「Now Assist プラグインをインストール」を参照してください。

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

  詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のインストール」を参照してください。

- Now Assist は ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の値のいずれか

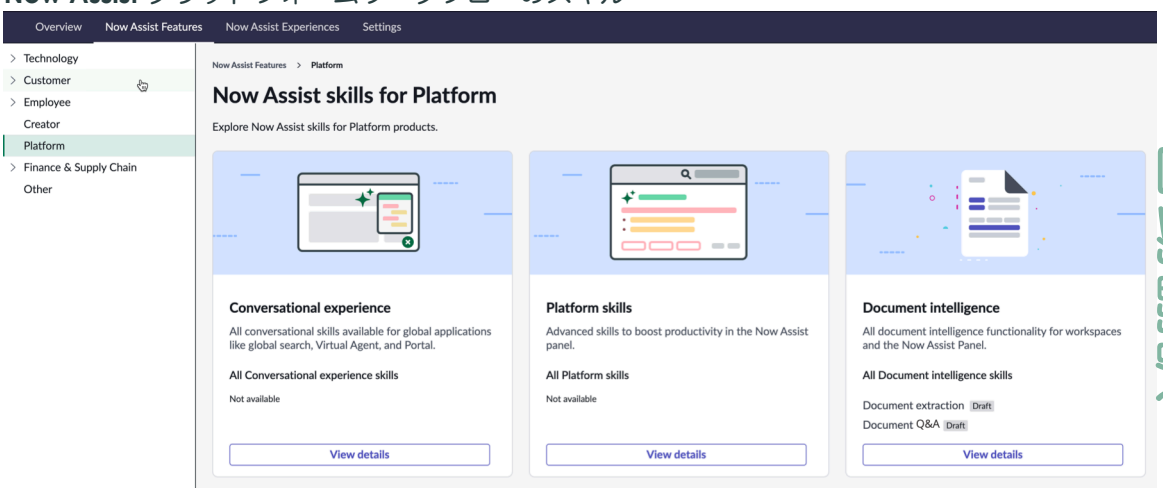
  詳細については、「Now Assist プラグインをインストール」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > 機能.
2. ワークフローリストで、[プラットフォーム] を選択します。

Now Assist プラットフォームワークフローのスキル



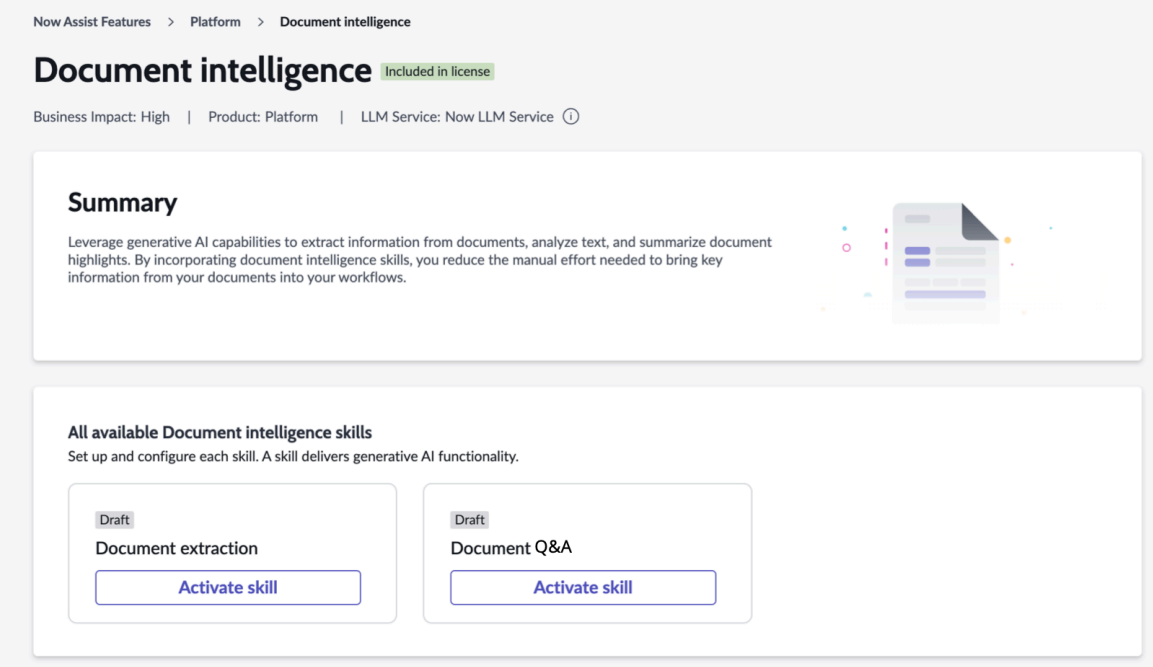
3. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) 機能カードで、 詳細を表示 を選択します。

   [ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) スキル] ページが開きます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)** スキル] ページ



4. 利用可能なすべてのドキュメントインテリジェンス (DocIntel) スキル セクションで、アクティブ化するスキルの スキルのアクティブ化 を選択します。
ガイド付きユースケースセットアップが開きます。
5. ユースケースを作成します。
   a. 新しいユースケースを作成するには、「 での Now Assist のユースケースの設定 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」の手順に従います。
   b. [保存して続行] を選択します。
6. レビューしてアクティブ化します。
   a. スキルに対して行った構成の選択を確認します。
   b. オプション: 前のステップに戻り、変更を加えるには 、[戻る] を選択します。
   c. **[Activate** (アクティブ化)] を選択します。

タスクの結果

スキルがアクティブになり、選択したユーザーロールで使用できるようになります。

での **Now Assist** のユースケースの設定 ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ユースケースレコードを作成して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) でNow Assist処理するドキュメントを定義します。

始める前に

- ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistをアクティブ化します。詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)スキルのNow Assistアクティブ化」を参照してください。
- 必要なロール:アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ユースケースでは、処理するドキュメントのタイプ、検出するフィールド、およびドキュメント処理結果が保存される場所を指定して、 Now Assist ドキュメントから取得する情報を定義します。

ユースケースを定義すると、ユーザーは関連するワークフローでそのユースケースのドキュメントの処理を開始できます。

ユースケースの詳細については、「 のユースケース Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Features (Now Assist** 機能).
2. ワークフローリストで、[プラットフォーム] を選択します。
3. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) カードで、 詳細を表示 を選択します。
4. [アクティブなスキル] リストで、ユースケースのリストを表示するスキルを選択します。
5. [新しいユースケース] を選択します。

   ガイド付きユースケースセットアップが開きます。
6. ユースケースを定義します。
   a. ユースケースの名前を入力します。
   b. このユースケースのドキュメント処理結果を保存するターゲットテーブルを選択します。
   c. [保存して続行] を選択します。
7. フィールドを定義します。

   a. [フィールドの追加] を選択します。

      既に 1 つ以上のフィールドを定義していて、別のフィールドを追加する場合は、[新しいフィールド] を選択します。

   b. ドキュメントから取得する情報のタイプを選択します。

      次のいずれかを選択できます。

      単一フィールド

      ドキュメント抽出のユースケースでは、単一のフィールドを使用してドキュメント内の単一の情報を抽出します。たとえば、ドキュメント番号や顧客名などです。ドキュメント Q&A のユースケースでは、単一フィールドを使用して、ドキュメントについて尋ねる質問を定義します。

      テーブル

      ドキュメント抽出のユースケースでは、テーブルを使用して情報のリストまたはテーブルを抽出します。テーブルには複数の列を含めることができます。リストアイテムまたはテーブルの行数を事前に把握する必要はありません。

      選択した情報タイプに基づいてフィールドフォームが表示されます。

   c. フィールドフォームのフィールドに入力します。

      フォームのタイプは、フィールドのタイプによって異なります。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ドキュメント Q&A セットアップ用の単一フィールドフォーム
- ドキュメント抽出セットアップ用の単一フィールドフォーム
- ドキュメント抽出セットアップのテーブルフォーム

d. [**Save** (保存)] をクリックする。
ユースケースに関連付けられた [フィールド] リストに新しいフィールドが追加されます。

e. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。

8. 出力をテストします。
ドキュメントをアップロードして、ユースケースに対する LLM のパフォーマンスをテストします。

a. [新しいドキュメントをテスト] を選択します。

b. [ファイルを追加] を選択します。

c. ファイルを選択し、[開く] を選択します。

d. [アップロード] を選択します。

e. **[Continue** (続行)] を選択します。
ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースが [テスト出力] 画面のフレームに表示されます。

f. テストドキュメントのスキルのパフォーマンスを確認します。

g. [保存して続行] を選択します。

9. 統合を追加します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ユースケースをワークフローと統合します。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)統合の詳細については、「カスタムアプリケーションまたはワークフローとの統合」を参照してください。

a. [統合を追加] を選択します。

b. 統合の名前を入力します。

c. 使用する統合のタイプを選択します。

プロセスタスクタイプは、ターゲットテーブルで発生する特定のトリガーに基づいてドキュメントタスクを自動的に作成および処理するための統合ポイントを作成します。

[値の抽出] タイプでは、Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel) で抽出が完了したときに、抽出された値をターゲットテーブルに自動的に伝播する統合ポイントが作成されます。

d. 条件を使用して、統合の特定のトリガーとして特定のフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

前のステップで [タスクを処理] を選択した場合、条件を使用できます。条件の詳細については、「 OR 条件 」を参照してください。

e. オプション: [フローを作成] オプションを選択して、この統合のフローデザイナーフローを作成します。

ヒント: 統合を設定するために独自のカスタムスクリプトを作成する予定の場合を除き、このオプションを選択する必要があります。

f. [**Save** (保存)] をクリックする。

g. [保存して続行] を選択します。

10. レビューしてアクティブ化します。
    a. ユースケースに対して行った構成の選択を確認します。
    b. オプション: [戻る] を選択して前のステップに戻り、変更を加えます
    c. [セットアップの完了] を選択します。

でのユースケースの編集 **Now Assist**ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ユースケースを編集して、名前、フィールド、統合を変更します。

始める前に

必要なロール:アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー

このタスクについて

ユースケースをそのフィールド、統合、およびフローとともに編集するには、次の手順に従います。

読み取り専用としてマークされたユースケースは編集できません。ただし、編集可能な読み取り専用ユースケースのコピーを作成することはできます。詳細については、「でのユースケースのコピーの作成 Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist** 機能。.
2. ワークフローリストで、[プラットフォーム] を選択します。
3. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) カードで、 詳細を表示 を選択します。
4. [アクティブなスキル] リストで、ユースケースのリストを表示するスキルを選択します。
5. 編集するユースケースの行で、オプションメニューの [編集] を選択します( )。
6. 必要に応じて変更します。

ユースケースセットアップの詳細については、次を参照してください: での Now Assist のユースケースの設定 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

でのユースケースのコピーの作成 **Now Assist**ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ユースケースのコピーを作成して、同様の構造の新しいユースケースを作成する必要がある場合の時間を節約します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー

このタスクについて
ユースケースのコピーを、そのフィールド、フィールドグループ、統合、およびフローとともに作成するには、次の手順に従います。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Features (Now Assist** 機能).
2. ワークフローリストで、[プラットフォーム] を選択します。
3. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) カードで、 詳細を表示 を選択します。
4. [アクティブなスキル] リストで、ユースケースのリストを表示するスキルを選択します。
5. コピーするユースケースの行で、オプションメニュー( )の「コピーを作成」を選択します。
6. 確認ボックスで、[コピーを作成] を選択します。
7. **[Continue** (続行)] を選択します。
8. ユースケースの名前を入力します。
9. [コピーを作成] を選択します。

タスクの結果
重複したユースケースがユースケースリストに表示されます。

次のタスク
新しいユースケースを編集して必要な変更を加え、テストして適切に機能することを確認します。

詳細については、「でのユースケースの編集 Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

でのユースケースの非アクティブ化 **Now Assist**ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ドキュメントに使用しないユースケースを非アクティブ化します。

始める前に
必要なロール:アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Features (Now Assist** 機能).
2. ワークフローリストで、[プラットフォーム] を選択します。
3. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) カードで、 詳細を表示 を選択します。
4. [アクティブなスキル] リストで、ユースケースのリストを表示するスキルを選択します。
5. 非アクティブ化するユースケースの行で、オプションメニュー( )の「非アクティブ化」を選択します。
6. 確認ボックスで、[はい] を選択します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ユースケースが非アクティブ化されます。非アクティブ化されたユースケースは、ドキュメント処理に使用されません。

でのユースケースの削除 **Now Assist**ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ドキュメントで不要になったユースケースを削除します。

始める前に
必要なロール:アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アドミン、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) マネージャー

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **Now Assist** アドミン > **Now Assist Features (Now Assist** 機能).
2. ワークフローリストで、[プラットフォーム] を選択します。
3. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) カードで、 詳細を表示 を選択します。
4. [アクティブなスキル] リストで、ユースケースのリストを表示するスキルを選択します。
5. 削除するユースケースの行で、オプションメニュー( )の「削除」を選択します。
6. 確認ボックスで、[削除] を選択します。

タスクの結果
ユースケースは、関連フィールド、統合、およびフローとともに削除されます。

ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**の **Now Assist** の使用

エージェントロールを持っている場合は、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースのNow Assistを使用して、生成 AI でドキュメントの情報を分析および抽出できます。

で **Now Assist** を使用してドキュメントデータを抽出 ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)でNow Assistしてドキュメントから抽出された情報を確認します。また、フォローアップのためにフィールドにフラグを設定し、ドキュメント内の不足している情報を特定することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.admin、sn_docintel.creation_agent、または sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて
Now Assist は生成 AI 機能を使用して、ドキュメントから抽出されたフィールド値の推奨事項を提供します。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースには、テキスト抽出をすばやく確認して処理できるドキュメント管理機能があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースでは、次のことができます。

- Now Assist の推奨事項を効率的にレビューし、ドキュメントの抽出されたテキストを確認します。
- フィールドにフラグを設定し、欠落しているフィールドを特定し、処理待ちのフィールドを確認します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を使用したワークスペース Now Assist」を参照してください。

手順

1. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを開いて、ドキュメントと抽出された値を表示します。
2. ドキュメントフィールドパネルで、フィールドを選択します。

   フィールドのレビューステータスが [対応中] に設定されます。

   Now Assistドキュメント内で予測のソースを検出できる場合は、ドキュメント画像パネルで強調表示されます。

   必要に応じて、[折りたたみ] アイコン ( ) を使用してサイドパネルを折りたたみます。
3. フィールドが正確であることを確認してください。

   注: フィールド値は、ドキュメントテキストに基づく生成 AI 予測です。フィールドが正確であることを確認するために、フィールドを注意深くレビューします。
4. オプション: フィールドで適切なアクションを実行します。

   (Optional) フィールドの抽出の詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースを使用したフィールドの抽出」を参照してください。

オプション	説明
フィールドを編集	(Optional) フィールド値を変更するには、フィールドに新しい値を入力します。
ドキュメントに存在しないフィールドとしてマーク	(Optional) ドキュメント内で適切な一致が見つからない場合は、フィールドオプションメニューの ドキュメントで [欠損] を選択します。元に戻すには、フィールドで [編集] アイコン ( ) を選択します。
フィールドをレビュー済みとしてマーク	(Optional) 次のフィールドに移動すると、フィールドは完了としてマークされます。 必要に応じて、[レビュー済み] アイコン ( ) を選択して、フィールドを未レビューとしてマークします。
フィールドにフラグを設定する	(Optional) 後で注意できるようにフィールドにフラグを設定するには、フィールドオプションメニュー( )で「フォローアップ用にフラグを付ける」を選択します。

5. 次のフィールドを選択し、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

> **注:** 生成 AI は、常に正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。送信する前に、すべてのフィールドの正確性を確認することが重要です。

タスクの結果
フィールド値が保存されます。空のフィールドは値なしで送信されます。

での **Now Assist** に関するドキュメントのレビュー **Q&A** ドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のNow Assistによって提供される質問と回答 (Q&A) 予測を確認します。

始める前に
必要なロール:sn_docintel.admin、sn_docintel.creation_agent、または sn_docintel.extraction_agent

このタスクについて
Now Assist は生成 AI 機能を使用して、ドキュメントに関する事前定義された質問に対する回答を提供します。質問は、ドキュメント Q&A ユースケースを構成するときにアドミニストレーターが定義します。詳細については、「での Now Assist のユースケースの設定 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースには、回答をすばやく確認し、必要に応じて編集できる機能があります。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースでは、次のことができます。

- Now Assistによって生成された回答を確認し、正確性を確認するために編集します。
- 不足している回答を特定します。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) を使用したワークスペース Now Assist」を参照してください。

手順

1. ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースを開いて、ドキュメントと予測された回答を表示します。
2. ドキュメントフィールドパネルで、質問を選択します。

   質問のレビューステータスが [対応中] に設定されます。

   必要に応じて、[折りたたみ] アイコン ( ) を使用してサイドパネルを折りたたみます。
3. 回答が正確であることを確認してください。

   > **注:** 答えは、ドキュメントテキストに基づく生成 AI 予測です。回答を注意深くレビューし、回答が正確であり、質問に正しく対処していることを確認します。
4. オプション: 回答に対して適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
コピー	(Optional) [コピー] アイコン ( を選択して、回答をクリップボードにコピーします。
生成された回答を編集	回答テキストを変更するには、次の手順を実行します。 **a.** [編集] アイコン ( **b.** 回答を編集します。 ▪ テキスト回答の場合は、[回答] ボックスに情報を入力します。 ▪ 「はい/いいえ」で回答するには、適切なオプションを選択します。 **c.** [**Save** (保存)] をクリックする。 質問がレビュー済みとしてマークされます。
ドキュメントに回答がないことを示すマークを付ける	ドキュメントに回答するテキストがない場合は、次の操作を行います。 **a.** [編集] アイコン ( **b.** [ドキュメントに回答がありません] チェックボックスをオンにします。 **c.** [**Save** (保存)] をクリックする。 答えは隠されています。質問がレビュー済みとしてマークされます。
回答をレビュー済みとしてマーク	(Optional) [レビュー済みとしてマーク] を選択します。 必要に応じて、[レビュー済み] アイコン ( を選択して、質問を未レビューとしてマークします。

5. 次のフィールドを選択し、手順 3 ～ 4 を繰り返します。

6. [**Submit** (送信)] を選択します。

> **注:** 生成 AI は、常に正確、完全、または適切な情報を生成するとは限りません。送信する前に、すべての回答の正確性を確認することが重要です。

タスクの結果
回答が保存されます。空の回答は値なしで送信されます。

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)のNow Assistについての参照

次のトピックでは、 Now Assist in ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) とともにインストールされる機能とプロパティに関する追加情報を提供します。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

で Now Assist とともにインストールされるコンポーネント ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

コンポーネントは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) でNow Assistを有効にするとインストールされます。

インストールされているロール

ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) に Now Assist とともにインストールされるロールはありません。ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションに含まれているものと同じロールを使用します。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)と一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

インストールされるテーブル

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel) では、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) アプリケーションに含まれているものと同じテーブルを使用します。

詳細については、「ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)と一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

のフィールドタイプ Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)

フィールドタイプは、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)にNow Assistがあるドキュメントから取得される情報を指定します。

アドミニストレーターは、ユースケースのフィールドを設定するときに、次のフィールドタイプを使用できます。

注: 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。詳細については、「データ正規化」を参照してください。

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)フィールドタイプ

フィールドタイプ	説明
ブーリアン (True/False)	true/false 値を保持します。ドキュメントでの Q&A の質問では、値は「はい」または「いいえ」の回答として表示されます。アドミニストレーターによって有効にされている場合は、回答の後に Now Assistによって生成された説明が続くことがあります。 このフィールドタイプは、ドキュメント Q&A ユースケースで使用できます。
日付	ドキュメントから抽出された日付形式で表示される日付。 このフィールドタイプは、ドキュメント抽出のユースケースで使用できます。
10 進数	小数点以下 2 桁までの数値 (12.5 や 12.55 など)。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Now Assistドキュメントインテリジェンス **(DocIntel)**フィールドタイプ (続く)

フィールドタイプ	説明
	このフィールドタイプは、ドキュメント抽出のユースケースで使用できます。
浮動小数点数 (浮動小数点数)	小数点以下 7 桁までの数値 (例: 12.0 ～ 12.0000000)。 このフィールドタイプは、ドキュメント抽出のユースケースで使用できます。
整数	整数 (12 など)。 このフィールドタイプは、ドキュメント抽出のユースケースで使用できます。
参照	参照フィールドには、別のテーブルのフィールドへの参照が格納されます。たとえば、インシデントテーブルの [発信者] フィールドは、ユーザー [sys_user] テーブルへの参照です。 詳細については、「[参照] フィールドタイプ」を参照してください。 このフィールドタイプは、ドキュメント抽出のユースケースで使用できます。
テキスト	テキストフィールド。 このフィールドタイプは、ドキュメント抽出とドキュメント Q&A のユースケースで使用できます。

Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)フォーム

フォームを使用して、ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)情報のNow Assistを表示および更新します。

ドキュメント **Q&A** セットアップ用の単一フィールドフォーム

ドキュメント Q&A の単一フィールドフォームを使用すると、ドキュメントについて尋ねる質問を定義できます。

単一フィールドフォームには、次のフィールドが含まれています。

単一フィールドフォーム

フィールド	説明
質問	ドキュメントに関する質問。この質問は、予測のために生成 AI に送信されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドフォーム (続く)

フィールド	説明
	ドキュメントで見つけたい情報について、明確で簡潔な質問を記述してください。たとえば、「このドキュメントは有効期限の対象ですか?」などです。 質問の下に、生成 AI が最適な回答を提供する方法についての詳細を追加します。たとえば、「有効性、期間、または時間枠が説明されているセクションを確認し、有効期限、更新要件、またはドキュメントを永続的であると宣言する明示的なステートメントに関する詳細を探します。ドキュメントに有効期限がある場合は、「はい」と答えます。有効期限についての言及がない場合、または有効期限が永続的であるという明示的な声明が含まれている場合は、「いいえ」と答えてください。 この質問は、 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) ワークスペースで回答を確認するときにエージェントに表示されます。
フィールドタイプ	フィールドのタイプ (テキストフィールドやブールフィールドなど)。 詳細については、「のフィールドタイプ Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。
回答の説明を入力します	「はい」または「いいえ」の回答をサポートするドキュメントテキストに基づいて生成 AI に説明を提供するオプション。 このフィールドは、[フィールドタイプ] フィールドが ブール値 `(True/False)` に設定されている場合に使用できます。
ターゲットテーブル	このユースケースのドキュメント処理結果を保存するテーブル。
ターゲットフィールド	このフィールドを揃えるターゲットテーブルのフィールド。 ユースケースでは、ターゲットテーブルを選択する必要があります。
この単一フィールドは抽出に必要です	フィールドを必須にするオプション。必須フィールドを空または未確認のままにすることはできません。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドフォーム (続く)

フィールド	説明
複数の単一フィールドを作成	フォームを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のフィールドを追加する場合は、これを有効にします。

ドキュメント抽出セットアップ用の単一フィールドフォーム

単一フィールドフォームでは、抽出用に単一のフィールドを定義できます。

単一フィールドフォームには、次のフィールドが含まれています。

単一フィールドフォーム

フィールド	説明
単一フィールド名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるフィールドの名前。 抽出する情報を明確に述べます。具体的、明確、簡潔にしてください。例:「注文番号」
説明	抽出する情報の説明。説明は、フィールド名とともに、LLM がドキュメントから抽出するテキストを予測するために使用されます。 適切な情報を識別するために関連するコンテキストや追加の詳細を含めます。これにはキーワードが含まれる場合があります。たとえば、「契約番号または参照契約の番号」などです。 抽出する情報の例を提供します。例:「AGR-2023-0042」、「CON2039739」、「BV-22122KEY」。 説明の例: 単一フィールド名:「Currency」 説明:「契約の建て通貨。注文フォームにのみ有効です。それ以外の場合は、空 ('') のままにします。通貨記号が「$」の場合は、「USD」と答えます。例:「USD」、「EUROS」、「GBP」など。
フィールドタイプ	フィールドのタイプ。たとえば、テキストフィールドや日付フィールドなどです。詳細については、「のフィールドタイプ Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

単一フィールドフォーム (続く)

フィールド	説明
	一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。詳細については、「データ正規化」を参照してください。
ターゲットテーブル	このユースケースのドキュメント処理結果を保存するテーブル。
ターゲットフィールド	このフィールドを揃えるターゲットテーブルのフィールド。 ユースケースでは、ターゲットテーブルを選択する必要があります。
この単一フィールドは抽出に必要です	フィールドを必須にするオプション。 必須フィールドを空または未確認のままにすることはできません。
複数の単一フィールドを作成	フォームを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のフィールドを追加する場合は、これを有効にします。

ドキュメント抽出セットアップのテーブルフォーム

[テーブル] フォームでは、抽出するテーブルを定義できます。

[テーブル] フォームには、次のフィールドが含まれています。

テーブルフォーム

フィールド	説明
テーブル	
テーブル名	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel)ワークスペースに表示されるテーブルの名前。
ターゲットテーブル	これらのテーブルフィールドのドキュメント処理結果を格納するテーブル。
フィールドへの親のマッピング	このテーブルを配置するターゲットテーブルのフィールド。 最初にターゲットテーブルを選択する必要があります。
このテーブルは抽出に必要です	テーブルフィールドを必須にするオプション。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルフォーム (続く)

フィールド	説明
	必須テーブルフィールドを空または未確認のままにすることはできません。
列	
列タイトル	テーブル内の列ヘッダーの名前。
フィールドタイプ	テーブル列のフィールドのタイプ。たとえば、テキストフィールドや日付フィールドなどです。詳細については、「のフィールドタイプ Now Assistドキュメントインテリジェンス (DocIntel)」を参照してください。 一部のフィールドタイプでは、抽出された値を標準形式に変換します。詳細については、「データ正規化」を参照してください。
ターゲットフィールドを選択	このフィールドを揃えるターゲットテーブルのフィールド。 ユースケースでは、ターゲットテーブルを選択する必要があります。
新規の列	テーブルに列を追加するオプション。
複数のテーブルを作成	フォームを画面に表示し続けるオプション。ユースケースに複数のテーブルを追加する場合は、このオプションを有効にします。

タスクインテリジェンス

タスクインテリジェンス は機械学習を使用してデータを使用してソリューションをトレーニングし、重要な成果を達成します。

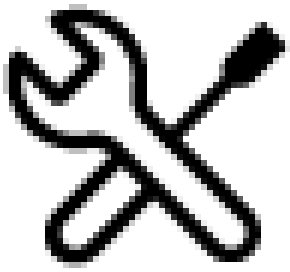
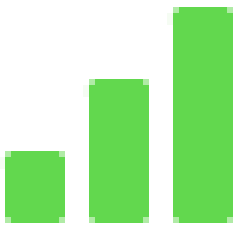
タスクインテリジェンスの概要

タスクインテリジェンス を使用すると、機械学習モデルを設定して、タスクの作成、トリアージ、および調査を自動化できます。その後、ソリューションのパフォーマンスを追跡および評価して、その可能性を最適化し、作業をより効率的にし、平均解決時間 (MTTR) を短縮できます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始めましょう

探索	インストール	構成
		
タスクインテリジェンスモデルと機械学習モデルを探索します。	タスクインテリジェンスおよび関連アプリケーションをインストールします。	機械学習モデルを構成します。
モデルを作成	**モデルを分析**	**参照**
		
タスクインテリジェンスモデルを作成および編集します。	モデルのパフォーマンスを監視および解析します。	タスクインテリジェンスと言語のサポートとともにインストールされるコンポーネントの参照。

自動翻訳

トラブルシューティングとサポート

- Now Community ポータルで AI とインテリジェンスを検索
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

タスクインテリジェンス の探索

タスクインテリジェンスの詳細と、機械学習モデルがデータから学習して予測を行い、重要な結果を達成する方法について説明します。

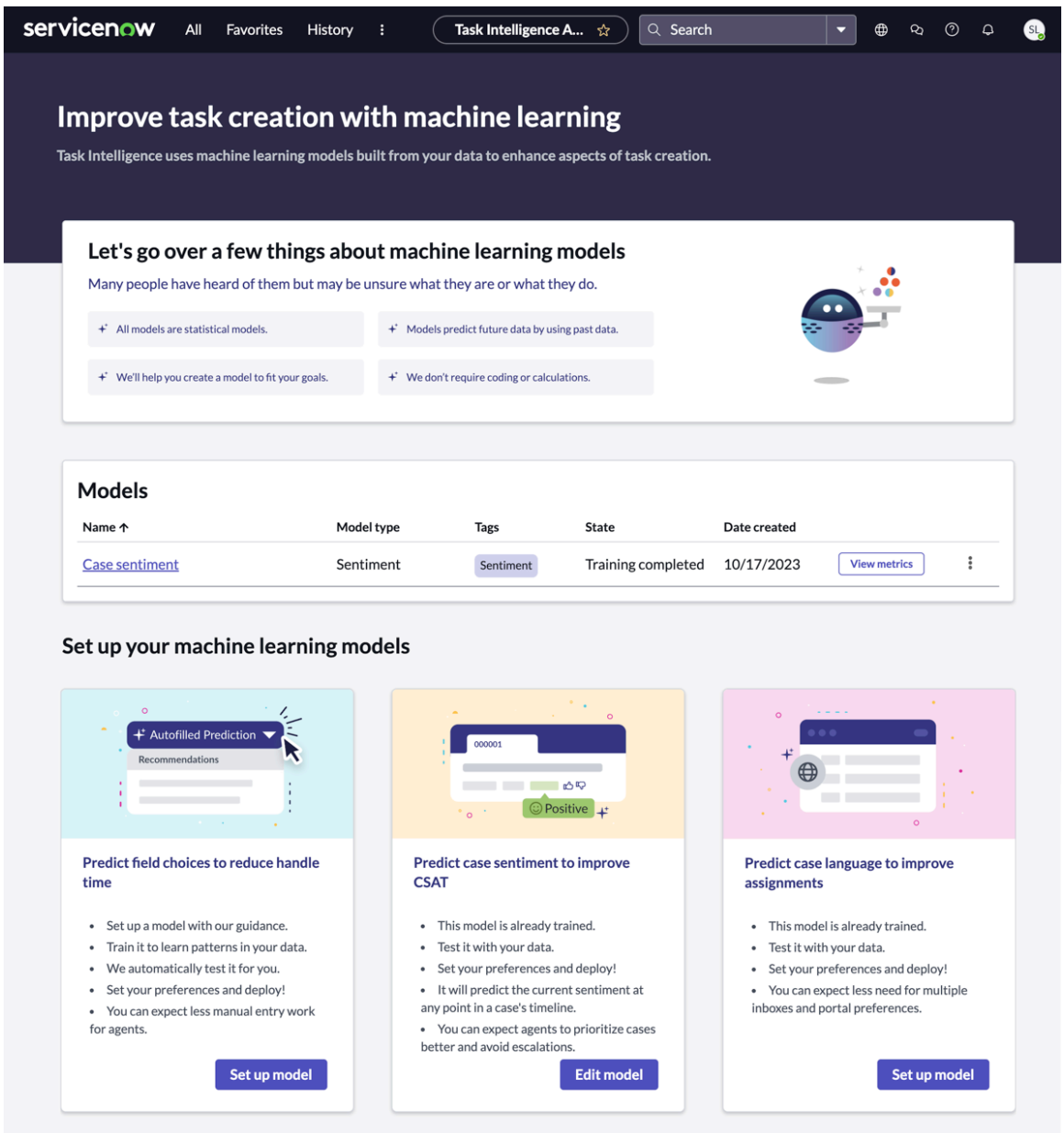
© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクインテリジェンスの概要

タスクインテリジェンスを使用すると、データとやり取りする機械学習ソリューションを簡単に設定できます。次に、ソリューションが作成、回避、トリアージ、修復、および最適化のタイミングにどのように影響するかを追跡します。自動化されたタスクの作成、トリアージ、および調査により、エージェントは情報の受信と準備に費やす時間を短縮できるため、タスクをより迅速に進めることができます。これらのモデルは、より効率的に作業するのに役立ち、タスクの平均解決時間 (MTTR) を短縮するのに役立ちます。

タスクインテリジェンスを使用すると、エージェントは次のことが可能になります。

- 問題を迅速に解決してサービスとエクスペリエンスを向上させる
- 有意義で価値の高い作業に集中する
- エラー率を低減し、コストを削減する
- 直感的なエクスペリエンスで価値実現までの時間を短縮する



アドミンコンソールは、次のモデルタイプをサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モデル	アプリケーション	説明
インシデントフィールド予測	ITSM のタスクインテリジェンス	インシデントフィールド予測モデルの作成
類似性モデル管理	ITSM のタスクインテリジェンス	での類似レコード予測モデルの作成 ITSM のタスクインテリジェンス
ケースフィールド予測	CSM のタスクインテリジェンス	カテゴリ設定を含む、ケースフォームの出力フィールドを予測します。 レコードのカテゴリ設定
感情予測	CSM のタスクインテリジェンス	現在および傾向のユーザーの感情を予測します。 注: モデルは事前トレーニング済みですが、テストや編集が可能です。構成できる感情モデルは 1 つだけです。
言語検出	CSM のタスクインテリジェンス	使用されている言語を検出します。 注: モデルは事前トレーニング済みですが、テストや編集が可能です。構成できる言語検出モデルは 1 つだけです。

タスクインテリジェンス のワークフロー

タスクインテリジェンスアドミンコンソールは機械学習モデルを使用します。モデルは統計的であり、過去のデータでトレーニングすることで将来のデータを予測できます。

アドミンコンソールを使用して、他の ServiceNow 機能やアプリケーション (カスタマーサービス管理 (CSM)など) の自動化に使用される予測モデルを作成、構成、トレーニング、テスト、および展開します。

機械学習モデルのトレーニングでは、モデルが過去のデータのパターンを学習して新しいデータを予測します。モデルはパターンを学習できるように大量のデータを使用してトレーニングされます。大きなデータセットを使用することで学習したパターンの統計的な重要性が高まります。情報システム、ビジネスプロセス、およびサービス運用に関する質問に答えることで、システムは回答から積極的に学習します。

タスクインテリジェンス のメリット

この タスクインテリジェンスアドミンコンソール により、アドミニストレーターはノーコードで タスクインテリジェンス ソリューションを展開できます。シームレスなエクスペリエンスにより、タスクの作成、転送、トリアージ、および解決を自動化および最適化できます。

機能は、 カスタマーサービスのタスクインテリジェンス と ITSM のタスクインテリジェンス の 2 つのアプリケーションによって実装されます。

ベネフィット	機能	ユーザー
自動入力または提案として推奨する予測フォームフィールド値	フィールド予測モデルの作成	アドミン、エージェント

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベネフィット	機能	ユーザー
言語と添付ファイルのコンテンツに基づいてメールとケースを分類する	レコードのカテゴリ設定	エージェント
以前のインシデントに基づいてインシデントのカテゴリと優先度を予測し、解決時間を短縮する	インシデント予測モデルの作成	エージェント
カスタマーサービスケースにおける初期および進行中の感情の分析	感情分析	エージェント
カスタマーサービスケースの作成に使用された言語を特定する	言語検出	エージェント
モデルのパフォーマンスの解析と評価	タスクインテリジェンス アナリティクスとモニタリング	管理

タスクインテリジェンス の構成

タスクインテリジェンスアドミンコンソールとその関連アプリケーションを構成してインストールします。

構成の概要

タスクインテリジェンスアドミンコンソールは、CSM のタスクインテリジェンスまたはITSM のタスクインテリジェンスとともにインストールされます。詳細については、「タスクインテリジェンスアドミンコンソール のインストール」を参照してください。

ITSM のタスクインテリジェンスの構成

エージェントがアプリケーションを使用して要件を効率的に満たせるように ITSM のタスクインテリジェンス を構成します。

カスタマーサービスのタスクインテリジェンスの構成

カスタマーサービス用 タスクインテリジェンス アプリケーションをインストールし、ケースカテゴリ設定、言語検出、感情分析、カスタマーサービス用 ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) など、さまざまな機能を構成します。

タスクインテリジェンスアドミンコンソール のインストール

admin ロールをお持ちであれば、 タスクインテリジェンス アプリケーション (sn_ti_admin) をインストールできます。 このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、次を参照してください。 のエンタイトルメントを取得 ServiceNow 製品またはアプリケーション .
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeのタスクインテリジェンスアドミンコンソール アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

タスクインテリジェンスアドミンコンソール とともに次のアイテムがインストールされます。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

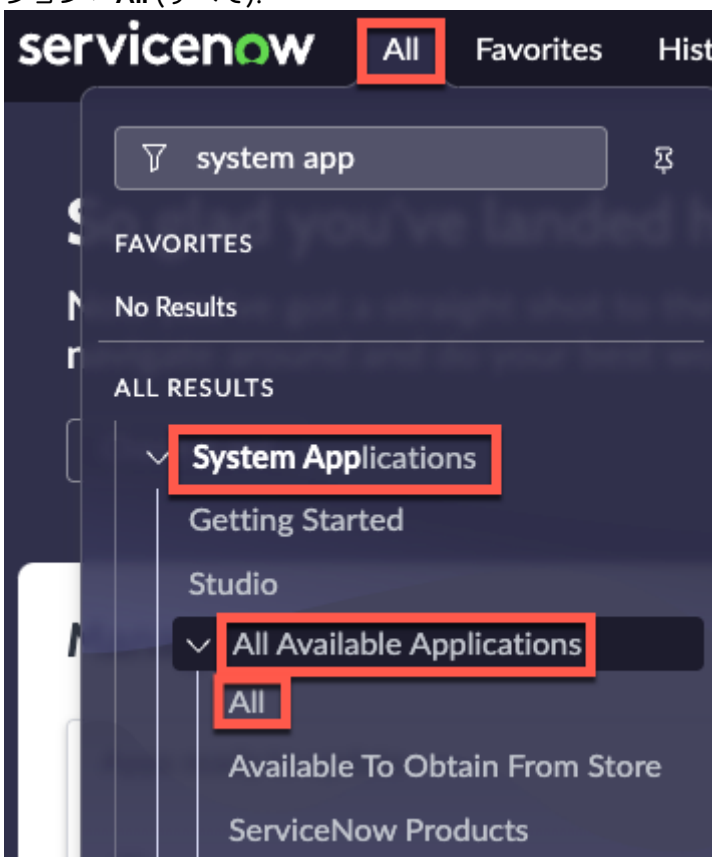
自動翻訳

- ロール
- テーブル

詳細については、「タスクインテリジェンス ロール」を参照してください。

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > **All** (すべて).



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 タスクインテリジェンスアドミンコンソール アプリケーション (sn_ti_admin) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

を使用した機械学習モデルの管理 タスクインテリジェンス

機械学習モデルを作成、編集、トレーニング、評価して、カスタマーサービスケースとインシデントを予測します。

ITSM のタスクインテリジェンスモデルの管理

ITSM のタスクインテリジェンス の機械学習機能を使用して、インシデントフィールド情報を予測して推奨し、インシデントの分類に役立てます。

カスタマーサービスのタスクインテリジェンスの使用

タスクインテリジェンス機能を使用して、ケースのフィールド予測モデルと感情モデルを作成し、タスクインテリジェンスアナリティクスと予測の履歴を確認します。

タスクインテリジェンスモデルを作成

機械学習モデルを作成して、フィールド値の予測、ケースの感情の分析、またはケース言語の検出を行います。

インシデントフィールドを予測するモデルの作成

インシデント予測ソリューションベースのモデルを作成して展開し、新しい IT サービスインシデントのインシデントフィールドを予測します。

レコードフィールドを予測するためのモデルの作成

カスタマーサービスケースのフィールドを予測するたのモデルを作成してトレーニングします。

タスクインテリジェンスモデルの編集

機械学習モデルを再トレーニングするか、予測内容を編集して、ビジネスゴールとの整合性を高めます。

インシデントフィールドを予測するためのモデルの編集

既にトレーニングおよび展開されているインシデント予測モデルを編集します。モデル構成を変更し、更新されたトレーニング結果を表示して、モデルを再展開します。

ケースフィールド予測モデルの作成と編集

カスタマーサービスケースのフィールドを予測するためのモデルを作成、トレーニング、および編集します。

ケースの感情を予測するためのモデルの作成

事前トレーニング済み感情モデルを編集してテストし、カスタマーサービスケースの感情を予測します。

ケース言語を検出するためのモデルの作成

事前トレーニング済みのモデルを編集およびテストして、カスタマーサービスケースの作成に使用された言語を検出します。

タスクインテリジェンスモデルの評価

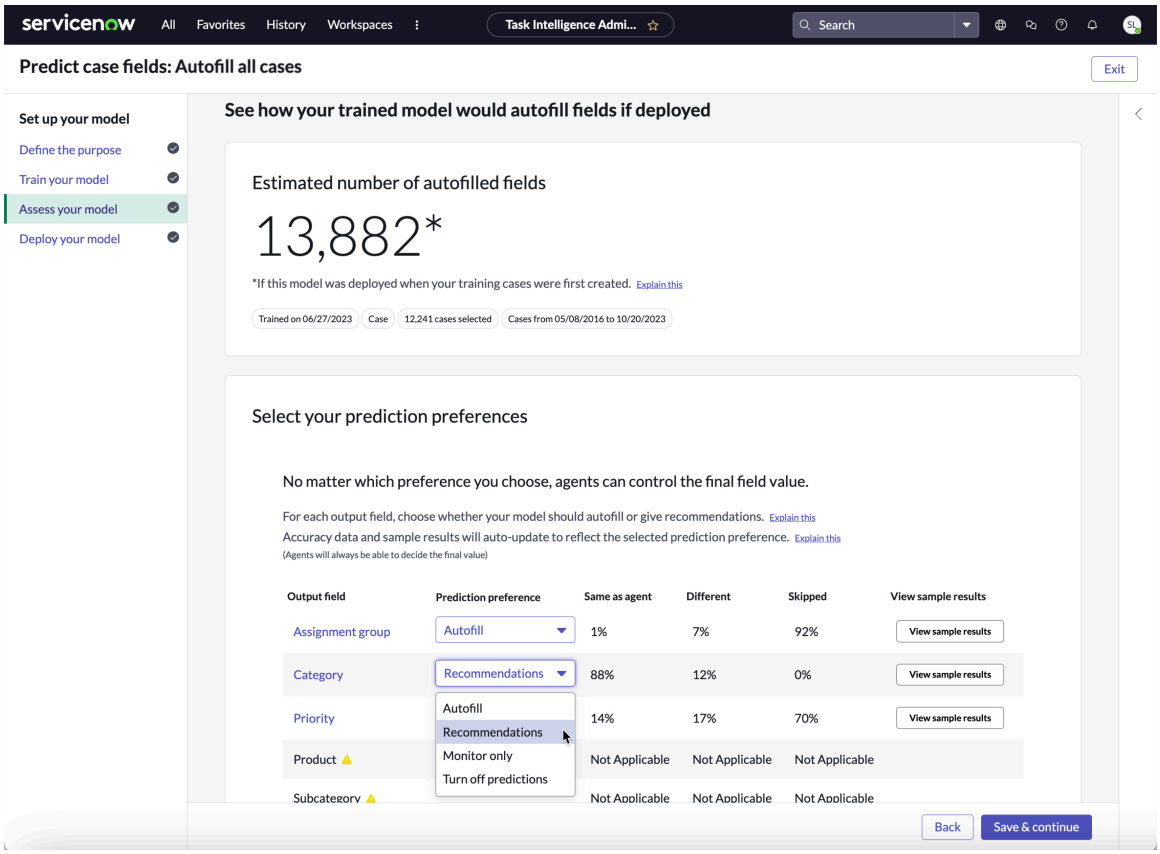
機械学習モデルのパフォーマンスを評価すると、望ましい結果を達成するためのモデルの使用方法とトレーニング方法を決定するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[モデルの評価] 画面では、モデルのパフォーマンスを評価できます。モデルをトレーニングまたは再トレーニングした後、[モデルの評価] 画面には、最新のデータに対するモデルの平均パフォーマンスの推定値が表示されます。

注: モデルのパフォーマンスに日々変動が見られるのは普通のことです。パフォーマンスは、時間の経過とともに推定されるパフォーマンスに平均化される傾向があります。



[モデルの評価] 画面では、レコードのサンプルの予測例を表示することもできます。これらの例は予測を示していますが、必ずしもモデルの品質と平均的なパフォーマンスを反映しているわけではありません。[モデルの評価] 画面で提供される推定値と [監視] ページのレポートは、はるかに多くのケースから計算されます。

[モデルの評価] 画面を使用して、フィールドごとに次のいずれかの設定を選択することもできます。

- フィールドに予測値を自動入力します。
- フィールドの予測値に関する推奨事項が提供されます。
- 監視のみ を行い、フィールドの予測モデルをバックグラウンドでのみ実行します。
- フィールドの予測をオフにします。

モニタリングモード

監視モードを使用すると、予測をレコードに適用せずに、フィールドレベルでモデルのパフォーマンスを監視できます。モデルはバックグラウンドでのみ実行され、満足のいくパフォーマンスが得られるまでトレーニングと再トレーニングが可能です。モデルの編集時に、[モデルの評価] 画面からモデルフィールドを監視モードに設定できます。

タスクインテリジェンスアドミンコンソールを使用してモデルのパフォーマンスを表示および追跡できます。「タスクインテリジェンス アナリティクスとモニタリング」を参照してください。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数出力モデルのフィールドレベルの精度の評価

フィールドごとにモデルのパフォーマンスを評価します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

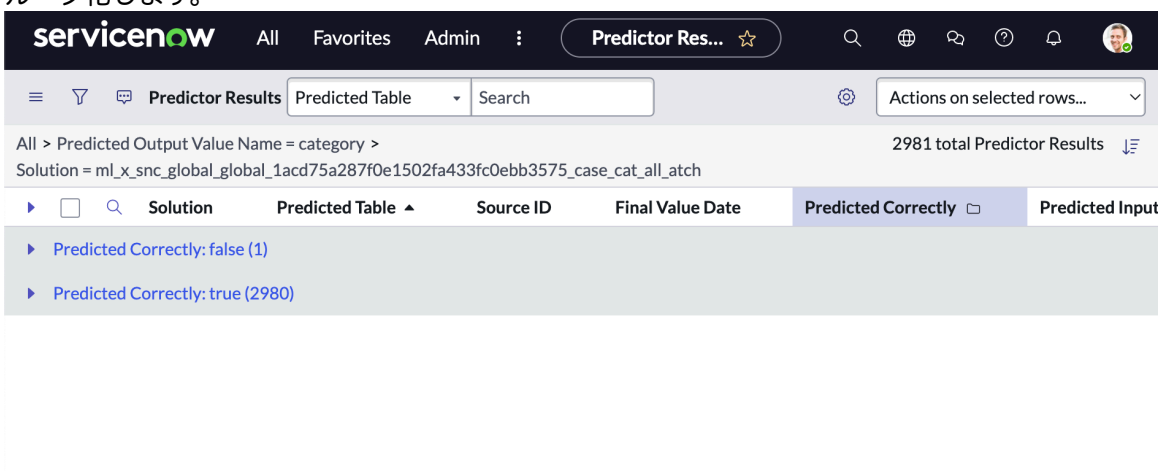
モデルを作成してテストした後、パフォーマンスを評価して、予測対象をどの程度正確に予測しているかを評価します。複数のフィールドを予測する複数出力モデルでは、各フィールドのパフォーマンスを個別に評価することができます。

モデルをまだ作成していない場合は、「 レコードフィールドを予測するためのモデルの作成 」または「 インシデントフィールドを予測するモデルを作成する 」を参照して作成します。

モデルは監視モードである必要があります。[モデルの評価] 画面で監視モードを設定できます。詳細については、「 ケースフィールド予測モデルの作成 」または 「インシデントフィールドモデルを予測するモデルの作成 」の「設定の設定」ステップを参照してください。

手順

1. アプリケーションナビゲーターに「ml_predictor_results_task.list」と入力して、[予測結果] (ml_predictor_results_task) に移動します。
2. 「製品」や「カテゴリ」など、評価するフィールドの名前の [予測出力値の名前] をフィルタリングします。
3. 画面の左上隅にあるリストコントロールアイコンを選択して、[正しく予測済み] でリストをグループ化します。



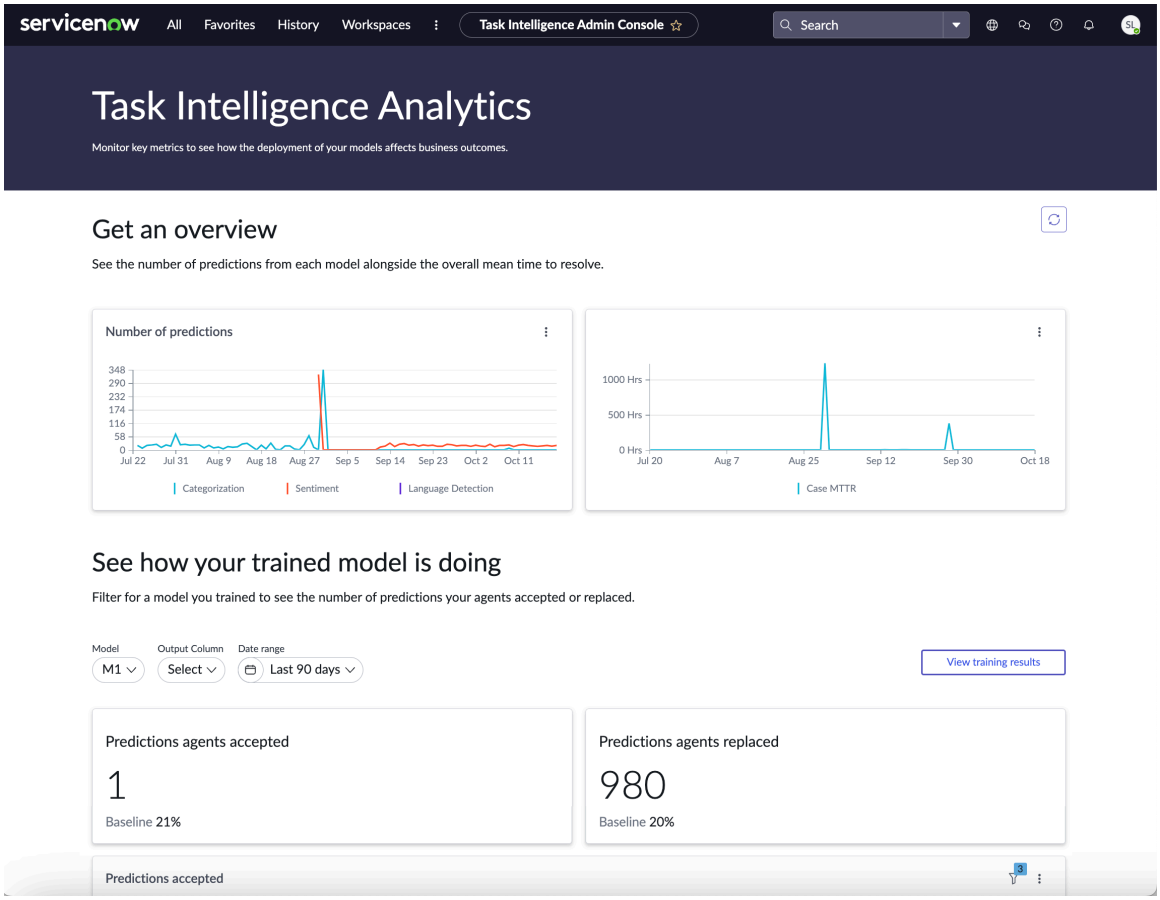
4. [正しく予測済み] が **true** のレコード数を合計レコード数で除算します。
   これは、特定のフィールドの精度を表します。
5. 精度を計算するフィールドごとに、ステップ 2 ～ 4 に従います。
6. オプション: [監視] 画面でモデルのパフォーマンスを表示します。

   a. 次のように移動する。 カスタマーサービスのタスクインテリジェンス > モニタリング アプリケーションナビゲーターで

   (Optional) [監視] 画面では、チャートに表示するモデル、フィールド、および日付範囲を選択できます。精度は、自動入力される上位の値または上位 3 つの推奨事項が正しいかどうかに基づいて測定されます。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



b. [モデル] を選択します。

c. フィールドの出力列を選択します。

d. 日付範囲を選択します。

次のタスク
各フィールドの精度が許容範囲内である場合は、モデルを監視モードからリアルタイム予測に移行して展開します。特定のフィールドの精度が許容できない場合は、その出力フィールドをモデルから削除し、再トレーニングして展開できます。モデルの編集の詳細については、 タスクインテリジェンスモデルの編集 を参照してください。

タスクインテリジェンス アナリティクスとモニタリング

タスクインテリジェンスアドミンコンソールを使用して、機械学習モデルのパフォーマンスを監視、分析、評価します。

ITSM のタスクインテリジェンスアナリティクスとモニタリング

タスクインテリジェンスモデルの影響を表示します。モデルのパフォーマンスを経時的に監視し、ビジネス価値を追跡し、エージェントが使用した予測と使用しなかった予測を表示します。

CSM のタスクインテリジェンスのアナリティクスの表示

カスタマーサービスアナリティクスの タスクインテリジェンス を表示し、機械学習モデルがどのように機能しているかを確認します。

タスクインテリジェンス予測履歴の表示

CSMモデルの予測結果の履歴予測の詳細を表示します。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

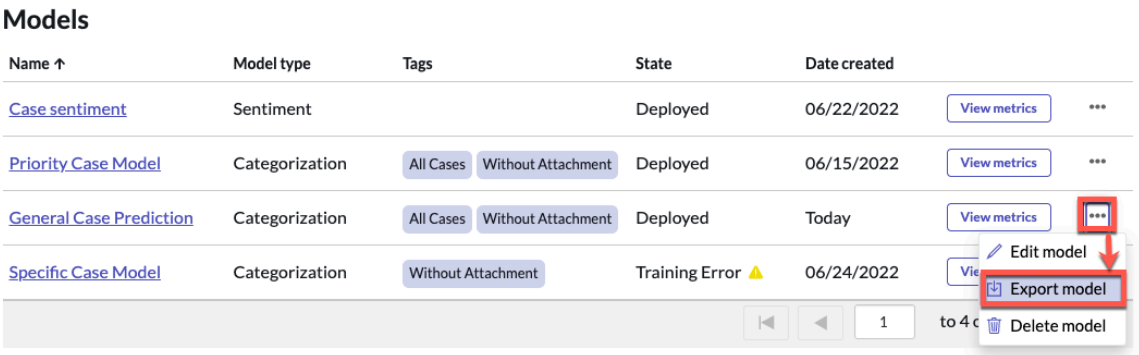
タスクインテリジェンスモデルのエクスポート

タスクインテリジェンスモデルを別のインスタンスにエクスポートします。

始める前に
必要なロール:admin または tia_admin

手順

1. 次のように移動する。 **All** (すべて) > **CSM** のタスクインテリジェンス > セットアップ または **All** (すべて) > **ITSM** のタスクインテリジェンス > セットアップは、エクスポートするアプリケーションとコンテキストによって異なります。
2. [モデル] リストで、エクスポートするモデルのその他のオプションメニューをクリックします。



3. [モデルのエクスポート] をクリックします。
   新しいタブが開き、認証ステップが表示されます。
4. **[Allow** (許可)] をクリックします。

タスクの結果
XML ファイルがブラウザーにダウンロードされます。

次のタスク
XML ファイルを使用すると、更新セットを使用して別のインスタンスにモデルを簡単に転送できます。詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。

タスクインテリジェンスの参照情報

参照トピックには、インストールされているコンポーネントと言語検出の詳細に関する追加情報が記載されています。

タスクインテリジェンス ロール

sn_ti_admin プラグインのアクティブ化とともにインストールされるユーザーロールの参照。

ITSM のタスクインテリジェンスの参照

参照トピックには、ITSM のタスクインテリジェンス とともにインストールされるコンポーネントに関する追加情報が記載されています。

タスクインテリジェンスアナリティクスの表示

カスタマーサービスアナリティクスの タスクインテリジェンス を表示し、機械学習モデルがどのように機能しているかを確認します。

でサポートされている言語 タスクインテリジェンス

CSM のタスクインテリジェンスの言語検出機能は、22 の異なる言語をサポートしています。

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

タスクインテリジェンス ロール

タスクインテリジェンス はこれらのロールに併せてインストールされます。

ユーザーごとのサブスクリプション管理の詳細については、「サブスクリプション管理 でのユーザーごとのサブスクリプションの管理」を参照し、アカウント担当者にお問い合わせください。

タスクインテリジェンスアドミン **[tia_admin]**

アプリケーションのすべてのアクションに対する権限を持つアドミンユーザー。すべての タスクインテリジェンス モデルを作成、編集、および監視します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト。

- ml_admin
- platform_ml_read

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

タスクインテリジェンスユーザー **[tia_user]**

タスクインテリジェンスモデルを表示および監視します。トレーニングを表示するには、追加のアクセス権が必要です。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト:ml_report_user

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

タスクインテリジェンスアナリスト **[tia_analyst]**

アナリティクスダッシュボードを通じて タスクインテリジェンス モデルを監視します。

ロールを含む

ロール内に含まれるロールのリスト:ml_admin。

グループ

このロールがデフォルトでアサインされているグループのリスト。

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

なし。

特別な考慮事項

重要: より分化したロールが利用可能な場合は、管理者ロールを付与しないでください。

でサポートされている言語 タスクインテリジェンス

タスクインテリジェンスアプリケーションは、さまざまな言語での予測をサポートしています。

サポートされている各言語には、2 文字のコードが関連付けられています。例：英語 `- en`。

次の表に、 タスクインテリジェンス でサポートされている言語と、それらがサポートするモデルを示します。

注: トレーニングデータセットに含まれる言語のみがサポートされています。

言語名	言語コード	インシデントフィールド (ITSM)	ケースフィールド (CSM)	感情予測 (CSM)	言語検出 (CSM)
アラビア語	#######				X
ブラジル系ポルトガル語	Português (Brasil)	X			
簡体字中国語	中文	X			X
チェコ語	Čeština				X
デンマーク語	da	X			
オランダ語	Nederlands	X			X
英語	en	X	X	X	X
エストニア語	et				X
フィンランド語	Suomi	X			X
フランス語	Français	X	X		X
フランス系カナダ人	Français (Canada)	X			
ドイツ語	Deutsch	X	X		X
ヘブライ語	#####				X
ハンガリー語	Magyar				X
イタリア語	Italiano	X			X
日本語	日本語	X			X
韓国語	###	X			X
ノルウェー語	Norsk (bokmål)	X			X
ポーランド語	Polski	X			X
ポルトガル語	Português	X			X

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

言語名	言語コード	インシデントフィールド (ITSM)	ケースフィールド (CSM)	感情予測 (CSM)	言語検出 (CSM)
ロシア語	Русский				X
スペイン語	Español	X	X		X
スウェーデン語	Svenska	X			X
タイ語	###				X
トルコ語	Türkçe				X

AI 製品とソリューションの追加リソース

AI のベストプラクティス、トラブルシューティング、またはその他の実装ガイドラインを探している場合は、機能またはリソースタイプを選択して、他の関連 Web サイトで ServiceNow リソースを見つけてください。

リソースリンク

AI 機能または製品	リソースタイプ	リソース
Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))	リリースノート	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) リリースノート
Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))	はじめに	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の使用を開始する ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) クイックスタートガイド (ServiceNow コミュニティ)
Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))	ヒントと例	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の例
Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))	トラブルシューティング	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) のトラブルシューティングとベストプラクティス
Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))	FAQ	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) FAQ
Document Intelligence (ドキュメントインテリジェンス (DocIntel))	トレーニング	ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の概要

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースリンク (続く)

AI 機能または製品	リソースタイプ	リソース
		ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の基礎
自然言語理解 (NLU) と自然言語クエリ	はじめに	NLU の開始 NLU クイックスタートガイド (ServiceNow コミュニティ)
自然言語理解 (NLU) と自然言語クエリ	ベストプラクティス	NLU のベストプラクティス
自然言語理解 (NLU) と自然言語クエリ	ヒントと例	NLU の例
自然言語理解 (NLU) と自然言語クエリ	トラブルシューティング	NLU のトラブルシューティング
自然言語理解 (NLU) と自然言語クエリ	FAQ	NLU に関する FAQ
自然言語理解 (NLU) と自然言語クエリ	トレーニング	自然言語理解 (NLU) の基礎
Now Assist	リリースノート	AI ガバナンスリリースノート Now Assist リリースノート クリエーターの Now Assist リリースノート CSM の Now Assist リリースノート ドキュメントインテリジェンス (DocIntel) の Now Assist リリースノート エンタープライズアーキテクチャ (EA) 向け Now Assist リリースノート FSO の Now Assist リリースノート HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist リリースノート IT Service Management の Now Assistリリースノート セキュリティインシデントレスポンス向け Now Assistリリースノート

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースリンク (続く)

AI 機能または製品	リソースタイプ	リソース
		サービスグラフコネクタ (SGC) 向け Now Assist リリースノート Now Assist SDKNow Assist スキルキットリリースノート Now Assist for Source-to-Pay オペレーション リリースノート 戦略ポートフォリオ管理 (SPM) の Now Assist リリースノート 通信事業、メディア、テクノロジー (TMT) の Now Assistリリースノート 仮想エージェント の Now Assist リリースノート 生成 AI コントローラーリリースノート
Now Assist	はじめに	Now Assist の使用を開始する (YouTube) Now Assist for Code の使用を開始する (YouTube) クリエーターの Now Assist(YouTube)の使用を開始する CSM の Now Assist の使用を開始する (YouTube) ITSM の Now Assist の使用を開始する (YouTube) AI 検索の Now Assist の使用を開始する (YouTube) Now Assist クイックスタートガイド (ServiceNow コミュニティ) Now Assist パネルの基礎 (YouTube)
Now Assist	ベストプラクティス	Now Assist のベストプラクティス (ServiceNow コミュニティ) ナレッジ記事のベストプラクティス (ServiceNow コミュニティ)
Now Assist	ヒントと例	Now Assist 会話型カタログ要求の実践 (ServiceNow コミュニティ) Now Assist の例

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースリンク (続く)

AI 機能または製品	リソースタイプ	リソース
Now Assist	FAQ	生成 AI コントローラーに関する FAQ Now Assist FAQ AI 検索の Now Assist に関する FAQ
Now Assist	トレーニング	生成 AI の概要 Now Assist Essentials Now Assist Essentials (2024 年 5 月ストアリリース) Now Assist を実装するための要件を理解する 仮想エージェント実装の Now Assist (2023 年 11 月ストアリリース) 仮想エージェント実装での Now Assist (2024 年 5 月ストアリリース) 検索実装の Now Assist (2023 年 11 月ストアリリース) 検索実装の Now Assist (2024 年 2 月ストアリリース) Now Assist for Creator クリエーター向け Now Assist 実装ブートキャンプオンデマンド フィールドサービス管理 (FSM) 実装のための Now Assist CSM の Now Assist 実装ブートキャンプ CSM の Now Assist Essentials (5 月/6 月ストアリリース) HR サービスデリバリ (HRSD) 向け Now Assist 実装ブートキャンプオンデマンド IT Service Management (ITSM) の Now Assist 実装ブートキャンプオンデマンド
予測インテリジェンス	リリースノート	予測インテリジェンスリリースノート
予測インテリジェンス	はじめに	予測インテリジェンスの開始

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースリンク (続く)

AI 機能または製品	リソースタイプ	リソース
		予測インテリジェンスクイックスタートガイド (ServiceNow コミュニティ)
予測インテリジェンス	ベストプラクティス	予測インテリジェンスのベストプラクティス
予測インテリジェンス	ヒントと例	予測インテリジェンスの例
予測インテリジェンス	FAQ	予測インテリジェンスの FAQ
予測インテリジェンス	トレーニング	Predictive Intelligence Fundamentals
タスクインテリジェンス	はじめに	タスクインテリジェンスの開始 タスクインテリジェンスクイックスタートガイド (ServiceNow コミュニティ)
タスクインテリジェンス	ベストプラクティス	タスクインテリジェンスのトラブルシューティングとベストプラクティス
タスクインテリジェンス	FAQ	タスクインテリジェンスの FAQ
タスクインテリジェンス	トレーニング	ITSM のタスクインテリジェンス - クイックスタートガイド CSM のタスクインテリジェンス - クイックスタートガイド AI アカデミー タスクインテリジェンスの使用を開始する - AI を使用してケースを分類する AI アカデミー ITSM のタスクインテリジェンス AI アカデミータスクインテリジェンス:カスタマーサービス管理 (CSM)

自動翻訳

© 2025 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。